平成２５年度

〔２０１３〕

履 修 の 手 引

本手引の内容は学生ポータル STEP-USP にも登載されています

大学ホームページからも閲覧可能です。
（トップページの「大学インフォメーションから「教育プログラム」へ進んでください。）

本手引の第 2 章「講義概要」は抜粋版です
詳しい「講義概要」については、学生ポータル STEP-USP で確認してください

https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/syllabusgaku/

この冊子は 2013（平成 25）年度入学生用です。2012（平成 24）年度以前入学生は学生ポータルＳＴＥＰ－ＵＳＰで講義概要を確認してください。

履　修　の　手　引

目　　次

第１章　科目履修の手引
1　授業科目の区分 ･･････ 1
2　単位制度 ･･････ 1
3　学期および授業 ･･････ 1
4　履修の登録 ･･････ 4
5　試験 ･･････ 5
6　成績評価および単位の認定 ･･････ 6
7　卒業要件 ･･････ 8
8　副専攻科目について ･･････ 8
9　他学部・他学科科目の履修 ･･････ 8
10　他大学の科目の履修（単位互換制度） ･･････ 9
11　編入学生の履修 ･･････ 9
12　その他 ･･････ 9

第２章　講義概要
1　全学共通科目履修の手引 ･･････ 11
人間学の考え方 ･･････ 135
2　環境科学部科目履修の手引 ･･････ 159
3　工学部科目履修の手引 ･･････ 275
4　人間文化学部科目履修の手引･･････ 363
5　人間看護学部科目履修の手引･･････ 537
6　近江楽士（地域学）副専攻履修の手引･･････ 581

第３章　資格取得等の手引
1　本学における免許・資格等の取得について･･････ 587
2　各学部・学科における教育職員免許の取得について･･････ 588
人間看護学部における教育職員免許の取得について ･･････ 606
生活栄養学科における栄養教諭免許の取得について ･･････ 610
3　「学芸員」の資格取得について･･････ 612
4　「栄養士」の免許取得と「管理栄養士受験資格」について･･････ 614
5　「一級建築士受験資格」および「二級・木造建築士受験資格」について･･････ 617
6　「二級建築士受験資格」および「木造建築士受験資格」について･･････ 619
7　「インテリアプランナー登録資格」について･･････ 620
8　「社会調査士資格」について ･･････ 621
9　「GIS 学術士」について･･････ 622
10　「自然再生士補資格」について･･････623
11　「地域調査士資格」について･･････625
12　「看護師国家試験受験資格」について･･････ 626
13　「保健師国家試験受験資格」について･･････ 628
14　「助産師国家試験受験資格」について･･････ 629
15　「社会福祉主事任用資格」について･･････ 631
16　「電気通信主任技術者資格」について･･････ 632
17　「電気主任技術者資格」について･･････ 633
18　「食品衛生管理者資格」および「食品衛生監視員資格」について･･････ 634
19　「毒物劇物取扱責任者資格」について･･････ 635
20　「甲種危険物取扱者試験受験資格」について･･････ 636
21　「二級ビオトープ管理士（計画部門）資格試験一部免除」について･･････ 637
22　キャリア教育・ボランティア関連科目について･･････ 638

担当教員索引 ･･････ 671
講義科目索引 ･･････ 696

第１章　科目履修の手引

第１章は、「履修の手引」総則編です。

全学にわたる共通事項を中心に記載しました。

重要事項が多いので、熟読の上、誤りのないように気をつけてください。

1　授業科目の区分

本学の教育課程は、**全学共通科目**と**専門科目**に区分されています。全学共通科目は、**全学共通基礎科目**と**人間学**から編成されています。

2　単位制度

各授業科目の単位数は 45 時間の学修を必要とする内容をもって１単位とすることを標準としています。本学では、授業の形態により授業による教育効果、授業時間外に必要な学修を考慮して次の基準により各授業科目ごとに単位数を定めています。

（１）　講義の場合

15 時間の授業をもって１単位とします（１時限は２時間相当としているため、15 回の授業をもって２単位となります。）。

（２）　演習の場合

30 時間の授業をもって１単位とします。

（３）　実験、実習および実技の場合

45 時間の授業をもって１単位とします。

ただし、授業科目によっては、15 時間から 30 時間の範囲内で定める時間の講義や演習の授業をもって 1 単位としている場合があります。

また、環境科学部の「環境フィールドワーク」のように、一科目が講義、演習および実習からなっていて 20 時間の授業をもって 1 単位としている場合があります。

上述の単位制度は文部科学省令の大学設置基準に基づいています。上述の規定により、2 単位の講義科目は 90 時間（45 時間/単位×2 単位）の学修を標準とします。

講義時間は 30 時間（15 時間/単位×2 単位）ですので、残り **60 時間分の予習・復習を行うこと**が前提となります。

3　学期および授業

（１）学期

本学は、1 学年を前期と後期に分ける**前期・後期制**を採用しています。

授業は、開講学期によって次のように区分されます。

- ◆ **前期科目**：前期のみで授業を完結する科目
- ◆ **後期科目**：後期のみで授業を完結する科目
- ◆ **通年科目**：前期と後期を通じて授業を行う科目

また、実施方法によって、次のように区分されます。

◆ **通常授業**：原則として毎週行われる授業

◆ **集中授業**：一定時期に集中的に連続して行われる授業（主に夏季休暇、冬季休暇中に行われる。）

（２）　授業時間

本学の授業時間帯は次のとおりです。ただし、実験、実習などでは次の時間帯とは異なる場合があります。

１　限	９時００分～１０時３０分
２　限	１０時４０分～１２時１０分
休　憩	
３　限	１３時１０分～１４時４０分
４　限	１４時５０分～１６時２０分
５　限	１６時３０分～１８時００分

（３）　休講

休講の場合は、前もって掲示や学生ポータルで知らせますから、図書情報センター前掲示板および学生ポータル「STEP-USP」の「休講情報」に注意してください。

（４）　補講

休講等の事情で予定どおり授業が行われなかった場合は、原則として「補講」を行います。

補講の時期、場所、方法などは掲示板および学生ポータル「STEP-USP」の「お知らせ」により指示するので注意してください。

（５）　授業の欠席

病気その他やむを得ない理由により、引き続き７日以上２か月未満（７日未満の特例あり）、授業に出席することができない場合は、あらかじめ教務グループに所定の欠席届を提出してください。教務グループでは、提出された欠席届の内容を確認後、届の写しを交付しますので、それを持参の上、届出者本人が直接、当該科目の授業担当教員に対し、事情を説明してください。欠席届を受理した科目は、欠席として取り扱いません。

ただし、授業担当教員が非常勤講師の場合は、教務グループの指示に従ってください。

また、緊急の事情により事前に届け出られない場合は、事前に電話等により事情を教務グループに連絡してください。

注１）欠席理由の如何を問わず、授業科目の成績評価等に関する取扱いについては、担当教員の判断によることとします。

注２）集中講義等で総授業時間の 1/3 以上欠席となり、履修登録の取消を希望する場合に限り、取消を認めます。

欠席を届け出る理由	必要な証明書
病気・けが	医師の診断書
災害	被災証明書
交通事故、交通機関の運休	事故証明書、運休・延着証明書
3 親等以内の葬儀	死亡に関する公的証明書
正課実習	実習証明書（指定様式）
その他大学が認める理由	理由書（本人以外の証明）

７日未満の特例：以下の欠席理由については、７日未満であっても、欠席届を受理します。

①「病気・けが」のうちインフルエンザ等の感染症（学校保健安全法施行規則第 18 条に記載された感染症）にかかり欠席する場合、同法 19 条に記載された出席停止期間の欠席を認める。

主な感染症	出席停止期間
新型インフルエンザ	治癒するまで
インフルエンザ	発熱した後（発熱の翌日を１日目として）５日を経過し、かつ解熱した後２日
百日咳	特有の咳が消失するまでまたは５日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで
麻しん（はしか）	解熱後３日
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発生した後５日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
風しん	発しんが消失するまで
水痘	すべての発しんが痂皮化するまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退後２日

②「交通機関の運休」で欠席する場合

③「３親等以内の葬儀」で欠席する場合（忌引き）

死亡した者	欠席できる日数	
配偶者	10 日	
	血族	姻族
父母	7 日	3 日
子	5 日	1 日
祖父母	3 日	1 日
兄弟姉妹	3 日	1 日
おじ・おば	1 日	1 日

④下の「その他大学が認める理由」で欠席する場合

・課外活動において全国大会またはそれと同等以上の大会に出場する場合
・湖風祭の前日準備に参加する場合（前日準備が全学休講でない場合に限る）
・就職活動（最終選考相当）

（６）　気象警報の発令・公共交通機関の不通と授業についての措置

暴風警報等が発令された場合または公共交通機関が全面運行停止（※）となった場合、授業については以下の措置をとります。

気象･交通状況	授業についての措置
滋賀県全域もしくは滋賀県北部全域または湖東全域または彦根市に暴風警報または暴風雪警報が発令されたとき	①発令中は休講 ②午前 7 時現在発令中の場合、午前中休講 ③午前 10 時現在発令中の場合、午後は休講
公共交通機関が全面運行停止となったとき（ストライキ、災害、事故等）	①午前 7 時までに解除・開通の場合は、平常通り授業 ②午前 8 時 30 分までに解除・開通の場合は 2 時限目より授業開始 ③午前 10 時までに解除・開通の場合は 3 時限目より授業開始 ④正午までに解除・開通の場合は 4 時限目より授業開始 ⑤正午をすぎても解除・開通しない場合は全時限休講

※　「公共交通機関が全面運行停止」とは、JR 西日本琵琶湖線（京都―米原間）の全線または一部線区が全便不通の場合をさします。

○　休講情報については随時更新されますので、掲示板および学生ポータル「STEP-USP」で確認して

ください。
○　学外実習に関しては、当該学部で別途定めます。

4　履修の登録

授業を履修するためには、**履修登録をする必要があります。**これを怠ったり、誤ったりすると単位が認定されないこととなります。また、平成21年度から始まったＧＰＡ制度（注：平成21年度〔2009年度〕以降の入学生対象（P.7参照））とも密接に関係していますので、次の点に注意して慎重に行ってください。

（1）　Web履修登録・確認

学年当初に「履修登録にあたって」と時間割を配布します。各学期のはじめに設定される履修登録・確認期間中に学生ポータル「STEP-USP」上でWeb履修登録をおこなってください。**履修登録・確認期間後の履修登録はできません。**

※履修登録・確認期間中は履修登録の内容の修正が可能となっていますが、履修登録・確認期間終了後の履修登録の変更は受け付けませんので、充分検討した上で履修登録してください。

（2）　クラス制

第一外国語（英語）、情報処理、健康・体力科学については、受講者数が多いため**クラス制を採用**しています。第一外国語（英語）と情報処理は時間割の配布と同時にクラスを指定します。健康・体力科学は希望コースを調査後にクラスを指定します。指定されたクラスで履修登録をしてください。

また、一部の専門科目でもクラスが指定される場合がありますので、注意してください。

クラス指定がある科目を再履修する場合は、学生ポータルからの履修登録以外に、再履修願・届の提出が必要です。

（3）　人間学の履修登録

人間学については、科目によって定員が設けられているものがあります（定員が設けられているか否かについては、各科目のWeb版講義概要を参照してください）。定員が設けられている科目を履修希望する場合は、まず学生ポータル「STEP-USP」で履修登録を行ってください。

登録期間終了後、定員を超える登録があった場合は、受講者の選定が行われます（一次選定）。一次選定の結果は、図書情報センター前掲示板と学生ポータルでの「お知らせ」を通じてお知らせしますので、必ず確認してください。

受講が認められなかった方は、定員に満たなかった科目または定員が設けられていない科目を履修希望することができます。「履修希望届」（窓口配布）を教務グループへ提出してください。また、その結果、「履修希望届」の提出が定員を上回った場合は、受講者の選定が行われます（二次選定）。二次選定の結果も掲示板および学生ポータルでお知らせします。

二次選定の結果、受講が認められなかった場合、定員が設けられていない科目のみ履修希望することができます。

（4）　履修できない科目

次に掲げる授業科目は履修できませんので注意してください（履修規程第３条）。

①　履修登録をしていない科目
②　既に単位を修得した科目
③　授業時間が重複する科目

（5）　履修資格

科目によっては、既に他の科目を履修していることが履修の条件となっているものがあります。どの科目を履修しておく必要があるかはWeb版の講義概要の「履修資格」欄に記載されています。誤って履修すると、原則として単位は認定されませんので、よく読んで登録してください。

（6） 履修登録の訂正（窓口申請分）

学生ポータル「STEP-USP」上で履修登録状況と単位修得状況を確認することができます。再履修願・届等、窓口に申請した内容が反映されているかどうかを、登録結果確認・訂正期間中にポータル上で確認してください。万が一、自分が申請した内容と異なる場合は、教務グループに申し出てください。

（7） 登録科目の取消と再登録

時間割の変更により科目の開講時間が変更になった場合等で、履修が不可能になったときは、事務局で登録が取り消されることがあります。その場合は、掲示板および学生ポータル「STEP-USP」に学籍番号等を掲示しますので、速やかに教務グループに申し出て、他の科目を再登録してください。

（8） 履修登録取消制度（平成 21 年度〔2009 年度〕以降の入学生対象）

履修登録取消制度とは、履修登録し、実際に授業に出席したものの、履修登録時に予想していた内容と異なっていたなどの理由により、履修登録を取り消すことができる制度です。各学期の授業が始まってから一定期間を経過した時点（前期：5 月中～下旬、後期：11 月中～下旬）で、履修登録の取消期間を設けますので、履修登録の取消を希望する場合は、指定された期間内に教務グループで手続きをしてください。ただし、取り消すことのできる科目数は 2 科目までとします。また、必修科目の登録を取り消すことはできません。

（9） 履修登録に関する相談窓口教員

履修登録に関する問い合わせは、教務グループで随時受け付けます。また、各学科にも履修登録に関する相談窓口となる教員がいます（「学生便覧」の「第 2 章　学生生活」の「3　履修（1）履修の手続、履修相談」に記載されています）ので、各自の履修計画を立てるにあたって積極的に相談してください。

5　試験

試験には、次の 2 種類があります。

- ◆ **定期試験**：学期末に期間を定めて行われる試験
- ◆ **平常試験**：授業の中で担当教員によって個別に随時行われる試験

（1） 定期試験の実施

定期試験は、各学期末に試験期間を設定して行います。

試験の時間割・教室は、事前に掲示板および学生ポータル「STEP-USP」に掲示しますので、注意してください。実施日時および実施教室の変更がある場合も、掲示板および学生ポータル「STEP-USP」に掲示します。

（2） 試験期間中における風雪時の対応について

原則として、試験日程は風雪等の天候とは関係なく、暴風警報等が発令されても予定どおり実施します。ただし、試験前日までに、当日の天候状況が風雪が甚だしいものと見込まれる場合は、各試験科目の担当教員が試験延期等の判断を行う場合があるので、掲示板および学生ポータル「STEP-USP」に注意しておいてください。

なお、試験当日に風雪により公共交通機関に遅れが生じた場合は、各試験科目の担当教員が状況に応じて、適宜、当該試験の実施について判断しますので、受験者は指示があるまで試験室で待機していてください。

（3） 定期試験の受験上の注意

① 受験する学生は、特別の指示がない限り、試験開始 5 分前に指定された教室に入る必要があります。
② 受験中は必ず、**学生証を机上に置く**こと。万一学生証を忘れた場合は、教務グループで仮受験票の交付を受けてください。
③ 答案には、学部・学科名、学籍番号、氏名を万年筆かボールペンで記入してください。
④ 受験者は、試験開始後 30 分までは退出できません。また、20 分を経過した場合の入室は認められません。

（4） 不正行為

定期試験で**不正行為**があると認められた者は、学則第 52 条第 1 項の規定により懲戒処分（退学、停学または訓告）を受けるほか、その学期に定期試験を実施するすべての科目を不可とします。

また、中間試験、小テストなどの定期試験以外の試験における不正行為は、当該科目を不可とします。

（5） 追試験

病気その他やむを得ない理由により、定期試験を受けることができない者には、**事情により追試験を行う**ことがあります。

追試験の受験を希望する者は、**「追試験願」**に必要な証明書（次表参照）を添付して、定期試験実施前にあらかじめ教務グループまで願い出てください。緊急の事情により事前に願い出られない場合は、試験当日までに電話等により事情を教務グループに連絡してください。

この場合は、事後提出であっても追試験願を受理することがありますが、**提出期限は原則として当該試験期間最終日の 3 日後まで**とします。

追試験を願い出る理由	必要な証明書
病気・けが	医師の診断書
災害	被災証明書
交通事故、交通機関の延着・運休	事故証明書、延着・運休証明書
３親等以内の葬儀	死亡に関する公的証明書
正課実習	実習証明書（指定様式）
その他大学が認める理由	理由書（本人以外の証明）

追試験願を提出した者は、教務グループから書類を受け付けたことを証する追試験願受付書を受け取り、該当する授業担当の教員と追試験実施について、直接相談してください。

なお、授業担当教員が非常勤講師の場合は、教務グループの指示に従ってください。

※注：追試験願受付書は、受験を認めることを意味するものではなく、窓口である教務グループが追試験願を受け付けたことのみを証するものです。

（6） 不合格となった科目について

定期試験等において、不合格となった者に対する再試験は行いません。

不合格になった授業科目については、翌年度以降に改めて再履修することができます。

6 成績評価および単位の認定

（1） 成績評価

成績の評点は、定期試験、平常の試験、レポート、制作物、実技などを総合して、100 点満点で採点します。

成績の評価の基準は次のとおりで、成績通知書、成績証明書の評価欄には、秀・優・良・可・不可で記載します。（「秀」評価は平成 21 年度以降の入学生のみ）

（平成 21 年度〔2009 年度〕以降入学生）

評　　点	評　　価
９０点以上	秀
８０点以上９０点未満	優
７０点以上８０点未満	良
６０点以上７０点未満	可
６０点未満	不可

（平成 20 年度〔2008 年度〕以前入学生）

評　　点	評　　価
８０点以上	優
７０点以上８０点未満	良
６０点以上７０点未満	可
６０点未満	不可

そのほかに、点数で表現できない成績として「合格」「不合格」あるいは「認定」で表示することがあります。

（２）　単位の認定

秀、優、良、可および合格ならびに認定の場合は、単位の修得が認められます。

不可および不合格の場合は、単位の修得は認められません。

追試験の対象とは認められない理由による定期試験の欠席により、成績評価資料を欠く場合には、履修を放棄したとみなしますので、単位の修得は認められません。

（３）　成績通知

成績の通知については、前期科目分は後期開始前に、後期・通年科目分は翌年度の学期開始前に、教務グループから本人に対し親展扱いで自宅（下宿）あて郵送します。

また、入学手続時に保護者（保証人）（以下「保護者等」といいます）あてに成績通知書の郵送を希望した保護者等については、各学期終了後に保護者等あてにも成績通知書を郵送します(平成 21 年度以降入学生の保護者等）。なお、平成 20 年度以前入学生についても、原則として、保護者等あてにも成績通知書を郵送しますが、20 歳以上の学生で、「成績通知書郵送停止届」を提出した者には、保証人あて成績通知書を郵送しないこととします。この場合、保証人には学生本人の意向により、成績通知書を郵送しない旨の通知を行うこととします。

なお、前期の成績通知書には、前期に履修した科目（一部集中講義科目等を除く）の成績を記載しています。後期の成績通知書には、前期と後期を合わせた年間の成績を記載しています。

※ 注:成績通知書は紛失しても再交付は行いません。大切に保管し、各自の修得単位数の管理に役立ててください。

（４）　ＧＰＡ（Grade Point Average）制度（平成 21 年度〔2009 年度〕以降の入学生対象）

① ＧＰＡとは

本学では、平成 21 年度入学の１年次生から「秀・優・良・可・不可」の成績評価に加えて、ＧＰＡによる成績評価制度が、試行的に導入されました。

ＧＰＡとは、履修登録した全科目のうち、ＧＰＡ算出対象となる科目（以下「算出対象科目」といいます。）の成績を 4.5 から 0 までの数値に置き換え、これに当該科目の単位数を掛けて、その合計を算出対象科目の総単位数で割った数値です。

「秀・優・良・可・不可」が科目ごとの学業成果を表すのに対して、ＧＰＡは、「不可」となった科目も含め、学生が履修登録した算出対象科目の学業成果および学業への取り組み結果の総合的な値として表すことになります。

したがって、みなさんが修学指導を受ける際や履修計画・学習計画を立てる際の参考として活用してください。

② ＧＰＡの計算方法

ＧＰＡは以下の計算式で算出されます。

【ＧＰＡの計算式】

$$\text{GPA} = \frac{\text{（グレード・ポイント(※)×当該科目の単位数）の総和}}{\text{算出対象科目の単位数の総和}}$$

※　*グレード・ポイント＝（当該科目の評点－５５）÷１０*

（ただし、評価が不可（評点が６０点未満および履修放棄）の場合、グレード・ポイントは一律に０点となります。）

【ＧＰＡ計算例】

科　目　名	A	B	C	D	E	F	計
単　位　数	2	1	3	2	2	2	１２
評　点	90	75	30	80	60	100	
評　価	秀	良	不可	優	可	秀	
ｸﾞﾚｰﾄﾞ・ﾎﾟｲﾝﾄ	3.5	2.0	0	2.5	0.5	4.5	
ｸﾞﾚｰﾄﾞ・ﾎﾟｲﾝﾄ×単位数	7	2	0	5	1	9	２４

$$GPA = \frac{3.5\times2+2.0\times1+0\times3+2.5\times2+0.5\times2+4.5\times2}{2+1+3+2+2+2} = \frac{24}{12} = 2.0$$

③ ＧＰＡ計算の対象となる科目・対象とならない科目

ＧＰＡ計算の対象となる科目は、以下の要件を満たすものです。

1）100 点満点で成績評価する科目
2）卒業要件単位に算入できる科目

したがって、成績が「合格」「認定」と表記される科目や資格（教員免許、学芸員等）取得のために開講されている科目は、ＧＰＡ計算の対象となりません。

（５） 成績評価の根拠等についての教示について

本学では、学生は自らの成績評価にかかる根拠等について、当該科目の担当教員に対して教示を求めることができます。

当該科目の担当教員に成績評価の根拠等について教えてもらいたい場合は、オフィスアワー等を活用して研究室を訪ねて聞くこともできますし、学生支援センター長（学生支援センター教務担当）を通じて、書面にて担当教員へ願い出ることもできます。

ただし、書面にて教示を願い出ることができる期間は、成績が通知された日から原則として３週間以内となりますので、ご注意ください。詳細については、教務グループ担当までご相談ください。

7 卒業要件

本学を卒業するためには、次の条件をすべて満たさなければなりません。

① ４年以上在学すること。（休学期間は在学期間に含まれません。）
② 所属学科のカリキュラムに従って、卒業要件としての必要単位を修得すること。

各学科の卒業要件については、それぞれの第２章の各学部学科の説明を熟読してください。

8 副専攻科目について

本学における副専攻とは、所属する学部学科の履修プログラム（主専攻）に加えて履修可能な学部学科横断的プログラムです。所属学科の専門性に加えて、それらを社会に還元するための基礎的・総合的能力を修得します。本学の学生であれば、どの学部学科に所属していても履修することができます。該当する副専攻が提供するプログラムを修了した学生には、当該副専攻の修了証を授与します。カリキュラム等については、第２章の６「近江楽士（地域学）副専攻履修の手引」を参照してください。

9 他学部・他学科科目の履修

本学では、所属する学科のカリキュラムに授業科目として指定されていない他学部、他学科の科目も、履修することを認めています。

しかし、教室に入ることのできる人数の制限や、履修した科目の単位を所属学科の卒業単位に算定するには限度があるなどの一定の制約がありますので注意してください。

① 他学部または他学科の科目の履修を希望する場合、事前に文書で承諾を得る必要はありません。
② 履修登録後に、受講人数の制限から、やむを得ず受講を取り消すことがあります。
③ 他学部または他学科で修得した単位を卒業単位として何単位まで認めるかは、各学部、学科で定めてい

ます。各学部、学科の卒業要件を確認してください。

10 他大学の科目の履修（単位互換制度）

単位互換制度とは、他の大学の授業科目を履修し、修得した単位を本学の単位として認定するものです。履修の幅が広がり、幅広い視野の育成に役立つものとなります。本学では、平成 17 年度から滋賀県にキャンパスを置く 12 大学と単位互換制度を実施しています。

また、平成 14 年度から滋賀大学と、平成 21 年度から彦根 3 大学（滋賀大学、聖泉大学、本学）による単位互換を実施しています。履修できる授業科目、手続、卒業単位への算入方法等については、各制度で異なります。学年当初に制度に関する資料を配布しますので、それらを参考にしてください。

11 編入学生の履修

編入学生の履修すべき授業科目および単位数ならびに成績の評価については、編入する年次の学生のものと同一になります。

例えば、2013（平成 25）年度 3 年次編入生が履修すべき授業科目等については、2011（平成 23）年度入学生と同一になります。

12 その他

（1） 科目担当教員について

各科目を担当する教員は「第 2 章 講義概要」にあるとおりですが、各担当教員の研究室については、年度当初に学生・就職支援グループから別途配布する学生便覧を参照してください。

なお、他大学等からの出講となる非常勤講師については、A1 棟 2 階に非常勤講師控室がありますが、在室は当該授業日の出講時限の前後のみとなりますので、注意してください。

（2） 留学中に修得した単位について

留学中に修得した単位は、申し出により全て認定され、他学部・他学科科目と同様の扱いとなります。ただし、卒業単位として認められるかどうか等は、各学部・学科によって取り扱いが異なります。詳細については、教務グループに問い合わせてください。

（3） 授業評価アンケートの実施について

授業評価アンケートは、授業内容やカリキュラムの改善などに取り組むため、授業に対する学生のみなさんの意見を聞くために実施しています。原則として、全ての授業科目について実施します。いただいた意見は今後に役立てていきたいので、みなさんの真摯な協力をお願いします。実施にあたっては、担当教員からの指示に従ってください。

※ アンケートは成績評価とまったく関係がありません。アンケートの集計結果は担当教員に通知されますが、その通知は成績処理終了後です。

（4） オフィスアワーについて

オフィスアワーは、授業の内容や学習の進め方などについて、学生からの相談を受ける時間を各教員が指定し、学生を支援する制度です。学生のみなさんの積極的な活用を期待します。

開設教員一覧については、大学掲示板および学生ポータル「STEP-USP」の「お知らせ」に掲載します。

第２章　講 義 概 要

第２章は、「履修の手引」各則編です。

　各学部・学科毎に科目の履修について、卒業要件等を記載していますが、これらは、**原則として入学年次のものが適用されますので、自分が入学した年の「履修の手引」の該当部分を参照ください**。ただし、変更されている事項もあります。したがって、今年度版の「履修の手引」の該当部分も熟読してください。

　また、各科目の講義概要も記載してあります。各自の該当する科目について熟読し、予習、復習に役立ててください。

　本手引に記載している講義概要は抜粋版です。詳しい講義概要については、学生ポータルSTEP-USPで確認してください。

1　全学共通科目履修の手引

1　全学共通科目の内容・構成

全学共通科目は、全学共通基礎科目と人間学から構成されています。

■全学共通基礎科目

全学共通基礎科目は、国際化時代にふさわしい人間性と能力を備えた「世界市民として育つための教育」を目指しています。

この科目は全学の学生を対象として、(1) 言語による国際的なコミュニケーションのための外国語教育、(2) 国際的な情報伝達に欠かせない情報処理、(3) 健康に対する知識と体力を養うための健康・体力科学３つの分野からなっています。

(1)　外国語教育科目

①国際コミュニケーション学科

・　必修科目：

第一外国語として英語Ⅰ～Ⅳまでの８単位が必修です。

・　選択必修科目：

第二外国語として、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、モンゴル語から一言語を選択して１年次に４単位以上履修する必要があります。

②国際コミュニケーション学科を除く学科

・　必修科目：

１～２年次で第一外国語として英語ＩＡ・Ｂ～ⅣＡ・Ｂまでの８単位が必修です。

・　選択必修科目：

第二外国語として、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語から一言語（第二外国語ＩＡとＩＢ）を選択して１年次に履修します。そして、２年次に引き続きその言語（第二外国語ⅡＡとⅡＢ）を履修するか、TOEIC®対策科目である実用英語演習ＩＡとＩＢを履修するかで計４単位以上履修する必要があります。（選択必修としての外国語の単位を取得し終わるまでは、実用英語演習と第二外国語を各１単位ずつ履修することは出来ません）

ただし、学科によって推奨する履修パターンが異なります。次ページの「表１：全学共通科目年次別配当表」および次ページの「表２：各学部・学科における外国語選択必修科目の履修方法」を参考に履修してください。

・　選択科目：

第一外国語では、より深く語学を修得するために選択科目として３年次以降にリスニング（中級）、リーディング（中級）、英語会話（中級）、ディベート＆ディスカッション、英語表現法、エッセイ・ライティング、留学英語対策講座Ⅰ、留学英語対策講座Ⅱ、ビジネス英語、時事英語、メディアの英語の１１科目が開講されます。詳細は、各学科の配当表を参照してください。

(2)　情報処理科目

「情報リテラシー（情報倫理を含む）」、「情報科学概論」の４単位が必修です。

(3)　健康・体力科学科目

「健康・体力科学Ⅰ」、「健康・体力科学Ⅱ」が必修で２単位の修得が卒業要件となります。

■人間学

人間学は、必修の２科目・４単位に加え、44 科目から選択して４科目・８単位以上の修得が卒業要件として必要です（詳しくは P133～136 の「人間学の考え方」を参照してください）。

表1：全学共通科目年次別配当表

		科目名	単位	1年		2年		3年		4年		新旧科目の読み替え	
				前	後	前	後	前	後	前	後	対象・方法	旧科目
外国語科目（国際コミュニケーション学科を除く）	必修 8単位	英語ⅠA	1	○								平成23年度以前入学生が左の科目の各AとBの両方を修得した場合に右の各対応科目に読み替える	英語Ⅰ
		英語ⅠB	1		○								
		英語ⅡA	1	○									英語Ⅱ
		英語ⅡB	1		○								
		英語ⅢA	1			○							英語Ⅲ
		英語ⅢB	1				○						
		英語ⅣA	1			○							英語Ⅳ
		英語ⅣB	1				○						
	選択（注1）	リスニング（中級）	2					○		○		平成23年度以前入学生は、左の科目を右のとおり英語ⅤA・ⅤB、英語ⅥA・ⅥBに読み替えます（各1単位）。（英語ⅤA・B，英語ⅥA・Bは平成26年度まで開講されます）	英語ⅥA
		リーディング（中級）	2						○		○		英語ⅤA
		英語会話（中級）	2						○		○		英語ⅤB
		ディベート＆ディスカッション	2					○		○			英語ⅥB
		英語表現法	2					○		○			英語VA
		エッセイ・ライティング	2						○		○		英語ⅤB
		留学英語対策講座Ⅰ	2						○		○		英語ⅤA
		留学英語対策講座Ⅱ	2						○		○		英語ⅤB
		ビジネス英語	2						○		○		未定
		時事英語	2						○		○		英語ⅥB
		メディアの英語	2					○		○			未定
	独・仏・中・朝から1言語を選択必修4単位（注2）	第二外国語ⅠA	1	○								平成23年度以前入学生が左の科目のAとBを両方修得した場合に右の各対応科目に読み替える	第二外国語Ⅰ
		第二外国語ⅠB	1		○								
		第二外国語ⅡA	1			○							第二外国語Ⅱ
		第二外国語ⅡB	1				○						
		実用英語演習ⅠA	1			○						履修の可否は表2を参照	
		実用英語演習ⅠB	1				○						
外国語科目（国際コミュニケーション学科）	必修 8単位	英語Ⅰ	2	○									
		英語Ⅱ	2	○									
		英語Ⅲ	2	○									
		英語Ⅳ	2	○									
	独・仏・中・朝・モから1言語を選択必修4単位	第二外国語ⅠA	1	○									
		第二外国語ⅠB	1	○									
		第二外国語ⅡA	1		○								
		第二外国語ⅡB	1		○								
情報	必修 4単位	情報科学概論	2		○								
		情報リテラシー（情報倫理を含む）	2	○								平成21年度以前入学生が左の科目を修得した場合に対応する右の科目に読み替える	情報処理演習Ⅰ
健康・体力科学	必修 2単位	健康・体力科学Ⅰ	1		○								
		健康・体力科学Ⅱ	1			○							
人間学（注3）	必修 4単位	環境マネジメント総論	2	○									
		人間探求学	2	○									
	選択必修 8単位	必修以外の人間学科目（44科目88単位）から4科目8単位を選択必修	88	○	○	○	○	○	○	○	○		

国際コミュニケーション学科では専門科目として扱われます（詳しくはP.389の学科の履修の手引を参照してください）。

国際コミュニケーション学科を除く学科での外国語教育科目の選択必修4単位分は、学科によって履修パターンが異なります。次ページの表2にしたがって履修計画を立ててください。

人間看護学科のみ、選択必修のうち6単位が必修となります。詳細は、P.537の学科の履修の手引を参照してください。

表 2：各学部・学科における外国語選択必修科目の履修方法

学部学科	1年次		履修の流れ	2年次	
	前期科目	後期科目		前期科目	後期科目
人間文化学部地域文化学科 人間文化学部人間関係学科	第二外国語ＩＡ	第二外国語ＩＢ	→ 2年次も同じ言語第二外国語ⅡＡ・ⅡＢを引き続き履修する →	第二外国語ⅡＡ	第二外国語ⅡＢ
環境科学部 工学部 人間文化学部生活デザイン学科 人間文化学部生活栄養学科	第二外国語ＩＡ	第二外国語ＩＢ	→ 2年次に、同じ言語の第二外国語ⅡＡ・ⅡＢを履修するか、第二外国語に代替可能な実用英語演習ＩＡ・ＩＢを履修するかのどちらかを選択する	第二外国語ⅡＡ 実用英語演習ＩＡ	第二外国語ⅡＢ 実用英語演習ＩＢ
人間看護学部	第二外国語ＩＡ	第二外国語ＩＢ	→ 2年次に、同じ第二外国語ⅡＡ・ⅡＢを履修するか、第二外国語に代替可能な実用英語演習ＩＡ・ＩＢを履修するかのどちらかを選択する。 ただし、実用英語演習ＩＡ・ＩＢの履修を強く推奨する	第二外国語ⅡＡ 実用英語演習ＩＡ	第二外国語ⅡＢ 実用英語演習ＩＢ
人間文化学部国際コミュニケーション学科	第二外国語ＩＡ 第二外国語ＩＢ	第二外国語ⅡＡ 第二外国語ⅡＢ			

※ 実用英語演習ＩＡとＩＢは連続して履修しなければなりません。

※ 本学では 1 年次、2 年次に TOEIC®-IP テストを無料で受験できます。実用英語演習ＩＡは 500 点、実用英語演習ＩＢは 700 点の TOEIC®スコアを履修登録時に満たすと単位認定を受けられる制度があります。詳しい内容については、教務グループまで問い合わせてください。

２　全学共通基礎科目履修上の注意

① クラス指定

・ 第一外国語、情報処理、健康・体力科学の必修科目を履修する場合は、学籍番号によって履修できる曜日時間が指定されますので、必ず指定の曜日時間で履修登録をしてください。第一外国語および情報処理は時間割の配布時に、健康・体力科学は希望コースを調査後にそれぞれクラスを指定します。

② 外国語科目（選択必修）の履修

・ ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語から希望する言語を選択することができますが、希望が集中した場合には、別の言語に割り振られることもあります。また、学科によって、2 年次に実用英語演習ＩＡ・Ｂを履修することができます。詳細は表 2 および各学科の年次別配当表にしたがってください。

・ 人間文化学部国際コミュニケーション学科の学生は、このほかにモンゴル語を第二外国語として選択して履修することができます（詳細は、P. 389 の学科の履修の手引を参照してください）。

③ 再履修

・ 全学共通科目の必修科目の単位を修得できずに、翌年度以降で再履修する場合は、再履修届の提出が必要となります。必ず履修登録前に教務グループに申し出てください。

④ 超過修得単位の取り扱い

・ ３～４年次配当の英語選択科目（１１科目）および人間学の選択科目において１２単位を超えて修得した場合は、各学部の規定により学部の専門科目として一定の単位まで卒業要件単位に含むことができます。自分が所属の各学部・学科の卒業要件を参照してください。

⑤ 2011（平成 23）年度以前入学生向け語学選択科目の取り扱いについて

・ 英語ＶＡ、ＶＢ、ⅥＡ、ⅥＢは平成 26 年度までの開講となりますが、平成２５年度以降、表 1 に従って読み替えることも可能です。

・ ドイツ語ⅢＡ、ⅢＢ、フランス語ⅢＡ、ⅢＢの 4 科目は平成 25 年度以降開講しません。平成 23 年度以前入学生は、平成 25 年度以降、国際コミュニケーション学科の専門科目である独仏語コミュニケーションⅡＡ、ⅡＣをそれぞれⅢＡ、ⅢＢに読替えます。

※　外国人留学生等の外国語履修について

２０１３（平成２５）年度から入学した外国人留学生は、外国語履修について次のように取り扱うこととします。ただし、学部学科によっては、特定の言語の履修を義務づけている場合がありますので、履修登録の前に必ず所属学科の相談窓口教員に確認してください。

第一外国語：英語ⅠA,B～ⅣA,B または日本語ⅠA,B～ⅣA,B から**8単位**を選択必修
第二外国語：ドイツ語ⅠA,B・ⅡA,B、フランス語ⅠA,B・ⅡA,B、中国語ⅠA,B・ⅡA,B、朝鮮語ⅠA,B・ⅡA,B、実用英語演習ⅠA,B、初習英語ⅠA,B・ⅡA,B、英語ⅠA,B～Ⅳ A,B、日本語ⅠA,B～Ⅳ A,B から**4単位**を選択必修（国際コミュニケーション学科を除く）

① 第一外国語と第二外国語とで同一の言語を履修することはできません。（第一外国語として英語を履修した場合に、第二外国語として初習英語を履修することはできません。）
② 母語を外国語科目として履修することはできません。
③ 初習英語は、入学前に英語を履修したことのない学生のみを対象としていますので、履修したことがある学生は対象外です。

外国語科目一覧（国際コミュニケーション学科を除く）

科目名	単位数	年次	期間	科目名	単位数	年次	期間
英語ⅠA,B	各１	1	各前・後期	ドイツ語ⅠA,B	各１	1	各前・後期
英語ⅡA,B	各１	1	各前・後期	ドイツ語ⅡA,B	各１	2	各前・後期
英語ⅢA,B	各１	2	各前・後期	フランス語ⅠA,B	各１	1	各前・後期
英語ⅣA,B	各１	2	各前・後期	フランス語ⅡA,B	各１	2	各前・後期
初習英語ⅠA,B	各１	1	各前・後期	中国語ⅠA,B	各１	1	各前・後期
初習英語ⅡA,B	各１	2	各前・後期	中国語ⅡA,B	各１	2	各前・後期
日本語ⅠA,B	各１	1	各前・後期	朝鮮語ⅠA,B	各１	1	各前・後期
日本語ⅡA,B	各１	1	各前・後期	朝鮮語ⅡA,B	各１	2	各前・後期
日本語ⅢA,B	各１	2	各前・後期	（実用英語演習ⅠA）※	(1)	(2)	（前期）
日本語ⅣA,B	各１	2	各前・後期	（実用英語演習ⅠB）※	(1)	(2)	（後期）

※「実用英語演習ⅠA・ⅠB」の扱いは学科により異なります。各学科の配当表を参照してください。

外国語科目一覧（国際コミュニケーション学科）

科目名	単位数	年次	期間	科目名	単位数	年次	期間
英語Ⅰ	2	1	前期	ドイツ語ⅠA,B	各１	1	前期
英語Ⅱ	2	1	前期	ドイツ語ⅡA,B	各１	1	後期
英語Ⅲ	2	1	前期	フランス語ⅠA,B	各１	1	前期
英語Ⅳ	2	1	前期	フランス語ⅡA,B	各１	1	後期
初習英語ⅠA,B	各１	1	各前･後期	中国語ⅠA,B	各１	1	前期
初習英語ⅡA,B	各１	1	各前･後期	中国語ⅡA,B	各１	1	後期
日本語ⅠA,B	各１	1	各前･後期	朝鮮語ⅠA,B	各１	1	前期
日本語ⅡA,B	各１	1	各前･後期	朝鮮語ⅡA,B	各１	1	後期
日本語ⅢA,B	各１	2	各前･後期	モンゴル語ⅠA,B	各１	1	前期
日本語ⅣA,B	各１	2	各前･後期	モンゴル語ⅡA,B	各１	1	後期

【参考】日本語基礎（交換留学生等向け）

科目名	単位数	年次	期間
日本語基礎ⅠA,B	各 1	1	各前・後期
日本語基礎ⅡA,B	各 1	1	各前・後期
日本語基礎ⅢA,B	各 1	1	各前・後期
日本語基礎ⅣA,B	各 1	1	各前・後期
日本語基礎ⅤA,B	各 1	1	各前・後期
日本語基礎ⅥA,B	各 1	1	各前・後期

中級～中上級の日本語を学ぶ交換留学生を主な対象に、日本語基礎 ＩＡ・Ｂ～日本語基礎ⅥＡ・Ｂを開講します。

学部の私費外国人留学生で、日本語レベルが日本語能力試験（JLPT）の N1 レベル未満の学生は、補講として一部科目を履修出来る場合がありますが、卒業要件単位に算入することはできません。

３　e-Learning システムによる英語学習について

本学では学内外から Web を使って英語学習を支援する e-Learning システム（ALC NetAcademy2）が導入されています。学生一人ひとりに与えられたアカウントを使用し、英語の自己学習ができます。LL 教室や情報処理演習室、また、学内の任意の端末および学外 PC を使って、特に TOEIC®に対応した多くの英語教材を存分に学習できます。

外国語科目の講義等の内容（概要）

授業科目名	講義等の内容
英語ＩＡ・ＩＢ(活性化コース)	比較的平易な英語を教材とし、視聴覚教具を利用した聞き取りの訓練、英語での言い換え・書き換え、英語で考える訓練を行い、既修の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で使用できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。
英語ⅡＡ・ⅡＢ(応用コース)	英語ＩＡ・ＩＢとの密接な関連において、日常会話やまとまったスピーチを中心に、コミュニケーションの場で文字を媒介することなく、聞き取りによって意味を理解し、口頭で意味する訓練を行い、英語を実際に運用する能力の向上を目標とする。
英語ⅢＡ・ⅢＢ(充実コース)	新聞、雑誌に掲載されるレベルの政治、経済、社会、文化、科学、娯楽、スポーツ、広告等広い分野の記事、論説を教材として、視聴覚教具を利用しながら、いっそう高度なコミュニケーションに必要な学力の充実を目標とする。
英語ⅣＡ・ⅣＢ(展開コース)	英語ⅢＡ・ⅢＢとの密接な関係において、一般読者向けの啓発的な著作から各学部の学生の専攻領域に関連のある主題の教材を選び、視聴覚教具を利用しながら、専門分野におけるコミュニケーションの活動に必要な学力の展開を目標とする。
ドイツ語ＩＡ・ＩＢ(初級コース)	視聴覚教具を利用して、生きたドイツ語に慣れ親しませながら、文法体系の基本を修得させ、また辞書を自由に検索できるように訓練して、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な学力の養成を目標とする。
ドイツ語ⅡＡ・ⅡＢ(中級コース)	政治、経済、社会、文化、科学、娯楽、スポーツ、広告等広い分野の教材を選び、視聴覚教具を利用して、ドイツ語ＩＡ・ＩＢで修得した基礎的な学力を、語彙、文法両面において充実させ、中級程度のコミュニケーションに必要な学力に高めることを目標とする。
フランス語ＩＡ・ＩＢ(初級コース)	視聴覚教具を利用して、生きたフランス語に慣れ親しませながら、文法体系の基本を修得させ、また辞書を自由に検索できるように訓練して、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な学力の養成を目標とする。
フランス語ⅡＡ・ⅡＢ(中級コース)	政治、経済、社会、文化、科学、娯楽、スポーツ、広告等広い分野の教材を選び、視聴覚教具を利用して、フランス語ＩＡ・ＩＢで修得した基礎的な学力を、語彙、文法両面において充実させ、中級程度のコミュニケーションに必要な学力に高めることを目標とする。
中国語ＩＡ・ＩＢ(初級コース)	視聴覚教具を利用して、生きた中国語に慣れ親しませながら、文法体系の基本を修得させ、また辞書を自由に検索できるように訓練して、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な学力の養成を目標とする。
中国語ⅡＡ・ⅡＢ(中級コース)	政治、経済、社会、文化、科学、娯楽、スポーツ、広告等広い分野の教材を選び、視聴覚教具を利用して、中国語ＩＡ・ＩＢで修得した基礎的な学力を、語彙、文法両面において充実させ、中級程度のコミュニケーションに必要な学力に高めることを目標とする。
朝鮮語ＩＡ・ＩＢ(初級コース)	視聴覚教具を利用して、生きた朝鮮語に慣れ親しませながら、文法体系の基本を修得させ、また辞書を自由に検索できるように訓練して、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な学力の養成を目標とする。
朝鮮語ⅡＡ・ⅡＢ(中級コース)	政治、経済、社会、文化、科学、娯楽、スポーツ、広告等広い分野の教材を選び、視聴覚教具を利用して、朝鮮語Ｉで修得した基礎的な学力を、語彙、文法両面において充実させ、中級程度のコミュニケーションに必要な学力に高めることを目標とする。
実用英語演習ＩＡ	英語ＩＡ・ＩＢ、ⅡＡ・ⅡＢでの学習内容をベースに、TOEIC®演習を中心として、海外での日常生活に根差した内容の英文の読解、聞き取りを行いレベルアップを目指す。英語圏に旅行しても困らないコミュニケーションツールとして通用する実用的英語の基礎力を身につける。
実用英語演習ＩＢ	実用英語演習ＩＡ の学習内容をベースに、さらに TOEIC®の高得点をねらえる英語力を身につけ、交渉や連絡時などビジネスシーンを想定したロールプレイングや E-mail のライティング演習を行い、真に実用的な英語力を養成する。

授　業　科　目　名	講　　義　　等　　の　　内　　容
日本語ＩＡ・ＩＢ	日本の大学で、日本語でレポートを作成できるように、文型・表現・展開パターンなどを学び、「読んでまとめる力」と「書く力」を養う。
日本語ⅡＡ・ⅡＢ	バランスのとれた日本語運用能力を高め、まとめる力、書く力、発表する力を身につける。またロ頭発表と本格的な討論の力をつける。そのためにテーマに即したスピーチの練習をし、討論の意義およびその種類と実施方法を学ぶ。
日本語ⅢＡ・ⅢＢ	留学生が大学の授業を理解し、また自身が専門的な研究活動を行うために必要となる日本語能力の習得を目指す。特に本授業では、様々な文体の使い分けを学んだ後で、学術的なレポート、調査・観察・実験の説明文、論文を書く技能および読む技能を中心に伸ばすことをねらいとしている。
日本語ⅣＡ・ⅣＢ	日本語Ｉ（日本語レポートライティング）で学んだことを発展させ、レポートを日本語で発表する方法を学び、実践する。

※　健康・体力科学Ⅰ・Ⅱについて

（１）授業のねらいと内容

【概要】

　健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、生涯にわたって運動習慣が継続できる実践能力を体得し、さらにライフスキル形成を促進する。このため、学内のスポーツ施設だけでなく野外施設を利用したスポーツ種目を広く取り入れ、スポーツの多様化を図る。

【開講コース】　※健康・体力科学ⅠおよびⅡで異なる。

屋内球技コース（バドミントン、バスケットボール、バレーボール、卓球）
屋外球技コース（ニュースポーツ、サッカー、テニス、ソフトボール）
運動処方コース（健康運動プログラム・体力トレーニング）
野外活動コース（スキー・スノーボード、ゴルフ、海洋スポーツ）

【到達目標】

１. 健康・体力の保持増進に必要な運動の科学的知識を理解する。
２. スポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育てる。
３. スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高める。
４. 生涯を通じてこれらの運動習慣が継続できる自律的態度を育てる。
５. スポーツ実践を通じてライフスキルを形成する。

（２）授業計画

【健康・体力科学Ⅰ】

第１回　　全体ガイダンス–健康・体力科学ⅠおよびⅡの授業の進め方、種目説明、種目希望調査–
第２回以降　コース（種目）別ガイダンス–授業の進め方、授業内容等、選択コースによって異なる。

【健康・体力科学Ⅱ】

第１回　　コース（種目）別ガイダンス–授業方針等、選択コースによって異なる。
第２回以降　基本から応用へ、選択コースによって異なる。
＊ 以降の頁に健康・体力科学ⅠおよびⅡのそれぞれの開講予定種目について、授業計画を示す。

（３）成績評価

「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。
欠席回数が４回以上（１単位につき）のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

（４）テキスト、指定図書、参考書

テキストは用いないが、参考書については必要に応じて随時紹介する。

（５）学習・教育目標中での位置付け

この科目は材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科の学習・教育目標のＡ１に関連する。

（６）その他

コース選択：授業科目ごとに開設されている種目の中から、自らの能力、適性、興味、関心に基づいて、それぞれ１種目を選択する。選択種目の決定は、種目希望調査に基づいて行うが、種目定員をこえる場合は希望順位を考慮して調整する。原則として、同じ種目を継続して選択することはできない。
なお、怪我や身体に障害のある学生には、運動処方コースが準備されている.

授業形態：授業の展開では、基本的にはグループ学習とし、計画・実践・分析・総括といった実験実習の活動形態を重視する。

服　　装：実技授業における服装はスポーツウエアーを着用し、靴は選択種目に適したものを利用することが望ましい。

更衣室：体育館の更衣室のロッカーは自由に利用できるが、長期の個人的利用は認めない。

貴重品管理：貴重品は種目ごとに貴重品箱を用意するので、必ず預けるようにすること。

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境①）	１単位　前期
担当教員	佐久間　思帆※	
授業概要	これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。ポップソングを楽しみながらTOEICのスコアを上げることも狙っています。英語は読み・聞き捨てるだけでは実力はつきません。知り、覚え、考えることが必要です。毎回、授業の初めに暗唱テスト（筆記式）を行います。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。特に聴解力と読解力を中心にした総合的な英語力の向上をはかる。	
テキスト 指定図書 参考書	本多吉彦ほか『ポップ・ミュージック・ワールド―TOEIC TEST形式で学ぶ総合英語』（三修社）※AB共通	
成績評価	小テストと授業への参加 40%、単語テスト及び学期末試験 60%	
履修資格		

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境①）	１単位　後期
担当教員	佐久間　思帆※	
授業概要	Aに引き続き、これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。ポップソングを楽しみながらTOEICのスコアを上げることも狙っています。英語は読み・聞き捨てるだけでは実力はつきません。知り、覚え、考えることが必要です。毎回、授業の初めに暗唱テスト（筆記式）を行います。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。特に聴解力と読解力を中心にした総合的な英語力の向上をはかる。	
テキスト 指定図書 参考書	本多吉彦ほか『ポップ・ミュージック・ワールド―TOEIC TEST形式で学ぶ総合英語』（三修社）※AB共通	
成績評価	小テストと授業への参加 40%、単語テスト及び学期末試験 60%	
履修資格		

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境②）	１単位　前期
担当教員	谷口　真紀※	
授業概要	この科目では、自然環境についての英文を読みながら、英語での情報の受信力と発信力の両方を、バランスよく伸ばしていくことを目指しています。専門分野の知識や経験を深めるにあたって、英語の情報を活用する力は欠かせません。その基礎を養うために、毎回、聞く・書く・話す・読むの四つの技能をみがく活動を中心に進めます。個人の活動だけでなく、ペアワークやグループワークも取り入れます。言葉は人と共に学ぶことで生きたものになるからです。受け身ではなく、自ら積極的にこの授業に取り組めば、さらに、自分だけの成果が得られるでしょう。	
到達目標	みなさんは、一年後に次の四つの力をつけることを目標にしましょう。 ①英語の放送によく出るフレーズを聞き取ることができる。（→聞く力） ②自分の考えを3行以上の英語で書き表すことができる。（→書く力） ③相手に伝わる発音で英語を音読できる。（→話す力） ④語句や文法知識を増やしながら英文を読解することができる。（→読む力）	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト→C.W.二コル／ジョナサン・リンチ／委文光太郎『Old Nic's Notebook：C.W.二コルと行くアファンの森』三修社、2012年（定価1,700円）。	
成績評価	聞く・書く・話す・読むの四技能をそれぞれ同じ割合で評価します。 ①毎回の小テスト（聞く力・書く力の評価、25％×2）50％＋②学期に一回の音読テスト（話す力の評価）25％＋③学期末試験（読む力の評価）25％＝100％。	
履修資格	該当なし。	

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境②）	１単位　後期
担当教員	谷口　真紀※	
授業概要	この科目では、自然環境についての英文を読みながら、英語での情報の受信力と発信力の両方を、バランスよく伸ばしていくことを目指しています。専門分野の知識や経験を深めるにあたって、英語の情報を活用する力は欠かせません。その基礎を養うために、毎回、聞く・書く・話す・読むの四つの技能をみがく活動を中心に進めます。個人の活動だけでなく、ペアワークやグループワークも取り入れます。言葉は人と共に学ぶことで生きたものになるからです。受け身ではなく、自ら積極的にこの授業に取り組めば、さらに、自分だけの成果が得られるでしょう。	
到達目標	みなさんは、一年後に次の四つの力をつけることを目標にしましょう。 ①英語の放送によく出るフレーズを聞き取ることができる。（→聞く力） ②自分の考えを3行以上の英語で書き表すことができる。（→書く力） ③相手に伝わる発音で英語を音読できる。（→話す力） ④語句や文法知識を増やしながら英文を読解することができる。（→読む力）	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト→C.W.二コル／ジョナサン・リンチ／委文光太郎『Old Nic's Notebook：C.W.二コルと行くアファンの森』三修社、2012年（定価1,700円）。	
成績評価	聞く・書く・話す・読むの四技能をそれぞれ同じ割合で評価します。 ①毎回の小テスト（聞く力・書く力の評価、25％×2）50％＋②学期に一回の音読テスト（話す力の評価）25％＋③学期末試験（読む力の評価）25％＝100％。	
履修資格	該当なし。	

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境③）	１単位　前期
担当教員	伊藤　加奈子※	
授業概要	この授業では、大学での年間行事や学生生活に関する内容を通して、 英語の基本的な事項を復習しつつ、これから実際に役立つ英語表現などを 身につけていきたい。練習問題により、読む・書く・聞く・話すの4技能を バランスよく向上させていくことを目指す。さらに、補助プリントで、 TOEIC対策も付け加えていく予定である。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として 定着させ、また、高めることを目標にする。生きた英語を学び、大学生として 必要な常識・英語力を身につけることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: Hiroko Nishikage 他著 Campus English （Cengage Learning）	
成績評価	授業中のPresentation 30%　Assignment 30% QUIZ・EXAM 40%を総合して評価する。 原則として、4回以上欠席（遅刻20分以上を含む）した者は、あるいは、 授業への取り組み姿勢があまりにも悪い者は評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境③）	１単位　後期
担当教員	伊藤　加奈子※	
授業概要	この授業では、大学での年間行事や学生生活に関する内容を通して、 英語の基本的な事項を復習しつつ、これから実際に役立つ英語表現などを 身につけていきたい。練習問題により、読む・書く・聞く・話すの4技能を バランスよく向上させていくことを目指す。さらに、補助プリントで、 TOEIC対策も付け加えていく予定である。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として 定着させ、また、高めることを目標にする。生きた英語を学び、大学生として 必要な常識・英語力を身につけることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: Hiroko Nishikage 他著 Campus English （Cengage Learning）	
成績評価	授業中のPresentation 30%　Assignment 30% QUIZ・EXAM 40%を総合して評価する。 原則として、4回以上欠席（遅刻20分以上を含む）した者は、あるいは、 授業への取り組み姿勢があまりにも悪い者は評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境④）	１単位　前期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、リーディング力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それを踏まえた発信力の向上を目標とします。 語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習、発信力の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。	
到達目標	英語の既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に使用できる知識として定着させ、また高めることを目標とします。	
テキスト 指定図書 参考書	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子 「Gear Up for the TOEIC Test」(金星堂) (ISBN: 978-4-7647-3958-1) 安河内哲也 「新TOEIC テスト長速★英単語」(中経出版) (ISBN: 978-4-8061-3370-4)	
成績評価	定期試験 50% 小テスト 20% 提出物 15% 授業態度 15%　欠席、遅刻の多い者、予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。(定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない)	
履修資格		

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境④）	１単位　後期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、リーディング力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それを踏まえた発信力の向上を目標とします。 語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習、発信力の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。	
到達目標	英語の既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に使用できる知識として定着させ、また高めることを目標とします。	
テキスト 指定図書 参考書	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子 「Gear Up for the TOEIC Test」(金星堂) (ISBN: 978-4-7647-3958-1) 安河内哲也 「新TOEIC テスト長速★英単語」(中経出版) (ISBN: 978-4-8061-3370-4)	
成績評価	定期試験 50% 小テスト 20% 提出物 15% 授業態度 15%　欠席、遅刻の多い者、予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。(定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない)	
履修資格		

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境⑤）	１単位　前期
担当教員	谷口　真紀※	
授業概要	この科目では、自然環境についての英文を読みながら、英語での情報の受信力と発信力の両方を、バランスよく伸ばしていくことを目指しています。専門分野の知識や経験を深めるにあたって、英語の情報を活用する力は欠かせません。その基礎を養うために、毎回、聞く・書く・話す・読むの四つの技能をみがく活動を中心に進めます。個人の活動だけでなく、ペアワークやグループワークも取り入れます。言葉は人と共に学ぶことで生きたものになるからです。受け身ではなく、自ら積極的にこの授業に取り組めば、さらに、自分だけの成果が得られるでしょう。	
到達目標	みなさんは、一年後に次の四つの力をつけることを目標にしましょう。 ①英語の放送によく出るフレーズを聞き取ることができる。(→聞く力) ②自分の考えを3行以上の英語で書き表すことができる。(→書く力) ③相手に伝わる発音で英語を音読できる。(→話す力) ④語句や文法知識を増やしながら英文を読解することができる。(→読む力)	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト→C.W.二コル／ジョナサン・リンチ／委文光太郎『Old Nic's Notebook：C.W.二コルと行くアファンの森』三修社、2012年（定価1,700円）。	
成績評価	聞く・書く・話す・読むの四技能をそれぞれ同じ割合で評価します。 ①毎回の小テスト（聞く力・書く力の評価、25％×2）50％＋②学期に一回の音読テスト（話す力の評価）25％＋③学期末試験（読む力の評価）25％＝100％。	
履修資格	該当なし。	

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境⑤）	１単位　後期
担当教員	谷口　真紀※	
授業概要	この科目では、自然環境についての英文を読みながら、英語での情報の受信力と発信力の両方を、バランスよく伸ばしていくことを目指しています。専門分野の知識や経験を深めるにあたって、英語の情報を活用する力は欠かせません。その基礎を養うために、毎回、聞く・書く・話す・読むの四つの技能をみがく活動を中心に進めます。個人の活動だけでなく、ペアワークやグループワークも取り入れます。言葉は人と共に学ぶことで生きたものになるからです。受け身ではなく、自ら積極的にこの授業に取り組めば、さらに、自分だけの成果が得られるでしょう。	
到達目標	みなさんは、一年後に次の四つの力をつけることを目標にしましょう。 ①英語の放送によく出るフレーズを聞き取ることができる。（→聞く力） ②自分の考えを3行以上の英語で書き表すことができる。（→書く力） ③相手に伝わる発音で英語を音読できる。（→話す力） ④語句や文法知識を増やしながら英文を読解することができる。（→読む力）	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト→C.W.二コル／ジョナサン・リンチ／委文光太郎『Old Nic's Notebook：C.W.二コルと行くアファンの森』三修社、2012年（定価1,700円）。	
成績評価	聞く・書く・話す・読むの四技能をそれぞれ同じ割合で評価します。 ①毎回の小テスト（聞く力・書く力の評価、25％×2）50％＋②学期に一回の音読テスト（話す力の評価）25％＋③学期末試験（読む力の評価）25％＝100％。	
履修資格	該当なし。	

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（環境⑥）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	授業はTOEIC形式の演習が中心となります。テキストは、TOEIC形式の問題になっていますが、広告、表、グラフなど、実際の海外での日常生活でみられるAuthenticなものばかりです。テスト英語だけではなく、実用的な英語も学びます。　家庭学習（宿題）はテキストの一部分と、e-learning（TOEIC）です。コンピューターの使い方にも早く慣れるようにしましょう。	
到達目標	・語彙力向上。 ・TOEICのスコアUP（もともとのスコアにもよりますが、大体80～100点UPを目指しましょう。） ・実用英語に慣れること。	
テキスト 指定図書 参考書	Practical English for the TOEIC Test　三修社、ハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、課題（家庭学習＋提出物）40％、欠席（5回以上は評価の対象となりません）、遅刻の多い場合（遅刻2回で欠席1回とみなします）、中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。	
履修資格	特にありません。	

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（環境⑥）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	授業はTOEIC形式の演習が中心となります。テキストは、TOEIC形式の問題になっていますが、広告、表、グラフなど、実際の海外での日常生活でみられるAuthenticなものばかりです。テスト英語だけではなく、実用的な英語も学びます。　家庭学習（宿題）はテキストの一部分と、e-learning（TOEIC）です。	
到達目標	・語彙力向上。 ・TOEICのスコアUP（もともとのスコアにもよりますが、大体80～100点UPを目指しましょう。）・実用英語に慣れること。	
テキスト 指定図書 参考書	Practical English for the TOEIC Test　三修社、ハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、課題（家庭学習＋提出物）40％、欠席（5回以上は評価の対象となりません）、遅刻の多い場合（遅刻2回で欠席1回とみなします）、中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。	
履修資格	特にありません。	

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（工学①）	１単位　前期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講座の目的は、日本人の視点で外国文化を語るのではなく、「外国人からみた日本の文化・日常生活の面白さ」を英語で学ぶことで、自身の日々の暮らしを表情豊かに伝えることのできる英語力を身につけることにある。「異文化」の視点から生きた英語表現を学ぶとともに、高校で学んだ文法知識を実際の英語の運用力へと高めてもらいたい。 授業は基本的にグループワークの形態をとり、毎回異なる座席が指定される。日替わりパートナーとの簡単な英会話練習ののち、グループ単位で役割別のロールプレイングを実施する。英文のダイアログを日本語に訳す際は、いわゆる教科書的な翻訳ではなく、どこまで自分自身の「素の言葉（関西弁で良い）」で表現できるかを重視する。次にその「素の言葉」をもう一度英語に戻し、感情を込めて表現する訓練を繰り返す。この練習を通じて、英語の4技能を総合的に鍛えていく。	
到達目標	(1) 基礎的な英文法を理解し、簡単な英語で自分の気持ちを表現できる。 (2) フォーマルとインフォーマルの英語表現の違いを意識し、丁寧さ（ポライトネス）の重要性を理解できる。 (3) カタコトの翻訳ではなく、より自然な日本語で英語の意味を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名：Hello Again! (Cultural Exchange and Everyday Life)、著　者：David E. James 出版社：Cengage Learning Japan、ISBN　：9784902902785 備　考：購入必須。（多くの書き込みや捺印をするので、必ず新しいものを購入すること。） 【参考書】書　名：Dictionary of Contemporary English（現代英英辞典 5訂版） 出版社：Longman 桐原書店、ISBN　：9784342100949 備　考：購入必須ではない。（授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。）	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60%（ペーパーテストと実技による評価） ・「準備課題」40%（自習準備の達成度による評価） ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（工学①）	１単位　後期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講座は、春学期の「英語ＩA(清水利宏担当)」と同様に、「外国人からみた日本の文化・日常生活の面白さ」というテーマのもとで、英語の4技能を鍛える。とりわけ、「英語ＩB」では、英語のポライトネス(丁寧さ)のレベルに重点をおき、コミュニケーションシーンに適した英語についてグループで考察する機会を多く提供する。 授業は基本的にグループワークの形態をとり、毎回異なる座席が指定される。日替わりパートナーとの簡単な英会話練習ののち、グループ単位で役割別のロールプレイングを実施する。英文のダイアログを日本語に訳す際は、いわゆる教科書的な翻訳ではなく、どこまで自分自身の「素の言葉（関西弁で良い）」で表現できるかを重視する。次にその「素の言葉」をもう一度英語に戻し、感情を込めて表現する訓練を繰り返す。この練習を通じて、英語の4技能を総合的に鍛えていく。※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1) 基礎的な英文法の知識をベースとして様々な語彙やイディアムを理解し、それらを実際に運用できる。 (2) 英語のポライトネスレベルを十分に意識し、適切な和訳および英訳ができる。 (3) 日常的な身の回りの出来事を英語で理解(Listening＋Reading)し、英語で発信(Speaking＋Writing)できる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名：Hello Again! (Cultural Exchange and Everyday Life)、著　者：David E. James 出版社：Cengage Learning Japan、ISBN　：9784902902785 備　考：購入必須。（春学期の「英語ＩA」で既に購入済みの者は、新たに購入する必要はない。） 【参考書】書　名：Dictionary of Contemporary English（現代英英辞典 5訂版）、出版社：Longman 桐原書店 ISBN　：9784342100949 備　考：購入必須ではない。（授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。）	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60%（ペーパーテストと実技による評価） ・「準備課題」40%（自習準備の達成度による評価） ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（工学②）	１単位　前期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、リーディング力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それを踏まえた発信力の向上を目標とします。 語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習、発信力の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。	
到達目標	英語の既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に使用できる知識として定着させ、また高めることを目標とします。	
テキスト 指定図書 参考書	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子 「Gear Up for the TOEIC Test」（金星堂）　(ISBN: 978-4-7647-3958-1) 安河内哲也 「新TOEIC テスト長速★英単語」（中経出版）　(ISBN: 978-4-8061-3370-4)	
成績評価	定期試験　50%　小テスト　20%　提出物　15%　授業態度　15%　　欠席、遅刻の多い者、予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。（定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない）	
履修資格		

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（工学②）	１単位　後期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、リーディング力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それを踏まえた発信力の向上を目標とします。 語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習、発信力の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。	
到達目標	英語の既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に使用できる知識として定着させ、また高めることを目標とします。	
テキスト 指定図書 参考書	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子 「Gear Up for the TOEIC Test」(金星堂) (ISBN: 978-4-7647-3958-1) 安河内哲也 「新TOEIC テスト長速★英単語」(中経出版) (ISBN: 978-4-8061-3370-4)	
成績評価	定期試験　50%　小テスト　20%　提出物　15%　授業態度　15%　　欠席、遅刻の多い者、予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。(定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない)	
履修資格		

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（工学③）	１単位　前期
担当教員	谷口　真紀※	
授業概要	この科目では、科学技術についての英文を読みながら、英語での情報の受信力と発信力の両方を、バランスよく伸ばしていくことを目指しています。専門分野の知識や経験を深めるにあたって、英語の情報を活用する力は欠かせません。その基礎を養うために、毎回、聞く・書く・話す・読むの四つの技能をみがく活動を中心に進めます。個人の活動だけでなく、ペアワークやグループワークも取り入れます。言葉は人と共に学ぶことで生きたものになるからです。受け身ではなく、自ら積極的にこの授業に取り組めば、さらに、自分だけの成果が得られるでしょう。	
到達目標	みなさんは、一年後に次の四つの力をつけることを目標にしましょう。 ①英語の放送によく出るフレーズを聞き取ることができる。(→聞く力) ②自分の考えを3行以上の英語で書き表すことができる。(→書く力) ③相手に伝わる発音で英語を音読できる。(→話す力) ④語句や文法知識を増やしながら英文を読解することができる。(→読む力)	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト→深山晶子／野口ジュディー／幸重美津子／岡本真由美／辻本智子／村尾純子／横山香奈 『Getting to Know Scitech Genres:理工系学生のための総合英語』三修社、2012年(定価1,800円)。 ＊第14回は、ハンドアウトを配布します。	
成績評価	聞く・書く・話す・読むの四技能をそれぞれ同じ割合で評価します。 ①毎回の小テスト(聞く力・書く力の評価、25%×2)50%＋②学期に一回の音読テスト(話す力の評価)25%＋③学期末試験(読む力の評価)25%＝100%。	
履修資格	該当なし。	

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（工学③）	１単位　後期
担当教員	谷口　真紀※	
授業概要	この科目では、科学技術についての英文を読みながら、英語での情報の受信力と発信力の両方を、バランスよく伸ばしていくことを目指しています。専門分野の知識や経験を深めるにあたって、英語の情報を活用する力は欠かせません。その基礎を養うために、毎回、聞く・書く・話す・読むの四つの技能をみがく活動を中心に進めます。個人の活動だけでなく、ペアワークやグループワークも取り入れます。言葉は人と共に学ぶことで生きたものになるからです。受け身ではなく、自ら積極的にこの授業に取り組めば、さらに、自分だけの成果が得られるでしょう。	
到達目標	みなさんは、一年後に次の四つの力をつけることを目標にしましょう。 ①英語の放送によく出るフレーズを聞き取ることができる。(→聞く力) ②自分の考えを3行以上の英語で書き表すことができる。(→書く力) ③相手に伝わる発音で英語を音読できる。(→話す力) ④語句や文法知識を増やしながら英文を読解することができる。(→読む力)	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト→深山晶子／野口ジュディー／幸重美津子／岡本真由美／辻本智子／村尾純子／横山香奈 『Getting to Know Scitech Genres:理工系学生のための総合英語』三修社、2012年(定価1,800円)。 ＊第28回は、ハンドアウトを配布します。	
成績評価	聞く・書く・話す・読むの四技能をそれぞれ同じ割合で評価します。 ①毎回の小テスト(聞く力・書く力の評価、25%×2)50%＋②学期に一回の音読テスト(話す力の評価)25%＋③学期末試験(読む力の評価)25%＝100%。	
履修資格	該当なし。	

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（工学④）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	授業はTOEIC形式の演習が中心となります。テキストは、TOEIC形式の問題になっていますが、広告、表、グラフなど、実際の海外での日常生活でみられるAuthenticなものばかりです。テスト英語だけではなく、実用的な英語も学びます。 家庭学習（宿題）はテキストの一部分と、e-learning（TOEIC）です。コンピューターの使い方にも早く慣れるようにしましょう。	
到達目標	・語彙力向上。 ・TOEICのスコアUP（もともとのスコアにもよりますが、大体80～100点UPを目指しましょう。） ・実用英語に慣れること。	
テキスト 指定図書 参考書	Practical English for the TOEIC Test　三修社、ハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、課題（家庭学習＋提出物）40％、欠席（5回以上は評価の対象となりません）、遅刻の多い場合（遅刻2回で欠席1回とみなします）、中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。	
履修資格	特にありません。	

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（工学④）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	授業はTOEIC形式の演習が中心となります。テキストは、TOEIC形式の問題になっていますが、広告、表、グラフなど、実際の海外での日常生活でみられるAuthenticなものばかりです。テスト英語だけではなく、実用的な英語も学びます。 家庭学習（宿題）はテキストの一部分と、e-learning（TOEIC）です。	
到達目標	・語彙力向上。 ・TOEICのスコアUP（もともとのスコアにもよりますが、大体80～100点UPを目指しましょう。） ・実用英語に慣れること。	
テキスト 指定図書 参考書	Practical English for the TOEIC Test　三修社、ハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、課題（家庭学習＋提出物）40％、欠席（5回以上は評価の対象となりません）、遅刻の多い場合（遅刻2回で欠席1回とみなします）、中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。	
履修資格	特にありません。	

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（工学⑤）	１単位　前期
担当教員	佐久間　思帆※	
授業概要	これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。ポップソングを楽しみながらTOEICのスコアを上げることも狙っています。英語は読み・聞き捨てるだけでは実力はつきません。知り、覚え、考えることが必要です。毎回、授業の初めに暗唱テスト（筆記式）を行います。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。特に聴解力と読解力を中心にした総合的な英語力の向上をはかる。	
テキスト 指定図書 参考書	本多吉彦ほか『ポップ・ミュージック・ワールド―TOEIC TEST形式で学ぶ総合英語』（三修社）※AB共通	
成績評価	小テストと授業への参加 40％、単語テスト及び学期末試験 60％	
履修資格		

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（工学⑤）	１単位　後期
担当教員	佐久間　思帆※	
授業概要	Aに引き続き、これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。ポップソングを楽しみながらTOEICのスコアを上げることも狙っています。英語は読み・聞き捨てるだけでは実力はつきません。知り、覚え、考えることが必要です。毎回、授業の初めに暗唱テスト(筆記式)を行います。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。特に聴解力と読解力を中心にした総合的な英語力の向上をはかる。	
テキスト 指定図書 参考書	本多吉彦ほか『ポップ・ミュージック・ワールド―TOEIC TEST形式で学ぶ総合英語』(三修社)※AB共通	
成績評価	小テストと授業への参加 40%、単語テスト及び学期末試験 60%	
履修資格		

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文①）	１単位　前期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will encourage communicative English speaking and improve listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the travel-related topics introduced in the texts. Students will also learn how to use the university e-learning system for TOEIC self-study and develop individual TOEIC test tactics.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvement in their English speaking and listening skills and gained the vocabulary and phrases necessary for talking about travel-related topics. With additional self-study using the e-learning system, students will have increased their potential for achieving their individual TOEIC target scores.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Angela Buckingham and Norman Whitney　Passport to New Places Student Book with CD (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:TOEIC handouts prepared by the teacher (Students must bring a dictionary to each class)	
成績評価	Tests 60%. E-learning Assignment 40%.	
履修資格		

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文①）	１単位　後期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will further encourage communicative English speaking and improve listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the travel-related topics introduced in the texts. Students will also learn how to use the university e-learning system for TOEIC self-study and develop individual TOEIC test tactics.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made further significant improvement in their English speaking and listening skills and gained the vocabulary and phrases necessary for talking about travel-related topics. With additional self-study using the e-learning system, students will have increased their potential of achieving their individual TOEIC target scores.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Angela Buckingham and Norman Whitney　Passport to New Places Student Book with CD (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:TOEIC handouts prepared by the teacher (Students must bring a dictionary to each class)	
成績評価	Tests 60%. E-learning Assignment 40%.	
履修資格		

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文②）	１単位　前期
担当教員	伊藤　加奈子※	
授業概要	この授業では、大学での年間行事や学生生活に関する内容を通して、英語の基本的な事項を復習しつつ、これから実際に役立つ英語表現などを身につけていきたい。練習問題により、読む・書く・聞く・話すの4技能をバランスよく向上させていくことを目指す。さらに、補助プリントで、TOEIC対策も付け加えていく予定である。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また、高めることを目標にする。生きた英語を学び、大学生として必要な常識・英語力を身につけることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: Hiroko Nishikage 他著 Campus English （Cengage Learning）	
成績評価	授業中のPresentation 30%　Assignment 30% QUIZ・EXAM 40%を総合して評価する。 原則として、4回以上欠席（遅刻20分以上を含む）した者は、あるいは、授業への取り組み姿勢があまりにも悪い者は評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文②）	１単位　後期
担当教員	伊藤　加奈子※	
授業概要	この授業では、大学での年間行事や学生生活に関する内容を通して、英語の基本的な事項を復習しつつ、これから実際に役立つ英語表現などを身につけていきたい。練習問題により、読む・書く・聞く・話すの4技能をバランスよく向上させていくことを目指す。さらに、補助プリントで、TOEIC対策も付け加えていく予定である。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また、高めることを目標にする。生きた英語を学び、大学生として必要な常識・英語力を身につけることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: Hiroko Nishikage 他著 Campus English （Cengage Learning）	
成績評価	授業中のPresentation 30%　Assignment 30% QUIZ・EXAM 40%を総合して評価する。 原則として、4回以上欠席（遅刻20分以上を含む）した者は、あるいは、授業への取り組み姿勢があまりにも悪い者は評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文③）	１単位　前期
担当教員	谷口　真紀※	
授業概要	この科目では、日本文化についての英文を読みながら、英語での情報の受信力と発信力の両方を、バランスよく伸ばしていくことを目指しています。専門分野の知識や経験を深めるにあたって、英語の情報を活用する力は欠かせません。その基礎を養うために、毎回、聞く・書く・話す・読むの四つの技能をみがく活動を中心に進めます。個人の活動だけでなく、ペアワークやグループワークも取り入れます。言葉は人と共に学ぶことで生きたものになるからです。受け身ではなく、自ら積極的にこの授業に取り組めば、さらに、自分だけの成果が得られるでしょう。	
到達目標	みなさんは、一年後に次の四つの力をつけることを目標にしましょう。 ①英語の放送によく出るフレーズを聞き取ることができる。（→聞く力） ②自分の考えを3行以上の英語で書き表すことができる。（→書く力） ③相手に伝わる発音で英語を音読できる。（→話す力） ④語句や文法知識を増やしながら英文を読解することができる。（→読む力）	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト→Roger Pulvers『Delighting in Cultures：世界の中の日本人と日本人の中の世界』金星堂、2009年（定価1,900円）。	
成績評価	聞く・書く・話す・読むの四技能をそれぞれ同じ割合で評価します。 ①毎回の小テスト（聞く力・書く力の評価、25%×2）50%＋②学期に一回の音読テスト（話す力の評価）25%＋③学期末試験（読む力の評価）25%＝100%。	
履修資格	該当なし。	

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文③）	１単位　後期
担当教員	谷口　真紀※	
授業概要	この科目では、日本文化についての英文を読みながら、英語での情報の受信力と発信力の両方を、バランスよく伸ばしていくことを目指しています。専門分野の知識や経験を深めるにあたって、英語の情報を活用する力は欠かせません。その基礎を養うために、毎回、聞く・書く・話す・読むの四つの技能をみがく活動を中心に進めます。個人の活動だけでなく、ペアワークやグループワークも取り入れます。言葉は人と共に学ぶことで生きたものになるからです。受け身ではなく、自ら積極的にこの授業に取り組めば、さらに、自分だけの成果が得られるでしょう。	
到達目標	みなさんは、一年後に次の四つの力をつけることを目標にしましょう。 ①英語の放送によく出るフレーズを聞き取ることができる。（→聞く力） ②自分の考えを3行以上の英語で書き表すことができる。（→書く力） ③相手に伝わる発音で英語を音読できる。（→話す力） ④語句や文法知識を増やしながら英文を読解することができる。（→読む力）	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト→Roger Pulvers『Delighting in Cultures：世界の中の日本人と日本人の中の世界』金星堂、2009年（定価1,900円）。	
成績評価	聞く・書く・話す・読むの四技能をそれぞれ同じ割合で評価します。 ①毎回の小テスト（聞く力・書く力の評価、25％×2）50％＋②学期に一回の音読テスト（話す力の評価）25％＋③学期末試験（読む力の評価）25％＝100％。	
履修資格	該当なし。	

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文④）	１単位　前期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、リーディング力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それを踏まえた発信力の向上を目標とします。 語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習、発信力の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。	
到達目標	英語の既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に使用できる知識として定着させ、また高めることを目標とします。	
テキスト 指定図書 参考書	中郷慶　他 「めざせ600! 名作映画でTOEIC カサブランカ」（英宝社） (ISBN: 978-4-269-66028-1) 安河内哲也 「新TOEIC テスト長速★英単語」（中経出版） (ISBN: 978-4-8061-3370-4)	
成績評価	定期試験　50％　小テスト　20％　提出物　15％　授業態度　15％ 欠席、遅刻の多い者、予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。（定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない）	
履修資格		

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文④）	１単位　後期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、リーディング力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それを踏まえた発信力の向上を目標とします。 語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習、発信力の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。	
到達目標	英語の既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に使用できる知識として定着させ、また高めることを目標とします。	
テキスト 指定図書 参考書	中郷慶　他 「めざせ600! 名作映画でTOEIC カサブランカ」（英宝社） (ISBN: 978-4-269-66028-1) 安河内哲也 「新TOEIC テスト長速★英単語」（中経出版） (ISBN: 978-4-8061-3370-4)	
成績評価	定期試験　50％　小テスト　20％　提出物　15％　授業態度　15％　欠席、遅刻の多い者、予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。（定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない）	
履修資格		

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（人文⑤）	１単位　前期
担当教員	谷口　真紀※	
授業概要	この科目では、日本文化についての英文を読みながら、英語での情報の受信力と発信力の両方を、バランスよく伸ばしていくことを目指しています。専門分野の知識や経験を深めるにあたって、英語の情報を活用する力は欠かせません。その基礎を養うために、毎回、聞く・書く・話す・読むの四つの技能をみがく活動を中心に進めます。個人の活動だけでなく、ペアワークやグループワークも取り入れます。言葉は人と共に学ぶことで生きたものになるからです。受け身ではなく、自ら積極的にこの授業に取り組めば、さらに、自分だけの成果が得られるでしょう。	
到達目標	みなさんは、一年後に次の四つの力をつけることを目標にしましょう。 ①英語の放送によく出るフレーズを聞き取ることができる。（→聞く力） ②自分の考えを3行以上の英語で書き表すことができる。（→書く力） ③相手に伝わる発音で英語を音読できる。（→話す力） ④語句や文法知識を増やしながら英文を読解することができる。（→読む力）	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト→Roger Pulvers『Delighting in Cultures：世界の中の日本人と日本人の中の世界』金星堂、2009年（定価1,900円）。	
成績評価	聞く・書く・話す・読むの四技能をそれぞれ同じ割合で評価します。 ①毎回の小テスト（聞く力・書く力の評価、25％×2）50％＋②学期に一回の音読テスト（話す力の評価）25％＋③学期末試験（読む力の評価）25％＝100％。	
履修資格	該当なし。	

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（人文⑤）	１単位　後期
担当教員	谷口　真紀※	
授業概要	この科目では、日本文化についての英文を読みながら、英語での情報の受信力と発信力の両方を、バランスよく伸ばしていくことを目指しています。専門分野の知識や経験を深めるにあたって、英語の情報を活用する力は欠かせません。その基礎を養うために、毎回、聞く・書く・話す・読むの四つの技能をみがく活動を中心に進めます。個人の活動だけでなく、ペアワークやグループワークも取り入れます。言葉は人と共に学ぶことで生きたものになるからです。受け身ではなく、自ら積極的にこの授業に取り組めば、さらに、自分だけの成果が得られるでしょう。	
到達目標	みなさんは、一年後に次の四つの力をつけることを目標にしましょう。 ①英語の放送によく出るフレーズを聞き取ることができる。（→聞く力） ②自分の考えを3行以上の英語で書き表すことができる。（→書く力） ③相手に伝わる発音で英語を音読できる。（→話す力） ④語句や文法知識を増やしながら英文を読解することができる。（→読む力）	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト→Roger Pulvers『Delighting in Cultures：世界の中の日本人と日本人の中の世界』金星堂、2009年（定価1,900円）。	
成績評価	聞く・書く・話す・読むの四技能をそれぞれ同じ割合で評価します。 ①毎回の小テスト（聞く力・書く力の評価、25％×2）50％＋②学期に一回の音読テスト（話す力の評価）25％＋③学期末試験（読む力の評価）25％＝100％。	
履修資格	該当なし。	

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（看護①）	１単位　前期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	患者との英語によるコミュニケーションをスムーズに行うため、また、医師が記載した英語によるカルテを読み取るため、医療現場で必要な英語を学ぶ。そのため、英語表現と英単語の養成に重点を置いた授業を行う。それと同時に、英語表現を定着させるため、ロールプレイを通じて学んだことを実際に使用できるかどうかを確認する。TOEICの高得点を狙うためにも有益である、実用的な英語力の養成を目的とする。 ※授業計画、成績評価方法、期末試験方法、教科書等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	患者との英語によるコミュニケーションをスムーズに行うため、また、医師が記載した英語によるカルテを読み取るため、医療現場で必要な英語力の養成を目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	Vivian Morooka, Terri Sugiura.『Vital Signs』(南雲堂)	
成績評価	前期試験50％、後期試験50％で評価する。なお、5回以上欠席した場合、評価対象外とする。また、遅刻3回で1回欠席扱いとする。 ※成績評価方法、期末試験方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
履修資格		

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（看護①）	１単位　後期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	患者との英語によるコミュニケーションをスムーズに行うため、また、医師が記載した英語によるカルテを読み取るため、医療現場で必要な英語を学ぶ。そのため、英語表現と英単語の養成に重点を置いた授業を行う。それと同時に、英語表現を定着させるため、ロールプレイを通じて学んだことを実際に使用できるかどうかを確認する。TOEICの高得点を狙うためにも有益である、実用的な英語力の養成を目的とする。 ※授業計画、成績評価方法、期末試験方法、教科書等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	患者との英語によるコミュニケーションをスムーズに行うため、また、医師が記載した英語によるカルテを読み取るため、医療現場で必要な英語力の養成を目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	Vivian Morooka, Terri Sugiura.『Vital Signs』(南雲堂)	
成績評価	前期試験50％、後期試験50％で評価する。なお、5回以上欠席した場合、評価対象外とする。また、遅刻3回で1回欠席扱いとする。 ※成績評価方法、期末試験方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
履修資格		

科目名	英語ＩＡ（活性化コース）（看護②）	１単位　前期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	患者との英語によるコミュニケーションをスムーズに行うため、また、医師が記載した英語によるカルテを読み取るため、医療現場で必要な英語を学ぶ。そのため、英語表現と英単語の養成に重点を置いた授業を行う。それと同時に、英語表現を定着させるため、ロールプレイを通じて学んだことを実際に使用できるかどうかを確認する。TOEICの高得点を狙うためにも有益である、実用的な英語力の養成を目的とする。 ※授業計画、成績評価方法、期末試験方法、教科書等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	患者との英語によるコミュニケーションをスムーズに行うため、また、医師が記載した英語によるカルテを読み取るため、医療現場で必要な英語力の養成を目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	Vivian Morooka, Terri Sugiura.『Vital Signs』(南雲堂)	
成績評価	前期試験50％、後期試験50％で評価する。なお、5回以上欠席した場合、評価対象外とする。また、遅刻3回で1回欠席扱いとする。 ※成績評価方法、期末試験方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
履修資格		

科目名	英語ＩＢ（活性化コース）（看護②）	１単位　後期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	患者との英語によるコミュニケーションをスムーズに行うため、また、医師が記載した英語によるカルテを読み取るため、医療現場で必要な英語を学ぶ。そのため、英語表現と英単語の養成に重点を置いた授業を行う。それと同時に、英語表現を定着させるため、ロールプレイを通じて学んだことを実際に使用できるかどうかを確認する。TOEICの高得点を狙うためにも有益である、実用的な英語力の養成を目的とする。 ※授業計画、成績評価方法、期末試験方法、教科書等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	患者との英語によるコミュニケーションをスムーズに行うため、また、医師が記載した英語によるカルテを読み取るため、医療現場で必要な英語力の養成を目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	Vivian Morooka, Terri Sugiura.『Vital Signs』(南雲堂)	
成績評価	前期試験50％、後期試験50％で評価する。なお、5回以上欠席した場合、評価対象外とする。また、遅刻3回で1回欠席扱いとする。 ※成績評価方法、期末試験方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境①）	１単位　前期
担当教員	カール・ブラウン※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Breakthrough, Book One, Macmillan Language House, Mile Craven, ISBN 978-4-7773-6128-1	
成績評価	4 tests (25% each) Students meet with instructor and discuss a short report on a topic that they choose. Interview will be graded on five key points: grammar : 10 points vocabulary : 10 points intonation : 10 points fluency : 10 points content : 10 points	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境①）	１単位　後期
担当教員	カール・ブラウン※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Breakthrough, Book One, Macmillan Language House, Mile Craven, ISBN 978-4-7773-6128-1	
成績評価	2 tests (25% each), 1 interview (50%) Students meet with instructor and discuss a short report on a topic that they choose. Interview will be graded on five key points: grammar : 10 points vocabulary : 10 points intonation : 10 points fluency : 10 points content : 10 points	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境②）	１単位　前期
担当教員	マウザー・ピーター※	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English I, by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 50%; Tests 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境②）	１単位　後期
担当教員	マウザー・ピーター※	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English II, by Hedberg and Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 25%; Tests 25%; Interviews 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境③）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English I by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 50%, Tests 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境③）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English II by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 25%, Tests 25%, and Interviews 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境④）	１単位　前期
担当教員	カール・ブラウン※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Breakthrough, Book One, Macmillan Language House, Mile Craven, ISBN 978-4-7773-6128-1	
成績評価	4 tests (25% each) Students meet with instructor and discuss a short report on a topic that they choose. Interview will be graded on five key points: grammar : 10 points vocabulary : 10 points intonation : 10 points fluency : 10 points content : 10 points	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境④）	１単位　後期
担当教員	カール・ブラウン※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Breakthrough, Book One, Macmillan Language House, Mile Craven, ISBN 978-4-7773-6128-1	
成績評価	2 tests (25% each), 1 interview (50%) Students meet with instructor and discuss a short report on a topic that they choose. Interview will be graded on five key points: grammar : 10 points vocabulary : 10 points intonation : 10 points fluency : 10 points content : 10 points	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境⑤）	１単位　前期
担当教員	アラン・ニール※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everday onversation dialogues and individual, pair and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Teacher powerpoint, images and text worksheets will be give to the students by the teacher.	
成績評価	4 tests or assignments that are each 25%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境⑤）	１単位　後期
担当教員	アラン・ニール※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everday onversation dialogues and individual, pair and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Teacher powerpoint, images and text worksheets will be give to the students by the teacher.	
成績評価	2 tests or assignments that are each 25% and 1 interview that is 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（環境⑥）	１単位　前期
担当教員	ゴードン・マクラレン※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual and pair speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Pop Stars', new version. Tyler Warfield (DramaWorks, 2004)	
成績評価	Homework: Study scenes at home(20-35分) every 2 weeks. Write 350-500 words about yourself for a 1-to-1 interview. Pairs rewrite a long scene once to study then perform. Grading: 4 performances of scenes during the term /15 or /20% each = /65%; writing and performing a final scene /35%. NO GRADES WILL BE GIVEN TO STUDENTS WHO FAIL TO ATTEND MORE THAN 1/4 OF THE CLASSES.	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（環境⑥）	１単位　後期
担当教員	ゴードン・マクラレン※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair and group speech presentations. Students are asked to write a report and discuss it with the instructor in a short interview.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Pop Stars', new version. Tyler Warfield (DramaWorks, 2004)	
成績評価	Homework: In October and November, memorize a short scene for homework(～1.5 hours) every 3 weeks. By December, write 400-550 words about yourself (～6 hours) for a 1-to-1 interview. The movies the class watches during interview time will be subject to one or more quizzes. Study each 'screenplay' at home(～ 6 hours total). Grading: TRI-WEEKLY ACTING TESTS /20% x2;PERSONAL INTERVIEW BASED ON YOUR WRITTEN REPORT: 50%; QUIZ[es] on end-of-term MOVIES and SCREENPLAYS: 10%. NO GRADES WILL BE GIVEN TO STUDENTS WHO FAIL TO ATTEND MORE THAN 1/4 OF THE CLASSES.	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（工学①）	１単位　前期
担当教員	マウザー・ピーター※	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English I, by Hedberg and Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 50%; Tests 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（工学①）	１単位　後期
担当教員	マウザー・ピーター※	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English II, by Hedberg and Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 25%; Tests 25%; Interviews 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（工学②）	１単位　前期
担当教員	ウォルター・クリンガー	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:映画の台本は図書館から借りることができる。歌詞等はHP http://www.office.usp.ac.jp/~klinger.w/からダウンロードできる。	
成績評価	Picture Test 4x25%: Students meet with the teacher one-by-one and describe what is happening in 4 Action English pictures that we studied in the class.	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（工学②）	１単位　後期
担当教員	ウォルター・クリンガー	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	映画の台本は図書館から借りることができる。歌詞等はHP http://www.office.usp.ac.jp/~klinger.w/ からダウンロードできる。	
成績評価	Interview 100%: Students meet with the teacher individually, present a report on a topic of their own choosing, and have a discussion with the teacher.	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（工学③）	１単位　前期
担当教員	ゴードン・マクラレン※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and pair speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Star Taxi', new version. Theo Steckler & Ian Franklin (DramaWorks, 2003).	
成績評価	Homework: Memorize a short scene's pronunciation and dialog at home(～1.5 hours) every 3 weeks. Pairs rewrite 1 x 4-page scene to make it semi-original (～5 hours). After the teacher's corrections, they study it as homework (～ 4 hours) to perform. Grading: 4 performances of scenes during the term /15 or /20% each = /65%; writing and performing a pair final scene /35%. NO GRADES WILL BE GIVEN TO STUDENTS WHO FAIL TO ATTEND MORE THAN 1/4 OF THE CLASSES.	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（工学③）	１単位　後期
担当教員	ゴードン・マクラレン※	
授業概要	Outline:. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair and group speech presentations. Students are asked to write a report and discuss it with the instructor in a short interview.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:'Star Taxi', new version. Theo Steckler & Ian Franklin (DramaWorks, 2003).	
成績評価	Homework: In October and November, memorize a short scene for homework(～1.5 hours) every 3 weeks. By December, write 400-550 words about yourself (～6 hours) for a 1-to-1 interview. The movies the class watches during interview time will be subject to one or more quizzes. Study each 'screenplay' at home(～ 6 hours total). Grading: TRI-WEEKLY ACTING TESTS /20% x2; Scene XIX group performance /5%; PERSONAL INTERVIEW BASED ON YOUR WRITTEN REPORT: 45%; QUIZ[es] on end-of-term MOVIES and SCREENPLAYS: 10%. NO GRADES WILL BE GIVEN TO STUDENTS WHO FAIL TO ATTEND MORE THAN 1/4 OF THE CLASSES.	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（工学④）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English I by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 50%, Tests 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（工学④）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English II by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 25%, Tests 25%, and Interviews 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（工学⑤）	１単位　前期
担当教員	カール・ブラウン※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Breakthrough, Book One, Macmillan Language House, Mile Craven, ISBN 978-4-7773-6128-1	
成績評価	4 tests (25% each) Students meet with instructor and discuss a short report on a topic that they choose. Interview will be graded on five key points: grammar　: 10 points vocabulary : 10 points intonation　: 10 points fluency　: 10 points content　: 10 points	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（工学⑤）	１単位　後期
担当教員	カール・ブラウン※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Breakthrough, Book One, Macmillan Language House, Mile Craven, ISBN 978-4-7773-6128-1	
成績評価	2 tests (25% each), 1 interview (50%) Students meet with instructor and discuss a short report on a topic that they choose. Interview will be graded on five key points: grammar : 10 points vocabulary : 10 points intonation : 10 points fluency : 10 points content : 10 points	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（人文①）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English I by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	成績評価Vocabulary quizzes 50%, Tests 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（人文①）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English II by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 25%, Tests 25%, and Interviews 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（人文②）	１単位　前期
担当教員	マウザー・ピーター※	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English I, by Hedberg and Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 50%; Tests 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（人文②）	１単位　後期
担当教員	マウザー・ピーター※	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English II, by Hedberg and Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 25%; Tests 25%; Interviews 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（人文③）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English I by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 50%, Tests 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（人文③）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English II by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 25%, Tests 25%, and Interviews 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（人文④）	１単位　前期
担当教員	カール・ブラウン※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Breakthrough, Book One, Macmillan Language House, Mile Craven, ISBN 978-4-7773-6128-1	
成績評価	4 tests (25% each) Students meet with instructor and discuss a short report on a topic that they choose. Interview will be graded on five key points: grammar : 10 points vocabulary : 10 points intonation : 10 points fluency : 10 points content : 10 points	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（人文④）	１単位　後期
担当教員	カール・ブラウン※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Breakthrough, Book One, Macmillan Language House, Mile Craven, ISBN 978-4-7773-6128-1	
成績評価	2 tests (25% each), 1 interview (50%) Students meet with instructor and discuss a short report on a topic that they choose. Interview will be graded on five key points: grammar : 10 points vocabulary : 10 points intonation : 10 points fluency : 10 points content : 10 points	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（人文⑤）	１単位　前期
担当教員	アラン・ニール※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everday onversation dialogues and individual, pair and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Teacher powerpoint, images and text worksheets will be give to the students by the teacher.	
成績評価	4 tests or assignments that are each 25%	
履修資格		

科目名	英語ⅡB（応用コース）（人文⑤）	１単位　後期
担当教員	アラン・ニール※	
授業概要	This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everday onversation dialogues and individual, pair and group speech presentations.	
到達目標	On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	Teacher powerpoint, images and text worksheets will be give to the students by the teacher.	
成績評価	2 tests or assignments that are each 25% and 1 interview that is 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（看護①）	１単位　前期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will encourage communicative English speaking and improve listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the travel-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvement in their English speaking and listening abilities and gained the basic vocabulary and phrases necessary for travelling and meeting people from other countries.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Angela Buckingham and Norman Whitney　Passport to New Places Student Book with CD (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語ⅡB（応用コース）（看護①）	１単位　後期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will further encourage communicative English speaking and improve listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the travel-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made further significant improvement in their English speaking and listening abilities and gained the basic vocabulary and phrases necessary for travelling and meeting people from other countries.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Angela Buckingham and Norman Whitney　Passport to New Places Student Book with CD (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（看護②）	１単位　前期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will encourage communicative English speaking and improve listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the travel-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvement in their English speaking and listening abilities and gained the basic vocabulary and phrases necessary for travelling and meeting people from other countries.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Angela Buckingham and Norman Whitney　Passport to New Places Student Book with CD (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語ⅡB（応用コース）（看護②）	１単位　後期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will further encourage communicative English speaking and improve listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the travel-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made further significant improvement in their English speaking and listening abilities and gained the basic vocabulary and phrases necessary for travelling and meeting people from other countries.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Angela Buckingham and Norman Whitney　Passport to New Places Student Book with CD (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（環境①）	１単位　前期
担当教員	鈴木　里奈※	
授業概要	この授業では、時事、経済、文化、環境などの大きなテーマから日常的な話題に至る幅広いトピックに関する英文を扱います。内容理解のためのディスカッションやプレゼンテーション、リスニングのエクササイズを随時取り入れながら、読解力、語彙力及び発信力を含む総合的な英語運用能力を養うことを目標として授業を進めます。また、補助教材を使用し、TOEICスコア・アップ対策をリスニング・リーディング別にそれぞれ行う予定です。	
到達目標	・幅広い分野の英文に触れ、知識と上級レベルの語彙力を身につける。 ・ディスカッションやプレゼンテーションを通して、実践的な英語コミュニケーション能力を養う。 ・TOEIC演習を行い、確実なスコア・アップを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	＜テキスト＞ 書名: Everyday Sociology 著者: Jim Knudsen/福原 俊平 出版社: 南雲堂 ISBN: 9784523177197	
成績評価	定期試験50%　授業課題(プレゼンテーション/Review Test/提出課題など)50% 半期で4回以上欠席した者(遅刻3回で欠席1回とみなします)、学期末試験を受験しなかった者は評価の対象とならないので留意して下さい。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（環境①）	１単位　後期
担当教員	鈴木　里奈※	
授業概要	この授業では、時事、経済、文化、環境などの大きなテーマから日常的な話題に至る幅広いトピックに関する英文を扱います。内容理解のためのディスカッションやプレゼンテーション、リスニングのエクササイズを随時取り入れながら、読解力、語彙力及び発信力を含む総合的な英語運用能力を養うことを目標として授業を進めます。また、補助教材を使用し、TOEICスコア・アップ対策をリスニング・リーディング別にそれぞれ行う予定です。	
到達目標	・幅広い分野の英文に触れ、知識と上級レベルの語彙力を身につける。 ・ディスカッションやプレゼンテーションを通して、実践的な英語コミュニケーション能力を養う。 ・TOEIC演習を行い、確実なスコア・アップを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	＜テキスト＞ 書名: Everyday Sociology 著者: Jim Knudsen/福原 俊平 出版社: 南雲堂 ISBN: 9784523177197	
成績評価	定期試験50%　授業課題(プレゼンテーション/Review Test/提出課題など)50% 半期で4回以上欠席した者(遅刻3回で欠席1回とみなします)、学期末試験を受験しなかった者は評価の対象とならないので留意して下さい。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（環境②）	１単位　前期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それを踏まえた発信力の向上を目標とします。 語彙の確認、リスニングの演習、発信力の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。 また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、専門領域におけるコミュニケーションの場で役立つ学力として展開させることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	「ローマの休日で学ぶ英会話」(コスミック出版)と「京大学術語彙データーベース基本英単語1001」(研究社)	
成績評価	定期試験　50%　小テスト　20%　提出物　15%　授業態度　15%　　欠席、遅刻の多い者、予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。(定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない)	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（環境②）	１単位　後期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それを踏まえた発信力の向上を目標とします。 語彙の確認、リスニングの演習、発信力の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。 また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、専門領域におけるコミュニケーションの場で役立つ学力として展開させることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	「ローマの休日で学ぶ英会話」(コスミック出版)と「京大学術語彙データーベース基本英単語1001」(研究社)	
成績評価	定期試験　50%　小テスト　20%　提出物　15%　授業態度　15%　　欠席、遅刻の多い者、予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。(定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない)	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（環境③）	１単位　前期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講義は、英文ニュースやトレンド記事を理解し、その内容を文意にふさわしい読み方で再現するトレーニングを繰り返すことで、「伝わりやすい英語」とは何かを実践的に考察するものである。「シャドウイング(Shadowing)」と呼ばれる音読訓練を通じて、英語を正確に理解できるListening力と、伝わりやすいSpeaking力の両方を習得してもらいたい。 毎回の授業は、「語彙演習、シャドウイング訓練、ディスカッション、発展演習」によって構成される。 本講義の履修を通じて、英語のリズム、息つぎ、発音、強調表現など、これまでに習得した英語力をベースとして、さらに力強い「伝達力」を身につけるための訓練方法を、理論的かつ実践的に学んでもらいたい。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1)　基礎的なシャドウイング技術を習得し、実際に実演できる。 (2)　英語の強調表現の理論を理解し、概要を説明できる。 (3)　ニュース記事について、自分の意見を英語で発表できる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名: Breaking News Listening、 著　者: Nobuhiro Kumai, Stephen Timson, Sean Banville 出版社: Macmillan Languagehouse、 ISBN　: 9784777363117 備　考: 購入必須。(多くの書き込みや捺印をするので、必ず新しいものを購入すること。) 【参考書】書　名: Dictionary of Contemporary English(現代英英辞典 5訂版) 出版社: Longman 桐原書店、 ISBN　: 9784342100949 備　考: 購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% (ペーパーテストと実技による評価) ・「準備課題」40% (自習準備の達成度による評価) ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（環境③）	１単位　後期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講義は、春学期の「英語ⅢA(清水利宏担当)」に引き続き、英文ニュースやトレンド記事を理解し、その内容を文意にふさわしい読み方で再現するトレーニングを繰り返すことで、「伝わりやすい英語」とは何かを実践的に考察するものである。「シャドウイング(Shadowing)」と呼ばれる音読訓練を通じて、英語を正確に理解できるListening力と、伝わりやすいSpeaking力の両方を習得してもらいたい。 毎回の授業は、「語彙演習、シャドウイング訓練、ディスカッション、発展演習」によって構成される。とりわけ、秋学期の「英語ⅢB」の発展演習ではプレゼンテーションに重点を置き、「理解」から「発信」への展開について議論していく。本講義の履修を通じて、英語のリズム、息つぎ、発音、強調表現などを、理論的かつ実践的に学んでもらいたい。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1)　シャドウイング技術を応用し、多様な内容の英文を理解できる。 (2)　英語の強調表現の理論を理解し、自分の発表に活かすことができる。 (3)　時事的な話題に関する意見を、英語でプレゼンテーションすることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名: Breaking News Listening 、著　者: Nobuhiro Kumai, Stephen Timson, Sean Banville 出版社: Macmillan Languagehouse、ISBN　: 9784777363117 備　考: 購入必須。(春学期の「英語ⅢA」で既に購入済みの者は、新たに購入する必要はない。) 【参考書】書　名: Dictionary of Contemporary English(現代英英辞典 5訂版) 出版社: Longman 桐原書店 ISBN　: 9784342100949 備　考: 購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% (ペーパーテストと実技による評価) ・「準備課題」40% (自習準備の達成度による評価) ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（環境④）	１単位　前期
担当教員	森永　弘司※	
授業概要	文学教材は実用的ではないという理由で大学の教育現場で年々使用されることが少なくなってきているが、学生には人気のある教材の一つである。本書は中級レベルの文学作品を1. Sorrow「個人的な悲しみ」、2. Memories「幼い頃の思い出」、3. Ties 「さまざまな関係」、4. Visions「将来の展望」の4つのunitに分類して構成され、また基本的なリーディング・スキルの習得を図るための様々な演習問題が用意されている。近年主流になりつつあるreading for informationのための講読ではなくreading for pleasureの講読を実施したい。初回の授業で授業方針、授業の進め方、成績評価等に関して説明するので、必ず出席されたい。出席を重視する。さらに、補助プリントで、TOEIC対策も付け加えていく予定である。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、さらなる英語力の向上を目指す。初回と最後の授業時に3種類の英語力測定テストを実施するので、初回のテスト得点より最後のテスト得点が伸びていることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：John Dennis/Suzanne Griffin編、Reflections Second Edition　（松柏社）	
成績評価	出席　20％（1回の欠席で―3点、遅刻は3回で1回の欠席に換算する） 発表　20％（指定した箇所をクラスで発表していただく） レポート 20％（テーマ及び執筆要項は授業時に説明する） プレゼンテーション　20％　（受講者10点、担当者10点で評価する） 定期テスト　20％	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（環境④）	１単位　後期
担当教員	森永　弘司※	
授業概要	When Harry Met Sally . . . は1989年にロードショー公開になったロマンティク・コメディである。「男と女は本当の友達になれない」というHarryと「女と男はセックス抜きの友達でいられる」というSallyは、やがて友達となり、惹かれあって恋人となっていく。「友達」、「恋人」、「愛」、「セックス」といった問題は、学生諸君にとって切実なテーマであるので、興味を持ってスクリプトを読むことができるであろう。様々な練習問題をこなしながら、行間を読み取る精読力の涵養を目指す。初回の授業で授業方針、授業の進め方、成績評価等に関して説明するので、必ず出席されたい。出席を重視する。さらに、補助プリントで、TOEIC対策も付け加えていく予定である。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、いっそう高度な英語力を身に付けることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：When Harry Met Sally, author Nora Ephron, edited with with notes and exercises（松柏社）	
成績評価	出席　20％（1回の欠席で―3点、遅刻は3回で1回の欠席に換算する） 発表　20％（指定した箇所をクラスで発表していただく） レポート 20％（テーマ及び執筆要項は授業時に説明する） プレゼンテーション　20％　（受講者10点、担当者10点で評価する） 定期テスト　20％	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（環境⑤）	１単位　前期
担当教員	佐久間　思帆※	
授業概要	これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。映画を楽しみながらTOEICのスコアを上げることも狙っています。英語は読み・聞き捨てるだけでは実力はつきません。知り、覚え、考えることが必要です。毎回、授業の初めに暗唱テスト（筆記式）を行います。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。特に聴解力と読解力を中心にした総合的な英語力の向上をはかる。	
テキスト 指定図書 参考書	中郷慶ほか『めざせ！600 名作映画でTOEIC「カサブランカ」』（英宝社）※AB共通	
成績評価	小テストと授業への参加 40％、単語テスト及び学期末試験 60％	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（環境⑤）	１単位　後期
担当教員	佐久間　思帆※	
授業概要	Aに引き続き、これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。映画を楽しみながらTOEICのスコアを上げることも狙っています。英語は読み・聞き捨てるだけでは実力はつきません。知り、覚え、考えることが必要です。毎回、授業の初めに暗唱テスト（筆記式）を行います。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。特に聴解力と読解力を中心にした総合的な英語力の向上をはかる。	
テキスト 指定図書 参考書	中郷慶ほか『めざせ！600 名作映画でTOEIC「カサブランカ」』（英宝社）※AB共通	
成績評価	小テストと授業への参加 40%、単語テスト及び学期末試験 60%	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（環境⑥）	１単位　前期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となる。従って、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。また、単語テストも随時行う。 ※授業計画、成績評価方法、期末試験方法、教科書等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となるため、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	大賀リエ、William J. Benfield, Terry L. Browning他. 『TOEIC Test: On Target』 南雲堂.	
成績評価	小テスト（50%）、期末試験（50%）で評価する。 なお、5回以上欠席した場合、評価対象外とする。また、遅刻3回で1回欠席扱いとする。 ※成績評価方法、期末試験方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（環境⑥）	１単位　後期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となる。従って、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。また、単語テストも随時行う。 ※授業計画、成績評価方法、期末試験方法、教科書等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となるため、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	大賀リエ、William J. Benfield, Terry L. Browning他. 『TOEIC Test: On Target』 南雲堂.	
成績評価	小テスト（35%）、TOEIC IP（30%）、期末試験（35%）で評価する。 なお、5回以上欠席した場合、評価対象外とする。また、遅刻3回で1回欠席扱いとする。 ※成績評価方法、期末試験方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（工学①）	１単位　前期
担当教員	市場　史哉※	
授業概要	現代科学に関連する英文を読み、科学に関する語彙を身につける。学生が英文を訳し、教師が解説をするという形式で授業を進めていく。学生は予習して授業に臨むことが求められる。	
到達目標	学生が科学に関する英文を読むのに必要な語彙力と構文を把握する能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：Science Flash （金星堂）	
成績評価	小テスト：40％ 期末試験：60％ 全授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（工学①）	１単位　後期
担当教員	市場　史哉※	
授業概要	現代科学に関連する英文を読み、科学に関する語彙を身につける。学生が英文を訳し、教師が解説をするという形式で授業を進めていく。学生は予習して授業に臨むことが求められる。	
到達目標	学生が科学に関する英文を読むのに必要な語彙力と構文を把握する能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：Science Flash （金星堂）	
成績評価	授業中に行う小テスト：40％ 期末試験：60％ 全授業回数の3分の1以上の欠席があった場合、評価対象としない。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（工学②）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	授業はTOEIC形式の演習が中心となります。最近のTOEICでは、ビジネスの要素を含んだ問題が多く出題されています。日常生活に使う英語だけではなく、ビジネスシーンに使う英語も学び、TOEICスコアアップを目指します。 授業では、テキストだけではなく、ハンドアウトもたくさん使います（特にリスニング問題）。 家庭学習（宿題）はテキストの一部分と、e-learning（TOEIC）です。コンピューターの使い方にも早く慣れるようにしましょう。	
到達目標	・語彙力UP。 ・TOEICのスコアUP（もともとのスコアにもよりますが、大体80～100点UPを目指しましょう。） ・簡単なビジネスに必要な英語を学びましょう。 宿題および小試験	
テキスト 指定図書 参考書	ENJOY STUDYING THE TOEIC TEST TAKAYUKI ISHII, AKIRA NAKAGAWA, THOMAS KOCH SANSHUSHA プリント配布	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、課題（家庭学習＋提出物）40％、欠席（4回以上は評価の対象となりません）、遅刻の多い場合（遅刻2回で欠席1回とみなします）、中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。	
履修資格	特にありません。	

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（工学②）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	授業はTOEIC形式の演習が中心となります。最近のTOEICでは、ビジネスの要素を含んだ問題が多く出題されています。日常生活に使う英語だけではなく、ビジネスシーンに使う英語も学び、TOEICスコアアップを目指します。 授業では、テキストだけではなく、ハンドアウトもたくさん使います（特にリスニング問題）。 家庭学習（宿題）はテキストの一部分と、e-learning（TOEIC）です。コンピューターの使い方にも早く慣れるようにしましょう	
到達目標	・語彙力UP。 ・TOEICのスコアUP（もともとのスコアにもよりますが、大体80～100点UPを目指しましょう。） ・簡単なビジネスに必要な英語を学びましょう。	
テキスト 指定図書 参考書	ENJOY STUDYING THE TOEIC TEST WRITTEN BY TAKAYUKI ISHII, AKIRA NAKAGAWA, THOMAS KOCH SANSHUSHA プリント配布	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、課題（家庭学習＋提出物）40％、欠席（4回以上は評価の対象となりません）、遅刻の多い場合（遅刻2回で欠席1回とみなします）、中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。	
履修資格	特にありません。	

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（工学③）	１単位　前期
担当教員	佐久間　思帆※	
授業概要	これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。映画を楽しみながらTOEICのスコアを上げることも狙っています。英語は読み・聞き捨てるだけでは実力はつきません。知り、覚え、考えることが必要です。毎回、授業の初めに暗唱テスト（筆記式）を行います。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。特に聴解力と読解力を中心にした総合的な英語力の向上をはかる。	
テキスト 指定図書 参考書	中郷慶ほか『めざせ！600 名作映画でTOEIC「カサブランカ」』（英宝社）※AB共通	
成績評価	小テストと授業への参加 40％、単語テスト及び学期末試験 60％	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（工学③）	１単位　後期
担当教員	佐久間　思帆※	
授業概要	Aに引き続き、これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。映画を楽しみながらTOEICのスコアを上げることも狙っています。英語は読み・聞き捨てるだけでは実力はつきません。知り、覚え、考えることが必要です。毎回、授業の初めに暗唱テスト（筆記式）を行います。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。特に聴解力と読解力を中心にした総合的な英語力の向上をはかる。	
テキスト 指定図書 参考書	中郷慶ほか『めざせ！600 名作映画でTOEIC「カサブランカ」』（英宝社）※AB共通	
成績評価	小テストと授業への参加 40％、単語テスト及び学期末試験 60％	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（工学④）	１単位　前期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となる。従って、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。また、単語テストも随時行う。 ※授業計画、成績評価方法、期末試験方法、教科書等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となるため、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	大賀リエ、William J. Benfield, Terry L. Browning他.『TOEIC Test: On Target』 南雲堂.	
成績評価	小テスト（50％）、期末試験（50％）で評価する。なお、5回以上欠席した場合、評価対象外とする。また、遅刻3回で1回欠席扱いとする。 ※成績評価方法、期末試験方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（工学④）	１単位　後期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となる。従って、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。また、単語テストも随時行う。 ※授業計画、成績評価方法、期末試験方法、教科書等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となるため、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	大賀リエ、William J. Benfield, Terry L. Browning他.『TOEIC Test: On Target』 南雲堂.	
成績評価	小テスト（35％）、TOEIC IP（30％）、期末試験（35％）で評価する。なお、5回以上欠席した場合、評価対象外とする。また、遅刻3回で1回欠席扱いとする。 ※成績評価方法、期末試験方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（工学⑤）	１単位　前期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講義は、英文ニュースやトレンド記事を理解し、その内容を文意にふさわしい読み方で再現するトレーニングを繰り返すことで、「伝わりやすい英語」とは何かを実践的に考察するものである。「シャドウイング(Shadowing)」と呼ばれる音読訓練を通じて、英語を正確に理解できるListening力と、伝わりやすいSpeaking力の両方を習得してもらいたい。 毎回の授業は、「語彙演習、シャドウイング訓練、ディスカッション、発展演習」によって構成される。 本講義の履修を通じて、英語のリズム、息つぎ、発音、強調表現など、これまでに習得した英語力をベースとして、さらに力強い「伝達力」を身につけるための訓練方法を、理論的かつ実践的に学んでもらいたい。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1) 基礎的なシャドウイング技術を習得し、実際に実演できる。 (2) 英語の強調表現の理論を理解し、概要を説明できる。 (3) ニュース記事について、自分の意見を英語で発表できる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名：Breaking News Listening 、著　者：Nobuhiro Kumai, Stephen Timson, Sean Banville 出版社：Macmillan Languagehouse、ISBN　：9784777363117 備　考：購入必須。（多くの書き込みや捺印をするので、必ず新しいものを購入すること。） 【参考書】書　名：Dictionary of Contemporary English（現代英英辞典 5訂版）、出版社：Longman 桐原書店 ISBN　：9784342100949、備　考：購入必須ではない。（授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。）	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60%（ペーパーテストと実技による評価） ・「準備課題」40%（自習準備の達成度による評価） ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（工学⑤）	１単位　後期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講義は、春学期の「英語ⅢA（清水利宏担当）」に引き続き、英文ニュースやトレンド記事を理解し、その内容を文意にふさわしい読み方で再現するトレーニングを繰り返すことで、「伝わりやすい英語」とは何かを実践的に考察するものである。「シャドウイング(Shadowing)」と呼ばれる音読訓練を通じて、英語を正確に理解できるListening力と、伝わりやすいSpeaking力の両方を習得してもらいたい。 毎回の授業は、「語彙演習、シャドウイング訓練、ディスカッション、発展演習」によって構成される。とりわけ、秋学期の「英語ⅢB」の発展演習ではプレゼンテーションに重点を置き、「理解」から「発信」への展開について議論していく。本講義の履修を通じて、英語のリズム、息つぎ、発音、強調表現などを、理論的かつ実践的に学んでもらいたい。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1) シャドウイング技術を応用し、多様な内容の英文を理解できる。 (2) 英語の強調表現の理論を理解し、自分の発表に活かすことができる。 (3) 時事的な話題に関する意見を、英語でプレゼンテーションすることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名：Breaking News Listening、著　者：Nobuhiro Kumai, Stephen Timson, Sean Banville 出版社：Macmillan Languagehouse、ISBN　：9784777363117 備　考：購入必須。（春学期の「英語ⅢA」で既に購入済みの者は、新たに購入する必要はない。） 【参考書】書　名：Dictionary of Contemporary English（現代英英辞典 5訂版） 出版社：Longman 桐原書店、ISBN　：9784342100949 備　考：購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60%（ペーパーテストと実技による評価） ・「準備課題」40%（自習準備の達成度による評価） ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（人文①）	１単位　前期
担当教員	真田　満※	
授業概要	現代社会の諸問題を論じたエッセイを読み、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深めながら、英語表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により英語のリズムに慣れ親しむ。	
到達目標	英語Ⅰと英語Ⅱで履修した知識の活性化と定着をはかり、いっそう高度なコミュニケーションの場で即座に使用できる英語の学力をつけることが目標である。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト　Reading Choice: Skills for Academic Success 著者　Miwako Yamashina他 出版社　CENGAGE Learning	
成績評価	毎回の課題：10%　プレゼンテーション：10%　小テスト：20%　定期試験：60% 注意点：総授業回数の3分の1以上欠席した学生は評価対象とならない。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（人文①）	１単位　後期
担当教員	真田　満※	
授業概要	現代社会の諸問題を論じたエッセイを読み、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深めながら、英語表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により英語のリズムに慣れ親しむ。	
到達目標	英語Ⅰと英語Ⅱで履修した知識の活性化と定着をはかり、いっそう高度なコミュニケーションの場で即座に使用できる英語の学力をつけることが目標である。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト　Reading Choice: Skills for Academic Success 著者　Miwako Yamashina他 出版社　CENGAGE Learning	
成績評価	毎回の課題：10%　プレゼンテーション：10%　小テスト：20%　定期試験：60% 注意点：総授業回数の3分の1以上欠席した学生は評価対象とならない。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（人文②）	１単位　前期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will further encourage and consolidate communicative English speaking and listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the identity-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvement in their overall English speaking and listening skills and gained the vocabulary and phrases necessary for talking about their identity and cultural topics.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Joseph Shaules, Hiroko Tsuijioka and Miyuki Iida　Identity Student Book (CD Included) (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（人文②）	１単位　後期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will further encourage and consolidate communicative English speaking and listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the identity-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made further significant improvement in their overall English speaking and listening skills and gained the vocabulary and phrases necessary for talking about their identity and cultural topics.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Joseph Shaules, Hiroko Tsuijioka and Miyuki Iida　Identity Student Book (CD Included) (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（人文③）	１単位　前期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それを踏まえた発信力の向上を目標とします。 語彙の確認、リスニングの演習、発信力の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。 また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、専門領域におけるコミュニケーションの場で役立つ学力として展開させることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	「ローマの休日で学ぶ英会話」(コスミック出版)と「京大学術語彙データーベース基本英単語1001」(研究社)	
成績評価	定期試験　50%　小テスト　20%　提出物　15%　授業態度　15%　　欠席、遅刻の多い者、予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。(定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない)	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（人文③）	１単位　後期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それを踏まえた発信力の向上を目標とします。 語彙の確認、リスニングの演習、発信力の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。 また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、専門領域におけるコミュニケーションの場で役立つ学力として展開させることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	「ローマの休日で学ぶ英会話」(コスミック出版)と「京大学術語彙データーベース基本英単語1001」(研究社)	
成績評価	定期試験　50%　小テスト　20%　提出物　15%　授業態度　15%　　欠席、遅刻の多い者、予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。(定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない)	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（人文④）	１単位　前期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講義は、英文ニュースやトレンド記事を理解し、その内容を文意にふさわしい読み方で再現するトレーニングを繰り返すことで、「伝わりやすい英語」とは何かを実践的に考察するものである。「シャドウイング(Shadowing)」と呼ばれる音読訓練を通じて、英語を正確に理解できるListening力と、伝わりやすいSpeaking力の両方を習得してもらいたい。 毎回の授業は、「語彙演習、シャドウイング訓練、ディスカッション、発展演習」によって構成される。 本講義の履修を通じて、英語のリズム、息つぎ、発音、強調表現など、これまでに習得した英語力をベースとして、さらに力強い「伝達力」を身につけるための訓練方法を、理論的かつ実践的に学んでもらいたい。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1)　基礎的なシャドウイング技術を習得し、実際に実演できる。 (2)　英語の強調表現の理論を理解し、概要を説明できる。 (3)　ニュース記事について、自分の意見を英語で発表できる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名: Breaking News Listening 、著　者: Nobuhiro Kumai, Stephen Timson, Sean Banville 出版社: Macmillan Languagehouse、ISBN　: 9784777363117 備　考: 購入必須。(多くの書き込みや捺印をするので、必ず新しいものを購入すること。) 【参考書】書　名: Dictionary of Contemporary English(現代英英辞典 5訂版) 出版社: Longman 桐原書店、ISBN　: 9784342100949 備　考: 購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% (ペーパーテストと実技による評価) ・「準備課題」40% (自習準備の達成度による評価) ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（人文④）	１単位　後期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講義は、春学期の「英語ⅢA(清水利宏担当)」に引き続き、英文ニュースやトレンド記事を理解し、その内容を文意にふさわしい読み方で再現するトレーニングを繰り返すことで、「伝わりやすい英語」とは何かを実践的に考察するものである。「シャドウイング(Shadowing)」と呼ばれる音読訓練を通じて、英語を正確に理解できるListening力と、伝わりやすいSpeaking力の両方を習得してもらいたい。 毎回の授業は、「語彙演習、シャドウイング訓練、ディスカッション、発展演習」によって構成される。とりわけ、秋学期の「英語ⅢB」の発展演習ではプレゼンテーションに重点を置き、「理解」から「発信」への展開について議論していく。本講義の履修を通じて、英語のリズム、息つぎ、発音、強調表現などを、理論的かつ実践的に学んでもらいたい。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1)　シャドウイング技術を応用し、多様な内容の英文を理解できる。 (2)　英語の強調表現の理論を理解し、自分の発表に活かすことができる。 (3)　時事的な話題に関する意見を、英語でプレゼンテーションすることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名: Breaking News Listening、著　者: Nobuhiro Kumai, Stephen Timson, Sean Banville 出版社: Macmillan Languagehouse、ISBN　: 9784777363117 備　考: 購入必須。(春学期の「英語ⅢA」で既に購入済みの者は、新たに購入する必要はない。) 【参考書】書　名: Dictionary of Contemporary English(現代英英辞典 5訂版) 出版社: Longman 桐原書店、ISBN　: 9784342100949 備　考: 購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% (ペーパーテストと実技による評価) ・「準備課題」40% (自習準備の達成度による評価) ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（人文⑤）	１単位　前期
担当教員	鈴木　里奈※	
授業概要	この授業では、時事、経済、文化、環境などの大きなテーマから日常的な話題に至る幅広いトピックに関する英文を扱います。内容理解のためのディスカッションやプレゼンテーション、リスニングのエクササイズを随時取り入れながら、読解力、語彙力及び発信力を含む総合的な英語運用能力を養うことを目標として授業を進めます。また、補助教材を使用し、TOEICスコア・アップ対策をリスニング・リーディング別にそれぞれ行う予定です。	
到達目標	・幅広い分野の英文に触れ、知識と上級レベルの語彙力を身につける。 ・ディスカッションやプレゼンテーションを通して、実践的な英語コミュニケーション能力を養う。 ・TOEIC演習を行い、確実なスコア・アップを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	＜テキスト＞ 書名: Everyday Sociology 著者: Jim Knudsen/福原 俊平 出版社: 南雲堂 ISBN: 9784523177197	
成績評価	定期試験50%　授業課題(プレゼンテーション/Review Test/提出課題など)50% 半期で4回以上欠席した者(遅刻3回で欠席1回とみなします)、学期末試験を受験しなかった者は評価の対象とならないので留意して下さい。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（人文⑤）	１単位　後期
担当教員	鈴木　里奈※	
授業概要	この授業では、時事、経済、文化、環境などの大きなテーマから日常的な話題に至る幅広いトピックに関する英文を扱います。内容理解のためのディスカッションやプレゼンテーション、リスニングのエクササイズを随時取り入れながら、読解力、語彙力及び発信力を含む総合的な英語運用能力を養うことを目標として授業を進めます。また、補助教材を使用し、TOEICスコア・アップ対策をリスニング・リーディング別にそれぞれ行う予定です。	
到達目標	・幅広い分野の英文に触れ、知識と上級レベルの語彙力を身につける。 ・ディスカッションやプレゼンテーションを通して、実践的な英語コミュニケーション能力を養う。 ・TOEIC演習を行い、確実なスコア・アップを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	＜テキスト＞ 書名: Everyday Sociology 著者: Jim Knudsen/福原 俊平 出版社: 南雲堂 ISBN: 9784523177197	
成績評価	定期試験50%　授業課題(プレゼンテーション/Review Test/提出課題など)50% 半期で4回以上欠席した者(遅刻3回で欠席1回とみなします)、学期末試験を受験しなかった者は評価の対象とならないので留意して下さい。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（看護①）	１単位　前期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、主に医療、看護について書かれた英文の読解力の向上を目標とします。 テキストの予習を指摘した部分の確認、さらにハンドアウトや投げ込み教材に対する受講者の発表とそれに対する指導者のコメント、訂正という形で進めていきます。 また、それと平行して英語で書かれた物語の読解も行う予定です。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、医療領域におけるコミュニケーションの場で役立つ学力として展開させることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:ハンドアウトとヒューロフティング 「ドリトル先生航海記」(講談社英語文庫)(ISBN: 978-4770025289)	
成績評価	定期試験　60%　小テスト　20%　提出物　20% 欠席(半期で4回以上は評価をしません)、 遅刻の多い者〈遅刻2回で欠席1回と考える場合があります)、 予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。 (定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない)	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（看護①）	１単位　後期
担当教員	西澤　裕一※	
授業概要	この授業では、主に医療、看護について書かれた英文の読解力の向上を目標とします。 テキストの予習を指摘した部分の確認、さらにハンドアウトや投げ込み教材に対する受講者の発表とそれに対する指導者のコメント、訂正という形で進めていきます。 また、それと平行して英語で書かれた物語の読解も行う予定です。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、医療領域におけるコミュニケーションの場で役立つ学力として展開させることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：ハンドアウトとヒューロフティング 「ドリトル先生航海記」（講談社英語文庫）(ISBN: 978-4770025289)	
成績評価	定期試験　60%　小テスト　20%　提出物　20%　欠席(半期で4回以上は評価をしません)、遅刻の多い者（遅刻2回で欠席1回と考える場合があります）、予習をしっかりしていない者、提出物を出さない者は評価の対象としない。（定期テストがあまりにも悪い場合も評価の対象としない）	
履修資格		

科目名	英語ⅢＡ（充実コース）（看護②）	１単位　前期
担当教員	出原　健一※	
授業概要	英文テクストをできる限り正確に読む訓練を行なう。知っている単語だけを追い、そこから全体の主旨を推測するという読み方は、時に大きな誤読を引き起こす。これは、コミュニケーションの場においても同様である。このクラスでは、正確な読みに大切な文法や、テクストレベルの英語のルールにも随時触れながら、英文テクストを輪読していく。	
到達目標	英文の文法構造を正しく捉え、かつテクストの流れや大意も理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	高橋優身等 編. English through the News Media 2013 Edition. 朝日出版社.	
成績評価	学期末試験が基準となるが、授業内で半期を通じて適切に発表（詳細は初回の授業で述べる）した場合、5点加点する。ただし、欠席4回目から、1回ごとに5点ずつ減点する。	
履修資格		

科目名	英語ⅢＢ（充実コース）（看護②）	１単位　後期
担当教員	出原　健一※	
授業概要	英文テクストをできる限り正確に読む訓練を行なう。知っている単語だけを追い、そこから全体の主旨を推測するという読み方は、時に大きな誤読を引き起こす。これは、コミュニケーションの場においても同様である。このクラスでは、正確な読みに大切な文法や、テクストレベルの英語のルールにも随時触れながら、英文テクストを輪読していく。	
到達目標	英文の文法構造を正しく捉え、かつテクストの流れや大意も理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	高橋優身等 編. English through the News Media 2013 Edition. 朝日出版社.	
成績評価	学期末試験が基準となるが、授業内で半期を通じて適切に発表（詳細は初回の授業で述べる）した場合、5点加点する。ただし、欠席4回目から、1回ごとに5点ずつ減点する。	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ａ （展開コース） （環境①）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	授業はTOEIC形式の演習が中心となります。最近のTOEICでは、ビジネスの要素を含んだ問題が多く出題されています。日常生活に使う英語だけではなく、ビジネスシーンに使う英語も学び、TOEICスコアアップを目指します。 授業では、テキストだけではなく、ハンドアウトもたくさん使います（特にリスニング問題）。 家庭学習（宿題）はテキストの一部分と、e-learning（TOEIC）です。コンピューターの使い方にも早く慣れるようにしましょう	
到達目標	・語彙力UP。 ・TOEICのスコアUP（もともとのスコアにもよりますが、大体80～100点UPを目指しましょう。） ・簡単なビジネスに必要な英語を学びましょう。	
テキスト 指定図書 参考書	ENJOY STUDYING THE TOEIC TEST WRITTEN BY TAKAYUKI ISHII, AKIRA NAKAGAWA, THOMAS KOCH SANSHUSHA プリント配布	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、課題（家庭学習＋提出物）40％、欠席（5回以上は評価の対象となりません）、遅刻の多い場合（遅刻2回で欠席1回とみなします）、中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。	
履修資格	特にありません。	

科目名	英語Ⅳ Ｂ （展開コース） （環境①）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	授業はTOEIC形式の演習が中心となります。最近のTOEICでは、ビジネスの要素を含んだ問題が多く出題されています。日常生活に使う英語だけではなく、ビジネスシーンに使う英語も学び、TOEICスコアアップを目指します。 授業では、テキストだけではなく、ハンドアウトもたくさん使います（特にリスニング問題）。 家庭学習（宿題）はテキストの一部分と、e-learning（TOEIC）です。	
到達目標	・語彙力UP。 ・TOEICのスコアUP（もともとのスコアにもよりますが、大体80～100点UPを目指しましょう。） ・簡単なビジネスに必要な英語を学びましょう。	
テキスト 指定図書 参考書	ENJOY STUDYING THE TOEIC TEST WRITTEN BY TAKAYUKI ISHII, AKIRA NAKAGAWA, THOMAS KOCH SANSHUSHA プリント配布	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、課題（家庭学習＋提出物）40％、欠席（5回以上は評価の対象となりません）、遅刻の多い場合（遅刻2回で欠席1回とみなします）、中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。	
履修資格	特にありません。	

科目名	英語Ⅳ Ａ （展開コース） （環境②）	１単位　前期
担当教員	松浦　勉※	
授業概要	現代世界が抱えている諸問題（人口、貧困、エネルギー等）を論じたエッセイを読むことにより、知的レベルの高いコミュニケーション運用に必要な知識を深めながら、各章で頻出する名詞化表現を活用した表現力向上を図る。また、毎回シャドーウイングによる音読を通し英語のリズム感と共にsight translation（発話順にチャンク単位で内容理解を図る）方法を修得しlistening, speaking 力を身につけることを目標とする	
到達目標	グローバルな諸問題について知的レベルの高いコミュニケーション運用に必要な知識を深めながら英語力を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	Peter Weld、『Issues of Our Age』（金星堂）	
成績評価	評価対象基準：1／3以上の欠席者は評価対象とならないので各自出席に留意のこと。 学期中に課す様々な課題ーレポート、小テスト、プレゼンテーション（60％）＋筆記試験（40％）	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ｂ（展開コース）（環境②）	１単位　後期
担当教員	松浦　勉※	
授業概要	現代世界が抱えている諸問題（人口、貧困、エネルギー等）を論じたエッセイを読むことにより、知的レベルの高いコミュニケーション運用に必要な知識を深めながら、各章で頻出する名詞化表現を活用した表現力向上を図る。また、毎回シャドーウイングによる音読を通し英語のリズム感と共にsight translation（発話順にチャンク単位で内容理解を図る）方法を修得しlistening, speaking 力を身につけることを目標とする。	
到達目標	グローバルな諸問題について知的レベルの高いコミュニケーション運用に必要な知識を深めながら英語力を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	Peter Weld、『Issues of Our Age』（金星堂）	
成績評価	評価対象基準：1／3以上の欠席者は評価対象とならないので各自出席に留意のこと。 学期中に課す様々な課題ーレポート、小テスト、プレゼンテーション（60％）＋筆記試験（40％）	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ａ（展開コース）（環境③）	１単位　前期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will further encourage and consolidate communicative English speaking and listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the identity-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvement in their overall English speaking and listening skills and gained the vocabulary and phrases necessary for talking about their identity and cultural topics.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：Joseph Shaules, Hiroko Tsuijioka and Miyuki Iida　Identity Student Book (CD Included) (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書：Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ｂ（展開コース）（環境③）	１単位　後期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will further encourage and consolidate communicative English speaking and listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the identity-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made further significant improvement in their overall English speaking and listening skills and gained the vocabulary and phrases necessary for talking about their identity and cultural topics.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：Joseph Shaules, Hiroko Tsuijioka and Miyuki Iida　Identity Student Book (CD Included) (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書：Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ａ（展開コース）（環境④）	１単位　前期
担当教員	市場　史哉※	
授業概要	アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングには発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するために必要な構文の知識も必要となる。これらの知識は、自分で英語を発信する時にも役に立つ。また、ニュースを通して、社会人として最低限必要な語彙力を身につける。	
到達目標	ニュースを理解するのに必要な語彙力、アナウンサーの英語を聞き取るリスニング能力を身につけることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	Nobuhiro Kumai, Stephen Timson CBS News Show 成美堂	
成績評価	小テスト40％ 期末試験60％ 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ｂ（展開コース）（環境④）	１単位　後期
担当教員	市場　史哉※	
授業概要	アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングには発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するために必要な構文の知識も必要となる。これらの知識は、自分で英語を発信する時にも役に立つ。また、ニュースを通して、社会人として最低限必要な語彙力を身につける。	
到達目標	ニュースを理解するのに必要な語彙力、アナウンサーの英語を聞き取るリスニング能力を身につけることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	Nobuhiko Kumai, Stephen Timson CBS News Break 成美堂	
成績評価	小テスト40％ 期末試験60％ 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ａ（展開コース）（環境⑤）	１単位　前期
担当教員	真田　満※	
授業概要	現代世界の諸問題を扱ったエッセイを読み、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深めながら、英語表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により英語のリズムに慣れ親しむ。	
到達目標	英語Ⅰおよび英語Ⅱで修得した知識の活性化と定着をはかり、専門領域におけるコミュニケーションの場で役立つ学力として展開させることが目標である。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：Active 2 Third Edition（教科書名）　Neil J. Anderson（著者名）　Cengagage（出版社名）	
成績評価	毎回の課題：10％　プレゼンテーション：10％　小テスト：20％　定期試験：60％ 注意点：総授業回数の3分の1以上欠席した学生は評価対象とならない。	
履修資格		

科目名	英語ⅣＢ（展開コース）（環境⑤）	１単位　後期
担当教員	真田　満※	
授業概要	現代世界の諸問題を扱ったエッセイを読み、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深めながら、英語表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により英語のリズムに慣れ親しむ。	
到達目標	英語Ⅰおよび英語Ⅱで修得した知識の活性化と定着をはかり、専門領域におけるコミュニケーションの場で役立つ学力として展開させることが目標である。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Active 2, Third Edition（教科書名） Neil J. Anderson（著者名） Cengage（出版社名）	
成績評価	毎回の課題:10%　プレゼンテーション:10%　小テスト:20%　定期試験:60% 注意点:総授業回数の3分の1以上欠席した学生は評価対象とならない。	
履修資格		

科目名	英語ⅣＡ（展開コース）（環境⑥）	１単位　前期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will further encourage and consolidate communicative English speaking and listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the identity-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvement in their overall English speaking and listening skills and gained the vocabulary and phrases necessary for talking about their identity and cultural topics.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Joseph Shaules, Hiroko Tsuijioka and Miyuki Iida　Identity Student Book (CD Included) (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語ⅣＢ（展開コース）（環境⑥）	１単位　後期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will further encourage and consolidate communicative English speaking and listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the identity-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made further significant improvement in their overall English speaking and listening skills and gained the vocabulary and phrases necessary for talking about their identity and cultural topics.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Joseph Shaules, Hiroko Tsuijioka and Miyuki Iida　Identity Student Book (CD Included) (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ａ （展開コース） （工学①）	１単位　前期
担当教員	森永　弘司※	
授業概要	文学教材は実用的ではないという理由で大学の教育現場で年々使用されることが少なくなってきているが、学生には人気のある教材の一つである。本書は中級レベルの文学作品を1. Sorrow「個人的な悲しみ」、2. Memories「幼い頃の思い出」、3. Ties 「さまざまな関係」、4. Visions「将来の展望」の4つのunitに分類して構成され、また基本的なリーディング・スキルの習得を図るための様々な演習問題が用意されている。近年主流になりつつあるreading for informationのための講読ではなくreading for pleasureの講読を実施したい。初回の授業で授業方針、授業の進め方、成績評価等に関して説明するので、必ず出席されたい。出席を重視する。さらに、補助プリントで、TOEIC対策も付け加えていく予定である。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、さらなる英語力の向上を目指す。初回と最後の授業時に3種類の英語力測定テストを実施するので、初回のテスト得点より最後のテスト得点が伸びていることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：John Dennis/Suzanne Griffin編、Reflections Second Edition　（松柏社）	
成績評価	出席　20％（1回の欠席で―3点、遅刻は3回で1回の欠席に換算する） 発表　20％（指定した箇所をクラスで発表していただく） レポート 20％（テーマ及び執筆要項は授業時に説明する） プレゼンテーション　20％　（受講者10点、担当者10点で評価する） 定期テスト　20％	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ｂ （展開コース） （工学①）	１単位　後期
担当教員	森永　弘司※	
授業概要	When Harry Met Sally . . . は1989年にロードショー公開になったロマンティク・コメディである。「男と女は本当の友達になれない」というHarryと「女と男はセックス抜きの友達でいられる」というSallyは、やがて友達となり、惹かれあって恋人となっていく。「友達」、「恋人」、「愛」、「セックス」といった問題は、学生諸君にとって切実なテーマであるので、興味を持ってスクリプトを読むことができるであろう。様々な練習問題をこなしながら、行間を読み取る精読力の涵養を目指す。初回の授業で授業方針、授業の進め方、成績評価等に関して説明するので、必ず出席されたい。出席を重視する。さらに、補助プリントで、TOEIC対策も付け加えていく予定である。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、いっそう高度な英語力を身に付けることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：When Harry Met Sally, author Nora Ephron, edited with with notes and exercises（松柏社）	
成績評価	出席　20％（1回の欠席で―3点、遅刻は3回で1回の欠席に換算する） 発表　20％（指定した箇所をクラスで発表していただく） レポート 20％（テーマ及び執筆要項は授業時に説明する） プレゼンテーション　20％　（受講者10点、担当者10点で評価する） 定期テスト　20％	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ａ （展開コース） （工学②）	１単位　前期
担当教員	真田　満※	
授業概要	グローバル社会で一般的な事例を基に構成されたテキストを用い、英語運用能力の更なる向上を目指す。	
到達目標	英語Ⅰおよび英語Ⅱで修得した知識の活性化と定着をはかり、専門領域におけるコミュニケーションの場で役立つ学力として展開させることが目標である。	
テキスト 指定図書 参考書	A Gate to Intercultural Communication（教科書名）　佐藤臨太郎（著者名）　松柏社（出版社名）	
成績評価	毎回の課題：10％　プレゼンテーション：10％　小テスト：20％　定期試験：60％ 総授業回数の3分の1を超えて欠席した場合は、単位認定が不可となる。	
履修資格		

科目名	英語ⅣＢ（展開コース）（工学②）	１単位　後期
担当教員	真田　満※	
授業概要	グローバル社会で一般的な事例を基に構成されたテキストを用い、英語運用能力の更なる向上を目指す。	
到達目標	英語Ⅰおよび英語Ⅱで修得した知識の活性化と定着をはかり、専門領域におけるコミュニケーションの場で役立つ学力として展開させることが目標である。	
テキスト 指定図書 参考書	A Gate to Intercultural Communication（教科書）　佐藤臨太郎（著者）　松柏社（出版社）	
成績評価	毎回の課題:10%　プレゼンテーション:10%　小テスト:20%　定期試験:60% 総授業回数の3分の1を超えて欠席した場合は、単位は不可となる。	
履修資格		

科目名	英語ⅣＡ（展開コース）（工学③）	１単位　前期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講座は、日本人と西洋人のコミュニケーションスタイルを主題とする文献を用いて、異文化間コミュニケーションの留意点を読み解き、優れたコミュニケーションを実現する方法を考察するものである。単なる文献の読解にとどまらず、テキストで学んだコミュニケーション学の理論を実際に「演習」することで、理論と実践の両面からコミュニケーション技術の体得を目指したい。 講義では、主に英語コミュニケーションの概論とその演習に取り組む。読解では、速読＆精読、翻訳＆意訳等の技術を実践的に学び、コミュニケーション演習では、タイムリーな話題について各自が英語で意見を発表する。授業は基本的にペアワーク(またはグループワーク)によって実施され、毎回、異なる座席(パートナー)が指定される。いわゆる「受け身」的な授業ではないので、受講生には積極的な授業参加が求められる。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1)　文化によって異なるコミュニケーション様式と留意点を理解できる。 (2)　Social, Small Group, Competitive, Publicの各コミュニケーションの概論を理解し、実際の運用に活かすことができる。(3)　ディスカッションやディベートの議論を主導的に進めることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名: Communicating with the West 、著　者: Ronald D. Gordon, Satoshi Ishii、出版社: Nan'un-do (南雲堂)、 備　考: 購入必須。(多くの書き込みや捺印をするので、必ず新しいものを購入すること。) 【参考書】書　名: Dictionary of Contemporary English（現代英英辞典 5訂版）、出版社: Longman 桐原書店 ISBN　: 9784342100949 備　考: 購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% (ペーパーテストと実技による評価) ・「準備課題」40% (自習準備の達成度による評価) ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	

科目名	英語ⅣＢ（展開コース）（工学③）	１単位　後期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講座は、春学期の「英語ⅣA(清水利宏担当)」と同様に、日本人と西洋人のコミュニケーションスタイルを主題とする文献を用いて、異文化間コミュニケーションの留意点を読み解き、優れたコミュニケーションを実現する方法を考察するものである。とりわけ、「英語ⅣB」でとりあげるのは、主に「Public Speaking」(英語スピーチ)である。受講生は、興味のあるテーマに関する「3分間のPersuasive Speech (説得型スピーチ)」を作成し、年度末にコンテスト形式で発表をする。そのために、論旨の組み立てから発表技法に至るまで、様々な事例研究をもとに考察を重ねていく。 授業は基本的にペアワーク(またはグループワーク)によって実施され、毎回、異なる座席(パートナー)が指定される。いわゆる「受け身」的な授業ではないので、受講生には積極的な授業参加が求められる。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1)　異文化間コミュニケーションにおける留意点を英語で説明できる。 (2)　社会の出来事をCriticalに考察し、英語で議論できる。 (3)　興味のある題材について、聴衆説得型のスピーチを企画・構成・発表することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名: Communicating with the West 著　者: Ronald D. Gordon, Satoshi Ishii、出版社: Nan'un-do (南雲堂) 備　考: 購入必須。(春学期の「英語ⅣA」で既に購入済みの者は、新たに購入する必要はない。) 【参考書】書　名: Dictionary of Contemporary English（現代英英辞典 5訂版）、出版社: Longman 桐原書店 ISBN　: 9784342100949 、備　考: 購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% (ペーパーテストと実技による評価) ・「準備課題」40% (自習準備の達成度による評価) ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	

科目名	英語ⅣＡ（展開コース）（工学④）	１単位　前期
担当教員	出原　健一※	
授業概要	英文テクストをできる限り正確に読む訓練を行なう。知っている単語だけを追い、そこから全体の主旨を推測するという読み方は、時に大きな誤読を引き起こす。これは、コミュニケーションの場においても同様である。このクラスでは、正確な読みに大切な文法や、テクストレベルの英語のルールにも随時触れながら、英文テクストを輪読していく。	
到達目標	英文の文法構造を正しく捉え、かつテクストの流れや大意も理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	高橋優身等 編. English through the News Media 2013 Edition. 朝日出版社.	
成績評価	学期末試験が基準となるが、授業内で半期を通じて適切に発表（詳細は初回の授業で述べる）した場合、5点加点する。ただし、欠席4回目から、1回ごとに5点ずつ減点する。	
履修資格		

科目名	英語ⅣB（展開コース）（工学④）	１単位　後期
担当教員	出原　健一※	
授業概要	英文テクストをできる限り正確に読む訓練を行なう。知っている単語だけを追い、そこから全体の主旨を推測するという読み方は、時に大きな誤読を引き起こす。これは、コミュニケーションの場においても同様である。このクラスでは、正確な読みに大切な文法や、テクストレベルの英語のルールにも随時触れながら、英文テクストを輪読していく。	
到達目標	英文の文法構造を正しく捉え、かつテクストの流れや大意も理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	高橋優身等 編. English through the News Media 2013 Edition. 朝日出版社.	
成績評価	学期末試験が基準となるが、授業内で半期を通じて適切に発表（詳細は初回の授業で述べる）した場合、5点加点する。ただし、欠席4回目から、1回ごとに5点ずつ減点する。	
履修資格		

科目名	英語ⅣＡ（展開コース）（工学⑤）	１単位　前期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となる。従って、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。また、単語テストも随時行う。 ※授業計画、成績評価方法、期末試験方法、教科書等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となるため、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	大賀リエ、William J. Benfield, Terry L. Browning他. 『TOEIC Test: On Target』 南雲堂.	
成績評価	小テスト（50％）、期末試験（50％）で評価する。なお、5回以上欠席した場合、評価対象外とする。また、遅刻3回で1回欠席扱いとする。 ※成績評価方法、期末試験方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ｂ（展開コース）（工学⑤）	１単位　後期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となる。従って、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。また、単語テストも随時行う。 ※授業計画、成績評価方法、期末試験方法、教科書等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	TOEICの高スコアは、就職活動で大変有利な条件となるため、この授業では、新TOEIC600～800点が取得可能な英語力を育成する。リスニングやシャドーウィング、リーディングなど満遍なく取り入れ、バランスの良い実践的な英語力を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	大賀リエ、William J. Benfield, Terry L. Browning他.『TOEIC Test: On Target』 南雲堂.	
成績評価	小テスト（35％）、TOEIC IP（30％）、期末試験（35％）で評価する。 なお、5回以上欠席した場合、評価対象外とする。また、遅刻3回で1回欠席扱いとする。 ※成績評価方法、期末試験方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ａ（展開コース）（人文①）	１単位　前期
担当教員	森永　弘司※	
授業概要	文学教材は実用的ではないという理由で大学の教育現場で年々使用されることが少なくなってきているが、学生には人気のある教材の一つである。本書は中級レベルの文学作品を1. Sorrow「個人的な悲しみ」、2. Memories「幼い頃の思い出」、3. Ties 「さまざまな関係」、4. Visions「将来の展望」の4つのunitに分類して構成され、また基本的なリーディング・スキルの習得を図るための様々な演習問題が用意されている。近年主流になりつつあるreading for informationのための講読ではなくreading for pleasureの講読を実施したい。初回の授業で授業方針、授業の進め方、成績評価等に関して説明するので、必ず出席されたい。出席を重視する。さらに、補助プリントで、TOEIC対策も付け加えていく予定である。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、さらなる英語力の向上を目指す。初回と最後の授業時に3種類の英語力測定テストを実施するので、初回のテスト得点より最後のテスト得点が伸びていることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：John Dennis/Suzanne Griffin編、Reflections Second Edition　（松柏社）	
成績評価	出席　20％（1回の欠席で―3点、遅刻は3回で1回の欠席に換算する） 発表　20％（指定した箇所をクラスで発表していただく） レポート 20％（テーマ及び執筆要項は授業時に説明する） プレゼンテーション　20％　（受講者10点、担当者10点で評価する） 定期テスト　20％	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ｂ（展開コース）（人文①）	１単位　後期
担当教員	森永　弘司※	
授業概要	When Harry Met Sally . . . は1989年にロードショー公開になったロマンティク・コメディである。「男と女は本当の友達になれない」というHarryと「女と男はセックス抜きの友達でいられる」というSallyは、やがて友達となり、惹かれあって恋人となっていく。「友達」、「恋人」、「愛」、「セックス」といった問題は、学生諸君にとって切実なテーマであるので、興味を持ってスクリプトを読むことができるであろう。様々な練習問題をこなしながら、行間を読み取る精読力の涵養を目指す。初回の授業で授業方針、授業の進め方、成績評価等に関して説明するので、必ず出席されたい。出席を重視する。さらに、補助プリントで、TOEIC対策も付け加えていく予定である。	
到達目標	英語Iと英語IIで修得した知識の活性化と定着をはかり、いっそう高度な英語力を身に付けることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：When Harry Met Sally, author Nora Ephron, edited with with notes and exercises（松柏社）	
成績評価	出席　20％（1回の欠席で―3点、遅刻は3回で1回の欠席に換算する） 発表　20％（指定した箇所をクラスで発表していただく） レポート 20％（テーマ及び執筆要項は授業時に説明する） プレゼンテーション　20％　（受講者10点、担当者10点で評価する） 定期テスト　20％	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ａ （展開コース） （人文②）	１単位　前期
担当教員	佐久間　思帆※	
授業概要	これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。映画を楽しみながらTOEICのスコアを上げることも狙っています。英語は読み・聞き捨てるだけでは実力はつきません。知り、覚え、考えることが必要です。毎回、授業の初めに暗唱テスト（筆記式）を行います。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。特に聴解力と読解力を中心にした総合的な英語力の向上をはかる。	
テキスト 指定図書 参考書	中郷慶ほか『めざせ！600 名作映画でTOEIC「カサブランカ」』（英宝社）※AB共通	
成績評価	小テストと授業への参加 40%、単語テスト及び学期末試験 60%	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ｂ （展開コース） （人文②）	１単位　後期
担当教員	佐久間　思帆※	
授業概要	Aに引き続き、これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。映画を楽しみながらTOEICのスコアを上げることも狙っています。英語は読み・聞き捨てるだけでは実力はつきません。知り、覚え、考えることが必要です。毎回、授業の初めに暗唱テスト（筆記式）を行います。	
到達目標	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。特に聴解力と読解力を中心にした総合的な英語力の向上をはかる。	
テキスト 指定図書 参考書	中郷慶ほか『めざせ！600 名作映画でTOEIC「カサブランカ」』（英宝社）※AB共通	
成績評価	小テストと授業への参加 40%、単語テスト及び学期末試験 60%	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ａ （展開コース） （人文③）	１単位　前期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講座は、日本人と西洋人のコミュニケーションスタイルを主題とする文献を用いて、異文化間コミュニケーションの留意点を読み解き、優れたコミュニケーションを実現する方法を考察するものである。単なる文献の読解にとどまらず、テキストで学んだコミュニケーション学の理論を実際に「演習」することで、理論と実践の両面からコミュニケーション技術の体得を目指したい。 講義では、主に英語コミュニケーションの概論とその演習に取り組む。読解では、速読＆精読、翻訳＆意訳等の技術を実践的に学び、コミュニケーション演習では、タイムリーな話題について各自が英語で意見を発表する。授業は基本的にペアワーク(またはグループワーク)によって実施され、毎回、異なる座席(パートナー)が指定される。いわゆる「受け身」的な授業ではないので、受講生には積極的な授業参加が求められる。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1) 文化によって異なるコミュニケーション様式と留意点を理解できる。 (2) Social, Small Group, Competitive, Publicの各コミュニケーションの概論を理解し、実際の運用に活かすことができる。 (3) ディスカッションやディベートの議論を主導的に進めることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名：Communicating with the West、著　者：Ronald D. Gordon, Satoshi Ishii 出版社：Nan'un-do（南雲堂）、備　考：購入必須。（多くの書き込みや捺印をするので、必ず新しいものを購入すること。） 【参考書】書　名：Dictionary of Contemporary English（現代英英辞典 5訂版）、出版社：Longman 桐原書店 ISBN　：9784342100949 備　考：購入必須ではない。（授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。）	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60%（ペーパーテストと実技による評価） ・「準備課題」40%（自習準備の達成度による評価） ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	
履修資格		

科目名	英語ⅣＢ（展開コース）（人文③）	１単位　後期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講座は、春学期の「英語ⅣA(清水利宏担当)」と同様に、日本人と西洋人のコミュニケーションスタイルを主題とする文献を用いて、異文化間コミュニケーションの留意点を読み解き、優れたコミュニケーションを実現する方法を考察するものである。とりわけ、「英語ⅣB」でとりあげるのは、主に「Public Speaking」(英語スピーチ)である。受講生は、興味のあるテーマに関する「3分間のPersuasive Speech (説得型スピーチ)」を作成し、年度末にコンテスト形式で発表をする。そのために、論旨の組み立てから発表技法に至るまで、様々な事例研究をもとに考察を重ねていく。 授業は基本的にペアワーク(またはグループワーク)によって実施され、毎回、異なる座席(パートナー)が指定される。いわゆる「受け身」的な授業ではないので、受講生には積極的な授業参加が求められる。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1) 異文化間コミュニケーションにおける留意点を英語で説明できる。 (2) 社会の出来事をCriticalに考察し、英語で議論できる。 (3) 興味のある題材について、聴衆説得型のスピーチを企画・構成・発表することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名：Communicating with the West、著　者：Ronald D. Gordon, Satoshi Ishii 出版社：Nan'un-do (南雲堂)、備　考：購入必須。(春学期の「英語ⅣA」で既に購入済みの者は、新たに購入する必要はない。) 【参考書】書　名：Dictionary of Contemporary English(現代英英辞典 5訂版)、出版社：Longman 桐原書店 ISBN　：9784342100949、備　考：購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% (ペーパーテストと実技による評価) ・「準備課題」40% (自習準備の達成度による評価) ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	
履修資格		

科目名	英語ⅣＡ（展開コース）（人文④）	１単位　前期
担当教員	松浦　勉※	
授業概要	Voice of America(VOA)から健康と環境に関するトピックの聞き取りと読解を行う。Pre-listening, While-listening, Post-listening の各段階で、語彙、大意把握、内容把握、イディオム確認、英語表現等のタスクを通しコミュニケーションに必要な教養を深めながら、英語表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、また、毎回シャドーウイングによる音読を通し英語のリズム感と共にsight translation（発話順にチャンク単位で内容理解を図る）方法に慣れ親しながらlistening, speaking 力を育成する。	
到達目標	健康と環境に関する英語表現力を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	安浪誠祐、Richard S. Lavin、『To the Future： Topics in Health & Environment from VOA』(松柏社)	
成績評価	評価対象基準：1／3以上の欠席者は評価対象とならないので各自出席に留意のこと。 学期中に課す様々な課題ーレポート、小テスト、プレゼンテーション（60％）＋筆記試験（40％）	
履修資格		

科目名	英語ⅣＢ（展開コース）（人文④）	１単位　後期
担当教員	松浦　勉※	
授業概要	Voice of America(VOA)から健康と環境に関するトピックの聞き取りと読解を行う。Pre-listening, While-listening, Post-listening の各段階で、語彙、大意把握、内容把握、イディオム確認、英語表現等のタスクを通しコミュニケーションに必要な教養を深めながら、英語表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、また、毎回シャドーウイングによる音読を通し英語のリズム感と共にsight translation（発話順にチャンク単位で内容理解を図る）方法に慣れ親しながらlistening, speaking 力を育成する。	
到達目標	健康と環境に関する英語表現力を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	安浪誠祐、Richard S. Lavin、『To the Future： Topics in Health & Environment from VOA』(松柏社)	
成績評価	評価対象基準：1／3以上の欠席者は評価対象とならないので各自出席に留意のこと。 学期中に課す様々な課題ーレポート、小テスト、プレゼンテーション（60％）＋筆記試験（40％）	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ａ（展開コース）（人文⑤）	１単位　前期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will further encourage and consolidate communicative English speaking and listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the identity-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvement in their overall English speaking and listening skills and gained the vocabulary and phrases necessary for talking about their identity and cultural topics.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Joseph Shaules, Hiroko Tsuijioka and Miyuki Iida　Identity Student Book (CD Included) (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ｂ（展開コース）（人文⑤）	１単位　後期
担当教員	三﨑　リン	
授業概要	Outline: This course will further encourage and consolidate communicative English speaking and listening skills through activities such as everyday conversation, dialogues, individual, pair and group discussion and oral presentations based on the identity-related topics introduced in the texts.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made further significant improvement in their overall English speaking and listening skills and gained the vocabulary and phrases necessary for talking about their identity and cultural topics.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Joseph Shaules, Hiroko Tsuijioka and Miyuki Iida　Identity Student Book (CD Included) (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:Students must bring a dictionary to each class	
成績評価	Tests 40%. Presentation 60%.	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ Ａ（展開コース）（看護①）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English I by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 50%, Tests 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅣＢ（展開コース）（看護①）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English II by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 25%, Tests 25%, and Interviews 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅣＡ（展開コース）（看護②）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English I by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 50%, Tests 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅣＢ（展開コース）（看護②）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English II by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 25%, Tests 25%, and Interviews 50%	
履修資格		

科目名	初習英語ＩＡ	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に使用できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。この授業では、音声教材（MD / CD等）に従って（文字を見ないで）、英語会話の基礎となる基本文型の変形がスラスラロから出てくるよう訓練します。授業では（必要なら基本文型の解説をします）、基本文型の変形トレーニングをします。進み具合は人によって異なりますので、マイペースでトレーニングをし、チェックを受けてください。	
到達目標	この授業では、音声教材（MD / CD等）に従って（文字を見ないで）、英語会話の基礎となる基本文型の変形がスラスラロから出てくるようにします。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：安田一郎『英語の文型と文法』, 日本放送出版協会, 1970.	
成績評価	各基本文型が、MD / CDのスピードに従って（文字教材を見ないで）変形できると「進度表」に合格の印Aをつけます。半期の成績はこのAの数に応じて決まります。レッスン1から始めて、Aが14個（～L14）以下の場合は単位を出しません（＝58点以下）。Aが15～19個（L15～L19）の場合は60～68点、20～24個（L20～L24）の場合は70～78点、25個（L25～）以上は80点以上、とします。	
履修資格		

科目名	初習英語ＩＢ	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	既習の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に使用できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。この授業では、音声教材（MD / CD等）に従って（文字を見ないで）、英語会話の基礎となる基本文型の変形がスラスラロから出てくるよう訓練します。授業では（必要なら基本文型の解説をします）、基本文型の変形トレーニングをします。進み具合は人によって異なりますので、マイペースでトレーニングをし、チェックを受けてください。	
到達目標	この授業では、音声教材（MD / CD等）に従って（文字を見ないで）、英語会話の基礎となる基本文型の変形がスラスラロから出てくるようにします。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：安田一郎『英語の文型と文法』, 日本放送出版協会, 1970.	
成績評価	各基本文型が、MD / CDのスピードに従って（文字教材を見ないで）変形できると「進度表」に合格の印Aをつけます。半期の成績はこのAの数に応じて決まります。レッスン29から始めて、Aが14個（～L42）以下の場合は単位を出しません（＝58点以下）。Aが15～19個（L43～L47）の場合は60～68点、20～24個（L48～L52）の場合は70～78点、25個以上（L53～）は80点以上、とします。	
履修資格		

科目名	初習英語ⅡＡ	１単位　前期
担当教員	ウォルター・クリンガー	
授業概要	この授業においては、まず、英語長文を読みながら基礎英文法の総点検をゆっくり丁寧に行いなう。次に、理解と知識を定着させるために、読む、書く、聞く、話すという4つのスキルをバランスよく訓練する。	
到達目標	初習英語Ｉを習得した留学生が、習得した英語を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に使用できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは、授業中に指示する。	
成績評価	毎回の授業での小テスト（10％）と課題（30％）、宿題（10％）、前・後期試験（50％）を総合的に評価する。4回以上欠席したものは評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	初習英語ⅡＢ	１単位　後期
担当教員	ウォルター・クリンガー	
授業概要	この授業においては、まず、英語長文を読みながら基礎英文法の総点検をゆっくり丁寧に行いなう。次に、理解と知識を定着させるために、読む、書く、聞く、話すという4つのスキルをバランスよく訓練する。	
到達目標	初習英語Ｉを習得した留学生が、習得した英語を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に使用できる知識として定着させ、また高めることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは、授業中に指示する。	
成績評価	毎回の授業での小テスト（10％）と課題（30％）、宿題（10％）、前・後期試験（50％）を総合的に評価する。4回以上欠席したものは評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	英語Ｉ（国際a）	２単位　前期
担当教員	石田　法雄　・　小栗　裕子	
授業概要	（石田担当）授業の始めにポップソングを聴き、ブランクがもうけられているミュージックシートに単語を書き込み、その確認作業を英語で行う。次に毎回宿題として課したパッセージの読解とリスニングを行う。Movie Telecoを用いパッセージのブランクへの書き込みと、内容理解確認のための小テストを最後に行う。他には、予習中にパッセージの一部を一度に10回書き写す作業がある。授業は回を重ねるにつれてルーティン化されていき、ドリルを解くスピードがあがり、入念な予習とコンスタントな学習生活が求められる。 （小栗担当） コミュニケーションを成功させるためには、まず相手の言っていることを理解しなければならない。そのために毎回自然な速度の多様な英語を聞き、聴解力の向上を目指す。またリスニング力上達のための方略についても考えていきたい。	
到達目標	日常的な話題の発話を理解する能力と、身辺的なことを超えた話題においてもある程度理解できるリスニング能力を身につけることを目標とする。さらに、コンテンツの理解を高めることにより、話題の内容理解と把握の楽しさを促進させることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	（石田担当）プリント配付 （小栗担当）Dale Fuller & Clyde W. Grimm: New Airwaves 2nd Edition（MACMILLAN LANGUAGEHOUSE）	
成績評価	（石田担当） ポップソングリスニング（10％）、宿題提出（10％）、パッセージリスニング（40％）、小テスト（40％） （小栗担当） 授業への参加 20％、毎回のリスニング点 10％、 単語およびreviewテスト 40％ 期末試験 30％	
履修資格		

科目名	英語Ｉ（国際b）	２単位　前期
担当教員	石田　法雄　・　小栗　裕子	
授業概要	（石田担当）授業の始めにポップソングを聴き、ブランクがもうけられているミュージックシートに単語を書き込み、その確認作業を英語で行う。次に毎回宿題として課したパッセージの読解とリスニングを行う。Movie Telecoを用いパッセージのブランクへの書き込みと、内容理解確認のための小テストを最後に行う。他には、予習中にパッセージの一部を一度に10回書き写す作業がある。授業は回を重ねるにつれてルーティン化されていき、ドリルを解くスピードがあがり、入念な予習とコンスタントな学習生活が求められる。 （小栗担当） コミュニケーションを成功させるためには、まず相手の言っていることを理解しなければならない。そのために毎回自然な速度の多様な英語を聞き、聴解力の向上を目指す。またリスニング力上達のための方略についても考えていきたい。	
到達目標	日常的な話題の発話を理解する能力と、身辺的なことを超えた話題においてもある程度理解できるリスニング能力を身につけることを目標とする。さらに、コンテンツの理解を高めることにより、話題の内容理解と把握の楽しさを促進させることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	（石田担当）プリント配付 （小栗担当）Dale Fuller & Clyde W. Grimm: New Airwaves 2nd Edition（MACMILLAN LANGUAGEHOUSE）	
成績評価	（石田担当） ポップソングリスニング（10％）、宿題提出（10％）、パッセージリスニング（40％）、小テスト（40％） （小栗担当） 授業への参加 20％、毎回のリスニング点 10％、 単語およびreviewテスト 40％ 期末試験 30％	
履修資格		

科目名	英語Ⅱ（国際a）	２単位　前期
担当教員	ジョン・リピー　・　ウォルター・クリンガー	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations. Speaking and listening practice may be supplmented by reading assignments and communicative writing tasks.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: Klinger: 映画の台本は図書館から借 りることができる。歌詞等はHP http://www.office.usp.ac.jp/~klinger.w/ からダウンロードできる Rippey: Impact Issues 2 (with Self-Study CD), by Richard R. Day et al., Pearson Longman, ISBN 978-962-01-9931-8.	
成績評価	Klinger: Picture Test 4x25% Students meet with the teacher one-by-one and describe what is happening in 4 Action English pictures that we studied in the class. Rippey: Grades for this course are based on attendance and class participation (25%), weekly coursework, quizzes, and learning tasks (25%), a midterm examination (25%), and a final examination (25%).	
履修資格		

科目名	英語Ⅱ（国際b）	２単位　前期
担当教員	ジョン・リピー　・　ウォルター・クリンガー	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations. Speaking and listening practice may be supplemented by reading assignments and communicative writing tasks.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: Klinger: 映画の台本は図書館から借りることができる。歌詞等はHP http://www.office.usp.ac.jp/~klinger.w/ からダウンロードできる。 Rippey: Impact Issues 2 (with Self-Study CD), by Richard R. Day et al., Pearson Longman, ISBN 978-962-01-9931-8.	
成績評価	Klinger: Picture Test 4x25%: Students meet with the teacher one-by-one and describe what is happening in 4 Action English pictures that we studied in the class. Rippey: Grades for this course are based on attendance and class participation (25%), weekly coursework, quizzes, and learning tasks (25%), a midterm examination (25%), and a final examination (25%).	
履修資格		

科目名	英語Ⅲ（国際a）	２単位　前期
担当教員	外狩　章夫　・　山本　薫	
授業概要	この授業では、ジャンルの異なる英文を読むトレーニングを積むことで、多様な英文に対応できる力を養います。読むジャンルが異なると、それに応じた読み方の戦略や技術が必要になるだけでなく、内容的にも語彙的にもその領域に通じることが求められます。授業で扱う材料・ジャンルは、論説記事、映画批評、手紙、脚本、詩、演説それに物語などです。練習問題もブランクを埋めるものから、記号選択、短答、クロスワードパズルと様々です。音読を含めたリーディングを通して、さまざまなジャンルの英文をより深く理解できる柔軟性を培うことが狙いです。(外狩) この授業では、毎回イギリスの社会生活・文化・歴史についての短いニュース記事を聞いて内容を限られた時間内で的確に把握する訓練を行い、英文を聞くあるいは読む際の思考力を鍛えることを目指す。(山本)	
到達目標	授業で扱う材料・ジャンルは、論説記事、映画批評、手紙、脚本、詩、演説それに物語などです。そういったジャンルの異なる英文に対応できる力を養うことができます。(外狩) この授業では、毎回イギリスの社会生活・文化・歴史についての短いニュース記事を聞いて内容を限られた時間内で的確に把握する訓練を行い、英文を聞くあるいは読む際の思考力を鍛えることを目指す(山本)。	
テキスト 指定図書 参考書	(テキスト)Ken Beatty, Read and Think!: A Reading Strategies Course (Book 3), Pearson Education Asia Limited, 2004. (参考書)Liz Driscoll, Real Reading 3 (Cambridge English Skills). Cambridge U. P., 2008.(外狩) 小野田 榮／Lucy Cooker 編著 編著、BBC Understanding the News in English 10 (DVDでBBCニュースを見て、聞いて、考える 10)金星堂(2013) (山本)	
成績評価	ディクテーション等のテスト(10回)＝100％　ただし、全授業回数の2/3以上の出席がない場合は評価の対象としない。(外狩) 毎回の授業でのリスニングテスト形式(各ユニットの予習を反映させたもの)(45％)と課題(5％)・前期試験(50％)を総合	
履修資格		

科目名	英語Ⅲ（国際b）	２単位　前期
担当教員	外狩　章夫　・　山本　薫	
授業概要	この授業では、毎回イギリスの社会生活・文化・歴史についての短いニュース記事を聞いて内容を限られた時間内で的確に把握する訓練を行い、英文を聞くあるいは読む際の思考力を鍛えることを目指す。(山本) この授業では、ジャンルの異なる英文を読むトレーニングを積むことで、多様な英文に対応できる力を養います。読むジャンルが異なると、それに応じた読み方の戦略や技術が必要になるだけでなく、内容的にも語彙的にもその領域に通じることが求められます。授業で扱う材料・ジャンルは、論説記事、映画批評、手紙、脚本、詩、演説それに物語などです。練習問題もブランクを埋めるものから、記号選択、短答、クロスワードパズルと様々です。CDなどの音声教材も活用しての音読を含めたリーディングを通して、さまざまなジャンルの英文をより深く理解できる柔軟性を培うことが狙いです。	
到達目標	この授業では、毎回イギリスの社会生活・文化・歴史についての短いニュース記事を聞いて内容を限られた時間内で的確に把握する訓練を行い、英文を聞くあるいは読む際の思考力を鍛えることを目指す(山本)。 授業で扱う材料・ジャンルは、論説記事、映画批評、手紙、脚本、詩、演説それに物語などです。そういったジャンルの異なる英文に対応できる力を養うことが狙いです。(外狩)	
テキスト 指定図書 参考書	小野田 榮／Lucy Cooker 編著 編著、BBC Understanding the News in English 10 (DVDでBBCニュースを見て、聞いて、考える 10)金星堂(2013) (山本) Ken Beatty, Read and Think!: A Reading Strategies Course (Book 3), Pearson Education Asia Limited, 2004.(外狩)	
成績評価	毎回の授業でのリスニングテスト形式(各ユニットの予習を反映させたもの)(45%)と課題(5%)・前期試験(50%)を総合的に評価する。4回以上欠席したものは評価の対象としない。(山本) ディクテーション等のテスト(10回)＝100%　ただし、全授業回数の2/3以上の出席がない場合は評価の対象としない。(外狩)	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ（国際a）	２単位　前期
担当教員	ウォルター・クリンガー　・　三﨑　リン	
授業概要	Klinger: We read aloud the scenario dialogue of the movie The Wizard of Oz オズの魔法使 (1939), watch the movie, and write in missing words into a handout of the script. Each week, each student writes a summary of the scenes seen, and reads it aloud to the class. Students write scenario scripts that together will make a 20-30 minute stage play. ---------- This course will teach students how to write communicatively about themselves and everyday topics, starting from single sentences and moving on to paragraph writing. Based on the content of the texts, individual, pair and group activities will provide oportunities to develop the skills necessary for determining content, organization, review and editing. (三﨑リン)	
到達目標	Course Objectives: Klinger: Students will have improved and developed confidence in their English writing, listening and speaking skills, will have increased their vocabulary and comprehension of sentence structure, and learned about script writing. ---------- Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvement in their English writing ability and skills, and gained the basic vocabulary and phrases necessary for communicatively writing about themselves and everyday topics. (三﨑リン)	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: Klinger: Scenario handout ---------- テキスト:Joseph Shaules, Hiroko Tsujioka & Miyuki Iida　Identity (OXFORD UNIVERSITY PRESS) 参考書:Students must bring a dictionary to each class (三﨑リン)	
成績評価	Klinger: Summary Writing 50% (Individual Grade) Script Writing 50% (Pair/Group Grade) ---------- Tests 60%. Writing Assignment 40%. (三﨑リン)	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ（国際b）	２単位　前期
担当教員	ウォルター・クリンガー　・　三﨑　リン	
授業概要	Klinger: We read aloud the scenario dialogue of the movie The Wizard of Oz オズの魔法使 (1939), watch the movie, and write in missing words into a handout of the script. Each week, each student writes a summary of the scenes seen, and reads it aloud to the class. Students write scenario scripts that together will make a 20-30 minute stage play. ---------- This course will teach students how to write communicatively about themselves and everyday topics, starting from single sentences and moving on to paragraph writing. Based on the content of the texts, individual, pair and group activities will provide oportunities to develop the skills necessary for determining content, organization, review and editing. (三﨑リン)	
到達目標	Course Objectives: Klinger: Students will have improved and developed confidence in their English writing, listening and speaking skills, will have increased their vocabulary and comprehension of sentence structure, and learned about script writing. ---------- Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvement in their English writing ability and skills, and gained the basic vocabulary and phrases necessary for communicatively writing about themselves and everyday topics. (三﨑リン)	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Klinger: Scenario handout ---------- テキスト:Joseph Shaules, Hiroko Tsujioka & Miyuki Iida　Identity（OXFORD UNIVERSITY PRESS） 参考書:Students must bring a dictionary to each class (三﨑リン)	
成績評価	Klinger: Summary Writing 50% (Individual Grade) Script Writing 50% (Pair/Group Grade) ---------- Tests 60%. Writing Assignment 40%. (三﨑リン)	
履修資格		

科目名	リーディング（中級）	２単位　後期
担当教員	山本　薫	
授業概要	各回1ユニットずつ読み進める。受講者はしっかり予習をしたうえで授業に臨むこと。はじめはゆっくり精読しながら進めていくが、慣れれば限られた時間内での速読も行う。精読・多読にいずれにもかたよらず、テーマや内容、英語の種類や質に合った読み方を選択し、内容を正確に把握する訓練を行う。	
到達目標	漫然と英文を読むのではなく、目的と方法論を明確にしながら問題意識を持って、雑誌・新聞各紙の記事、物語、詩、インタビュー、随筆、書籍から幅広い題材を扱った英文を毎回読み、書かれた内容の正確な把握を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	TAPESTRY Reading 4 Advanced／「方略で学ぶアクティブ・リーディング 4」(松柏社)	
成績評価	授業中の発表(40%)・予習の達成度(40%)・テスト(20%)を総合的に評価する。4回以上欠席したものは評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	英語会話（中級）	２単位　後期
担当教員	ジョン・リピー	
授業概要	In this course, students develop their speaking and listening skills through acquiring significant experience in communication. Students share their thoughts, feelings, experiences, and opinions on a sequence of topic which are familiar and relevant to everyday life. Speaking and listening activities are supported by reading and writing tasks. Students engage in conversations, small group discussions, and presentations, working to strengthen their comprehension of the viewpoints of others and to express their own viewpoints in the most fulfilling way. The goals are is to speak and listen more accurately, in greater volume, and with more involvement.	
到達目標	Through this course, students strengthen their communicative listening and speaking abilities. They become able to comprehend and produce English with more accuracy, at greater volume, and with more natural interaction. Students develop the ability to carry out more satisfying conversations, discussions, and presentations on a range of relevant personal topics. They also see improvement in their reading and communicative writing abilities.	
テキスト 指定図書 参考書	The textbooks for the course are the following: 1. Q: Skills for Success Listening and Speaking 2, Oxford University Press, ISBN 978-0-19-475611-2. 2. Q: Skills for Success Reading and Writing 2, Oxford University Press, ISBN 978-0-19-475623-5.	
成績評価	Grades for this course are based on participation in class(20%), homework assignments (20%), written classwork (20%), a midterm examination (20%), and a final examination (20%).	
履修資格		

科目名	リスニング（中級）	２単位　前期
担当教員	小栗　裕子	
授業概要	海外の文化や生活習慣に関する内容を自然な速度で聞き取りながらそのデータを分析し、日本社会について比較し考察を深める。また、リスニング力向上のためのストラテジー習得にも力を入れる。 【2013年度より開講開始科目】	
到達目標	英語Ⅰ～Ⅳで習得した知識の活性化と定着をはかり、国際社会で生きる教養人にふさわしいコミュニケーションの総合的な学力の深化を目標とする。このクラスは特にリスニング力の向上を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト Timothy Kiggell & Kevin Cleary, Cubic Listening—Closing the Culture Gap. Second Edition. 参考書・参考資料等 :随時プリントを配付	
成績評価	毎回の聞き取り点　50%　授業での発表　30%　課題　20％	
履修資格		

科目名	ディベート＆ディスカッション	２単位　前期
担当教員	ジョン・リピー	
授業概要	Debate and discussion start with solid information about a topic or issue. We first acquire knowledge about the topic, consider it from various angles, and develop our understanding. Then, we are ready to share ideas and interpretations through discussion, and to try to persuade others through well-informed positions in debate. Such discussion and debate are a part of everyday life. In this course, we learn about and consider social issues from a cross-cultural (Japanese and American) perspective, express our understandings in writing, then discuss and debate the issues.	
到達目標	In this course, students strengthen their habits of thoughtful reading, critical thinking, and independent interpretation. Students also develop their skills at discussion and debate, while learning more about American and Japanese social issues.	
テキスト 指定図書 参考書	A set of course readings is distributed in the first class.	
成績評価	Grades for this course are based on class participation (35%), completion and understanding of reading assignments (30%), and quality of written coursework (35%).	
履修資格		

科目名	英語表現法	２単位　前期
担当教員	山本　薫	
授業概要	日本語単語と英単語を一対一で対応させながら日本語を英語に置き換えるのではなく、自分があるいは他者が言おうとする意味・内容をしっかり理解した上で、それを原文の単純な逐語訳ではない、自然な英語にする訓練を行う。以上のことを踏まえ、毎回の授業では、英語で作文を行い、表現を磨き、英文を構造でとらえ、その論理的展開をつかむ練習も行う。適宜宿題として課題作文も出す。	
到達目標	日本語と英語の特徴の違いを認識した上で、自然で英語らしい文章によって、自分の意見はもちろん、国内外のできるだけ幅広いあるいは時事問題を英語で表現する方法を学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布	
成績評価	学生に対する評価：授業への積極的な参加(30％)・各回の英作文提出(50％)とエッセイ提出(20％) 4回以上欠席したものは評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	エッセイ・ライティング	２単位　後期
担当教員	ウォルター・クリンガー	
授業概要	授業の到達目標及びテーマ: 英語のエッセイの構成と、意見を述べるのにふさわしい構文を学び、自力で英語のエッセイを書けるようになることを目指す。本授業の目的は、自分の考えを英語的に構成し、表現する技法を基礎づけることである。授業の概要:　授業ではまず、教科書に収録されている文例を模範とし、短文を書く練習をする。次に、短文を積み重ねてパラグラフを構成し、ひとつのエッセイとしてまとまりのある構造を作る。その過程で、考えを的確に表現する語彙や構文を学習する。最後に、教科書に提示されているトピックから一つを選び、自分でエッセイを仕上げる。	
到達目標	Students will have improved their writing style by expressing their opinions about current social topics.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:POINT BY POINT : Writing Effective Opinion Essays『トピック別エッセイの書き方』. 石谷 由美子(著). 南雲堂 (2010). ISBN 978-4-523-1-17652-7 ￥2000参考書・参考資料等: ステキな英文フレーズ1420. ブティック社 (2010)	
成績評価	エッセイの執筆、音読　10% x 10回	
履修資格		

科目名	時事英語	２単位　後期
担当教員	外狩　章夫	
授業概要	この授業では、マスメディアから抽出した様々な分野（環境、教育、社会、政治、経済、司法、科学・テクノロジー、医療・健康）の英文ニュース記事を材料にします。記事の背景を補い、記事を理解した後は、音読とシャドーイングのトレーニングを通して時事英語表現（語彙、構文等）に親しみます。	
到達目標	時事英語表現に慣れることによって、英語資格検定（実用英語検定、TOEIC等）に向けて英語語彙を増強したり、構文・表現を補強したりすることができる。あわせて、リスニングに必要な集中力を養成することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト 松本　茂監修『速読速聴・英単語 Core 1900, ver. 4』(Vocabulary Building x Rapid Reading & Listening, ver. 4), 増進会, 2011. 参考書・参考資料等 小野田榮、Lucy Cooker, BBC WORLD: Understanding the News in English 2. (『英語でBBCニュースがわかる―その2』) 金星堂, 2005.	
成績評価	半期で5回のディクテーション・テスト（20点×５＝100点）を実施し成績を出します。	
履修資格		

科目名	留学英語対策講座Ｉ	２単位　後期
担当教員	石田　法雄	
授業概要	英語圏における留学に必要なTOEFL(PBT; IPT) のスコアを上げるための訓練を行い、英語を通して幅広くコミュニケーションが出来る教養を身につける。特にListening Comprehension, Structure and Written Expression (Grammar), Reading Comprehension の力をつけるための訓練を行う。講義の初めに模擬試験を行い、個人の現在のTOEFL(PBT; IPT) のおよそのスコアを確認する。授業はリスニング、文法、リーディングの訓練を毎回行い、力をつけていく。苦手な分野に関しては、課題を通して学生がそれぞれ自主的に補強していく。最後に模擬試験を行い、成果をみる。	
到達目標	個々の目標得点取得に向かい忍耐強い学習能力を身につける事を求める。 スコアはまず480点を目指し、500点突破を目標とする。さらに、奮起して550点を目指してもらいたい。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配付	
成績評価	宿題に対する予習の状況―演習問題結果（30%）、課題の提出（30%）、成果の現れ（40%）	
履修資格		

科目名	留学英語対策講座Ⅱ	２単位　後期
担当教員	ジョン・リピー	
授業概要	This course introduces students to the TOEFL iBT. Students become familiar with the test overall, types of questions, and ways of answering the questions. Students also gain extensive experience in doing the kinds of language activities and tasks found on the TOEFL iBT, thereby strengthening their academic English skills. This course focuses on the skills of academic speaking and writing. Students learn to turn input into coherent essays and extended turns of speech. The coursework establishes a strong foundation for future individual preparation for the TOEFL iBT, and should prove useful for students who are considering future study abroad experiences.	
到達目標	Students develop the abilities to integrate input and to organize their ideas into coherent essays and extended turns of speech; these abilities are essential for academic work at universities abroad. Students also gain familiarity with the speaking and writing sections of the TOEFL iBT and develop their individual approaches and strategies for future, independent test preparation.	
テキスト 指定図書 参考書	1. Developing Skills for the TOEFL iBT, Speaking Intermediate (2nd edition), with MP3 CD, by Paul Edmunds et al. (Compass Publishing), ISBN 978-1-59966-354-8. 2. Developing Skills for the TOEFL iBT, Writing Intermediate (2nd edition), with MP3 CD, by Paul Edmunds et al. (Compass Publishing), ISBN 978-1-59966-354-8.	
成績評価	Grades for this course are based on homework assignments (30%), written and oral classwork (30%), a midterm examination (20%), and a final examination (20%).	
履修資格		

科目名	ビジネス英語	２単位 後期
担当教員	未定	
授業概要	この授業では、ビジネスの現場で役立つ実務的な内容を取り扱う。貿易のみならず、企業で日常的に使用する英語のビジネス文書（計画書や企画書、報告書、契約書、提案書、履歴書、電子メールによる文書など）の作成について、モデル文書を活用して解説する。また、英語による海外取引にも言及する。特に、電子メールなどIT時代に対応した国際ビジネスコミュニケーション手段としての英語（とりわけライティング）能力を身につけることを目標にする。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	(1) ビジネスの現場で役立つ実務的な内容について知ることができる。 (2) 英文レターを書く時の心構えとキーワード確認できる。 (3) 英文ビジネスレターのスタイルを活用することができる。 (4) 貿易実務で使う一般的英語表現を確認できる。 (5)　電子メールによる英文ライティング能力を身につけることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	（教科書） 日本商工会議所（著）『日商ビジネス英語検定 3級公式テキスト』、日本能率協会マネジメントセンター、2003。 （参考書） (1) フランシス・クディラ著 『最新ビジネス英文手紙辞典』（増補新版）、朝日出版社、1994. (2) Karen Richardson, The Business: Pre-Intermediate. MacMillan LanguageHouse, 2008.	
成績評価	試験成績（70％）、宿題・レポート（30％）	
履修資格		

科目名	メディアの英語	２単位　前期
担当教員	ウォルター・クリンガー	
授業概要	この授業では、生きた英語4技能の総合的な向上を目指す。特に発音とリハーサルに力を入れる。そして、アメリカの歴史を学ぶとともに、楽しみながらコミュニケーション力を身につける。Gone With The Wind 風と共に去りぬ（1939）の脚本を一緒に音読し、映画を見る。テーマについて議論する。前の週の内容の要点をまとめる。学生が選んだシーンを演じ、毎週のシーンのコメントを書いて、エッセイとして作成する。完成したエッセイを教師にメールで送る。宝塚劇場のミュージカル、フランスのミュージカル、アメリカのテレビ・パロディも参考にする。【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	Students will have developed confidence in their English listening and speaking skills, increased their vocabulary, improved their writing technique, and gained knowledge and understanding of American history.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 豊泉暁子/Walter Klinger (編集):教科書(2009).『風と共に去りぬ Gone With the Wind』(名作映画完全セリフ集スクリーンプレイ・シリーズ 133). 出版社:フォーインスクリーンプレイ出版. ISBN 9784894074224. *available for loan in the USP library. 参考書・参考資料等: Walter Klinger:論文(2009). Introduction to Screenplay's Gone with the Wind. 滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No. 14, , pp. 45-64. *available by download. Walter Klinger:論文(2010). Went with the Wind: The Carol Burnett Show's Parody of Gone with the Wind. 滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No.15, pp. 45-64. *available by download. Walter Klinger:評論(2009). The Wind is Still Blowing. 風と共に去りぬ Gone With the Wind (名作映画完全セリフ集スクリーンプレイ・シリーズ 133). 出版社:フォーインスクリーンプレイ出版, pp.270-271. *available by download	
成績評価	演技　50％、エッセイ　50％	
履修資格		

2011(平成23)年度以前入学生用科目

科目名	英語Ｉ（活性化コース）（再履修）	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	リスニング用のテキストを中心に授業を行いますが、TOEICの語彙、文法なども授業内に行います。リスニングは細部までを聞き取るよりも、必要な情報だけを聞き取る練習をします。 家庭学習（宿題）はテキストの一部分と、e-learningです。コンピューターの使い方にも早く慣れるようにしましょう。	
到達目標	・必要な情報を聞き取る力を養う。 ・リスニング向上。 ・TOEICのスコアUP（もともとのスコアにもよりますが、大体80～100点UPを目指しましょう。）	
テキスト 指定図書 参考書	(Developing) Tactics For Listening Second Edition,Jack .C.Richards著 OXFORD、ハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、課題（家庭学習＋提出物）40％、欠席（半期で5回以上は評価の対象となりません）、遅刻の多い場合（遅刻2回で欠席1回とみなします）、中間・期末などの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象とならないので気をつけてください。	
履修資格	特にありません。	

科目名	英語Ⅱ（応用コース）（再履修）	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	この授業においては、英語ニュース記事を読み、基礎英文法の総点検をゆっくり丁寧に行う。次に、理解と知識を定着させるために、読む、書く、聞く、話すという4つのスキルをバランスよく訓練する。適宜リスニング教材として、映画なども用いる。	
到達目標	既修の知識を活性化させ、コミュニケーションの場で即座に対応できる知識として定着させ、また、高めることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：英語ニュース、リスニング教材は、プリントアウトして授業中に配布する。	
成績評価	毎回の授業でのリスニング小テスト（5％）と予習（40％）・課題（5％）・前・後期試験（50％）を総合的に評価する。4回以上欠席したものは評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	英語ⅡＡ（応用コース）（再履修）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：Living English I by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 50%, Tests 50%	
履修資格		

科目名	英語ⅡＢ（応用コース）（再履修）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.	
到達目標	Objectives: On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Living English II by Hedberg & Mauser, Keystone English Press	
成績評価	Vocabulary quizzes 25%, Tests 25%, and Interviews 50%	
履修資格		

科目名	英語Ⅲ（充実コース）（再履修）	２単位　前期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	この授業では、特にリーディングスキルとリスニングスキルの向上を目指し、さらに新TOEICテストの問題形式に慣れる為、TOEICテスト形式の問題を解き、総合的な英語運用能力の育成を図る。最終的には、新TOEIC500点から600点の取得が可能な英語力の育成を目標とする。また、単語テストも随時行う。 ※授業計画、成績評価方法、期末試験方法、教科書等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	この授業では、特にリーディングスキルとリスニングスキルの向上を目指し、さらに新TOEICテストの問題形式に慣れる為、TOEICテスト形式の問題を解き、総合的な英語運用能力の育成を図る。	
テキスト 指定図書 参考書	寺西雅之,Patrick T. Dougherty.『TOEIC Test Success』南雲堂.	
成績評価	前期、後期ともに、単語テスト50％、期末試験50％とする。なお、5回以上欠席した場合、評価対象外とする。また、遅刻3回で1回欠席扱いとする。 ※成績評価方法、期末試験方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
履修資格		

科目名	英語Ⅳ（展開コース）（再履修）	２単位　前期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講座は、これまで英語Ⅰ～Ⅳで学んだ内容を総括し、英語の運用力を高めるための要素を改めて確認することが目的である。「外国人からみた日本の文化・日常生活の面白さ」を英語で学ぶことで「異文化」の視点から生きた英語表現に触れ、英語の運用力を高めてもらいたい。 授業は基本的にグループワークの形態をとり、毎回異なる座席が指定される。日替わりパートナーとの簡単な英会話練習ののち、グループ単位で役割別のロールプレイングを実施する。英文のダイアログを日本語に訳す際は、いわゆる教科書的な翻訳ではなく、どこまで自分自身の「素の言葉（関西弁で良い）」で表現できるかを重視する。次にその「素の言葉」をもう一度英語に戻し、感情を込めて表現する訓練を繰り返す。この練習を通じて、英語の4技能を総合的に鍛えていく。※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1) 基礎的な英文法の知識をベースとして様々な語彙やイディアムを理解し、それらを実際に運用できる。 (2) 英語のポライトネスレベルを十分に意識し、適切な和訳および英訳ができる。 (3) 日常的な身の回りの出来事を英語で理解(Listening＋Reading)し、英語で発信(Speaking＋Writing)できる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】 書　名: Hello Again! (Cultural Exchange and Everyday Life) 著　者: David E. James 出版社: Cengage Learning Japan ISBN　: 9784902902785 備　考: 購入必須。（多くの書き込みや捺印をするので、必ず新しいものを購入すること。） 【参考書】 書　名: Dictionary of Contemporary English（現代英英辞典 5訂版） 出版社: Longman 桐原書店 ISBN　: 9784342100949 備　考: 購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% (ペーパーテストと実技による評価) ・「準備課題」40% (自習準備の達成度による評価) ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「3点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＡ（初級コース）（水2限）	１単位　前期
担当教員	竹内　一高※	
授業概要	ドイツ語の発音、話し方の基礎をトレーニングする授業です。 ①ドイツ語でのあいさつ ②文法項目のポイントを踏まえた会話文の導入 ③文法項目の解説とペアやグループでの発音・作文練習 ④場合によっては、グループ・ワークでの結果をレポート提出 ⑤ドイツ語圏の文化について幅広く紹介（レポート提出もありうる） ⑥ドイツ語で別れの挨拶	
到達目標	①ドイツ語の発音規則を知り、自ら実践できる ②ドイツ語の数詞関連表現を言えるようになる ③ドイツ語での会話場面を想定しながら音声の聴き取りができるようになる ④ドイツ語のフレーズ学習から、身の回りのことを表現できるようになる ⑤ドイツ語圏の文化現象について知る ⑥新たに知り得た知識を、自分の言葉でわかりやすくまとめることができる	
テキスト 指定図書 参考書	（独名）Naoko Iwakawa, Sayaka Nouchi: Deutschunterricht mit Lehr/Lernmaterial (Asahi Verlag, 2010) （和名）岩川直子、野内清香『イメージするドイツ語』（朝日出版社、2010年）定価2,500円（外税） 授業では聴き取りや会話文の確認用に、ドイツで出版されているテキストをモニター提示することがあります。	
成績評価	①口述試験（半期につき2回） 50% ②授業内で作成するレポート課題 35% ③筆記小試験 15%	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＢ（初級コース）（水2限）	１単位　後期
担当教員	竹内　一高※	
授業概要	ドイツ語ＩＡの同項目を参照。	
到達目標	ドイツ語ＩＡの同項目を参照。	
テキスト 指定図書 参考書	ドイツ語ＩＡの同項目を参照。	
成績評価	ドイツ語ＩＡの同項目を参照。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＡ（初級コース）（水3限）	１単位　前期
担当教員	熊谷　哲哉※	
授業概要	ドイツ語の発音、文法、基本的な表現を学びます。パートナー練習や聞き取り、問題演習や作文など、実際に手や口を動かす作業をつうじて、「読む・聞く・書く・話す」能力をまんべんなく習得することを目指します。さらに、映画や時事ニュース映像などを使って、ドイツの料理や習慣、社会問題、芸術やスポーツなど、現代のドイツ語圏文化を紹介します。	
到達目標	1）ドイツ語の正しい発音とアクセントを身につける。 2）人称代名詞、冠詞類の格変化、動詞の現在人称変化など文法的な知識の習得。 3）自己紹介など簡単な会話表現を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：岩川直子・野内清香『イメージするドイツ語』（朝日出版社）。ISBN:978-4-255-25332-9　また、適宜プリントも配布する。	
成績評価	平常点（会話練習、小テスト等）40%、定期試験60%の合計で評価する。ただし欠席や遅刻をした場合は全体の評点から減点することとする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＢ（初級コース）（水3限）	１単位　後期
担当教員	熊谷　哲哉※	
授業概要	ドイツ語の発音、文法、基本的な表現を学びます。パートナー練習や聞き取り、問題演習や作文など、実際に手や口を動かす作業をつうじて、「読む・聞く・書く・話す」能力をまんべんなく習得することを目指します。さらに、映画や時事ニュース映像などを使って、ドイツの料理や習慣、社会問題、芸術やスポーツなど、現代のドイツ語圏文化を紹介します。	
到達目標	1)ドイツ語の発音を習得する。 2)数字、動詞の人称変化、冠詞類の格変化などの知識の習得。 3)自己紹介など、会話表現の習得。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:岩川直子・野内清香『イメージするドイツ語』(朝日出版社)。ISBN:978-4-255-25332-9. 適宜プリントも配布する。	
成績評価	平常点(会話練習、小テスト等)40%、定期試験60%の合計で評価する。ただし欠席や遅刻をした場合は全体の評点から減点することとする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＡ（初級コース）（水3限）	１単位　前期
担当教員	竹内　一高※	
授業概要	ドイツ語の発音、話し方の基礎をトレーニングする授業です。 ①ドイツ語でのあいさつ ②文法項目のポイントを踏まえた会話文の導入 ③文法項目の解説とペアやグループでの発音・作文練習 ④場合によっては、グループ・ワークでの結果をレポート提出 ⑤ドイツ語圏の文化について幅広く紹介(レポート提出もありうる) ⑥ドイツ語で別れの挨拶	
到達目標	①ドイツ語の発音規則を知り、自ら実践できる ②ドイツ語の数詞関連表現を言えるようになる ③ドイツ語での会話場面を想定しながら音声の聴き取りができるようになる ④ドイツ語のフレーズ学習から、身の回りのことを表現できるようになる ⑤ドイツ語圏の文化現象について知る ⑥新たに知り得た知識を、自分の言葉でわかりやすくまとめることができる	
テキスト 指定図書 参考書	(独名)Naoko Iwakawa, Sayaka Nouchi: Deutschunterricht mit Lehr/Lernmaterial (Asahi Verlag, 2010) (和名)岩川直子、野内清香『イメージするドイツ語』(朝日出版社、2010年)定価2,500円(外税) 授業では聴き取りや会話文の確認用に、ドイツで出版されているテキストをモニター提示することがあります。	
成績評価	①口述試験(半期につき2回) 50% ②授業内で作成するレポート課題 35% ③筆記小試験 15%	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＢ（初級コース）（水3限）	１単位　後期
担当教員	竹内　一高※	
授業概要	ドイツ語ＩAの同項目を参照。	
到達目標	ドイツ語ＩAの同項目を参照。	
テキスト 指定図書 参考書	ドイツ語ＩAの同項目を参照。	
成績評価	ドイツ語ＩAの同項目を参照。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＡ（初級コース）（水4限）	１単位　前期
担当教員	熊谷　哲哉※	
授業概要	ドイツ語の発音、文法、基本的な表現を学びます。パートナー練習や聞き取り、問題演習や作文など、実際に手や口を動かす作業をつうじて、「読む・聞く・書く・話す」能力をまんべんなく習得することを目指します。さらに、映画や時事ニュース映像などを使って、ドイツの料理や習慣、社会問題、芸術やスポーツなど、現代のドイツ語圏文化を紹介します。	
到達目標	ドイツ語の発音、基本的な文法事項を習得し、簡単な文章を辞書を使って読めるようにする。また、自己紹介など簡単な会話表現ができるようになることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:岩川直子・野内清香『イメージするドイツ語』(朝日出版社)。ISBN:978-4-255-25332-9　また、適宜プリントも配布する。	
成績評価	平常点(会話練習、小テスト等)40%、定期試験60%の合計で評価する。ただし欠席や遅刻をした場合は全体の評点から減点することとする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＢ（初級コース）（水4限）	１単位　後期
担当教員	熊谷　哲哉※	
授業概要	ドイツ語の発音、文法、基本的な表現を学びます。パートナー練習や聞き取り、問題演習や作文など、実際に手や口を動かす作業をつうじて、「読む・聞く・書く・話す」能力をまんべんなく習得することを目指します。さらに、映画や時事ニュース映像などを使って、ドイツの料理や習慣、社会問題、芸術やスポーツなど、現代のドイツ語圏文化を紹介します。	
到達目標	1)ドイツ語の発音を習得する。 2)数字、動詞の人称変化、冠詞類の格変化などの知識の習得。 3)自己紹介など、会話表現の習得。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:岩川直子・野内清香『イメージするドイツ語』(朝日出版社)。ISBN:978-4-255-25332-9. 適宜プリントも配布する。	
成績評価	平常点(会話練習、小テスト等)40%、定期試験60%の合計で評価する。ただし欠席や遅刻をした場合は全体の評点から減点することとする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＡ（初級コース）（水4限）	１単位　前期
担当教員	竹内　一高※	
授業概要	ドイツ語の発音、話し方の基礎をトレーニングする授業です。 ①ドイツ語でのあいさつ ②文法項目のポイントを踏まえた会話文の導入 ③文法項目の解説とペアやグループでの発音・作文練習 ④場合によっては、グループ・ワークでの結果をレポート提出 ⑤ドイツ語圏の文化について幅広く紹介(レポート提出もありうる) ⑥ドイツ語で別れの挨拶	
到達目標	①ドイツ語の発音規則を知り、自ら実践できる ②ドイツ語の数詞関連表現を言えるようになる ③ドイツ語での会話場面を想定しながら音声の聴き取りができるようになる ④ドイツ語のフレーズ学習から、身の回りのことを表現できるようになる ⑤ドイツ語圏の文化現象について知る ⑥新たに知り得た知識を、自分の言葉でわかりやすくまとめることができる	
テキスト 指定図書 参考書	(独名)Naoko Iwakawa, Sayaka Nouchi: Deutschunterricht mit Lehr/Lernmaterial (Asahi Verlag, 2010) (和名)岩川直子、野内清香『イメージするドイツ語』(朝日出版社、2010年)定価2,500円(外税) 授業では聴き取りや会話文の確認用に、ドイツで出版されているテキストをモニター提示することがあります。	
成績評価	①口述試験(半期につき2回) 50% ②授業内で作成するレポート課題 35% ③筆記小試験 15%	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＢ（初級コース）（水4限）	１単位　後期
担当教員	竹内　一高※	
授業概要	ドイツ語ＩAの同項目を参照。	
到達目標	ドイツ語ＩAの同項目を参照。	
テキスト 指定図書 参考書	ドイツ語ＩAの同項目を参照。	
成績評価	ドイツ語ＩAの同項目を参照。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ⅡＡ（中級コース）（火1限）	１単位　前期
担当教員	吉村　淳一	
授業概要	ドイツ語Ｉで習得した基礎文法を復習しながら、さらに高度な会話の練習をする。またドイツ語で書かれた短い文章を読み、読解力を身につける。その際、教科書のテーマに沿って、視聴覚教材、実物教材、プリント等を用意し、ドイツ文化の知識を深めるように努める。授業の進め方に関して言えば、前回の復習、音読および訳出の練習、文法事項の確認、会話の練習（プリント教材）、習熟度に応じて小テストなどを行う。	
到達目標	zu-不定詞、現在完了形、過去形、形容詞の格変化などの文法の知識を身につける。書き言葉では、辞書を使って平易な文章を読みこなすことを目標とし、話し言葉では比較的難しい会話表現を習得することを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：森田悟／宮澤義臣／川上博子『すすめ！アンペルマン－合言葉はエストテンテン－（Deutsch Lernen mit dem Ampelmann）』（朝日出版社）。 ISBN: 978-4-255-25346-6 その他、会話練習用プリントを配布するのでクリアブックを用意すること。教科書は特に読解練習にのみ用いることとする。	
成績評価	読解練習の担当および小テスト、課題、会話の練習（40％）と定期試験（60％）の成績により評価する。欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ⅡＢ（中級コース）（火1限）	１単位　後期
担当教員	吉村　淳一	
授業概要	ドイツ語Ｉで習得した基礎文法を復習しながら、さらに高度な会話の練習をする。またドイツ語で書かれた短い文章を読み、読解力を身につける。その際、教科書のテーマに沿って、視聴覚教材、実物教材、プリント等を用意し、ドイツ文化の知識を深めるように努める。授業の進め方に関して言えば、前回の復習、音読および訳出の練習、文法事項の確認、会話の練習（プリント教材）、習熟度に応じて小テストなどを行う。	
到達目標	形容詞の比較変化、受動態、関係代名詞、接続法などの文法の知識を身につける。書き言葉では、辞書を使って平易な文章を読みこなすことを目標とし、話し言葉では比較的難しい会話表現を習得することを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：森田悟／宮澤義臣／川上博子『すすめ！アンペルマン－合言葉はエストテンテン－（Deutsch Lernen mit dem Ampelmann）』（朝日出版社）。 ISBN: 978-4-255-25346-6 その他、会話練習用プリントを配布するのでクリアブックを用意すること。教科書は特に読解練習にのみ用いることとする。	
成績評価	読解練習の担当および小テスト、課題、会話の練習（40％）と定期試験（60％）の成績により評価する。欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ⅡＡ（中級コース）（火2限）	１単位　前期
担当教員	大森　智子※	
授業概要	ドイツ語Ｉで学習した基礎文法を復習しながら、ドイツ語の実用的な会話能力と実践的運用能力を身につける。また、短い読み物を精読する機会も採り入れ、辞書さえあれば、ある程度複雑なドイツ語の文章も読めるようにしていく。授業では、日常的な会話表現をまず耳と口で覚えていくようにし、更に動詞の活用や冠詞の変化など、必要な文法事項を練習問題などで繰り返し練習していく。また自宅でも勉強する機会が増えるように、読み物は予め自宅で目を通すように促す。そしてほぼ毎回、前回授業の復習をした上で口頭か筆記の小テストも行う。またその他、視聴覚資料を用いたドイツ語圏の文化紹介の時間も毎回5分から10分程度、できるだけ設ける予定である。ドイツ語の社会的・文化的背景に関する知識は、語学力を必ず補ってくれるからである。	
到達目標	基礎的な文法の知識を身につける。実用的な会話能力と実践的運用能力を身につける。辞書さえあれば、ある程度複雑な文章を読みことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Elisabeth Schmidt、須澤 通、浜 泰子 著『 はじめようドイツ語 Unterwegs mit Tobi 』(郁文堂)を使用する。プリントも適宜配布するので、ファイルすること。	
成績評価	小テスト・読解練習などの課題(60%)および定期試験(40%)の成績により評価する。欠席や遅刻などがある場合は、全体の評点から減点していく。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ⅡＢ（中級コース）（火2限）	１単位　後期
担当教員	大森　智子※	
授業概要	ドイツ語Ｉで学習した基礎文法を復習しながら、ドイツ語の実用的な会話能力と実践的運用能力を身につける。また、短い読み物を精読する機会も採り入れ、辞書さえあれば、ある程度複雑なドイツ語の文章も読めるようにしていく。授業では、日常的な会話表現をまず耳と口で覚えていくようにし、更に動詞の活用や冠詞の変化など、必要な文法事項を練習問題などで繰り返し練習していく。また自宅でも勉強する機会が増えるように、読み物は予め自宅で目を通すように促す。そしてほぼ毎回、前回授業の復習をした上で口頭か筆記の小テストも行う。またその他、視聴覚資料を用いたドイツ語圏の文化紹介の時間も毎回5分から10分程度、できるだけ設ける予定である。ドイツ語の社会的・文化的背景に関する知識は、語学力を必ず補ってくれるからである。	
到達目標	基礎的な文法の知識を身につける。実用的な会話能力と実践的運用能力を身につける。辞書さえあれば、ある程度複雑な文章を読みことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Elisabeth Schmidt、須澤 通、浜 泰子 著『 はじめようドイツ語 Unterwegs mit Tobi 』(郁文堂)を使用する。プリントも適宜配布するので、ファイルすること。	
成績評価	小テスト・読解練習などの課題(60%)および定期試験(40%)の成績により評価する。欠席や遅刻などがある場合は、全体の評点から減点していく。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ⅡＡ（中級コース）（火3限）	１単位　前期
担当教員	大森　智子※	
授業概要	ドイツ語Ｉで学習した基礎文法を復習しながら、ドイツ語の実用的な会話能力と実践的運用能力を身につける。また、短い読み物を精読する機会も採り入れ、辞書さえあれば、ある程度複雑なドイツ語の文章も読めるようにしていく。授業では、日常的な会話表現をまず耳と口で覚えていくようにし、更に動詞の活用や冠詞の変化など、必要な文法事項を練習問題などで繰り返し練習していく。また自宅でも勉強する機会が増えるように、読み物は予め自宅で目を通すように促す。そしてほぼ毎回、前回授業の復習をした上で口頭か筆記の小テストも行う。またその他、視聴覚資料を用いたドイツ語圏の文化紹介の時間も毎回5分から10分程度、できるだけ設ける予定である。ドイツ語の社会的・文化的背景に関する知識は、語学力を必ず補ってくれるからである。	
到達目標	基礎的な文法の知識を身につける。実用的な会話能力と実践的運用能力を身につける。辞書さえあれば、ある程度複雑な文章を読みことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Elisabeth Schmidt、須澤 通、浜 泰子 著『 はじめようドイツ語 Unterwegs mit Tobi 』(郁文堂)を使用する。プリントも適宜配布するので、ファイルすること。	
成績評価	小テスト・読解練習などの課題(60%)および定期試験(40%)の成績により評価する。欠席や遅刻などがある場合は、全体の評点から減点していく。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ⅡＢ（中級コース）（火3限）	１単位　後期
担当教員	大森　智子※	
授業概要	ドイツ語Ｉで学習した基礎文法を復習しながら、ドイツ語の実用的な会話能力と実践的運用能力を身につける。また、短い読み物を精読する機会も採り入れ、辞書さえあれば、ある程度複雑なドイツ語の文章も読めるようにしていく。授業では、日常的な会話表現をまず耳と口で覚えていくようにし、更に動詞の活用や冠詞の変化など、必要な文法事項を練習問題などで繰り返し練習していく。また自宅でも勉強する機会が増えるように、読み物は予め自宅で目を通すように促す。そしてほぼ毎回、前回授業の復習をした上で口頭か筆記の小テストも行う。またその他、視聴覚資料を用いたドイツ語圏の文化紹介の時間も毎回5分から10分程度、できるだけ設ける予定である。ドイツ語の社会的・文化的背景に関する知識は、語学力を必ず補ってくれるからである。	
到達目標	基礎的な文法の知識を身につける。実用的な会話能力と実践的運用能力を身につける。辞書さえあれば、ある程度複雑な文章を読みことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Elisabeth Schmidt、須澤 通、浜 泰子 著『 はじめようドイツ語 Unterwegs mit Tobi 』(郁文堂)を使用する。プリントも適宜配布するので、ファイルすること。	
成績評価	小テスト・読解練習などの課題(60%)および定期試験(40%)の成績により評価する。欠席や遅刻などがある場合は、全体の評点から減点していく。	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＡ（初級コース）（水3限）	１単位　前期
担当教員	辻村　暁子※	
授業概要	フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。	
到達目標	到達目標　「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の、すべての面において、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:アミカルマン〈ビス〉 澤田　直之　他著　駿河台出版社 指定図書:辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しないこと。参考書:同上。	
成績評価	成績評価 定期試験50%、小テストと課題50%。 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＢ（初級コース）（水3限）	１単位　後期
担当教員	辻村　暁子※	
授業概要	フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。	
到達目標	到達目標　「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の、すべての面において、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:アミカルマン〈ビス〉 澤田　直之　他著　駿河台出版社 指定図書:辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しないこと。参考書:同上。	
成績評価	成績評価 定期試験50%、小テストと課題50%。 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＡ（初級コース）（水2限）	１単位　前期
担当教員	辻村　暁子※	
授業概要	フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。	
到達目標	到達目標　「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の、すべての面において、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:アミカルマン〈ビス〉 澤田　直之　他著　駿河台出版社 指定図書:辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しないこと。参考書:同上。	
成績評価	成績評価 定期試験50％、小テストと課題50％。 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＢ（初級コース）（水2限）	１単位　後期
担当教員	辻村　暁子※	
授業概要	フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。	
到達目標	到達目標　「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の、すべての面において、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:アミカルマン〈ビス〉 澤田　直之　他著　駿河台出版社 指定図書:辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しないこと。参考書:同上。	
成績評価	成績評価 定期試験50％、小テストと課題50％。 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＡ（初級コース）（水3限）	１単位　前期
担当教員	桂川　久※	
授業概要	フランス語の基礎を学ぶ. 同時に, 映像なども利用しながら, フランスの文化や社会について紹介していきたい.	
到達目標	文法の教科書を中心に, 副教材も利用して, フランス語を聞き, 話し, 読み, 書く能力を, できるだけバランス良く伸ばせるようにしたい. 客観的には, 1年間で, 仏検(＝実用フランス語技能検定試験)の5級から4級に合格する程度のレベルを目指す.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『初級フランス語文法』(朝日出版社) 辞書に関しては最初の授業で紹介するので, 購入はその後でよい.	
成績評価	宿題の実施(20%), 中間テスト(30%), 期末テスト(50%). 授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない.	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＢ（初級コース）（水3限）	１単位　後期
担当教員	桂川　久※	
授業概要	フランス語の基礎を学ぶ. 同時に, 映像なども利用しながら, フランスの文化や社会について紹介していきたい.	
到達目標	文法の教科書を中心に, 副教材も利用して, フランス語を聞き, 話し, 読み, 書く能力を, できるだけバランス良く伸ばせるようにしたい. 客観的には, 1年間で, 仏検(＝実用フランス語技能検定試験)の5級から4級に合格する程度のレベルを目指す.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『初級フランス語文法』(朝日出版社) 辞書に関しては最初の授業で紹介するので, 購入はその後でよい.	
成績評価	宿題の実施(20%), 中間テスト(30%), 期末テスト(50%). 授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない.	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＡ（初級コース）（水4限）	１単位　前期
担当教員	桂川　久※	
授業概要	フランス語の基礎を学ぶ. 同時に, 映像なども利用しながら, フランスの文化や社会について紹介していきたい.	
到達目標	文法の教科書を中心に, 副教材も利用して, フランス語を聞き, 話し, 読み, 書く能力を, できるだけバランス良く伸ばせるようにしたい. 客観的には, 1年間で, 仏検(＝実用フランス語技能検定試験)の5級から4級に合格する程度のレベルを目指す.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『初級フランス語文法』(朝日出版社) 辞書に関しては最初の授業で紹介するので, 購入はその後でよい.	
成績評価	宿題の実施(20%), 中間テスト(30%), 期末テスト(50%). 授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない.	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＢ（初級コース）（水4限）	１単位　後期
担当教員	桂川　久※	
授業概要	フランス語の基礎を学ぶ. 同時に, 映像なども利用しながら, フランスの文化や社会について紹介していきたい.	
到達目標	文法の教科書を中心に, 副教材も利用して, フランス語を聞き, 話し, 読み, 書く能力を, できるだけバランス良く伸ばせるようにしたい. 客観的には, 1年間で, 仏検(＝実用フランス語技能検定試験)の5級から4級に合格する程度のレベルを目指す.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『初級フランス語文法』(朝日出版社) 辞書に関しては最初の授業で紹介するので, 購入はその後でよい.	
成績評価	宿題の実施(20%), 中間テスト(30%), 期末テスト(50%). 授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない.	
履修資格		

科目名	フランス語ⅡＡ（中級コース）（火2限）	１単位　前期
担当教員	桂川　久※	
授業概要	前期は文法の復習と発展と題して，文法事項の確実な定着を図ると同時に，基本的な会話表現をしっかり身に付けたい．また映像なども利用しながら，フランスの文化や社会について紹介していきたい．	
到達目標	中級から上級への橋渡しとして，フランス語能力全般（聞く・話す・読む・書く）を向上させることを目標とする．客観的には，1年間で，仏検(＝実用フランス語技能検定試験)の4級から3級に合格する程度のレベルを目指す．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配付 参考書：仏和辞典（授業に必ず持参すること）	
成績評価	宿題の実施(20%)，小テスト(40%)，期末テスト(40%)． 授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない．	
履修資格		

科目名	フランス語ⅡＢ（中級コース）（火2限）	１単位　後期
担当教員	桂川　久※	
授業概要	後期は基本的な会話練習を継続するのと並行して，時事フランス語のテキストを読む．また映像なども利用しながら，フランスの文化や社会について紹介していきたい．	
到達目標	中級から上級への橋渡しとして，フランス語能力全般（聞く・話す・読む・書く）を向上させることを目標とする．客観的には，1年間で，仏検(＝実用フランス語技能検定試験)の4級から3級に合格する程度のレベルを目指す．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：『フランスさまざま』(朝日出版社) 参考書：仏和辞典（授業に必ず持参すること）	
成績評価	宿題の実施(20%)，中間テスト(30%)，期末テスト(50%)． 授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない．	
履修資格		

科目名	フランス語ⅡＡ（中級コース）（火3限）	１単位　前期
担当教員	桂川　久※	
授業概要	前期は文法の復習と発展と題して，文法事項の確実な定着を図ると同時に，基本的な会話表現をしっかり身に付けたい．また映像なども利用しながら，フランスの文化や社会について紹介していきたい．	
到達目標	中級から上級への橋渡しとして，フランス語能力全般（聞く・話す・読む・書く）を向上させることを目標とする．客観的には，1年間で，仏検(＝実用フランス語技能検定試験)の4級から3級に合格する程度のレベルを目指す．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配付 参考書：仏和辞典（授業に必ず持参すること）	
成績評価	宿題の実施(20%)，小テスト(40%)，期末テスト(40%)． 授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない．	
履修資格		

科目名	フランス語ⅡＢ（中級コース）（火3限）	１単位　後期
担当教員	桂川　久※	
授業概要	後期は基本的な会話練習を継続するのと並行して，時事フランス語のテキストを読む．また映像なども利用しながら，フランスの文化や社会について紹介していきたい．	
到達目標	中級から上級への橋渡しとして，フランス語能力全般（聞く・話す・読む・書く）を向上させることを目標とする．客観的には，1年間で，仏検(＝実用フランス語技能検定試験)の4級から3級に合格する程度のレベルを目指す．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『フランスさまざま』(朝日出版社) 参考書:仏和辞典（授業に必ず持参すること）	
成績評価	宿題の実施(20%)，中間テスト(30%)，期末テスト(50%)． 授業時間数の2割以上欠席した場合は評価対象にしない．	
履修資格		

科目名	中国語ＩＡ（初級コース）（水4限）	１単位　前期
担当教員	林　虹※	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非　編「ジョイフル中国語ーー初級編」（郁文堂） 参考書:辞書　最新中国語実用辞典（隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、　小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＢ（初級コース）（水4限）	１単位　後期
担当教員	林　虹※	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非　編「ジョイフル中国語ーー初級編」（郁文堂） 参考書:辞書　最新中国語実用辞典（隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、　小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＡ（初級コース）（水1限）	１単位　前期
担当教員	唐　楽寧※	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：呉 凌非　著『ジョイフル中国語――初級編』（郁文堂） 参考書：辞書『最新中国語実用辞典』（隆美出版）	
成績評価	試験成績70％、小テスト・宿題・レポート30％で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＢ（初級コース）（水1限）	１単位　後期
担当教員	唐　楽寧※	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：呉 凌非　著『ジョイフル中国語――初級編』（郁文堂） 参考書：辞書『最新中国語実用辞典』（隆美出版）	
成績評価	試験成績70％、小テスト・宿題・レポート30％で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＡ（初級コース）（水1限）	１単位　前期
担当教員	桜木　陽子※	
授業概要	この授業では、中国語をこれまで学習したことのない学生を対象に、中国大陸で標準語として使われている「普通話」（いわゆる中国語）を学習します。前期では、始めに声調とピンインの読み方を学習し、発音の習得につとめます。声調とピンインの読み方を一通り学習し終わったら、次に会話文を中心に、中国語の基本文法を学習します。	
到達目標	・中国語の発音の基礎を固める。特に発音記号であるピンインが読めるようになる。 ・中国語で自分の名前が書けて、言えるようになる。 ・中国語の挨拶言葉や簡単な会話ができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：『中国を歩こう』（陳淑梅・蘇明／著　金星堂） 辞書、参考書などは授業中に指示します。	
成績評価	平常点（出席状況や受講態度、小テストなど）30％、学期末試験70％で評価する予定ですが、実際の状況をかんがみて、適時対処します。病気など特別な理由がない限り、基本的に授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象とはしないので、気をつけて下さい。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＢ（初級コース）（水1限）	１単位　後期
担当教員	桜木　陽子※	
授業概要	この授業では、前期よりも更に複雑な中国語の文法を学習し、1年を通じて中国語の基本的な会話力を養成します。	
到達目標	中国語の簡単な会話が聞き取れ、読み取れ、書き取れ、話せるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『中国を歩こう』(陳淑梅・蘇明／著　金星堂) 辞書、参考書などは授業中に指示します。	
成績評価	平常点(出席状況や受講態度、小テストなど)30％、学期末試験70％で評価する予定ですが、実際の状況をかんがみて、適時対処します。病気など特別な理由がない限り、基本的に授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象とはしないので、気をつけて下さい。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＡ（初級コース）（水2限）	１単位　前期
担当教員	唐　楽寧※	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉 凌非　著『ジョイフル中国語――初級編』(郁文堂) 参考書:辞書『最新中国語実用辞典』(隆美出版)	
成績評価	試験成績70％、小テスト・宿題・レポート30％で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＢ（初級コース）（水2限）	１単位　後期
担当教員	唐　楽寧※	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉 凌非　著『ジョイフル中国語――初級編』(郁文堂) 参考書:辞書『最新中国語実用辞典』(隆美出版)	
成績評価	試験成績70％、小テスト・宿題・レポート30％で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＡ（初級コース）（水2限）	１単位　前期
担当教員	桜木　陽子※	
授業概要	この授業では、中国語をこれまで学習したことのない学生を対象に、中国大陸で標準語として使われている「普通話」(いわゆる中国語)を学習します。 前期では、始めに声調とピンインの読み方を学習し、発音の習得につとめます。声調とピンインの読み方を一通り学習し終わったら、次に会話文を中心に、中国語の基本文法を学習します。	
到達目標	・中国語の発音の基礎を固める。特に発音記号であるピンインが読めるようになる。 ・中国語で自分の名前が書けて、言えるようになる。 ・中国語の挨拶言葉や簡単な会話ができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『中国を歩こう』(陳淑梅・蘇明／著　金星堂)辞書、参考書などは授業中に指示します。	
成績評価	平常点(出席状況や受講態度、小テストなど)30%、学期末試験70%で評価する予定ですが、実際の状況をかんがみて、適時対処します。病気など特別な理由がない限り、基本的に授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象とはしないので、気をつけて下さい。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＢ（初級コース）（水2限）	１単位　後期
担当教員	桜木　陽子※	
授業概要	この授業では、前期よりも更に複雑な中国語の文法を学習し、1年を通じて中国語の基本的な会話力を養成します。	
到達目標	中国語の簡単な会話が聞き取れ、読み取れ、書き取れ、話せるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『中国を歩こう』(陳淑梅・蘇明／著　金星堂) 辞書、参考書などは授業中に指示します。	
成績評価	平常点(出席状況や受講態度、小テストなど)30%、学期末試験70%で評価する予定ですが、実際の状況をかんがみて、適時対処します。病気など特別な理由がない限り、基本的に授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象とはしないので、気をつけて下さい。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＡ（初級コース）（水3限）	１単位　前期
担当教員	呉　凌非	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非　編「ジョイフル中国語ーー初級編」（郁文堂） 参考書:辞書　最新中国語実用辞典（隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、　小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＢ（初級コース）（水3限）	１単位　後期
担当教員	呉　凌非	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非　編「ジョイフル中国語ーー初級編」（郁文堂）参考書:辞書　最新中国語実用辞典（隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、　小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＡ（初級コース）（水3限）	１単位　前期
担当教員	林　虹※	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉 凌非　編「ジョイフル中国語ーー初級編」(郁文堂) 参考書:辞書　最新中国語実用辞典(隆美出版)	
成績評価	試験成績70%、小テスト・宿題・レポート30%で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＢ（初級コース）（水3限）	１単位　後期
担当教員	林　虹※	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉 凌非　編「ジョイフル中国語ーー初級編」(郁文堂) 参考書:辞書　最新中国語実用辞典(隆美出版)	
成績評価	試験成績70%、小テスト・宿題・レポート30%で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＡ（初級コース）（水3限）	１単位　前期
担当教員	秋岡　英行※	
授業概要	中国語をマスターするのに最も大切なことは、正しい発音を習得することと、基本文型を把握することである。とりわけこの授業では正しい発音を習得することに重点を置きながら、文法の学習とリスニングの練習を併せて行う。	
到達目標	正しい発音と基礎的な文法の習得。初歩的な日常会話ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	喜多山幸子、鄭幸枝著『はじめまして！中国語』（白水社）	
成績評価	定期試験の成績（80%）と小テストの成績（20%）で評価する。 ただし、授業数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＢ初級コース）（水3限）	１単位　後期
担当教員	秋岡　英行※	
授業概要	中国語をマスターするのに最も大切なことは、正しい発音を習得することと、基本文型を把握することである。とりわけこの授業では正しい発音を習得することに重点を置きながら、文法の学習とリスニングの練習を併せて行う。	
到達目標	正しい発音と基礎的な文法の習得。初歩的な日常会話ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	喜多山幸子、鄭幸枝著『はじめまして！中国語』（白水社）	
成績評価	定期試験の成績（80%）と小テストの成績（20%）で評価する。 ただし、授業数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＡ（初級コース）（水2限）	１単位　前期
担当教員	秋岡　英行※	
授業概要	中国語をマスターするのに最も大切なことは、正しい発音を習得することと、基本文型を把握することである。とりわけこの授業では正しい発音を習得することに重点を置きながら、文法の学習とリスニングの練習を併せて行う。	
到達目標	正しい発音と基礎的な文法の習得。初歩的な日常会話ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	喜多山幸子、鄭幸枝著『はじめまして！中国語』（白水社）	
成績評価	定期試験の成績（80%）と小テストの成績（20%）で評価する。 ただし、授業数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＢ（初級コース）（水2限）	１単位　後期
担当教員	秋岡　英行※	
授業概要	中国語をマスターするのに最も大切なことは、正しい発音を習得することと、基本文型を把握することである。とりわけこの授業では正しい発音を習得することに重点を置きながら、文法の学習とリスニングの練習を併せて行う。	
到達目標	正しい発音と基礎的な文法の習得。初歩的な日常会話ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	喜多山幸子、鄭幸枝著『はじめまして！中国語』（白水社）	
成績評価	定期試験の成績(80%)と小テストの成績(20%)で評価する。 ただし、授業数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡＡ（中級コース）（火1限）	１単位　前期
担当教員	板橋　凱希※	
授業概要	中国語Ｉにおいて習得した基礎知識を生かして、日本語と比較しながら、中国語文章の読解力を高めていく。同時に、中国の文化、自然、人情などについて映像を取り入れて紹介する。	
到達目標	中国語の一定の読解能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非 「ジョイフル中国語」（郁文堂） 参考書:辞書　最新中国語実用辞典 （隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、 小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡＢ（中級コース）（火1限）	１単位　後期
担当教員	板橋　凱希※	
授業概要	中国語Ｉにおいて習得した基礎知識を生かして、日本語と比較しながら、中国語文章の読解力を高めていく。同時に、中国の文化、自然、人情などについて映像を取り入れて紹介する。	
到達目標	中国語の一定の読解能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非 「ジョイフル中国語」（郁文堂） 参考書:辞書　最新中国語実用辞典 （隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、 小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡＡ（中級コース）（火2限）	１単位　前期
担当教員	地蔵堂　貞二	
授業概要	中国語ＩＡ、ＩＢの単位を取得した学生を対象に、テキストに沿って、既習の文法知識（基本文型）を復習・整理しながら、大量の練習問題をこなすことで、初級中国語から中級中国語へと導入します。	
到達目標	簡単なコミュニィケーションがはかれる能力を培います。中国語検定試験でいえば、 4級レベルを目指します。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:郭春貴他著『初級から中級へ中国語作文-改訂版-』(白帝社) 参考書:『中国語教室Q＆A101』(大修館書店)	
成績評価	定期試験の成績で評価します。ただし、3分の1以上欠席した者は評価の対象としません。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡＢ（中級コース）（火2限）	１単位　後期
担当教員	地蔵堂　貞二	
授業概要	中国語Ｉの単位を取得した学生を対象に、テキストに沿って、既習の文法知識（基本文型）を復習・整理しながら、大量の練習問題をこなすことで、初級中国語から中級中国語へと導入します。	
到達目標	簡単なコミュニィケーションがはかれる能力を培います。中国語検定試験でいえば、 4級レベルを目指します。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:郭春貴他著『初級から中級へ中国語作文-改訂版-』(白帝社) 参考書:『中国語学習Q＆A101』(大修館書店)『中国語教室Q＆A101』(大修館書店)	
成績評価	定期試験の成績で評価します。ただし、3分の1以上欠席した者は評価の対象としません。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡＡ（中級コース）（火2限）	１単位　前期
担当教員	板橋　凱希※	
授業概要	中国語Ｉにおいて習得した基礎知識を生かして、日本語と比較しながら、中国語文章の読解力を高めていく。同時に、中国の文化、自然、人情などについて映像を取り入れて紹介する。	
到達目標	中国語の一定の読解能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非 「ジョイフル中国語」（郁文堂） 参考書:辞書　最新中国語実用辞典 （隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、 小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡＢ（中級コース）（火2限）	１単位　後期
担当教員	板橋　凱希※	
授業概要	中国語Ⅰにおいて習得した基礎知識を生かして、日本語と比較しながら、中国語文章の読解力を高めていく。同時に、中国の文化、自然、人情などについて映像を取り入れて紹介する。	
到達目標	中国語の一定の読解能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非 「ジョイフル中国語」（郁文堂）参考書:辞書　最新中国語実用辞典 （隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、 小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡＡ（中級コース）（火3限）	１単位　前期
担当教員	板橋　凱希※	
授業概要	中国語Ⅰにおいて習得した基礎知識を生かして、日本語と比較しながら、中国語文章の読解力を高めていく。同時に、中国の文化、自然、人情などについて映像を取り入れて紹介する。	
到達目標	中国語の一定の読解能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非 「ジョイフル中国語」（郁文堂）参考書:辞書　最新中国語実用辞典 （隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、 小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡＢ（中級コース）（火3限）	１単位　後期
担当教員	板橋　凱希※	
授業概要	中国語Ⅰにおいて習得した基礎知識を生かして、日本語と比較しながら、中国語文章の読解力を高めていく。同時に、中国の文化、自然、人情などについて映像を取り入れて紹介する。	
到達目標	中国語の一定の読解能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非 「ジョイフル中国語」（郁文堂）参考書:辞書　最新中国語実用辞典 （隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、 小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡA（中級コース）（火3限）	１単位　前期
担当教員	林　虹※	
授業概要	中国語Ⅰにおいて習得した基礎知識を生かして、日本語と比較しながら、中国語文章の読解力を高めていく。同時に、中国の文化、自然、人情などについて映像を取り入れて紹介する。	
到達目標	中国語の一定の読解能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非 「ジョイフル中国語」（郁文堂）参考書:辞書　最新中国語実用辞典 （隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、 小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡB（中級コース）（火3限）	１単位　後期
担当教員	林　虹※	
授業概要	中国語Ⅰにおいて習得した基礎知識を生かして、日本語と比較しながら、中国語文章の読解力を高めていく。同時に、中国の文化、自然、人情などについて映像を取り入れて紹介する。	
到達目標	中国語の一定の読解能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉　凌非 「ジョイフル中国語」（郁文堂）参考書:辞書　最新中国語実用辞典 （隆美出版）	
成績評価	試験成績　70%、 小テスト・宿題・レポート　30%　で評価する。	
履修資格		

科目名	朝鮮語ＩＡ（初級コース）（水2限）	１単位　前期
担当教員	呉　賢欄※	
授業概要	・文字を覚え、覚えた文字を活用しながら、必要な文法を学びます。 ・繰り返し練習しながら学習事項の定着をはかり、次年度以降の勉強につなげます。	
到達目標	朝鮮語の文字や発音、基礎的な文法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:木内明、『基礎から学ぶ韓国語講座　初級』（国書刊行会） 参考書:『パスポート朝鮮語小辞典　朝和＋和朝』（白水社）	
成績評価	期末試験60%、宿題・小試験20%、プレゼンテーション10%、ライティング・ライティング課題10%。授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしません。	
履修資格		

科目名	朝鮮語ＩＢ（初級コース）（水2限）	１単位　後期
担当教員	呉　賢欄※	
授業概要	・文字を覚え、覚えた文字を活用しながら、必要な文法を学びます。 ・繰り返し練習しながら学習事項の定着をはかり、次年度以降の勉強につなげます。	
到達目標	朝鮮語で簡単な会話ができるようになることが目標です。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:木内明、『基礎から学ぶ韓国語講座　初級』（国書刊行会） 参考書:『パスポート朝鮮語小辞典　朝和＋和朝』（白水社）	
成績評価	期末試験60％、宿題・小試験20％、プレゼンテーション10％、ライティング・ライティング課題10％。授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしません。	
履修資格		

科目名	朝鮮語ＩＡ（初級コース）（水3限）	１単位　前期
担当教員	呉　賢欄※	
授業概要	・文字を覚え、覚えた文字を活用しながら、必要な文法を学びます。 ・繰り返し練習しながら学習事項の定着をはかり、次年度以降の勉強につなげます。	
到達目標	朝鮮語の文字や発音、基礎的な文法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:木内明、『基礎から学ぶ韓国語講座　初級』（国書刊行会） 参考書:『パスポート朝鮮語小辞典　朝和＋和朝』（白水社）	
成績評価	期末試験60％、宿題・小試験20％、プレゼンテーション10％、ライティング・ライティング課題10％。授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしません。	
履修資格		

科目名	朝鮮語ＩＢ（初級コース）（水3限）	１単位　後期
担当教員	呉　賢欄※	
授業概要	・文字を覚え、覚えた文字を活用しながら、必要な文法を学びます。 ・繰り返し練習しながら学習事項の定着をはかり、次年度以降の勉強につなげます。	
到達目標	朝鮮語で簡単な会話ができるようになることが目標です。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:木内明、『基礎から学ぶ韓国語講座　初級』（国書刊行会） 参考書:『パスポート朝鮮語小辞典　朝和＋和朝』（白水社）	
成績評価	期末試験60％、宿題・小試験20％、プレゼンテーション10％、ライティング・ライティング課題10％。授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしません。	
履修資格		

科目名	朝鮮語ⅡＡ（中級コース）（火2限）	１単位　前期
担当教員	崔　眞善※	
授業概要	「朝鮮語Ⅰ」で学習したことを基本として、より韓国・朝鮮語らしい表現、より複雑な表現を学ぶ。文化的な事柄に関する知識に基づいて日常会話で使える定型の表現パターンを練習する。実際のコミュニケーションに適用できる発音練習や文法の習得に中点を置く。	
到達目標	簡単な会話が可能になるように読み、書きの練習をすることで、中級のレベルの会話力や表現力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:レベルテストの後、選定する予定 参考書　:韓日、日韓辞典	
成績評価	毎回のライティング課題の提出・授業中会話練習の評価 30%、 テスト40%、 小テスト30%	
履修資格		

科目名	朝鮮語ⅡＢ（中級コース）（火2限）	１単位　後期
担当教員	崔　眞善※	
授業概要	「朝鮮語Ⅰ」で学習したことを基本として、より韓国・朝鮮語らしい表現、より複雑な表現を学ぶ。文化的な事柄に関する知識に基づいて日常会話で使える定型の表現パターンを練習する。実際のコミュニケーションに適用できる発音練習や文法の習得に中点を置く。	
到達目標	簡単な会話が可能になるように読み、書きの練習をすることで、中級のレベルの会話力や表現力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:レベルテストの後、選定する予定参考書　:韓日、日韓辞典	
成績評価	毎回のライティング課題の提出・授業中会話練習の評価 30%、 テスト40%、 小テスト30%	
履修資格		

科目名	日本語基礎ＩＡ	１単位　前期
担当教員	内田　孝※	
授業概要	様々な文字教材・音声教材・映像教材の活用、自由発言、意見交換、ペア活動、グループ活動などのコミュニケーション活動を通じて、日本語の発音・リズムに慣れ親しむとともに、日常生活の話題について聞いたり話したりする手法を学ぶ。様々な場面の日常会話の中で用いられている基本的な語彙および文法項目を復習・確認しながら、新たな語彙・文法項目を習得する。	
到達目標	日常的な場面で必要とされる基本的な語彙・文法・表現を習得し、それらに基づいた発話・聴解・読解・作文の能力を総合的に高める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:講義の中で適宜紹介する。指定図書:講義の中で適宜紹介する。 参考書:講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	期末テスト50%、小テスト・発表などの課題達成50%。 授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	日本語基礎ＩＢ	１単位　後期
担当教員	内田　孝※	
授業概要	様々な文字教材・音声教材・映像教材の活用、自由発言、意見交換、ペア活動、グループ活動などのコミュニケーション活動を通じて、日本語の発音・リズムに慣れ親しむとともに、日常生活の話題について聞いたり話したりする手法を学ぶ。様々な場面の日常会話の中で用いられている基本的な語彙および文法項目を復習・確認しながら、新たな語彙・文法項目を習得する。	
到達目標	日常的な場面で必要とされる基本的な語彙・文法・表現に慣れ、それに基づいた発話・聴解・読解・作文の能力を総合的に高める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義の中で適宜紹介する。指定図書：講義の中で適宜紹介する。 参考書：講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	期末テスト50％、小テスト・発表などの課題達成50％。 授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	日本語基礎ⅡＡ	１単位　前期
担当教員	上野山　愛弥※	
授業概要	初級で学んだ基礎項目を復習しながら、日本の大学で学ぶために必要な4技能のバランスがとれた日本語能力を養う。日常会話を練習し、初級より自然で円滑なコミュニケーションの方法を身につける。	
到達目標	(1) 日本の大学の授業が理解できるように「聴解」の力をつける。 (2)レポートが書けるように読解・作文の力をつける。 (3) 初級より複雑な、目的に合った日本語を運用できるようにする。 (4) 自分の考えを話せるように、談話能力をつける。 (5)「日本語能力試験N3」合格を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『みんなの日本語中級Ｉ』 指定図書：適宜紹介 参考書：適宜紹介	
成績評価	中間試験30％、期末試験30％、授業への参加度40％	
履修資格		

科目名	日本語基礎ⅡＢ	１単位　後期
担当教員	上野山　愛弥※	
授業概要	初級で学んだ基礎項目を復習しながら、日本の大学で学ぶために必要な4技能のバランスがとれた日本語能力を養う。日常会話を練習し、初級より自然で円滑なコミュニケーションの方法を身につける。	
到達目標	(1) 日本の大学の授業が理解できるように「聴解」の力をつける。 (2)レポートが書けるように読解・作文の力をつける。 (3) 初級より複雑な、目的に合った日本語を運用できるようにする。 (4) 自分の考えを話せるように、談話能力をつける。 (5)「日本語能力試験N3」合格を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『みんなの日本語中級Ｉ』 指定図書：適宜紹介 参考書：適宜紹介	
成績評価	中間試験30％、期末試験30％、授業への参加度40％	
履修資格		

科目名	日本語基礎ⅢＡ	１単位　前期
担当教員	富川　和代※	
授業概要	初級日本語で学んだ基礎項目を復習しながら、日本の大学で学ぶために必要な総合的な日本語能力を養うために、「JLPT　N3」対策をする。	
到達目標	(1)N3レベルの語彙(特に意味だけでなく、現実的な用法)の力をつける。 (2)N3レベルの漢字(特に読み)の力をつける (3)N3レベルの文法・読解(特に文法を鍵にしての文の組み立て)の力をつける (4)N3レベルの聴解(特に情報のポイントをつかむ実際的な聞き方)の力をつける	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業で指示する 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	中間試験30%　期末試験30%　授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	日本語基礎ⅢＢ	１単位　後期
担当教員	富川　和代※	
授業概要	初級日本語で学んだ基礎項目を復習しながら、日本の大学で学ぶために必要な総合的な日本語能力を養うために、「JLPT　N3」対策をする。	
到達目標	(1)N3レベルの語彙(特に言い換え、類似表現)の力をつける。 (2)N3レベルの漢字(特に促音・半濁音への変化　例外的な読み方)の力をつける (3)N3レベルの文法・読解(特に文章の流れの理解)の力をつける (4)N3レベルの聴解(特に推測しながら、全体の概要の把握)の力をつける	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業で指示する 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	中間試験30%　期末試験30%　授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	日本語基礎ⅣＡ	１単位　前期
担当教員	富川　和代※	
授業概要	資料によって背景的知識を得ながら、新聞記事を読み、各分野で注目されている話題に触れる。断片的であり、論理の飛躍のある「新聞記事」を読むことにより「読解力」を養う。ニュースに関して独自の意見を述べる。	
到達目標	(1)新聞の記事を読むことによって「読解」の力をつける。 (2)新聞の記事を通して、幅広い知識を得る。 (3)新聞の記事に関しての独自の意見をまとめる力をつける。 (4)「JLPT　N2」レベルの力をつける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業で指示する 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	中間試験30%　期末試験30%　授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	日本語基礎Ⅳ B	１単位　後期
担当教員	富川　和代※	
授業概要	資料によって背景的知識を得ながら、新聞記事を読み、各分野で注目されている話題に触れる。断片的であり、論理の飛躍のある「新聞記事」を読むことにより「読解力」を養う。ニュースに関して独自の意見を述べる。	
到達目標	(1)新聞の記事が理解できるように「読解」の力をつける。 (2)新聞の読解を通して幅広い知識を得る。 (3)新聞の記事に関しての独自の意見をまとめる力をつける。 (4)「日本語能力試験N2」レベルの力をつける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業で指示する 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	中間試験30％　期末試験30％　授業への参加度40％	
履修資格		

科目名	日本語基礎Ⅴ A	１単位　前期
担当教員	上野山　愛弥※	
授業概要	「日本語能力試験N2」レベルの問題を解き、合格できる力を身につけていく。	
到達目標	(1)幅広い話題について書かれた文章の内容が理解できる。 (2)まとまりのある会話やニュースを聞いて、内容や要旨を把握することができる。 (3)日本語能力試験N2に合格できる力を身につけ、総合的な日本語能力を高める。	
テキスト 指定図書 参考書	資料を配布する	
成績評価	中間試験30%、期末試験30%、授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	日本語基礎Ⅴ B	１単位　後期
担当教員	上野山　愛弥※	
授業概要	「日本語能力試験N2」レベルの問題を解き、合格できる力を身につけていく。	
到達目標	(1)幅広い話題について書かれた文章の内容が理解できる。 (2)まとまりのある会話やニュースを聞いて、内容や要旨を把握することができる。 (3)日本語能力試験N2に合格できる力を身につけ、総合的な日本語能力を高める。	
テキスト 指定図書 参考書	資料を配布する	
成績評価	中間試験30%、期末試験30%、授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	日本語基礎ⅥＡ	１単位　前期
担当教員	富川　和代※	
授業概要	中級日本語で学んだ項目を復習しながら、日本の大学で学ぶために必要な日本語での「講義」の内容を理解できる能力を養う。	
到達目標	(1)日本の大学の授業の内容を理解できるように、情報の単位を一つずつ取り入れる力をつける。 (2)日本の大学の授業の内容が理解できるように、語彙、表現の意味・機能を知る。 (3)日本の大学の授業の内容が理解できるように、予測しながら聞く力をつける。 (4)書きことばと話し言葉の発音の区別ができる力をつける。 (5)「JLPT　N2」レベルの力をつける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業で指示する 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	中間試験30%　期末試験30%　授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	日本語基礎ⅥＢ	１単位　後期
担当教員	富川　和代※	
授業概要	中級日本語で学んだ項目を復習しながら、日本の大学で学ぶために必要な日本語での「講義」の内容を理解できる能力を養う。	
到達目標	(1)日本の大学の授業の内容が理解できるような「聴解」の力(特に構成の確認)をつける。 (2)日本の大学の授業の内容が理解できるような「聴解」の力(特に常識・文脈・文法の知識による補いができる)をつける。 (3)聞きながらメモを取る力をつける。 (4)自分の聞き取りの弱点を知り、克服できるようにする。 (5)「JLPT　N2」レベルの力をつける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業で指示する 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	中間試験30%　期末試験30%　授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	日本語ＩＡ	１単位　前期
担当教員	富川　和代※	
授業概要	日本の大学で、日本語でレポートを作成できるように、文型・表現・展開パターンなどを学び、「読んでまとめる力」と「書く力」を養う。	
到達目標	(1)日本の大学で、日本語でレポートが作成できる力をつける。 (2)「JTEST　準B」レベルの力をつける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業で指示する 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	中間試験30%　期末試験30%　授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	日本語ＩＢ	１単位　後期
担当教員	富川　和代※	
授業概要	日本の大学で、日本語でレポートを作成できるように、文型・表現・展開パターンを学び、「読んでまとめる力」と「書く力」を養う。	
到達目標	(1)日本の大学で、日本語でレポートが作成できる力をつける。 (2)「JTEST　B」レベルの力をつける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業で指示する 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	中間試験30%　期末試験30%　授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	日本語ⅡＡ	１単位　前期
担当教員	上野山　愛弥※	
授業概要	バランスのとれた日本語運用能力を高め、まとめる力、書く力、発表する力を身につける。また口頭発表と本格的な討論の力をつける。そのためにテーマに即したスピーチの練習をし、討論の意義およびその種類と実施方法を学ぶ。	
到達目標	(1)まとめる力・書く力を磨く。 (2)発表の力を養う。 (3)聞く力を磨く。 (4)論点の明確化・論証・論駁の方法に慣れる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業で指示する 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	中間試験30%　期末試験30%　授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	日本語ⅡＢ	１単位　後期
担当教員	上野山　愛弥※	
授業概要	バランスのとれた日本語運用能力を高め、まとめる力、書く力、発表する力を身につける。また口頭発表と本格的な討論の力をつける。そのためにテーマに即したスピーチの練習をし、討論の意義およびその種類と実施方法を学ぶ。	
到達目標	(1)まとめる力・書く力を磨く。 (2)発表の力を養う。 (3)聞く力を磨く。 (4)論点の明確化・論証・論駁の方法に慣れる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業で指示する 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	中間試験30%　期末試験30%　授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	日本語ⅢＡ	１単位　前期
担当教員	内田　孝※	
授業概要	留学生が大学の授業を理解し、また自身が専門的な研究活動を行うために必要となる日本語能力の習得を目指す。特に本授業では、様々な文体の使い分けを学んだ後で、学術的なレポート、調査・観察・実験の説明文、論文を書く技能および読む技能を中心に伸ばすことをねらいとしている。 前期は特に、内容要約文、説明文などの文章を中心に表現形式を理解し、例文や練習問題を用いながら文章表現力を向上させる。また、パソコンを用いた日本語入力、文書作成方法を習得する。	
到達目標	日本語による文体の使い分けができるようになる。また、パソコンを最大限に活用しつつ、適切な表現・構成・内容のレポート、調査・観察・実験の説明文、論文が書けるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義の中で適宜紹介する。 指定図書：講義の中で適宜紹介する。 参考書：講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	期末テスト50％、小テスト・発表などの課題達成50％。 授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格	「日本語Ⅱ」修了が望ましい	

科目名	日本語ⅢＢ	１単位　後期
担当教員	内田　孝※	
授業概要	留学生が大学の授業を理解し、また自身が専門的な研究活動を行うために必要となる日本語能力の習得を目指す。特に本授業では、様々な文体の使い分けを学んだ後で、学術的なレポート、調査・観察・実験の説明文、論文を書く技能および読む技能を中心に伸ばすことをねらいとしている。 後期は特に、研究レポート、論文などの文章を中心に表現形式を理解し、例文や練習問題を用いながら文章表現力を向上させる。また、実際に自身で選んだテーマで小論文を執筆する。	
到達目標	日本語による文体の使い分けができるようになる。また、パソコンを最大限に活用しつつ、適切な表現・構成・内容のレポート、調査・観察・実験の説明文、論文が書けるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義の中で適宜紹介する。 指定図書：講義の中で適宜紹介する。 参考書：講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	期末テスト50％、小テスト・発表などの課題達成50％。 授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	日本語ⅣＡ	１単位　前期
担当教員	富川　和代※	
授業概要	日本語Ⅰ（日本語レポートライティング）で学んだことを発展させ、レポートを日本語で発表する方法を学び、実践する。	
到達目標	(1)プレゼンテーションの流れを理解する (2)スライドの作り方に慣れる (3)発表に必要な表現を身につける (4)アンケート調査の方法を身につける。 (5)「JTEST準A」レベルの力を付ける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業で指示する。 指定図書：適宜紹介 参考書：適宜紹介	
成績評価	中間試験30％　期末試験30％　授業への参加度40％	
履修資格		

科目名	日本語ⅣＢ	１単位　後期
担当教員	富川　和代※	
授業概要	日本語Ｉ（日本語レポートライティング）で学んだことを発展させ、レポート・論文を日本語で発表する方法を学び、実践する。	
到達目標	(1)データの入力ができるようになる。 (2)データの分析・考察ができるようになる。 (3)分析結果の考察を書けるようにする。 (4)スライドを作れるようにする。 (5)「JTESTA」レベルの日本語能力をつける	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業で指示 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	中間試験30%　期末試験30%　授業への参加度40%	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＡ（国際）	１単位　前期
担当教員	吉村　淳一	
授業概要	外国語や異文化について学ぶことは、相手の立場に立つ手段を得ることであり、また母語や自国の文化への理解を深めることにも通じる。使いこなせる言語の数が増えれば、自分自身の世界も広がる。外国語を習得するためには、文法や語彙を学び、実際にそれらを使って表現してみる必要がある。この授業では、特に「話す」、「聞く」力に重点を置き、ペア練習、グループ練習、個人指導により、楽しんで文法を学べるように配慮する。また、できるかぎり実物教材やプリントを使って、文化紹介をしたり、5分から10分程度の音楽や映像を提示したりする。	
到達目標	発音、語順、動詞(現在人称変化、話法の助動詞、分離動詞)、名詞類(性・数・格)、冠詞についての文法的な知識を習得する。単文レベルの簡単な会話ができることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:佐藤修子/ハイケ・パーペンティン/下田恭子/ゲーザ・オルデハーフェル『スツェーネン1場面で学ぶドイツ語(CD付)』(三修社)。ISBN:978-4-384-12244-2. ただし、主としてプリントで授業を行う。	
成績評価	小テスト、課題、会話の練習(40%)と定期試験(60%)の成績により評価する。欠席や遅刻した場合は全体の評点から減点することとする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ＩＢ（国際）	１単位　前期
担当教員	アンヤ　スリワ※	
授業概要	ドイツ語ＩＡとペアになって連携しながら授業を進めていく。こちらの授業では、ドイツ語ＩＡで学んだ文法事項を日常の様々な場面で実際に使う練習をする。ドイツ語圏に行った場合、どのような場面でどのような表現を使えばよいのか学習し、習得していく。今年度が初めての授業になるので、履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。	
到達目標	発音や文章表現・文法的な知識を習得し、簡単な会話ができることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 佐藤修子 / ハイケ・パーペンティン / 下田恭子 / ゲーザ・オーデルハーフェル 『スツェーネン1. 場面で学ぶドイツ語 (CD付)』(三修社)。	
成績評価	会話の練習(50%)と定期試験の成績(50%)により評価する。欠席や遅刻の場合は、評点から減点することとする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ⅡＡ（国際）	１単位　後期
担当教員	吉村　淳一	
授業概要	ドイツ語Ｉで習得した基礎文法を復習しながら、さらに高度な会話の練習をする。その際、教科書のテーマに沿って、実物教材やプリントを用意し、ドイツ文化の知識を深めるように努める。授業の進め方に関して言えば、前回の復習、文法事項の確認、会話の練習（プリント教材）、習熟度に応じて小テストなどを行う。また文化紹介の時間を設けて、5分から10分程度の音楽や映像を提示するので、ヨーロッパ諸国の一員であるドイツを知る手がかりにしてもらいたい。	
到達目標	zu-不定詞、現在完了形、過去形、形容詞の変化、受動態、関係代名詞、接続法などの文法の知識を身につける。比較的難しい会話表現を習得することを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 佐藤修子/下田恭子/ハイケ・パーペンティン/ゲーザ・オーデルハーフェル/ダニエル・アーノルド/トーラルフ・ハイネマン『スツェーネン2コンパクト 場面で学ぶドイツ語（CD＆ワークブック付き）』（三修社）。ISBN:978-4-384-13090-4. ただし、この授業では主としてプリントを用いて必要に応じて教科書を参照する。	
成績評価	読解練習の担当および小テスト、課題、会話の練習（40％）と定期試験（60％）の成績により評価する。欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ⅡB（国際）	１単位　後期
担当教員	アンヤ　スリワ※	
授業概要	ドイツ語Ｉ同様、ドイツ語ⅡAとペアになって連携しながら授業を進めていく。こちらの授業では引き続き、ドイツ語ⅡAで学んだ文法事項を日常の様々な場面で実際に使う練習をする。ドイツ語圏に行った場合、どのような場面でどのような表現を使えばよいのか学習し、習得していく。また文法と語彙の知識に合わせ、より複雑な表現も身につけていくようにする。ドイツ語Ｉ同様、今年度が初めての授業になるので、履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。	
到達目標	発音や文章表現・文法的な知識を習得し、ある程度複雑な会話ができることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケ・パーペンティン / ゲーザ・オーデルハーフェル / ダニエル・アーノルド / トーラルフ・ハイネマン 『スツェーネン2. コンパクト　場面で学ぶドイツ語 (CD＆ワークブック付き)』(三修社)。	
成績評価	会話の練習(50％)と定期試験の成績(50％)により評価する。欠席や遅刻の場合は、評点から減点することとする。	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＡ（国際）	１単位　前期
担当教員	長島　律子	
授業概要	フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。	
到達目標	「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の、すべての面において、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	教科書:山崎　庸一郎　他著 『新・フランス語の広場』(第三書房) 辞書については、はじめの授業で説明するので、それまでは購入しないこと。	
成績評価	定期試験50％、小テストと課題50％。	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＢ（国際）	１単位　前期
担当教員	ジル　フェルナンデス※	
授業概要	フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、所謂文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。	
到達目標	「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の、すべての面において、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	教科書：Gaël Crépieux/Philippe Callens他著『Spirale』Hachette-Pearson Education Japan	
成績評価	定期試験50％、小テストと課題50％。	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＩＡ（国際）	１単位　後期
担当教員	長島　律子	
授業概要	フランス語の基礎能力の定着と、中級に向けての展開。フランス語Iで学んだ文法、語法、語彙を補填し、より高度な表現力を身につける。	
到達目標	「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の、すべての面において、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、簡単なコミュニケーションが行なえるようになることを目的とする。	
テキスト 指定図書 参考書	フランス語IAで使用した教科書とプリント。	
成績評価	定期試験50％、課題と小テスト50％。	
履修資格		

科目名	フランス語ＩＩＢ（国際）	１単位　後期
担当教員	ジル　フェルナンデス※	
授業概要	フランス語の基礎能力の定着と、中級に向けての展開。フランス語Iで学んだ文法、語法、語彙を補填し、より高度な表現力を身につける。	
到達目標	「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の、すべての面において、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、簡単なコミュニケーションが行なえるようになることを目的とする。	
テキスト 指定図書 参考書	フランス語IAで使用した教科書ほか（未定）。	
成績評価	定期試験50％、課題と小テスト50％。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＡ（国際）	１単位　前期
担当教員	地蔵堂　貞二	
授業概要	中国語ＩＡは中国語の基礎を学びます。先ず徹底した発音の習得に努め、簡単な日常の挨拶語も学びます。同時に基本文型（文法知識）はもちろん、簡単なリスニング等を含めた大量の練習問題をプリント（適宜配布）を用いて実施します。	
到達目標	簡単な日常の挨拶ができるとともに、中国語検定4級を目指します。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『新編　実用漢語課本』（相原茂・徐甲申著　東方書店） 参考書:『新版中国語入門Ｑ＆Ａ』（大修館書店）	
成績評価	定期試験の成績で評価します。	
履修資格		

科目名	中国語ＩＢ（国際）	１単位　前期
担当教員	呉　凌非	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:呉 凌非　編「ジョイフル中国語ーー初級編」（郁文堂）参考書:辞書　最新中国語実用辞典（隆美出版）	
成績評価	試験成績70％、小テスト・宿題・レポート30％で評価する。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡＡ（国際）	１単位　後期
担当教員	地蔵堂　貞二	
授業概要	中国語ⅡＡは中国語ＩＡに引き続いて、中国語の基本文型（文法知識）を学びます。その過程で、簡単なリスニング等を含めた大量の練習問題をプリント（適宜配布）を用いて実施します。	
到達目標	簡単な会話ができるとともに、中国語検定3級を目指します。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『新編　実用漢語課本』（相原茂・徐甲申著　東方書店） 参考書:『新版中国語入門Ｑ＆Ａ』（大修館書店）	
成績評価	定期試験の成績で評価します。	
履修資格		

科目名	中国語ⅡB（国際）	１単位　後期
担当教員	呉　凌非	
授業概要	中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。	
到達目標	正しく中国語の発音ができ、基本文法と簡単な日常会話ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：呉 凌非　編「ジョイフル中国語――初級編」（郁文堂）参考書：辞書　最新中国語実用辞典（隆美出版）	
成績評価	試験成績70％、小テスト・宿題・レポート30％で評価する。	
履修資格		

科目名	朝鮮語ＩＡ（国際）	１単位　前期
担当教員	河　かおる	
授業概要	文字のしくみ、発音の学習から始まり、基礎的な語彙と文法を理解し、簡単な文章作成、自己紹介など日常の基礎的な表現、辞書の活用法などを学び、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な力をつける。なお、授業は朝鮮語ＩＢと同じテキストを用いて一体的に進行する。	
到達目標	韓国語能力試験（TOPIK)1級、ハングル能力検定試験5級に合格する程度の語彙・文法、作文、聞き取り、読解の力を総合的に身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：金京子/喜多恵美子『改訂版　パランセ韓国語　初級』（朝日出版社）定価2,415円	
成績評価	宿題など毎回の授業参加　30％ 小テスト・中間テスト　30％ 期末テスト　40％	
履修資格		

科目名	朝鮮語ＩB（国際）	１単位　前期
担当教員	松井　聖一郎※	
授業概要	文字のしくみ、発音の学習から始まり、基礎的な語彙と文法を理解し、簡単な文章作成、自己紹介など日常の基礎的な表現、辞書の活用法などを学び、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な力をつける。なお、授業は朝鮮語ＩAと同じテキストを用いて一体的に進行する。	
到達目標	韓国語能力試験（TOPIK)1級、ハングル能力検定試験5級に合格する程度の語彙・文法、作文、聞き取り、読解の力を総合的に身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：金京子『パランセ韓国語　初級』（朝日出版社）定価2,415円	
成績評価	宿題などの提出物　30％ 小テスト　30％ 期末テスト　40％	
履修資格		

科目名	朝鮮語ⅡＡ（国際）	１単位　後期
担当教員	河　かおる	
授業概要	朝鮮語ＩＡ・ＩＢで修得した基礎的な力を、語彙・文法両面において充実させ、より複雑な言い回しや文法を学び、語彙を増やし、中級程度のコミュニケーションに必要な力をつける。 なお、授業は朝鮮語ⅡBと同じテキストを用いて一体的に進行する。	
到達目標	韓国語能力試験（TOPIK）2級、ハングル能力検定試験4級に合格する程度の語彙・文法、作文、聞き取り、読解の力を総合的に身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	金京子『パランセ韓国語　中級』（朝日出版社）定価2,520円	
成績評価	宿題など毎回の授業参加　30％ 小テストなど　30％ 期末テスト　40％	
履修資格		

科目名	朝鮮語ⅡＢ（国際）	１単位　後期
担当教員	松井　聖一郎※	
授業概要	朝鮮語ＩＡ・ＩＢで修得した基礎的な力を、語彙・文法両面において充実させ、より複雑な言い回しや文法を学び、語彙を増やし、中級程度のコミュニケーションに必要な力をつける。 なお、授業は朝鮮語ⅡAと同じテキストを用いて一体的に進行する。	
到達目標	韓国語能力試験（TOPIK）2級、ハングル能力検定試験4級に合格する程度の語彙・文法、作文、聞き取り、読解の力を総合的に身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	金京子/喜多恵美子『改訂版　パランセ韓国語　初級』（朝日出版社）定価2,415円（第4回まで、朝鮮語ＩＡ・ＩＢで使用したテキストです） 金京子『パランセ韓国語　中級』（朝日出版社）定価2,520円（第5回目以降）	
成績評価	宿題などの提出物　30％ 小テスト　30％ 期末テスト　40％	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＡ①（火1限）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	特にTOEICのリスニングと語彙力強化にポイントを置いた授業です。目で見て理解できるリーディングに比べて、音声で聞いて理解しなければならないリスニングでは、語彙力増強のための方法も異なってきます。「音声」「綴り」「意味」の三つの側面から耳で聞いた場合でも、目で見た場合と同様に意味を理解できるようになることを目指します。 予復習を重視し、家庭学習においてe-Learningシステムを積極的に活用します。	
到達目標	・TOEICスコア500点以上相当の英語力を身につける ・実用英語に慣れる ・語彙力をつける	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:LISTENING AND VOCABULARY TRAINING FOR THE TOEIC TEST (Satoru Furuya, Mikako Fujioka, Geoffery Tozer) 適宜配布するハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、家庭学習＋提出物＋小テスト（40％） 中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。また授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象とはしません。 履修登録時点で、到達目標であるTOEICスコア500点を達成している（IPテストでのスコアも可）場合は、本科目の単位を認定します（評価は「認定」）。	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＡ②（火1限）	１単位　前期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	このクラスでは、2006年に公開された映画『プラダを着た悪魔』を通して、アメリカの文化、また皮肉や冗談などの様々な生きたアメリカ英語およびイギリス英語の表現方法等を学習する。最終的には字幕なしで本映画を理解できるようになることを目標とする。 ＊授業内容や授業計画、成績評価の方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	・アメリカの文化、また皮肉や冗談などの様々な生きたアメリカ英語およびイギリス英語の表現方法等を習得する。 ・最終的には字幕なしで本映画を理解できるようになる。 ・TOEICスコア500点以上相当の英語力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	Aline Brosh McKenna『The Devil Wears Prada』ISBN-13: 978-4881986363	
成績評価	授業中の発表・授業への参加度　50% 期末試験　50% なお、出席していたとしても、毎週の宿題をしてこない場合は欠席扱いとする。5回以上欠席をした場合、評価対象外とする。また、遅刻・早退3回で1回欠席扱いとする。 履修登録時点で、到達目標であるTOEIC公式テストのスコア500点を達成している（IPテストのスコアも可）場合は、本科目の単位を認定する（評価は「認定」）。	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＡ③（火2限）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	特にTOEICのリスニングと語彙力強化にポイントを置いた授業です。目で見て理解できるリーディングに比べて、音声で聞いて理解しなければならないリスニングでは、語彙力増強のための方法も異なってきます。「音声」「綴り」「意味」の三つの側面から耳で聞いた場合でも、目で見た場合と同様に意味を理解できるようになることを目指します。 予復習を重視し、家庭学習においてe-Learningシステムを積極的に活用します。	
到達目標	・TOEICスコア500点以上相当の英語力を身につける ・実用英語に慣れる ・語彙力をつける	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:LISTENING AND VOCABULARY TRAINING FOR THE TOEIC TEST (Satoru Furuya, Mikako Fujioka, Geoffery Tozer) 適宜配布するハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト（各30%）、家庭学習＋提出物＋小テスト（40%） 　中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。また授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象とはしません。 　履修登録時点で、到達目標であるTOEICスコア500点を達成している（IPテストでのスコアも可）場合は、本科目の単位を認定します（評価は「認定」）。	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＡ④（火2限）	１単位　前期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	このクラスでは、2006年に公開された映画『プラダを着た悪魔』を通して、アメリカの文化、また皮肉や冗談などの様々な生きたアメリカ英語およびイギリス英語の表現方法等を学習する。最終的には字幕なしで本映画を理解できるようになることを目標とする。 ＊授業内容や授業計画、成績評価の方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	・アメリカの文化、また皮肉や冗談などの様々な生きたアメリカ英語およびイギリス英語の表現方法等を習得する。 ・最終的には字幕なしで本映画を理解できるようになる。 ・TOEICスコア500点以上相当の英語力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	Aline Brosh McKenna『The Devil Wears Prada』ISBN-13: 978-4881986363	
成績評価	授業中の発表・授業への参加度　50% 期末試験　50% なお、出席していたとしても、毎週の宿題をしてこない場合は欠席扱いとする。5回以上欠席をした場合、評価対象外とする。また、遅刻・早退3回で1回欠席扱いとする。 履修登録時点で、到達目標であるTOEIC公式テストのスコア500点を達成している（IPテストのスコアも可）場合は、本科目の単位を認定する（評価は「認定」）。	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＡ⑤（火2限）	１単位　前期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講義は、TOEIC (Test of English for International Communication)形式のテキストを用いて、社会・経済・文化・科学・娯楽等の幅広いテーマを題材に、実用英語力の強化を目指すものである。毎回の授業は、ペアワーク(またはグループワーク)によって実施され、「解答のポイントを受講生が発表し、その内容を講師が補足する」というワークショップ形式で進行する。そのため、受講生みずから積極的な発言や相互の意見交換をすることが求められる。クラスでは、毎回異なる座席(パートナー)が指定される。 講義は、テキストを中心とした「理論型の学習」と、ディスカッションやプレゼンテーションなどを中心とした「実践型の演習」を組み合わせて展開し、「聴く・読む・書く・話す」英語の4技能の連携的強化を目指す。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1) 幅広い分野の語彙を身につけ、リーディングやリスニングの概要を把握することができる。 (2) TOEICの出題形式に慣れ、時間配分に留意して解答をすることができる。(3) 関心のある分野について、英語で簡単なプレゼンテーションができる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名: Essential Approach for the TOEIC Test 著　者: Naoko Osuka, Hisakazu Tsukano, Atsuko Yamamoto, Robert VanBenthuysen 出版社: Seibido (成美堂)、ISBN　: 9784791910922 備　考: 購入必須。(多くの書き込みや捺印をするので、必ず新しいものを購入すること。) 【参考書】書　名: Dictionary of Contemporary English(現代英英辞典 5訂版) 出版社: Longman 桐原書店、ISBN　: 9784342100949 備　考: 購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% (ペーパーテストと実技による評価) ・「準備課題」40% (自習準備の達成度による評価) ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	

科目名	実用英語演習ＩＡ⑥（火3限）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	特にTOEICのリスニングと語彙力強化にポイントを置いた授業です。目で見て理解できるリーディングに比べて、音声で聞いて理解しなければならないリスニングでは、語彙力増強のための方法も異なってきます。「音声」「綴り」「意味」の三つの側面から耳で聞いた場合でも、目で見た場合と同様に意味を理解できるようになることを目指します。 予復習を重視し、家庭学習においてe-Learningシステムを積極的に活用します。	
到達目標	・TOEICスコア500点以上相当の英語力を身につける ・実用英語に慣れる ・語彙力をつける	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:LISTENING AND VOCABULARY TRAINING FOR THE TOEIC TEST (Satoru Furuya, Mikako Fujioka, Geoffery Tozer) 適宜配布するハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト(各30%)、家庭学習＋提出物＋小テスト(40%) 中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。また授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象とはしません。履修登録時点で、到達目標であるTOEICスコア500点を達成している(IPテストでのスコアも可)場合は、本科目の単位を認定します(評価は「認定」)。	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＡ⑦（火3限）	１単位　前期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講義は、TOEIC (Test of English for International Communication)形式のテキストを用いて、社会・経済・文化・科学・娯楽等の幅広いテーマを題材に、実用英語力の強化を目指すものである。毎回の授業は、ペアワーク(またはグループワーク)によって実施され、「解答のポイントを受講生が発表し、その内容を講師が補足する」というワークショップ形式で進行する。そのため、受講生みずから積極的な発言や相互の意見交換をすることが求められる。クラスでは、毎回異なる座席(パートナー)が指定される。 講義は、テキストを中心とした「理論型の学習」と、ディスカッションやプレゼンテーションなどを中心とした「実践型の演習」を組み合わせて展開し、「聴く・読む・書く・話す」英語の4技能の連携的強化を目指す。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1) 幅広い分野の語彙を身につけ、リーディングやリスニングの概要を把握することができる。 (2) TOEICの出題形式に慣れ、時間配分に留意して解答をすることができる。(3) 関心のある分野について、英語で簡単なプレゼンテーションができる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名: Essential Approach for the TOEIC Test 著　者: Naoko Osuka, Hisakazu Tsukano, Atsuko Yamamoto, Robert VanBenthuysen 出版社: Seibido (成美堂)、ISBN　: 9784791910922 備　考: 購入必須。(多くの書き込みや捺印をするので、必ず新しいものを購入すること。) 【参考書】書　名: Dictionary of Contemporary English(現代英英辞典 5訂版) 出版社: Longman 桐原書店、ISBN　: 9784342100949 備　考: 購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% (ペーパーテストと実技による評価) ・「準備課題」40% (自習準備の達成度による評価) ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＡ⑧（火3限）	１単位　前期
担当教員	ウォルター・クリンガー	
授業概要	We read aloud the scenario dialogue of the movie The Wizard of Oz オズの魔法使 (1939) and watch the scenes, at the same time writing in missing words into a handout of the dialogue script. Each week, each student writes a summary of the scenes seen, and reads it aloud to the class. Make one collection of your weekly summaries and email it to the teacher.	
到達目標	Students will have improved and developed confidence in their English writing, listening and speaking skills, and will have increased their vocabulary and comprehension of sentence structure.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: Scenario dialogue handout.	
成績評価	Summary Reading Speeches: 50% Summary Writing Collection: 50%	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＡ⑨（火3限）	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	Discussions Strategies. This course will introduce students to skills to become active participants in discussions. Students will be exposed to the process and principles needed to become confident speakers. Students will work in small groups to facilitate the use of English in the classroom. Students will be required to be active participants in each weekly discussion and give a number of small group presentations.	
到達目標	Students will be able to participate in a number of different types of discussions, apply basic discussion principles and develop the vocabulary and strategies to become confident speakers.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Discussion Process and Principles by LeBeau & Harrington	
成績評価	Presentation 50%, Participation in Class 50%	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＢ①（火1限）	１単位　後期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	特にTOEICのリスニングと語彙力強化にポイントを置いた授業です。目で見て理解できるリーディングに比べて、音声で聞いて理解しなければならないリスニングでは、語彙力増強のための方法も異なってきます。「音声」「綴り」「意味」の三つの側面から耳で聞いた場合でも、目で見た場合と同様に意味を理解できるようになることを目指します。 予復習を重視し、家庭学習においてe-Learningシステムを積極的に活用します。	
到達目標	・TOEICスコア500点以上相当の英語力を身につける ・実用英語に慣れる ・語彙力をつける	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:LISTENING AND VOCABULARY TRAINING FOR THE TOEIC TEST (Satoru Furuya, Mikako Fujioka, Geoffery Tozer) 適宜配布するハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、家庭学習＋提出物＋小テスト（40％） 中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。また授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象とはしません。 履修登録時点で、到達目標であるTOEICスコア500点を達成している（IPテストでのスコアも可）場合は、本科目の単位を認定します（評価は「認定」）。	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＢ②（火1限）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	特にTOEICのリスニングと語彙力強化にポイントを置いた授業です。 目で見て理解できるリーディングに比べて、音声で聞いて理解しなければならないリスニングでは、語彙力増強のための方法も異なってきます。「音声」「綴り」「意味」の三つの側面から耳で聞いた場合でも、目で見た場合と同様に意味を理解できるようになることを目指します。 予復習を重視し、家庭学習においてe-Learningシステムを積極的に活用します。	
到達目標	・TOEICスコア700点以上相当の英語力を身につける ・実用英語に慣れる ・語彙力をつける	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:LISTENING AND VOCABULARY TRAINING FOR THE TOEIC TEST (Satoru Furuya, Mikako Fujioka, Geoffery Tozer) 適宜配布するハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、家庭学習＋提出物＋小テスト（40％） 中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。また授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象とはしません。 履修登録時点で、到達目標であるTOEICスコア700点を達成している（IPテストでのスコアも可）場合は、本科目の単位を認定します（評価は「認定」）。	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＢ③（火2限）	１単位　後期
担当教員	瀬本　阿矢	
授業概要	このクラスでは、2006年に公開された映画『プラダを着た悪魔』を通して、アメリカの文化、また皮肉や冗談などの様々な生きたアメリカ英語およびイギリス英語の表現方法等を学習する。最終的には字幕なしで本映画を理解できるようになることを目標とする。 ＊授業内容や授業計画、成績評価の方法等は、授業の進度によって変更する場合がある。	
到達目標	・アメリカの文化、また皮肉や冗談などの様々な生きたアメリカ英語およびイギリス英語の表現方法等を習得する。 ・最終的には字幕なしで本映画を理解できるようになる。 ・TOEICスコア700点以上相当の英語力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	Aline Brosh McKenna『The Devil Wears Prada』ISBN-13: 978-4881986363	
成績評価	授業中の発表・授業への参加度　50％ 期末試験　50％ なお、出席していたとしても、毎週の宿題をしてこない場合は欠席扱いとする。5回以上欠席をした場合、評価対象外とする。また、遅刻・早退3回で1回欠席扱いとする。 履修登録時点で、到達目標であるTOEIC公式テストのスコア700点を達成している（IPテストのスコアも可）場合は、本科目の単位を認定する（評価は「認定」）。	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＢ④（火2限）	１単位　後期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講義は、TOEIC (Test of English for International Communication)形式のテキストを用いて、社会・経済・文化・科学・娯楽等の幅広いテーマを題材に、実用英語力の強化を目指すものである。毎回の授業は、ペアワーク(またはグループワーク)によって実施され、「解答のポイントを受講生が発表し、その内容を講師が補足する」というワークショップ形式で進行する。そのため、受講生みずから積極的な発言や相互の意見交換をすることが求められる。クラスでは、毎回異なる座席(パートナー)が指定される。 講義は、テキストを中心とした「理論型の学習」と、ディスカッションやプレゼンテーションなどを中心とした「実践型の演習」を組み合わせて展開し、「聴く・読む・書く・話す」英語の4技能の連携的強化を目指す。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1) 幅広い分野の語彙を身につけ、リーディングやリスニングの概要を把握することができる。 (2) TOEICの出題形式に慣れ、時間配分に留意して解答をすることができる。(3) 関心のある分野について、英語で簡単なプレゼンテーションができる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】書　名: Essential Approach for the TOEIC Test 著　者: Naoko Osuka, Hisakazu Tsukano, Atsuko Yamamoto, Robert VanBenthuysen 出版社: Seibido (成美堂)、ISBN　: 9784791910922 備　考: 購入必須。(多くの書き込みや捺印をするので、必ず新しいものを購入すること。) 【参考書】書　名: Dictionary of Contemporary English（現代英英辞典 5訂版） 出版社: Longman 桐原書店、ISBN　: 9784342100949 備　考: 購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% (ペーパーテストと実技による評価) ・「準備課題」40% (自習準備の達成度による評価) ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	

科目名	実用英語演習ＩＢ⑤（火2限）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	特にTOEICのリスニングと語彙力強化にポイントを置いた授業です。目で見て理解できるリーディングに比べて、音声で聞いて理解しなければならないリスニングでは、語彙力増強のための方法も異なってきます。「音声」「綴り」「意味」の三つの側面から耳で聞いた場合でも、目で見た場合と同様に意味を理解できるようになることを目指します。 予復習を重視し、家庭学習においてe-Learningシステムを積極的に活用します。	
到達目標	・TOEICスコア700点以上相当の英語力を身につける ・実用英語に慣れる ・語彙力をつける	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:LISTENING AND VOCABULARY TRAINING FOR THE TOEIC TEST (Satoru Furuya, Mikako Fujioka, Geoffery Tozer) 適宜配布するハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、家庭学習＋提出物＋小テスト（40％） 中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。また授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象とはしません。 履修登録時点で、到達目標であるTOEICスコア700点を達成している（IPテストでのスコアも可）場合は、本科目の単位を認定します（評価は「認定」）。	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＢ⑥（火3限）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	Discussions Strategies. This course will introduce students to skills to become active participants in discussions. Students will be exposed to the process and principles needed to become confident speakers. Students will work in small groups to facilitate the use of English in the classroom. Students will be required to be active participants in each weekly discussion and give a number of small group presentations.	
到達目標	Students will be able to participate in a number of different typ	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Discussion: Process and Principles by LaBeau & Harrington	
成績評価	Presentation 50%, Participation in Class 50%	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＢ⑦（火3限）	１単位　後期
担当教員	ウォルター・クリンガー	
授業概要	We read aloud the scenario dialogue of the movie The Wizard of Oz オズの魔法使 (1939) and watch the scenes, at the same time writing in missing words into a handout of the dialogue script. Each week, each student writes a summary of the scenes seen, and reads it aloud to the class. Make one collection of your weekly summaries and email it to the teacher.	
到達目標	Students will have improved and developed confidence in their English writing, listening and speaking skills, and will have increased their vocabulary and comprehension of sentence structure.	
テキスト 指定図書 参考書	Scenario dialogue handout.	
成績評価	Summary Reading Speeches: 50% Summary Writing Collection: 50%	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＢ⑧（火3限）	１単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	特にTOEICのリスニングと語彙力強化にポイントを置いた授業です。目で見て理解できるリーディングに比べて、音声で聞いて理解しなければならないリスニングでは、語彙力増強のための方法も異なってきます。「音声」「綴り」「意味」の三つの側面から耳で聞いた場合でも、目で見た場合と同様に意味を理解できるようになることを目指します。 予復習を重視し、家庭学習においてe-Learningシステムを積極的に活用します。	
到達目標	・TOEICスコア700点以上相当の英語力を身につける ・実用英語に慣れる ・語彙力をつける	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:LISTENING AND VOCABULARY TRAINING FOR THE TOEIC TEST (Satoru Furuya, Mikako Fujioka, Geoffery Tozer) 適宜配布するハンドアウト	
成績評価	中間・期末テスト（各30％）、家庭学習＋提出物＋小テスト（40％） 中間テストや期末テストなどの大きなテストを受けなかった場合、提出物を出さなかった場合は評価の対象となりません。また授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象とはしません。 履修登録時点で、到達目標であるTOEICスコア700点を達成している（IPテストでのスコアも可）場合は、本科目の単位を認定します（評価は「認定」）。	
履修資格		

科目名	実用英語演習ＩＢ⑨（火3限）	１単位　後期
担当教員	清水　利宏	
授業概要	本講義は、TOEIC (Test of English for International Communication)形式のテキストを用いて、社会・経済・文化・科学・娯楽等の幅広いテーマを題材に、実用英語力の強化を目指すものである。毎回の授業は、ペアワーク(またはグループワーク)によって実施され、「解答のポイントを受講生が発表し、その内容を講師が補足する」というワークショップ形式で進行する。そのため、受講生みずから積極的な発言や相互の意見交換をすることが求められる。クラスでは、毎回異なる座席(パートナー)が指定される。 講義は、テキストを中心とした「理論型の学習」と、ディスカッションやプレゼンテーションなどを中心とした「実践型の演習」を組み合わせて展開し、「聴く・読む・書く・話す」英語の4技能の連携的強化を目指す。 ※本授業は、翻訳練習を除き基本的に「英語による講義」(バイリンガル)です。	
到達目標	(1) 幅広い分野の語彙を身につけ、リーディングやリスニングの概要を把握することができる。 (2) TOEICの出題形式に慣れ、時間配分に留意して解答をすることができる。(3) 関心のある分野について、英語で簡単なプレゼンテーションができる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】 書　名: Essential Approach for the TOEIC Test 著　者: Naoko Osuka, Hisakazu Tsukano, Atsuko Yamamoto, Robert VanBenthuysen 出版社: Seibido (成美堂) ISBN　: 9784791910922 備　考: 購入必須。（多くの書き込みや捺印をするので、必ず新しいものを購入すること。） 【参考書】 書　名: Dictionary of Contemporary English（現代英英辞典 5訂版） 出版社: Longman 桐原書店 ISBN　: 9784342100949 備　考: 購入必須ではない。(授業で単語を解説する際に、講師が使用する辞書です。)	
成績評価	・「筆記試験」＋「演習点」60% （ペーパーテストと実技による評価） ・「準備課題」40% （自習準備の達成度による評価） ※いわゆる「定期試験」は実施せず、授業内で課すテスト類・発表・課題等によって総合的に評価する。 【出席について】 ・毎回出席を基本とし、欠席1回につき「5点」を最終評点から減点する。 ・30分以上の遅刻は、欠席として扱う。 【その他】 ・ウェブシラバス下段の「追加情報」(受講上の注意)等も参照のこと。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ⅢＡ（上級コース）	１単位　前期
担当教員	吉村　淳一	
授業概要	一般教養、時事問題、簡単なエッセイなどを題材とし、読解能力の向上を図るため、ドイツ語で書かれた一般常識に関する文章を精読する。既習のドイツ語文法の知識を活用して、事典などから情報を取り出す練習をする。ドイツ国内の社会システム、EUの組織、ドイツやヨーロッパの歴史などのトッピクスをはじめとして、非常にさまざまな分野から文章を選択し、文法知識の補強や読解力の向上だけでなく語彙力のアップをめざす	
到達目標	初級文法の応用ならびに中・上級文法の習得を目指す。また社会生活に必要となる語彙力の向上を図る。内容面では現代社会における問題と取り組むための素養を身につけることや情報を短時間で的確に取り出す能力を磨くことを目標としている。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布	
成績評価	読解練習の担当および小テスト、課題（40％）と定期試験（60％）の成績により評価する。欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語ⅢＢ（上級コース）	１単位　前期
担当教員	吉村　淳一	
授業概要	ドイツ語コミュニケーションⅠなどで身につけた文法の知識を利用して、手紙、日記、レポートなど比較的長い文章が書けるようにさらに高度な文法や表現について学習する。具体的にはダニエル・ケルン／渡辺学／福原美穂子著『ドイツ語レベルアップトレーニング－ミスを減らして一歩先へ』のテクストをモデルに表現の可能性を学習し、文法上の注意点を確認した上で、プリント教材を利用して作文練習をする。	
到達目標	既習文法の知識、辞書を援用しさまざまなテーマでドイツ語の文章を書く練習をし、情報発信力を身につけることを目標とする。その際に自国の文化をドイツ語で表現する力も養うことを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	必要に応じてプリントを配布。 テキスト:ダニエル・ケルン／渡辺学／福原美穂子『ドイツ語レベルアップトレーニング－ミスを減らして一歩先へ』三修社 ISBN:978-4-384-05473-6 参考書:清野智昭／山田敏弘『日本語から考える！ドイツ語の表現』白水社 ISBN:978-4-560-08560-8 その他のものは授業中に適宜紹介	
成績評価	毎回の作文の練習（60％）、課題の提出（40％）。ただし遅刻や欠席などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。	
履修資格		

科目名	フランス語ⅢＡ（上級コース）	１単位　前期
担当教員	長島　律子	
授業概要	総合的にフランス語能力を高めるための授業であるが、特に読むことに重点を置く。 ある程度まとまった長さのある文章を読みながら、正しく構文解析し、理解することによって読解力、語彙力を養う。その過程で、中、上級文法を習得する。また、適宜ヴィデオなどを用いて聞くことにより内容を把握する練習をも行う。	
到達目標	かなり高度な内容を持った文章を読んで理解できるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布。	
成績評価	課題、小テスト　50％定期試験　50％	
履修資格		

科目名	フランス語ⅢＢ（上級コース）	１単位　前期
担当教員	長島　律子	
授業概要	総合的にフランス語能力を高めるための授業であるが、特に書くことに重点を置く。 さまざまな構文、語彙を使いこなすことによって高度で複雑な文章を書く技術を向上させる。また、ディクテをすることにより、正しく書く能力を養う。そのために適宜AV教材なども使用する。	
到達目標	かなり高度な内容を持った文章を正確に書くことができるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	未定。	
成績評価	課題、小テスト　50％定期試験　50％	
履修資格		

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境ａ）	２単位　前期
担当教員	山本　洋紀※	
授業概要	大学生活を送る上では、教育および研究におけるレポートおよび論文の作成、課外活動や就職活動にいたるまでのあらゆる場面において情報技術の活用が求められ、情報処理技術の習得は必須である。また、情報技術の普及により、著作権侵害や人権侵害などの問題が顕在化しており、技術的側面のみならず倫理的側面も合わせて習得する必要がある。このようなことから、本講義では、高年次で要求されるWWWの閲覧と活用、電子メール、文書処理などの情報技術をMS Windows環境で習得するのみならず、レポートや学術論文の作成の基本を情報倫理と合わせて習得することを目指す。	
到達目標	インターネットなどを活用し、文献検索による学術図書や学術情報の検索がおこなえ、またこれらを情報倫理の面から適切に活用しレポート（学術論文）作成がおこなえること。定められた体裁に従ってレポート（学術論文）を作成し、プレゼンテーションソフトによって発表資料を作成することができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし（授業内容に関するプリントを配布する） 指定図書：勝木太一編「情報学」（多賀出版） 参考書：後日、担当教員から指定する	
成績評価	プレゼンテーションや課題60%　学術情報の検索や適切な活用方法による発表資料の作成や課題により評価、レポート40%　学術論文としての体裁が整い定められた書式に沿った学術論文の作成により評価、	
履修資格		

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境ｂ）	２単位　前期
担当教員	亀田　彰喜	
授業概要	現在の日常生活においても情報化のニーズは高まり、情報技術の習得は我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本演習では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得する。さらに、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学術論文発表の手法を習得する。	
到達目標	インターネットの活用によって学術情報の検索ができること。文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること。学術論文作成のため情報をの検索し、得た情報を加工し学術論文作成に活用できること。統計処理し、プレゼンテーションソフトによって表示できること。さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学術論文発表の基本を習得すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：勝木太一編「情報学」（多賀出版）、亀田彰喜、勝木太一編「現代の情報処理」（朝倉書店）指定図書：勝木太一編「情報学」（多賀出版）参考書：後日、担当教員から指定する。	
成績評価	課題50%　情報ネットワークの活用と学術情報の検索および学術論文の概念と書式の理解、小テストやレポート50%　学術情報の検索によるレポート等の作成等や小テストの確認等により評価	
履修資格	環境科学部 b,d　（H21年度以前の入学生は情報処理演習Ｉとして履修）	

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境c）	２単位　前期
担当教員	山本　洋紀※	
授業概要	大学生活を送る上では、教育および研究におけるレポートおよび論文の作成、課外活動や就職活動にいたるまでのあらゆる場面において情報技術の活用が求められ、情報処理技術の習得は必須である。また、情報技術の普及により、著作権侵害や人権侵害などの問題が顕在化しており、技術的側面のみならず倫理的側面も合わせて習得する必要がある。このようなことから、本講義では、高年次で要求されるWWWの閲覧と活用、電子メール、文書処理などの情報技術をMS Windows環境で習得するのみならず、レポートや学術論文の作成の基本を情報倫理と合わせて習得することを目指す。	
到達目標	インターネットなどを活用し、文献検索による学術図書や学術情報の検索がおこなえ、またこれらを情報倫理の面から適切に活用しレポート（学術論文）作成がおこなえること。定められた体裁に従ってレポート（学術論文）を作成し、プレゼンテーションソフトによって発表資料を作成することができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし（授業内容に関するプリントを配布する） 指定図書：勝木太一編「情報学」（多賀出版） 参考書：後日、担当教員から指定する	
成績評価	プレゼンテーションや課題60%　学術情報の検索や適切な活用方法による発表資料の作成や課題により評価、レポート40%　学術論文としての体裁が整い定められた書式に沿った学術論文の作成により評価、	
履修資格		

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境d）	２単位　前期
担当教員	亀田　彰喜	
授業概要	現在の日常生活においても情報化のニーズは高まり、情報技術の習得は我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本演習では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得する。さらに、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学術論文発表の手法を習得する。	
到達目標	インターネットの活用によって学術情報の検索ができること。文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること。学術論文作成のため情報をの検索し、得た情報を加工し学術論文作成に活用できること。統計処理し、プレゼンテーションソフトによって表示できること。さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学術論文発表の基本を習得すること	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：勝木太一編「情報学」（多賀出版）、亀田彰喜、勝木太一編「現代の情報処理」（朝倉書店）指定図書：勝木太一編「情報学」（多賀出版）参考書：後日、担当教員から指定する。	
成績評価	課題50%　情報ネットワークの活用と学術情報の検索および学術論文の概念と書式の理解、小テストやレポート50%　学術情報の検索によるレポート等の作成等や小テストの確認等により評価	
履修資格	環境科学部 b,d　（H21年度以前の入学生は情報処理演習Ｉとして履修）	

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（材料）	２単位　前期
担当教員	山本　洋紀※	
授業概要	情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。	
到達目標	(1)本学演習室が利用できるように環境を整えること。(2)情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。(3)電子メールによる適切な情報交換ができるようになること。(4)ワープロを用いて文書作成ができるようになること。(5)表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計、解析ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：初回講義時に説明する。指定図書：初回講義時に説明する。	
成績評価	課題 100%	
履修資格		

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（機械）	２単位　前期
担当教員	西門　秀人※	
授業概要	情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。	
到達目標	(1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。 (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。 (3) 電子メールによる適切な情報交換ができるようになること。 (4) ワープロを用いて文書作成ができるようになること。 (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計、解析ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：矢野文彦［監修］「情報リテラシー教科書」（オーム社） 指定図書：情報教育学研究会(IEC)・情報倫理教育研究グループ著「インターネット社会を生きるための情報倫理」（実教出版）	
成績評価	課題 100%	
履修資格		

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（電子）	２単位　前期
担当教員	宮城　茂幸	
授業概要	情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本講では今後高年次において開講される講義や演習で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つ情報処理技術、すなわちワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。	
到達目標	(1)本学演習室が利用できるように環境を整えること。 (2)情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。 (3)電子メールによる適切な情報交換ができるようになること。 (4)ワープロを用いて文書作成ができるようになること。 (5)表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:30時間アカデミック　情報リテラシーOffice2007(実教出版) 指定図書:情報教育学研究会(IEC)・情報倫理教育研究グループ著「インターネット社会を生きるための情報倫理」(実教出版)	
成績評価	課題 100%	
履修資格		

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（人文a）	２単位　前期
担当教員	森　将豪※	
授業概要	情報技術の習得は日常生活に資するだけでなく，大学で学問をしていく上において，情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である．本演習では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術，すなわち，Webブラウザの操作と活用，電子メール，文書処理などをMS Windows環境で習得する．さらに，レポートや学術論文の作成の基本を習得し，プレゼンテーションソフトなどにより，学術論文発表の手法を習得する．	
到達目標	インターネットの活用によって学術情報の検索ができること．文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること．学術論文作成のため論文情報を検索し，得た情報を参照して学術論文作成に活用できること．数値表をグラフ化し，文書作成ソフトによって表示できること．さらに，検索で得られた情報によりレポート作成や学術論文発表の基本を習得すること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:テキストにかわる講義資料を配布 指定図書:亀田彰喜・勝木太一編「情報学」(多賀出版) 参考書:後日、担当教員から指定する．	
成績評価	授業中の課題(50%)と期末レポート(50%)により評価	
履修資格		

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（人文b）	２単位　前期
担当教員	池之上　卓己	
授業概要	情報技術の習得は日常生活に資するだけでなく，大学で学問をしていく上において，情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である．本演習では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術，すなわち，Webブラウザの操作と活用，電子メール，文書処理などをMS Windows環境で習得する．さらに，レポートや学術論文の作成の基本を習得し，プレゼンテーションソフトなどにより，学術論文発表の手法を習得する．	
到達目標	インターネットの活用によって学術情報の検索ができること．文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること．学術論文作成のため論文情報を検索し，得た情報を参照して学術論文作成に活用できること．数値表をグラフ化し，文書作成ソフトによって表示できること．さらに，検索で得られた情報によりレポート作成や学術論文発表の基本を習得すること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:テキストにかわる講義資料を配布 指定図書:亀田彰喜・勝木太一編「情報学」(多賀出版) 参考書:後日、担当教員から指定する．	
成績評価	授業中の課題(50%)と期末レポート(50%)により評価	
履修資格		

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（人文c）	２単位　前期
担当教員	森　将豪※	
授業概要	情報技術の習得は日常生活に資するだけでなく，大学で学問をしていく上において，情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。本演習では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術，すなわち，Webブラウザの操作と活用，電子メール，文書処理などをMS Windows環境で習得する．さらに，レポートや学術論文の作成の基本を習得し，プレゼンテーションソフトなどにより，学術論文発表の手法を習得する．	
到達目標	インターネットの活用によって学術情報の検索ができること．文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること．学術論文作成のため論文情報を検索し，得た情報を参照して学術論文作成に活用できること．数値表をグラフ化し，文書作成ソフトによって表示できること．さらに，検索で得られた情報によりレポート作成や学術論文発表の基本を習得すること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:テキストにかわる講義資料を配布 指定図書:亀田彰喜・勝木太一編「情報学」(多賀出版) 参考書:後日、担当教員から指定する．	
成績評価	授業中の課題(50%)と期末レポート(50%)により評価	
履修資格		

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（人文d）	２単位　前期
担当教員	山本　洋紀※	
授業概要	情報技術の習得は日常生活に資するだけでなく、大学で学問をしていく上において、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。本演習では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得する。さらに、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学術論文発表の手法を習得する。	
到達目標	インターネットの活用によって学術情報の検索ができること。文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること。学術論文作成のため論文情報を検索し、得た情報を参照して学術論文作成に活用できること。数値表をグラフ化し、文書作成ソフトによって表示できること。さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学術論文発表の基本を習得すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:テキストにかわる講義資料を配布指定図書:勝木太一編「情報学」(多賀出版)参考書:後日、担当教員から指定する。	
成績評価	レスポンスペーパー50%（情報ネットワークの活用と学術情報の検索および論文の概念と書式，および論文の書き方の理解），課題50%（授業中の課題と期末レポートの提出）等により評価	
履修資格		

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（看護a）	２単位　前期
担当教員	中川　雅央※	
授業概要	現在の日常生活においても情報化のニーズは高まり、情報技術の習得は我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは必須である。そこで、当授業では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などを習得する。さらに、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学術論文発表の手法を習得する。	
到達目標	(1) 情報技術の活用によって学術情報の検索ができる． (2) 文献検索により学術図書や学術情報の検索ができる． (3) 学術論文作成のため論文情報を検索して学術論文作成に活用できる． (4) 数値データをグラフ化し、文書作成ソフトによって作成できる． (5) 検索で得られた情報によりレポート作成や学術論文発表の基本を習得すること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業内にて提示する 指定図書:授業内にて提示する 参考書:授業内にて提示する	
成績評価	実習課題70%，小テスト30%	
履修資格		

科目名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（看護b）	２単位　前期
担当教員	中川　雅央※	
授業概要	現在の日常生活においても情報化のニーズは高まり、情報技術の習得は我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは必須である。そこで、当授業では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などを習得する。さらに、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学術論文発表の手法を習得する。	
到達目標	(1) 情報技術の活用によって学術情報の検索ができる. (2) 文献検索により学術図書や学術情報の検索ができる. (3) 学術論文作成のため論文情報を検索して学術論文作成に活用できる. (4) 数値データをグラフ化し、文書作成ソフトによって作成できる. (5) 検索で得られた情報によりレポート作成や学術論文発表の基本を習得すること.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業内にて提示する 指定図書:授業内にて提示する 参考書:授業内にて提示する	
成績評価	実習課題70%, 小テスト30%	
履修資格		

科目名	情報科学概論（環境ａ）	２単位　後期
担当教員	山本　洋紀※	
授業概要	コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。	
到達目標	表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、学術論文作成を目指した基礎的なデータ処理がおこなえること。また、解析をおこなったデータをもとに学術論文を作成するための手法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:なし(授業内容に関するプリントを配布する) 指定図書:亀田彰喜・勝木太一編「現代の情報処理」(朝倉書店) 参考書:後日、担当教員から通知する。	
成績評価	課題70%　表計算ソフトの利用によるデータ処理の習得を課題で評価、レポート30%　データ処理に基づいた学術表現をデータ処理およびこれを活用した課題レポートの作成により評価	
履修資格	環境科学部の情報リテラシー(情報倫理を含む)(H21年度以前入学については情報処理演習Ｉ)の単位取得者　(環境a、環境cのクラス)	

科目名	情報科学概論（環境b）	２単位　後期
担当教員	亀田　彰喜	
授業概要	インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。	
到達目標	表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理の習得により、データや情報を加工し学術論文作成に活用できること。またプレゼンテーションソフトによって学術論文の発表手法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:亀田彰喜・勝木太一編「現代の情報処理」(朝倉書店)指定図書:亀田彰喜・勝木太一編「現代の情報処理」(朝倉書店)参考書:後日、担当教員から通知する。	
成績評価	課題50%　表計算ソフトの利用の習得と関数および統計処理等の習得、小テストやレポート50%　統計処理と学術情報の検索によりレポートの作成や小テスト等により評価	
履修資格	環境科学部の情報リテラシー(情報倫理を含む)(H21年以前入学については情報処理演習Ｉ)の単位取得者　(環境b、環境dのクラス)	

科目名	情報科学概論（環境c）	２単位　後期
担当教員	山本　洋紀※	
授業概要	コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。	
到達目標	表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、学術論文作成を目指した基礎的なデータ処理がおこなえること。また、解析をおこなったデータをもとに学術論文を作成するための手法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし（授業内容に関するプリントを配布する） 指定図書：亀田彰喜・勝木太一編「現代の情報処理」（朝倉書店） 参考書：後日、担当教員から通知する。	
成績評価	課題70%　表計算ソフトの利用によるデータ処理の習得を課題で評価、レポート30%　データ処理に基づいた学術表現をデータ処理およびこれを活用した課題レポートの作成により評価	
履修資格	環境科学部の情報リテラシー（情報倫理を含む）（H21年度以前入学については情報処理演習Ｉ）の単位取得者　（環境a、環境cのクラス）	

科目名	情報科学概論（環境d）	２単位　後期
担当教員	亀田　彰喜	
授業概要	インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。	
到達目標	表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理の習得により、データや情報を加工し学術論文作成に活用できること。またプレゼンテーションソフトによって学術論文の発表手法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：亀田彰喜・勝木太一編「現代の情報処理」（朝倉書店）指定図書：亀田彰喜・勝木太一編「現代の情報処理」（朝倉書店）参考書：後日、担当教員から通知する。	
成績評価	課題50%　表計算ソフトの利用の習得と関数および統計処理等の習得、小テストやレポート50%　統計処理と学術情報の検索によりレポートの作成や小テスト等により評価	
履修資格	環境科学部の情報リテラシー（情報倫理を含む）（H21年度以前入学については情報処理演習Ｉ）の単位取得者　（環境b、環境dのクラス）	

科目名	情報科学概論（材料）	２単位　後期
担当教員	葛城　大介※	
授業概要	Unix系オペレーティングシステムの一種であるLinuxに親しむとともに、CUIを中心としたコンピュータの操作方法について学ぶ。文書フォーマッタ(LaTeX)による文書処理やシェルプログラミングの基礎を通して、大量のデータを効率よく処理する方法を習得する。また同時に情報処理において必要になる情報科学についての基礎知識を学ぶ。	
到達目標	(1)情報の表現方法や情報機器の仕組みを理解する。(2)LaTeXを利用して文書作成ができる。(3)コマンドによりコンピュータの操作ができるようになる。(4)シェルの機能を用いてコマンドラインでの操作を効率よく行えるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：資料配布 指定図書：坂本文著「たのしいUNIXーUNIXへの招待ー」（アスキー出版局），D.Libes and S.Ressler著 坂本文監訳 福崎俊博訳「Life with UNIX」（アスキー出版局） 参考書：B.W.Kernighan and R.Pike著「The UNIX Programming Environment」（Prentice-Hall）	
成績評価	課題 75%，小テスト 25%	
履修資格	情報リテラシー（情報倫理を含む）（H21年度以前入学については情報処理演習Ｉ）の単位取得者	

科目名	情報科学概論（機械）	２単位　後期
担当教員	西門　秀人※	
授業概要	Unix系オペレーティングシステムの一種であるLinuxを用いて、CUI(Character-based User Interface)を中心としたコマンドによるコンピュータの操作方法について学び、文書作成のためのアプリケーションの一つであるLaTeXを用いた文書処理やシェルプログラミングの基礎を通して、大量のデータを効率よく処理する方法を習得する。また同時に情報処理において必要になる情報科学についての基礎知識を学ぶ。	
到達目標	(1) 情報の表現方法や情報機器の仕組みを理解する。 (2) LaTeXを利用して文書作成ができる。 (3) コマンドによりコンピュータの操作ができるようになる。 (4) シェルの機能を用いてコマンドラインでの操作を効率よく行えるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：資料配布 指定図書：坂本文著「たのしいUNIX ーUNIXへの招待ー」（アスキー出版局） D. Libes and S. Ressler著、坂本文監訳、福崎俊博訳「Life with UNIX」（アスキー出版局） 参考書：B. W. Kernighan and R. Pike著「The UNIX Programming Environment」（Prentice-Hall）	
成績評価	課題 100%	
履修資格	情報リテラシー（情報倫理を含む）（H21年度以前入学については情報処理演習Ｉ）の単位取得者	

科目名	情報科学概論（電子）	２単位　後期
担当教員	宮城　茂幸	
授業概要	Unix系オペレーティングシステムの一種であるLinuxに親しむとともに、CUIを中心としたコンピュータの操作方法について学ぶ。文書フォーマッタ(LaTeX)による文書処理やシェルプログラミングの基礎を通して、大量のデータを効率よく処理する方法を習得する。また同時に情報処理において必要になる情報科学についての基礎知識を学ぶ。	
到達目標	(1)情報の表現方法や情報機器の仕組みを理解する。 (2)LaTeXを利用して文書作成ができる。 (3)コマンドラインでの操作ができるようになる。 (4)シェルの機能を用いてコマンドラインでの操作を効率よく行えるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：資料配布 指定図書：坂本文著「たのしいUNIX ーUNIXへの招待ー」（アスキー出版局）D. Libes and S. Ressler著、坂本文監訳、福崎俊博訳「Life with UNIX」（アスキー出版局）参考書：B. W. Kernighan and R. Pike「The UNIX Programming Environment」（Prentice-Hall）	
成績評価	課題 100%	
履修資格	情報リテラシー（情報倫理を含む）（平成21年度以前入学生については情報処理演習Ｉ）の単位取得者	

科目名	情報科学概論（人文a）	２単位　後期
担当教員	森　将豪※	
授業概要	インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に，さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ．特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について，表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ．さらに，学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ．	
到達目標	表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し，さらにデータの統計処理の習得により，データや情報を加工し学術論文作成に活用できること．またプレゼンテーションソフトによって学術論文の発表手法を習得する．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義開始時に指定する． 指定図書：亀田彰喜・勝木太一編「現代の情報処理」（朝倉書店） 参考書：後日、担当教員から通知する．	
成績評価	授業中の課題（80%）と期末レポート（20%）により評価	
履修資格	人間文化学部の情報リテラシー（情報倫理を含む）（H21年度以前入学については情報処理演習Ｉ）の単位取得者　（人間文化b、人間文化cのクラス）	

科目名	情報科学概論（人文b）	２単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に，さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ．特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について，表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ．さらに，学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ．	
到達目標	表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し，さらにデータの統計処理の習得により，データや情報を加工し学術論文作成に活用できること．またプレゼンテーションソフトによって学術論文の発表手法を習得する．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義開始時に指定する。指定図書：亀田彰喜・勝木太一編「現代の情報処理」（朝倉書店）参考書：後日、担当教員から通知する。	
成績評価	レスポンスペーパー50%（表計算ソフトの利用の習得と関数および統計処理等の習得等），課題50%（授業中の課題提出）等により評価	
履修資格	人間文化学部の情報リテラシー（情報倫理を含む）（H21年度以前入学については情報処理演習Ｉ）の単位取得者（人間文化b、人間文化cのクラス）	

科目名	情報科学概論（人文c）	２単位　後期
担当教員	森　将豪※	
授業概要	インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。	
到達目標	表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し，さらにデータの統計処理の習得により，データや情報を加工し学術論文作成に活用できること。またプレゼンテーションソフトによって学術論文の発表手法を習得する．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義開始時に指定する． 指定図書：亀田彰喜・勝木太一編「現代の情報処理」（朝倉書店） 参考書：後日、担当教員から通知する。	
成績評価	授業中の課題（80%）と期末レポート（20%）により評価	
履修資格	人間文化学部の情報リテラシー（情報倫理を含む）（H21年度以前入学については情報処理演習Ｉ）の単位取得者　（人間文化b、人間文化cのクラス）	

科目名	情報科学概論（人文d）	２単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。	
到達目標	表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理の習得により、データや情報を加工し学術論文作成に活用できること。またプレゼンテーションソフトによって学術論文の発表手法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義開始時に指定する 指定図書：亀田彰喜・勝木太一編「現代の情報処理」（朝倉書店） 参考書：後日、担当教員から通知する。	
成績評価	レスポンスペーパー50%（表計算ソフトの利用の習得と関数および統計処理等の習得等）、課題50%（授業中の課題提出）等により評価	
履修資格	人間文化学部の情報リテラシー（情報倫理を含む）（H21年度以前入学については情報処理演習Ｉ）の単位取得者（人間文化a、人間文化dのクラス）	

科目名	情報科学概論（看護a）	２単位　後期
担当教員	中川　雅央※	
授業概要	情報とは何か．わたしたちの暮らしの中で様々な形で利用されている情報を科学的に捉えるために必要な基礎的方法論を学ぶ．さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となる統計処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要な統計処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。	
到達目標	表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理の習得により、データや情報を加工し学術論文作成に活用できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:丸井英二編「最新 保健学講座6 疫学／保健統計」(メヂカルフレンド社) 指定図書:授業内にて提示する 参考書:授業内にて提示する	
成績評価	課題50%　表計算ソフトの利用の習得と関数および統計処理等の習得、小テストやレポート50%　統計処理と学術情報の検索によりレポートの作成や小テスト等により評価	
履修資格		

科目名	情報科学概論（看護b）	２単位　後期
担当教員	中川　雅央※	
授業概要	情報とは何か．わたしたちの暮らしの中で様々な形で利用されている情報を科学的に捉えるために必要な基礎的方法論を学ぶ．さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となる統計処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要な統計処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。	
到達目標	表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理の習得により、データや情報を加工し学術論文作成に活用できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:丸井英二編「最新 保健学講座6 疫学／保健統計」(メヂカルフレンド社) 指定図書:授業内にて提示する 参考書:授業内にて提示する	
成績評価	課題50%　表計算ソフトの利用の習得と関数および統計処理等の習得、小テストやレポート50%　統計処理と学術情報の検索によりレポートの作成や小テスト等により評価	
履修資格		

科目名	プログラミング基礎（環境a）	２単位　後期
担当教員	葛城　大介※	
授業概要	ソフトウェアがどのように作成されているかについての概要を学び、実際にC言語を使用して簡単な文字ベースのアプリケーションプログラムを作成する。プログラミングにおける変数、演算子、制御構造および関数等の概念を学び、それらを用いて、簡単な問題を解決するためのアルゴリズムを実装できることを目指す。	
到達目標	(1)ソースコードから実行形式を生成できること。(2)プログラミング言語の初歩的な文法を理解できること。(3)平易な問題に対するアルゴリズムを考え、それをプログラムとして記述できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:資料配布 指定図書:柴田望洋著「新版 明解 C言語 入門編」(ソフトバンククリエイティブ), 亀田彰喜・勝木太一著「現代の情報処理」(朝倉書店) 参考書:B.W.カーニハン, D.M.リッチー著「プログラミング言語C 第2版」(共立出版)	
成績評価	小テスト25%　C言語の文法を正しく理解していること。課題75%　与えられた問題を解決するためのプログラムが作成できること。	
履修資格	平成21年度以前入学生については「情報処理演習I」および「情報科学概論」の単位を取得していること。	

科目名	プログラミング基礎（環境b）	２単位　後期
担当教員	西門　秀人※	
授業概要	基本的なデータ処理やファイル処理などの情報処理の技法を習得した上で、プログラム言語の種類とその特徴について学び、言語処理の概念と技法について学ぶ。プログラム言語はC言語を使用して、プログラミングの言語処理のアルゴリズム、関数の書式、演算処理、分岐処理等の技法について学ぶ。	
到達目標	プログラム言語の種類とその特徴について理解し、言語処理の技法について習得する。プログラム言語はC言語を使用し、関数の書式や演算処理などのプログラミングの技法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:柴田望洋著「新版　明解　C言語　入門編」(ソフトバンククリエイティブ) 指定図書:亀田彰喜、勝木太一編「現代の情報処理」(朝倉書店) 参考書:B.W.カーニハン, D.M.リッチー著「プログラミング言語C　第2版」(共立出版)	
成績評価	課題　60% (Cプログラミングのアルゴリズムや関数と変数および条件判断の理解) レポート　40% (Cプログラミングの課題を通しての理解と確認のレポート等の作成により評価)	
履修資格	情報リテラシー（情報倫理を含む）および情報科学概論の単位取得者	

科目名	プログラミング基礎（人文a）	２単位　前期
担当教員	西門　秀人※	
授業概要	基本的なデータ処理やファイル処理などの情報処理の技法を習得した上で、プログラム言語の種類とその特徴について学び、言語処理の概念と技法について学ぶ。プログラム言語はC言語を使用して、プログラミングの言語処理のアルゴリズム、関数の書式、演算処理、分岐処理等の技法について学ぶ。	
到達目標	プログラム言語の種類とその特徴について理解し、言語処理の技法について習得する。プログラム言語はC言語を使用し、関数の書式や演算処理などのプログラミングの技法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:柴田望洋著「新版　明解　C言語　入門編」(ソフトバンククリエイティブ) 指定図書:亀田彰喜、勝木太一編「現代の情報処理」(朝倉書店) 参考書:B.W.カーニハン, D.M.リッチー著「プログラミング言語C　第2版」(共立出版)	
成績評価	課題　60% (Cプログラミングのアルゴリズムや関数と変数および条件判断の理解) レポート　40% (Cプログラミングの課題を通しての理解と確認のレポート等の作成により評価)	
履修資格	情報リテラシー（情報倫理を含む）および情報科学概論の単位取得者	

科目名	プログラミング基礎（人文b）	２単位　前期
担当教員	山本　洋紀※	
授業概要	ソフトウェアがどのように作成されているかについての概要を学び、実際にC言語を使用して簡単な文字ベースのアプリケーションプログラムを作成する。プログラミングにおける変数、演算子、制御構造および関数等の概念を学び、それらを用いて、簡単な問題を解決するためのアルゴリズムを実装できることを目指す。	
到達目標	(1)ソースコードから実行形式を生成できること。(2)プログラミング言語の初歩的な文法を理解できること。(3)平易な問題に対するアルゴリズムを考え、それをプログラムとして記述できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:初回講義時に説明する。指定図書:初回講義時に説明する。参考書:初回講義時に説明する。	
成績評価	小テスト50%　C言語の文法を正しく理解していること。課題50%　与えられた問題を解決するためのプログラムが作成できること。	
履修資格	平成21年度以前入学生については「情報処理演習I」および「情報科学概論」の単位を取得していること。	

科目名	プログラミング基礎(看護)	２単位　後期
担当教員	宮城　茂幸	
授業概要	プログラム言語の種類やその特徴を学とともに、具体的な言語としてC言語を取り上げる。C言語を用いて簡単な計算問題のプログラムが作成できるように、変数の準備方法、各種演算処理、分岐処理、繰り返し計算といった基本的なプログラミングの技法を学ぶ。	
到達目標	C言語の基本的な文法について理解すること。C言語を用いて簡単な計算問題を解くためのプログラムが作成でき、実行できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:資料配布	
成績評価	小テスト40%、課題・演習問題60%	
履修資格	平成21年度以前入学生については「情報処理演習I」および「情報科学概論」の単位を取得していること。	

科目名	健康・体力科学Ⅰ（運動処方）	１単位　後期
担当教員	寄本　明	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、運動処方を通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	(1)健康・体力の保持増進に必要な運動の科学的知識を理解する。 (2)各自の目的（健康維持、体力向上、肥満予防および解消等）に応じた安全で効果的な運動を処方する。 (3)身体の状態を把握、体力テストに基づき運動の種類、運動強度、運動時間、運動頻度をプログラムする。 (4)運動処方の内容に従い実践し、生理的変化や運動の効果を確認、処方の内容を考察する。	
テキスト 指定図書 参考書	授業に必要な資料は随時プリントして配布する。	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅰ（サッカー）	１単位　後期
担当教員	南　和広	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、サッカーを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・サッカーの練習やゲームを通じて，技能や体力の向上を図る。 ・生涯にわたるスポーツライフを設計し，実践する能力を育成する。 ・グループでの活動に必要な態度を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考図書を適宜紹介	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅰ（スキー・スノーボード）	１単位　後期
担当教員	南　和広	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、スキー・スノーボードを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・スキー・スノーボード運動による健康・体力の維持増進および自然環境への理解を深める. ・スキー・スノーボード実習を通してライフスキルの能力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考図書を適宜紹介	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅰ（卓球）	１単位　後期
担当教員	芳田　哲也※	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、卓球を通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・卓球の基本技術を習得し，ゲームをする楽しさを味わう。 ・生涯スポーツとしての卓球を楽しむための練習計画を作成できるようになる。 ・運動学的あるいは力学的観点から卓球の技術を分析し技術の習得を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考図書を適宜紹介	
成績評価	・「実技学習課題」60%と「試験またはレポート」40%で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅰ（テニス）	１単位　後期
担当教員	多胡　陽介※	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、テニスを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・テニスの練習やゲームを通じて，技能や体力の向上を図る。 ・生涯にわたるスポーツライフを設計し，実践する能力を育成する。 ・グループでの活動に必要な態度を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考図書を適宜紹介	
成績評価	・「実技学習課題」60%と「試験またはレポート」40%で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅰ（ニュースポーツ）	１単位　後期
担当教員	前山　直※	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、ニュースポーツを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・ 身体活動の科学的法則性を理解し，望ましい健康増進の手法を学ぶ。 ・ 生涯スポーツとしてのニュースポーツの文化的意義を理解し，基本技術を習得する。 ・地域や職域における生涯スポーツの普及発展の中心的な役割を担う人材の育成をめざす。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考図書を適宜紹介	
成績評価	・「実技学習課題」60%と「試験またはレポート」40%で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅰ（バスケット）	１単位　後期
担当教員	浦田　達也※	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、バスケットボールを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・ ゲームに必要な基礎技術、持久力、素早さ、瞬発力、動きの柔軟性、的確な判断力を養う。 ・ バスケットボールの戦術を理解し、ゲームでの攻防を楽しむ。　・ グループワークを通して、コミュニケーション能力や協調性、自主性を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:「わかりやすいバスケットボールのルール」 成美堂出版	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅰ（バドミントン）	１単位　後期
担当教員	浦田　達也※	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、バドミントンを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・ゲームに必要な基礎技術、持久力、素早さ、瞬発力、動きの柔軟性、的確な判断力を養う。 ・シングルスゲームおよびダブルスゲームの戦術を理解し、ゲームでの攻防を楽しむ。 ・グループワークを通して、コミュニケーション能力や協調性、自主性を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考図書を適宜紹介	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅱ（ゴルフ）	１単位　前期
担当教員	南　和広	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、ゴルフを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・ゴルフ・ゲームの特性（自己申告制，自然との対話，心・技・体のバランス，ハンディキャップ制など）を生かし，生涯にわたってゴルフが楽しめる基礎をつくる。 ・コースのラウンド実習では，エチケット・マナーをまもりより豊かな人間性と社会性を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考図書を適宜紹介	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅱ（ソフトボール）	１単位　前期
担当教員	浦田　達也※	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、ソフトボールを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・ソフトボールの練習やゲームを通じて，技能や体力の向上を図る。 ・生涯にわたるスポーツライフを設計し，実践する能力を育成する。 ・グループでの活動に必要な態度を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:「わかりやすいソフトボールのルール」成美堂出版	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅱ（バドミントン）	１単位　前期
担当教員	多胡　陽介※	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、バドミントンを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・バドミントンの練習やゲームを通じて，技能や体力の向上を図る。 ・生涯にわたるスポーツライフを設計し，実践する能力を育成する。 ・グループでの活動に必要な態度を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考図書を適宜紹介	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅱ（バレーボール）	１単位　前期
担当教員	多胡　陽介※	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、バレーボールを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・バレーボールの基本技術を習得し，ゲームをする楽しさを味わう。 ・好ましいグループづくりを目指す。 ・運動生理学の立場から，必要な運動量を確保する。・生涯にわたるスポーツライフを設計し，実践する能力を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:「わかりやすいバレーボールのルール」成美堂出版	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅱ（運動処方）	１単位　前期
担当教員	寄本　明	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、運動処方を通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	(1)健康・体力の保持増進に必要な運動の科学的知識を理解する。 (2)各自の目的（健康維持、体力向上、肥満予防および解消等）に応じた安全で効果的な運動を処方する。 (3)身体の状態を把握、体力テストに基づき運動の種類、運動強度、運動時間、運動頻度をプログラムする。 (4)運動処方の内容に従い実践し、生理的変化や運動の効果を確認、処方の内容を考察する。	
テキスト 指定図書 参考書	授業に必要な資料は随時プリントして配布する。	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅱ（海洋スポーツ）	１単位　前期
担当教員	寄本　明	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、海洋スポーツを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	(1)海洋スポーツ（カヤックカヌー、ヨットおよびボードセーリング）の基礎技術を習得する。 (2)海洋スポーツの実践により自主性、自律性、自己の責任、安全管理（危機回避）等の能力を養う。 (3)滋賀の自然と親しみ、スポーツフィールドとしての側面から琵琶湖の抱えている問題を理解する。 (4)生涯スポーツとしての海洋スポーツを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	実習に必要な資料（テキスト）は全てプリントして配布する。	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・ 怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅱ（卓球）	１単位　前期
担当教員	前山　直※	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、卓球を通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・卓球の基本技術を習得し，ゲームをする楽しさを味わう。 ・生涯スポーツとしての卓球を楽しむための練習計画を作成できるようになる。 ・運動学的あるいは力学的観点から卓球の技術を分析し技術の習得を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考図書を適宜紹介	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

科目名	健康・体力科学Ⅱ（テニス）	１単位　前期
担当教員	芳田　哲也※	
授業概要	健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、テニスを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し，スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。	
到達目標	・テニスの練習やゲームを通じて，技能や体力の向上を図る。 ・生涯にわたるスポーツライフを設計し，実践する能力を育成する。 ・グループワークを通して，コミュニケーション能力や協調性，自主性を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考図書を適宜紹介	
成績評価	・「実技学習課題」60％と「試験またはレポート」40％で評価する。 ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは，原則として当該科目の単位は認めない。 ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。	
履修資格		

人 間 学 の 考 え 方

人間存在と環境・社会を深く見つめる人間学

大学に入学してからは、それぞれの専門分野の学習と、独立した個人としての志を育てるための４年間を過ごすことになります。この両者のバランスが重要なのですが、従来の大学教育で行われていた一般教養の組み立て方は、ともすれば並列的に客観的知識として教える内容と、それを教えられる学生とが乖離したままの傾向がありました。変化の早い時代に大学で主体的に学び、考える学生が育つには、それとは異なる新しい座標軸の設定が要請されてきました。

本学ではこの要請に応えるために、開学当初から従来の一般教育とは異なった「人間学」という科目群を設けています。日々、複雑化・流動化してゆく現代社会の中で、人間というものを深く見つめ、そこから今後の指針を自ら見出していける学生が育つことを願って設けられたものです。これらの科目では、具体的、現実的な問題を通して「人間」という存在について考え、将来、新しい問題を発見する能力、新しい視点から発想する能力を、学生諸君自らがそれぞれの個性にしたがって身につけることを目標にしています。

身につけた知識や技術が高度で、専門的であるほど、人間・環境・社会・文化というものの理解も深く、幅広くなっていかなければならないでしょうし、それによってこそ専門分野の感性も磨かれるという思いが背景にあります。

本学では、この「人間学」の趣旨にふさわしい 46 科目を用意しました。

これら 46 科目のうち、「環境マネジメント総論」「人間探求学」の２科目を必修科目に指定します。全学部教員によるオムニバス形式の「環境マネジメント総論」と自己表現能力開発を目指す少人数グループ形式の「人間探求学」は授業展開において対照的な科目ですが、環境と人間への配慮を重視する本学でまず学ぶべきものとして、１年次前期の必修科目とします。あとの 44 科目は、「こころ」「しくみ」「しぜん」「わざ」の４クラスター（分類群）に分けられています。クラスターによるこれら 44 科目の分類は必ずしも厳密なものではありませんが、各クラスターからバランスよく選択して履修してください。

人間学は、次表に示す46科目があります。

クラスター	科　　目		定員（注18）	単位 環境科学	工学	人間文化	人間看護
必　　修【１年次前期】	環境マネジメント総論			2	2	2	2
	人間探求学			2	2	2	2
こ　こ　ろ（Ethics）	差別と人権（同和問題）			2	2	2	2
	比較文明論			2	2	2（注1）	2
	セルフケア論（心理臨床論）		200	2	2	2	2
	人間にとって環境とは何か	注7		2	2	2	2
	人間の行動と空間	注2		2	2	2	2（注16）
	生命・人間・倫理	注8		2	2	2	2
し　く　み（Social Studies）	現代経済論			2	2	2	2
	びわこ環境行政論			2	2	2	2
	近江文化論		200	2	2	2	2
	異文化理解Ａ	注9		2	2	2	2
	異文化理解Ｂ	注9		2	2	2	2
	若者の健康と栄養			2	2	2	2
	地元学入門<近江楽士（地域学）副専攻>			2	2	2	2
	社会福祉論	注10	200	2	2	2	2
	性を考える		200	2	2	2	2（注11）
	地域探求学<近江楽士（地域学）副専攻>			2	2	2	2
	国際協力論	注17		2	2	2	2（注12）
	多文化共生論	注17		2	2	2	2（注12）
	農業問題入門	注3		2（注1）	2	2	2
	国際環境マネジメント			2	2	2	2（注12）
	ビジネス・マネジメント入門			2	2	2	2（注12）
	現代社会と若者			2	2	2	2（注16）
	憲法	注15		2	2	2	2
	Medieval　Japan			2	2	2	2（注16）
	Modernizing　Japan			2	2	2	2（注16）
	地域づくり人材論<近江楽士（地域学）副専攻>			2	2	2	2（注16）
し　ぜ　ん（Natural Sciences）	自然保護論			2	2	2	2
	滋賀の自然史		200	2	2	2	2
	材料史		200	2	2	2	2
	自然科学の視点			2	2	2	2
	空間計画論	注4		－（注1）	2	2	2
	自然現象のしくみ			2	2	2	2（注12）
	水環境政策論	注5		2（注1）	2	2	2
わざ（Technology）	こころのテクノロジー	注13	300	2	2	2	2
	人間と病気			2	2	2	2
	持続的農業論			2	2	2	2
	比較都市論			2	2	2	2
	機械技術と人間			2	2	2	2
	電子社会と人間			2	2	2	2
	比較住居論	注6	200	2	2	2　注1	2
	栄養と人間	注14		2	2	2	2
	明日から使える食のテクニック			2	2	2	2（注12）
	生活と健康			2	2	2	2（注12）
	植物の病気			2	2	2	2（注16）

人間学は、46 科目のうちから６科目を履修します。「環境マネジメント総論」「人間探求学」は、いずれも１年次前期の必修科目です。あとの４科目を各クラスターからバランスよく選択して履修してください。なお、低学年で集中的に履修することなく、高学年でも履修するように心がけてください。

また、入学年度によって各学科専門科目や他学部・他学科科目などに取り扱われ、人間学科目として取り扱われない科目がありますので、注記を確認のうえ履修してください。

注１　次の科目は、それぞれその右側にあげた学部等の学生が履修したときは、専門科目として分類されるので注意してください。

比較文明論	地域文化学科、 生活デザイン学科（平成 23 年度以前入学生）、 生活栄養学科（平成 23 年度以前入学生）、 人間関係学科（平成 23 年度以前入学生）	
農業問題入門	生物資源管理学科（平成 24 年度以前入学生）	※注３もあり
空間計画論	環境科学部	※注４もあり
水環境政策論	環境生態学科、環境政策・計画学科、生物資源管理学科	※注５もあり
比較住居論	生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科	※注６もあり

注２　2012（平成 24）年度以前入学生で「環境行動論」を修得済みの学生は履修できません。

注３　2011（平成 23）年度以前入学生については、「農業問題入門」を「農業経済学」（18 年度以前入学生は、「比較農業経済学」）に読み替え、生物資源管理学科の学生は専門科目、それ以外は他学部・他学科科目として取り扱われます。また、生物資源管理学科の 2012（平成 24 年度）以前入学生は専門科目として扱いますので、人間学としては選択できません。

注４　「空間計画論」：2007（平成 19）年度以前入学生のうち、環境科学部の学生は専門科目として取り扱われ、それ以外の学部の学生は他学部・他学科科目として取り扱われます。

注５　「水環境政策論」：2011（平成 23）年度以前入学生のうち、環境生態学科、環境政策・計画学科、生物資源管理学科の学生は専門科目として取り扱われ、それ以外の学科の学生は他学部・他学科科目として取り扱われます。

注６　「比較住居論」：2007（平成 19）年度以前入学生のうち、生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科の学生は専門科目として取り扱われ、それ以外の学科の学生は他学部・他学科科目として取り扱われます。

注７　2007（平成 19）年度以前入学生（環境科学部の学生は除く）については、「人間にとって環境とは何か」を「環境学原論」に読み替えます。また、2007（平成 19）年度以前入学の環境科学部の学生は、環境科学部の専門科目に分類されますので、人間学としては選択できません。

注８　「生命・人間・倫理」：2009（平成 21）年度以降入学生のうち、人間看護学部の学生は必修の人間学科目として取り扱われ、それ以外の学部の学生は選択の人間学科目として取り扱われます。また、平成 20 年度以前入学生については「生命・人間・倫理」を「看護と倫理」に読み替え、人間看護学部の学生は専門科目として取り扱われ、それ以外の学生は他学部・他学科科目として取り扱われます。

注９　「異文化理解Ａ」と「異文化理解Ｂ」は、海外短期研修における特別講義です。Ａは４月中旬、Ｂは 10 月中旬に授業日程等の詳細について発表されるとともに、参加者の募集が行われる予定です。成績評価は「認定」となります。

注 10　「社会福祉論」：2009（平成 21）年度以降入学生のうち、人間看護学部の学生は必修の人間学科目として取り扱われ、それ以外の学部の学生は選択の人間学科目として取り扱われます。また、2008（平成 20）年度以前入学生については、人間看護学部の学生は専門科目として取り扱われ、それ以外の学生は他学部・他学科科目として取り扱われます。

注 11　「性を考える」：人間看護学部の平成 22 年度以前入学生が履修しても卒業要件単位に算入されません。

注 12　人間看護学部の 2011（平成 23）年度以前入学生については、履修しても卒業要件単位に算入されません。

注 13　2006（平成 18）年度以前入学生については、「こころのテクノロジー」を「こころの自然誌」に読み替えます。

注 14　2011（平成 23）年度以前入学生で「栄養と健康」を修得済みの学生は、履修できません。
人間文化学部生活栄養学科の平成 23 年度以前入学生については、履修できません。2012（平成 24）年度以降入学生は人間学科目として履修できます。
人間看護学部の 2012（平成 24）年度以降入学生については、必修となり人間学として履修できます。人間看護学部の 2011（平成 23）年度以前入学生については「栄養と健康」を「栄養と人間」に読み替え、専門科目として取り扱われます。この場合、人間文化学部生活栄養学科の専門科目「栄養と健康」は履修不可となります。
それ以外の 2011（平成 23）年度以前入学生については、「栄養と健康」を人間看護学科専門科目「栄養と人間」に読み替え、他学部・他学科科目として分類され、人間学として取り扱われません。

注 15　2012（平成 24）年度以前入学生については、履修しても卒業要件単位に算入されません。

注 16　人間看護学部の 2012（平成 24）年度以前入学生については、履修しても卒業要件単位に算入されません。

注 17　「国際協力論」（平成 25 年度不開講）と「多文化共生論」（平成 25 年度開講）は、隔年開講となります。

注 18　履修定員が設けられている科目があります。履修登録については P.4 の「（３）人間学の履修登録」を参照してください。

※１　編入学生のカリキュラムは、編入学年度のカリキュラムではなく、編入した年次の学生と同一のカリキュラムが適用されます。

※２　滋賀大学との単位互換協定に基づき、「滋賀大学での全学共通教養科目」を履修し、修得した場合は、本学の人間学として４単位まで卒業要件に参入できます。

科目名	Ｍｅｄｉｅｖａｌ　Ｊａｐａｎ	２単位　前期
担当教員	ピーター　モーリス	
授業概要	This course focuses on the development of Japanese Culture and the People. It will study the origins of Imperial Japan with its deeply religious and philosophical elements. We will also follow the development from high society Court culture to a Samurai dominated culture.	
到達目標	1. To provide students with a basic understanding of the origins of Japanese culture and society through per-modern times, 2. To foster and understanding Japan's role in the development of East Asian cultures as a whole, 3. To help students develop better communication skills and analytical abilities, 4. To provide students experience with basic historical methods	
テキスト 指定図書 参考書	You will be provided with study materials. You will also be assigned various academic articals for review and commentary. You will also be required to visit online resources.	
成績評価	Attendance　10% Participation　20% Exams　40% Writing Assignments/Presentation　30%	
履修資格		

科目名	Ｍｏｄｅｒｎｉｚｉｎｇ　Ｊａｐａｎ	２単位　後期
担当教員	ピーター　モーリス	
授業概要	This course focuses on history and culture around the modernization of Japan and her struggle to join the fraternity of nations in the West. We will observe the evolution of Modern Japan by examining the cultural development of Japan's culture with the influences and interaction of other nations. We will observe Japan's attempts in joining the fraternity of nations. We will study WWII as a pivotal event that launched Japan into becoming a substantial presence in the world. We will finally discuss Japan today and its economic and social conditions.	
到達目標	1. To provide students with a basic understanding of the development of "Modern" Japan and how it became the world power that it is today. 2. To analyze in an objective manner, the way in which Japan saw and sees itself as members of the community of nations. 3. To help students develop better communication skills and analytical abilities. 4. To provide students experience with basic historical methods	
テキスト 指定図書 参考書	1. Modern Japan, Peter Duus, Stanford 2. The Makioka Sisters, Junichiro Tanizaki	
成績評価	Attendance　10% Participation　20% Exams　40% Writing Assignments/Presentation　30%	
履修資格		

科目名	明日から使える食のテクニック	２単位　後期
担当教員	灘本　知憲　・　柴田　克己　・　矢野　仁康　・　浦部　貴美子　・　遠藤　弘史	
授業概要	生活様式や価値観の多様化にともない、食生活のあり方も大きく変化している。そのような中で，自分自身の健康の維持・増進については、それぞれ自分の問題として捉える必要があり、自分自身の食生活における問題点をみつけ、解決していくことが求められる。そこで、健康な生活の実現に役立てられるよう、食生活における問題対応への実践的な力になりうる内容を、さまざまな学問的視点から講義する。	
到達目標	自らの生活を振り返り、生来の健康を維持するための食行動変容を起こすことができること。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：講義の中で適宜指示する。 参考書：講義の中で適宜指示する。	
成績評価	レポート100%。 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	異文化理解Ａ	２単位　前期
担当教員	国際交流委員会	
授業概要	夏季休業中の3週間、アメリカミシガン州のレイクスペリオル州立大学において、下の授業計画による特別講義を履修します。これらの講義は、英語の講義と大学周辺地域でのフィールドトリップとが組み合わされています。それ以外に、出発前には本学において、専門基礎講座と英語集中講座を受講します。また現地では、週末に同大学教員宅にてホームスティを過ごし、さらにはネイティブアメリカンやパイオニアスタイルの食事を体験します。	
到達目標	英語によるコミュニケーション能力の向上はもちろん、アメリカ・カナダの自然と文化に触れ、国際感覚を涵養するとともに、異文化の理解に努めます。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：特にありませんが、事前授業の中で資料を配付します。	
成績評価	修了後に提出するレポート（100％）。評価は「認定」となります。	
履修資格		

科目名	異文化理解Ｂ	２単位　後期
担当教員	国際交流委員会	
授業概要	春季休業中の3週間、中国湖南省の湖南師範大学において、下の授業計画による特別講義を履修します。これらの講義は、中国語の講義と大学周辺地域でのフィールドトリップや中国文化の演習とが組み合わされています。それ以外に、出発前には本学において、中国語講座を受講します。また現地では、中国湖南地方の伝統的な食事を体験します。	
到達目標	中国語によるコミュニケーション能力の向上はもちろん、中国の自然と文化に触れ、国際感覚を涵養するとともに、異文化の理解に努めます。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：特にありませんが、事前授業の中で資料を配付します。	
成績評価	修了後に提出するレポート（100％）。評価は「認定」となります。	
履修資格		

科目名	栄養と人間	２単位　後期
担当教員	柴田　克己	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：栄養士・管理栄養士をめざす人の文章術ハンドブック（西川真理子著：化学同人）	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	近江文化論	２単位　後期
担当教員	京樂　真帆子	
授業概要	近江の持つ地域的特性とそれを基盤とする文化の特質を歴史学的視点から探る。近年、近江の文化・歴史に関する研究が盛んである。その成果の一端を紹介していく。特に、近江文化の持つ歴史性に注目し、古代から現代への展開を追う。	
到達目標	①近江文化の特質を理解する。②地域文化の意義を説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:『大学的滋賀ガイド　こだわりの歩き方』(昭和堂) 指定図書:特になし参考書:適宜紹介する	
成績評価	毎回の小レポート　30%　　期末試験　70%	
履修資格	特になし	

科目名	環境マネジメント総論	２単位　前期
担当教員	全学部教員によるオムニバス　・　大田　啓一　・　黒田　末壽　・　井上　吉教　・　森　敏　・　肥田　嘉文　・　廣川　能嗣　・　奥村　進　・　原田　英美子　・　山根　浩二　・　秋山　毅　・　村上　一真　・　土屋　正春　・　高橋　卓也　・　仁連　孝昭	
授業概要	環境問題の全体像を把握させ、環境マネジメントの必要性を認識させることを主眼とする。文科系の学生にも技術的な問題の基本的な状況が理解できるように、理科系の学生にも関連する倫理、法規、経済政策などの基本が理解できるように配慮する。このため、取り扱う範囲は広いが、基本的な事項にしぼり、専門的な内容には触れない。個別の詳細な問題は各学部の専門科目等で扱う。	
到達目標	(1)環境問題を総合的に理解できる。 (2)環境マネジメントの重要性とその意義を理解できる。 (3)環境問題および環境マネジメントに関する基本的事項について説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:生協で実費販売する。プリントを適宜配布する。 参考書:必要があれば講義中に紹介する。	
成績評価	第1～7回の到達度検証 50%、期末試験(出題範囲:第9～15回)50%:講義で取り上げた内容に関する基礎的事項を理解しているかどうかを評価する。	
履修資格		

科目名	機械技術と人間	２単位　後期
担当教員	田中　他喜男	
授業概要	人間は道具を使うことにより，人と動物に明確な差をつけている。道具が発展して機械となり，機械を使うことにより，生活は楽になり，楽しさと潤いを与えてくれた。一方，機械は争いや戦争の道具として，多くの人を殺戮し傷つけている。機械技術を発展させ，人に役立たせ，機械技術をいかにうまく操ってきたか，さらに将来はどうなるか，について講義する。	
到達目標	①人類の幸福に役立つ機械技術および技術の発展とは，本来どのようなものであるべきかを学ぶ。②機械を理解し，人間が便利で楽しく安心して利用できるように人品の向上について学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:中山秀太郎著，機械発達史，大河出版参考書:資料を配布する。	
成績評価	期末筆記試験50%，小試験50%	
履修資格		

科目名	空間計画論	２単位　後期
担当教員	水原　渉※	
授業概要	我々は「空間を計画する」という。しかし、空間とは一体どんなものなのか、あるいは、その空間を計画するとはどういうことなのか。環境と空間はどう異なるのか。この様な問いを基底に据え、①空間を考え（空間論）、更に②その計画（計画空間論）を扱う。「①空間論」の部分では「根拠としての空間」、「空間をそれとして認識する人間」と「その人間の空間認識の歴史」の点から空間理解を深めていく。「計画空間論－計画する空間と計画」は、生の空間認識だけでなく、計画者の立場での「認識の方法」をもって理解され計画されるものである。その様な認識の特性についてもみていき、②「計画空間論」の部分で、実際の空間計画を例示しながら、これからの空間計画のあり方について検討する。　空間計画は、環境問題、特に自然環境保全や将来の都市・地域形成に対し更に重要となっており、その意味についても考えていきたい。	
到達目標	本授業を通して、空間というものを通して人間や自然、社会について、そして空間計画について一定の理解し、今後、自らの考え方をつくりあげていく上での一つの基本的枠組を得る。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを配布する（変更の可能性あり）。参考書：授業中に提示する。	
成績評価	試験(60％)とレポートの成績(40％)によって評価する。5回を超える欠席の場合、受験資格を失う。	
履修資格	何よりも「空間」というテーマに関心があること	

科目名	現代経済論	２単位　後期
担当教員	鈴木　康夫※	
授業概要	現代経済の基本的な性質や機能とその役割、問題点について概略的に学ぶ。ミクロとマクロの両面から経済の諸側面（：景気と物価、国際経済、産業、雇用、経営、財政、金融など）について初歩的な内容を学ぶ。また、日本経済の代表的な現象を参考にして、歴史・文化・制度と構造、理論、政策に関するその基本的な学習を行う。	
到達目標	基礎的な経済学の理解と新聞の経済欄やニュースを理解できるようにするのがねらいである。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：テキスト、参考書：後日提示する。	
成績評価	「中間まとめ評価」50点満点＋「レポート提出」20点＋「期末試験」30点満点＝100点満点で評価する。	
履修資格		

科目名	現代社会と若者	２単位　後期
担当教員	大橋　松行　・　竹下　秀子　・　篠原　岳司	
授業概要	この講義では、「現代社会の現状と若者」を大テーマとして設定し、それを社会学、心理学、教育学の各視点から包括的に捉えることによって、その多様性を浮かび上がらせ、現代社会が抱えている問題や若者が持つ多様な顔を現在を生きる学生諸君とともに考える。	
到達目標	①現代社会の問題点と若者の実態について、社会学的視点と手法を用いて理解することができる。②現代社会の問題点と若者の実態について、発達進化学的視点と心理学的方法を用いて理解することができる。③現代社会の若者の実態に対する教育学からのアプローチを理解し、実践的課題を探究することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは使用しない。 参考書等は授業中に適宜紹介する。	
成績評価	小レポート100点（大橋60点、竹下20点、篠原20点）	
履修資格		

科目名	憲法	２単位　後期
担当教員	橋本　豪志※	
授業概要	日本国憲法は，その制定後60年を経過し「経年劣化」が言われるところである。そのため，裁判員制度の導入や，道州制・首相公選制の導入論に見られるような新たな動きも存するところであるが，判例の永年の集積は，我が憲法の理念に光を投げかけ，その意味するところを示唆する。但し，判例は実社会を後追いする傾向があることは否めず，受講生にはより主体的能動的な理解を求めたい。そこで，特に人権条項中の表現の自由について，その民主主義的意義を理解し，さらに統治機構との関係を明らかにすることで，憲法の全体像の理解につなげたい。	
到達目標	憲法の基本構造を理解し，人権相互ないし法的利益との調整手法を学ぶ。その上で，表現の自由を中心とした精神的自由が，成熟した民主主義社会に果たす役割を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：憲法講義　山上賢一編著（中央経済社），憲法判例集　野中俊彦・江橋崇編著（有斐閣新書）指定図書：芦部信喜著　高橋和之補訂　憲法第4版（岩波書店）	
成績評価	期末試験をもって評価する。	
履修資格		

科目名	国際環境マネジメント	２単位　後期
担当教員	岡野　寛治　・　丸尾　雅啓　・　高橋　卓也	
授業概要	アジアの環境問題をそれが生起している場の自然条件および社会条件と合わせて理解し、その解決策を検討する能力を海外現地教員による講義、事例調査とワークショップを通じて養うことを目標とする。そのために、問題を俯瞰的にとらえる能力、異なる社会的・文化的背景を有する人々とのコミュニケーション能力、専門的知識を問題解決に応用する能力を養う。授業の形態は、海外（アジア地域）の大学と連携し、アジア地域の環境問題の現場を対象とした講義、フィールドワーク、ワークショップ形式で行うこととする。使用言語は英語とする。夏季休暇中、あるいは後期定期試験終了後に1週間程度の海外集中プログラムとして実施する。	
到達目標	1）アジアの環境問題を自然条件、社会条件を踏まえ俯瞰的にとらえる能力が習得できる。 2）アジアの学生と具体的な問題を通じてコミュニケーションできる能力が身につく。 3）本コースで学んだ知識から具体的な環境問題解決に応用する能力が身につく。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：Environmental Studies in Asia（配布予定） 参考図書：適宜指示する。	
成績評価	授業の最後に実施するプレゼンテーション（50％）とワークショップにおけるリーダーシップ（50％）により評価する。	
履修資格	環境マネジメント総論の単位を取得し、概ねTOEICスコア500点以上を得た者。	

科目名	国際協力論	２単位
担当教員	島村　一平	
授業概要	※隔年開講につき、今年度（2013年度）は不開講です。 この科目では、国際協力活動の理念と実際について、青年海外協力隊を中心とした国際ボランティア活動の実践者たちを招き語ってもらう。それと同時に授業の参加学生と積極的に議論を交わす講義＋討論のワークショップの形をとるものとする。講師は毎回変わるオムニバス形式とし、受講生はアフリカ、アジア、南米、ヨーロッパ各地における生きた経験の語りから国際協力活動の魅力や援助を実施する上での諸問題に関する理解を深める。それぞれの講師は国際協力事業団および「びわ湖JICAボランティア応援団」の協力の下に選定した。実際に国際協力への関心が高い諸君の参加を期待する。	
到達目標	講師の話から国際協力に対する関心を高めると同時に討論に積極的に参加することで、国際協力における諸問題に関する問題意識を高める.	
テキスト 指定図書 参考書	適宜紹介する。 指定図書　山本 敏晴（著）『世界と恋するおしごと―国際協力のトビラ』、小学館。 内海 成治（編）『国際協力論を学ぶ人のために』、世界思想社。	
成績評価	討論における参加度、レポートなどを総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	こころのテクノロジー	２単位　後期
担当教員	細馬　宏通	
授業概要	脳科学や神経科学の発展と共に、人間の行動に対する考え方は大きく変化しつつある。最近では、人のさまざまな活動において脳の重要性が強調されるいっぽうで、身体と脳との関係もまたクローズアップされるようになってきた。この講義では、脳−身体システムの協調的な活動を紹介しながら、わたしたちの脳に対する考え方、身体観を見直すことを目指す。	
到達目標	人間の脳の基本的なしくみとはたらきを説明できる。 視覚・聴覚をはじめとする知覚の成り立ちを説明できる。 記憶・学習・情動・思考について認知神経科学の視点から説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：サブリミナル・インパクト（中公新書）	
成績評価	リスポンスペーパー(30%) 期末試験(70%)によって評価する。	
履修資格		

科目名	材料史	２単位　前期
担当教員	バラチャンドラン　ジャヤデワン　・　北村　千寿	
授業概要	人類は日々の生活を便利に、快適に、そして活動しやすくするためにいろいろな材料を見いだし、利用し、今日の文明を築き上げてきた。現在の豊かな暮らしは有史以来の材料の発達の結果であり、新しい材料の発見は時には歴史を変える役割もしてきた。このような材料の発達の経過と材料が社会の進歩に貢献してきた歴史について、それらの材料を金属・セラミックスなどの無機材料と繊維、高分子などの有機材料に分けて説明し、ものづくりの大切さについて理解を深める。	
到達目標	(1)青銅器時代から始まり鉄器時代に至る金属の歴史を理解すること。 (2)セラミックスやレアーメタルなどの新しい材料の発展について理解する。 (3)多様な有機材料の特性を理解し説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	金属と日本人の歴史　桶谷繁雄著　講談社	
成績評価	レポートで評価する	
履修資格		

科目名	差別と人権（同和問題）	２単位　前期
担当教員	吉田　一郎　・　松本　行弘　・　裵　敬隆※	
授業概要	吉田一郎：人権問題とはそもそも何か、また人権問題と差別問題,差別行為と差別意識の関係について考える。 松本行弘：講義は二つの柱から構成する。一つは精神医療における障害者の人権.もう一つは我々が身近な日常で体験するハラスメントを取り上げる。 裵敬隆：朝鮮人からみた戦後日本の差別と人権。そして在日朝鮮人への差別が現代日本の人権侵害を容認する社会構造とつながっていることを明らかにする。	
到達目標	1.教育における人権問題、差別問題の所在を理解すること。 2.精神障害者差別の現状と歴史を理解すること。 3.在日朝鮮人差別問題について理解sすること。 4.全体をとおして、人権問題、差別問題について科学的、批判的な思考を深める.	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：講義中に適宜指示する 参考書：講義中に適宜指示する	
成績評価	レポートによって行う。5回以上欠席者は評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	滋賀の自然史	２単位　後期
担当教員	浜端　悦治	
授業概要	古代湖の一つとしても数えられる琵琶湖は、多くの生物種を育み、生物多様性の視点から重要であるのみならず、1400万人の上水源としての役割も担っている。しかもその集水域では古くから人間の営みが行われており、人と自然との共存のバランスのとれた例として世界的に見ても貴重な存在となっている。本講義では、琵琶湖とその集水域、そして人間活動の変遷を明らかにし、琵琶湖と人間との望ましいあり方を考える。	
到達目標	1）琵琶湖とその集水域の環境が人間活動によっていかに変化してきたかを理解し、説明できる。 2）琵琶湖と人間との望ましいあり方について自分の意見を述べることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	講義資料：毎回配布する。	
成績評価	期末試験60％、毎回実施する小テスト40％で行う。	
履修資格		

科目名	自然科学の視点	２単位　後期
担当教員	松岡　純	
授業概要	現代社会は自然科学とその応用である技術を享受している。したがって「自然科学は世界をどう見るか」への理解は，科学技術や人間・社会の定量化・モデル化において重要である。モノの価値から知の価値へと豊かさの指標が転換期にある現在，自然科学という知の構造を理解する意義は大きい。しかし科学の成果に比べ，科学を生み出す過程は見え難い。そこで本講では科学史や担当教員の経験に基づく実例を多用しながら，自然科学の思考法について講述する。	
到達目標	(1)自然科学の特徴とそこで使われる論理や思想の，概要を説明できること。 (2)自然科学における思考法を簡単な事例に適用できること。	
テキスト 指定図書 参考書	毎回の授業開始時に，その回の授業に関するプリントを配布します。レポート課題もその中に記します。 指定図書：デカルト 著，谷川多佳子 訳，「方法序説」（岩波書店 岩波文庫） 参考書：小林道夫 著，「哲学教科書シリーズ 科学哲学」（産業図書）， ジョン・プライス・ロゼー著，常石敬一訳，「科学哲学の歴史」（紀伊国屋書店）	
成績評価	次の内容の3回のレポートの成績を単純平均して最終成績とする。 レポート1：自然科学における思考法の変遷について，課題を纏める。（到達目標(1)） レポート2：自然科学で使われる論理の具体的事例への適用を行なう。（到達目標(2)） レポート3：与えられた事実に対し，自然科学の複数の思考法を適用して分析・解釈を行う。（到達目標(1)，(2)）	
履修資格		

科目名	自然現象のしくみ	２単位　後期
担当教員	倉茂　好匡	
授業概要	日本ではさまざまな種類の自然災害が発生する。この講義では、日本で生活していくうえで遭遇する可能性のある自然災害を引き起こす現象をとりあげ、それぞれの現象のしくみについて学んでいく。そのうえで、各自が各種自然災害に対し、防災あるいは減災するための方策について考えていただく。 この講義を受講することで、日本で発生する各種自然災害のしくみを理解できるようになる。そのうえで、それらに対して準備する方法を考えられるようになることを最終目標とする。	
到達目標	1）自然現象を引き起こすさまざまな自然現象について、その特徴を科学的用語を用いて説明できるようになる。 2）災害発生時を想定し、その自然現象の特徴に対する理解に基づいて自らの対応策を考えることができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	必要な資料は、プリントとして授業の都度配布する。 レポート作成に必要な文献についても、初回授業で指示する。	
成績評価	毎回のリプライペーパー（講義内容の理解度チェック）45％ 宿題（計7回）35％、レポート（最低2回）20％ 毎回のリプライペーパーは1回3点満点、宿題は5点満点、レポートは10点満点で毎回採点し、これらを積算したものをもって最終評価とする。 採点基準は、各リプライペーパーおよび宿題に明示しておく。	
履修資格		

科目名	自然保護論	２単位　後期
担当教員	西田　隆義	
授業概要	人間による自然利用、とくに生物資源の利用の成功と失敗を過去から現在までのさまざなな社会で比較検討し、賢明な資源利用にかかわるヒトの社会的特性と関連させて論ずる。次いで、近年社会的な関心が高まっている生物の多様性の保全について、その意義と多様性の創出と衰退に関わる生態学的なメカニズム、および多様性をいかに保全し、賢明に利用するかについて概説する。	
到達目標	生物多様性とは何かを理解し、保全生物学の基礎を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：文明崩壊（ジャレット・ダイヤモンド著）草思社 天敵なんてこわくない（西田隆義著）八坂書房	
成績評価	授業への取り組み60％、レポート40％：生物多様性の賢明で持続可能な利用と保全についてと理解していること。	
履修資格	特になし	

科目名	持続的農業論	２単位　後期
担当教員	泉　泰弘	
授業概要	農業は人間にとって食糧生産のための必須の営みである。この生産活動をいかに環境と調和させ、持続的に維持するかを考えるため、農業という営みの特性、人口、食糧生産量、農業の現状、生産技術、ならびにそれらと環境との関わりや持続的生産の可能性について解説する。	
到達目標	(1)世界の食料事情の現状と将来について説明することができる (2)水田および畑作農業について説明することができる (3)農業の持続性を脅かす要因について説明することができる (4)持続的農業の実現に必要な事項について説明することができる	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義資料配付参考書：久馬一剛「食料生産と環境」 化学同人（1997）、東京大学農学部編「人口と食糧」 朝倉書店（1998）、巽二郎「地球環境と作物」 博友社（2007）	
成績評価	期末試験（100％）	
履修資格	上に同じ	

科目名	地元学入門	２単位　後期
担当教員	未定　・　近江楽座プロジェクト指導教員	
授業概要	伝統的街並みの再生、古民家再生・活用、地域文化の保全継承、農村コミュニティの活性化、地域医療のサポートなど、地域は様々な課題をかかえている。地域との連携を図りながらこれらの課題を解決していくために必要な能力や方法論について「近江楽座」（学生力をいかした地域貢献活動）の取り組み事例をとおして実践的（Project Based Learning）に学ぶ。	
到達目標	(1)滋賀県の地域課題とその社会的背景について理解する。(2)「近江楽座」による学生主体の地域貢献活動をとおしてプロジェクトの立ち上げ、協働、運営のための方法論を学ぶ。(3)地域や企業のリーダーとして行動するための基礎的能力を開発する。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：近江楽座学生委員会編著「近江楽座のススメー学生力で地域が変わる」（株）ラトルズ／近江環人地域再生学座編「地域再生　滋賀の挑戦　エコな暮らし・コミュニティ再生・人材育成」新評論 プリント等を各回の講義で配布する。	
成績評価	各回講義小レポート75％、課題レポート又は期末試験25％	
履修資格		

科目名	社会福祉論	２単位　後期
担当教員	富永　豊※	
授業概要	中央アジアの経済的に貧しい小国ブータン王国が世界一幸福な国との報道や東日本大震災の体験から、幸せとは何かが今、問い直されるようになりました。いうまでもなく社会福祉は、「人の幸せ」を目的としています。大きな経済力とともに福祉国家としての高い福祉制度を持っている日本の社会において、その社会福祉のあり方についてあらためて振り返り、多くの国民の安心や幸福感がアップしてゆくような方向について皆さんと考察できればと思います。	
到達目標	我が国における社会福祉の仕組みや制度の概要を知り、社会福祉制度の現状と課題を探る中で、今後の社会福祉のあり方について考えることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「新社会福祉論」川池智子編著　㈱学文社 参考書:社会福祉学習双書2012「社会福祉概論Ⅰ」全国社会福祉協議会発行	
成績評価	期末試験60％　事前学習のレポート評価40％（1回10点満点で4回）	
履修資格		

科目名	植物の病気	２．０単位
担当教員	鈴木　一実	
授業概要	植物の病気の種類，特徴および原因を人間の病気と比較するとともに，とくに植物の伝染性の病原体について概説する。あわせて，農林業をとりまく微生物の世界に目を向け，植物に病気を引き起こす病原体とともに，作物保護に有用な様々な微生物について紹介する。	
到達目標	(1)植物の病気と人間の病気の特徴やちがいを理解することができる。 (2)植物の病気のさまざまな原因について理解することができる。 (3)農林業に関連する微生物の世界について興味を示すことができる。 (4)植物の病気の防除に有用な農業微生物について理解することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントを配布する。 指定図書:講義の中で適宜紹介する。 参考書　:講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	学期末試験を実施する。試験成績（50％）と小テスト・レポート（50％）により総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	生活と健康	２単位　前期
担当教員	奥津　文子 ・ 飯降　聖子 ・ 甘佐　京子 ・ 伊丹　君和 ・ 古株　ひろみ ・ 川端　智子	
授業概要	人間の健康について多角的に考察するとともに、健康増進のための方略 を生活の側面から受講生と共に検証する。 また、発達過程を追いながら生活と健康との関連性を振り返り、自らの 生活をより健康的に整えられるよう、ディスカッションを通し検討する。	
到達目標	①生活習慣と健康との関連性を理解する ②自らの生活習慣を健康の視点から振り返り、問題点を検討することができる ③健康的な生活に向けて、行動変容をおこすことができる	
テキスト 指定図書 参考書	授業の中で参考図書を指示する	
成績評価	授業への参加状況、小テスト、レポート等により総合的に評価	
履修資格		

科目名	生命・人間・倫理	２単位　後期
担当教員	清水　房枝　・　糸島　陽子	
授業概要	人間の生命の尊厳と権利の尊重についての基本的な考え方、倫理原則、倫理理論を学ぶ。また、現代の生命倫理・医療倫理に関する具体的な問題や課題に視点を当て、看護の立場から適切な判断や解決の方略を考える。	
到達目標	1. 生命倫理、医療倫理、看護倫理とは何かを学び理解する。 2. 倫理原則を学び、医療における倫理的課題とその解決方法について考える。 3. 看護者の倫理的責務について学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:講義の中で紹介する。	
成績評価	定期試験、レポート、ミニレポート(授業参加状況を含む)を総合して評価する。 毎回グループ討議を行い、講義内容は一部変更することもある。	
履修資格		

科目名	性を考える	２単位　後期
担当教員	京樂　真帆子　・　武田　俊輔　・　伊丹　清　・　河　かおる　・　東　幸代　・　亀井　若菜	
授業概要	近年急速に進んでいる男女共同参画社会の基礎知識を身につけ、現状と課題を理解していく。その上で、将来にわたって、男女共同参画社会形成を率先して推進していくことができる人材を育成する。現在の社会のニーズに応える講義である。	
到達目標	男女共同参画に関する正確な知識を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:指定図書:特に指定しない。参考書:適宜紹介する。	
成績評価	3回実施するまとめの中で、簡単な到達確認を行う。その成績を合算して評価とする。なお、各回最後に提出を求めるレスポンスカードの内容を成績評価の参考とする場合もある。	
履修資格		

科目名	セルフケア論	２単位　前期
担当教員	松本　行弘	
授業概要	心理学は人の行動を明らかにする学問であるが、広い心理学の領域でも精神の病や非行・犯罪、事件や事故に関係する不適応行動など“人の心の光と影”を対象に深層心理に関わる心理臨床の領域から人の行動を明らかにしたい。ただ、直接的には日常の事例を用いず、文学や絵画、芸能、映像といった表現の中に人の行動の普遍的原理を見出そうとする試みである。特に学童期から思春期・青年期を対象にして、まずは、スタジオジブリの宮崎アニメーションの心理学的分析から心の深層に接近する。	
到達目標	人の行動(生きるということ)には、自分では意識していない様々な意味があるということを理解し、自己の生き方を振り返る。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:指定しないが、教材としてVTRやDVDを使用し、適宜プリントを配布する。 参考書　:そのつど紹介する。 指定図書:河合隼雄著「ユング心理学入門」倍風館	
成績評価	レポート課題　30%　　最終レポート　70% ※欠格条件(授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない)	
履修資格	特になし	

科目名	多文化共生論	２単位　後期
担当教員	河　かおる　・　武田　俊輔	
授業概要	日本における外国人住民の増加を受け、2006年に総務省が「地域における多文化共生推進プラン」を策定し、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく」多文化共生の地域づくりを推し進める必要性を打ち出した。滋賀県においても、2010年に「滋賀県多文化共生推進プラン」が策定され、そのような多文化共生の地域づくりを目指している。この授業では、外国人住民の当事者や、教育や医療、行政などの各現場で多文化共生にとりくんでいる方を外部講師に招きながら、多文化共生の地域づくりにおける現状と課題について学ぶ。 【隔年開講につき、2013年度開講、2014年度不開講】	
到達目標	多文化共生の地域づくりにおける現状と課題を理解する（特に滋賀県の現状と課題）。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配付 指定図書：なし 参考書：講義中に適宜紹介	
成績評価	毎回のレポート　80点満点 質問（加点制）　20点～	
履修資格		

科目名	地域探求学	２単位　後期
担当教員	鵜飼　修　・　森川　稔　・　上田　洋平	
授業概要	地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する本学のモットーを具体的に体験する学習プログラム。地域活動を主体的に実践したことのない初級者向け。地域で活動する様々な人、企業、団体との対話を通じて、地域とのコミュニケーション手法を学び、社会人基礎力を養う。	
到達目標	・地域の人々との適切なコミュニケーションができる ・地域の人々とのネットワークを築く	
テキスト 指定図書 参考書	地域探求ノートを配布する。 適宜、資料を配布する。	
成績評価	原則全回出席すること。地域人への訪問は必須。 自己探求シート10％、名刺作成10％、自己紹介ビデオ10％、地域人訪問調書10％、中間ふりかえりシート10％、最終ふりかえりシート10％、レポート1，2各20％、交換した名刺：調整の上加点。	
履修資格	近江楽士（地域学）副専攻にエントリーすることが望ましい。	

科目名	地域づくり人材論	２単位
担当教員	上田　洋平	
授業概要	地方分権、地域主権時代の到来が叫ばれるなか、現実の地域社会は山積する課題を抱えながら、暗中模索の状態にある。各地でこの状況を突破する人材が切望される所以である。 　当科目では、次代の地域社会を担う人材について1）そもそも地域における「人材」とは何か、2）そうした人材が必要とされる背景、3）人材観の歴史的変遷、4）そうした人材に求められる役割と能力、5）さまざまな人材像とその類型、6）そうした人材が切り開く地域社会の展望等について、実際の人々を題材にとりながら検証し、明らかにしていきたい。 　あわせて、地域社会を担う人材は、一体いかなる場所、いかなる条件や環境の中で育っていくのか、すなわち「人が育つ」場としての地域社会のあり方にも目を向けてみたい。 　授業では実際に各分野で活躍している人々を教室に招き、具体的にその存在や体験に触れながら学んでいきたい。	
到達目標	・人材という概念・言葉の意味について理解し説明できること。 ・地域の様々な場で人材が求められている事実とその背景について理解し説明できること。 ・時代や社会的状況によって描かれる人材観や求められる人材像は変遷するということについて理解し説明できること。 ・地域づくりや地域再生、地域活性化に取り組む人材に求められる条件やそうした人材が備えるべき能力について理解し説明できること。 ・地域には多様な人材が存在し、それぞれに役割を担っているということについて理解し説明できること。 ・地域において人材を育て活かす仕組みについてその現状と課題を理解し説明できること。 ・地域づくりや地域再生、地域活性化を達成する上で、様々な人材が、様々な場面や段階において果たす役割について、具体的な事例をもとに説明できること。 ・以上を踏まえて受講生一人一人には地域社会において担っている役割があり期待されている人材であるということに対して自負と自信を持ち、展望を語れるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト、指定図書、参考書：適宜紹介する 適宜プリントを配布する。	
成績評価	期末試験60％ レスポンスペーパー40％	
履修資格		

科目名	電子社会と人間	２単位　後期
担当教員	柳澤　淳一	
授業概要	現在の私たちの生活は高度情報化社会における電子・情報分野の先端技術に支えられている。これは科学・技術の驚異的な進歩によるが、その変化があまりに急速だったため、個人の生活や社会に及ぼす影響には光の部分と影の部分が出てきた。科学・技術は、最終的には私たちの生命や社会生活に優しいものでなくてはならず、科学・技術と社会や人間との関わり合いや、科学・技術を発展させる、またはそれを利用する者としての社会的責任について認識を深めることは、社会の一員である皆さんにとって必要不可欠である。本講義では、電子・情報分野の視点から、これらについて講述する。	
到達目標	電子・情報技術を、単に与えられたブラックボックスとして受け身的に使うだけでなく、背後にある原理や現状の問題点まで理解することで積極的にそれぞれの専門分野に応用し、利用していけるような素養を身につけるきっかけになることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：必要に応じて資料を配付する。 参考書：関連した文献を講義中に適宜紹介する。	
成績評価	小試験30％、レポート評価　70％（小レポート　20％、総合レポート　50％）ただし6回以上欠席した者は評価対象にしない：講義の理解度を確認する小試験を毎回行うほか、初回の講義時に、電子社会との関わりに関連した話題の小レポートを課し、最終回の講義において、講義を通じて学んだことを含む総合的なレポートを課す。	
履修資格		

科目名	人間探求学（環境生態）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。環境生態学科では教育ディベートを取り入れて授業を行う。	
到達目標	1）大学で学び、コミュニケーションするための基本技術を習得する。 2）教育ディベートにより、論理的思考・判断能力、傾聴能力、プレゼンテーション能力を身につける。 3）環境問題の多面性、複雑さ、議論の難しさを知る。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書等：必要に応じて授業内で指示される。	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	人間探求学（環境政策・計画）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	人間探求学（環境建築デザイン）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えを理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:適宜紹介	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	人間探求学（生物資源管理）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は1年生を少人数グループ（7～8名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:各教員によって異なる。	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	人間探求学（材料科学）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	人間探求学（機械システム）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜紹介する。	
成績評価	レポート，プレゼンテーション等，各担当教員の評価による。ただし，所定の出席回数を満たす必要がある。	
履修資格		

科目名	人間探求学（電子システム）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。これらに加え、電子システム工学科では、外部講師による最先端の現場の話や、人権感覚を磨くための講演を聴く機会を設ける。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:配布資料に記載。	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	人間探求学（地域文化）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	人間探求学（生活デザイン）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。学科の1年生を少人数グループ（3～4名）に分け、担当教員を割り当てる。学期を前半と後半に分け、各グループは前半と後半とでそれぞれ別の教員から指導を受ける。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：担当教員が指示する。	
成績評価	出席を重視する。3回以上の欠席者は授業期間終了後に呼び出し、面談して個別に指導する。成績には授業での発言、レポート、プレゼンテーション等に対する各担当教員の評価を加味する。	
履修資格		

科目名	人間探求学（生活栄養）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：栄養士・管理栄養士をめざす人の文章術ハンドブック（西川真理子著：化学同人）	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	人間探求学（人間関係）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト・参考書：講義中に指示する。	
成績評価	リアクションペーパー・小テスト（50％）、レジュメ作成・ディスカッションへの参加・レポート（50％）	
履修資格		

科目名	人間探求学（国際コミュニケーション）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この授業は、学生自らが人間を探求し、人間とその社会、文化に対する新しい発想・発見を得ることを支援するためにおこなわれる。授業形態としては、基本的な導入教育からはじめて、担当教員による対面的な指導を取り入れておこなわれる。	
到達目標	(1) 研究の基盤となるような基本的な学問的手続きを習得する。 (2) 学問に対する主体的なあり方についての自覚をもつ。 (3) 自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	講義中に指示する。	
成績評価	授業への積極的な参加、レポート、発表、討論への参加等を総合的に判断する	
履修資格		

科目名	人間探求学（人間看護）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜紹介、または資料配布	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	人間と病気	２単位　前期
担当教員	山田　明 ・ 森　敏 ・ 安原　治	
授業概要	抗生物質に代表される近年の医学の進歩は、大きく人類に貢献したものの、その一方で後天性免疫不全症候群(AIDS)、重症急性呼吸器症候群(SARS)のような以前は全く知られていなかった新しい疾患の出現や認知症に代表される未解決の問題も残している。ここでは、感染症、認知症を中心に重要な疾患の説明とその社会的背景について解説する。	
到達目標	(1)感染症の知識を得て病原体の感染から身をまもる方法について基本的な説明ができること (2)現在、老化や認知症についてどこまで解明されまた、どのようなことが問題になっているかを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：岡田晴恵著「H5N1型ウイルス襲来」（角川SSC新書） 森敏著「認知症のとらえ方・対応の仕方」（金芳堂）	
成績評価	レポート100%（自分の考えを入れないネットの引写しは不合格） 5回を超える欠席の場合、評価対象としない。	
履修資格		

科目名	人間にとって環境とは何か	２単位　後期
担当教員	近藤　隆二郎	
授業概要	環境問題とは単なる解くべき客観的問題ではなく、かかわる自分の立ち位置も問われる難しい問題である。自然を含む環境の中に自己を位置づけ直す新しい学問体系を展開する。環境問題の複雑な絡みあいと、その中に翻弄される人間を描き出す。歴史の中で生成されてきた「環境」という概念の扱われ方を追うことで、私たちの今までをふりかえる。そのような営みの場から、これからの暮らしを考えていく上で私たち自身が何をどうとらえていくかを見つけ出そうとする。	
到達目標	(1)環境からみた歴史の見方を体得すること。 (2)人間社会の持つ無意識な暴力性について理解を深めること。 (3)自分たちの暮らしを見直す視座を持つこと。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回の講義でプリントを配布する。 参考書：飯島伸子『環境社会学のすすめ』(丸善)，小原秀雄・羽仁進『ペット化する現代人』(日本放送出版協会)，小野芳朗『〈清潔〉の近代 』(講談社)	
成績評価	毎回の小レポート評価100%(提出回数評価40%＋内容評価60%)	
履修資格		

科目名	人間の行動と空間	２単位　前期
担当教員	村上　修一	
授業概要	本講義では、人間の行動と空間との関係について、様々な視点から解説する。第2～8回では、具体事例の紹介や簡単な演習を織り込みながら講義を行う。また、調査課題についての説明や、調査に必要な情報の提供も行う。受講生は、講義で紹介される調査課題を1題選択し、講義内容や説明を参考に調査を実施して結果をまとめ、第9～15回の指定された回に発表し討議することが求められる。また、指定回以外の発表を聞き討議に参加することが求められる。	
到達目標	講義で紹介される知識や手法を応用し、フィールドで自ら調査を行い、人間の行動と空間の関係について一定の知見を得ることができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	＜参考書＞ 紙野桂人(1980)：人のうごきと街のデザイン：彰国社 加藤孝義(1986)：空間のエコロジー 空間の認知とイメージ：新曜社 ジョン・ラング著、高橋鷹志監訳、今井ゆりか訳(1992)：建築理論の創造－環境デザインにおける行動科学の役割：鹿島出版会 中島義明、大野隆造編(1996)：人間行動学講座3 すまう－住行動の心理学：朝倉書店 日本建築学会編(1998)：人間環境学 よりよい環境デザインへ：朝倉書店 高橋鷹志他編(2003)：環境行動のデータファイル 空間デザインのための道具箱：彰国社 伊藤正人(2006)：心理学研究法入門－行動研究のための研究計画とデータ解析：昭和堂	
成績評価	調査結果の発表に対する評点を60%、コメントシートに対する評点を40%の割合で総合し成績とする。	
履修資格		

科目名	農業問題入門	２単位　後期
担当教員	増田　佳昭	
授業概要	食料，農業，農村問題に関する入門的講義であり，経済学的側面からのアプローチを中心に，理論，歴史，現状について講述する．各国の農業はWTOに象徴される国際的枠組みの中で「グローバル化」の渦中にあるが，農業経済は，家族経営，農地，自然環境などの非市場的特質をもつ要素を持つため，それらを配慮したアプローチが必要となる．農業経済に対する多面的なアプローチを紹介しながら，問題を考えていく．	
到達目標	(1)農産物の需要と供給について理解し、耕作放棄地が発生する理由を説明できる。 (2)自由貿易論の根拠とされるリカードの比較生産費説とその問題点を説明できる。 (3)先進国における農業保護政策と農産物過剰対策について説明できる。 (4)戦後におけるの日本の農業政策の変遷をおおまかに説明できる。 (5)米過剰の原因と水田農業のあり方について自分の考えを説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：暉峻衆三『日本の農業150年』、有斐閣ブックス　田代洋一『新版　農業問題入門』(大月書店)　速水佑次郎・神門善久『農業経済論　新版』(岩波書店)	
成績評価	小レポート50％、定期試験50％。	
履修資格		

科目名	比較住居論	２単位　前期
担当教員	藤木　庸介	
授業概要	世界には、生態や文化、社会の違いにより、地域に固有な（ヴァナキュラーな）さまざまな住まいが存在する。ヴァナキュラーな住まいの空間について、主に中国、東南アジアから西アジア、インド、アフリカ、ヨーロッパの事例を紹介しながら、その形式や技術、住まいに対する思想について解説するとともに、風土、歴史、文化、社会制度、生活様式など多様な観点から、その構成原理を考える。	
到達目標	世界の多様な住居のあり方を学び、「住む」という行為の持つ意味と、住まいの空間について、地域に固有な構成原理を考察し、相対的位置づけができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布。 参考書：布野修司編『世界住居誌』昭和堂 2005、他、適宜紹介する。	
成績評価	小テスト3回により評価。成績への寄与率は小テストの合計を100％とする。	
履修資格		

科目名	比較都市論	２単位　前期
担当教員	布野　修司	
授業概要	都市と何か。その定義（本質）、起源（成立）、その歴史をめぐって都市を媒介とする知の領野（都市生態学、都市地理学、都市社会、都市の記号学・・・・）を総覧しながら議論したい。 そして、都市の類型、都市の歴史を理解する枠組みについて整理したい。視点とするのは、都市の形態、空間構成、計画理念である。 そこでは、可能な限り多様な都市のあり方をとりあげたい。また、多様な構成原理を明らかにしたい。 特に、非西欧における都市をとりあげたい。 目指すは、世界都市論、世界都市（計画）史である。	
到達目標	都市の歴史について洋の東西を問わずその概要について基本的知識を身につける。また、都市の成り立ちに関する基本的な理論について理解するとともに、様々な分野からの都市研究の方法があることを理解する。また、都市計画の方法、まちづくりの方法について基本的知識を得る。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：指定図書：『都市史図集』（彰国社） 参考書：授業時に適宜指示する。	
成績評価	レポート評価80％　試験20％	
履修資格	特になし	

科目名	比較文明論	２単位　後期
担当教員	定森　秀夫	
授業概要	古代文明の発生・展開・消滅の過程から、現代文明の未来を展望してみたい。古代文明にはエジプト文明・メソポタミア文明・インダス文明・中国文明の四大文明があり、新大陸にはインカ ・マヤ・アステカ文明などがよく知られているが、その他に多様な文明が知られるようになってきた。本授業では、古代文明の相互の比較検討を通して、文明相互の共通性と相違性を認識し、時代と地域を越えて文明の融合は可能なのか、もし融合が可能でないとしたら、文明間の相互理解はどのようにしたら可能なのか、を考えていく契機を提供したい。	
到達目標	1．古代文明の内容を理解する2．古代文明と現代文明を時代と地域を越えて比較検討できるようにする3．文明間の相互理解のための方策を考える	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント資料を配布する参考書：授業中に紹介する	
成績評価	講義理解度60％　レポート（小レポート2回・期末レポート）40％　で成績評価	
履修資格		

科目名	ビジネス・マネジメント入門	２単位　前期
担当教員	宮尾　学	
授業概要	私たちの生活は，企業が提供する製品やサービスなしでは成り立ちません。学生の皆さんも卒業してからはこれらの製品やサービスを提供する側に立つことがほとんどでしょう。では，こういった企業はどういう仕組みで運営されているのでしょうか。この授業では，皆さんに身近な「企業」「会社」を取り上げて，そのマネジメントの仕組みを学びます。経営学の領域でこれまでに研究されてきた枠組みを学習し，社会・企業・仕事・キャリアなどについて考えるための基礎的な知識を身につけるのがこの授業の目的です。	
到達目標	経営学の領域でこれまでに研究されてきた枠組みを理解し，社会・企業・仕事・キャリアなどについて考えるための基礎的な知識を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	教科書:加護野忠男・吉村典久(編)(2012)『1からの経営学[第2版]』碩学舎	
成績評価	授業中に行う課題で評価します。 課題は，時々行うミニ課題と講義の最後に行うまとめ課題があります。	
履修資格		

科目名	びわこ環境行政論	２単位　後期
担当教員	井手　慎司	
授業概要	地方自治体の政策は、開発と保全の両方から地域環境に大きな影響を及ぼす。滋賀県をフィールドに各分野の政策立案にかかわる行政担当者の講義を通じて、地域環境政策の課題を学び、琵琶湖という環境資産をもつ地域の持続可能な発展への政策とその実施について考える。(なお、ゲスト講師の都合により、講義の順序が入れ替わることがある。)	
到達目標	びわ湖を中心とした環境をめぐる課題の所在を理解するとともに、持続可能な社会へ向かう政策のあり方について自分の意見をもつことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:『琵琶湖ハンドブック改訂版』以下のURLから入手できる。 http://www.pref.shiga.jp/biwako/koai/handbook/kaiteiban.html	
成績評価	毎回の授業においてレポートの提出を求める。成績評価は、同レポートの評価75%、期末試験の結果25%で行う。	
履修資格		

科目名	若者の健康と栄養	２単位　前期
担当教員	岡本　秀己　・　福渡　努　・　廣瀬　潤子　・　南　和広　・　佐野　光枝	
授業概要	あなたの食生活は大丈夫ですか？今、大学生や20歳代の食の乱れが指摘されています。食の乱れはあなたの身体・こころ(情緒)に影響を及ぼすだけでなく、将来の健康状態にまで悪影響を及ぼします。人生で一番健康なこの時期のため、少々の無茶をしてもなかなか顕在化しないが、気がつけば・・・・。豊かで何でも手に入る今でも偏った食生活のため、今でも「栄養失調」は存在します。本科目では、自分の食生活を管理し、将来生活習慣病にならない、食や運動を通した健康づくり、食事の楽しみなどを、基礎から実践まで、できるだけ予備知識なしでもわかるように、複数の教員が様々な角度から興味深い講義をします。今のあなたに、将来のあなたの健康のために、受講を勧めます。	
到達目標	健康に生きるための必要な栄養摂取量を理解できる。 健全で豊かな食生活を送ることを実践できる。 そのために、必要な食品を選ぶことができる。 安全で安心な食品を見極めることができる。 運動や栄養が健康に及ぼす影響を理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	講義内で適宜資料を配布する。 テキスト、指定図書、参考書があれば講義内で適宜指示する。	
成績評価	小テスト・レポート　100％	
履修資格		

科目名	水環境政策論	２単位　後期
担当教員	井手　慎司	
授業概要	琵琶湖や日本における水環境問題の現状や課題、歴史、保全に取り組んできた行政施策と住民運動の変遷を中心に解説しながら、琵琶湖および国内、世界的な水環境問題の今後の解決にむけた方途について考えていく。毎回、質問標を配付・回収し、講義に関する質問や疑問について翌週に答えていく予定である。	
到達目標	(1)琵琶湖や日本における水環境問題の現状や課題、歴史、保全に取り組んできた行政施策と住民運動の変遷を説明できること。 (2)琵琶湖および国内、世界的な水環境問題の今後の解決にむけた方途について持論を構築できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリントを配付参考書：授業中に適宜紹介する。	
成績評価	課題・小テスト50%。毎回小テストを行う。課題は不定期に出題。小テスト・課題ともに各3点満点とする。定期試験50%。毎回授業の最初に示す講義のポイントを理解できていること。ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

２　環境科学部科目履修の手引

１　環境科学部各学科の教育目標について

（１）　環境生態学科

環境生態学科の学生には、授業を通して、実際の環境での問題を発見し、その対処法を提案することを求めます。環境問題を発見して解析する能力を養うため、幅広い分野で少人数制の先鋭的な授業を展開しています。我々のカリキュラムは、従来の基礎科学のうち環境問題解決に特に必要な基礎分野を統合して学習することから始まります。その上で、各分野で特に重要な事項に関する実習・実験科目を履修します。この段階では、実際の野外環境を題材として学習します。４年生では一年かけて卒業研究にとりくみます。学生は滋賀県の恵まれたフィールドにじかに触れ、環境調査への即戦力的実力を身に付けます。

（２）　環境政策・計画学科

環境政策・計画学科では、環境を配慮した政策や計画の理論と技法を学び取ることを目標にカリキュラムが組まれています。環境政策や環境計画は、さまざまなプロジェクトの設計、イベントの計画、ビジネスの構築、行政計画において必要となる、環境を配慮した目標達成のための人間および社会を対象とした政策や計画です。したがって、環境政策や環境計画を学ぶために、人間行動や社会システムに関する科目群と環境および環境と人間活動の相互作用に関する科目群および環境フィールドワークの延長としての実習、演習系の科目群が配置されています。これらの科目群を学んだ後に、フィールドワークを踏まえた卒業研究を通して政策や計画の理論と技法を身につけることができるようにカリキュラムが編成されています。

（３）　環境建築デザイン学科

本学科は、我が国で初めて創設された環境科学部に属する建築学科です。従来の工学的建築の枠組み、専門性を超えて、自然と人間・社会の相互の関係性、連続性、人間の生活に根ざした視点に価値をおく環境科学的枠組みが必要であるという共通の認識のもと、建築や地域・都市を深く探求し、創造的な提案をしていく専門的な能力を個々に養いつつ、それらの総合化を目指しています。そのプロフェッションをキーワードで示せば、「循環」「再生」「持続」「長寿命」「省エネ」「景観」「融合」「調整」「生態」などがあげられます。強い意志で環境問題を理解し、環境倫理を持つ建築の学生を輩出するのが本学科の目標です。

（４）　生物資源管理学科

環境負荷の少ない持続可能な社会を形成するためには、生物生産、生物機能を活用する必要があるといわれ、生物資源管理の重要性が大きくなっています。生物資源管理学科では、このような社会からの期待に応える意志と能力を有する人材を育成したいと考えます。このため、学生諸君は幅広い課題を学びつつ、専門性の高い分野の修得にも努めてもらいたいと考えます。当学科では、生物生産、生物機能利用、地域環境管理の３つの履修コースを設け、２回生後期の段階から、いずれのコースを深めるかを選択するようにしています。また、フィールドワークなど現場、現地に密着した学習から、実験室内の最先端の解析・分析技術の習得まで、必要に応じたメニューを提供するようにカリキュラムを編成しています。

2　環境科学部共通科目の履修について

① 環境フィールドワーク（ＦＷ）は、１年次にＦＷⅠ、２年次にＦＷⅡ、３年次にＦＷⅢがあります。これらのうちＦＷⅠとＦＷⅡは必修科目で、ＦＷⅢは選択科目です。ＦＷⅢはテーマにより実施時期がことなるので、通年講義で３単位とします。

② 専門科目は、学部共通基礎科目、複数学科共通科目、学科専門科目からなっています。これらの科目の履修の仕方については各学科の指示にしたがってください。

③ 専門科目の中には同じ科目名の後にⅠ、Ⅱを付した科目があります。これらはそれぞれ独立した科目ですが、できるだけⅠを付した科目から履修し、その後Ⅱを付した科目を履修するようにしてください。

④ 基礎数学Ⅰ、Ⅱは、高校で数学Ⅲと数学Ｃを履修していない１回生を対象にしています。高校で両科目を履修したものは、履修するに及びません。

⑤ ３回生までに単位履修が十分でないときは、４年次に卒業研究の単位履修を認めないことがあります。その条件は、各学科で決められています。

全学共通科目年次別配当表（環境科学部対応部分）

※留学生はP. 14参照

科目名	担当教員	単位	1年		2年		3年		4年		備考
			前	後	前	後	前	後	前	後	
1　全学共通科目											
1.1全学共通基礎科目											
英語ＩＡ		1	○								必修
英語ＩＢ		1		○							必修
英語ⅡＡ		1	○								必修
英語ⅡＢ		1		○							必修
英語ⅢＡ		1			○						必修
英語ⅢＢ		1				○					必修
英語ⅣＡ		1			○						必修
英語ⅣＢ		1				○					必修
リスニング（中級）		1					○				選択
リーディング（中級）		1						○			選択
英語会話（中級）		1						○			選択
ディベート＆ディスカッション		1					○				選択
英語表現法		1					○				選択
エッセイ・ライティング		1						○			選択
留学英語対策講座Ⅰ		1						○			選択
留学英語対策講座Ⅱ		1						○			選択
ビジネス英語		1						○			選択
時事英語		1						○			選択
メディアの英語		1					○				選択
第二外国語ＩＡ		1	○								選択必修
第二外国語ＩＢ		1		○							選択必修
第二外国語ⅡＡ		1			○						選択必修
第二外国語ⅡＢ		1				○					選択必修
実用英語演習ＩＡ		1			○						選択必修
実用英語演習ＩＢ		1				○					選択必修
（独語ＩＡＢ・ⅡＡＢ、仏語ＩＡＢ・ⅡＡＢ、中国語ＩＡＢ・ⅡＡＢ、朝鮮語ＩＡＢ・ⅡＡＢ、実用英語演習ＩＡ・ＩＢ、（注１）初習英語ＩＡＢ　・ⅡＡＢより合わせて４単位選択必修）											
情報科学概論		2		○							必修
情報リテラシー（情報倫理を含む）（注2）		2	○								必修
健康・体力科学Ⅰ		1		○							必修
健康・体力科学Ⅱ		1			○						必修

（注1）初習英語Ⅰ・Ⅱは、入学前に英語を履修したことがない外国人留学生を対象としています。（詳細についてはP.14-15参照）

（注2）平成21年度以前入学生に対しては、「情報処理演習Ⅰ」（必修1単位）に読み替えます。

科目名	担当教員	単位	1年		2年		3年		4年		備考	
			前	後	前	後	前	後	前	後		
1.2人間学（４単位必修、８単位選択必修）												
環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ総論	全学部教員	2	○								必修	
人間探求学	各学部教員	2	○								必修	
差別と人権(同和問題)	吉田(一)・松本・裏	2	○		○		○		○		選択必修	こころ (Ethics)
比較文明論	定森秀夫	2		○		○		○		○	選択必修	
ｾﾙﾌｹｱ論(心理臨床論)	松本行弘	2	○		○		○		○		選択必修	
人間にとって環境とは何か	近藤隆二郎	2		○		○		○		○	選択必修	
人間の行動と空間	村上修一	2	○		○		○		○		選択必修	
生命・人間・倫理	糸島ほか	2		○		○		○		○	選択必修	
現代経済論	鈴木康夫	2		○		○		○		○	選択必修	しくみ (Social Studies)
びわこ環境行政論	井手ほか	2		○		○		○		○	選択必修	
近江文化論	京樂真帆子	2		○		○		○		○	選択必修	
異文化理解Ａ	国際交流委員会	2	○		○		○		○		選択必修	
異文化理解Ｂ	国際交流委員会	2		○		○		○		○	選択必修	
若者の健康と栄養	生活栄養学科教員	2	○		○		○		○		選択必修	
地元学入門	近江楽座プロジェクト指導員	2		○		○		○		○	選択必修	
社会福祉論	富永豊	2		○		○		○		○	選択必修	
性を考える	京樂ほか	2		○		○		○		○	選択必修	
地域探求学	鵜飼ほか	2		○		○		○		○	選択必修	
国際協力論	島村一平	2	○		○		○		○		選択必修	
多文化共生論	河・武田	2	○		○		○		○		選択必修	
農業問題入門	増田佳昭	2		○		○		○		○	選択必修	
国際環境マネジメント	岡野・丸尾・高橋	2		○		○		○		○	選択必修	
ビジネス・マネジメント入門	宮尾学	2	○		○		○		○		選択必修	
現代社会と若者	大橋ほか	2		○		○		○		○	選択必修	
憲法	橋本豪志	2		○		○		○		○	選択必修	
Medieval Japan	ﾋﾟｰﾀｰ･ﾓｰﾘｽ	2	○		○		○		○		選択必修	
Modernizing Japan	ﾋﾟｰﾀｰ･ﾓｰﾘｽ	2		○		○		○		○	選択必修	
地域づくり人材論	上田洋平	2		○		○		○		○	選択必修	
自然保護論	西田隆義	2		○		○		○		○	選択必修	しぜん (Natural Sciences)
滋賀の自然史	浜端悦治	2		○		○		○		○	選択必修	
材料史	ｼﾞｬﾔﾃﾞﾜﾝ・北村	2	○		○		○		○		選択必修	
自然科学の視点	松岡純	2		○		○		○		○	選択必修	
空間計画論	水原渉	2		○		○		○		○	選択必修	
自然現象のしくみ	倉茂好匡	2		○		○		○		○	選択必修	
水環境政策論	井手慎司	2		○		○		○		○	選択必修	
こころのテクノロジー	細馬宏通	2		○		○		○		○	選択必修	わざ (Technology)
人間と病気	山田･森・安原	2	○		○		○		○		選択必修	
持続的農業論	泉泰弘	2		○		○		○		○	選択必修	
比較都市論	布野修司	2	○		○		○		○		選択必修	
機械技術と人間	田中他喜男	2		○		○		○		○	選択必修	
電子社会と人間	柳沢淳一	2		○		○		○		○	選択必修	
比較住居論	藤木庸介	2	○		○		○		○		選択必修	
植物の病気	鈴木一実	2		○		○		○		○	選択必修	
栄養と人間	柴田克己	2		○		○		○		○	選択必修	
明日から使える食のテクニック	灘本他	2		○		○		○		○	選択必修	
生活と健康	奥津他	2	○		○		○		○		選択必修	

(注)空間計画論は、専門科目に分類される。
環境行動論は、環境政策・計画学科と環境建築デザイン学科においては、専門科目に分類される。
農業問題入門は、生物資源管理学科の平成24年度以前入学生においては、専門科目に分類される。
水環境政策論は、環境生態学科、環境政策・計画学科、生物資源管理学科においては、専門科目に分類される。

3　環境生態学科専門科目の履修について

（1）　環境生態学科卒業要件

［２０１３（平成２５）年度入学生用］

１　全学共通科目（計　３０単位以上）　必修１８単位、選択必修１２単位以上		
①　共通基礎科目	１８単位以上	※留学生はP.14参照
第一外国語	英語ＩＡ・B、ⅡA・B、ⅢA・B、ⅣA・B　　８単位（平成２４年度以降入学生） 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ　　８単位（平成２３年度以前入学生）	
第二外国語	ドイツ語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、フランス語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、中国語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、朝鮮語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡBのうちから４単位以上。 ただし、「第二外国語ⅡA・ⅡB」は「実用英語演習ＩＡ・ＩＢ」で代替可。 （平成２４年度以降入学生） ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、朝鮮語Ⅰ・Ⅱのうちから４単位以上（平成２３年度以前入学生）	
情報処理	情報リテラシー（情報倫理を含む）、情報科学概論４単位	
保健体育	健康・体力科学Ⅰ・Ⅱ　２単位	
②　人間学	１２単位以上（「空間計画論」と「水環境政策論」は除かれる。） （「環境マネジメント総論」と「人間探求学」は必修）	
２　専門科目（計　１００単位以上）　必修５８単位、選択４２単位以上		
①　必修	年次別配当表に指定する科目　５８単位	
②　選択	年次別配当表に指定する科目から４２単位以上 ただし、全学共通科目で３０単位を超えた分の科目および他学科・他学部の開講科目については、１０単位までを限度に、専門科目の単位として、卒業単位に算入することができる。（学則第３８条）	
合計	１３０単位以上	

【卒業研究等履修要件】原則として合計１１０単位

【卒業研究等審査基準】

1　卒業研究は、以下の評価項目によって審査する。

(1) 研究目的の妥当性

(2) 研究方法の的確性・独創性

(3) 研究内容の新規性・学術性・社会性

(4) 研究内容の論拠（実験・調査データ・文献資料等）の客観性・実証性

(5) 卒業論文の論理性

2　卒業研究は、卒業研究発表審査会において学科が定める方法で発表し、質疑を行う。

3　上記１ならびに２による評価結果をもとに、学科構成全教員の合議を経て卒業研究の審査判定を行う。

4　平成２４年度以前入学生は入学年度の「履修の手引」を参照のこと。

(2)環境生態学科年次別配当表

科目名	担当教員	単位	1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
2　専門科目											
2.1 学部共通基礎科目											
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅠ	学部教員	3	○								必修
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅡ	学部教員	3			○						必修
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅢ	学部教員	3					○	○			選択
環境学原論	村上修一	2				○					必修
環境科学概論Ⅰ	永淵・他	2	○								必修
環境科学概論Ⅱ	高橋・他	2		○							必修
基礎数学Ⅰ	市川源一	2	○								選択
基礎数学Ⅱ	市川源一	2		○							選択
2.2 複数学科共通科目											
環境経済学入門※	高橋・林	2	○								選択
空間計画論	水原渉	2				○					選択
環境監査	池北實	2					○				選択
環境財政※	村上一真	2				○					選択
環境政策学	秋山道雄	2				○					選択
環境アセスメント	錦澤・杉本・多島	2					○				選択
環境数学Ⅰ・演習	廣島幸正	3	○								選択
環境数学Ⅱ・演習	廣島幸正	3		○							選択
環境生物学Ⅰ	浦部美佐子	2		○							必修
環境生物学Ⅱ	浅岡一雄	2				○					選択
環境生物学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	未定・西田･伴･野間･籠谷･上町･入江･清水・原田・杉浦	2	○								選択
環境物理学Ⅰ	倉茂好匡	2		○							必修
環境物理学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	倉茂･堂満･三浦	2			○						選択
環境化学Ⅰ	丸尾雅啓	2	○								必修
環境化学Ⅱ	岡田豊	2					○				選択
環境化学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	永淵･丸尾･上田･肥田	2		○							選択
環境地球科学Ⅰ	堂満華子	2			○						必修
環境地球科学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	田辺･倉茂･後藤･堂満	2			○						選択
環境統計解析学	籠谷泰行	2			○						必修
河川環境学	倉茂好匡	2			○						選択
森林環境学	野間直彦	2			○						選択
水環境政策論	井手慎司	2				○					選択
遺伝学	清水顕史	2			○						選択
測量学	小谷廣通	2			○						選択
水文学	千家正照	2			○						選択
生物資源管理学実験・実習Ⅹ	小谷･岩間	2			○						選択
環境法	小林泉　他	2			○						選択
地域環境政策論	香川雄一	2			○						選択
地球環境システム論	松本健一	2				○					選択
環境解析学・同実験	永淵･丸尾・尾坂	4				○					必修
湖沼環境学	後藤直成	2				○					選択
生物統計学	泉津弘佑	2				○					選択
動物生態学	沢田裕一	2				○					選択
陸域環境機能論	肥田嘉文	2					○				選択
集水域環境機能論	永淵修	2					○				選択
集水域物質循環論	尾坂兼一	2					○				選択
土壌環境化学	須戸幹	2					○				選択
農薬環境学	須戸幹	2					○				選択
分子生物学	入江俊一	2					○				選択
陸域生態系保全修復論	浜端悦治	2						○			選択
陸域環境影響調査指針	野間直彦	2					○				選択
水域環境影響調査指針	田辺祥子	2					○				選択
集水域生態系保全修復論	浦部美佐子	2						○			選択

科目名	担当教員	単位	1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
2.3 学科専門科目											
琵琶湖環境学	伴修平	2		○							必修
環境変遷史	堂満華子	2		○							必修
環境地球科学Ⅱ	山口弘	2			○						選択
海洋環境学	伴修平	2			○						選択
大気環境学	永淵修	2				○					選択
集水域環境学	尾坂兼一	2				○					選択
集水域環境学・同実験	浜端・肥田・浦部・尾坂・倉茂・堂満	4				○					必修
環境物理学Ⅱ	村岡良和	2					○				選択
水域物質循環論	田辺祥子	2					○				選択
陸域環境学・同実験	野間・浜端･籠谷・西田	4					○				必修
水域環境学・同実験	伴･浦部･後藤･田辺	4					○				必修
水域環境機能論	丸尾雅啓	2						○			選択
陸域物質循環論	籠谷泰行	2						○			選択
集水域環境影響調査指針	肥田嘉文	2						○			選択
水域生態系保全修復論	後藤直成	2						○			選択
環境論考解析学	西田隆義	2								○	必修
環境生態学特別実習	学科教員	3						○			必修
環境学野外実習Ⅰ	学科教員	1	○								選択
環境学野外実習Ⅱ	学科教員	1			○						選択
環境学野外実習Ⅲ	学科教員	1					○				選択
環境生態学外書講読	学科教員	1					○				必修
環境生態学外書表現	学科教員	1						○			必修
環境生態学基礎演習	学科教員	1		○							必修
環境生態学演習Ⅰ	学科教員	1							○	(○)	必修
環境生態学演習Ⅱ	学科教員	1							(○)	○	必修
卒業研究Ⅰ	学科教員	3							○	(○)	必修
卒業研究Ⅱ	学科教員	3							(○)	○	必修

※ ２０１１（平成２３）年度以前入学生は、「環境経済学入門」を「持続可能社会論」に、「環境財政」を「エコロジー経済学」に読み替えます。

環境生態学科・専門科目履修モデル

※構造・機能・保全修復科学の選択科目に関しては、**陸域環境保全コース**または**水域環境保全コース**の科目を一通り履修することが推奨されます。関心領域や卒業後の進路をよく考えてコースを選択してください（他コースの推奨科目も履修できます）。

＜学部共通基礎科目＞　　**太字…必修科目**，細字…選択科目

	学年	学期			
＜学部共通基礎＞	1	前	**環境科学概論Ⅰ**	**環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅠ**	基礎数学Ⅰ
		後	**環境科学概論Ⅱ**	基礎数学Ⅱ	
	2	前	**環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅡ**		
		後	**環境学原論**		
	3	前・後	環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅢ		

＜複数学科共通科目および学科専門科目＞

	学年	学期			
〈学科基礎〉	1	前	**環境化学Ⅰ**	環境生物学実験	環境数学Ⅰ・演習
		後	**環境物理学Ⅰ**	**環境生物学Ⅰ**	**琵琶湖環境学**
			環境変遷史	**環境生態学基礎演習**	環境化学実験
			環境数学Ⅱ・演習		
	2	前	**環境地球科学Ⅰ**	環境地球科学Ⅱ	環境物理学実験
			環境地球科学実験		
		後	環境生物学Ⅱ		
	3	前	**環境生態学外書講読**	環境物理学Ⅱ	環境化学Ⅱ
		後	**環境生態学外書表現**		
			陸域環境保全コース推奨科目	両コース共通	水域環境保全コース推奨科目
〈構造科学〉	2	前	森林環境学	河川環境学	海洋環境学
		後	大気環境学	集水域環境学	湖沼環境学
〈機能科学〉	3	前	陸域環境機能論	集水域環境機能論 集水域物質循環論	水域物質循環論
	3	後	陸域物質循環論		水域環境機能論
〈保全修復科学〉	3	前	陸域環境影響調査指針		水域環境影響調査指針
	3	後	陸域生態系保全修復論	集水域環境影響調査指針 集水域生態系保全修復論	水域生態系保全修復論
〈解析科学〉	2	前	**環境統計解析学**		
		後	**環境解析学・同実験**	**集水域環境学・同実験**	
	3	前	**陸域環境学・同実験**	**水域環境学・同実験**	
	4	後	**環境論考解析学**		
〈野外科学〉	1	前	環境学野外実習Ⅰ		
	2	前	環境学野外実習Ⅱ		
	3	前	環境学野外実習Ⅲ		
〈卒業研究〉	3	後	**環境生態学特別実習**		
	4	前	**環境生態学演習Ⅰ**	**卒業研究Ⅰ**	
	4	後	**環境生態学演習Ⅱ**	**卒業研究Ⅱ**	

科目読み替え対照表（平成21年度以前入学生用）

旧科目名	新科目名
生物学Ⅰ	環境生物学Ⅰ
生物学Ⅱ	環境生物学Ⅱ
物理学Ⅰ	環境物理学Ⅰ
物理学Ⅱ	環境物理学Ⅱ
化学Ⅰ	環境化学Ⅱ
化学Ⅱ	環境化学Ⅰ
地学Ⅰ	環境地球科学Ⅰ
地学Ⅱ	環境地球科学Ⅱ
生物学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	環境生物学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）
物理学実験 （ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	環境物理学実験 （ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）
化学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	環境化学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）
地学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	環境地球科学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）
陸水環境学	琵琶湖環境学
環境地学	環境変遷史
専門外書講義Ⅰ	環境生態学外書講読
専門外書講義Ⅱ	環境生態学外書表現
陸水物理学	河川環境学
植物生態学	森林環境学
微生物生態学	湖沼環境学
気象・気候学	大気環境学
環境生化学	陸域環境機能論
環境分析化学	集水域環境機能論
環境化学	集水域物質循環論
環境毒性学	水域環境機能論
生物系統分類学	陸域環境影響調査指針
森林資源管理学	陸域生態系保全修復論
陸水生物学	集水域生態系保全修復論
生態系生態学	水域環境影響調査指針
水環境管理学	水域生態系保全修復論
環境統計学	環境統計解析学
環境化学・実験	環境解析学・同実験
大気水圏科学・実験	集水域環境学・同実験
森林生物学・実験	陸域環境学・同実験
陸水生態学・実験	水域環境学・同実験
自然環境特別実習Ⅰ	環境学野外実習Ⅱ
自然環境特別実習Ⅱ	環境学野外実習Ⅲ

4　環境政策・計画学科専門科目の履修について

（1）　環境政策・計画学科専門科目履修上の注意

環境政策・計画学科科目配当表を参照しながらこの説明を読んでください。

当学科で学士（環境科学）の学位授与の資格を得るためには、所定の科目の単位を修得しなければなりません。科目配当表に示すように、全科目は、基礎・理論系と基礎・技法系，発展・技法系、発展・理論系といったグループから構成されています。前のページに示した全学共通科目に加えて、環境政策・計画学科科目配当表にリストしてある学科必修科目のグループから全科目（４１単位)、学科選択必修科目Ａのグループから１５単位以上、学科選択必修科目のＢグループから２２単位以上を必ず選択しなければなりません。残りの単位は選択必修Ａ、選択必修Ｂ、選択科目のグループから選択することになります。科目群構成を参考にして系統的な履修を心がけてください。

この配当表に記載のない科目（他学部他学科の科目）を選択してもよいですが、この場合１５単位に限り、学士（環境科学）の学位授与資格に必要な専門科目に組み入れることができます。

・学科選択科目のグループの概要

基礎・理論系科目：政策立案・計画策定についての基礎的な理論を学ぶための科目群です。

基礎・技法系科目：フィールドワークや地域調査といった現場にふれる技法から，計画演習といった環境問題に関わる政策・計画をおこなう技法を学ぶための科目群です。

発展・技法系科目：政策立案・計画策定により深く切り込むための発展的な技法を学ぶための科目群です。

発展・理論系科目：政策立案・計画策定にさまざまな視点から深く切り込むための多様な理論を学ぶための科目群です。

選択科目：政策立案・計画策定に関わる多様な領域の考え方を学ぶための科目群です。

・選択に際しての留意事項

① 高学年に配当されている科目を低学年のうちに履修したいときは、事前に担当教員の許可が必要です。

② 学科科目配当表の選択科目のグループにリストされていても、実験演習科目の場合は、履修に先立ち担当教員の許可が必要です。配当表にリストされていない他学部他学科の実験演習科目の場合もこれと同じです。

③ 学年担任、あるいは人間探求学（月曜日 1 時限）の教員のアドバイスを受けて、履修科目を決定することが望まれます。

④ 平成２４年度にカリキュラムが大幅に変更されました。入学年度により、「平成２３年度以前入学生用　科目読替対象表」(P. 176）に示した新科目群は、旧科目名に読み替えます。ただし、旧科目名で単位を履修した科目については、新科目名で新たに単位を取得することはできません。

（２） **環境政策・計画学科卒業要件**

［２０１２（平成２４）年度以降入学生用］

１　全学共通科目（計　３０単位以上）　必修１８単位、選択必修１２単位以上		
① 共通基礎科目	１８単位以上	※留学生はP.14参照
	第一外国語	英語ＩＡ・B、ⅡA・B、ⅢA・B、ⅣA・B　８単位
	第二外国語	ドイツ語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、フランス語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、中国語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、朝鮮語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡBのうちから４単位以上。 ただし、「第二外国語ⅡA・ⅡB」は「実用英語演習ＩＡ・ＩＢ」で代替可。
	情報処理	情報リテラシー（情報倫理を含む）、情報科学概論　４単位
	保健体育	健康・体力科学Ⅰ・Ⅱ　２単位
② 人間学	１２単位以上（「環境行動論」、「空間計画論」と「水環境政策論」を除く。） （「環境マネジメント総論」と「人間探求学」は必修）	
２　専門科目（計　１００単位以上）　必修４１単位、選択必修３７単位以上、選択２２単位以上		
① 必修	年次別配当表に指定する科目　４１単位	
② 選択必修	年次別配当表のＡグループから１５単位以上、Ｂグループから２２単位以上、合計３７単位以上（超過分は「③選択」に参入できる）	
③ 選択	科目配当表に指定する科目から２２単位以上 ただし、全学共通科目で３０単位を超えた分の科目および他学科・他学部の開講科目については、１５単位までを限度に、専門科目の単位として、卒業単位に算入することができる。（学則第３８条）	
合計	１３０単位以上	

注意）入学時の履修の手引は，卒業するまで保管しておくこと。履修の手引は大学と学生との間の契約書のようなものです。履修の手引は年々改訂されますが，入学時の履修の手引に記載されていたことが適用されます。

【卒業研究等履修要件】

全学共通科目：２６単位以上

全学共通基礎科目１８単位以上

人間学*８単位以上（「環境行動論」「空間計画論」と「水環境政策論」を除く。）

専門科目：８４単位以上

専門必修科目　３３単位以上

選択必修科目　３７単位以上（科目配当表の「選択必修Ａ」から１５単位以上、「選択必修Ｂ」から２２単位以上）

専門選択科目*　１４単位以上

*認定される科目とされない科目があるので十分留意すること。

【卒業研究等審査基準】

１　卒業研究（卒業論文）は、以下の評価項目によって審査する。

(1) 研究目的の明確性や新規（独創）性
(2) 論文の論理展開の明快さ
(3) 目的達成のための調査量
(4) 結論としての知見の社会的あるいは学術的な有用性
(5) 十分な分析と考察
(6) 論文の完成度
(7) プレゼンテーション技法と質疑応答能力
(8) 卒業研究への取り組みの熱意

２　卒業研究（卒業論文）は、発表会において学科が定める方法で発表し、質疑を行う。

３　１および２による評価結果をもとに、学科教員全員の合議を経て審査判定を行う。

［２０１１（平成２３）年度以前入学生用］

１　全学共通科目（計　３０単位以上）　必修１８単位、選択必修１２単位以上

①　共通基礎科目	１８単位以上	※留学生はP.14参照
第一外国語	英語（Ⅰ～Ⅳ）　８単位	
第二外国語	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、朝鮮語Ⅰ・Ⅱのうちから４単位以上	
情報処理	情報リテラシー（情報倫理を含む）、情報科学概論　４単位	
保健体育	健康・体力科学Ⅰ・Ⅱ　２単位	
②　人間学	１２単位以上（「環境行動論」と「空間計画論」を除く。） （「環境マネジメント総論」と「人間探求学」は必修）	

２　専門科目（計　１００単位以上）　必修３９単位、選択必修３９単位以上、選択２２単位以上

①　必修	年次別配当表に指定する科目　３９単位
②　選択必修	年次別配当表のＡグループから１７単位以上、Ｂグループから２２単位以上、合計３９単位以上（超過分は「③選択」に参入できる）
③　選択	科目配当表に指定する科目から２２単位以上 　ただし、全学共通科目で３０単位を超えた分の科目および他学科・他学部の開講科目については、１０単位までを限度に、専門科目の単位として、卒業単位に算入することができる。（学則第３８条）
合計	１３０単位以上

【卒業研究等履修要件】

全学共通科目：２６単位以上
　　全学共通基礎科目１８単位以上
　　人間学*８単位以上（「環境行動論」と「空間計画論」を除く。）

専門科目：８４単位以上
　　専門必修科目　３１単位以上
　　選択必修科目　３９単位以上（科目配当表の「選択必修Ａ」から１７単位以上、「選択必修Ｂ」から２２単位以上）
　　専門選択科目*　１４単位以上

*認定される科目とされない科目があるので十分留意すること。

【卒業研究等審査基準】

１　卒業研究（卒業論文）は、以下の評価項目によって審査する。
(1) 研究目的の明確性や新規（独創）性
(2) 論文の論理展開の明快さ
(3) 目的達成のための調査量
(4) 結論としての知見の社会的あるいは学術的な有用性
(5) 十分な分析と考察
(6) 論文の完成度
(7) プレゼンテーション技法と質疑応答能力
(8) 卒業研究への取り組みの熱意
２　卒業研究（卒業論文）は、発表会において学科が定める方法で発表し、質疑を行う。
３　１および２による評価結果をもとに、学科教員全員の合議を経て審査判定を行う。

(3)環境政策・計画学科年次別配当表(2012(平成24)年度以降入学生)

科目名	担当教員	単位	1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
2　専門科目											
2.1 学部共通基礎科目											
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅠ	学部教員	3	○								必修
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅡ	学部教員	3			○						必修
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅢ	学部教員	3					○	○			選択
環境学原論	村上修一	2				○					必修
環境科学概論Ⅰ	永淵・他	2	○								必修
環境科学概論Ⅱ	高橋・他	2		○							必修
基礎数学Ⅰ	市川源一	2	○								選択
基礎数学Ⅱ	市川源一	2		○							選択
2.2 複数学科共通科目											
地域調査法	香川雄一	2	○								必修
社会学	小野奈々	2			○						選択必修B
経済学Ⅰ	林宰司	2		○							選択必修B
経済学Ⅱ(国際経済を含む)	村上一真	2			○						選択必修B
環境生物学Ⅰ	浦部美佐子	2		○							選択
環境物理学Ⅰ	倉茂好匡	2		○							選択
環境経済学入門	高橋卓也・林宰司	2	○								選択必修B
環境計画学	近藤隆二郎	2				○					必修
景観計画	村上修一	2				○					選択
地域開発論	秋山道雄	2			○						選択必修B
環境経済学	林宰司	2				○					選択必修B
環境法	小林泉　他	2			○						選択必修B
水文学	千家正照	2			○						選択
政治学Ⅰ	竹本知行	2			○						選択
政治学Ⅱ(国際政治を含む)	竹本知行	2				○					選択
法学概論(国際法を含む)	初谷良彦	2			○						選択
環境政策学	秋山道雄	2				○					必修
地域環境政策論	香川雄一	2			○						選択必修B
環境経営論	高橋卓也	2				○					選択必修B
資源経済学	高橋卓也	2					○				選択必修B
空間計画論	水原渉	2				○					選択
ｺﾐｭﾆﾃｨ計画論	未定	2					○				選択
環境倫理学	土屋正春	2					○				選択必修B
環境アセスメント	錦澤・杉本・多島	2					○				選択必修A
環境ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ	井手慎司	2						○			選択必修A
環境財政	村上一真	2				○					選択必修B
環境監査	池北實	2					○				選択必修A
環境会計	東健太郎	2					○				選択必修B
国際環境資源論	高橋･林	2						○			選択必修B
地球環境システム論	松本健一	2				○					選択必修B
環境行動論	迫田正美	2					○				選択
地域再生システム論	森川・鵜飼・轟・他	2					○				選択
森林環境学	野間直彦	2			○						選択
環境地球科学Ⅰ	堂満華子	2			○						選択
環境化学Ⅰ	丸尾雅啓	2					○				選択
動物生態学	沢田裕一	2						○			選択
水環境政策論	井手慎司	2				○					選択必修B
2.3 学科専門科目											
市民参加論	小野奈々	2	○								選択必修B
基礎統計	金谷健	2	○								必修
地域システム論	秋山道雄	2	○								選択必修B
ＧＩＳ演習	香川雄一	1				○					選択必修A
地域調査法演習	香川雄一	1		○							必修
応用数学	井手慎司	2		○							必修
政策形成・施設演習	学科教員	2		○							必修
応用統計学Ⅰ	松本健一	2			○						必修
環境経済演習	林宰司	1		○							選択必修A

科目名	担当教員	単位	1年		2年		3年		4年		備　　考
			前	後	前	後	前	後	前	後	
ファシリテーション技法・演習	未定	3	○								選択必修Ａ
応用統計学Ⅱ	未定	2				○					必修
政策計画基礎演習Ⅰ	学科教員	1			○						必修
政策計画基礎演習Ⅱ	学科教員	1				○					必修
合意形成支援技法・演習	金谷健	3				○					選択必修Ａ
社会システム分析設計・演習	未定	3				○					選択必修Ａ
環境社会学	小野奈々	2		○							選択必修Ｂ
環境心理学	佐々木和之	2			○						選択必修Ｂ
エネルギー変換工学	河﨑澄	2						○			選択
環境情報演習	松本健一	1			○						選択必修Ａ
イベント計画論・演習	近藤隆二郎	3					○				選択必修Ａ
環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ演習	高橋卓也	1					○				選択必修Ａ
廃棄物管理論	金谷健	2					○				選択必修Ｂ
社会調査実習	小野・高橋・林・松本・村上（一）	1					○	○			選択必修Ａ
政策計画演習Ⅰ	学科教員	1					○				必修
政策計画演習Ⅱ	学科教員	1						○			必修
政策計画演習Ⅲ	学科教員	1							○		必修
政策計画演習Ⅳ	学科教員	1								○	必修
卒業研究Ⅰ	学科教員	3							○		必修
卒業研究Ⅱ	学科教員	3								○	必修

環境政策・計画学科　H25年度科目配当表

学年	学期	全学共通基礎	人間学	基礎・理論系（必修）	基礎・技法系（必修）	発展・技法系（選択必修A）	発展・理論系（選択必修B）	選択科目
1年	前期	◎英語ⅠA 1 ◎英語ⅡA 1 ◎第2外国語ⅠA 1 ◎情報リテラシー 2	環境マネジメント総論 2 人間探究学 2	環境科学概論Ⅰ 2 基礎統計 2	環境フィールドワークⅠ 3 地域調査法 2		地域システム論 2 市民参加論 2 環境経済学入門 2	基礎数学Ⅰ 2
	後期	◎英語ⅠB 1 ◎英語ⅡB 1 ◎第2外国語ⅠB 1 ◎健康・体育科学Ⅰ 1 ◎情報科学概論 2		環境科学概論Ⅱ 2 応用数学 2	政策形成・施設演習 2 地域調査法演習 1	ファシリテーション技法・演習 3 環境経済演習 1	環境社会学 2 経済学Ⅰ 2	基礎数学Ⅱ 2 環境生物学Ⅰ 2 環境物理学Ⅰ 2
2年	前期	◎英語ⅢA 1 ◎英語ⅣA 1 ◎第2外国語ⅡA 1 実用英語演習ⅠA 1 ◎健康・体育科学Ⅱ 1		応用統計学Ⅰ 2	環境フィールドワークⅡ 3 政策計画基礎演習Ⅰ 1	環境情報演習 1	環境法 2 環境心理学 2 地域開発論 2 地域環境政策論 2 経済学Ⅱ（国際経済を含む） 2 社会学 2	政治学Ⅰ 2 法学概論（国際法を含む） 2 環境地球科学Ⅰ 2 森林環境学 2 水文学 2
	後期	◎英語ⅢB 1 ◎英語ⅣB 1 ◎第2外国語ⅡB 1 実用英語演習ⅠB 1		環境学原論 2 応用統計学Ⅱ 2 環境政策学 2 環境計画学 2	政策計画基礎演習Ⅱ 1	社会システム分析設計・演習 3 合意形成支援技法・演習 3 GIS演習 1	地球環境システム論 2 環境経済学 2 環境経営論 2 環境財政 2 水環境政策論 2	景観計画 2 政治学Ⅱ（国際政治を含む） 2 空間計画論 2
3年	前期				政策計画演習Ⅰ 1	社会調査実習（通年） 1 イベント計画論・演習 3 環境監査 2 環境マネジメント演習 1 環境アセスメント 2	廃棄物管理論 2 環境会計 2 環境倫理学 2 資源経済学 2	地域再生システム論 2 環境フィールドワークⅢ（通年） 3 環境行動論 2 コミュニティ計画論 2 環境化学Ⅰ 2
	後期				政策計画演習Ⅱ 1	環境シミュレーション 2	国際環境資源論 2	動物生態学 2 エネルギー変換工学 2
4年	前期				政策計画演習Ⅲ 1 卒業研究Ⅰ 3			
	後期				政策計画演習Ⅳ 1 卒業研究Ⅱ 3			
合計単位		全学共通基礎科目 20	人間学 12	18	23	23 このうちから15単位以上選択	42 このうちから22単位以上選択	39
				必修単位合計 41		選択必修A 15	選択必修B 22	選択科目 22
						「選択必修」および「選択」単位合計 59		

ただし、全学共通科目で30単位を超えた分の科目および他学科・他学部の開講科目については、15単位までを限度に、専門科目の単位として、卒業単位に算入することができる。

(3)環境政策・計画学科年次別配当表(平成23年度以前入学生)

科目名	担当教員	単位	1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
2　専門科目											
2.1 学部共通基礎科目											
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅠ	学部教員	3	○								必修
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅡ	学部教員	3			○						必修
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅢ	学部教員	3					○	○			選択
環境学原論	村上修一	2				○					必修
環境科学概論Ⅰ	永淵・他	2	○								必修
環境科学概論Ⅱ	高橋・他	2		○							必修
基礎数学Ⅰ	市川源一	2	○								選択
基礎数学Ⅱ	市川源一	2		○							選択
2.2 複数学科共通科目											
地域調査法	香川雄一	2	○								必修
社会学	小野奈々	2			○						選択
経済学Ⅰ	林宰司	2		○							選択
経済学Ⅱ(国際経済を含む)	村上一真	2			○						選択
環境生物学Ⅰ※	浦部美佐子	2		○							選択
環境物理学Ⅰ※	倉茂好匡	2		○							選択
植物生産学	上町達也	2		○							選択
環境計画学※	近藤隆二郎	2				○					必修
景観計画	村上修一	2				○					選択
地域開発論	秋山道雄	2			○						選択必修B
環境経済学	林宰司	2					○				選択必修B
環境法Ⅰ	小林泉　他	2			○						選択必修B
水環境政策論※	井手慎司	2				○					選択必修B
水文学	千家正照	2			○						選択
政治学Ⅰ	竹本知行	2			○						選択
政治学Ⅱ(国際政治を含む)	竹本知行	2				○					選択
法学概論(国際法を含む)	初谷良彦	2			○						選択
環境政策学	秋山道雄	2				○					必修
地域環境政策論※	香川雄一	2			○						選択必修B
環境経営論	高橋卓也	2				○					選択必修B
資源経済学	高橋卓也	2				○					選択必修B
空間計画論	水原渉	2				○					選択
集水域物質循環論	尾坂兼一	2					○				選択
ｺﾐｭﾆﾃｨ計画論	未定	2					○				選択
環境化学Ⅱ	岡田豊	2					○				選択
水域生態系保全修復論	後藤直成	2						○			選択
土壌環境情報学※	中村公人	2						○			選択
環境倫理学	土屋正春	2						○			選択必修B
環境技術史	冨島義幸	2						○			選択
水理学	金木亮一	2						○			選択
流域環境管理学	皆川明子	2						○			選択
持続可能社会論※	高橋・林	2			○						選択必修B
環境アセスメント	錦澤・杉本・多島	2					○				選択必修A
環境ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ※	井手慎司	2						○			選択必修A
エコロジー経済学※	村上一真	2						○			選択必修B
環境監査※	池北實	2					○				選択必修A
環境会計	東健太郎	2					○				選択必修B
国際環境資源論	高橋・林	2						○			選択必修B
環境行動論	迫田正美	2					○				選択
地球環境システム論※	松本健一	2				○					選択必修B
文化財・保存修景論A	濱崎･井口	2							○		選択
地域再生システム論	森川・鵜飼・轟・他	2					○				選択

科目名	担当教員	単位	1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備　考
2.3 学科専門科目											
基礎統計※	金谷健	2	○								必修
地域システム論	秋山道雄	2	○								選択必修Ｂ
市民参加論	小野奈々	2	○								選択必修Ｂ
天然物化学基礎	灘本・佐野	2							○		選択
ＧＩＳ演習※	香川雄一	1				○					選択必修Ａ
地域調査法演習※	香川雄一	1		○							必修
応用数学※	井手慎司	2		○							必修
政策形成・施設演習	学科教員	2		○							必修
応用統計学Ⅰ	松本健一	2			○						必修
ﾌｧｼﾘﾃｰｼｮﾝ技法※	未定	2			○						選択必修Ａ
ﾌｧｼﾘﾃｰｼｮﾝ技法演習※	未定	1			○						選択必修Ａ
まちづくり実践論※	佐々木和之	2			○						選択必修Ｂ
比較宗教論	小河久志	2							○		選択
応用統計学Ⅱ	林宰司	2				○					必修
環境ｱｾｽﾒﾝﾄ演習	柴田裕稀	1						○			選択必修Ａ
合意形成支援技法※	金谷健	2				○					選択必修Ａ
合意形成支援技法演習※	金谷健	1				○					選択必修Ａ
社会ｼｽﾃﾑ分析設計	近藤隆二郎	2				○					選択必修Ａ
社会ｼｽﾃﾑ分析設計演習	近藤隆二郎	1				○					選択必修Ａ
環境法Ⅱ	未定	2				○					選択必修Ｂ
環境社会学※	小野奈々	2		○							選択必修Ｂ
社会心理学	柿本敏克	2					○				選択
エネルギー変換工学※	河﨑澄	2						○			選択
環境情報演習	松本健一	1			○						選択必修Ａ
イベント計画論	近藤隆二郎	2					○				選択必修Ａ
イベント計画演習	近藤隆二郎	1					○				選択必修Ａ
環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ演習※	高橋卓也	1					○				選択必修Ａ
廃棄物管理論	金谷健	2					○				選択必修Ｂ
電子と化学結合※	松岡純	2								○	選択
地域生活論	中塚圭子	2							○		選択
組織とネットワークの社会学	伊原亮司	2								○	選択
心理学基礎	竹下秀子	2					○				選択
哲学概論Ａ	鞍田崇	2					○				選択
哲学概論Ｂ	陶久明日香	2								○	選択
比較文化論	楊平	2						○			選択
社会変動論	丸山真央	2								○	選択
現代社会論	小野奈々	2				○		○			選択
政治経済学	田中英明	2							○		選択
社会調査実習	小野・高橋・林・松本・村上（一）	1					○	○			選択
アジア交流論	阿部健一	2							○		選択
政策計画演習Ⅰ	学科教員	1					○				必修
政策計画演習Ⅱ	学科教員	1						○			必修
政策計画演習Ⅲ	学科教員	1							○		必修
政策計画演習Ⅳ	学科教員	1								○	必修
卒業研究	学科教員	6							○	○	必修

※ 平成１７年度以前入学生は「ＧＩＳ演習」を「ＧＩＳ/ＣＧ演習」に読み替えます。
※ 平成１８年度以前入学生は
「水環境政策論」を「水環境システム論」に、
「エコロジー経済学」を「環境監査各論」に、
「環境監査」を「環境監査総論」に、
「地球環境システム論」を「大気環境システム論」に、
「環境シミュレーション」を「環境モデリング」に、
「環境マネジメント演習」を「費用便益分析演習」
に読み替えます。
※ 平成１９年度以前入学生は「土壌環境情報学」を「土質理工学」に、「電子と化学結合」を「基礎物理化学」に読み替えます。
※ 平成２０年度以前入学生は「地域再生システム論」を「地域活性化論」に読み替えます。

※ 平成２１年度以前入学生は
「環境生物学Ⅰ」を「生物学Ⅰ」に、
「環境物理学Ⅰ」を「物理学Ⅰ」に、
「集水域物質循環論」を「環境化学」に、
「環境化学Ⅱ」を「化学Ⅰ」に、
「水域生態系保全修復論」を「水環境管理学」に、
「流域環境管理学」を「地域環境保全学」
に読み替えます。

※ 平成２２年度以前入学生は「組織とネットワークの社会学」を「経営組織論」に、「社会変動論」を「社会システム基礎論」に読み替えます。

※ 平成２３年度以前入学生は、次ページの読替え表にしたがって科目を読み替えます。

2011（平成23）年度以前入学生用　科目読替対照表

本表は２０１１（平成２３）年度以前入学生が、平成２４年度以降入学生用の科目を履修した際に科目を読み替える方法を示しています。読替え開始年度に注意してください。

平成23年度以前科目名（旧カリ）	選必	開講期	読み替える平成24年度以降入学生向け開講科目名（新カリ）	読替え開始年度	選必	開講期	備考
持続可能社会論	選必B	2・前	環境経済学入門	2013（H25）	選必B	1・前	
環境法Ⅰ	選必B	2・前	環境法	2013（H25）	選必B	2・前	
ファシリテーション技法	選必A	2・前	ファシリテーション技法・演習	2013（H25）	選必A	1・後	
ファシリテーション技法演習	選必A	2・前					
社会システム分析設計	選必A	2・後	社会システム分析設計・演習	2013（H25）	選必A	2・後	
社会システム分析設計演習	選必A	2・後					
合意形成支援技法	選必A	2・後	合意形成支援技法・演習	2013（H25）	選必A	2・後	
合意形成支援技法演習	選必A	2・後					
イベント計画論	選必A	3・前	イベント計画論・演習	2014（H26）	選必A	3・前	本年度開講せず
イベント計画演習	選必A	3・前					
エコロジー経済学	選必B	3・後	環境財政	2013（H25）	選必B	2・後	
社会心理学（※）	選択	3・前	環境心理学	2013（H25）	選必B	2・前	
環境アセスメント演習	選必A	3・後	政策計画基礎演習Ⅱ	2014（H26）	必修	2・後	
卒業研究	必修	4・通年	卒業研究Ⅰ	2015（H27）	必修	4・前	本年度開講せず
			卒業研究Ⅱ	2015（H27）	必修	4・後	本年度開講せず

※　２０１３（平成２５）年以降は必ず本学科の専門科目「環境心理学」を履修すること。

5　環境建築デザイン学科専門科目の履修について

（1）　環境建築デザイン学科科目履修上の注意

① 専門科目は（Ⅰ）環境科学部全体の共通科目（Ⅱ）複数の学科間での共通科目（Ⅲ）各学科の学生を対象とする科目――の３群から構成されます。複数学科共通科目として挙げている科目は、人間・社会環境を積極的に形成する上で基本となる価値観と方法論を講述します。学科によって必修・選択・選択必修の区分が異なるので注意してください。環境建築デザイン学科の専門科目は、さらにその内容から、（ａ）デザイン系（ｂ）歴史・理論系（ｃ）計画系（ｄ）技術系の４分野に大別されます。

(a) デザイン系

建築、ランドスケープ、都市は人の手によっていかようにもデザインすることができる。人と、生活、もの、生態、自然、社会、歴史など相互の様々な関係性を相対的な環境という視座で形にしていくことがデザインである。その関係性を解き明かし、実践するための意匠論、手法論、造形論、職能論などの講義科目、演習で構成される。

(b) 歴史・理論系

建築とそれを取巻く環境を成立させる理論的根拠を包括的に学ぶと同時に、今日の建築がいかなる社会的、さらには時代的背景をもって生産されているか探究する。また、これまでどのような建築・環境が生み出され、どのような変遷をたどってきたのか、日本・西洋の建築の歴史を通して学ぶ。

(c) 計画系

環境と人間の活動との関係性を視座に据え、都市や地域の土地利用を適切に行うための計画論や制度論、歴史的街並みや地域固有の景観を保全、再生、創造するための計画論や制度論、都市や地域の安全防災に関する計画論や技術論、および環境と調和した建築空間の構成や計画手法を学ぶ講義科目で構成される。

(d) 技術系

建築物の設計は、美しさ、快適性とともに安全性、環境性に配慮する必要がある。技術系の科目は、力の流れを理解し、いかに骨組みを構成するかを学ぶ構造計画、構造力学、構造材料実験および私たちの生活に不可欠な光・音・熱についての基礎技術を学ぶ環境工学などの講義、実験、演習で構成される。

② 上記４つの科目群は最終的には扱う対象をそれぞれ異にし、また対応する社会的職能も分かれますので、履修を進めていくなかで、各人なりの取捨が求められることになります。総合的な能力を得るためにも、幅広く履修することを勧めます。

③ 各科目群に関連した科目が他学科・他学部の科目の中にもあるので、積極的にそれらの科目を履修することを勧めます。別表に履修することが望ましい他学科・他学部の科目の主要なものを例示してあります。

他学科・他学部の科目（所定の必要単位を超える人間学科目と外国語科目を含む。）履修のうち１０単位までは科目にかかわりなく、卒業単位として認定されます。

なお、他学科・他学部開講の実験・実習科目の履修を希望する者は、履修登録に先立って科目担当教員の了解を得る必要があります。

④ 卒業研究・卒業制作については、Ⅰを修得した後でないとⅡは登録できません。

（２） 環境建築デザイン学科卒業要件

１ 全学共通科目（計 ３０単位以上） 必修１８単位、選択必修１２単位以上		
① 共通基礎科目	１８単位以上	※留学生はP.14参照
	第一外国語	英語ＩＡ・B、ⅡA・B、ⅢA・B、ⅣA・B ８単位（平成２４年度入学生） 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ８単位（平成２３年度以前入学生）
	第二外国語	ドイツ語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、フランス語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、中国語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、朝鮮語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡBのうちから４単位以上。 ただし、「第二外国語ⅡA・ⅡB」は「実用英語演習ＩＡ・ＩＢ」で代替可。 （平成２４年度入学生） ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、朝鮮語Ⅰ・Ⅱのうちから４単位以上（平成２３年度以前入学生）
	情報処理	情報リテラシー（情報倫理を含む）、情報科学概論 ４単位
	保健体育	健康・体力科学Ⅰ・Ⅱ ２単位
② 人間学	１２単位以上（「空間計画論」を除く。） （「環境マネジメント総論」と「人間探求学」は必修）	
２ 専門科目（計 １００単位以上） 必修５１単位、選択４９単位以上		
① 必修	年次別配当表に指定する科目 ５１単位	
② 選択	科目配当表に指定する科目から４９単位以上 ただし、全学共通科目で３０単位を超えた分の科目および他学科・他学部の開講科目については、１０単位までを限度に、専門科目の単位として、卒業単位に算入することができる。（学則第３８条）	
合計	１３０単位以上	

【卒業研究履修要件】

１ ３年次終了までに、全学共通基礎科目を16単位以上取得していること。
２ ３年次終了までに、専門科目の必修単位45単位の内43単位以上取得していること。
３ 人間学・専門科目（必修・選択）の中で、４年次に取得しなければならない単位数が「卒業研究・卒業制作Ⅰ」「卒業研究・卒業制作Ⅱ」以外に10単位以下であること。

上記１、２、３を全て満たしていなければならない。
この要件を満たしていない場合、「卒業研究・卒業制作Ⅰ」「卒業研究・卒業制作Ⅱ」の履修登録ができない。卒業見込証明書の発行も受けられない。

【卒業研究等審査基準】

１ 卒業研究（卒業論文・卒業制作）は、以下の評価項目によって審査する。
⑴ 研究又は制作の目的とその妥当性
⑵ テーマの新規性・学術性・社会性
⑶ 方法の的確性・独創性
⑷ 論拠（実験・調査データ・文献資料等）の客観性・実証性
⑸ 論理構成及び結論（表現）の妥当性
なお、卒業制作は、以上に加えてプレゼンテーションの手法・技術・密度・完成度について評価する。
２ 卒業研究（卒業論文・卒業制作）は、発表会において学科が定める方法で発表し、質疑を行う。
３ １および２による評価結果をもとに、学科教員全員の合議を経て審査判定を行う。

計画プランナー・コンサルタント・行政・施工　　建築デザイナー・ランドスケープデザイナー・構造デザイナー　　研究教育者・構造エンジニア・設備エンジニア

デザインマインドを持った環境市民の創出

【専門科目の分類】
※学部共通基礎科目
●複数学科共通科目
■環境建築デザイン学科専門科目

4回生

■卒業研究・卒業制作Ⅱ　学科教員　4年後期　必修

前期
- ●環境行動論　迫田　4年前期　選択
- ●文化財・保存修景論A　濱崎・井口　4年前期　選択
- ●環境技術　宮崎（非常勤）　4年前期　選択
- ■地域産学連携実習（オープンデスク）　4年前期　選択

■卒業研究・卒業制作Ⅰ　学科教員　4年前期　必修

3回生

後期
- ■建築法規　戸川（非常勤）　3年後期　必修
- ■環境職能論　松岡　3年後期　選択
- ■環境・建築デザイン演習　学科教員　3年後期　選択
- ■環境技術史　冨島　3年後期　選択
- ■建築設備　伊丹　3年後期　必修

前期
- ●コミュニティ計画論　未定　3年前期　選択
- ■都市・地域計画　轟　3年前期　選択
- ■環境設計Ⅱ　高柳　3年前期　選択
- ■環境共生デザイン　柴田・松岡・村上　2年後期　選択
- ■設計演習Ⅲ　村上・高柳他　3年前期　必修
- ■アジア建築史　布野　3年後期　選択
- ■日本建築史　冨島　3年前期　選択
- ■構造力学Ⅱ　高田　3年前期　必修
- ■建築生産施工　岩下（非常勤）　3年前期　必修

2回生

後期
- ■設計演習Ⅱ　ヒメネス・陶器・村上他　2年後期　必修
- ■内部空間論　高柳　2年後期　選択
- ●空間計画論　水原（非常勤）　2年後期　選択
- ●ランドスケープデザイン　村上　2年前期　選択
- ■建築環境工学　伊丹　2年後期　必修

前期
- ●景観計画　村上　2年後期　選択
- ■環境設計Ⅰ　ヒメネス　2年前期　選択
- ■設計演習Ⅰ　松岡他　2年前期　必修
- ■環境造形論　迫田　2年後期　選択
- ■西洋建築・思想史　迫田　2年前期　選択
- ■構造力学Ⅰ　陶器・高田　2年前期　必修

1回生

後期
- ■地域環境計画　轟　1年後期　選択
- ■設計基礎演習　迫田・轟・村上他　1年後期　必修
- ■構造計画　陶器・松村（非常勤）　1年後期　必修
- ■建築数学・物理　高田・伊丹　1年後期　選択

前期
- ■建築一般構造　黒川（非常勤）　1年前期　選択
- ■イメージ表現法　松岡・高田・轟・永井　1年前期　必修

■環境・建築デザイン概論　学科教員　1年前期　必修

環境フィールドワーク人間学
- ※環境FWⅢ　学科教員　3年通年　選択
- ※環境学原論　村上　2年後期　必修
- ※環境FWⅡ　学科教員　2年前期　必修
- ※環境FWⅠ　学科教員　1年前期　必修

演習・実験
- ■構造材料実験　陶器・高田・永井・伊藤　3年後期　必修
- ■建築環境工学演習　伊丹　3年前期　選択
- ■CAD演習Ⅱ　ヒメネス・高柳・伊丹・永井　2年前期　選択
- ■CAD演習Ⅰ　高柳・ヒメネス・伊丹　1年後期　必修
- ■木匠塾　松岡・陶器・高田　1～4年通年　選択

講義科目：計画 Planning／デザイン Design

設計演習 Design Exercise

講義科目：歴史・理論 History/ Theory／技術 Engineering

(3)環境建築デザイン学科年次別配当表

科目名	担当教員	単位	1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
2　専門科目											
2.1 学部共通基礎科目											
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅠ	学部教員	3	○								必修
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅡ	学部教員	3			○						必修
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅢ	学部教員	3					○	○			選択
環境学原論	村上修一	2				○					必修
環境科学概論Ⅰ	永淵・他	2	○								必修
環境科学概論Ⅱ	高橋・他	2		○							必修
基礎数学Ⅰ	市川源一	2	○								選択
基礎数学Ⅱ	市川源一	2		○							選択
2.2 複数学科共通科目											
景観計画	村上修一	2				○					選択
構造力学Ⅰ	陶器・永井	2			○						必修
環境経済学入門※8	高橋・林	2	○								選択
ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟﾃﾞｻﾞｲﾝ※1	村上修一	2			○						選択
空間計画論	水原渉	2				○					選択
環境政策学	秋山道雄	2				○					選択
ｺﾐｭﾆﾃｨ計画論	未定	2					○				選択
環境監査※2	池北實	2					○				選択
環境アセスメント	錦澤・杉本・多島	2					○				選択
地域再生システム論※4	森川・鵜飼・轟・他	2					○				選択
環境計画学※2	近藤隆二郎	2						○			選択
環境倫理学※3	土屋正春	2					○				選択
環境財政※8	村上一真	2						○			選択
環境技術※1	宮崎慎也	2							○		選択
環境行動論※3	迫田正美	2							○		選択
文化財・保存修景論Ａ※5	濱崎･井口	2							○		選択
2.3 学科専門科目											
環境・建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ概論	学科教員	2	○								必修
建築一般構造	黒川直樹	2	○								選択
ｲﾒｰｼﾞ表現法	松岡･高田･轟･永井	2	○								必修
建築数学・物理	高田･伊丹	2		○							選択
地域環境計画	轟慎一	2		○							選択
ＣＡＤ演習Ⅰ※6	高柳･ﾋﾒﾈｽ･伊丹	2		○							必修
設計基礎演習	村上･迫田･轟他	2		○							必修
構造計画	陶器･松村	2		○							必修
ＣＡＤ演習Ⅱ※7	ﾋﾒﾈｽ･高柳･伊丹･永井	2			○						選択
設計演習Ⅰ	未定･松岡他	3			○						必修
環境設計Ⅰ※1	ﾋﾒﾈｽ･ﾍﾞﾙﾃﾞﾎ ﾎｱﾝ･ﾗﾓﾝ	2			○						選択
西洋建築・思潮史※1	迫田正美	2			○						選択
環境造形論※1	迫田正美	2				○					選択
内部空間論	高柳英明	2				○					選択
環境共生ﾃﾞｻﾞｲﾝ※1	未定･村上（一）	2				○					選択
建築環境工学※3	伊丹清	2				○					必修
設計演習Ⅱ	ﾋﾒﾈｽ･松岡･陶器 他	3				○					必修
設計演習Ⅲ	村上･松岡･ﾋﾒﾈｽ･高柳 他	3					○				必修
日本建築史	冨島義幸	2					○				選択
都市・地域計画	轟慎一	2					○				選択
環境設計Ⅱ※1	未定	2					○				選択

科目名	担当教員	単位	1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
構造力学Ⅱ※3	高田豊文	2					○				必修
建築環境工学演習	伊丹清	2					○				選択
建築生産施工※1※3	岩下智	2					○				必修
環境技術史	冨島義幸	2						○			選択
構造材料実験	陶器･高田･永井･伊藤	2						○			必修
アジア建築史※1※3	布野修司	2						○			選択
環境設備※3	伊丹清	2						○			必修
環境職能論※3	松岡拓公雄	2						○			選択
建築法規※3	戸川勝紀	2						○			必修
環境建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習※3	学科教員	3						○			選択
木匠塾※7	松岡・陶器・高田	2	○	○	○	○	○	○	○	○	選択
地域産学連携実習	学科教員	2			○		○		○		選択
卒業研究・卒業制作Ⅰ	学科教員	3							○		必修
卒業研究・卒業制作Ⅱ	学科教員	3								○	必修

※１　平成１７年度以前入学生は、「環境技術」を「ｴﾈﾙｷﾞｰ･資源論」に、「ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟﾃﾞｻﾞｲﾝ」を「ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟ意匠」に、「環境設計Ⅰ」を「建築計画Ⅰ」に、「環境共生ﾃﾞｻﾞｲﾝ」を「建築計画Ⅱ」に、「環境造形論」を「環境造形」に、「西洋建築・思潮史」を「西洋建築史」に、「環境設計Ⅱ」を「環境設計論」に、「アジア建築史」を「環境・建築美学」に、「建築生産施工」を「ﾌｧｼﾘﾃｨ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ」に読み替えます。

※２　平成１８年度以前入学生は、「持続可能社会論」を「環境経済学概論」に、「環境監査」を「環境監査総論」に、「エコロジー経済学」を「環境監査各論」に、「環境計画学」を「環境計画論」に読み替えます。

※３　平成２０年度以前入学生は、「環境倫理学」「アジア建築史」「環境職能論」「環境・建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習」は必修科目、「建築環境工学」「構造力学Ⅱ」「環境設備」「建築法規」は選択科目、「建築生産施工」は4年前期開講の選択科目、「環境行動論」は3年前期開講です。

※４　平成２０年度以前入学生は、「地域再生システム論」を卒業要件科目に含むことができます。

※５　「文化財・保存修景論Ａ」は隔年開講（平成２５年度不開講）

※６　平成２１年度以前入学生は、「ＣＡＤ演習Ⅰ」を「ＣＡＤ演習」に読み替えます。

※７　平成２１年度以前入学生は、「ＣＡＤ演習Ⅱ」、「木匠塾」を卒業要件科目に含むことができます。

※８　平成２３年度以前入学生は、「環境経済学入門」を「持続可能社会論」に、「環境財政」を「エコロジー経済学」に読み替えます。

環境建築デザイン学科推奨科目一覧表（他学科・他学部で開講される推奨科目）

① 以下の一覧表に示す他学科・他学部で開講される科目は、その内容が環境建築デザイン学科の専門科目を学ぶ上で、より理解を深めることができる本学科の「推奨科目」である。
② 推奨科目の履修にあたっては、卒業要件の参入条件について、学科卒業要件を読んで十分理解しておくこと。
③ 以下の表の履修年次は、本来開講されている他学科・他学部での履修年次であるので注意すること。

推奨科目名	担当教員	単位	本来開講されている他学科・他学部での履修年次				開講学部・学科
			１年 前 後	２年 前 後	３年 前 後	４年 前 後	
比較住居論	未定	2	○	○	○	○	人間学、生活デザイン・生活栄養・人間関係学科
考現学概論	面矢慎介	2	○				生活デザイン学科
人間行動論	細馬宏通	2	○				生活栄養・人間関係学科
地域文化財論Ａ※	伊藤裕久	2	○				地域文化学科
人間工学	中村孝之	2		○			生活デザイン学科
文化財情報論	濱崎・石川地	2		○	○		地域文化学科
地域文化財論Ｂ	濱崎一志	2	○	○			地域文化学科
生活デザイン論	佐々木一泰	2		○			生活デザイン学科

6　生物資源管理学科専門科目の履修について

（1）　科目履修上の注意

① 専門科目は、（ａ）　環境科学部全体の学部共通基礎科目、（ｂ）　複数学科共通科目、（ｃ）　学科専門科目から構成されています。資格関連科目については、「資格取得等の手引」の項を見てください。

② 複数学科共通科目と学科専門科目の履修にあたっては、卒業後の進路をよく考えて、学科が提供する履修コースの選択を踏まえたうえで、体系的に講義科目を履修することが望まれます。詳しくは学科のオリエンテーションで説明します。

③ 生物資源管理学実験・実習Ⅰ～XIは選択必修科目で、計１１科目（２２単位）から６科目（１２単位）以上を履修してください。それぞれの実験・実習の内容の概要は以下のとおりです。

生物資源管理学実験・実習Ⅰ	栽培分野	
生物資源管理学実験・実習Ⅱ	遺伝・培養分野	
生物資源管理学実験・実習Ⅲ	動物資源管理分野	
生物資源管理学実験・実習Ⅳ	微生物・菌類分野	
生物資源管理学実験・実習Ⅴ	遺伝子工学分野	
生物資源管理学実験・実習Ⅵ	動物生態管理分野	
生物資源管理学実験・実習Ⅶ	生物試料分析分野	…⑧を参照
生物資源管理学実験・実習Ⅷ	土壌・水質分析分野	
生物資源管理学実験・実習Ⅸ	土壌物理・気象分野	
生物資源管理学実験・実習Ⅹ	測量実習	
生物資源管理学実験・実習XI	経営・経済分野	

④ ４年次における卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱは、学科教員の各研究室に分属して行うことになります。卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱは、同一の教員の指導を受けるのを常とします。また、卒業研究Ⅱは、卒業研究Ⅰを修得した後でないと履修できません。卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱは、同一年度に連続して履修するのが基本であって、複数年度にわたって、もしくは期間をあけて履修するのは、留学、休学等特別の事情がある場合に限られます。さらに、研究内容によっては、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱの履修時期に制約を受ける場合があります。

　なお、３年次までに単位履修が不十分な場合、４年次において卒業研究Ⅰ・Ⅱと生物資源管理学演習Ⅰ・Ⅱを履修できないことがあります。

⑤ 他学科開講の実験・実習の履修を希望する者は、科目担当教員の了解を事前に得なければなりません。

⑥ 平成１９年度および平成２２年度にカリキュラムが大幅に改定されました。入学年度により、下記に示した新科目名は、旧科目名に読み替えます。ただし、旧科目名で単位を修得した科目については、新科目名で新たに単位を修得することはできません。

【平成１７年度以前入学生】

<新科目名>	<旧科目名>
ランドスケープデザイン	ランドスケープ意匠
環境技術	エネルギー・資源論
家畜生産生理学	動物生産生理学

【平成１８年度以前入学生】

<新科目名>	<旧科目名>
持続可能社会論	環境経済学概論
環境監査	環境監査総論
エコロジー経済学	環境監査各論
環境経営論	農産物価格流通論

環境会計	農業会計
国際環境資源論	国際農産物市場論
地球環境システム論	大気環境システム論
水環境政策論	水環境システム論
環境シミュレーション	環境モデリング
農業経済学	比較農業経済学
農業経営学	比較農業経営学
食料経済システム論	食品産業論
応用微生物学	微生物利用学
地域資源管理学	自治体産業政策論
生物資源管理学実験・実習Ⅰ	生物資源管理学実験Ⅰ
生物資源管理学実験・実習Ⅱ	生物資源管理学実験Ⅱ
生物資源管理学実験・実習Ⅲ	生物資源管理学実験Ⅲ
生物資源管理学実験・実習Ⅳ	生物資源管理学実験Ⅳ
生物資源管理学実験・実習Ⅵ	生物資源管理学実験Ⅴ
生物資源管理学実験・実習Ⅶ	生物資源管理学実験Ⅵ
生物資源管理学実験・実習Ⅷ	生物資源管理学実験Ⅶ
生物資源管理学実験・実習Ⅸ	生物資源管理学実験Ⅷ
生物資源管理学実験・実習Ⅹ	測量実習
生物資源管理学実験・実習Ⅺ	生物資源経済実習Ⅰ

【平成１９年度以前入学生】

〈新科目名〉	〈旧科目名〉
土壌環境情報学	土質理工学
地域情報処理学	地形情報処理学

【平成２０年度以前入学生】

魚類生理学	水族環境生理学
農業統計利用論	農業農村政策論（平成１９、２０年度入学生） 農業政策論（平成１８年度以前入学生）

【平成２１年度以前入学生】

<新科目名>	<旧科目名>
環境生物学Ⅰ	生物学Ⅰ
環境生物学Ⅱ	生物学Ⅱ
環境生物学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	生物学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）
環境物理学Ⅰ	物理学Ⅰ
環境物理学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	物理学実験　（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）
環境化学Ⅰ	化学Ⅱ
環境化学Ⅱ	化学Ⅰ
環境化学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	化学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）
環境地球科学Ⅰ	地学Ⅰ
環境地球科学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	地学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）
土壌環境化学	土壌環境学
流域環境管理学	地域環境保全学
環境気象学	応用気象学
栽培植物各論Ａ	栽培技術論

栽培植物各論Ｂ	栽培植物各論
植物資源開発学	環境作物学
環境統計解析学	環境統計学
河川環境学	陸水物理学
森林環境学	植物生態学
湖沼環境学	微生物生態学
環境解析学・同実験	環境化学・実験
集水域環境機能論	環境分析化学
集水域物質循環論	環境化学
陸域環境機能論	環境生化学
陸域環境影響調査指針	生物系統分類学
集水域生態系保全修復論	陸水生物学
水域環境影響調査指針	生態系生態学
陸域生態系保全修復論	森林資源管理学

【平成２２年度以前入学生】

<新科目名>	<旧科目名>
環境植物生理学	植物生化学
食料経済システム論	農産物マーケティング論

【平成２３年度以前入学生】

<新科目名>	<旧科目名>
農業問題入門	農業経済学

⑦ 平成１７年度以前の入学生は、魚類生理学（旧科目名：水族環境生理学）を卒業要件科目に含むことができます。また、平成１８年度以前の入学生は、生物資源管理学実験・実習Ｖを卒業要件科目に含むことができます。

⑧ 年次別配当表（別表）に掲げる「生物資源循環論」、「地域環境整備学」および「生物資源管理学実験・実習Ⅶ」は、平成 24 年度以前入学生は履修し、卒業要件科目に含めることができます（平成 26 年度まで開講、以降廃止）。平成 25 年度入学生は履修することができません。

（２） 生物資源管理学科卒業要件

１ 全学共通科目（計 ３０単位以上） 必修１８単位、選択必修１２単位以上

① 共通基礎科目	１８単位以上	※留学生はP.14参照
第一外国語	英語ＩＡ・B、ⅡA・B、ⅢA・B、ⅣA・B ８単位（平成２４年度入学生） 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ８単位（平成２３年度以前入学生）	
第二外国語	ドイツ語ＩＡ・ＩB・ⅡA・ⅡB、フランス語ＩＡ・ＩB・ⅡA・ⅡB、中国語ＩＡ・ＩB・ⅡA・ⅡB、朝鮮語ＩＡ・ＩB・ⅡA・ⅡBのうちから４単位以上。 ただし、「第二外国語ⅡA・ⅡB」は「実用英語演習ＩＡ・ＩＢ」で代替可。 （平成２４年度入学生） ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、朝鮮語Ⅰ・Ⅱのうちから４単位以上（平成２３年度以前入学生）	
情報処理	情報リテラシー（情報倫理を含む）、情報科学概論 ４単位	
保健体育	健康・体力科学Ⅰ・Ⅱ ２単位	
② 人間学	１２単位以上（「空間計画論」と「水環境政策論」は除く。） （「環境マネジメント総論」と「人間探求学」は必修）	

２ 専門科目（計 １００単位以上）

必修	年次別配当表に指定する１２科目２４単位
選択必修	年次別配当表に指定する選択必修Ａ７科目１５単位から６単位以上 年次別配当表に指定する選択必修Ｂ１１科目２２単位から１２単位以上
選択	年次別科目配当表に指定する選択科目および選択必修科目のうち、必修単位を超える単位数あわせて５８単位以上 ただし、複数学科共通科目のうち生物資源管理学科が提供する科目（年次別配当表の備考欄に「資源」と記入）と学科専門科目とから３０単位以上を履修しなければならない

なお、全学共通科目で３０単位を超えた分の科目および他学科・他学部の開講科目については、１０単位までを限度に、専門科目の単位として、卒業単位に算入することができる。（学則第３８条）

合計 １３０単位以上

【卒業研究等履修要件】

（３年次前期終了時点での取得単位数）
- 全学共通基礎科目１２単位
- 専門必修・選択必修科目２２単位
- 専門選択科目４２単位
  - うち学科提供科目（２０単位）

（３年次後期終了時点での取得科目）
- コース基礎科目１４または１６単位
- コース専門科目２０単位
- 専門基礎科目（講義）１２単位
- 一般基礎科目（講義・実験ともに）４単位

（生物資源管理学科教育コース制実施要領による）

【卒業研究等審査基準】

１ 卒業研究（卒業論文）は、以下の評価項目によって審査する。
(1) 研究テーマの新規性・学術性・社会性
(2) 研究目的と研究計画の妥当性
(3) 研究方法の的確性・独創性
(4) 研究内容の論拠（実験・調査データ・文献資料等）の客観性・実証性
(5) 論理構成及び結論の妥当性
(6) 研究に対する姿勢

２ 卒業研究（卒業論文）は、発表会において学科が定める方法で発表し、質疑を行う。

３ １および２による評価結果をもとに、学科教員全員の合議を経て審査判定を行う。

生物資源管理学科履修モデル

生物機能利用コース	生物生産コース	地域環境管理コース
関連する資格・試験など		
バイオ技術者認定試験 技術士、教員、公務員 ビオトープ管理士	園芸装飾技能士 グリーンアドバイザー 技術士、教員、公務員 ビオトープ管理士	土壌環境保全士 環境計量士、測量士 公害防止管理者（水質関係） 技術士、教員、公務員 ビオトープ管理士
めざす進路		
食品関連、バイオ関連 農薬肥料関連 教員、公務員 農業関連団体(JA など)	種苗関連、流通関連 農薬肥料関連、造園関連 教員、公務員 農業関連団体(JA など)	環境分析関連、農薬肥料関連 コンサルタント 教員、公務員 農業関連団体(JA など)
4 回生（総合的教育）		
卒業研究　◎テーマ別、フィールド別；学際的研究 ◎従来の学問体系に沿ったテーマ		
2 回生後期～3 回生（応用・展開的教育）コース基礎科目		
2 回前:遺伝学 2 回後:環境植物生理学、植物遺伝資源学、生物統計学 3 回前:分子生物学、植物病害防除論、実験 V(遺伝子工学) 3 回後:応用微生物学、実験Ⅱ(遺伝・培養)、実験Ⅳ（微生物・菌類）	1 回後:植物生産学 2 回前:植物資源管理学、動物資源管理学 2 回後:農業経営学、作物保護学生物統計学、実験Ⅲ（動物資源管理） 3 回前: 害虫管理学、植物栄養学実験Ⅰ(栽培)、実験Ⅵ（動物生態管理）	2 回前: 環境気象学、水質管理学土壌環境物理学、実験 X（測量実習） 2 回後:土壌環境化学、生物統計学、実験Ⅸ（土壌物理・気象）、水資源利用学 3 回前: 地域資源管理学、実験Ⅷ（土壌・水質分析）

主として 2 回生前期（基礎教育）

専門基礎：講義・・遺伝学、応用微生物学、環境気象学、作物保護学、植物資源管理学
水質管理学、生物統計学、土壌環境化学、農業経営学、動物資源管理学
分子生物学、水資源利用学から 6 科目以上を選択する
：実験・実習（選択必修 B）・・生物資源管理学実験Ⅰ～XⅠ（12 単位以上）

一般基礎：環境物理学Ⅰ、環境化学Ⅰ、環境生物学Ⅰ、環境地球科学Ⅰ、環境物理学実験
環境化学実験、環境生物学実験、環境地球科学実験から講義・実験ともに 2 科目以上を選択する
学科指定科目（選択必修 A）・・FWⅢ、環境法、環境アセスメント、環境監査
環境政策学、空間計画論、環境経済学入門（6 単位以上）

主として 1 回生（基盤教育）

全学共通科目・・・語学、体育、情報、人間学
学部共通科目・・・FWⅠ、Ⅱ、環境科学概論Ⅰ、Ⅱ、環境学原論
学科専門科目・・・生物資源管理学概論

(3)生物資源管理学科年次別配当表

科目名	担当教員	単位	1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
2　専門科目											
2.1 学部共通基礎科目											
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅠ	学部教員	3	○								必修
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅡ	学部教員	3			○						必修
環境ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅢ	学部教員	3					○	○			選択必修A
環境学原論	村上修一	2				○					必修
環境科学概論Ⅰ	永淵・他	2	○								必修
環境科学概論Ⅱ	高橋・他	2		○							必修
基礎数学Ⅰ	市川源一	2	○								選択
基礎数学Ⅱ	市川源一	2		○							選択
2.2 複数学科共通科目											
空間計画論	水原渉	2				○					選択必修A
環境監査	池北實	2					○				選択必修A
環境法	小林泉　他	2			○						選択必修A
環境経済学入門	高橋卓也・林宰司	2	○								選択必修A
環境政策学	秋山道雄	2				○					選択必修A
環境アセスメント	錦澤・杉本・多島	2					○				選択必修A
環境数学Ⅰ・演習	廣島幸正	3	○								選択
環境数学Ⅱ・演習	廣島幸正	3		○							選択
環境生物学Ⅰ	浦部美佐子	2		○							選択
環境生物学Ⅱ	浅岡一雄	2				○					選択
環境生物学実験 (ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	未定	2	○								選択
環境物理学実験 (ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	倉茂・堂満･三浦	2			○						選択
環境化学Ⅰ	丸尾雅啓	2	○								選択
環境化学Ⅱ※	岡田豊	2					○				選択
環境化学実験 (ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	永淵・丸尾･上田･肥田	2		○							選択
環境地球科学Ⅰ	堂満華子	2			○						選択
環境地球科学実験 (ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	田辺･倉茂･後藤･堂満	2			○						選択
地域調査法	香川雄一	2	○								選択
経済学Ⅰ	林宰司	2		○							選択
遺伝学	清水顕史	2			○						選択・資源
測量学	小谷廣通	2			○						選択・資源
土壌環境化学	須戸幹	2			○						選択・資源
水文学	千家正照	2			○						選択・資源
河川環境学	倉茂好匡	2			○						選択
森林環境学	野間直彦	2			○						選択
環境統計解析学	籠谷泰行	2			○						選択
経済学Ⅱ(国際経済を含む)	村上一真	2			○						選択
構造力学Ⅰ	陶器・永井	2			○						選択
水環境政策論	井手慎司	2				○					選択
政治学Ⅰ	竹本知行	2			○						選択
地域開発論	秋山道雄	2			○						選択
法学概論(国際法を含む)	初谷良彦	2			○						選択
生物資源管理学実験・実習X	小谷･岩間	2			○						選択必修B
ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟﾃﾞｻﾞｲﾝ	村上修一	2			○						選択
社会学	小野奈々	2			○						選択
環境財政	村上一真	2				○					選択
景観計画	村上修一	2				○					選択
生物統計学	泉津弘佑	2				○					選択・資源
動物生態学	沢田裕一	2				○					選択・資源
湖沼環境学	後藤直成	2				○					選択
環境解析学・同実験	永淵･丸尾・尾坂	4				○					選択
資源経済学	高橋卓也	2					○				選択
環境物理学Ⅰ	倉茂好匡	2		○							選択
環境経営論	高橋卓也	2				○					選択
地球環境システム論	松本健一	2				○					選択

科目名	担当教員	単位	1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
政治学Ⅱ(国際政治を含む)	竹本知行	2				○					選択
分子生物学	入江俊一	2					○				選択・資源
農薬環境学	須戸幹	2					○				選択・資源
集水域環境機能論	永淵修	2					○				選択
集水域物質循環論	尾坂兼一	2					○				選択
陸域環境機能論	肥田嘉文	2					○				選択
環境会計	東健太郎	2					○				選択
環境経済学	林宰司	2				○					選択
陸域環境影響調査指針	野間直彦	2					○				選択
集水域生態系保全修復論	浦部美佐子	2						○			選択
水域環境影響調査指針	田辺祥子	2					○				選択
国際環境資源論	高橋･林	2						○			選択
陸域生態系保全修復論	浜端悦治	2						○			選択
環境シミュレーション	井手慎司	2						○			選択
環境技術	宮崎慎也	2								○	選択
2.3 学科専門科目											
生物資源管理学概論	岡野寛治・学科教員	2	○								必修
植物生産学	上町達也	2		○							選択
植物資源管理学	泉泰弘	2			○						選択
水産資源学	杉浦省三	2						○			選択
動物資源管理学	岡野寛治	2						○			選択
家畜生産生理学	岡野寛治	2			○						選択
水質管理学	金木亮一	2			○						選択
土壌環境物理学	岩間憲治	2			○						選択
環境気象学	小谷廣通	2			○						選択
植物遺伝資源学	清水顕史	2				○					選択
水理学	金木亮一	2				○					選択
環境植物生理学	原田英美子	2				○					選択
栽培植物各論Ａ	上町達也	2				○					選択
作物保護学	鈴木一実	2				○					選択
生物資源化学	上田邦夫	2				○					選択
水資源利用学	小谷・皆川	2				○					選択
地域情報処理学	岩間憲治	2				○					選択
農業経営学	増田佳昭	2				○					選択
栽培植物各論Ｂ	泉泰弘	2						○			選択
植物病害防除論	鈴木一実	2					○				選択
植物栄養学	上田邦夫	2					○				選択
害虫管理学	沢田裕一	2					○				選択
家畜生産環境学	松井徹	2					○				選択
水利環境施設学	田中勉	2					○				選択
食料経済システム論	増田佳昭	2					○				選択
地域資源管理学	増田清敬	2					○				選択
応用微生物学	入江俊一	2						○			選択
植物資源開発学	原田英美子	2						○			選択
魚類生理学	杉浦省三	2						○			選択
生物資源循環論	岡野寛治	2						○			選択
環境動物学	畠佐代子	2						○			選択
水資源保全学	須戸幹	2						○			選択
地域環境整備学	金木亮一	2						○			選択
農業統計利用論	増田清敬	2						○			選択
流域環境管理学	皆川明子	2						○			選択
土壌環境情報学	中村公人	2						○			選択
専門外書講読Ⅰ	学科教員	1					○				必修
専門外書講読Ⅱ	学科教員	1						○			必修
生物資源管理学実験・実習Ⅰ	泉･上町・原田	2					○				選択必修Ｂ
生物資源管理学実験・実習Ⅱ	上町・清水・原田	2						○			選択必修Ｂ
生物資源管理学実験・実習Ⅲ	岡野･杉浦	2				○					選択必修Ｂ

科目名	担当教員	単位	1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
生物資源管理学実験・実習Ⅳ	鈴木･上田･入江	2						○			選択必修Ｂ
生物資源管理学実験・実習Ⅴ	杉浦･入江･清水	2					○				選択必修Ｂ
生物資源管理学実験・実習Ⅵ	沢田･岡野	2					○				選択必修Ｂ
生物資源管理学実験・実習Ⅶ	上田･岡野･須戸	2						○			選択必修Ｂ
生物資源管理学実験・実習Ⅷ	須戸・金木	2					○				選択必修Ｂ
生物資源管理学実験・実習Ⅸ	岩間・小谷･皆川	2				○					選択必修Ｂ
生物資源管理学実験・実習Ⅺ	増田(佳)･増田(清)	2				○					選択必修Ｂ
生物資源管理学演習Ⅰ	学科教員	1							○		必修
生物資源管理学演習Ⅱ	学科教員	1								○	必修
卒業研究Ⅰ	学科教員	3							○	(○)	必修
卒業研究Ⅱ	学科教員	3							(○)	○	必修

この配当表は2013(平成25)年度入学生用です。2012(平成24)年度以前入学生は入学年次の「履修の手引」および（１）科目履修上の注意（P.207～）を参照してください。

科目名	CAD演習Ⅰ	２単位　後期
担当教員	高柳　英明　・　伊丹　清　・　ﾋﾒﾈｽ・ﾍﾞﾙﾃﾞﾎ・ﾎｱﾝ・ﾗﾓﾝ	
授業概要	建築のデザインを考え、描き、表現する。これら一連のプロセスを行うにあたり、デジタル設計環境の活用は今や不可欠といえる。CAD(又はCAAD)とは、これら目的の作業や表現に併せた設計支援システムのことであり、建築初学時にその技術と知識を習得しておくことで、造形発想やエスキスのツールとしてだけでなく、高精度な図面作成のみならず、デザインの提案力を向上させ、ヴィジュアルプレゼンテーションを思いのままに操ることが可能となる。本演習はCADを用いた発想法、描画法、視点のシミュレーション等を通じ、CADを体感的に習得することを目的とする。	
到達目標	中規模集合住宅の2次元立面図、断面図、詳細図をデジタル環境を用いて製図する技術、3次元立体の生成と図面表現プレゼンテーションにかかる技術などの習得を目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:高柳英明著「建築設計ノート -集合住宅-」彰国社 他関連プリント適宜配布	
成績評価	各回の出席点を30%、3つの課題の合計点を70%として評価する。	
履修資格		

科目名	CAD演習Ⅱ	２単位　前期
担当教員	ﾋﾒﾈｽ・ﾍﾞﾙﾃﾞﾎ・ﾎｱﾝ・ﾗﾓﾝ　・　伊丹　清　・　高柳　英明　・　永井　拓生	
授業概要	この授業では、CAD演習Iで習得した基礎知識、技術を踏まえ、 世界の大学および建築業界で現在一番使用されている建築デザインのソフトであるAutodesk(Autocad Architecture,3DS-MAX)を用い、より高精度な図面作成、デザインの提案力の向上、プレゼンテーション能力の向上を目指すことを目的とする。	
到達目標	中規模住宅の2次元平面図、立面図、断面図をデジタル環境を用いて製図する技術、3次元立体の生成と図面表現、CGプレゼンテーションにかかる技術などの習得を目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:	
成績評価	課題提出を100％として評価する。	
履修資格		

科目名	ＧＩＳ演習	１単位　後期
担当教員	香川　雄一	
授業概要	GIS（地理情報システム）は現在計画分野で活用されつつある。その基本を学び、GISを環境計画に応用するためのデータ作成方法、データ解析および表示方法について課題演習を通じて学習する。	
到達目標	・GISの仕組みについて理解することができる。 ・GISソフトを操作することができる。 ・GISを利用するためのデジタル地図を選択することができる。 ・GISを用いてオリジナル主題図を作成することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:佐土原聡編　吉田聡・古屋貴司・稲垣景子著、図解！ArcGIS 10　Part1　身近な事例で学ぼう、古今書院 参考図書:Esriジャパン株式会社著、ArcGIS Desktop 逆引きガイド、Esriジャパン株式会社	
成績評価	授業時の作業結果　50％、 最終課題提出　50％	
履修資格		

科目名	アジア建築史	２単位　後期
担当教員	布野　修司	
授業概要	近代日本の建築界において、常にモデルとされ、参照されてきたのは西欧の建築である。西欧の近代建築技術の取得が日本の建築家にとっての第一の課題であった。近代建築の展開は日本のみならず世界中で大きな影響力をもった。しかし、そのあり方について疑問、批判が提出され始めて、既に久しい。地域には地域の建築文化の伝統があり、そのあり方が一方で見直されてきたのである。本科目では、これまであまり関心を払われてこなかったアジア（非西欧世界）の建築史について議論する。	
到達目標	アジアの都市建築についての基本的知識を身につける。また、空間形式の起源、形成、変容、転成、保全の原理、法則、メカニズムについて学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：指定図書：『東洋建築史図集』（彰国社） 参考書：授業時に適宜指示する	
成績評価	レポート評価80％　レスポンス・ペーパー20％	
履修資格	特になし	

科目名	遺伝学	２単位　前期
担当教員	清水　顕史	
授業概要	地球上の多種多様な生命は全て、共通祖先から遺伝情報(ゲノム)を継承した派生産物であるといえる。講義では、遺伝情報をコードする本体としてのDNA視点に基づき、遺伝現象を解説する。つまり遺伝情報単位としてのDNAとその複製機構、減数分裂時の継承様式について学ぶ。またDNA変異を利用した遺伝地図（連鎖地図）の作成およびそれを応用した遺伝子の単離法についても学び、遺伝子研究に応用されている遺伝学的手法についてより深く勉強する。 最後に、遺伝子の発現とその検出方法についても解説し、遺伝子型と表現型のより詳細な関係について学ぶ。	
到達目標	(1)表現型と遺伝子型および環境要因との関係（式）を説明できる (2)DNAマーカーを用いた連鎖地図が作成でき、形質をマッピングできる (3)マップベース・クローニングを説明できる (4)遺伝子とその発現機構について説明できる	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：『カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書 第2巻　分子遺伝学』講談社 参考書：ワトソン「遺伝子の分子生物学　第6版」東京電機大学出版局	
成績評価	定期試験（70％）と中間テストとレポート（30％）	
履修資格		

科目名	イベント計画論・演習	３単位　前期
担当教員	近藤　隆二郎	
授業概要	イベントの理論的講義と共に、イベントを実際に体験および企画実験することで、イベント計画についての理解をより深めることをねらいとする。実際のイベントの企画デザイン等を学ぶと共に、グループで実際のフィールドを選んで具体的なイベントの企画を行い、実践し、その効果等をフィードバックして共有することを考えている。自ら具体的フィールドを相手に仕掛ける体験を通して、イベントの実践についての理解を深める。	
到達目標	(1)実際のイベントを体験して評価できるようになること。 (2)イベントの企画をできるようになること。 (3)実際のイベントを企画実施することで、その企画を評価できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：必要に応じ、毎回の講義で配布する。 参考書：世田谷まちづくりセンター編「参加のデザイン道具箱」（世田谷まちづくりセンター）、歴史街道推進協議会編「まちづくり参加の一歩 NOTE BOOK」、「祭りとイベントのつくり方」（晶文社）、「まちづくりイベントハンドブック」（学芸出版社）、「ヒト、ムラ、マツリの地域論」（二期出版）	
成績評価	イベント実施内容評価30％　ワークショップおよびプレゼンテーション評価30％　課題評価40％	
履修資格	平成24年度入学生から履修してください。	

科目名	イメージ表現法	２単位　前期
担当教員	松岡　拓公雄　・　轟　慎一　・　高田　豊文　・　永井　拓生	
授業概要	建築・都市やランドスケープの設計にかぎらず、デザイン行為の原動力となるイマジネーションやアイディアを整理し、そのイメージを2次元および3次元で表現する力を養うことをねらいとしている。つまり、課題を通して、その答えを形にするまで、頭の中で描くことから始め、自分の手で様々な道具や素材を使って、空間を構成する感性を養うこと。自由な発想と可能性への挑戦をし、自分のイメージを表現する基礎トレーニングであり、環境建築デザインの設計入門となる。	
到達目標	デザインの原動力となる想像力やイメージを、2次元および3次元で表現する力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『コンパクト建築設計資料集成』丸善、『初めての建築製図』学芸出版社 指定図書:適宜紹介 参考書:山本学治『素材と造形の歴史』鹿島出版会	
成績評価	各自が制作した作品を、自分でプレゼンテーションしてアピールする。 その内容、およびエスキス段階での出席・評価も考慮する。 各課題制作の評価の総合(夫々を100点満点で採点し、平均を取る)で評価する。	
履修資格		

科目名	エネルギー変換工学	２単位　後期
担当教員	河﨑　澄	
授業概要	環境負荷低減と省エネルギーのためのエネルギー変換工学に関わる基礎知識と現状を理解することを目的とする。このために，エネルギー形態，変換システム，資源や将来の見通し，風力，太陽光，バイオマスなどの新エネルギーや地球温暖化ガスによる温暖化メカニズムやその低減方法に関して理解を深め，ライフサイクルを考慮したエネルギー変換システムの考え方を習得する。	
到達目標	(1)利用可能なエネルギー資源の種類と特徴およびエネルギー変換経路を説明できる。 (2)移動用・発電用機関の種類と動作原理を説明できる。 (3)分散型エネルギー供給システムの構成とその導入メリットを説明できる。 (4)各種新エネルギー利用技術を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントを配布する。 参考書:柳父・西川『エネルギー変換工学』(東京電機大学出版局)など	
成績評価	期末筆記試験70%，講義中に課すミニレポート30%により評価する。ミニレポートでは、簡単な計算問題、エネルギー技術導入の得失を問う推論、講義のまとめなどを課し、各講義の理解度を測る。期末筆記試験では、講義で取り扱ったエネルギー技術に関する総合的な論述、計算問題を課す。	
履修資格		

科目名	応用数学	２単位　後期
担当教員	井手　慎司	
授業概要	数式化された問題をいかに解くかを、技術士試験問題を例題として解説する。	
到達目標	数Ⅲ・Cまでの高校数学と大学の基礎数学の問題を解けること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:矢野健太郎・石原繁共著「科学技術者のための基礎数学」(裳華房)	
成績評価	中間試験30%、課題10%、期末(定期)試験60%	
履修資格		

科目名	応用統計学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	松本　健一	
授業概要	社会現象における状況認識、問題発見とその解決には、地域・社会調査により得られた情報、あるいは統計資料を用いたデータの分析が重要となる。本授業では、講義により統計学の知識を習得するとともに、統計解析ソフトを用いたデータ分析の演習を行う。統計学に関する用語を理解した上で、推定や検定などの統計データの扱い方に進む。また、統計分析の解釈に必要な相関関係や回帰分析についても自ら実施できるようにする。	
到達目標	・統計学的手法（特に検定・推定）について理解できるようになる。 ・実際の問題・データに対して統計学的手法を応用し、分析できるようになる。 ・分析した問題を考察し、レポートとしてまとめることができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：指定しない（授業中に適宜資料を配布する） 参考書：菅民郎・福島隆司（2009）『Excelで学ぶ統計解析入門-Excel2007対応版-』オーム社；栗原伸一（2011）『入門統計学』オーム社	
成績評価	毎回の課題（合計40%）と最終レポート（60%）により評価する。 欠席が4回を超えると評価対象としない（15分以上の遅刻は欠席とみなす）。	
履修資格		

科目名	応用統計学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	村上　一真	
授業概要	この授業では、応用統計学Ⅰで取得した統計学についての基礎知識を踏まえ、より高度な統計技法、具体的には多変量解析（多変量解析の概要、重回帰分析、判別分析、主成分分析、クラスター分析）の方法を理解すること、および多変量解析の環境問題の調査研究への適用事例概要を理解することを、ねらいとする。授業は、講義およびパソコン演習（統計ソフト使用）形式で行う。	
到達目標	①多変量解析による分析を、統計ソフトを用いて具体的に行えること。　②環境問題を題材とした多変量解析の問題を、作成できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：青木繁伸「Rによる統計解析」オーム社 参考書：荒木孝治「RとRコマンダーではじめる多変量解析」日科技連	
成績評価	平常点30％、レポート20％、中間まとめ25％、期末試験25％	
履修資格		

科目名	応用微生物学	２単位　後期
担当教員	入江　俊一	
授業概要	利用可能な微生物とその性質を理解することを主な目的としている。本講義では、多岐にわたる微生物利用を理解するための基礎知識、バイオサイエンスのツールとしての微生物、産業における代表的な微生物利用例、微生物を利用した環境修復について解説する。	
到達目標	(1)微生物分類の基礎を理解する。 (2)産業や環境問題対策において重要な微生物の種類と性質について理解する。 (3)醸造などの伝統的微生物利用法、および近年の微生物利用技術について知識を得る。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：配布する	
成績評価	宿題・小試験30%　期末試験70%の割合で評価を決定する。ただし、講義時間の3分の1以上欠席したものは評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	害虫管理学	２単位　前期
担当教員	沢田　裕一	
授業概要	作物の害虫管理の基礎として昆虫学の概要を講義するとともに、昆虫による農作物被害の実状とその生態学的メカニズムを詳述し、害虫密度を低いレベルに抑え、それを長期的に維持するための総合的な害虫管理システムの必要性を説く。農薬による化学的防除だけでなく、昆虫と植物の共存関係の利用や天敵・不妊化雄の利用等の生物学的防除の原理と応用についても講述する。	
到達目標	(1)循環系、呼吸系、消化・排泄系など昆虫の内部形態の特徴を、人など哺乳類と対比させて説明できること。 (2)化学的防除法と生物的防除法について、それぞれの長所と短所を比較して説明できること。 (3)総合的害虫管理の理念と実践について、歴史的背景も含めて説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 指定図書:斉藤哲夫他著「新応用昆虫学」(朝倉書店)、中筋房夫著「総合的害虫管理学」(養賢堂) 参考書:レイチェル・カーソン著「沈黙の春」(新潮社)	
成績評価	レポート評価:50%、期末筆記試験:50%	
履修資格		

科目名	海洋環境学	２単位　前期
担当教員	伴　修平	
授業概要	海洋生態系の構造と機能を理解し、そこでの物質循環および地球環境変動との関連について学ぶ。授業の前半では、海洋の物理構造とそこに生息する生物について詳しく学び、そこでの生物間相互作用と物質循環について最近の知見を取り入れて理解する。授業の後半では、人間活動あるいは地球環境変動に対する海洋生態系の機能と役割について概観し、海洋における環境問題解決のための基礎知識として活用できるようにする。	
到達目標	海洋学の基礎的知識について理解し習得する。実際の海洋生態系を理解するためにそれらの知見を有効に利用できる。また、これらを通して海洋環境に対する人類の影響およびその保全・修復などについて考えることができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:特になし。適宜配布。指定図書:高橋正征ら監訳『生物海洋学』、關・長沼訳著『生物海洋学入門　第2版』	
成績評価	毎回、後半20分程度で小テストを行い、前回分の復習と当日の理解度を測る。成績は、この毎時間毎に行う小テストによる評価が50%、期末試験による評価が50%で総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	河川環境学	２単位　前期
担当教員	倉茂　好匡	
授業概要	この講義では，指定したテキストを元に、河川環境の複雑な問題を取り扱うための基本的知識を身に付ける。それと並行し、まず流体力学の基礎体系を学ぶ．その上で，河川流や地下水流さらには河川による土砂運搬現象について理解する．講義では，かなり詳しく数式展開を行う．そのため，大学1年程度の物理学および数学の知識を必要とする．また，理解を深めるため，毎回宿題を課す．	
到達目標	1)河川とその周辺の生態系を理解するための方法を知る。 2)流体力学の基礎を理解し、流体力学独特の数学的手続きを用いて流体力学の基礎的問題を解けるようになる。 3)流体力学や土砂水理学の知識を用いて、河川内の現象を説明できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:太田猛彦、高橋剛一郎(編)「渓流生態砂防学」(東京大学出版会)参考書:椿東一郎著「水理学Ⅰ・Ⅱ」(森北出版)，樋根勇著「水文学」(大明堂)，鈴木幸一著「水理学演習」(森北出版)，高山茂美著「河川地形」(共立出版)	
成績評価	宿題60%、期末試験40%。 宿題は原則として毎回課す。1回の宿題について10点満点で採点し、これの総合点を60点満点に換算する。 期末試験は100点満点で実施し、これを40点満点に換算する。これらの和をもって最終評価とする。 なお、宿題の提出が1週おくれるごとに、当該宿題得点より1点を減ずる。	
履修資格		

科目名	家畜生産環境学	２単位　前期
担当教員	松井　徹※	
授業概要	地球上には熱帯から寒・冷帯、湿潤地域から砂漠のような乾燥地域まである。様々な環境下で生存する家畜に必要な栄養素について概説するとともに、様々な環境に適応している家畜の特徴、生理反応について教授する。家畜は動物性食糧の供給、皮革、厩堆肥の生産などを通して人類に多大な貢献をしている。一方、近年の大規模家畜生産では環境に悪影響を及ぼす場合もあり、その現状と環境調和型農業を目指した動物生産技術についても講述する。	
到達目標	家畜おける栄養素の機能の概略、様々な環境下での栄養素の要求量の変化を説明できる。様々な環境に適応している家畜の特徴、生理反応について説明できる。近年の大規模家畜生産が環境に及ぼす影響を説明できる。環境調和型農業を目指した動物生産技術について説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	プリントを配布する。 参考書:動物飼養学(養賢堂)	
成績評価	小試験で評価する。 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	家畜生産生理学	２単位　前期
担当教員	岡野　寛治	
授業概要	家畜生産の基礎知識として、家畜の栄養生理および繁殖生理の理解を深める。また、環境の変化に対応して、家畜が生命および生産維持のために作動させる諸機能について講義する。	
到達目標	1,畜産業の意義について説明できる。 2,動物に必要な栄養素を説明できる。 3,家畜の消化生理について説明できる。 4,飼料の栄養価を評価する方法を説明できる。 5,家畜の栄養素要求量を理解できる。 6,飼料の種類について説明できる。 7,家畜の生殖細胞と生殖器官について説明できる。 8,家畜の発情・排卵・黄体について説明できる。 9,家畜の性成熟・交配・妊娠・分娩・泌乳について説明できる。 10,家畜繁殖の人為的制御について説明できる。 11,家畜の生殖工学技術について理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:なし　指定図書:佐々木義之編 『畜産学概論』津田恒之・小原嘉昭・加藤和雄著 『家畜生理学』参考書:加藤嘉太郎・山内昭二著 『家畜比較解剖図説上巻・下巻』	
成績評価	レポート(20%)、小試験(30%)、期末試験(50%)	
履修資格	2回生以上が受講すること。平成24年度以前の入学生は入学時の講義概要に従って講義する。	

科目名	環境アセスメント	２単位　前期
担当教員	錦澤　滋雄※　・　杉本　卓也※　・　多島　良※	
授業概要	環境配慮の重要な手段である環境アセスメントについて、その理論と実際を論じる。アセスの意義と効果およびその限界、法制度による規定内容やそれらが導出されるに至った歴史的経緯などについて、具体事例を踏まえて解説する。またアセスにおける調査・予測・評価の方法論などの技術的側面や諸外国の状況についても学ぶ。アセスは、行政の意思決定を支援する手段でもあり、この点で市民参加や社会的な合意形成の問題についても関連してくる。また、新しいアセスである、戦略アセスについても論ずる。	
到達目標	(1)環境アセスメントとは何かを説明できること。 (2)アセスの要件と国内外のアセス法制度の概要について理解すること。 (3)調査・予測・評価の具体的手法とその問題点について説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業中に適宜、資料を配布 参考書:原科幸彦著「改訂版・環境アセスメント」(放送大学教育振興会)、原科幸彦著「環境アセスメントとは何か」(岩波書店)	
成績評価	授業中の課題75%(BRD含む)、最終レポート25%、 ※BRD＝当日ブリーフレポートのこと。与えられたテーマをA4用紙1枚にまとめて講義終了時に提出する。提出は当日のみ受け付ける。	
履修資格		

科目名	環境建築デザイン演習	３単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	この演習は3回生前期までの設計演習等の習得を受けて、少人数によるスタジオ制での演習をう。演習の形態は担当教員により異なるが、3年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員の専門を活かした課題が出題される。	
到達目標	各教員が与える環境・建築デザインにかかわる課題に対して、課題に関わる分野に関する資料の収集、分析等を適切かつ充分に行う能力を獲得すること。また、与えられた課題に適切に応答し表現することのできる能力を獲得すること。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜紹介	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	環境・建築デザイン概論	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	環境建築デザイン学科で学ぶべき専門分野（建築計画・設計、ランドスケープ、都市・地域計画、建築歴史・意匠、環境設備、建築構造・安全防災など）の入門として位置付ける。本学科全教員が担当し、環境と建築について学ぶべき視点と方法について、それぞれの専門性をふまえ講義する。	
到達目標	環境建築デザインを構成する各専門分野の概要を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布 指定図書：適宜紹介 参考書：適宜紹介	
成績評価	レポート（100%）：各回に課すレポートの採点結果を平均する。	
履修資格		

科目名	環境会計	２単位　前期
担当教員	東　健太郎※	
授業概要	環境会計とは、企業経営における環境負荷と環境コストを体系的に測定・記録・報告する行為である。この講義では、簿記・会計学の基礎を学んだ上で、現在行われている環境会計手法の中から、環境情報開示、環境配慮型業績評価、およびマテリアルフローコスト会計を取り上げ、解説する。簿記・会計の基礎としては、財務諸表（貸借対照表および損益計算書）の意味、複式簿記の原理、原価計算の仕組み、およびバランスト・スコアカード（BSC）と戦略マップの仕組みを講じる。（平成24年度の内容）	
到達目標	簿記・会計の基本的概念を理解するとともに、主要な環境会計手法について、その仕組みと手続きを理解し、意義と問題点を考えることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし　指定図書：國部克彦・伊坪徳宏・水口剛『環境経営・会計』、有斐閣。参考書：講義の際に紹介する。	
成績評価	小テストの結果20％、期末試験の成績80％。	
履修資格		

科目名	環境解析学・同実験	４単位　後期
担当教員	永淵　修　・　丸尾　雅啓　・　尾坂　兼一	
授業概要	環境試料の採取・処理法及び分析法について、講義と実験を通して習得する。応用として水・大気・土壌に含まれる主要成分、微量成分の濃縮・分離定量を行い、結果の解析を行う。	
到達目標	危険な物質の取り扱い、応急処置法など実験を行うにあたっての安全に関する基本事項を理解する。 自然環境における水・大気・土壌の現在の状態把握について、定量的な調査・記述および解析ができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「実験を安全に行うために」(化学同人)「実験データを正しく扱うために」(化学同人編集部編)、および配布資料	
成績評価	レポート評価によって行う。出席は必須。	
履修資格		

科目名	環境化学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	丸尾　雅啓	
授業概要	環境科学の学習、および教員を目標とするにあたり、必要な化学の基礎知識について、物理化学、無機化学を中心に講義する。高等学校で現象のみ扱っていた事項に関し、原理・法則に基づいた理解を深める。 また実際の環境での化学物質の形態や変化に適用するための考え方について学ぶ。	
到達目標	1）化学で用いる基本的法則・表記法を理解し、適用できる。 2）物質の三態と各々の構造、実在気体における状態方程式を理解する。 3）化学平衡を理解し、酸塩基、溶解、酸化還元平衡の概念を実際の系に適用できる。 4）反応速度、反応機構における律速段階を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:大学生の化学第2版(大野惇吉著:三共出版) 指定図書:メイアン 大学の化学 第2版 [1][2]:廣川書店 参考書:元素発見の歴史1，2，3(大沼正則 訳:朝倉書店)	
成績評価	小試験・宿題(40%)、定期試験(60%)程度の比率で評価する。	
履修資格		

科目名	環境化学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	岡田　豊※	
授業概要	生活環境の中で、動植物の占める割合は非常に大きい。そして、これらの動植物を構成している組織の大部分が炭素を中心とした有機化合物でできている。ここでは、上記の観点にたって、化学の中も炭素を中心とした有機化合物に関する基礎を取り扱う。	
到達目標	有機化合物を分子レベルのミクロの世界で、どのようにつくられ、どのような性質を示し、なぜそのような性質を示すか、を理解できること。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】山口良平・山本行男・田村類著「ベーシック有機化学」(化学同人) 【参考書】足立吟也,岩倉千秋,馬場章夫著「新しい工業化学　環境との調和をめざして」(化学同人)	
成績評価	筆記試験80%、出席点20%で、主に筆記試験により、上記到達目標がほぼ達成できているかどうかを評価する。	
履修資格		

科目名	環境科学概論Ⅰ	２単位　前期
担当教員	永淵　修 ・ 浦部　美佐子 ・ 岩間　憲治 ・ 入江　俊一 ・ 籠谷　泰行	
授業概要	地球環境を構成する要素と環境変化の時空間スケールを把握した上で，土壌環境ならびに陸域・水域生態系の基本的構造とこれらに見られる今日的な諸問題について学ぶとともに，これからの食料確保と環境保全のあり方を展望する.	
到達目標	環境変動の仕組みについて基本的な理解を得るとともに，自然環境と人間活動の関わり方について深く考察できる能力を身につける.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:使用しない. プリントした資料を配布する. 指定図書:なし参考書:講義の中で紹介する.	
成績評価	毎回の小試験（40%）および期末試験（60%）によって評価する.	
履修資格		

科目名	環境科学概論Ⅱ	２単位　後期
担当教員	高橋　卓也 ・ 伊丹　清 ・ 井手　慎司 ・ 未定 ・ 増田　佳昭	
授業概要	多様な形で生じる環境問題は、社会の仕組みや制度と密接な関係を持っている。環境問題の解明と解決のために必要な社会的な視点やアプローチ方法について、具体的問題を取り上げながら教授する。	
到達目標	(1)環境問題を解決することの難しさを社会的ジレンマ構造によって説明できること。(2)景観やまちづくりを自分達の生きている場として説明できること。(3)農業の環境に対する正負の影響と政策対応について説明できること。(4)地球温暖化、更新性天然資源、環境とビジネスの社会的側面について説明できること。(5)すまうという行為と環境との関わりを多面的に説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:テキストは使用しない。参考書:講義の中で紹介する。	
成績評価	小テスト50%、期末試験50%	
履修資格		

科目名	環境化学実験Ａ	２単位　後期
担当教員	丸尾　雅啓 ・ 肥田　嘉文 ・ 永淵　修 ・ 上田　邦夫	
授業概要	環境科学学習の基礎として、化学実験の基本的な手法を、無機イオンの定性分析法を通じて学習する。次いで容量実験（滴定）、分光光度法を通じて物質の定量的な扱いについて学習する。	
到達目標	1）化学実験における器具の取り扱 い、洗浄が的確に行えること。試薬を適切に取り扱えること。 2）金属陽イオン・無機陰イオンの分 離・定性・処理を行うことができ、その原理を環境中の各イオン種の挙動と結びつけて理解できる。 3）滴定・分光光度法など定量実験に必要な操作・注意事項を理解、実行できること。 4）実験の観察・記載を的確に行い、測定・データ処理（コンピュータ活用）結果に基づいた考察を含む報告書を作成できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「無機定性分析実験」（共立出版）および配布プリント	
成績評価	レポート提出状況およびレポートの内容評価をあわせて評価する。欠席回数の多いものは、評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	環境学原論	２単位　後期
担当教員	村上　修一	
授業概要	この授業では、環境科学に関わる生態、政策計画、建築、生物資源管理という専門領域の違いと重なりを認識した上で、環境の諸問題に対する自分自身の視座を獲得することを目指す。 具体的には、特定の環境問題として、四国吉野川の可動堰建設計画をめぐる市民、専門家、行政の動きの中から、注目すべき事例をとりあげる。それらの事例を単に時系列で紹介するだけでなく、自身が学ぼうとする専門の視点から、その問題に対していかにアプローチできるかを問い続けることで、上記目標の達成をはかる。	
到達目標	環境問題に対する分析や解決の方法について講義をとおして理解し、自身の専門的立場から問題の分析をして解決策を考えることができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書は適宜講義内で示す。	
成績評価	第6回で作成し提出するワークシート1の評点を40%、第11回で作成し提出するワークシート2の評点を40%、それ以外の回のコメントシートの評点を20%、それぞれ総合し成績とする。	
履修資格		

科目名	環境学野外実習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	夏季休業期間を利用し，自然環境や生態系研究における典型的な場所に直接赴き，合宿生活を送りながらそれぞれのコースのテーマに関する野外実習を行う。	
到達目標	1）自然環境や生態系研究における典型的な場所に直接赴き、現地の状況を理解する。 2）設定された課題のもとで調査・実験・試料解析などを行う。 3）実習の成果を取りまとめてレポートを作成する。	
テキスト 指定図書 参考書	必要な資料等は各コースのガイダンス時に配布される。また，参考書もガイダンス時に紹介される。	
成績評価	各コースの終了後，レポートの提出が求められる。成績は，出席状況・実習態度・レポート内容を総合して評価する。	
履修資格		

科目名	環境学野外実習Ⅱ	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	夏季休業期間を利用し，自然環境や生態系研究における典型的な場所に直接赴き，合宿生活を送りながらそれぞれのコースのテーマに関する野外実習を行う。	
到達目標	1）自然環境や生態系研究における典型的な場所に直接赴き、現地の状況を理解する。 2）設定された課題のもとで調査・実験・試料解析などを行う。 3）実習の成果を取りまとめてレポートを作成する。	
テキスト 指定図書 参考書	必要な資料等は各コースのガイダンス時に配布される。また，参考書もガイダンス時に紹介される。	
成績評価	各コースの終了後，レポートの提出が求められる。成績は，出席状況・実習態度・レポート内容を総合して評価する。	
履修資格		

科目名	環境学野外実習Ⅲ	１単位
担当教員	学科教員	
授業概要	夏季休業期間を利用し，自然環境や生態系研究における典型的な場所に直接赴き，合宿生活を送りながらそれぞれのコースのテーマに関する野外実習を行う。	
到達目標	1）自然環境や生態系研究における典型的な場所に直接赴き、現地の状況を理解する。 2）設定された課題のもとで調査・実験・試料解析などを行う。 3）実習の成果を取りまとめてレポートを作成する。	
テキスト 指定図書 参考書	必要な資料等は各コースのガイダンス時に配布される。また，参考書もガイダンス時に紹介される。	
成績評価	各コースの終了後，レポートの提出が求められる。成績は，出席状況・実習態度・レポート内容を総合して評価する。	
履修資格		

科目名	環境監査	２単位　前期
担当教員	池北　實※	
授業概要	企業等の組織における環境面および経営面の持続性には、経営に環境マネジメントシステムを導入することが不可欠とされている。そして環境マネジメントシステムには公正性と透明性が必要とされる。また、このマネジメントシステムの健全性を確保するために、運用の実態を検証するための環境監査が必要となる。本講では、環境保全と汚染の予防を目的とする環境マネジメントシステム（ISO14001)を学ぶ。そして、経営システムの中のチェック機能としての環境監査のあり方及び監査の方法を理解する。	
到達目標	(1)ISO14001規格の成立の背景と具体的にどのようなルールにより環境改善を実現しようとしているかの仕組みを理解する。(2)システムの健全な運用に監査がどのように機能するかを理解する。(3)環境監査が実施できるだけの用語の知識、基礎的な監査技術を身につける。(4)環境監査の多様性を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回講義でプリントを配布する。 指定図書：JIS Q 14001:2004「環境マネジメントシステム」（日本規格協会）/JIS Q 19011:2012「マネジメントシステム監査のための指針」（日本規格協会） 参考書：鈴木敏央著「新・よくわかる環境マネジメントシステム」（ダイヤモンド社）：マネジメントシステムの構築ノウハウ/財団法人日本規格協会編「ISO規格の基礎知識」（日本規格協会）：ISO組織と規格発行の仕組み/鈴木敏央著「新・よくわかるISO環境法　改訂第7版」（ダイヤモンド社）：環境法規制の規制等の詳細一覧/テクノファ編著「ISO14001内部環境監査員の実務入門　第2版」（日刊工業新聞社）：監査実務とチェックリスト作成/ISO有効活用センター編「ISO有効活用ハンドブック」(技報堂出版)：有効なISO構築・運用のノウハウと解説	
成績評価	第1回～第5回：1回の演習10％　小テスト20％ 第6回～第11回：1回の演習10％　小テスト30％ 第12回～第15回：1回の演習10％　小テスト20％	
履修資格		

科目名	環境技術	２単位　前期
担当教員	宮崎　慎也※	
授業概要	近代以降、建築物に要求される環境性能は急速に多様化・高度化しており，この過程の中で建築デザインにおける環境技術の位置づけも高まっている．また，地球環境負荷の軽減，省エネルギーに対する社会的要請も一層強まっており，環境技術の知識や原理の理解は、建築デザインを行う上で必須のリテラシーとなっている． 本講義では、環境技術の進化と建築デザインの変化の過程を追いながら、環境工学の基礎的な原理・知識から，環境要素技術，そして実際の建築デザインにおける応用事例までトータルに学習することで，建築デザインにおける環境技術の重要性を理解し，建築デザインにおける実践的な知識を習得する．	
到達目標	(1)　環境技術の原理と手法が理解できる． (2)　建物デザインと環境技術の相互関係を，実際の建築物の断面図や詳細図を読み取りながら図式的に理解できる． (3)　現代建築における環境技術の位置づけと，背景を理解できる．	
テキスト 指定図書 参考書	※参考書 ・省エネルギー建築ガイド編集委員会 ;「省エネルギー建築ガイド」，建築環境・省エネルギー機構 , 2001 ・日本建築学会編 ;「設計のための建築環境学: みつける・つくるバイオクライマティックデザイン」，彰国社, 2011 ・日本建築学会編 ;「見る・使う・学ぶ環境建築」，オーム社, 2011 ・レイナー・バンハム (堀江悟郎訳) ;「環境としての建築: 建築デザインと環境技術」，鹿島出版会, 1981	
成績評価	レポート課題(40％）および試験(60％）によって評価する．	
履修資格		

科目名	環境技術史	２単位　後期
担当教員	冨島　義幸	
授業概要	建築をはじめ、われわれの日々の営みは、自然あるいは都市などという環境に少なからぬ影響をあたえ、また環境から影響をあたえられてきた。歴史をひもとくとき、そこには多くの新たな技術・材料があらわれ、それらの広がり、環境へ働きかけていく様をみることができる。人類は多く技術的進展を生みだしたが、それにともなって多くの問題をも生みだした。そして新たな技術・思想をもって対応してきたのである。こうした視点から、都市・建築をつくりだす技術・思想、さらには日本の伝統的な木造建築を中心に鉄・コンクリートなど建築材料のあり方や環境問題との関わりの歴史的な展開をみていく。	
到達目標	日本近代以前の居住環境の歴史的な変遷と、そこにおける建築技術の在り方、環境に対する思想の在り方を理解することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし。授業中にプリント配布 参考書：授業中に紹介	
成績評価	期末試験の成績（50％）と授業中におこなう小論文課題（50％）の評価を総合する	
履修資格		

科目名	環境気象学	２単位　前期
担当教員	小谷　廣通	
授業概要	植物をとりまく大気環境を理解するための微気象学および農業気象学入門である。まず、大気の構造および放射収支の概略と、植物をとりまく放射環境、温・湿環境、水環境およびエネルギーと物質の流れを理解する。次に、気候と植物生産との関係および地球環境保全と植物との関係について学ぶ。	
到達目標	(1)地表面の放射収支と大気による温室効果についてそれらの概略が説明できる。 (2)植物をとりまく放射環境、温・湿環境、水環境についてそれらの大略が説明できる。 (3)農地−大気間におけるエネルギーと物質交換過程のメカニズムを理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：文字他編「農学・生態学のための気象環境学」（丸善） 参考書：堀口他著「農業気象学」（文永堂出版）	
成績評価	レポート評価50％　各章の練習問題を十分理解して解答できること。 期末筆記試験50％　各章の練習問題を基本にした応用問題が解答できること。	
履修資格		

科目名	環境共生デザイン	２単位　後期
担当教員	松岡拓公雄　・　村上　修一　・　未定	
授業概要	地球規模の環境課題の所在を明らかにした上で、都市・地域・建築それぞれの空間レベルに対応した環境共生の理念、計画およびデザイン手法について国内外の取り組み（施策・プロジェクト）をとおして講義する。また、循環型社会を構築するための建築材料及び技術（省資源・自然エネルギー・地産地消など）の現状と可能性について、具体的事例をもとに考察する。単なる知識としてではなく、環境と建築にかかる新たなデザインおよび技術の創発に役立つ実践的な講義内容とする。	
到達目標	（1）空間レベルに対応した環境共生の理念、計画およびデザイン手法を理解する。（2）サスティナブルな建築・ランドスケープの計画・設計手法を応用し、新たな構想やデザインができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：「シリーズ地球環境建築・入門編」「シリーズ地球環境建築・専門編1・2,・3」日本建築学会、彰国社、2004.1−11、「エコロジカル・デザイン」シム・ヴァンダーリン+スチュワート・コーワン著、林昭男+渡和由訳、ビオシティ、1997.5ほか、講義で紹介する。	
成績評価	担当者毎に課題レポートを評価し、総合して成績とする（100%）。	
履修資格		

科目名	環境経営論	２単位　後期
担当教員	高橋　卓也	
授業概要	企業は環境破壊について多大な責任を有する一方、そのダイナミックな革新能力によって問題解決への貢献をなしうる。この授業では，企業経営者または所有者の視点に限定されることなく、従業員、政府、社会全体の視点からも、企業と自然環境の関係をいかに改善するかについて考えていきたい。その枠組みとして、経済学、経営学、政治学、社会学といった社会科学の諸分野を援用する。	
到達目標	(1)環境経営の実践と理論について理解し、明快に説明できるようになる。(2)環境経営の実践と理論の理解に基づいて、環境経営の課題を発見できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:(特になし、資料を配布する) 指定図書:堀内行蔵・向井常雄著『実践環境経営論:戦略論的アプローチ』(東洋経済新報社)2006年。 参考書:適宜紹介する。	
成績評価	各回のレスポンスシート内容(20%)、事例報告(30%)、期末筆記試験(50%)	
履修資格		

科目名	環境計画学	２単位　後期
担当教員	近藤隆二郎	
授業概要	有限な環境の中で持続可能な社会を構築するには、「計画」の概念を用いて人間の活動と環境の調和を図る必要がある。このような環境計画の考え方は、環境に関する問題や人間活動そのものが時代を追って変化する中で徐々に認識されるようになってきた。また、現在も多くの環境問題と多様な人間活動の中で、環境計画には多くの考え方や手法・技術、課題がある。この歴史的変遷を整理するとともに、現在の環境計画に関する制度的仕組みや様々な手法、最新の取り組みを国内外の事例を通じて学ぶ。	
到達目標	環境問題と社会的意思決定とのかかわりを理解し、想定される環境問題に対し計画によって対処する適切な手法を判断できる力を養う。さらに、多様な実践例を習得し、より適切な計画をデザインする力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	末石冨太郎＋環境計画研究会編『環境計画論』(森北出版) 原科幸彦編『環境計画・政策研究の展開　持続可能な社会づくりへの合意形成』(岩波出版) 倉阪秀史著『環境政策論』(信山社)	
成績評価	期末筆記試験	
履修資格		

科目名	環境経済演習	１単位　後期
担当教員	林　宰司	
授業概要	本科目では経済学の基本的な考え方、思考方法を身につけ、環境を経済学的に分析できるようになることを目的とする。 経済学は他の学問分野に比べて、独特な思考方法や概念、専門用語、論理構成が多く、初学者にとっては近づきがたい側面があるかもしれない。本科目ではこのような経済学独特の考え方について解説するとともに、環境分析の際に経済学的思考ができるための準備をする。	
到達目標	経済学の基本的な考え方、思考方法を身につけ、環境を経済学的に分析できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:なし 参考書:講義中に適宜、指示する。	
成績評価	課題25%、小テスト25%、期末試験50%	
履修資格		

科目名	環境経済学	２単位　後期
担当教員	林　宰司	
授業概要	環境経済学の基礎理論と、その環境政策への応用を学ぶ。環境経済学は応用経済学の一分野であり、経済学的な思考方法を習得することが前提となる。そのための基本的な経済学の概念お理解は避けて通れない。ひとつの理論体系を習得することがねらいであるので、毎回の予習・復習、講義時のノート・テイキングは不可欠である。毎回の講義内容の理解の積み重ねが重要なので、理解不十分な点に関しては放置せず、各回ごとに必ず質問し、解決すること。	
到達目標	ミクロ経済理論の理解を前提に、環境問題の分析、環境政策に応用できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：バーリー・C・フィールド「環境経済学入門」（日本評論社） 参考書：西村和雄「ミクロ経済学」第2版（岩波書店） 植田和弘「環境経済学」（岩波書店）	
成績評価	平常点（小テスト）30％　期末試験 70％ 毎回の講義の内容を理解できていること。	
履修資格		

科目名	環境経済学入門	２単位　前期
担当教員	高橋　卓也　・　林　宰司	
授業概要	人間社会にとっての環境問題を考察、解決するうえで、経済学的思考は強力なツールとなりえる。また、現代社会に生きる市民として、経済学は必要不可欠な一般教養でもある。本講義では、環境問題、資源問題を具体的に紹介し、経済学的思考に触れ、今後、どのような学びが必要かについて自覚してもらうことを目標とする。具体的問題としては、公害、地球温暖化、廃棄物、再生可能天然資源（森林、水産業）、非再生天然資源（鉱業）、土地利用などを取り扱う。それぞれの問題を中心の話題として講義を進める。	
到達目標	(1)環境問題を取り扱う上での重要な経済学概念について基礎的な理解をえる。 (2)学んだ経済学概念の簡単な応用ができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：適宜、講義でプリントを配布する。 参考書：栗山浩一・馬奈木俊介（2008）『環境経済学をつかむ』有斐閣。	
成績評価	林分（第1回～第8回）：課題・小テスト25%　試験25% 高橋分（第9回～第15回）：課題・小テスト25% 試験25%	
履修資格		

科目名	環境行動論	２単位　前期
担当教員	迫田　正美	
授業概要	本講義では、前半は基礎的学習として、人間の行動と空間、身体と環境との関係について考察するために必要な基本的な知識を習得するとともに、人間行動と環境との密接な関連性について講述する。後半では行動の場所としての環境、行動的実践の結果としての環境の形成、及び行為の規範としての慣習や文化の形成と風土性、風景との相互連関について講述する。	
到達目標	環境と行動に関する基礎的な知識を習得するとともに、人間の行動を規定する社会・文化的コンテクストが個々の行為的実践によって形成されるという相互的関係について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書は適宜講義の中で示す。	
成績評価	小レポート　30％ 筆記試験　　70％	
履修資格		

科目名	環境財政	２単位　後期
担当教員	村上　一真	
授業概要	環境問題の多様化・複雑化による環境保全経費増加に対する負担構造のあり方や実際についての理解を目指す。講義では、環境政策を担う組織や制度、組織間の役割分担、経済政策のグリーン化の実態とともに、費用負担（汚染者負担、受益者負担、共同負担）と受益の関係の違いなどにより設計された、国際レベル・国レベル・地方レベルの様々な環境政策手段の理論と実際について学ぶ。	
到達目標	費用負担と受益の関係に基づく、様々な環境政策手段の理論と実際が理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：適宜、資料を配布する。 参考書：諸富徹・沼尾波子「水と森の財政学」（日本経済評論社，2012）、諸富徹編著「環境政策のポリシーミックス」（ミネルヴァ書房，2009）	
成績評価	小テスト・レポート（50%）、期末試験（50%）	
履修資格		

科目名	環境シミュレーション	２単位　後期
担当教員	井手　慎司	
授業概要	環境の諸現象を再現、分析、予測するための数学モデリングおよびコンピュータ・シミュレーション技法の基礎を学ぶ。授業ではモデリングの基本的な考え方（物質収支・反応速度論）、モデルの構築手順、コンピュータ・シミュレーションとそのための数値解析（プログラミング）、シミュレーション結果のグラフィカル・プレゼンテーションなどについて解説する。	
到達目標	Excelの表計算機能やVBAを用いて、シミュレーションプログラムを作成できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリントを配付 参考書：三井和男著「Excelコンピュータシミュレーション」（森北出版）	
成績評価	課題50%。定期試験50%。シミュレーションプログラムをVBAで構築できること。ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	環境社会学	２単位　後期
担当教員	小野　奈々	
授業概要	この授業では、環境社会学にオリジナルの研究方法や分析視点を学びます。その際、人々の生活を大切にして環境を考える「生活環境主義」というディシプリンにも言及します。世界や日本国内、身近な琵琶湖の事例までを豊富に紹介する予定です。総括討論では、前半・中盤・後半で紹介した事例や環境社会学の視点をもとに、環境保全の管理の在り方がどうあるべきかをイメージするための記述訓練や相互ディスカッションを実施します。	
到達目標	1）環境社会学の動向を理解する2）琵琶湖とその周辺地域に関心を向ける3）住民の生活から環境を捉え、考える力を養う	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：鳥越皓之著『環境社会学－生活者の立場から考える』、東京大学出版会、2004年	
成績評価	毎授業提出のレスポンス・ペーパー75％，期末試験25％	
履修資格		

科目名	環境情報演習	１単位　前期
担当教員	松本　健一	
授業概要	環境情報システム（データベース）の基礎を学ぶ。また、環境データベースを実際に構築する過程で、情報の収集・整理・保存・検索、また取得した情報の要約・分析・統合のための包括的な方法論を身につける。	
到達目標	・社会経済と環境に関するデータを収集し、それらを適切に説明できるようになる。 ・データベースの基礎知識を習得する。 ・収集したデータを用いて、簡単な環境情報データベースを構築できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：指定しない（授業中に適宜資料を配布する） 参考書：必要に応じて授業中に紹介する（MS Accessの参考書を持っておくことが望ましい）	
成績評価	各回の課題（合計30%）、演習発表（30%）および、最終レポート（40%）により評価する。 欠席が3回を超えると評価対象としない（15分以上の遅刻は欠席とみなす）。	
履修資格		

科目名	環境職能論	２単位　後期
担当教員	松岡　拓公雄	
授業概要	現代生活にとって職能（プロフェッション）の重要性は増大している。とりわけ生活環境の想像、安全防災、健康、自然の保全に関わる建築家等等職能人の責任は大きい。プロフェッションの現代的意義、制度、倫理などについて論述する。故内井昭蔵教授の職能とは何か、また生活環境創造に関わる職能人として大きな存在であった建築家やアーチストを例にとり、その歴史を概説し、他の職能との比較を通じ、その本質について理解を求める。又、諸外国でのプロフェッション成立を考察し、我が国の職能問題を明らかにする。更に環境問題と職能、環境倫理との関係について論述する。	
到達目標	建築、ものつくりに関わる人々の職能意識を知ることができ、その意識であるデザインマインドについて理解を深めることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布	
成績評価	出席回数および毎回提出レポート内容による。	
履修資格	三回生以上	

科目名	環境植物生理学	２単位　後期
担当教員	原田　英美子	
授業概要	植物の持つ特有の生理的機能と、地球環境における植物の重要性について学ぶ。	
到達目標	植物生理学の基本的な事項および概念を理解し説明できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：「絵とき植物生理学入門　改訂2版」オーム社（2007年） 参考書：「はじめての生化学」化学同人（1998年）	
成績評価	期末試験（70％）と小試験もしくは中間レポート（30％）	
履修資格		

科目名	環境心理学	２単位　前期
担当教員	佐々木　和之※	
授業概要	環境問題についての意識を高めることが、その環境問題を解消する行動に繋がるとは限らない。環境問題の解消に繋がる行動の中でも、日常生活の中で手間のかからない行動は手をつけやすいが、日常生活を大きく変化させる行動は手を付けにくいものである。従って、環境問題の解消に繋がる行動を促すには、人々がどのように意志決定を行っているかを踏まえておく必要がある。 そこで本講義では、人々がどのように意志決定し行動しているかを解き明かす方法の一つとして、環境心理調査手法を簡単な演習を通じて学ぶ。前半では導入として空間の課題をテーマとして、簡単な演習を行いながら学んでいく。後半は、社会の課題をテーマとした環境心理調査について、研究事例も踏まえながら考える。	
到達目標	研究課題に応じて必要な環境心理手法を選択し、自ら応用できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし 参考書：講義において適宜提示または配布する	
成績評価	各回講義時のミニレポート評価48％、小レポート28％、最終レポート24％	
履修資格		

科目名	環境数学Ⅰ・演習	３単位　前期
担当教員	廣島　幸正※	
授業概要	私たちの身近な社会現象や自然現象における種々の問題に対処するためには、現象を定性的・定量的に表現し、その因果関係の法則性を見つけ、解析することが不可欠である。そのために必要な数学の知識や方法として微分積分学と線形代数学の基礎を学習する。併せて本当に役立つ知識を身につけるために講義とあわせて演習を行う。	
到達目標	(1) ε－δ 論法の理解。(2)初等関数の微分及びTaylor展開の理解。(3)初等関数の不定積分・置換積分・部分積分の理解。(4)無限級数の収束・発散を調べる事。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：矢野　健太郎・石原　繁共著「科学技術者のための基礎数学」(裳華房)指定図書：中村哲男・今井秀雄・清水　悟共著「基礎微分積分学Ⅰ・Ⅱ」(共立出版社)参考書：講義の中で紹介する。	
成績評価	期末考査　70％、ﾚﾎﾟｰﾄ評価　30％で評価する。	
履修資格		

科目名	環境数学Ⅱ・演習	３単位　前期
担当教員	廣島　幸正※	
授業概要	私たちの身近な社会現象や自然現象における種々の問題に対処するためには、現象を定性的・定量的に表現し、その因果関係の法則性を見つけ、解析することが不可欠である。そのために必要な数学の知識や方法として微分積分学と線形代数学の基礎を学習する。併せて本当に役立つ知識を身につけるために講義とあわせて演習を行う。	
到達目標	(1)変数分離型微分方程式が解けること。(2)同次型微分方程式が解けること。(3)線形微分方程式が解けること。(4)Fourier変換やLaplace変換を微分方程式に応用すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：矢野　健太郎・石原　繁共著「科学技術者のための基礎数学」(裳華房)指定図書：中村哲男・今井秀雄・清水　悟共著「基礎微分積分学Ⅰ・Ⅱ」(共立出版社)参考書：講義の中で紹介する。	
成績評価	期末考査　70％、ﾚﾎﾟｰﾄ評価　30％で評価する。	
履修資格		

科目名	環境政策学	２単位　後期
担当教員	秋山　道雄	
授業概要	環境政策が成立する背景、環境政策に関わる組織と制度、環境政策の目標と手段など、環境政策の体系に関する理解を目指す。環境政策は、環境問題を解決するために実践されたさまざまな試みが成立の根拠となっている。現在では、汚染管理や自然保護からアメニティの保全・創出や地球環境問題への取組みなど、環境政策の対象は拡大してきている。ここでは、主要な政策の形成過程にとどまらず、その実施過程と成果を概観して、当該政策の意義と問題点を説明する。さらに、政策の実効性を高めるため、環境ガバナンスをめぐる課題について解説する。	
到達目標	(1)環境問題と環境政策の関連について説明できる。(2)環境政策の性格と機能を理解できる。(3)環境政策の目標と手段を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:用いない。資料はプリントを配布。参考書:授業中に随時紹介する。	
成績評価	授業中にレポートを課す、複数のレポートを評価、50%。期末筆記試験、50%。	
履修資格		

科目名	環境生態学演習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	所属する研究室のゼミに参加し，自身の研究成果の発表や国内外の新しい情報を収集・整理したものの発表を行い，それに関する討論を実施する。また，発表用の資料作成を通して，論文作成能力およびプレゼンテーションの能力を養う。	
到達目標	卒業研究の実施に必要な論文作成・プレゼンテーションの基礎的能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	指導教員の指示に従う。	
成績評価	ゼミへの参加状況，発表の準備状況，発表内容，質疑応答内容等を総合的に判断して評価する。	
履修資格		

科目名	環境生態学演習Ⅱ	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	所属する研究室のゼミに参加し，自身の研究成果の発表や国内外の新しい情報を収集・整理したものの発表を行い，それに関する討論を実施する。また，発表用の資料作成を通して，論文作成能力およびプレゼンテーションの能力を養う。	
到達目標	卒業研究の実施に必要な論文作成・プレゼンテーションの実践的能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	指導教員の指示に従う。	
成績評価	ゼミへの参加状況，発表の準備状況，発表内容，質疑応答内容等を総合的に判断して評価する。	
履修資格		

科目名	環境生態学外書講読	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	自然環境についての理解を深めると共に、英文の講読力を涵養することを目的とする。大気圏環境・陸圏環境・水圏環境・生物圏環境に関する専門の文献を教材として講述する。授業方法は、教員が準備した英語の専門書や文献を、受講生自ら適切にレビューする。	
到達目標	自然環境・生態系研究に関する英文学術書および英語論文の基礎的読解力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：資料を講義中に配布する。	
成績評価	出席、予習の状況、レポートなどにより総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	環境生態学外書表現	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	卒業研究の前段階の講義として位置づけられる環境生態学外書表現では、大気圏・陸圏・水圏・生物圏など地球生態系の構造と機能、ならびにそこで生じている環境問題に関する海外の最新の文献を教材・素材として講述する。授業方法は、学習効果が上がるとされる演習形式で行い、受講生みずから適切な文献をもとに発表する。さらに、研究内容の英語による基本的な表現法について学ぶ。	
到達目標	1）自然環境・生態系研究に関する英文学術書および英語論文の実践的読解力を身につける。 2）研究内容の英語による基本的な表現法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業時間中に資料を配布する	
成績評価	出席が3分の2以上の者に対して試験ならびにレポートを総合して評価する	
履修資格		

科目名	環境生態学基礎演習	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	環境生態学科でおこなわれている最新の研究内容にふれ，それを初歩的に理解し，研究への興味を涵養する．また，実際に研究成果として提示される図表を自ら読み解き，傾向や特徴を把握するための演習を行う．さらに，自らが得た情報に基づいてプレゼンテーションを行うとともに，レポートとしてまとめる．	
到達目標	1）環境生態学科で行われている最新の研究内容にふれ、初歩的に理解する。 2）研究成果として提示される図表を読み解き、その特徴を説明できるようになる。 3）自らが理解した内容を科学的な和文として表現できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業内で資料を配布する。	
成績評価	毎回の授業での演習への参加度60％，宿題40％	
履修資格		

科目名	環境生態学特別実習	３単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	卒業研究の前段階の実習として、分属した研究室において実施される。受講生は、担当教員の指導のもとに研究課題を設定し、野外調査・実験・資料解析などを行う。さらに、必要に応じて、それらの成果を取りまとめたレポートの作成や、プレゼンテーションを行う。	
到達目標	1）設定された研究課題のもとで野外調査・実験・試料解析などを行う。 2）研究の成果を取りまとめて、レポートの作成やプレゼンテーションを行う。	
テキスト 指定図書 参考書	担当教員の指示による。	
成績評価	授業への参加状況、指示された課題の達成状況等を総合的に判断して評価する。	
履修資格		

科目名	環境生物学Ⅰ	２単位　後期
担当教員	浦部　美佐子	
授業概要	環境と生物のかかわりを理解するために必須である生物学の基礎事項、すなわち生物の体を形作る基本となっいる細胞の構造と働き，有機高分子（タンパク質、脂質、炭水化物、核酸）の構造とそれらの主な働き、エネルギー交代・物質交代のしくみ、遺伝と進化のしくみについて説明する。	
到達目標	生物体の構造と機能について基礎的な用語と概念を理解し，これらを説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「カラー図解　アメリカ版　大学生物学の教科書」第1巻「細胞生物学」および第2巻「分子遺伝学」（講談社ブルーバックス）	
成績評価	小テスト40%、期末試験60％。授業時間の1/3以上を無断欠席した者は原則として受験を認めない.	
履修資格		

科目名	環境生物学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	浅岡　一雄※	
授業概要	生物の基本単位である細胞の構造と機能、細胞運動、細胞周期、細胞の分化や発生などについて解説する。動物に特徴的な高度な生体防御系や脳・神経系のしくみについて基本的なことを述べ、ヒトや動物が獲得した高度な機能や、進化、環境適応、生物多様性について基本的な事柄を解説する。種々の制御機構の異常と密接に関連する癌や寿命にもふれて理解を深める。過去問の答案練習、育苗練習とプレゼンテーションを課す。	
到達目標	(1)生命現象を分子細胞生物学と環境科学の視点からとらえ理解する。 (2)健康管理を生物原理に沿って理解し理科教育の際に生徒指導できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:生物図表（浜島書店）、英和・和英辞典を用意すること。 指定図書:M.Cain他著（石川 統 監訳）「ケイン生物学」（東京化学同人） 指定図書:Raven/Jahnson他著（R/J Biology翻訳委員会 監訳）「レ-ヴン／ジョンソン生物学（上、下）」（培風館）	
成績評価	定期試験50%、答案練習およびプレゼンテーション30%、育苗練習20％などから総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	環境生物学実験（コンピューター活用含む）	２単位　前期
担当教員	野間　直彦、伴　修平、籠谷　泰行、西田　隆義	
授業概要	生物を観察するための最も重要な道具である顕微鏡の取り扱いに習熟し、さまざまな生物の形態とそのはたらきについて実験・観察を行う。また、屋外に出て植物群落のデータを取り、この結果についてコンピュータを用い、多様性や群落間の類似度などに関する解析法を習得する。	
到達目標	1）顕微鏡観察の手法を習得し、これを用いた観察とスケッチができる。 2）生物の形態観察および分類の方法を習得し、簡単な種の同定ができる。 3）生物の生理機能に関する測定方法を習得し、実際に測定できる。 4）DNAの抽出方法を習得し、分子生物学的研究の基礎を理解する。 5）植物群落の種組成の把握と解析方法の基礎を理解する。 6）実験結果の記述と論理的な考察ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：実験手順に関するプリントを毎回配布する。指定図書：なし参考書：授業中に紹介	
成績評価	出席および毎回提出のレポート	
履修資格	実験（授業）はAおよびBという2クラス編成で実施する。Aには環境生態学科および生物資源管理学科の学生の一部、Bには生物資源管理学科の学生が配属し、Bは水曜日、Aは木曜日にそれぞれ同じ内容で実施する。ただし同じ時間帯に開講されている教職科目等を受けたい学生は、指定されたクラスと異なる曜日に受講しても構わない。	

科目名	環境設計Ⅰ	２単位　前期
担当教員	ﾋﾒﾈｽ・ﾍﾞﾙﾃﾞﾎ・ﾎｱﾝ・ﾗﾓﾝ	
授業概要	人間生活を支える器としての都市・建築における空間計画や空間構成に必要な基礎的知識と原理を学ぶ。まず、空間の大きさや寸法の決め方および人間の行動法則を理解する。その上で建築物を設計する際に考慮すべき美的・社会的・実利的な視点を踏まえながら、単位空間を集合させた複合空間としての建築空間の計画方法について講述する	
到達目標	それぞれの文明による環境、都市空間、建築空間の構造について，単位空間を集合させた複合空間としての建築空間の計画方法について.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義の中で紹介する.	
成績評価	レポート課題（30％）＋中間試験（30％）＋期末試験（40％）の合計100点で評価し，60点以上を合格とする. レポート課題は各回の内容，中間試験は第1～7回の内容，期末試験は第1～15回の内容を理解し，問題を解けること.	
履修資格		

科目名	環境設計Ⅱ	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	建築は周辺の都市環境や自然環境から孤立して存在することはできず、ひとつの建築の成立には、周辺環境とのインタラクションを熟慮した結果が随所に反映されている。そうし白眉の数々は、特異な造形デザインとして看取される場合もあれば、建築のプログラムにひっそりと隠匿されていることもある。 本授業では、建築設計の与件として不可欠な『環境設計』に着目し、いくつかの作品事例を取り上げ、それらがいかなるプロセスを経て実現に至ったのかを推理し理解することで、自然や都市環境に対する建築技術者としての読解力や問題解決能力、企画力を養うことを目的とする。	
到達目標	平面図から建築環境のプログラムを理解すること、断面図から空間の質的要因を読み解くこと、環境建築に見られる空間要素とその心理的効果・物理的性能に対する計画者視点からの理解などを習得することを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：『建築設計ノート-集合住宅編(2008年1月出版、彰国社)』、『空間要素 2006年出版、井上書院』	
成績評価	適宜即日レポートを課す。それらの合計点を100％として評価する。	
履修資格	特になし	

科目名	環境設備	２単位　後期
担当教員	伊丹　清	
授業概要	省エネルギー・環境負荷軽減などを考慮しつつ、快適な建築内部環境をつくり・維持するための設備的手法について、その原理・技術を理解し、適切な計画ができるようになるための考え方、またその具体的な方法等について学ぶ。加えて、ヒートアイランド現象等への対策、建築設備・都市設備に関する環境負荷軽減手法や省エネルギー手法等の最新動向についても紹介する。	
到達目標	快適な建築室内環境をつくり・維持するための設備的手法の具体的な原理・技術について理解し説明ができること。環境負荷軽減や省エネルギーのための手法、ヒートアイランド対策などと、われわれの生活環境、建築・都市設備との関わりについて理解ができていること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：木村建一、木内俊明著「新訂　建築士技術全書2　環境工学」（彰国社） 参考書：授業で適宜紹介する。	
成績評価	小テスト30％、レポート課題20％、期末試験50％	
履修資格		

科目名	環境造形論	２単位　後期
担当教員	迫田　正美	
授業概要	19世紀末から現代にいたる芸術・造形活動の動向とその背景・影響についての理解を深めるとともに、建築やランドスケープデザインを始めとする環境造形の要点として、空間・意味・行為の相互連関が20世紀を通じてどのように位置付けられてきたかを理解する。その上で、モダニズムから現代の建築・環境造形作品の中に、それぞれの作家がそれらをどのように表現してきたかを追うことで、環境を造形することの意味と可能性の広がりについて考える。	
到達目標	近現代の造形芸術の歴史に関する基礎的な知識を獲得するとともに、20世紀の建築デザインにおける機能（行為）と空間の相関についての諸理論を理解する。また、これからの環境デザインの目指すべき方向について各自が実践的に考えることのできる視座の獲得を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：『近代建築史』石田潤一郎、中川理編、昭和堂 ;『環境と人間　生態学的であることについて』滋賀県立大学環境ブックレット 参考書　;『近代建築史図集』日本建築学会編、彰国社	
成績評価	各回に提出する小レポート（30％）と筆記試験（70％）による。	
履修資格		

科目名	環境地球科学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	堂満　華子	
授業概要	地球は46億年前に誕生してからさまざまな変遷を経て今日に至っている．本講義をとおして，地球史に関する基礎を学ぶとともに，地球環境の現在と未来について考える．	
到達目標	1）地球史に関する基礎知識を習得する． 2）現在の地球環境の成立過程を理解する． 3）現在の地球環境に対する人間活動の影響について考えることができるようになる．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布 参考書：適宜紹介	
成績評価	宿題・レポート・小テスト：50% 期末試験：50%	
履修資格		

科目名	環境地球科学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	山口　弘※	
授業概要	地球の表層は気圏、水圏、岩石圏からなり、そして多くの生命が存在する。地球形成以降、46億年の時間を経て、現在の地球環境に至っている。この授業を通して、地球科学の研究手法に関する基礎的な知識の習得と，固体地球を構造、運動、進化という観点から理解することを目的とする。 さらに、教職専門の教科であることから、中・高校の教員を目指すために必要な内容を含むものである。	
到達目標	①地球の誕生から地球層構造の形成までのプロセスが説明できること。②年代測定、地震波、地磁気のデータから地殻変動を説明できること。③地球表面の運動と元素の再分配の特徴を岩石のサイクルとして説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：西村祐二郎編著「基礎地球科学」（朝倉書店） 指定図書：酒井治孝著「地球学入門」（東海大学出版会）、地学団体研究会編　新版地学教育講座「4　岩石と地下資源」（東海大学出版） 参考書：最新図表地学（浜島書店）	
成績評価	授業時間の2／3以上出席する受講者が評価の対象であり、各時間中のワークシート（ノート評価を含む）30％、宿題評価30％　試験40％で評価する。試験では，地球科学の研究手法に関する基礎的な知識についての理解度、地球のシステムについて理解度をおもに，論述にり評価する。	
履修資格		

科目名	環境地球科学実験（コンピュータ活用含む）	２単位　前期
担当教員	倉茂　好匡　・　後藤　直成　・　堂満　華子　・　田辺　祥子	
授業概要	環境問題の実態把握と環境変遷史の復元が全体的なテーマで、地形図・地質図・空中写真の判読、等値線図の解析、および環境問題の地域的特徴などに関する各種主題図の作成と編集、岩石・鉱物の微視的構造の観察、および河川・湖沼生態系の地球科学的構造の計測・観測によって、環境問題の実態を把握すること、およびその変遷史を復元する能力を修得させる。	
到達目標	1）地質学，岩石鉱物学，古生物学，地球物理学，地球化学などの基礎的課題に対し，観察・記載・測定できるようになる. 2）コンピュータを用いて，地表面に関するデータを入手し，簡単なデータ処理を行えるようになる. 3）観察・記載・測定・データ処理の結果に基づいて，他者が理解できるレポートを作成できるようになる.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業時に配布する。	
成績評価	出席が三分の二以上の者に対して試験ならびにレポートを総合して評価する。	
履修資格		

科目名	環境統計解析学	２単位　前期
担当教員	籠谷　泰行	
授業概要	環境科学等の分野で得られるさまざまのデータに対して用いられる主要な統計解析の手法とその基礎となる考え方を解説する。	
到達目標	1）環境科学の分野で用いられる基本的な統計解析手法を習得する。 2）統計学的な考え方を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：今野秀二・味村良雄著「医学・薬学系のための生物統計学入門」（ムイスリ出版）	
成績評価	毎回の課題提出（50％）：毎回、授業内容に即した演習問題を課題として提出する。 期末試験（50％）：授業内容全体からいくつかを選んで出題する。	
履修資格		

科目名	環境動物学	２単位　後期
担当教員	畠　佐代子※	
授業概要	環境論、環境と生物の相互作用、地域レベルおよび地球規模の環境変化の生物影響、生物の環境指標性等に着目し、環境の主体としての人間や第二の主体としての生物の視点から、望ましい環境の在り方を考える。環境の社会経済的側面の重要性、および生物へのまなざしの環境科学における重要性を伝え、環境問題に正面から取り組める人材の育成をめざす。（平成24年度の内容）	
到達目標	(1) 環境と生物の相互作用を説明できること。 (2) 環境変化の生物影響を説明できること。 (3) 小動物・昆虫の環境指標性を説明できること。 (4) 都市における生物多様性の実状と保全手法を説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布 参考書：適宜紹介	
成績評価	授業後のレスポンスペーパー　50％ レポート評価　50％　レポート評価では、全体の構成、論旨の整合性・独自性、文章力などを重視する。	
履修資格		

科目名	環境フィールドワークⅠ	３単位　前期
担当教員	学部教員	
授業概要	実際の地域環境問題が生起するフィールドに足を運び、自分自身の五感を通して環境問題に触れ、それを図、文字、数値データに記録する方法を学ぶ。また、自分自身で記述した記録から、地域環境問題がどのような問題構造をもったものであるか、グループ討議を通して組み立てる演習をおこなう。	
到達目標	環境の中にある問題点を発見する視点を持つこと。同時にプレゼンテーション・レポートの各スキルの基礎を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：『フィールドワーク心得帖（上・下）』（生協売店で販売）	
成績評価	出席状況、実験実習におけるパフォーマンスおよびレポート提出を重視する。	
履修資格		

科目名	環境フィールドワークⅡ	３単位　前期
担当教員	学部教員	
授業概要	地域環境にかかわる情報は多分野にまたがり、性質も多様である。これらの環境情報を収集し解析するために、対象地域あるいは問題対象を特定し、フィールドワークを通じて、自然調査や社会調査の基本的な手法を学んでいく。ねらいは、フィールドワークの手法を地域の環境問題の解析に適用することにより、現場に即した調査態度と解析手法、レポートに作成、発表の方法を学ぶことである。	
到達目標	調査の基本的方法を実践的に取得する。また、プレゼンテーション・レポートの各スキルをより発展的に身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：共通のテキストを用いない。 テキスト・参考書等は、各グループの担当教員が必要に応じて指示する。	
成績評価	成績評価にあたっては出席状況を重視する。また、講義および実習、レポートの成績を加算して評価する。	
履修資格		

科目名	環境フィールドワークⅢ	３単位　通年
担当教員	学部教員	
授業概要	各教員が提示するテーマごとのグループに分かれ、その教員の指導のもとで15週45講分の時間を用い、フィールドワークを主体とした調査を行ない、調査報告書を作成する。	
到達目標	教員の指示のもと、意味のあるデータを測定できるようになる。 他者が読んでも意味の十分にわかる報告書を作成できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	各教員の指示による	
成績評価	フィールドワークのパフォーマンスおよび報告書作成状況によって評価する。	
履修資格		

科目名	環境物理学Ⅰ	２単位　後期
担当教員	倉茂　好匡	
授業概要	物理学の基本である力学（質点および剛体）を扱う。大学レベルの物理学の基本を扱うので、微分・積分・ベクトル代数を使用する。この講義では、力学の基本的現象を理解したうえで、それを数式化して解析することを学ぶ。ただし、物理学が単なる「計算問題を解く」ことにならないよう、多くの演示実験を交える。	
到達目標	1）流体力学に応用できる程度の基礎的な力学を理解する. 2）剛体の力学の基礎、特に剛体の運動方程式について理解する. 3）微分積分およびベクトルの基礎を用いて，力学の基礎的問題を解けるようになる. 4）基本的な物理現象について，力学の用語を正確に用いて説明できるようになる.	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：ファイマン他著「ファイマン物理学I　力学」（岩波書店），バークレー物理学コースI「力学　上・下」（丸善），井上光ほか著「工科系のための基礎力学」東京教学社	
成績評価	宿題60％、期末試験40％。 宿題を9～12回課す。1回の宿題を10点満点で採点し、それらを合計したものを60点満点に換算する。期末試験は100点満点で採点し、これを40点満点に換算する。これら両者の和をもって最終評価とする。 なお、宿題の提出が1週遅れるごとに、その宿題の評価から1点を減点する。	
履修資格		

科目名	環境物理学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	村岡　良和※	
授業概要	電気力は，重力と並んで自然界を支配している基本的な力であり，携帯電話，PC，TV，電子レンジなど現代人の必需品である機器にその原理が応用されるだけでなく，もっと本質的な意味で自然環境の形成と維持に重要な役割を果たしている。しかし，電気力が重力とは異なり，基本的にはミクロの世界で作用する力であるため，その力を体感することがないので，身の回りで起こっている現象との関連を直感的には理解しにくくなっている。この講義では，電気力の働きとその意義を理解するために，電気や磁気の様々な現象を通して現代物理学の考え方を学ぶ。電磁気学の法則は高度に抽象化されているため，その意味を理解するにはある程度の数学的知識が必要であるが，概念的な理解をするには高度な数学理論は必要ではなく，三次元的なイメージを描ければよい。	
到達目標	(1) 場の概念を理解し，電場と電位（差）について説明できる。 (2) ガウスの法則を用いて簡単な空間電場を計算できる。 (3) コンデンサーと誘電体について説明できる。 (4) コンデンサーを含む回路について合成容量を計算できる。 (5) 電流と電流がする仕事について説明できる。 (6) オームの法則とキルヒホッフの法則を用いて回路の電流と電位差を計算できる。 (7) 電流と磁場の相互関係について説明できる。 (8) アンペールの法則を用いて簡単な磁場分布を計算できる。 (9) 電磁誘導について説明できる。 (10) ファラディの法則を用いて回路に生じる起電力を計算できる。 (11) 交流の発電と交流回路に使われる素子について説明できる。 (12) 電磁波の性質について説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：原　康夫著「物理学入門」（学術図書出版社） 参考書：原　康夫著「第3版基礎物理学」（学術図書出版社） 砂川重信著「電磁気学の考え方」（岩波書店） 万代敏夫他著「新版理工系のための電磁気学の基礎」（講談社サイエンティフィク） 指定図書：福島　肇著「電磁気学のABC（ブルーバックス）」（講談社） 室岡義広著「電気とは何か（ブルーバックス）」（講談社）	
成績評価	期末試験（総合的な筆記試験）の結果（60%）小テスト＋課題レポートの成績（40%） ただし，講義回数の1/3以上欠席した場合，評価の対象にならない。	
履修資格		

科目名	環境物理学実験（コンピュータ活用を含む）	２単位　前期
担当教員	倉茂　好匡　・　・ 堂満　華子 ・ 三浦　信広※	
授業概要	この実験では，基礎物理学および環境測定原理に関する重要な物理的概念を学生自らが実験を通して体感することを最重要課題と考えている．そのため，学習意欲のある学生を対象とした，少人数グループ制での活発な授業をめざす．高等学校で特に物理を履修していない学生でも自主勉強により十分理解できる内容である．　実験授業であるから，履修する学生たちが主役である．迅速に正しいデータがとれるような実験環境を自主的に整備し，各グループで自立解決型の授業をめざす．	
到達目標	1）環境科学に関連する物理現象に対し，テキストを参照しながら実験し，適切なデータを測定できるようになる． 2）誤差論の基本を理解し，測定したデータに対する誤差処理ができるようになる． 3）物理現象に対する基礎的な数値処理をコンピュータ上で行えるようになる． 4）基本的な科学的レポート作成法に則り，実測値を使用してレポートを作成できるようになる	
テキスト 指定図書 参考書	使用するテキストを第1回目の授業時に配布する．	
成績評価	毎回の実験レポートを，翌週の冒頭で回収する．したがって，全部で13種類の実験レポートを作成することになる。毎回のレポートを100点法で採点する．その上で，13種類のレポートの平均点が60点を超えた場合に合格とする．	
履修資格		

科目名	環境変遷史	２単位　後期
担当教員	堂満　華子	
授業概要	本講義では，おもに海底・湖沼堆積物の研究から明らかとなった第四紀の地球環境変動について実例をあげて解説する．これをもとに，古環境復元の方法と意義，そして現在の地球環境の成立について学ぶ．	
到達目標	1）古環境復元に関する基礎知識を習得する． 2）現在の地球環境の成立過程を理解する． 3）現在の地球環境に対する人間活動の影響について考えることができるようになる．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布 参考書：適宜紹介	
成績評価	宿題・レポート・小テスト：50% 期末試験：50%	
履修資格		

科目名	環境法	２単位　前期
担当教員	小林　泉※　・　上河原　献二　・　小松　直樹※　・　三和　伸彦※	
授業概要	いわゆる一連の公害法が制定されたのは1970年の「公害国会」においてであった。その後の「公害から環境へ」という問題の質が変化するにつれて関係する法体系も大きな変容を経てきている。この講義では、法と社会という広い観点をベースにしつつ、環境保護関連法律をはじめとして、関連する地方自治体の条例、企業における取り組みなど、社会全体での環境を守るルールについて概観し、環境と法、市民・企業レベルの参加のあり方などについての理解につとめる。	
到達目標	現代社会にとっての環境法や環境を守るルールの必要性や意味について、行政の環境施策や企業、市民の取り組みを通して理解するとともに、市民参加による環境問題の解決や持続可能な社会を築き上げていくことの必要性について具体的に把握できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：黒川哲志・奥田進一「環境法へのアプローチ」成文堂	
成績評価	小レポート40％、期末試験60％	
履修資格		

科目名	環境マネジメント演習	１単位　前期
担当教員	高橋　卓也	
授業概要	企業または組織の自然環境との関係についての実例から作成された演習課題に取り組むことによって、組織の多面性、組織環境、財務管理、ステークホルダーとの関係管理などの概念および実際について学ぶ。	
到達目標	(1)環境経営について体系的に分析し、問題解決方法を提案できるようになる。(2)環境経営における問題の解決方法を、説得力をもって説明できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布 指定図書:指定しない 参考書:適宜指定する	
成績評価	各回のレスポンスシート等の内容(50%)、報告(50%)。遅刻は減点。4回以上の欠席者は採点対象としない。	
履修資格	環境経営論・環境監査の履修が望ましい。	

科目名	環境倫理学	２単位　前期
担当教員	土屋　正春	
授業概要	地球温暖化をめぐる締約国会議は常に紛糾し、先進国と途上国、北と南、などの関係で利害は鋭い対立を繰り返している。「権利」と「義務」とで成り立つ「制度」を超えた問題解決への糸口、この共有が求められているのだ。人間行動をより広い倫理の観点から見直そうとする動きがそれで、ここ40年間ほどに急速な研究成果の蓄積を得てきた。 自然界に対する人間側の開発圧力が自然と人間の健全な関係ばかりか人間相互の関係までも分断する現実にどう立ち向かえば良いのか。この、自然と人間、人間と人間、の関係を見直す努力は、必然的に「守るべきは何なのか」という問いの立て方に展開して行く。 はたして「人」には「犬」に対してよりも深く厚い配慮をすべきなのか、否か。すべてのものが備える「内在的価値」とは何なのか。意識作用を失った人は、モノ(者)なのか、モノ(物)なのか。受講生には自分自身の考えを組み立てる努力を求めたい。	
到達目標	これまでの環境思想の流れの理解を通じて時代認識を得ること。また、生命倫理との関係を理解できること。そして、自分の考えを持てるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	1　教科書は使用しない。授業ごとに教材を配布する。 2　指定図書 　1　鬼頭秀一、福永真弓(編)「環境倫理学」、東京大学出版会、2009 　2　ナッシュ、R.「自然の権利－環境倫理の文明史」、ちくま学芸文庫、1999 　3　飯田哲也「北欧のエネルギーデモクラシー」、新評論、2000	
成績評価	1　授業の進行に合わせて実施する小テストおよびレポートによる評価、50% 2　期末試験による評価、50%	
履修資格		

科目名	環境論考解析学	２単位　後期
担当教員	西田　隆義	
授業概要	論文や学会発表などにおいて、研究の成果をいかに効率的にかつ正確に伝えるかは非常に重要である。この授業では、そのための作文および発表技術について実践的にきたえることを目指す。	
到達目標	専門的知識をもたない人が、読んで(聞いて)理解できるような作文(発表)ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	科学的和文作文法入門(倉茂好匡著)サンライズ出版 理科系の作文技術　(木下是雄著)中公新書624　中央公論社	
成績評価	授業における小テスト(50%)およびプレゼンテーション(50%)	
履修資格		

科目名	基礎数学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	市川　源一※	
授業概要	自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、直感を重視しながら数学的な見方・考え方の力を身につけ、また環境問題を扱う上でしばしば見受けられる三角関数・指数関数・対数関数を軸として、関数の微少な変化を調べてその結果を知るための微分・積分の基礎的概念を学習する。	
到達目標	(1)三角・指数・対数関数の計算ができること。(2)平均変化率・導関数の計算ができること。(3)置換積分・部分積分の計算ができること。(4)簡単な微分方程式が解けること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義時にプリントを配布する。参考書：講義の中で紹介する。	
成績評価	期末考査70%、レポート評価30%で評価する。	
履修資格		

科目名	基礎数学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	市川　源一※	
授業概要	自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、数学的な見方・考え方の力を身につけ、様々な分野で数学が利用されていることを学習する。	
到達目標	(1)漸化式が解けること。(2)数列の極限が求められること。(3)ベクトル・行列の扱いに慣れること。(4)いろいろな曲線の表し方を理解すること。(5)確率の計算・確率分布・平均・分散が求められること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義時にプリントを配布する。参考書：講義の中で紹介する。	
成績評価	期末考査70%、レポート評価30%で評価する。	
履修資格		

科目名	基礎統計	２単位　前期
担当教員	金谷　健	
授業概要	統計資料の分析を進めていくため、統計学の基礎知識を学ぶ。各種の統計データの読み方やそこから作られる図表の読み方を習得し、基本的な計算やグラフの作成ができるようにする。具体的には官庁統計や簡単な調査報告・フィールドワークによる論文が読め、単純集計・度数分布・代表値・クロス集計などのデータを読めるようにする。また統計をどうして学ばなければならないか、統計が社会でどのように役立つかについても、理解していく。	
到達目標	相関係数などの基礎的な統計概念を踏まえた上で、基本的な統計資料を収集することができ、データを分析できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：津田昌寛・山口洋・田邊浩編「数学嫌いのための社会統計学」法律文化社、2010年。	
成績評価	宿題（20％）、中間ふりかえり（40％）、期末試験（40％）。特段の事情（病気等）がない限り、5回以上欠席した場合は、成績評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	魚類生理学	２単位　後期
担当教員	杉浦　省三	
授業概要	現存する魚類は多種多様で、それぞれの種は独自の生息環境に適応した進化を遂げている。そのような多様な生理生態的特徴は大変興味深い一方、基本的な生理機構は、ヒトを含む高等脊椎動物まで共通している。この授業では魚類とヒトを比較しつつ、体の内部で起きている様々な生理機能の仕組みについて学ぶ。また，ストーリー形式の講義から，生理学研究の思考法についての理解を深める。	
到達目標	(1) 魚類の系統と進化について代表種を挙げて説明できる。 (2) 魚類と高等動物を比較しながら各臓器のつくりと働きについて説明できる。 (3) 生理学研究の手法と思考法について例を挙げて説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント等を配付する。 指定図書:岩井保著『魚学入門』(恒星社厚生閣) 会田勝美編『魚類生理学の基礎』(恒星社厚生閣) 参考書:岸恭一ほか編著『人体の構造と機能 (管理栄養士講座)』(建帛社)	
成績評価	小試験またはレポート(30%)、期末試験 (70%)。	
履修資格		

科目名	空間計画論	２単位　後期
担当教員	水原　渉※	
授業概要	我々は「空間を計画する」という。しかし、空間とは一体どんなものなのか、あるいは、その空間を計画するとはどういうことなのか。環境と空間はどう異なるのか。この様な問いを基底に据え、①空間を考え(空間論)、更に②その計画(計画空間論)を扱う。「①空間論」の部分では「根拠としての空間」、「空間をそれとして認識する人間」と「その人間の空間認識の歴史」の点から空間理解を深めていく。「計画空間論－計画する空間と計画」は、生の空間認識だけでなく、計画者の立場での「認識の方法」をもって理解され計画されるものである。その様な認識の特性についてもみていき、②「計画空間論」の部分で、実際の空間計画を例示しながら、これからの空間計画のあり方について検討する。 空間計画は、環境問題、特に自然環境保全や将来の都市・地域形成に対し更に重要となっており、その意味についても考えていきたい。	
到達目標	本授業を通して、空間というものを通して人間や自然、社会について、そして空間計画について一定の理解し、今後、自らの考え方をつくりあげていく上での一つの基本的枠組を得る。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントを配布する(変更の可能性あり)。参考書:授業中に提示する。	
成績評価	試験(60%)とレポートの成績(40%)によって評価する。5回を超える欠席の場合、受験資格を失う。	
履修資格	何よりも「空間」というテーマに関心があること	

科目名	景観計画	２単位　後期
担当教員	村上　修一	
授業概要	本講義では、コミュニティや地域のスケールでランドスケープをとらえる。まず、共有緑地、都市公園、公園系統、自然公園という空間の特徴や成立過程を紹介する。次に、地域のランドスケープを守り育てる仕組みや制度について解説する。最後に、地域固有のランドスケープの将来像を戦略的に描くための手法を紹介する。単に知識を得るだけでなく、未来社会にふさわしい新たなランドスケープ形成手法を受講生が会得する機会としたい。	
到達目標	講義で紹介されるランドスケープの計画手法や守り育てる仕組みを理解し、自らの空間デザインへ応用できるようになる。例えば、米国における共用緑地の計画事例を理解し、集合住宅の共用空間の設計に応用できるようになる。また例えば、リチャード・フォーマンによるランドスケープ・エコロジーの原理を理解し、地域における生物多様性に配慮した緑地配置計画に応用できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	＜指定図書＞ 「環境デザイン学-ランドスケープの保全と創造」(森本幸裕、白幡洋三郎編　朝倉書店) 「テキスト　ランドスケープデザインの歴史」(武田史朗、山崎亮、長濱伸貴編　学芸出版社) ＜参考書＞ 講義毎に適宜紹介する。	
成績評価	第2回から第15回までの毎回、講義時間内にワークシートを作成する。各回のワークシートを10点満点で採点する。14回分のワークシートの合計点(140点満点)を100点に換算し成績とする。	
履修資格		

科目名	経済学Ⅰ	２単位　後期
担当教員	林　宰司	
授業概要	現代経済学は、個別の経済活動を集計した一国経済全体を扱うマクロ経済学と、経済主体の最小単位である消費者、企業が活動を行う市場の分析を対象とするミクロ経済学に大きく分けられる。本講義では、主に後者のミクロ経済学の基礎理論を理解することを目的とする。	
到達目標	経済学の基本的な考え方、方法の習得を目標とする。需給分析、消費者行動、企業行動、市場の失敗、ゲーム理論等が含まれる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特に指定しない。板書および適宜、レジュメ配布する。 参考書：西村和雄「ミクロ経済学入門」（東洋経済新報社） マンキュー「経済学Ⅰミクロ編」（東洋経済新報社） 武隈慎一「ミクロ経済学」（新世社） J.E.スティグリッツ，C.E.ウォルシュ「ミクロ経済学」（東洋経済新報社）	
成績評価	レポート　30％ 中間まとめ　35％ 期末試験　35％	
履修資格		

科目名	経済学Ⅱ（国際経済を含む）	２単位　前期
担当教員	村上　一真	
授業概要	現実のデータや実際の事象に着目し、日本や関西が抱える経済問題を、マクロ経済学の観点から理解できるようになることを目指す。講義では、マクロ経済学の標準的な理論にとどまらず、企業の生産水準や雇用状況などの様々な経済指標の読み方、日本経済や関西経済の動向・見通しなどについて、理論と実際を結びつけながら解説し、理論、経済指標、経済動向・見通しをあわせて理解することを学ぶ。	
到達目標	マクロ経済学理論と経済指標の動き、実際の経済動向・見通しを結びつけて理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：福田慎一・照山博司「マクロ経済学・入門（第4版）」（有斐閣、2011） 参考書：伊藤元重「マクロ経済学（第2版）」（日本評論社、2012）	
成績評価	小テスト・レポート（50%）、期末試験（50%）	
履修資格		

科目名	建築一般構造	２単位　前期
担当教員	黒川　直樹※	
授業概要	建築を初めて学ぶにあたり、建築物を成立させている部位と構成・しくみを知り、多様な建築技術の概要を把握する。建築材料、架構、仕上などの基礎的な知識、世界の有名建築家、有名建築物、歴史的建造物における使用例、また技術の歴史的変遷から最新の技術まで、実際の設計・施工の現場における諸問題にも触れて幅広く講義する。	
到達目標	建築技術の全体像を把握する。これから建築に携わる人が必要とする建築技術専門用語を修得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：「建築構法」内田祥也編著(市ヶ谷出版社)。 授業にて追加資料を配布。	
成績評価	宿題(レポート評価）60％、期末筆記試験40％、各講義の理解度及び建築技術用語の修得を評価する。	
履修資格		

科目名	建築環境工学	２単位　後期
担当教員	伊丹　清	
授業概要	建築に関わる光・音・熱・空気などの物理的環境要素の特性を理解し、これらを室内・建築内においてコントロールするための技術の基礎を学ぶ。また、これら環境要素を刺激として知覚・認知する人間の側の特性についても理解することによって、よりよい室内環境、建築環境を実現するための方法について学ぶ。さらには、これら方法を環境負荷軽減や省エネルギー、省資源の観点も踏まえて選択できることを目指す。	
到達目標	光・音・熱・空気などの物理的環境要素の基本的な特性について理解し、評価できること。これら物理的環境要素と人の感覚との関わりについて理解できること。これら物理的環境要素と建物との関わりについて理解し、建物はどのように人の健康・安全や省エネルギー等の社会的ニーズと関わりを持ち、影響するかを理解できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：木村建一、木内俊明著「新訂 建築士技術全書2 環境工学」（彰国社） 参考書：「環境工学教科書」（彰国社）	
成績評価	小テスト30％、レポート課題20％、期末筆記試験50％	
履修資格		

科目名	建築環境工学演習	２単位　前期
担当教員	伊丹　清	
授業概要	「建築環境工学」の講義内容に沿った演習・実験を行い、具体的な建築内や外部空間においての物理的環境要素のあり方を比較・考察をすることにより、各要素の空間的・時間的な特性の理解を深めるとともに、これら各要素の絶対量や変化量とわれわれの感覚との関わりについての考察を深めることを目指す。	
到達目標	物理的環境要素に関する測定・評価の方法を理解し、それら結果を適切に比較・考察できること。建築環境工学の授業で身につけた物理的環境要素の特性・建築との関わり・人の感覚への影響などについて、具体的な測定・演習を通してより深く理解すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布 参考書：木村建一、木内俊明著「新訂 建築士技術全書2 環境工学」（彰国社） 「環境工学教科書」（彰国社）	
成績評価	小テスト30％、レポート70％	
履修資格		

科目名	建築数学・物理	２単位　後期
担当教員	伊丹　清　・　高田　豊文	
授業概要	建築の設計には、設計製図などのデザイン・意匠の能力だけでなく、構造や環境・設備などの工学的な視点も必要となる。この授業では、構造分野や建築環境・設備分野などの環境建築デザイン学科での工学的な専門科目で用いる基礎的な数学および物理について学習する。具体的には、建築工学全般に必要な微分・積分、建築構造設計に必要な数学・力学の基礎、光・熱・音・波などの解析の基礎となる数学について学習する。	
到達目標	建築における技術的・工学的な分野に現れる数学（微積分）および物理（力学）の基礎について理解し、(1)建築構造の授業の理解に必要な静力学の基礎を修得すること、(2)建築分野に現れる簡単な微分方程式が解けること、(3)波の複素数表現と周波数成分分析との関係を説明できることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：石村園子「大学新入生のための数学入門」共立出版 参考書：中野友裕「大学新入生のためのリメディアル数学」森北出版 参考書：村上雅人「なるほど虚数−理工系数学入門」海鳴社	
成績評価	毎回の演習レポート50％＋期末試験50％の合計で評価し、60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	建築生産施工	２単位　前期
担当教員	岩下　智※	
授業概要	本講義は、建築物の企画・設計・施工・保全にわたる建築生産活動とそれに関する技術的な知識を得ることを目的とし、現業における各種実例を用いて建築技術者としての読解力とホーリスティックな視野を養うものとする。	
到達目標	建築生産全体の流れや関与者の役割など基礎的な事項を理解するとともに、建築技術者としての読解力とホーリスティックな視野をもつことを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：古阪秀三ほか 著「建築生産」（理工図書）参考書：建築施工用教材（日本建築学会）	
成績評価	期末試験（またはレポート）および小レポート課題により評価（試験：70％、小レポート：30％）。なお、授業時間数の4割以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	建築法規	２単位　後期
担当教員	戸川　勝紀※	
授業概要	法治国家の目的は、正義及び公平の原則に従って、社会を規律し、かつ法的安定性をもたらすことであり、社会秩序を維持し、国民間の利害を調整して国民に経済的・文化的に人間に値する生活を営ませることである。そして、建築基準法は建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。 これらを踏まえて、まちづくり、都市デザイン及び建築のデザインを行うために、建築関係法令の役割及び規制の概説だけでなく、誘導及び取組み方も解説する。また、具体的な事例をもとにまちづくり、都市デザイン及び建築デザインの制限や可能性を解説し、都市、まち及び建物に取り巻く今日的課題と法整備の状況を解説する。	
到達目標	法律制度についての理解を図る。また、建築法規の目的や内容を説明でき、まちづくり、都市デザイン及び建築デザインを考える上で法規制の基礎を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	1　建築関係法令集法令編〈平成25年版〉　国土交通省住宅局　日本建築学会編　技報堂出版 2　イラストでわかる建築基準法　大脇賢次　ナツメ社	
成績評価	毎回講義開始時に前講義内容の小試験を実施する。小試験結果に期末試験の結果も加味して考慮する。（小試験合計60％、期末試験40％） なお、小試験及び期末試験は法令集及び教科書を使用可とする。	
履修資格		

科目名	合意形成支援技法・演習	３単位　後期
担当教員	金谷　健	
授業概要	廃棄物最終処分場の立地場所の選定、望ましい街づくりのありかた、などなど、環境問題では合意形成が必要な場面が非常に多い。しかし現実には、こうした合意形成が合理的になされていないことが少なくない。そこでこの授業では、関係者（市民、行政、企業など）の合意形成を支援する技法のいくつかについて、その目的や手順を理解することを、ねらいとする。対象技法は、要素抽出技法（ブレーンストーミング法、ブレーンライティング法）、代替案評価技法（衆目評価法、AHP法）および問題構造化技法（ISM法）である。	
到達目標	対象技法について、理解し、ある程度使えるようにすることを到達目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特になし（資料配付）	
成績評価	小レポート点16％、大レポート点75％、他グループ評価点9％。なお特段の事情（病気等）がない限り、5回以上欠席した者は、評価対象としない。	
履修資格		

科目名	構造計画（環境建築デザイン）	２単位　後期
担当教員	陶器　浩一　・　松村　和夫※	
授業概要	建築物は、機能性、安全性と芸術性を兼ね備えた総合的な創作である。建築物を成り立たせるためには、そこに作用する力の種類と力の流れを把握し、構造材料の特性を活かして架構することが必要である。本講義では建築物に作用する外力の種類と特徴、建築物を構成する構造材料とその特徴およびそれらを活かした架構方法、さらに構造力学の基本となる力の合成と分解、力の流れの計算方法について講義する。	
到達目標	建築物に作用する力の種類と力の流れ、および建築物を成立させるための架構計画の基本につき習得し、構造力学基本（力の合成と分解、構造物の支点反力）について解けること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：坂田弘安，島﨑和司 著，「建築構造力学Ｉ」，学芸出版社 参考書：空間 構造 物語　ストラクチュラル・デザインのゆくえ　斎藤公男著、障国社	
成績評価	まとめレポート50％、講義中の小課題50％	
履修資格		

科目名	構造材料実験	２単位　後期
担当教員	陶器　浩一　・　高田　豊文　・　伊藤　淳志※　・　永井　拓生	
授業概要	木材・鋼材・コンクリートなどの構造材料，およびラーメン・トラス・アーチなどの架構の特性を、実験を通じて理解させるのが本科目の主目標である。また、建築構造の最も基本となる構造力学について、演習を通して、理解を深めることも目的とする。さらに、他の構造系科目で扱わない、地盤・基礎構造の調査法と施工についての講義・演習を、本科目において補う。	
到達目標	(1)コンクリート、鋼、木材、それぞれの性質を、五感を通して理解すること (2)ラーメン・トラス・アーチなどの架構の特性を、制作・実験を通して理解すること (3)地盤・基礎構造の基本事項を修得すること	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：日本建築学会編「構造入門教材　ちからとかたち」（丸善） 谷川恭雄他著「構造材料実験法」（森北出版）	
成績評価	毎回行う実験・演習のレポートにより評価する。	
履修資格		

科目名	構造力学Ｉ（環境建築デザイン）	２単位　前期
担当教員	陶器　浩一　・　永井　拓生	
授業概要	建築空間を創造するためには、建築物に作用する力の種類と流れ、および建築物を構成する部材に作用する力とそれに対する架構の挙動を理解することが不可欠である。本講義では、建築構造関係科目を学習するにあたって必要とされる力学知識や力学基礎について学習する。具体的には、静定トラス・静定梁・静定構造物の応力算定、ひずみ度と応力度、部材断面の各種応力度算定について学習する。	
到達目標	静定構造物を対象とした建築構造力学の知識の習得し、簡単な骨組構造を対象として力学の基礎原理を学習しながら、構造物における力の流れを理解させることをねらいとしている。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：坂田弘安，島﨑和司著，「建築構造力学Ｉ」，学芸出版社	
成績評価	期末筆記試験60％＋毎回行う小レポート40％の合計により評価する。	
履修資格		

科目名	構造力学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	高田　豊文	
授業概要	本講義は，環境建築デザイン学科専門科目の「構造計画」「構造力学Ⅰ」で習得した力学原理の理解を確認・発展させ，建築構造設計を行う際に必要とされる構造力学の原理を理解することを目的としている．具体的には，静定構造物・不静定構造物の応力算定法，構造物の弾性変形の計算方法について学習する．なお，講義内容の理解を深めるため，毎回レポート課題（演習問題）を課す．	
到達目標	静定構造物・不静定構造物の応力算定法，構造物の弾性変形の計算方法について，1級建築士試験問題レベルの問題が解けること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：坂田弘安，島﨑和司 著，「建築構造力学Ⅱ」，学芸出版社 指定図書：中村恒善他，「建築構造力学 図説・演習Ⅱ」，丸善 参考書：坂田弘安，島﨑和司 著，「建築構造力学Ⅰ」，学芸出版社	
成績評価	「小テスト」（10％）＋「レポート」（20％）＋「第1～7回のまとめ」（30％）＋「期末試験」（40％）の合計により評価し，60点以上を合格とする．小テストおよびレポートは各回の内容，期末試験は第1～14回の内容を理解し，問題を解けること．	
履修資格		

科目名	国際環境資源論	２単位　後期
担当教員	高橋　卓也　・　林　宰司	
授業概要	農林業は農林産物を生産するとともにさまざまな環境便益を供給している。すなわち、農林業は環境資源でもある。近年、農林業の環境資源としての機能を高めるよう誘導する政策（農林環境政策）が発展してきている。この講義では、森林環境政策（第1回～第8回。高橋担当）および地球温暖化防止政策（第9回～第15回。林担当）の国際的な展開過程を跡づけるとともに、農林環境政策および地球温暖化防止政策に伴う理論的・実際的諸問題を考える。	
到達目標	農林環境政策および地球温暖化防止政策はどうあるべきかについて考える能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし指定図書：なし参考書：講義の際に紹介する。	
成績評価	プレゼンテーション・レスポンスペーパー50％、レポート50％。	
履修資格		

科目名	湖沼環境学	２単位　後期
担当教員	後藤　直成	
授業概要	湖沼生態系の構造と機能を生物地球化学的視点から概観した後，各構成要素（物理，化学，生物的要素）とそれら各要素間の相互作用について講義する。また琵琶湖を例に，現在，水圏生態系で顕在化しつつある環境問題および最新の観測手法などについても解説を加える。	
到達目標	湖沼生態系の物理的・化学的構造を把握し，それら非生物的要素と生物的要素間の相互作用を理解する。さらに，湖沼で発生している環境問題を生物地球化学的に考察できる能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義時にプリントを配布する。参考書：講義時に紹介する。	
成績評価	レポート内容（30％）と期末試験（70％）により評価する。	
履修資格		

科目名	コミュニティ計画論	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	環境問題・福祉問題・少子高齢化問題・教育問題、現代社会状況をめぐる危機は、個人の自覚と地域の自立と地域間の連携にかかっている。景観問題についても同様である。個人の存在とコミュニケーションの尊重から、まちづくりまで、さらに、個々の建築から街路、地域づくりまでと、ソフトとハードの両面に渡って講義する。また、公共施設のみでなく、すべての建築の持つ公共性を分析し、コミュニティそのものの形成における計画者の参加や、地域の景観環境を住民で創りあげるプロセスを論述する。授業はその時代の問題点を捉えた解説と、スライドを多用しながらすすめる。	
到達目標	自らが自主的に社会と関わりあう事の重要さを認識すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業計画における[　]は、使用する参考書であるが、授業内で概要をテキストとして配布。	
成績評価	毎回講義でおこなうレポート50％、調査レポート20％、試験30％と受講意欲の総合点によって評価する。	
履修資格		

科目名	栽培植物各論Ａ	２単位　後期
担当教員	上町　達也	
授業概要	園芸作物（野菜、観賞植物、果樹）の主要な作目について、栽培・育種・利用の歴史と現状、花成や休眠などの生理・生態的特性とそれに密接に関わる栽培体系を習得する。	
到達目標	・野菜園芸，花卉園芸，果樹園芸のそれぞれの特徴について理解する. ・野菜と花卉類の代表的な作目について，現代の品種が育成されるまでの過程を理解する. ・野菜，花卉類，果樹の代表的な作目について，作型を理解する. ・野菜，花卉類の代表的な作目について，花芽分化，休眠，球肥大などの生理生態反応を理解する. ・主要な作目について生理生態反応と作型との関係を学ぶことにより，本講義では取り上げない作目についても，作型と生育特性との関係を理解する能力を身につける.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布参考書：適宜、紹介する.	
成績評価	毎回の講義で行う小テスト　50％　期末テスト　50％	
履修資格		

科目名	栽培植物各論B	２単位　後期
担当教員	泉　泰弘	
授業概要	栽培植物のうち、食用作物、飼料作物および工芸作物を取り上げて、栽培、育種、利用の歴史と現状、生理・生態的特性とそれに密接に関わる栽培管理法について詳述する。今後の食糧問題、環境問題との関係についても講義する。	
到達目標	(1)主要作物の起源と育種の歴史、栽培管理法および諸特性について説明できる (2)今後の日本および海外の食糧・環境問題と植物資源のあり方について説明できる	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：授業のなかで推薦する	
成績評価	定期試験（100％）	
履修資格	前提学力に同じ	

科目名	作物保護学	２単位　後期
担当教員	鈴木　一実	
授業概要	水稲、畑作物、野菜、花および果樹などの農作物に発生する重要な病害について、わが国で問題となっている例を挙げ、作物栽培の現状や作物の特性と併せて考察するとともに、作物保護の重要性についての理解を深める。あわせて作物保護のさまざまな手段についても具体的に紹介する。	
到達目標	(1)各種作物の病害をひきおこす病原体の分類上の位置、生物学について理解することができる。 (2)各種作物の重要病害について理解することができる。 (3)作物保護のさまざまな手段について理解することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントを配布する。 指定図書:講義の中で適宜紹介する。 参考書:講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	学期末試験を実施する。試験成績（50%）と小テスト・レポート（50%）により総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	資源経済学	２単位　前期
担当教員	高橋　卓也	
授業概要	資源経済学の対象は、自然界から採取し、経済過程に投入される物質・エネルギーである。効率的で、校正で、持続可能な自然資源利用を実現するための基礎となるのが資源経済学に与えられた課題である。この授業では非更新性資源の異時点間配分に関するホテリングの原則、開放漁場における地代消滅に関するゴードンの定理をはじめとする資源経済学の標準理論を学び、それらを参考に、持続可能な社会における自然資源利用のあり方を考える。	
到達目標	自然資源利用に関して、その限界に留意しつつ、経済学的な思考と判断ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:なし指定図書:なし 参考書:講義の際に紹介する	
成績評価	小テストの結果20%、期末試験の成績80%。	
履修資格		

科目名	市民参加論	２単位　前期
担当教員	小野　奈々	
授業概要	本講義では、市民参加の現場で活躍する外部講師を招いて具体的事例を踏まえた講義を聴く。これらを通じて、我が国における環境政策・計画、まちづくり等への参加のあり方、市民参加の背景と現状の問題点、先進事例について理解する。	
到達目標	今日の政策課題である持続可能な社会づくりに向け、市民参加の意味とその具体的取組について理解を深める。これにより、自ら目的意識を持って学習し、あるべき社会の形成に関与していくために必要な意欲、知識、リーダーシップの基礎を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:講師から毎回の講義で配布。	
成績評価	講義レポートと最終試験による。(各回につき5点×15回　＋　最終試験25点＝100点)	
履修資格		

科目名	社会学	２単位　前期
担当教員	小野　奈々	
授業概要	この授業では、社会学の発想方法と質的調査の方法を学びます。その際、社会学を学ぶ楽しみのひとつである「常識的な見方」を超えて、現実の背後にあるものを洞察する力を養います。また、質的研究の着想からデータ収集、分析など、質的研究法の基礎を学びます。授業では、身近な社会の在り方を常識とは別の視点から捉えるための調査実習、記述訓練、講義などを実施する予定です。	
到達目標	1）社会学の方法論を理解し、それを利用した研究計画や調査設計を作成できる。2）質的調査の意義と方法論を理解し、それを利用して研究計画や調査設計を作成できる。3）作成した研究計画や調査設計にもとづき、質的・社会学的な調査を実施し、報告書を執筆できる。	
テキスト 指定図書 参考書	西條剛央2007『ライブ講義　質的研究とは何か』新曜社.	
成績評価	毎授業提出のレスポンス・ペーパー75%，期末試験25%	
履修資格		

科目名	社会システム分析設計・演習	３単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	環境社会を理解するためには、システム的発想やシステム思考が必須である。システム理論におけるモデル化の過程と手法について、事例を交えながら説明する。システム理論の理解と共に、実際にシステム分析を適用するための手法としてのモデル化過程の講義をおこなう。講義と平行して、実社会における事例を用いた分析演習を行う。例えば、コンビニエンスストアやレンタルショップなどを社会システムからみたらどのような仕組みになっているかなど。 システムの関係性を解くための「発想法」およびモデル化の基礎となる「図（ダイアグラム）」の描き方を学ぶ。システムモデルを実践的に設計する手法として「企画法」について学び、その具体的な演習を通して、「図」を用いた企画提案書をプレゼンテーションする方法を学ぶ。各自の発想がどのように企画というフィルターを通って伝える表現となるかを学ぶ。	
到達目標	(1)システム思考を体得すること。(2)社会事象をシステム的に解釈できるようになること。(3)社会システム的な観点から「発想」や「企画」ができるセンスを身に付けること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：必要に応じ、毎回の講義で配布する。参考書：飯尾要「システム思考入門」（日本評論社），「環境システムーその理念と基礎方法ー」（共立出版社），大橋力「情報環境学」（朝倉書店），川喜田二郎「発想法」「続・発想法」（中公新書），星野匡「発想法入門」（日本経済新聞社），書店ビジネス書コーナーの「発想」「企画」関連書籍	
成績評価	課題提出状況30%　プレゼンテーション評価20%　課題評価50%	
履修資格		

科目名	社会調査実習	１単位　通年
担当教員	小野　奈々　・　高橋　卓也　・　林　宰司　・　松本　健一・　村上　一真	
授業概要	社会調査の企画から報告書の作成までを、個人もしくはグループで取り組むことによって、社会調査の全過程を理解できるように実習形式の授業をする。調査の準備段階から、調査の実施、さらには調査報告書のまとめ方を体験することによって、実社会に出てからも社会調査に従事できるような技術を習得することを目的とする。社会調査のテーマ設定から綿密な指導を試み、現場での調査方法を詳しく説明する。インタビューやアンケートなどは調査対象者の属性の違いを踏まえて、各履修者に調査手法を検討させることになる。	
到達目標	社会調査士の資格認定において最後の履修科目となる場合が多いので、社会調査について学べることの集大成を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書は以下のとおり。 ①篠原清夫,榎本環,大矢根淳,清水強志(編)(2010)『社会調査の基礎―社会調査士A・B・C・D科目対応』弘文堂. ②大谷信介,後藤範章,永野武,木下栄二,小松洋(著)(2005)『社会調査へのアプローチ―論理と方法　第2版』ミネルヴァ書房. ③菅民郎(著)(1998)『新版 すべてわかるアンケートデータの分析』現代数学社. ④梶田真,加藤政洋,仁平尊明(編)(2007)『地域調査ことはじめ―あるく・みる・かく』ナカニシヤ出版. ⑤菅原和孝(著,編)(2006)『フィールドワークへの挑戦―“実践”人類学入門』世界思想社. ⑥佐藤郁哉(著)(2002)『フィールドワークの技法―問いを育てる、仮説をきたえる』新曜社. ⑦好井裕明(著)(2006)『「あたりまえ」を疑う社会学 質的調査のセンス』光文社. ⑧白井利明、高橋一郎(著)(2008)『よくわかる卒論の書き方（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）』ミネルヴァ書房.	
成績評価	平常点＝作業発表（30%）、発表者へのコメント（20%）、最終報告書（50%）	
履修資格		

科目名	集水域環境影響調査指針	２単位　後期
担当教員	肥田　嘉文	
授業概要	環境影響を調査・評価するには、原因を辿るための知識をつけることや、影響の大きさ「リスク」を知るための方法を理解することが必要である。本講義では、実際にリスクを算定する過程を、身近な汚染物質を題材として学ぶことを目的とする。相反する事柄のリスクのバランスをどこで採るべきか、環境中濃度（暴露状況）の推定および暴露人口分布の算出、汚染の発生源推定とその暴露経路（物質の媒体間移動）についての知識などを、演習を交えて学ぶ。	
到達目標	1）リスク評価の種類（初期および詳細）および、その基本的手続きを理解し、説明することができる。 2）主要な発生源からの暴露シナリオを具体的に挙げ、それに基づく解析の道筋を示すことができる。 3）環境中濃度予測モデルを用いた暴露評価およびそれに基づくリスクの算定について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布参考書：講義の中で紹介する	
成績評価	演習課題提出と定期試験の結果をそれぞれおよそ40%、60%として総合して行う。	
履修資格		

科目名	集水域環境学	２単位　後期
担当教員	尾坂　兼一	
授業概要	集水域環境学では集水域の構成要素を解説するとともに、集水域環境における人間活動の影響として起こる環境問題について解説する。さらに日本では集水域のほとんどの面積を占める森について、集水域全体の環境に与える影響を考える。	
到達目標	集水域を構成している要素とそれらを取り巻く環境問題について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:適宜配布 参考図書:水の革命:築地書館,流域環境評価と安定同位体: 京都大学学術出版	
成績評価	不定期の小テスト、レスポンスペーパー、もしくはレポート内容(40%)+定期試験(60%)	
履修資格		

科目名	集水域環境学・同実験	４単位　後期
担当教員	浜端　悦治　・　浦部　美佐子　・　倉茂　好匡　・　肥田　嘉文　・　堂満　華子　・　尾坂　兼一	
授業概要	集水域という場は、自然と人間活動が交差する主要な舞台として捉えることができる。本講義・実験では、山地から河口まで、河川が流下してくる間の地球科学・生物学的現象に関する実地の調査、ならびに人の安全と環境に配慮して人間活動を制御するための対策技術に関する化学的側面の調査を通じて、解析の手法を実習するとともに、その理解に必要な基礎理論について講義を行う。	
到達目標	1）集水域における、物理、化学、生物環境の野外観測調査方法を習得する。 2）調査で得た資料の整理・分析方法を理解し、実験結果の解析方法を理解する。 3）野外観測調査および室内実験について、目的、方法、結果を系統的に記述でき、論理的に考察できる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書： 「水の分析」第5版（日本分析化学会北海道支部編:化学同人） 「水質調査法」第3版（半谷高久・小倉紀雄:丸善） 「日本水草図鑑」（角野康郎：文一総合出版） 「滋賀の水生昆虫」（谷田一三編:　新学社）	
成績評価	レポート評価によって行う。出席は必須。	
履修資格		

科目名	集水域環境機能論	２単位　前期
担当教員	永淵　修	
授業概要	環境科学の基礎としての分析化学的方法について、理論、技術、応用を習得する。	
到達目標	環境法、特に環境基準（主に水質・大気）、水質汚濁防止法、大気汚染防止法の位置づけとそれに係わる分析項目の変遷および分析法の進歩による環境汚染物質の新たな指定等について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：環境の化学分析、日本分析化学会北海道支部編、三共出版 参考書：酸性雨研究と環境試料分析(愛智出版)、	
成績評価	毎回講義終了後に提出するノートで出席と授業態度を評価する。これと、定期試験結果を総合的に判断して評価する。	
履修資格		

科目名	集水域生態系保全修復論	２単位　後期
担当教員	浦部　美佐子	
授業概要	主として河川の生物の保全のために必要な基礎生態学（河川棲生物の個体群構造、群集構造および周辺の沿岸や陸域環境がそれらに与える影響）について講義するとともに、河川保全の方策と実際、修復および緩和（ミティゲーション）に関する最近の技法とその評価について、若干の環境関連法および応用生態工学を交えながら論じる.	
到達目標	河川生態系の保全に関わる重要な概念を理解し，実例を挙げて説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	指定しない。授業時間内にプリントを配布する。 参考書：「汚水生物学（津田松苗，北隆館）」「河川の生態学（沼田真監修，築地書館）」「The biology of streams and rivers (Giller and Malmqvist, Oxford), 」「水辺環境の保全（江崎・田中編，朝倉書店）」等	
成績評価	ワークショップの評価30％、期末試験70％	
履修資格		

科目名	集水域物質循環論	２単位　前期
担当教員	尾坂　兼一	
授業概要	集水域の主な構成要素である土壌・陸水について形成過程・機能について解説するとともに、集水域内での様々な物質循環について講義する。	
到達目標	集水域の構造と集水域内の物質の循環プロセスを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	配布資料:適宜配布参考図書:環境化学入門:シュプリンガー・フェアラーク東京,最新土壌学:朝倉書店	
成績評価	不定期の小テスト、レスポンスペーパー、もしくはレポート内容(40%)＋定期試験(60%)	
履修資格		

科目名	植物遺伝資源学	２単位　後期
担当教員	清水　顕史	
授業概要	増え続ける世界人口の食糧需要を満たすため、食糧生産はより一層の増産を目指さなければならない。急激な気候変動や肥料資源の枯渇などの困難に直面し、それでもなお安定的な農業生産を実現するための問題解決策は何か？その答えの一つは、低投入で持続的農業に向けた作物品種の開発であろう。本講義の目的は、次世代の作物改良のために、植物遺伝資源の利用法および植物遺伝育種学を学ぶこととする。 最近のシーケンス技術およびジェノタイピング技術の発展により、植物遺伝資源の人間社会への利用方法は非常に効率的に行えるようになった。本講義でもなるべく最新の知見を講義にとりいれることにより、育種のための様々な手法を学ぶ。	
到達目標	(1)遺伝資源とは何か、具体的な利用方法を1つ以上提示できる。 (2)古典的な作物育種の方法1つ以上を説明できる。 (3)マーカー支援選抜法を用いたゲノム育種の方法を説明できる。 (4)突然変異もしくは逆遺伝学的手法または遺伝子組換え法を用いた遺伝子研究法について説明できる。 (5)講義で提示する新しい育種法について、1つ以上を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：必要に応じて資料を配付する。 参考書　：武田和義「植物遺伝育種学」裳華房、日向康吉他「植物育種学第3版」文永堂、鵜飼保雄「植物育種学」培風館	
成績評価	期末試験（70％）と中間テストとレポート（30％）	
履修資格		

科目名	植物栄養学	２単位　前期
担当教員	上田　邦夫	
授業概要	植物（樹木を含む）はどのような栄養物を必要とし、それらの栄養素がどのような役割を果たしているのかについて話す。また今日行われている稲などの作物の栽培時の施肥の実際について解説し、今後の展望を述べる。このような知識を得た上で、スギをはじめとする樹木の衰退の原因について考察する。また、植物の生育媒体としての土壌の役割について述べ、その中で特に土壌微生物が果たす役割と土壌の関係について述べる。これらの基礎知識を得た上で、水田や琵琶湖のような環境中での土壌微生物の働きについて述べる。これらのことから更に近年の東京湾、伊勢湾、有明海、瀬戸内海などの日本の浅海域で、顕著になっている赤潮発生や漁業の衰退の原因について述べる。	
到達目標	1,植物の生育に果たす無機栄養素の種類とその役割について理解できる。 2,実際の肥料の種類とその役割について理解できる。 3,イネの栽培法と施肥の実際について学び、その問題点を知ることができる。 4,土壌の成り立ちとそれが果たす役割を理解できる。 5,土壌中の微生物の種類と密度について理解できる。 6,土壌が果たしている役割を理解でき、土壌微生物が河川や湖、浅海域（仙台湾、東京湾、伊勢湾、瀬戸内海、有明海など）のような環境中でも大きな役割を果たしていることを理解できる。 7,このようなことから土壌管理の重要性について理解ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：流域生物環境科学（上田邦夫著）	
成績評価	2回の定期試験(中間と期末）の成績(50+50%)とで評価する。3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	植物資源開発学	２単位　後期
担当教員	原田　英美子	
授業概要	植物は衣食住のための資源としてのみならず、新しいエネルギー源やファイトレメディエーション（植物を用いた環境改善）の材料としても注目されている。本講義では、植物資源利用の新しい可能性を最新の技術動向を示して論ずるとともに、このような資源利用を可能にする植物の特性、ことに生理・生化学メカニズムについても取り扱う。	
到達目標	植物資源の高度利用技術の現状と植物生理・生化学の概念を併せて論ずることにより、地球環境における植物の重要性を理解し説明することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：配布資料 参考書：「はじめての生化学」化学同人、「環境科学」オーム社、「絵とき植物生理学入門改訂2版」オーム社	
成績評価	期末試験（70％）と中間試験または中間レポート（30％）	
履修資格		

科目名	植物資源管理学	２単位　前期
担当教員	泉　泰弘	
授業概要	資源植物の群落光合成と収量形成過程、およびそれらにとって極めて重要な太陽エネルギー固定関連形質や環境要因の制御について学習する。	
到達目標	(1)群落光合成のしくみや制御方法について説明することができる (2)農業における様々な栽培管理技術について説明することができる	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:講義資料配付 指定図書:なし 参考書:秋田重誠・塩谷哲夫「植物生産技術学」 文永堂(2006)	
成績評価	定期試験(100%)	
履修資格	上に同じ	

科目名	植物生産学	２単位　後期
担当教員	上町　達也	
授業概要	安定した持続的な植物資源生産を追求するためには，まず現在行われている植物生産の概要を理解する必要がある．本講義では，水稲生産，畑作物生産，施設栽培，養液栽培といった植物生産の基本的な形態について，いくつかの農作物での実例を示しながら解説する．またバイオテクノロジーと，病虫害・雑草・獣害に対する防除についてとりあげ，現在の取り組みについて解説し，今後の可能性について考える．	
到達目標	・植物生産の基本的な形態について理解する． ・環境フィールドワークを含む，植物資源の生産・管理に関わる様々な専門講義を理解するために必要な植物生産の基礎知識を身につける．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布参考書:適宜、紹介する．	
成績評価	講義時間中に行う10分程度の小テスト(50%)，期末試験(50%)	
履修資格		

科目名	植物病害防除論	２単位　前期
担当教員	鈴木　一実	
授業概要	植物の病害について研究する植物病理学はどのようにして起こり、どのように発展してきたかをグローバルに展望する。また、糸状菌、細菌、ウイルスなどのさまざまな病原体についての理解をさらに深め、これからの環境に配慮した病害防除や作物保護の方向性を考察する。あわせてこの分野におけるバイオテクノロジーの利用についても紹介する。	
到達目標	(1)植物病理学の歴史、発展について理解することができる。 (2)病原体(糸状菌、細菌、ウイルス)の感染・増殖機構について理解することができる。 (3)植物感染生理学(病原性と抵抗性)に関する基礎的な概念について理解することができる。 (4)最新のバイテク技術などを利用した新しい病害防除法について理解することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントを配布する。 指定図書:講義の中で適宜紹介する。 参考書:講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	学期末試験を実施する。試験成績（50%）と小テスト・レポート（50%）により総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	食料経済システム論	２単位　前期
担当教員	増田　佳昭	
授業概要	グルメが謳歌される反面，わが国の食料自給率は40％である．食品企業の不祥事が相次ぎ，食の安全性や表示に関する消費者の懸念も強まっている．わが国の食料システムはいまどのような状況にあるのか．望ましい食料経済システムにはどのような要件が求められているのか．本講義では，食料経済システムの現状と問題点を具体的な品目も取り上げながら，多面的な視点から講義する．	
到達目標	(1)わが国の食料需給をめぐる問題点を説明できる。 (2)食品製造業、食品流通業、飲食業から成る食品産業の構成を説明できる。 (3)主要な農産物の流通経路の概要について説明できる。 (4)食料システムが持つ問題点と望ましい姿について自分の意見を述べることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:茂木信太郎『外食産業の時代』、農林統計協会 藤島・安部・宮部『現代の農産物流通』	
成績評価	小レポート40％、課題レポート20％、定期試験40％。	
履修資格		

科目名	森林環境学	２単位　前期
担当教員	野間　直彦	
授業概要	森林環境を理解するために必要な基礎的な内容を講義する。地球上の気候・環境による各種森林タイプの分布、森林の構造・環境と維持機構、森林への人為の影響、森林に棲む生物とそれらの相互作用、など。	
到達目標	1)森林と環境の関係を理解するために必要な、現代の生態学・環境学の考え方の基本を身につける。 2)気候・環境による森林の分布、森林の構造と維持機構、森林の生物とそれらの相互作用について理解する。 3)森林への人為の影響について理解し、問題の解決について自らの考えを述べることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 特に決まったテキストは用いない。 指定図書: 寺島一郎ほか著『植物生態学』(朝倉書店) 堤利夫編著『森林生態学』(朝倉書店) 参考書: 授業の中で適宜紹介する。	
成績評価	期末試験の成績50％、日常の小テストなどの成績25％、小課題25％	
履修資格		

科目名	水域環境影響調査指針	２単位　前期
担当教員	田辺　祥子	
授業概要	(1)水域生態系(主に湖沼)における物理化学構造とそこに生息する低次生産者の動態および生理活動を理解するために必要となる調査・分析方法の詳細について学ぶ。なお、本講義は水域環境学・同実験で習得する手法の理論的背景を補完する。 (2)水域生態系、特に動植物プランクトンを含む低次生産者の動態を理解するために必要となる物理・化学・生物環境の測定方法を習得し、その理論的背景を理解する。	
到達目標	1)水域生態系を知るための野外調査法を理解する. 2)水生生物の生理機能を知るための実験方法の理論的背景を理解する. 3)調査・実験法を用い自ら実験を組み立てる事ができる.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:特になし 参考図書:西条・三田村著『新編湖沼調査法』(講談社)、Wetzel and Likens 著『Limnological Analyses 2nd edition』(シュプリンガー社)、Downing and Rigler編『A Manual on Methods for the Assesment of Secondary Productivity in Fresh Waters』(ブラックウェル社)	
成績評価	毎回、後半20～30分程度で小テストを行い、前回分の復習と当日の理解度を測る。成績は、この毎時間毎に行う小テストによる評価が50％、期末試験による評価が50％で総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	水域環境学・同実験	４単位　前期
担当教員	伴　修平　・　浦部　美佐子　・　後藤　直成　・　田辺　祥子	
授業概要	調査船「はっさか」を用い、琵琶湖の物理・化学的環境要因を測定し、動・植物プランクトンおよび底生生物の採集を行う。環境要因に関しては、水温、pH、水中照度、湖水の化学組成、底質の性状などを調べ、湖沼の物理化学的構造を学ぶ。生物試料は分類群ごとに同定・計数して現存量を算出し、水平・鉛直分布を描く。得られたデータを解析し。生物の分布と環境要因との関係について考察する。また、室内実験で、植物プランクトンの基礎生産速度や動物プランクトンの摂食速度を測定し、エネルギー動態解析の基礎を学ぶ。	
到達目標	(1)湖沼観測の観測技術の習得と安全心得の理解。 (2)琵琶湖生態系の物理化学的構造を解析する手法を習得する。 (3)琵琶湖生態系の生物群集構造を解析する手法を習得する。 (4)琵琶湖環境の修復・復元を志向する態度を育成する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業時間中に資料を配布する	
成績評価	出席が三分の二以上の者に対して試験ならびにレポートを総合して評価する	
履修資格		

科目名	水域環境機能論	２単位　後期
担当教員	丸尾　雅啓	
授業概要	水環境における化学的諸因子が、個々の生体、個体群、群集構造に与える影響について、化学的・生物化学的側面および地理的要因から講義する。	
到達目標	1）毒性物質が水圏生態系に与える影響について、基礎的な概念を理解する。 2）物質のもつ性質による輸送経路の違い、生物の摂取・防御機構の違いを理解し、模式的環境条件下での考察を行うことができる。 3）現在起こっている水域の環境問題に関する文献を調査し、原因・解決策を理解した上で、自らの考えを述べることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:配布資料を用いる。 参考書:以下に記す。 環境（武田健、太田茂　編、ベーシック薬学教科書シリーズ12、化学同人(2008) Stumm & Morgan: Aquatic Chemistry 3rd edition,Wiley (1995). Sigee: Freshwater Microbiology, Wiley (2004). Walker, Hopkin, Sibly & Peakall: Principles of Ecotoxicology 3rd edition, Taylor & Francis (2006). 西村肇、岡本達明、水俣病の科学　増補版、日本評論社（2006）.	
成績評価	宿題・レポート・プレゼンテーション(50%)、期末試験(50%)程度の比率で評価する。	
履修資格		

科目名	水環境政策論	２単位　後期
担当教員	井手　慎司	
授業概要	琵琶湖や日本における水環境問題の現状や課題、歴史、保全に取り組んできた行政施策と住民運動の変遷を中心に解説しながら、琵琶湖および国内、世界的な水環境問題の今後の解決にむけた方途について考えていく。毎回、質問標を配付・回収し、講義に関する質問や疑問について翌週に答えていく予定である。	
到達目標	(1)琵琶湖や日本における水環境問題の現状や課題、歴史、保全に取り組んできた行政施策と住民運動の変遷を説明できること。 (2)琵琶湖および国内、世界的な水環境問題の今後の解決にむけた方途について持論を構築できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:毎回プリントを配付参考書:授業中に適宜紹介する。	
成績評価	課題・小テスト50%。毎回小テストを行う。課題は不定期に出題。小テスト・課題ともに各3点満点とする。定期試験50%。毎回授業の最初に示す講義のポイントを理解できていること。ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	水域生態系保全修復論	２単位　後期
担当教員	後藤　直成	
授業概要	湖沼，河川，湿地等の水域生態系の構造・機能とそれらが抱える諸問題について，生物地球化学的視点から概観した後，それら水域生態系の保全と修復のための手法をいくらの事例を交えて解説する。	
到達目標	水域生態系および水資源の保全と修復に必要となる基礎知識を身につけ，それらの保全・修復に対する具体的な方策を見出す能力を身につける.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義時にプリントを配布する。 参考書：講義時に紹介する。	
成績評価	レポート内容（30％）と期末試験（70％）により評価する。	
履修資格		

科目名	水域物質循環論	２単位　前期
担当教員	田辺　祥子	
授業概要	水域における，炭素、窒素、リンなどの生元素の存在様式とそれらの循環過程についての基礎的知識を身につけるとともに，環境問題とこれらの物質循環の関係について詳細に学ぶ.	
到達目標	1)水域における生物を中心とした物質循環を理解する. 2)環境問題が物質循環機能の劣化である事を理解する. 3)物質循環機能の劣化した環境の修復について自らの意見を述べる事ができる.	
テキスト 指定図書 参考書	配布試料	
成績評価	レポート30％，プレゼンテーション40％，最終テスト30％. 毎回の授業の最後30分を使って，レポートの作成を行う. 第12−14回において，プレゼンテーションを課す. 第15回において最終テストを行う.	
履修資格		

科目名	水産資源学	２単位　後期
担当教員	杉浦　省三	
授業概要	水産資源、とくに淡水魚資源の特性と増養殖について学ぶ。主な内容は、水産生物学（とくに魚類学）、水産増養殖学（生理・生態学、薬理病理学、育種遺伝学を含む）、水産資源解析学、水産食品学など，広義の水産資源学について、身近な例をもとに概論する。水産の分野で用いられている（研究されている）バイオテクノロジーの方法について学ぶ。水産試験場の施設を見学し、現場技師の方々から琵琶湖の水産資源と増殖事業に関する説明を受ける。理解を深めるための小実習や観察を取り入れ、視聴覚教材を適宜使用する。水産学の入門コース。	
到達目標	(1) 琵琶湖で減少している魚介類を列挙できる。 (2) その減少している理由を包括的に説明できる。 (3) 資源増殖のための現実的な方策を自ら考え提案できる。 (4) 湖魚の食文化とその重要性を説明できる。 (5) 水産の分野で使われているバイテクの方法を論理的に説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント等を配付する。 参考書：岩井保著『魚学入門』（恒星社厚生閣） 松宮義晴著『魚をとりながら増やす』（成山堂） 滋賀の食事文化研究会編『湖魚と近江のくらし』（サンライズ出版） 隆島史夫編『次世代の水産バイオテクノロジー』（成山堂） その他，適宜紹介する。	
成績評価	小試験またはレポート（30％）、期末試験（70％）。	
履修資格		

科目名	水質管理学	２単位　前期
担当教員	金木　亮一※	
授業概要	水の性質は異常であり、宇宙における水の存在も稀である。水の異常性のひとつに「ほとんどの物質を溶かし、かつ、それ自体は変化しない」という性質があるが、その性質ゆえに生物に必要な塩類を輸送・供給するとともに有害物質の蓄積を招くことになる。このことから、流域ごとの負荷を総合的に管理・削減することが重要となる。この講義では、物質の負荷量を知るための流量と濃度の測定法、農地からの流出負荷を減らす方法、河川・用水路・内湖における自然浄化能の活用法、水質の人為的制御方法、集落排水処理施設における水処理技術について解説する。	
到達目標	(1)水質悪化の原因を説明できる。 (2)世界・日本・滋賀の水問題を理解できる。 (3)農地からの流出負荷削減方法を説明できる。 (4)水質浄化技術を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『人と自然にやさしい地域マネージメントー地域環境管理工学ー』(農業土木学会)参考書:適宜紹介	
成績評価	定期試験　40%、レポート　30%、小テスト　30%、欠格条件(授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない)	
履修資格		

科目名	水文学	２単位　前期
担当教員	千家　正照※	
授業概要	農地や森林地を中心とする自然環境の河川流域を対象として，水循環過程を支配するメカニズムとその評価方法を科学的に解説する。	
到達目標	気象・地形・土地利用と地表水及び地下水の動きとの関わりを理解するのに必要な基礎力の養成を目的とする。さらに、水文観測の手法、確率降雨の計算、気象データを用いた蒸発散量の推定、流出現象の解析・予測などの基礎的な技術力を養成する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:講義時に資料を配付するプリントを使用する。参考書:丸山利輔他著「地域環境水文学」朝倉書店参考資料:講義時に使用したパワーポイントのファイルはPDFに変換して閲覧できるようにする。	
成績評価	毎回の講義時に実施する小テスト(60%)レポート(20%)最終テスト(20%)	
履修資格		

科目名	水理学	２単位　後期
担当教員	金木　亮一※	
授業概要	「水を制するものは世界を制する」と言われるが．水を制するための基礎学である水理学(入門編)を習得する。基礎的事項のエッセンスを解説するとともに、理解が深められるよう実験や演習をまじえて進めて行く。主な内容としては、動いている水に関する事柄(層流・乱流、常流・射流、等流・不等流、定流・不定流など)と、静止している水に関する事柄(水圧など)を取り扱う。	
到達目標	(1)国際単位(SI)の理解 (2)層流と乱流の違いの理解 (3)常流と射流の違いの理解 (4)ベルヌーイの定理の理解と応用 (5)流量測定方法の修得 (6)浸透流の計算ができる。 (7)静水圧の計算ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:本間仁他著「水理学入門」(森北出版)	
成績評価	試験の成績　50%、レポート　20%、小テスト　30% 欠格条件(授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない)	
履修資格		

科目名	水利環境施設学	２単位　前期
担当教員	田中　勉※	
授業概要	生産環境・生活環境・自然環境の改善に必要な、水利施設に関する計画・調査・設計・施工及び維持・管理・改修の方法について、環境・生態系や生物多様性に配慮しながら工学的に考究する。ここでは、まず、水利施設の種類と意義、水利施設構造物の安定設計、地盤・土構造物中の浸透流解析、矢板の安定設計など水利施設設計全般に関係する基礎的事項について講述する。次に、水路工、頭首工及びダム工など個々の工種について、その基本的性質、調査方法、水理設計手法、構造設計手法をわかりやすく講述する。	
到達目標	(1) 水利施設の意義・種類・歴史について、解釈・分類・説明することができる。 (2) コンクリート構造物の安定設計、地盤内の浸透流解析ができる。 (3) 開水路工の種類・水理・構造について、分類・解釈・説明することができる。 (4) 頭首工について、意義・構成を解釈し、運動量方程式を用いた水理設計、浸透問題について漏水量・浸透破壊・揚圧力の計算ができる。 (5) ダム工について、種類と分類について解釈し、調査・設計の考え方と方法について、説明することができる。。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義のはじめに講義ノートを配布（講義の順序は年度によって変更あり） 指定図書：農業農村工学ハンドブック、農業土木標準用語事典（農業農村工学会） 参考書：青山咸康他「建設材料－地域環境の創造－」、沢田敏男他「水利施設工学I・II」(朝倉書店)(絶版)	
成績評価	出席2/3以上が評価対象、レポート (40点)、学期末試験 (60点)により成績評価を行う。60点未満が「不可」、60～69点が「可」、70～79点が「良」、80～89点以上が「優」、90点以上が「秀」とする。	
履修資格	特になし。	

科目名	政策計画演習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	「問題設定の方法」では、過去の卒業論文を評価することにより、研究という様式の理解とテーマ設定について学ぶ。「研究計画の設計」では、調べて、考えて、書いてまとめる、という一連の作業でもっとも軽視されがちなこの段階をめぐり、作業目的と作業方法との関連づけを再確認する。「分析と総合化の手順」では、文献資料および基礎的データのリサーチ方法の取得、その読み込みなどを行う。「総合化と見直し」では、問題設定と結論までの直線性と幅の確保に留意する。	
到達目標	前期後半からのゼミ配属に向けて、各自の問題意識を絞り込み、自分の関心が何なのかについて明らかにすることを目標としている。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考書：谷岡一郎著『「社会調査」のウソ－リサーチ・リテラシーのすすめ』文春新書	
成績評価	出席状況60％、課題内容40％	
履修資格	2年間在学していること。	

科目名	政策計画演習Ⅱ	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	前期の6月に、学生が指導を受けたい教員を選ぶ。学生の選択にもとづき、教員1人あたり数名の学生でゼミを構成する。研究室単位で、学生はマンツーマンで指導を受ける。学生自ら調査したことを文章化してゼミのなかで発表し、それに対するコメントを受け、それに反論、再考察・・・、この繰り返しを通じて学生は自分の研究テーマを発掘していく。学期の後半になると、学外において現地調査を始める学生が増えてくる。最後に、卒論着手発表会で成果を、パワーポイントを用いて、発表する。	
到達目標	学生自身で卒業研究のテーマを見つける	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考書：必要な参考文献は各ゼミで指示する。	
成績評価	出席状況 30％　発表形式 20％　発表内容 50％ 内容の評価項目：①テーマの独創性、②目的達成の可能性、③研究計画の具体性、④調査の進行度（自分の調査がなされているか），発表の評価項目：①説得性（論理性）、②情報量、③スライドのわかりやすさ、④発声の明快性、時間の使い方	
履修資格	2年間在学していること。	

科目名	政策計画演習Ⅲ	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	研究は「問い」から始まる。それに答えることが研究に他ならない。専門的には、問いを仮説、答える行為を検証と呼んでいる。研究成果の独創性は、仮説の独創性で決まる。仮説をうまく設定して、その検証方法を示すことが研究方法の策定である。ゼミ単位で訓練を受けることにより、この作業の進め方が納得できるようになる。後半の時間で、自ら調査を進め、資料の収集、整理、解析を通じて、自分の思考を開発していく。	
到達目標	研究計画策定能力を開発し、その成果をパワーポイントを用いて、教員・学生の前で報告できるようにする。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：必要に応じて各ゼミで指示する。	
成績評価	各回の作業内容　30％、発表プレゼンテーション　20％、発表内容　50％	
履修資格		

科目名	政策計画演習Ⅳ	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	設定した仮説を検証するための対象・方法を選び、具体的な調査計画を立てる。また、調査によって得られた情報をどのように分析していくかについて、ゼミ単位の指導から学ぶ。これらの作業を進めることによって、自分が最初に抱いた「問い」に答えることができているだろう。それが、「結論」である。こうした、仮説から結論にいたる一連の流れを論文としてまとめあげる様式や表記方法についても学んでいく。	
到達目標	策定した研究計画にもとづき、調査・分析等を実施し、研究を論文としてまとめられる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：必要に応じて、各ゼミで指示する。	
成績評価	各回の作業内容　30％、発表内容評価　70％	
履修資格		

科目名	政策計画基礎演習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	環境政策・計画分野では、社会との関わりの中で課題を発見し解決する力が求められる。当科目では、各学生が自ら学外の機関、組織、個人と接触する等の経験を通じ、社会における環境政策・計画上の課題を把握することを目指す。この内容を通じて、社会とのかかわりの中で環境政策・計画分野を具体的に理解するとともに、その調査の方法を習得し、より高度な演習や卒業研究の取り組みに向けた基礎を築く。	
到達目標	2年次以降のより高度な演習や卒業研究に向けた基盤として、社会の現場における環境政策・計画上の課題について理解し、その情報へ自らアクセスする技能を身に付ける。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布、過去の「学外現場演習I報告会要旨集」を参考とする.	
成績評価	学外での演習の取り組み状況40％、経過報告会での報告と議論30％、レポート30％	
履修資格		

科目名	政策計画基礎演習Ⅱ	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	卒業研究につながる問題関心を現場から発掘し、育てることを目的とした科目である。具体的な作業としては、環境問題の現場にかかわるイベントに参加し、そこで2名以上にヒアリング取材を実施する。その上で、取材内容を文章とパワーポイントにまとめ、発表するところまでが達成目標となる。またそのプロセスにおいて、社会調査により卒業研究をするために必要な基礎的な知識を身につける。次年度のゼミ配属に向けて、卒業研究につながる関心の種をそれぞれが発掘し、把握し、言語化できるようになることを目指す。	
到達目標	次年度からのゼミ配属に向けて、社会調査の慣らし作業をつうじて各自の問題意識を発掘・把握する。また、それを言語化し、プレゼンテーションできるようになることまでを到達目標としている。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：必要に応じて各ゼミで指示する	
成績評価	学外での演習の取り組み状況40％、報告会での報告と議論30％、レポート30％	
履修資格		

科目名	政策形成・施設演習	２単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	学生が自分の進路を定めてそれを達成するために大学時代に何をなすべきか？　この命題への答えを見つけること、すなわち「自分の発見」が、この授業のねらいです。当学科の教員が1週ないし2週の演習を受け持ち、その中で教員の専門分野の最先端を講義・ディスカッションあるいは現場ツアーを通じて学生にやさしく伝達します。学生は各演習に出席した後、あらかじめ指示された課題に関するレポートを1週間以内に提出、担当教員はそれに添削あるいはコメントをつけて1週間以内に学生に返却します。このような作業の繰り返しを通じて次第にアイデンティティが形成されます。	
到達目標	学生は自分の進路を定め、それに必要とされる能力を身につける方法を見出す。さらにそれをレポートにまとめる能力を養っていく。　毎回の演習の進行とともに、自分の視野がどんどん拡大していくのが実感できる。そして世界の中の自分が位置づけされる。そして、自分が何者であるかがわかってくる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特になし（資料配付）	
成績評価	13回までの「出席＋レポート」点が、7．9％、 7．9％×13回＝100％	
履修資格		

科目名	政治学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	竹本　知行※	
授業概要	政治学の基礎知識を得ることで政治を見る「目」を養う。 人間の社会が存続する限り，「政治」なるものは消えることはない。では，我々が付き合わざるを得ない「政治」とはどのようなものなのか，そして，我々はそれにどう向き合っていけばよいのだろうか。本講義では，テキストを中心に以上の問題について考察を進めつつ，適宜，指定した参考文献なども用いて，先人が政治とその諸テーマについてどのように考えてきたのかについての理解も深める。	
到達目標	現実の政治的問題について、自分なりの見解をもてるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：等松春夫・竹本知行編著『ファンダメンタル政治学』（北樹出版、2010年）	
成績評価	学期末筆記試験100％	
履修資格		

科目名	政治学Ⅱ（国際政治を含む）	２単位　後期
担当教員	竹本　知行※	
授業概要	国際政治学についての基礎知識を得ることで国際政治を見る「目」を養う。 国内政治とは異なる国際政治の特徴とは何か。動的視点から国際政治の変容段階を概観し，現代の国際社会を分析し，日本の国家的課題とは何かを考える。	
到達目標	国際政治の諸問題と日本の課題について、自分なりの見解をもてるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：等松春夫・竹本知行編著『ファンダメンタル政治学』（北樹出版、2010年）	
成績評価	学期末筆記試験100％	
履修資格		

科目名	生物資源化学	２単位　後期
担当教員	上田　邦夫	
授業概要	今日の化学の分野は多種多様にわたっている。特に有機物質に関する化学はその範囲が広いといえる。このうち，生物資源管理学科の分野と関係が深い生命活動を化学的に理解するうえで，特に重要と考えられる諸分野について講述し，受講者の化学的基礎知識を身につけさせ，今後の研究活動の基礎としたい。	
到達目標	1,炭素原子の化学結合の理論を知ることができる。 2,有機化合物の基礎的構造、基礎的性質、基礎的反応を知ることができる。 3,有機化合物の命名法を知ることができる。 4,生体構成物質である糖類、タンパク質、核酸などの構造を理解できるようになる。 5,動物の栄養物質とは何かを知ることができる。 6,タンパク質や核酸の分析方法を知ることができる。 7,生物資源管理学科での卒業研究などで必要な，有機化学や生物化学の基礎的な知識を得ることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：生体物質の化学（山口達明等：三共出版）、生物化学（志村憲助ら：朝倉書店）	
成績評価	半期に数回程度の小テスト（20%）と中間試験（40％）及び期末試験(40%)などにより評価する。なお欠席回数が全体の1/3以上になる場合は評価の対象にしない。	
履修資格		

科目名	生物資源管理学演習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	教員が指導するゼミに参加し，卒業研究に関連する国内外の新しい知見や情報を収集・整理して紹介するとともに，卒業研究の計画，進捗状況などを報告し，それらに関する討議を行う。また，発表用資料の作成を通じて，論文作成能力とプレゼンテーションの能力を養う。	
到達目標	卒業研究実施のための背景を理解するとともに，卒業研究の実施に必要な論文作成能力とプレゼンテーションの能力を習得すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特になし指定図書：特になし	
成績評価	生物資源管理学演習の具体的な実施方法は研究室ごとに決定されるので，分属された研究室のガイダンスを受けること。	
履修資格		

科目名	生物資源管理学演習Ⅱ	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	教員が指導するゼミに参加し，卒業研究に関連する国内外の新しい知見や情報を収集・整理して紹介するとともに，卒業研究の計画，進捗状況などを報告し，それらに関する討議を行う。また，発表用資料の作成を通じて，論文作成能力とプレゼンテーションの能力を養う。	
到達目標	卒業研究実施のための背景を理解するとともに，卒業研究の実施に必要な論文作成能力とプレゼンテーションの能力を習得すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特になし指定図書：特になし	
成績評価	生物資源管理学演習の具体的な実施方法は研究室ごとに決定されるので，分属された研究室のガイダンスを受けること。	
履修資格		

科目名	生物資源管理学概論	２単位　前期
担当教員	岡野　寛治　・　学科教員	
授業概要	生物資源管理学とは、生物資源管理に関連する多くの学問分野を統合する名称である。本科目は生物生産、生物機能の利用、地域環境管理等の視点から生物資源管理学をとらえ、学ぶための導入部と位置づけられる。多数の生物資源管理学科教員が担当し、各分野の概要、現状、先端的なトピックス等を紹介する。	
到達目標	(1)生物資源管理学を幅広く理解し、体得する。 (2)生物資源を適切に制御・管理する知識が身に付く。 (3)生物生産・生物機能を用いた環境改善のための知識が身に付く。 (4)土壌・水資源の保全と活用のための知識が身に付く。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布	
成績評価	毎回提出を課すレポート により評価する。	
履修資格		

科目名	生物資源管理学実験・実習Ⅰ	２単位　前期
担当教員	泉　泰弘　・　上町　達也　・　原田　英美子	
授業概要	室内または圃場における実験を通して栽培植物の栽培に関する研究遂行に必要な実験計画法、栽培方法、観察、測定、記録ならびにデータ解析法といった基礎技術を学ぶ。	
到達目標	(1)植物栽培に関する実践的な知識を身に付けることができる (2)実験手順にもとづいて実験を遂行できるようになる (3)植物の成長を定量的に把握するための技術を習得する (4)実験結果を客観的記述によるレポートにまとめることができる	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：実験手順に関するプリントを毎回配布する。 指定図書：なし参考書：必要に応じて授業の中で紹介する。	
成績評価	授業態度とレポートにより評価する	
履修資格		

科目名	生物資源管理学実験・実習Ｘ	２単位　前期
担当教員	小谷　廣通　・　岩間　憲治	
授業概要	本学環境科学部周辺に基準点を設け、これらの相対的な位置関係をトータルステーションを用いて精確に定める(基準点測量)。同時に、距離測量、角測量および水準測量の個別的な実習を行うとともに、各測量における誤差の処理方法も習得する。次に、基準点を結ぶ測線を基準とした周辺の地物の相対的な位置関係を平板測量を用いて平板上に図化する方法(細部測量)を実習する。最後に、基準点測量と細部測量の結果を総合して測量図が作成されることを学ぶ。	
到達目標	(1)距離、角度、高低差の測量技術を修得する。 (2)多角測量による基準点測量方法を修得する。 (3)多角測量と水準測量における誤差の処理方法を修得する。 (4)トータルステーションを用いた細部測量の方法を修得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 参考書:森忠次「測量学1　基礎編」(丸善)、大嶋太市「測量学　基礎編」(共立出版)	
成績評価	授業に出席すること(4/5以上)が大前提となる。レポートの評価(100%)で判定する。	
履修資格		

科目名	生物資源管理学実験・実習ＸⅠ	２単位　後期
担当教員	増田　佳昭　・　増田　清敬	
授業概要	本授業では、第一に、表計算ソフトでのデータ処理方法を学習する。第二に、農業、食料、資源、環境などをテーマとしたアンケートを自ら設計し、データ処理を行い、分析結果を取りまとめて発表する。以上の過程で、テーマ設定、データ収集・処理、レポート作成、発表の方法について学ぶ。	
到達目標	(1)表計算ソフトを用いたデータ処理ができる。 (2)自ら設計したアンケートの調査結果を整理し、口頭発表できる。 (3)アンケート調査結果を取りまとめてレポートを作成できる。	
テキスト 指定図書 参考書	資料を配布する。参考書は適宜紹介する。	
成績評価	発表50%、レポート50%。	
履修資格		

科目名	生物資源管理学実験・実習Ⅱ	２単位　後期
担当教員	上町　達也　・　清水　顕史　・　原田　英美子	
授業概要	主に農作物を対象にしたいくつかの実験と調査を行い、遺伝分析、生化学的解析、形態学的解析の手法を習得するとともに、実験データを評価し、考察して、レポートにまとめる能力を養う。また、実験材料の調整やスクリーニングなどを行う上で必要となる、水耕栽培や組織培養の基礎技術を習得する。	
到達目標	・遺伝分析の基本的な方法を身につける。 ・植物組織培養の技術を身につける。 ・走査型電子顕微鏡およびHPLCの仕組みと操作技術を習得する。 ・水耕栽培の方法を身につける。 ・実験データを評価し、まとめる能力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:テキストは用いない。毎回、資料を配付する。 参考書:必要に応じて紹介する。	
成績評価	各実験で課すレポートにより評価する。	
履修資格		

科目名	生物資源管理学実験・実習Ⅲ	２単位　後期
担当教員	岡野　寛治　・　杉浦　省三	
授業概要	鶏の解剖、反すう胃内微生物の働き、飼料貯蔵法などの家畜資源の管理と生産物に関する基礎実験を行い、家畜の飼育管理、実験計画法、顕微鏡観察、化学的測定法など研究に必要な基礎技術を修得させる。魚類の解剖、外部・内部器官の観察・比較、分類同定、麻酔法、採血法、血液（血球）の観察と同定、内部器官（腎、肝、腸、胃、鰓など）の組織切片標本の作成、基本的な染色技術の習得，各細胞の形態観察と同定、病理組織と正常組織の比較・診断などを行う。	
到達目標	(1)動物の体と組織の構造および機能についての理解が説明できる。 (2)動物実験の基礎技術が習得できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリントを配布する。 指定図書：なし。 参考書：佐野豊 著『組織学研究法』（南山堂）。 Young, B., Heath, J.W. 著，山田英智ほか 訳『機能を中心とした図説組織学，第4版』(医学書院)。 岩井保 著『魚学入門』（恒星社厚生閣）。	
成績評価	レポート(90%)，小テスト(10%)	
履修資格	2回生以上が受講すること。	

科目名	生物資源管理学実験・実習Ⅳ	２単位　後期
担当教員	鈴木　一実　・　上田　邦夫　・　入江　俊一	
授業概要	微生物（菌類、細菌、放線菌、きのこ、酵母）および植物ウイルスについての理解を深める。無菌操作、微生物の分離、顕微鏡観察などの基本技術に習熟し、微生物および植物ウイルスを取り扱う様々な実験技術を習得する。	
到達目標	(1)微生物（菌類、細菌、放線菌、きのこ、酵母など）および植物ウイルスについての理解を深めることができる。 (2)無菌操作、微生物の分離、顕微鏡観察などの基本技術を習得することができる。 (3)微生物および植物ウイルスを取り扱う実験技術を習得することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを配布する。	
成績評価	実験ごとに課すレポート提出により評価する。授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。	
履修資格	3回生以上を対象とする。	

科目名	生物資源管理学実験・実習Ⅴ	２単位　前期
担当教員	杉浦　省三　・　入江　俊一　・　清水　顕史	
授業概要	遺伝子工学的技術はバイオサイエンスの基礎であるばかりではなく、食品、医療、化学工業、あるいは親子鑑定や犯罪捜査など、多方面で利用されている身近な技術である。本実験では、遺伝子発現量測定、大腸菌による発現遺伝子断片のクローン化、パソコンを用いた遺伝子情報処理･解析などを通して遺伝子工学的実験手法の基礎を身につけることを目的とする。	
到達目標	(1)遺伝子工学実験に共通する基本技術を習得できる。 (2)実験操作に関する基本原理を理解し説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業の中でプリントを配付する。 参考書：「バイオ実験イラストレイテッド①-③」（秀潤社）	
成績評価	実習状況、小試験（3回程度）、レポート（3-6回程度）から総合的に評価する。	
履修資格	3回生以上を対象とする。	

科目名	生物資源管理学実験・実習Ⅵ	２単位　前期
担当教員	沢田　裕一　・　岡野　寛治	
授業概要	昆虫及び小動物の保全・管理に関する基本的な実験技術や研究手法を修得する。特に、動物生態学、動物資源管理学、害虫管理学、環境動物学を習得するのに必要な生態学的研究方法を講義し、実験室、実験圃場及び自然条件下での昆虫・小動物を対象として、飼育実験、野外調査及びそれらのデータ解析等について実習を行う。	
到達目標	(1)個体数推定法や生命表分析などの個体群管理学の基本的手法を理解する。 (2)多様度指数、均衡性指数、類似度など動物群集解析の基本的手法を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:毎回プリントを配布する。 参考書:必要に応じ、授業で紹介する。	
成績評価	レポートの提出と内容により評価する。	
履修資格		

科目名	生物資源管理学実験・実習Ⅶ	２単位　後期
担当教員	上田　邦夫　・　岡野　寛治　・　須戸　幹	
授業概要	植物や動物などの生物資源中に存在する無機物質や有機物質を定量する理論と実際について学び修得する。	
到達目標	1,主として化学実験の実験材料の取り扱いや前処理を学ぶことができる。 2,簡単な試薬の調整ができるようになる。 3,天然物を酸分解して、その中の無機物の定量方法を会得することができる。 4,多糖類の加水分解と還元糖の定量ができるようになる。 5,大腸菌中から染色体DNAを分離する方法を学ぶことができる。 6、クロマトグラフィの原理を説明することができる。 7,ガスクロマトグラフによる有機酸・有機化合物の定量方法を会得することができる。 8,ELISAの手法を用いた定量ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントの配布	
成績評価	レポートの提出と内容により評価する。	
履修資格		

科目名	生物資源管理学実験・実習Ⅷ	２単位　前期
担当教員	須戸　幹　・　金木　亮一	
授業概要	汚濁物質の濃度、流量、負荷の求め方と土壌の化学的性質の分析法を修得する。実習船「はつさか号」で琵琶湖の水を採取し、その水質(SS、BOD、COD、T-N、T-P)を明らかにするとともに、水田で灌漑用水および田面水の濃度を測定し、水田が環境に及ぼす影響を評価する。また、土壌を採取し、水分、有機物、土壌の化学的性質(EC、pH、CEC、交換性陽イオン等)の測定法を修得させる。	
到達目標	1)水試料、土壌試料のサンプリングができる。 2)水試料、土壌試料の前処理、抽出作業ができる。 3)水質汚濁および土壌肥沃度の一般的な分析方法と原理を述べることができる。 4)比色法による定量ができる。 5)滴定法による定量ができる。 6)原子吸光度計による定量ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:実験時にプリントを配布する	
成績評価	レポートにより評価する。欠格条件あり(授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない)	
履修資格		

科目名	生物資源管理学実験・実習Ⅸ	２単位　後期
担当教員	岩間　憲治　・　小谷　廣通　・　皆川　明子	
授業概要	自然環境の基盤である土壌および地表面付近の大気の性質や、その空間に存在する水やエネルギーなどの物質の挙動について理解するため、土壌調査から気象観測、様々な実験、(パソコンによる)データ解析を行います。そこで学んだ技術・知識は植物や動物が棲息する環境を評価するためにとても有用であり、3回生以降の実験・実習の基礎となります。	
到達目標	以下の項目を理解し、実験・分析により定量的に評価できるようになります。 1)土壌調査(サンプリング)技術、2)土壌の物理的性質、3)土壌内部の水分の挙動、4)地表面上の(水分などの)物質循環、エネルギー循環、5)様々な計測機器により得られたデータから物質・エネルギー循環を定量的に評価するための計算手法	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:社団法人　地盤工学会編:「土質試験　基本と手引き」	
成績評価	授業に出席すること(4/5以上)が大前提となる。レポート100%で判定する。	
履修資格		

科目名	生物資源循環論	２単位　後期
担当教員	岡野　寛治	
授業概要	家畜生産と農業廃棄物、食品廃棄物、草類などの利用を連携させる方向での持続的農業の可能性を考える知識を深める。前半部分では各家畜の飼養技術についての理解を深め、後半部分では農業廃棄物、食品廃棄物、草類などの利用方法について講義する。	
到達目標	1,窒素、リン、カリなどの物質の循環について理解する。 2,食料生産の問題点について理解する。 3,環境に優しい農業について説明できる。 4,環境に配慮した畜産業について説明できる。 5,各種家畜の飼育方法について説明できる。 6,生物資源の循環を意識した畜産業進める方策について説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:なし、ただし適宜プリントを配布する。 指定図書: 亀高ら著『基礎家畜飼養学』 参考書:高野ら著『粗飼料・草地ハンドブック』	
成績評価	レポート（20％）、小試験（30％）、期末試験（50％）	
履修資格	3回生以上が受講することが望ましい。平成25年入学生は受講しても単位は取得できない。	

科目名	生物統計学	２単位　後期
担当教員	泉津　弘佑	
授業概要	実験や調査によって得られるデータは、ごく一部を抜粋した標本にすぎない。苦労して得たデータを有効に活用し数字に潜む科学的真実を明らかにするためには、標本データの背景にある集団（母集団）を推測し、標本データを通じて母集団間の比較をしなければならない。本講義では、このような標本と母集団の関係に基づく、統計学的検定の方法とその仕組みについて学ぶ。 統計学は、数学を基礎にした応用学問です。実験実習やフィールドワーク、卒業研究などで得られたデータを自力で解析するために習得が望まれます。	
到達目標	仮説検定の考え方を説明でき、統計的な検定の限界を説明できる。 t検定、カイ2乗検定、分散分析を正しく解析できる。 実験や調査で得たデータについて、適切な検定方法を選択し、自力で解析できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜紹介	
成績評価	期末試験70%　小テスト・レポート等30%	
履修資格		

科目名	西洋建築・思潮史	２単位　前期
担当教員	迫田　正美	
授業概要	ヨーロッパを中心とした建築の歴史を、現代建築へとつながるデザインの源泉として、どのように理解し評価するのか、その視座の獲得を目標に据える。したがって、各時代の様式や個々の作品の知識だけでなく、その創作の背景となる世界観や各時代の芸術表現あるいは建築理論や芸術論なども併せて講述する。	
到達目標	:古代ギリシアから19世紀頃までの建築デザインの変遷についての知識を習得し、各時代・地域の主要な世界観（宗教、哲学など）と芸術論、制作学との関連についての理解を深めることで、建築デザインの今日的課題の発見と各自のデザイン的視座の獲得を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『ヨーロッパ建築史』西田雅嗣編、昭和堂 『西洋建築史図集』日本建築学会編、彰国社	
成績評価	各回の小レポート（30％）と筆記試験（70％）による。	
履修資格		

科目名	設計演習Ⅰ	３単位　前期
担当教員	松岡　拓公雄　・　冨島　義幸　・　高柳　英明　・　永井　拓生　・　ﾋﾒﾈｽ・ﾍﾞﾙﾃﾞﾎ・ﾎｱﾝ・ﾗﾓﾝ	
授業概要	イメージ表現、設計基礎演習などの既往演習を基礎にして、より本格的、建築的な課題で進めていく。前半課題では、人間的な尺度、そして認知、行動、更には生活と空間との関係を念頭において設計することを課題とする。後半課題では、様々な目的で生まれる複数の動線の処理、広がりを持つ場所で既存のコンテクストへの対応を踏まえた課題を出す。この目的で、設計建築物としては、木造戸建住宅（構造計画も含める）、小規模施設などとする。	
到達目標	敷地、敷地周辺を読み取り、これらと密接に関係づけを行いながら、求められている目的、機能を建築化していく能力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:「コンパクト設計資料集成」（丸善）;「初めての建築設計」（学芸出版社）;その他の必要資料はプリントとして配布する。	
成績評価	提出された成果物（提出締め切りに遅れた場合は評価に影響する）:60% 各回グループエスキスへの出席:40%	
履修資格		

科目名	設計演習Ⅱ	３単位　後期
担当教員	ﾋﾒﾈｽ・ﾍﾞﾙﾃﾞﾎ・ﾎｱﾝ・ﾗﾓﾝ　・　陶器　浩一　・　松岡　拓公雄　・　高柳　英明　・　高田　豊文　・　芦澤　竜一※	
授業概要	コンセプチュアルな思考から、実践的な設計行為につながる設計過程を習得することを目標に、中規模建築を様々な工法で設計する方法を学ぶ。具体的には前後半で2つの中規模建築の設計課題に取り組む。前半課題では、構造デザインの基本の習得を主眼として、比較的大スパンの建築物の設計課題を行う。後半課題では中規模の集合住宅と、大学のゲストハウスを複合的に提案し、地域環境にあった住空間と、立地性を生かしたロードサイド・コンプレックスの設計を行う。	
到達目標	コンセプチュアルな思考から、実践的な設計行為につながる設計過程を習得し、中規模程度の建築を様々な工法で設計できるようになることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	前半課題作品の内容50%、後半課題作品の内容50%で評価する。なお、毎回のエスキスチェックは必ず受けること。	
履修資格		

科目名	設計演習Ⅲ	３．０単位
担当教員	村上　修一　・　松岡　拓公雄　・　ﾋﾒﾈｽ・ﾍﾞﾙﾃﾞﾎ・ﾎｱﾝ・ﾗﾓﾝ　・　高柳　英明　・　高田　豊文	
授業概要	環境建築デザイン学科の演習授業の総括として、より高度な計画・デザイン手法を身につけることを主眼とし、大規模な複合施設の設計課題に取り組み、都市計画的・景観計画的な分析能力を養い、提案する建築を社会や環境に関連づけて機能させる総合提案力を習得することを目標とする。	
到達目標	大規模の建築を、敷地計画も含めて総合的に計画・デザインできるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	指定なし	
成績評価	小課題及び本課題の内容を100%として評価する	
履修資格		

科目名	設計基礎演習	２単位　後期
担当教員	迫田　正美　・　村上　修一　・　轟　慎一	
授業概要	建築設計、ランドスケープデザインの基礎を学ぶとともに、図面表現、模型作成などの技術の習得とコンセプトワーク、空間デザインの基礎を習得する。	
到達目標	実測、フリーハンド・スケッチ、空間スケールの把握、図面の読解、建築製図の基礎、敷地のコンテクストの捉え方、エスキスの進め方、スタディ模型、コンセプトワーク、図面表現技法、RCラーメン構造の基礎などに関する演習を通じて、建築デザインとランドスケープデザインの基礎と表現法を習得すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考書：「コンパクト設計資料集成」丸善、 「初めての建築製図」学芸出版、 「ベーシックスタディランドスケープデザイン」昭和堂、 ほか適宜プリントを配布する。	
成績評価	各課題の提出と、見学会などのレポートの提出による（夫々を100点満点で採点し、平均を取る）が、各回のテーブルクリティクを受けていることを前提とする。	
履修資格		

科目名	専門外書講読Ⅰ	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	英語の学術専門書の読解力を高めるため、英語で書かれた学術専門書を輪読する。必要に応じて専門用語や関連事項を解説する。	
到達目標	各担当教員ごとに適宜紹介される。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業中に配布もしくは指示する。	
成績評価	出席状況と授業での発表内容によるが、担当教員によっては小テスト，学期末試験を行うこともある。	
履修資格		

科目名	専門外書講読Ⅱ	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	英語の学術専門書の読解力を高めるため、英語で書かれた学術専門書を輪読する。必要に応じて専門用語や関連事項を解説する。	
到達目標	各担当教員ごとに設定される。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業中に配布もしくは指示する。	
成績評価	出席状況と授業での発表内容によるが、担当教員によっては小テストや学期末試験を行うこともある。	
履修資格		

科目名	測量学	２単位　前期
担当教員	小谷　廣通	
授業概要	地表面上にある地物の空間的な位置関係を定めるために、その基礎的な技術の理論を学ぶ。主として、新しい測量方式である光波測距儀とトータルステーションの利用を前提とした基準点測量と、地形測量（細部測量）としての平板測量について理解する。また、土地の面積と体積を求める方法も学ぶ。	
到達目標	(1)距離、角度および水準測量の方法と各々の誤差の処理方法が理解できる。 (2)基準点測量としての多角測量の方法と誤差の処理方法が理解できる。 (3)測量士補の国家試験の合格者に匹敵する実力を持つこと。あるいは、国家・地方公務員試験の測量問題に対応できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：森忠次「測量学Ⅰ　基礎編」（丸善） 参考書：大嶋太市「測量学　基礎編」（共立出版）	
成績評価	レポート評価50％　各章の問題を十分理解して解答できること。 期末筆記試験50％　全章の問題を対象にしてこれらの応用問題が解答できること。	
履修資格		

科目名	卒業研究Ⅰ（環境政策・計画）	３単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	卒業論文作成に指導教員の指導をうけつつ挑んでいく。卒業論文の評価は、①オリジナリティ（新規性・独創性）、②有用性（利用できるか）、③論理性（論理が整然としているか）、④完結性（論文として完成しているか）できまる。分析方法として多変量解析やGISなどを習得する。	
到達目標	第1の目標は、学生が人生のある時期を環境政策・計画学科で四年間過した証＝人類の知に新たな知を追加したこと、を作ることである。第2に、学ぶとはどういうことなのか、学びの楽しさとは何か、を知ることである。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト： 参考書：必要に応じて、各ゼミで指示する	
成績評価	卒業論文評価　100％	
履修資格		

科目名	卒業研究Ⅱ（環境政策・計画）	３単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	卒業論文作成に指導教員の指導をうけつつ挑んでいく。卒業論文の評価は、①オリジナリティ（新規性・独創性）、②有用性（利用できるか）、③論理性（論理が整然としているか）、④完結性（論文として完成しているか）できまる。分析方法として多変量解析やGISなどを習得する。	
到達目標	第1の目標は、学生が人生のある時期を環境政策・計画学科で四年間過した証＝人類の知に新たな知を追加したこと、を作ることである。第2に、学ぶとはどういうことなのか、学びの楽しさとは何か、を知ることである。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考書：必要に応じて、各ゼミで指示する	
成績評価	卒業論文評価　100％	
履修資格		

科目名	卒業研究・卒業制作Ⅰ（環境建築デザイン）	３単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	3年次後期の「環境・建築デザイン演習」の延長上にあり、4年次前期の必修で、卒業に不可欠の科目である。後期に卒業制作を行う者は、この科目で論文としてまとめる必要がある。	
到達目標	研究の成果をまとめ、後期における通年論文の完成ないし作品制作へつなぐ。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：	
成績評価	「卒業研究・卒業制作Ⅰ発表会」における成果発表の内容により評価する（100%）。	
履修資格	環境建築デザイン学科が定める「卒業研究着手要件」を満たしていること。	

科目名	卒業研究・卒業制作Ⅱ（環境建築デザイン）	３単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	4年次前期の「卒業研究・卒業制作Ⅰ」の延長上にあり、4年次後期の必修で、卒業に不可欠の科目である。ここでは、卒業研究を引き続き実施する者と、卒業制作を行う者に分かれる。	
到達目標	研究の成果を論文・作品としてまとめ、プレゼンテーションすることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：	
成績評価	「卒業研究・卒業制作Ⅱ発表会」における成果発表の内容により評価する（100%）。	
履修資格	卒業研究・卒業制作Iの単位を取得していること。	

科目名	卒業研究Ⅰ（環境生態）	３単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	教員の指導のもとに研究課題を設定し，野外調査・実験・資料解析などを行い，それらを取りまとめて卒業論文を制作するとともに，その成果を発表する。	
到達目標	1）研究課題を設定し、野外調査・実験・試料解析などを行う。 2）研究の成果を取りまとめて、卒業論文を制作するとともにプレゼンテーションを行う。	
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価	前期の間での卒業研究への取り組み方をみて評価する。	
履修資格		

科目名	卒業研究Ⅰ（生物資源）	３単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	卒業研究Ⅰ，卒業研究Ⅱを通じて，生物資源管理に関する研究テーマを設定し，研究計画を策定する。それに基づいて実験，野外調査，資料調査など研究を実施し，その成果を卒業論文として取りまとめるとともに，卒業研究発表会において発表する。	
到達目標	研究テーマを設定し,研究計画を立て，研究を行う能力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜指示する。	
成績評価	卒業研究Ⅰは前期期間の卒業研究への取り組みについて評価される。具体的な成績評価の基準については「生物資源管理学科卒業研究Ⅰ・Ⅱ実施要領」による。	
履修資格		

科目名	卒業研究Ⅱ（環境生態）	３単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	教員の指導のもとに研究課題を設定し，野外調査・実験・資料解析などを行い，それらを取りまとめて卒業論文を制作するとともに，その成果を発表する。	
到達目標	1）研究課題を設定し、野外調査・実験・試料解析などを行う。 2）研究の成果を取りまとめて、卒業論文を制作するとともにプレゼンテーションを行う。	
テキスト 指定図書 参考書	指導教員の指示に従う。	
成績評価	最終試験結果に基づいて評価する。	
履修資格		

科目名	卒業研究Ⅱ（生物資源）	３単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	卒業研究Ⅰ，卒業研究Ⅱを通じて，生物資源管理に関する研究テーマを設定し，研究計画を策定する。それに基づいて実験，野外調査，資料調査など研究を実施し，その成果を卒業論文として取りまとめるとともに，卒業研究発表会において発表する。	
到達目標	計画に基づいて研究を行い，その成果を論文にまとめ，プレゼンテーションする能力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特になし指定図書：特になし	
成績評価	後期期間の卒業研究への取り組み，卒業論文，卒業研究発表会要旨，研究発表の内容，質疑応答などの項目について評価される。具体的な成績評価の基準については「生物資源管理学科卒業研究Ⅰ・Ⅱ実施要領」による。	
履修資格		

科目名	大気環境学	２単位　後期
担当教員	永淵　修	
授業概要	地球は太陽からの放射エネルギーを受け取るが、地球上の位置により、その大きさは異なりことからアンバランスを生じている。このアンバランスを解消するために大気は大規模な循環をしている。大気環境問題の多くは、この大気の循環によって広域に拡散されることで特徴づけられる。本講義では大気循環のメカニズムと物質循環の仕組みを修得し、現在問題になっている地球環境問題への理解を深める。	
到達目標	地球環境問題のメカニズムを理解し、大気環境の保全の重要性を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし参考図書：大気環境学（岩坂泰信）岩波書店	
成績評価	毎回の小テスト、レポートおよび期末試験により総合的に判断する。	
履修資格		

科目名	地域開発論	２単位　前期
担当教員	秋山　道雄	
授業概要	地域開発を字義どおり様々な地域における各種の開発一般と理解すると、その範囲は無限に広く、その内容もきわめて雑多になる。それに対して本授業では、これをいわゆる地域問題の解決に関わるものとみる。大都市問題や地域格差問題など地域問題の内容は多岐にわたるが、これの深刻化が看過できなくなった段階で、公共部門による対策（地域政策）を生み出す。この地域政策に沿って実施されるのが、本来の意味での地域開発である。地域開発は、一国全体の地域的均衡の実現をめざすべきものでもあるから、なによりも総合的であることを必要とする。	
到達目標	・地域開発に関する理論・歴史・政策の主要事項が理解できるようにする。・主要な地域開発事業の実施過程とその達成効果を把握し、環境問題に取り組んだ事例と　そうでない事例を対比しながら、両者の差異を理解できるようにする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：岡田知弘、他編『国際化時代の地域経済学 第3版』（有斐閣）参考書：授業の中で随時紹介する。	
成績評価	授業期間中にレポートを課す、複数のレポートを評価、50％。　　夏期休暇中に課題レポートを課す、50％。	
履修資格		

科目名	地域環境計画	２単位　後期
担当教員	轟　慎一	
授業概要	都市・集落をいかに捉えるか、どうやって地域・環境にアプローチするか。建築設計・都市計画・環境デザイン・まちづくり・都市政策では、地域の社会的・空間的特質の把握と、地域像のパースペクティヴが不可欠である。本講は、研究技法の系統的理解にとどまらず、地域にかかる基本的な概念体系をふまえ、地域そのものの構造的理解をめざす。都市・集落の生活空間計画と地域環境デザインについて、具体的な現場の視点をまじえ論じる。本講は、設計演習・環境フィールドワーク等における、対象の構造的把握等においても論理的・技術的に有用である。	
到達目標	地域環境・地域生活空間・都市システムに関する基本理解 都市・集落の調査研究に関する基本理解 都市問題・まちづくり・計画論に関する基本理解	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	●小論文(中間まとめ)、研究レポート、期末試験。 ●小レポート・小テストを実施し、成績評価に反映。	
履修資格		

科目名	地域環境政策論	２単位　前期
担当教員	香川　雄一	
授業概要	環境問題は時代と地域によってさまざまな発生パターンをとる。したがって環境政策も具体的な問題に応じて実施されてきた。本授業ではとくに地域による環境政策の違いをいくつかの具体例を紹介しながら説明していく。また環境政策の効果と課題を時代の変遷から眺めていく。具体例では国内外の代表的な事例と身近な地域の事例を取り上げることにした。環境政策の理論と環境計画の現実を実際の経験から学んでもらいたい。	
到達目標	・環境問題が発生した地域の概要を説明をすることができる。 ・日本における環境問題の歴史的発生パターンを理解ことができる。 ・地域における環境政策の成果と課題について検討することができる。 ・対象地域を設定して、環境問題の原因・発生過程・対策・課題を批判的に論述することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 参考書:礒野弥生・除本理史編(2006)『地域と環境政策』勁草書房	
成績評価	平常点＝小レポート(50%)および(予告プレゼンテーションを含む)学期末レポート(50%)によって評価する	
履修資格		

科目名	地域環境整備学	２単位　後期
担当教員	金木　亮一※	
授業概要	まず、滋賀県が抱える環境整備の課題、特にマザーレーク(ML)21計画について検討を加える. 次に、国内外の農村地域における生産・生活環境整備手法について解説するとともに、今後の土地利用計画や環境管理計画のあり方を紹介する。我が国の従来の土地利用計画には計画性が乏しく、特に、農村部においては都市化に伴うスプロール現象が生起し、そのために生産・生活環境の悪化を招いている。その現状から、計画の必要性とあるべき姿について解説する。	
到達目標	(1)滋賀の環境整備に関わる諸問題を理解し、自分なりの解決策を例示できる。 (2)生産環境の整備方法を説明できる。 (3)生活環境の整備方法を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:『人と自然にやさしい地域マネージメントー地域環境管理工学ー』(農業土木学会)	
成績評価	試験の成績　40%、レポート　30%、プレゼンテーション　30% 欠格条件(授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない)	
履修資格		

科目名	地域再生システム論	２単位
担当教員	鵜飼　修 ・ 森川　稔 ・ 上田　洋平 ・ 轟　慎一	
授業概要	地方分権が推進される中で、地域の自立性、自律性を高めるには、私たちは何をすればよいのか。その理論と実践的手法を学ぶ。具体的には、地域再生の理念や意義、事例を学ぶとともに、設定されたフィールドと課題に対して、現場における実践的な授業を通じて、課題解決のための解決策を検討する。	
到達目標	様々な地域再生事例とその理念を把握する。地域を形成する様々な主体（自治体関係者や住民など）との接点を持つ。具体の地域について、地域の現状と課題の発見・整理を行うとともに、地域課題の解決に向けて、グループワークなどをもとに提案をまとめる。また、地域再生やまちづくりの推進に自分自身がどのように関わることができるかを知る。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：近江環人地域再生学座編「地域再生　滋賀の挑戦　エコな暮らし・コミュニティ再生・人材育成」新評論 指定図書：近江環人地域再生学座編「地域診断法　鳥の目、虫の目、科学の目」新評論 指定図書：近江楽座学生委員会編著「近江楽座のススメ－学生力で地域が変わる」（株）ラトルズ	
成績評価	レポート評価70％、プレゼンテーション評価30％　原則として、全ての授業に出席すること。	
履修資格	地元学入門を履修済みであることが望ましい。	

科目名	地域産学連携実習	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	自治体、民間の設計事務所等やシンクタンク等で研修を行い、実社会で環境・建築デザイン専門分野の活動がどのように行われているか体験学習することを目的とする。	
到達目標	専門家としての職能像を明確に持つとともに、実践現場において必要とされる作法や技術のあり方を理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：	
成績評価	体験学習した内容をレポート等にまとめ、その内容により評価する（100%）。	
履修資格		

科目名	地域資源管理学	２単位　前期
担当教員	増田　清敬	
授業概要	農村地域における生活と産業の持続可能な発展を考える上で、地域資源をいかに管理し活用するかはきわめて重要である。農林業の衰退の中で、農地や水路、森林などの管理は大きな問題になっている。また、都市と農村の交流が盛んになる中で、農村景観や特産物は農村活性化の大きな手段となる。本授業では、農村地域における地域資源の管理及び活用について、理論と具体的施策、その評価手法を論じる。	
到達目標	(1) 地域資源の種類と特性について説明できる。 (2) 地域資源管理政策の背景となる経済理論について説明できる。 (3) 地域資源評価手法を用いた基礎的な計算ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを配布する。 参考書：適宜紹介する。	
成績評価	中間試験50％、定期試験50％。	
履修資格		

科目名	地域システム論	２単位　前期
担当教員	秋山　道雄	
授業概要	生態学では、生活する主体にたいして、それと機能的連関をもつ事物を、一般に環境とよんでいる。さらに、両者は別個に存在するのではなく、ひとつに統合された主体・環境系というシステムをなしているとみるのである。地域システム論は人間や人間集団を対象とするが、基本的な構図は変わらない。人間の生活やさまざまな団体・組織の活動とその環境を統合して地域とみなし、その成り立ちと機能を明らかにしていく。	
到達目標	地域は、人間の生活にもっとも身近なコミュニティから、国家をこえる領域まで、さまざまな空間スケールをもつので、各空間スケールに応じた地域の捉え方ができることを目指す。 さらに、地域のガバナンスにおいて重要な役割を果たす自治体の性格と機能を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:伊藤喜栄・藤塚吉浩編『図説　21世紀日本の地域問題』(古今書院)参考書:講義の中で随時紹介する。	
成績評価	授業期間中にレポートを課す、複数のレポートを総計し、50%。　夏期休暇中に課題レポートを課す、50%。	
履修資格		

科目名	地域情報処理学	２単位　後期
担当教員	岩間　憲治	
授業概要	自然環境や農地・都市域は地表面上に広がりを持っており、その環境を定量的に評価し積極的に保護・育成するためには、対象の位置情報や属性情報を知ることがとても重要となる。そのための基礎的な学問として測量学があげられる。一方、近年、位置情報を飛行機や人工衛星などを用いて画像やデジタルデータの形で取得し、土地利用状況の把握や環境変化を解析する技術が進歩してきた。こうした現状をふまえ、本講義では、地理情報のコンピュータ上での表現手段であるGIS(地理情報システム)の概念、位置情報取得手段であるGNSS(GPSなど)の概念、土地被覆情報の解析手段ともなるリモートセンシング(RS)技術の概念を理解し、その応用を学ぶ。併せて、測量学の応用として写真測量技術や路線測量・地形測量を学ぶ。	
到達目標	地図作製の基礎である座標系の概念、地形測量、路線測量、写真測量の手法を理解する。地理情報システムの概念とそのためのデータ構造を理解する。GPSなどのGNSSの原理と扱い方を理解する。リモートセンシングの概念と衛星画像を用いた環境評価について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:星仰「地形情報処理学」(森北出版)	
成績評価	レポート40%、期末筆記試験60%を原則とする。	
履修資格		

科目名	地域調査法	２単位　前期
担当教員	香川　雄一	
授業概要	地域調査と社会調査についての基本的事項を学習する。フィールドワークのための基礎知識を習得することが目的である。社会調査についての歴史や目的を理解するとともに、調査方法の基礎と注意事項について説明する。調査の種類について質的調査と量的調査があることを学んだ後に、それぞれの具体的データについて例示しながら紹介していく。さらに資料やデータの収集から分析に至るまでにどのようなプロセスが必要になるのかを理解していく。	
到達目標	・地域調査の方法について、適切な材料や資料を集めることができ、それらの説明をすることができる。 ・地域で発生している問題に対して、地域調査をするために必要なキーワードを導き出すことができる。 ・身近な地域について関心を持ち、調査すべき課題を見つけ出すことができる。 ・地域調査を準備するために、具体的で実現可能性のある調査計画を作成することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:野間晴雄ほか編、ジオ・パル　NEO、海青社、2012年 参考書:森岡清志編著、ガイドブック社会調査　第2版、日本評論社、2007年	
成績評価	平常点＝授業時の発表および小レポート(50%)と学期末レポート(50%) 授業時間の5分の1以上欠席した者には追加課題を課す。	
履修資格		

科目名	地域調査法演習	１単位　後期
担当教員	香川　雄一	
授業概要	実際に社会調査を扱っている研究例から社会調査の実施方法を学んでいく。さまざまな資料やデータがどのようにして収集され、分析されているのかを具体的に解説する。先行研究例にならって、調査目的や調査方法の決め方、調査企画と調査設計の作り方について習得していく。調査方法に関しては、準備から実施、分析に至る前の過程をサンプリング方法やデータのコーディング方法にも触れつつ具体的に説明する。インタビューの仕方やフィールドノートの作成方法についても解説する。	
到達目標	・地域調査の準備について、目的・方法・企画・地域概要の説明をすることができる。 ・地域調査の実例を学ぶために、グループワークによって先行調査の内容を報告することができる。 ・適切な調査対象の選択と、サンプリングの方法について理解することができる。 ・地域調査を準備するために、具体的な対象を想定した質問調査票を作成することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：梶田　真ほか編、地域調査ことはじめ、ナカニシヤ出版、2007年 参考書：大谷信介他編著、社会調査へのアプローチ[第2版]、ミネルヴァ書房、2005年 内田和子・寄藤昴編、地理学演習帳、古今書院、2010年	
成績評価	平常点＝小レポートおよびグループ発表（50％）と学期末レポート（50％）	
履修資格		

科目名	地球環境システム論	２単位　後期
担当教員	松本　健一	
授業概要	われわれが日常生活を営む社会経済システムは自然環境や生態系と密接に結びついている。今日の環境問題は、そのような人間活動による過度な環境利用が大きな原因となっている。本講義では、現代社会の最重要課題の1つである地球環境問題を多面的に検証することにより、環境・環境問題を理解する。そして、地球環境問題の解決と持続可能社会の構築に向けた方策を考えるための能力を養う。	
到達目標	・地球環境問題とその政策についての基本的な知識を習得する。 ・地球環境問題の解決（持続可能な発展）に向けた方法論を論理的に考察できるようになる。 ・自ら考察した方法論を、レポートとして体系的にまとめることができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：指定しない（授業中に資料を配布する） 参考書：必要に応じて授業中に紹介する	
成績評価	授業中試験（40%）と最終レポート（60%） により評価する。 欠席が3回を超えると評価対象としない（15分以上の遅刻は欠席とみなす）。	
履修資格		

科目名	動物資源管理学	２単位　後期
担当教員	岡野　寛治	
授業概要	人間の生活に大きな役割を果たす動物資源の管理法を講義する。とくに畜産学の基本的原理の畜産物利用、家畜の品種、家畜育種改良、家畜衛生と各家畜飼育の理論と実際を講義する。	
到達目標	1,畜産と畜産学について理解できる。 2,野生動物の家畜化と家畜の品種について理解できる。 3,家畜の遺伝的改良法について説明できる。 4,畜産物とその利用法について理解できる。 5,家畜衛生について理解できる。 6,多様な畜産について理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義の中でプリントを配布する。 指定図書：佐々木義之編『畜産学概論』。	
成績評価	レポート（20％）、小試験（30％）、期末試験（50％）	
履修資格	平成24年度以前の入学生は、入学時の履修の手引きにしたがって履修すること。平成25年度入学生は3回生後期での受講が望ましい。	

科目名	動物生態学	２単位　後期
担当教員	沢田　裕一	
授業概要	種個体群を中心に他の生物もその種との関連において扱う個体群生態学と、生物共同体を対象としてその構造と機能を分析する群集生態学の両面から、複雑で多様性に富む動物集団の生存様式の実像に迫る。特に動物の個体数変動や安定化のプロセスを中心に、それらを支配する論理とメカニズムを解説するとともに、種間関係からの群集形成のプロセスや、平衡と非平衡の群集理論について最近の仮説や論争を含めて紹介する。	
到達目標	(1)個体群、内的自然増加率、環境収容力、種内競争、密度依存性など個体群生態学の基礎概念を相互に関連づけて説明できること。 (2)競争排除とニッチ分化を軸にした群集理論と、捕食や攪乱を介した種の共存を重視する非平衡学説について、両者を対比して説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:日本生態学会編「生態学入門」(東京化学同人)、Begon他著(堀監訳)「生態学」(京大出版会)、 参考書:久野英二編著「昆虫個体群生態学の展開」(京大出版会)、宮下・野田著「群集生態学」(東大出版会)	
成績評価	レポート評価:50%、期末筆記試験:50%	
履修資格		

科目名	都市・地域計画	２単位　前期
担当教員	轟　慎一	
授業概要	都市・農村における地域空間の実態と成り立ち、地域課題の解決と持続・再生に向けた計画について、空間論的視座と計画論的視座を中心に論じる。空間論的視座では、生活・生業の器としての空間の構造、生活者・コミュニティからみた空間計画について、少子高齢化・地域居住等の観点をふまえ論じる。計画論的視座からは、それら空間をつくりだすための計画制度・事業展開・まちづくり等について論じる。地区レベルでは、中心市街地・郊外住宅地・農山漁村等を事例として、実践的な調査・計画の視点をまじえ論じる。本講は、卒業論文・卒業設計等における、地域研究の方法論等においても論理的・技術的に有用である。	
到達目標	計画論・計画制度・まちづくりに関する基本理解 生活空間・コミュニティ・地域環境に関する基本理解 地域研究に関する基本理解	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	●小論文(中間まとめ)、期末試験。 ●小レポート・小テストを実施し、成績評価に反映。	
履修資格		

科目名	土壌環境化学	２単位　前期
担当教員	須戸　幹	
授業概要	地圏表層を構成する土壌は空気、水とともに重要な環境要素であり、地球上あるいは地域の物質循環に密接に関わる。本講義では、わが国の土壌の概要とその環境機能を紹介するとともに、これらの機能の発現に関わる土の基本的な性質を示す。さらに、土壌と地域環境および地球環境問題の現状と課題についても言及する。	
到達目標	1)土壌の基本的な成り立ちと、環境中における機能を説明することができる。 2)土壌のさまざまな特徴から、任意の地域における土壌特性を判断することができる。 3)環境中における土壌汚染と土壌劣化を、事例を挙げて説明することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:久馬一剛「最新土壌学」(朝倉書店), 高井康雄他「土壌通論」(朝倉書店), 松井健他「環境土壌学」(朝倉書店)	
成績評価	レポート40%、試験60%の割合で評価する	
履修資格		

科目名	土壌環境情報学	２単位　後期
担当教員	中村　公人※	
授業概要	我々の環境は建築構造物や土木構造物に囲まれている。それらはいずれも土(あるいは地盤)に支えられ、また土そのものが構成要素となっている。これらの構造物が環境に悪影響を及ぼさずに建設・維持・運営するためには、土(あるいは地盤)の物理的・力学的性質を把握することが鍵となる。土は組成・構造が複雑であり、さらに場所によってその性質が異なる。このため、数理的・力学的知識のみならず実験的・経験的知識の集積が不可欠である。本講義では土の基本的性質、透水性、力が土に加わるとその内部にどのように伝わり変形していくか等を理解し、現場への適用を学ぶ。授業では、多くの例題に触れることによって具体的な計算ができるようにする。	
到達目標	土を材料とした構造物、基盤としての土を扱う上で必要となる、土壌の力学的性質、特に土壌内部の応力分布、圧密、せん断、土圧について理解・説明できるようになること、さらに実際的・具体的な計算ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜、プリントを配布する。関数電卓(少なくとも、三角関数や対数計算ができるもの)を持参すること。 参考書:河上房義「土質力学」(森北出版)、「土質試験　基本と手引き」(社団法人　地盤工学会)	
成績評価	レポート40%、期末筆記試験60%を原則とする。	
履修資格		

科目名	土壌環境物理学	２単位　前期
担当教員	岩間　憲治	
授業概要	地圏表層を構成する土壌は空気、水とともに重要な環境要素であり、地球上のあらゆる地域の物質循環に密接に関わる。本講義では、まず土壌の概要を示し、土壌が持つ環境機能を紹介した上で、これらの機能の発現に関わる土壌の基本的な性質を示す。さらに、土壌と地域環境および地球環境問題の関連について、その現状と課題についても言及する。	
到達目標	土壌の物理的な性質を表現するための専門用語を理解する。土壌物理性を測定する技術を理解する。土壌が自然界の水分・エネルギー循環にどのように影響するかを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:土壌環境物理学(宮崎毅、長谷川周一、粕淵辰昭著:朝倉書店)	
成績評価	レポート40%、期末筆記試験60%を原則とする。	
履修資格		

科目名	内部空間論	２単位　後期
担当教員	高柳　英明	
授業概要	建築をデザインする際は、内部と外部を隔てて考えるものではなく、相互に影響を及ぼしあいながらひとつの造形として結実している。また特に集客施設や不特定多数の利用する内部空間においては、用途やシーンに応じた空間感の配慮が必要である。本授業では内部空間の成り立ちや物理的条件の差異による空間認知特性や空間相互の連続性等について講義する。	
到達目標	空間を秩序立てる内部空間の成り立ちとそのしくみについて専門的知見を得ること。	
テキスト 指定図書 参考書	教科書:『建築設計ノート-集合住宅編(2008年1月出版、彰国社)』 上記教科書の事例を各回の授業資料とする。	
成績評価	適宜出題する即日課題・レポート40% 各回の出席60%	
履修資格		

科目名	日本建築史	２単位　前期
担当教員	冨島　義幸	
授業概要	日本の古代から近世（江戸時代）の住宅建築・神社建築・寺院建築について、様式・技法・空間構成などの特徴と変遷をとらえ、あわせてその社会的な背景、建築をとりまく周辺の環境造形などについても考えていく。	
到達目標	日本建築の各時代の意匠・技法、空間構成やその特徴を、社会的背景、地域性などとあわせて理解し、説明することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：日本建築学会編『日本建築史図集（新訂第二版）』（彰国社） 参考書：授業中に紹介する	
成績評価	中間の小論文課題（50％）と期末レポート（50％）の評価を総合する	
履修資格		

科目名	農業経営学	２単位　後期
担当教員	増田　佳昭	
授業概要	農業経営は一般の企業経営と異なって土地を主たる生産手段として用い，動植物の生命活動を生産の対象とする。そして多くの場合家族経営である．担い手不足による耕作放棄地の発生や株式会社の農業進出など，農業経営のあり方をめぐる問題が噴出しているが，農業経営の特質を踏まえた理解と対応が求められる．講義では，株式会社に限られない多様な経営類型の中で農業経営を位置づけるとともに，新たな農業経営の展開について講述する． また、農業経営を会計的に把握するため、複式簿記の基本について学び、財務諸表の構成要素と分析方法についても学習する	
到達目標	(1)農業経営の特質と類型について説明できる。 (2)農家と農業経営に関する統計用語を簡単に説明できる。 (3)農業経営の費用と収益について説明できる。 (4)複式農業簿記の簡単な仕訳が出来る。 (5)簡単な財務諸表分析が出来る。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：五味編修『農業経営入門』、実教出版高田・古塚『現代農業簿記会計』、農林統計出版	
成績評価	小レポート40％、課題レポート20％、定期試験40％。	
履修資格		

科目名	農業統計利用論	２単位　後期
担当教員	増田　清敬	
授業概要	農業統計データの利用・加工方法について、基礎的な統計解析手法を通じて学習する。	
到達目標	(1)基礎的な統計解析手法を用いて農業統計データを分析できる。 (2)基礎的な検定方法を用いて農業統計データの有意差判定ができる。 (3)重回帰分析を用いて農業統計データの多変量解析ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを配布する。 参考書：適宜紹介する。	
成績評価	中間試験（1）（2）、定期試験を3分の1ずつして評価	
履修資格		

科目名	農薬環境学	２単位　前期
担当教員	須戸　幹	
授業概要	農薬の使用は農産物の増収，労働力の軽減などに多大な貢献を行っているが，その一方で環境汚染物質のひとつとなり，社会的にも強い関心がもたれている。農薬が関わる環境の諸問題を正しく議論するための基礎知識として，代表的な農薬の化学構造とその作用機構を概説するとともに，安全性の評価方法，環境中における農薬の動態を解説する。あわせて，農薬とダイオキシン類，内分泌かく乱物質との関連ついても述べる。	
到達目標	1)代表的な殺虫剤，殺菌剤，除草剤の作用機構を説明できる。 2)農薬や化学物質の毒性と安全性を評価する方法を説明できる。 3)農薬の環境中での動態とその運命を述べ、農薬の環境問題について自分の考えを述べることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布 指定図書:適宜紹介 参考書:内山正昭他「農薬学概論」(朝倉書店)，山下恭平他「農薬の科学」(文永堂出版)	
成績評価	期末試験60%，課題レポート40%	
履修資格		

科目名	廃棄物管理論	２単位　前期
担当教員	金谷　健	
授業概要	この授業では、廃棄物管理についての基礎知識、具体的には、廃棄物問題の歴史、廃棄物処理の法律、廃棄物のリサイクル、廃棄物の処理、処理施設への住民意識、処理コストなどについて講義する。次に受講生は、各自が興味あるテーマについて調査し発表・レポートする(グループまたは個人)。このように、講義を聴くことと、自分で調べて発表・質疑すること、この両面を行うことで廃棄物管理についての理解をより深めることを、ねらいとしている。	
到達目標	①廃棄物を適正に管理するために必要な基礎的事項を、理解すること。 ②廃棄物管理において各自が興味あるテ-マについて、調査・発表・質疑をできること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:松藤敏彦　著「ごみ問題の総合的理解のために」(技報堂出版)指定図書:左巻健男・金谷健　編著「ごみ問題100の知識」(東京書籍)	
成績評価	中間ふりかえり50%、発表・レポート50%。なお特段の事情(病気等)がない限り、5回以上欠席した者は、評価対象としない。	
履修資格		

科目名	琵琶湖環境学	２単位　後期
担当教員	伴　修平	
授業概要	(平成23年度の内容です) 琵琶湖環境の保全・復元のあり方を志向するために、琵琶湖淀川水系を科学的に学究する。とくに、本琵琶湖環境学では、琵琶湖生態系に顕在する環境問題を受講者とともに陸水学的に討論する。	
到達目標	(1)総合自然科学としての湖沼学を理解すること。 (2)水環境問題を解決するための基礎思考が可能になること。	
テキスト 指定図書 参考書	未定	
成績評価	定期試験ならびにレポートを総合して評価する	
履修資格		

科目名	ファシリテーション技法・演習	３単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	環境政策・計画に関する会議の場では、参加者が互いの立場や価値観の違いを理解し、利害を調整しながら合意に向かうことが求められる。この時、議論に介入し、参加者の相互理解や合意形成を支援するファシリテーターには、会議の場の設計や議論の基本的なルール、参加者の気づきの促進、議論の流れの整理といった知識や技術が要求される。本講義では、こうしたファシリテーション技法を基礎から学び、行政における計画策定の会議だけでなく、企業における戦略立案会議や研修、学校教育、各種プロジェクトの組織活性化などにおいて応用できる幅広い技術を身につける。	
到達目標	合意形成を目的とした会議の場を設計し、議論のルールを設定できる力を養う。また、参加型会議のプログラムを作成し、これにのっとって会議を運営するとともに、参加者の相互理解や合意を促すための技法を用いる力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回の講義でプリント配布.指定図書：中野民夫著「ファシリテーション革命」（岩波書店），浅海義治他著「参加のデザイン道具箱PART Ⅰ～Ⅲ」（世田谷まちづくりセンター）	
成績評価	課題の取組40％、小テスト40％、レポート20％（プログラムの企画力と準備の状況、ワークショップへの参加状況、ファシリテーターとしての運営力）※グループ作業を行うため遅刻は厳禁（遅刻は減点の対象）	
履修資格		

科目名	文化財・保存修景論Ａ	２単位　前期
担当教員	濱崎　一志　・　井口　貢※	
授業概要	歴史的環境を構成する地域文化財の保存・修景・活用について論ずる。前半では濱崎が、歴史的環境を構成する地域文化財、町なみや集落、遺構、遺跡などを調査し、その現代的意義を再評価し、現在の生活空間に再生させ活用するために、その保存や修景の方法と、保存・修景することの意義について、海外や国内の具体的な例をあげながら論ずる。後半では井口が、文化財や街並み、生活遺構、産業遺産などを活用した地域振興（まちづくりや観光振興を中心に）の実態や望ましい在り方について考察していく。	
到達目標	地域文化財の調査、再評価、保存・活用を通してまちづくりのあり方について考える能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配付 参考書：井口貢『観光文化の振興と地域社会』ミネルヴァ書房	
成績評価	期末レポート　80％レスポンスペーパー20％	
履修資格		

科目名	分子生物学	２単位　前期
担当教員	入江　俊一	
授業概要	DNA、RNA、タンパクなどの生体高分子の役割、実験講義などに必要な遺伝子工学的手法、物質輸送やシグナル伝達などの細胞生化学の基礎について解説する。	
到達目標	(1)複製、転写、翻訳について理解する。 (2)タンパク質の性質を決定している因子について理解する。 (3)膜輸送、細胞輸送（エキソサイトーシス、エンドサイトーシス）について理解する。 (4)シグナル伝達について学び、細胞レベルの環境応答について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリントを配布する。更に学習を進めたい者は以下の教科書の購入を勧める。 教科書：Essential 細胞生物学　南江堂（第3版）	
成績評価	期末試験60％、宿題20％、小試験20％の割合で評価する。	
履修資格		

科目名	法学概論（国際法を含む）	２単位　前期
担当教員	初谷　良彦※	
授業概要	本講で学ぶのは、主として「憲法」「民法」「国際法」である。憲法の底流となっている思想家たちの魂が時代を超えて私たちを打ってくる内容をよく学ぶことによって憲法に対する理解を深めるとともに、憲法の視点から民法を考察していく。国際法は、これからの日本が、国際社会とどのように付き合っていくべきなのか、ヒントを与えてくれるだろう。不世出の大思想家坂本竜馬は国際法に興味を持っていたというエピソードがある。竜馬は国際法をもとに何を考えていたのだろうか。	
到達目標	(1)裁判例や学説に対して理解を深めること。(2)インターネットや電子辞書をみて勉強するのはほどほどにした方がよい。思考能力を阻害する。大学は学ぶところである。図書館等で書物を繙（ひもと）き、予習、復習をきちんと行い、目標を達成してして欲しい。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：中島史雄他『新法学レッスン』（成文堂）指定図書：島田征夫『国際法』（弘文堂）参考書：随時紹介する。	
成績評価	小試験40％（7回）、中間試験20％（1回）、期末試験40％（1回）	
履修資格		

科目名	水資源保全学	２単位　後期
担当教員	須戸　幹	
授業概要	人間生活の場および農林地における水資源の管理・保全に関する諸問題の解決方法について講義を行う。特に，農地や農村地域から流出する排水について，地域の持続的水環境の創出を水資源保全の立場から考察ができるよう取り組む。	
到達目標	1)農地排水に用いる統計処理の種類と方法を説明できる。 2)データに基づいたピーク流量、流出パターンの予測ができる。 3)地域排水、農地排水を計画するための手順と内容、および方法論を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	講義時にプリントを配布。 指定図書および参考書：最初の講義時に適宜、紹介。	
成績評価	レポート70％，定期試験30％とする。	
履修資格		

科目名	水資源利用学	２単位　後期
担当教員	小谷　廣通　・　皆川　明子	
授業概要	有限な淡水資源の最大使用量を占める農業用水の使われ方について講義を行う。そして、環境保全と調和した水資源の効率的使用法を、水資源利用の立場から考察ができるよう取り組む。	
到達目標	(1)農業用水を中心とした我が国の水資源利用実態の概要が説明できる。 (2)水田灌漑用水計画について基本的な考え方が説明できる。 (3)畑地灌漑の計画用水量を算定することができる。 (4)種々の畑地灌漑方式についてそれぞれの特性が説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義時にプリントを配布。 指定図書および参考書：最初の講義時に適宜、紹介。	
成績評価	小試験(50％)と期末試験(50％)とで評価する。	
履修資格		

科目名	木匠塾	２単位　通年
担当教員	松岡　拓公雄　・　陶器　浩一　・　高田　豊文	
授業概要	木材等の生物材料あるいは土、石などの自然素材を主として用い、構築物（家具、倉庫、バス停、倉庫、五重塔、茶室、住宅・・・）を自らの手によって製作することによって、素材の特性、利用方法、加工技術、木組み、ディテール（収まり）、構造力学などを総合的に学ぶ。	
到達目標	木造設計の基礎を身につけるとともに、木材加工のための工具を巧みに使用できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：なし 参考書：授業時に適宜指示する	
成績評価	レポート20％　設計30％　制作物50％	
履修資格		

科目名	ランドスケープデザイン	２単位　前期
担当教員	村上　修一	
授業概要	ランドスケープデザインは、生活空間を豊かにするために人間が生み出した創造行為である。主に近代以降の代表的な事例を紹介しながら、ランドスケープデザインの様々な手法や理論を解説する。単に知識を得るだけでなく、未来社会にふさわしい新たなデザインのあり方を受講生が会得する機会としたい。	
到達目標	講義で紹介されるランドスケープデザインの手法と理論を理解し、自らの空間デザインへ応用できるようになる。例えば、ジェームズ・ローズの空間構成手法を理解し、戸建の住宅および庭園の設計に応用できるようになる。また例えば、空間形成のシナリオをデザインする手法や理論を理解し、大規模公園の計画や設計に応用できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	＜指定図書＞ 「ランドスケープデザイン」（佐々木葉二、曽和治好、村上修一、久保田正一著　昭和堂） 「環境デザイン学-ランドスケープの保全と創造」（森本幸裕、白幡洋三郎編　朝倉書店） 「テキスト　ランドスケープデザインの歴史」（武田史朗、山崎亮、長濱伸貴編　学芸出版社） ＜参考書＞ 講義毎に適宜紹介する。	
成績評価	第02回から第15回までの毎回、講義時間内にワークシートを作成する。各回のワークシートを10点満点で採点する。14回分のワークシートの合計点（140点満点）を100点に換算し成績とする。	
履修資格		

科目名	陸域環境影響調査指針	２単位　前期
担当教員	野間　直彦	
授業概要	陸域において環境影響の調査を行う上で指針となる考え方を講義する。生物多様性の理解とその現状、生息地の保全と里山の自然、外来種問題など、自然環境を理解する上で欠かせない視点を養う。開発行為が自然・社会環境にどのような影響を与えるかを予備調査し予測・評価することを義務づけた環境影響評価法の、1997年の成立、2010年からの改正をふまえ、実際に行われたアセスメントの実例や国内外の状況、その限界についても紹介する。	
到達目標	1）野外へ出た時に、そこの陸域環境の概要を読み取ることができる。 2）環境影響評価制度の概要と環境保全措置の基本的な考え方を理解する。 3）開発などの陸域環境に影響を及ぼす行為に対し、調査方針を考えることができる。 4）陸域環境における生物多様性、里山の自然、外来種などに関係する問題を理解し、 その対策について自らの考えを述べることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義中に資料を配布する。参考書：日本自然保護協会編『生態学からみた野生生物の保護と法律』講談社、2003．田端英雄編『里山の自然』保育社、1997．種生物学会編『保全と復元の生物学』、文一総合出版、2002．日本生態学会上関要望書アフターケア委員会編『奇跡の海　瀬戸内海・上関の生物多様性』南方新社、2010．ほかに授業の中で適宜紹介する。	
成績評価	期末試験50％、日常の小レポートなど50％。	
履修資格		

科目名	陸域環境学・同実験	４単位　前期
担当教員	野間　直彦　・　籠谷　泰行　・　浜端　悦治　・　西田　隆義	
授業概要	陸域環境下の生物と，それらの生活，相互の関係を研究するのに必要な考え方・手法・技術の基礎を習得する．形態学，系統・分類学，生態学，行動生態学的研究方法を講義する．実験室，実験圃場，自然条件下での生物を対象に，実験・野外調査とデータ解析・まとめの方法について実習を行う．	
到達目標	1）陸域環境における生態学の基礎的な問題に対し，観察・採集・記載・測定・実験することができる。 2）コンピュータを用いて簡単なデータ処理を行うことができる。 3）観察・採集・記載・測定・実験・データ処理の結果に基づき，科学的な報告を作成できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 参考書:授業の中で紹介する．	
成績評価	レポートの成績100％．各課題ごとに科学的報告を作成できること．出席は必須．	
履修資格		

科目名	陸域環境機能論	２単位　前期
担当教員	肥田　嘉文	
授業概要	自然の脅威に対して人が生存環境を整えるべく働きかけてきた歴史について、また、現代の生活が環境あるいは人の健康に与えるようになった影響について、人の疾病の変遷を概観しながら学ぶ。その中で、影響の原因をつきとめるための疫学的手法、およびリスク管理に関する考え方の基礎についても取り扱う。	
到達目標	1）人の疾病の変遷（感染症の時代から生活習慣病の時代へ）と寿命獲得の歴史について理解する。 2）疫学の基本事項を習得し、「科学的事実」の成り立ちと科学情報の信頼性の評価を行うことができる。 3）感染症，生活習慣病の主要な生化学的背景を理解する。 4）リスク判断、管理において「比較する」ことの重要性を示す具体例について理解し、説明することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配付。 参考書:「キャンベル生物学」丸善（2007）、「栄養疫学」南工堂（2001）、「ヴォート基礎生化学 第2版」東京化学同人（2007）	
成績評価	毎回講義の終わりに提出する「講義内容に関する通信票」で授業への参加態度を評価する。成績評価は、これと定期試験の結果をそれぞれおよそ40%、60%として総合して行う（レポートを課した場合は、これを前者に含めて評価する）。	
履修資格		

科目名	陸域生態系保全修復論	２単位　後期
担当教員	浜端　悦治	
授業概要	植物群落は一次生産を行い，地球上の生命を支えている．陸上部にあっては森林群落が，湖水中にあっては水草群落が，大きな群落構造を持ち、多くの生物の生息環境としても重要な位置を占めている．さらに炭素を始め、窒素やリンなどの元素の循環においても重要な役割を果たしている．しかし，人間活動の活発化に伴い，それら群落の健全性が失われるとともに，劣化，さらには消滅したものまで現れてきている．本講義ではそれら群落の生態環境、群落の役割，管理するための理論、手法を講義する．	
到達目標	1）陸域生態系およびその保全・修復に関する基本概念を理解し、説明できる。 2）陸域生態系を保全・修復する上での問題点を理解し、説明できる。 3）陸域生態系の保全・修復の具体的な方策を理解し、説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:講義時に配布する。参考書:講義時に紹介する。	
成績評価	期末試験60％　と毎回実施する小テスト40％で行う。	
履修資格		

科目名	陸域物質循環論	２単位　後期
担当教員	籠谷　泰行	
授業概要	森林に代表される陸域の各種生態系の成り立ち、環境に果たしている役割について、生態系の物質動態・循環の視点から、さまざまな研究成果をふまえて解説する。	
到達目標	1）陸上生態系の成り立ち、そこでの物質動態・循環、環境との相互作用について理解する。 2）地域・地球環境問題における各種陸上生態系の役割と人為影響について理解する。 3）当該分野における最近の研究状況を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	授業の中で紹介する。	
成績評価	レポート30％、期末試験70％	
履修資格		

科目名	流域環境管理学	２単位　後期
担当教員	皆川　明子	
授業概要	流域および流域圏という概念を理解する。その上で、流域に起こる様々な問題、特に農地・農業に関係する問題を中心に、その現状とメカニズムを開設し、防止策や修復対策について講義を行う。そして、持続可能な地域環境創出に向けた考察ができるよう取り組む。	
到達目標	1)流域の概念を説明できる。 2)河川縦断図からセグメントを区分できる。 3)琵琶湖-淀川水系の主要河川、ダム、重要地点の位置と名称を記述できる。 4)流域に起こる水資源、農地防災に関わる問題に対し、根拠のある改善策を挙げられる。 5)災害、水利用、水質にかかわる時事問題を日常生活の中で自ら調べ考えられる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:適宜プリント配布 参考書:「改訂増補　森里海連環学　森から海までの統合的管理を目指して」京都大学フィールド科学教育研究センター編	
成績評価	レスポンスペーパー10%、レポート40%、期末試験50% ※学外実習に参加しなかった場合は成績評価の対象外とする。	
履修資格		

科目名	イベント計画演習	１単位　前期
担当教員	近藤　隆二郎	
授業概要	イベントを実際に体験および企画実験することで、イベント計画についての理解をより深めることをねらいとする。実際のイベントの企画デザイン等を学ぶと共に、グループで実際のフィールドを選んで具体的なイベントの企画を行い、実践し、その効果等をフィードバックして共有することを考えている。自ら具体的フィールドを相手に仕掛ける体験を通して、イベントの実践についての理解を深める。	
到達目標	(1)実際のイベントを体験して評価できるようになること。 (2)イベントの企画をできるようになること。 (3)実際のイベントを企画実施することで、その企画を評価できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：必要に応じ、毎回の講義で配布する。参考書：世田谷まちづくりセンター編「参加のデザイン道具箱」(世田谷まちづくりセンター)、歴史街道推進協議会編「まちづくり参加の一歩 NOTE BOOK」	
成績評価	イベント実施内容評価30％　ワークショップおよびプレゼンテーション評価30％　課題評価40％	
履修資格		

科目名	イベント計画論	２単位　前期
担当教員	近藤　隆二郎	
授業概要	イベントとは、「ことおこし」であり、社会システムにおいて実験的にシステムをかき回す力を持っている。本講義では、イベントを、人々の新しい＜交流＞を生み出すものとしてとらえ、「わたし」や「まち」のアイデンティティを確認するものとしても再評価していく。とくにイベントに参加する主体の側に立つと、「ことおこし」とは、内的世界の自己組織化を促す機会を持ち、参加主体が共有している対象である「こと」を介して、環境に働きかけてゆくことを可能にさせる(enable)仕掛けと位置づけることができる。	
到達目標	(1)イベントの歴史について説明できること。 (2)イベントの類型と特徴について説明できること。 (3)イベントの企画法について体得すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：必要に応じ、毎回の講義で配布する。 参考書：「祭りとイベントのつくり方」(晶文社)、「まちづくりイベントハンドブック」(学芸出版社)、「ヒト、ムラ、マツリの地域論」(二期出版)	
成績評価	イベント実施内容評価30％　ワークショップおよびプレゼンテーション評価30％　課題評価40％	
履修資格		

科目名	エコロジー経済学	２単位　後期
担当教員	村上　一真	
授業概要	エコロジー経済学は有限な地球の環境容量を前提にした経済学の新しいパラダイムである。これまでの経済学では十分に把握することができなかった自然環境と人間社会の関係を理解することを対象にした経済理論の枠組みであるが、まだ発展途上の分野である。本講ではこの新しいエコロジー経済学をこれまでの経済学と対比し、また環境と経済の関係性を捉える枠組みを検討しながら学習する。	
到達目標	現在の環境問題が提起している課題に対応した新しい枠組みとしてのエコロジー経済学を理解し、これまでの経済学で捉えることのできなかった問題をどのように捉えることが可能になるか理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし 参考書：授業中に適宜、参考書を指示する。	
成績評価	宿題　30％、中間試験　30％、期末試験　40％	
履修資格		

科目名	環境アセスメント演習	１単位　後期
担当教員	柴田　裕希※	
授業概要	環境アセスメント（前期）の学習を基礎に、国内外の実施例から環境アセスメントに関する理解と技術を習得する。演習では、履修者が利害関係者と事業者の 立場に分かれ、環境アセスメントの実施例を基に制度や運用上の課題について議論する。これによって、より適切な環境アセスメントのあり方について理解を深める。	
到達目標	国内外の環境アセスメントの動向について説明できると同時に、我が国の環境アセスメントの課題に関して、具体的な事項を挙げて説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	島津康男「市民からの環境アセスメント」（NHKブックス），環境影響評価研究会編集「環境アセスメントの最新知識」（ぎょうせい），環境アセスメント研究会編集「実践ガイド環境アセスメント」（ぎょうせい）	
成績評価	中間テスト40％、プレゼンテーション及び議論60％	
履修資格		

科目名	環境法Ｉ	２単位　前期
担当教員	小林　泉※　・　上河原　献二　・　小松　直樹※　・　三和　伸彦※	
授業概要	いわゆる一連の公害法が制定されたのは1970年の「公害国会」においてであった。その後の「公害から環境へ」という問題の質が変化するにつれて関係する法体系も大きな変容を経てきている。この講義では、法と社会という広い観点をベースにしつつ、環境保護関連法律をはじめとして、関連する地方自治体の条例、企業における取り組みなど、社会全体での環境を守るルールについて概観し、環境と法、市民・企業レベルの参加のあり方などについての理解につとめる。	
到達目標	現代社会にとっての環境法や環境を守るルールの必要性や意味について、行政の環境施策や企業、市民の取り組みを通して理解するとともに、市民参加による環境問題の解決や持続可能な社会を築き上げていくことの必要性について具体的に把握できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：黒川哲志・奥田進一「環境法へのアプローチ」成文堂	
成績評価	小レポート40％、期末試験60％	
履修資格		

科目名	合意形成支援技法	２単位　前期
担当教員	金谷　健	
授業概要	廃棄物最終処分場の立地場所の選定、望ましい街づくりのありかた、などなど、環境問題では合意形成が必要な場面が非常に多い。しかし現実には、こうした合意形成が合理的になされていないことが少なくない。そこでこの授業では、関係者（市民、行政、企業など）の合意形成を支援する技法のいくつかについて、その目的や手順を理解することを、ねらいとする。対象技法は、要素抽出技法（ブレーンストーミング法、ブレーンライティング法）、代替案評価技法（衆目評価法、AHP法）および問題構造化技法（ISM法）である。	
到達目標	対象技法について、理解し、ある程度使えるようにすることを到達目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特になし（資料配付）	
成績評価	小レポート点16％、大レポート点75％、他グループ評価点9％。なお特段の事情（病気等）がない限り、5回以上欠席した者は、評価対象としない。	
履修資格		

科目名	合意形成支援技法演習	１単位　前期
担当教員	金谷　健	
授業概要	廃棄物最終処分場の立地場所の選定、望ましい街づくりのありかた、などなど、環境問題では合意形成が必要な場面が非常に多い。しかし現実には、こうした合意形成が合理的になされていないことが少なくない。そこでこの授業では、関係者（市民、行政、企業など）の合意形成を支援する技法のいくつかについて、その目的や手順を理解することを、ねらいとする。対象技法は、要素抽出技法（ブレーンストーミング法、ブレーンライティング法）、代替案評価技法（衆目評価法、AHP法）および問題構造化技法（ISM法）である。	
到達目標	対象技法について、理解し、ある程度使えるようにすることを到達目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特になし（資料配付）	
成績評価	小レポート点16％、大レポート点75％、他グループ評価点9％。なお特段の事情（病気等）がない限り、5回以上欠席した者は、評価対象としない。	
履修資格		

科目名	持続可能社会論	２単位　前期
担当教員	高橋　卓也　・　林　宰司	
授業概要	環境保全と両立する、持続可能な社会をつくるためには、あらかじめ持続可能社会の理想像を描き、そのような社会に向かって計画的に変革を進めていくのが望ましい。この講義では持続可能な社会が満たすべき要件とそのような社会を実現するための挑戦課題を考える。あわせて、経済学は自然をどのように扱ってきたかを回顧し、資源経済学・環境経済学・エコロジー経済学への導入とする。	
到達目標	各自が自分の「持続可能社会論」を確立すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし指定図書：講義の際に紹介する。参考書：講義の際に紹介する。	

成績評価	小テストの結果20％、期末試験の成績80パーセント。
履修資格	

2011（平成23）年度以前入学生用

科目名	社会システム分析設計	２単位　後期
担当教員	近藤　隆二郎	
授業概要	環境社会を理解するためには、システム的発想やシステム思考が必須である。システム理論におけるモデル化の過程と手法について、事例を交えながら説明する。システム理論の理解と共に、実際にシステム分析を適用するための手法としてのモデル化過程の講義をおこなう。講義と平行して、実社会における事例を用いた分析演習を行う。例えば、コンビニエンスストアやレンタルショップなどを社会システムからみたらどのような仕組みになっているかなど。	
到達目標	(1)システム思考を体得すること。(2)社会事象をシステム的に解釈できるようになること。(3)社会システム的な観点から「発想」や「企画」ができるセンスを身に付けること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：必要に応じ、毎回の講義で配布する。参考書：飯尾「システム思考入門」（日本評論社），「環境システムーその理念と基礎方法ー」（共立出版社），大橋力「情報環境学」（朝倉書店）	
成績評価	課題提出状況30％　プレゼンテーション評価20％　課題評価50％	
履修資格	※『社会システム分析設計演習』と不可分に進めるため、両科目とも同時に履修すること。	

科目名	社会システム分析設計演習	１単位　後期
担当教員	近藤　隆二郎	
授業概要	『社会システム分析設計』で示したシステムモデル化の手法を、具体的事例を対象にしながら体得する。現実の社会事象からシステムを描き出すプロセスについて実践的に学ぶ。システムの関係性を解くための「発想法」およびモデル化の基礎となる「図（ダイアグラム）」の描き方を学ぶ。システムモデルを実践的に設計する手法として「企画法」について学び、その具体的な演習を通して、「図」を用いた企画提案書をプレゼンテーションする方法を学ぶ。各自の発想がどのように企画というフィルターを通って伝える表現となるかを学ぶ。	
到達目標	(1)発想法を使えること。(2)システム図を描いて仕組みを表現できること。(3)企画書を書いて自分の考えを相手に伝えること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：必要に応じ、毎回の講義で配布する。参考書：川喜多二郎「発想法」「続・発想法」（中公新書），星野匡「発想法入門」（日本経済新聞社），書店ビジネス書コーナーの「発想」「企画」関連書籍	
成績評価	課題提出状況30％　プレゼンテーション評価20％　課題評価50％	
履修資格		

科目名	社会心理学（人間関係）	２単位　前期
担当教員	柿本　敏克※	
授業概要	社会的影響の心理学というテーマで講義を行なう。社会心理学の目的は、社会の中での人間の思考・行動・態度について法則を追求することである。多くのテーマの中から、説得、同調性、服従、他者存在の効果などを取り上げ、これらの諸領域を社会的影響という観点から統一的に論じる。 人のもつ社会性の諸様相が理解できるであろう。	
到達目標	社会的影響についての認識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：【必須】白樫三四郎（編著）『社会心理学への招待』ミネルヴァ書房 指定図書：R. B. チャルディーニ『影響力の武器［第二版］―なぜ、人は動かされるのか』誠信書房	

成績評価	小レポート30%, 最終レポート70% （15回の授業のうち3分の2以上出席したものを評価の対象とする。）
履修資格	

科目名	心理学基礎	２単位　前期
担当教員	竹下　秀子	
授業概要	現代心理学の基本的なテーマについて解説する。人間の行動の仕組みや行動の予測、制御のメカニズム、人間発達の原理や人格形成の理論などをとりあげる。	
到達目標	人間の心の働きへの科学的アプローチが可能なこと、心が人間関係や社会文化のなかで発達進化することを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：長谷川寿一他著『はじめて出会う心理学』（有斐閣）	
成績評価	期末試験（50％）とレポート（50％）等による。	
履修資格		

科目名	組織とネットワークの社会学	２単位　後期
担当教員	伊原　亮司※	
授業概要	この講義では、経営組織の理論と労働のあり方の歴史的変遷を学ぶ。生産現場はまさに経済的な富を生み出す本源的な場であり、社会的にみて非常に重要な場である。と同時に、われわれ諸個人にとっても軽視できない場といえる。なぜなら、労働者の多くは、1日の半分以上の時間を何十年にも渡って労働現場で過ごすからであり、生涯にわたる労働生活を通して自分自身をも形成しているからである。本講義では、こうした意味で軽視できない生産現場に焦点を当てて、現場における組織と労働実態を歴史の流れの中で理解していくことを目指す。	
到達目標	経営組織の歴史から管理の本質を理解する	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは使用しない。レジュメを配る。参考文献は講義内でそのつど指示する。	
成績評価	平常点及びレポート	
履修資格		

科目名	卒業研究（環境政策・計画）	６単位　通年
担当教員	学科教員	
授業概要	卒業論文作成に指導教員の指導をうけつつ挑んでいく。卒業論文の評価は、①オリジナリティ（新規性・独創性）、②有用性（利用できるか）、③論理性（論理が整然としているか）、④完結性（論文として完成しているか）できまる。	
到達目標	第1の目標は、学生が人生のある時期を環境政策・計画学科で四年間過した証＝人類の知に新たな知を追加したこと、を作ることである。第2に、学ぶとはどういうことなのか、学びの楽しさとは何か、を知ることである。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考書：必要に応じて、各ゼミで指示する	

成績評価	卒業論文評価　100%
履修資格	

2011（平成23）年度以前入学生用

科目名	地域生活論	２単位　前期
担当教員	中塚　圭子※	
授業概要	この講義では、事例を中心に、従来の地縁社会としての〈地域〉の姿、それを補完する人と人のつながりの拡がりについてつぎの観点から考えます。 1）「地域での暮らし」「地域を守ろう」というけれども、そもそも〈地域〉とは、何なのか。受講生のみなさん個々人にとってどういうものと理解されているのか。 2）被災地・者支援を通して〈地域〉と私の関係を考える。 3）「老・病・障がい」の視点から〈地域〉を考える。 4）子どもが育つ場としての〈地域〉を考える。 これらの討議を踏まえ、「私にとっての〈地域〉」を再考します。	
到達目標	〈地域〉を受講者個々人が私との関係として捉え直し、地域福祉の仕組み、個人のライフステージや障害による変化を受け支えるネットワークの大切さを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜プリント配布	
成績評価	毎時間のミニレポート30％、最終の課題レポート40％、授業への積極的参加30%で評価する。（従って、課題レポートのみの提出では単位認定しない。）	
履修資格		

科目名	哲学概論Ａ	２単位　前期
担当教員	鞍田　崇※	
授業概要	哲学というと、難解なものというイメージがあるかもしれません。しかし、哲学の原点はあくまで私たちの日常生活。あたりまえのように営まれている日々の暮らしの「あたりまえさ」に対して、何かがちがうという感覚を抱いたとき――それが哲学の始まり。哲学的なまなざしは、現在、あらためてその意義が注目されているものでもあります。その大きな理由は、地球環境問題に対する認識の深まり、そしてそれにともなうライフスタイルへの関心。この講義ではこうした点に留意しつつ、アート、デザイン、建築、民俗、宗教など様々なジャンルを手がかりに、いっしょにこれからの暮らしの「かたち」を考えていきます。	
到達目標	現代思想において問われていることの意味と歴史的背景を理解すること。しかし何よりもこの講義の目的は、みなさん一人ひとりが「哲学する」ことのきっかけをつかんでいただくことにあります。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『＜民藝＞のレッスン－つたなさの技法』(鞍田崇編／フィルムアート社／1,700円＋税) 参考書:講義の中で適宜紹介します。	
成績評価	講義内レポート　40％　テーマごとに理解度の確認と疑問点の整理をします（2，3回、各Ａ4一枚程度）；期末試験　60％　講義全体をふまえた内容で3000字程度。詳細は講義中に連絡。	
履修資格		

科目名	電子と化学結合	２単位　後期
担当教員	松岡　純	
授業概要	化学は、原子間の結合の生成や切断と、その結果生じる物質の性質とに関する学問である。物理化学はその中で、様々な化学反応や物性の中に普遍的・統一的な解釈を与える役割を担い、化学そのものの他に材料科学、エネルギー工学、地球科学など広い分野と関連し、工学部で物質やエネルギー学ぶ基礎となる。本講では物理化学の基盤を構成する3分野（量子化学、熱力学、反応速度論）の中で、化学結合と物質構造を扱う量子化学の基本概念の理解を目指す。	
到達目標	(1)電子の波動関数のもつ意味について説明できること。 (2)原子の電子構造について波動関数の考えを用いて説明できること。 (3)原子間の共有結合について波動関数の考えを用いて説明できること。 (4)様々な化学結合について，それらの概要を説明できること。	

2011（平成23）年度以前入学生用

テキスト 指定図書 参考書	テキスト：正畠宏祐 著「化学の基礎 －化学結合の理解」（化学同人）指定図書：長倉三郎 他編「岩波 理化学辞典 第5版」（岩波書店）参 考 書：オドワイヤー 他著、鳥居泰男 他訳「入門化学結合」（培風館） ウインター著、西本吉助訳「フレッシュマンのための化学結合論」（化学同人）（教科書と参考書はほぼ同じ内容を扱っていますが，説明の順序や方法が異なります。参考書は図書館にありますので，教科書を読んでもしっくりこないという人は，これらを読んでみて下さい。）
成績評価	期末筆記試験（80％） 波としての電子を扱う見方の基礎，原子の電子構造と周期表の概要，共有結合の構造と電子の状態，様々な化学結合の概要への理解を問う。 宿題（20％） 毎週の講義内容を理解できていること。
履修資格	

科目名	天然物化学基礎	２単位　前期
担当教員	灘本　知憲　・　佐野　光枝	
授業概要	化学と人間生活の関わり、特に食での関わりを考える上で必要な、化学の基礎知識を扱う。	
到達目標	これまで十分に化学を学んでこなかった人も念頭に置いて、専門領域での生物・化学的発展と実践に必要な最低限の基礎化学を学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：北原ら著「食を中心とした化学」（東京教学社）	
成績評価	小テスト20％，期末試験80％。予め配布する「講義のねらい」に記載された分野、項目の理解度を見る。	
履修資格		

科目名	比較宗教論	２単位　前期
担当教員	小河　久志※	
授業概要	近年、宗教復興とよばれる現象が世界各地で顕在化しているように、宗教は現代社会を理解する上で無視できないものとなっている。この授業では、統一性と多様性という視点から、世界宗教を中心とする宗教一般について理解を深めることを目的とする。授業の前半部は、世界宗教を中心にその起源と発展の歴史、基本的な考え方などについて講義する。後半部では、東南アジアを事例に日常生活に根付く宗教のあり様について検討する。なお、受講生の理解を深めるため適宜、テーマに関連する映像資料を使用する。	
到達目標	世界宗教を中心とする宗教一般に関する基本的な知識を獲得する。 複眼的、相対的な視点から宗教を理解する力を身に付ける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義時に配布するプリント 指定図書：なし 参考書：講義中に適宜紹介する	
成績評価	期末試験（70％）とレスポンスペーパー（30％）により総合的に判断します。	
履修資格		

科目名	比較文化論（環境政策・計画）	２単位　後期
担当教員	楊　平※	
授業概要	日本の琵琶湖と中国の太湖周辺に住む人々の生活文化に焦点をあてて環境と人間との関わりを考えていく。	
到達目標	具体的な事例を紹介しながら、環境に対する人間の働きかけの基底にある文化の役割について理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：鳥越皓之著『環境社会学―生活者の立場から考える』（東京大学出版社）参考書：嘉田由紀子編『水辺ぐらしの環境学―琵琶湖と世界の湖から』昭和堂	

成績評価	5回程度のレポートを総合して評価する。
履修資格	

2011（平成23）年度以前入学生用

科目名	ファシリテーション技法	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	環境政策・計画に関する会議の場では、参加者が互いの立場や価値観の違いを理解し、利害を調整しながら合意に向かうことが求められる。この時、議論に介入し、参加者の相互理解や合意形成を支援するファシリテーターには、会議の場の設計や議論の基本的なルール、参加者の気づきの促進、議論の流れの整理といった知識や技術が要求される。本講義では、こうしたファシリテーション技法を基礎から学び、行政における計画策定の会議だけでなく、企業における戦略立案会議や研修、学校教育、各種プロジェクトの組織活性化などにおいて応用できる幅広い技術を身につける。	
到達目標	合意形成を目的とした会議の場を設計し、議論のルールを設定できる力を養う。また、参加型会議のプログラムを作成し、これにのっとって会議を運営するとともに、参加者の相互理解や合意を促すための技法を用いる力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回の講義でプリント配布.指定図書：中野民夫著「ファシリテーション革命」（岩波書店），浅海義治他著「参加のデザイン道具箱PART Ⅰ～Ⅲ」（世田谷まちづくりセンター）	
成績評価	課題の取組40％、小テスト40％、レポート20％（ディベート課題の採点項目：情報収集やプレゼン準備の状況、ディベートへの参加状況とその内容. ファシリテーション課題の採点項目：プログラムの企画力と準備の状況、ワークショップへの参加状況、ファシリテーターとしての運営力）※グループ作業を行うため遅刻は厳禁（遅刻は減点の対象）	
履修資格	本講義は、「ファシリテーション技法演習」と同時に履修すること	

科目名	ファシリテーション技法演習	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	環境問題に関する会議の場では、異なる利害や価値観を抱えた多様な主体が議論を通じて合意を図る。ファシリテーターがこのような場で利害調整や相互理解を支援し、ファシリテーション技能を発揮するには、議論に関する基本的な能力が欠かせない。また、習得したファシリテーションの知識を、実践的な訓練を通じて素養として身につけていることが求められる。本演習では、ディベートと実社会を想定した複数のワークショップを通じ、ファシリテーションの技法を体得する。	
到達目標	議論に関する基礎的能力として、情報収集と整理、論理的思考と批判的考察、根拠に基づくプレゼンテーションを行うことができる力を養う。また、様々な実社会の場面において、ファシリテーション技法を選択的に発揮することができる力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：中野民夫著「ファシリテーション革命」（岩波書店）浅海義治他著「参加のデザイン道具箱PART Ⅰ～Ⅲ」（世田谷まちづくりセンター）	
成績評価	課題の取組40％、小テスト40％、レポート20％（ディベート課題の採点項目：情報収集やプレゼン準備の状況、ディベートへの参加状況とその内容. ファシリテーション課題の採点項目：プログラムの企画力と準備の状況、ワークショップへの参加状況、ファシリテーターとしての運営力）※グループ作業を行うため遅刻は厳禁（遅刻は減点の対象）	
履修資格	本演習は、「ファシリテーション技法」と同時に履修すること	

科目名	合意形成支援技法	２単位　前期
担当教員	金谷　健	
授業概要	廃棄物最終処分場の立地場所の選定、望ましい街づくりのありかた、などなど、環境問題では合意形成が必要な場面が非常に多い。しかし現実には、こうした合意形成が合理的になされていないことが少なくない。そこでこの授業では、関係者（市民、行政、企業など）の合意形成を支援する技法のいくつかについて、その目的や手順を理解することを、ねらいとする。対象技法は、要素抽出技法（ブレーンストーミング法、ブレーンライティング法）、代替案評価技法（衆目評価法、AHP法）および問題構造化技法（ISM法）である。	
到達目標	対象技法について、理解し、ある程度使えるようにすることを到達目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特になし（資料配付）	
成績評価	小レポート点16％、大レポート点75％、他グループ評価点9％。なお特段の事情（病気等）がない限り、5回以上欠席した者は、評価対象としない。	
履修資格		

科目名	合意形成支援技法演習	１単位　前期
担当教員	金谷　健	
授業概要	廃棄物最終処分場の立地場所の選定、望ましい街づくりのありかた、などなど、環境問題では合意形成が必要な場面が非常に多い。しかし現実には、こうした合意形成が合理的になされていないことが少なくない。そこでこの授業では、関係者（市民、行政、企業など）の合意形成を支援する技法のいくつかについて、その目的や手順を理解することを、ねらいとする。対象技法は、要素抽出技法（ブレーンストーミング法、ブレーンライティング法）、代替案評価技法（衆目評価法、AHP法）および問題構造化技法（ISM法）である。	
到達目標	対象技法について、理解し、ある程度使えるようにすることを到達目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特になし（資料配付）	
成績評価	小レポート点16％、大レポート点75％、他グループ評価点9％。なお特段の事情（病気等）がない限り、5回以上欠席した者は、評価対象としない。	
履修資格		

科目名	持続可能社会論	２単位　前期
担当教員	高橋　卓也　・　林　宰司	
授業概要	環境保全と両立する、持続可能な社会をつくるためには、あらかじめ持続可能社会の理想像を描き、そのような社会に向かって計画的に変革を進めていくのが望ましい。この講義では持続可能な社会が満たすべき要件とそのような社会を実現するための挑戦課題を考える。あわせて、経済学は自然をどのように扱ってきたかを回顧し、資源経済学・環境経済学・エコロジー経済学への導入とする。	
到達目標	各自が自分の「持続可能社会論」を確立すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし指定図書：講義の際に紹介する。参考書：講義の際に紹介する。	
成績評価	小テストの結果20％、期末試験の成績80パーセント。	
履修資格		

科目名	社会システム分析設計	２単位　後期
担当教員	近藤　隆二郎	
授業概要	環境社会を理解するためには、システム的発想やシステム思考が必須である。システム理論におけるモデル化の過程と手法について、事例を交えながら説明する。システム理論の理解と共に、実際にシステム分析を適用するための手法としてのモデル化過程の講義をおこなう。講義と平行して、実社会における事例を用いた分析演習を行う。例えば、コンビニエンスストアやレンタルショップなどを社会システムからみたらどのような仕組みになっているかなど。	
到達目標	(1)システム思考を体得すること。(2)社会事象をシステム的に解釈できるようになること。(3)社会システム的な観点から「発想」や「企画」ができるセンスを身に付けること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：必要に応じ、毎回の講義で配布する。参考書：飯尾「システム思考入門」（日本評論社），「環境システムーその理念と基礎方法ー」（共立出版社），大橋力「情報環境学」（朝倉書店）	
成績評価	課題提出状況30%　プレゼンテーション評価20%　課題評価50%	
履修資格	※『社会システム分析設計演習』と不可分に進めるため、両科目とも同時に履修すること。	

科目名	社会システム分析設計演習	１単位　後期
担当教員	近藤　隆二郎	
授業概要	『社会システム分析設計』で示したシステムモデル化の手法を、具体的事例を対象にしながら体得する。現実の社会事象からシステムを描き出すプロセスについて実践的に学ぶ。システムの関係性を解くための「発想法」およびモデル化の基礎となる「図（ダイアグラム）」の描き方を学ぶ。システムモデルを実践的に設計する手法として「企画法」について学び、その具体的な演習を通して、「図」を用いた企画提案書をプレゼンテーションする方法を学ぶ。各自の発想がどのように企画というフィルターを通って伝える表現となるかを学ぶ。	
到達目標	(1)発想法を使えること。(2)システム図を描いて仕組みを表現できること。(3)企画書を書いて自分の考えを相手に伝えること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：必要に応じ、毎回の講義で配布する。参考書：川喜多二郎「発想法」「続・発想法」（中公新書），星野匡「発想法入門」（日本経済新聞社），書店ビジネス書コーナーの「発想」「企画」関連書籍	
成績評価	課題提出状況30%　プレゼンテーション評価20%　課題評価50%	
履修資格		

科目名	社会心理学（人間関係）	２単位　前期
担当教員	柿本　敏克※	
授業概要	社会的影響の心理学というテーマで講義を行なう。社会心理学の目的は、社会の中での人間の思考・行動・態度について法則を追求することである。多くのテーマの中から、説得、同調性、服従、他者存在の効果などを取り上げ、これらの諸領域を社会的影響という観点から統一的に論じる。 人のもつ社会性の諸様相が理解できるであろう。	
到達目標	社会的影響についての認識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：【必須】白樫三四郎（編著）『社会心理学への招待』ミネルヴァ書房 指定図書：R. B. チャルディーニ『影響力の武器[第二版]ーなぜ、人は動かされるのか』誠信書房	
成績評価	小レポート30%, 最終レポート70%　（15回の授業のうち3分の2以上出席したものを評価の対象とする。）	
履修資格		

科目名	心理学基礎	２単位　前期
担当教員	竹下　秀子	
授業概要	現代心理学の基本的なテーマについて解説する。人間の行動の仕組みや行動の予測、制御のメカニズム、人間発達の原理や人格形成の理論などをとりあげる。	
到達目標	人間の心の働きへの科学的アプローチが可能なこと、心が人間関係や社会文化のなかで発達進化することを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：長谷川寿一他著『はじめて出会う心理学』（有斐閣）	
成績評価	期末試験（50％）とレポート（50％）等による。	
履修資格		

科目名	組織とネットワークの社会学	２単位　後期
担当教員	伊原　亮司※	
授業概要	この講義では、経営組織の理論と労働のあり方の歴史的変遷を学ぶ。生産現場はまさに経済的な富を生み出す本源的な場であり、社会的にみて非常に重要な場である。と同時に、われわれ諸個人にとっても軽視できない場といえる。なぜなら、労働者の多くは、1日の半分以上の時間を何十年にも渡って労働現場で過ごすからであり、生涯にわたる労働生活を通して自分自身をも形成しているからである。本講義では、こうした意味で軽視できない生産現場に焦点を当てて、現場における組織と労働実態を歴史の流れの中で理解していくことを目指す。	
到達目標	経営組織の歴史から管理の本質を理解する	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは使用しない。レジュメを配る。参考文献は講義内でそのつど指示する。	
成績評価	平常点及びレポート	
履修資格		

科目名	卒業研究（環境政策・計画）	６単位　通年
担当教員	学科教員	
授業概要	卒業論文作成に指導教員の指導をうけつつ挑んでいく。卒業論文の評価は、①オリジナリティ（新規性・独創性）、②有用性（利用できるか）、③論理性（論理が整然としているか）、④完結性（論文として完成しているか）できまる。	
到達目標	第1の目標は、学生が人生のある時期を環境政策・計画学科で四年間過した証＝人類の知に新たな知を追加したこと、を作ることである。第2に、学ぶとはどういうことなのか、学びの楽しさとは何か、を知ることである。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考書：必要に応じて、各ゼミで指示する	
成績評価	卒業論文評価　100％	
履修資格		

科目名	地域生活論	２単位　前期
担当教員	中塚　圭子※	
授業概要	この講義では、事例を中心に、従来の地縁社会としての〈地域〉の姿、それを補完する人と人のつながりの拡がりについてつぎの観点から考えます。 1)「地域での暮らし」「地域を守ろう」というけれども、そもそも〈地域〉とは、何なのか。受講生のみなさん個々人にとってどういうものと理解されているのか。 2)被災地・者支援を通して〈地域〉と私の関係を考える。 3)「老・病・障がい」の視点から〈地域〉を考える。 4)子どもが育つ場としての〈地域〉を考える。 これらの討議を踏まえ、「私にとっての〈地域〉」を再考します。	
到達目標	〈地域〉を受講者個々人が私との関係として捉え直し、地域福祉の仕組み、個人のライフステージや障害による変化を受け支えるネットワークの大切さを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜プリント配布	
成績評価	毎時間のミニレポート30％、最終の課題レポート40％、授業への積極的参加30%で評価する。（従って、課題レポートのみの提出では単位認定しない。）	
履修資格		

科目名	哲学概論Ａ	２単位　前期
担当教員	鞍田　崇※	
授業概要	哲学というと、難解なものというイメージがあるかもしれません。しかし、哲学の原点はあくまで私たちの日常生活。あたりまえのように営まれている日々の暮らしの「あたりまえさ」に対して、何かがちがうという感覚を抱いたとき――それが哲学の始まり。哲学的なまなざしは、現在、あらためてその意義が注目されているものでもあります。その大きな理由は、地球環境問題に対する認識の深まり、そしてそれにともなうライフスタイルへの関心。この講義ではこうした点に留意しつつ、アート、デザイン、建築、民俗、宗教など様々なジャンルを手がかりに、いっしょにこれからの暮らしの「かたち」を考えていきます。	
到達目標	現代思想において問われていることの意味と歴史的背景を理解すること。しかし何よりもこの講義の目的は、みなさん一人ひとりが「哲学する」ことのきっかけをつかんでいただくことにあります。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『＜民藝＞のレッスン－つたなさの技法』（鞍田崇編／フィルムアート社／1,700円＋税） 参考書:講義の中で適宜紹介します。	
成績評価	講義内レポート　40％　テーマごとに理解度の確認と疑問点の整理をします（2，3回、各A4一枚程度）；期末試験　60％　講義全体をふまえた内容で3000字程度。詳細は講義中に連絡。	
履修資格		

科目名	電子と化学結合	２単位　後期
担当教員	松岡　純	
授業概要	化学は、原子間の結合の生成や切断と、その結果生じる物質の性質とに関する学問である。物理化学はその中で、様々な化学反応や物性の中に普遍的・統一的な解釈を与える役割を担い、化学そのものの他に材料科学、エネルギー工学、地球科学など広い分野と関連し、工学部で物質やエネルギー学ぶ基礎となる。本講では物理化学の基盤を構成する3分野（量子化学、熱力学、反応速度論）の中で、化学結合と物質構造を扱う量子化学の基本概念の理解を目指す。	
到達目標	(1)電子の波動関数のもつ意味について説明できること。 (2)原子の電子構造について波動関数の考えを用いて説明できること。 (3)原子間の共有結合について波動関数の考えを用いて説明できること。 (4)様々な化学結合について，それらの概要を説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:正畠宏祐 著「化学の基礎 －化学結合の理解」（化学同人）指定図書:長倉三郎 他編「岩波 理化学辞典 第5版」（岩波書店）参 考 書:オドワイヤー 他著、鳥居泰男 他訳「入門化学結合」（培風館）　ウインター著、西本吉助訳「フレッシュマンのための化学結合論」（化学同人）（教科書と参考書はほぼ同じ内容を扱っていますが，説明の順序や方法が異なります。参考書は図書館にありますので，教科書を読んでもしっくりこないという人は，これらを読んでみて下さい。）	
成績評価	期末筆記試験（80％）波としての電子を扱う見方の基礎，原子の電子構造と周期表の概要，共有結合の構造と電子の状態，様々な化学結合の概要への理解を問う。 宿題（20％）毎週の講義内容を理解できていること。	
履修資格		

科目名	天然物化学基礎	２単位　前期
担当教員	灘本　知憲　・　佐野　光枝	
授業概要	化学と人間生活の関わり、特に食での関わりを考える上で必要な、化学の基礎知識を扱う。	
到達目標	これまで十分に化学を学んでこなかった人も念頭に置いて、専門領域での生物・化学的発展と実践に必要な最低限の基礎化学を学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：北原ら著「食を中心とした化学」（東京教学社）	
成績評価	小テスト20％，期末試験80％。予め配布する「講義のねらい」に記載された分野、項目の理解度を見る。	
履修資格		

科目名	比較宗教論	２単位　前期
担当教員	小河　久志※	
授業概要	近年、宗教復興とよばれる現象が世界各地で顕在化しているように、宗教は現代社会を理解する上で無視できないものとなっている。この授業では、統一性と多様性という視点から、世界宗教を中心とする宗教一般について理解を深めることを目的とする。授業の前半部は、世界宗教を中心にその起源と発展の歴史、基本的な考え方などについて講義する。後半部では、東南アジアを事例に日常生活に根付く宗教のあり様について検討する。なお、受講生の理解を深めるため適宜、テーマに関連する映像資料を使用する。	
到達目標	世界宗教を中心とする宗教一般に関する基本的な知識を獲得する。 複眼的、相対的な視点から宗教を理解する力を身に付ける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義時に配布するプリント 指定図書：なし 参考書：講義中に適宜紹介する	
成績評価	期末試験（70％）とレスポンスペーパー（30％）により総合的に判断します。	
履修資格		

科目名	比較文化論（環境政策・計画）	２単位　後期
担当教員	楊　平※	
授業概要	日本の琵琶湖と中国の太湖周辺に住む人々の生活文化に焦点をあてて環境と人間との関わりを考えていく。	
到達目標	具体的な事例を紹介しながら、環境に対する人間の働きかけの基底にある文化の役割について理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：鳥越皓之著『環境社会学―生活者の立場から考える』（東京大学出版社）参考書：嘉田由紀子編『水辺ぐらしの環境学―琵琶湖と世界の湖から』昭和堂	
成績評価	5回程度のレポートを総合して評価する。	
履修資格		

科目名	ファシリテーション技法	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	環境政策・計画に関する会議の場では、参加者が互いの立場や価値観の違いを理解し、利害を調整しながら合意に向かうことが求められる。この時、議論に介入し、参加者の相互理解や合意形成を支援するファシリテーターには、会議の場の設計や議論の基本的なルール、参加者の気づきの促進、議論の流れの整理といった知識や技術が要求される。本講義では、こうしたファシリテーション技法を基礎から学び、行政における計画策定の会議だけでなく、企業における戦略立案会議や研修、学校教育、各種プロジェクトの組織活性化などにおいて応用できる幅広い技術を身につける。	
到達目標	合意形成を目的とした会議の場を設計し、議論のルールを設定できる力を養う。また、参加型会議のプログラムを作成し、これにのっとって会議を運営するとともに、参加者の相互理解や合意を促すための技法を用いる力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回の講義でプリント配布.指定図書：中野民夫著「ファシリテーション革命」（岩波書店），浅海義治他著「参加のデザイン道具箱PART Ⅰ～Ⅲ」（世田谷まちづくりセンター）	
成績評価	課題の取組40％、小テスト40％、レポート20％（ディベート課題の採点項目：情報収集やプレゼン準備の状況、ディベートへの参加状況とその内容. ファシリテーション課題の採点項目：プログラムの企画力と準備の状況、ワークショップへの参加状況、ファシリテーターとしての運営力）※グループ作業を行うため遅刻は厳禁（遅刻は減点の対象）	
履修資格	本講義は、「ファシリテーション技法演習」と同時に履修すること	

科目名	ファシリテーション技法演習	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	環境問題に関する会議の場では、異なる利害や価値観を抱えた多様な主体が議論を通じて合意を図る。ファシリテーターがこのような場で利害調整や相互理解を支援し、ファシリテーション技能を発揮するには、議論に関する基本的な能力が欠かせない。また、習得したファシリテーションの知識を、実践的な訓練を通じて素養として身につけていることが求められる。本演習では、ディベートと実社会を想定した複数のワークショップを通じ、ファシリテーションの技法を体得する。	
到達目標	議論に関する基礎的能力として、情報収集と整理、論理的思考と批判的考察、根拠に基づくプレゼンテーションを行うことができる力を養う。また、様々な実社会の場面において、ファシリテーション技法を選択的に発揮することができる力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：中野民夫著「ファシリテーション革命」（岩波書店）浅海義治他著「参加のデザイン道具箱PART Ⅰ～Ⅲ」（世田谷まちづくりセンター）	
成績評価	課題の取組40％、小テスト40％、レポート20％（ディベート課題の採点項目：情報収集やプレゼン準備の状況、ディベートへの参加状況とその内容. ファシリテーション課題の採点項目：プログラムの企画力と準備の状況、ワークショップへの参加状況、ファシリテーターとしての運営力）※グループ作業を行うため遅刻は厳禁（遅刻は減点の対象）	
履修資格	本演習は、「ファシリテーション技法」と同時に履修すること	

３　工学部科目履修の手引

1.　工学部の学習・教育目標について

科学技術の進歩は､人類に豊かな生活とグローバルな物の流通と人の交流をもたらしたが､その反面、科学技術がもたらす地球環境問題が顕在化してきています。

工学部では、材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科の３学科において、持続可能な社会を実現するための「ものづくり」を通じて、自然と共生できるより豊かな社会、より暮らしやすい社会の構築に向けて、我が国および地域の産業のリーダーになれる技術者、また世界的な視野をもって社会に貢献できる各専門分野の技術者の育成を目指しています。そのための学習・教育目標として次の事項を掲げています。

１）人間社会の深い理解と豊かな人間性を身につけるとともに、科学技術が自然環境に与える影響を理解する

２）工学の幅広い基礎知識の習得と、それを基礎として工業技術の高度化、先端化、複合化に対応できる専門知識と先端技術を身につけ、課題を解決する応用力を養う

３）実験、実習、演習などの実践教育を通して、明確な目的意識を持ち、自主的な学習姿勢と独創的な思考力を習得する

４）世界的立場から工学を眺めることができる広い視野と、環境問題に配慮した新しい技術を創出できる豊かな創造力を養う

５）日本語による論理的な記述、表現の力を身につけるとともに、学際的な交流ができ、国際的に活躍できるコミュニケーション能力を身につける

６）技術者として目的意識を持ち、自主的、計画的に仕事を進める能力を身につける

これらの学習・教育目標を達成するために、各学科では、それぞれ学科の学習・教育目標を設定しています。

2.　科目の履修について

（１）　全学共通科目の履修について

各学科の科目配当表に示すように、主に１年次、２年次に配当されていますので、内容などについては全学共通科目の項目を参照してください。

（２）　専門科目の履修について

各学科の専門科目については、「科目配当表」に各年次の順に科目名を示しています。科目名の後に単位数、配当期を前：前期、後：後期、通：通年の記号で示しています。低学年では、講義や実験は学部共通基礎科目が中心になり、２年次、３年次になると各学科の基礎科目が配当されています。必修の科目は当然履修しなければなりませんが、選択の専門科目もなるべく広い範囲にわたって受講することが望まれます。

他学部専門科目および規定単位数以外の全学共通科目の履修は、あわせて６単位を限度として、専門科目の卒業要件単位に算入することができます。ただし、他学部開設科目の履修は科目を担当する教員の指示を受けてください。工学部他学科、その他履修に関する詳細については各学科の指示を受けてください。

３年次、４年次では、学科専門科目が配当されています。これらの中で卒業研究以外は選択科目ですが、広い視野を持つために様々な分野の科目を広範囲で積極的に受講することを勧めます。

また、最終学年では、卒業研究が必修で、各研究室に配属されて研究の進め方を学び、最先端の研究の一端を担うことになります。

なお教職免許取得など各種資格取得を希望する場合は、「資格取得等の手引」を参照してください。

以上の科目について、各学科における卒業に必要な必修科目、単位数など、卒業要件に注意して履修を検討してください。

3. 工学部卒業要件

2013（平成 25）年度入学生適用の卒業要件です。2012（平成 24）年度以前入学生は、入学年次の卒業要件が適用されますので、入学年次の「履修の手引」の卒業要件に従ってください。

（１） **全学共通科目**（計３０単位以上）　必修１８単位、選択必修１２単位以上

①全学共通基礎科目　　１８単位以上

第一外国語	英語（ＩＡ～ⅣＢ）　８単位(必修)　（平成２４年度以降入学生）
	英語（Ⅰ～Ⅳ）　８単位(必修)　（平成２３年度以前入学生）
第二外国語	ドイツ語（ＩＡ～ⅡＢ）、フランス語（ＩＡ～ⅡＢ）、中国語（ＩＡ～ⅡＢ）、朝鮮語（ＩＡ～ⅡＢ）、のうちから４単位以上（選択必修） ただし、「第二外国語ⅡＡ・ⅡＢは「実用英語演習ＩＡ・ＩＢ」で代替可（平成２４年度以降入学生） ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、朝鮮語Ⅰ・Ⅱのうちから４単位以上（選択必修）（平成２３年度以前入学生）
情報処理	情報リテラシー（情報倫理を含む）、情報科学概論　４単位（必修）
保健体育	健康・体力科学Ⅰ・Ⅱ　２単位(必修)

②人間学　　１２単位以上（「環境マネジメント総論」と「人間探求学」は必修）

（２）**専門科目**　学部共通基礎科目・複数学科共通科目・学科基礎科目・学科専門科目　１００単位以上

合計　　１３０単位以上

註１：他学部専門科目および全学共通科目あわせて６単位を限度とし、専門科目として卒業要件単位に算入することができます。ただし、他学部開設科目の履修を希望するときは、その科目を担当する教員の指示を受けてください。

註２：卒業要件の詳細については各学科の項を見てください。

註３：修得した単位が卒業要件を満たしていないが、卒業要件に不足している単位に係わる科目が当該年度に履修登録された専門必修講義科目（除外科目あり）１科目のみであるものには、教授会の議を経て、不足科目の再試験を認める場合があります。

4.　自己学習について

本学では、15～45 時間の授業をもって 1 単位としています。例えば、1 時限の授業が 15 回（1 学期は 15 週の授業で構成）で 2 単位の講義科目は、1 時限（90 分）を 2 時間相当としている（ただし、次ページ以降の表中の授業科目別授業時間は実際の授業時間です）ため、授業時間が 30 時間であり、15 時間の授業で 1 単位です。また、同様の授業で 1 単位の演習科目は、30 時間の授業で 1 単位です。しかし、大学設置基準には、1 単位の授業科目は 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とすると定められています。従って、大学での授業だけでは不足しており、学生はその不足分（1 単位あたり 45 時間と実際の授業時間との差）の自己学習（予習・復習、等）を各自行う必要があります。例えば、上記の講義科目に必要な自己学習時間は 60 時間であり、演習科目に必要な自己学習時間は 15 時間です。

以上のことを考慮して、工学部では学生の自己学習時間確保のための取り組みを組織的に行っており、その一環として、主要科目では、宿題やレポート、授業中に行う演習や小テストの予習，等を課すことにしています。それらの具体的な内容は、各授業科目のシラバスに記載されていますので、そちらを参照して下さい。

なお、シラバスに記載されている指示は最低限ですので、実際にはそれ以上の自己学習が必要です。また、シラバスに自己学習に関する具体的な指示がない授業科目（専門科目だけでなく全学共通科目も含みます）についても、学生の自己学習を前提とした講義が行われます。いずれにしろ、大学設置基準に定められた必要学修時間と授業時間との差の学修時間は、みなさんが各自の自己学習により補うことが必要であることに注意して下さい。

材料科学科　学習・教育目標

Ａ　人間と社会・自然の関係についての理解

Ａ－１　「人間」という存在を深く見つめ，人間と環境・社会の関係について多様な側面から深く理解することにより，技術のあり方を考えて人類の幸福へ向けた技術発展を担える能力を養う。

Ａ－２　人間の活動が人間・社会・自然に及ぼす影響，および，技術者が社会に対して負っている責任について理解する能力を養う。

Ｂ　英語や他の外国語で意思疎通を行える基礎的能力と，与えられた課題について英語により情報の発信をできるコミュニケーション基礎能力を養う。

Ｃ　工学の基礎となる数学，自然科学，情報科学および情報処理についての理解と活用力を養う。

Ｄ　工学の幅広い分野について理解した上で，材料科学の基礎および各種材料の構造・機能・製造プロセスについて理解し応用できる能力を養う。

Ｄ－１　工学とその基礎となる学問の幅広い分野について理解し，技術について俯瞰的に見ることが出来る能力を養う。

Ｄ－２　材料の構造や機能，これらの解析方法，および材料製造プロセスについて，金属，セラミックス，有機材料，高分子材料に共通する基本的な知識を身につけ，材料開発，プロセス開発に応用する能力を養う。

Ｄ－３　様々な材料の反応性，製造プロセス，機能性について，その構造との関連を理解し，材料設計およびプロセス設計へと活用できる能力を養う。

Ｅ　自然科学および技術に関連する現象を定量的に扱い，データを解析できる能力を養う。

Ｆ　実験を計画的に遂行し，得られたデータをもとに現象について考察し，論理的に記述できる能力を養う。

Ｇ　卒業研究などを通じて，自主的，継続的に学習できる能力を養う。

Ｈ　与えられた制約の下で，自ら計画を立てて仕事を進め，まとめあげる能力を養う。

Ｉ　自らの伝えたい内容を文章および口頭で，論理的で正確かつ判り易く伝えるコミュニケーション能力を養う。

材料科学科　授業科目別授業時間および各授業科目の学習・教育目標一つ一つに対する関与の程度（その1）

区分		授業科目名	単位数	必修・選択等の別	学年・学期	合計時間数（時間）	授業時間（時間）							学習・教育目標に対する関与の程度											
									専門分野																
							人文科学社会科学語学	数学自然科学情報技術	材料の構造と性質	材料のプロセス	材料機能設計利用	実験の計画実行解析	その他専門	A1	A2	B	C	D1	D2	D3	E	F	G	H	I
全学共通科目	全学共通基礎科目	英語ⅠA（留学生は必修でない）	1	必修	1・前期	22.5	22.5									◎									
		英語ⅠB（留学生は必修でない）	1	必修	1・後期	22.5	22.5									◎									
		英語ⅡA（留学生は必修でない）	1	必修	1・前期	22.5	22.5									◎									
		英語ⅡB（留学生は必修でない）	1	必修	1・後期	22.5	22.5									◎									
		英語ⅢA（留学生は必修でない）	1	必修	2・前期	22.5	22.5									◎									
		英語ⅢB（留学生は必修でない）	1	必修	2・後期	22.5	22.5									◎									
		英語ⅣA（留学生は必修でない）	1	必修	2・前期	22.5	22.5									◎									
		英語ⅣB（留学生は必修でない）	1	必修	2・後期	22.5	22.5									◎									
		ドイツ語ⅠA	1	選択	1・前期	22.5	22.5									○									
		ドイツ語ⅠB	1	選択	1・後期	22.5	22.5									○									
		ドイツ語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5									○									
		ドイツ語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5									○									
		フランス語ⅠA	1	選択	1・前期	22.5	22.5									○									
		フランス語ⅠB	1	選択	1・後期	22.5	22.5									○									
		フランス語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5									○									
		フランス語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5									○									
		中国語ⅠA	1	選択	1・前期	22.5	22.5									○									
		中国語ⅠB	1	選択	1・後期	22.5	22.5									○									
		中国語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5									○									
		中国語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5									○									
		朝鮮語ⅠA	1	選択	1・前期	22.5	22.5									○									
		朝鮮語ⅠB	1	選択	1・後期	22.5	22.5									○									
		朝鮮語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5									○									
		朝鮮語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5									○									
		初習英語ⅠA（留学生のみ）	1	選択	1・前期	22.5	22.5									○									
		初習英語ⅠB（留学生のみ）	1	選択	1・後期	22.5	22.5									○									
		初習英語ⅡA（留学生のみ）	1	選択	2・前期	22.5	22.5									○									
		初習英語ⅡB（留学生のみ）	1	選択	2・後期	22.5	22.5									○									
		日本語ⅠA（留学生のみ）	1	選択	1・前期	22.5	22.5									○									
		日本語ⅠB（留学生のみ）	1	選択	1・後期	22.5	22.5									○									
		日本語ⅡA（留学生のみ）	1	選択	1・前期	22.5	22.5									○									
		日本語ⅡB（留学生のみ）	1	選択	1・後期	22.5	22.5									○									
		日本語ⅢA（留学生のみ）	1	選択	2・前期	22.5	22.5									○									
		日本語ⅢB（留学生のみ）	1	選択	2・後期	22.5	22.5									○									
		日本語ⅣA（留学生のみ）	1	選択	2・前期	22.5	22.5									○									
		日本語ⅣB（留学生のみ）	1	選択	2・後期	22.5	22.5									○									
		リスニング（中級）	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5									○									
		リーディング（中級）	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5									○									
		英語会話（中級）	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5									○									
		ディベート＆ディスカッション	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5									○									
		英語表現法	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5									○									
		エッセイ・ライティング	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5									○									
		留学英語対策講座Ⅰ	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5									○									
		留学英語対策講座Ⅱ	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5									○									
		ビジネス英語	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5									○									
		時事英語	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5									○									
		メディアの英語	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5									○									
		実用英語演習ⅠA	1	選択	2・前期	22.5	22.5									○									
		実用英語演習ⅠB	1	選択	2・後期	22.5	22.5									○									
		情報科学概論	2	必修	1・後期	22.5		22.5									◎								
		情報リテラシー（情報倫理を含む）	2	必修	1・前期	22.5		22.5									◎								
		健康・体力科学Ⅰ	1	必修	1・後期	22.5	22.5							○											
		健康・体力科学Ⅱ	1	必修	2・前期	22.5	22.5							○											

平成24年度以前入学生については各入学年次の履修の手引を参照のこと。

材料科学科　授業科目別授業時間および各授業科目の学習・教育目標一つ一つに対する関与の程度（その2）

区分		授業科目名	単位数	必修・選択等の別	学年・学期	合計時間数(時間)	授業時間（時間）							学習・教育目標に対する関与の程度									
									専門分野														
							人文科学社会科学語学	数学自然科学情報技術	材料の構造と性質	材料のプロセス	材料機能設計利用	実験の計画実行解析	その他専門	A1	A2	B	C	D1	D2	D3	E	F	G	H	I
全学共通科目	人間学	環境マネジメント総論	2	必修	1・前期	22.5	22.5								◎									
		人間探求学	2	必修	1・前期	22.5	22.5							◎										
		自然保護論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		滋賀の自然史	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		持続的農業論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		びわこ環境行政論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		材料史	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		機械技術と人間	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		現代経済論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		差別と人権（同和問題）	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		比較文明論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		比較都市論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		近江文化論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		こころのテクノロジー	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		異文化理解A	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		異文化理解B	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		人間と病気	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		セルフケア論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		人間にとって環境とは何か	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		若者の健康と栄養	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		地元学入門	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		自然科学の視点	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		空間計画論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		電子社会と人間	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		比較住居論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		生命・人間・倫理	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		社会福祉論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		植物の病気	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		性を考える	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		地域探求学	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		国際協力論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		多文化共生論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		農業問題入門	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		国際環境マネジメント	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		ビジネス・マネジメント入門	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		自然現象のしくみ	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		水環境政策論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		栄養と人間	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		明日から使える食のテクニック	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		生活と健康	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		人間の行動と空間	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		現代社会と若者	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		憲法	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		Medieval Japan	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5							○										
		Modernizing Japan	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										
		地域づくり人材論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5							○										

平成24年度以前入学生については各入学年次の履修の手引を参照のこと。

材料科学科　授業科目別授業時間および各授業科目の学習・教育目標一つ一つに対する関与の程度（その3）

区分		授業科目名	単位数	必修・選択等の別	学年・学期	合計時間数（時間）	授業時間（時間）							学習・教育目標に対する関与の程度											
							人文科学社会科学語学	数学自然科学情報技術	専門分野					A1	A2	B	C	D1	D2	D3	E	F	G	H	I
									材料の構造と性質	材料のプロセス	材料機能設計利	実験の計画実行	その他専門												
専門科目	学部共通基礎科目	材料科学概論	2	必修	1・前	22.5			4.5	3	15							◎							
		機械システム工学概論	2	選択	1・前	22.5					3		20					◎							
		電子システム工学概論	2	選択	1・前	22.5					3		20					◎							
		微積分Ⅰ	2	必修	1・前	22.5		22.5									◎								
		微積分Ⅱ	2	選択	1・後	22.5		22.5									◎								
		線形代数Ⅰ	2	必修	1・前	22.5		22.5									◎								
		線形代数Ⅱ	2	選択	1・後	22.5		22.5									◎								
		確率統計	2	選択	1・後	22.5		15					7.5				◎								
		基礎力学	2	必修	1・前	22.5		22.5									◎								
		基礎電磁気学	2	必修	1・後	22.5		22.5									◎								
		基礎化学	2	必修	1・前	22.5		15	7.5								◎								
		分析化学	2	必修	1・前	22.5		15	7.5								◎								
		電子と化学結合	2	必修	1・後	22.5			22.5								◎								
		分析・環境化学実験（コンピュータ活用を含む）	2	必修	1・前	45		22.5	22.5						○		○					◎		○	○
		基礎電気電子回路	2	選択	1・後	22.5							23					◎							
		微積分続論	2	選択	2・前	22.5		22.5										◎							
		微分方程式	2	選択	2・前	22.5		15					7.5					◎							
		工業数学	2	選択	2・後	22.5		15					7.5					◎							
		物理学実験（コンピュータ活用を含む）	2	必修	2・後	45		45									◎				○	○			
		科学技術英語	2	必修	3・前	22.5	4.5		6	6	6					◎		○	○	○					○
		技術者倫理	2	選択	3・後	22.5	13.5						9		◎										
		工業数理	2	選択	4・前	22.5		7.5					15					◎							
		産業技術マネジメント	2	選択	4・後	22.5	9						14		◎										
		プログラミング基礎	2	選択	2・前	22.5		22.5									○								
	※	無機化学Ⅰ	2	必修	2・前	22.5			22.5											◎					
		材料力学Ⅰ	2	選択	2・前	22.5					7.5		15						◎						
		化学工学	2	選択	2・後	22.5				23								◎			○				
	学科基礎科目	基礎熱力学	2	必修	1・後	22.5			22.5										◎						
		基礎結晶学	2	必修	1・後	22.5			22.5										◎						
		有機化学Ⅰ	2	必修	1・後	22.5			3	6	14									◎					
		化学熱力学	2	必修	2・前	22.5			9	14									◎						
		反応速度論	2	必修	2・後	22.5				23									◎						
		無機化学Ⅱ	2	選択	2・後	22.5			18	4.5										◎					
		有機化学Ⅱ	2	必修	2・前	22.5			3	6	14									◎					
		有機化学Ⅲ	2	必修	2・後	22.5			3	6	14									◎					
		機器分析Ⅰ	2	選択	2・前	22.5			22.5										◎						
		生化学Ⅰ	2	選択	2・後	22.5			10.5	12										◎					
		定量・機器分析および同実験（コンピュータ活用を含む）	2	必修	2・前	45			15			30									◎	○		○	○
		物理化学総合および同演習	2	必修	2・後	22.5			9	14									◎		○				
		有機化学総合および同演習	2	必修	2・後	22.5			3	6	14									◎					
		電気化学	2	選択	3・前	22.5			7.5	7.5	7.5								◎						
		分子・統計力学	2	選択	3・後	22.5			18		4.5								◎						
		固体物性基礎	2	選択	3・前	22.5			7.5	7.5	7.5								◎						
		有機化学Ⅳ	2	選択	3・前	22.5			7.5	7.5	7.5									◎					
		機器分析Ⅱ	2	選択	3・前	22.5			16.5			6							◎						
		生化学Ⅱ	2	選択	3・前	22.5			7.5	7.5	7.5									◎					
		材料計算化学および同演習	2	選択	3・前	22.5			15		7.5								◎		○				
		材料科学実験	6	必修	3・通	180			15	15	15	135									○	○	○	◎	○
	学科専門科目	金属材料	2	選択	3・後	22.5			10.5		12									◎					
		セラミックス材料	2	選択	3・後	22.5			7.5	7.5	7.5									◎					
		エネルギー・界面科学	2	選択	3・後	22.5			7.5	3	12									◎					
		高分子合成	2	選択	3・前	22.5			10.5	6	6									◎					
		高分子物性	2	選択	3・後	22.5			3	7.5	12									◎					
		環境調和化学	2	選択	3・後	22.5			7.5	7.5	7.5				○					◎					
		材料量子論	2	選択	3・後	22.5			12		11									◎					
		材料開発工学	2	選択	3・前	22.5			3	4.5	15							◎							
		先端材料科学	2	選択	3・後	22.5			7.5	7.5	7.5									◎					
		材料組織学	2	選択	4・前	22.5			7.5	7.5	7.5									◎					
		材料強度物性	2	選択	4・前	22.5			10.5	3	9									◎					
		複合材料	2	選択	4・前	22.5			7.5	7.5	7.5									◎					
		無機工業材料	1	選択	4・後	12					12									◎					
		有機工業材料	1	選択	4・後	12				6	6									◎					
		有機量子化学	1	選択	4・後	12			4.5	4.5	3									◎					
		卒業研究	8	必修	4・通	90	3		12	12	12	51				○				○	○	○	◎	○	○

※複数学科共通科目

工学部他学科科目

区分		授業科目名	単位数	必修・選択等の別	学年・学期	合計時間数(時間)	授業時間(時間)							学習・教育目標に対する関与の程度											
									専門分野																
							人文科学社会科学語学	数学自然科学情報技術	材料の構造と性質	材料のプロセス	材料機能設計利用	実験の計画実行解析	その他専門	A1	A2	B	C	D1	D2	D3	E	F	G	H	I
機械システム工学科専門科目	学科基礎科目	工業力学	2	選択	1・後期	22.5							23							○					
		機械製作	2	選択	1・後期	22.5							23							○					
		機械材料学	2	選択	2・後期	22.5							23					○		○					
		熱力学Ⅰ	2	選択	2・後期	22.5			11.5		11							○		○					
		流体力学Ⅰ	2	選択	2・後期	22.5							23						○	○					
		機械力学Ⅰ	2	選択	3・前期	22.5							23					○		○					
		制御工学Ⅰ	2	選択	3・前期	22.5							23							○					
		生産工学	2	選択	3・前期	22.5							23							○					
		材料力学Ⅱ	2	選択	2・後期	22.5			11		12							○		○					
		熱力学Ⅱ	2	選択	3・前期	22.5							23					○		○					
		流体力学Ⅱ	2	選択	3・前期	22.5							23						○	○					
		機械力学Ⅱ	2	選択	3・後期	22.5							23					○		○					
		制御工学Ⅱ	2	選択	3・後期	22.5						6	23						○	○					
		情報処理基礎	2	選択	3・前期	22.5						7.5	23					○							
		機械要素	2	選択	2・前期	22.5							23						○	○					
		伝熱学	2	選択	3・後期	22.5			10.5		12							○		○					
		計測工学	2	選択	3・後期	22.5							23							○					
		機械設計製図	2	選択	2・前期	67.5							68								○	○			
		機械設計演習Ⅰ	2	選択	2・後期	67.5							68								○	○			
		機械設計演習Ⅱ	2	選択	3・前期	67.5							68								○	○			
		機械設計演習Ⅲ	2	選択	3・後期	67.5							68								○	○			
	学科専門科目	統計熱力学	2	選択	3・前期	22.5			11		12									○					
		金属加工学	2	選択	3・前期	22.5			11		12									○					
		エネルギー変換工学	2	選択	3・後期	22.5			7.5	7.5	7.5									○					
		メカトロニクス	2	選択	3・後期	22.5							23							○					
		現代制御工学	2	選択	3・後期	22.5							23							○					
		動力システム	2	選択	4・前期	22.5							23							○					
		数値解析	2	選択	4・前期	22.5							23							○					
		システム工学	2	選択	4・前期	22.5							23							○					
		ロボット工学	2	選択	4・前期	22.5							23							○					
		特殊加工学	2	選択	4・前期	22.5			7.5	7.5	7.5		23							○					
電子システム工学科専門科目	学科基礎科目	電磁気学Ⅰ	2	選択	2・前期	22.5							23							○					
		電磁気学Ⅱ	2	選択	2・後期	22.5							23							○					
		電気回路Ⅰ	2	選択	2・前期	22.5							23							○					
		電気回路Ⅱ	2	選択	2・後期	22.5							23							○					
		電子回路Ⅰ	2	選択	2・後期	22.5							23							○					
		量子力学概論	2	選択	2・前期	22.5			22.5									○		○					
		物性デバイス基礎論	2	選択	2・後期	22.5			12	11									○	○					
		半導体基礎	2	選択	2・後期	22.5			12		11							○							
		コンピュータハードウェア	2	選択	2・後期	22.5							23							○	○				
		アルゴリズムとデータ構造	2	選択	2・前期	22.5							23							○	○				
		プログラミング言語	2	選択	2・後期	22.5							23							○	○				
		ディジタル信号処理	2	選択	2・後期	22.5							23							○	○				
		情報理論	2	選択	2・前期	22.5							23							○	○				
		電子システム工学実験Ⅰ	2	選択	2・前期	67.5							68							○		○			
		電子システム工学実験Ⅱ	2	選択	2・後期	67.5							68							○		○			
		電子システム工学演習Ⅰ	1	選択	2・前期	22.5							23					○				○			
		電子システム工学演習Ⅱ	1	選択	2・後期	22.5							23					○				○			
		電子回路Ⅱ	2	選択	3・前期	22.5							23							○	○				
		電気電子計測Ⅰ	2	選択	3・前期	22.5							23					○							
		電気電子計測Ⅱ	2	選択	3・後期	22.5							23					○							
		電気エネルギーシステム工学	2	選択	3・前期	22.5							23					○							
		半導体デバイス	2	選択	3・前期	22.5			7.5	7.5	7.5							○							
		制御工学	2	選択	3・前期	22.5							23					○							
		電力工学Ⅰ	2	選択	3・前期	22.5							23					○							
		電力工学Ⅱ	2	選択	3・後期	22.5							23					○							
		情報通信工学	2	選択	3・前期	22.5							23					○							
		コンピュータアーキテクチャ	2	選択	3・前期	22.5							23					○							
		数値解析・数値計算	2	選択	3・後期	22.5							23					○							
		コンピュータソフトウェア	2	選択	3・前期	22.5							23					○							
	学科専門科目	電磁波工学	2	選択	3・後期	22.5							23					○							
		電気機器	2	選択	3・後期	22.5							23					○							
		応用電子機器	2	選択	3・後期	22.5							23					○							
		集積回路設計基礎	2	選択	3・後期	22.5							23					○							
		電子デバイス	2	選択	3・後期	22.5			7.5		5		23					○							
		マルチメディア	2	選択	3・後期	22.5							23					○							
		インターネット工学	2	選択	3・後期	22.5							23					○							
		集積化プロセス工学	2	選択	4・前期	22.5			7.5	7.5	7.5							○							
		プラズマ工学	2	選択	4・前期	22.5			11.5	7								○							
		パワーエレクトロニクス	2	選択	4・前期	22.5			10.5	6	6							○							
		光エレクトロニクス	2	選択	4・前期	22.5			10.5	6	6							○							
		ロボット工学	2	選択	4・前期	22.5							23					○							
		電気関係法規・施設管理	2	選択	4・後期	22.5							23					○							

材料科学科　学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ

※1　英語必修。ただし、留学生は、英語および日本語から選択必修。
※2　ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、初習英語（留学生のみ）、英語（留学生のみ）、日本語（留学生のみ）から選択必修。

工学部材料科学科卒業要件

【2013（平成25）年度入学生】

(1) **全学共通科目**（計30単位以上） 必修18単位 選択必修12単位以上		
①全学共通基礎科目 18単位以上		
第一外国語	英語（ＩＡ～ⅣＢ）	８単位（必修）（平成２４年度以降入学生）
	英語（Ｉ～Ⅳ）	８単位（必修）（平成２３年度以前入学生）
第二外国語	ドイツ語（ＩＡ～ⅡＢ）、フランス語（ＩＡ～ⅡＢ）、中国語（ＩＡ～ⅡＢ）、朝鮮語（ＩＡ～ⅡＢ）のうちから４単位以上（選択必修） ただし、「第二外国語ⅡＡ・ⅡＢ」は「実用英語演習ＩＡ・Ｂ」で代替可（平成２４年度以降入学生）	
	ドイツ語Ｉ・Ⅱ、フランス語Ｉ・Ⅱ、中国語Ｉ・Ⅱ、朝鮮語Ｉ・Ⅱのうちから４単位以上（選択必修）（平成２３年度以前入学生）	
情報処理	情報リテラシー（情報倫理を含む）2単位（必修）［平成22年度以降入学生用］ 情報処理演習Ｉ 1単位（必修）［平成21、20年度入学生用］ 情報科学概論 2単位（必修） 情報処理演習Ⅱ 1単位（必修）［平成21、20年度入学生用］	
保健体育	健康・体力科学Ｉ・Ⅱ 2単位（必修）	
②人間学	12単位以上（「環境マネジメント総論」と「人間探求学」は必修）	

(2) **専門科目**	学部共通基礎科目・複数学科共通科目・ 学科基礎科目・学科専門科目 必修58単位，選択42単位以上	（計100単位以上）
①必修	科目配当表に指定する科目	58単位
②選択	科目配当表に指定する科目および工学部他学科配当表記載の科目から	42単位以上

合計　130単位以上

註1：
外国人留学生の外国語の履修については次の通りとする。第一外国語は、英語ＩＡ～ⅣBまたは日本語ＩＡ～ⅣBから選択必修（8単位）。第二外国語は、ドイツ語ＩＡ～ⅡB、フランス語ＩＡ～ⅡB、中国語ＩＡ～ⅡB、朝鮮語ＩＡ～ⅡB、実用英語演習ＩＡ･B、初習英語ＩＡ～ⅡB、英語ＩＡ～ⅣB、日本語ＩＡ～ⅣBから選択必修（4単位以上）。詳しくは、全学共通科目履修の手引に記載の「外国人留学生等の外国語履修について」を参照のこと。

註2：
他学部専門科目および全学共通科目あわせて6単位を限度とし，専門科目として卒業要件単位に算入することができる。ただし，他学部開設科目の履修を希望するときは，その科目を担当する教員の指示を受けること。

【平成19年度以前入学生】

平成19年度以前入学生は入学年次の卒業要件が適用されますので，入学年次の「履修の手引」の卒業要件に従ってください。

工学部材料科学科　年次別科目配当表
（1）2013（平成25）年度入学生

区　分		1 年 次	2 年 次
全学共通科目	全学共通基礎 （留学生はP.14参照）	◎英語ⅠA・ⅠB　各1前後 ◎英語ⅡA・ⅡB　各1前後 ○第二外国語ⅠA・ⅠB　各1前後 独語・仏語・中国語・朝鮮語・※1初習英語 ◎情報リテラシー（情報倫理を含む）　※2　2前 ◎情報科学概論　※2　2後 ◎健康・体力科学Ⅰ　1後	◎英語ⅢA・ⅢB　各1前後 ◎英語ⅣA・ⅣB　各1前後 ○第二外国語 ⅡA・ⅡB　各1前後 独語・仏語・中国語・朝鮮語・※1初習英語 ○実用英語演習ⅠA・ⅠB　各1前後 ◎健康・体力科学 Ⅱ　1前
	人 間 学	◎環境マネジメント総論　2前 ◎人間探求学　2前	
		上記必修科目以外の人間学科目から、４年間で８単位選択必修	

※1　初習英語Ⅰ・Ⅱは入学前に英語を履修したことがない外国人留学生を対象としています。（詳細については、P. 14、67、68参照）
※2　平成21年度以前入学生に対しては、「◎情報処理演習Ⅰ」（必修1単位）に読み替えます。
※3 平成21年度以前入学生に対しては、「◎情報処理演習Ⅱ」（必修1単位）に読み替えます。

専門科目	学部共通基礎	◎材料科学概論（奥 廣川）　2前 機械システム工学概論　2前 （安田寿　山根　南川　高松　栗田　中川 ） 電子システム工学概論（稲葉）　2前 ◎微積分Ⅰ（松下）　2前 微積分Ⅱ（谷口）　2後 ◎線形代数Ⅰ（谷口）　2前 線形代数Ⅱ（山口）　2後 確率統計（木村）　2後 ◎基礎力学（山根）　2前 ◎基礎電磁気学（作田）　2後 ◎基礎化学（北村）　2前 ◎分析化学（秋山）　2前 ◎電子と化学結合（松岡）　2後 基礎電気電子回路（岸根）　2後 ◎分析・環境化学実験（コンピュータ活用を含む）　2前 （秋山 山下 谷本 鈴木 竹原 伊田 ）	微積分続論（谷口）　2前 微分方程式（山口）　2前 工業数学（松下）　2後 ◎物理学実験（コンピュータ活用を含む）　2後 （田中他　田邉　近藤千　福岡　木村） プログラミング基礎（宮城）　※3　2前
	複数学科共通		材料力学Ⅰ（田邉）　2前 化学工学（田門　牧）　2後 ◎無機化学Ⅰ（松岡）　2前
	学科基礎	◎基礎熱力学（奥）　2後 ◎基礎結晶学（宮村）　2後 ◎有機化学Ⅰ（北村）　2後	◎化学熱力学（山下）　2前 ◎反応速度論（徳満）　2後 無機化学Ⅱ（ジャヤデワン）　2後 ◎有機化学Ⅱ（廣川・伊田）　2前 ◎有機化学Ⅲ（北村）　2後 生化学Ⅰ（竹原）　2後 機器分析Ⅰ（徳満）　2前 ◎物理化学総合および同演習　2後 （宮村，秋山，吉田，山下） ◎有機化学総合および同演習　2後 （谷本，鈴木，竹原，伊田） ◎定量・機器分析および同実験（コンピュータ活用を含む）　2前 （宮村 近藤 吉田 徳満 井上 山田（明））
	学科専門		

◎:必修　○:選択必修　無印:選択

	3 年 次	4 年 次	配当単位数
全学 共通 基礎 (留学生は P.14参照)	リスニング(中級) 2前 リーディング(中級) 2後 英語会話(中級) 2後 ディベート&ディスカッション 2前 英語表現法 2前 エッセイ・ライティング 2後	留学英語対策講座Ⅰ 2後 留学英語対策講座Ⅱ 2後 ビジネス英語 2後 時事英語 2後 メディアの英語 2前	必修 14 選択必修 18 選択 22
人 間 学			必修 4 選択必修 88

学部 共通 基礎	◎科学技術英語(学科教授全員) 2前 技術者倫理(廣川　中川　乾) 2後	工業数理(松下) 2前 産業技術マネジメント(安田昌　他) 2後	必修 22 選択 24
複数 学科 共通			必修 2 選択 4
学科 基礎	電気化学(秋山) 2前 分子・統計力学(松岡) 2後 固体物性基礎(奥) 2前 有機化学Ⅳ(井上) 2前 生化学Ⅱ(竹原) 2前 機器分析Ⅱ(谷本) 2前 材料計算化学および同演習 2前 (井上　近藤　鈴木　松本) ◎材料科学実験 6通 (学科教員)		必修 26 選択 20
学科専門	金属材料(ジャヤデワン) 2後 セラミックス材料(吉田) 2後 エネルギー・界面科学(奥) 2後 高分子物性(徳満) 2後 高分子合成(谷本) 2前 環境調和化学(廣川) 2後 材料開発工学 2前 (室園　辻井　白鳥　鳥羽　学科教員) 材料量子論(近藤) 2後 先端材料科学(学科教員全員) 2後	材料組織学(宮村) 2前 材料強度物性(吉田) 2前 複合材料(山下) 2前 有機量子化学(井上) 1後 無機工業材料(宮村　吉田　鈴木) 1後 有機工業材料(廣川) 1後 ◎卒業研究(学科教員全員) 8通	必修 8 選択 27

材料科学科　平成20年度以降入学生からのカリキュラム変更による専門科目読み替え表

19年度以前入学者配当の専門科目は，20年度は2～4年次配当科目，21年度は3～4年次配当科目，22年度は4年次配当科目のみが開講されます。これら以外の科目については，その科目にこの表で対応する20年度以降入学者配当科目を履修してください。

なお，19年度以前入学者配当科目で下表に記載の無い

◎材料科学概論，機械システム工学概論，◇微積分Ⅰ，◇微積分Ⅱ，△線形代数Ⅰ，△線形代数Ⅱ，分析化学，◎分析・環境化学実験（コンピュータ活用を含む），微積分続論，工業数学，◎無機化学Ⅰ，無機化学Ⅱ，材料力学Ⅰ，◎物理学実験（コンピュータ活用を含む），◎定量・機器分析および同実験，化学工学，機器分析Ⅰ，機器分析Ⅱ，生化学Ⅰ，生化学Ⅱ，高分子合成，分子・統計力学，環境調和化学，金属材料，セラミックス材料，高分子物性，複合材料，材料量子論，材料強度物性，◎材料科学実験，材料組織学，◎卒業研究

については，同じ科目名の20年度以降入学者用科目に読み替えます。ただし，必修／選択の区分については，各人の入学年度における区分が適用されます。

20年度以降入学者配当科目		19年度以前入学者配当科目
1・前	◎基礎力学	○物理学C，　○物理学A
1・前	◎基礎化学	◎基礎有機化学
1・前	電子システム工学概論	―
1・後	◎電子と化学結合	◎基礎物理化学
1・後	◎基礎電磁気学	○物理学B
1・後	◎基礎熱力学	◎物理化学ＡⅠ
1・後	◎基礎結晶学	結晶構造解析
1・後	◎有機化学Ⅰ	◎有機化学ＡⅠ
1・後	確率統計	基礎数学
1・後	基礎電気電子回路	基礎電子回路
2・前	◎化学熱力学	◎物理化学ＡⅡ
2・前	◎有機化学Ⅱ	◎有機化学ＡⅡ
2・前	微分方程式	数学演習B
2・後	◎有機化学総合および同演習	◎有機化学演習
2・後	◎物理化学総合および同演習	◎環境安全化学
2・後	◎反応速度論	物理化学ＢⅠ
2・後	◎有機化学Ⅲ	有機化学ＢⅠ
3・前	◎科学技術英語	◎材料外国語演習
3・前	電気化学	物理化学ＢⅡ
3・前	固体物性基礎	環境材料
3・前	有機化学Ⅳ	有機化学ＢⅡ
3・前	材料計算化学および同演習	生体機能化学
3・前	材料開発工学	電子材料
3・後	先端材料科学	先端材料科学および演習
3・後	エネルギー・界面科学	界面科学
3・後	技術者倫理	―
4・前	工業数理	―
4・前	有機量子化学	高分子機能材料
4・後	有機工業材料	
4・後	無機工業材料	―
4・後	産業技術マネジメント	産業マネジメント

注1）科目名の前の◎は必修科目を表します。19年度以前入学者配当科目の科目名の前の◇，△，○は選択必修科目を表します。

注2）19年度以前入学者が20年度以降入学者用科目で「高分子機能材料」の単位を取得するには，「有機量子化学」と「有機工業材料」の両方の単位を取得することが必要です。

注3）19年度以前入学者が「電子システム工学概論」，「技術者倫理」，「工業数理」，「無機工業材料」を履修しても卒業単位にはなりません。

注4）19年度以前入学者に配当している「有機工業化学」と「無機材料物性」は，20年度以降入学者用科目による読み替えを行いません。

注5）平成15年度以前の入学者については，平成19年度以前入学者の科目配当表の注4にある読み替え規定も，上記の表による読み替えと共に適用されます。

機械システム工学科　学習･教育目標

私たちの生活は，多くの機械により支えられている。この機械を開発・設計・製造するのが，機械技術者の仕事である。本機械システム工学科では，自然環境に調和し人間社会を持続的に発展させる新しい時代の「ものづくり」を担う良識を備えかつ実践的な機械技術者の育成を目指して，次の学習・教育目標を定める。

教養に関して

A　自然環境，社会，人間に関する理解，および技術の役割に関する理解

A−1　自然環境，社会，人間について，地球的視点や地域の視点，さまざまな立場から多面的に理解し，幅広く深い教養を身につける。

A−2　技術が，自然環境，社会，人間に及ぼす影響を理解して，技術者が負っている責任を自覚する。

B　国際コミュニケーション能力：国際的にコミュニケーションできる基礎能力を身につける。

専門に関して

C　工学基礎：数学，力学，電磁気学，化学，情報技術に関する基礎学力を修得し，これらを機械工学に応用できる能力を養成する。

D　機械システム工学専門科目：機械工学の基礎である材料と構造，エネルギー，流れ，力と運動，計測制御，生産技術に関する基礎学力を修得する。

D−1　機械工学の概要を学習し，機械工学の基礎を修得するとともに，機械工学全般を見渡せる能力を育成する。

D−2　機械工学の基礎である材料と構造，エネルギー，流れ，力と運動，計測制御，生産技術に関する学力を修得する。

D−3　講義で学んだ知識を，実験・実習・演習を通してより具体的に理解し，ものづくりに応用できる能力を養成する。

E　デザイン能力：社会が要求する実際的な課題を，種々の専門知識を活用して解決する実践的なデザイン能力を養成する。

社会人基礎力に関して

F　日本語コミュニケーション能力：自分の意見を論理的に整理し相手にわかりやすく伝える力，相手の意見を聴き理解する力を養う。

G　主体性・継続的学習能力：自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む力，継続的に自己啓発と学習を続けていく力を身につける。

H　計画力・実行力：課題の解決への道筋を明らかにする力，目標に向け確実に行動する力を身につける。

機械システム工学科　授業科目別授業時間および各授業科目の学習・教育目標目標一つ一つに対する関与の程度（その1）

区分		授業科目名	単位数	必修・選択等の別	学年・学期	合計時間数（時間）	授業時間数（時間）			学習・教育目標との対応 ◎：各目標と関係の深い科目 ○：各目標と関係する科目										
							人文社会語学	数学自然科学情報技術	専門分野	A1	A2	B	C	D1	D2	D3	E	F	G	H
全学共通科目	全学共通基礎科目	英語ⅠA（留学生は必修でない）	1	必修	1・前期	22.5	22.5					◎								
		英語ⅠB（留学生は必修でない）	1	必修	1・後期	22.5	22.5					◎								
		英語ⅡA（留学生は必修でない）	1	必修	1・前期	22.5	22.5					◎								
		英語ⅡB（留学生は必修でない）	1	必修	1・後期	22.5	22.5					◎								
		英語ⅢA（留学生は必修でない）	1	必修	1・前期	22.5	22.5					◎								
		英語ⅢB（留学生は必修でない）	1	必修	1・後期	22.5	22.5					◎								
		英語ⅣA（留学生は必修でない）	1	必修	1・前期	22.5	22.5					◎								
		英語ⅣB（留学生は必修でない）	1	必修	1・後期	22.5	22.5					◎								
		ドイツ語ⅠA	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○								
		ドイツ語ⅠB	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○								
		ドイツ語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○								
		ドイツ語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○								
		フランス語ⅠA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○								
		フランス語ⅠB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○								
		フランス語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○								
		フランス語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○								
		中国語ⅠA	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○								
		中国語ⅠB	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○								
		中国語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○								
		中国語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○								
		朝鮮語ⅠA	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○								
		朝鮮語ⅠB	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○								
		朝鮮語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○								
		朝鮮語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○								
		初習英語ⅠA（留学生のみ）	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○								
		初習英語ⅠB（留学生のみ）	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○								
		初習英語ⅡA（留学生のみ）	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○								
		初習英語ⅡB（留学生のみ）	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○								
		日本語ⅠA（留学生のみ）	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○								
		日本語ⅠB（留学生のみ）	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○								
		日本語ⅡA（留学生のみ）	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○								
		日本語ⅡB（留学生のみ）	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○								
		日本語ⅢA（留学生のみ）	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○								
		日本語ⅢB（留学生のみ）	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○								
		日本語ⅣA（留学生のみ）	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○								
		日本語ⅣB（留学生のみ）	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○								
		リスニング（中級）	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5					○								
		リーディング（中級）	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○								
		英語会話（中級）	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○								
		ディベート＆ディスカッション	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5					○								
		英語表現法	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5					○								
		エッセイ・ライティング	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○								
		留学英語対策講座Ⅰ	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○								
		留学英語対策講座Ⅱ	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○								
		ビジネス英語	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○								
		時事英語	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○								
		メディアの英語	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5					○								
		実用英語演習ⅠA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○								
		実用英語演習ⅠB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○								
		情報科学概論	2	必修	1・後期	22.5		22.5					◎							
		情報リテラシー（情報倫理を含む）	2	必修	1・前期	22.5		22.5					◎							
		健康・体力科学Ⅰ	1	必修	1・後期	22.5	22.5			○										
		健康・体力科学Ⅱ	1	必修	2・前期	22.5	22.5			○										

平成24年度以前入学生については各入学年次の履修の手引を参照のこと。

機械システム工学科　授業科目別授業時間および各授業科目の学習・教育目標目標一つ一つに対する関与の程度（その2）

区分		授業科目名	単位数	必修・選択等の別	学年・学期	合計時間数（時間）	授業時間数（時間）			学習・教育目標との対応 ◎：各目標と関係の深い科目 ○：各目標と関係する科目										
							人文社会語学	数学自然科学情報技術	専門分野	A1	A2	B	C	D1	D2	D3	E	F	G	H
全学共通科目	人間学	環境マネジメント総論	2	必修	1・前期	22.5	22.5				◎									
		人間探求学	2	必修	1・前期	22.5	22.5			◎								○		
		自然保護論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		滋賀の自然史	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		持続的農業論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		びわこ環境行政論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		材料史	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		機械技術と人間	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		現代経済論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		差別と人権（同和問題）	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		比較文明論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		比較都市論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		近江文化論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		こころのテクノロジー	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		異文化理解A	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		異文化理解B	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		人間と病気	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		セルフケア論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		人間にとって環境とは何か	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		若者の健康と栄養	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		地元学入門	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		自然科学の視点	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		空間計画論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		電子社会と人間	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		比較住居論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		生命・人間・倫理	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		社会福祉論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		植物の病気	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		性を考える	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		地域探求学	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		国際協力論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		多文化共生論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		農業問題入門	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		国際環境マネジメント	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		ビジネス・マネジメント入門	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		自然現象のしくみ	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		水環境政策論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		栄養と人間	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		明日から使える食のテクニック	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		生活と健康	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		人間の行動と空間	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		現代社会と若者	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		憲法	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		Medieval Japan	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○										
		Modernizing Japan	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										
		地域づくり人材論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○										

平成24年度以前入学生については各入学年次の履修の手引を参照のこと。

機械システム工学科　授業科目別授業時間および各授業科目の学習・教育目標目標一つ一つに対する関与の程度（その3）

区分		授業科目名	単位数	必修・選択等の別	学年・学期	合計時間数（時間）	授業時間数（時間）				学習・教育目標との対応 ◎：各目標と関係の深い科目 ○：各目標と関係する科目										
							人文社会語学	数学自然科学情報技術	専門分野	その他の専門	A1	A2	B	C	D1	D2	D3	E	F	G	H
専門科目	学部共通基礎科目	機械システム工学概論	2	必修	1・前期	22.5			22.5						◎						
		材料科学概論	2	選択	1・前期	22.5				22.5				◎							
		電子システム工学概論	2	選択	1・前期	22.5				22.5				◎							
		微積分Ⅰ	2	必修	1・前期	22.5		22.5						◎							
		微積分Ⅱ	2	必修	1・後期	22.5		22.5						◎							
		微分方程式	2	必修	2・前期	22.5		22.5						◎							
		線形代数Ⅰ	2	必修	1・前期	22.5		22.5						◎							
		線形代数Ⅱ	2	選択	1・後期	22.5		22.5						◎							
		確率統計	2	必修	1・後期	22.5		22.5						◎							
		基礎力学	2	必修	1・前期	22.5		22.5						◎							
		基礎電磁気学	2	必修	1・後期	22.5		22.5						◎							
		基礎化学	2	必修	1・前期	22.5		22.5						◎							
		分析化学	2	選択	1・前期	22.5		22.5						◎							
		電子と化学結合	2	選択	1・後期	22.5				22.5				◎							
		分析・環境化学実験	2	選択	2・前期	45		45						◎			○				
		基礎電気電子回路	2	選択	1・後期	22.5				22.5				◎							
		微積分続論	2	選択	2・前期	22.5		22.5						◎							
		工業数学	2	選択	2・後期	22.5		22.5						◎							
		物理学実験	2	必修	1・後期	45		45						◎	○		○		○		
		科学技術英語	2	必修	3・前期	22.5	22.5						◎		○	○					
		技術者倫理	2	必修	3・後期	22.5	22.5					◎									
		工業数理	2	選択	4・前期	22.5		22.5						◎							
		産業技術マネジメント	2	選択	4・後期	22.5	22.5					◎									
		プログラミング基礎	2	選択	2・前期	22.5		22.5						○							
	※	化学工学	2	選択	2・後期	22.5				22.5				◎							
		材料力学Ⅰ	2	必修	2・前期	22.5			22.5						○	◎					
	学科基礎科目	機械システム工学セミナー	2	選択	1・前期	67.5		67.5							○				○	◎	
		工業力学	2	必修	1・後期	22.5			22.5						○	◎					
		機械製作	2	必修	1・後期	22.5			22.5						○	◎					
		機械材料学	2	必修	2・後期	22.5			22.5							◎					
		熱力学Ⅰ	2	必修	2・後期	22.5			22.5						○	◎					
		流体力学Ⅰ	2	必修	2・後期	22.5			22.5						○	◎					
		機械力学Ⅰ	2	必修	3・前期	22.5			22.5						○	◎					
		制御工学Ⅰ	2	必修	3・前期	22.5			22.5							◎					
		生産工学	2	必修	3・前期	22.5			22.5							◎					
		材料力学Ⅱ	2	選択	2・後期	22.5			22.5							◎					
		熱力学Ⅱ	2	選択	3・前期	22.5			22.5							◎					
		流体力学Ⅱ	2	選択	3・前期	22.5			22.5							◎					
		機械力学Ⅱ	2	選択	3・後期	22.5			22.5							◎					
		制御工学Ⅱ	2	選択	3・後期	22.5			22.5							◎					
		情報処理基礎	2	選択	3・前期	22.5			22.5							◎					
		機械要素	2	選択	2・前期	22.5			22.5							◎					
		伝熱学	2	選択	3・後期	22.5			22.5							◎					
		計測工学	2	選択	3・後期	22.5			22.5							◎					
		機械製作実習	2	必修	2・前期	67.5			67.5						○		◎				
		機械設計製図	2	必修	2・前期	67.5			67.5								◎				
		機械設計演習Ⅰ	2	必修	2・後期	67.5			67.5								◎				
		機械設計演習Ⅱ	2	必修	3・前期	67.5			67.5								○	◎			
		機械設計演習Ⅲ	2	必修	3・後期	67.5			67.5								○	◎			
		機械システム工学実験Ⅰ	2	必修	3・前期	67.5			67.5								◎		○		○
		機械システム工学実験Ⅱ	2	必修	3・後期	67.5			67.5									◎		○	○
	学科専門科目	統計熱力学	2	選択	3・前期	22.5			22.5							◎					
		金属加工学	2	選択	3・前期	22.5			22.5							◎					
		エネルギー変換工学	2	選択	3・後期	22.5			22.5							◎					
		メカトロニクス	2	選択	3・後期	22.5			22.5							◎					
		現代制御工学	2	選択	3・後期	22.5			22.5							◎					
		動力システム	2	選択	4・前期	22.5			22.5							◎					
		数値解析	2	選択	4・前期	22.5			22.5					◎							
		システム工学	2	選択	4・前期	22.5			22.5							◎					
		ロボット工学	2	選択	4・前期	22.5			22.5							◎					
		特殊加工学	2	選択	4・前期	22.5			22.5							◎					
		卒業研究	8	必修	4・通年	90			90				○				○	○	○	◎	○

※複数学科共通科目

機械システム工学科　学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ

※1　英語必修。ただし、留学生は、英語および日本語から選択必修。

※2　ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、初習英語（留学生のみ）、英語（留学生のみ）、日本語（留学生のみ）から選択必修。

工学部機械システム工学科卒業要件

２０１３（平成２５）年度入学生適用の卒業要件です。２０１２（平成２４）年度以前入学生は入学年次の卒業要件が適用されますので、入学年次の「履修の手引」の卒業要件に従ってください。

（１）全学共通科目	（計30単位以上）　必修18単位、　選択必修12単位以上	
①全学共通基礎科目　18単位以上		
第一外国語	英語（ＩＡ～ⅣＢ）　８単位（必修）（平成２４年度以降入学生） 英語（Ｉ～Ⅳ）　８単位（必修）（平成２３年度以前入学生）	
第二外国語	ドイツ語（ＩＡ～ⅡＢ）、フランス語（ＩＡ～ⅡＢ）、中国語（ＩＡ～ⅡＢ）、朝鮮語（ＩＡ～ⅡＢ）のうちから４単位以上（選択必修） ただし、「第二外国語ⅡＡ・ⅡＢ」は「実用英語演習ＩＡ・Ｂ」で代替可（平成２４年度以降入学生） ドイツ語Ｉ・Ⅱ、フランス語Ｉ・Ⅱ、中国語Ｉ・Ⅱ、朝鮮語Ｉ・Ⅱのうちから４単位以上（選択必修）（平成２３年度以前入学生）	
情報処理	情報リテラシー（情報倫理を含む）2単位（必修） 情報科学概論　2単位（必修）	
保健体育	健康・体力科学Ｉ・Ⅱ　２単位（必修）	
②人間学	１２単位以上（「環境マネジメント総論」と「人間探求学」は必修）	

（２）専門科目	学部共通基礎科目・複数学科共通科目・ 学科基礎科目・学科専門科目 必修６６単位、選択３４単位以上	（計１００単位以上）
①必修	学科の科目配当表に指定する必修科目	６６単位
②選択	学科の科目配当表に指定する選択科目	２８単位以上

合　計　　１３０単位以上

註１：
外国人留学生の外国語の履修については次の通りとする。第一外国語は、英語ＩＡ～ⅣＢまたは日本語ＩＡ～ⅣＢから選択必修（８単位）。第二外国語は、ドイツ語ＩＡ～ⅡＢ、フランス語ＩＡ～ⅡＢ、中国語ＩＡ～ⅡＢ、朝鮮語ＩＡ～ⅡＢ、実用英語演習ＩＡ・Ｂ、初習英語ＩＡ～ⅡＢ、英語ＩＡ～ⅣＢ、日本語ＩＡ～ⅣＢから選択必修（４単位以上）。詳しくは、全学共通科目履修の手引に記載の「外国人留学生等の外国語履修について」を参照のこと。

註２：
工学部他学科専門科目、他学部専門科目および全学共通科目あわせて６単位を限度とし、専門科目として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部開設科目の履修を希望するときはその科目を担当する教員の指示を受けること。

機械システム工学科　年次別科目配当表

（1）2013（平成25）年度入学生

区　分		1 年 次	2 年 次
全学共通科目	全学共通基礎 （留学生はP.14参照）	◎英語ⅠA・ⅠB　各1前後 ◎英語ⅡA・ⅡB　各1前後 ○第二外国語ⅠA・ⅠB　各1前後 独語・仏語・中国語・朝鮮語・※1初習英語 ◎情報リテラシー（情報倫理を含む）※2　2前 ◎情報科学概論　※2　2後 ◎健康・体力科学Ⅰ　1後	◎英語ⅢA・ⅢB　各1前後 ◎英語ⅣA・ⅣB　各1前後 ○第二外国語 ⅡA・ⅡB　各1前後 独語・仏語・中国語・朝鮮語・※1初習英語 ○実用英語演習ⅠA・ⅠB　各1前後 ◎健康・体力科学 Ⅱ　1前
	人 間 学	◎環境マネジメント総論　2前 ◎人間探求学　2前	

※1　初習英語Ⅰ・Ⅱは入学前に英語を履修したことがない外国人留学生を対象としています。（詳細については、P. 14、67、68参照）
※2　平成２１年度以前入学生に対しては「情報処理演習Ⅰ」（必修1単位）に読み替えます。
※3　平成２１年度以前入学生に対しては「情報処理演習Ⅱ」（必修1単位）に読み替えます。

専門科目	学部共通基礎	材料科学概論(奥　廣川)　2前 電子システム工学概論（稲葉）　2前 ◎機械システム工学概論　2前 （安田寿　山根　南川　高松　栗田　中川 ） ◎確率統計(近藤千)　2後 ◎微積分Ⅰ（谷口）　2前 ◎微積分Ⅱ(松下)　2後 ◎線形代数Ⅰ（松下）　2前 線形代数Ⅱ（山口）　2後 ◎基礎力学（田中）　2前 ◎基礎電磁気学（福岡）　2後 ◎基礎化学（松岡）　2前 電子と化学結合（松岡）　2後 基礎電気電子回路(岸根)　2後 分析化学（秋山）　2前 ◎物理学実験　2後 （コンピュータ活用を含む） （田中他　田邉　近藤千　福岡　木村）	◎微分方程式（山口）　2前 微積分続論（谷口）　2前 工業数学（松下）　2後 分析・環境化学実験　2前 （コンピュータ活用を含む） （秋山　山下　谷本　竹原　鈴木　伊田） ◎プログラミング基礎（亀田）※3　2前
	複数学科共通		◎材料力学Ⅰ（高松）　2前 化学工学(田門　牧)　2後
	学科基礎	◎機械製作(中川)　2後 ◎工業力学（栗田）　2後 機械システム工学セミナー　2前 （高松　安田寿）	◎機械設計製図（高松）　2前 機械要素（小川）　2前 ◎熱力学Ⅰ（山根）　2後 ◎流体力学Ⅰ（南川）　2後 ◎機械材料学（高松　和泉）　2後 材料力学 Ⅱ（高松）　2後 ◎機械製作実習（河﨑　小川）　2前 ◎機械設計演習Ⅰ（南川 安田孝）　2後
	学科専門		
		1年次必修　22	2年次必修　18

◎:必修　○:選択必修　無印:選択

	3 年 次		4 年 次		配当単位数	
全学共通基礎 (留学生はP.14参照)	リスニング(中級) リーディング(中級) 英語会話(中級) ディベート&ディスカッション 英語表現法 エッセイ・ライティング	2前 2後 2後 2前 2前 2後	留学英語対策講座Ⅰ 留学英語対策講座Ⅱ ビジネス英語 時事英語 メディアの英語	2後 2後 2後 2後 2前	必修 選択必修 選択	14 18 22
人 間 学					必修 選択必修	4 88

学部共通基礎	◎科学技術英語(学科教員全員) ◎技術者倫理 (廣川　中川　乾)	2前 2後	工業数理(松下) 産業技術マネジメント(安田昌他)	2前 2後	必修 選択	26 22
複数学科共通					必修 選択	2 2
学科基礎	◎機械力学Ⅰ(栗田) ◎制御工学Ⅰ(安田寿) ◎生産工学(中川)(注1) 情報処理基礎(奥村) 熱力学Ⅱ(山根) 流体力学Ⅱ(南川) 機械力学Ⅱ(栗田 大浦) 制御工学Ⅱ(安田寿) 計測工学(近藤千) 伝熱学(安田孝) ◎機械設計演習Ⅱ(田邉　和泉) ◎機械設計演習Ⅲ(栗田　大浦) ◎機械システム工学実験Ⅰ (南川 大浦　近藤千 和泉) ◎機械システム工学実験Ⅱ (安田寿　河﨑　安田孝　小川)	2前 2前 2前 2前 2前 2前 2後 2後 2後 2後 2前 2後 2前 2後			必修 選択	30 20
学科専門	金属加工学(田中) 統計熱力学(河﨑) メカトロニクス(安田寿) エネルギー変換工学(河﨑) 現代制御工学(安田寿)	2前 2前 2後 2後 2後	動力システム(山根) 数値解析(安田孝) ロボット工学(作田) システム工学(未定)(注2) 特殊加工学(中川) ◎卒業研究(学科教員全員)	2前 2前 2前 2前 2前 8通	必修 選択	8 20
	3年次必修	18	4年次必修	8	専門必修	66

機械システム工学科配当の専門科目は、指定された配当学年よりも前の学年で履修することはできません。
(注1)平成21年度以前入学生は、「生産工学」を「生産工学Ⅰ」に読み替えます。
(注2)「システム工学」は平成25年度は開講しません。

電子システム工学科の学習・教育目標

A	人間存在と環境・社会について深く理解し，豊かな人間性を身につけること
A－1	人間の心身および人間と自然や社会とのかかわりなどについて，興味に応じて多面的に学習し，大学教養レベルの知識と複雑化・流動化していく現代社会の中で将来の指針を見出していく能力を身につけること
A－2	技術が環境や社会に与える影響や効果について理解し，技術者としての責任感と倫理観を身につけること
B	国際的に活躍する世界市民に必要な外国語によるコミュニケーション能力の基礎を身につけること
C	電子システム工学分野の基礎となる，大学工学部共通基礎レベルの数学，物理学，化学および情報処理技術に関する知識とそれらを応用する能力を身につけること
D	電子システム工学分野の幅広い基礎知識を習得し，さらにそれらを基礎として高度な専門知識を身につけること
D－1	電気・電子・情報工学をカバーする電子システム工学分野の幅広い技術について，大学工学部学科専門レベルの基礎知識とそれらを駆使して課題を探求し組み立て解決する能力を身につけること
D－2	電気・電子・情報工学をカバーする電子システム工学分野の幅広い技術の中から興味に応じて選択した個別技術について，大学工学部学科専門レベルの高度な専門知識とそれらを駆使して課題を探求し組み立て解決する能力を身につけること
E	電子システム工学分野の実験，実習の実践を通して，工学課題を設定・遂行・解決する能力を身につけること
E－1	電気・電子・情報工学をカバーする電子システム工学分野の幅広い技術について，大学工学部学科専門レベルの実験遂行能力と，結果の解析・考察・説明能力および報告書の作成能力を身につけること
E－2	電子システム工学分野の技術者に要求される実験計画能力と問題や課題を理解し設定する能力および与えられた制約下でそれらの問題や課題に対する工学的な解決法を見つけだして計画的に仕事を進め成果としてまとめるエンジニアリングデザイン能力と実行力を身につけること
F	自分の論点や考え方について論文や口頭でわかり易く論理的に発表しディスカッションを行う，日本語によるコミュニケーション能力を身につけること
G	技術者としての明確な目的意識を持ち，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけること

電子システム工学科　授業科目別授業時間および各授業科目の学習・教育目標一つ一つに対する関与の程度（その1）

区分		授業科目名	単位数	必修・選択等の別	学年・学期	合計時間数（時間）	授業時間（時間）学習内容の区分			学習・教育目標に対する関与の程度									
							人文科学社会科学語学	数学自然科学情報技術	専門分野	A－1	A－2	B	C	D－1	D－2	E－1	E－2	F	G
全学共通科目	全学共通基礎科目	英語ⅠA（留学生は必修でない）	1	必修	1・前期	22.5	22.5					◎							
		英語ⅠB（留学生は必修でない）	1	必修	1・後期	22.5	22.5					◎							
		英語ⅡA（留学生は必修でない）	1	必修	1・前期	22.5	22.5					◎							
		英語ⅡB（留学生は必修でない）	1	必修	1・後期	22.5	22.5					◎							
		英語ⅢA（留学生は必修でない）	1	必修	2・前期	22.5	22.5					◎							
		英語ⅢB（留学生は必修でない）	1	必修	2・後期	22.5	22.5					◎							
		英語ⅣA（留学生は必修でない）	1	必修	2・前期	22.5	22.5					◎							
		英語ⅣB（留学生は必修でない）	1	必修	2・後期	22.5	22.5					◎							
		ドイツ語ⅠA	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○							
		ドイツ語ⅠB	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○							
		ドイツ語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○							
		ドイツ語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○							
		フランス語ⅠA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○							
		フランス語ⅠB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○							
		フランス語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○							
		フランス語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○							
		中国語ⅠA	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○							
		中国語ⅠB	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○							
		中国語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○							
		中国語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○							
		朝鮮語ⅠA	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○							
		朝鮮語ⅠB	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○							
		朝鮮語ⅡA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○							
		朝鮮語ⅡB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○							
		初習英語ⅠA（留学生のみ）	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○							
		初習英語ⅠB（留学生のみ）	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○							
		初習英語ⅡA（留学生のみ）	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○							
		初習英語ⅡB（留学生のみ）	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○							
		日本語ⅠA（留学生のみ）	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○							
		日本語ⅠB（留学生のみ）	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○							
		日本語ⅡA（留学生のみ）	1	選択	1・前期	22.5	22.5					○							
		日本語ⅡB（留学生のみ）	1	選択	1・後期	22.5	22.5					○							
		日本語ⅢA（留学生のみ）	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○							
		日本語ⅢB（留学生のみ）	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○							
		日本語ⅣA（留学生のみ）	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○							
		日本語ⅣB（留学生のみ）	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○							
		リスニング（中級）	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5					○							
		リーディング（中級）	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○							
		英語会話（中級）	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○							
		ディベート＆ディスカッション	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5					○							
		英語表現法	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5					○							
		エッセイ・ライティング	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○							
		留学英語対策講座Ⅰ	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○							
		留学英語対策講座Ⅱ	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○							
		ビジネス英語	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○							
		時事英語	2	選択	3,4・後期	22.5	22.5					○							
		メディアの英語	2	選択	3,4・前期	22.5	22.5					○							
		実用英語演習ⅠA	1	選択	2・前期	22.5	22.5					○							
		実用英語演習ⅠB	1	選択	2・後期	22.5	22.5					○							
		情報科学概論	2	必修	1・後期	22.5		22.5					◎						
		情報リテラシー（情報倫理を含む）	2	必修	1・前期	22.5		22.5					◎						
		健康・体力科学Ⅰ	1	必修	1・後期	22.5	22.5			○									
		健康・体力科学Ⅱ	1	必修	2・前期	22.5	22.5			○									

平成24年度以前入学生については各入学年次の履修の手引を参照のこと。

電子システム工学科　授業科目別授業時間および各授業科目の学習・教育目標一つ一つに対する関与の程度（その2）

区分		授業科目名	単位数	必修・選択等の別	学年・学期	合計時間数（時間）	授業時間（時間） 学習内容の区分			学習・教育目標に対する関与の程度									
							人文科学 社会科学 語学	数学 自然科学 情報技術	専門分野	A－1	A－2	B	C	D－1	D－2	E－1	E－2	F	G
全学共通科目	人間学	環境マネジメント総論	2	必修	1・前期	22.5	22.5				◎								
		人間探求学	2	必修	1・前期	22.5	22.5			◎									
		自然保護論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		滋賀の自然史	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		持続的農業論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		びわこ環境行政論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		材料史	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		機械技術と人間	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		現代経済論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		差別と人権（同和問題）	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		比較文明論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		比較都市論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		近江文化論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		こころのテクノロジー	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		異文化理解A	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		異文化理解B	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		人間と病気	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		セルフケア論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		人間にとって環境とは何か	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		若者の健康と栄養	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		地元学入門	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		自然科学の視点	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		空間計画論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		電子社会と人間	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		比較住居論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		生命・人間・倫理	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		社会福祉論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		植物の病気	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		性を考える	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		地域探求学	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		国際協力論	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		多文化共生論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		農業問題入門	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		国際環境マネジメント	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		ビジネス・マネジメント入門	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		自然現象のしくみ	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		水環境政策論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		栄養と人間	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		明日から使える食のテクニック	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		生活と健康	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		人間の行動と空間	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		現代社会と若者	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		憲法	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		Medieval Japan	2	選択	1,–4・前期	22.5	22.5			○									
		Modernizing Japan	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									
		地域づくり人材論	2	選択	1,–4・後期	22.5	22.5			○									

平成２４年度以前入学生については各入学年次の履修の手引を参照のこと。

電子システム工学科　授業科目別授業時間および各授業科目の学習・教育目標一つ一つに対する関与の程度（その3）

区分		授業科目名	単位数	必修・選択等の別	学年・学期	合計時間数（時間）	授業時間（時間） 学習内容の区分			学習・教育目標に対する関与の程度									
							人文科学 社会科学 語学	数学 自然科学 情報技術	専門分野	A－1	A－2	B	C	D－1	D－2	E－1	E－2	F	G
専門科目	学部共通基礎科目	材料科学概論	2	選択	1・前期	22.5			22.5					○					
		機械システム工学概論	2	選択	1・前期	22.5			22.5					○					
		電子システム工学概論	2	必修	1・前期	22.5			22.5					◎					
		確率統計	2	必修	1・後期	22.5		22.5					◎						
		微積分Ⅰ	2	必修	1・前期	22.5		22.5					◎						
		微積分Ⅱ	2	必修	1・後期	22.5		22.5					◎						
		線形代数Ⅰ	2	必修	1・前期	22.5		22.5					◎						
		線形代数Ⅱ	2	選択	1・後期	22.5		22.5					○						
		基礎力学	2	必修	1・前期	22.5		22.5					◎						
		基礎電磁気学	2	必修	1・後期	22.5		22.5					◎						
		電子と化学結合	2	選択	1・後期	22.5		22.5					○						
		基礎化学	2	必修	1・前期	22.5		22.5					◎						
		分析化学	2	選択	1・前期	22.5		22.5					○						
		基礎電気電子回路	2	必修	1・後期	22.5		22.5					◎						
		物理学実験	2	必修	1・後期	45		45					◎						
		微積分続論	2	選択	2・前期	22.5		22.5					○						
		工業数学	2	必修	2・後期	22.5		22.5					◎						
		微分方程式	2	選択	2・前期	22.5		22.5					○						
		分析・環境化学実験	2	選択	2・前期	45		45					○						
		プログラミング基礎	2	必修	2・前期	22.5		22.5					◎						
		科学技術英語	2	必修	3・前期	22.5	22.5					◎							
		工業数理	2	選択	3・前期	22.5		22.5					○						
		技術者倫理	2	必修	3・後期	22.5	22.5				◎								
		産業技術マネジメント	2	選択	4・後期	22.5	22.5				○								
	※	無機化学Ⅰ	2	選択	2・前期	22.5		22.5					○						
	学科基礎科目	電子システム工学セミナー	2	選択	1・前期	67.5			67.5							○			○
		電磁気学Ⅰ	2	必修	2・前期	22.5			22.5					◎					
		電磁気学Ⅱ	2	選択	2・後期	22.5			22.5					○					
		電気回路Ⅰ	2	必修	2・前期	22.5			22.5					◎					
		電気回路Ⅱ	2	選択	2・後期	22.5			22.5					○					
		電子回路Ⅰ	2	必修	2・後期	22.5			22.5					◎					
		量子力学概論	2	選択	2・前期	22.5			22.5					○					
		物性デバイス基礎論	2	選択	2・後期	22.5			22.5					○					
		半導体基礎	2	必修	2・後期	22.5			22.5					◎					
		情報処理基礎	2	選択	2・前期	22.5			22.5					◯					
		コンピュータハードウェア	2	必修	2・後期	22.5			22.5					◎					
		アルゴリズムとデータ構造	2	必修	2・前期	22.5			22.5					◎					
		プログラミング言語	2	必修	2・後期	22.5			22.5					◎					
		ディジタル信号処理	2	選択	2・後期	22.5			22.5					○					
		情報理論	2	選択	2・前期	22.5			22.5					○					
		電子システム工学実験Ⅰ	2	必修	2・前期	67.5			67.5							◎			
		電子システム工学実験Ⅱ	2	必修	2・後期	67.5			67.5							◎			
		電子システム工学演習Ⅰ	1	必修	2・前期	22.5			22.5					◎					◎
		電子システム工学演習Ⅱ	1	必修	2・後期	22.5			22.5					◎					◎
		電子回路Ⅱ	2	必修	3・前期	22.5			22.5					◎					
		電気電子計測Ⅰ	2	必修	3・前期	22.5			22.5					◎					
		電気電子計測Ⅱ	2	選択	3・後期	22.5			22.5					○					
		電気エネルギーシステム工学	2	選択	3・前期	22.5			22.5					○					
		半導体デバイス	2	選択	3・前期	22.5			22.5					○					
		制御工学	2	選択	3・前期	22.5			22.5					○					
		電力工学Ⅰ	2	選択	3・前期	22.5			22.5					○					
		電力工学Ⅱ	2	選択	3・後期	22.5			22.5					○					
		情報通信工学	2	選択	3・前期	22.5			22.5					○					
		コンピュータアーキテクチャ	2	選択	3・前期	22.5			22.5					○					
		数値解析・数値計算	2	選択	3・後期	22.5			22.5					○					
		コンピュータソフトウェア	2	必修	3・前期	22.5			22.5					◎					
		電子システム工学実験Ⅲ	2	必修	3・前期	67.5			67.5							◎			
		電子システム工学実験Ⅳ	2	必修	3・後期	67.5			67.5								◎		
		電子システム工学演習Ⅲ	1	必修	3・前期	22.5			22.5					◎					
	学科専門科目	電磁波工学	2	選択	3・後期	22.5			22.5						○				
		電気機器	2	選択	3・後期	22.5			22.5						○				
		応用電子機器	2	選択	3・後期	22.5			22.5						○				
		集積回路設計基礎	2	選択	3・後期	22.5			22.5						○				
		電子デバイス	2	選択	3・後期	22.5			22.5						○				
		マルチメディア	2	選択	3・後期	22.5			22.5						○				
		インターネット工学	2	選択	3・後期	22.5			22.5						○				
		集積化プロセス工学	2	選択	4・前期	22.5			22.5						○				
		プラズマ工学	2	選択	4・前期	22.5			22.5						○				
		パワーエレクトロニクス	2	選択	4・前期	22.5			22.5						○				
		光エレクトロニクス	2	選択	4・前期	22.5			22.5						○				
		ロボット工学	2	選択	4・前期	22.5			22.5						○				
		電気関係法規・施設管理	2	選択	4・後期	22.5			22.5						○				
		卒業研究	8	必修	4・通年	90			90						◎		◎	◎	◎

※複数学科共通科目

電子システム工学科　学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ

学習・教育目標	授業科目名							
	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A−1	人間探求学	健康・体力科学Ⅰ	健康・体力科学Ⅱ					
	「人間学」の必修科目以外から4科目選択必修							
A−2	環境マネジメント総論					技術者倫理		産業技術マネジメント
B	第一外国語ⅠA※1	第一外国語ⅠB※1	第一外国語ⅢA※1	第一外国語ⅢB※1	科学技術英語			
	第一外国語ⅡA※1	第一外国語ⅡB※1	第一外国語ⅣA※1	第一外国語ⅣB※1				
	第二外国語ⅠA※2	第二外国語ⅠB※2	第二外国語ⅡA※2	第二外国語ⅡB※2				
			実用英語演習ⅠA	実用英語演習ⅠB				
C	情報リテラシー（情報倫理を含む）	情報科学概論	プログラミング基礎					
		確率統計		工業数学	工業数理			
	微積分Ⅰ	微積分Ⅱ	微積分続論					
	線形代数Ⅰ	線形代数Ⅱ	微分方程式					
	基礎力学	物理学実験						
		基礎電磁気学						
		基礎電気電子回路						
	基礎化学	電子と化学結合	無機化学Ⅰ					
	分析化学		分析・環境化学実験					
D−1			電磁気学Ⅰ	電磁気学Ⅱ	電気電子計測Ⅰ	電気電子計測Ⅱ		
	材料科学概論			電子回路Ⅰ	電子回路Ⅱ			
			電気回路Ⅰ	電気回路Ⅱ	制御工学			
	機械システム工学概論				電力工学Ⅰ	電力工学Ⅱ		
					電気エネルギーシステム工学			
	電子システム工学概論			半導体基礎	半導体デバイス			
			量子力学概論	物性デバイス基礎論				
			情報理論	ディジタル信号処理	情報通信工学			
			情報処理基礎	コンピュータハードウェア	コンピュータアーキテクチャ			
			アルゴリズムとデータ構造	プログラミング言語	コンピュータソフトウェア	数値解析・数値計算		
			電子システム工学演習Ⅰ	電子システム工学演習Ⅱ	電子システム工学演習Ⅲ			
D−2						電磁波工学	プラズマ工学	
						電子デバイス	光エレクトロニクス	
						電気機器	パワーエレクトロニクス	電気関係法規・施設管理
						集積回路設計基礎	集積化プロセス工学	
						応用電子機器	ロボット工学	
						マルチメディア		
						インターネット工学		
							卒業研究	
E−1	電子システム工学セミナー		電子システム工学実験Ⅰ	電子システム工学実験Ⅱ	電子システム工学実験Ⅲ			
E−2						電子システム工学実験Ⅳ	卒業研究	
F							卒業研究	
G	電子システム工学セミナー		電子システム工学演習Ⅰ	電子システム工学演習Ⅱ			卒業研究	

※1　英語必修。ただし、留学生は、英語および日本語から選択必修。

※2　ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、初習英語（留学生のみ）、英語（留学生のみ）、日本語（留学生のみ）から選択必修。

工学部電子システム工学科卒業要件

２０１３（平成２５）年度入学生適用の卒業要件です。

（１）全学共通科目（計３０単位以上）　必修１８単位、　選択必修１２単位以上		
①全学共通基礎科目　１８単位以上		
第一外国語	英語（ＩＡ～ⅣＢ）　８単位（必修）	
第二外国語	ドイツ語（ＩＡ～ⅡＢ）、フランス語（ＩＡ～ⅡＢ）、中国語（ＩＡ～ⅡＢ）、朝鮮語（ＩＡ～ⅡＢ）のうちから４単位以上(選択必修) ただし、「第二外国語ⅡＡ・ⅡＢ」は「実用英語演習ＩＡ・ＩＢ」で代替可	
情報処理	情報リテラシー（情報倫理を含む）、情報科学概論　４単位（必修）	
保健体育	健康・体力科学Ⅰ・Ⅱ　２単位（必修）	
②人間学	１２単位以上（「環境マネジメント総論」と「人間探求学」は必修）	

（２）専門科目	学部共通基礎科目・複数学科共通科目 学科基礎科目・学科専門科目 必修６７単位、選択３３単位以上		（計１００単位以上）
①学部共通基礎科目・複数学科共通科目			２８単位以上
	学科の科目配当表に指定する必修科目	２８単位	
	学科の科目配当表に指定する選択科目	０単位以上	
②学科基礎科目			４６単位以上
	学科の科目配当表に指定する必修科目	３１単位	
	学科の科目配当表に指定する選択科目	１５単位以上	
③学科専門科目			２０単位以上
	学科の科目配当表に指定する必修科目	８単位	
	学科の科目配当表に指定する選択科目	１２単位以上	

合　計　　１３０単位以上

註１：
　外国人留学生の外国語の履修については次の通りとする。第一外国語は、英語ＩＡ～ⅣＢまたは日本語ＩＡ～ⅣＢから選択必修（８単位）。第二外国語は、ドイツ語ＩＡ～ⅡＢ、フランス語ＩＡ～ⅡＢ、中国語ＩＡ～ⅡＢ、朝鮮語ＩＡ～ⅡＢ、実用英語演習ＩＡ・Ｂ、初習英語ＩＡ～ⅡＢ、英語ＩＡ～ⅣＢ、日本語ＩＡ～ⅣＢから選択必修（４単位以上）。詳しくは、全学共通科目履修の手引に記載の「外国人留学生等の外国語履修について」を参照のこと。

註２：
　電子システム工学科の科目配当表に指定する専門科目以外に、工学部他学科の科目配当表に指定する専門科目も、専門科目として卒業要件単位に算入することができる。

註３：
　他学部専門科目および全学共通科目あわせて６単位を限度とし、専門科目として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部開設科目の履修を希望するときは、その科目を担当する教員の指示を受けること。

註４：
　4年次末の時点で、修得した単位が卒業要件を満たしていないが、卒業要件に不足している単位に係わる科目が当該年度に履修登録された専門必修講義科目（除外科目あり）1科目のみであるものには、教授会の議を経て、不足単位の再試験を認めることがある。

工学部電子システム工学科　年次別科目配当表

区　分		１　年　次		２　年　次	
全学共通科目	全学共通基礎（留学生はP. 14参照）	◎英語ＩＡ	１前	◎英語ⅢA	１前
		◎英語ＩＢ	１後	◎英語ⅢB	１後
		◎英語ⅡＡ	１前	◎英語ⅣA	１前
		◎英語ⅡＢ	１後	◎英語ⅣB	１後
		○第二外国語ＩＡ※1	１前	○第二外国語 ⅡA※1	１前
		○第二外国語ＩＢ※1	１後	○第二外国語 ⅡB※1	１後
		◎情報リテラシー(情報倫理を含む)※２	２前	○実用英語演習ＩＡ	１前
		◎情報科学概論	２後	○実用英語演習ＩＢ	１後
		◎健康･体力科学Ⅰ	１後	◎健康･体力科学Ⅱ	１前
	人　間　学	◎環境マネジメント総論	２前		
		◎人間探求学	２前		
		上記必修科目以外の人間学科目から４年間で８単位選択必修			

※１初習英語Ⅰ・Ⅱは入学前に英語を履修したことがない外国人留学生を対象としています。（詳細については、P. 14参照）

※２平成２１年度以前入学生に対しては、「◎情報処理演習Ⅰ」（必修１単位）に読み替えます。

※３平成２１年度以前入学生に対しては、「◎情報処理演習Ⅱ」（必修１単位）に読み替えます。

専門科目	学部共通基礎	材料科学概論（奥 廣川）	２前	微積分続論（谷口）	２前
		機械システム工学概論	２前	◎工業数学（松下）	２後
		（安田寿　山根　南川　高松　栗田　中川　）		微分方程式（谷口）	２前
		◎電子システム工学概論（稲葉）	２前	分析・環境化学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	２前
		◎確率統計（木村）	２後	（秋山 山下 谷本 鈴木 竹原 伊田）	
		◎微積分Ⅰ（松下）	２前	◎プログラミング基礎（未定）　※３	２前
		◎微積分Ⅱ（谷口）	２後	無機化学Ⅰ（複数学科共通）	２前
		◎線形代数Ⅰ（松下）	２前	（松岡）	
		線形代数Ⅱ（谷口）	２後		
		◎基礎力学（河﨑）	２前		
		◎基礎電磁気学（乾）	２後		
		電子と化学結合（松岡）	２後		
		◎基礎化学（奥）	２前		
		分析化学（秋山）	２前		
		◎基礎電気電子回路（岸根）	２後		
		◎物理学実験（コンピュータ活用を含む）	２後		
		（田中他　田邉　近藤千　福岡　木村）			
	学科基礎	電子システム工学セミナー	２前	◎電磁気学Ⅰ（作田）	２前
		（奥村 岸根）		電磁気学Ⅱ（福岡）	２後
				◎電気回路Ⅰ（坂本）	２前
				電気回路Ⅱ（乾）	２後
				◎電子回路Ⅰ（稲葉）	２後
				量子力学概論（柳澤）	２前
				物性デバイス基礎論（未定）	２後
				◎半導体基礎（柳澤）	２後
				情報処理基礎（奥村）	２前
				◎コンピュータハードウェア（奥村）	２後
				◎アルゴリズムとデータ構造（奥村）	２前
				◎プログラミング言語（畑中）	２後
				ディジタル信号処理（宮城）	２後
				情報理論（畑中）	２前
				◎電子システム工学実験Ⅰ（学科教員全員）	２前
				◎電子システム工学実験Ⅱ（学科教員全員）	２後
				◎電子システム工学演習Ⅰ（作田 奥村 坂本）	１前
				◎電子システム工学演習Ⅱ（稲葉 柳澤 畑中）	１後
	学科専門				
		１年次必修	20	２年次必修	24

平成２４年度以前入学生については各入学年次の履修の手引を参照のこと。

◎：必修　　○：選択必修　　無印：選択

	３　年　次		４　年　次		配当単位数	
全学 共通 基礎 （留学生は P.14参照）	リスニング（中級）	2前	留学英語対策講座Ⅰ	2後	必修	14
	リーディング（中級）	2後	留学英語対策講座Ⅱ	2後	選択必修	18
	英語会話（中級）	2後	ビジネス英語	2後	選択	22
	ディベート＆ディスカッション	2前	時事英語	2後		
	英語表現法	2前	メディアの英語	2前		
	エッセイ・ライティング	2後				
人　間　学					必修	4
					選択必修	88

学部 共通 基礎	◎科学技術英語 （柳澤 奥村 宮城）	２前	産業技術マネジメント （安田昌　他）	２後	必修	28
	工業数理（松下）	２前			選択	22
	◎技術者倫理 （廣川 中川 乾）	２後			選択には、複数学科共通科目の２単位を含む。	
学科 基礎	◎電子回路Ⅱ（稲葉）	２前			必修	31
	◎電気電子計測Ⅰ（福岡）	２前			選択	34
	電気電子計測Ⅱ（作田）	２後				
	電気エネルギーシステム工学（乾）	２前				
	半導体デバイス（未定）	２前				
	制御工学（稲葉）	２前				
	電力工学Ⅰ（坂本）	２前				
	電力工学Ⅱ（坂本）	２後				
	情報通信工学（岸根）	２前				
	コンピュータアーキテクチャ（奥村）	２前				
	数値解析・数値計算（谷口）	２後				
	◎コンピュータソフトウェア（畑中）	２前				
	◎電子システム工学実験Ⅲ （学科教員全員）	２前				
	◎電子システム工学実験Ⅳ （学科教員全員）	２後				
	◎電子システム工学演習Ⅲ （畑中 坂本）	１前				
学科 専門	電磁波工学（作田）	２後	集積化プロセス工学（柳澤、山田）	２前	必修	8
	電気機器（乾、池之上）	２後	プラズマ工学（坂本）	２前	選択	26
	応用電子機器（稲葉）	２後	パワーエレクトロニクス（乾）	２前		
	集積回路設計基礎（岸根）	２後	光エレクトロニクス（未定）	２前		
	電子デバイス（柳澤）	２後	ロボット工学（作田）	２前		
	マルチメディア（奥村）	２後	電気関係法規・施設管理（多山）	２後		
	インターネット工学（畑中）	２後	◎卒業研究（学科教員全員）	８通		
	３年次必修	15	４年次必修	8	専門必修	67

電子システム工学科配当の専門科目は、配当された学年よりも前の学年で履修することはできません。

科目名	アルゴリズムとデータ構造	２単位　前期
担当教員	奥村　進	
授業概要	コンピュータを用いて現実世界の問題を解くためにはコンピュータソフトウェアを作成する必要がある。ソフトウェアの作成において、データ構造は問題をコンピュータでどのように表現するかという技法であり、アルゴリズムは典型的な問題の解決法である。本講義では、配列、リスト、スタック、キューなどの基本的なデータ構造と、探索、ソート、文字列照合などの基本的なアルゴリズムについて講述し、プログラミングにおける基礎知識を身につける。	
到達目標	(1)基本的なデータ構造を理解し、アルゴリズムの記述において利用できる。 (2)基本的なアルゴリズムを理解し、その考え方を説明できるとともに、プログラムにおいて利用できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：五十嵐 健夫著「データ構造とアルゴリズム」（数理工学社）。プリントを適宜配布する。 参考書：A.V. エイホ、J.E. ホップクロフト、J.D. ウルマン著、大野 義夫（訳）「データ構造とアルゴリズム」（培風館） 指定図書：柴田 望洋、辻 亮介著「明解C言語によるアルゴリズムとデータ構造」（ソフトバンククリエイティブ）	
成績評価	期末試験80％、レポート20％：講義で取り上げた内容に関する基礎的事項と応用的事項を理解しているかどうかを評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	インターネット工学	２単位　後期
担当教員	畑中　裕司	
授業概要	インターネットを構築している技術とその仕組みについて学習することを本講義の目的とする。インターネットの通信のプロトコルであるTCPやIPに重きを置きながら講義し、電子メールやWebの仕組みなどのサーバ技術についても講義する。さらに、情報システムのセキュリティ問題と、その対策方法について講義する。	
到達目標	(1)TCPの仕組みについて説明できること。 (2)IPの仕組みについて説明できること。 (3)経路制御について説明できること。 (4)サーバの仕組みを説明できること。 (5)セキュリティの課題と対策について説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：竹下隆史、村山公保、荒井透、苅田幸雄著「マスタリング TCP/IP 入門編」（オーム社） 指定図書：後藤滋樹、外山勝保著「インターネット工学」（コロナ社） 参考書：富士通オフィス機器編「事例で学ぶ情報セキュリティ」（FOM出版）	
成績評価	期末試験80%、レポート20%として、それらの合計で評価し、60%以上の成績で合格とする。	
履修資格		

科目名	エネルギー・界面科学	２単位　後期
担当教員	奥　健夫	
授業概要	様々な物質は電気伝導性の観点から見ると、導体、半導体、絶縁体に分けられる。現代科学技術を支える様々な材料は、これらの物質の様々な界面の組み合わせからできていて、界面における光・電子の振る舞いが、材料の性能を左右する。本講義では特に半導体に重点をおいて、各種界面の原子レベルの構造と物性を理解し、エネルギー、情報、環境分野の基礎となる材料開発の基礎について講義する。	
到達目標	今後の高機能材料の研究開発に必要不可欠な、半導体界面を中心とした界面構造制御と電子・光物性の関係、エネルギー関連材料を理解することを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	課題評価100％　　エネルギー・界面科学の原理・法則を理解し、初等問題に応用できること	
履修資格		

科目名	エネルギー変換工学	２単位　後期
担当教員	河﨑　澄	
授業概要	環境負荷低減と省エネルギーのためのエネルギー変換工学に関わる基礎知識と現状を理解することを目的とする。このために，エネルギー形態，変換システム，資源や将来の見通し，風力，太陽光，バイオマスなどの新エネルギーや地球温暖化ガスによる温暖化メカニズムやその低減方法に関して理解を深め，ライフサイクルを考慮したエネルギー変換システムの考え方を習得する。	
到達目標	(1)利用可能なエネルギー資源の種類と特徴およびエネルギー変換経路を説明できる。 (2)移動用・発電用機関の種類と動作原理を説明できる。 (3)分散型エネルギー供給システムの構成とその導入メリットを説明できる。 (4)各種新エネルギー利用技術を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントを配布する。 参考書:柳父・西川『エネルギー変換工学』(東京電機大学出版局)など	
成績評価	期末筆記試験70%，講義中に課すミニレポート30%により評価する。ミニレポートでは、簡単な計算問題、エネルギー技術導入の得失を問う推論、講義のまとめなどを課し、各講義の理解度を測る。期末筆記試験では、講義で取り扱ったエネルギー技術に関する総合的な論述、計算問題を課す。	
履修資格		

科目名	応用電子機器	２単位　後期
担当教員	稲葉　博美	
授業概要	自動車分野への電子システム応用を例にとり，電子技術がどのようにシステムの知能化に貢献しているかを具体的な事例で学ぶ。 あわせて、制御，パワーエレクトロニクス，通信，電子回路などの要素技術についても、その概要について触れる。	
到達目標	電子システム応用に関して、以下を目標とする。 (1)対象システムを理解できること。 (2)対象システムの制御系の動作・制御法が理解できること。 (3)回路動作の概要が理解できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:荒井　宏　著『自動車の電子システム』(理工学社) 指定図書:持永芳文　著『電気鉄道技術入門』(オーム社) 電気学会　編『電気鉄道工学』(コロナ社) 参考書:森羅万象　著『電子機器解体新書』(工学社) 乾　昭文　著『電気電子工学通論』(実教出版)	
成績評価	小テスト、レポート:40% 制御，回路の基礎，対象システムについて理解ができること 期末試験:60%　小テストの範囲の理解に加え、パワーエレクトロニクスや通信分野などシステム応用について概要が理解できること 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	科学技術英語（材料科学）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	自然科学とそれに立脚する技術には世界的な普遍性があるため、その学習、活用、情報発信には、共通語として専門英語の習得が必須である。また近代科学の発達の場であったヨーロッパの言語で自然科学を学ぶことは、その奥底にある思考法の理解に役立つ。たとえば、日本語での「関数」と「機能」は英語では共に“function”であり、基本的に同一概念と捉えられていることがわかる。本講では、科学技術英語の基礎を学んだのち、各学科に固有の英語を学ぶことで、その奥に横たわる概念の理解を目指す。	
到達目標	(1)科学技術英語に関する文章について，それに独特の語法と専門的な単語に留意しながら日本語に訳せること。 (2)科学技術に関する簡単な日本語の文を英語に訳せること。 (3)科学と技術の諸概念について英語を通して考えられること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:（1）志村史夫著 「理科系のための英文法」 ジャパンタイムズ （2）第1回にプリント配布	
成績評価	宿題（40％） 授業中の発表（40％） 英語でのプレゼンテーション（20％） (ただし欠席と大幅な遅刻の合計が4回以上の場合は自動的に不可とする。) 上記のすべての評価方法において，材料科学科に関係の深い科学技術英語について，文章の英文和訳と簡単な文の和文英訳ができること。	
履修資格		

科目名	科学技術英語（機械システム）	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	自然科学とそれに立脚する技術には世界的な普遍性があるため，その学習，活用，情報発信には，共通語として専門英語の習得が必須である。また近代科学の発達の場であったヨーロッパの言語で自然科学を学ぶことは，その奥底にある思考法の理解に役立つ。本講では科学技術英語の基礎を学んだのち，各学科に固有の英語を学ぶことで，その奥に横たわる概念の理解を目指す。	
到達目標	(1)科学技術英語に関する文章について，それに独特の語法と専門的な単語に留意しながら日本語に訳せること。[B] (2)科学技術に関する簡単な日本語の文を英語に訳せること。[B] (3)機械システム工学の基礎について英語を通して考えられること。[D-1，D-2]	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし（適宜プリント配布），指定図書：なし，参考書：理工系学生のための科学技術英語（南雲堂）ほか，講義中に紹介する。	
成績評価	期末筆記試験（50％）　宿題（20％）　小テスト（30％）　上記のすべての評価方法において，各学科に関係の深い科学技術英語について，文章の英文和訳と簡単な文の和文英訳ができること。	
履修資格		

科目名	科学技術英語（電子システム）	２単位　前期
担当教員	柳澤　淳一　・　奥村　進　・　宮城　茂幸	
授業概要	自然科学とそれに立脚する技術には世界的な普遍性があるため、その学習、活用、情報発信には、共通語として専門英語の習得が必須である。また近代科学の発達の場であったヨーロッパの言語で自然科学を学ぶことは、その奥底にある思考法の理解に役立つ。たとえば、日本語での「関数」と「機能」は英語では共通に``function''であり、基本的に同一概念と捉えられていることがわかる。本講では科学技術英語の基礎を学んだのち、各学科固有の英語を学ぶことで、その奥に横たわる概念の理解を目指す。	
到達目標	(1)科学技術英語に関する文章について、それに独特の語法と専門的な単語に留意しながら日本語に訳せる。 (2)科学技術に関する簡単な日本語の文を英語に訳せる。(3)科学と技術の諸概念について英語を通して考えられる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：谷口滋次、飯田孝道、田中敏宏、John D. Cox著「英語で書く科学・技術論文」（東京化学同人）。プリントを適宜配布する。 指定図書：「工業英検3級対策」（日本工業英語協会） 「工業英検4級対策」（日本工業英語協会） 参考書：兵藤申一著「科学英文技法」（東京大学出版会） 「工業英検2級対策」（日本工業英語協会） 「工業英検1級対策」（日本工業英語協会）適宜紹介する。	
成績評価	期末筆記試験(25％)、宿題(25％)、授業中の発表(25％)、小テスト(25％)　上記すべての評価方法において、各学科に関係の深い科学技術英語について、文章の英文和訳と簡単な文の和文英訳ができること。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	化学工学	２単位　後期
担当教員	田門　肇※　・　牧　泰輔※	
授業概要	化学工学という学問が，化学の新しい発見や発明を如何に具現化し「もの」として世に出すために貢献してきたかを知り，化学工学の基本的な考え方を学ぶ。 授業の内容は，まず，化学工学とはいかなる学問かについて述べる。次に，化学工学の最も基本となる物質，エネルギーの保存則の考え方を学び，その定量的な表現法を習得する。次に，拡散現象や反応速度の理解を深め，定量的な表現を習得する。さらに，それらの考え方を活かし、化学製品を現実に生産するための装置・システムの設計・制御法を、ガス吸収，蒸留で代表される分離操作と反応操作を中心に学ぶ。	
到達目標	1）化学プロセスにおける物質収支，エネルギー収支の考え方を理解し，量的関係を定量的に表現することができる。 2）拡散現象を理解し，定量的に表現することができる。 3）ガス吸収の原理を理解し，ガス吸収速度を定量的に表現でき，ガス吸収装置の設計のポイントを習得できる。 4）蒸留の原理を理解し，連続蒸留装置の設計のポイントを習得できる。 5）反応速度式を理解し，反応器の設計方程式をたてることができる。 6）回分反応器，連続槽型反応器，管型反応器の設計のポイントを習得できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：橋本健治・荻野文丸編「現代化学工学」（産業図書） 参考書：古崎新太郎他「化学工学（役にたつ化学シリーズ8）」（朝倉書店） 橋本建治編「ケミカルエンジニアリング　夢を実現する工学」（培風館）	
成績評価	定期試験 50％　レポート評価 50％ 定期試験は100点満点で採点する。レポートは担当教員2名が各自25点満点で評価し，50点満点に換算した定期試験の結果と合計して，100点満点で評価する。	
履修資格		

科目名	化学熱力学	２単位　前期
担当教員	山下　義裕	
授業概要	化学熱力学におけるエンタルピーとエネルギーという概念を物質の化学ポテンシャルを使うことで平衡および自発的変化の方向について首尾一貫した見方が得られることを理解する.	
到達目標	(1)熱力学の第一法則と第二法則の結合の理解ならびに実在気体を記述するフィガシーの定義とこれの圧力の関係を理解する (2)固体・液体・気体の3成分からなる相図を理解できる (3)クラペイロン, クラウジウス-クラペイロンの式を理解できる (4)ラウールの法則, ヘンリーの法則を理解できる (5)2成分系における相図とてこの規則を理解できる (6) 電池や生化学など非膨張仕事におけるエネルギー変換を理解できる	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:アトキンス物理化学第8版(上)東京化学同人	
成績評価	中間テスト20点(ノート・教科書持ち込み不可) まとめテスト30点(ノート・教科書持ち込み不可) 定期試験30点(ノート・教科書持ち込み不可) 授業中の発表20点 の合計点数で評価する。	
履修資格		

科目名	確率統計（材料、電子）	２単位　後期
担当教員	木村　真之	
授業概要	確率の概念を知る.「同様に確からしい」という素朴な捉え方から進んで, 一般的な確率概念を理解する. 確率論の基本的な概念を学び, それらを基礎として, 推定 (標本から集団全体の特性などを推測する) や検定 (母集団に対する統計的仮説を吟味する) の考え方と方法を知る.	
到達目標	(1) 確率変数, 事象の独立性などの基本概念を説明できる(C). (2) 推定・検定の違いを説明でき, 具体的な場面に応じて推定・検定の手段を選べる(C). (3) 1次元または2次元データに対して適切な処理を施し, 平均や分散などの特徴量の抽出や, ヒストグラムや散布図などを用いた可視化が出来る(C).	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『講義:確率・統計』穴太克則著 (学術図書出版社) 指定図書: 適宜紹介 参考書:『統計学入門Ｉ』東京大学出版会編,『データ科学の数理　統計学講義』稲垣ほか (裳華房),『理工系の確率・統計入門』服部哲也著 (学術図書出版社)	
成績評価	定期試験 60% レポート40% 100点満点で採点し60点以上を合格とする.	
履修資格		

科目名	確率統計（機械システム）	２単位　後期
担当教員	近藤　千尋	
授業概要	確率の概念を知る。「同様に確からしい」という素朴な捉え方から進んで, 一般的な確率概念を理解する。確率論の基本的な概念を学び, それらを基礎として, 推定(標本から集団全体の特性などを推測する)や検定(母集団に対する統計的仮説を吟味する)の考え方と方法を知る。	
到達目標	(1)確率変数, 事象の独立性などの基本概念を説明できる(C)。 (2)推定・検定の違いを説明でき, 具体的な場面に応じて推定・検定の手段を選べる(C)。(3) 1次元または2次元データに対して適切な処理を施し, 平均や分散などの特徴量の抽出や, ヒストグラムや散布図などを用いた可視化が出来る(C)。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『講義:確率・統計』穴太克則, 学術図書出版会 指定図書:適宜紹介 参考書:『統計学入門Ｉ』東京大学出版会編 『理工系の確率・統計入門』服部著, 学術図書出版	
成績評価	定期試験　60%　レポート40%	
履修資格		

科目名	環境調和化学	２単位　後期
担当教員	廣川　能嗣	
授業概要	人間の活動が地球環境に与える影響について，主要な問題を化学的な観点から捉えて，地球環境を良好に保全し，持続可能な社会の発展について考える。化学物質による水・土壌・空気の環境汚染，化学物質の人体への影響をはじめ，人間活動が及ぼす生態環境への影響として，気候変動，温暖化，エネルギー・資源枯渇など地球的規模の問題についても取り上げる。また，環境関連法令についても講述し，生産活動に従事する研究者にとって必要な環境保全に関する知識を深める。	
到達目標	(1)環境問題の歴史について説明できる。 (2)環境関連法令について説明できる。 (3)地球環境問題の諸原因を説明でき、取るべき解決策を提案できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:環境科学入門(化学同人) 指定図書:地球の環境と化学物質(三共出版) 参考書:人間・環境・安全ー暮らしの安全科学ー(共立出版)、環境 ここがポイント(三共出版)、新訂環境の科学(三共出版)、環境科学(東京化学同人)	
成績評価	レポート(50%)＋期末試験(50%)	
履修資格		

科目名	機械材料学	２単位　後期
担当教員	高松　徹　・　和泉　遊以	
授業概要	機械設計における材料の選定，機械の製作・材料の加工のためには，機械的性質，化学的性質，加工性，機能性，経済性，環境との調和を考慮することが必要である。本講義では，材料科学の基礎について述べた後，鉄鋼材料，非鉄金属材料などの汎用材料，高分子材料，セラミックス，複合材料，機能性材料などの新材料の特性について述べる。さらに，材料強度の基礎および様々な機械的性質を評価するための材料試験についても述べる。	
到達目標	金属の基本的構造，および合金の結晶構造について説明できる。金属材料の機械的性質，および材料試験法について説明できる。鋼の平衡状態図について説明できる。鉄鋼材料の基本的特性，熱処理について説明できる。セラミック材料，高分子材料，複合材料について，基本的特性を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:JSMEテキストシリーズ「機械材料学」(日本機械学会) 指定図書:鈴村暁男、浅川基男著「基礎機械材料」(培風館) 参考書:野口徹、中村孝著「機械材料工学」(工学図書)	
成績評価	中間試験・宿題(50%) 期末試験(50%) 上記の評価法において，機械材料に関する様々な問題について，正確・簡潔な文章で説明できること。	
履修資格		

科目名	機械システム工学概論	２単位　前期
担当教員	安田　寿彦　・　栗田　裕　・　山根　浩二　・　高松　徹　・　南川　久人　・　中川　平三郎	
授業概要	機械は電気，電子，情報，化学，材料など多くの学問や技術とシステム的に密接に結びついており，機械技術者のみならず工学を学ぶ技術者にとって，機械システム工学の基礎知識は必須である。機械システム工学とはどのような学問か，それが社会でどのように活用されているかを，オムニバス形式でわかりやすく講義する。	
到達目標	機械工学における熱力学，流体力学，材料力学，機械力学，工業力学，制御工学，設計製図，機械製作，および生産工学の概要が理解でき，身近な機械のしくみを説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜プリントなどの資料を配布する。	
成績評価	小試験およびレポート50%　期末試験50%	
履修資格		

科目名	機械システム工学実験Ⅰ	２単位　前期
担当教員	南川　久人 ・ 大浦　靖典 ・ 近藤　千尋 ・ 和泉　遊以	
授業概要	機械システム工学の基礎知識の体得，実験に関する基礎知識・技術の習得が授業の目的である。機械システム工学に関連する基礎実験を通して，熱力学，流体力学，材料力学，機械力学などの講義で学んだ知識の理解を深める。受講者を4つのグループに分けて，4つの実験をローテーションする。	
到達目標	(1)熱力学，流体力学，材料力学，機械力学の講義で学んだ知識に関連した実験　を行うことにより，これらを具体的に理解し，説明でき，ものづくりに応用で　きるようになる(D-3)。 (2)課題に対して学習した成果を教員や班員の前で発表・討論し，わかりやすく　伝える能力と，意見を聴いて理解する能力を身につける(F)。 (3)課題を実験により解決するために実験計画を作って，計画力を養う(H)。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：実験指導書（授業の中で配布する。） 指定図書：適宜紹介 参考書：適宜紹介	
成績評価	実験報告書　70％　課題演習30％　全回に出席し、実験報告書をすべて受理されることが単位を取得するために必要である。	
履修資格		

科目名	機械システム工学実験Ⅱ	２単位　後期
担当教員	安田　寿彦 ・ 河﨑　澄 ・ 安田　孝宏 ・ 小川　圭二	
授業概要	機械システムの設計製作に必要な基礎能力を体得する。簡単な機械システムの設計・試作・評価実験を通して，未知の課題に対する工学的手法によるアプローチを体得する。4つのテーマから1つのテーマを選択してを実験する。これまでに，設定されたテーマの例としては「小型スターリングエンジンの設計・製作および性能試験」，「風力発電機の製作および性能評価」，「定量水くみ装置の製作と性能評価」，「マイクロコンピュータ応用システムの製作および性能評価」などがある。	
到達目標	(1)熱，流体，材料力学および機械要素，機械設計製図などの専門知識を活用して，課題の設計・製図ができる（E） (2)コスト，製作期間，加工工程などを考慮して、計画的に材料調達，さらに加工・組立などを行い，試作機が製作できる（H）。 (3)調査，評価，改良を通して、積極的かつ自主的に問題解決に取り組むことができる（G）。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：実験指導書（授業の中で配布する。） 指定図書：適宜紹介参考書：適宜紹介	
成績評価	実験遂行能力（準備実験あるいは予備調査，構想力，設計能力，製作能力，評価・改良能力）　70％　中間および最終報告　10％　実験結果報告書　20％。　全回出席し，実験報告書を受理されることが単位を取得するために必要である。	
履修資格		

科目名	機械システム工学セミナー	２単位　前期
担当教員	高松　徹 ・ 安田　寿彦	
授業概要	インクジェットプリンタ，電気掃除機，ビデオデッキ，レンズ付フィルム，目覚まし時計，などのように身近に存在している工業製品の分解および再組立を通じて機械システムの動作原理，構成要素，材料，加工，設計など，ものづくりにおいて重要かつ基礎的な事項について体験的に理解することにより，機械技術者として必要な素養を磨くことを目標とする。	
到達目標	(1)様々な機械の「分解・組立」を行うことにより，機械技術者としての基本的な技能を学ぶ（D-1）。 (2)文書作成、図書館情報の効率的収集、プレゼンテーションなどに関する基本的な技能を学ぶ（G）。 (3)協力性やコミュニケーション能力を学ぶ（F）。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを適宜配布する。	
成績評価	全ての課題を提出する。課題90％、プレゼンテーション10％ 上記の評価法において，構成要素，メカニズムについて理解し，説明できること、与えられた課題について，わかりやすいプレゼンテーションができることを重視する。	
履修資格		

科目名	機械製作	２単位　後期
担当教員	中川　平三郎	
授業概要	工学部の基本方針である「ものつくり教育」を成就するように勤める．その一講義として機械によって製品・部品を作る方法，基礎的な原理，機構について理解をし，後から習う講義課目との有機的結合を図る．　1つの製品や部品は様々な工程を経て造られる．要求されるコスト，精度，納期を達成するためには，様々な加工方法が考えられ，採用されている．これらの基本的な加工方法全般について理解する．	
到達目標	(1)専門的な機械加工方法のイメージが掴めるようになる(D-1)．　(2)様々な製品にある部品の製作方法が想像できるようになる(D-1)．　(3)実際の部品を見て製作法の工夫点が読み取れるようになる(D-2)．(4)専門用語の内容が理解できる(D-2)．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:機械加工　朝倉書店指定図書:機械製作通論（上）（下）、東京大学出版参考書:機械加工学コロナ、精密工作法(上)(下)コロナ，機械加工学コロナ	
成績評価	中間試験（40％），期末試験（60％）　機械製作は学習項目が多いので2分割して試験を行う．ただし期末試験では総合的な内容を織り込んだ試験とする．	
履修資格	機械システム工学概論を復習し，良く理解していること	

科目名	機械製作実習	２単位
担当教員	河﨑　澄　・　小川　圭二	
授業概要	受講生自らが工作機械を操作し，素材から製品を作り上げる作業を実習することにより，工業製品がどのような工程を経て作られるのかを理解するとともに，機械加工技術の基礎を習得することを目的とする。そのため，小型ヤンキーバイスの製作，NCプログラミング実習，表面粗さ・幾何公差測定を行う。さらに，本実習と並行して行われる機械設計製図の講義と連携し，課題の設計・製作を行うことにより，ものづくりの設計プロセスと加工プロセスの関係を理解する。また、機械加工を安全に行うことを学ぶ。実習は，少人数のグループを編成してローテーションで行う。	
到達目標	(1)様々な工作機械の加工原理と基本動作を説明できる(D-1)。 (2)機械製図の意味を理解し，部品製作に必要な加工法と加工順序を説明できる(D-3)。 (3)各種工作機械を用いて基本的な形状の部品を製作することができる(D-3)。 (4)加工精度・表面粗さなどを評価することができ，加工条件との関係を説明できる(D-3)。 (5)製作プロセスを考慮した機械設計・製図ができる(D-1)。 (6)安全を意識しながら機械製作作業を行うことができる(D-1)。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:テキストを配布する。 指定図書:「機械加工」（朝倉書店），「機械製作通論(上)(下)」(東京大学出版）	
成績評価	単位を取得するためには，原則として全ての実習に出席し，かつ作業報告書を提出しなければならない。その上で，作業習熟度20%，作業報告書40%，および確認テスト40%から評価する。	
履修資格		

科目名	機械設計演習Ⅰ	２単位　後期
担当教員	南川　久人　・　安田　孝宏	
授業概要	製図総則に基づいて，CAD（Computer Aided Design；計算機援用設計）を利用した機械製図を行う技術を習得すると同時に，機械設計の基礎力を養うことを目的とした演習を行う。まず，2次元CADを用いて基本図形を描く方法，3次元CADによる設計の技法の基礎を，課題を通して学習する。その際，できるだけ機械要素や機械部品などを実際に眼で見て，指で触れて，設計・製図に反映する能力を養う。また，自ら設計したものをCAM（Computer Aided Manufacturing；計算機援用製造）システムにより実際に製作する技術を学ぶ。	
到達目標	(1)機械設計製図で学んだ知識を活かし，2次元CADを利用した機械製図が描けるようになる。 (2)3次元CAD，CAMによる設計の技法や評価方法を習得する。 (3)これまでに学んだ力学等の知識を基礎に，与えられた機能や仕様に対し，簡単な機構で機能を発揮する機械を設計できる能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:大西　清著「機械設計製図便覧」（理工学社）：毎回持参すること。なお，CADソフトの操作ガイド，各課題の参考資料等は授業中に配布する。 指定図書:植村育三・他著「初心者のための機械製図」（森北出版）	
成績評価	提出課題 65％　前半はほぼ毎回，後半は2回に1つ程度の割合で提出が必要な課題を与える。期限以内に必ずすべての課題を提出すること。授業には全回出席すること。 授業内での確認テスト 35％　本演習を通して学んだ設計法，製図総則に基づく製図法についての問題を出題する。さらに，2次元ならびに3次元CADによる製図の問題を課す。	
履修資格		

科目名	機械設計演習Ⅱ	２単位　前期
担当教員	田邉　裕貴　・　和泉　遊以	
授業概要	機械設計の基礎およびCAE（Computer Aided Engineering）を用いた設計を，実験と演習を通して修得することを目的とする。まず，従来設計の基礎となる強度計算法およびCAEの代表的手法である有限要素法（Finite Element Method, FEM）の基礎とモデリングについて学習する。その際，簡単な事例についての実験やFEMによる解析を講義と平行して行い，実際の現象や設計の基礎に関する理解を深める。さらに，機器に求められる性能から個々の機械要素部品の仕様を決定するに至るまでの流れと，CAEを用いた最新の設計技術について学ぶ。これらの内容をもとに，与えられた仕様を満足する歯車減速機の設計を行う。FEM解析にはFemap with NX-Nastranを使用する。	
到達目標	(1)材料力学などの講義で学んだ知識を機械設計に活用できる(D-3)。 (2)機器に求められる性能から，機械要素部品の仕様を決定できる（E）。 (3)設計書と図面により，設計内容を正確に表すことができる(D-3)。 (4)簡単な事例についてFEMモデルを作成し，境界条件・荷重条件を設定できる。また，解析結果を機械設計に活用できる（E）。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：網島・下間「機械設計学」オーム社，大西「機械設計製図便覧」理工学社，日本機械工学会「JSMEテキストシリーズ材料力学」丸善 指定図書：東町「有限要素法のノウハウ」森北出版	
成績評価	設計書（50％），レポート（30％），小テスト（20％）により評価する。	
履修資格		

科目名	機械設計演習Ⅲ	２単位　後期
担当教員	栗田　裕　・　大浦　靖典	
授業概要	制御系設計では，「DCモータを用いた円板の回転位置決め制御」の課題を通して，動的システムの表し方（微分方程式，伝達関数，ブロック線図），フィードバック制御系の設計法（極配置，ボード線図），設計した制御系の性能評価法を修得する。制御系解析ソフト「MATLAB/Simulink」を用いて，制御系の設計とシミュレーション・実験による検証を行い，機械を制御することの面白さを体験させる。機構設計では，基本的なメカニズムであるリンク機構を取り上げ，ワイパーの設計を行う。設計結果を，機構解析ソフト「ADAMS」を用いて検証する。	
到達目標	(1)動的システムを微分方程式・伝達関数・ブロック線図を用いて表せる（Ｄ－３）。 (2)極配置・ボード線図を用いてフィードバック制御系を設計できる（E）。 (3)設計した制御系の性能を評価できる（E）。 (4)4節リンク機構を設計できる（E）。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし（授業内容に関するプリントを毎週配布する） 指定図書：田中正吾・山口静馬・和田憲造・清水光著『制御工学の基礎』（森北出版） 参考書：川田昌克・西岡勝博著『MATLAB/Simulinkによるわかりやすい制御工学』（森北出版）	
成績評価	全回出席すること（病気等やむを得ず出席できないときは，必ず事前に担当教員に届け出て，代替授業の指示を受けること）。 小テスト　40％、設計課題①（制御系設計）　30％、設計課題②（機構設計）　30％	
履修資格		

科目名	機械設計製図	２単位　前期
担当教員	高松　徹	
授業概要	機械の設計は図面という形で表現され，図面から設計者の意図、製作に必要な情報が得られる。最近，コンピュータを利用したCADシステムが広く使われるようになり，人が鉛筆を持って製図することが少なくなっているが，あらかじめ製図のルールを理解することが必要である。本講義ではJISにもとづく機械製図の基礎を習得することを目的として，実際に鉛筆と製図用具を使って，紙の上に図面を描きながら，機械製図のルールを学ぶ。	
到達目標	正しい線の書き方および使い方，第三角投影法に基づく製図，断面図の書き方，補助投影図の書き方，ねじ、歯車等の基本機械要素の表し方，寸法の記入法，寸法公差と幾何公差および面の肌の記入法，ができる。製作を意識した図面を描くことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：植松育三・他著 「初心者のための機械製図　第3版」（森北出版） 指定図書：大滝英政著 「最新JIS準拠・機械製図」（数理工学社） 参考書：津村利光・大西清著 「JISにもとづく機械設計製図便覧」（理工学社）	
成績評価	全ての課題を提出すること（50％）　　期末試験（50％） 上記の評価法において，機械設計製図に関する課題について，JIS規格に基づいて正確に解答できること。	
履修資格		

科目名	機械要素	２単位　前期
担当教員	小川　圭二	
授業概要	複雑な機械も基本的な機械要素を組み合わせて作られている。多くの機械要素は，どのような機械にも利用できるように，規格に基づいて標準化されていることから，代表的な機械要素の機能や構造を理解して設計できるようになれば，機械全体を設計する力が備わる。本講では，いろいろな機械に共通して使われるねじ，歯車，軸，軸受などの機械要素の働きを理解する。また，それぞれの機械の仕様に合わせて機械要素を設計するための基礎を習得する。	
到達目標	(1)代表的な機械要素である締結要素，軸系要素，伝達要素について，種類や用途を説明できるようになる。 (2)求められる機能に応じて適切な機械要素を選択（機能設計）することができるようになる。 (3)さらに，機能を満たしつつ強度面でも十分な設計（強度設計）を行なうことができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：網島貞男・下間頼一 著『機械設計学第2版』(オーム社) 参考書：辺吾一・藤井透・川田宏之 共著『標準　材料の力学』(日刊工業新聞社)，林洋次 著『機械要素概論1』(実教出版)，林洋次 著『機械要素概論2』(実教出版)	
成績評価	小テスト20％　講義内容を理解できていること。 期末試験80％　代表的な機械要素の種類や用途を説明することができ，機能設計・強度設計するための基礎力が身についていること。	
履修資格		

科目名	機械力学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	栗田　裕	
授業概要	質点・ばね・ダンパからなる簡単なモデルを用いて，自由振動，固有振動数，強制振動，共振など振動学の基礎を修得する。工業力学では，質点に働く力が一定である場合の運動を学習した。機械力学Ⅰでは，ばねの復元力のように質点に働く力が変位に依存して変化する場合の運動を取扱う。ばねに取付けた質点を静かに引張り手を離すと，質点はつりあい位置を中心に振動する（自由振動）。この質点を自由振動の周波数（固有振動数）で加振すると，小さな力でも大きな振動が発生する（共振）。講義では，動的設計の基礎である固有振動数の計算法や強制振動時の振幅，振動の伝達と絶縁について解説する。数式を丸暗記するのではなく，簡単な実験やビデオ，アニメーションを通して，振動を物理現象としてイメージできるように学習する。	
到達目標	(1)1自由度振動系（直線振動・回転振動）の固有振動数を算出できる（D－1）。 (2)力加振・変位加振の強制振動の振幅を算出できる（D－2）。 (3)振動伝達・振動絶縁のシステムを設計できる（D－2）。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：入江敏博・小林幸徳著『機械振動学通論第3版』(朝倉書店) 指定図書：井上喜雄ら著『振動の考え方・とらえ方』(オーム社) 参考書：藤田勝久著『振動工学』(森北出版)	
成績評価	宿題　20％　　期末試験　80％	
履修資格		

科目名	機械力学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	栗田　裕　・　大浦　靖典	
授業概要	機械力学Ⅰで学んだ1自由度系の振動現象に関する知識に基づいて，多自由度系の振動や連続体の振動問題に対処する手法を修得する。また，単に振動現象の解析に焦点を当てるのではなく，解析結果に基づいて動的設計を行う能力を養うことも目指す。振動の解析手法としては，多自由度系や連続体の振動に関する固有振動数，固有振動モードの計算法や，強制振動時の振幅，振動の伝達について解説する。また，実際の振動現象を例題に用いて，振動現象のモデル化に始まる動的設計の演習を行うことで，解析能力を設計能力にまで高める。	
到達目標	(1)2自由度振動系の固有振動数・固有振動モードを算出できる。 (2)2自由度振動系の伝達特性を算出できる。 (3)多自由度振動系の体系的な取り扱いができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：入江敏博・小林幸徳著『機械振動学通論第3版』(朝倉書店) 指定図書：背戸一登・丸山晃一著『振動工学 解析から設計まで』(森北出版) 参考書：安田仁彦著『振動工学基礎編』(コロナ社)	
成績評価	宿題　20％　　期末試験　80％	
履修資格		

科目名	機器分析Ⅰ	２単位　前期
担当教員	徳満　勝久	
授業概要	物質の微細構造を解析するために用いられる紫外・可視吸収，蛍光分析・電子顕微鏡などの分析装置の原理と解析方法などについて講述する。また、試料物質の定量、原子・分子構造などを解析するための赤外・ラマン吸収などの各種測定技術について、化合物の判別や分子量測定に用いられる質量分析，クロマトグラフィー（ガスクロ、液クロ、GPC）や試料中に存在する微量元素分析に用いられる原子吸光・ICP発光分析について講義する。本講を通じ、材料の基礎的分析方法に関する素養を涵養し、あわせて研究に必要な実際的知識の修得をはかる。	
到達目標	①各分析機器の原理について理解できる。 ②それぞれの分析機器に関して，分析可能な項目について理解できる. ③それぞれ分析機器の特徴により，自ら実験で必要となる機器選定が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：庄野利之，脇田久伸編著、『入門機器分析化学』（三共出版） 指定図書：江藤守總編著，「機器分析の基礎」（裳華房） 参考書： ①R. M. Silverstein他，『有機化合物のスペクトルによる同定法』（東京化学同人）第5版 1992 ②G. M. Barrow，『Introduction to Molecular Spectroscopy』（McGRAW-HILL Book Company, Inc.） 1962 ③Moore，物理化学　下巻（第17章），或いはAtkins，物理化学　下巻（第16・17章）	
成績評価	①定期試験：60% ②講義時間内発表およびレスポンスシート等の内容：40%	
履修資格		

科目名	機器分析Ⅱ	２単位　前期
担当教員	谷本　智史	
授業概要	物質の構造を評価するために用いられる分析機器について、原理から測定例に至るまでの概略を講義する。核磁気共鳴分光法からは分子構造に関する情報が、熱分析、各種散乱・回折法からは内部の配列構造・規則構造に関する情報が得られる。また、表面の構造を分析するための装置としては反射率測定、プローブ顕微鏡を紹介する。	
到達目標	各種分析機器の原理と概略を理解する。機器分析Iで扱った分析機器も含め、欲しい情報に対して適切な分析手法を選択できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布 参考書：授業中に紹介	
成績評価	期末筆記試験80％、宿題20％	
履修資格		

科目名	技術者倫理	２単位　後期
担当教員	廣川　能嗣　・　中川　平三郎　・　乾　義尚	
授業概要	科学技術を通して，人類は便利で豊かな生活を享受している。しかし，その一方で生命と安全を脅かす科学技術の負の側面も次第に明らかとなってきた。このため，科学技術に携わる者として，科学技術の正および負の両面から常に考えることが必要である。本講では，科学技術と技術者の関係，技術者の役割，科学技術の社会への影響について学ぶとともに，それらの基本となる技術者としての倫理について考える。	
到達目標	(1) ものづくりにおける技術者の役割と責務について理解すること。 (2) 技術の持つ多面性を理解した上で，倫理的側面を含む分析ができること。 (3) 技術者の出会う倫理的問題について，社会的に望ましい解決法を考えられること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：オムニバス技術者倫理(共立出版) 参考書：技術者倫理(日本放送出版協会)、技術者の倫理(コロナ社)、技術者の倫理入門(丸善)、技術者倫理(丸善)、エンジニアのための哲学・倫理(実教出版)	
成績評価	毎回の課題レポートで評価（100%）	
履修資格		

科目名	基礎化学（材料）	２単位　前期
担当教員	北村　千寿	
授業概要	化学は、原子間の結合の生成や切断と、その結果として生じる物質とに関する学問である。その基礎は，原子の構造から出発して原子間の結合を考える化学結合論と、原子や分子の集団としての安定性と変化を扱う熱力学である。さらに、物質の変化としての化学反応の分類と系統的扱いも重要な要素である。そこで本講では、これらについて高等学校では別々の内容として習った事項間の関連性に留意しながら講義を行い、化学の基本となる諸概念の理解を目指す。	
到達目標	(1)物質の構造がどのように決まるかについて、原子レベルの電子構造から説明できること。 (2)物質の状態と状態図について説明できること。 (3)様々な物質の化学反応について、その分類と支配因子の概要を理解していること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:大野惇吉著「大学生の化学　第2版」(三共出版) 参考書:各人の高校の数学、物理・化学の教科書	
成績評価	筆記試験(80%)　講義を行った内容(物質の構造・状態と性質・化学反応)について，その基礎を俯瞰的かつ系統的に理解していること。 小テスト(20%)　毎週の講義内容を理解できていること。	
履修資格		

科目名	基礎化学（機械システム）	２単位　前期
担当教員	松岡　純	
授業概要	化学は，原子間の結合の生成や切断と，その結果として生じる物質とに関する学問である。その基礎は，原子の構造から出発して原子間の結合を考える化学結合論と，原子や分子の集団としての安定性と変化を扱う熱力学である。さらに，物質の変化としての化学反応の分類と系統的扱いも，重要な要素である。そこで本講ではこれらについて，高等学校では別々の内容として習った事項間の関連性に留意しながら講義を行い，化学の基本となる諸概念の理解を目指す。	
到達目標	(1)物質の構造がどのように決まるかについて，原子レベルの電子構造から説明できること。 (2)物質の状態と状態図について説明できること。 (3)様々な物質の化学反応について，その分類と支配因子の概要を理解していること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:大野惇吉著「大学生の化学 第2版」(三共出版)参考書:各人の高校の数学，物理，化学の教科書	
成績評価	筆記試験(80%) 講義を行った内容(物質の構造，状態と性質，化学反応)について，その基礎を俯瞰的かつ系統的に理解していること。 宿題(20%) 毎週の講義内容を理解できていること。	
履修資格		

科目名	基礎化学（電子システム）	２単位　前期
担当教員	奥　健夫	
授業概要	化学は，原子間の結合の生成や切断と，その結果として生じる物質とに関する学問である。その基礎は，原子の構造から出発して原子間の結合を考える化学結合論と，原子や分子の集団としての安定性と変化を扱う熱力学である。さらに，物質の変化としての化学反応の分類と系統的扱いも，重要な要素である。そこで本講ではこれらについて，高等学校では別々の内容として習った事項間の関連性に留意しながら講義を行い，化学の基本となる諸概念の理解を目指す。	
到達目標	(1)物質の構造がどのように決まるかについて，原子レベルの電子構造から説明できること。 (2)物質の状態と状態図について説明できること。 (3)様々な物質の化学反応について，その分類と支配因子の概要を理解していること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:大野惇吉著「大学生の化学　第2版」(三共出版)参考書:各人の高校の数学，物理，化学の教科書	
成績評価	筆記試験(80%)　講義を行った内容(物質の構造，状態と性質，化学反応)について，その基礎を俯瞰的かつ系統的に理解していること。 宿題(20%)　　毎週の講義内容を理解できていること。	
履修資格		

科目名	基礎結晶学	２単位　後期
担当教員	宮村　弘	
授業概要	無機材料の多くは結晶性の固体であり、単結晶が集まった多結晶体である。したがって、無機材料の諸性質を理解するためには、結晶に対する理解が不可欠である。本講義では、結晶の周期性や構造の記述法およびX線を用いた構造解析の基礎について学習する。	
到達目標	(1)結晶を7つの結晶系に分類できる (2)格子定数の記述ができ、与えられたミラー指数の面について、間隔を計算できる (3)種々の結晶について、粉末X線回折図に出現するピークの位置が計算できる	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:早稲田嘉夫・松原英一郎著「X線構造解析」内田老鶴圃 参考書:カリティ著・松村源太郎訳「X線回折要論」(アグネ)	
成績評価	定期試験 90%　レポート評価 10%(予定)	
履修資格		

科目名	基礎電気電子回路	２単位　後期
担当教員	岸根　桂路	
授業概要	電気・電子回路の考え方は、電気・電子の分野だけでなく機械システムや物理系分野における現象の記述、解析へ応用可能であり汎用性が高い。電子工学の基本となる電気・電子回路に関する基礎的な項目を解説し、直流・交流回路からトランジスタ回路まで電気・電子回路の基礎を学ぶ。今後の学習・研究に役立つ基礎的な能力を養うことを目標とする。	
到達目標	(1)基本的な直流・交流回路の回路方程式より、解を求めることができること。 (2)トランジスタの基本動作と基本的なトランジスタ回路に関し、説明ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:　奥村浩士 著 「エース電気回路理論入門」(朝倉書店) 参考書:適宜プリントの配布、参考書の紹介を行う。	
成績評価	講義中に課した課題の評価(40%):　直流・交流回路の方程式より、解を求めることができること 期末試験の結果(60%):さまざまな回路の回路方程式より解を求めることができること。トランジスタ回路が説明できること。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	基礎電磁気学（材料科学）	２単位　後期
担当教員	作田　健	
授業概要	電磁気学は，工学全般において基礎技術として広く用いられており，特にエレクトロニクスや電気回路と密接に関係している．本講義では，静電場，定常電流，電流と磁場，さらに電磁誘導など電磁気学に関する基礎的事項について理解する．また，電磁気学から見たコンデンサー，抵抗，コイル等の電気回路素子についても合わせて学習し，電気・電子機器の理解の助けとする．	
到達目標	(1)電荷と電場および電位，誘電体とコンデンサーの概念を理解すること． (2)定常電流の保存則，抵抗とオームの法則を理解すること． (3)電流と磁場，磁性体の概念を理解すること． (4)ファラデーの電磁誘導の法則を理解すること． (5)コイルの自己インダクタンスと相互インダクタンスの概念を理解すること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:砂川重信著「電磁気学［改訂版］初めて学ぶ人のために」(培風館)	
成績評価	定期試験を80%，レポートを20%とし，それらの合計で評価する．	
履修資格		

科目名	基礎電磁気学（機械システム）	２単位　後期
担当教員	福岡　克弘	
授業概要	電磁気学は，工学全般において基礎技術として広く用いられており，特にエレクトロニクスや電気回路と密接に関係している．本講義では，静電場，定常電流，電流と磁場，さらに電磁誘導など電磁気学に関する基礎的事項について理解する．また，電磁気学から見たコンデンサー，抵抗，コイル等の電気回路素子についても合わせて学習し，電気・電子機器の理解の助けとする．	
到達目標	(1) 電荷と電場および電位，誘電体とコンデンサーの概念を理解すること． (2) 定常電流の保存則，抵抗とオームの法則を理解すること． (3) 電流と磁場，磁性体の概念を理解すること． (4) ファラデーの電磁誘導の法則を理解すること． (5) コイルの自己インダクタンスと相互インダクタンスの概念を理解すること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：砂川重信著「電磁気学［改訂版］初めて学ぶ人のために」（培風館） 指定図書：電気学会著「電気磁気学」（オーム社） 参考書：関根 松夫・佐野 元昭著「電磁気学を学ぶためのベクトル解析」（コロナ社）	
成績評価	中間試験の結果　20%，期末試験の結果　50%，レポート 30%として評価する．合計得点の60%以上の成績で合格とする．	
履修資格		

科目名	基礎電磁気学（電子システム）	２単位　後期
担当教員	乾　義尚	
授業概要	電磁気学は，工学全般において基礎技術として広く用いられており，特にエレクトロニクスや電気回路と密接に関係している．本講義では，静電場，定常電流，電流と磁場，さらに電磁誘導など電磁気学に関する基礎的事項について理解する．また，電磁気学から見たコンデンサー，抵抗，コイル等の電気回路素子についても合わせて学習し，電気・電子機器の理解の助けとする．	
到達目標	(1) 電荷と電場および電位，誘電体とコンデンサーの概念を理解すること． (2) 定常電流の保存則，抵抗とオームの法則を理解すること． (3) 電流と磁場，磁性体の概念を理解すること． (4) ファラデーの電磁誘導の法則を理解すること． (5) コイルの自己インダクタンスと相互インダクタンスの概念を理解すること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：砂川重信著「電磁気学［改訂版］初めて学ぶ人のために」（培風館）	
成績評価	定期試験を80%，レポートを20%とし，それらの合計で評価する． 100点満点で採点し60点以上を合格とする．	
履修資格		

科目名	基礎熱力学	２単位　後期
担当教員	奥　健夫	
授業概要	物理化学の基礎事項である熱力学の理解が本講義のねらいである。本講義では熱力学の基礎である、気体の性質、熱力学第一法則、熱力学第二法則、熱力学第三法則、熱力学関数について講述する。	
到達目標	熱力学第一法則、熱力学第二法則、熱力学第三法則を理解し、エントロピー、自由エネルギーなどの計算ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：P. W. Atkins著、千原秀昭・中村亘男訳、「アトキンス物理化学(上)」第8版（東京化学同人）	
成績評価	筆記試験70%　レポート30%　熱力学の原理・法則を理解して、初等問題に応用できること	
履修資格		

科目名	基礎力学（材料）	２単位　前期
担当教員	山根　浩二	
授業概要	本講義は力学法則に基づく物理現象の数式的理解を求めている。基礎物理学のうちの力学に焦点を絞り，高い数学的表現はできるだけ避け，内容が理解できるように配慮している。また，原則として毎回宿題を課し，予習・復習による一層の理解を求めている。	
到達目標	(1)物体にはたらく力をベクトルで説明できる。 (2)運動の法則を理解し，質点の運動方程式を記述することができる。 (3)運動エネルギーと仕事の関係を説明できる。 (4)運動量と力積の関係を説明できる。 (5)慣性モーメントを理解し，剛体の運動方程式を記述することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：野崎光昭監訳「物理学の基礎　[1]力学」（培風館）およびプリント 参考書：野崎光昭監訳「演習・物理学の基礎　[1]力学」（培風館）	
成績評価	定期試験を50％，中間試験/宿題/小試験をあわせて50％により評価。ただし，定期試験の受験資格は出席回数が所定の回数を満たしている者のみとする。	
履修資格		

科目名	基礎力学（機械システム）	２単位　前期
担当教員	田中　他喜男	
授業概要	本講義は力学法則に基づく物理現象の数式的理解を求めている。基礎物理学のうちの力学に焦点を絞り，高い数学的表現はできるだけ避け，内容が理解できるように配慮している。また，原則として毎回宿題を課し，予習・復習による一層の理解を求めている。	
到達目標	(1)物体にはたらく力をベクトルで説明できる。 (2)運動の法則を理解し，質点の運動方程式を記述することができる。 (3)運動エネルギーと仕事の関係を説明できる。 (4)運動量と力積の関係を説 明できる。 (5)慣性モーメントを理解し，剛体の運動方程式を記述することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：野崎光昭監訳「物理学の基礎　[1]力学」（培風館）およびプリント 参考書：野崎光昭監訳「演習・物理学の基礎　[1]力学」（培風館）	
成績評価	定期試験を50％，中間試験/宿題/小試験をあわせて50％により評価。ただし，定期試験の受験資格は出席回数が所定の回数を満たしている者のみとする。	
履修資格		

科目名	基礎力学（電子）	２単位　前期
担当教員	河﨑　澄	
授業概要	本講義は力学法則に基づく物理現象の数式的理解を求めている。基礎物理学のうちの力学に焦点を絞り，高い数学的表現はできるだけ避け，内容が理解できるように配慮している。また，原則として毎回宿題を課し，予習・復習による一層の理解を求めている。	
到達目標	(1)物体にはたらく力をベクトルで説明できる。 (2)運動の法則を理解し，質点の運動方程式を記述することができる。 (3)運動エネルギーと仕事の関係を説明できる。 (4)運動量と力積の関係を説明できる。 (5)慣性モーメントを理解し，剛体の運動方程式を記述することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：野崎光昭監訳「物理学の基礎　[1]力学」（培風館）およびプリント 参考書：野崎光昭監訳「演習・物理学の基礎　[1]力学」（培風館）	
成績評価	定期試験を50％，中間試験/宿題/小試験をあわせて50％により評価。ただし，定期試験の受験資格は出席回数が所定の回数を満たしている者のみとする。	
履修資格		

科目名	金属加工学	２単位　前期
担当教員	田中　他喜男	
授業概要	金属加工には，一般に溶融加工，塑性変形・成形加工，機械的除去加工，特殊加工（高エネルギ密度加工，電気・化学加工）などがある。まずこれらの加工の概論について解説を行なった後，生産現場で中核的な役割を担う機械的除去加工の一つである切削加工と研削加工につい講義する。切削加工では，切削機構，切削抵抗，切削温度，工具損傷，切削仕上げ面性状などについて学ぶ。さらに，研削加工では，研削加工の分類，研削砥石，研削機構などの基礎的な事項について学ぶ。	
到達目標	(1) 切屑の形状について説明できる。 (2) 2次元切削の模式図を描き，この図からせん断角，切削抵抗の式を導くことができる。 (3) 構成刃先の定義，功罪について説明できる。 (4)研削砥石の3要素と5要因について説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：中嶋利勝・鳴瀧則彦共著「機械加工学」（コロナ社）およびプリント補助教材 指定図書：藤村善雄著「実用切削加工法第2版」（共立出版） 参考書：仁平宣弘・朝比奈奎一著「機械材料と加工技術」（技術評論社）	
成績評価	期末試験50%，中間試験/宿題/小試験をあわせて50%により評価。ただし，期末試験の受験資格は，出席回数が所定の回数を満たしていること。	
履修資格		

科目名	金属材料	２単位　後期
担当教員	バラチャンドラン　ジャヤデワン	
授業概要	一般に現在多く使用されている金属材料について、基礎知識を学ぶとともに、金属材料の中でも重要な鉄鋼材料についてその製造法と諸特性を理解し、実際に使用するときに必要な金属学的な知識を身につける。鉄鋼材料の状態図、熱処理にともなう相変態、再結晶、析出等の金属における基本的現象とその考え方を学び、鉄鋼材料の熱処理と組織制御について理解を深める。	
到達目標	金属の結晶構造、結晶面、結晶方向、格子欠陥、すべり変形、強さ等の基礎知識の習得。原子の拡散方程式を理解し、応用できる。鉄鋼材料の熱処理と組織制御についての知識を修得し、実用材料の特性を把握する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講座　現代の金属学　材料編　第4巻　鉄鋼材料（日本金属学会） 参考書：谷野満、鈴木茂『鉄鋼材料の科学　－鉄に濃縮されたテクノロジー』株式会社　内田老鶴圃	
成績評価	小テスト（40%）、定期試験（60%）	
履修資格		

科目名	計測工学	２単位　後期
担当教員	近藤　千尋	
授業概要	近年，工学・工業において，計測はその重要度をますます増大しつつある。また，計測精度の観点から見ても，飛躍的に進歩してきている。本講義では，まず計測の基礎として，単位，単位系，次元，標準，不確かさ評価，測定データの解析方法等について解説し，続いて各種物理量に対する計測法の計測原理と，計測技術，センサーの構造とその利用法について学ぶ。	
到達目標	(1)計測と測定の違い，SI単位系の意義と要点，標準とトレーサビリティ等の用語の意味を説明できる。(2)間接測定量の不確かさを，各要素測定不確かさから算出できる。(3)最小二乗法の意味を説明でき，一次回帰式を算出できる。(4)各種物理量の代表的な計測法の原理，長所と短所，適用事例について説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：南茂夫ほか「はじめての計測工学」（講談社サイエンティフィック），プリント配布 指定図書：岩田ほか「新版 機械計測」（朝倉書店），中村「計測工学入門」（森北出版）参考書：谷口・掘込「計測工学」（森北出版），門田「絵ときでわかる計測工学」（オーム社）	
成績評価	レポート評価 30% 随時，出題する課題に関してレポートを提出すること。 期末筆記試験 70% 到達目標に記した内容をはじめ，キーワードに関する内容の確認問題および応用問題を出題する。	
履修資格		

科目名	現代制御工学	２単位　後期
担当教員	安田　寿彦	
授業概要	状態空間法に基づく現代制御理論について講義する。制御システムを状態方程式モデルで表現し，解析・設計する手法を論じる。システムの安定性，可制御性，可観測性など複数の入力と出力を有する連続時間システムの制御理論の基礎的事項を学ぶ。状態方程式を用いた制御系設計の方法としての極配置によるフィードバック制御系の設計法とオブザーバを用いた状態観測系の設計法を学ぶ。	
到達目標	(1)制御対象を状態方程式モデルで表現でき，そのモデルを用いた特性解析ができる。 (2)状態方程式モデルによる制御系設計の基礎を身につけ応用例を作成できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布 参考書:吉川恒夫，井村順一共著 「現代制御論」(昭晃堂)	
成績評価	中間まとめ 30% レポート評価 20% 状態方程式モデルで制御対象を表現でき，そのモデルを用いて可制御性，可観測性の判定ができること。 期末筆記試験 50% 中間まとめの理解に加え，安定判別と極配置によるフィードバック制御系設計の基礎を身につけていること。	
履修資格	制御工学Ⅰ，微積分学Ⅰ，Ⅱおよび線形代数Ⅰの講義を既受講であること。	

科目名	工業数学	２単位　後期
担当教員	松下　泰雄	
授業概要	科学や工学のあらゆる分野において現れる複素関数を前半で講義し、フーリエ解析を後半で講義する.	
到達目標	フーリエ変換と複素関数の基礎的事項を理解し，正しい運用ができること.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「フーリエ解析＝基礎と応用」松下泰雄著(培風館) 参考書:速修複素関数論(松下のホームページからダウンロード可) 「波のしくみ」佐藤文隆・松下泰雄共著(講談社)	
成績評価	期末試験の結果によって評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	工業数理	２単位　前期
担当教員	松下　泰雄	
授業概要	科学や技術におけるフーリエ解析の応用について講義する. 特に、フーリエ解析はデルタ関数を導入することによって応用が拡がる。デルタ関数によって普通の微分ができなかった関数でも微分が定義出るようになる。それによって微分方程式の解法，デジタルの意味，サンプリング定理，システム解析と周波数特性などへの応用について講義する.	
到達目標	工業数学の基本的応用例を理解し，正しい運用ができること.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「フーリエ解析＝基礎と応用」松下泰雄著(培風館) 参考書:「波のしくみ」佐藤文隆・松下泰雄共著(講談社)、その他	
成績評価	期末試験の結果によって評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	工業力学	２単位　後期
担当教員	栗田　裕	
授業概要	質点の力学と剛体の力学を，工業的な事例を通して修得する。物体に力が加わると，物体の運動は変化する。本講義では，物体の最も基本的なモデルである質点と剛体を取り上げて，物体に働く力と運動の関係について解説する。まず，運動状態を変化させる原因である力の表し方や合成と分解，つりあいについて述べる（静力学）。 次に，この力によって質点や剛体がどのように運動するのかを講義する。力と運動を結びつけるのが，運動の法則である（動力学）。単に数式を追うだけでなく，身近にある機械や人間の運動を考察することにより，力学の基礎概念を具体的なものとして理解する。	
到達目標	(1)実際の力学現象をモデル化できる：複雑な形状を持つ実際の機械を，質点や剛体で近似する。物体各部に働く分布力を一点に働く集中力で代表させる。物体間の接触を各種支点で表す（D－1）。 (2)モデル化された問題を解ける：質点や剛体に働く力を求める。重心を求める。慣性モーメントを求める。質点や剛体に働く運動を求める（D－2）。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：入江敏博著『詳細工業力学』（理工学社） 指定図書：国枝正春著『機械実用力学』（理工学社） 参考書：大熊正明著『新・工業力学』（数理工学社），青木弘・木谷晋『工業力学第3版』（森北出版）	
成績評価	宿題　20％　　期末試験　80％	
履修資格		

科目名	高分子合成	２単位　前期
担当教員	谷本　智史	
授業概要	高分子化合物は全ての生体を構成している主要な物質であるとともに、人間生活に必要な衣食住をはじめ先端技術を支える材料として広く用いられている。本講義では、高分子化学の歴史と高分子を合成するための原理を述べ、次いで、各種合成高分子を生成させる方法と反応機構について具体的な例をあげながら説明する。さらに、高分子の分子量や構造を制御する原理について述べ、高分子設計の基本的な考え方について解説する。	
到達目標	重合反応の種類を区別できるようになる。重縮合の分子量制御の原理を理解する。付加重合の反応過程を説明できるようになる。ラジカル共重合の分子組成決定法を理解する。身近な高分子材料の種類がわかるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：基礎化学コース　高分子化学I合成、中條善樹著、丸善株式会社 指定図書：理化学辞典、岩波書店 参考書：高分子化学序論(第2版)、岡村誠三ら著、化学同人	
成績評価	中間試験30％、期末試験70％	
履修資格		

科目名	高分子物性	２単位　後期
担当教員	徳満　勝久	
授業概要	我々の身の回りは高分子材料でできたものであふれている。高分子材料は日常用材料に留まらず，構造材料や宇宙・深海材料として広く利用されている。高分子材料は，分子量が大きいために低分子材料とは異なった特徴を有する。この特徴について解説することが本講義のねらいである。そのために，まず，高分子について，続いて高分子の構造，高分子鎖の形態と溶液の性質，高分子の物性について講述する。特に，高分子の特徴に焦点を絞りながら，高分子物性の基礎的概念の導入を行う。	
到達目標	①高分子材料の物性の多様性について理解できる。 ②高分子の分子量，形態変化などが高分子材料の各種物性に与える影響について理解できる。 ③高分子の一次構造から高次構造にわたる構造上の特徴が理解でき，尚かつそのマクロな物性との関係について理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：『高分子科学の基礎』（東京化学同人） 参考書： ①『高分子基礎科学』（昭晃堂） ②『新高分子化学序論』（化学同人） ③『わかりやすい高分子化学』（三共出版） ④『TEXTBOOK OF PORYMER SCIENCE, 3rd ed.』（Wiley-Interscience）	
成績評価	①定期試験：60% ②講義時間内発表およびレスポンスシート等の内容：40%	
履修資格		

科目名	固体物性基礎	２単位　前期
担当教員	奥　健夫	
授業概要	現代科学技術を支える様々な材料では、これらの物質中の原子配列・電子等の振る舞いが、材料の性質を支配している。材料科学の基礎事項である固体物性の基礎の理解が本講義のねらいである。本講義では、結晶の構造から格子振動、電子構造、金属、誘電体、磁性体、半導体、超伝導体などをとりあげ、さらに電磁場との相互作用、格子欠陥、拡散についてもふれる。	
到達目標	様々な固体物性の基礎を理解し、基礎物性の計算ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 適宜紹介する	
成績評価	筆記試験70％、レポート30％　固体物性学の原理・法則を理解して、初等問題に用できること	
履修資格		

科目名	コンピュータアーキテクチャ	２単位　前期
担当教員	奥村　進	
授業概要	コンピュータの処理方式と構成方式を理解し、それを効果的に利用するための技術を修得することの意義は大きい。本講義では、コンピュータの基本構造と動作原理としてのコンピュータアーキテクチャを扱う。プロセッサアーキテクチャとシステムアーキテクチャを主としたもとで、コンピュータアーキテクチャを学習する上での予備知識から基本概念、構造、および役割を講述する。また、命令レベル並列処理などコンピュータの高速化を図る技術についても触れる。	
到達目標	コンピュータアーキテクチャに関する概念と技術を理解して基本的事項について説明できるとともに、基礎的な演習問題が解ける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:坂井 修一著「コンピュータアーキテクチャ」(コロナ社) 指定図書と参考書は「追加情報」を参照のこと。	
成績評価	期末試験80％、レポート20％:講義で取り上げた内容に関する基礎的事項と応用的事項を理解しているかどうかを評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	コンピュータソフトウェア	２単位　前期
担当教員	畑中　裕司	
授業概要	高級言語を機械命令プログラムに変換するコンパイラについて、プログラミング言語との動作の関係、字句解析法、構文解析、コード生成法などについて学ぶ。また、オペレーティングシステムの役割とその構造、スケジューリング、実記憶と仮想記憶、通信処理方式などについて学ぶ。	
到達目標	(1)コンパイラの役割・構成について説明できること。 (2)字句解析、構文解析、意味解析について説明できること。 (3)プロセス管理とスケジューリングについて説明できること。 (4)実記憶と仮想記憶について説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:白鳥則郎、高橋薫、神長裕明著「ソフトウェア工学の基礎知識」(昭晃堂)、大久保英嗣著「オペレーティングシステムの基礎」(サイエンス社) 参考書:中田育男著「コンパイラ」(オーム社)	
成績評価	期末試験80%、レポート20％として、それらの合計で評価し、60%以上の成績で合格とする。	
履修資格		

科目名	コンピュータハードウェア	２単位　後期
担当教員	奥村　進	
授業概要	コンピュータの基本的な機能、構造および動作を知ることを目的とする。まずコンピュータの基本的な動作に触れた後、コンピュータハードウェアの基本構成要素をディジタル回路、とくにゲート素子、組合せ回路および順序回路の視点から、それらに関する考え方と設計法に関する基礎的事項を扱う。次いで算術論理演算装置(ALU) の構成について論じ、プロセッサの構成と機能、および記憶装置と入出力装置について触れる。	
到達目標	コンピュータハードウェアに関する概念と技術を理解して基本的事項について説明できるとともに、基礎的な演習問題が解ける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:後藤 宗弘著「電子計算機(第2版)」(森北出版) 指定図書:山田 満雄、新井 浩志著「例題で身につけるコンピュータハードウェア入門」(丸善) 参考書:富田 真治、中島 浩著「コンピュータハードウェア」(昭晃堂)	
成績評価	期末試験80%、レポート20%:講義で取り上げた内容に関する基礎的事項と応用的事項を理解しているかどうかを評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	材料開発工学	２単位　前期
担当教員	学科教員 ・ 辻井　薫※ ・ 鳥羽隆一※ ・ 白鳥　寿一※ ・ 室園　幹夫※	
授業概要	ある物質を実用可能な材料とするには，別の物質，製造装置開発，操業条件制御など，様々な技術が必要とされる。たとえば積層電子部品は金属とセラミックスの微粒子を積層して作るが，その過程では有機分子によるスラリー制御がコア技術である。また産業用プラスチックの多くには無機微粒子が練りこまれ，その選択が製品特性を左右する。この講義では材料開発の現場に携わる非常勤講師によるこのような実例の提示を中心に置き，材料開発の方法論を学ぶ。	
到達目標	(1)各種材料について，材料や製造プロセスの特徴が技術開発とどのように係るかを理する。　(2)各種材料の特徴と，それを生かした市場の開拓について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜プリントを配布する。	
成績評価	レポート試験（100%）　各材料の開発がどのように行われてきたかを理解し，新材料開発の方向性，および開発の際に予測される課題と解決案を考えられること	
履修資格		

科目名	材料科学概論	２単位　前期
担当教員	奥　健夫 ・ 廣川　能嗣	
授業概要	材料科学への入門がねらいで、各種材料の基本的な物質特性の入門的な解説を下記の内容で行う。各種金属材料、セラミックス材料、半導体材料、有機材料、高分子材料、有機機能材料の特徴、製造法、構造と物性の関連、応用について解説するとともに、環境に関わる材料科学の課題について述べる。	
到達目標	金属材料、セラミックス材料、半導体材料、有機材料、高分子材料、有機機能材料の特徴を説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:必要に応じて紹介する。 但し、有機材料(授業計画の第9回～第15回)は、有機工業化学(化学同人)をテキストとして使用する。	
成績評価	小テスト60%、レポート40%とし総合的に判定する。	
履修資格		

科目名	材料科学実験	６単位　通年
担当教員	学科教員	
授業概要	材料科学に関連する基礎的な実験操作および機器分析について、知識と技術を修得する。1年間を4期に分け、第1期は無機材料、第2期はエネルギー、複合材料、第3期は高分子・環境材料に関連する、合成、構造決定、物性評価、反応過程の解析の実験を行う。第4期は学科内の各研究分野に分属し、各分野で卒業研究を行う際に必要な考え方、知識、実験技法を修得する。各期行われる実験を重視し、毎回実験レポートを課す予定である。	
到達目標	(1) 材料科学に関連する基礎的な実験操作の内容を理解するとともに、機器の基本操作等ができること。 (2) 無機材料、エネルギー、複合材料、高分子・環境材料に関して、合成・構造決定・物性評価・反応過程の基礎的な実験結果を解析できること (3)得られた実験結果を整理し、考察を加えた上で簡潔なレポートを作成できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:各実験で配布するプリント・冊子化学同人編集部編「新版　実験を安全に行うために」(化学同人)化学同人編集部編「新版　続 実験を安全に行うために」(化学同人)	
成績評価	実験に関するレポート(100%)で評価する。ただし、各期ごと3回以上および全体で6回以上欠席したものは評価対象としない。	
履修資格	1年生および2年生配当の専門必修科目のうち、実験科目のすべてに合格し、かつ講義および演習課目のうち科目数で半数以上合格していること。	

科目名	材料強度物性	２単位　前期
担当教員	吉田　智	
授業概要	固体の材料を取り扱う上で、材料の強度は材料の信頼性を決定するという意味において極めて重要な性質の一つである。本講義では、材料の強度および破壊特性と材料の微構造の関係をできるだけ平易に講述する。金属材料とセラミックス材料の力学特性を中心に、非晶質、結晶質材料の強度と構造との関係、強度に影響を与える外的要因、種々の材料における強化法、強度測定法などについて基礎的かつ定量的な理解を目指す。	
到達目標	(1)転位の種類とその原子レベルでの構造を理解し、延性材料の破壊に与える影響を理解できること。(2)脆性材料の破壊挙動を理解し、破壊力学を用いた定量的な取り扱いができること。(3)様々な材料の強度測定法が説明できること。(4)材料の強化法について材料の微構造の点から説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 小林英男著「破壊力学」(共立出版)参考書: 岡田明著「セラミックスの破壊学」(内田老鶴圃)、淡路英夫著「セラミックス材料強度学」(コロナ社)、木村宏著「材料強度の考え方」(アグネ技術センター)	
成績評価	期末試験(50%)＋レポート(50%)	
履修資格		

科目名	材料計算化学および同演習	２単位　前期
担当教員	井上　吉教 ・ 近藤　淳哉 ・ 鈴木　厚志 ・ 松本　充弘※	
授業概要	近年のコンピューターサイエンスの進歩により、低分子量の物質については、分子軌道計算等による実験のデータ解析が容易に行えるようになり、その得られた計算は三次元座標を用いて可視化することが最近の一般的な手法となっている。そこで本講義では、簡単なデータ解析・分子モデリング・分子軌道計算、古典分子動力学法に関する解説と演習を行う。	
到達目標	簡単な有機化合物(ベンゼン、水など)の分子構造を作図、3D分子モデリング化、分子軌道法により電子構造(HOMO-LUMO)の計算を行い、電子構造とその特性の関係について理解できること。古典分子動力学法を理解し既存のソフトを用いて簡単なシミュレーションができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:近藤担当:コンピュータ・シミュレーションによる物質科学―分子動力学とモンテカルロ法(共立出版) テキスト:鈴木担当:専用テキスト活用	
成績評価	井上、近藤、鈴木担当:材料計算化学演習のレポートを課す。レポート評価100%	
履修資格		

科目名	材料組織学	２単位　前期
担当教員	宮村　弘	
授業概要	金属材料の力学的性質、電気的性質、物理的性質などの諸物性は材料内部の微細な組織によって変化する。この材料組織の制御についての基礎的な考え方と材料内部の組織と各種物性の関係について理解する。結晶中の格子欠陥（点欠陥、転位、積層欠陥）、合金元素、分散粒子、粒界、異相境界などの基礎的概念を理解し、相変態、時効析出、回復と再結晶、集合組織などの諸現象の理解とそれらにより形成される材料組織が材料物性にどのような影響を与えるかを考える。	
到達目標	(1)原子の拡散現象による相変態を理解し、説明できる。 (2)マルテンサイト変態と形状記憶などの性質を理解し、説明できる。 (3)塑性加工後の熱処理にともなう諸現象を理解し、説明できる。 (4)複合則による材料特性の予想ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:松原英一郎他「金属材料組織学」朝倉書店 参考書:杉本孝一他 「材料組織学」 朝倉書店 参考書:高木節雄、津崎兼彰 「材料組織学」 朝倉書店	
成績評価	小試験および演習等10%、定期試験90%	
履修資格		

科目名	材料力学Ｉ（材料）	２単位　前期
担当教員	田邉　裕貴	
授業概要	機械設計における強度計算は，機械・構造物が使用中に過大な変形，破壊を起こさないようにするために不可欠である。強度設計を行うためには，材料力学は最も重要な基礎科目である。想定される荷重，形状と寸法，および使用する材料などの与えられた設計条件の下で，機械・構造物の部材に生じる応力や変形量を求めるために必要な材料力学の基礎を学ぶ。	
到達目標	応力とひずみの概念を理解できる。引張・圧縮の軸力を加えた部材の応力，変形量が計算できる。不静定問題を解くことができる。トルクを加え た丸棒のせん断応力，ねじれ角が計算できる。曲げモーメントを加えたはりの垂直応力，たわみが計算できる。組合せ応力状態における主応力が計算できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:JSMEテキストシリーズ「材料力学」（日本機械学会） 指定図書:邉吾一・他著「標準　材料の力学」（日刊工業新聞社） 参考書:西村尚著「ポイントを学ぶ材料力学」（丸善）	
成績評価	中間試験・宿題（40％），定期試験（60％）上記の評価法において，材料力学の様々な問題を正確に解答できること。	
履修資格		

科目名	材料力学Ｉ（機械システム）	２単位　前期
担当教員	高松　徹	
授業概要	機械設計における強度計算は，機械・構造物が使用中に過大な変形，破壊を起こさないようにするために不可欠である。強度設計を行うためには，材料力学は最も重要な基礎科目である。想定される荷重，形状と寸法，および使用する材料などの与えられた設計条件の下で，機械・構造物の部材に生じる応力や変形量を求めるために必要な材料力学の基礎を学ぶ。	
到達目標	応力とひずみの概念を理解できる。引張・圧縮の軸力を加えた部材の応力，変形量が計算できる(D-1)。不静定問題を解くことができる(D-1)。トルクを加え た丸棒のせん断応力，ねじれ角が計算できる(D-2)。曲げモーメントを加えたはりの垂直応力，たわみが計算できる(D-2)。組合せ応力状態における主応力が計算できる(D-2)。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:JSMEテキストシリーズ「材料力学」（日本機械学会） 指定図書:邉吾一・他著 「標準　材料の力学」（日刊工業新聞社） 参考書:西村尚著「ポイントを学ぶ材料力学」（丸善）	
成績評価	中間試験・宿題（50％）　　期末試験（50％） 上記の評価法において，材料力学の様々な問題が正確に解答できること。	
履修資格		

科目名	材料力学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	高松　徹	
授業概要	「 材料力学I 」で学んだ応力・ひずみや変形の関係を基礎として，一般構造物で最も問題となる曲げ荷重下の応力・ひずみやたわみを考慮した部材強度と設計について学ぶ。また，耐圧容器や柱の圧縮等，より具体的な構造要素の強度と設計手法について学ぶとともに，これら要素の強度評価手法についても考察する。	
到達目標	不静定はり問題の解法を理解できる。物体に蓄えられる弾性エネルギーが計算できる。エネルギー法に基づく解法を理解し，様々な問題を解くことができる。座屈現象が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:JSMEテキストシリーズ「材料力学」(日本機械学会) 指定図書:邉吾一・他著「標準　材料の力学」(日刊工業新聞社) 参考書:西村尚著「ポイントを学ぶ材料力学」(丸善)	
成績評価	中間試験・宿題(50%)　　期末試験(50%) 上記の評価法において，材料力学に関する様々な問題を正確に解答できること。	
履修資格		

科目名	材料量子論	２単位　後期
担当教員	近藤　淳哉	
授業概要	まず、量子力学のうち固体物理を学ぶために不可欠な入門的内容及び材料科学の分野と密接な関わりを持つ入門的内容(シュレディンガー方程式の基礎、水素原子の構造、トンネル効果)について理解し、その上で、一般的な固体物理学の入門的要素のうち、格子振動(フォノン、比熱)、自由電子、エネルギーバンド(ブロッホの定理、フェルミ面、ブリルアンゾーン、回折、逆格子)について理解する。	
到達目標	量子・量子化の意味の理解、シュレディンガー方程式を簡単なポテンシャルから水素原子まで解析的に解くことが出来る、シュレディンガー方程式の近似解法のうち摂動法と変分法の理解、ブロッホの定理の理解、簡単な結晶構造におけるブリルアン・ゾーンとフェルミ面の理解、伝導帯中にエネルギー・ギャップが出来る理由の理解	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:キッテル著『固体物理学入門(上)』と青木亮三著『わかりやすい量子力学第2版』(第1回の講義から使用する)、指定図書:アシュクロフト・マーミン著『固体物理の基礎』、参考書:ランダウ・リフシッツ共著『量子力学＝非相対論的理論＝1，2』	
成績評価	ゼミナール形式で行い、『発表』、『参加』(出席ではないことに注意)を重視して評価する(参加・発表点100%)。受講者多数でゼミナール形式では行えないときは、通常の講義形式で行い、定期試験を重視して評価する(定期試験点100%)。	
履修資格		

科目名	産業技術マネジメント	２単位　後期
担当教員	安田　昌司	
授業概要	将来、社会に出たときに企業人、購買者、株主など多様な立場で自社、他社を、内部からあるいは外部から知る必要がでてくる。本講では、企業経営、特に技術経営に関する基礎を学ぶ。 まず産業史を学び、その変遷から将来を見通す。次に企業共通の機能を基礎として学ぶ。さらに各産業分野別にいかに現在の巨大産業に至ったかを学ぶ。いずれも実際の企業や事業の具体的事例を用いるように配慮する。 これらを通じて今後、社会に出る聴講者のキャリア形成を考える一助としたい。	
到達目標	企業経営、特に製造業経営に関する基礎、現代日本における課題について考える力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:自作したもの(約190ページ)を講義中に配布する。講義はパワーポイントやビデオを用いる。 参考書:ゼミナール経営管理入門(風早正宏、日本経済新聞社、)、経営史(安部悦生、日経文庫)、日経文庫　業界研究シリーズ(知りたい業界ごと)、モチベーション3．0(ダニエルピンク)など、講義中に適宜紹介する。	
成績評価	毎回、質問時間を設ける。出席票には質問や意見が記載できるようにする。 (共通する質問や意見は、次回講義で回答、紹介する) 講義に関するレポート(A4　1枚程度)作成を課す。	
履修資格	特に指定しない。	

科目名	システム工学	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	複雑で大規模なシステムの設計・解析・改善および運用を可能にしたシステム工学の考え方と目的を実現するための基本的手法を講義する。機械システムを主な対象としてシステムのモデル化，特性の解析，システムの時間的変化を模擬するシミュレーション，システムの効率化をはかる最適化に関する基本的な手法を述べた後，大規模で複雑なシステムを取り扱うときに注意すべき点をふまえたシステムの設計法について検討する。システムに関わる人間に対するリスクの軽減を考慮したシステムとは何かについても議論する。	
到達目標	(1)システムとは何かについて説明できる。 (2)コンピュータ支援設計法の全体像を理解し，基礎的な問題に運用できる。 (3)機械システムのモデリング手法を用いて，考察対象のモデルを作成できる。 (4)モデルを用いたシミュレーションを実行して，システムの挙動を求めることができる。 (5)最適化，信頼性解析などの基礎を習得し，応用問題の設定，解析，設計に応用できる。 (6)自律分散システムや複雑系などのシステム概念を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：田村坦之編著 「(新世代工学シリーズ) システム工学」(オーム社)。 指定図書：赤木新介著 「システム工学　エンジニアリングシステムの解析と計画」(共立出版)。 参考書：講義のなかで紹介する。	
成績評価	演習レポート評価 40%　講義内での演習問題をレポートとして提出させる．機械システムを適切なモデルで表現でき，そのモデルをシミュレーションにより解析して目的に応じて最適化することができること。 レポート試験による評価 60%　講義後課題を課し，レポートにまとめて提出を求める．演習レポート課題の理解に加え，大規模システムの設計法について基礎を身につけていること。	
履修資格	制御工学Ⅰ，Ⅱおよび線形代数Ⅰの講義を既受講であること。	

科目名	集積回路設計基礎	２単位　後期
担当教員	岸根　桂路	
授業概要	集積回路を設計するには電子回路技術、デバイス技術、論理設計技術、プロセス技術などの広範囲な技術が必要となるが、本講義では現在の大規模集積回路(VLSI)の基本であるMOS技術を中心に取り上げ、集積回路設計の一連の基礎を平易に解説する。さらに、プログラマブルデバイスについてもふれる。	
到達目標	(1)集積回路の動作原理を理解し、概要を説明できること。 (2)集積回路を設計する上で必要な基礎知識を習得していること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：國枝博昭著「集積回路設計入門」(コロナ社) 指定図書：谷口研二著「CMOSアナログ回路入門(CQ出版社)」、小谷教彦著「LSI工学」(森北出版)、FPGA/PLD設計スタートアップ(CQ出版) 参考書：久保脩治著「トランジスタ・集積回路の技術史」(オーム社)	
成績評価	講義中に課す課題(40%)：集積回路についてその概要が理解できており、基本的な回路設計ができること 期末試験(60%)：中間試験の範囲の理解に加え、プログラマブルデバイスを含む各種基本的な回路設計ができること　合計得点の60%以上の成績で合格とする。	
履修資格		

科目名	集積化プロセス工学	２単位　前期
担当教員	柳澤　淳一　・　山田　逸成	
授業概要	現在のナノテクノロジーを支えている超微細加工プロセス技術を概説する。要素技術であるリソグラフィ、熱処理、薄膜形成、イオン注入、エッチング技術などについて最新の技術動向を交えながら講述し、プロセスの問題点や歩留り、信頼性についての議論も行い、ナノテクノロジーが社会に与える意義について学んでもらう。さらに、この技術は半導体分野だけでなく、広く学際領域への展開が可能であることを理解してもらう。	
到達目標	(1)半導体プロセスの要素技術の基礎が理解できる。 (2)現在のナノテクノロジーにおける半導体プロセス技術の立場、役割、意義について理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：適宜、資料を配布する。 指定図書：岡崎信次、鈴木章義、上野巧「はじめての半導体リソグラフィ技術」(工業調査会)　江刺正喜「はじめてのMEMS」(工業調査会) 参考書：必要に応じ、適宜紹介する。	
成績評価	小試験 45％：講義の内容に関する小試験を3回程度行う。 レポート評価 55％：講義で学んだことをもとに、半導体プロセスに関する総合的なレポートを課す。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	情報処理基礎	２単位　前期
担当教員	奥村　進	
授業概要	コンピュータ技術の発達とともに情報処理は産業の各分野において重要技術になっている。同時に、機械エンジニアが情報処理システムを高度に利用する上で必要な知識は広範囲にわたり、専門的である。本講義では、最近の理論の動向および技術的背景をふまえたもとで、情報処理システムを支えている基礎的事項について習得することが目的である。	
到達目標	情報の表現、コンピュータの仕組み、および数値処理誤差について理解し、基本的事項について説明できるとともに、それらに関する基礎的な計算問題が解ける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：青木征男著「情報の表現とコンピュータの仕組み（第4版）」（ムイスリ出版）。プリントを適宜配布する。 指定図書：後藤 宗弘著「電子計算機（第2版）」（森北出版） 参考書：阿曽 弘具 著「コンピュータの基礎」（昭晃堂）	
成績評価	期末試験80％、レポート20％：講義で取り上げた内容に関する基礎的事項と応用的事項を理解しているかどうかを評価する。	
履修資格		

科目名	情報通信工学	２単位　前期
担当教員	岸根　桂路	
授業概要	今日の高度な通信システムの発展は目覚しいものがあり、情報通信工学はそれら通信システムにおける基礎技術の発展を支えてきた。情報通信工学の社会における役割と重要性について概説し、その位置づけと重要性を理解する。さらに符号理論、信号伝送理論、通信システムについて解説し、情報を高速・確実に伝達するに手法を学ぶとともに、通信ネットワーク、通信システムを理解する。	
到達目標	(1)信号の数学的表現を説明できること。 (2)変調復調理論を説明できること (3)通信ネットワーク、通信システムに関し、説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:　寺田 浩詔、吉田 進、佐藤 亨　著「情報通信工学」（オーム社） 参考書：平松啓二著　「通信方式」（コロナ社）必要に応じて、適宜プリントを配布する。	
成績評価	講義中に課した課題の評価(40%):　符号化・変調復調方式とその位置づけを説明できること。各種ネットワークの位置づけを説明できること。 期末試験の結果(60%)：信号の数学的表現と変調復調理論を説明できること。通信ネットワーク、通信システムに関し説明できること。合計得点の60%以上の成績で合格とする。	
履修資格		

科目名	情報理論	２単位　前期
担当教員	畑中　裕司	
授業概要	近年、情報技術が急速に進展しているが、その情報と通信の基礎になっている情報理論について学ぶことを目的とする。最初に、シャノンの創始した情報理論について、その定義、性質、情報量（容量）について講義する。また、人間の身の回りに存在するアナログの情報量をディジタル情報に置き換えるために必要なサンプリング定理についても講義する。さらに、ディジタル系の情報量で重要な符号化、情報セキュリティのための共通鍵暗号や公開暗号の原理についても講義する。	
到達目標	(1)サンプリング定理を説明できること。 (2)情報量のエントロピの計算を解くことができること。 (3)符号を作ることができること。 (4)通信路に関する各種計算ができること。 (5)検査符号について説明できること。 (6)基礎的な暗号化の原理について説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：三木成彦、吉川英機著「情報理論」（コロナ社） 指定図書：塩野充著「わかりやすいディジタル情報理論」（オーム社） 参考書：稲井寛著「はじめての情報理論」（森北出版）	
成績評価	定期試験80%、レポート20％として、それらの合計で評価し、60%以上の成績で合格とする。	
履修資格		

科目名	数値解析	２単位　前期
担当教員	安田　孝宏	
授業概要	物理現象を支配する方程式は厳密解が得られない場合が多く，その場合，数値解析を行う必要がある。最近のコンピュータの発達に伴い，数値計算で扱える工学的問題も増加している。数値解析では解く方程式の種類やその性質により様々な手法を使い分ける必要がある。また，数値解析結果は厳密ではなく，必ず誤差を含んでおり，本質的な結果を得るためにその評価が重要である。本講では数学，力学で扱う方程式についての数値解析手法の基礎と簡単な応用例を学ぶことで，数値解析を機械工学へ応用する能力を養成する。	
到達目標	(1)連立一次方程式，非線形方程式，数値積分，常微分方程式，偏微分方程式，補間法の数値解析手法を修得し，それぞれの解法を問題に応じて使い分けることができるようになる。 (2)数値解析結果の評価ができるようになる。 (3)数値解析に関する簡単なプログラミングが理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業中にプリントを配付 指定図書：河村哲也著「数値計算入門」(サイエンス社) 参考書：皆本晃弥著「よくわかる数値解析演習」(近代科学社)	
成績評価	期末試験（60％）および小テスト（40％）　問題に適した数値解析手法を使い分け，結果評価が出来ること。	
履修資格		

科目名	数値解析・数値計算	２単位　後期
担当教員	谷口　義治	
授業概要	工学で現れる数学的な問題は、常にすっきりした数式だけで解決されるわけではない。多くの場合に、近似的な計算が必要な場合が多い。数値計算・数値解析とは、さまざまな数学的な問題を数値的に計算したり、数値的に解く方法を与えることを目的としている。この講義ではその基礎的な事項を学ぶ。	
到達目標	数値解析・数値計算の基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：「数値解析の基礎・基本」吉田年雄著（牧野書房）	
成績評価	数値解析・数値計算の基礎的な事項を一応理解して、基本的な問題ができることが最低基準である。成績はレポート（35％）と期末試験（65％）によって評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	生化学Ｉ	２単位　後期
担当教員	竹原　宗範	
授業概要	生体を構成している分子の基礎について講義する。有機化学の基礎に立脚した生体構成分子の構造上の特徴を習得し、専門的な生化学への橋渡しを目指す。	
到達目標	（1）水と生命体の関わりを理解した上、生体分子である（2）アミノ酸とタンパク質・酵素、（3）糖質、（3）DNAとRNA、および（4）脂質、についての基本的な構造と性質を説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：鈴木紘一他訳「ホートン生化学」（東京化学同人）、プリント配布	
成績評価	期末筆記試験70％小テスト評価30%　いずれも「到達目標」の達成度に応じて評価する。	
履修資格		

科目名	生化学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	竹原　宗範	
授業概要	「生化学I」の続きで、生体分子の機能と代謝反応を取り扱う。生体反応とそのエネルギー授受の本質の理解に努める。さらに、「遺伝情報」の伝達と発現が巧妙にコントロールされている様子を学ぶ。	
到達目標	(1)脂質と生体膜の概要を理解した上、(2)生体反応のエネルギーの授受に関する基本的な計算式とその意義を説明できること。(3)遺伝情報の流れの正しく理解し、説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:鈴木紘一他訳「ホートン生化学」(東京化学同人)、プリント配布	
成績評価	期末筆記試験70％小テスト評価30%　いずれも「到達目標」の達成度に応じて評価する。	
履修資格		

科目名	制御工学	２単位　前期
担当教員	稲葉　博美	
授業概要	具体的な制御対象を例に，システムのモデル化，制御系の設計，安定解析など一連の制御系構築技術を修得する。 あわせて，いわゆる古典制御以外のいろいろな制御手法についても，その概要について触れる。	
到達目標	電子システムを制御する手法に関して，(1)伝達関数を理解できること。(2)制御系の安定判別ができること。(3)制御系の安定化設計ができること。(4)マイコンによる制御系構築ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:中野道雄，美多　勉　共著『制御基礎理論』〔古典から現代まで〕(昭晃堂) 指定図書:深海登世司，藤巻忠雄著 『制御工学　上』（東京電機大学出版局），大日方五郎編著 『制御工学』（朝倉書店） 参考書:宮崎道雄　編著 『システム制御Ⅰ，Ⅱ』（オーム社）	
成績評価	小テスト，レポート:40%　:制御の基礎について理解ができ，伝達関数などが説明できること 期末試験:60%　:小テストの範囲の理解に加え，制御系の安定性が理解でき，制御系の基礎的な設計ができること 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	制御工学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	安田　寿彦	
授業概要	1入力1出力の線形フィードバック制御理論の基礎。制御システムを設計するための基礎として，線形フィードバック制御理論について講義する。制御システムの入力信号および出力信号がそれぞれ1つであるようなシステムを対象とする。ラプラス変換を応用して，システムの数学モデルを伝達関数によって表現し，システムの応答，安定性など制御システムの解析方法について解説する。簡単なサーボ制御系の解析ができるようになることを目標とする。	
到達目標	(1)フィードバック制御系の基本構造を説明できる。(2)ラプラス変換表を用いて，ラプラス変換およびラプラス逆変換ができる。(3)伝達関数を使って制御系が表現できる。(4)過渡応答，周波数応答による制御系の特性と表現方法を習得する。(5)フィードバック制御系の安定性判別ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:太田有三編著 「制御工学」(オーム社) 参考書:講義中に紹介する。	
成績評価	定期試験80％、小テストおよびレポート課題8％、演習課題12％。	
履修資格		

科目名	制御工学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	安田　寿彦	
授業概要	伝達関数を用いた制御システムの設計法を講義する。簡単なサーボ制御系およびプロセス制御系の設計ができるようになることを目標とする。制御工学Ⅰで学んだ伝達関数法の基礎知識を用いて，安定度・定常偏差・整定時間などを用いた定量的な評価方法を学び，過渡応答・根軌跡・周波数応答を用いた方法による制御系の設計方法について論じる。	
到達目標	(1)位相余裕，ゲイン余裕，定常偏差が計算できる。(2)行き過ぎ量，整定時間を求めることができる。(3)根軌跡を描いて，パラメータと制御系の特性の関係を論じることができる。(4)周波数応答に注目して，制御系の性能改善方法を説明できる。(5)PIDコントローラの構成要素の役割を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：太田有三編著 「制御工学の（オーム社） 参考書：講義中に紹介する。	
成績評価	定期試験70％，演習課題30％。	
履修資格		

科目名	生産工学	２単位　前期
担当教員	中川　平三郎	
授業概要	講義「機械製作」では個々の加工方法を学習してきたが、本講義では身の回りの製品がどのような仕組みで生産されているのかを科学的に勉強する。例えば家庭電化製品、自動車の部品を安く、早く、品質よく作るための手法や、諸外国との価格競争に打ち勝つための方策などを説明する。最近のものつくりは、消費者の動向、嗜好を分析し、売れる商品を必要な量、タイムリーに作らなければならない。コンピュータを駆使した自動化・無人化システムを構築するための手法、生産現場における機械と人間とのヒューマンインターフェースを学習する。	
到達目標	(1)工業的ものつくりの仕組みを理解する．　(2)多種少量生産と加工コストを低減するための各種方策を理解する．　(3)自動化や無人化の利点と欠点を科学的に理解する．　(4)英語の専門用語を理解する．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：入門編　生産システム工学、共立出版指定図書：初めての生産システム　工業調査会参考書：生産工学入門(森北出版)，　生産システム便覧（コロナ社）	
成績評価	中間試験（40％），期末試験（60％）　特に生産システムにかかわる学問は欧米から発達したものであるから，英語の専門用語を理解する．	
履修資格		

科目名	セラミックス材料	２単位　後期
担当教員	吉田　智	
授業概要	セラミックスの語源は「焼きもの」であるが、原料の高純度化と高度な作製法の開発により、伝統工芸のみならず電子材料、光機能性材料、耐熱性構造材料などの様々な分野でセラミックス材料は用いられている。本講義では、セラミックス材料の構造、物性、作製プロセスの基礎を、物理化学と無機化学に基づいて講述する。セラミックス材料以外の材料に携わる研究者にとっても参考になるように、様々な物性が発現する機構に着目し、原子やイオンの化学結合あるいは電子構造の理解に重点を置いた講義内容とする。	
到達目標	(1)基礎的なセラミックスの結晶構造と非晶質の構造について理解できること。(2)固体の格子エネルギーおよび表面自由エネルギーについて理解できること。(3)セラミックス材料の様々な物性の発現機構を材料の結晶構造や電子構造に基づいて説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：上垣外修己、神谷信雄 共著「セラミックスの物理」（内田老鶴圃） 参考書：曾我直弘 著「初級セラミックス学」（アグネ承風社）	
成績評価	期末試験（50％）＋レポート（50％）	
履修資格		

科目名	線形代数Ⅰ（材料）	２単位　前期
担当教員	谷口　義治	
授業概要	線形代数とは、簡単にいえば、ベクトルと行列に関する数学である。つまり、高校で既に学習してきた、2次元や3次元のベクトルや行列の一般次元への拡張である。その意味では高校の延長にあるのだが、扱いがより一般的かつ理論的になる。線形代数は微積分学とならんで、あらゆる数学のみならずあらゆる科学・技術において最も基本的な数学である。この授業は連立1次方程式の解法理論からはじめて、行列の基本概念と計算法を講義する。	
到達目標	連立1次方程式、行列、行列式に関する基礎的な事項を一応理解して、基本的な計算ができることが最低基準である。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:浅倉・高橋・吉松著「基礎コース　線形代数」(学術図書出版社) 参考書:成田・野澤共著:「基本演習　線形代数」(牧野書店), 谷口・永友共著:「線形代数とMathematica」(牧野書店)	
成績評価	成績は期末試験(95%)と演習問題の発表(5%)によって評価する。	
履修資格		

科目名	線形代数Ⅰ（機械システム・電子システム）	２単位　前期
担当教員	松下　泰雄	
授業概要	線形代数とは、簡単にいえば、ベクトルと行列に関する数学である。つまり、高校で既に学習してきた、2次元や3次元のベクトルや行列の一般次元への拡張である。その意味では高校の延長にあるのだが、扱いがより一般的かつ理論的になる。線形代数は微積分学とならんで、あらゆる数学のみならずあらゆる科学・技術において最も基本的な数学である。この授業は連立1次方程式の解法理論からはじめて、行列の基本概念と計算法を講義する。	
到達目標	連立1次方程式、行列、行列式に関する基礎的な事項を一応理解して、基本的な計算ができることが最低基準である。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:浅倉・高橋・吉松著「基礎コース　線形代数」(学術図書出版社) 参考書:成田・野澤共著:「基本演習　線形代数」(牧野書店)	
成績評価	成績は期末試験(95%)と演習問題の発表(5%)によって評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	線形代数Ⅱ（材料科学、機械システム）	２単位　後期
担当教員	山口　博史※	
授業概要	線形代数1に続くこの授業では、ベクトル空間，行列の固有値と対角化等を学ぶ。線形代数は微積分学とならんで、あらゆる数学のみならずあらゆる科学・技術において最も基本的な数学であるから、内容と基本的な計算法をしっかりと身につけねばならない。	
到達目標	ベクトルの演算と行列の固有値に関する基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:線形代数1と同じ(浅倉・高橋・吉松著「基礎コース　線形代数」(学術図書出版社))参考書:成田・野澤共著:「基本演習　線形代数」(牧野書店)	
成績評価	期末試験の結果によって評価する。	
履修資格		

科目名	線形代数Ⅱ（電子システム）	２単位　後期
担当教員	谷口　義治	
授業概要	線形代数1に続くこの授業では、ベクトル空間，行列の固有値と対角化等を学ぶ。線形代数は微積分学とならんで、あらゆる数学のみならずあらゆる科学・技術において最も基本的な数学であるから、内容と基本的な計算法をしっかりと身につけねばならない。	
到達目標	ベクトルの演算と行列の固有値に関する基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：線形代数1と同じ（浅倉・高橋・吉松著「基礎コース　線形代数」（学術図書出版社））参考書：成田・野澤共著：「基本演習線形代数」（牧野書店），谷口・永友共著：「線形代数とMathematica」（牧野書店）	
成績評価	ベクトルの演算と行列の固有値に関する基礎的な事項を一応理解して、基本的な計算ができることが最低基準である。成績は期末試験（95%）と演習問題の発表（5%）によって評価する。100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	先端材料科学	２単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	材料科学の研究は，物質別では金属材料，セラミックス材料，有機材料，高分子材料などに分類でき，用途別では電子情報材料，エネルギー材料，環境機能材料，構造材料などに分類できる。また研究の方向性により，新材料の開発，合成・製造プロセスの開発，物性評価方法の開発などに分類することもできる。本科目では材料科学科所属の各教員を中心に，何をどのように研究しているかを知ることで，研究開発とはどのように進められるかを理解することを目的とする。	
到達目標	材料科学の様々な分野について，どのような研究が必要とされているか，それらの研究はどのように進められているか，最新の研究を行うには何が必要か，および，どのような研究成果が生み出されているかについてアウトラインを理解し，また，材料の製造または利用の現場がどのようなものかを知る。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜プリントを配布する。	
成績評価	毎週のレポート（100%）　各週の講義内容に対しレポートを課す。	
履修資格		

科目名	卒業研究（材料科学）	８単位　通年
担当教員	学科教員	
授業概要	材料科学の分野の中で，各人の卒業論文のテーマに関連して，実験・研究を行う。具体的には，材料科学の発展に寄与する先進的なテーマを選択し，指導教員の指導のもとに，その目的を達成できる研究計画をたて，実験を行い，自らの得た成果と他の研究者による成果とを合わせて総合的に考察することで，研究テーマについての問題点を解決する。それらの研究成果を卒業研究発表（発表内容への試問を含む）および卒業論文として報告する。	
到達目標	(1)研究を行うための多様な実験方法および定量的データ解析方法に習熟する。 (2)研究テーマについて自ら問題点を見いだし，計画的に研究を遂行し，論理的に纏め上げられる能力を養う。 (3)自らの得た研究成果について，文章，図表（英文表記を含む）および口頭で，他の人に明確に伝えられる能力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価	卒業論文（50%）　卒業研究で得られた学術的知見について，研究の背景，研究手法，結果，考察，全体のまとめを，論理的な構成で説明できていること 卒業研究発表（50%）　卒業研究で得られた学術的知見について，資料を提示しながら口頭で的確に説明でき，その内容に対する質問に対し答えられること	
履修資格	卒業研究を履修するためには，原則として以下の条件をすべて満たす必要がある。 1．3年次終了時点までの実験科目の単位をすべて取得していること 2．3年次終了時点で，未取得の必修外国語（英語および第二外国語）が1科目（2単位）以下であること 3．3年次終了時点で，語学を除く未取得の必修科目が2科目（4単位）以下であること 4．3年次終了時点で，卒業に必要な単位の取得数が110以上であること。	

科目名	卒業研究（機械システム）	８単位　通年
担当教員	学科教員	
授業概要	機械システム工学の専門的な課題について研究することによって，自立して専門分野で活動できる能力を養う。このために，研究分野に配属されたもとで，その分野の専門的な課題について指導教員の指導を受けて研究を行い，その成果を卒業論文にまとめて提出する。	
到達目標	1.研究テーマに関連する文献を調査し，その内容を理解できる(B)。 2.研究の工学的・社会的意義が理解できる(E)。 3.自ら立案した研究計画に沿って研究を遂行できる(H)。 4.研究遂行の際に生じる課題の解決方法を自発的に見出せる(G)。 5.研究に関連する専門基礎知識を理解し，研究遂行に役立てることができる(D-3)。 6.研究結果を論文としてまとめ，発表し，質疑に答えることができる(F)。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜紹介する。	
成績評価	以下の項目を総合し，合否を評価する。 ・研究会・ゼミ等での発表・質疑応答 ・卒業論文：工学系の学術論文として体裁が整えられており、かつ内容に重大な誤りがない ・卒業論文審査会：発表時間の適正と質疑応答に関する口頭発表の質および映像資料の質	
履修資格	卒業研究を履修するためには，下記の3つのいずれの条件をも満たさなければならない。 1. 第3年次終了時において，実験・実習・演習科目の全ての単位を修得していること。ただし，3年次配当科目（機械システム工学実験I，同II，機械設計演習II，同III）のそれらについては3科目以上を修得していること。 2. 第3年次終了時において，必修専門科目（56単位；28科目）の単位未修得科目が3科目，6単位以内であること。 3. 第3年次終了時において，卒業必要単位数（130単位）のうち106単位以上を修得していること。 ※入学年次の履修資格条件が適用されるので，入学年次の「履修の手引き」の条件に従うこと。	

科目名	卒業研究（電子システム）	８単位
担当教員	学科教員	
授業概要	受講者各人が、学科内のいずれかの研究分野に配属されたもとで、担当教員の指導を受けて、その研究分野の専門的な課題について研究を行う。得られた成果は、卒業論文としてまとめて提出し、卒業論文審査会で発表する。以上の取り組みを通して、電子システム工学分野の選択した研究テーマについての高度な専門知識を身につけさせると同時に、自立して専門分野で活動できるエンジニアリングデザイン能力と実行力、日本語によるコミュニケーション能力、自発的かつ継続的に学習する能力を養う。	
到達目標	下記の4項目の能力をすべて身につけること。 (1) 研究テーマについての高度な専門知識を身につけ、それらを駆使して課題を探求し組み立て解決することができる能力。 (2) 問題や課題を理解して設定し、実験を計画し、与えられた制約下でそれらの問題や課題に対する工学的な解決法を見つけだして計画的に仕事を進め、成果としてまとめることができる能力。 (3) 日本語により、自分の論点や考え方について論文や口頭でわかり易く論理的に発表しディスカッションを行うことができる能力。 (4) 自発的かつ継続的に学習することができる能力。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜指示する。	
成績評価	成績評価は合否のみとし、評点はつけない。日常の卒業研究への取り組み、研究会での発表状況、卒業論文の内容および卒業研究審査会でのプレゼンテーションを総合評価して、上記の授業概要中の(1)～(4)の4項目の能力について個別に100点満点で採点する。採点した4項目の得点がすべて60点以上であれば合格とし、1項目でも60点未満のものがあれば不合格とする。	
履修資格	本科目を履修するためには、次のすべての条件を満たしていなければならない。 1. 卒業要件単位数に関する条件 ・卒業要件単位数（130単位以上）のうち108単位以上を修得していること。 2. 学科の科目配当表に指定する専門科目に関する条件 ・必修科目の単位未修得数が3科目，6単位以下であること。 ・必修の実験科目の単位未修得数が1科目，2単位以下であること。 ・学科基礎科目の選択科目の単位を14単位以上修得していること。 ・学科専門科目の選択科目の単位を2単位以上修得していること。 3. 学習・教育目標自己点検表に関する条件 ・各年次の前期および後期終了後に学習・教育目標自己点検表を提出していること。	

科目名	ディジタル信号処理	２単位　後期
担当教員	宮城　茂幸	
授業概要	信号を離散時間的に表現し、これを処理するディジタル信号処理は、情報通信、制御工学、計測工学、メディア工学等と関連し、現在では重要な技術分野の一つである. 本講ではディジタル信号処理の基礎である、z変換による線形時不変システムの取り扱い、離散フーリエ変換とシステムの周波数特性、FFTおよびサンプリング定理について学ぶ.	
到達目標	信号の時間領域表現と周波数領域表現の対応関係を理解すること。z変換の計算ができるようになること。線形時不変システムの表現を理解し、その周波数特性が求められること。サンプリング定理の意味を理解すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：貴家仁志著「ディジタル信号処理のエッセンス」（昭晃堂） 指定図書：伊達玄訳「ディジタル信号処理（上）（下）」（コロナ社）	
成績評価	期末試験 100% 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	定量・機器分析および同実験	２単位　前期
担当教員	宮村　弘　・　近藤　淳哉　・　吉田　智　・　徳満　勝久　・　井上　吉教　・　山田　明寛	
授業概要	代表的な数種の測定機器の原理を理解させるとともに、実際にそれらを駆使して、有機化合物を分析したり、水溶液中のカルシウムイオンを定量し、それらの使用法に習熟させる。また、酸化還元滴定により化学的酸素要求量(COD)を定量し、CODについての理解を深める。さらに、結論に至るまでのデータの解析過程を説明させることにより、発表能力を養う。	
到達目標	(1)化学的酸素要求量について説明できること。 (2)各種光度計を用いて得られる情報の違いを把握していること。 (3)ガスクロマトグラフによる定量法を説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布 指定図書:日本化学会編「実験化学講座」(丸善)	
成績評価	所定の出席数を満たした者に対し、つぎの基準で評価する。 実験に取り組む態度、討議内容、発表内容 50%　報告書 50%	
履修資格		

科目名	電気エネルギーシステム工学	２単位　前期
担当教員	乾　義尚	
授業概要	現在の人類の豊かで便利な暮らしは電気エネルギーに支えられていると言っても過言ではない．本講義では，この電気エネルギーに関して，その資源から，発生および各種利用技術までをエネルギー変換工学とシステム工学の視点からトータルに理解させることを目標とする．まず，電気エネルギーの発生・変換・制御技術および各種利用技術について説明した後，エネルギー資源の現状について説明し，エネルギーの有効利用技術についても簡単に講述する．	
到達目標	(1) 電力の変換と制御の基礎について説明できること． (2) 電気エネルギーから各種エネルギーへの変換の原理と特性について説明できること． (3) 各種新発電方式の原理と特性について説明できること． (4) エネルギー資源について説明できること． (5) エネルギーの有効利用と環境保全について説明できること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:原　雅則 編著「EE Text 電気エネルギー工学通論」(オーム社)	
成績評価	定期試験を80％，レポートを20％とし，それらの合計で評価する． 100点満点で採点し60点以上を合格とする．	
履修資格		

科目名	電気回路Ⅰ	２単位　前期
担当教員	坂本　眞一	
授業概要	電気回路は，電気・電子・情報系の基礎科目として最も重要なもののひとつである．本講義では，電気・電子・情報系の技術者が最低限身につけておくべき電気回路の基礎知識である正弦波交流回路の諸性質を理解させることを目標とする．まず，線形回路素子の種類とその性質，正弦波交流の記号法を用いた取り扱い手法について説明した後，回路方程式の立て方，回路網の諸定理，変成器を含む回路，正弦波交流回路の電力，三相交流回路などについて講述する．	
到達目標	(1) 記号法を用いて正弦波交流回路を表現し，回路方程式を立てることができること． (2) 回路網に関する諸定理を理解し，活用することができること． (3) 相互誘導について理解し，その取り扱いができること． (4) 正弦波交流回路の電力の計算ができること． (5) 三相交流回路を理解し，その取り扱いができること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:佐治　學 編著「インターユニバーシティ 電気回路A（改訂2版）」(オーム社) 参考書:平山　博，大附辰夫 著「電気回路論（3版改訂）」(電気学会)	
成績評価	筆記試験60%，レポート40%として，それらの合計で評価し，60%以上の成績で合格とする．	
履修資格		

科目名	電気回路Ⅱ	２単位　後期
担当教員	乾　義尚	
授業概要	電気回路は，電気・電子・情報系の基礎科目として最も重要なもののひとつである．本講義では，「電気回路Ⅰ」に引き続き，電気・電子・情報系の技術者が最低限身につけておくべき電気回路の基礎知識である回路の過渡現象や伝送線路の諸性質などを理解させることを目標とする．まず，ラプラス変換や状態変数を用いた回路の過渡現象の解析手法について説明する．さらに，伝送線路の基礎，2端子対回路網の回路網関数とフィルタなどについて講述する．	
到達目標	(1) 微分方程式を用いて簡単な回路の過渡現象の計算ができること． (2) ラプラス変換を用いて回路の過渡現象の計算ができること． (3) 状態方程式を用いて回路の解析ができること． (4) 伝送線路の基礎方程式を理解し，反射と透過の計算ができること． (5) フィルタの性質を理解し，その特性を計算できること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：日比野倫夫 編著「インターユニバーシティ 電気回路B」（オーム社） 参考書：平山　博，大附辰夫 著「電気回路論（3版改訂）」（電気学会）	
成績評価	定期試験を80％，レポートを20％とし，それらの合計で評価する． 100点満点で採点し60点以上を合格とする．	
履修資格		

科目名	電気化学	２単位　前期
担当教員	秋山　毅	
授業概要	「物理化学」分野の一つで、初めに電気化学工業や各種の電池について概説する。電解質溶液の性質、電気化学ポテンシャル、電極反応速度、ボルタンメトリーや電極界面現象を理論的に理解させる。応用面では電気分解、固体電解質、電池や光電気化学などについて詳しく講義する。	
到達目標	電極電位をネルンストの式を用いて説明できる。電極電位と過電圧の関係を説明できる。電池の種類と特徴を説明できる。ボルタンメトリーを説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：「基礎化学コース　電気化学」 渡辺正、金村聖志、益田秀樹、渡辺正義　共著（丸善） 参考書：「ムーア物理化学上下」（東京化学同人）	
成績評価	小テストとレポート50%、試験成績50%で評価する。	
履修資格		

科目名	電気関係法規・施設管理	２単位　後期
担当教員	多山　洋文※	
授業概要	電気は感電や漏電火災という危険な面を有しているので，昔から各種の法令により，電気を供給する者，電気工事をする者，電気機器を製造する者および電気を使用する者に対して規制が行われてきている．本講義では，電気技術者にとって最低限必要な電気に関する法令および施設管理を一通り理解させることを目標として，電気事業法，電気工事士法，電気用品安全法，電気工事業法，各種電気設備の管理などについて講述する．	
到達目標	(1) 電気事業法について理解し，説明できること． (2) 電気工事士法，電気用品安全法，電気工事業法について理解し，説明できること． (3) 電気工作物の技術基準について理解し，説明できること． (4) 電気に関する標準規格について理解し，説明できること． (5) 電気施設管理について理解し，説明できること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：竹野正二 著「平成23年度版 電気法規と電気施設管理」（東京電機大学出版局）	
成績評価	レポート100%で評価する．レポートは別途指示された期日までに提出すること． 100点満点で採点し60点以上を合格とする．	
履修資格		

科目名	電気機器	２単位　後期
担当教員	乾　義尚　・　池之上　卓己	
授業概要	磁気エネルギーを介して電気エネルギーの変換および電気と機械エネルギーの相互変換を行う電気機器は，電気エネルギーの発生・変換・利用の各段階において重要な機器である．本講義では，代表的な電気機器の構造・原理・特性を一通り理解させることを目標とする．最初に電気機器に関連する統一的な基礎事項について説明した後に，代表的な電気機器である直流機，同期機，変圧器および誘導機の各機器について個別に講述する．	
到達目標	(1) 直流機の構造・原理・特性について理解し，説明できること． (2) 同期機の構造・原理・特性について理解し，説明できること． (3) 変圧器の構造・原理・特性について理解し，説明できること． (4) 誘導機の構造・原理・特性について理解し，説明できること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：多田隈進，石川芳博，常広　譲 著「電気機器学基礎論」（電気学会）	
成績評価	定期試験を80％，レポートを20％とし，それらの合計で評価する． 100点満点で採点し60点以上を合格とする．	
履修資格		

科目名	電気電子計測Ⅰ	２単位　前期
担当教員	福岡　克弘	
授業概要	計測における測定方法の分類および測定値の処理法について理解する。電気計測に使用されている指示計器およびディジタル計器について、その基本的構造、動作原理および使用上の注意について学ぶ。さらに、電気および磁気測定法の分類、定義について学ぶ。	
到達目標	(1)精度と誤差について説明でき、データ処理手法の基礎を理解していること。 (2)指示計器の種類と用途について説明できること。 (3)電圧・電流、抵抗・インピーダンス、電力、磁界の各種測定手法について説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：阿部 武雄、村上 実著「電気・電子計測」（森北出版） 指定図書：近藤 浩著「電気計測」（森北出版） 参考書：田中 正吾、山本 尚武、西守 克己著「基礎電気計測」（朝倉書店）	
成績評価	期末試験の結果 70％、レポート 30％として評価する。合計得点の60％以上の成績で合格とする。	
履修資格		

科目名	電気電子計測Ⅱ	２単位　後期
担当教員	作田　健　・　未定	
授業概要	今日の電子計測において、重要な役割を担っている信号入力部と信号解析、また全体のシステム構成、さらに応用計測について学ぶ。信号の入力には各種センサが用いられている。それらのセンサの基本原理とその用途を理解する。また、信号の解析処理について、従来からのアナログ処理およびコンピュータの普及によるディジタル処理の特徴と利用方法についての知識をえる。さらに応用計測システムについての概念を把握する。	
到達目標	(1)種々のセンサの動作原理が理解できる。 (2)アナログ計測とディジタル計測について、その特徴を理解が理解できる。 (3)計測に利用される信号処理が理解できる。 (4)応用計測について、その概念が説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：稲荷　隆彦著「基礎センサ工学」（コロナ社）、適宜プリントを配布 指定図書：阿部 武雄、村上 実著「電気・電子計測」（森北出版） 参考書：南茂夫、木村一郎、荒木勉著「はじめての計測工学」（講談社） 近藤 浩著「電気計測」（森北出版）	
成績評価	定期試験を80％、レポートを20％とし、それらの合計で評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	電子回路Ⅰ	２単位　後期
担当教員	稲葉　博美	
授業概要	アナログ回路とディジタル回路からなる「電子回路」のうち、アナログ回路について、交流信号を入力として所定の増幅出力を得るために必要な回路要素（ダイオード、トランジスタなど）と、その動作原理、およびその回路要素を用いた応用回路を中心に学ぶ。アナログ回路は身近な電気機器の増幅器に用いられるだけでなく、制御器として用いられる内容についてもふれる。これらは、各種計測機器、研究機器、一般電子機器などの装置やシステムを扱う上で必須の知識となる。	
到達目標	(1)ダイオード、トランジスタ、演算増幅器などの電子回路構成要素についてその動作を理解し、説明ができること。 (2)増幅回路、発信回路、変調回路などの動作を理解し、説明ができること。 (3)基本的なアナログ回路の設計ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：堀　桂太郎著「アナログ電子回路の基礎」（東京電機大学出版局） 指定図書：福田　務著「アナログ回路」（オーム社）、小峯龍男著「電子回路の「しくみ」と「基本」」（技術評論社） 参考書：藤井信生著「アナログ電子回路」（昭晃堂）、正田英介著「アナログ回路」アルテ21（オーム社）	
成績評価	小テスト、レポート：40%　：増幅回路について理解できており基本的な回路設計ができること 期末試験：60%　：小テストの範囲の理解に加え、オペアンプの基本的な回路設計ができること 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	電子回路Ⅱ	２単位　前期
担当教員	稲葉　博美	
授業概要	アナログ回路とディジタル回路からなる「電子回路」のうち，ディジタル回路について，論理回路を構築・動作させるために必要な要素技術と回路設計について学ぶ。さらに，集積度を高めたゲートアレーとソフトにより自由度を高めたマイコンとその周辺回路，および，その応用などについても学ぶ。これらはディジタルシステムを構築する上で重要な知識となる。	
到達目標	(1)各種ディジタル回路の動作を理解・説明でき，簡単な論理回路設計ができること。 (2)ゲートアレー，FPGA，マイコンの動作を理解・説明でき，ディジタル集積回路周辺の概略回路設計ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：堀　桂太郎著「ディジタル電子回路の基礎」（東京電機大学出版局） 指定図書：「キットで学ぼう電子回路No.5」（ADWIN），福田　務著「ディジタル回路」（オーム社），小峯龍男著「電子回路の「しくみ」と「基本」」（技術評論社） 参考書：雨宮好文著「電子回路学［Ⅱ］」（オーム社），尾崎弘著「電子回路ディジタル編」（共立出版），正田英介著「ディジタル回路アルテ21」（オーム社）	
成績評価	小テスト，レポート：40%：論理回路について理解できており基本的な論理回路設計ができること 期末試験：60%　：小テストの範囲の理解に加え，マイコン，および，その周辺の基本的な回路が理解・設計できること 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	電磁気学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	作田　健	
授業概要	電気と磁気を対象とする電磁気学は、力学とならぶ物理学の基礎のひとつである。電磁気学Ⅰでは、静的な場の理論について学習する。まず、電磁気学で用いられる基礎的なベクトル解析の取り扱いを学ぶ。これをもとにベクトル場としての、空間の電場について理解し、真空中・誘電体中の電場、電位、また静電容量、さらに静電エネルギーについて数学的な取り扱い、具体的な計算方法を学習する。また、ガウスの法則などの物理法則の概念を把握する。	
到達目標	(1)ガウスの定理などの積分形法則を、物理的なイメージをともなって理解し、(2) 具体的な問題に対し、前記法則等を用いたベクトル演算を使い、真空中・誘電体中の電界・電位、静電容量等の導出ができるようになり、さらに(3)積分形法則に対応する微分形法則を理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：安達 三郎、大貫 繁雄共著「電気磁気学」（森北出版）、プリント 指定図書：電気学会著「電気磁気学」（オーム社） 参考書：砂川重信著「電磁気の考え方」（岩波書店） 大貫 繁雄、安達 三郎共著「演習　電気磁気学」（森北出版）	
成績評価	定期試験を80％、レポートを20％とし、それらの合計で評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	電磁気学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	福岡　克弘	
授業概要	電磁気学の磁気を中心として、その現象を数学的および物理的に理解する。具体的には「磁界」を定義し、それについてのビオ・サバールの法則からアンペアの法則、磁束の保存則、さらに時間変動する場における電磁誘導の法則および変位電流の法則を加え、全体が電界と磁界に関するマクスウェルの方程式に統一されることを、講義および問題演習を通じて学習する。	
到達目標	(1)ビオ・サバールの法則およびアンペアの法則を理解し、電流と磁界の関係を説明できること。 (2)磁気回路について理解していること。 (3)インダクタンスについて理解し、電磁誘導現象に関して説明できること。 (4)マクスウェル方程式について理解していること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:安達 三郎、大貫 繁雄共著「電気磁気学」(森北出版)、自作プリント 指定図書:電気学会著「電気磁気学」(オーム社) 参考書:関根 松夫、佐野 元昭著「電磁気学を学ぶためのベクトル解析」(コロナ社)	
成績評価	定期試験の結果 70%、授業での解答発表 10%、レポートおよび授業での演習 20%として評価する。合計得点の60%以上の成績で合格とする。	
履修資格		

科目名	電子システム工学演習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	作田　健　・　奥村　進　・　坂本　眞一	
授業概要	2年次前期の必修科目「電磁気学Ⅰ」「電気回路Ⅰ」「アルゴリズムとデータ構造」の講義内容に基づき、具体的な演習問題を解いて講義の理解を深め、基礎学力を養う。あわせて、レポート作成と演習を通して、自発的かつ継続的に学習する能力を養う。	
到達目標	(1)電磁気学に関して、電界・電流などを理解し基本的な場の計算ができる。 (2)電気回路の基礎知識である正弦波交流回路の諸性質を理解ができる。 (3)アルゴリズムとデータ構造に関する基本的事項について理解し、C言語でプログラムの作成ができる。 (4)自発的かつ継続的に学習することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 電磁気学:安達 三郎、大貫 繁雄共著「電気磁気学」(森北出版) 電気回路:佐治　學 編著「インターユニバーシティ 電気回路A (改訂2版)」(オーム社) アルゴリズムとデータ構造:柴田 望洋、辻 亮介著「明解C言語によるアルゴリズムとデータ構造」(ソフトバンククリエイティブ) 指定図書: 電磁気学:砂川 重信著「電磁気学の考え方」(岩波書店) アルゴリズムとデータ構造:五十嵐 健夫著「データ構造とアルゴリズム」(数理工学社) 参考書: 電磁気学:後藤 憲一、山崎 修一郎共編「詳解　電磁気学演習」(共立出版) 電気回路:平山　博, 大附 辰夫 著「電気回路論 (3版改訂)」(電気学会) アルゴリズムとデータ構造:柴田 望洋著「Javaによるアルゴリズムとデータ構造」(ソフトバンククリエイティブ)	
成績評価	電磁気学・電気回路・アルゴリズムとデータ構造に関する演習のいずれも、受講態度10%、レポート90% それぞれの演習に関する得点(100点満点)を加算して、3で除した数値の小数点以下を切り捨てた数値を最終得点とし、60点以上を合格とする。ただし、未提出のレポートが1つでもある場合、あるいは電磁気学, 電気回路, アルゴリズムとデータ構造に関する演習のいずれか1つ以上が60点未満である場合、最終得点は計算されない。	
履修資格		

科目名	電子システム工学演習Ⅱ	１単位　後期
担当教員	稲葉　博美　・　柳澤　淳一　・　畑中　裕司	
授業概要	2年次後期の必修科目「電子回路I」「半導体基礎」「プログラミング言語」の講義内容に基づき、具体的な演習問題を解いて講義の理解を深め、基礎学力を養う。あわせて、レポート作成と演習を通して、自発的かつ継続的に学習する能力を養う。	
到達目標	(1)電子回路については基本的なアナログ回路の動作を理解し、設計ができること。 (2)半導体の電気伝導を担うキャリアについて理解し、エネルギーバンドを用いてその振る舞いが説明できること。 (3)プログラミング言語の構文について理解し、ソースコードの作成ができること。 (4)自発的かつ継続的に学習することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 電子回路:堀　桂太郎著「アナログ電子回路の基礎」(東京電機大学出版局) 半導体基礎:演習問題のプリントを配布する。 プログラミング言語:柴田 望洋著「新版 明解C言語入門編」(ソフトバンクパブリッシング) 指定図書: 電子回路:福田　務著「アナログ回路」(オーム社)、小峯 龍男著「電子回路の「しくみ」と「基本」」(技術評論社) 半導体基礎:入江 泰三、遠藤 三郎共著「半導体基礎工学(Ⅰ)」(工学図書) プログラミング言語:柴田 望洋著「新版 明解C言語実践編」(ソフトバンクパブリッシング) 参考書: 電子回路:藤井 信生著「アナログ電子回路」(昭晃堂)、正田 英介著「アナログ回路」アルテ21(オーム社) 半導体基礎:太田 英二、坂田 亮共著「半導体の電子物性工学」(裳華房)、青木 昌治著「応用物性論」(朝倉書店) プログラミング言語:白鳥 則郎、高橋 薫、神長 裕明著「ソフトウェア工学の基礎知識」(昭晃堂)	
成績評価	電子回路・半導体基礎・プログラミング言語に関する演習のいずれも、受講態度10%、レポート90%。 それぞれの演習に関する得点(100点満点)を加算して、3で除した数値の小数点以下を切り捨てた数値を最終得点とし、60点以上を合格とする。ただし、未提出のレポートが1つでもある場合、あるいは、電子回路・半導体基礎・プログラミング言語に関する演習のいずれか1つ以上が60点未満である場合、最終得点は計算されない。	
履修資格		

科目名	電子システム工学演習Ⅲ	１単位　前期
担当教員	畑中　裕司　・　坂本　眞一	
授業概要	CAD（Computer Aided Design）を用いた電気機器の作図法を、演習を通じて習得することを目的とする。最初に、製図の基礎、CADシステムの基礎概念を学習する。次に、CADシステムの操作方法を、実際に作図演習をしたり、編集したりしながら学ぶ。さらに、電気用記号の作図法を学び、実際にCADシステムを用いて作図を行う。	
到達目標	(1)製図、CADシステムの基礎を理解する。 (2)CADシステムを用いて電気用図記号が作図できる。 (3)CADシステムによって変圧器を用いた回路が作図できる。 (4)CADシステムを用いて電気制御回路の作図ができる。 (5)ディジタル回路をCADシステムで作図できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：大浜庄司著「シーケンス制御読本（入門編）」（オーム社） 指定図書：片岡徳昌著「電子・電気製図法」（日本理工出版会） 参考書：山下祐司・大梅 元弘著「見方・かき方　電気用図記号」（オーム社）	
成績評価	図面評価80%　授業態度20%。合計得点の60%以上の成績で合格とする。	
履修資格		

科目名	電子システム工学概論	２単位　前期
担当教員	稲葉　博美	
授業概要	はじめに電気・電子システム分野で必要となる基礎知識を学習する。次に、電気・電子回路の働き、設計法について紹介する。あわせて、種々の技術分野で電子システムがどのような形で応用され、社会に役立っているか、具体的な事例を通して電気・電子システムの位置付けを学習する。	
到達目標	(1)電気・電子回路の基礎について理解ができ、回路動作などが説明できること。 (2)アナログ回路、ディジタル回路の基礎的な回路設計ができること。 (3)回路実現のための素子知識を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：伊理正夫監修「電気・電子概論」（実教出版） 指定図書：堀　桂太郎著「アナログ電子回路の基礎」、「ディジタル電子回路の基礎」（東京電機大学出版局） 参考書：国島保治著「電子回路の基本と仕組み」（秀和システム）	
成績評価	小テスト、レポート：40%　：電気・電子回路の基礎について理解ができ、動作などが説明できること 期末試験：60%　：小テストの範囲の理解に加え、アナログ・ディジタル回路の基礎的な設計ができること 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	電子システム工学実験Ⅰ	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	電気・電子分野に関する、授業計画に示した実験を計画・遂行し、実験で得られた結果を解析して工学の視点から考察するとともに、報告書をまとめる能力を養う。	
到達目標	電子システムに関連する基礎的な実験に関して、 (1)実験の目的と方法を理解できること。 (2)実験を適切かつ安全に遂行できること。 (3)各種計測器の動作原理を理解し、適切な取り扱いができること。 (4)実験結果を正確に解析できること。 (5)実験および実験結果について的確な考察と説明ができること。 (6)報告書を適切にまとめることができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：実験指導書。プリントを適宜配布する。 指定図書： 桂　桂太郎著「アナログ電子回路」（東京電機大出版） 入江 泰三、遠藤 三郎著「半導体基礎工学(I)」（工学図書） 阿部 武雄、村上 実著「電気・電子計測」（森北出版） 国立天文台編「理科年表」（丸善） 参考書：適宜紹介する。	
成績評価	すべての実験を行いレポートを提出していること。レポートは実験テーマごと作成し、別途指示された期日までに提出する。 受講態度と実験遂行能力の評価を30％、レポートを70%として、それらの合計で評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	電子システム工学実験Ⅱ	２単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	電気・電子・情報分野に関する、授業計画に示した実験を遂行し、実験で得られた結果を解析して工学の視点から考察するとともに、報告書をまとめる能力を養う。	
到達目標	電子システムに関連する標準的な実験に関して、(1)実験の目的と方法を理解できること。(2)実験を適切かつ安全に遂行できること。(3)各種計測器の動作原理を理解し、適切な取り扱いができること。(4)実験結果を正確に解析できること。(5)実験および実験結果について的確な考察と説明ができること。(6)報告書を適切にまとめることができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：実験指導書のプリントを適宜配布する。 指定図書：適宜紹介する。 参考書：適宜紹介する。	
成績評価	すべての実験を行いレポートを提出していること。レポートは実験テーマごとに作成し、別途指示された期日までに提出する。受講態度と実験遂行能力の評価を30％、レポートを70%として、それらの合計で評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	電子システム工学実験Ⅲ	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	電気・電子・情報分野に関する、授業計画に示した実験を遂行し、実験で得られた結果を解析して工学の視点から考察するとともに、報告書をまとめる能力を養う。	
到達目標	電子システムに関連する応用的な実験に関して、 (1)実験の目的と方法を理解できること。 (2)実験を適切かつ安全に遂行できること。 (3)各種計測器の動作原理を理解し、適切な取り扱いができること。 (4)実験結果を正確に解析できること。 (5)実験および実験結果について的確な考察と説明ができること。 (6)報告書を適切にまとめることができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：実験指導書のプリントを適宜配布する。 指定図書：適宜紹介する。 参考書：適宜紹介する。	
成績評価	すべての実験を行いレポートを提出していること。レポートは実験テーマごとに作成し、別途指示された期日までに提出する。受講態度と実験遂行能力の評価を30％、レポートを70%として、それらの合計で評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	電子システム工学実験Ⅳ	２単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	電子システム工学に関するテーマに関し、課題の理解と設定、制約条件下での工学的な解決法構築と実験の計画、計画的な仕事の遂行、および報告書の作成を通じて、エンジニアリングデザイン能力と実行力を身につける。基盤テーマ①「電子回路設計」を必須テーマとし、応用テーマとして②「画像システムの構築」、③「電気音響変換器の試作」、④「有限要素法を用いた電磁界シミュレーション」あるいは⑤「受光素子・太陽電池のシミュレーション設計」のいずれかのテーマを履修する。	
到達目標	電子システムに関連する実験に関して、 (1)課題に関する基礎知識を習得し、理解できること。 (2)目標到達までの、問題や課題の設定と解決法の構築、実験の計画ができること。 (3)作業の計画的遂行と結果の評価検証ができること。 (4)報告書を適切にまとめることができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：棚木義則「電子回路シミュレータPSpice入門編」（CQ出版社） 実験指導書。プリントを適宜配布する。 指定図書：適宜紹介する。 参考書：適宜紹介する。	
成績評価	基盤テーマおよび履修した応用テーマに関する実験を行いレポートを提出していること。レポートは実験テーマごと作成し、別途指示された期日までに提出する。受講態度と実験遂行能力の評価を30％、レポートを70%として、それらの合計で評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	電子システム工学セミナー	２単位　前期
担当教員	奥村　進　・　岸根　桂路	
授業概要	図書情報センターの活用に関する基礎知識を身につける。マイコンシステムなどの電子工作を通じて、電気・電子・情報に関する基礎的な事項を体験的に理解する。あわせて、以上の取り組みを通して、自発的かつ継続的に学習する能力を養う。	
到達目標	「追加情報」を参照のこと。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを適宜配布する。 参考書：必要があれば講義中に紹介する。	
成績評価	3回以上の欠席は成績評価の対象としない。遅刻は0.5回分の欠席とみなす。 レポート70％、受講態度20％、期末試験10％：授業で取り上げた内容に関する基礎的事項を理解しているかどうかを評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	電子デバイス	２単位　後期
担当教員	柳澤　淳一	
授業概要	半導体や誘電体などのさまざまな電子材料を用いることで、特異な物理現象やデバイス動作を利用した高機能電子デバイスが実現されている。本講義では、これらの例として電界効果トランジスタ、高周波トランジスタ、パワーエレクトロニクス素子、量子効果デバイス、光電変換デバイスなどを取り上げ、動作原理や諸特性、課題などについて半導体の基礎に立ち戻って講述する。	
到達目標	代表的な電子デバイスの動作がエネルギーバンドと関連付けて説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：水谷孝「電子デバイス」（オーム社） 指定図書：松波弘之、尾江邦重「半導体材料とデバイス」（岩波書店） 参考書：菅博、川畑敬志、矢野満明、田中誠「図説　電子デバイス」（産業図書）	
成績評価	レポートおよび小試験評価40％：講義で扱った式の導出や数値的な計算ができること。 期末筆記試験60％：エネルギーバンドを理解し、代表的な電子デバイスの動作がそれにより説明できることを求める。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	電子と化学結合	２単位　後期
担当教員	松岡　純	
授業概要	化学は、原子間の結合の生成や切断と、その結果生じる物質の性質とに関する学問である。物理化学はその中で、様々な化学反応や物性の中に普遍的・統一的な解釈を与える役割を担い、化学そのものの他に材料科学、エネルギー工学、地球科学など広い分野と関連し、工学部で物質やエネルギー学ぶ基礎となる。本講では物理化学の基盤を構成する3分野（量子化学、熱力学、反応速度論）の中で、化学結合と物質構造を扱う量子化学の基本概念の理解を目指す。	
到達目標	(1)電子の波動関数のもつ意味について説明できること。 (2)原子の電子構造について波動関数の考えを用いて説明できること。 (3)原子間の共有結合について波動関数の考えを用いて説明できること。 (4)様々な化学結合について，それらの概要を説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：正畠宏祐 著「化学の基礎 －化学結合の理解」（化学同人）指定図書：長倉三郎 他編「岩波 理化学辞典 第5版」（岩波書店）参 考 書：オドワイヤー 他著、鳥居泰男 他訳「入門化学結合」（培風館）　ウインター著、西本吉助訳「フレッシュマンのための化学結合論」（化学同人）（教科書と参考書はほぼ同じ内容を扱っていますが，説明の順序や方法が異なります。参考書は図書館にありますので，教科書を読んでもしっくりこないという人は，これらを読んでみて下さい。）	
成績評価	期末筆記試験（80％） 波としての電子を扱う見方の基礎，原子の電子構造と周期表の概要，共有結合の構造と電子の状態，様々な化学結合の概要への理解を問う。 宿題（20％） 毎週の講義内容を理解できていること。	
履修資格		

科目名	電磁波工学	２単位　後期
担当教員	作田　健	
授業概要	電磁波は、情報通信や計測、最近ではRFタグなどに利用されるなど、ますます重要になっている。この電磁波について、基本概念として、波動の基礎、マクスウェルの方程式、電磁波の伝搬について学ぶ。さらに応用として、ミリ波の利用などについても概念を把握し、電磁波工学の基礎から応用的な考え方までを体系的に学習する。	
到達目標	(1)伝送線路に代表される波動について、複素表現、分布定数回路により説明できる。 (2)空間を伝搬する平面電磁波および伝送路を伝搬する伝送波の振る舞いについて理解する。 (3)電磁波応用について、各種応用についての概念が説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：長谷部望著「電波工学（改訂版）」コロナ社 参考書：徳丸仁著「基礎電磁波」（森北出版） 橋本修、川崎繁男著「新しい電波工学」（培風館） 高橋応明著「電磁波工学入門」（数理工学者）	
成績評価	定期試験を80％、レポートを20％とし、それらの合計で評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	伝熱学	２単位　後期
担当教員	安田　孝宏	
授業概要	現在のエネルギー・環境問題を解決するために伝熱工学が非常に重要である。本講では熱伝導，熱伝達，熱ふく射の熱移動現象についてその原理や工学的問題との関係を理解し，自然現象や工業における伝熱問題を解決するための考え方を修得する。理解を深めるために授業中に基礎的な例題を解き，また，復習のための小テスト等を課す。	
到達目標	(1)固体の熱伝導について熱伝導率，フーリエの法則について理解し種々の物体形状に対し温度分布や伝熱量が算出できる。 (2)対流熱伝達の基礎方程式である質量，運動量，エネルギー保存則を理解し，流れの状態に応じた伝熱量が計算できる。 (3)ふく射伝熱について理解し，説明や簡単な計算ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：JSMEテキストシリーズ「伝熱工学」（日本機械学会）および配付プリント 指定図書：庄司正弘著「伝熱工学」（東京大学出版会） 参考書：相原利雄著「伝熱工学」（裳華房）	
成績評価	期末試験（60％）および小テスト（40％）	
履修資格		

科目名	電力工学Ｉ	２単位　前期
担当教員	坂本　眞一	
授業概要	現在の人類の豊かで便利な暮らしは電気エネルギーに支えられていると言っても過言ではない．電力工学はこの電気エネルギーの発生に関わる発電工学と需要家への供給に関わる送電，変電および配電工学よりなるが，本講義では，それらのうちの発電工学について理解させることを目標として，主要な発電方式である，火力発電，原子力発電および水力発電の各技術について講述する．	
到達目標	(1) 火力発電の原理について理解し，説明できること． (2) 火力発電のサイクルと主要設備について説明できること． (3) 原子力発電の原理について理解し，説明できること． (4) 原子力発電の種類と主要設備について説明できること． (5) 水力発電の方式と主要設備について説明できること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：江間　敏，甲斐隆章 共著「電気・電子系教科書シリーズ 電力工学」（コロナ社） 参考書：吉川榮和，垣本直人，八尾　健 共著「発電工学」（電気学会）	
成績評価	期末筆記試験を60%，レポートを40%として，それらの合計で評価し，60%以上の成績で合格とする．	
履修資格		

科目名	電力工学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	坂本　眞一	
授業概要	現在の人類の豊かで便利な暮らしは電気エネルギーに支えられていると言っても過言ではない．電力工学はこの電気エネルギーの発生に関わる発電工学と需要家への供給に関わる送電，変電および配電工学よりなるが，本講義では，「電力工学1」に引き続き，それらのうちの送電，変電および配電工学について理解させることを目標とする．まず，送電工学に関して，送電線路，等価回路，制御方式などについて説明し，さらに変電工学および配電工学についても簡単に講述する．	
到達目標	(1) 送電線路の種類と構成について説明できること． (2) 送電線路の線路定数について理解し，説明できること． (3) 送電線路の等価回路と円線図について理解し，説明できること． (4) 電力系統の制御方式について理解し，説明できること． (5) 変電所と配電方式の概要について説明できること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：江間　敏，甲斐隆章 共著「電気・電子系教科書シリーズ 電力工学」（コロナ社） 参考書：大久保仁　編著「電力システム工学」（オーム社）	
成績評価	期末筆記試験を60%，レポートを40%として，それらの合計で評価し，60%以上の成績で合格とする．	
履修資格		

科目名	統計熱力学	２単位　前期
担当教員	河崎　澄	
授業概要	統計力学に関する基礎知識の習得と，力学と統計力学との関係を理解することを目的とする。このために，熱現象などを多数の分子・原子の統計集合によって分子論的に考察する統計力学の基本的な考え方や，熱力学第一法則および第二法則と統計力学との関係について最低限必要な数学的記述を用いて講述する。	
到達目標	(1)気体分子の熱運動と内部エネルギーの関係を説明できる。 (2)マクスウェルの速度分布則について説明できる。 (3)分配関数を用いてマクロな熱力学的状態量を記述できる。 (4)2原子分子気体の温度と比熱の関係について説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを配布する． 参考書：阿部龍蔵著『熱統計力学』（裳華房），佐藤俊・国友孟著『熱力学』（丸善）など	
成績評価	中間試験40%および期末試験60%により評価する．中間試験では、主に気体分子運動論に関する理解度を問う。期末試験では、量子力学の考え方を取り入れたボルツマン分布、分配関数に関する理解度を問う。	
履修資格		

科目名	動力システム	２単位　前期
担当教員	山根　浩二	
授業概要	本講義は，人間の心臓とも言える動力システムの構造などを理解し，機械システムの設計に役立つ往復式内燃機関（ガソリン機関，ディーゼル機関）に関わる機構学，熱力学，燃焼工学的な解説をするほか，ロケット機関，ガスタービン機関，ターボ機械に関する作動原理について講義を行う。	
到達目標	(1)往復式内燃機関の用語や性能を決める因子を理解できる。 (2)往復式内燃機関の性能を熱力学的に計算できる。 (3)ロケット機関，ガスタービン機関，蒸気タービン，水力タービン，風力タービンなどの各動力システムの機器構成を理解し説明できる。 (4)各動力システムに対するWell-To-Wheelでのエネルギー量やGHG排出量の解析手法が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義資料としてプリント配布 参考書：便宜紹介	
成績評価	定期試験50％，中間試験50％により評価。なお，出席回数が所定の回数に満たないものは評価しない。 中間試験では内燃機関の性能を決める因子が理解でき，出力や燃料消費量などが求められるか，また定期試験では種々の動力システムの構成が理解でき，用語を簡潔に説明できるかなど，これらに関連する問題が解けるかをチェックする。	
履修資格		

科目名	特殊加工学	２単位　前期
担当教員	中川　平三郎	
授業概要	我々の身の回りの製品にも、非常にレベルの高い科学技術によって作られているものが多くある。例えば半導体、記憶媒体、液晶ディスプレイ、プラズマディスプレイ、モバイルAV機器、携帯電話などには、電子ビーム加工、プラズマ加工、イオンプレーティングなどの高度な加工技術が基になっている。10年前までは、これらの加工は特殊加工と呼ばれているが、現在は特殊というより微細加工技術として、多くの製品を作り出している。本講義では微細加工技術の種類とその加工原理、特徴と将来性について理解をする.	
到達目標	(1)各種加工方法の加工原理を理解する. (2)加工装置の原理を理解する. (3)各種加工方法の長所と短所が見極められる力を身に付ける. (4)身近にある工業製品と特殊加工法を結びつけることができるようになる.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:マイクロ応用加工　木本(共立出版)指定図書:特殊加工　佐藤(養賢堂)マイクロ・ナノ加工の原理(共立出版)	
成績評価	中間試験(40%), 期末試験(60%)	
履修資格		

科目名	熱力学Ⅰ	２単位　後期
担当教員	山根　浩二	
授業概要	熱力学は自然界の物理現象を記述する基礎科学の一つで, 機械工学を学ぶ学生にとって必須学問である。本講義は, 図表や模式図などを多用したテキストを使用し, プリントとスライドを基本に講義を行うとともに, 必要に応じて動画を利用して理解を深める。また, 各セクションでまとめと演習を設け, 自学自習を促す。	
到達目標	(1)熱力学第一および第二法則に関する関係式が理解できる(D-1)。 (2)熱力学関係式が理解でき, ガスサイクルのp-VおよびT-s線図が描け, 熱効率を表す式を導くことができる(D-2)。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:JSMEテキストシリーズ「熱力学」(日本機械学会)およびプリント参考書:便宜紹介	
成績評価	定期試験50%, 中間試験30%, 宿題20%により評価。なお, 定期試験は出席回数が所定の回数を満たしている者のみ評価する。 中間試験では, 熱と仕事, 内部エネルギー, エンタルピー, エントロピーなどの関係を表す熱力学第一および第二法則が理解できているか, また, 定期試験では、熱力学関係式が理解でき, ガスサイクルのp-VおよびT-s線図が描け, オットーサイクルなどの理論熱効率を表す式を導くことができているか, これらに関する問題が解けるかを, それぞれチェックする。	
履修資格		

科目名	熱力学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	山根　浩二	
授業概要	熱力学Ⅰで学んだ熱力学の法則を踏まえ, 熱システムの設計に役立つ実在気体に対する熱工学的な知識を習得する。本講義は, 図表や模式図などを多用したテキストとプリントを使用し, 必要に応じて動画を利用して理解を深める。また, 各セクションでまとめと演習を設け, 自学自習を促す。	
到達目標	(1)蒸気サイクル, 冷凍空調サイクルの状態量を求めることができる。(2)圧縮性流体の状態方程式が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:JSMEテキストシリーズ「熱力学」(日本機械学会)およびプリント参考書:便宜紹介	
成績評価	定期試験50%, 各まとめ毎の小試験50%で評価. なお, 定期試験は, 所定の回数出席していないものは評価しない。 3回のまとめ毎の試験では, ①蒸気サイクルにおける蒸気表が読めて蒸気の乾き度や理論熱効率などが求められるか, ②湿り空気線図が読め比エンタルピーや加湿量などが求められるか, 冷凍サイクルのp-h線図などが理解できているか, ③マッハ数や臨界圧力などが理解できているか, 反応熱や断熱火炎温度などを求めることができるかをチェックする. 定期試験ではこれらに関連した問題を再度チェックする.	
履修資格		

科目名	パワーエレクトロニクス	２単位　前期
担当教員	乾　義尚	
授業概要	パワー半導体デバイスを用いてスイッチングにより電力の変換および制御を行う技術であるパワーエレクトロニクスについて，その代表的な回路構成とスイッチングの制御手法の基礎を理解させることを目標とする．まず，パワー半導体デバイスの種類とそれらの基礎特性について説明する．次に，パワーエレクトロニクス回路である，サイリスタコンバータ，DC-DCコンバータおよびインバータから代表的な回路を選んでそれらの回路構成とスイッチングの制御手法について講述する．	
到達目標	(1) 各種パワー半導体デバイスについて説明できること． (2) スイッチングによる電力変換・制御の原理を説明できること． (3) 各種サイリスタコンバータの原理と特性について説明できること． (4) 各種DC-DCコンバータの原理と特性について説明できること． (5) 各種インバータの原理と特性について説明できること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：堀　孝正 編著「新インターユニバーシティ パワーエレクトロニクス」（オーム社）	
成績評価	定期試験を80％，レポートを20％とし，それらの合計で評価する． 100点満点で採点し60点以上を合格とする．	
履修資格		

科目名	半導体基礎	２単位　後期
担当教員	柳澤　淳一	
授業概要	現在の高度情報化社会を支えているエレクトロニクス技術の主役である半導体デバイスを理解するため、その主要な構成要素である半導体の基礎について学ぶ。講義では半導体の基礎的な物性、半導体中での不純物原子や電気伝導を担うキャリアの運動を支配する物理法則、半導体素子の基本構造であるpn接合の理論、などを説明し、電子がどのように振る舞うことで特徴的な電気伝導が起こるのか、その基本原理を理解してもらう。	
到達目標	半導体の特性は二種類のキャリアの振る舞いで説明でき、キャリアの運動はエネルギーバンド構造に支配され、簡単なデバイスの動作原理がエネルギーバンドを用いて説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：入江泰三、遠藤三郎共著「半導体基礎工学（Ｉ）」（工学図書） 指定図書、参考書：追加情報を参照のこと。	
成績評価	レポートおよび小試験評価40％：講義で扱った式の導出や数値的な計算ができること。期末筆記試験60％：半導体の基礎特性を理解していることを計算および論述により問う。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	半導体デバイス	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	エレクトロニクスの中心である半導体デバイスの物理を支配する半導体接合の物理と電気的特性に関して理解を深める。本講義を通して，学生は，半導体デバイスの中でも基本的な縦方向デバイスであるpn接合ダイオード，バイポーラトランジスタついて理解する。次に，金属・半導体界面，金属・絶縁物半導体界面の物理を学び，横方向デバイスである電界効果トランジスタについて学習する。最後に，半導体の光学的性質等に関する基礎知識を習得する。	
到達目標	提供科目「電子デバイス」を理解する上で必須となるダイオード/トランジスタの動作原理に関して理解できる。同時に「光エレクトロニクス」を理解する上での基礎知識を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：東辻浩夫，「半導体工学」，培風館。指定図書：S.M.ジィー，「半導体デバイス」，産業図書。 参考書：自己学習を促す観点から，半導体デバイスを理解為の物理学書籍を適宜紹介する。	
成績評価	レポート評価40%:自己学習を促すため，（＊）の回にレポート作成を課す。内容は，基本となる理論式の導出，簡単な数値計算および論述。 期末試験60%:各レポートの内容に加え，あるデバイス特性に対して定性的説明を与える論述形式の問題を課す。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	反応速度論	２単位　後期
担当教員	徳満　勝久	
授業概要	物質の本質的安定性は化学結合と熱力学で決まるが，実際には物質の変化速度も重要である。たとえばダイヤモンドは黒鉛より不安定だが，実際には数億年経っても変化しない。また，物質の変化速度は材料合成の迅速化にも重要であるほか，速度コントロールで同じ組成でも異なる物質を合成できる。この講義では物質の変化速度を決定する，全反応の速度と素反応の関係，素反応の速度に関する微視的理論，および拡散律速反応について講述する。	
到達目標	①反応速度を決める諸要因を列挙できること， ②素反応の様々な組み合わせについて，レート方程式を導き，数値的に解けること， ③素反応の機構に関する理論の概要を理解していること， ④拡散反応の条件に応じて拡散方程式を導き，数値的に解けること	
テキスト 指定図書 参考書	P.W. Atkins著、千原秀昭・中村亘男 訳「アトキンス物理化学（下）」（東京化学同人）	
成績評価	①定期試験：60% ②講義時間内発表およびレスポンスシート等の内容：40%	
履修資格		

科目名	光エレクトロニクス	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	高度情報化社会において，光と電子の相互作用に基づいた光エレクトロニクスに対する知識は，これからのデバイスエンジニアにとって必須となっている。本講義を通して，学生は，光エレクトロニクスを理解するための量子力学に関する知識を身につける。さらに，光物性/量子力学の観点から半導体レーザー/受光素子に関して復習を行う。加えて光エレクトロニクスを語る上で欠かせない光ファイバー，電子画像表示素子および光記憶媒体に関して理解を深める。	
到達目標	光デバイス開発に欠かせない光と電子との相互作用を量子力学レベルから理解できること。これを第一の目的とする。さらに最新デバイスの基礎知識を理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 特に指定しない。適宜資料を，ポータルサイトを介して配布する。 指定図書：S.L Chuang,「Physics of Optelectronic Devices」。 参考書: 自己学習を促す観点から，特に量子力学に関する書籍を適宜紹介する。	
成績評価	レポート評価40%:自己学習を促すため，（＊）の回にレポート作成を課す。内容は，基本となる理論式の導出，簡単な数値計算および論述。 期末試験60%:各レポートの内容に加え，あるデバイス特性に対して定性的説明を与える論述形式の問題を課す。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	微積分Ｉ（電子）	２単位　前期
担当教員	松下　泰雄	
授業概要	微積分は近代科学と技術の基盤である。この講義は1変数の微積分を学ぶ。基本的な部分は既に高等学校で学んでいるので、もうすこし進んだ内容を学ぶことになる。微積分学は線形代数とならんで、あらゆる数学のみならずあらゆる科学・技術において最も基本的な数学である。	
到達目標	1変数微積分の基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：「入門微分積分」三宅敏恒著（培風館） 指定図書：上野健爾監修「技術者のための微分積分学」（森北出版）	
成績評価	1変数微積分の基礎的な事項を一応理解して、基本的な計算ができることが最低基準である。成績は期末試験（95％）と演習問題の発表（5％）によって評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格	電子システム工学科向けの講義である。	

科目名	微積分Ⅰ（機械システム）	２単位　前期
担当教員	谷口　義治	
授業概要	微積分は近代科学と技術の基盤である。この講義は1変数の微積分を学ぶ。基本的な部分は既に高等学校で学んでいるので、もうすこし進んだ内容を学ぶことになる。微積分学は線形代数とならんで、あらゆる数学のみならずあらゆる科学・技術において最も基本的な数学である。	
到達目標	1変数微積分の基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「入門微分積分」三宅敏恒著（培風館）指定図書:上野健爾監修「技術者のための微分積分学」（森北出版）	
成績評価	1変数微積分の基礎的な事項を一応理解して、基本的な計算ができることが最低基準である。成績は期末試験（95%）と演習問題の発表（5%）によって評価する。	
履修資格		

科目名	微積分Ⅱ（材料科学）	２単位　後期
担当教員	谷口　義治	
授業概要	微積分1を前提に、多変数（主に2変数）の関数の微積分学の基本的な部分を講義する。多変数関数の微積分は1変数の場合と異なってその扱いが複雑となるが、考え方そのものは1変数の場合と異なることはない。それを自然に多変数に拡張したものを考えるのである。	
到達目標	2変数微積分の基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:微積分1と同じ。（「入門微分積分」三宅敏恒著（培風館）） テキスト:微積分1と同じ。（「入門微分積分」三宅敏恒著（培風館））	
成績評価	多変数微積分の基礎的な事項を一応理解して、基本的な計算ができることが最低基準である。成績は期末試験（95%）と演習問題の発表（5%）によって評価する。	
履修資格		

科目名	微積分Ⅱ（機械システム）	２単位　後期
担当教員	松下　泰雄	
授業概要	微積分1を前提に、多変数（主に2変数）の関数の微積分学の基本的な部分を講義する。多変数関数の微積分は1変数の場合と異なってその扱いが複雑となるが、考え方そのものは1変数の場合と異なることはない。それを自然に多変数に拡張したものを考えるのである。	
到達目標	2変数微積分の基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:微積分1と同じ。（「入門微分積分」三宅敏恒著（培風館）） テキスト:微積分1と同じ。（「入門微分積分」三宅敏恒著（培風館））	
成績評価	多変数微積分の基礎的な事項を一応理解して、基本的な計算ができることが最低基準である。成績は期末試験（95%）と演習問題の発表（5%）によって評価する。	
履修資格		

科目名	微積分Ⅱ（電子システム）	２単位　後期
担当教員	谷口　義治	
授業概要	微積分1を前提に、多変数（主に2変数）の関数の微積分学の基本的な部分を講義する。多変数関数の微積分は1変数の場合と異なってその扱いが複雑となるが、考え方そのものは1変数の場合と異なることはない。それを自然に多変数に拡張したものを考えるのである。	
到達目標	2変数微積分の基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：微積分1と同じ。（「入門微分積分」三宅敏恒著（培風館）） 参考書：「微分方程式概説」岩崎・楳田共著（サイエンス社）参考書：「微分方程式」長瀬道弘著（裳華房）	
成績評価	多変数微積分の基礎的な事項を一応理解して、基本的な計算ができることが最低基準である。成績は期末試験（95%）と演習問題の発表（5%）によって評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	微積分続論	２単位　前期
担当教員	谷口　義治	
授業概要	微積分2で扱わなかった、多変数関数の微積分学のさらに進んだ部分を講義する。	
到達目標	講義内容の基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：微積分1と同じ。（「入門微分積分」三宅敏恒著（培風館）） 参考書：「微分方程式概説」岩崎・楳田共著（サイエンス社）参考書：「微分方程式」長瀬道弘著（裳華房）	
成績評価	多変数微積分の基礎的な事項を一応理解して、基本的な計算ができることが最低基準である。成績は期末試験（95%）と演習問題の発表（5%）によって評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	微分方程式（材料）	２単位　前期
担当教員	山口　博史※	
授業概要	独立変数が1つの微分方程式を常微分方程式という。常微分方程式は科学・技術の広い分野で基本的な役割をもっている。この講義では常微分方程式の基本的な解法を学ぶ。微分方程式は応用上重要であり、その運用の仕方をきちんと身につけなければならない。	
到達目標	常微分方程式の基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：「微分方程式概説」岩崎・楳田共著（サイエンス社）参考書：「微分方程式」長瀬道弘著（裳華房）	
成績評価	期末試験の結果によって評価する。	
履修資格	微積分 Ⅰ，Ⅱ を履修していること	

科目名	微分方程式（機械システム）	２単位　前期
担当教員	山口　博史※	
授業概要	独立変数が1つの微分方程式を常微分方程式という。常微分方程式は科学・技術の広い分野で基本的な役割をもっている。この講義では常微分方程式の基本的な解法を学ぶ。微分方程式は応用上重要であり、その運用の仕方をきちんと身につけなければならない。	
到達目標	常微分方程式の基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「微分方程式概説」岩崎・楳田共著（サイエンス社） 参考書:「微分方程式」長瀬道弘著（裳華房）	
成績評価	期末試験の結果によって評価する。	
履修資格	微積分 Ⅰ, Ⅱ を履修していること	

科目名	微分方程式（電子システム）	２単位　前期
担当教員	谷口　義治	
授業概要	独立変数が1つの微分方程式を常微分方程式という。常微分方程式は科学・技術の広い分野で基本的な役割をもっている。この講義では常微分方程式の基本的な解法を学ぶ。微分方程式は応用上重要であり、その運用の仕方をきちんと身につけなければならない。	
到達目標	常微分方程式の基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「微分方程式概説」岩崎・楳田共著（サイエンス社）	
成績評価	常微分方程式の解法における基礎的な事項を一応理解して、基本的な計算ができることが最低基準である。 成績は期末試験（80%）と演習問題の発表（20%）によって評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	複合材料	２単位　前期
担当教員	山下　義裕	
授業概要	複合材料（繊維と樹脂もしくは金属）の特性，新しい複合材料の基礎的事項，複合材料の強度と破壊，構造解析と材料の調和について理解する。	
到達目標	(1)複合材料設計に必要な複合則を理解する (2)複合材料を作製するための基礎を理解する (3)複合材料の強度と弾性率をシミュレーションを利用して算出できる (4)複合材料が環境を配慮した新しい材料であることを理解する (5)複合材料の利用されている実例について理解する (6)CAEを利用した複合材料設計を理解する	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「入門:複合材料の力学（培風館）」	
成績評価	学習発表　40点 中間テスト 30点 期末テスト　30点	
履修資格		

科目名	物性デバイス基礎論	２単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	電子デバイスは，多様な材料から構成される。こうした材料の物性を理解することは，新規デバイスの開発を行う上で必須である。本講義を通して，学生は，(1)誘電体・絶縁体材料，(2)磁性体材料，(3)半導体材料，(4)導電性材料の基本事項を学ぶ。さらに材料開発において欠かすことのできない材料評価方法について学習する。	
到達目標	各材料の物理的性質および特性を記述する基本式の意味を理解し，適切な材料選択/設計を行うことができることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:特に指定しない 指定図書:黒沢達美「物性論」(裳華房);河東田隆「半導体評価技術」(産業図書)。 参考書: 自己学習を促す観点から，物性を理解する為の物理学書籍を適宜紹介する。	
成績評価	レポート評価40%:自己学習を促すため，(＊)の回にレポート作成を課す。内容は，基本となる理論式の導出，簡単な数値計算および論述。 期末試験60%:各レポートの内容に加え，理論式の持つ意味等，論述形式の問題を課す。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	物理化学総合および同演習	２単位　後期
担当教員	宮村　弘　・　秋山　毅　・　吉田　智　・　山下　義裕	
授業概要	物理化学の基礎的な演習問題を解きその考え方を習得することによって、材料科学を学ぶ上で基礎となる熱力学、化学結合の適用範囲の広さを知り、実際の材料科学の問題に応用できるスキルを身につける。基礎化学、電子と化学結合、基礎熱力学、化学熱力学、基礎結晶学、無機化学Ｉの講義内容に関連した基礎的な内容の演習問題を解き、巨視的および微視的に物質とエネルギーの挙動を理解する。	
到達目標	(1)気体の性質を巨視的に理解し、熱力学量を求めることができる。 (2)熱力学の基本法則を理解できる。 (3)エントロピーの計算ができる。 (4)相平衡に関連する様々な問題を解くことができる。 (5)化学結合、分子構造、波動関数について理解できる。 (6)固体の基礎的な構造が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:P.W. ATKINS著、千原秀昭・中村亘男訳『アトキンス物理化学　上』(東京化学同人) 参考書:講義の中で必要に応じて紹介する。	
成績評価	提出課題(60%)＋講義時間内発表および受講態度(40%)	
履修資格		

科目名	物理学実験（材料科学）	２単位　前期
担当教員	田中　他喜男　・　田邉　裕貴　・　近藤　千尋　・　福岡　克弘　・　木村　真之	
授業概要	自然科学の基礎となる物理学のいろいろな現象 を観察するとともにそれらに関する物理量を種々の測定器具を用いて測定する。実測した実験データを基に図表を作成し，物理学の諸法則や諸原理の関係を考 え，適宜実験報告書の作成指導を受け，プレゼンテーションの仕方を身につける。	
到達目標	(1)基本的な物理量に関する理解を深め，それらの測定方法や原理を説明できる(C)。 (2)最小二乗法によるデータ処理，実験誤差，有効数字の取扱，グラフ作成などの実験データの整理ができ る(D-3)。 (3)実験報告書の作成やプレゼンテーションを通じて実験の報告ができる(F)。 (4)実験を通して基本的な原理や法則を具体的に理解 し，実験観察による各種現象を物理学的に説明できる(D-1)。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:本学部作成の物理学実験テキストを使用する。 参考書:授業のなかで紹介する。	
成績評価	レポート(80%)，プレゼンテーション(20%)により評価。ただし，単位を取得するためには，全回出席，全実験報告書の受理，プレゼンテーションの実施，が必要である。	
履修資格		

科目名	物理学実験（機械システム）	２単位　後期
担当教員	田中　他喜男 ・ 田邉　裕貴 ・ 近藤　千尋 ・ 福岡　克弘 ・ 木村　真之	
授業概要	自然科学の基礎となる物理学のいろいろな現象を観察するとともにそれらに関する物理量を種々の測定器具を用いて測定する。実測した実験データを基に図表を作成し，物理学の諸法則や諸原理の関係を考え，適宜実験報告書の作成指導を受け，プレゼンテーションの仕方を身につける。	
到達目標	(1)基本的な物理量に関する理解を深め，それらの測定方法や原理を説明できる(C)。 (2)最小二乗法によるデータ処理，実験誤差，有効数字の取扱，グラフ作成などの実験データの整理ができる(D-3)。 (3)実験報告書の作成やプレゼンテーションを通じて実験の報告ができる(F)。 (4)実験を通して基本的な原理や法則を具体的に理解し，実験観察による各種現象を物理学的に説明できる(D-1)。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:本学部作成の物理学実験テキストを使用する。 参考書:授業のなかで紹介する。	
成績評価	レポート(80%)，プレゼンテーション（20%）により評価。ただし，単位を取得するためには，全回出席，全実験報告書の受理，プレゼンテーションの実施，が必要である。	
履修資格		

科目名	物理学実験（電子システム）	２単位　後期
担当教員	田中　他喜男 ・ 田邉　裕貴 ・ 近藤　千尋 ・ 福岡　克弘 ・ 木村　真之	
授業概要	自然科学の基礎となる物理学のいろいろな現象 を観察するとともにそれらに関する物理量を種々の測定器具を用いて測定する。実測した実験データを基に図表を作成し，物理学の諸法則や諸原理の関係を考 え，適宜実験報告書の作成指導を受け，プレゼンテーションの仕方を身につける。	
到達目標	(1)基本的な物理量に関する理解を深め，それらの測定方法や原理を説明できる(C)。 (2)最小二乗法によるデータ処理，実験誤差，有効数字の取扱，グラフ作成などの実験データの整理ができ る(D-3)。 (3)実験報告書の作成やプレゼンテーションを通じて実験の報告ができる(F)。 (4)実験を通して基本的な原理や法則を具体的に理解 し，実験観察による各種現象を物理学的に説明できる(D-1)。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:本学部作成の物理学実験テキストを使用する。 参考書:授業のなかで紹介する。	
成績評価	レポート(80%)，プレゼンテーション（20%）により評価。ただし，単位を取得するためには，全回出席，全実験報告書の受理，プレゼンテーションの実施，が必要である。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	プラズマ工学	２単位　前期
担当教員	坂本　眞一	
授業概要	電離気体に代表されるプラズマは，固体・液体・気体のいずれにも当てはまらないため物質の第4状態とも言われ，種々の工学的応用に用いられている．本講義では，このプラズマについて，その基礎から応用までを一通り理解させることを目標とする．まず，プラズマの定義およびその微視的・巨視的性質について説明する．次に，プラズマの各種発生法について述べ，さらにその応用についても簡単に講述する．	
到達目標	(1) プラズマの微視的性質について理解し，説明できること． (2) プラズマの巨視的性質について理解し，説明できること． (3) 気体の絶縁破壊に関するタウンゼント理論とパッシェンの法則について説明できること． (4) プラズマの各種発生法について説明できること． (5) プラズマの各種応用について説明できること．	
テキスト 指定図書 参考書	菅井秀郎 編著「インターユニバーシティ プラズマエレクトロニクス」(コロナ社)	
成績評価	期末筆記試験を60%，レポートを40%として，それらの合計で評価し，60%以上の成績で合格とする．	
履修資格		

科目名	プログラミング基礎（材料）	２単位　前期
担当教員	宮城　茂幸	
授業概要	Linux上のFORTRAN77を用いてプログラミングの概念や、初歩的なプログラミング手法、あるいは開発環境についての知識を習得することを目的とする。特に理系の学生には必要とされる数値解析法へ応用できるよう、型の厳密な扱いや、プログラムの見通しをよくするためのモジュール化などについても触れる。この演習ではLinuxを利用するが、Linuxには特化せず一般的なUnixでの開発ができるよう普遍性のある知識の習得を目指す。	
到達目標	(1)ソースコードから実行形式を生成できること。 (2)プログラミング言語の初歩的な文法を理解できること。 (3)平易な問題に対するアルゴリズムを考え、それをプログラムとして記述できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:竹内則雄，平野廣和「FORTRAN77とFORTRAN90」(森北出版) 指定図書:B. W. Kernighan and P. J. Plauger，木村泉訳「プログラム書法」(共立出版) 参考書:ラニー・ニーホフ，サンフォード・リーストマー，渡邊了介訳「入門Fortran90」(ピアソン・エデュケーション)	
成績評価	小テスト70% FORTRANの文法を正しく理解していること。課題30% 与えられた問題を解決するためのプログラムが作成できること。	
履修資格	平成21年度以前入学生については「情報処理演習I」および「情報科学概論」の単位を取得していること。	

科目名	プログラミング基礎（機械）	２単位　前期
担当教員	亀田　彰喜	
授業概要	Linux上のFORTRAN77を用いてプログラミングの概念や、初歩的なプログラミング手法、あるいは開発環境についての知識を習得することを目的とする。特に理系の学生には必要とされる数値解析法へ応用できるよう、型の厳密な扱いや、プログラムの見通しをよくするためのモジュール化などについても触れる。この演習ではLinuxを利用するが、Linuxには特化せず一般的なUnixでの開発ができるよう普遍性のある知識の習得を目指す。	
到達目標	プログラム言語の種類とその特徴について理解し、言語処理の技法について習得する。プログラム言語はFORTRAN77を使用し、関数の書式や演算処理などのプログラミングの技法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:亀田彰喜、勝木太一編「現代の情報処理」(朝倉書店)指定図書:勝木太一編「情報学」(多賀書店) 参考書:後日、担当教員から通知する。	
成績評価	小テスト60％　FORTRANプログラムの書式と定数および制御文と条件判断の理解、課題40％　各課題に対するプログラムの作成	
履修資格	平成21年度以前入学生については「情報処理演習I」および「情報科学概論」の単位を取得していること。	

科目名	プログラミング基礎（電子）	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	ソフトウェアがどのように作成されているかについての概念を学び、実際にC言語を使用してLinux上で、簡単な文字ベースのアプリケーションプログラムを開発する。特に理系の学生には必要とされる数値解析法へ応用できるよう、型の厳密な扱いや、プログラムの見通しをよくするためのモジュール化などについても触れる。この演習ではLinuxを利用するが、Linuxには特化せず一般的なUnixでの開発ができるよう普遍性のある知識の習得を目指す。	
到達目標	(1)ソースコードから実行形式を生成できること。 (2)プログラミング言語の初歩的な文法を理解できること。 (3)平易な問題に対するアルゴリズムを考え、それをプログラムとして記述できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:柴田望洋著「新版明解C言語　入門編」(ソフトバンククリエイティブ) 指定図書:B. W. カーニハン、D. M. リッチー著、石田晴久訳「プログラミング言語C(共立出版) 参考書:B. W. カーニハン、P. J. プローガー著、木村泉訳「プログラム書法」(共立出版)	
成績評価	小テスト3回100%(1回目30%、2回目30%、3回目40%)で成績を算出する。	
履修資格		

科目名	プログラミング言語	２単位　後期
担当教員	畑中　裕司	
授業概要	C言語を用いて、プログラミング言語の基礎となる文法やアドレスの概念について講義する。さらに、手続き型言語、論理型言語、オブジェクト指向言語、スクリプト型言語など、様々な言語の特徴とプログラミングのスタイルについて講義する。	
到達目標	(1)プログラミング言語の基本概念について説明できること。 (2)複数の言語の特徴とプログラミングスタイルについて説明できること。 (3)簡素なプログラムのソースコードを理解できること。 (4)プログラミングにおけるアドレスについて説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:白鳥則郎、高橋薫、神長裕明著「ソフトウェア工学の基礎知識」(昭晃堂)、柴田望洋著「新版 明解C言語入門編」(ソフトバンクパブリッシング) 指定図書:大山口通夫、五味弘著「プログラミング言語論」(コロナ社)	
成績評価	期末試験80%、レポート20%として、それらの合計で評価し、60%以上の成績で合格とする。ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	分子・統計力学	２単位　後期
担当教員	松岡　純	
授業概要	原子間や分子間の微視的な相互作用は量子力学に基づく化学結合論で扱え、また原子や分子の集団としての振る舞いは熱力学の考えで扱える。しかし、この二つ(微視的相互作用と巨視的挙動)を結び付けるには統計力学の考えが必要である。そこで本講では統計力学について、弱い相互作用の系で微視的扱いと巨視的扱いを関連づける気体分子運動論、相互作用のある系における統計力学の基本的枠組み、材料科学における統計力学の有効性を示す実例の順に講述する。	
到達目標	(1)平衡状態での純物質の気体分子運動論について理解していること。 (2)統計力学の基本的な枠組について理解していること。 (3)材料科学へ統計力学を応用した実例を幾つか示し，その概要を説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:P.W. Atkins著、千原秀昭・中村亘男 訳「アトキンス物理化学 第8版(上、下)」(東京化学同人)，および 上田和夫 著「統計物理学入門」(共立出版) 指定図書:薩摩順吉 著「岩波基礎物理シリーズ 10 物理の数学」(岩波書店)，柴田優・柴田正弘 著「Excelによる基礎数値計算」(工学図書)参考書:B. Widom著，甲賀研一郎 訳「化学系の統計力学入門」(化学同人)，小島和夫・越智健二 著「化学系の統計熱力学」(培風館)	
成績評価	期末筆記試験(50%) 統計力学の基本的な考え方と手法を理解しており，また幾つかの例に対し適用できること。 宿題とその発表(50%) 毎週の講義内容を理解できていること。	
履修資格		

科目名	分析・環境化学実験（材料科学）	２単位　前期
担当教員	秋山　毅　・　伊田　翔平　・　鈴木　厚志　・　竹原　宗範　・　谷本　智史　・　山下　義裕	
授業概要	環境に配慮した少量の試料による定性定量分析の理解と廃液処理の概念を獲得させる。まず、水溶液中の金属イオンの種類を知るための定性分析によって，金属イオンの基本反応を理解させるとともに，金属イオンを系統的に分離・確認する基本操作を修得させる。さらに酸塩基滴定を通して定量分析を理解させる。また、重金属イオンを含む廃液の処理方法を講義で説明するとともに，実際に廃液を処理することにより，実験室から有害な重金属イオンを排出しないことの重要さを認識させる。	
到達目標	環境に配慮した実験排水処理を説明できること。少量の試料による定性分析とその操作を理解できること。4-5種類のカチオンの分離ができること。酸・塩基の正確な濃度の溶液を決定できること。誤差と標準偏差の関係を説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『無機定性分析実験』京都大学総合人間学部編(共立出版)，『実験を安全に行うために』化学同人編集部編(化学同人)，『続　実験を安全に行うために』化学同人編集部編(化学同人)	
成績評価	実験レポート(100%)で成績評価を行う。ただし、1回以上欠席した者、1回以上レポートを提出しなかったもの、安全衛生に関する指導に従わなかったものは評価対象としない。	
履修資格	材料科学科は必修科目で1クラスを編成する。機械システム工学科と電子システム工学科は,選択科目で2学科で1クラスを編成する。実験室の制約により，定員は68名とする。受講希望者が68名を超えるときは，はじめに教職などの資格取得のために履修が必要な者と分析化学の単位取得者を優先し，次に抽選で受講者を決定する。なお，平成19年度以前入学の機械システム工学科の学生には必修科目なので必ず受講すること。	

科目名	分析・環境化学実験（機械、電子システム）	２単位　前期
担当教員	秋山　毅　・　伊田　翔平　・　鈴木　厚志　・　竹原　宗範　・　谷本　智史　・　山下　義裕	
授業概要	環境に配慮した少量の試料による定性定量分析の理解と廃液処理の概念を獲得させる。まず、水溶液中の金属イオンの種類を知るための定性分析によって，金属イオンの基本反応を理解させるとともに，金属イオンを系統的に分離・確認する基本操作を修得させる。さらに酸塩基滴定を通して定量分析を理解させる。また、重金属イオンを含む廃液の処理方法を講義で説明するとともに，実際に廃液を処理することにより，実験室から有害な重金属イオンを排出しないことの重要さを認識させる。	
到達目標	環境に配慮した実験排水処理を説明できること。少量の試料による定性分析とその操作を理解できること。4-5種類のカチオンの分離ができること。酸・塩基の正確な濃度の溶液を決定できること。誤差と標準偏差の関係を説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『無機定性分析実験』京都大学総合人間学部編（共立出版），『実験を安全に行うために』化学同人編集部編（化学同人），『続　実験を安全に行うために』化学同人編集部編（化学同人）	
成績評価	実験レポート（100%）で成績評価を行う。ただし、1回以上欠席した者、1回以上レポートを提出しなかったもの、安全衛生に関する指導に従わなかったものは評価対象としない。	
履修資格	材料科学科は必修科目で1クラスを編成する。機械システム工学科と電子システム工学科は,選択科目で2学科で1クラスを編成する。実験室の制約により，定員は68名とする。受講希望者が68名を超えるときは，はじめに教職などの資格取得のために履修が必要な者と分析化学の単位取得者を優先し，次に抽選で受講者を決定する。なお，平成19年度以前入学の機械システム工学科の学生には必修科目なので必ず受講すること。	

科目名	分析化学	２単位　前期
担当教員	秋山　毅	
授業概要	化学の領域における、分析の精度や誤差、化学平衡および定量分析の概念を理解することを目的とする。そのため、酸塩基反応、錯体生成反応、酸化還元反応、沈殿の生成、物質の分離と濃縮の方法など基礎的な領域の解説を行う。あわせてこれらの基礎的内容の分析化学への応用についても説明を行い、定量分析を確実に行うために必要となる重要な概念の理解につなげる。	
到達目標	(1)分析データの統計的な取り扱いについて説明できること。 (2)中和反応や酸化還元反応についての当量関係を計算できること。 (3)化学平衡を用いてpHと酸塩基化学種の濃度との関係を説明できること。 (4)複雑な系の酸塩基平衡からpHと酸塩基化学種の濃度との関係が説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『基礎教育シリーズ分析化学＜基礎編＞』本水・磯崎・櫻川・井原・内山・善木・寺前・中釜・平山・三浦・南澤・森田著（東京教学社） 参考書:『定量分析化学』R. A. デイ，A. L. アンダーウッド共著、鳥居泰男・康　智三　共訳　（培風館） 『分析化学』R.L.Pecsokほか共著、荒木　峻，鈴木繁蕎　共訳　（東京化学同人）	
成績評価	レポートの成績(50％)と試験成績(50％)により評価する。	
履修資格		

科目名	マルチメディア	２単位　後期
担当教員	奥村　進	
授業概要	マルチメディアでは文字・音声・画像等多種多様なデータ扱われる。本講義では、その表現と処理に関する基礎的な要素技術についてハードウェアとソフトウェアの視点から扱う。またマルチメディアの通信に伴う情報圧縮やマルチメディアの応用システムなどについても学ぶ。	
到達目標	マルチメディアに関する基礎的な概念と技術を理解し、その基本的事項について説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:大賀 寿郎著「マルチメディアシステム工学」(コロナ社) 指定図書:小舘 香椎子、柳沼 良知、小舘 亮之編著「マルチメディア表現と技術」(丸善) 参考書:尾内 理紀夫著「マルチメディアとコンピューティング」(コロナ社)	
成績評価	期末試験80％、レポート20％:講義で取り上げた内容に関する基礎的事項を理解しているかどうかを評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	無機化学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	松岡　純	
授業概要	無機化学では自然界に存在する100以上の元素すべてを扱うため、対象物質の数は2原子分子で100の2乗、3原子分子では3乗（100万）程度と膨大である。そのため物質ごとの暗記ではなく構成元素の特徴に基づく系統的な理解、つまり、原子間の結合の特徴の元素依存性についての電子構造に基づく理解が重要となる。そこで本講では、イオン結合性の固体と、共有結合性の分子および固体について、これらの基本的な捉え方を講義する。	
到達目標	次の（1）～（5）について概要を説明できること: （1）元素の周期表上の位置と性質・結合性の関係 （2）イオン結晶の安定性 （3）遷移金属の配位子場分裂 （4）共有結合性物質の電子構造と安定な構造の定まり方 （5）無機物質の反応性，特に酸塩基反応と酸化還元反応の反応性	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:小村昭寿 著「フレンドリー無機化学 深く理解するために」（三共出版）指定図書:長倉三郎 他編「岩波 理化学辞典 第5版」（岩波書店） 参考書:平尾一之・田中勝久・中平敦 著「無機化学 ーその現代的アプローチ」（東京化学同人）	
成績評価	期末筆記試験（80％） 周期表と元素の特徴の関係，化学結合の原因と電子軌道，および無機物質の安定性・反応性の支配要因に関し，基本的な考え方を理解していること。 宿題（20％） 授業計画の大項目ごとの内容を理解していること。	
履修資格		

科目名	無機化学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	バラチャンドラン　ジャヤデワン	
授業概要	無機材料の多くは多元系材料であり、材質を知るためには熱力学的性質の理解が不可欠である。本講義ではまず、金属元素を主な構成要素とする材料のミクロな構造について、基礎結晶学で学習した内容の復習を踏まえて簡単に紹介したあと、二元系および三元系合金を中心に、熱力学と平衡状態図について講述する。さらに準安定相・非平衡相についても解説する。また、金属同士ばかりでなく、水溶液中におけるイオンとの化学平衡についても述べ、酸化還元平衡からネルンストの式を介して、電気化学ポテンシャルの概念を学習する。	
到達目標	(1)合金、固溶体、金属間化合物とは何か、簡単に説明できること。 (2)自由エネルギーと相図の関連を理解すること。 (3)二元系・三元系合金状態図を用いて、不変系反応を理解し、相構成を読み取ることができること。 (4)水溶液中における酸化・還元反応について、ネルンストの式の導出過程を理解できること	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:松原英一郎他『金属材料組織論』(朝倉書店) 指定図書:渡辺啓著「エントロピーから化学ポテンシャルまで」(裳華房) 参考書:プリゴジン・コンディプティ著、妹尾・岩元訳「現代熱力学―熱機関から散逸構造へ」(朝倉書店)、横山亨:『図解　合金状態図読本』(株式会社オーム社) 三浦　憲司、福富　洋志、小野寺　秀博:見方・考え方　合金状態図（株式会社オーム社）	
成績評価	小テスト（40％）、定期試験（60%）	
履修資格		

科目名	無機工業材料	１単位　後期
担当教員	宮村　弘　・　吉田　智　・　鈴木　厚志	
授業概要	無機系、有機系材料に限らず、材料の機能は素材の物性に大きく依存し、それらを複合することにより新たな機能が発現することが知られている。本講義では無機工業材料の構造や機能、解析方法から金属分野、セラミックス分野、エネルギー分野に共通する知識を身につけ、その構造との関連を理解し、材料設計、プロセス設計へと活用できる能力を養うとともに素材特性が実用材料に対してどのように生かし利用されているかを学ぶ。各分野から最新のトピックスと合わせてオムニバス形式で紹介を行う。各自の理解を深めるために毎回簡単な問題についてレポートを課す予定である。	
到達目標	(1)太陽電池の種類を分類分けし、それぞれの太陽電池の仕組み（光伝導性、 光変換効率）とその物理現象を理解する。 (2)工業用金属材料をあげ、その構造と機能性の関係を理解する。 (3)身の回りの機能性セラミックス材料をあげ、その構造と機能性の関係を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:トコトンやさしい太陽電池の本　産業技術総合研究所　編著　日刊工業新聞社 これだけは知っておきたいファインセラミックスのすべて　第2版　(社)日本セラミックス協会 編　日刊工業新聞社	
成績評価	レポート評価(100%)	
履修資格		

科目名	メカトロニクス	２単位　後期
担当教員	安田　寿彦	
授業概要	メカトロニクスの基礎事項と応用例について講義する。日本で生まれた新しい学問であるメカトロニクスは機械と電子が一体化・融合した技術であり，そのことにより初めて新しい機能が創造され，新しい価値を生み出している。要素技術は従来の学問であるが，それらを如何に融合するかがメカトロニクスのポイントである。実際の応用例を参考に，新しい機能の創生は如何になされたかを理解・修学してもらいたい。	
到達目標	メカトロニクスの効果と基本思想を理解し，メカトロニクスの基本要素であるアクチュエータの原理と制御法を理解し，実際の応用例について理解ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：土屋武士/深谷健一　共著　メカトロニクス入門　（森北出版）	
成績評価	課題20％、筆記試験80％。	
履修資格		

科目名	有機化学Ⅰ	２単位　後期
担当教員	北村　千寿	
授業概要	生命体によって作られ生命体を構成する有機化合物は、ビタミン・ホルモン・酵素・核酸・DNAなど多種多様である。また、木材・紙・プラスチック・塗料などの高分子化合物も有機分子複合体である。石油に始まり、生薬や合成医薬品・化粧用品・衣料品・色素・感光剤・芳香剤・消臭剤から汚染物質・有害物質・毒物・劇物・危険物と数百万種におよぶ有機化合物が知られているが、それらの多くは炭素原子の連鎖骨格に水素・窒素・酸素原子の結びついた単純明快な構造をもつのが特徴である。	
到達目標	飽和炭化水素（σ結合）と二重結合（π結合）の構造的特性と性質を理解し説明できることが到達目標である。炭化水素の繰り返し構造の特徴を理解し、それに付随する機能の発現様式をと立体3次元構造との相関をイメージでき、化学反応のメカニズムに関する合理的な説明をすることができることを目標にしたい。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：「有機化学概説−第6版」（マクマリー著　伊東・児玉訳　東京化学同人）	
成績評価	筆記試験（70％）講義と教科書の内容を理解し、章末の基礎的な問題を解けること。 小テスト（30％）毎週の講義内容を理解できていること。	
履修資格		

科目名	有機化学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	廣川　能嗣　・　伊田　翔平	
授業概要	芳香族化合物とハロゲン化アルキルの反応性を解説し、求(親)電子置換反応と求核置換反応の特質を理解することを到達目標とする。併せて、アルコールとエーテル類の性質を概説し、有機化合物の立体化学表記法に関して説明を加える。	
到達目標	二重結合に対する求(親)電子付加反応と比較しながら、芳香族化合物の求(親)電子置換反応を理解することを第一の到達目標とする。求核置換反応に関しては、SN1反応とSN2反応の違いを理解し、一分子脱離（E1）反応と二分子脱離（E2）反応を区別し、中間体カルボカチオン等の性質を正確に把握し、反応のメカニズムを説明できることを第二の到達目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：「有機化学概説−第6版」（マクマリー著　伊東・児玉訳　東京化学同人）	
成績評価	筆記試験（70％）講義と教科書の内容を理解し、章末の基礎的な問題を解けること。小テスト（30％）　毎週の講義内容を理解できていること。	
履修資格		

科目名	有機化学Ⅲ	２単位　後期
担当教員	北村　千寿	
授業概要	二重結合に対する求(親)電子付加反応、芳香族化合物の求(親)電子置換反応、ハロゲン関連化合物の求核置換反応（SN1反応とSN2反応）と脱離反応（E1反応とE2反応）に関する知識を踏まえて、種々のカルボニル化合物に対する求核試薬の特異な反応性を理解する。特に、ケト-エノール互変異性とアルドール縮合を出発点として関連する種々の反応様式を理解するすることを目的とする。	
到達目標	通常の二重結合に対するカルボニル二重結合の性質(分極と立ち上がり)を把握し、求電子付加反応と求核付加反応の特質を理解することを第一の到達目標とする。また、カルボニルα水素の酸性度に起因する縮合反応を理解し、種々の有機化合物の合成経路を自ら企画できることを第二の到達目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「有機化学概説-第6版」（マクマリー著　伊東・児玉訳　東京化学同人）	
成績評価	筆記試験（70％）　講義と教科書の内容を理解し、章末の基礎的な問題を解けること。 小テスト（30％）　毎週の講義内容を理解できていること。	
履修資格		

科目名	有機化学Ⅳ	２単位　前期
担当教員	井上　吉教	
授業概要	授業のねらいは有機合成の立場から、生成物の精製と分析機器による構造決定について講義する。赤外スペクトルでは原子間の結合強度、核磁気共鳴では遮蔽が重要である。そこで自然界の有機化合物、複素環化合物、ヘテロ元素化合物などの構造決定にどのように応用するかについて実例を示しながら解説する。また光学活性体の分離や絶対配置決定についても言及する。	
到達目標	(1)有機反応における生成物の一般的な精製法や純度決定法を理解すること　(2)有機化合物の赤外スペクトルや核磁気共鳴スペクトルから構造を推定もしくは決定できること（複雑な天然物などは除く）(3)光学活性体の分割手法を理解し、核磁気共鳴スペクトルにより絶対配置を決定できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布参考書:マクマリー有機化学概説第6版（東京化学同人）　有機化合物のスペクトルによる同定法（東京化学同人）	
成績評価	レポート評価　60％　期末筆記試験　40％	
履修資格		

科目名	有機化学総合および同演習	２単位　後期
担当教員	谷本　智史　・　鈴木　厚志　・　竹原　宗範　・　伊田　翔平	
授業概要	基礎化学や有機化学I、IIの講義に関する演習問題を学生自らが板書解答し、その考え方を説明することにより、有機化学の基礎をより深く理解する。	
到達目標	有機化合物内の化学結合の様式を理解する。混成軌道の立体構造を理解する。アルケンに対する付加反応の反応過程を説明できるようになる。芳香族置換反応の配向性と置換基の関係を理解する。基本的な有機化学反応の原理を口頭で発表できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:なし 指定図書:理化学辞典、化学便覧 参考書:マクマリー有機化学概説	
成績評価	時間内の発表50％、宿題50％	
履修資格		

科目名	有機工業材料	１単位　後期
担当教員	廣川　能嗣	
授業概要	機械、電気などあらゆる工業の分野において使用される材料のうち、従来の代表的な汎用有機材料に加えて、さらに特徴的な優れた機能を発揮する有機機能材料を取り上げ、これらの合成法、機能発現の原理、応用分野などを解説する。	
到達目標	主要な工業製品に使われている有機材料について、使われる理由、使われ方、原料、製法について、一般の人が理解できるように説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:荒木孝二、明石満、高原淳、工藤一秋著「有機機能材料」(東京化学同人) 参考書:原田 明、樋口弘行 編著「有機機能性材料化学」(三共出版)	
成績評価	レポート(50%)およびテスト(50%)の結果をもとに判定する。	
履修資格		

科目名	有機量子化学	１単位　後期
担当教員	井上　吉教	
授業概要	現在有機化学の分野では計算化学が盛んである。この講義では分子軌道法の基礎として、パイ電子系を取り扱う分子軌道法について解説し、有機化合物やフリーラジカルの反応に関する問題を講義する。	
到達目標	(1)LCAO法による分子軌道の組み立てについて理解すること。 (2)簡単な分子についてヒュッケル法における永年行列方程式を組み立てられること。 (3)ヒュッケル法により計算できる種々の値の意味を理解すること。 (4)簡単な反応の理解に利用できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:松林玄悦著「化学結合の基礎」、小笠原正明・田地川浩人共著「化学結合の量子論入門」、上田豊甫著「1からはじめる量子化学」など、いずれも三共出版	
成績評価	レポート評価 70%、期末筆記試験 30%	
履修資格		

科目名	流体力学Ｉ	２単位　後期
担当教員	南川　久人	
授業概要	流体に関わる物理現象を正しく理解すると同時に，我々の身の回りや工業における流れの問題を解決するための考え方を身につけることを目的とする。そのために，まず流体と流れの分類と物性値，流体用語の定義を解説したのちマノメータや静水圧に関係する静止流体力学について学ぶ。次に，流体の加速度，質量保存則と連続の式，運動方程式を導いた後，ベルヌーイの定理について学習する。この定理を利用してさまざまな流れ場を解いたのち，粘性の影響も考慮したナヴィエ・ストークスの方程式を学ぶ。	
到達目標	(1)流体力学の必要性を説明できる(D-1)。 (2)粘性，圧力，層流と乱流，定常流と非定常流など，重要な用語の定義や性質を説明できる(D-2)。 (3)マノメータと圧力の関係を表す式をさまざまな系について導出できる(D-2)。 (4)連続の式とベルヌーイの定理を用いて，簡単な流れ場が解けるようになる(D-2)。 (5)ナヴィエ・ストークスの方程式の全体と各項の意味を理解する(D-2)。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:杉山 弘編，松村，河合，風間著，明解入門「流体力学」(森北出版) 指定図書:深野　徹，「わかりたい人の流体工学(Ｉ)」(裳華房) 参考書:森川敬信ほか，「新版流れ学」(朝倉書店)	
成績評価	レポート評価 35%　ほぼ毎回、出題する課題に関してレポートを提出すること。　期末筆記試験 65%　到達目標に記した内容をはじめ，キーワードに関する内容の確認問題および応用問題を出題する。	
履修資格		

科目名	流体力学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	南川　久人	
授業概要	流体力学Ⅰで学んだ流れの力学的基礎概念をもとに，応用上重要と考えられる流体力学の各種理論や項目を取り上げ，考え方，考察の仕方を理解する。相似則，次元解析，運動量の理論，管内流の詳細理論，管内乱流の取り扱い，各種損失，物体周りの流れ，揚力と抗力など，応用上の観点から，より詳細に流れを説明できる理論や，様々な流れを取り扱う理論の基礎を学ぶ。また，流体計測法など，工学的・実用的な問題も取り扱う。それにより，種々の流体問題に対処できる，物理的考え方，考察の仕方を習得する。	
到達目標	(1)流体力学に関して簡単な次元解析ができ，無次元数で整理する意義を理解できる。 (2)円管内層流について，その速度分布，粘性による損失について説明できる。 (3)揚力と抗力の意味を理解し，流れの中に置かれた簡単な形状の物体に作用するこれらの力を算出できる。 (4)代表的な流体計測法を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：日本機械学会編、JSMEテキストシリーズ「流体力学」（丸善） 指定図書：深野　徹，「わかりたい人の流体工学（Ⅱ）」（裳華房） 参考書：森川敬信ほか，「新版流れ学」（朝倉書店）	
成績評価	レポート評価 35%　ほぼ毎回出題する課題に関してレポートを提出すること。 期末筆記試験 65%　到達目標に記した内容をはじめ，キーワードに関する内容の確認問題および応用問題を出題する。	
履修資格		

科目名	量子力学概論	２単位　前期
担当教員	柳澤　淳一	
授業概要	量子力学の知識と量子力学的なものの考え方は、電気・電子デバイスの基礎となる物質科学のみならず、量子コンピュータに代表されるように情報系の分野でも必要不可欠である。本講義では、電子・情報系で最低限必要と思われる量子力学の理論的枠組みをできるだけ簡単な形で説明し、数学的手法のみならず物理的イメージを習得させ、量子力学を応用するための力を養う。	
到達目標	・微小な世界における粒子性と波動性という二重性が理解できる。 ・量子力学の基本的な方程式の一つであるシュレーディンガー方程式が理解できる。 ・簡単な系について実際に問題を解き、波動関数の性質が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：原島鮮「初等量子力学（改訂版）」（裳華房） 指定図書：松下栄子「量子論のエッセンス」（裳華房） 参考書：小出昭一郎「量子力学(I)（改訂版）」（裳華房）	
成績評価	レポートおよび小試験評価40％：講義で扱った式の導出や数値的な計算ができること。 期末筆記試験60％：量子力学の基本原理が理解でき、簡単な系のシュレーディンガー方程式が解けることを求める。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

科目名	ロボット工学（機械、電子）	２単位　前期
担当教員	作田　健	
授業概要	ロボット工学は、現代の工業技術の集大成であり、電気・電子・システム工学から機械工学、さらにコンピュータ制御などに統合した広範囲な科学技術である。このロボット工学の基礎について、「運動と制御」、「センシング」、「システム」の3つの観点から学習する。さらに、これらの統合について考察する。	
到達目標	(1)ロボットの機構およびメカニズムについて説明できる。 (2)ロボットに使用されているセンサおよびアクチュエータについて説明できる。 (3)ロボットの運動学および制御に関して説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：松日楽信人、大明準著「わかりやすいロボットシステム入門」（オーム社） 指定図書：川崎晴久著「ロボット工学の基礎」（森北出版） 参考書：高橋義彦著「ロボティクス入門」（裳華房）	
成績評価	定期試験を80％、レポートを20％とし、それらの合計で評価する。 100点満点で採点し60点以上を合格とする。	
履修資格		

４　人間文化学部科目履修の手引

1.　人間文化学部各学科の教育目標について

（１）　地域文化学科

地域文化学科では、環琵琶湖地域を中心に、日本、さらに密接な交流がある中国・朝鮮をも視野に入れて、これらの社会に関わる過去と現在の諸問題を考えていきます。そのために、地域を分析するうえで必要な手法を身につけ、フィールドワーク（現地調査）を通じてそれぞれの地域に生きる人々の姿を見つめ、これからの社会のあり方について研究します。

（２）　生活デザイン学科

生活デザイン学科では、生活環境を構成する人の身近な空間を、まず人の身体に密着した衣服、身の回りにある道具、そして生活の容器である住居と、三つの分野に分け、基礎から実践に至るまでの理論を講義するだけではなく、基礎演習、三分野のデザイン演習により講義で学んだ理論の理解を深め、デザインスキルを磨く教育を行う。そして、生活環境、生活様式に関わる問題を発見し、具体的な方法論により分析・考察し、解明・解決・提案できる総合的なデザイン能力を持った人材の育成を目指す。

（３）　生活栄養学科

現代の日本は世界一の健康寿命国となった反面、生活習慣病、アレルギー、食育など食生活が要因となる問題がクローズアップされてきている。科学的根拠を基盤としてこれらの問題に対処できる、かつ豊かな人間性をも備えた食の総合的スペシャリストの育成を目指す。このため、基礎教育の充実とともに、専門科目では多彩な実習・実験を取り入れ実践能力の強化を図る。さらに人間学と人文・社会科学系科目の充実により、豊かな人間性と指導力の育成にも力点を置く。

（４）　人間関係学科

人間のさまざまなかかわりのあり方を個人や集団、社会・文化の諸営為のなかでとらえながら、進化や歴史の大きな時間軸も視野に入れつつ、心理学、教育学、社会学の各分野から総合的に学ぶ。一対一の人間関係に焦点を当てるとともに、共同体の人間同士がかかわる社会現象を見渡せるようになることを目標とする。さらに、発達のダイナミクスやコミュニケーションの多様性に着目することによって、人間関係の本質を読み解く能力の獲得を支援する。これらを通じて、社会の生成プロセスに能動的に参画する人間の理論的、実践的基盤の形成を目指す。

（５）　国際コミュニケーション学科

グローバル化する現代社会の変化に適切に対応するため、自国や諸外国の社会・文化・歴史等に関する幅広い知識や教養、英語を中心とする複数の外国語の運用能力と国際的視野を身につける。それらを活かして、グローバル化する国際社会および地域社会において活躍できる「知と実践力」を身につけるための教育を行う。

2. 科目の履修について

(1)履修科目の選択にあたっては、「全学共通科目履修の手引」および人間文化学部の「標準年次別科目配当表」、「卒業に必要な要件」、「講義概要」ならびに年度当初に行われる所属学科のオリエンテーションに十分注意の上、履修してください。

(2)教育職員免許・学芸員資格・栄養士免許・管理栄養士受験資格・二級建築士試験受験資格・木造建築士試験受験資格・インテリアプランナー登録資格・社会調査士資格・食品衛生管理者資格、食品衛生監視員資格の取得を希望する者（栄養士免許・管理栄養士受験資格・食品衛生管理者資格・食品衛生監視員資格の取得は生活栄養学科の学生に限る。）は、「資格取得等の手引」および「標準次別科目配当表」および「時間割表」を検討の上、履修してください。

【凡例】

◎：必修　○、●、□、▽：選択必修　無印：選択　数字：単位数

前：前期　後：後期　通：通年

人間文化学部での専門科目の科目名の後のローマ字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳなど）は、原則として受講者がその数字の順番に従って受講しなければならないことを示します。科目名の後のアルファベット（A、B、Cなど）については順番にかかわらず受講することができます。（外国語など全学共通基礎科目についてはこの限りではありません。）

3. 標準年次別科目配当表および卒業に必要な要件

（１） 地域文化学科

専門科目はP.374の履修モデルを参照し、年次ごとのバランスを考慮して履修するようにしてください。

＊は隔年開講科目です。これについては、(i)今年度は開講しない科目がありますので(*2))、科目配当表で確認してください。（ii）また今年度開講しているものは(*1)、来年度不開講になりますので、よく考えて受講計画を立ててください。

【卒業に必要な要件】

平成２４年度以降入学生は、下記のとおり、全学共通科目３０単位以上、および専門科目１００単位以上、合計１３０単位以上を取得しなければならない。

(1)全学共通科目（３０単位以上） ※留学生P.14参照

(A)次頁以降の科目配当表の全学共通科目に指定する必修科目１４単位

(B)第二外国語としてドイツ語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、フランス語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、中国語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、朝鮮語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢのうち４単位。

(C)人間学（学科専門科目である「比較文明論」を除く）から１２単位以上（必修４単位を含む）。

(2)専門科目（１００単位以上）

(A)次頁以降の科目配当表に指定する必修科目１８単位

(B)次頁以降の科目配当表に指定する選択必修科目５単位以上（註１）

●印の科目から２単位以上、▽印の科目から２単位以上、□印の科目から１単位以上。

(C)次頁以降の科目配当表に指定する選択科目から７７単位以上（註２）

（註１）選択必修科目で５単位を超えて取得した単位については、選択科目として卒業要件単位に算入することができる。

（註２）他学科および他学部の専門科目ならびに全学共通科目のうち、実験、実習、演習を除いたすべての科目から１０単位までを専門科目として卒業単位に算入することができる。また、１０単位を超えて取得した単位および除外科目の単位であっても、所属する学科において適切と認められた場合は、所定の手続きを経て卒業単位に算入することがある。

平成２３年度以前入学生の【卒業に必要な要件】については、入学年度の「履修の手引」を参照すること。なお、2011（平成２３）年度以前入学生用の科目配当表はP.368-369に掲載している。

【卒業研究・論文履修要件】

地域文化演習Ⅰ・Ⅱを履修済みであること。

【卒業研究審査基準】

地域文化演習Ⅲ(ゼミ)の担当教員を主査とし、学科教員（論文の主題に応じて）２名を副査とする審査委員が熟読したうえで、口頭試問を実施し、下に示す基準に照らし合わせて合否を判断し、学科会議において最終的に合否決定をする。

① ２０,０００字を基本とする。
② 研究目的が明確であること。
③ 研究方法が妥当であること。
④ 目的達成のための調査量が十分であること。
⑤ 内容が独創的・客観的・論理的であること。
⑥ 卒業論文としての体裁が整っていること。
⑦ 口頭試問の対応が的確であること。

なお、事前に実施する中間発表会において要旨を提出し、発表することが前提となる。

地域文化学科
2012（平成24）年度以降入学生用【標準年次別科目配当表】

区分		１年次	２年次
全学共通科目	全学共通基礎（留学生 P.14 参照）	◎ 英語ＩＡ・ＩＢ 各1前後 ◎ 英語ⅡＡ・ⅡＢ 各1前後 ○ 第二外国語ＩＡ・ＩＢ 各1前後 （独語・仏語・中国語・朝鮮語・※１初習英語） ◎ 情報リテラシー(情報倫理を含む) 2 前 ◎ 情報科学概論 2 後 ◎ 健康・体力科学Ｉ 1 後	◎ 英語ⅢＡ・ⅢＢ 各1前後 ◎ 英語ⅣＡ・ⅣＢ 各1前後 ○ 第二外国語ⅡＡ・ⅡＢ 各1前後 （独語・仏語・中国語・朝鮮語・※１初習英語） プログラミング基礎 ※２ 2 前 ◎ 健康・体力科学Ⅱ 1 前
	人間学	４年間で１２単位必修（環境マネジメント総論と人間探求学は1年次必修）	

※１　初習英語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢは入学前に英語を履修したことがない外国人留学生を対象としています。
（詳細についてはP. 14、67、68参照）
※２　平成２５年度入学生については、プログラミング基礎は全学共通科目から削除されています。

区分			１年次	２年次
専門科目	学部共通基礎		◎ 環琵琶湖文化論実習 1 通 ◎ 人間文化論Ａ 2 前 ● 人間文化論Ｂ 2 後 ● 人間文化論Ｃ 2 後	
			Japanese Culture and Civilization（１年次～４年次配当） 2 後	
	複数学科共通		統計学基礎 2 前	
	学科基礎	演習	◎ 地域文化基礎演習 1 後	
		講義	日本文化論 2 前 日本社会論 2 後 日本史概説 2 前 東洋史概説 2 後 考古学 2 前 地域と空間 2 後 民俗学 2 後 *1 地域文化財論Ａ 2 前	地域文化財論Ｂ 2 後 基層文化論 2 後 芸術学 2 後 人文地理学Ａ 2 後 社会学概論 2 前 地域研究論 2 前 社会調査論 2 前 現代中国論 2 前 *1 東アジア考古学概論 2 後
		講読	▽ 日本史料講読 2 通 ▽ 漢文講読 2 通	▽ 英書講読 2 通
	学科専門	講義		比較文明論 2 後 比較文化論（H25は不開講） 2 後 哲学概論Ａ 2 前 *1 哲学概論Ｂ 2 前 文化人類学概論Ａ 2 前 文化人類学概論Ｂ 2 後 西洋史概説 2 前 □ 文化財情報論 2 後 *2 比較宗教論 2 前 *2 美術史Ａ 2 前 *1 美術史Ｂ 2 前 *2 アジア社会論 2 後 人文地理学Ｂ 2 後 *1 近江商人論 2 後 *1 アジア交流論 2 前 *1 日本文化史論Ａ 2 前 *2 日本文化史論Ｂ 2 前
		実習		□ アジア文献講読Ａ 2 通 □ アジア文献講読Ｂ 2 通 □ アジア文献講読Ｃ 2 通 □ 美術史実習 1 前
		演習		□ 古文書演習Ｉ 1 前 ◎ 地域文化演習Ｉ 2 通

●：選択必修（この中から２単位以上履修）　□：選択必修（この中から１単位以上履修）
▽：選択必修（この中から２単位以上履修）　○：選択必修（第二外国語　４単位以上）

３年次		４年次	
リスニング（中級）	2 前	留学英語対策講座Ⅰ	2 後
リーディング（中級）	2 後	留学英語対策講座Ⅱ	2 後
英語会話（中級）	2 後	ビジネス英語	2 後
ディベート&ディスカッション	2 前	時事英語	2 後
英語表現法	2 前	メディアの英語	2 前
エッセイ・ライティング	2 後		
実用英語演習ＩＡ	1 前	実用英語演習ＩＢ	1 後

＊1：隔年開講　H２５開講・H２６不開講　　＊2：隔年開講　H２５不開講・H２６開講

３年次		４年次	
比較文学論	2 後		
近世近江論	2 前		
*2 文化財・保存修景論Ａ	2 前		
中国地域文化論	2 後		
*1 朝鮮地域文化論	2 後		
文化人類学特論	2 前		
□ 質的データ解析論	2 後		
地域活性化論	2 後		
文化社会学	2 前		
対外文化交流論Ａ	2 前	*2 現代社会論	2 後
*2 対外文化交流論Ｂ	2 前	*2 社会学史	2 前
歴史的地域論	2 後	*2 地域考古学Ａ	2 前
*2 東アジア世界論	2 後	*2 地域考古学Ｂ	2 後
社会調査方法論	2 前	*1 地域考古学Ｃ	2 前
量的データ解析論Ⅰ	2 前	*1 地域考古学Ｄ	2 後
量的データ解析論Ⅱ	2 後		
考古学特論Ａ	2 後	地域経済史論	2 後
考古学特論Ｂ	2 後	地域生活論	2 前
*1 文化財・保存修景論Ｂ	2 後	*2 中国地域文化特論	2 前
民俗学特論	2 前	朝鮮地域文化特論	2 後
*1 現代ジャーナリズム論	2 前	地誌学	2 前
博物館展示論	2 後	自然地理学	2 前
博物館経営論	2 前	*1 社会変動論	2 後
日本・地域交流特論	2 後	組織とネットワークの社会学	2 前
□ 考古学実習Ⅰ	1 前		
□ 考古学実習Ⅱ	1 後		
□ 地理学実習Ⅰ	1 前		
□ 地理学実習Ⅱ	1 後		
□ 民俗学実習	1 後		
□ 社会調査実習	1 通		
□ 古文書演習Ⅱ	1 後		
◎ 地域文化演習Ⅱ	2 通	◎ 地域文化演習Ⅲ	2 通
		◎ 卒業研究・論文	8 通

地域文化学科
2011（平成23）年度以前入学生用【標準年次別科目配当表】

区分		１年次	２年次
全学共通科目	全学共通基礎（留学生 P.14 参照）	◎ 英語Ⅰ 2 通 ◎ 英語Ⅱ 2 通 ○ 第二外国語Ⅰ 各 2通 独語・仏語・中国語・朝鮮語・※１初習英語 ◎ 情報科学概論 2 後 ◎ 情報リテラシー(情報倫理を含む)※2 2 前 ◎ 健康・体力科学Ⅰ 1 後	◎ 英語Ⅲ 2 通 ◎ 英語Ⅳ 2 通 ○ 第二外国語Ⅱ 各 2通 独語・仏語・中国語・朝鮮語・※１初習英語 プログラミング基礎 ※３ 2 前 ◎ 健康・体力科学Ⅱ 1 前
	人間学	４年間で１２単位必修（環境マネジメント総論と人間探求学は1年次必修）	

※１ 初習英語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡBは入学前に英語を履修したことがない外国人留学生を対象としています。
（詳細についてはP.14、67、68参照）
※２ 平成２１年度以前入学生に対しては、「◎情報処理演習Ⅰ」（必修１単位）に読み替えます。
※３ 平成２１年度以前入学生に対しては、「◎情報処理演習Ⅱ」（必修１単位）に読み替えます。

区分		１年次	２年次
専門科目	学部共通基礎	◎ 環琵琶湖文化論実習 ※ 1 通 人間文化論Ａ 2 前 人間文化論Ｂ 2 後 Japanese Culture and Civilization （１年次～４年次） 2 後 統計学基礎 2 後	人間文化論Ｃ 2 後 比較文明論 2 後 文化人類学概論Ａ 2 前 文化人類学概論Ｂ 2 後
	学科共通	日本文化論 2 前 日本社会論 2 後 日本史概説 2 前 東洋史概説 2 後 朝鮮文化論※ 2 後 考古学 2 前 民俗学 2 後 *1 地域文化財論Ａ 2 前 芸術学 2 後 人文地理学Ａ 2 後 社会学概論 ※ 2 前 地域研究論 2 前 遊牧社会論※（平成26年度まで開講） 2 前 地域活性化論 2 後 社会調査論 2 前	地域文化財論Ｂ 2 後 文化財情報論 ※ 2 後 比較文化論（H25は不開講） 2 後 *2 比較宗教論 2 前 比較文学論 2 前 人文地理学Ｂ 2 後 考古学特論 ※ 2 後 基層文化論 2 後 地域と空間※ 2 後 農耕社会論※ 2 後 現代中国論※ 2 前 西洋史概説※ 2 前 *2 アジア社会論 2 後 *1 日本文化史論Ⅰ※ 2 前 *2 日本文化史論Ⅱ※ 2 前 中国地域文化論 2 後 *1 朝鮮地域文化論Ａ ※ 2 後 *2 朝鮮地域文化論Ｂ ※ 2 後 モンゴル地域文化論 ※ 2 後 中国･内モンゴル地域文化論※ 2 後 *2 文化人類学特論 ※ 2 前 インド・チベット地域文化論※ 2 後 *1 アジア交流論 2 前 社会調査方法論 2 前 量的データ解析論Ⅰ ※ 2 後 質的データ解析論 2 後 *2 現代社会論 ※ 2 前
		考古地理実習Ⅰ※ 1 後	考古地理実習ⅡＡ ※ 2 通 考古地理実習ⅡＢ ※ 2 通 日本史料講読 2 通 民俗学実習 1 後
		モンゴル語Ⅰ※ 2 前	モンゴル語Ⅱ※ 2 後 ロシア語Ⅱ(平成24年度まで開講) 2 通 チベット語基礎※ 2 通 漢文講読 2 通 ◎ 地域文化演習Ⅰ 2 通

※印の科目はP370の「地域文化学科専門科目履修上の注意」を参照して読み替えに注意してください。

３年次			４年次
英語ＶＡ	平成26年度まで開講（読替措置については P.12を参照）	1 前	
英語ＶＢ		1 後	
英語VIＡ		1 前	
英語VIＢ		1 後	
ドイツ語ⅢＡ	平成24年度まで開講（読替措置については P.13を参照）	1 前	
ドイツ語ⅢＢ		1 後	
フランス語ⅢＡ		1 前	
フランス語ⅢＢ		1 後	

＊１：隔年開講　Ｈ２５開講・Ｈ２６不開講　　＊２：隔年開講　Ｈ２５不開講・Ｈ２６開講

３年次		４年次	
		*1 現代ジャーナリズム論	2 後
近世近江論	2 前		
*1 近江商人論	2 前		
*2 文化財・保存修景論Ａ	2 前		
*1 文化財・保存修景論Ｂ	2 後		
文化社会学　※	2 前		
対外文化交流論Ａ	2 前		
*2 対外文化交流論Ｂ	2 前		
*1 対外文化交流論Ｃ ※	2 後		
歴史的地域論	2 後		
地域生活論	2 前		
地域経済史論　※	2 後		
*2 アジア・地域交流論Ａ ※	2 後		
アジア・地域交流論Ｂ ※	2 前		
*1 アジア・地域交流論Ｃ※	2 後		
日本・地域交流特論	2 後		
*2 中国地域文化特論	2 前		
朝鮮地域文化特論 ※	2 前		
*2 美術史概論	2 前		
*1 美術史　※	2 前		
哲学概論Ａ	2 前		
*1 哲学概論Ｂ	2 前		
博物館学各論Ｂ	2 後		
*2 地域考古学Ａ	2 前		
*2 地域考古学Ｂ	2 後		
*1 地域考古学Ｃ	2 前		
*1 地域考古学Ｄ	2 後		
地誌学　※	2 前	量的データ解析論Ⅱ　※	2 後
自然地理学　※	2 前	*1 組織とネットワークの社会学　※	2 後
*1 社会変動論　※	2 後	*2 社会学史　※	2 前
古文書演習Ⅰ	1 前		
古文書演習Ⅱ	1 後		
社会調査実習	1 通		
朝鮮語文献講読※	2 通		
中国語文献講読 ※	2 通		
現代モンゴル語文献講読 ※	2 通	◎ 地域文化演習Ⅲ	2 通
モンゴル語史料(ウイグル式文字)講読 ※	2 通	◎ 卒業研究・論文	8 通
朝鮮語会話 ※	2 通		
◎ 地域文化演習Ⅱ	2 通		

地域文化学科専門科目の履修上の注意

2011（平成 23）年度以前入学生へ

入学年度により、下記に示した新科目名は、旧科目名に読み替えます。ただし、旧科目名で単位を修得した科目については、新科目名で新たに単位を修得することはできません。

一部科目は、国際コミュニケーション学科の科目になりますので P. 390-391 の国際コミュニケーション学科の配当表も見て履修してください。

対象	旧科目名	新科目名
平成 16 年度以前入学生	画像情報処理	文化財情報論
	日本・地域交流論	日本文化史論Ⅰ
	地域経済論	地域経済史論
平成17年度以前入学生	海域社会論	現代中国論
	街道と宿場	地域と空間
	中央アジア・ロシア極東地域文化論	国際コミュニケーション学科科目： 多民族社会論B
平成18年度以前入学生	環琵琶湖文化論実習A	環琵琶湖文化論実習
	中東・南アジア地域文化論A	文化人類学特論
	中東・南アジア地域文化論B	国際コミュニケーション学科科目： アジア文化論D
平成19年度以前入学生	遊牧地域論	遊牧社会論（最終開講：平成 26 年）
	農耕世界論	国際コミュニケーション学科科目： アジア文化特論C
	西洋文化史	西洋史概説
	中東・南アジア地域文化論	文化人類学特論
平成20年度以前入学生	比較文化論特論	美術史
平成21年度以前入学生	・「地誌学」「自然地理学」は教職科目であり、卒業単位に算入することができません。	
平成22年度以前入学生	社会学	社会学概論
	民衆芸能論	文化社会学
	社会統計学	量的データ解析論Ⅰ
	応用データ解析論	量的データ解析論Ⅱ
	・「現代社会論」「社会学史」「社会変動論」「組織とネットワークの社会学」は他学科の科目として扱われます。	
平成23年度以前入学生	旧科目名	新科目名
（平成 24 年度 以降読み替え科目）	考古地理実習Ⅰ	地域文化基礎演習
	朝鮮文化論	国際コミュニケーション学科科目： アジア文化論B
	モンゴル語Ⅰ	国際コミュニケーション学科科目： モンゴル語ⅠA モンゴル語ⅠB
	モンゴル語Ⅱ	国際コミュニケーション学科科目： モンゴル語ⅡA モンゴル語ⅡB
	中国・内モンゴル地域文化論	国際コミュニケーション学科科目： 多民族社会論B
	インド・チベット地域文化論	国際コミュニケーション学科科目： アジア文化論D
（平成25年度以降 読み替え予定科目）	美術史	美術史B
	アジア・地域交流論C	東アジア考古学概論
	考古地理実習ⅡA	考古学実習Ⅰ、考古学実習Ⅱ
	考古地理実習ⅡB	地理学実習Ⅰ、地理学実習Ⅱ
	日本文化史論Ⅰ	日本文化史論A
	朝鮮地域文化論A	朝鮮地域文化論
	中国語文献講読	アジア文献講読C
	朝鮮語文献講読	アジア文献講読 A

	モンゴル地域文化論	国際コミュニケーション学科科目： アジア文化論C
	モンゴル語史料（ウイグル式文字）講読	国際コミュニケーション学科科目： モンゴル語史料講読ＩＡ モンゴル語史料講読ＩＢ
	現代モンゴル語文献講読	国際コミュニケーション学科科目： モンゴル語コミュニケーションⅡＡ モンゴル語コミュニケーションⅡＢ
	朝鮮語会話	国際コミュニケーション学科科目： 朝鮮語コミュニケーションⅡＡ 朝鮮語コミュニケーションⅡＢ
（平成26年度以降 読み替え予定科目）	美術史概論	美術史A
	考古学特論	考古学特論B
	アジア・地域交流論A	東アジア世界論
	日本文化史論Ⅱ	日本文化史論B
	対外文化交流論C	国際コミュニケーション学科科目： 移民社会論C
	農耕社会論	国際コミュニケーション学科科目： アジア文化特論C
	アジア・地域交流論B	国際コミュニケーション学科科目： 異文化交流史
	朝鮮地域文化論B	国際コミュニケーション学科科目： アジア文化特論B
（平成27年度以降 読み替え予定科目）	チベット語基礎	国際コミュニケーション学科科目： チベット語基礎Ⅰ チベット語基礎Ⅱ

【ゼミ別・履修が望ましい科目等一覧】

３年次配当の地域文化演習Ⅱ、４年次配当の地域文化演習Ⅲは、教員個人（グループの場合もある）が担当するいわゆるゼミにあたります。３年次・４年次は、いずれかのゼミに所属することになります。

ここでは、各ゼミが、どのような専門分野を扱うのか、またそのゼミにはいるにはどのような科目を履修しておくべきかを示します。所属したいゼミに即して、計画的に履修してください。

2012（平成 24）年度以降入学生に対するゼミ

教員名	専門分野	履修すべき科目
田中　俊明	古代東アジアの文化交流史	朝鮮語または中国語を履修していることが望ましい。
定森　秀夫	東アジア考古学	考古学特論、考古学実習Ⅰ・Ⅱなどを履修していることが望ましい。
濱崎　一志	都市史、保存修景計画	文化財情報論、地域文化財論Ａ・Ｂを履修していることが望ましい。
水野　章二	日本前近代の地域史、環境史	日本史料講読、日本史概説を履修していることが望ましい。
中井　均	日本考古学	考古学、考古学実習Ⅰ・Ⅱを履修済みであること。
市川　秀之	民俗学	民俗学、地域と空間のいずれかを履修済みであること。
京樂　真帆子	日本前近代の文化史、ジェンダー史	日本文化史論ＡまたはＢを履修済みであること。
亀井　若菜	日本美術史	芸術学を履修済みであること。また美術史実習、美術史Ａ、美術史Ｂの3科目についても計画的に履修すること。
東　　幸代	日本近世、近代の地域史	日本史料講読・近江近世論を履修済みであること。
塚本　礼仁	人文地理学	人文地理学Ａ、地理学実習Ⅰ・Ⅱを履修済みであること。
石川　慎治	保存修景計画、集落研究	地域文化財論Ａ・Ｂ、文化財情報論を履修していることが望ましい。
武田　俊輔	社会学、文化研究	社会学概論・質的データ解析論の２科目の履修を必須とする。
横田　祥子	文化人類学、現代中国論	未定

2011（平成 23）年度以前入学生に対するゼミ

教員名	専 門 分 野	必修科目、履修希望科目
田中 俊明	古代東アジアの文化交流史および朝鮮古代史	朝鮮語または中国語を履修していることが望ましい。また漢文購読を履修することが望ましい
定森 秀夫	東アジア考古学	日本史概説、考古学、考古学特論、日本文化論、考古地理実習Ⅰ・Ⅱ、対外文化交流論Ａを履修していることが望ましい
濱崎 一志	都市史、保存修景計画	文化財情報論（画像情報処理）、地域文化財論Ｂを履修していることが望ましい
水野 章二	日本前近代の地域史、環境史	日本史料講読を履修していることが望ましい
中井　均	考古学	考古学、考古地理実習Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。
棚瀬 慈郎	文化人類学	特になし
市川　秀之	民俗学	民俗学、地域と空間のいずれかを履修していることが望ましい
京樂 真帆子	日本前近代の文化史、ジェンダー史	日本文化論を履修していることが望ましい
亀井　若菜	日本美術史	芸術学、美術史概論、美術史を履修していることが望ましい
ﾎﾞﾙｼﾞｷﾞﾝ･ﾌﾞﾚﾝｻｲﾝ	中国東北・内モンゴル地域研究、中国少数民族問題	モンゴル語、中国語、遊牧地域論、東洋史概説、モンゴル地域文化論などを履修していることが望ましい
東　幸代	日本近世、近代の地域史	日本史料講読を履修していることが望ましい
塚本　礼仁	人文地理学	人文地理学Ａ・Ｂ、考古地理実習Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい
石川　慎治	保存修景計画、集落研究	文化財情報論（画像情報処理）、地域文化財論Ｂを履修していることが望ましい
島村　一平	文化人類学、モンゴル研究	モンゴル語Ⅰ・Ⅱ、あるいはロシア語Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい
河　かおる	朝鮮近現代史、在日朝鮮人史	朝鮮語、朝鮮文化論を履修していることが望ましい
武田　俊輔	社会学、文化研究	社会学概論、質的データ解析論を履修していることが望ましい
横田　祥子	文化人類学。現代中国論	未定

平成24年度以降入学生用　地域文化学科　専門科目履修モデル

地域文化学科の科目は、大きく歴史系、地域遺産系、交流系、現代社会系の４つの系に分かれています。
関心のある分野を中心に専門科目の履修を考えるとよいでしょう。ただし各自の関心に合わせて他の系の科目も履修してください。

区分		歴史系	地域遺産系	交流系	現代社会系	（通分野的科目）
学部共通基礎	実習（1年次）　必修	◎環琵琶湖文化論実習				
	講義（1年次）　必修	◎人間文化論A				
	講義（1年次）　選択必修1科目以上	●人間文化論B、●人間文化論C				
	講義（1～4年次）	Japanese Culture and Civilization				
複数学科共通	講義（1年）	統計学基礎				
学科基礎	演習（1年次）　必修	◎地域文化基礎演習				
	講読（1、2年次）選択必修1科目以上	▽日本史料講読　▽漢文講読　▽英書講読				
	講義（1、2年次）	日本文化論 日本史概説 芸術学	考古学 地域と空間 民俗学 地域文化財論A 地域文化財論B 基層文化論	東アジア考古学概論 東洋史概説 現代中国論	日本社会論 人文地理学A 社会学概論 地域研究論 社会調査論	
学科専門	演習（2年次）　必修	◎地域文化演習Ⅰ				
	演習（3年次）　必修	◎地域文化演習Ⅱ				
	演習（4年次）　必修	◎地域文化演習Ⅲ　◎卒業研究・論文				
	実習（2、3年次） 選択必修1単位以上 （社会調査実習のみは3、4年次配当科目）	□古文書演習Ⅰ □古文書演習Ⅱ □美術史実習	□考古学実習Ⅰ □考古学実習Ⅱ □文化財情報論 □民俗学実習	□アジア文献講読A □アジア文献講読B □アジア文献講読C	□地理学実習Ⅰ □地理学実習Ⅱ □質的データ解析論 □社会調査実習 （3、4年次配当）	
	講義（2、3年次）	近世近江論	文化財・保存修景論A	中国地域文化論 朝鮮地域文化論 比較文明論（2年次配当）	比較文化論 地域活性化論	哲学概論A 哲学概論B 文化人類学概論A 文化人類学概論B 西洋史概説 比較宗教論 比較文学論 文化人類学特論
	講義（2、3、4年次）	日本文化史論A 日本文化史論B 歴史的地域論 美術史A 美術史B 近江商人論	地域考古学A 地域考古学B 地域考古学C 地域考古学D	アジア社会論 アジア交流論 対外文化交流論A 対外文化交流論B 東アジア世界論	人文地理学B 文化社会学 社会調査方法論 量的データ解析論Ⅰ 量的データ解析論Ⅱ 現代社会論 社会学史	
	講義（3、4年次）	日本・地域交流特論 地域経済史論	考古学特論A 考古学特論B 文化財・保存修景論B 民俗学特論	中国地域文化特論 朝鮮地域文化特論	現代ジャーナリズム論 地域生活論 地誌学 自然地理学 社会変動論 組織とネットワークの社会学	博物館展示論 博物館経営論

（２）　生活デザイン学科

【科目履修上の注意】

① 専門科目は、人間文化学部全体の共通科目、複数学科の共通科目、本学科の学生を対象とする科目の３群から構成されている。学部共通の環琵琶湖文化論実習、人間文化論Ａは必修科目である。複数学科共通科目として挙げられている科目は、人間生活のあり方を追求し、文化的な生活を創造する上で、基礎となる科目である。学科専門科目は、その内容から、（ａ）住居系、（ｂ）道具系、（ｃ）服飾系の３分野に大別できる。また、３分野をまたぐ基礎的な科目が、主に１年次および２年次に配当されている。

（ａ）住居系

住居は人の生活の器である。それは過酷な自然や災害から身を守り、快適な生活を人にもたらす。そして住居が集まって集落や都市ができ、コミュニティが形成され、人の社会活動が営まれる。従って住居には安全性、利便性はもちろんのこと、社会的公共性も強く求められる。そのため住居の計画・設計・建設においては家の構造や、自然の状況、生活の内容に対する豊かな知識と細やかな配慮が必要である。また住居を設計し表現するための実践的な知識、技術も必要である。それらを、講義科目および住環境設計演習を通して身につける。

（ｂ）道具系

人がその生活を支えるために使う技術的工作物（モノ、プロダクト、製品）が道具である。その道具というモノをデザインすることによって人は何かしらのコトを実現する。道具系の科目は、道具を企画・デザインし、広報・宣伝し、流通・販売する社会的行為について学ぶ講義科目と、そのデザインを具体的に実践するために必要な技術と知識を基礎から身につける演習科目で構成される。

（ｃ）服飾系

衣服は人体にとって最も身近な環境である。豊かな感性と論理的思考力、現場での実践力をあわせ持ち、快適で審美的な衣環境を見出すために、素材の基礎知識、衣環境を彩る染色加工、衣服の管理、製品の製造と品質、流通・消費者問題に関する事項を学ぶ。服飾デザインでは、感性と専門知識を生かして主体的なデザインができるために、問題点の分析、アイデアの創出、提案、評価のプロセスを学ぶための講義科目、演習で構成される。

② 上記の３つの科目群は扱う対象が異なり、対応する社会的職能も分かれるので、履修を進めていくなかで、各人なりの取捨が求められることになる。しかし、複数分野の科目を履修することによりデザインに関する幅広い知識・技能を得ることが可能である。

③ 各科目群に関連した科目が他学部・他学科の中にもあるので、積極的にそれらの科目を履修することを勧める。ただし、同名の他学部・他学科科目は受講できない。また、環境・建築デザイン学科の「建築一般構造」・「木匠塾」は、生活デザイン学科の「一般構造」・「生活デザイン学外演習」と同内容であるため受講できない。

【卒業に必要な要件】

下記のとおり、全学共通科目３０単位以上、および専門科目１００単位以上、合計１３０単位以上を取得しなければならない。

(1)全学共通科目（３０単位以上）　　※留学生Ｐ.14 参照

(A)次頁以降の科目配当表の全学共通科目に指定する必修科目１４単位

(B 第二外国語としてドイツ語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、フランス語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、中国語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、朝鮮語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢのうちから４単位。ただし、「第二外国語ⅡＡ・ⅡＢ」は、「実用英語演習ＩＡ・ＩＢ」で代替可能。

ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、朝鮮語Ⅰ・Ⅱのうちから４単位。（平成 23 年度以前入学生）

(C)人間学(「比較住居論」を除く）から１２単位以上(必修４単位を含む。)

(2)専門科目（１００単位以上）

(A)次頁以降の科目配当表に指定する必修科目２３単位

(B)次頁以降の科目配当表に指定する選択必修科目から１２単位以上（註１）
●印から２単位以上、□印から１０単位以上（住環境設計演習、道具デザイン演習、服飾デザイン演習のいずれかのⅠ～Ⅲを必修とする）

(C)次頁以降の科目配当表に指定する選択科目から６５単位以上（註２）

（註１）選択必修科目で１２単位を超える単位については、選択科目として卒業単位に算入することができる。
（註２）他学科および他学部の専門科目ならびに全学共通科目のうち、すべての科目から１０単位までを、専門科目として卒業単位に算入することができる。
なお、１０単位を超えて取得した単位および除外科目の単位であっても、学科において適切と認められた場合は、所定の手続きを経て卒業単位に算入することがある。

【卒業研究・制作／論文着手要件】

生活デザイン論演習Ⅰ・Ⅱを履修済みであること。原則として卒業単位を１１０単位以上修得していること

【卒業研究等審査基準】

1 卒業研究（卒業論文・卒業制作）は、以下の評価項目によって審査する。
(1) 研究目的と研究計画の妥当性
(2) テーマの新規性・学術性・社会性
(3) 研究方法の的確性・独創性
(4) 研究内容の論拠（実験・調査データ・文献資料等）の客観性・実証性
(5) 論理構成および結論（表現）の妥当性、制作の場合は加えて完成度
(6) プレゼンテーションの技法と質疑応答能力
2 卒業研究（卒業論文・卒業制作）は、卒業研究中間発表会および卒業研究公開審査会において学科が定める方法で発表し、質疑を行う。
3 １および２による評価結果をもとに、学科教員全員の合議を経て審査判定を行う。

【生活デザイン学科履修モデル】

生活デザイン学科

2013（平成25）年度入学生用【標準年次別科目配当表】

区分		１年次	２年次
全学共通科目	全学共通基礎（留学生P.14参照）	◎ 英語ＩＡ・ＩＢ 各1前後 ◎ 英語ⅡＡ・ⅡＢ 各1前後 ○ 第二外国語ＩＡ・ＩＢ 各1前後 （独語・仏語・中国語・朝鮮語・※１初習英語） ◎ 情報リテラシー(情報倫理を含む)※2 2 前 ◎ 情報科学概論 2 後 ◎ 健康・体力科学Ⅰ 1 後	◎ 英語ⅢＡ・ⅢＢ 各1前後 ◎ 英語ⅣＡ・ⅣＢ 各1前後 ○ 第二外国語ⅡＡ・ⅡＢ 各1前後 （独語・仏語・中国語・朝鮮語・※１初習英語） ○ 実用英語演習ＩＡ・ＩＢ 各1前後 ◎ 健康・体力科学Ⅱ 1 前
	人間学	４年間で１２単位必修（環境マネジメント総論と人間探求学は1年次必修）	

※１　初習英語Ⅰ・Ⅱは入学前に英語を履修したことがない外国人留学生を対象としています。
（詳細についてはP.14、67、68参照）

※２ 平成２１年度以前入学生に対しては、「◎情報処理演習Ⅰ」（必修１単位）に読み替えます。

区分		１年次	２年次
	学部共通基礎	◎ 環琵琶湖文化論実習 1 通 ◎ 人間文化論Ａ 2 前 ● 人間文化論Ｂ 2 後 ● 人間文化論Ｃ 2 後	
		Japanese Culture and Civilization（１年次～４年次） 2 後	
専門	複数学科共通	心理学基礎 2 前 消費生活論 2 後 比較住居論 2 前 統計学基礎 2 前	
専門	学科専門	**〔生活デザインの視点〕** □ デッサン法 1 前 ◎ 生活造形基礎演習 2 前 社会調査論 2 前 プレゼンテーション技法 2 後 サステナブルデザイン論 2 前 マーケティング論 2 後 **〔住居・道具・服飾デザイン〕** ◎ 基礎設計製図 2 後 ◎ 基礎服飾デザイン 2 後 考現学概論 2 前 比較道具論 2 後 *1 比較衣装論 2 後	**〔生活デザインの視点〕** ◎ 生活デザイン論 2 後 近代デザイン史 2 前 社会調査方法論 2 前 生活素材論 2 前 染色学 2 後 人間工学 2 後 色彩学 2 前 □ 色彩学演習 1 後 消費科学Ⅰ 2 前 消費科学Ⅱ 3 前 マーケティングリサーチ演習 1 後 **〔住居・道具・服飾デザイン〕** □ デジタルデザイン演習 2 通 インテリア計画論 2 前 一般構造 2 前 建築計画論 2 後 構造計画 2 後 □ 住環境設計演習Ⅰ 2 前 □ 住環境設計演習Ⅱ 2 後 □ 道具デザイン演習Ⅰ 2 前 □ 道具デザイン演習Ⅱ 2 後 服飾デザイン論 2 後 □ 服飾デザイン演習Ⅰ 2 後
			地域再生システム論 2 前
		生活デザイン学外演習 2 前・後	

1 「生活造形基礎演習」は「生活造形基礎演習Ⅰ」の名称変更されたものであるため、平成22年度以前入学生で「生活造形基礎演習Ⅰ」を履修したものはこれを履修できません。

３年次		４年次	
リスニング（中級）	2 前	留学英語対策講座Ⅰ	2 後
リーディング（中級）	2 後	留学英語対策講座Ⅱ	2 後
英語会話（中級）	2 後	ビジネス英語	2 後
ディベート＆ディスカッション	2 前	時事英語	2 後
英語表現法	2 前	メディアの英語	2 前
エッセイ・ライティング	2 後		

＊1：隔年開講　Ｈ２６開講・Ｈ２５不開講

３年次		４年次	
生活経営論	2 後		
〔生活デザインの視点〕			
消費者行動論	2 前		
人間工学実習	1 前		
〔住居・道具・服飾デザイン〕			
住環境論	2 後		
インテリアコーディネート概説	1 前		
空間デザイン論（空間意匠の分析）	2 前		
建築法規	2 後		
構造力学Ⅰ	2 後		
□ 住環境設計演習Ⅲ	2 前		
道具デザイン論	2 後		
道具デザイン史	2 後		
道具計画論	2 前		
*1 現代産業デザイン論	2 前		
□ 道具デザイン演習Ⅲ	2 前		
服飾造形論	2 前		
服飾環境論	2 前		
服飾心理学	2 後		
□ 服飾デザイン演習Ⅱ	2 前		
□ 服飾デザイン演習Ⅲ	2 前	◎ 卒業研究・製作／論文	8 通
◎ 生活デザイン論演習Ⅰ	1 前		
◎ 生活デザイン論演習Ⅱ	3 後		

2 平成23年度以前入学生も、入学年度に開講していなかった科目を受講し、卒業要件科目に含むことができます。

●：選択必修（この中から２単位以上履修）

□：選択必修（この中から１０単位以上履修）
　ただし、住環境設計演習、道具デザイン演習、服飾デザイン演習のいずれかのⅠ～Ⅲを必修とする）

○：選択必修（第二外国語　４単位以上）

生活デザイン学科ゼミ別指導内容および履修が望ましい科目等

３年次配当の生活デザイン論演習Ⅰ・Ⅱでは、４年次の卒業研究に向けて各教員がゼミ形式で担当します。教員の専門分野によって生活デザイン論演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究を進める上で履修することが望ましい科目等が異なります。下記に各教員の専門分野と研究テーマ・方法、履修が望ましい科目等を示しますので、履修計画の参考にしてください。

分野	教員名	テーマ・方法	履修が望ましい科目等
道具系	面矢慎介	道具デザインに関する生活調査や製品計画、歴史研究、比較文化研究。論文を主とする。	考現学概論、比較道具論、社会調査論、社会調査方法論、道具デザイン史、道具計画論、マーケティング論、現代産業デザイン論を履修していることが望ましい。
道具系	印南比呂志	地域におけるデザイン活動に積極的に参加し現場で実践的に調査研究、制作を行う。	道具デザイン演習Ⅰ～Ⅲ、道具デザイン論、道具計画論、プレゼンテーション技法を履修している、地元学入門、副専攻科目である近江学士（地域学）を履修してことが望ましい。
服飾系	道明美保子	生活素材・色素の新たな活用方法および豊かな衣環境を見出すための調査・実験。論文を主とするが、応用としての制作可。	生活素材論、染色学、服飾環境論、服飾デザイン演習Ⅲを履修していることが望ましい。
服飾系	森下あおい	服飾デザインに関する制作および調査研究。ファッション分野の製品開発や文化史的研究など。	服飾造形論、服飾デザイン論、人間工学、比較衣装論、マーケティング論、消費科学Ⅰ、Ⅱ、服飾デザイン演習Ⅰ、Ⅱ、人間工学実習を履修していることが望ましい。
住居系	宮本雅子	高齢社会での快適な居住空間についての実験・調査研究。論文を主とするが、応用としての制作可。	住居学に関わる科目（人間工学を含む）、色彩学関連科目を履修していることが望ましい。
住居系	藤木庸介	各種建築、インテリアの設計（制作）または居住文化に関する調査研究（論文）。	住居設計演習Ⅰ～Ⅲ、並びに住居学関連科目を履修していることが望ましい。
住居系	佐々木一泰	空間デザインに関する制作および調査研究。	住環境設計演習Ⅰ～Ⅲを履修していることが望ましい。また幅広い知識を養う為、積極的に他の講義、演習を履修していることが望ましい。
道具系	南　政宏	デザインに関する調査研究と制作の両方を必須とする。	道具デザイン演習Ⅰ～Ⅲを履修していることが望ましい。
共通	宮尾　学	商品サービスのマーケティングに関連する調査研究、道具・服飾・住居いずれか分野でも可。マーケティング事例の研究や、消費者の意識調査・商品企画など。論文を主とするが、応用としての制作可。	マーケティング論、消費者行動論、マーケティングリサーチ演習、社会調査論、社会調査方法論を履修していることが望ましい。

（３）　生活栄養学科

【卒業に必要な要件】

下記のとおり、全学共通科目３０単位以上、および専門科目１００単位以上、合計１３０単位以上を取得しなければならない。

(1)全学共通科目（３０単位以上）　　※留学生Ｐ.14 参照

(A)次頁以降の科目配当表の全学共通科目に指定する必修科目１４単位

(B)第二外国語としてドイツ語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、フランス語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、中国語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、朝鮮語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢのうちから４単位。ただし、「第二外国語ⅡＡ・ⅡＢ」は、「実用英語演習ＩＡ・ＩＢ」で代替可能。（平成 24 年度以降入学生のみ）

ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、朝鮮語Ⅰ・Ⅱのうちから４単位。（平成 23 年度以前入学生）

(C)人間学（「比較住居論」を除く）から１２単位以上(必修４単位を含む)

(2)専門科目（１００単位以上）

(A)次頁以降の科目配当表に指定する必修科目１３単位

(B)次頁以降の科目配当表に指定する選択必修科目から１４単位以上（註１）
●印から２単位以上、□印から１２単位以上

(C)次頁以降の科目配当表に指定する選択科目から７３単位以上（註２）

（註１）選択必修科目で１４単位を超える単位については、選択科目として卒業単位に算入することができる。

（註２）他学科および他学部の専門科目のうち、すべての科目から１０単位までを、専門科目として卒業単位に算入することができる。
なお、１０単位を超えて取得した単位および除外科目の単位であっても、学科において適切と認められた場合は、所定の手続きを経て卒業単位に算入することがある。

【卒業研究・論文着手要件】

卒業研究・論文実施学年時に、卒業研究・論文、管理栄養士総合演習、生活栄養論演習Ⅱ以外の科目について、概ね講義科目ならば 16 科目(32 単位)*以上を履修する場合は、卒業研究・論文を履修できない。

*実験・実習科目１科目(１単位)は、講義科目２科目(４単位)に相当する。

【卒業研究審査基準】

１　卒業研究は、以下の評価項目によって審査する。
(1) 研究目的と研究計画の妥当性
(2) 研究内容の論拠の客観性・実証性
(3) 卒業論文の完成度
(4) プレゼンテーション技法と質疑応答能力
(5) 研究に対する姿勢
２　卒業研究は、卒業研究発表審査会において学科が定める方法で発表し、質疑を行う。
３　上記１ならびに２による評価結果をもとに、学科構成全教員の合議を経て卒業研究の審査判定を行う。

生活栄養学科
2013（平成25）年度入学生用【標準年次別科目配当表】

区分		１年次	２年次
全学共通科目	全学共通基礎（留学生 P.14 参照）	◎ 英語ＩＡ・ＩＢ 各1前後 ◎ 英語ⅡＡ・ⅡＢ 各1前後 ○ 第二外国語ＩＡ・ＩＢ 各1前後 （独語・仏語・中国語・朝鮮語・※１初習英語） ◎ 情報リテラシー(情報倫理を含む)※2 2 前 ◎ 情報科学概論 2 後 ◎ 健康・体力科学Ｉ 1 後	◎ 英語ⅢＡ・ⅢＢ 各1前後 ◎ 英語ⅣＡ・ⅣＢ 各1前後 ○ 第二外国語ⅡＡ・ⅡＢ 各1前後 （独語・仏語・中国語・朝鮮語・※１初習英語） ○ 実用英語演習ＩＡ・ＩＢ 各1前後 ◎ 健康・体力科学Ⅱ 1 前
	人間学	４年間で１２単位必修（環境マネジメント総論と人間探求学は1年次必修）	

※1　初習英語Ｉ・Ⅱは入学前に英語を履修したことがない外国人留学生を対象としています。
（詳細についてはP. 14、67、67参照）
※2 平成２１年度以前入学生に対しては、「◎情報処理演習Ｉ」（必修１単位）に読み替えます。

科目名の後ろの＊ は栄養士免許取得に必要な科目、※は管理栄養士国家試験受験資格取得に必要な追加科目である。

区分		１年次	２年次
	学部共通基礎	◎ 環琵琶湖文化論実習 1 通 ◎ 人間文化論Ａ 2 前 ● 人間文化論Ｂ 2 後 ● 人間文化論Ｃ 2 後 Japanese Culture and Civilization（１年次～４年次） 2 後	
専門科目	複数学科共通	天然物化学基礎 2 前 心理学基礎 2 前 消費生活論 2 後 比較住居論 2 前 統計学基礎 2 前	
	学科専門	[社会と健康] □ 健康情報管理実習※ 1 後 人間行動論※ 2 後 社会福祉概論* 2 後 [栄養と健康] 基礎栄養学Ｉ＊ 2 後 栄養生化学＊ 2 前 [食べ物と健康] 食品学総論＊ 2 前 比較食文化論＊ 2 前 食品機能科学＊ 2 後 □ 食品基礎実験＊ 1 後 □ 嗜好と調理実習Ｉ＊ 1 後 [疾病と健康] 生体の構造と機能＊ 2 後 分子生物学基礎※ 2 前 臨床栄養活動論※ 2 後	[栄養と健康] 基礎栄養学Ⅱ＊ 2 前 応用栄養学Ｉ＊ 2 後 □ 栄養生化学実験＊ 1 後 [食べ物と健康] □ 食品機能科学実験＊ 1 後 食品の調理と加工＊ 2 前 □ 嗜好と調理実習Ⅱ＊ 1 前 食品微生物学 2 前 [疾病と健康] 運動と健康＊ 2 後 公衆衛生学＊ 2 前 疾病の成り立ち(含疾病と微生物)＊ 2 前 病態評価と治療※ 2 後 [臨床の栄養] 臨床栄養学Ｉ＊ 2 後 □ 臨床栄養学実習Ｉ＊ 1 後 [教育と健康] 栄養教育論Ｉ＊ 2 後 [給食の管理] □ 食品衛生学＊ 2 後

1 上記の表は平成24年度入学生に適用されます．平成23年度以前入学生については，自分の入学年次の「履修の手引」の配当表を参照すること．
2 平成２１年度以前入学生は「基礎栄養学Ｉ」を「栄養学総論」，「応用栄養学Ｉ」および「応用栄養学Ⅱ」を「栄養学各論」に読み替えます．
3 「基礎栄養学Ｉ」は「栄養学総論」，「応用栄養学Ｉ」および「応用栄養学Ⅱ」は「栄養学各論」の名称変更されたものであるため，平成２１年度以前入学者で名称変更前の科目を履修した者は，新名称科目を履修できません．
4 「栄養教育論Ｉ」は「栄養教育論」，「栄養教育論Ⅱ」は「栄養アセスメント論」，「栄養教育論Ⅲ（含カウンセリング論演習）」は「カウンセリング論演習」，「臨床栄養学Ⅲ」は「栄養ケアマネジメント論」，「臨床栄養学実習Ｉ」および「臨床栄養学実習Ⅱ」は「臨床栄養学実習」，「臨床栄養学実習Ⅲ」は「栄養ケアマネジメント論実習」，「給食経営管理実習」は「給食管理実習」、「生活栄養論演習Ⅱ」は「食生活論演習」の名称変更されたものであるため，平成23年度以前入学者で名称変更前の科目を履修した者は，新名称科目を履修できません。

●：選択必修（この中から２単位以上履修）　□：選択必修（この中から１２単位以上履修）
○：選択必修（第二外国語　４単位以上）

３年次		４年次	
リスニング（中級）	2 前	留学英語対策講座Ⅰ	2 後
リーディング（中級）	2 後	留学英語対策講座Ⅱ	2 後
英語会話（中級）	2 後	ビジネス英語	2 後
ディベート&ディスカッション	2 前	時事英語	2 後
英語表現法	2 前	メディアの英語	2 前
エッセイ・ライティング	2 後		

＊１：隔年開講　Ｈ２４不開講・Ｈ２５開講　＊２：隔年開講　Ｈ２４開講・Ｈ２５不開講

３年次		４年次	
生活経営論	2 後		
[社会と健康]			
生命科学と人間※	2 後		
栄養と健康※	2 後		
公衆栄養学＊	2 前		
栄養疫学論※	2 後		
□ 公衆栄養学実習＊	1 後		
[栄養と健康]			
応用栄養学Ⅱ＊	2 前		
スポーツ栄養学	2 後		
基礎栄養学実験＊	1 後		
[食べ物と健康]			
□ 食品加工実習＊	1 後		
[疾病と健康]			
疾病と栄養※	2 前		
健康心理学※	2 後		
□ 応用栄養学実習＊	1 前		
□ 栄養生理学実習※	1 前		
□ 病態生理学実習＊	1 後		
[臨床の栄養]			
臨床栄養学Ⅱ※	2 前		
臨床栄養学Ⅲ※	2 後		
□ 臨床栄養学実習Ⅱ＊	1 前		
□ 臨床栄養学実習Ⅲ※	1 後		
[教育と健康]			
栄養教育論Ⅱ＊	2 前		
栄養教育論Ⅲ(含カウンセリング論演習)※	2 後		
□ 栄養教育論実習＊	1 前		
[給食の管理]			
給食経営管理論＊	2 前		
食料経済システム論＊	2 前		
□ 給食経営管理実習＊	1 前		
□ 給食衛生管理実習＊	1 前		
□ 食品衛生学実験＊	1 後		
[臨地実習]			
□ 地域保健臨地実習※	1 前		
□ 臨床栄養臨地実習Ⅰ※	1 前		
□ 臨床栄養臨地実習Ⅱ※	1 前		
□ 給食経営管理臨地実習＊	1 前		
臨地実習事前事後指導※	1 前	管理栄養士総合演習※	1 後
専門外書講義	2 後	◎ 生活栄養論演習Ⅱ	2 通
□ 生活栄養論演習Ⅰ	1 後	◎ 卒業研究・論文	8 通

学習・教育を達成するために必要な授業科目の流れ

（４）　人間関係学科

【卒業に必要な要件】

下記のとおり、全学共通科目３０単位以上、および専門科目１００単位以上、合計１３０単位以上を取得しなければならない。

(1)全学共通科目（３０単位以上）　※留学生Ｐ.14 参照

(A)次頁以降の科目配当表の全学共通科目に指定する必修科目１４単位

(B)第二外国語としてドイツ語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、フランス語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、中国語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、朝鮮語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢのうち４単位。

(C)人間学（「比較文明論」「比較住居論」を除く。）から１２単位以上（必修４単位を含む。）

(2)専門科目（１００単位以上）

(A)次頁以降の科目配当表に指定する必修科目１６単位

(B)次頁以降の科目配当表に指定する選択必修科目から１０単位以上（註１）
●印から２単位以上、□印から８単位以上

(C)次頁以降の科目配当表に指定する選択科目から７４単位以上（註２）

（註１）選択必修科目で１０単位を超える単位については、選択科目として卒業単位に算入することができる。

（註２）他学科および他学部の専門科目ならびに全学共通科目のうち、すべての科目から１０単位までを専門科目として卒業単位に算入することができる。
なお、１０単位を超えて取得した単位および除外科目の単位であっても、学科において適切と認められた場合は､所定の手続きを経て卒業単位に算入することがある。

【卒業研究・論文着手要件】

人間関係論基礎演習（１単位）、人間関係論演習Ｉ（２単位）を履修済みのこと。

【卒業研究審査基準】

1　卒業論文の提出を求める。論文は、以下の評価項目によって複数教員により審査する。
(1) 研究テーマの新規性・独創性
(2) 研究方法の妥当性
(3) 研究内容の学術性
(4) 研究内容の論拠（実験・調査データ・文献資料等）の客観性・実証性
(5) 論文全体の構成力・論理性

2　論文とは別に、試問・発表会において複数教員との質疑応答を行い、その結果を評価する。

3　上記１および２による評価結果をもとに、学科構成全教員の合議を経て卒業研究の審査判定を行う。

人間関係学科
2013（平成25）年度入学生用【標準年次別科目配当表】

区分		１年次	２年次
全学共通科目	全学共通基礎（留学生 P.14 参照）	◎ 英語ＩＡ・ＩＢ 各1前後 ◎ 英語ⅡＡ・ⅡＢ 各1前後 ○ 第二外国語ＩＡ・ＩＢ 各1前後 （独語・仏語・中国語・朝鮮語・※１初習英語） ◎ 情報リテラシー(情報倫理を含む)※2 2 前 ◎ 情報科学概論 2 後 ◎ 健康・体力科学Ｉ 1 後	◎ 英語ⅢＡ・ⅢＢ 各1前後 ◎ 英語ⅣＡ・ⅣＢ 各1前後 ○ 第二外国語ⅡＡ・ⅡＢ 各1前後 （独語・仏語・中国語・朝鮮語・※１初習英語） ◎ 健康・体力科学Ⅱ 1 前
	人間学	４年間で１２単位必修（環境マネジメント総論と人間探求学は1年次必修）	

※1　初習英語Ｉ・Ⅱは入学前に英語を履修したことがない外国人留学生を対象としています。
（詳細についてはP.14、67、68参照）
※2　平成２１年度以前入学生に対しては、「◎情報処理演習Ｉ」（必修１単位）に読み替えます。

区分		１年次	２年次
	学部共通基礎	◎ 環琵琶湖文化論実習 1 通 ◎ 人間文化論Ａ 2 前 ● 人間文化論Ｂ 2 後 ● 人間文化論Ｃ 2 後	
		Japanese Culture and Civilization（１年次～４年次） 2 後	
専門科目	複数学科共通	天然物化学基礎 2 前 心理学基礎 2 前 消費生活論 2 後 比較住居論 2 前 統計学基礎 2 前	
	学科専門	〔心理・発達・行動〕 □ 心理・発達・行動学実験演習 2 通 人間行動論 2 後	〔社会・文化〕 *2 現代社会論 2 後 日本社会論 2 後 哲学概論A 2 前 *1 哲学概論B 2 前 *2 比較宗教論 2 前 *1 社会問題の社会学 2 前 〔心理・発達・行動〕 *1 発達心理学Ｉ 2 後 *2 発達支援論 2 後 人間形成論 2 前 *1 比較認知発達論 2 後 〔集団・組織・人間関係〕 社会心理学 2 前 生涯学習論 2 前 □ 教育観察実習 2 前 *1 生活指導論 2 後 法学概論(国際法を含む) 2 前 政治学Ｉ 2 前 政治学Ⅱ(国際政治を含む) 2 後 文化社会学 2 前
		〔社会・文化〕 社会学概論 2 前	
		〔専攻基礎および演習〕 ◎ 人間関係論基礎演習 1 後 社会調査論 2 前	〔専攻基礎および演習〕 □ 社会学演習 2 通 □ 行動論演習 2 通 □ 形成論演習 2 通 社会調査方法論 2 前 □ 量的データ解析論Ｉ 2 前 質的データ解析論 2 後

1 ＊１の科目は隔年開講（H25年度開講、H26年度不開講）、＊２の科目は隔年開講（H26年度開講、H25年度不開講）

2 「生命科学と人間」は「食生活論」の名称変更されたものであるため、平成14年度以前入学生で「食生活論」を履修したものはこれを履修できない。

3 「社会学概論」は、平成22年度以前入学生については、旧科目名「社会学」に読み替える。

4 「社会調査論」は、平成16年度以前入学生については、旧科目名「社会調査論（統計を含む）」に読み替える。

5 「社会問題の社会学」は、平成22年度以前の入学生については、旧科目名「社会病理学」に読み替える。

6 「社会学演習」は、平成22年度以前入学生については、旧科目名「社会論演習」に読み替える。

7 「量的データ解析論Ｉ」は、平成22年度以前入学生については、旧科目名「社会統計学」に読み替える。

8 「社会学史」は、平成22年度以前入学生については、旧科目名「社会思想史」に読み替える。

３年次		４年次	
リスニング（中級）	2 前	留学英語対策講座Ⅰ	2 後
リーディング（中級）	2 後	留学英語対策講座Ⅱ	2 後
英語会話（中級）	2 後	ビジネス英語	2 後
ディベート&ディスカッション	2 前	時事英語	2 後
英語表現法	2 前	メディアの英語	2 前
エッセイ・ライティング	2 後		
実用英語演習ＩＡ	1 前	実用英語演習ＩＢ	1 後

＊１：隔年開講　Ｈ２６不開講・Ｈ２５開講　　＊２：隔年開講　Ｈ２６開講・Ｈ２５不開講

３年次		４年次	
生活経営論	2 後		
〔社会・文化〕		〔集団・組織・人間関係〕	
*2 社会学史	2 前	コミュニケーション論	2 前
*1 比較社会文化論	2 後	*1 現代ジャーナリズム論	2 後
*1 社会変動論	2 後	*2 地域運動論	2 前
*1 政治経済学	2 後	*1 社会・経済政策論	2 前
マーケティング論	2 前	現代社会福祉論	2 後
〔心理・発達・行動〕		組織とネットワークの社会学	2 前
発達心理学Ⅱ	2 後	産業心理学	2 後
教育心理学	2 前	教育制度論	2 後
臨床心理学	2 後	教育課程論	2 後
社会精神医学	2 前	*2 生活法	2 前
現場心理学	2 前	社会調査実習	1 通
*2 高齢者行動論	2 前		
教育学概論	2 前		
教育方法論	2 前		
*2 認知心理学	2 前		
カウンセリング論演習	2 前		
〔専攻基礎および演習〕			
量的データ解析論Ⅱ	2 後		
〔専攻基礎および演習〕		〔専攻基礎および演習〕	
◎ 人間関係論演習Ⅰ	2 通	◎ 人間関係論演習Ⅱ	2 通
		◎ 卒業研究・論文	8 通

9 「社会変動論」は、平成22年度以前入学生については、旧科目名「社会システム基礎論」に読み替える。

10 「マーケティング論」は、平成17年度以前入学生については、「余暇生活論」に読み替える。

11 「量的データ解析論Ⅱ」は、平成22年度から平成17年度入学生については、旧科目名（応用データ解析論）に、平成16年度入学生については、旧科目名（データ解析論）に、また、平成15年度以前入学生については、旧科目名（データ解析演習）に読み替える。

12 「組織とネットワークの社会学」は、平成22年度以前入学生については、旧科目名「経営組織論」に読み替える。

12 「文化社会学」は、平成22年度以前入学生について、旧科目名「民衆芸能論」に読み替え、他学科科目として扱われる。

●：選択必修（この中から２単位以上履修）　　□：選択必修（この中から８単位以上履修）
○：選択必修（第二外国語　４単位以上）

人間関係学科　履修モデル

人間関係学科は、大きく分けて心理・教育・社会の三つの系統に分かれています
どの系統を目指すかを考えながら、専門科目の履修を考えるとよいでしょう。
下表は、各系統の専門科目の履修モデルです。

★なお、以下の必修科目（16単位）は、どの系統を目指す場合も必ず履修して下さい。

必修科目：人間関係論基礎演習（1回生）・環琵琶湖文化論実習（1 回生 ）・人間文化論Ａ（1回生）・人間関係論演習Ⅰ（3回生）・
人間関係論演習 II(4 回生)・卒業研究・論文（4 回生 ）

心理学系

選択必修（10単位）：

心理・発達・行動学実験演習（2）
行動論演習（2）
量的データ解析論Ⅰ（2）

社会学演習（2）、形成論演習（2）、教育観察実習（2）のいずれか一つ
人間文化論B、人間文化論Cのいずれか一つ

選択科目：

比較文明論
生命科学と人間
統計学基礎
心理学基礎
人間行動論
考現学概論
社会学概論
発達心理学 Ⅰ
発達支援論
人間形成論
比較認知発達論
社会心理学
生涯学習論
社会調査方法論
量的データ解析論Ⅱ
質的データ解析論
比較社会文化論
現代社会論
社会変動論
発達心理学Ⅱ
教育心理学
臨床心理学
社会精神医学
社会問題の社会学
現場心理学
高齢者行動論
教育学概論
教育方法論
認知心理学
カウンセリング論演習
コミュニケーション論
現代ジャーナリズム論
地域運動論
社会・経済政策論
現代社会福祉論
組織とネットワークの社会学
産業心理学
教育制度論
生活法
社会調査実習（1 単位）
生活経営論

教育学系

選択必修（10単位）：

心理・発達・行動学実験演習（2）
形成論演習（2）
教育観察実習（2）

行動論演習（2）、量的データ解析論Ⅰ(2)、社会学演習(2) のいずれか一つ
人間文化論B、人間文化論Cのいずれか一つ

選択科目：

比較文明論
生命科学と人間
統計学基礎
心理学基礎
人間行動論
考現学概論
社会学概論
発達心理学 Ⅰ
発達支援論
人間形成論
比較認知発達論
社会心理学
生涯学習論
生活指導論
社会調査方法論
量的データ解析論Ⅱ
質的データ解析論
比較社会文化論
現代社会論
社会変動論
発達心理学 II
教育心理学
臨床心理学
社会精神医学
社会問題の社会学
現場心理学
高齢者行動論
教育学概論
教育方法論
認知心理学
カウンセリング論演習
コミュニケーション論
現代ジャーナリズム論
地域運動論
社会・経済政策論
現代社会福祉論
組織とネットワークの社会学
産業心理学
教育制度論
教育課程論
生活法

社会学系

選択必修（10単位）：

社会学演習（2）
行動論演習（2）
形成論演習（2）
量的データ解析論Ⅰ(2)

人間文化論B、人間文化論Cのいずれか一つ

選択科目：

比較文明論
マーケティング論
文化人類学概論Ａ
文化人類学概論Ｂ
生命科学と人間
統計学基礎
人間行動論
考現学概論
消費生活論
比較住居論
比較道具論
比較衣装論
比較食文化論
日本社会論
比較社会文化論
教育制度論
社会調査論
社会学概論
現代社会論
社会心理学
社会変動論
法学概論
政治経済学
社会調査方法論
量的データ解析論Ⅱ
質的データ解析論
社会問題の社会学
社会学史
高齢者行動論
コミュニケーション論
現代ジャーナリズム論
地域運動論
組織とネットワークの社会学
産業心理学
生活法
社会精神医学
社会調査実習
社会・経済政策論
現代社会福祉論

（５）　国際コミュニケーション学科

【卒業に必要な要件】

下記のとおり、全学共通科目３０単位以上、および専門科目１００単位以上、合計１３０単位以上を取得しなければならない。

(1)全学共通科目（３０単位以上）　　※留学生Ｐ.14 参照

(A)次頁以降の科目配当表の全学共通科目に指定する必修科目１４単位
(B)第二外国語としてドイツ語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、フランス語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、中国語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、朝鮮語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢ、モンゴル語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢのうち４単位。ただしモンゴル語ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢついては、国際コミュニケーション学科の専門科目を第二外国語として読み替えるものである。

(C)人間学から１２単位以上（必修４単位を含む）。

(2)専門科目（１００単位以上）

(A)次頁以降の科目配当表に指定する必修科目２３単位
(B) 次頁以降の科目配当表に指定する選択必修科目２２単位以上（註１）
　●印から 2 単位以上、□印から 10 単位以上、▽印から 10 単位以上。
(C) 次頁以降の科目配当表に指定する選択科目から５５単位以上（註２）

（註１）選択必修科目で２２単位を超える単位については、選択科目として卒業単位に算入することができる。
（註２）他学科および他学部の専門科目ならびに全学共通科目のうち、実験、実習、演習を除いたすべての科目から１０単位までを専門科目として卒業単位に算入することができる。また、１０単位を超えて取得した単位および除外科目の単位であっても、所属する学科において適切と認められた場合は、所定の手続きを経て卒業単位に算入することがある。
　海外留学中に留学先で取得した単位については、所定の手続きを経た上で、原則として上記の範囲内で専門科目として卒業単位に算入することができる。

【卒業研究・論文履修要件】

基礎演習Ⅰ（1 単位）、基礎演習Ⅱ（1 単位）、発展演習Ⅰ（1 単位）、発展演習Ⅱ（1 単位）を履修済みであること。

【卒業研究審査基準】

論文は、（論文の主題に応じて）複数の学科教員により審査する。審査委員は、下に示す基準に照らし合わせて合否を判断し、学科会議において最終的に合否決定をする。

① 使用言語は日本語または英語とする。
② 日本語の場合は２０,０００字を基本とする。英語の場合は１０，０００語程度とする。
③ 研究目的が明確であること。
④ 研究方法が妥当であること。
⑤ 目的達成のための調査量が十分であること。
⑥ 内容が独創的・客観的・論理的であること。
⑦ 卒業論文としての体裁が整っていること。
⑧ 口頭試問の対応が的確であること。

なお、事前に実施する中間発表会において要旨を提出し、発表することが前提となる。

国際コミュニケーション学科　　2013(平成25)年度入学生用【標準年次別科目配当表】

区分		1年次	2年次
全学共通科目	全学共通基礎※1	◎ 英語Ⅰ 2 前 ◎ 英語Ⅱ 2 前 ◎ 英語Ⅲ 2 前 ◎ 英語Ⅳ 2 前 ○ 第二外国語ⅠA・ⅠB 各1 前 ○ 第二外国語ⅡA・ⅡB 各1 後 (独語・仏語・中国語・朝鮮語・※1 初習英語)※2	
		◎ 情報リテラシー(情報倫理を含む) 2 前 ◎ 情報科学概論 2 後 ◎ 健康・体力科学Ⅰ 1 後	◎ 健康・体力科学Ⅱ 1 前
	人間学	◎ 人間探求学 2 前 ◎ 環境マネジメント総論 2 前	(1～4年次で、必修4単位を含め12単位以上)

◎:必修　　○:選択必修(○印から4単位以上)

●□▽:選択必修(●印から2単位以上、□印から10単位以上、▽印から10単位以上)

				1年次	2年次
専門科目	学部共通基礎			◎ 環琵琶湖文化論実習 1 通 ◎ 人間文化論A 2 前 ● 人間文化論B 2 後 ● 人間文化論C 2 後	Japanese Culture and Civilization 2 後 (1年次～4年次)
	学科専門	学科基礎		◎ 国際コミュニケーション論 2 前 言語学概論 2 後	
		言語コミュニケーション	英語	リーディング(中級) 2 後 英語会話(中級) 2 後	リスニング(中級) 2 前 ディベート&ディスカッション 2 前 英語表現法 2 前 エッセイ・ライティング 2 後 時事英語 2 後
			実践英語	◎ 実践英語対策講座 2 前 ◎ 実践英語演習A 1 後 留学英語対策講座Ⅰ 2 後 留学英語対策講座Ⅱ 2 後	◎ 実践英語演習B 1 前 実践英語演習C 1 後
			初習外国語	○ モンゴル語ⅠA, B 各1 前 ○ モンゴル語ⅡA, B 各1 後 ドイツ語コミュニケーションⅠA 2 後 ドイツ語コミュニケーションⅠB 2 後 フランス語コミュニケーションⅠA 2 後 フランス語コミュニケーションⅠB 2 後 中国語コミュニケーションⅠA 2 後 中国語コミュニケーションⅠB 2 後 朝鮮語コミュニケーションⅠA 2 後 朝鮮語コミュニケーションⅠB 2 後 モンゴル語コミュニケーションⅠA 2 後 モンゴル語コミュニケーションⅠB 2 後	ドイツ語コミュニケーションⅡA 2 前 ドイツ語コミュニケーションⅡB 2 前 ドイツ語コミュニケーションⅡC 2 前 ドイツ語コミュニケーションⅡD 2 前 フランス語コミュニケーションⅡA 2 前 フランス語コミュニケーションⅡB 2 前 フランス語コミュニケーションⅡC 2 前 フランス語コミュニケーションⅡD 2 前 中国語コミュニケーションⅡA 2 前 中国語コミュニケーションⅡB 2 前 中国語コミュニケーションⅡC 2 前 中国語コミュニケーションⅡD 2 前 朝鮮語コミュニケーションⅡA 2 前 朝鮮語コミュニケーションⅡB 2 前 朝鮮語コミュニケーションⅡC 2 前 朝鮮語コミュニケーションⅡD 2 前 モンゴル語コミュニケーションⅡA 2 前 モンゴル語コミュニケーションⅡB 2 前 モンゴル語史料講読ⅠA 2 前 モンゴル語史料講読ⅠB 2 前
			言語と文化	英語学概論 2 後 イングリッシュレクチャーA 2 後	英米文学概論 2 前 英語音声学 2 後 現代英文法 2 後 イングリッシュレクチャーB 2 前
		多文化コミュニケーション	多文化共生	□ 多民族社会論B 2 後	□ 多民族社会論A 2 前 □ 多民族社会論C 2 前
			国際教養	□ 文化人類学概論B 2 後 □ 国際関係論 2 後 □ 西洋史 2 後	□ 文化人類学概論A 2 前 □ 法学概論(国際法を含む) 2 前
			国際文化論	□ 欧米文化論B 2 後 □ 欧米文化論E 2 後 □ アジア文化論B 2 後 □ アジア文化論D 2 後	□ 欧米文化論A 2 前 □ 欧米文化論C 2 前 □ 欧米文化論D 2 前 □ アジア文化論A 2 前 □ アジア文化論C 2 前
		演習			◎ 基礎演習Ⅰ 1 前 ◎ 基礎演習Ⅱ 1 後
		卒論			
		海外留学		海外留学(1～4年次)　上限 12	

※1 外国人留学生の第一外国語、第二外国語の詳細についてはP.14を参照してください。

※2 国際コミュニケーション学科の学生は、このほかに専門科目のモンゴル語Ⅰ(A、B)・Ⅱ(A、B)を、全学共通基礎科目の第二外国語の単位として読み替えることができます。

3年次	4年次

＊1：隔年開講　H26不開講・H25開講　　＊2：隔年開講　H26開講・H25不開講

パブリック・スピーチ	2 前		
アカデミック・リスニング	2 後		
アカデミック・ライティング	2 後		
実践英語演習D	1 前	通訳ガイド講座	2 前
実践英語演習E	1 後	実践英語演習F	1 前
ビジネス英語	2 後	実践英語演習G	1 後
		チベット語基礎Ⅰ	2 前
		チベット語基礎Ⅱ	2 後
メディアの英語	2 前		
言語接触論	2 前		
翻訳文化論	2 後		
英米文学講読	2 後		
イングリッシュレクチャーC	2 前	イングリッシュレクチャーE	2 前
イングリッシュレクチャーD	2 後	イングリッシュレクチャーF	2 後
		▽ 移民社会論C	2 後
▽ 移民社会論A	2 後	▽ 異文化交流史	2 前
▽ 移民社会論B	2 前	▽ 開発人類学	2 後
▽ 文化人類学特論	2 前	▽ ポストコロニアル論	2 後
▽ 英語文献講読A	2 前	▽ 現代思想論	2 後
▽ 英語文献講読B	2 後	▽ 現代社会論*2	2 前
▽ 政治経済学*1	2 前	▽ サブカルチャー交流論	2 前
▽ 経済学Ⅱ（国際経済を含む）	2 前	▽ 欧米文化特論A	2 後
▽ アジア文化特論A	2 後	▽ 欧米文化特論B	2 前
▽ アジア文化特論B	2 前	▽ 欧米文化特論C	2 後
▽ アジア文化特論C	2 後	▽ 欧米文化特論D	2 前
◎ 発展演習Ⅰ	1 前	◎ 研究演習Ⅰ	1 前
◎ 発展演習Ⅱ	1 後	◎ 研究演習Ⅱ	1 後
		◎ 卒業研究論文	8 後

【海外留学（中期・長期）に必要な要件】

国際コミュニケーション学科の学生は、外国の大学等に 3 週間以上留学した場合、その期間等に応じて、「海外留学」として単位認定を申請することができる（上限 12 単位）。

短期海外研修（3～8 週間の語学研修）を除き、中期留学（3～6 ヶ月間）、長期留学（9 ヶ月～1 年間）をして「海外留学」の単位認定を申請するには、留学に着手する前に各言語圏別に下表に掲げる科目を履修していることを原則とする。

なお、この要件は「海外留学」履修の要件であって、この要件をクリアすれば必ず留学できるというものではない。留学をするには、希望する留学先大学が求める条件（TOEFL のスコアなど）をクリアする必要がある場合もある。詳しくは別途説明する機会を設ける。

国際コミュニケーション学科　海外留学（中期・長期）に必要な要件

言語圏	履修が必要な科目
英語	英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳの４科目に加え、以下の５科目から３科目以上 リーディング（中級）、英語会話（中級）、リスニング(中級)、 ディベート＆ディスカッション、英語表現法
ドイツ語	ドイツ語ⅠA、ドイツ語ⅠB、ドイツ語ⅡA、ドイツ語ⅡB ドイツ語コミュニケーションⅠA、ドイツ語コミュニケーションⅠB、 ドイツ語コミュニケーションⅡA、ドイツ語コミュニケーションⅡB、 ドイツ語コミュニケーションⅡC、ドイツ語コミュニケーションⅡD
フランス語	フランス語ⅠA、フランス語ⅠB、フランス語ⅡA、フランス語ⅡB フランス語コミュニケーションⅠA、フランス語コミュニケーションⅠB、 フランス語コミュニケーションⅡA、フランス語コミュニケーションⅡB、 フランス語コミュニケーションⅡC、フランス語コミュニケーションⅡD
中国語	中国語ⅠA、中国語ⅠB、中国語ⅡA、中国語ⅡB 中国語コミュニケーションⅠA、中国語コミュニケーションⅠB、 中国語コミュニケーションⅡA、中国語コミュニケーションⅡB、 中国語コミュニケーションⅡC、中国語コミュニケーションⅡD
朝鮮語	朝鮮語ⅠA、朝鮮語ⅠB、朝鮮語ⅡA、朝鮮語ⅡB 朝鮮語コミュニケーションⅠA、朝鮮語コミュニケーションⅠB、 朝鮮語コミュニケーションⅡA、朝鮮語コミュニケーションⅡB、 朝鮮語コミュニケーションⅡC、朝鮮語コミュニケーションⅡD
モンゴル語	モンゴル語ⅠA、モンゴル語ⅠB、モンゴル語ⅡA、モンゴル語ⅡB モンゴル語コミュニケーションⅠA、モンゴル語コミュニケーションⅠB、 モンゴル語コミュニケーションⅡA、モンゴル語コミュニケーションⅡB

【履修モデル】

国際コミュニケーション学科では、2 年次の後期から 1 年間の海外留学を推奨しており、1 年間の留学をしても 4 年間で卒業できるようなカリキュラムとなっている。

次頁に、以下の 3 つのケースを想定して、学科専門科目の履修モデルを示す。留学する時期や期間はこれ以外もあり得るし、科目についてもあくまでも選択の参考例である。

① 英語圏へ 1 年間留学する場合
② 第 2 外国語圏に 1 年間留学する場合
③ 教職課程を履修して英語圏に半年間留学する場合

なお、学科専門科目のうち、次の必修科目（20 単位）は、全員が履修するので示していない。

国際コミュニケーション論（1 回生）、実践英語対策講座（1 回生）、実践英語演習 A（1 回生）、実践英語演習 B（2 回生）、基礎演習Ⅰ・Ⅱ（2 回生）、発展演習Ⅰ・Ⅱ（3 回生）、研究演習Ⅰ・Ⅱ（4 回生）、卒業研究・論文（4 回生）

国際コミュニケーション学科　履修モデル

<table>
<tr><th rowspan="2">学年</th><th rowspan="2">学期</th><th colspan="3">言語コミュニケーション科目群*1</th><th rowspan="2">多文化コミュニケーション科目群（選択必修で 20 単位以上）*2</th></tr>
<tr><th>①英語圏に 1 年間留学する場合</th><th>②第 2 外国語圏に 1 年間留学する場合</th><th>③教職課程を履修して英語圏に半期留学する場合</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>前期</td><td>〔英語ⅠA･B～ⅣA･B〕
〔第 2 外国語ⅠA･B〕</td><td>〔英語ⅠA･B～ⅣA･B〕
〔第 2 外国語ⅠA･B〕</td><td>〔英語ⅠA･B～ⅣA･B〕
〔第 2 外国語ⅠA･B〕
〔教職論〕</td><td></td></tr>
<tr><td>後期</td><td>〔第 2 外国語ⅡA･B〕
言語学概論
英語学概論
英語会話（中級）
リーディング（中級）
留学英語対策講座Ⅰ・Ⅱ
イングリッシュレクチャーA</td><td>〔第 2 外国語ⅡA･B〕
第 2 外国語コミュニケーションⅠA
第 2 外国語コミュニケーションⅠB
言語学概論
英語学概論</td><td>〔第 2 外国語ⅡA･B〕
言語学概論
英語学概論
英語会話（中級）
リーディング（中級）
留学英語対策講座Ⅰ・Ⅱ
イングリッシュレクチャーA
〔憲法〕</td><td>国際関係論
西洋史
欧米文化論 B
アジア文化論 B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>前期</td><td>リスニング（中級）
ディベート＆ディスカッション
英語表現法
英米文学概論
イングリッシュレクチャーB</td><td>第 2 外国語コミュニケーションⅡA
第 2 外国語コミュニケーションⅡB
第 2 外国語コミュニケーションⅡC
第 2 外国語コミュニケーションⅡD</td><td>リスニング（中級）
英語表現法
英米文学概論
イングリッシュレクチャーB
〔教育方法論〕
〔教育学概論〕
〔道徳教育論〕
〔教育心理学〕
〔教育相談・進路指導〕
〔英語科教育法Ⅰ〕</td><td>多民族社会論 A
多民族社会論 C
文化人類学概論 A
法学概論
欧米文化論 A
欧米文化論 C
欧米文化論 D
アジア文化論 A
アジア文化論 C</td></tr>
<tr><td>後期</td><td rowspan="2">海外留学</td><td rowspan="2">海外留学</td><td>現代英文法
英語音声学
時事英語
エッセイ・ライティング
〔生徒指導論〕
〔特別活動論〕
〔英語科教育法Ⅱ〕</td><td>多民族社会論 B
文化人類学概論 B
欧米文化論 E
アジア文化論 D</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>前期</td><td>海外留学</td><td>英語文献講読 A
政治経済学
経済学Ⅱ
現代社会論
サブカルチャー交流論</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>アカデミック・リスニング
アカデミック・ライティング
ビジネス英語
翻訳文化論
英米文学講読
イングリッシュレクチャーD</td><td>翻訳文化論
実践英語演習 E</td><td>アカデミック・リスニング
英米文学講読
〔教育課程論〕
〔教育制度論〕
〔教育実習・事前事後指導〕
〔英語科教育法Ⅲ・Ⅳ〕</td><td>移民社会論 A
英語文献講読 B
開発人類学
欧米文化特論 A
欧米文化特論 C
アジア文化特論 A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>前期</td><td>通訳ガイド講座
イングリッシュレクチャーE
実践英語演習 F</td><td>通訳ガイド講座
言語接触論
実践英語演習 F</td><td>メディアの英語
実践英語演習 F
〔教育実習・事前事後指導〕</td><td>移民社会論 B
異文化交流史
文化人類学特論
欧米文化特論 B
欧米文化特論 D
アジア文化特論 B</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>イングリッシュレクチャーF
実践英語演習 G</td><td>実践英語演習 G</td><td>イングリッシュレクチャーF
実践英語演習 G
〔教育実践演習〕</td><td>移民社会論 C
ポストコロニアル論
現代思想論
アジア文化特論 C</td></tr>
</table>

*1　便宜上、全学共通基礎科目の外国語科目を、専門科目に交えて〔　〕内に示してある。また同様に、③については、教職科目を、専門科目に交えて〔　〕内に示してある。（英語の教職課程は中学と高校で必要な単位数が異なるので注意すること。詳細はＰ．588 以降で確認すること）

*2　多文化コミュニケーション科目群の科目のうち、1・2 年次配当科目より 10 単位以上、3･4 年次配当科目より 10 単位以上を選択必修。配当年次が複数にまたがる科目がほとんどだが、上の履修モデルでは、便宜上、特定の学年に開講する形で示してある。

国際コミュニケーション学科　ゼミ別指導内容および履修が望ましい科目等

2 年次配当の基礎演習Ⅰ・Ⅱ、3 年次配当の発展演習Ⅰ・Ⅱ、4 年次配当の研究演習Ⅰ・Ⅱは、各教員がゼミ形式で担当する。特に発展演習Ⅰ・Ⅱと研究演習Ⅰ・Ⅱは、卒業研究に向けて、同じ教員のゼミで指導を受けることを原則とする。

下記に、各教員の専門分野と研究テーマ・方法、履修が望ましい科目等を示すので、履修計画の参考にすること。

教員名	専門分野、 テーマ・方法など	履修が望ましい科目等
石田　法雄	宗教学、仏教思想、英語・英文学	特になし
外狩　章夫	イギリス小説、イギリス文化、英語学・英語教育、英日翻訳	英語学概論、英米文学概論、英語音声学、現代英文法、欧米文化論Ｃ、英米文学講読、欧米文化特論Ｃ
地蔵堂　貞二	中国語学（中国語史）	中国語ＩＡ・ＩＢ、中国語ⅡＡ・ⅡＢ、中国語コミュニケーション科目、アジア文化論Ａ
棚瀬 慈郎	文化人類学	特になし
ジョン・リピー	文芸創作、アメリカ文化、英米詩、英語教育	特になし
小栗　裕子	英語教授法 第二言語習得論	英語圏に留学を希望していることが望ましい
長島　律子	フランス文学 フランス文化研究	フランス語、欧米文化論Ｂ等
呉　凌非	言語学、中国語学、 言語処理	学科の中国語関連科目、言語理論関連科目
ボルジギン・ ブレンサイン	中国東北・内モンゴル地域研究、中国少数民族問題	モンゴル語or中国語、アジア文化論Cなどを履修していることが望ましい
山本　薫	英文学（19世紀末から20世紀初頭の英国小説）	
島村　一平	文化人類学、 モンゴル研究	モンゴル語を履修していることが望ましい
吉村　淳一	ドイツ語学、ドイツ文化	ドイツ語ＩA・ＩB、ドイツ語ⅡA・ⅡB、ドイツ語コミュニケーション科目、欧米文化論A、欧米文化特論Aを履修していることが望ましい。
河　かおる	朝鮮（韓国）近現代史、在日コリアンの歴史など	朝鮮語、アジア文化論B、多民族社会論Cなど河が担当する科目を履修していることが望ましい

科目名	Japanese Culture and Civilization	２単位　後期
担当教員	石田　法雄　・　冨島　義幸　・　ウォルター・クリンガー　・　面矢　慎介	
授業概要	This course presents an introduction to specific topics in Japanese culture and society as formed by religious beliefs and practices, especially Buddhism. Classroom lectures and discussions will focus on Buddhist concepts and ideals, both fundamental and those particular to Japan.　The classes for JCMU start one week earlier than USP classes and end in mid-December. Some JCMU classes are on different days, so USP students do not have to attend them if their schedules conflict.	
到達目標	By the end of the course, students should be able to demonstrate an understanding of the following key items: ·What are the primary concepts, beliefs and ideals of Buddhism, and what did particular Japanese Buddhist leaders contribute to the religion ·Where can expressions of Buddhist thought be observed in Japanese lifestyles ·Other aspects of Japanese culture and society as they reveal themselves and become relevant to the students' personal and academic lives.	
テキスト 指定図書 参考書	Material will be handed out in class, and available for download.	
成績評価	Response cards: two words or phrases of the day (15x2%=30%). Report 70%.	
履修資格		

科目名	アカデミック・ライティング	２単位　後期
担当教員	ジョン・リピー	
授業概要	In this course, students develop their skills in academic writing in English, building on the skills in communicative writing which they developed in previous courses. Academic writing is the kind of writing involved in undergraduate and graduate university studies and scholarly research. Characteristically, academic writing is organized in well-shaped paragraphs which form a coherent, cohesive, well-reasoned whole. In this course, students start writing relatively short, single-paragraph academic-style essays, then work into longer, typed texts. Students also do some writing in creative genres. 【2014年度開講開始科目】	
到達目標	Students develop the ability to write well-reasoned and objective essays and other academic texts. Through reading and writing intensively and extensively in the course, students also strengthen their understanding of and sensitivity to writing styles and expand their stylistic repertoires. Through the coursework, students prepare themselves for the written sections on the TOEFL,IELTS, and other tests involving academic reading and writing proficiency in English.	
テキスト 指定図書 参考書	A packet of sample readings will be distributed at the first class session.	
成績評価	Grades for this course are based on class participation (20%) and critical and creative writings (80%).	
履修資格		

科目名	アカデミック・リスニング	２単位　後期
担当教員	小栗　裕子	
授業概要	言語学や心理学そして経済学など実際の講義を聞きながら、要点を押さえた効果的なノートの取り方や内容に関連のある講義で多用されている語彙を習得する。双方向の会話とは異なったアカデミックな場面での一方向の聞き取りの練習を多く行なう。 【2014年度開講開始科目】	
到達目標	英語による大学の講義を聞く場合の方略からノートの取り方までを、実際のレクチャー形式の録音を聞きながら習得していく。	
テキスト 指定図書 参考書	H, Solorzano & L. Frazier, Contemporary Topics Academic Listening and Note-Taking Skills:Person Education 随時プリントを配付	
成績評価	毎回の聞き取り点 50%　授業での発表　30%　課題　20%	
履修資格		

科目名	アジア交流論	２単位　前期
担当教員	阿部　健一※	
授業概要	人とモノと情報が国境を越えて大量に行き交う今日、世界は次第に「小さく」なり、地域と地域の相互依存はますます強くなっている。しかし一方でこの相互依存関係が、短絡的で歪んでいると感じられることがある。授業では、アジア、なかでも東南アジアのいくつかを対象地域として紹介し、こうした生活のリアリティをまず伝える。グローバリゼーションの今日、地域と地域がどう関わってゆくのかじっくりと考えること、それが「交流論」である。交流論の基礎は、まずお互いがどこが同じでどこが違うのか知ることである。次に理解があり、そして交流が生まれると考えている。	
到達目標	「アジア交流論」の目的は、今後ますます人の行き来が盛んになるアジア諸国（および人々）と健全な交流するための基本となる考え方を身につけることである。授業を通じての到達目標は、まず（1）アジアの中には歴史的・文化的・民族的・経済的・政治的に多様な国・地域があることを理解すること、次に（2）ますます増加するアジア諸国に関する雑多、ときに歪められた情報のなかから、必要なもの・正しいものを選別するための基礎的な知識を得ること、最後に（3）交流のためには、彼らアジア諸国を知るだけでなく、われわれ日本のことも知らなければならないことを理解すること、となる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特になし指定図書：特になし	
成績評価	出席（15％）とレポート（85％）。出席確認のかわりに簡単なアンケートに答えてもらう。	
履修資格	特になし。	

科目名	アジア社会論	２単位　前期
担当教員	島上　宗子※	
授業概要	本講義では、アジアの中でも、特に東南アジアの農山村社会をとりあげる。人々はいかに暮らし、いかなる変化を経験し、私たちとどんな繋がりがあるのか、共に掘り下げ、考察することをめざす。糸口として注目するのは、「稲／米」、「森」、「村（コミュニティ）」である。随時、国際協力や草の根交流の実践例もとりあげ、アジアとの関わりのあり方についても議論する。 講義では、単に知識としてアジア社会を知るのではなく、アジア社会を学ぶことを通して日本社会を見つめ直し、自らに関わる問いとして考える姿勢を重視する。受講者数にもよるが、グループでの討議や発表を取り入れる可能性もある。	
到達目標	1) アジア社会、特に東南アジアの農山村社会の特徴、直面する課題とその背景、日本との共通性・相違性を述べることができる。 2) 身のまわりのモノや出来事の中から、アジアとのつながりを探り、考察し、自らの考えを論述できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト・指定図書：特になし。 参考書：渡部忠世（責任編集）『稲のアジア史』（小学館）、加藤剛『国境を越えた村おこし：東南アジアと日本をつなぐ』（NTT出版）他、適宜紹介する。	
成績評価	①講義中の討議・発表、②講義の後などに書いてもらうミニ・レポート、③最終レポートを総合して評価する（①②を合わせて50%、③を50%の割合で評価）。	
履修資格	とくになし。	

科目名	アジア文化特論Ａ	２単位　後期
担当教員	地蔵堂　貞二	
授業概要	本授業では、最初に「文言」と「白話」の違いを明確にしてから、現代中国語の源流にある「（旧）白話」が誕生した唐末五代から、宋代、元代、明代、清代までの白話で書かれている代表的な文献（例えば『西遊記』『三国志演義』『水滸伝』など）を時代別に選んで解説すると同時に、原文の一部を読みます。 【2014年度開講開始科目】	
到達目標	『西遊記』『紅楼夢』などの明代、清代の白話小説を、辞書を傍らに置いて読み進められる程度になることを目指します。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜プリントを配布します。	
成績評価	期末試験の成績で評価します。	
履修資格		

科目名	アジア文化特論Ｂ	２単位　前期
担当教員	河　かおる	
授業概要	朝鮮半島の近現代史を理解することを目的とする。前半（第10回まで）では近現代の通史を時系列に従って基本的な流れをつかむ。後半では、時代を貫くいくつかのテーマを切り口として、困難な近代の幕開け、植民地化、今も続く民族分断を経験した朝鮮半島の歴史への理解を深める。植民地化と民族分断を経験した近現代史の「困難さ」への想像力を鍛え、朝鮮の近現代史を密接な関連を持つ日本の近現代史を省察的にとらえ直すことを授業のねらいとする。 後半で予定しているテーマは、前半の授業での関心の度合い等を勘案して変更する可能性がある。 【2014年度開講開始科目】	
到達目標	1.講義および配付資料の内容を理解し、小レポート毎に与えられた課題に適切に取り組めること。 2.朝鮮の近現代史、特に日本とかかわる事柄に関して正確に理解し、基本的な説明ができること。 3.講義の内容を踏まえ、植民地化と民族分断を経験した朝鮮近現代史に関するテーマを自ら立て、そのテーマについて論理的に説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：田中俊明編『朝鮮の歴史』昭和堂、2009年 参考書：授業中に適宜紹介。	
成績評価	小レポート（講義内容や配付資料についての理解度と考察力を評価する）50％。 期末レポート（指定した課題に対応する内容になっているか、論理的に構成されているか、十分な読解や調査に基づいて書かれているか、論理的な分析がなされているか、レポートとしての形式的用件を満たしているか等を評価する）50％。	
履修資格		

科目名	アジア文化特論Ｃ	２単位　後期
担当教員	ブレンサイン	
授業概要	広大な農村を抱える中国社会は、古今を問わず農民によって動かされてきた。その原動力の裏にはどんな仕組みが存在するであろうか。本講義では、農耕と文明との関係など、基礎的な知識を簡単に回顧したうえで、主として中国の農耕社会とその影響を受けて形勢された周辺地域の農耕社会を比較しながらアジアの農耕社会の仕組みを見ていきたい。また現代中国の農村問題にも着目していきたい。 【2014年度開講開始科目】	
到達目標	本講義では、世界最大規模の農耕社会を抱える中国の農村の社会構造を歴史的に整理したうえで、農耕大国中国の現状を理解できることを目指したい。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考書は適宜紹介する。	
成績評価	中間レポート30％、質問票10％、期末試験60％（欠席数が1／3を超えた場合は評価の対象としない）	
履修資格		

科目名	アジア文化論Ａ	２単位　前期
担当教員	地蔵堂　貞二	
授業概要	本授業は、中国近現代史、すなわち中国共産党史（主に建国以降）および日中関係史（日中国交正常化前と後）を鳥瞰し、尖閣諸島領有権問題、靖国参拝問題、歴史認識（教科書）問題、愛国（反日）教育問題、一国二制度（香港・マカオ）問題、台湾問題、少数民族（チベット・ウイグル）問題等の社会的・文化的背景を考察し、現代中国の理解に資することを目的とします。	
到達目標	日中関係史に関する知識を得ることにとって、中国への関心を高めるとともに、現代中国への理解を深めることを目標とします。	
テキスト 指定図書 参考書	プリントを適宜配布します。	
成績評価	期末試験（論述問題を含む筆記試験）の成績で評価します。	
履修資格		

科目名	アジア文化論Ｂ	２単位　後期
担当教員	河　かおる	
授業概要	皆さんは、隣国である朝鮮についてどの程度知っていますか？「朝鮮」と聞いて、「韓国なら知っているけど朝鮮は…」と思った人はいませんか？韓国と朝鮮は同じなんでしょうか、違うんでしょうか？　この授業では、このようなことをはじめとして、隣国朝鮮についての基本的な事柄を理解することを目的とします。 　前半は、「国の名前」「人」「言葉」等についての歴史や現状について確認しつつ、呼称の問題について同時に考えて行きます。前半の締めくくりとしてレポート課題を出します。 　後半は、韓国・朝鮮に関するトピックを3つとりあげて講義した後、受講生の皆さん自身が見つけたトピックについてグループで調べ、最終的にプレゼンテーションをします。 【2011年度以前入学の地域文化学科学生は「朝鮮文化論」に読替】	
到達目標	(1)朝鮮にまつわる呼称の問題（差別的呼称を含む）について、その歴史的背景を理解し、論理的に説明できる。 (2)韓国・朝鮮に関するいくつかのトピックについて理解を深める。 (3)韓国・朝鮮に関するトピックについてグループで調査を深め、プレゼンテーションできる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布。 参考書：講義中に適宜紹介。	
成績評価	・小レポート30点（1回10点を累積し30点に圧縮） ・レポート30点（100点満点を30点に圧縮） ・プレゼンテーション30点（100点満点を30点に圧縮） ・加算点10点＋α 授業中に質問⇒1点 　授業中に行うグループ・ワークに際して、グループ内の意見の整理と発表を担当 ⇒1回2点	
履修資格		

科目名	アジア文化論Ｃ	２単位　前期
担当教員	島村　一平	
授業概要	本講義では，現代モンゴルに焦点をあてて、さまざまな側面からモンゴル遊牧文化の魅力や現代モンゴル社会が持つ問題点などを描き出していきたい．扱う主なテーマは遊牧文化、宗教，民族問題などである。まずは、日本の農村型社会とは全く性質を異にする「遊牧」という生業について概観する。そして遊牧社会の現在の姿をみていく。 　音楽に関しては、民族音楽のみならず，現代の都市の若者たちの間で流行しているポピュラー音楽から，現代モンゴル社会のもつ諸問題を概観していきたい。 　民族問題に関しては，ロシア，モンゴル．中国の三カ国に分断されて居住するモンゴル系の集団ブリヤート人の歴史と社会に焦点を当てて話を進めていきたい．中でも，シャーマニズムとエスニシティの関係を中心に論じていく．	
到達目標	受講生は、遊牧社会に関する基礎的な理解がみにつくと同時にと現代モンゴル社会が抱える諸問題に対して、世界情勢と関連付けながら、批判的に検討する能力が身に付く。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：レジュメを配布する。 指定図書：モーリス・ロッサビ著『現代モンゴル―迷走するグローバリゼーション』明石書店。 　　島村一平著『増殖するシャーマン―モンゴル・ブリヤートのシャーマニズムとエスニシティ』春風社。 　　島村一平「文化資源として利用されるチンギス・ハーン：モンゴル、日本、ロシア、中国の比較から」、滋賀県立大学人間文化学部研究報告『人間文化』 24号、pp7-34。 　　島村一平「ハイカルチャー化するサブカルチャー？：ポスト社会主義モンゴルにおけるポピュラー音楽とストリート文化」、国立民族学博物館調査報告『ストリートの人類学』、431―461。	
成績評価	論述試験による	
履修資格		

科目名	アジア文化論Ｄ	２単位　後期
担当教員	棚瀬　慈郎	
授業概要	インド仏教は、7世紀以降にヒマラヤを越えてチベットの地にもたらされた。本講義では、インド仏教について概観した上で、そのチベットにおける展開と社会的な影響について検討する。	
到達目標	仏教の基本的な考え方と、その歴史的展開についての知識の習得。また内陸アジアにおいて仏教が果たしてきた役割について理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを配布する。	
成績評価	試験による（100％）	
履修資格		

科目名	アジア文献講読Ａ	２単位　前期
担当教員	定森　秀夫	
授業概要	東アジアの考古学の成果を吸収することは、日本考古学研究を進めていく上で必須になりつつあるといっても過言ではない。特に、朝鮮半島なかんずく韓国の考古学調査研究の成果を取り入れていく必要性は非常に高いと言える。 韓国語で刊行された報告書・書籍および考古学関係雑誌掲載論文の中から重要と思われる文献を選び、講読し日本語訳文を作成していく。また、適宜中国考古学の文献も必要に応じて購読し、日本語訳文を作成していくようにしたい。	
到達目標	1.辞書を使用して韓国語(中国語)で書かれた考古学の文献を訳すことができるようになる。 2.考古学の文献の日本御所訳文を作成して、翻訳した韓国(中国)考古学文献の内容を理解する。 3.日本考古学と韓国(中国)考古学との比較検討ができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	講読文献テキスト:プリント資料を配布する 参考書:授業中に紹介する	
成績評価	翻訳レポート60％、講読理解度40％	
履修資格		

科目名	アジア文献講読Ｂ	２単位　前期
担当教員	田中　俊明	
授業概要	「漢文講読」を履修し、さらに上級をめざすための漢文訓読実習。	
到達目標	歴史史料として漢文史料を使うことができるように習熟する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト（内容は受講生と相談する）はプリント配布。参考書は適宜、指示する。	
成績評価	個別にあたったときのでき、準備度・理解度。時に小テスト。期末試験。それらを総合して評価。	
履修資格	「漢文講読」を履修していること。	

科目名	アジア文献講読Ｃ	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	中国語で書かれた新聞、雑誌記事およびの読解を通じて、現代中国事情を学ぶ。	
到達目標	中国語の新聞、雑誌記事の読解力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業時に配布する。 参考書:適宜、紹介する。	
成績評価	授業での発表　50％、レポート　50％	
履修資格		

科目名	一般構造	２単位　前期
担当教員	佐々木　一泰	
授業概要	建築物を成立させている部位の構成や仕組みがどのようなものかを理解し、建築を学ぶ上で知っておきたい基礎的な建築技術の概要や構造、架構の知識を身につける。	
到達目標	建築技術、構造の全体像を把握する。建築に携わる人が必要とする建築技術専門用語を修得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「図説やさしい建築一般構造」今村仁美・田中美都　著　学芸出版社 参考書:授業内に適宜紹介する。	
成績評価	宿題(レポート評価)50%、期末筆記試験50%、建築技術用語の修得と各講義の理解度を評価する。	
履修資格	なし	

科目名	異文化交流史	２単位　前期
担当教員	ブレンサイン	
授業概要	この講義では、アジアにおける人と物の交流がどのようなパターンで行われてきたのかを中国とモンゴル、中国と満洲との関係から立体的に捉えていきたい。常に現代に着目して、歴史と今日との間に行き来することによって多角的な地域像を描き出したい。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	万里の長城と柳条辺墻を挟んだ中国大陸における人と物の交流を歴史的視点から理解できることを目指す。当地域の現状に関してもある程度の視点を持てるようにしたい。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 参考書は適宜紹介する。	
成績評価	中間レポート30%、質問票10%、期末試験60%(欠席数が1／3を超えた場合は評価の対象としない)	
履修資格		

科目名	移民社会論Ａ	２単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	グローバル化の時代における社会のあり方を、「移民」を切り口に検討する。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	「移民」や国境を越えた人々の移動を切り口にグローバル化の問題を理解する.	
テキスト 指定図書 参考書	2014年度開講時までに指定する。	
成績評価	2014年度開講時までに指定する。	
履修資格		

科目名	移民社会論Ｂ	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	グローバル化の進展とともに、国民国家の枠組みでは捉えきれない人の移動とそれに伴う社会現象を「ディアスポラ」という名で呼ぶ機会が増えている。本講義では、「ディアスポラ」について、民族と土地／国家の関係とともに、国家／支配者集団と被支配者集団との複雑な関係について考察し、多文化主義的な批判的感性を養う。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	ディアスポラという社会現象について理解することを通じて、グローバル化する社会への批判的感性を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	2014年度開講時までに指定する。	
成績評価	2014年度開講時までに指定する。	
履修資格		

科目名	移民社会論Ｃ	２単位　後期
担当教員	ブレンサイン ・ 河　かおる	
授業概要	【2013年度は、2011年度以前入学生用カリキュラムの「対外文化交流論C」の授業内容となります。2014年度以後は以下の内容で開講する予定です。】 　日本人の海外移民の歴史について学ぶ。日本の近代史は、移民活動をぬきにしては語れない。本学が位置する滋賀県も多くの移民を送り出した。日本人の移住先は、ハワイ、アメリカ本土やカナダをはじめ、メキシコ、ブラジルなどの中南米、朝鮮、満州、中国本土、ロシア極東、樺太、南洋群島、東南アジア、オセアニアとひろい範囲におよんでいる。日本人が、いつ、どこへ移住し、どんな仕事についたか、移住先の地域の性格にどのような違いがあったかなどの概要とともに、特に朝鮮、満州、中南米への移民を中心に学ぶ。	
到達目標	(1)日本人の海外移民の歴史について概要を理解する。 (2)特に朝鮮、満州、中南米への移民について、その特徴を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：岡部牧夫,2002,『海を渡った日本人』(日本史リブレット)山川出版社(840円)。プリント配布。 参考書：高崎宗司、2002、『植民地朝鮮の日本人』〈岩波新書〉、岩波書店 ほか、2014年度開講時までに指定。	
成績評価	2014年度開講時までに指定する。	
履修資格		

科目名	イングリッシュレクチャーＡ	２単位　後期
担当教員	石田　法雄	
授業概要	We first investigate how religions in the world can be classified according to the “concept of god.” While the representative religions of Japan, Shinto and Buddhism, can be classified as polytheistic and/or pantheistic, we consider their particular ways of thinking and viewpoints and how they differ from Western religions. We then examine the everyday Japanese cultural traits of ambiguity and self-deprecation in relation to American cultural traits in terms of cultural “Polite Fictions.” We also see how D. T. Suzuki expounds wabi and sabi as Japanese cultural concepts in his Zen and Japanese Culture.	
到達目標	The goal of the course is to stimulate students to understand some Japanese culturally unconscious behaviors in relation to those of Americans, and to appreciate Japanese asceticism.	
テキスト 指定図書 参考書	Material will be handed out in class. Nancy Sakamoto, Polite Fictions in Collision DT Suzuki, Zen and Japanese Culture	
成績評価	Response cards and class participation (20%), One 3-4 paragraph report based on two words or phrases of the day (30%), Final examination (50%)	
履修資格		

科目名	イングリッシュレクチャーＢ	２単位　前期
担当教員	石田　法雄	
授業概要	We investigate concepts of culture and religion through an observation of civilization and culture as indicated by their different classifications as academic fields of study in liberal arts versus science and technology. Through an appreciation of the tanka poetry of Saigyo in the original and in translation, we see the Japanese cultural theme (with religion and literature at its heart) of mono no aware, an aesthetic response to the pathos of life and things, and the dilemma of Saigyo's choosing between the monastic/religious life and the life of the secular person as an artist. We also see differences and commonalities in the teachings of Shinran and Dogen as they are influenced by the idea of mappo, the "Last Dharma."	
到達目標	The goal of the course is to stimulate students to understand some Japanese cultural, religious themes as seen in literature and Buddhism—the sadness of things and liberation from it.	
テキスト 指定図書 参考書	Material will be handed out in class. Saigyo, Sanka-shu Shinran, Jodo-wasan Dogen, Shobo-genzo	
成績評価	Response cards and class participation (20%), One 3-4 paragraph report based on two words or phrases of the day (30%), Final examination (50%)	
履修資格		

科目名	イングリッシュレクチャーＣ	２単位　前期
担当教員	石田　法雄	
授業概要	We investigate the meaning and role of Existence (Time & Space) in Eastern thought and in the Human Question. In particular, we study Time and Space through the cardinal Buddhist doctrine of pratitya-samutpada, "dependent co-arising." That is, Past, Present, and Future have no independent status. The here and now is the only subjective reality. We then consider the Human Experience through "the issue of religion as particular or universal," "the existence as paradoxical," "the unity of polarity," "the nature of phenomena," and "the contradictory correspondence of one's heart/mind." 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	1. To appreciate and enjoy intellectual thinking 2. To foster objective observation as well as subjective insight	
テキスト 指定図書 参考書	Material will be handed out in class.	
成績評価	Response cards and class participation (20%) One 3-4 paragraph report based on two words or phrases of the day (30%) Final examination (50%)	
履修資格		

科目名	イングリッシュレクチャーＤ	２単位　後期
担当教員	ウォルター・クリンガー	
授業概要	A series of lectures using maps, graphs, songs and pictures to present an overview of world history, from Prehistory to European colonization to the present time, with an emphasis on the U.S. & Canadian, largely from a Canadian's point of view of significant events. Students are encouraged to ask questions during or at the end of classes. The World Today. History Begins. Empires & Trade. New World Explorations & Conquests. The Columbian Exchange. First Nations, Native Americans. New France, New Englands. The USA are Established: Independence. The USA is Established: Civil War. Pioneer Days Canada. World Wars: Reverse Colonialism. Cold War & Space Race. Civil Rights Movement. History in Movies. Future World: Coming Geographic Changes. What do We Learn from History? Alternate Histories.	
到達目標	Students will have learned in detail about certain events in world history, particularly in American and Canadian history. Students will have been encouraged to think about why certain events occured, and if history could ever have been different. Students will have been enouraged to think about the uses of studying history, especially in not repeating mistakes of the past.	
テキスト 指定図書 参考書	Class Powerpoint presentations available as PDF online. Reference atlases and books available in the library.	
成績評価	Report 100%	
履修資格		

科目名	イングリッシュレクチャーＥ	２単位　前期
担当教員	バラチャンドラン・ジャヤデワン	
授業概要	In this course, we discuss the contemporary global issues and try to understand them from the perspective of social and natural sciences. And also, we discuss sustainable development and look for solutions through material resource management using eco-design and recycling processes. 【2015年度より開講開始科目】	
到達目標	To make the students understand the contemporary global environmental issues from the perspective of social and natural sciences. And also, to think about the roots that led to the present status and look for solutions through the creation of meaningful material culture.	
テキスト 指定図書 参考書	Books of Reference: Cradle to cradle: remaking the way we make things/William McDonough and Michael Braungart, North Point Press, New York (2002) Sustainable by Design: explorations in theory and practise/Stuart Walker, Earthscan, United Kingdom (2006) An inconvenient truth/ Al Gore, Rodale, New York (2006)	
成績評価	The students will be requested to submit short reports on the topics discussed each week. The evaluation of these reports will account for 40% of the grade. The regular exam held at the end of the semester will account for 60% of the grade.	
履修資格		

科目名	イングリッシュレクチャーＦ	２単位　後期
担当教員	井手　慎司	
授業概要	This course is an introduction to the environmental issues of the Lake Biwa basin and those of East Asia. In order to understand the mechanisms and propose solutions for ongoing environmental problems, there will be multilateral lectures conducted from the perspectives of the fields of geo-chemistry, physical-geography, social-economics, and water-system engineering. 【2015年度より開講開始科目】	
到達目標	The students can propose solutions for ongoing environmental problems in the Lake Biwa basin and East Asia.	
テキスト 指定図書 参考書	No textbook, Handouts	
成績評価	Assignments (Reports) (50%), Quizzes(50%)	
履修資格		

科目名	インテリア計画論	２単位　前期
担当教員	宮本　雅子	
授業概要	ここでは主に住居の内部空間の設計に必要な知識を習得することを目的とする。まず、インテリア計画のプロセスを説明した上で、住宅の構造、構法および住宅のインテリア構成要素について解説する。その上で、各室における機能とインテリア計画上の要点について討論を交えながら講義する。	
到達目標	住居のインテリアを構成している要素について説明できる。演習課題に応用する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布 参考書:「インテリアの計画と設計」彰国社、講義の中で適宜紹介	
成績評価	レポート30％、期末試験50％、レスポンスペーパー20％	
履修資格		

科目名	インテリアコーディネート概説	１単位　前期
担当教員	藤木　庸介	
授業概要	生活に関わるデザイン現場において、インテリアコーディネートに対する基礎知識は今や必須の要件と言えよう。ここでは特に、店舗や住宅におけるインテリアコーディネートの実践について、実社会やデザイン現場で必要不可欠、且つ、有用な知識を習得する。尚、本演習を履修した上での知識は、公益社団法人インテリア産業協会が主催する「インテリアコーディネーター資格試験」にも応用可能な知識と成り得る。	
到達目標	店舗や住宅におけるインテリアコーディネートの実践について、実社会やデザイン現場で必要不可欠、且つ、有用な知識を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト・参考書：適宜紹介する。	
成績評価	小テスト3回により評価。成績への寄与率は小テストの合計を100％とする。 尚、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	運動と健康	２単位　後期
担当教員	寄本　明	
授業概要	スポーツや身体活動が健康に及ぼす影響を科学的に理解する。スポーツをはじめ身体活動が健康とどういう点でかかわりがあるかを科学的に説明する。さらにスポーツなどの身体活動は健康のための万能薬ではなく，健康を増進できる面と場合によっては障害になる面があり，このことについて考察する。そのため，一過性の運動によっておこる一時的変化や習慣的な運動によっておこる適応現象のメカニズムを明らかにするとともに，運動の必要性や運動と健康の関係について学ぶ。	
到達目標	(1)運動の必要性や運動と健康の関係について理解する。 (2)運動と種々の生体応答との関連を理解する。 (3)一過性の運動によっておこる一時的変化や習慣的な運動によっておこる適応現象のメカニズムを理解する。 (4)運動処方の進め方や内容を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：朝山正己他著『イラスト運動生理学』（東京教学社） 指定図書：中井誠一他著『高温環境とスポーツ・運動』（篠原出版新社）	
成績評価	試験の成績(80％)と毎時間の課題レポート(20％)により評価する。	
履修資格		

科目名	英語音声学	２単位　後期
担当教員	外狩　章夫	
授業概要	1　発音記号（国際音標文字、IPA）に習熟します（第2外国語等の言語も読めるようになります）。 2　英語発音のポイント（語の強勢、単語間の音のつながり、消える音、イントネーションと文の強勢など）を実習します。これがTOEIC等のリスニング理解や英語会話のイントネーション形成に役立ちます。 3　カタカナ発音から脱することができ、英語発音に自信がもてるようになります。　　毎回、最初の10～20分で基本的な国際音標文字（IPA）を紹介し、音読練習をする。次に、テキストに沿って英語音声学の用語を解説しながら、発音に関する様々な練習問題をこなす。MD/CD を使っての発音・リスニングの練習が中心となる。	
到達目標	この授業の目標は、1つは発音記号（国際音標文字、IPA）を音読できるようにすること（単語のレヴェルで）。2つ目は、テープ教材を使ってリスニングと口頭練習を繰り返すことで英語発音の特徴を知り、それに基づいて、単語あるいは短い英文のレヴェルで自分でも発音できるようにすること。 具体的には、カタカナ化した英語の発音（食べ物など）、メートル法単位や数字の読み方、日付の読み方、IPAの読み方（単語レヴェルで）などを身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト Sarah Cunningham and Bill Bowler. New Headway Pronunciation Course: Intermediate『新英語発音コース』（中級）．Oxford U. P., 1999. 参考書・参考資料等 1. Mark Hancock. English Pronunciation in Use: Intermediate (with Audio CDs)『英語発音の実際』(中級). Cambridge U. P., 2003. 2. 杉森 / 弓庭 / 大塚 ed. Sounds of English for Communication『コミュニケーションのための英語発音』. 金星堂, 2005.	
成績評価	個人別の音読テスト（配点100％）で評価を出す。授業中の発音練習を重視する。全授業回数の1/3以上欠席した者は評価対象としない。	
履修資格		

科目名	英語会話（中級）	２単位　後期
担当教員	ジョン・リピー	
授業概要	In this course, students develop their speaking and listening skills through acquiring significant experience in communication. Students share their thoughts, feelings, experiences, and opinions on a sequence of topic which are familiar and relevant to everyday life. Speaking and listening activities are supported by reading and writing tasks. Students engage in conversations, small group discussions, and presentations, working to strengthen their comprehension of the viewpoints of others and to express their own viewpoints in the most fulfilling way. The goals are is to speak and listen more accurately, in greater volume, and with more involvement.	
到達目標	Through this course, students strengthen their communicative listening and speaking abilities. They become able to comprehend and produce English with more accuracy, at greater volume, and with more natural interaction. Students develop the ability to carry out more satisfying conversations, discussions, and presentations on a range of relevant personal topics. They also see improvement in their reading and communicative writing abilities.	
テキスト 指定図書 参考書	The textbooks for the course are the following: 1. Q: Skills for Success Listening and Speaking 2, Oxford University Press, ISBN 978-0-19-475611-2. 2. Q: Skills for Success Reading and Writing 2, Oxford University Press, ISBN 978-0-19-475623-5.	
成績評価	Grades for this course are based on participation in class(20%), homework assignments (20%), written classwork (20%), a midterm examination (20%), and a final examination (20%).	
履修資格		

科目名	英語学概論	２単位　後期
担当教員	出原　健一※	
授業概要	英語学のテキストとして評価の高いA.Akmajian et al.のLinguisticsの構成に基づいて、ミクロ言語学からマクロ言語学までの基本的な考え方を学ぶ。全体の流れとしては、まず、動物のコミュニケーションシステムと人間の言語を比較し、自然言語の特徴を把握した上で、英語という言語の構造を、音韻論（音）・形態論（語）・意味論・統語論（文）といった、いわゆるミクロのレベルから、語用論・社会言語学・言語獲得といったマクロのレベルまで、順に概観する。時間に余裕があれば、日本語など他の言語と比較することで、言語の普遍的特徴と文化的特徴についても扱う。	
到達目標	現代英語学に関する諸領域の基本的な知識を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	開講時に指示する。	
成績評価	学期末試験で評価する。	
履修資格		

科目名	英語表現法	２単位　前期
担当教員	山本　薫	
授業概要	日本語単語と英単語を一対一で対応させながら日本語を英語に置き換えるのではなく、自分があるいは他者が言おうとする意味・内容をしっかり理解した上で、それを原文の単純な逐語訳ではない、自然な英語にする訓練を行う。以上のことを踏まえ、毎回の授業では、英語で作文を行い、表現を磨き、英文を構造でとらえ、その論理的展開をつかむ練習も行う。適宜宿題として課題作文も出す。	
到達目標	日本語と英語の特徴の違いを認識した上で、自然で英語らしい文章によって、自分の意見はもちろん、国内外のできるだけ幅広いあるいは時事問題を英語で表現する方法を学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布	
成績評価	学生に対する評価：授業への積極的な参加(30％)・各回の英作文提出(50％)とエッセイ提出(20％) 4回以上欠席したものは評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	英語文献講読Ａ	２単位　前期
担当教員	棚瀬　慈郎	
授業概要	文化人類学で用いられる基本的タームに習熟し、また主要な理論についての知識を獲得するために、理論書を輪読する。授業の各回ごとに学生がテキストについての発表をし、それに関して全員で議論をする。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	文化人類学に基本的なタームの意味、用法を理解し、理論についての全般的な知識の獲得を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	講義中に指示、もしくはプリントを配布する。	
成績評価	授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象としない。テキストの精読、発表を授業参加の必須の条件とする。	
履修資格		

科目名	英語文献講読Ｂ	２単位　後期
担当教員	棚瀬　慈郎	
授業概要	文化人類学者によって書かれた民族誌を輪読する。テキストについて学生が発表し、それについて全員で討議する。	
到達目標	民族誌の書き方、視点、用いられている理論についての理解を深め、学生本人が自らフィールドワークをおこなうためのモデルを獲得する。	
テキスト 指定図書 参考書	授業中に指示、もしくはプリントを配布する。	
成績評価	授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。テキストについての発表と、討議への積極的な参加を必須とする。	
履修資格		

科目名	英書講読（地域文化）	２単位　前期
担当教員	市川　秀之　・　濱崎　一志　・　塚本　礼仁　・　武田　俊輔　・　池田　恭哉※	
授業概要	地域文化学科の教員が専門とする分野に関する英書の講読を行うことを通じて、各分野の文献の読解力を高める。毎回、受講生を指名し、テキストの内容について発表してもらうため、必ず予習をしてくること。	
到達目標	地域文化学科の専門分野について、平易な英語文献を読解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	各教員より配布する。	
成績評価	授業中の発表30%、定期試験（前期1回、後期1回）70%。	
履修資格		

科目名	英米文学概論	２単位　前期
担当教員	山本　薫	
授業概要	毎回の授業では、英米の代表的な文学作品を取り上げ、時代背景の中で作家・作品を位置づけ、理解を深める。それぞれの作品に特徴的なテーマをいくつか選び、議論する時間ももうける。授業は原典からの抜粋を用いて進めるが、受講生は翻訳でもかまわないので取り上げる作品は読んでおくこと。	
到達目標	英米の主要な文学を通時的(時には共時的に)通覧し、英米文学の大きな伝統を把握する。今日のグローバルな言語である英語と英語社会の背後にあるアングロ・アメリカンの思想的・文化的源流を辿り、その歴史的変化を学ぶ。また、英米の言語・文化の共通点だけでなく相違点についても考察する。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布 参考図書:『はじめて学ぶイギリス文学史』、『はじめて学ぶアメリカ文学史』(ミネルヴァ書房)、『世界でいちばん面白い英米文学講義』草思社 (2006/9/23)	
成績評価	毎回の授業での議論への積極的な参加(50%)・各作品に関する小テスト(10%)とレポート(40%)。4回以上欠席したものは評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	英米文学講読	２単位　後期
担当教員	外狩　章夫	
授業概要	20世紀イギリス小説の先駆者といわれるコンラッド(Joseph Conrad, 1857-1924)の短篇「エイミー・フォスター」('Amy Foster')を読む。この作品は、「孤独」と「言語コミュニケーションの断絶」というテーマを象徴的に描いている。授業では、物語の語りの構造についてもテキストに即して具体的に考察し、外国語(英語)で物語を読む醍醐味を味わいながら、作品を分析的・批評的に鑑賞する能力を養う。 　授業は 'Chapter Report' を軸にして進め、毎回、作品の「要約」、「小見出し」、「登場人物」、「観賞・批評」、「単語・熟語」や「文構造」といった項目の記入および発表を求める。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	英語で書かれた文学作品を読み味わうことができるようにする。講読する作品は、20世紀イギリス小説の先駆者といわれるコンラッド(Joseph Conrad, 1857-1924)の短篇「エイミー・フォスター」('Amy Foster')を使用する。この作品は、「孤独」と「言語コミュニケーションの断絶」というテーマを象徴的に描いている。授業では、物語の語りの構造についてもテキストに即して具体的に考察するので、外国語(英語)で物語を読む醍醐味を味わいながら、作品を分析的・批評的に鑑賞する能力を養うことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト Cedric Watts, ed. Joseph Conrad: Typhoon and Other Tales (Oxford World's Classics). Oxford U. P., Revised ed., 2002. コンラッド『台風ほかの物語』(オックスフォード版世界の古典) 参考書・参考資料等 1. クリス・フレッチャー著、外狩章夫訳『図説ジョウゼフ・コンラッド』(大英図書館・作家の生涯シリーズ)、ミュージアム図書、2002. 2. 中野好夫編『コンラッド』(20世紀英米文学案内3)、研究社、1966. 3. Jocelyn Baines, Joseph Conrad: A Critical Biography (new edition). Weidenfeld & Nicolson, 1993.(ベインズ『コンラッド評伝』)	
成績評価	計4回のレポート提出(1回で1枚)と教室での発表で評価する。ただし、全授業回数の1/3以上欠席した者は評価対象としない。	
履修資格		

科目名	栄養疫学論	２単位　後期
担当教員	岡本　秀己　・　福渡　努	
授業概要	地域・集団の公衆栄養プログラム実施のためには、地域や集団の健康や栄養の実態を正しく収集し、それをデータ解析し、問題点を明らかにすることが重要である。そこでプラン作りのなる基礎となるアセスメントとしての栄養状態、健康状態の実態把握の方法としての栄養疫学の役割、栄養疫学調査の方法、食事摂取量の測定方法、評価方法を学ぶ。また、疫学調査等による実態把握による公衆栄養アセスメント、目標設定、プログラムの計画、実施、評価方法を学ぶ。また地域特性に対応したプログラム、食環境づくりのプログラム、特性別プログラムの展開について学ぶ。	
到達目標	疫学調査における暴露情報としての食事摂取量が意味するものを説明できる。 食事摂取量の測定方法の種類とその長所や短所を理解し、説明できる。 食事摂取基準を地域集団へ活用し、実態を把握できる。 既存の資料を目的に沿って活用ができる。 アセスメントの結果から課題や問題点を抽出できる。 課題に基づく改善目標を選べる。 計画策定における運営面と政策面のアセスメントができる。 住民参加型の計画策定ができる。 ライフステージ別あるいは生活習慣病ハイリスク群のプログラムが展開できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:八倉巻和子・井上光一編著「公衆栄養学」(建帛社)、佐々木敏著「わかりやすいEBN」、徳留裕子・北川郁美・八木典子編著「公衆栄養学ワークブック」㈱みらい	
成績評価	期末試験50%、小テスト50%。授業時間数の3分の1以上欠席したものは評価対象としない。	
履修資格		

科目名	栄養教育論Ⅰ	２単位　後期
担当教員	廣瀬　潤子	
授業概要	栄養教育の歴史的変遷より栄養教育の必要性と重要性を理解し、栄養教育の対象のニーズに応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントする為に必要な理論と方法を習得する。まず、対象の問題点を明らかにするための健康・栄養状態、食行動、食環境に関する情報収集の方法と分析法を学ぶ。問題点の原因や誘因、背景にある過程や社会環境に由来する問題点や情報を整理し、総合的に評価・判定する栄養アセスメントを行い、ケアプランの作成、栄養教育の実施、評価について学修する。栄養教育のツールとしての行動科学論、栄養カウンセリングについても学修する。	
到達目標	(1)栄養教育の一連の流れ、マネジメントサイクルについて理解し説明できる。 (2)具体的なアセスメントの方法を説明できる。 (3)栄養教育の方法を説明できる。 (4)行動科学理論、カウンセリング理論を理解し、それらの栄養教育への応用の必要性を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	教科書:栄養教育論 田中敬子・前田佳予子編(朝倉書店) 適宜、参考図書の紹介、プリントなどを配布する。	
成績評価	※授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。 期末試験80%、小テスト20%	
履修資格		

科目名	栄養教育論Ⅱ	２単位　前期
担当教員	廣瀬　潤子	
授業概要	対象者のライフステージ・ライフスタイル別に、それぞれの食行動の特徴や顕在化しやすい栄養問題を理解し、問題に応じた栄養教育の在り方を検討する。我が国における栄養教育システムの現状を把握するとともに、諸外国の栄養教育システムとの比較検討を行い、よりよい栄養教育システムについて考察する。	
到達目標	(1)ライフスタイル、ライフステージごとの食行動の特徴と問題点を説明できる。 (2)職域ごとの栄養教育の特徴を説明できる。 (3)我が国と諸外国の栄養教育の実際を比較し、相違点を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	教科書:栄養教育論 田中敬子・前田佳予子編(朝倉書店) 適宜、参考図書の紹介、プリントなどを配布する。	
成績評価	※授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。 期末試験80%、小テスト20%	
履修資格		

科目名	栄養教育論Ⅲ(カウンセリング論演習を含む)	２単位　後期
担当教員	松嶋　秀明　・　廣瀬　潤子	
授業概要	クライエントの感情や行動を理解しながら、クライエントが安心できるように心理面を支持するアドバイスの技法の習得を学ぶ。そのための基礎となるカウンセリングマインドの重要性、カウンセリングにおける人間観、カウンセリングと心理療法の理論と技術を学び、ロールプレイ、事例研究などを通して、実際的なカウンセリング技法の向上をはかる	
到達目標	カウンセリングマインドの理解を深める。クライエントの心情理解を深める。カウンセリング技法の向上を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:栄養教育論 田中敬子・前田佳予子編(朝倉書店) 参考書　:適宜、紹介する。	
成績評価	レポート・課題(60%)、ロールプレイ(40%)での評価を総合して総括的評価を行う。 ※授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	栄養教育論実習	１単位　後期
担当教員	廣瀬　潤子	
授業概要	栄養アセスメント論で学んだ対象者の行動変容を促し、対象者の学習を支援できることを目的とした栄養教育の基本的・専門的知識や技術を実際の栄養教育に、いかに活かしていくかをライフステージ、ライフスタイル別に、その特徴や顕在化しやすい栄養問題に応じた栄養教育の実際のあり方を学習する。個人や集団の栄養状態の評価判定でき、栄養プログラムが作成できる。	
到達目標	(1)栄養教育に必要な知識と技術を説明できる。 (2)各ライフステージ・ライフスタイルの特徴にあった栄養教育が出来る。 (3)日本における栄養教育の実際を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト その他、適宜、参考図書を紹介、プリントなどを配布する。	
成績評価	授業時間数の5分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。 プレゼンテーション(40%)、小テスト(30%)、レポート(30%)。	
履修資格		

科目名	栄養生化学	２単位　前期
担当教員	柴田　克己	
授業概要	健康の維持・増進の基となる栄養素の化学と栄養素の代謝を理解する.	
到達目標	食べたものの体内運命を述べることができる	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:マッキー生化学　第3版, 市川厚監修, 福岡伸一監訳, 化学同人指定図書:なし参考書:なし	
成績評価	期末試験80%, レポート20%	
履修資格	分子生物学, 食品機能科学, 食品学総論を履修していることが望ましい.	

科目名	栄養生化学実験	１単位　後期
担当教員	灘本　知憲　・　森　紀之	
授業概要	生化学系実験の基礎的手法を、主にタンパク質を試料として用いた実験系で習得する。さらに、酵素の天然試料からの抽出・精製・動力学的解析を系統的に行う。	
到達目標	食品・栄養科学分野で必要な生化学的手法の原理を知る。さらに、基礎分析機器の扱いに慣れる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布	
成績評価	レポート50%, 実験準備20%, 実験遂行能力30%	
履修資格		

科目名	栄養生理学実習	１単位　前期
担当教員	矢野　仁康　・　遠藤　弘史	
授業概要	栄養状態とその異常を生理、生化学的に把握する方法論を実習することにより、栄養と疾患との関係の理解を深める。 ヒトの血液、血清、常在菌などの具体的な評価方法を実習し体得することにより栄養代謝異常がヒトに及ぼす影響について理解する。	
到達目標	臨床検査による栄養生理とその評価方法を修得することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:適宜紹介する。	
成績評価	※授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	栄養と健康	２単位　前期
担当教員	福渡　努	
授業概要	栄養生化学、基礎栄養学、応用栄養学を踏まえ、栄養、食習慣、食行動と健康との関わりを総合的に捉える。栄養素が消化、吸収、代謝され、生理作用を発揮するために、様々な制御・調節機構が働いている。本講義では、分子レベル・細胞レベルで栄養素と生体が相互作用することによって情報伝達が始まり、その情報が制御・調節機構を介して臓器、さらには生体全体におよぼす影響について理解する。	
到達目標	栄養素の摂取が分子レベル・細胞レベルでどのような刺激を与え、その刺激が生体をどのように制御・調節するのか理解すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:金本龍平編「分子栄養学」(化学同人) 日本人の食事摂取基準2010年版(第一出版)	
成績評価	レスポンスカード15%　レポート評価 20%　期末定期試験 65%	
履修資格	規定なし	

科目名	エッセイ・ライティング	２単位　後期
担当教員	ウォルター・クリンガー	
授業概要	授業の到達目標及びテーマ:　英語のエッセイの構成と、意見を述べるのにふさわしい構文を学び、自力で英語のエッセイを書けるようになることを目指す。本授業の目的は、自分の考えを英語的に構成し、表現する技法を基礎づけることである。授業の概要:　授業ではまず、教科書に収録されている文例を模範とし、短文を書く練習をする。次に、短文を積み重ねてパラグラフを構成し、ひとつのエッセイとしてまとまりのある構造を作る。その過程で、考えを的確に表現する語彙や構文を学習する。最後に、教科書に提示されているトピックから一つを選び、自分でエッセイを仕上げる。	
到達目標	Students will have improved their writing style by expressing their opinions about current social topics.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:POINT BY POINT : Writing Effective Opinion Essays『トピック別エッセイの書き方』. 石谷 由美子(著). 南雲堂 (2010). ISBN 978-4-523-1-17652-7 ￥2000参考書・参考資料等: ステキな英文フレーズ1420. ブティック社 (2010)	
成績評価	エッセイの執筆、音読　10% x 10回	
履修資格		

科目名	欧米文化特論Ａ	２単位　後期
担当教員	吉村　淳一	
授業概要	ドイツ語史、ドイツの言語学、メディア学の観点からドイツの言語・文化・社会がどのように変化したかを概観し、技術の進歩や社会の変化が言語にどのような影響を与えてきたのかについて考える。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	ドイツ語の歴史についての素養を身につけるとともに、理論やデータに基づきものごとをより正確に分析し把握する能力を養うことを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:ヴィルヘルム・シュミット著／西本美彦 他訳『総論ドイツ語の歴史』(朝日出版社)、河崎靖著『ドイツ語学への誘い』(現代書館)、小島公一郎著『ドイツ語史』(大学書林)、塩谷饒著『ドイツ語の諸相』(大学書林)、手塚富雄／神品芳夫著『ドイツ文学案内』(岩波文庫) など	
成績評価	レポート(80%)、ミニ報告(20%)。ただし欠席や遅刻をした場合には全体の評点から減点していくこととする。	
履修資格		

科目名	欧米文化特論Ｂ	２単位　前期
担当教員	長島　律子	
授業概要	19、20世紀に書かれた、いくつかの詩、小説を取り上げて表現形式、技法、思想的背景など様々な角度から分析し、作品論、作家論を展開すると共に、文学批評とは何かを考える。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	フランス文学に関する知識を充実させると共に、自らも味読、批評し、それについて論ずる力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布。	
成績評価	定期試験50%、発表、課題等50%。	
履修資格		

科目名	欧米文化特論Ｃ	２単位　後期
担当教員	山本　薫	
授業概要	この授業では、19世紀的末以降の英国の小説の中で描かれる英国文化のさまざまな側面と特異性をヨーロッパ大陸の文化と比較しながら理解することを目指す。必要に応じて、映画化された英国小説もあわせて用い、映像を通して理解を深める。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	19世紀的末以降の英国の小説の中で描かれる英国文化のさまざまな側面と特異性をヨーロッパ大陸の文化と比較しながら理解することを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布	
成績評価	授業への積極的な参加(50%)・課題エッセイ提出(50%) 4回以上欠席したものは評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	欧米文化特論Ｄ	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	ラテン・アメリカ地域についての理解を深める。 詳細未定（2014年度開講時までに決める）。 【2014年度開講開始科目】	
到達目標	未定（2014年度開講時までに決める）	
テキスト 指定図書 参考書	未定（2014年度開講時までに決める）	
成績評価	未定（2014年度開講時までに決める）	
履修資格		

科目名	欧米文化論Ａ	２単位　前期
担当教員	吉村　淳一	
授業概要	歴史、社会問題、環境政策、芸術運動、ポップカルチャーなどをテーマに取り上げてヨーロッパの一員であるドイツをさまざまな角度から考察する。その際、ただドイツ文化の知識を得るばかりではなく、ものの見方を身につける練習をする。	
到達目標	ドイツ語の文化圏について幅広い知識を身につけることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 高橋憲『新ドイツの街角から－ドイツ文化事情－』郁文堂 ISBN:978-4261012408 参考書：適宜紹介する	
成績評価	レポート（80％）、ミニ報告（20％）。ただし欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。	
履修資格		

科目名	欧米文化論Ｂ	２単位　後期
担当教員	長島　律子	
授業概要	フランス文化の概説。 フランスの中世から現在に至るまでの各時代について、大まかな歴史と社会、宗教、思想、文化的特徴(文学、美術、音楽、建築など)を概観する。特に、19世紀以降については、日仏文化交流、相互影響関係(フランスにおけるジャポニスム、日本におけるフランス文化受容など)についても述べる。	
到達目標	フランスの歴史、文化、社会を大まかに理解し、各時代についてそれぞれの代表的な作品をいくつか思い浮かべることがができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:『フランスを知る　新〈フランス学〉入門』東京都立大学フランス文学研究室編	
成績評価	定期試験　50％、発表、課題等50％。	
履修資格		

科目名	欧米文化論Ｃ	２単位　前期
担当教員	外狩　章夫	
授業概要	イギリスの文化的事象を多くのテーマに分けて概観する。受講生は、各テーマの基本概念を一通り把握するとともにその英語表現を学ぶ。また、日本の文化などと比較して興味の向く文化テーマを見つけ出すように努めること（各自のテーマを深める目的で読書レポートを求める）。	
到達目標	イギリスの文化的事象を多くのテーマに分けて概観するので、受講生は各テーマの基本概念を一通り把握するとともにその英語表現を学ぶことができる。また、読書レポートなどを通して日本の文化などと比較することにより、興味の向く文化テーマを見つけ出したり、各自のテーマを深めることができる	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト Vaughan-Rees, Sweeney, & Cassidy. In Britain: 21st Century Edition. (『魅力の英国アラカルト』—21世紀版) Macmillan LanguageHouse, 2005. 参考書 1. 安東伸介他編『イギリスの生活と文化事典』、研究社、1982. 2. A. ルーム著『英国を知る辞典』、研究社、1988. 3. 小池滋編『イギリス』(読んで旅する世界の歴史と文化)、新潮社、1992. 4. John Oakland, British Civilization. 3rd ed.『イギリス文明』(第3版), Routledge, 1995.	
成績評価	1. ‘Chapter Report’の発表（10点×4回）＝40点 2. 読書リポート（1回）＝60点	
履修資格		

科目名	欧米文化論Ｄ	２単位　前期
担当教員	真田　満※	
授業概要	アメリカ合衆国が独立する以前の植民地時代から現代までのアメリカ文化を概観する。歴史的には1492年のコロンブスによる新大陸発見から始めるが、本講義はchronological orderを採用せず、大きく6つのtopicに分けて、アメリカ文化の多様な側面を解説する。 それぞれのtopicにおける歴史の概説、言説分析を行ったあと、ヴィデオやスライドを用いて代表的な作品や事件を具体的に検討する。Review Sessionを導入するので、本講義の復習と共に、これからのグローバル社会で必須となるディスカッションの技術も磨く。 【2013年度より開講開始科目】	
到達目標	大学生として恥ずかしくない量のアメリカ史の教養を身につける。新聞、雑誌などでアメリカ関係の記事に接した際、その背後にある文化背景を理解できるようにする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは特に指定しない。講義中、随時、参照図書を紹介する。	
成績評価	Review Sessionの取り組み：50％（25×2）　随時課す宿題：20％　エッセイ：30％	
履修資格		

科目名	欧米文化論Ｅ	２単位　後期
担当教員	中嶋　直樹※	
授業概要	南米大陸で栄えた古代アンデス文明、および現代に生きる先住民の文化について講義を行う。ヨーロッパ人の侵略により滅ぼされてしまったアンデス文明だが、そこには、他の文明には見られない独自の要素が多く見られた。文明は滅ぼされたものの、その文明を支えていた個々の文化は、西欧文化と接触後、形を変えて現代まで生き続けている。 本講義では、アンデス文明の概略を行ったあと、私の調査地であるペルー南部からボリビア北部にかけて、具体的な現地の姿を見てもらう。特に、標高4000m近くの高原地帯でどのように人々は生活し文化、文明を育んできたのかについて焦点を当て、生態学的環境と人類の文明、文化との関係について講義を行う。 本講義を通して、人間の可能性、思考や生活様式の多様性、そして人間のもつ可能性について、理解を深めてもらいたいと思う。	
到達目標	授業を通して、1492年以前のアンデス地域の歴史に通じる。 アンデス文明の特徴、独自性について理解を深める。 現代を生きるアンデスの人々の暮らしに通じる。 アンデス地域の歴史と現代の生活が、いかにアンデス地域独自の環境と深いつながりがあるのかを理解する。 これらを通して、人間と環境との関係について考える機会を得る。	
テキスト 指定図書 参考書	参考文献 『アンデスの考古学』関雄二 著 同成社 『モンゴロイドの地球 (5) 最初のアメリカ人』大貫良夫 著 東京大学出版会『ジャガイモとインカ帝国 文明を育んだ植物』山本紀夫 著 東京大学出版会『図説 インカ帝国』フランクリン・ピース/増田義郎　共著　小学館 『ラテンアメリカからの問いかけ』(P262-288「今日のミッション」) 西川長夫/原 毅彦 編　人文書院 『アンデス文化を学ぶ人のために』友枝啓/染田秀藤 編　世界思想社	
成績評価	小テストとレポート	
履修資格		

科目名	近江商人論	２単位　前期
担当教員	宇佐美　英機※	
授業概要	日本の商業史研究において重要な位置を占める近江商人について、学術的な研究成果に基づいて最新の学説を講義する。 近年は企業の社会的責任(CSR)に関わらせて近江商人の先見性が高く評価され、あらためてその営為が再評価されている。しかし、それらの言説には史実に基づかない解釈を前提にしているものもみられ、斯学の研究史を踏まえていないものも多くなった。このような潮流を批判しながら文化史・地域史の観点から講義を進める。	
到達目標	近江商人とはどのような特徴をもった商人なのか、彼たちの営為が現代社会にどのような遺産として残されたのか、あるいは何が失われたのかを学術的に理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：末永國紀『近江商人　三方よし経営に学ぶ』(ミネルヴァ書房)、宇佐美英機『初代伊藤忠兵衛を追慕する－在りし日の父、丸紅、そして主人』(清文堂出版) 参考書：小倉榮一郎『近江商人の理念』(サンライズ出版)その他の文献は講義中に適宜紹介する。	
成績評価	レポート30％，期末試験70％を原則として評価する。ただし、レポート未提出者は評価対象としない。毎回出席の義務を課さないので、出欠調査は行わない。	
履修資格		

科目名	応用栄養学Ⅰ	２単位　後期
担当教員	灘本　知憲　・　福渡　努　・　廣瀬　潤子　・　南　和広	
授業概要	「基礎栄養学」を踏まえて、対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方の原理を知る。なお、本科目は「基礎栄養学」、「応用栄養学Ⅱ」と一体化して栄養学の概要を網羅するよう講義設定している。従って、一部の講義項目は「基礎栄養学」から続く。	
到達目標	食・栄養に関する情報が氾濫する今日、情報を的確に判断し、実践の礎とできるような身近な科学的常識を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：西川、灘本編「基礎栄養学」（化学同人）、灘本、西川編「応用栄養学」（化学同人）	
成績評価	小テスト20％，期末試験80％	
履修資格		

科目名	応用栄養学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	灘本　知憲	
授業概要	「基礎栄養学」を踏まえて、対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方の原理を知る。なお、本科目は「基礎栄養学」、「応用栄養学Ⅰ」と一体化して栄養学の概要を網羅するよう講義設定している。	
到達目標	食・栄養に関する情報が氾濫する今日、情報を的確に判断し、実践の礎とできるような身近な科学的常識を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：西川、灘本編「基礎栄養学」（化学同人）、灘本、西川編「応用栄養学」（化学同人）	
成績評価	プレゼン／質疑応答50％、和訳小テスト50％	
履修資格		

科目名	応用栄養学実習	１単位　前期
担当教員	岡本　秀己	
授業概要	生涯を心身ともに健康で過ごしていくためには、各ライフステージ・スタイルの特性に応じた栄養管理が必要である。そこで成長・発育・疾病予防・健康の維持増進・老化等における心身の変化に応じた栄養摂取量、味・食感などを実習をとおして理解し、栄養学各論で学んだ知識を実際の食事と関連させ、各ライフステージに応じた栄養マネジメントが出来る実践的な能力を身につけることをねらいとする。	
到達目標	(1)各ライフステージにおける食事量・栄養摂取量がわかる。(2)食事からライフステージの特徴・問題点を理解し、説明することができる。(3)生涯にわたる栄養マネージメントができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:山本由紀子　監修 「ワークブック栄養学実習　参考書:灘本知憲・西川義之編「応用栄養学」	
成績評価	小テスト(50%)、発表(20%)、レポート(30%)。授業時間数の3分の1以上欠席したものは評価対象としない。	
履修資格		

科目名	海外留学	１２単位
担当教員	学科教員	
授業概要	世界がグローバル化していく中、英語をはじめとする外国語の運用能力、また様々な価値観の並列する中で、互いを理解するためのセンスを磨くことがますます重要となっている。留学は、その中で実践的なコミュニ ケーション能力を習得し、国際感覚を身につけるという点において大きな教育的効果が期待できる。そのための事前学習の中では、留学に必要な行き先の言語の習得は勿論、それぞれの社会の持つ文化、習慣等の尊重など、異文化理解に関する基本的なルールを理解し、体得する必要がある。また留学後には、報告会開催やレポート提出などにより、学生それぞれが自の体験についての自己省察を深めてゆくための働きかけをする。	
到達目標	(1) 留学先の大学で語学力を向上させる。 (2) 海外での生活を通して、実践的なコミュニケーション能力を身につける。 (3) 異文化理解に関する倫理的な要請を理解し、体得する。	
テキスト 指定図書 参考書	それぞれの留学先別に担当教員が示す。	
成績評価	当該留学先からの成績証明書、レポート等によって総合的に判断する。 評価は「認定」となる。 認定対象となる「留学」は、3週間以上の留学・短期海外研修とする。 認定される単位数は留学期間等によって決まる(上限12単位)。 詳細な基準は別途示す。	
履修資格	各留学先別の留学着手要件を満たしていること。	

科目名	開発人類学	２単位
担当教員	未定	
授業概要	本講義では、途上国に対する開発援助の実践を現地の人々の視点から論じていく。 そもそも途上国への開発援助はなぜ必要なのだろうか。そしてそれにはどのような方法があるのだろうか。発展途上国などで行われている開発計画や開発援助計画に我々はどのように関わるべきだろうか。この講義では、具体的な事例をもとに開発が現地の人びとに及ぼした影響に目を向け、「開発をする側」ではなく「開発をされる人びとの側」からの視点からの理解を深めることを目的とする。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	未定	
テキスト 指定図書 参考書	未定	
成績評価	未定	
履修資格		

科目名	カウンセリング論演習（人間関係）	２単位　前期
担当教員	松嶋　秀明	
授業概要	クライエントの感情や行動を理解しながら、彼（女）らのかかえる生きづらさを理解し、生活の細部を想像し、支えるための知識・技法を学ぶ。そのためにカウンセリングや心理療法の理論や知識の習得、およびロールプレイ、事例研究などを通した実際的なカウンセリング技法の習得をはかる。	
到達目標	クライエントが生きづらいとはどういうことなのか想像し、それを支えるとはどういうことか体験的に理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	特に指定しない。都度、レジュメを配布する。	
成績評価	授業での討論への参加(40%)、ロールプレイ(30%)、最終レポート(30%)	
履修資格		

科目名	環琵琶湖文化論実習（地域文化）	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	滋賀県の歴史、文化、生活を対象とする実習である。地域、テーマ別に班を編成し、事前学習、宿泊をともなう現地での実習、さらに報告書の作成を行う。	
到達目標	フィールドワークを行うことによって、地域の歴史、文化、生活への関心を深め、さらに調査の手法、報告書のまとめ方等の技術を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:各班担当教員の指示による。 参考書:『大学的滋賀ガイド』滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科編、昭和堂、2011年	
成績評価	各班担当教員の判断による。	
履修資格	人間文化学部地域文化学科の学生のみ。	

科目名	環琵琶湖文化論実習（生活デザイン）	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	滋賀県の歴史、文化、生活をその対象として実習をおこなう。各学科ごとに地域、テーマ別に班編成をし、事前学習、泊りがけでの実習、さらに実習後の報告書の作成をおこなう。	
到達目標	フィールドワークをおこなうことによって、地域の歴史、文化、生活に対する意識を高め、さらに調査の手法、報告書のまとめかた等の技術を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:各班担当の教員の指示による	
成績評価	各班担当の教員の判断による。	
履修資格	人間文化学部生活デザイン学科の学生のみを対象とする	

科目名	環琵琶湖文化論実習（生活栄養）	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：栄養士・管理栄養士をめざす人の文章術ハンドブック（西川真理子著：化学同人）	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	環琵琶湖文化論実習（人間関係）	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	滋賀県の歴史、文化、生活をその対象として実習をおこなう。各学科ごとに地域、テーマ別に班編成をし、事前学習、泊りがけでの実習、さらに実習後の報告書の作成をおこなう。	
到達目標	文献調査、現地調査、聞き取り調査を体験し、文献収集とフィールドワークの基本を身につける。 地域の歴史、文化、生活に対し、興味・関心を持つようになる。 個人だけでなく、グループによる調査を行う能力を身につける。 調査結果を発表し、報告書にまとめる能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	授業中に適宜指定する。	
成績評価	発表および各教官によって指示された提出レポート、最終報告書を総合して評価する。	
履修資格	人間文化学部の学生のみを対象とする。	

科目名	環琵琶湖文化論実習（国際）	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	滋賀県の歴史、文化、生活を対象とする実習。テーマごとに班編成をし、事前学習、現地でのフィールドワークをおこなう。最終プレゼンテーションでは、実習の成果を英語で発表する。	
到達目標	(1)文献調査、現地調査、聞き取り調査を体験し、文献収集とフィールドワークの基本を身につける。 (2)地域の歴史、文化、生活に対し、興味・関心を持つようになる。 (3)個人だけでなく、グループによる調査を行う能力を身につける。 (4)調査結果を発表する能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	各班担当教員が指示する。	
成績評価	実習（準備）への積極的な参加（50%）、最終プレゼンテーション（50%）	
履修資格		

科目名	漢文講読	２単位　前期
担当教員	田中　俊明	
授業概要	白文の漢文史料を輪読する。何を読むかは相談するが、基礎的な、やさしいものを読む。昨年度は『隋書』『三国志』『搜神記』などを読んだ。各自にあてて、読み下しのスタイルで読み、現代語訳をつけてもらう。	
到達目標	簡単な漢文史料を読むことができるようにする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストはコピー配布。	
成績評価	個別にあたったときのでき、準備度・理解度。時に小テスト。期末試験。それらを総合して評価。	
履修資格		

科目名	管理栄養士総合演習	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	生活栄養学科で履修する専門基礎分野と専門分野の各科目をトータルに捉え、生活栄養学科の教員の研究テーマにそって、課題に向けた研究計画や研究方法をアレンジする。そのことによって、人間健康学に関わる各科目を横断し、人の栄養および健康状態を評価し、管理していく上で必要とされる様々な知識や技術を習得する。	
到達目標	生活栄養学科の管理栄養士履修専門科目の総合的な理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：適宜指示する 指定図書：適宜指示する 参考書：適宜指示する	
成績評価	管理栄養士国家試験に向けた模擬試験（少なくとも年間4回）を実施する。その結果等により総合的に判定する。	
履修資格		

科目名	基層文化論	２単位　後期
担当教員	中井　均	
授業概要	日本という国を形成する基層文化は縄文時代・弥生時代・古墳時代・飛鳥～奈良時代に求めることができる。その発展過程の中で、自然採集を基盤とした縄文時代から農耕社会となった弥生時代を経て、統一国家が出現する古墳時代、中国を範とした律令国家としての飛鳥～奈良時代にかけて、その変遷の画期をとらえながら、日本の国家形成の様子を考古学の資料を中心に、社会構造や文化について学ぶ。	
到達目標	各時代を形成した社会構造や文化を学び、日本の歴史の変遷を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリント資料を配付する。参考書：講義の中で紹介する。	
成績評価	期末筆記試験　60％　　日本の歴史の流れの基層となった社会や文化が理解できていること。 レポート等　　40％	
履修資格		

科目名	基礎栄養学Ⅰ	２単位　後期
担当教員	灘本　知憲	
授業概要	人が健康に生きていくための、食物やその成分の役割、体内での変化など、栄養学における基礎と概要を学ぶ。なお、本科目は「基礎栄養学Ⅱ」、「応用栄養学」と一体化して栄養学の概要を網羅するよう講義設定している。一部の講義項目は「基礎栄養学Ⅱ」で引き続いて行われる。	
到達目標	食・栄養に関する情報が氾濫する今日、情報を的確に判断し、実践の礎とできるような身近な科学的常識を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：西川、灘本編「基礎栄養学」（化学同人）	
成績評価	期末試験80％、英語訳20％	
履修資格		

科目名	基礎栄養学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	灘本　知憲　・　福渡　努	
授業概要	人が健康に生きていくための、食物やその成分の役割、体内での変化など、栄養学における基礎と概要を学ぶ。なお、本科目は「基礎栄養学Ⅰ」、「応用栄養学」と一体化して栄養学の概要を網羅するよう講義設定している。一部の講義項目は「応用栄養学」で引き続いて行われる。	
到達目標	食・栄養に関する情報が氾濫する今日、情報を的確に判断し、実践の礎とできるような身近な科学的常識を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：西川、灘本編「基礎栄養学」（化学同人）	
成績評価	期末試験80％、英語訳20％	
履修資格		

科目名	基礎栄養学実験	１単位　後期
担当教員	福渡　努　・　森　紀之	
授業概要	栄養状態の異なる実験動物を用いて生体指標を実測し，比較することにより，糖代謝，脂質代謝，タンパク質代謝の変動とその変動の実際について理解する．	
到達目標	実験を通じて基礎栄養学分野の理解に必要な思考力および実践力を身につける． エネルギー代謝の要求の違いによって栄養素代謝がどのように変動するのかを理解する．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布 指定図書：加藤秀夫ほか編「栄養生理学・生化学実験」（講談社サイエンティフィク）	
成績評価	実験準備25％，実験遂行能力25％，レポート50％． 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない．	
履修資格	規定なし	

科目名	基礎演習Ⅰ（国際コミュニケーション）	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこない、報告、発表する。 年度はじめの学科オリエンテーションにおいて詳しく説明する。	
到達目標	(1) 各学問分野への理解を深める。 (2) 各人が大学において主体的に何を主題として研究を進めてゆくのかに関する問題意識をもつ。 (3) 研究、発表の方法について習熟する。	
テキスト 指定図書 参考書	各ゼミ教員の指示による。	
成績評価	各ゼミ担当教員の判断による。	
履修資格		

科目名	基礎演習Ⅱ（国際コミュニケーション）	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	原則として基礎演習Ⅰから継続して同じゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこない、報告、発表する。 海外留学中の学生も履修し、インターネット等を通じて指導を受ける。	
到達目標	(1) 各学問分野への理解を深める。 (2) 各人が大学において主体的に何を主題として研究を進めてゆくのかに関する問題意識をもつ。 (3) 研究、発表の方法について習熟する。	
テキスト 指定図書 参考書	各ゼミ教員の指示による。	
成績評価	各ゼミ担当教員の判断による。	
履修資格		

科目名	基礎設計製図	２単位　後期
担当教員	南　政宏　・　藤木　庸介	
授業概要	設計製図に必要である基本的な製図技術と技法を習得する。建築家による設計図面のトレースや、模型の制作によって、製図や模型制作の基礎を学ぶ。アクソノメトリックやインテリアパースの作成によって空間の視覚的な表現力を身に付ける。建築の基礎的な表現技法を学ぶとともに、図面を通して空間を想像し把握する力を養う。小規模な空間を自身で設計することで、空間的思考力と計画力、製図能力を習得する。	
到達目標	製図の基本的ルールを理解し、製図技法を習得する。 名作住宅の複製を通して建築模型の製作技法を習得する。 小規模空間を計画し、破綻のない設計が出来るようになる。 自身の制作物や設計のプレゼンテーションが出来るようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	指定教科書:藤木庸介(編著)『名作住宅で学ぶ建築製図』学芸出版社 2008、並びに必要に応じてプリント配布。 参考書:増田奏(著)『住まいの解剖図鑑』エクスナレッジ 2009、他、適宜紹介する。	
成績評価	課題の提出物(80%)ジュリーでのプレゼンテーション(20%)。 全課題の提出が最低条件(一つでも課題未提出の場合は単位不認定)。 成績は各課題作品の得点平均を総合成績とする。	
履修資格		

科目名	基礎服飾デザイン	２単位　後期
担当教員	森下　あおい	
授業概要	この授業では、服飾デザインの基礎造形力をデザイン画の作成を通じて習得する。基礎知識として、人体の構造と衣服の形態、衣服のシルエットとディテール、用途と服種を学ぶ。デザイン画表現では、着装画とアイテム画の技法を習得し、テーマに沿ったアイデアを展開し、色彩や素材の検討を行う。	
到達目標	服飾デザインの基礎造形力を人体と衣服の描写によるデザイン画技法から習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:適宜資料を配布します参考書:授業中に紹介します。	
成績評価	課題作品(70%)　レポート(30%)	
履修資格		

科目名	給食衛生管理実習	１単位　前期
担当教員	浦部　貴美子　・　廣瀬　潤子	
授業概要	学内にて、集団給食施設(特定給食施設)の衛生管理に必要な知識と方法について、実習を通して習得する。	
到達目標	(1)「大量調理施設衛生管理マニュアル」の全般が理解できる。 (2)インシデントおよびアクシデントレポートが作成できる。 (3)食中毒発生時の対応が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:矢野俊博、岸本満著『管理栄養士のための大量調理施設の衛生管理』(幸書房) 参考書:全国食品衛生主管課長連絡協議会編『改訂大量調理施設衛生管理のポイント』(中央法規出版) ※適宜、プリントを配布する。	
成績評価	レポート評価100% ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	給食経営管理実習	１単位　前期
担当教員	谷口　美津子※　・　佐野　光枝	
授業概要	学内にて、集団給食(100食)の管理運営について、実習を通して学ぶ。	
到達目標	(1)管理栄養士、調理師の役割分担が理解できること。 (2)下処理から始まり、調理、配食、食器洗浄、保管までの作業分担ができること。 (3)食材料費の執行が予算内でできること。 (4)HACCPに基づく衛生管理が理解できること。 (5)目標設定に対する評価ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:藤原政嘉他編『給食経営管理実習』(みらい) 指定図書:授業の中で紹介する。 参考書:木村友子他編『学内給食経営管理実習のためのおいしい食事のコーディネート第2版』(医歯薬出版)	
成績評価	レポート100%で評価する。	
履修資格		

科目名	給食経営管理臨地実習	１単位　前期
担当教員	浦部　貴美子	
授業概要	学外（特定給食施設：病院、福祉施設、学校など）にて、給食施設の管理運営の実態に臨み、適切な管理を行うために、如何なる専門的知識および技術が総合的に関わっているかを習得する。	
到達目標	(1)他職種とコミュニケーションをうまく図ることができること。 (2)衛生管理の実際が理解できること。 (3)事務管理の実際が理解できること。 (4)栄養指導・栄養教育の仕組みが理解できること。 (5)実習施設の献立作成の仕組みが理解できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：木戸詔子他編『臨地・校外実習のてびき』（化学同人）	
成績評価	毎回提出の報告書と実習後提出レポートを評価（100％） 欠席した者は評価対象としない。	
履修資格		

科目名	給食経営管理論	２単位　前期
担当教員	浦部　貴美子　・　小澤　恵子※	
授業概要	特定多数の人々の健康状態・栄養状態を改善、あるいは維持、さらに向上させるためには、栄養・食事管理を効率的に、かつ効果的に継続して実施していくことが重要である。給食の意義および給食経営管理の概要、利用者の身体状況、栄養状態、生活習慣などのアセスメントから、計画、実施、評価、改善までの栄養・食事管理、さらに給食の運営方法とそのマネジメントについて学ぶことにより、給食運営や関連の資源（食品流通や食品開発の状況、給食に関わる組織や経費等）を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメント能力を養う。	
到達目標	特定多数の人々の健康状態・栄養状態を改善、あるいは維持、さらに向上させるためには、栄養・食事管理を効率的に、かつ効果的に継続して実施していくことが重要であり、給食を栄養面、安全面、経営面などにおいて適切に運営するために必要な知識を修得することが必要である。本講義により、受講生は、①特定給食施設における給食の意義・役割を理解することができる②給食におけるマーケティングの意義、目的、方法を理解することができる③給食施設における利用者のアセスメント情報に基づいた栄養・食事管理を行うことができる④給食施設におけるHACCPシステムを理解することができる⑤給食施設における危機管理の意義・必要性を理解することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：藤原政嘉他編『給食経営管理論』（みらい） 参考書：講義の中で適宜紹介する。その他、適宜プリントを配布する。	
成績評価	浦部担当分評価50％（小テスト50％，期末試験50％）小澤担当分評価50％（期末試験100％） ※授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	教育学概論	２単位　前期
担当教員	篠原　岳司	
授業概要	本授業では、歴史、思想、方法、心理、制度など多様なテーマを包摂する教育学の基本原理と今日的課題について講義する。また、教職課程の授業であることから、特に学校に関わる諸現象、諸課題については具体例を用いて検討を行う。	
到達目標	・教育学の基本原理（理念、歴史、思想を含む）および教育と学習の具体的な現実を往還することで、教育に関わる現代的課題を理解することができる。 ・「読む、書く、話す、聞く」のサイクルを共同で経験し、省察的学習の実践の方法論を身につけている。 ・小レポート、最終レポートを通し、読み手を意識した論理的な文章を書くことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは定めず、講義中に資料を配布する。参考文献も適宜紹介する。	
成績評価	各講義後に提出する小レポート（50％）と最終レポート（50％）をもとに、総合的に判断する。なお、小レポートの未提出が4回以上の場合は評価対象から外す。	
履修資格		

科目名	教育課程論	２単位　後期
担当教員	木村　裕	
授業概要	教育課程の歴史的展開、教育課程の構造、授業における教育内容と教育方法のあり方などについて、文献や映像資料などを用いながら講義する。	
到達目標	「学校に基礎を置く教育課程開発」を行うために必要となる基礎的な知識と技能を獲得すること。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】 佐藤博志編著『教育学の探究－教師の専門的思索のために』川島書店、2013年 【参考書】 学習指導要領 ※それ以外の資料などについては、講義中に適宜配布する。また、参考文献を適宜紹介する。	
成績評価	講義中に提出するワークシートなど（50％）とまとめのレポート（50％）をもとに、総合的に判断する。	
履修資格		

科目名	教育観察実習	２単位　前期
担当教員	吉田　一郎　・　松嶋　秀明　・　中村　好孝　・　木村　裕　・　篠原　岳司	
授業概要	今日における学校・社会教育、社会福祉、特別支援の現状を把握するため現地学習を行い、直接観察することにより、教育、福祉、療育のあり方を学習する。	
到達目標	社会教育、障害者自立支援、特別支援の教育での課題を見つけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし。適宜プリントなどを配付する。 参考書：授業内に随時照会する。	
成績評価	所定の時限に各学校・施設の観察についてオリエンテーションを行い、次週に学校・施設を訪問することを原則とする。 事後指導も行い、毎回レポート提出する。出席（50％）とレポート（50％）を総合して評価する。	
履修資格		

科目名	教育心理学	２単位　前期
担当教員	黒田　真由美※	
授業概要	児童期の発達・学習・記憶・動機づけ等の心理学の基本的な概念について概説する。また、教育実践の事例を通して、いじめや発達障害等の問題について理解を深める。	
到達目標	「学ぶ」ことの諸側面について、児童期の発達、学習、集団・適応という観点から学ぶ。心理学の用語や理論などの知識を習得すると同時に、心身の発達過程について体系的に学ぶことを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	必要に応じて授業中に指示する	
成績評価	レポート評価(100％)	
履修資格		

科目名	教育制度論	２単位　後期
担当教員	篠原　岳司	
授業概要	本講義では、わが国の教育制度の基本原理を歴史的展開や具体例を踏まえて明らかにし、21世紀における教育制度の将来像を検討していく。したがって、講義では教育制度の成立背景や発展の展開、制度を形作る基本原理、教育実践と制度の相克に関する事例や論点を取り上げていく。	
到達目標	・わが国の教育制度（教育の社会的、制度的および経営的事項）の理念と歴史および構造を理解できる。 ・教育と学習の具体的現象を考察する上での、社会的、制度的、経営的な観点を獲得している。 ・「読む、書く、話す、聞く」の一連のサイクルを共同で経験し、省察的学習の実践の方法論を身につけている。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは特に指定しない。講義中に資料を配布する。また、講義中に適宜、参考図書および資料を紹介する。レポート作成に活用して欲しい。	
成績評価	平常点（50%）および最終レポート（50%）で評価する。平常点は小レポート、講義中の作業課題、そしてレスポンスシートの提出等で評価する。	
履修資格		

科目名	教育方法論	２単位　前期
担当教員	吉田　一郎　・　木村　裕　・　亀田　彰喜	
授業概要	学校教育の大きな柱である教科指導と生活指導をめぐる議論や実践事例の検討などを通して、教育目標と教材の関係、教師の指導技術、情報機器の活用方法、教育評価の役割と実践方法など、教育活動を構想・実践・改善するために必要な基本的な知識と技術を習得することをめざす。	
到達目標	受講生一人ひとりが将来教員や人を育てる立場になったときに、自分なりの「よい授業」「よい教育活動」を構想・計画し、実践し、改善することができるようになるための基礎的な知識や技能（情報機器および教材の活用を含む）を習得するとともに、自分なりの暫定的な「めざす授業像」「めざす教育活動像」を確立すること。	
テキスト 指定図書 参考書	【参考書】 ①田中耕治編『よくわかる授業論』ミネルヴァ書房、2007年 ②佐藤学『教育方法学』岩波書店、1996年 ※　その他の参考書や参考資料については、講義中に適宜紹介する。	
成績評価	数回のレポートの作成・提出を求め、それらをもとに総合的に判断する。レポートの詳細については講義中に説明する。	
履修資格		

科目名	近世近江論	２単位　前期
担当教員	伊藤　誠之※	
授業概要	本講義では、近世（江戸時代）の近江国（滋賀県）の歴史的展開と、それがどのような歴史的特徴を有していたかを、近世都市と街道と交通などを中心に論じる。また、近世社会の一般的な仕組みなど、近世近江とその社会を理解する際に前提となることがらについても適宜言及していく。	
到達目標	日本の近世社会および近世近江の特徴を説明できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	講義中に適宜紹介する。	
成績評価	宿題20%　期末試験またはレポート80%	
履修資格		

科目名	近代デザイン史	２単位　前期
担当教員	面矢　慎介	
授業概要	近代になって、産業革命、市民社会の成立、科学技術の発展などによって、社会は大きく変化した。なかでも、合理主義・機能主義により、われわれの生活空間は、徐々にモダニズムのデザインにおおわれてきた。そして現代、豊かさ、情報化、都市化、グローバル化によって、我々の生活や意識（価値観、美意識、家族観）も変りつつある。このようななかで、近代はじめより現代にいたるまでの間の生活デザイン、主として、道具、インテリア、印刷物などのデザインにおいて、どのような変革の試みがなされてきたのかを、具体例を通して概観する。	
到達目標	①モダンデザインの流れの全体像をつかむ。 ②種々のデザイン運動グループの位置付けと特徴を知る。 ③デザイナーの名とその作品に親しむ。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：柏木　博『デザインの20世紀』NHKブックス	
成績評価	レスポンスペーパー10％　宿題評価60％　期末筆記試験評価30％　授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。	
履修資格		

科目名	空間デザイン論	２単位　前期
担当教員	佐々木　一泰	
授業概要	われわれは日ごろデザインの最終的な成果しか目にすることは出来ない。そこでこの講義では、西洋・日本の戦後～現代のデザイン・デザイナーを通じて、デザインが作られる過程とその制作過程を中心に分析し、そのデザインを成り立たせる手法を通じて、空間デザインを学ぶ。	
到達目標	空間デザインの歴史や技術の知識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：『作家たちのモダニズム（建築・インテリアとその背景）』（学芸出版社）、『近代日本の作家たち（建築をめぐる空間表現）』（学芸出版社） 指定図書：授業内に適宜紹介する。 参考書：授業内に適宜紹介する。	
成績評価	小レポート、小テストなどを適宜行い、評価する。（小レポート・小テストなど100％）授業時間数の2分の1以上欠席した者は、評価対象にしない。	
履修資格	なし	

科目名	経済学Ⅱ（国際経済を含む）	２単位　前期
担当教員	村上　一真	
授業概要	現実のデータや実際の事象に着目し、日本や関西が抱える経済問題を、マクロ経済学の観点から理解できるようになることを目指す。講義では、マクロ経済学の標準的な理論にとどまらず、企業の生産水準や雇用状況などの様々な経済指標の読み方、日本経済や関西経済の動向・見通しなどについて、理論と実際を結びつけながら解説し、理論、経済指標、経済動向・見通しをあわせて理解することを学ぶ。	
到達目標	マクロ経済学理論と経済指標の動き、実際の経済動向・見通しを結びつけて理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価	小テスト・レポート（50%）、期末試験（50%）	
履修資格		

科目名	芸術学	２単位　後期
担当教員	亀井　若菜	
授業概要	この授業では、造形芸術である「美術」や、造形芸術の歴史の体系である「美術史学」について考えていく。「美術」は、社会から自立した崇高なものと考えられてきたが、この20年ほどの間に、美術に対する新しい解釈の方法が提示され、美術が社会の権力構造と密接に関わって作られ享受されてきたことが明らかにされている。この授業では、美術を解釈する方法論に注目しながら、具体的に作品を解釈することも行い、「美術」や「美術史」が社会的政治的にいかなる意味を担ってきたのかを考えたい。この授業では、日本の美術、美術史を問題とする。	
到達目標	美術や美術史の意味を、社会と関わらせて考えられるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業でその都度紹介する。	
成績評価	レスポンスカード(数回分)(40%)、期末試験(60%)。 授業では毎回パワーポイントを使って画像を提示する。履修者は授業に出席してそれらをよく見、作品が何を見せようとしているのかを自分でも考えていくことが求められる。	
履修資格		

科目名	形成論演習	２単位　前期
担当教員	吉田　一郎 ・ 篠原　岳司 ・ 木村　裕	
授業概要	教育学に関わる問題群の中から関心のあるテーマを選び、各自の問題意識をまとめ、参考書や自分で選んだ資料を用いて発表を行う(そのため、講義の内容および進め方については、受講生の興味・関心に応じて変更する可能性があることを了承されたい)。	
到達目標	①教育学に関わるテーマについて視野を広げるとともに、さまざまな参考書や資料の検討なども加え、自身の考えを深めること。 ②他者と議論を行い、互いの考えを深めるとともに、それを論理的かつ説得的に言葉で説明できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	指定しない	
成績評価	講義中の発表および議論への参加(50%)と最終レポート(50%)をもとに、総合的に判断する。	
履修資格		

科目名	研究演習Ｉ（国際コミュニケーション）	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	ゼミ担当教員の指導のもと、卒業論文についての学習やフィールドワーク、また他のゼミ生、教員との討議をおこなう。 【2015年度より開講開始科目】	
到達目標	卒業論文の完成。	
テキスト 指定図書 参考書	各ゼミ教員の指示による。	
成績評価	各ゼミ担当教員の判断による。	
履修資格		

科目名	研究演習Ⅱ（国際コミュニケーション）	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	ゼミ担当教員の指導のもと、卒業論文についての学習やフィールドワーク、また他のゼミ生、教員との討議をおこなう。 【2015年度より開講開始科目】	
到達目標	卒業論文の完成。	
テキスト 指定図書 参考書	各ゼミ教員の指示による。	
成績評価	各ゼミ担当教員の判断による。	
履修資格		

科目名	健康情報管理実習	１単位　後期
担当教員	亀田　彰喜※	
授業概要	情報化社会に適応できる能力を身に付ける。すなわち、栄養食品および消費生活に関する情報を提供する情報媒体について学び、さらに健康情報や栄養補助食品および消費などに関する情報の入手し、これらの情報をプレゼンテーションソフトのPowerPointなどを利用して、表示する手法などを習得する。さらに、健康に関するデータの統計処理の手法についても学ぶ。	
到達目標	健康情報をの検索し、健康情報を統計処理し、プレゼンテーションソフトによって表示できること。さらに、検索で得られた健康情報によりレポートを提出。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント等を配布	
成績評価	課題60%　健康情報に関する課題とPowerPointによるプレゼンテーションの作成により評価、レポート40%　健康情報と食品情報の検索によりレポート作成	
履修資格	生活栄養学科（管理栄養士科目）	

科目名	健康心理学	２単位　後期
担当教員	松本　行弘	
授業概要	近年の健康への関心の高まりには目を見張るものがあり、人の健康について、社会や環境とのかかわりの中で全人的な把握と対応が迫られている。そこで、、総論として健康の概念を明らかにし、次に、健康とストレス、健康の保持・増進とサポートシステムそして実践・臨床の視点から、健康アセスメントやカウンセリング、疾病、健康教育といった予防や対処、治療などについて学ぶ。また、健康を体験的に捉えるために、心理検査やアンケートを実施し、その実際に迫る。	
到達目標	人が健康に生きるということはどういうことかを理解し、その実践的・臨床的意味を考えること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：指定しないが、教材としてVTRやDVDを使用し、適宜プリントを配布する。 参考書　：野口京子著「健康心理学」金子書房 長谷川浩一編著「心の健康を考える」ミネルヴァ書房	
成績評価	レポート課題（30％）、試験（70％） レポート課題は“人が健康に生きる”ということについて、講義内容を越えて広い範囲のものとなる。またレポート課題も含め到達目標の狙いが達成されたかどうかを試験で見極める。 ※欠格条件（授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない）	
履修資格		

科目名	言語学概論	２単位　後期
担当教員	野瀬　昌彦※	
授業概要	世界には6000語を超える言語が存在すると言われている。しかしながら、世界の言語の文法はある程度類似しており、たとえばすべての言語は母音を有し、名詞と動詞の品詞クラスを有するとされる。本講義では、言語の文法を記述、分析するための手段としての言語学の方法を、具体的な言語の例を取り上げつつ紹介する。音声と音韻の相違、形態と統語の関係、さらに意味の構造を示した上で、社会言語学や談話等の言語外の事実との関係について解説する。日本語、英語をはじめ、世界のさまざまな言語の例を紹介しながら、言語の文法の複雑性とそれを捉える理論について考察する。	
到達目標	日本語、英語をはじめ、自身が知っている言語の文法に関して、言語学的な知識をつけることを目標とする。同時に、日常会話で出現する文や談話に関して、鋭い洞察力を持つことができることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	斎藤純男. 2010.『言語学入門』. 三省堂.	
成績評価	学期末試験で評価する。	
履修資格		

科目名	言語接触論	２単位　前期
担当教員	呉　凌非	
授業概要	基本的には、異文化が接触すれば、言語の接触も伴い、その結果として、外来語が生まれます。異文化の接触を地層調査に類似する考え方で通時的に調査することで、外来語の発生についてみることができます。とくに日中間の文化交流が多く、外来語の発生も多いです。それらの外来語の発生の様相、そして現在日中両言語のなかでどのように使われているかなどを講義します。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	語彙形成および外来語の取り入れの全貌について知ってもらうこと	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト　指定なし	
成績評価	レポートおよび定期試験によって判断する	
履修資格	中国語について一定の知識を持つこと。	

科目名	現代英文法	２単位　後期
担当教員	出原　健一※	
授業概要	中学・高校で教わった学校文法（規範文法）は、初学者がその言語を学習する際には非常に有効であり、まずは身につけなくてはならないものである。そのため、本講義でも、各項目にわたって総復習をおこなうが、それに加え、学校文法の枠組みでは収まらない文法規則や構文なども紹介していく。また、従来のように、機械的に文法形式をただ丸暗記するのではなく、なぜそのような形になっているのかも考えていきたい。例えば、なぜSVCOではなくSVOCの語順なのか、過去分詞はなぜ完了形と受動態という（一見）全く関係のない構文の両方で用いられるのか、などを、英語のネイティブスピーカーが行なっていると思われる事態把握の仕方を考慮に入れながら、解説していく。	
到達目標	高校までで学習した規範文法としての英文法を再確認するとともに、最新の認知文法論に基づいて、記述文法としての英文法の基礎的概念を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	瀬田幸人. 1997.『ファンダメンタル英文法』. ひつじ書房.	
成績評価	学期末試験で評価する。	
履修資格		

科目名	現代産業デザイン論	２単位　前期
担当教員	森岡　誠※	
授業概要	現代における産業デザインの現状と課題を、昭和の道具史を参照しながらさぐる。与えられた資料から自分流の道具史年表を作成したり、KJ法によって、「同時代」というキーワードに対して、どのようなイメージマップが形成できるか演習してみる。現代の道具の典型として電話の歴史から携帯電話、インターネット、パソコン端末としてのスマートフォンまでのコミュニケーション道具の変遷をたどってみる。次に、1960年から2010年までの50年間を踏まえて、産業デザインに対する新しい考え方を提出してきた作家達を紹介し、現代の日本社会に果たしてきた役割を考察することから、今後の産業デザインの課題を明確にする。	
到達目標	同時代の産業デザインのあり方を踏まえて、今後の産業デザインの課題に対して、各自が思考し、意見を発表できる能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:特に設定しない、その都度関係資料を配布する 参考書:『デザインニュース252-1989年-2000年』産デ振、『デザイン・メイド・イン・ニッポン』JIDA西日本ブロック、『日本の生活デザイン』建築資料研究社、『20世紀の良品』トランス・アート、『20-21世紀DESIGN INDEX』INAX出版、『消費社会の神話と構造』『物の体系』ジャン・ボードリール、『近代日本の産業デザイン思想』『モダンデザイン批判』『20世紀をつくった日用品』柏木博、『欲望のオブジェ』アドリアン・フォーティー、『大きな都市小さな部屋』渡辺武信、『宇宙船「地球」号』バックミンスター・フラー、『生きのびるためのデザイン』『地球のためのデザイン』ヴィクター・パパネック、『誰のためのデザイン？』D・A・ノーマン、『情報の文明学』梅棹忠夫、『メディア論』M・マクルーハン、『ソフト・エネルギー・パス』エイモリー・ロビンズ、機関誌DOGUOLOGY、資料ビデオ 『ヨーロッパのデザイン紀行-フランス編フィリップ・スタルク』『プロジェクトX-液晶開発、デジタルカメラ開発』『情熱大陸-川崎和男』『サイボーグ』立花隆	
成績評価	毎回の小レポート評価70%、毎回のテーマに対して各自の考え方が明確に述べられているかどうか。最終課題の小論文評価30%、各自の最終課題テーマを深く掘り下げて自分流の考え方が論理的に述べられているかどうか。	
履修資格		

科目名	現代思想論	２単位　後期
担当教員	山本　薫	
授業概要	この授業では、西欧の文学理論に影響を与え、その底流を形成している思想の中でも特に、脱構築以後の現代思想に焦点を絞り、従来の「(人間)主体」「国家主権」といった概念を超えた新たな共同体概念の可能性について考える。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	現代のヨーロッパの思想の大きな流れを理解し、グローバルな時事問題とも結びつけて考え、それについての議論を通して自らの視点や考えを形成する。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布	
成績評価	授業中の議論への積極的な参加(50%)・課題エッセイ提出(50%) 4回以上欠席したものは評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	現代ジャーナリズム論	２単位　前期
担当教員	荒井　利明※	
授業概要	マス・メディア（とりわけ新聞）の歴史と現状を理解し、その将来を考える。	
到達目標	マス・メディア（とりわけ新聞）の現状とその問題点を把握する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書等は適宜、紹介する。	
成績評価	レスポンスカードによる平常点　20%、期末試験　80%	
履修資格		

科目名	現代社会福祉論	２単位　後期
担当教員	中村　好孝	
授業概要	本講義は、障害、貧困、居住、虐待など、福祉についての個別のトピックと、福祉の社会的な仕組みについて考察する。本講義が特にとりあげるのは、お金がなかったり身体が動かなかったり住む場所がなかったりする人も大変だということであり、そういった人の役に立つ制度も大切だということである。	
到達目標	第一に、そもそも現代社会の福祉にはどのような対象があるのか、そしてどのような活動が行なわれてきたのか、行なわれているのか、これらについて知る。第二に、それらをとりまく社会的条件を知る。第三に、それらについて事実をふまえて論じることができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	通常はレジュメを配布する。参考文献については適宜紹介する。	
成績評価	期末試験85%、レスポンスペーパー15%	
履修資格		

科目名	現代社会論（人間文化）	２単位　後期
担当教員	丸山　真央	
授業概要	現代社会を捉えるうえで、グローバリゼーションのインパクトを考えることは避けて通れない。こうした認識は、この20年ほどの間に、社会学のみならず社会諸科学のなかでおおよそ共通了解を得るにいたっている。我々の生活を見渡してみても、グローバリゼーションと無縁で過ごすことは、ほとんど不可能なのではあるまいか。 本講義では、グローバリゼーションに伴う現代社会の変化の諸相を、理論的かつ経験的に概観し、現代社会を理解する視座を提供する。グローバリゼーションは日本社会の何をどう変えていくのか。映像資料なども利用しながら、この問いに向き合っていきたい。受講者数にもよるが、グループディスカッションを採り入れることもなど考えている。	
到達目標	(1)現代社会のマクロ社会学的な理解の基本と基礎知識を身につける。 (2)現代日本社会の諸現象をマクロな社会変動と関連づけて説明できるようになる。 (3)身近な社会的事象に関心をもち、社会学的な想像力を働かせることができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:田辺俊介編『外国人へのまなざしと政治意識－－社会調査で読み解く日本のナショナリズム』(勁草書房、2011年) 指定図書:梶田孝道編『新・国際社会学』(名古屋大学出版会、2005年)、コーエン＆ケネディ『グローバル・ソシオロジーⅠ・Ⅱ』(平凡社、2003年) 参考書:授業中に紹介する。	
成績評価	小課題(60%)、期末レポート(40%)	
履修資格		

科目名	現代中国論	２単位　前期
担当教員	横田　祥子	
授業概要	2012年、尖閣諸島領有問題が紛糾し、日中関係は国交正常化以来、最悪の状態に陥ってしまった。この問題は、20世紀の東アジア諸国とアメリカとの国際関係のなかに起源を求めることができるのだが、往々にして日中双方の軍事拡張と結びつけて捉えられがちである。私たちが、21世紀の東アジアのあり方を認識し、平和的で友好的な国際関係を取り結ぶためには、20世紀からの歴史の連続性の中に現在を捉える必要がある。そこで、本授業では現代東アジア世界の中国、台湾、香港と日本を中心に、その政治と社会の歴史的特徴と相互依存関係を解明し、さらに国際環境の東アジアにおける特徴を分析して、政治体制からみた新たな東アジア世界像を検討する。 本講義では、中国、香港、台湾の全体像を把握するために、政治体制や経済政策の変化に関するトピックを取り上げる。またそうした変化が、社会や文化にどのような影響を及ぼしたのかについて、講師のフィールドワーク経験を交えてながら、具体例を示していきたい。	
到達目標	21世紀の中国・香港・台湾と日本のあり方を考えるために、20世紀の東アジアの歴史、国際関係を再認識する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書等は適宜、紹介する。	
成績評価	レスポンスカードによる平常点　20%、期末試験　80%	
履修資格		

科目名	建築計画論	２単位　後期
担当教員	藤木　庸介	
授業概要	世界には建築に対する多用な考え方や表現があり、これらを概観する事は、建築を理論的、且つ、感覚的に理解する上での必須要件と言えよう。本講義では建築に対する議論や設計を巡る思考の助けとなる様な基礎知識、あるいは最低限知っておくべき論理的フレームを“Architectural Design”という言葉の上に広く捉えつつ、これらの知見をわかりやすく解説する。	
到達目標	建築に対する議論や設計を巡る思考の助けとなる様な基礎知識、あるいは最低限知っておくべき論理的フレームを“Architectural Design”という言葉の上において理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	指定教科書：平尾和洋+末包伸吾（編著）『テキスト建築意匠』学芸出版社	
成績評価	小テスト3回により評価。成績への寄与率は小テストの合計を100％とする。 尚、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	建築法規	２単位　後期
担当教員	戸川　勝紀※	
授業概要	法治国家の目的は、正義及び公平の原則に従って、社会を規律し、かつ法的安定性をもたらすことであり、社会秩序を維持し、国民間の利害を調整して国民に経済的・文化的に人間に値する生活を営ませることである。そして、建築基準法は建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。 これらを踏まえて、まちづくり、都市デザイン及び建築のデザインを行うために、建築関係法令の役割及び規制の概説だけでなく、誘導及び取組み方も解説する。また、具体的な事例をもとにまちづくり、都市デザイン及び建築デザインの制限や可能性を解説し、都市、まち及び建物に取り巻く今日的課題と法整備の状況を解説する。	
到達目標	法律制度についての理解を図る。また、建築法規の目的や内容を説明でき、まちづくり、都市デザイン及び建築デザインを考える上で法規制の基礎を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	1　建築関係法令集法令編〈平成25年版〉　国土交通省住宅局　日本建築学会編　技報堂出版 2　イラストでわかる建築基準法　大脇賢次　ナツメ社	
成績評価	毎回講義開始時に前講義内容の小試験を実施する。小試験結果に期末試験の結果も加味して考慮する。（小試験合計60％、期末試験40％） なお、小試験及び期末試験は法令集及び教科書を使用可とする。	
履修資格		

科目名	現場心理学	２単位　前期
担当教員	松嶋　秀明	
授業概要	私たちの日常生活には「当たり前」になっていることがいくつもある。こうした「当たり前」の存在を問い直し、批判的に日常をとらえなおす力を養うことを狙いとする。具体的には「司法領域」における現場をとりあげつつ、そこでとりあげられる諸問題に対して、心理学がどのように迫れるのか、いくつかの立場からの研究例を示しつつ解説する。授業では一方向的なレクチャーだけではなく、受講者同士のディスカッション、種々のワークをとりいれる。積極的な参加を期待する。	
到達目標	司法場面における心理学研究の知見をもとに、主に非行問題を中心にして現象を多重な視点から読み解く視点をみにつける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：	
成績評価	・各授業における発表／貢献(60)　・最終レポート(40)	
履修資格		

科目名	考現学概論	２単位　前期
担当教員	面矢　慎介	
授業概要	生活を捉える基本的方法論としての考現学について解説する。日本において創始された考現学は、生活のありようをとらえる有効な方法であるばかりか、生活実態に即したデザインの発想をうながし、現在まで多くの生活研究者・デザイン実務家によって発展・継承されている。本講義では、考現学の創始者・今和次郎（1888～1973）から現在にいたる考現学的生活研究の系譜を論じ、さまざまの考現学的調査手法を事例を交えて解説する。グループワークによる調査体験、授業期間終了後の個人調査・レポート制作を含む。	
到達目標	実際の調査体験を通して、生活文化をとらえるための考現学的観察・記録の方法と視点を修得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを配布 指定図書：今和次郎『考現学入門』ちくま文庫 参考書：初回授業時に参考文献リストを配布する。	
成績評価	コメントカードとグループワークでの貢献度（寄与率30％）と、個人調査レポート（期末レポート）により評価する。個人調査レポートは授業期間終了後、夏期休暇中に作成し、成績評価への寄与率は70%。グループワークへの参加はそれまでの講義時間数の半分以上を出席した者に限る。	
履修資格		

科目名	考古学	２単位　前期
担当教員	中井　均	
授業概要	考古学とは、過去の人類が残した物質的資料「遺跡」と「遺物」といった土のなかから発掘されたものを対象として歴史を組み立てていく学問である。考古学の独自性は遺構、遺物を実測し、分類することによって人類の残した「モノ」を分析することにある。まずその方法論とこれまでの研究史を学び、さらには考古学研究に必要な関連諸科学を学ぶことによって考古学の基礎を培うこととする。	
到達目標	考古学の方法論を学び、理解すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリント資料を配付する。参考書：講義の中で紹介する。	
成績評価	期末筆記試験　60％ 考古学の方法論と考古学が明らかにした歴史が理解できていること。 レポート等　　40％	
履修資格		

科目名	考古学実習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	定森　秀夫　・　中井　均	
授業概要	考古学における実践的技術習得のための実習である。考古学の研究や学習には、基礎的技術の習得が欠かせない。地下から出土する遺構や遺物はその発掘記録を確実に作成するのが第一段階である。第二段階としては洗浄・修復で、その後、図化等（拓本・実測・写真・製図を含む）の第三段階を経て、初めて客観的資料となる。これら資料を用いて歴史を研究するのが考古学である。将来、考古学的方法を用いて研究・学習を進めるための実践的な技術力を習得する。したがって、小人数で実習を行うため、受講に当っては、将来これらの技術を必要とするものが受講されたい。	
到達目標	考古学の基本的な技術を理解し、身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：	
成績評価	実習成果物としての実測図や拓本等提出資料70％、実習態度等30％	
履修資格		

科目名	考古学実習Ⅱ	１単位　後期
担当教員	定森　秀夫　・　中井　均	
授業概要	考古学における実践的技術習得のための実習である。考古学の研究や学習には、基礎的技術の習得が欠かせない。地下から出土する遺構や遺物はその発掘記録を確実に作成するのが第一段階である。第二段階としては洗浄・修復で、その後、図化等（拓本・実測・写真・製図を含む）の第三段階を経て、初めて客観的資料となる。これら資料を用いて歴史を研究するのが考古学である。将来、考古学的方法を用いて研究・学習を進めるための実践的な技術力を習得する。したがって、小人数で実習を行うため、受講に当っては、将来これらの技術を必要とするものが受講されたい。	
到達目標	考古学の基本的な技術を理解し、身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:	
成績評価	実習成果物としての実測図や拓本等提出資料70％、実習態度等30％	
履修資格		

科目名	考古学特論Ａ	２単位　後期
担当教員	中井　均	
授業概要	考古学は、過去人類が残した物質的資料としての、「遺跡」と、「遺物」という「モノ」から歴史を分析する学問である。通常、考古学というと、旧石器時代、縄文時代、弥生時代といった文字のない原始時代の歴史を分析するものと思われがちであるが、実は考古学は時代を超えた人類の歴史全体を研究する方法論である。 この特論では、日本考古学のなかで、近年めざましい研究成果のある中世から近世の考古学について、都市、集落、寺院、城館、墓などの遺跡と、そこから出土する様々な遺物について、流通も踏まえて分析をおこなうものである。また、近代以降を対象とした考古学についても触れておきたい。	
到達目標	考古学の方法論を学び、日本の中世・近世の考古学の成果を理解すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリントを配布する。 参考書：講義の中で紹介する。	
成績評価	期末筆記試験　60％　考古学が明らかにした日本の中世・近世の歴史が理解できていること。 レポート等　40％	
履修資格		

科目名	考古学特論Ｂ	２単位　後期
担当教員	定森　秀夫	
授業概要	遺跡・遺構・遺物を研究対象とする考古学の方法論などの概要、および日本考古学の概要を理解することを目的とする。最初に、考古学の基本、考古学の方法論などの概要を講義する。そして、日本考古学の歩みとこれまでの成果を概説する。現在、日本考古学は旧石器時代から現代までを研究対象としている。時代ごとに、考古学の成果と問題点を概説していくが、場合によっては主要な遺跡を取り上げたり、特殊な遺構・遺物を取り上げたりして、それらに関する詳しい内容を講義する。また、適宜スライド・ビデオなどを利用して理解を深める。	
到達目標	1. 考古学の方法論の基本を理解する　2. 日本考古学史と旧石器時代から現代までの日本考古学の内容を理解する　3. 周辺諸国の考古学の成果と比較検討して、アジアの中の日本文化を理解する	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント資料を配布する参考書：授業中に紹介する	
成績評価	講義理解度60％、レポート（小レポート2回・期末レポート）40％で成績評価	
履修資格		

科目名	公衆衛生学	２単位　前期
担当教員	草野　文嗣※	
授業概要	公衆衛生とは，人間の集団を対象とした学問であり技術であり，それを基にした活動である。その目的は，全ての構成員の健康増進・福祉の向上を目指している. そのために，集団の特性を理解し，健康上の問題発掘・解決法・対象の実施のための知識・技術を習得することが重要である. 今後さらに進行するとされる少子化・高齢化の現代社会において，生活習慣病の予防などはじめとして，より良い健康状態の保持が望まれる。この中で，環境保全・食生活の改善の重要性等を十分理解されることを期待する.	
到達目標	・個々人でなく，人間の集団として対象を捉えることを理解できる。 ・社会の変化と人間の健康との関連を説明できる。 ・環境が人間の健康に及ぼす影響を理解し説明できる。 ・健康の保持増進に対して，食生活・食習慣の重要性を理解できる。 ・上記について，現場において実践できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:これからの公衆衛生　社会・環境と健康，田中平三編集，南江堂	
成績評価	筆記試験（90％）、レポート（10％）	
履修資格		

科目名	公衆栄養学	２単位　前期
担当教員	岡本　秀己	
授業概要	地球レベルにおける生態系と食糧問題をの関係を理解したうえで、生態系保全、ヘルスプロモーション、健康増進、疾病予防などをを目的とした公衆栄養活動を学ぶ。そのために必要な健康・栄養問題の現状（社会環境、健康状態、食事、食生活、食環境、諸外国の栄養問題）と課題に関する動向を知り、それらに対応した栄養施策を理解する。	
到達目標	地球レベルでの健康・栄養問題とその解決のための公衆栄養活動が説明できる。 わが国の少子高齢化、長寿社会に対応した健康増進の公衆栄養活動の重要性を理解できる。 個人の食事や食行動・食知識・食スキルの在り方を変容させる方法を身につける。 食品の生産・流通、食料自給率などの食環境を理解できる。 諸外国の食糧・健康における地域間格差を理解できる。 公衆栄養活動の組織づくり、人材育成の重要性を理解できる。 管理栄養士・栄養士の制度の沿革、社会的役割を理解できる。 国民健康・調査調査の沿革、目的、内容、方法を説明できる。 国の健康増進基本方針と地方健康増進計画の関係を理解できる。 食育指針基本計画策定の目的と内容を理解でき、地方食育推進計画の在り方を説明できる。 国際的な栄養行政組織、諸外国の公衆栄養関連計画を理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:八倉巻和子・井上浩一編著「Nブックス　公衆栄養学」 指定図書:「国民健康・栄養の現状」第一出版	
成績評価	期末試験50%、小テスト50％。授業時間数の3分の1以上欠席したものは評価対象としない。	
履修資格		

科目名	公衆栄養学実習	１単位　後期
担当教員	岡本　秀己	
授業概要	人間集団の健康の保持増進のための実践活動の技術の習得と健康管理能力の向上を目指して、栄養指導業務を理解し、実践を通して個人および集団の食生活と栄養状態を把握し、健康づくりに必要な公衆栄養活動のあり方を学ぶ。	
到達目標	集団や地域の調査データを得ることができる。 そのデータを解析し、課題や問題点を見出せる。 公衆栄養マネジメントに従って、目標設定し地域栄養計画を策定することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	福留裕子・北川郁子・八木典子編著「公衆栄養学ワークブック」㈱みらい 参考書:国民健康・栄養の現状、食事摂取基準	
成績評価	レポート50％、課題のプレゼンテーション50％。授業時間数の3分の1以上欠席したものは評価対象としない。	
履修資格		

科目名	構造計画（生活デザイン）	２単位　後期
担当教員	片岡　慎策※	
授業概要	建築物は、機能性、安全性と芸術性を兼ね備えた総合的な創作である。建築物を成り立たせるためには、そこに作用する力の種類と力の流れを把握し、構造材料の特性を活かして架構することが必要である。本講義では建築物に作用する外力の種類と特徴、建築物を構成する構造材料とその特徴およびそれらを活かした架構方法、さらに、小規模木造建物の計画について講義する。	
到達目標	建築物に作用する力の種類と力の流れ、および建築物を成立させるための架構計画の基本につき習得し、小規模建築物を設計する能力を身に着けること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：浅野清昭 著「図説やさしい構造力学」,（学芸出版）	
成績評価	期末試験40％、講義中の中間試験40％、出席20%	
履修資格	なし	

科目名	構造力学Ⅰ（生活デザイン）	２単位　後期
担当教員	片岡　慎策※	
授業概要	建築空間を創造するためには、建築物に作用する力の種類と流れ、および建築物を構成する部材に作用する力とそれに対する架構の挙動を理解することが不可欠である。 ここでは講義を通じて構造力学の入門を計る。	
到達目標	静定構造物を対象とした建築構造力学の知識の習得	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：図説「やさしい構造力学」（学芸出版社）	
成績評価	期末試験50％、講義中の小課題及び出席50％	
履修資格		

科目名	行動論演習	２単位　前期
担当教員	竹下　秀子　・　細馬　宏通　・　松嶋　秀明　・　上野　有理	
授業概要	行動科学や社会科学における問いのたて方や研究方法の実際について学ぶ。身近な生活や地域での人々のかかわりに素材を得て研究テーマを設定するところから、グループ演習を中心に授業を実施する。	
到達目標	質問紙法、検査法、実験法の基本原理を理解し、データの収集や分析、結果の表現や考察までのプロセスを実践的に習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業中に適宜配布、紹介する。指定図書：授業中に適宜紹介する。参考書：授業中に適宜紹介する。	
成績評価	実習の各課題は数名のグループ単位で実施するが、まとめのレポートは受講者が個別に作成する。出席点、授業への参加度（発表含む）を評価に含み(原則50%)、課題ごとのレポート(原則50%)を総合的に判断して決定する。	
履修資格		

科目名	高齢者行動論	２単位　前期
担当教員	中原　純※	
授業概要	「高齢者」と聞いてどういった人々を想像しますか？ おそらく学生の皆さんが想像する以上に、様々な高齢者がいます。認知症、怪我、その他の病気で寝たきりになっている方から、元気に仕事をされている方まで、全てをまとめて高齢者と呼んでいます。授業を通して、様々な高齢者の心理・行動を理解していきます。 具体的には、高齢者の心理・行動は、社会的要因（社会的ネットワーク、ソーシャル・サポート、家族形態など）、心理的要因（生活満足度、モラール、パーソナリティなど）、身体的要因（ADL、IADL、疾病の有無など）、認知的要因（記憶、知能）といった様々な要因の相互作用によって決まります。これらの要因は、医学、看護学、社会学、心理学などの幅広い学問によって明らかにされてきたものですが、本講義では主に心理学（発達心理学、社会心理学）の領域で示されてきた概念を扱います。	
到達目標	高齢者に関する偏見を修正し、様々な高齢者を正しく理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜紹介	
成績評価	理解度確認のための小テスト（70%）、ケースワークの内容（30%）で成績を評価します。全15回の授業内で小テスト（複数回）を行います。欠席して小テストが受けられなかった場合は、その回の得点が0点になりますので、注意してください。	
履修資格		

科目名	国際関係論	２単位　後期
担当教員	菅瀬　晶子※	
授業概要	一般の日本人が中東に抱くイメージは、「地理的にも心理的にも遠い」「危険な紛争地帯」といったところであろう。事実、中東各地では長年紛争が相次いでおり、その代表的存在といわれるのが、パレスチナ・イスラエル紛争である。日本の報道では、宗教紛争というひとことで説明されていることが多いが、実はそれほど単純なものではない。中東地域のみならず、世界各地で起こるあらゆる紛争の根源とつながる、普遍的な問題をはらんでいるのである。 この授業の目標は、パレスチナ・イスラエル紛争を理解するための基礎知識を習得することである。授業で学んだことを土台に、領土や宗教、周辺諸国との共存といった、現在の日本が直面している問題についても考察を広げてゆく予定である。	
到達目標	パレスチナ・イスラエル紛争にかんする正しい知識を得、理解できるようになる。また、解説に頼るのではなく、自分の判断をもってニュースの内容について考える力を養う。また、授業の本題とはそれるが、読みたいと思わせるレポートの書き方についても、折にふれて指導する予定である。	
テキスト 指定図書 参考書	『パレスチナの歴史』、奈良本英佑著、明石書店、2005年。 『イスラエル』、臼杵陽著、岩波新書、2009年。 『パレスチナ』、ジョー・サッコ著、いそっぷ社、2007年。 『新月の夜も十字架は輝く　－中東のキリスト教徒（イスラームを知る6）』、菅瀬晶子著、山川出版社、2010年。	
成績評価	期末試験40％、レポート40％（2回実施予定）、討論などのプレゼンテーション20％の配分で評価する。 授業には毎回出席することが望ましい。授業時間数の3分の1以上欠席した者は、評価対象としない。	
履修資格		

科目名	国際コミュニケーション論	２単位　前期
担当教員	石田　法雄　・　呉　凌非	
授業概要	国家間の対立におけるコミュニケーションの道を探ろうというより、むしろ多文化を体験・理解していく中、ローカルなものの中にグローバルを見いだし、グローバルはローカルの「人間の営み」であるという立場を検証する。コミュニケーションには言語が必要であることは言うまでもないが、文化等の非言語的なものを媒介としたコミュニケーションも模索する。そこには、自己を知り他者を思いやろうとするsympathy, empathyといった教養と資質が求められ、それらを検証する。ゲスト講師を招待する。	
到達目標	言語のみならず文化等様々な形態を媒介として、学生が多文化を体験・理解していくなか、他者を思いやるという国際化において最も重要な教養と資質を身につけ、自ら考えて生き抜く能力を身につけることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配付 参考書：楠根重和「国際コミュニケーション論とは何か：その可能性と到達距離」 岸本英夫『宗教学』 西谷啓治「現代における人間の問題」 アインシュタイン・フロイト『ヒトはなぜ戦争をするのか？』	
成績評価	小テスト・アンケート（20%）、レポート（80%）	
履修資格		

科目名	コミュニケーション論	２単位　前期
担当教員	細馬　宏通	
授業概要	人と人とがことばを使いジェスチャーを交わすとき、ことばやジェスチャーの意味はあらかじめお互いの間に共有されているわけではない。また、意味は発し手から一方的に生まれるのでもない。むしろ受け手の反応によって次々と意味は更新されていくと見るべきである。最近のコミュニケーション理論は、多かれ少なかれ、コミュニケーションをこうした「双方向的」で「絶えず更新される」ものとして考えている。本講義ではこうしたコミュニケーション論の動向について、さまざまな理論を紹介しながら考えていく。	
到達目標	(1)会話分析の基本概念を学ぶこと。(2)ジェスチャー研究の基本概念を学ぶこと。(3)既存のコミュニケーション・モデルを学び、その長所・短所に気づくこと。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:そのつど紹介する。	
成績評価	レスポンスペーパー(50%)と期末レポート(50%)で評価する。	
履修資格		

科目名	古文書演習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	水野　章二	
授業概要	歴史研究の素材となる史料には、古文書・古記録・木簡・金石文あるいは絵画史料など、多種多様なものがあるが、特に古文書はその中心的位置を占める。史料全体に対する関心と理解を深めるとともに、主として古代・中世の古文書をとりあげ、研究の基礎となる文書読解力を養う。そして文書の様式・形態・機能などの基本を学習し、あわせて文書の作成された時代・社会の特質を考える。なお授業では、古文書の写真コピーを使用する。	
到達目標	古代・中世の古文書の基礎的知識を身につけるとともに、当時の文字・文体に慣れ、読解できるようにする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考書:佐藤進一『古文書学入門』(法政大学出版局)	
成績評価	授業における発表により評価する。	
履修資格		

科目名	古文書演習Ⅱ	１単位　後期
担当教員	東　幸代	
授業概要	本演習のねらいは、近世・近代の古文書の解読を通して、くずし字解読の基礎能力を身に付けることにある。あわせて、文献史料読解能力の向上と、近世・近代社会に対する理解の深化を目指す。	
到達目標	漢字の部首のくずし方をマスターする。	
テキスト 指定図書 参考書	くずし字辞典の使用が望ましい。授業中に指示する。	
成績評価	宿題50％　期末試験50％　授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。	
履修資格		

科目名	サステナブルデザイン論	２単位　前期
担当教員	南　政宏	
授業概要	大量消費、大量生産によって経済発展を遂げ、支えられてきた二十世紀。現在、その豊かさの代償に様々な弊害や歪みが起きている。様々な仕組みを見直す時がきている。デザインの力がどのように社会に貢献できるのか考察する。持続可能な社会にサステナブルなものづくりやデザイン、社会システムのあり方を先端事例を交えて考える。	
到達目標	デザイナーの職能と、デザインの責任、デザインの可能性についての知識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	特になし。	
成績評価	必要に応じて小レポートを課する。	
履修資格	特になし	

科目名	サブカルチャー交流論	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	本授業は、サブカルチャーに焦点を当て、日常生活においてファッションや音楽などの行為がもつ可能性を考えることをテーマとする。授業は、テキストに沿っておこなう前半部（基本編）と、70年代以降、世界的なムーヴメントとなったヒッピー・ムーヴメントの日本での受容について考えていく後半部（応用編）からなる。授業を通して、テキストから学んだ議論を現実に適用する「応用力」と、その議論の有効性を吟味する「洞察力」のふたつを磨くことをねらいとする。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	サブカルチャーが日常世界においてもちうる力を理解する。また、サブカルチャーにまつわる文化人類学やカルチュラル・スタディーズの基礎理論を理解することを到達目的とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト クリス・ロジェク著／渡辺潤・佐藤生実訳『カルチュラル・スタディーズを学ぶ人のために』（世界思想社、2009年） なお、参考書は授業で適宜指示する。	
成績評価	レポートで成績評価する	
履修資格		

科目名	産業心理学	２単位　前期
担当教員	滑田　明暢※	
授業概要	私たちは消費者や雇用者として、産業と密接に関わりながら生活をしている。そのため、人の心や行動の理解を促す心理学的研究の知見が重要となる場面は多い。産業社会において個々人がより生き生きと暮らしていけることを目指し、本講義では、消費者行動、作業の能率と快適性、生活とキャリア、職場の人間関係などに関わる心理学的知見を学ぶ。講義の最終回は、学んだ知見と自身の生活とのつながりを考える機会としたい。	
到達目標	産業心理学に関わる事象に対して自分なりの意見や見解をもち、その意見や見解を文章の形で表現することができる。産業心理学の知見（授業で身に付けた知識や考え方）と自身の生活との関連を文章で表現することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特になし（毎回の授業時にプリントを配布） 指定図書、参考書：授業の流れに応じて適宜紹介する	
成績評価	毎回の授業のコミュニケーションペーパーの提出（30％）とレポート課題（70％）を基に成績評価を行う。レポート課題は、授業期間内に2つ出題される。成績評価の詳細（コミュニケーションペーパーの内容とレポート課題の評価基準）については初回の授業にて説明を行う。	
履修資格		

科目名	色彩学	２単位　前期
担当教員	宮本　雅子	
授業概要	現代は生活の質が求められる時代となり、生活のさまざまな場面で色彩の果たす役割は大きくなっている。しかし、騒色という言葉があるように色彩が人に悪影響を及ぼすこともある。そこで、生活デザインにおける快適な色彩計画のための基礎知識を得ることをねらいとし、色の表示方法や色彩調和論等について講義する。	
到達目標	色彩の表示方法について習得する。色彩計画のための基本的な知識を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「カラーコーディネーター入門　色彩」、副教材として「新配色カード199a」を使用 参考書:授業時間内に適宜紹介	
成績評価	課題15%、小テスト30%、期末試験40%、レスポンスペーパー15%	
履修資格		

科目名	色彩学演習	１単位　後期
担当教員	宮本　雅子	
授業概要	色彩感情や調和理論についての認識を深めるためにポスターカラーやパーソナルコンピュータによる画像処理を利用した色彩表現を行う。また、すべての色はシステム化された記号や数字で示し、各種色度図上に表現できることを理解するため機器類を使用して測色を行う。さらに、色彩による視認性の程度や視覚障害者への配慮事項についても理解する。	
到達目標	感覚のみではなく理論に基づいた色彩計画ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:配色カード 使用参考書:「デジタル色彩マニュアル」「建築の色彩設計法」等、演習の中で適宜紹介	
成績評価	プレゼンテーション30%、課題作品70%、課題の提出期限は厳守(授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない)	
履修資格		

科目名	嗜好と調理実習Ⅰ	１単位　後期
担当教員	山崎　英恵※	
授業概要	食材を衛生的かつ安全に、栄養素等の損失を少なく、無駄なく美味しく調理し、楽しい食卓を演出するにはどうすればよいかを実習を通じて学習する。また、毎回実習したものが「一食の献立」として栄養的にバランスよくなるにはどうしたらよいかを考える。調理の基本を経験的に学習することで、2年次以降の専門科目学習に役立つ基礎知識や技術を習得できる授業を展開していく。	
到達目標	基本的な調理技術を確実に習得し能率のよい調理操作ができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『基礎調理実習』(化学同人)、プリント配布 参考書:『調理と理論』(同文書院)	
成績評価	調理遂行能力(調理前準備・片付け・調理工程の手際・衛生管理・盛り付けを含む完成品の出来栄え・失敗のリカバリ能力・アイデア等)40%、課題献立評価40%、レシピカードの評価20%　授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格		

科目名	嗜好と調理実習Ⅱ	１単位　前期
担当教員	浦部　貴美子　・　廣瀬　潤子　・　金納　三利※　・　佐野　文彦※　・　田中　理愛※	
授業概要	「料理をすること」は食品をおいしく食べるために人が得た技術である。栄養的でしかも嗜好にあった料理を提供することは重要なことである。本実習では、調理操作による食品の変化を観察し、その科学的根拠を理解する。また、日本料理・西洋料理・中華料理など種々の調理実習を通して、目的にあわせた調理に応用できる技能を養う。特に、日本料理・西洋料理・中華料理では、プロ料理人の講師による実習指導を行い、技、コツを体得し、料理の配色、盛りつけ方など総合的に学ぶ。	
到達目標	(1)実習した種々の調理を応用し新しい調理が作成できる。 (2)献立作成時の調理構成を考えることができる。 (3)調理にともなう現象を食品の理化学的な変化として捉え理解することができる。 (4)盛りつけ、色彩調和などを含めた総合的な食事の提供が習得できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:なし、プリントを配布する。 参考書:「調理と理論」(同文書院)	
成績評価	各回の実習レポートで評価する。(100%) ※授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	時事英語	２単位　後期
担当教員	外狩　章夫	
授業概要	この授業では、マスメディアから抽出した様々な分野(環境、教育、社会、政治、経済、司法、科学・テクノロジー、医療・健康)の英文ニュース記事を材料にします。記事の背景を補い、記事を理解した後は、音読とシャドーイングのトレーニングを通して時事英語表現(語彙、構文等)に親しみます。	
到達目標	時事英語表現に慣れることによって、英語資格検定(実用英語検定、TOEIC等)に向けて英語語彙を増強したり、構文・表現を補強したりすることができる。あわせて、リスニングに必要な集中力を養成することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト 松本　茂監修『速読速聴・英単語 Core 1900, ver. 4』(Vocabulary Building x Rapid Reading & Listening, ver. 4), 増進会, 2011. 参考書・参考資料等 小野田榮、Lucy Cooker, BBC WORLD: Understanding the News in English 2. (『英語でBBCニュースがわかる―その2』) 金星堂, 2005.	
成績評価	半期で5回のディクテーション・テスト(20点×５＝100点)を実施し成績を出します。	
履修資格		

科目名	自然地理学	２単位　後期
担当教員	宮本　真二※	
授業概要	現在私たちが目にする自然環境は，長い地球の歴史と，人間の自然への働きかけで形成されてきました．また環境問題への関心の高まりによって，自然環境を対象とした観光(エコ・ツーリズム)さえも成立するようになってきました．授業では「変化しつづける自然と人間活動」に焦点をあて，地理学の中の位置づけとともに，その基礎的な「しくみ」の自然地理学的理解を目的とします．とくに，自然環境のなかでも，世界各地の過去数十万年間における地形や植生，さらには，気候変遷と人間活動との関係性について検討します．	
到達目標	日本列島および世界の代表的な「自然のしくみ」の基本的理解が可能となること．	
テキスト 指定図書 参考書	山本紀夫・稲村哲也(編)『ヒマラヤの環境誌』八坂書房．水野章二(編)『中世村落の景観と環境―山門領近江国木津荘―』，思文閣出版．日下雅義(編)『地形環境と歴史景観』，古今書院．安田喜憲『環境考古学事始め』，NHK出版．水野章二編『琵琶湖と人の環境史』，岩田書院，27-40。	
成績評価	レスポンス・ペーパー(50%)レポート(50%)	
履修資格		

科目名	実践英語演習Ａ	１単位　後期
担当教員	石田　法雄	
授業概要	学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す必修科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。	
到達目標	TOEICのスコアが入学時より上昇していることを求める。 ＊12月TOEICテスト(IP)を受験 到達目標の一例(入学時400点前後の学生の場合): 1年次末:450～600点 2年次末:550～700点 3年次末:650～800点 4年次末:730～900点	
テキスト 指定図書 参考書	ALC NetAcademy2初中級コースプラス	
成績評価	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。	
履修資格		

科目名	実践英語演習Ｂ	１単位　前期
担当教員	小栗　裕子	
授業概要	学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す必修科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。	
到達目標	達成目標の一例(入学時400点前後の学生の場合): 2年次末:550～700点 3年次末:650～800点 4年次末:730～900点	
テキスト 指定図書 参考書	ALC NetAcademy2　スタンダードコース	
成績評価	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。	
履修資格		

科目名	実践英語演習Ｃ	１単位　後期
担当教員	山本　薫	
授業概要	学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。	
到達目標	達成目標の一例(入学時400点前後の学生の場合): 2年次末:550～700点 3年次末:650～800点 4年次末:730～900点	
テキスト 指定図書 参考書	ALC NetAcademy2スタンダードコース　　＊12月TOEICテスト(IP)を受験	
成績評価	単位は学習時間とその進捗状況により認定される	
履修資格		

科目名	実践英語演習Ｄ	１単位
担当教員	外狩　章夫	
授業概要	学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）: 3年次末:650～800点 4年次末:730～900点	
テキスト 指定図書 参考書	ALC NetAcademy2スーパースタンダードコースを使用する。	
成績評価	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。	
履修資格		

科目名	実践英語演習Ｅ	１単位　後期
担当教員	石田　法雄	
授業概要	学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）: 3年次末:650～800点 4年次末:730～900点	
テキスト 指定図書 参考書	教材;ALC NetAcademy2スーパースタンダードコース	
成績評価	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。	
履修資格		

科目名	実践英語演習Ｆ	１単位　前期
担当教員	ジョン・リピー	
授業概要	学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。 【2015年度より開講開始科目】	
到達目標	達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）: 4年次末:730～900点	
テキスト 指定図書 参考書	ALC NetAcademy2スタンダードコース・スーパースタンダードコース	
成績評価	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。	
履修資格		

科目名	実践英語演習Ｇ	１単位　後期
担当教員	小栗　裕子	
授業概要	学生がe-learning の教材ALC NetAcademy2を用いて、TOEIC対策に取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEICスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。 【2015年度より開講開始科目】	
到達目標	達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）: 4年次末:730～900点	
テキスト 指定図書 参考書	ALC NetAcademy 2 スタンダードコース・スーパースタンダードコース	
成績評価	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。	
履修資格		

科目名	実践英語対策講座a	２単位　前期
担当教員	外狩　章夫	
授業概要	まず、TOEICのPart Ⅰ ～ Part VIIの試験内容、試験時間、出題形式について例題を用いて解説する。それによって、この資格試験で扱われている出題範囲と英語力を把握する。2回目以降は、基本語彙を確認しながら、TOEIC形式に沿って分野別・場面別の表現に親しむ練習を積む。途中でe-learning による学習法やディクテーション作業を通してTOEIC対策を示すこととする。授業では実際にTOEIC形式の練習問題解いていくが、前半ではリスニングに必要な集中力の養成ができる。また後半では速読力の養成ができる。そのためには特に、テキストのリスニングの音声はダウンロードして、しっかり予習・復習をしてもらいたい。	
到達目標	この授業では、英語資格検定の中でも特にTOEICを対象にして、その受験対策と学習方法を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト 水本篤, Mark Stafford（著）, Successful Keys to the TOEIC Test 2 (2nd edition)『レベル別TOEICテスト総合トレーニング2』（第2版）. 桐原書店, 2007.	
成績評価	期末試験 (Half-TOEIC)＝100％　ただし、全授業回数の2/3以上の出席がない場合は評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	実践英語対策講座ｂ	２単位　前期
担当教員	ジョン　リピー	
授業概要	まず、TOEICのPart Ⅰ ～ Part VIIの試験内容、試験時間、出題形式について例題を用いて解説する。それによって、この資格試験で扱われている出題範囲と英語力を把握する。2回目以降は、基本語彙を確認しながら、TOEIC形式に沿って分野別・場面別の表現に親しむ練習を積む。途中でe-learning による学習法やディクテーション作業を通してTOEIC対策を示すこととする。	
到達目標	この授業では、英語資格検定の中でも特にTOEICを対象にして、その受験対策と学習方法を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト Barron's TOEIC (5th edition) with audio CD, by Lin Lougheed (2010)ISBN-13: 978-1-4380-7019-3 (ISBN-10: 1-4380-7019-5).	
成績評価	Grades are based on attendance and class participation (20%), homework assignments and class quizzes (40%), and a final TOEIC examination (40%).	
履修資格		

科目名	質的データ解析論	２単位　後期
担当教員	武田　俊輔	
授業概要	社会調査法のうち、「量的調査法」に対して「質的調査法」として総称されるデータの収集方法と分析方法について、それぞれの方法に基づく優れた既存研究や、担当者個人の研究を例に挙げて、どのような方法がどのように研究に生かされているかを明らかにする。と共に、実際にそれぞれの調査・分析方法に関してレポート課題を与え、成果を提出してもらう。データの収集・分析方法の単なるマニュアルでなく、調査に至るまでの準備や、調査を通じて適切な問いを立ち上げるプロセスに踏み込み、質的調査の方法を習得することを目的とする。	
到達目標	この科目は社会調査士資格を取得する際に必要となる科目であり、社会調査実習や卒業論文の執筆において必要となる質的調査を行う際に必要なスキルを習得することと同時に、社会調査士に値する調査能力を身につけることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：宮内泰介,2004,『自分で調べる技術　市民のための調査入門』岩波書店. 参考書：佐藤郁哉,2008,『質的データ分析法　原理・方法・実践』新曜社. 谷富夫・山本努編著,2010,『よくわかる質的社会調査　プロセス編』ミネルヴァ書房	
成績評価	中間レポート4回（第1回10％、第2回20％、第3回30％、第4回10％）、期末レポート30％	
履修資格		

科目名	疾病と栄養	２単位　前期
担当教員	矢野　仁康	
授業概要	病態評価のための診察の仕方、症候のみかた、臨床検査のみかた、疾患治療の概要などを理解する。 各種疾患の発症後の病状の進展、増悪、合併症の併発の過程を学び。各々における重症度判定、病期分類の基本と考え方、それらに基づいた薬物治療、外科療法、食事療法、運動療法の理論と実践について講義する。	
到達目標	疾患の病態とその評価方法、治療について理解、修得することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：竹中優ほか「疾病の成因、病態、診断、治療」医歯薬出版株式会社	
成績評価	期末試験80％、出席その他20％ （授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない）	
履修資格		

科目名	疾病の成り立ち	２単位　前期
担当教員	矢野　仁康	
授業概要	疾病とは何か、人はいかにして病気を発症するかを学ぶ。様々な疾患において内因性要素、外因性要素の関わりを理解し、発症から病態形成の過程を学ぶ。いわゆる生活習慣病や栄養代謝疾患、消化器疾患、免疫アレルギー疾患、感染症等について、その発症の過程、診断方法などを講義する。各種疾病を理解すると共にそれらに対する臨床医の考え方、方法論を理解することが求められる。	
到達目標	疾病の発症、病理、病態について理解、修得することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：竹中優ほか「疾病の成因、病態、診断、治療」医歯薬出版株式会社	
成績評価	期末試験80％、出席その他20％ （授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない）。	
履修資格		

科目名	社会・経済政策論	２単位　前期
担当教員	木下　ちがや※	
授業概要	本講義では、戦後日本の原子力発電の導入と発展の過程を中心に、その政治的、経済的背景を論じていく。アジア・太平洋戦争の敗北という壊滅的な打撃を経て、戦後の日本は「平和国家」として出発することになった。二つの原爆の投下は戦後の日本国民に強烈な「核アレルギー」をもたらすことになった。にもかかわらず、なぜ日本は50数基もの原子力発電を有することになったのか？この歴史的背景を、冷戦と高度成長、開発主義という文脈から考えていくことが、この授業の目的である。	
到達目標	原子力というテーマをつうじて、戦後日本の政治的、経済的な性格の特殊性を理解していくことが目標。	
テキスト 指定図書 参考書	特に指定はしないが、以下の文献をもとに、授業を行っていく。 吉岡斉『原子力の社会史―その日本的展開』、朝日新聞出版、2011年 吉岡斉『原発と日本の未来―原子力は温暖化対策の切り札か』、岩波ブックレット、2011年 海渡雄一『原発訴訟』、岩波新書、2011年 朝日新聞特別報道部、『プロメテウスの罠―明かされなかった福島原発事故の真実』、朝日新聞社、2012年	
成績評価	期末にテストまたはレポート。	
履修資格		

科目名	社会学演習	２単位　前期
担当教員	大橋　松行　・　丸山　真央　・　中村　好孝	
授業概要	この演習では、「社会と人間」という視点から、人間関係を理解・認識するための「見る眼」と「問題を発見する能力」を習得することを狙いとする。問題意識を明確にし、共通の理解を深めるために、下記の授業計画に沿って、参加者はグループに別れ、各グループで発表者、司会、コメンテーターの役割を分担して演習を進める。発表者はレジュメを作成して報告し、それについて全員で討議する。発表・論議が完了した後、発見された問題点、共有された見解についてレポートを作成し、提出する。	
到達目標	①人間関係の時間的変化と空間的・領域的差異を理解し認識することができる。②恋愛や家族、ジェンダーといった身近な社会現象について、歴史をふまえて考察できるようになる。③社会の構造と変動を捉える基礎知識と視点を獲得し、現代日本社会の諸問題を社会学的に捉えることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:使用しない。プリントを配布する。参考書:その都度紹介する。	
成績評価	レポート100％（大橋34％、中村33％、丸山33％）	
履修資格		

科目名	社会学概論	２単位　前期
担当教員	武田　俊輔　・　大橋　松行　・　細馬　宏通　・　丸山　真央　・　中村　好孝	
授業概要	本講義は、社会学の基本的な思考方法、基礎概念、研究方法について概説し、あわせて社会学の主要分野の入門的な講義を行うものである。	
到達目標	社会学の基本的な思考方法を理解し、基礎概念を修得することで、社会現象を社会学的に理解することができるようになる。また社会学の主要分野の成り立ちと今日的争点を知ることで、様々な社会現象への関心を深める一歩を獲得することができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:なし。毎回レジュメ等を配布する。指定図書:ギデンズ『社会学第5版』（而立書房、2009年）、友枝敏雄他編『Do!ソシオロジー』（有斐閣、2007年）、塩原良和・竹ノ下弘久編『社会学入門』（弘文堂、2010年）	
成績評価	第2回～第4回・第5回・第10回は毎回の小レポート（37％）、第8回終了後に中間レポート（21％）、最終レポート（42％）。授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格	特になし	

科目名	社会学史	２単位　前期
担当教員	中村　好孝	
授業概要	これまでの社会学の歴史について、社会学誕生以前の社会思想、近代に生まれた社会学、現代展開中の社会学の三期に分けて、主要な理論の概要とそれらの展開について学ぶ。社会学の歴史を学ぶことがなぜ大切なのかといえば、本講義でとりあげる社会学的な構え・方法態度は、今でも通用するからである。最低限の教科書的な知識は学んでほしいけれども、同時に、これまで私が社会学を勉強することで「なるほど、そういう見方があるのか」と目を見開かされた部分を中心に話したい。	
到達目標	「社会学」の歴「史」の講義であるが、昔の社会学について学ぶだけでなく、一通りの社会学的な発想について身につけることも同じくらいに重要な目標として設定する。第一に、社会学の歴史について一通りの知識を得る。第二に、自分が今生きている社会について、社会学的に考えるための思考方法を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:伊奈正人・中村好孝著『社会学的想像力のために』(世界思想社)、デヴィッド・ハーヴェイ『〈資本論〉入門』(作品社)	
成績評価	期末試験100%	
履修資格		

科目名	社会心理学（人間関係）	２単位　前期
担当教員	柿本　敏克※	
授業概要	社会的影響の心理学というテーマで講義を行なう。社会心理学の目的は、社会の中での人間の思考・行動・態度について法則を追求することである。多くのテーマの中から、説得、同調性、服従、他者存在の効果などを取り上げ、これらの諸領域を社会的影響という観点から統一的に論じる。 人のもつ社会性の諸様相が理解できるであろう。	
到達目標	社会的影響についての認識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:【必須】白樫三四郎(編著)『社会心理学への招待』ミネルヴァ書房 指定図書:R. B. チャルディーニ『影響力の武器[第二版]−なぜ、人は動かされるのか』誠信書房	
成績評価	小レポート30%, 最終レポート70%　(15回の授業のうち3分の2以上出席したものを評価の対象とする。)	
履修資格		

科目名	社会精神医学	２単位　前期
担当教員	久保田　泰孝※　・　清水　光恵※	
授業概要	友達も話し相手もなく、ずっと孤立していたらそれだけで鬱になってしまいそうですし、また一方で人間関係がわずらわしく、どこかに消えてしまいたいと思うことは誰にもあるかもしれません。現代社会から受けるストレスは高まる一方であり、「こころの病気」になる人が増え続けていると言われもします。こうした状況の中で重要となる、社会と「こころを病む人」の関係を問い直す試みとしての社会精神医学の可能性について集中して検討して行きましょう。	
到達目標	精神医学全般についての知識を広く学習する。今日いかなる社会精神医学的な観点が可能であるのかについて各自が自分なりの見解を持つ。映像資料などをもとにアクチュアルな問題について討議する。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布・適宜紹介	
成績評価	授業・討論への参加度30%、レポート70%	
履修資格		

科目名	社会調査実習	１単位　前期
担当教員	市川　秀之　・　武田　俊輔　・　中村　好孝	
授業概要	社会調査に必要とされる実践的能力の習得をめざして、受講生全員が個々人であるいはグループで、質的調査の企画から報告書の作成まで、全過程をひととおり実習する。具体的には、調査方法のガイダンス、問題の設定、先行研究の精査、調査計画の策定、調査の実施、発表と討論、報告書の作成をおこなう。なおこの実習は社会調査士資格を取得する際に必要となる認定科目である。	
到達目標	①先行研究、統計データ等を収集し精査することができる。 ②調査計画を立案することができる ③調査方法を習得し、調査を実際におこなうことができる。 ④調査成果を発表し、討論することができる。 ⑤報告書を作成することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考書:講義の中で紹介する。	
成績評価	・先行研究、統計データ等の発表内容　10% ・調査計画の発表内容　10% ・適切な調査方法に基づいた調査成果の発表内容　10% ・討論への参加状況　10% ・報告書原稿の内容　60%	
履修資格		

科目名	社会調査方法論	２単位　前期
担当教員	大橋　松行	
授業概要	本講義では社会調査(量的調査、質的調査)の方法について論じるが、その主たる目的を、量的調査の中で最も一般的で基本的な形態である調査票調査の方法について理解することにおく。具体的には、調査企画の設計、調査票の作成、標本抽出と調査の実施方法、データの集計・整理・分析について概説する。特に、調査票の作成については、数人のグループによる実習方式で行うことを考えている。	
到達目標	社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形まで整理していく具体的な方法が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:使用しない。プリントを配布する。 参考書:講義の中でその都度紹介する。	
成績評価	期末試験の成績50%、小レポート50%で評価する。ただし、原則として評価対象者は授業時数の3分の2以上の出席者とする。	
履修資格		

科目名	社会調査論	２単位　前期
担当教員	大橋　松行	
授業概要	社会調査とは、社会事象を人間の社会的生活連関における意味に即して調査することをいう。本講義では、現代社会において社会的現実を知る有力な手段である社会調査の概要、歴史、種類、問題点など、基本的事項を概説するとともに、その意義について考える。	
到達目標	社会調査の意義と諸類型に関する基本的事項が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:使用しない。プリントを配布する。	
成績評価	期末試験の成績50%、小レポート50%で評価する。ただし、原則として評価対象者は授業時数の3分の2以上の出席者とする。	
履修資格		

科目名	社会福祉概論	２単位　後期
担当教員	堀　智久※	
授業概要	本講義は、高齢者、障害者、児童などの福祉に関する個別のトピックをとりあげながら、社会福祉の仕組みについて考察する。とりわけ、本講義では、社会福祉の理念や意義、社会福祉の法体系や制度、サービス等を中心に、社会福祉の基礎を学ぶ。	
到達目標	第一に、現代の社会福祉における福祉の対象と、それらをとりまく社会福祉の法制度が、いかなるものであるのかを理解する。第二に、ニュースや新聞等、身近な社会福祉のトピックに興味をもち、本講義で学んだことを活かしながら現代の社会福祉のあり方について論じることができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:大久保秀子2010『新・社会福祉とは何か』中央法規 参考書:宇山勝儀・森長秀2010『三訂社会福祉概論』光生館	
成績評価	期末試験100%	
履修資格		

科目名	社会変動論	２単位　後期
担当教員	丸山　真央	
授業概要	社会変動論は、数十年、時に百年単位で社会の変化を捉える、社会学の基本的な発想の根幹をなす研究領域である。本講義では、村落・都市・地域社会という具体的な空間や場所をめぐって社会変動がどのように現象し展開したのかを学ぶ。講義は3部で構成され、前半では村落の近代化を、中盤では都市化と都市型社会を、後半では地域社会が直面する変動の諸相を概観する。本講義を通じて、社会変動の基礎理論を学ぶとともに、村落・都市・地域社会に関する社会学的アプローチの基本を身につける。	
到達目標	(1)社会学の基本的な考え方や概念を理解し、社会的な事象を社会変動論の観点から捉えることができる。 (2)身近な社会的事象に関心をもち、自らと関連づけて理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:レジュメを配布する。参考書はそこで適宜示す。 指定図書:日本村落研究学会編『むらの社会を考える』(農文協)、町村敬志・西澤晃彦『都市の社会学』(有斐閣)、『地域社会学講座1～3』(東信堂)、『新版キーワード地域社会学』(ハーベスト社)	
成績評価	小課題(70%)、最終試験(30%)	
履修資格		

科目名	社会問題の社会学	２単位　前期
担当教員	中村　好孝	
授業概要	本講義では、社会問題(社会病理や逸脱とも呼ばれてきた。ひきこもり、いじめ、非行、DV、虐待、犯罪、自殺など)についての社会学的な議論を学ぶ。社会問題については、当事者から・家族から・支援者から・国家からなど、また心理的・経済的など、色々な観点から考えることが可能であるが、社会学も独自の、相当にひねくれた考察を行なってきた。社会学は常識を相対化する点を特長とするところがあり、そもそもひねくれた学問であるけれども、社会問題の社会学には、その特長が分かりやすく表われていると思う。	
到達目標	第一に、社会問題についての理論の展開を知る。第二に、具体的な事例についての社会学的な考察の実際を学ぶことで、社会問題について社会学的な考察を自分でできるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	荻野達史・川北稔・工藤宏司・高山龍太郎編, 2008,『「ひきこもり」への社会学的アプローチ――メディア・当事者・支援活動』ミネルヴァ書房.	
成績評価	期末試験85%、レスポンスペーパー15%	
履修資格		

科目名	住環境設計演習Ⅰ	２単位　前期
担当教員	宮本　雅子　・　佐々木　一泰	
授業概要	初歩的な設計演習の第一歩として住空間や、オフィス、ギャラリー空間など、インテリア空間の設計の課題を行う。その為に必要に応じて、設計の仕方、図面の描き方、模型制作の仕方などを学習する。また随時、具体的な実例の検討を行って設計の参考に資する。	
到達目標	住空間のインテリア設計の基礎的知識を身に付ける。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書・参考書:『コンパクト設計資料集成〈住居〉』(丸善)、『建築デザインの製図法から簡単な設計まで』(彰国社)他、授業内に適宜紹介	
成績評価	課題の成果として提出される図面・模型等およびプレゼンテーションによって評価する。(課題Ⅰ50%，課題Ⅱ50%)なお，単位取得には，すべての課題を提出することが前提条件となる。ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	住環境設計演習Ⅱ	２単位　後期
担当教員	佐々木　一泰　・　藤木　庸介	
授業概要	初歩的な住居設計の次の段階として、第Ⅲ課題では、住居設計演習Ⅳ(3回生)と合同で複数のチームをつくり、それぞれのチームが与えられたテーマのもと、仮設空間を制作する。テーマや規模は年度ごとに決定する。第Ⅳ課題では椅子を制作する事によって、その後の設計における建築構造の基本を理解・考察する。第Ⅴ課題では、初歩的な住居設計として木造住宅の設計を学ぶ。優れた住宅作品に家族構成やテーマを新たに与え、条件にあった住空間を設計・新たに増築する。木造住宅の工法や構造、空間構成を学び、より広い視点で住空間を理解し設計・デザインを行なう。	
到達目標	住居系建築設計の基本的な知識と技術を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『建築デザインの製図法から簡単な設計まで』(彰国社)、『初めての建築製図』(学芸出版社)(住居設計演習Ⅰと共通)『初めての建築設計　ステップ・バイ・ステップ』(彰国社)　指定図書:授業内に適宜紹介する。 参考書:授業内に適宜紹介する。	
成績評価	課題の成果として提出される図面・模型等およびプレゼンテーションによって評価する。(課題Ⅲ(合同課題)100/250，小課題50/250,課題Ⅳ100/250) なお，単位取得には，すべての課題を提出することが前提条件となる。ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	住環境設計演習Ⅲ	２単位　前期
担当教員	佐々木　一泰　・　松本　尚子※　・　吉田　裕枝※	
授業概要	住空間においてより広い視野を養う。 第Ⅴ課題では混構造の住空間を設計する。それぞれの材料の特性を理解し、その特性を十分に引き出した空間を考える。 第Ⅵ課題では、公共性をもつ住空間として保育施設を考える。子供のスケールを観察し、内部・外部空間に反映させる。	
到達目標	住空間を中心とした設計に対する知識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『建築ﾃﾞｻﾞｲﾝの製図法から簡単な設計まで』(彰国社)、『初めての建築製図』(学芸出版社)『初めての建築設計　ステップ・バイ・ステップ』(彰国社)(住環境設計演習Ⅱと共通)『ｺﾝﾊﾟｸﾄ設計資料集成〈住居〉』(丸善)、『ヒルサイドテラスで学ぶ建築設計製図』(学芸出版社) 指定図書・参考書:授業内に適宜紹介	
成績評価	課題の成果として提出される図面・模型等およびプレゼンテーションによって評価する。(課題Ⅴ100/230，課題Ⅵ100/230,合同課題30/230)なお，単位取得には，すべての課題を提出することが前提条件となる。ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	住環境論	２単位　後期
担当教員	宮本　雅子	
授業概要	超高齢社会に突入した今日、建築の分野では高齢者・障害者にとって好ましい住環境について理解することは避けて通れない。そこで、まず高齢社会における住宅の考え方を理解し、高齢者・障害者に対応した住まいの条件について知る。また、住環境の中でも室内の物理的環境である熱、空気、光を取り上げ、人間と物理量との関係から快適な居住環境をつくりだすための条件を導き出すとともに、自然環境を積極的に利用した室内の環境づくりについて講義する。	
到達目標	空間デザインの中に活かせる知識を得ること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布 参考書:「コンパクト建築設計資料集成バリアフリー」「シックハウスを防ぐ最新知識」等、講義の中で適宜紹介。	
成績評価	小テスト30％、レポート10％、期末試験40％、レスポンスペーパー20％	
履修資格		

科目名	生涯学習論	２単位　前期
担当教員	篠原　岳司	
授業概要	知識基盤社会といわれる21世紀の今日，生涯を通した継続的な学習のあり方を模索することは、個人的にも社会的にも現代を生きる私たちの共通課題である。本授業では，人間的および社会的発達を視野に入れた生涯学習の理論と実践、そしてその方法と現代的課題について，ワークショップ型など新たな学習スタイルを用いて学んでいく。	
到達目標	・生涯学習の基本理論、方法論、現状と課題について理解できている。 ・「読む、書く、話す、聞く」の一連のサイクルを他の受講者と協働で経験し、省察的学習の方法論を身につけている。 ・生涯学習の支援者としての理論と方法論を身につけている。 ・小レポート、最終レポートの執筆と検討、そして書き直しを通して、読み手を意識した論理的な文章力を書くことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは指定せず、毎時間資料を配布する。参考文献も適宜紹介する。	
成績評価	3回のレポート(90%)と平常点(レスポンスシート等)で評価する。また、生涯学習の方法を実践的に習得することを目的としているため、評価では講義への出席を重視する。詳しくはオリエンテーションで説明する。	
履修資格		

科目名	消費科学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	向山　泰司※　・　小林　重信※　・　永野　暁※　・　藤本　昌則※	
授業概要	繊維に関する基礎知識（繊維、糸、布地、染色加工）および衣料品の企画・設計・製造に関する基本事項を習得する。	
到達目標	繊維製品の企画および使用に係る問題を考察するための基礎的能力を養う。 望ましくは、繊維製品品質管理士（TES））の資格取得試験における当該科目の問題に対応できる程度の能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：各講師が作成し配布する。参考書　：Webシラバスの追加情報を参照のこと。	
成績評価	期末試験60％　小テスト40％	
履修資格		

科目名	消費科学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	向山　泰司※　・　松尾　繁※　・　藤本　昌則※	
授業概要	消費科学Ⅰに引き続き、繊維製品の品質管理、要求品質とその評価方法並びに家庭用繊維製品の流通・消費過程、消費者苦情・環境問題について学習する。さらに、消費者苦情事例から苦情原因や改善・防止策を考え、論文の実践的な書き方について学習する。	
到達目標	繊維製品、主として衣料品の品質管理の内容並びに流通・消費者問題について理解できるようにする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：各講師が作成するテキストを配布する。 参考書　：Webシラバスの追加情報を参照のこと。	
成績評価	期末試験60％　小テスト40％	
履修資格		

科目名	消費者行動論	２単位　前期
担当教員	宮尾　学	
授業概要	この授業では，消費者の行動を調査・分析するためのフレームワークを学びます。企業が効果的・効率的にマーケティング活動を行うためには，消費者の行動を理解する必要があります。その消費者の行動を理解するための様々な分析枠組みを研究するのが消費者行動論です。この授業では，実際のビジネスにおいて消費者の行動を調査・分析することができるように，消費者行動のモデルを理解することを目標とします。	
到達目標	実際のビジネスにおいて消費者の行動を調査・分析することができるように，消費者行動のモデルを理解することを目標とします。	
テキスト 指定図書 参考書	教科書： 杉本徹雄（2012）『新・消費者理解のための心理学』福村出版 参考書： 平久保仲人（2005）『消費者行動論』ダイヤモンド社 田中洋（2008）『消費者行動論体系』中央経済社 田中洋・清水聰（2006）『消費者・コミュニケーション戦略』有斐閣 上田拓治（2010）『マーケティングリサーチの論理と技法［第4版］』日本評論社 Blackwell, R. D., P. W. Miniard, and J. F. Engel (2005) Consumer Behavior 10th ed., Mason, OH: South-Western.	
成績評価	期末試験60%，授業中の課題40%で評価します。	
履修資格		

科目名	消費生活論	２単位　後期
担当教員	青谷　実知代※	
授業概要	消費者の自立とその消費生活のあるべき姿。 現代の経済社会において、極めて複雑化、多様化、大型化している消費者問題発生の背景要因など、さまざまな側面を体系的、具体的にとらえ考察を行う。安全で豊かな消費生活を確立するため、教育、行政、企業および消費者それぞれのあるべき姿に言及し、諸外国の状況と我が国との比較に関しても講述する。さらに、現代的緊急課題についてもふれる。	
到達目標	個人的、社会的ライフスタイルを主体的に形成するため、生活の価値の選択、枠組みと意思決定能力を開発する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布。参考書：授業の中で紹介する。	
成績評価	期末試験（60％）、レポート（20％）、小テスト（20％）で評価する	
履修資格		

科目名	食品衛生学	２単位　後期
担当教員	浦部　貴美子	
授業概要	飲食物に起因する危害を防止し，健康保持・増進を図るための原理を講義する。食品は人間にとって生命源であるが，健康を損ねる原因になることもある。本講義では，本来あるべきでない食品を本来の姿に保ち，飲食物による危害を防止する手段を理解してもらうことを目的とし、①食品衛生行政と法規②食品の変質と防止法③食中毒の現状とその原因・対策④食品による感染症・寄生虫症⑤有害物質による食品汚染のしくみ⑥食品添加物⑦器具・容器包装の安全性⑧国、企業、個人における食品衛生管理などについて説明する。	
到達目標	食品衛生とはどのような学問なのか，また食の安全を守るためにはどのような知識や技術が必要とされるのかを概観することができる。さらに、食品の生育・生産から、加工・調理を経て、人に摂取されるまでの過程において、人体に対する安全面への影響や評価を理解することを目標とするため、受講生は、国および個人における食品衛生対策、食中毒の現状とその原因、食中毒発生を予防するための方法、食品の変質とその防止、有害物質による食品汚染のしくみなどの知識を身につけることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：熊田・後藤・桜井編著「栄養管理と生命科学シリーズ　食品衛生の科学」（理工図書） 参考図書：講義中に紹介する。 その他、適宜プリントを配布する。	
成績評価	期末試験評価50％、授業中に実施する小試験評価50％ (授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。)	
履修資格		

科目名	食品衛生学実験	１単位　後期
担当教員	浦部　貴美子　・　森　紀之	
授業概要	食品の安全性確保の重要性を実際に試験をすることにより学ぶ。安全性に関わる試験・検査法における基本的な原理や方法の概要を理解するため、項目として、主に生菌数や大腸菌群の微生物を中心とした衛生微生物試験，着色料、保存料などの食品添加物試験、さらに食品の変質をみる安全性試験などを行う。	
到達目標	食品衛生における微生物に関する一般生菌数試験法や大腸菌群試験法，食品添加物検出の分析法の概略，油脂の変質に係わる試験法の原理などが理解できる.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：中村好志・松浦寿喜　編著「健康と食の安全を考えた食品衛生学実験」（アイ・ケイコーポレーション発行） その他、適宜プリントを配布する。	
成績評価	レポート評価100％　（レポート4回提出、それぞれの評価25％） 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	食品学総論	２単位　前期
担当教員	柴田　克己	
授業概要	生命の維持，健康の維持，生活習慣病予防のための情報が氾濫している．正しい情報と誤った情報を判断する力が必要である．厚労省策定の「食事摂取基準」は，健康な個人または集団を対象とし，国民の健康の保持・増進，生活習慣病の予防を目的としたエネルギー及び各栄養素の摂取量の基準を示すものである．栄養素の摂取不足による栄養欠乏症予防に留まらず，生活習慣病予防のための摂取栄養素等が，年齢別，性別にわけて記載されている．個々の日本国民の健康を守る根本的な情報源である．正しい情報と誤った情報を判断するのに必要最低限の知識を学ぶ．	
到達目標	個人レベルにおける食の倫理の大切さを考える	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：日本人の食事摂取基準（2010年版）指定図書：なし参考書：なし	
成績評価	期末試験80％，レポート20％	
履修資格		

科目名	食品加工実習	１単位　後期
担当教員	灘本　知憲　・　浦部　貴美子	
授業概要	実習室レベルで加工食品のいくつかを製造するとともに、大規模製造工場の現場での講義と見学による加工の特徴、衛生・微生物管理をも体験する。なお、実習内容、日程は変更されることがある。特に日程は工場見学、日本酒醸造の具合によって変わる。従って授業計画は単に項目を並べたと理解していただきたい。	
到達目標	食品加工、衛生管理（微生物管理）の原理を実践的に理解するとともに、製造規模による違いも理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：森　孝夫　編著『食品加工学実習書』（化学同人）、プリント配布	
成績評価	レポート100％ ※　授業時間数の3分の1以上欠席したものは評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	食品基礎実験	１単位　後期
担当教員	福渡　努　・　佐野　光枝	
授業概要	実験の心得を十分に熟知した後、実験の目的および食品の分析・解析を行うための分析原理・技術を正しく理解し、基礎的な実験操作を習得する。食品の主成分の定性定量分析を行い、食品の持つ物理的・化学的性質を具体的に認識する。	
到達目標	実験の安全な遂行、実験の予習と準備、実験原理の理解、実験に必要な注意事項の理解、適切な実験ノートへの記録、実験器具の正しい操作、適切なレポートの作成、の全てが行えるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布 指定図書：橋本俊二郎 編「食品学実験」（講談社サイエンティフィク）， 倉沢新一 ほか 著「栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド」（化学同人）	
成績評価	実験準備25％、実験遂行能力25％、レポート50％授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格	規定なし	

科目名	食品機能科学	２単位　後期
担当教員	柴田　克己	
授業概要	我々は，多くの生物を食べることで，健康を維持している．食べることのできる生物を食材とよんでいるが，種々の食材の特徴を理解することで，栄養素ばかりでなく，食材中に含まれる生体機能を調節する生体成分が健康の維持に関与していることを学ぶ．	
到達目標	栄養素の機能と非栄養素の機能を感覚的に理解できること．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：食べ物と健康2（田主澄三，小川正編集，化学同人） 指定図書：基礎栄養学（奥恒之，柴田克己　編集，南江堂），日本人の食事摂取基準（2010年版）	
成績評価	期末試験80％，レポート20％	
履修資格	規定なし	

科目名	食品機能科学実験	１単位　後期
担当教員	柴田　克己　・　佐野　光枝	
授業概要	食品には，健康の維持・増進の基となる栄養素以外の成分，いわゆる非栄養成分も含まれている．非栄養成分の中で栄養素の代謝に顕著な影響を及ぼすものがある．この非栄養成分の作用機構を実体験する．	
到達目標	栄養素の機能と非栄養素の機能を感じ取る．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントをわたす．	
成績評価	レポート70％,実験遂行能力20％,実験準備10％4回以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格	規定なし	

科目名	食品の調理と加工	２単位　前期
担当教員	小川　正※	
授業概要	人は食品から栄養素を体内に取り入れることで生命を維持している。個々の食品の素材から栄養素を安全に美味しく、かつ効率よく吸収できるように摂取するためには工夫がいる。人はそのための一連の操作・技術を確立してきた。これらを調理あるいは加工と呼んでいる。本講義では、調理法や加工技術の基本を、食品素材の構成成分あるいはそれらの集合体としての化学的性質、物理的特性を通して理解すると同時に食生活の実践の場で応用しうる能力を養う。	
到達目標	食品素材の化学的性質、調理・加工特性を理解し、実生活に応用できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：「新ガイドライン準拠・エキスパート管理栄養士養成シリーズ・調理学」化学同人 参考書：「新版　調理と理論」同文書院、「新しい食品加工学―食品の保存・加工・流通と栄養」南江堂	
成績評価	期末テスト（70％）、小テスト（30％）（2/3以上の出席者のみ評価の対象とする）	
履修資格		

科目名	食品微生物学	２単位　前期
担当教員	浦部　貴美子　・　灘本　知憲　・　竹原　宗範　・　福渡　努	
授業概要	食品微生物学は(1)食品の加工、製造に関係する微生物(2)食品保存中の変質をもたらす微生物(3)食品衛生に関係する微生物を対象とする学問である。本講義では，このような微生物についての基礎的な概念や知識を体系的に解説し、さらに食品の品質劣化に関わる微生物の制御や、食品製造における微生物利用について説明する。	
到達目標	(1)食に関わる微生物の種類、生育・代謝の概要を知ることができる。(2)食品との関わりにおける微生物の有害・有用の両側面を理解することができる。(3)食品製造における微生物の利用と制御の方法を理解することができる。(4)微生物における遺伝情報の流れとその利用技術の基礎を理解することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:高見伸治ほか共著:食品微生物学(建帛社) 参考書:村尾澤夫、荒井基夫共編　応用微生物学・改訂版(培風館) ※適宜、参考となるプリント配布	
成績評価	小試験・レスポンスペーパー評価50%、期末試験評価50% 各教員の評価配分は担当授業回数に対応する。 ※授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	食料経済システム論	２単位　前期
担当教員	増田　佳昭	
授業概要	グルメが謳歌される反面，わが国の食料自給率は40%である．食品企業の不祥事が相次ぎ，食の安全性や表示に関する消費者の懸念も強まっている．わが国の食料システムはいまどのような状況にあるのか．望ましい食料経済システムにはどのような要件が求められているのか．本講義では，食料経済システムの現状と問題点を具体的な品目も取り上げながら，多面的な視点から講義する．	
到達目標	(1)わが国の食料需給をめぐる問題点を説明できる。 (2)食品製造業、食品流通業、飲食業から成る食品産業の構成を説明できる。 (3)主要な農産物の流通経路の概要について説明できる。 (4)食料システムが持つ問題点と望ましい姿について自分の意見を述べることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:茂木信太郎『外食産業の時代』、農林統計協会 藤島・安部・宮部『現代の農産物流通』	
成績評価	小レポート40%、課題レポート20%、定期試験40%。	
履修資格		

科目名	人文地理学Ａ	２単位　後期
担当教員	塚本　礼仁	
授業概要	地理学は、地表面で見られる現象が起こる空間的・地域的メカニズムの解明を目指してきた。人文地理学とは、地域の人口、民族、社会・文化、産業、集落(都市・村落)など、人間活動に由来するテーマを分析し、上記の目標にアプローチしようとする分野である。本講義では、人文地理学の基礎理論を紹介し、できるだけ多くの具体例で検証を加えながら、地理的現象の発生および変容のしくみについて考えていきたい。	
到達目標	1．地理学の基礎理論を理解する。 2．地球、世界、日本の地域問題に関する知識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:適宜プリントなどを配布する。 参考図書:授業の中で紹介する。 指定図書:上野和彦・椿真智子・中村康子編著(2007)『地理学基礎シリーズ1　地理学概論』朝倉書店.	
成績評価	ミニレポート:50%　毎回のキーワードなど講義内容を理解しているかどうか確認する。 期末レポート:50%　課題と採点基準は改めて通知する。	
履修資格		

科目名	人文地理学Ｂ	２単位　後期
担当教員	塚本　礼仁	
授業概要	食べ物なら近江米、近江牛、近江茶…、消費財なら信楽焼、彦根仏壇、近江上布…というように、滋賀県にも様々な特産物・特産品が見られる。ただし今日、食料の輸入依存度の上昇と国内第一次産業の弱体化、製造部門の海外移転にともなう国内”ものづくり”の空洞化など、全国各地の「地域産業」を取り巻く状況は大変厳しい。本講義では、こうした地域産業（の産地）の姿を詳細に、かつ多角的につかむことはもちろん、産業を持続させる（させてきた）地域システムについて考える機会も提供したい。	
到達目標	1．日本の食料事情に関する知識を深める。 2．日本の”ものづくり”の現状に関する知識を深める。 3．産業を持続させる地域的なしくみについて理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：適宜プリントなどを配布する。 参考書：授業の中で紹介する。 指定図書：高柳長直ほか編(2010)『グローバル化に対抗する農林水産業』農林統計出版。上野和彦(2007)『地場産業産地の革新』古今書院。	
成績評価	ミニレポート：50％　毎回のキーワードなど講義内容を理解しているかどうか確認する。 期末レポート：50％　課題と採点基準は改めて通知する。	
履修資格		

科目名	心理・発達・行動学実験演習	２単位　前期
担当教員	竹下　秀子　・　細馬　宏通　・　松嶋　秀明　・　上野　有理	
授業概要	人間行動に対する総合的な研究実習を目的とする。1）人間の行動や心の働きを、どのように記号化し、どのように解析することができるか・できないかを、具体的な実習を通じて検討する。2）観察行動自体を制約するヒトの認知・コミュニケーション特性に焦点をあて、これに関する基礎的な心理学実習を実施し、データの扱いを学ぶ。3）行動発達の場である、野外の研究フィールドや教育・福祉関係の実践現場にでかけ、各種観察法を実習する。	
到達目標	行動観察法の基本原理を理解し、データの収集や分析、結果の表現や考察までのプロセスを実践的に習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業中に適宜配布、紹介する。指定図書：授業中に適宜紹介する。参考書：授業中に適宜紹介する。	
成績評価	実習の各課題は数名のグループ単位で実施するが、まとめのレポートは受講者が個別に作成する。出席点、授業への参加度（発表含む）を評価に含み（原則50％）、課題ごとのレポート（原則50％）を総合的に判断して決定する。	
履修資格		

科目名	心理学基礎	２単位　前期
担当教員	竹下　秀子	
授業概要	現代心理学の基本的なテーマについて解説する。人間の行動の仕組みや行動の予測、制御のメカニズム、人間発達の原理や人格形成の理論などをとりあげる。	
到達目標	人間の心の働きへの科学的アプローチが可能なこと、心が人間関係や社会文化のなかで発達進化することを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：長谷川寿一他著『はじめて出会う心理学』（有斐閣）	
成績評価	期末試験（50％）とレポート（50％）等による。	
履修資格		

科目名	スポーツ栄養学	２単位　後期
担当教員	南　和広	
授業概要	スポーツおよび運動療法における栄養の役割と管理方法について学ぶ。スポーツは、非常に多くの種目が存在し，たとえ一つの種目においても活動場面により必要な栄養が異なってくる．運動と栄養の関係を理解しアスリートおよび運動療法への応用を学ぶ。	
到達目標	スポーツおよび運動療法時に必要な栄養管理についてメカニズムを通して理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜指導	
成績評価	小テスト20％，期末試験80％	
履修資格		

科目名	生活栄養論演習Ⅰ	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。 授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。	
到達目標	自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：栄養士・管理栄養士をめざす人の文章術ハンドブック（西川真理子著：化学同人）	
成績評価	レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。	
履修資格		

科目名	生活栄養論演習Ⅱ	２単位　通年
担当教員	学科教員	
授業概要	食生活のそれぞれの分野に関して既存の成果を概観するとともに、各自の卒業論文の作成に必要な文献や資料を集めさせ、また順次に研究の経過を報告させて、論文作成を指導する。	
到達目標	卒業論文作成のための知識の取得および論理的説明能力を身につけることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：適宜指示する指定図書：適宜指示する参考書：適宜指示する	
成績評価	指導教員が初回の講義において説明する	
履修資格	卒業研究・論文と併せて受講する。	

科目名	生活経営論	２単位　後期
担当教員	宮尾　学	
授業概要	この授業では，私たちの生活のマネジメントについて考えます。生活のマネジメントとは，私たちが日々の生活を生き生きとしたものにするための方法を考えることを意味します。生活をマネジメントするための知識を学び，今後の社会生活で必要となる生きる力を身に付けることをこの授業の目標とします。	
到達目標	生活をマネジメントするための知識を学び，今後の社会生活で必要となる生きる力を身に付けることを目標とします。	
テキスト 指定図書 参考書	教科書：臼井和恵（編著）他（2007）『21世紀の生活経営　自分らしく生きる』同文書院	
成績評価	期末レポート60%，生活時間調査課題10%，レスポンスカード30%で評価します。	
履修資格		

科目名	生活指導論	２単位　後期
担当教員	吉田　一郎	
授業概要	わが国における生活指導の歴史を振り返りながら、歴史的に蓄積された生活指導論の教育学的な知見を明らかにし、あわせて今日的な課題について旧名する。 具体的には、戦前の生活指導の取り組み、戦後生活綴り方教育からの知見、戦後「集団づくり」論からの知見を明らかにするとともに、今日生活指導が直面している課題について考察する。	
到達目標	生活指導の概念を理解する。同時に戦前・戦後の日本教育実践史について歴史的な知見を得ること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義中に指示する。 参考書：講義中に適宜指示する。	
成績評価	レポートによって行う。5回以上欠席者は評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	生活造形基礎演習	２単位　前期
担当教員	南　政宏　・　麻谷　宏※	
授業概要	デザインの基礎となる思考法・表現法と構成力等を、実習を通して学ぶことを目的とする。思考から製作に至るまでのプロセスや柔軟な発想を重視する。多くの素材をあらゆる視点から観察し、造形の発想とともに意識の拡大をテーマに取り上げながら、立体造形に関する基本技法を習得させる。	
到達目標	今後、上位のデザイン演習に対応できるよう発想力、企画力、表現力の基礎を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：アイデアのヒント（阪急コミュニケーションズ） 参考書：スウェーデン式アイデアブック（ダイアモンド社） アクリルガッシュ、スケッチブック、クロッキー等が必要。	
成績評価	完成提出作品により評価するただし授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格		

科目名	生活素材論	２単位　前期
担当教員	道明　美保子	
授業概要	生活に多く用いられる素材である繊維に焦点をあて、繊維の種類、構造、性能の概要を解説する。さらに、素材への付加価値の付与として、仕上げ加工、改質加工等の原理と実際についてのべる。ついで、高性能素材としての繊維の最近の進歩について触れ、新しい技術開発を紹介し、素材についての理解を深める。	
到達目標	繊維の種類、構造、性能を理解できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布指定図書:適宜紹介参考書:適宜紹介	
成績評価	レポート評価30%　期末筆記試験70% 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格		

科目名	生活デザイン学外演習	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	地域や社会において、よりよい生活環境を実現するために何が問題なのかを明らかにする。問題に取り組む意識や立場、有効な手法を議論し、その解決方法を検討し、レポートの作成、具体的な提案や発表、制作等を行う。授業は具体的な課題やテーマに即し、フィールドワークを中心として行われる。	
到達目標	地域、社会に関わる問題について専門的視点から分析、考察し、解決・提案できる総合的な生活デザイン能力の習得をめざす。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:授業時間内に適宜紹介	
成績評価	フィールドにおける演習、およびレポート等の提出、発表などにもとづき、学科教員全員の協議により評価する。	
履修資格		

科目名	生活デザイン論	２単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	学科教員の研究内容を概観することにより、住居、道具、服飾の各デザインに関する研究のアプローチについて学ぶ。	
到達目標	住居、道具、服飾の各デザインに関する研究のアプローチについて学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	授業中に適宜指定する	
成績評価	各教員が指示するレスポンスペーパー(60%)　最終レポート(40%)　※授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格	なし	

科目名	生活デザイン論演習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	学生各自の卒業制作・卒業論文に向けて、生活デザインのそれぞれの分野に関して既存の成果を概観するとともに、研究方法、制作方法、調査方法などを修得し、必要な文献や資料を集め、また必要な現地調査などを行うなど、各自の課題や問題に応じて演習を行う。	
到達目標	卒業研究で取り組むべき課題の意義について述べることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書・参考書:授業時間内に適宜紹介する。	
成績評価	調査・研究中間報告、課題発表、レポート・制作物等により総合的に判断する。	
履修資格		

科目名	生活デザイン論演習Ⅱ	３単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	学生各自の卒業制作・卒業論文に向けて、生活デザインのそれぞれの分野に関して既存の成果を概観するとともに、研究方法、制作方法、調査方法などを修得し、必要な文献や資料を集め、また必要な現地調査などを行うなど、各自の課題や問題に応じて演習を行う。	
到達目標	卒業研究で取り組む課題領域についての知識を深め、課題を達成するための研究方法、制作方法、調査方法などを修得する。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書・参考書:授業時間内に適宜紹介する。	
成績評価	調査・研究中間報告、課題発表、レポート、制作物、最終発表等により総合的に判断する。	
履修資格		

科目名	生活法	２単位　前期
担当教員	初谷　良彦※	
授業概要	生命の誕生から死に至るまでの人の一生を通して、出会うであろう具体的紛争を予防あるいは解決するためには、どのようにしたらよいかを学ぶとともに、さまざまな社会現象を法的に解明する。	
到達目標	(1)人生生活と法との関係について理解を深めること。 (2) さまざまな社会問題・現象と法との相関関係について知識を持つこと。 (3)受け身はいけない。大学の図書館等で積極的に予習、復習をすること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:随時紹介する。 指定図書:随時紹介する。	
成績評価	小試験60％(3回)、期末試験40％	
履修資格		

科目名	政治学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	竹本　知行※	
授業概要	政治学の基礎知識を得ることで政治を見る「目」を養う。 人間の社会が存続する限り，「政治」なるものは消えることはない。では，我々が付き合わざるを得ない「政治」とはどのようなものなのか，そして，我々はそれにどう向き合っていけばよいのだろうか。本講義では，テキストを中心に以上の問題について考察を進めつつ，適宜，指定した参考文献なども用いて，先人が政治とその諸テーマについてどのように考えてきたのかについての理解も深める。	
到達目標	現実の政治的問題について、自分なりの見解をもてるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：等松春夫・竹本知行編著『ファンダメンタル政治学』（北樹出版、2010年）	
成績評価	学期末筆記試験100％	
履修資格		

科目名	政治学Ⅱ（国際政治を含む）	２単位　後期
担当教員	竹本　知行※	
授業概要	国際政治学についての基礎知識を得ることで国際政治を見る「目」を養う。 国内政治とは異なる国際政治の特徴とは何か。動的視点から国際政治の変容段階を概観し，現代の国際社会を分析し，日本の国家的課題とは何かを考える。	
到達目標	国際政治の諸問題と日本の課題について、自分なりの見解をもてるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：等松春夫・竹本知行編著『ファンダメンタル政治学』（北樹出版、2010年）	
成績評価	学期末筆記試験100％	
履修資格		

科目名	政治経済学	２単位　後期
担当教員	田中　英明※	
授業概要	わたしたちの生きている経済社会は、市場システムを主軸とするとともに、政治、社会、文化などの諸要素が絡み合いながら成り立っている。本講義は、政治経済学の概略を通じてこの社会の基本的な特徴について考察する。さらに、雇用や近代家族・ジェンダーといった、市場と人間社会とをつなぐ社会関係のあり方に焦点を当てて、現代の社会経済システムの抱える諸問題について検討する。	
到達目標	政治経済学の概要を学び、資本主義経済システムの基礎的な構造や特性について理解する。そして、経済社会の問題を、広い視野で総合的に捉え、考察するための視角やセンスを身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは指定せず、プリントの配布やSTEP-USP等を通じて教材を提供する。 参考図書は、適宜、講義中に指定する。	
成績評価	原則として期末試験によるが、宿題を実施した場合には10％程度まで評価に加味する。	
履修資格		

科目名	生体の構造と機能	２単位　後期
担当教員	矢野　仁康	
授業概要	人体の構造としての骨格系、筋肉系、神経系、循環器系、消化器系、感覚器系、生殖器系の成り立ちを臓器レベル、組織レベル、細胞レベル、分子レベルにおいて理解し、その機能発現の仕方を学ぶ。また、人体の形態、構造と機能の関係を正しく理解できるように、図を用いて人体に関する基礎知識をわかりやすく講義する。	
到達目標	生体の構造と機能について理解、修得することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:佐藤達夫ほか「解剖生理学」医歯薬出版株式会社	
成績評価	期末試験80％、出席その他20％ (授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない)	
履修資格		

科目名	生命科学と人間	２単位　後期
担当教員	柴田　克己	
授業概要	生命の維持，健康の維持，生活習慣病予防のための情報が氾濫している．正しい情報と誤った情報を判断する力が必要である．厚労省策定の「食事摂取基準」は，健康な個人または集団を対象とし，国民の健康の保持・増進，生活習慣病の予防を目的としたエネルギー及び各栄養素の摂取量の基準を示すものである．栄養素の摂取不足による栄養欠乏症予防に留まらず，生活習慣病予防のための摂取栄養素等が，年齢別，性別にわけて記載されている．個々の日本国民の健康を守る根本的な情報源である．正しい情報と誤った情報を判断するのに必要最低限の知識を学ぶ．	
到達目標	個人レベルにおける食の倫理の大切さを考える	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:日本人の食事摂取基準(2010年版) 指定図書:なし参考書:なし	
成績評価	期末試験80％，レポート20％	
履修資格		

科目名	西洋史	２単位　後期
担当教員	村上　司樹※	
授業概要	文化を知るのに歴史を学ぶことは欠かせない。人間の表情や性格にその人生があらわれるのと同様、個人の集合体である社会には歴史が刻まれている。 この授業では西洋史の大まかな流れを学ぶ。しかし上に述べたような考えから、単に過去の出来事を「知る」のではなく、現在の文化・習慣について「考え」「理解する」ことを学ぶ。今後、海外の情報や文物、あるいは海外でする経験について、自分で思考するための具体的手がかりとなるだろう。町並み、食生活、ものの考え方など、すべては歴史の産物なのだから。	
到達目標	西洋の風景や文物、習慣、あるいは私たちにとって身近な外来文化の、具体的背景である西洋史の知識を得る。かつ理解したことを説明し、それを自分のものの見方・考え方の発展に結びつける力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントを配布する。 指定図書:プリントないし講義の中で適宜紹介する。 参考書:同上。	
成績評価	暗記は必要ない。減点主義もとらない。 具体的には、①定期試験(40％)、②小レポート(30％)、③レスポンスペーパー(30％)の3つで評価する。①～③すべてに共通する評価基準は、「具体的に書けているかどうか」である。	
履修資格		

科目名	西洋史概説	２単位　前期
担当教員	北村　知之※	
授業概要	高校の世界史で学んだヨーロッパ史を踏まえながら、特に美術に焦点を当てて、古代ギリシアから現代までの歴史的展開をたどり、その変遷と意味について解説する。講義では視覚教材を多用して西洋美術の傑作の数々を紹介するので期待してもらいたい。	
到達目標	西洋美術においてそれぞれの時代を代表する作品の歴史的意義を理解し、論じられるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	高階秀爾監修、『カラー版西洋美術史』、美術出版社、￥1995	
成績評価	レポート(2/3)と試験(1/3)	
履修資格		

科目名	染色学	２単位　後期
担当教員	道明　美保子	
授業概要	人類が衣料を考えだした太古の時代から、染色は必修のものであり、その時代は古く、長い天然染料万能の時代から、今日のように合成染料主流の時代となっている。本講義では、色と表色、各種染料の特性、色と化学構造、染色の基礎理論について論ずるとともに、天然染料の歴史と科学についてもふれる。	
到達目標	各種染料の特性と染色の基礎理論を理解し、染色に生かせる能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布指定図書:適宜紹介参考書:適宜紹介	
成績評価	レポート評価30%　期末筆記試験70% 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	専門外書講義	２単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	生活栄養における各分野の研究内容について理解を深めると共に、英文の講読力を養うことを目的とする。各分野の教員が準備した専門の英語文献等を教材として、受講生自らが適切にレビューし、さらに担当教員が解説を行う。	
到達目標	英文の専門学術書・論文などに対する基礎的な読解力を身につけることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:担当教員が適宜準備したものを配布する。	
成績評価	授業における発表、レポートなどにより総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	組織とネットワークの社会学	２単位　前期
担当教員	伊原　亮司※	
授業概要	この講義では、経営組織の理論と労働のあり方の歴史的変遷を学ぶ。生産現場はまさに経済的な富を生み出す本源的な場であり、社会的にみて非常に重要な場である。と同時に、われわれ諸個人にとっても軽視できない場といえる。なぜなら、労働者の多くは、1日の半分以上の時間を何十年にも渡って労働現場で過ごすからであり、生涯にわたる労働生活を通して自分自身をも形成しているからである。本講義では、こうした意味で軽視できない生産現場に焦点を当てて、現場における組織と労働実態を歴史の流れの中で理解していくことを目指す。	
到達目標	経営組織の歴史から管理の本質を理解する	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは使用しない。レジュメを配る。参考文献は講義内でそのつど指示する。	
成績評価	平常点及びレポート	
履修資格		

科目名	卒業研究・論文（地域文化）	８単位　通年
担当教員	学科教員	
授業概要	規定に従って、研究の成果を論文（作品）として提出する。	
到達目標	研究内容や主張を効果的に他者に伝えるため、適切な構成と文章表現・映像表現などによる卒業論文（作品）が作成できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	特になし。	
成績評価	論文（作品）および口頭試問の内容により評価する。	
履修資格		

科目名	卒業研究・製作／論文（生活デザイン）	８単位　通年
担当教員	学科教員	
授業概要	卒業制作と卒業論文の課題については、生活デザイン専門分野の中から学生自身が担当教員の指導の下に決定し、それぞれの課題に従って制作あるいは論文の作成を行う。卒業制作を行う学生は、制作の他にその内容を説明し、補強する研究報告を同時に提出しなければならない。最終的には卒業研究の成果を発表する展示および口頭発表会を開催し、成果をまとめた卒業研究報告集を刊行する。 研究は以下のような手順で進める。 ①担当教員の指導により、4年次前期の早い時期に卒業研究のテーマをかためて研究をすすめる。 ②9月の中間報告会で、卒業研究の中間発表を行う。 ③設定された期限までに、規定の内容の論文（作品）を提出する。	
到達目標	各自がそれぞれ課題としたテーマについて自信を持って発表できる。	
テキスト 指定図書 参考書	指導教員が適宜指示する。	
成績評価	途中の進捗状況、中間発表並びに最終審査の結果によって合否を判定する。	
履修資格	生活デザイン論演習Ⅰ・Ⅱを履修済みであること。原則として卒業単位を110単位以上修得していること。	

科目名	卒業研究・論文（生活栄養）	８単位　通年
担当教員	学科教員	
授業概要	生活栄養論演習II（平成23年度以前入学生は食生活論演習）での指導に従い、各自の設定した課題について、実験、調査による研究を行い、論文としてまとめ、提出させる。	
到達目標	各指導教員ごとに異なることから、指導教員が初回の講義において説明する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：適宜指示する 指定図書：適宜指示する 参考書：適宜指示する	
成績評価	指導教員が初回の講義において説明する	
履修資格	生活栄養論演習II（平成23年度以前入学生は食生活論演習）を併せて受講する	

科目名	卒業研究・論文（人間関係）	８単位　通年
担当教員	学科教員	
授業概要	「人間関係論演習Ⅰ」および「人間関係論演習Ⅱ」での指導と研究を踏まえて、各自の設定した課題を、所定の様式の論文として完成する。	
到達目標	卒業論文の作成	
テキスト 指定図書 参考書	授業中に適宜指示する。	
成績評価	提出された論文によって評価する。卒業論文の内容と口頭試問、卒業論文発表会での状況を総合して評価する。	
履修資格	「人間関係論演習Ⅰ」を履修済みであること。「人間関係論演習Ⅱ」をあわせて履修すること。	

科目名	卒業研究論文（国際コミュニケーション）	８単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	発展演習Ⅰ・Ⅱ、研究演習Ⅰ・Ⅱでの指導と研究を踏まえて、各自の設定した課題についての研究を深め、その成果を論文として提出する。 【詳細は2015年度開講時までに示す】	
到達目標	研究内容や主張を効果的に他者に伝えるため、適切な構成と文章表現を備えた卒業論文を書き上げる。	
テキスト 指定図書 参考書	指導教員が適宜指示する。	
成績評価	提出された論文の内容、口頭試問を総合して評価する。 【詳細は2015年度開講時までに示す】	
履修資格	基礎演習Ⅰ・Ⅱ、発展演習Ⅰ・Ⅱを履修済みであること。	

科目名	対外文化交流論Ａ	２単位　前期
担当教員	田中　俊明	
授業概要	加耶と倭国 今年度は、加耶と日本との関係をとりあげる。加耶とは朝鮮半島南部にあった小国群であり、日本ではかつて「任那」とよばれ、統治した時代があったかのように考えられたことがあるが、現在は、その史的展開を動的に把握することが可能になってきた。そこで、加耶諸国の政治過程と、対外関係特に倭との関係について詳述することにしたい。	
到達目標	古代の国際関係についての基礎知識を得ること、および相対的な見方ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特にナシ。 参考書：田中『古代の日本と加耶』山川出版社ほか適宜、指示する。	
成績評価	レポート20％小テスト2回80％	
履修資格	特になし。	

科目名	対外文化交流論Ｂ	２単位　前期
担当教員	定森　秀夫	
授業概要	いかなる地域・国も完全孤立の状態では存続しえない。付け加えるなら、個人レベルにおいてもそれは当てはまる。日本列島は海を隔てて中国大陸・朝鮮半島などから地理的に孤立しているように見えるが、その海こそが交流の橋渡し役であった。日本文化は、主に中国・朝鮮の文化を常に取り入れてきた。最近では欧米文化も取り入れ、多様な文化を融合しつつあるように見える。本授業では、主に考古資料を中心に据えて、日本の対外交流の歴史を旧石器時代から江戸時代まで通観するとともに、土器・陶磁器をテーマとして対外交流の具体例を掘り下げてみる。	
到達目標	1．日本列島の地理的位置の再確認と海の再評価　2．日本文化は常に外来文化を吸収することによって発展してきたことを理解する3．文化の多様性を認め、文化融合の過程を理解する	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント資料を配布する参考書：授業中に紹介する	
成績評価	講義理解度60％、レポート（小レポート2回・期末レポート）40％で成績評価	
履修資格		

科目名	多民族社会論Ａ	２単位　前期
担当教員	坂野　鉄也※	
授業概要	アメリカ地域（南北アメリカ大陸およびカリブ海地域）を事例として、「音楽」を媒介として生まれる文化的・社会的コミュニティを見ることによって、多民族社会における共生の可能性について検討する。	
到達目標	多民族・多文化社会のなかに生まれる、文化的・社会的統合体としてのコミュニティを理解するための基本的な視覚を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	（テキスト）なし （参考書） 森　正人 『大衆音楽史──ジャズ、ロックからヒップ・ホップまで』 中公新書、2008年。 石橋純編 『中南米の音楽：歌・踊り・祝宴を生きる人々』 東京堂出版、2010年。 そのほか、授業時に適宜、紹介します。	
成績評価	毎授業時に提出するリアクション・ペーパー［授業内で得た知識の理解度＋日本語作文能力］（60％）と最終授業日に提出するレポート［自ら課題を設定し、それについて調査し考える力＋日本語作文能力］（40％）とで成績評価をおこないます。	
履修資格		

科目名	多民族社会論Ｂ	２単位　後期
担当教員	ブレンサイン	
授業概要	本講義は中国の少数民族居住地域にスポットを当て、人口の上で絶対多数を占める漢族と少数民族の人々がどのような関係性の中で共存しているのかを、内モンゴル自治区を事例に紹介しようとするものである。また漢族と少数民族の関係だけではなく、少数民族同士の複雑な関係も視野に入れた多民族社会が抱える複合的な社会関係を捉えたい。	
到達目標	中国における多民族居住空間をリアルに提示し、異なる文化をもつ人々が一つの地域で暮らすことによって生じる様々な軋轢と対立を分析することによって、現代社会における対立と共存の難しさ、そしてそれを乗り越えていくことの重要性を認識してもらいたい。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考書は適宜紹介する。	
成績評価	中間レポート30％、質問票10％、期末試験60％（欠席数が1／3を超えた場合は評価の対象としない）	
履修資格		

科目名	多民族社会論Ｃ	２単位　前期
担当教員	河　かおる　・　リリアン　テルミ　ハタノ※	
授業概要	単一民族国家であると理解されがちな日本について、多民族社会という観点から理解する。 前半は、特に在日コリアンの歴史と現状について中心的に扱う。後半は、1990年代以後に増加し、滋賀県や近隣府県でも在住外国人の首位を占める在日ブラジル人とその家族について中心的に扱う。	
到達目標	(1)日本における少数民族問題について理解する。 (2)在日外国人の歴史と現状について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布。 参考書:岡本雅享監修・編著、2005、『日本の民族差別 ― 人種差別撤廃条約からみた課題』明石書店 田中宏、1995、『在日外国人―法の壁、心の溝』岩波新書[新書] ほか、講義中に適宜紹介。	
成績評価	小レポート、コミュニケーションカード、課題など40％ 中間レポート（前半のテーマについて）30％ 期末レポート（後半のテーマについて）30％	
履修資格		

科目名	地域運動論	２単位　前期
担当教員	大橋　松行	
授業概要	地域運動論とは、地域社会における生活上の問題を解決するための住民運動であり、それは、主として特定地域における住民生活環境の維持・改善をめぐる自治体住民の生活要求を客観的根拠・契機としている。この講義では、今日の「豊かな社会」日本の抱えている問題点を指摘するとともに、具体的に特定の地域で顕在化している諸問題と、それに関わっての住民運動について論じる。	
到達目標	地域運動や住民投票のメカニズムが理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:使用しない。プリントを配付する。指定図書:大橋松行著『生活者運動の社会学―市民参加への一里塚』北樹出版	
成績評価	期末試験の成績50％、レポート50％で評価する。ただし、原則として評価対象者は授業時数の3分の2以上の出席者とする。	
履修資格		

科目名	地域活性化論	２単位　後期
担当教員	田中　光一※	
授業概要	グローバリズムの進展に伴って地域社会が抱えてきた課題を確認するとともに、21世紀の地域の生き方を考察する。本講義では、地域活性化について、様々な事例を通して議論し、その本質にある問題を明らかにする。また、自分たちに出来ることは何なのか、それぞれの足元にある具体的な地域を通して考えていく。	
到達目標	現代日本の地域が抱える問題に気づき、それらにいかに対応するか、理論的整理と実践事例の理解を通じて、自分で考え、整理し、実践できる能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:適宜プリントを配布する。 参考書:『人と地域を生きる』滋賀県立大学人と地域ゼミ、2011年 『地域再生　滋賀の挑戦』新評論、2011年	
成績評価	ミニレポート(50%)、課題レポート(50%) 全回出席すること。	
履修資格		

科目名	地域経済史論	２単位　後期
担当教員	伊藤　啓介※	
授業概要	日本中世における地域経済の史的展開をテーマとする講義である。中世の近江国における流通関係史料は、質・量ともに充実しており、中世の地域経済のみならず、全国流通のありかた自体の研究においても、近江国は重要な位置を占める。 これに中世の比叡山による流通・都市支配の様子を関連させて、近江国の流通とその特徴について考えたい。	
到達目標	近江国関連史料を中心に、日本中世の流通構造とその変遷を理解するとともに、その背景にある社会構造とその変遷を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	講義ではプリントを配布し、参考書等は講義中に適宜指示する。	
成績評価	宿題20%　期末試験80%	
履修資格		

科目名	地域研究論	２単位　前期
担当教員	上田　洋平	
授業概要	「地域」というのは普段気軽に使われる言葉であるが、いざこれを相手にしようとすると非常に厄介な概念である。片や個人の内面世界から片や地球あるいは宇宙空間にまで伸び縮みする「地域」について様々な角度から考える。 内外の事例によりつつ、この時代における「地域」や「地域文化」の意味及びそのおかれている状況を点検した上で、「地域」を問題にし、「地域」について考え「地域」に関わること、すなわち「地域を研究し、論ずること」の意義とその方法を議論する。 その結果①いかにこの身をもって「地域」と関わり合うか②「地域」をいかに表現するか③それらを踏まえ、いかに「地域」を生きるか、について各人なりの考えや見通しを得てもらいたい。	
到達目標	(1)今日の時代的社会的状況下における「地域」及び「地域文化」の意味やその直面する課題について理解し、「地域」を問題とし、これに関わることの意義を理解すること。(2)地域にかかわる諸事象に関する基礎的な知識を習得すること。(2)それらの諸事象が相互にかかわりあって固有の地域文化が育まれる、その固有性と多様性を理解すること。(3)研究上地域の人や社会とかかわるに際しての技法や作法を理解すること。(4)地域の知り方は皆に開かれている。先達に倣いつつ自分なりの方法の開発と表現に創造的に挑戦する姿勢を養うこと。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布、適宜紹介　指定図書:特になし 参考書: 高谷好一著『湖国小宇宙』サンライズ出版 高谷好一著『地域研究から自分学へ』京都大学学術出版会 高谷好一著『世界単位から世界を見る』京都大学学術出版会 日高敏隆著『動物と人間の世界認識』筑摩書房 黒田末寿著『自然学の未来』弘文堂 内山　節著『ローカリズム言論』農文協 その他、授業内で適宜紹介する	
成績評価	ミニレポート40% 期末レポート60% 但し、授業時間数の3分の1以上欠席したものは評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	地域考古学Ａ	２単位　前期
担当教員	森島　康雄※	
授業概要	中世の土器・陶磁器についての基礎的な知識とともに研究の方法について学習する。中世土器研究の柱として大きな位置を占める瓦器椀や土師器皿を中心に、研究がどのように進展してきたのかを振り返りながら、土器・陶磁器にどのように歴史を語らせるのかを考える。	
到達目標	実際に資料を扱うための前提となる基礎的な知識を得るとともに、資料の見方、資料操作の方法、立論の方法などに触れることで、土器・陶磁器を資料として中世史の一端を語ることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントを配布する 参考書: 中世土器研究会編『概説　中世の土器・陶磁器』真陽社1995年 橋本久和『中世土器研究序論』真陽社1992年 中世土器研究会『中近世土器の基礎研究』1～23号1985～2011年 中井淳史『日本中世土師器の研究』中央公論美術出版2011年	
成績評価	成績評価　講義内ミニレポート3回（50％）、講義後に出題するレポート（50％）。	
履修資格		

科目名	地域考古学Ｂ	２単位　後期
担当教員	辻川　哲朗※	
授業概要	本講義では，古墳の構成要素である埴輪を分析・解釈することで，国家形成過程に相当する古墳時代社会の一端を復元することを主たる目的とする。具体的には，埴輪のもつ特質を確認したうえで，埴輪の使い方（埴輪配置）と埴輪の作り方（製作技術）の二側面から，古墳時代社会の地域間関係を復元する。対象地域は近江地域を中心とし，適宜他地域のあり方も視野に入れる。	
到達目標	古墳時代社会をめぐる諸問題について学ぶとともに，モノの作り方に着目し，作り手の動態を復元する，という考古資料の基本的な分析方法を行えるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	プリントを配布。参考書：川西宏幸『古墳時代政治史序説』塙書房，1988年	
成績評価	小テスト（50%）・レポート（50%）。各講義の理解度を評価する。	
履修資格		

科目名	地域考古学Ｃ	２単位　前期
担当教員	田中　清美※	
授業概要	陶邑古窯址群の須恵器や窯跡に考古学の検討を加え学習することで、陶邑古窯址群の意義について述べることができる。陶邑古窯址群中で最古の窯跡である加耶地域の系譜を引くTG231・232号窯跡、百済地域との関係が深いON231号窯跡の初期須恵器について学び、器形や製作技法の特徴、系譜についても述べることができるようになる。また、TG231・232号窯跡の操業に関与した渡来人陶工集団の生活実態についても大庭寺遺跡等から学び、陶工集落の特徴や彼らの故地につて述べることができるようになる。 陶邑古窯址群の成立の背景や古墳を学習することで、陶邑が須恵器の一大生産地に選定された理由や倭王権との関係について述べることができるようになる。	
到達目標	TG231・232号窯以後、朝鮮三国時代の陶質土器の様相が倭の陶質土器ともいえる定型化した須恵器へと変遷するが、陶質土器と須恵器の共通点や違いから、朝鮮半島の土器文化が時間の経過とともに変容しながら日本固有の土器文化として定着したことを学習する。 また、須恵器の製作技術を伝えた加耶や百済の渡来人陶工集団を陶邑古窯址群内の工人集落へ居住させ、在地の倭人集団との混住や同化を測ったものと想定される倭王権指導の手工業生産組織のアウトラインをつかむとともに、部民制について調べる。 陶邑古窯址群の揺籃期の初期須恵器窯や定型化した須恵器窯の構造や製品から、朝鮮三国時代の窯や陶質土器の特徴を抽出することで、陶邑古窯址群における5世紀以後の渡来系陶工集団の組織動向や須恵器生産技術の継承の実態、各地に移動した一部の陶工集団の歴史的な背景について総合的に説明する。	
テキスト 指定図書 参考書	講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	平常点（40パーセント：講義出席） 講義を6回以上欠席した場合は試験を受けられない 試験（60％）：自筆ノート・配布資料のみ持ち込み可	
履修資格		

科目名	地域考古学Ｄ	２単位　前期
担当教員	横田　洋三※	
授業概要	発掘調査の結果を資料とし、そこから歴史の読み解き方を習得する。 古代より琵琶湖の最重要港であった塩津港の資料を中心に取りあつかう。時代は平安時代を中心に古代から中世となる。発掘資料から主に神社の施設、神社で行われた祭祀の様子、神社で使われた道具、港の施設、古代の土木技術、琵琶湖湖岸の遺跡と水位などの歴史を学習する。	
到達目標	古代から中世にかけての琵琶湖水運の様子と港に関する歴史を、考古学資料を基にした読み取り方から習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントを配布	
成績評価	レスポンスペーパー50％、レポート50%	
履修資格		

科目名	地域再生システム論	２単位　前期
担当教員	鵜飼　修　・　森川　稔　・　上田　洋平　・　轟　慎一	
授業概要	地方分権が推進される中で、地域の自立性、自律性を高めるには、私たちは何をすればよいのか。その理論と実践的手法を学ぶ。具体的には、地域再生の理念や意義、事例を学ぶとともに、設定されたフィールドと課題に対して、現場における実践的な授業を通じて、課題解決のための解決策を検討する。	
到達目標	様々な地域再生事例とその理念を把握する。地域を形成する様々な主体（自治体関係者や住民など）との接点を持つ。具体の地域について、地域の現状と課題の発見・整理を行うとともに、地域課題の解決に向けて、グループワークなどをもとに提案をまとめる。また、地域再生やまちづくりの推進に自分自身がどのように関わることができるかを知る。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:近江環人地域再生学座編「地域再生　滋賀の挑戦　エコな暮らし・コミュニティ再生・人材育成」新評論 指定図書:近江環人地域再生学座編「地域診断法　鳥の目、虫の目、科学の目」新評論 指定図書:近江楽座学生委員会編著「近江楽座のススメー学生力で地域が変わる」（株）ラトルズ	
成績評価	レポート評価70％、プレゼンテーション評価30％　原則として、全ての授業に出席すること。	
履修資格	地元学入門を履修済みであることが望ましい。	

科目名	地域生活論	２単位　前期
担当教員	中塚　圭子※	
授業概要	この講義では、事例を中心に、従来の地縁社会としての〈地域〉の姿、それを補完する人と人のつながりの拡がりについてつぎの観点から考えます。 1）「地域での暮らし」「地域を守ろう」というけれども、そもそも〈地域〉とは、何なのか。受講生のみなさん個々人にとってどういうものと理解されているのか。 2）被災地・者支援を通して〈地域〉と私の関係を考える。 3）「老・病・障がい」の視点から〈地域〉を考える。 4）子どもが育つ場としての〈地域〉を考える。 これらの討議を踏まえ、「私にとっての〈地域〉」を再考します。	
到達目標	〈地域〉を受講者個々人が私との関係として捉え直し、地域福祉の仕組み、個人のライフステージや障害による変化を受け支えるネットワークの大切さを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜プリント配布	
成績評価	毎時間のミニレポート30％、最終の課題レポート40％、授業への積極的参加30%で評価する。（従って、課題レポートのみの提出では単位認定しない。）	
履修資格		

科目名	地域と空間	２単位　後期
担当教員	市川　秀之	
授業概要	地域社会を理解するうえで、空間的視点からのアプローチは非常に有効である。この授業では村落および年を対象として、地域社会と空間の関連について説明を進めたい。具体的にはムラとマチの見方・歩き方が授業の中心となる。民俗学的視点からの村落・都市空間論や生業空間の利用を中心に講義するが、条里制・街道・城下町など歴史地理学的なテーマについても取り上げることとする。	
到達目標	(1)地域社会の空間的特質に関する概念を理解する。 (3)空間的特質を理解するために必要な最低限の知識を身につける。 (2)空間的アプローチの具体的手法を体得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:特になし 参考書:市川秀之他『日本の民俗』6　村の暮らし(吉川弘文館) 　　市川秀之『広場と村落空間の民俗学』(岩田書院)	
成績評価	レポート(1回)　20%　期末試験　40%　毎回授業後のレスポンスカード　40%	
履修資格	特になし	

科目名	地域文化演習Ⅰ	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	3回生以後の卒業論文に関する指導を主な内容とする地域文化演習Ⅱ・地域文化演習Ⅲへの導入の授業である。このなかで、卒業論文のテーマをどうするのかなどの自覚を促し、3回生の時点でスムーズにゼミを選択し、個別的な指導を受けられるように方向づける。領域を日本文化史、日本地域史、地理学、中国の文化と社会、保存修景、考古・古代、社会学・文化研究、民俗学、日本美術史のゾーンに区分し、学生は前期と後期にそれぞれ一つずつ選択する。	
到達目標	研究課題を見いだし探求するために必要な専門知識・周辺知識を自ら進んで学習できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:各ゼミ教員の指示による。	
成績評価	出席・発表内容等を総合的に判断する。	
履修資格		

科目名	地域文化演習Ⅱ	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	4回生の卒業論文に関する指導を内容とする地域文化演習Ⅲに直接つながる授業と位置づける。個別にゼミを選択し、各自のテーマに従って研究を進める。	
到達目標	指導教員やゼミ生、および地域との関わりのなかで、リーダーシップと協調性をもって主体的に研究活動ができるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:各ゼミ教員の指示による。	
成績評価	出席・発表内容等を総合的に判断する。	
履修資格		

科目名	地域文化演習Ⅲ	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	卒業論文に関する指導をする。個別にゼミを選択し、各自のテーマに従って研究を進める。	
到達目標	卒業論文の研究課題にとりくむための研究計画を立案し、それに基づいて研究を実行できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：各ゼミ教員の指示による。	
成績評価	出席・発表内容等を総合的に判断する。	
履修資格		

科目名	地域文化基礎演習	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	地域文化学科で学び研究することになる専門分野に関して、基礎的な知識や研究の手法を学ぶ。学生は二つのグループに分かれ、授業ごとに学科教員全員の指導を受けることになる。	
到達目標	専門分野に関する基礎的な知識や研究の手法を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：『大学的滋賀ガイド』滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科編、昭和堂、2011年　その他	
成績評価	毎回、小レポートを課す（100％）。	
履修資格		

科目名	地域文化財論Ａ	２単位　前期
担当教員	伊藤　裕久※	
授業概要	地域固有の歴史的環境を守り育てていくためには、様々な立場の人が、その成り立ちを正しく認識することが不可欠である。授業では、建築史学の立場から、日本や東アジアの伝統的な都市や集落を素材として取り上げ、地域の歴史的環境を空間＝社会的側面から捉える視点や方法を解説する。また、近年、多様化しつつある「保存」の問題について具体的事例を紹介することで、広がりをもった実践的な地域文化財論の可能性を検討したい。	
到達目標	地域文化財の重要性について認識し、地域の歴史的環境を保存・継承していくための方法論の基礎を習得することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	授業時にプリントを配布する。	
成績評価	集中講義のため、とくに出席と授業態度を重視する（50％）。また講義後に出題するレポートによって評価する（50％）。	
履修資格		

科目名	地域文化財論Ｂ	２単位　後期
担当教員	濱崎　一志	
授業概要	学術的な価値や美術的な価値は高くはないものの、人々の永きにわたる営みにより、地域の中ではぐくまれてきた地域文化財について講義する。歴史的環境を構成する地域文化財のうち，遺跡や建造物もしくは建造物群を中心に講義し，その保全について解説する。	
到達目標	身近な生活空間の中に遺存している地域文化財を再評価し、その保存・活用について考える能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配付参考書 ： 適宜紹介	
成績評価	期末レポート　80%レスポンスペーパー20%	
履修資格		

科目名	地域保健臨地実習	１単位　前期
担当教員	岡本　秀己	
授業概要	地域保健活動の第一線機関である保健所や市町村保健センターにおいて、多職種との関わり方や住民の保健増進のために実施されている事業を通して、地域保健の全体像および組織の中での健康づくり対策の実際を学ぶ。	
到達目標	地域保健活動の実践現場で、行政栄養士の果たす役割が理解できる。 公衆栄養活動の根拠となる法規が理解できる。 行政栄養士と連携した多職種との活動が理解できる。 行政栄養士に必要な技能・知識などが理解できる。 県と市町村をつなぐ保健所栄養士の役割が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「臨地・校外実習のてびき」化学同人	
成績評価	実習内容プレゼンテーション80%、実習レポート20%。授業時間数の3分の1以上欠席したものは評価対象としない。	
履修資格		

科目名	地誌学	２単位　前期
担当教員	塚本　礼仁	
授業概要	地理学は系統地理学と地誌学とに大別される。系統地理学は「～の気候」(自然地理学)や「～の産業」(人文地理学)というように様々なテーマごとの分析を行うが、地誌学は系統地理学の知見を総合し、「地域」それ自体の特性を明らかにする分野である。本講義では、国内外の様々な「地域」を素材とし、その特徴を他地域との共通性あるいはユニークさに留意しつつ解説していく。また、地図を使った作業などを通して、地域研究の経験も重ねさせていきたい。	
到達目標	1. 自然環境と人間活動の両面から「地域」の姿を考えられるようになること。 2. 地図を読めるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:適宜プリントなどを配布する。 参考書:授業の中で紹介する。	
成績評価	ミニ・レポート:50%　毎回のキーワードなど講義内容を理解しているかどうか確認する。 期末レポート:50%　課題と採点基準は改めて通知する。	
履修資格		

科目名	チベット語基礎Ⅰ	２単位　前期
担当教員	棚瀬　慈郎	
授業概要	チベット語の文字、発音、基礎的な文法を習得し、会話の練習や、チベット語文献の講読をおこなう。	
到達目標	チベット語による基本的な会話が可能となること。また自分で辞書を用いてチベット文が読めるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「現代チベット語会話Ⅰ」を用いる。また適宜プリントを配布する。	
成績評価	授業を5回以上欠席した者は評価の対象としない。成績は、言語の習得状況を総合的に判断して評価する。	
履修資格		

科目名	チベット語基礎Ⅱ	２単位　後期
担当教員	棚瀬　慈郎	
授業概要	チベット語の文字、発音、基礎的な文法を習得し、会話の練習や、チベット語文献の講読をおこなう。	
到達目標	チベット語による基本的な会話が可能となること。また自分で辞書を用いてチベット文が読めるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「現代チベット語会話Ⅰ」を用いる。また適宜プリントを配布する。	
成績評価	授業を5回以上欠席した者は評価の対象としない。成績は、言語の習得状況を総合的に判断して評価する。	
履修資格		

科目名	中国語コミュニケーションⅠＡ	２単位　後期
担当教員	地蔵堂　貞二	
授業概要	本授業は中国語ⅠA、中国語ⅠBの単位を取得した学生を対象に、中国語ⅡA、中国語ⅡBと平行開講され、既習の文法知識（基本文型）を復習・整理しながら、作文・読解を中心としたテキストにそって、大量の練習問題を行います。	
到達目標	簡単な文章を読み、書くことができ、加えて簡単な日常会話ができる能力の獲得を目指します。中国語検定3級レベルに到達したことになります。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:『初級から中級へ　中国語作文（改訂版）』（郭春貴ほか著・白帝社）	
成績評価	期末試験の成績で評価します。	
履修資格		

科目名	中国語コミュニケーションＩB	２単位　後期
担当教員	呉　凌非	
授業概要	この授業は学生が中国語ＩA･ＩBを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。	
到達目標	辞書を頼りに中国語新聞紙が読めること	
テキスト 指定図書 参考書	呉　凌非著　ジョイフル中国語　郁文堂　参考図書は適時に指示する	
成績評価	宿題、発表、定期試験によって判断する	
履修資格		

科目名	中国語コミュニケーションⅡＡ	２単位　前期
担当教員	地蔵堂　貞二	
授業概要	本授業は中国語ＩA、ＩB、中国語コミュニケーションＩA、ＩBの単位を取得した学生を対象に、中国語コミュニケーションⅡCと平行して開講され、新聞、雑誌の時事文や短編小説などの講読を通して、「読解力」の強化を図ります。	
到達目標	比較的容易な内容の新聞や雑誌の記事および読み物を辞書を引きながらも全体の内容理解ができるようになります。	
テキスト 指定図書 参考書	プリントを配布します。	
成績評価	期末試験の成績で評価します。	
履修資格		

科目名	中国語コミュニケーションⅡB	２単位　前期
担当教員	呉　凌非	
授業概要	この授業は学生が中国語ＩBを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。	
到達目標	辞書を頼りに中国語新聞紙が読めること	
テキスト 指定図書 参考書	呉　凌非著　ジョイフル中国語　郁文堂　参考図書は適時に指示する	
成績評価	宿題、発表、定期試験によって判断する	
履修資格		

科目名	中国語コミュニケーションⅡＣ	２単位　前期
担当教員	地蔵堂　貞二	
授業概要	本授業は中国語ＩＡ、ＩＢ、ⅡA、ⅡB、中国語コミュニケーションＩＡ、ＩＢの単位を取得した学生を対象に、中国語コミュニケーションⅡAと平行して開講され、主に視聴覚教材を使って、「リスニング」のレベル向上を目指します。	
到達目標	中国語検定3級～2級のヒアリング試験合格のレベルを目指します。	
テキスト 指定図書 参考書	プリントを配布します。	
成績評価	期末試験の成績で評価します。	
履修資格		

科目名	中国語コミュニケーションⅡＤ	２単位　前期
担当教員	呉　凌非	
授業概要	この授業はリスニングを中心に内容を組み立てます。ことばはインプットとアウトプットの循環であり、リスニングはそのなかの一環として重要であると考えます。この授業では、視聴資料をふんだんに使い、リスニングのみならず、会話、読解などの中国語の総合能力を高めていくことを目指します。	
到達目標	①　中国人の日常会話を聞き取れること ②　中国語の総合力を高めること	
テキスト 指定図書 参考書	指定なし	
成績評価	宿題、レポート、発表、定期試験によって判断する	
履修資格		

科目名	中国地域文化特論	２単位　後期
担当教員	城地　孝※	
授業概要	世界最多の人口をかかえる中国の首都であり、2008年にはオリンピックもひらかれた北京。北方遊牧民による遼朝・金朝が都をおいて以降、元朝・明朝・清朝を経て現在の中華人民共和国に至るまで、首都としての北京の歴史は七百余年を数える。政治の中心地でありつづけたという条件のほか、農耕社会と遊牧社会の境界という地理的な条件もあいまって形成された社会的・文化的特徴は、いまなお北京のあちこちで認めることができる。北京のあゆみを軸に、とくに近世以降の中国史を通観することをつうじて、現代中国のありようを考えていく際の糸口を得ることをめざす。	
到達目標	近世以降、現代に至るまでの中国史の展開を理解すること。 中国にかぎらず他者・異文化への関心を深めるとともに、歴史的な視角から現代のありようを読み解いていく見方・手法を学ぶこと。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは使用せず、プリントを配布する。参考文献も適宜紹介する。	
成績評価	毎回の授業後にレスポンスペーパーの提出を求める。その内容（6割）と期末試験（4割）を総合して成績評価を行う。	
履修資格		

科目名	中国地域文化論	２単位　後期
担当教員	横田　祥子	
授業概要	近年、中国が目覚ましい経済発展を遂げ、国際社会においてプレゼンスを高めるにつれ、経済発展や、それに伴う経済格差の拡大、環境汚染の深刻化など中国社会が直面している問題に関して、夥しい情報が流れている。これに比して、中国に生きる人々がどのような暮らしを送り、どのような文化的実践を行っているのかについては、相対的に情報量が減っているように思われる。しかし、隣国中国を総合的に理解するためには、政治経済的側面、社会問題だけでなく、社会的文化的側面からもアプローチする必要がある。そこで、本授業では、中国の地域的、文化的特性をトピックごとに取り上げ、文化人類学的観点から理解を深める。	
到達目標	中国の地域的、文化的特性を、トピックごとに理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書等は適宜、紹介する。	
成績評価	レスポンスカードによる平常点　20%、期末試験　80%	
履修資格		

科目名	朝鮮語コミュニケーションＩＡ	２単位　後期
担当教員	崔　眞善※	
授業概要	朝鮮語ＩA・ＩBで学んだ語彙・文法を基礎にして、決まり文句を用いた様々な場面でのあいさつやあいづち・質問などの会話、買い物など日常生活に必要な会話、様々な公共機関を利用する際の会話などを中心に、文章語とは異なる口語表現を学ぶ。	
到達目標	韓国語能力試験（TOPIK)3級、ハングル能力検定試験3級に合格する程度の聞き取りの力を身につける。旅行や短期的な滞在で活用できる程度の会話力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：李潤玉・酒井康裕・須賀井義教外『韓国語の世界へ ― 初中級編』（朝日出版社、2,520円） 参考書：韓日、日韓辞典	
成績評価	授業中発表30%、 テスト40%、 課題30%	
履修資格		

科目名	朝鮮語コミュニケーションＩB	２単位　後期
担当教員	松井　聖一郎※	
授業概要	朝鮮語ＩA・ＩBで学んだ語彙・文法を基礎にして、辞書を積極的に活用しながら朝鮮語（韓国語）の文章を読み理解した上で、内容について発表したり話しあうことで表現力を身につける。	
到達目標	1.朝鮮語の文章の講読能力をつける。（正確に日本語に訳せるかどうかは必ずしも問題ではなく、文章に書いてある内容の理解ができればよい） 2.理解した内容についての朝鮮語の質問に朝鮮語で答えられる（文字・口頭）。 3.理解した内容について朝鮮語でコメントしたり、関連する内容について朝鮮語で述べることのできる力をつける。 4.他人の発言が理解できる力をつける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：曺美庚、林炫情、金眞『韓国社会を読む』（朝日出版社） 参考書：『朝鮮語辞典』（小学館） 『小学館日韓辞典』（小学館） またはこれらと同等以上の日韓・韓日辞典 またはこれらと同等以上の日韓・韓日辞典を含む電子辞書 （iPhoneアプリも使用を認める）	
成績評価	期末試験30点、小テスト20点、授業でのパフォーマンス50点	
履修資格		

科目名	朝鮮語コミュニケーションⅡＡ	２単位　前期
担当教員	河　かおる	
授業概要	朝鮮語コミュニケーションＩＢで学んだ読解力を基礎に、韓国の新聞記事をテキストにして、さらに読解力を養う。新聞記事を通じて現代韓国のホット・イシューについての理解を深めると同時に、記事の内容について朝鮮語（韓国語）で意見を述べたり質問をしたりするコミュニケーション能力をつける。最後には、現代韓国のホット・イシューについて学生自身が複数の記事を探し読み比べてプレゼンテーションを行う。	
到達目標	韓国語能力試験（TOPIK)4級、ハングル能力検定試験3級合格程度の読解力を身につける。辞書を駆使しながら新聞や本を読めるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	インターネット新聞を中心とした韓国の新聞記事(授業で配付する)	
成績評価	毎回の授業参加（予習など）　20% 毎回の単語テスト　30% 学期末のプレゼンテーション　20% 期末テスト（韓国語能力試験（TOPIK)4級またはハングル能力検定試験3級レベルの読解問題）　30%	
履修資格		

科目名	朝鮮語コミュニケーションⅡＢ	２単位　前期
担当教員	松井　聖一郎※	
授業概要	朝鮮語コミュニケーションＩＢで学んだことを基礎に、日記やレポートなど、比較的長いまとまりのある文を書く力を養う。	
到達目標	韓国語能力試験（TOPIK)4級、ハングル能力検定試験3～準2級合格程度の作文の力を身につける。留学した際に、試験の答案やレポートを書けるようになるために、辞書を駆使しながら自分が表現したいことを書き表す力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：曺美庚、林炫情、金眞『韓国社会を読む』（朝日出版社） 参考書：『朝鮮語辞典』(小学館)・『プライム韓日辞典』（斗山東亜）・『小学館日韓辞典』(小学館)・『プライム日韓辞典』（斗山東亜）程度の辞書、または同等の電子辞書を利用できるようにして授業に臨むこと。 (iPhoneアプリの辞書なども使用を認めます) 事前にWeb辞書http://dic.naver.com/などで予習をしてくる場合は辞書を購入する必要はありません。	
成績評価	授業への積極的参加度 30% 課題 40% 試験 30%	
履修資格		

科目名	朝鮮語コミュニケーションⅡＣ	２単位　前期
担当教員	崔　眞善※	
授業概要	朝鮮語コミュニケーションＩＡで学んだ口語表現を基礎に、決まり文句以外の表現を用いた会話、依頼、指示、命令、誘いやそれへの受諾や拒否の表現、慣用句、ことわざ、四字熟語などを学び、私的で身近な会話ばかりではなく、大学生活の中で想定される会話や、親しみのある社会的出来事についても話題にできるようにする。	
到達目標	韓国語能力試験（TOPIK)4級、ハングル能力検定試験3～準2級合格程度の聞き取りの力を身につける。留学した際に、教員、大学職員、学生などと基本的なコミュニケーションがとれるための会話力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	『表現のための中級韓国語』 中西恭子（白水社）	
成績評価	毎回のライティング課題の提出・授業中会話練習の評価 30% テスト40% 小テスト30%	
履修資格		

科目名	朝鮮語コミュニケーションⅡＤ	２単位　前期
担当教員	松井　聖一郎※	
授業概要	中級用の聴解教材を使ってヒアリングの力を高め、ヒアリングした内容に基づいてコミュニケーションができるようにする。	
到達目標	韓国語能力試験（TOPIK)4級、ハングル能力検定試験3～準2級合格程度の聞き取りの力を身につける。留学した際に、講義の内容を概ね理解できたり、円滑なコミュニケーションが取れるようになるために、聞き取りの力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：呉美羅ほか『できる韓国語聴解　中級』（ムンジンメディア） （品切れにつきコピーで行います。教室で配布します）	
成績評価	授業時のパフォーマンス 30％ 課題 40％ 試験 30％	
履修資格		

科目名	朝鮮地域文化特論	２単位　前期
担当教員	安田　純也※	
授業概要	この授業では、朝鮮文化の形成、展開を歴史的に振り返るが、今年度は高麗と朝鮮前期（10～16世紀）の宗教文化史を取り上げる。高麗・朝鮮両王朝はそれぞれ約500年の長きにわたって朝鮮半島を支配した王朝であり、中国からの政治、文化的影響を強く受けつつも、独自の歴史を展開した。また、両時代の文物の多くは日本列島各地に伝存しており、日本とも関わりが深い。 授業では、韓国、日本の学界における研究成果を踏まえつつ、具体的な史料や文物に即して論じる。	
到達目標	朝鮮半島の宗教文化史の概要を把握できるようにする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業時の配布プリントを主とする。 参考書：田中俊明編『朝鮮の歴史－先史から現代』昭和堂、2008年 歴史学研究会編『世界史史料』4、岩波書店、2010年 その他、必要に応じて紹介していく。	
成績評価	平常点（授業中の質問、宿題等）30％、レポート20％、小テスト10％、期末筆記試験40％	
履修資格		

科目名	朝鮮地域文化論	２単位　後期
担当教員	田中　俊明	
授業概要	統一新羅 今年度は、統一新羅史をとりあげる。7世紀に三国統一を達成した新羅は、専制化した王権のもとで、しだいに安定した時代を迎える。しかし8世紀末には内乱がつづき王権も動揺し、9世紀になると地方勢力も台頭して衰亡していき、後三国の戦乱を経て、935年に滅亡をむかえる。ただし東アジア的に見た場合には、在唐新羅人の活動や、また海域において活躍する新羅人の姿が知られ、新羅国家を越えたかたちで、新羅人の歴史をたどることもできる。	
到達目標	朝鮮文化の形成についての理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストなし。プリントを毎回配布する。参考書は適宜、指示する。	
成績評価	学期中のレポート20％、学期末試験80％。	
履修資格		

科目名	地理学実習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	塚本　礼仁	
授業概要	地理学研究は、地形図の判読、数量データの解析、主題図の作成、現地調査などを組み合わせて進められ、これらの正確さ・緻密さが研究内容そのものを左右する。本実習では、様々な地理情報を集め、加工し、効果的に表示するための基礎的技能を身につけていく。具体的には、地図から情報を抽出する、統計データから地理減少の傾向をつかむ、現地で情報を得る、地理情報を地図化するという構成で実習を進め、最後に地域分析レポートという形にまとめて報告する機会を設ける。	
到達目標	1. 地図を読めるようになること。 2. 統計データを扱えるようになること(表計算ソフトの操作も含む)。 3. テーマを地図化できるようになること(ドローイングソフト、GISソフトの操作も含む)。 4. 1～3を合わせて地域分析を行えるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:特定のものは使用しない。適時プリントなどを配布する。	
成績評価	実習成果物:50%　作業のスピード、正確さ、完成度を確認する。 地域分析レポート:50%　内容とプレゼンテーションをもとに評価する。	
履修資格		

科目名	地理学実習Ⅱ	１単位　後期
担当教員	塚本　礼仁	
授業概要	地理学研究は、地形図の判読、数量データの解析、主題図の作成、現地調査などを組み合わせて進められ、これらの正確さ・緻密さが研究内容そのものを左右する。本実習では、地理学実習Ⅰで習得したことを土台とし、より専門的な地域調査・分析の技能を身につけていく。具体的には、地図から情報を抽出する、統計データから地理現象の傾向をつかむ、現地で情報を得る、地理情報を地図化するという構成で実習を進め、最後に地域分析レポートという形にまとめて報告する機会を設ける。	
到達目標	1. 地図を読めるようになること。 2. 統計データを扱えるようになること(表計算ソフトの操作も含む)。 3. テーマを地図化できるようになること(ドローイングソフト、GISソフトの操作も含む)。 4. 1～3を合わせて地域分析を行えるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:特定のものは使用しない。適時プリントなどを配布する。	
成績評価	実習成果物:50%　作業のスピード、正確さ、完成度を確認する。 地域分析レポート:50%　内容とプレゼンテーションをもとに評価する。	
履修資格		

科目名	通訳ガイド講座	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	通訳案内士試験では、外国語の運用力とともに日本の歴史や地理、文化の知識も必要とされますが、合格すれば有資格の観光ガイドとしての道が開けます。また、国際協力やビジネスの方面に進む場合でも、この資格は有利です。授業では、ガイド業務の様々な場面で実際に使われる文例パターン(主に英語表現)を取り上げながら、この資格の傾向と対策について具体的にお話したいと思います。 【2015年度より開講開始科目】	
到達目標	到達目標: (1) 通訳案内士試験の概要を把握しながら、受験の準備ができる。 (2) 通訳ガイド業務に必要な日本の歴史や地理、文化の概略を確認できる。 (3) 通訳ガイド業務の様々な場面で実際に使われる文例パターン(主に英語表現)に習熟できる。	
テキスト 指定図書 参考書	教科書: 江口裕之(編著)、社団法人日本観光通訳協会(監修)『通訳案内士試験(英語)合格対策＆模擬問題』(第1次、第2次試験対応)、日本能率協会マネジメントセンター(2010発行) 参考書: 社団法人日本観光通訳協会(監修)『英文 Guide Text』(2011年度改訂最新版)	
成績評価	試験成績(70%)、宿題・レポート(30%)	
履修資格		

科目名	ディベート＆ディスカッション	２単位　前期
担当教員	ジョン　リピー	
授業概要	Debate and discussion start with solid information about a topic or issue. We first acquire knowledge about the topic, consider it from various angles, and develop our understanding. Then, we are ready to share ideas and interpretations through discussion, and to try to persuade others through well-informed positions in debate. Such discussion and debate are a part of everyday life. In this course, we learn about and consider social issues from a cross-cultural (Japanese and American) perspective, express our understandings in writing, then discuss and debate the issues.	
到達目標	In this course, students strengthen their habits of thoughtful reading, critical thinking, and independent interpretation. Students also develop their skills at discussion and debate, while learning more about American and Japanese social issues.	
テキスト 指定図書 参考書	A set of course readings is distributed in the first class.	
成績評価	Grades for this course are based on class participation (35%), completion and understanding of reading assignments (30%), and quality of written coursework (35%).	
履修資格		

科目名	デジタルデザイン演習	２単位　前期
担当教員	印南　比呂志　・　南　政宏　・　佐々木　一泰　・　小杉　美穂子※　・　森下　あおい	
授業概要	CADや画像処理，ドローイングソフトなどを用いて，デジタルデザインの基礎から応用までを学ぶ．	
到達目標	PCを用いたデザイン作業の知識を深める．	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし．適宜プリントを配布する．指定図書：授業内に適宜紹介する．参考書：授業内に適宜紹介する．	
成績評価	授業における課題の理解度，および宿題評価により評価する．	
履修資格		

科目名	哲学概論Ａ	２単位　前期
担当教員	鞍田　崇※	
授業概要	哲学というと、難解なものというイメージがあるかもしれません。しかし、哲学の原点はあくまで私たちの日常生活。あたりまえのように営まれている日々の暮らしの「あたりまえさ」に対して、何かがちがうという感覚を抱いたとき――それが哲学の始まり。哲学的なまなざしは、現在、あらためてその意義が注目されているものでもあります。その大きな理由は、地球環境問題に対する認識の深まり、そしてそれにともなうライフスタイルへの関心。この講義ではこうした点に留意しつつ、アート、デザイン、建築、民俗、宗教など様々なジャンルを手がかりに、いっしょにこれからの暮らしの「かたち」を考えていきます。	
到達目標	現代思想において問われていることの意味と歴史的背景を理解すること。しかし何よりもこの講義の目的は、みなさん一人ひとりが「哲学する」ことのきっかけをつかんでいただくことにあります。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：『＜民藝＞のレッスン－つたなさの技法』（鞍田崇編／フィルムアート社／1,700円＋税） 参考書：講義の中で適宜紹介します。	
成績評価	講義内レポート　40％　テーマごとに理解度の確認と疑問点の整理をします（2，3回、各Ａ4一枚程度）；期末試験　60％　講義全体をふまえた内容で3000字程度。詳細は講義中に連絡。	
履修資格		

科目名	哲学概論Ｂ	２単位　前期
担当教員	陶久　明日香※	
授業概要	哲学には興味があるがどこから入り込んでいいか分からないという状態から、哲学的思索の領域へと一歩入り込むことを促すための導入的講義です。したがって哲学を支える大きな柱となる伝統的ないくつかの問題とその考え方についての概説を通じて、哲学のおおよその形を呈示します。主に「存在」と「知識」の問題を扱い、最終的には「価値」の問題にも触れることになります。	
到達目標	以下の3点について理解を深めること：①哲学は大雑把にみてどのような分野を持つのか、②そうした分野はどのようにして生じてきたのか③またそれらの分野は具体的にはどのように展開されてきたのか。	
テキスト 指定図書 参考書	プリントを配布します。また参考図書に関しては、授業時に適宜紹介していきます。	
成績評価	集中講義のため、出席を重視します（50％）。また講義後に出題するレポートによって評価します（50％）。	
履修資格		

科目名	デッサン法	１単位　前期
担当教員	冨原　仁美※	
授業概要	造形表現の基礎となる描写力を習得する。形態や色彩などの造形要素を理解し、それらを正確に描写表現するための考え方や技術を学ぶ。	
到達目標	上位のデザイン演習に対応するための基礎的な観察力、表現力の習得。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜に紹介する。	
成績評価	授業課題および宿題の実技内容と取り組み姿勢。出席が授業時間数の3分の2に満たない者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	天然物化学基礎	２単位　前期
担当教員	灘本　知憲　・　佐野　光枝	
授業概要	化学と人間生活の関わり、特に食での関わりを考える上で必要な、化学の基礎知識を扱う。	
到達目標	これまで十分に化学を学んでこなかった人も念頭に置いて、専門領域での生物・化学的発展と実践に必要な最低限の基礎化学を学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：北原ら著「食を中心とした化学」（東京教学社）	
成績評価	小テスト20％，期末試験80％。予め配布する「講義のねらい」に記載された分野、項目の理解度を見る。	
履修資格		

科目名	ドイツ語コミュニケーションＩＡ	２単位　後期
担当教員	吉村　淳一	
授業概要	ドイツ語ＩとⅡ（全学共通教育科目）で身につけた文法の知識を活用し、読解練習、聞き取り、書き取り、会話練習、作文、練習問題を通じてさらに高度なコミュニケーション能力を総合的に身につけることを目指す。授業の進め方に関して言えば、前半部分で音読および訳出の練習、文法事項の確認、後半部分では会話の練習を行い、習熟度に応じて小テストなどを行う。また隔週で聞き取り、書き取り、簡単な作文の練習をする。	
到達目標	海外留学先での日常生活などに必要となるドイツ語の運用能力（「読む・書く・聞く・話す」能力）をバランスよく身につけることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 佐藤修子/下田恭子/ハイケ・パーペンティン/ゲーザ・オーデルハーフェル/ダニエル・アーノルド/トーラルフ・ハイネマン『スツェーネン2コンパクト 場面で学ぶドイツ語（CD＆ワークブック付き）』（三修社）。 ISBN:978-4-384-13090-4. 参考書:適宜紹介	
成績評価	読解練習の担当および小テスト、課題、会話の練習（40％）と定期試験（60％）の成績により評価する。欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語コミュニケーションＩＢ	２単位　後期
担当教員	アンヤ　スリワ※	
授業概要	ドイツ語ＩとⅡ(全学共通教育科目)で身につけた文法の知識、語彙、表現を活用し、ドイツ語コミュニケーションＩAと連携しながら、この授業では主に会話練習、聞き取りに重点を置いてドイツ語によるコミュニケーション能力を身につけていく。今年度が初めての授業になるので、履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。ドイツ語ＩとⅡ(全学共通教育科目)同様、基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。	
到達目標	発音や文章表現・文法的な知識を習得する。ドイツ(ドイツ語圏)に留学することになっても困らない程度のコミュニケーション能力を習得させることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケ・パーペンティン / ゲーザ・オーデルハーフェル / ダニエル・アーノルド / トーラルフ・ハイネマン 『スツェーネン2. コンパクト 場面で学ぶドイツ語 (CD＆ワークブック付き)』(三修社)。但し、必要に応じて他の教材もこちらで用意する。	
成績評価	会話の練習(50％)と定期試験の成績(50％)により評価する。欠席や遅刻の場合は、評点から減点することとする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語コミュニケーションⅡＡ	２単位　前期
担当教員	吉村　淳一	
授業概要	一般教養、時事問題、簡単なエッセイなどを題材とし、読解能力の向上を図るため、ドイツ語で書かれた一般常識に関する文章を精読する。既習のドイツ語文法の知識を活用して、事典などから情報を取り出す練習をする。ドイツ国内の社会システム、EUの組織、ドイツやヨーロッパの歴史などのトッピクスをはじめとして、非常にさまざまな分野から文章を選択し、文法知識の補強や読解力の向上だけでなく語彙力のアップをめざす。	
到達目標	初級文法の応用ならびに中・上級文法の習得を目指す。また社会生活に必要となる語彙力の向上を図る。内容面では現代社会における問題と取り組むための素養を身につけることや情報を短時間で的確に取り出す能力を磨くことを目標としている。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布	
成績評価	読解練習の担当および小テスト、課題（40％）と定期試験（60％）の成績により評価する。欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語コミュニケーションⅡＢ	２単位　前期
担当教員	アンヤ　スリワ※	
授業概要	全学共通科目のドイツ語（ＩＡ、ＩＢ、ⅡＡ、ⅡＢ）やドイツ語コミュニケーションＩＡ、ＩＢで身につけた知識を応用し、より高度な会話練習を行う。また留学生活で必要となる表現を学習する。聞き取り練習、書き取り練習やスピーチの練習などを通じて日常生活を始めとしてさまざまな状況に対応できるようにドイツ語の運用能力を磨く。	
到達目標	留学先の国で生活するのに必要なドイツ語の運用能力を身につける。より高度なドイツ語文法の知識を応用してただ単純な短い日常会話文だけではなく、コミュニケーションの相手の意見を正確に把握したり、相手に自分の考えを様々なドイツ語の表現を組み合わせて論理的に伝えたりすることができるようになることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：Themen 2 aktuell (Lektion 1-5)Kursbuch + Arbeitsbuch AufderStrasse Hartmut, Bock Heiko, Mueller Jutta, Mueller Helmut Hueber Verlag (出版社) ISBN 978-3-19-181691-9	
成績評価	会話の練習(50%)と定期試験の成績(50%)により評価する。欠席や遅刻の場合は、評点から減点することとする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語コミュニケーションⅡＣ	２単位　前期
担当教員	吉村　淳一	
授業概要	ドイツ語コミュニケーションＩなどで身につけた文法の知識を利用して、手紙、日記、レポートなど比較的長い文章が書けるようにさらに高度な文法や表現について学習する。具体的にはダニエル・ケルン／渡辺学／福原美穂子著『ドイツ語レベルアップトレーニング－ミスを減らして一歩先へ』のテクストをモデルに表現の可能性を学習し、文法上の注意点を確認した上で、プリント教材を利用して作文練習をする。	
到達目標	既習文法の知識、辞書を援用しさまざまなテーマでドイツ語の文章を書く練習をし、情報発信力を身につけることを目標とする。その際に自国の文化をドイツ語で表現する力も養うことを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	必要に応じてプリントを配布。 テキスト：ダニエル・ケルン／渡辺学／福原美穂子『ドイツ語レベルアップトレーニング－ミスを減らして一歩先へ』三修社 ISBN:978-4-384-05473-6 参考書：清野智昭／山田敏弘『日本語から考える！ドイツ語の表現』白水社 ISBN:978-4-560-08560-8 その他のものは授業中に適宜紹介	
成績評価	毎回の作文の練習（60%）、課題の提出（40%）。ただし遅刻や欠席などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。	
履修資格		

科目名	ドイツ語コミュニケーションⅡＤ	２単位　前期
担当教員	アンヤ　スリワ※	
授業概要	全学共通科目のドイツ語（ＩＡ、ＩＢ、ⅡＡ、ⅡＢ）やドイツ語コミュニケーションＩＡ、ＩＢで身につけた知識を応用しながら、自分の意見をドイツ語で論理的に表現する方法を学ぶ。具体的には日常会話の練習を始めとしてディスカッションやプレゼンテーションの練習などを行う。留学先の大学の授業等で必要となる語彙や表現も学習する。	
到達目標	ディスカッションやプレゼンテーションなど、大学の授業などで必要となる、より高度なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。その際に必要となる語彙や表現力なども実践を通じて学習する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト： Themen 2 aktuell (Lektion 1-5) Kurs-und Arbeitsbuch Aufderstrasse Helmut, Bock Heiko, Mueller Jutta, Mueller Helmut Hueber Verlag (出版社) ISBN: 978-3-19-181691-9	
成績評価	会話の練習(50%)と定期試験の成績(50%)により評価する。欠席や遅刻の場合は、評点から減点することとする。	
履修資格		

科目名	道具計画論	２単位　前期
担当教員	印南　比呂志	
授業概要	住環境の実態を背景に、人間が関わってきた道具類を毎週ひとつの分野にテーマを絞って、その製品をとりあげて講義をすすめる。その製品の歴史、市場、変遷、社会的価値についてさまざまな視点から考察を試みる。また、ものづくりとしての製品開発における企画設計プロセス、市場での製品流通やマネージメントに至までの実際を学ぶ。テーマによっては外部講師として専門家の招聘して講義を行う。	
到達目標	道具という視点で世の中に存在するさまざまな製品、ブランド商品などの背景、価値を理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:ヴィクター・パパネック著「生きのびるためのデザイン」(晶文社)、ゲルト・ゼレ著「デザインのイデオロギーとユートピア」(晶文社)	
成績評価	中間、最終レポート課題により評価する。	
履修資格		

科目名	道具デザイン演習Ⅰ	２単位　前期
担当教員	南　政宏　・　麻谷　宏※	
授業概要	プロダクトデザインおよびグラフィックデザインのための基礎的な表現手法を修得する。デザイン作業用の画材や材料の使用方法から、デザイン課題の発想方法、進め方、スケッチやレンダリングの技法、提案パネル作成のための編集デザインの基礎を学ぶ。プロダクト、グラフィックデザインにおいて必要となる基礎的な技術と考え方を練習課題をとおして体験的に学んでいく。	
到達目標	(1)鉛筆を使った表現技法を修得する。 (2)デザインマーカーを使った表現技術を修得する。 (3)コンピュータを使った表現技術を修得する。(Illustrator, Photoshopなど)	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:なし 参考書:Sketching/ Drawing Techniques for Product Designers [Hardcover] コピックマーカーとPMパッドの購入が必要。 模型材料の調達が必要。	
成績評価	提出課題による評価:50%・課題作業のプロセスにおける取り組みによる評価50%	
履修資格		

科目名	道具デザイン演習Ⅱ	２単位　後期
担当教員	印南　比呂志　・　麻谷　宏※　・　南　政宏	
授業概要	前期授業の道具デザイン演習Ⅰで習得した技術、技法を基礎として、製品デザイン開発の方法をさまざまなものづくりの業界の現場に関わりながら学んでいく。架空もしくは実際の企業の商品計画やCI(コーポレートアイデンティティ)計画などの実践的な課題を通して進めていく。またこれらの成果をわかりやすく表現するための提案パネルや模型などの制作を通して、プレゼンテーションの方法も学んでいく。	
到達目標	(1)ものづくりの現場調査の方法。つまりインタビューやドキュメンテーションの方法を修得する。 (2)デザイン提案物の簡単なモデリングやパネルプレゼンテーション技術を修得する。 (3)コンピュータのを使ってプレゼンテーションできる。(パワーポイント、CGなど)	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:工藤強勝監修「編集デザインの教科書」(日経デザイン刊・日経BP社)	
成績評価	提出課題による評価:50%・課題作業のプロセスにおける取り組みによる評価50%	
履修資格	プレゼンテーション技法、道具デザイン演習Ⅰ、デジタルデザイン演習を履修していること。	

科目名	道具デザイン演習Ⅲ	２単位　前期
担当教員	面矢　慎介　・　印南　比呂志	
授業概要	道具の計画・デザインにおいて必要な知識・考え方と技術を修得する。道具デザイン演習Ⅰ～Ⅱで学んだ技術と知識を基礎として、生活関連分野の製品およびそれらを含んだ生活空間についての具体的な計画・デザインの課題を課す。	
到達目標	基礎的調査・構想から企画立案、造形、製図、立体モデル制作、プレゼンテーションまでの作業を修得する。	
テキスト 指定図書 参考書	授業中に指示する。	
成績評価	授業中の発表（20％）と完成提出作品（80％）による。	
履修資格		

科目名	道具デザイン史	２単位　後期
担当教員	面矢　慎介	
授業概要	近代以降における道具デザインの変容についての解説。近代以降の工業化によって、生活環境を構成する道具は大きく変容してきた。従来のデザイン史が歴史上有名なデザイナー個人やグループの造形思想に重きをおいて造形上の変容を説明してきたのに対して、本講義では、近代以降に登場した家庭用生活機器・生活道具を中心に、それらの成立・発展・普及の経緯やデザインの変容について、経済的・社会的・文化的・技術的背景との関係から考察する。	
到達目標	道具のデザインが恣意的な外形上の操作ではなく、産業社会における生産と生活の形態と深く結びついた活動であることを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：阿部公正ほか「カラー版・世界デザイン史」（美術出版社）、アドリアン・フォーティ「欲望のオブジェ」（鹿島出版会） その他の参考書：初回授業時に文献リスト配布する。	
成績評価	コメントカードとレポート（文献レポートと期末レポート）による。期末レポートは出題から提出まで約2ヶ月間とする。成績評価への寄与率は、文献レポート20%、期末レポート60%、コメントカード20%。授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。	
履修資格		

科目名	道具デザイン論	２単位　後期
担当教員	印南　比呂志　・　南　政宏	
授業概要	プロダクトをデザインして販売できる商品としていくためには、様々な条件を克服していかなければならない。企業側にある論理、販売側にある論理、デザイナーが実現したいイメージ。それらをどのように乗り越えて商品として実現していくのか、デザイナーと、メーカーの実務的なやり取りを通しながらそのプロセスを追いながら解説する。	
到達目標	商品をとりまく経済の仕組みや流通、販売、技術、広告、ブランディングについての知識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	特になし。	
成績評価	必要に応じて小レポートを課する。	
履修資格		

科目名	統計学基礎	２単位　前期
担当教員	細馬　宏通	
授業概要	最近ではパソコンやソフトウェアのおかげで、数式を意識しなくとも気軽に統計をあつかえるようになってきた。にもかかわらず、いざデータを手にとると、どこから手をつけていいかとまどう人が多い。それは統計学の「考え方」が壁になっているからである。本講義では、標本や母集団などの基本的概念から出発して、推定や検定、検証的アプローチと探索的アプローチの基本的な知識を扱い、統計学的な考え方を身につけることを目ざす。	
到達目標	母集団と標本の概念を身につける。 相関を含む記述統計量の基本的な使い方を習得する。 推定と検定の基本手順を習得する。 日常生活で用いられる統計学的な考えに関心を持ち、検証する態度を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：涙なしの統計学（サイエンス社）指定図書：講義内で指定する参考書：講義内で紹介する	
成績評価	リスポンスペーパー(30%) 期末試験(70%)によって評価する。	
履修資格		

科目名	東洋史概説	２単位　後期
担当教員	田中　俊明	
授業概要	東アジア世界の形成をテーマとして、特に古代における東アジア世界論と、その具体的な検証を進める。時代的には、中国の前漢から唐代、紀元前2世紀から10世紀を扱う。中国史の展開を軸としつつ、周辺諸国との関係・動向を具体的にみることも含める。	
到達目標	基礎知識の習得。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：用いない。プリントを毎回配布。 参考書：適宜、指示する。	
成績評価	学期中のレポート1回20％、学期末試験80％。	
履修資格	特になし。	

科目名	日本・地域交流特論	２単位　後期
担当教員	京樂　真帆子	
授業概要	日本古代史の史料を輪読しながら、当時の政治・文化・社会への理解を深める。	
到達目標	日本古代史の史料を正しく読解する能力と、史料から諸現象を分析する力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリントを配布する。指定図書：特になし参考書：授業中に適宜指示する。	
成績評価	授業期間内に適宜実施する確認テスト　100％	
履修資格		

科目名	日本史概説	２単位　前期
担当教員	水野　章二	
授業概要	日本の前近代がどのような社会であったかを、近代社会との対比を通して具体的に考える。特に民衆に焦点をあて、民衆が生きていくために不可避的に取り結ばざるを得なかった社会集団―身分編成のあり方や生産・生活の場の特質、前提となった歴史的環境とその変化などを多面的に検討する。	
到達目標	現代とは全く異なった生存条件の下におかれた前近代の民衆の姿を学ぶことによって、現代社会の特質を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考書:水野章二『中世の人と自然の関係史』(吉川弘文館) 水野章二編『琵琶湖と人の環境史』(岩田書院)	
成績評価	期末筆記試験70%、レスポンスペーパー30%。成績評価方法および水準については授業時に説明する。	
履修資格		

科目名	日本社会論	２単位　後期
担当教員	武田　俊輔	
授業概要	同じ「日本社会」の中で暮らしつつも、その社会のメンバーシップからはじき出されてきた様々な人々の姿を通して，戦前・戦後の「日本社会」の姿を再検討することにある。労働市場からも教育からも福祉からも排除されていく人々の視点から「日本社会」はどう映るのか。またそうした人々を改めて社会に包摂した形で社会的な連帯を創り出すことの可能性を論じる。	
到達目標	多くの人々が「当たり前」と感じている「日本社会」のイメージを、国境を越えて移動する人々の「越境」、差別や貧困といった社会の中の「断層」、そしてそのような状況に追い込まれた人々の国家による「動員」の三つの観点から、相対化する視線を身につけることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考書:大澤真幸，1997，『ナショナリズム論の名著50』平凡社.	
成績評価	期末レポート(100%)の点数に、毎回の講義で提出してもらうレスポンス・カードによる平常点を加味する。なおレスポンス・カードの内容は加点要素とする(減点はしない)。	
履修資格		

科目名	日本史料講読	２単位　前期
担当教員	水野　章二　・　東　幸代	
授業概要	日本の前近代の社会や文化を理解する上で必要な各種史料の読解力を養う。各時代を代表する史料を選んで輪読し、史料の具体的な内容を検討するとともに、史料の作成された時代や社会の特質などについて考察して、歴史研究の基礎を身につける。	
到達目標	基本史料の解釈ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:	
成績評価	前期・後期とも、授業における発表を重視し、期末筆記試験あるいはレポートなどにより総合的に評価する。成績評価方法および水準については授業時に説明する。	
履修資格		

科目名	日本文化史論Ａ	２単位　前期
担当教員	京樂　真帆子	
授業概要	日本古代史の史料などに基づき、当時の文化について考える。『小右記』などの古記録を題材に、平安京の都市文化について分析していく。 本年度の分析テーマについては、初回のガイダンスで発表する。	
到達目標	平安時代の文化史の展開を、総合的に把握する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントを配付する指定図書:特になし参考書:適宜紹介する	
成績評価	期末試験100％	
履修資格		

科目名	日本文化史論Ｂ	２単位　前期
担当教員	京樂　真帆子	
授業概要	ジェンダーでみる日本史を考える。日本における女性史研究は戦前からの長い歴史を持っている。近年、ジェンダーの概念を取り入れることによって、新しい日本女性史が描かれるようになってきた。女性であることが歴史の中でどういう意味を持ち、どう評価されてきたのかを考えていく。	
到達目標	①ジェンダー概念を正しく理解する。②性差の歴史への理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:毎回プリントを配布する。指定図書:特になし参考書:授業中に適宜指示する。	
成績評価	レスポンスカードの内容　30％　期末レポート　70％	
履修資格		

科目名	日本文化論	２単位　前期
担当教員	京樂　真帆子	
授業概要	日本文化の諸相を歴史的に分析する。特に、日本映画に描かれる日本文化の問題点を歴史学的見地から評価していく。	
到達目標	①日本の歴史を正しく理解する。②日本の歴史表象の特徴を理解する。③映像文化への理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリントを配布指定図書:特に指定しない参考書:適宜紹介	
成績評価	毎回提出の小レポート　30％　　期末レポート　70％	
履修資格	特になし	

科目名	人間関係論基礎演習	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	人間関係論への心理学・社会学・教育学のアプローチの基礎を学ぶ。各領域について、その内容と広がり、方法論の基礎を、講義、関連する入門書や基本文献の輪読、初歩的な実験やフィールドワーク、ディスカッション、ディベートなどを通じて学び、人間関係論への関心と理解を深める。	
到達目標	人間関係に関する心理学・社会学・教育学の各アプローチの基本的な視角・方法・知識を習得し、あわせて人間関係研究に必要なアカデミックスキルの基礎を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト、参考書：授業中に適宜指定する。	
成績評価	各教員が指示するリアクションペーパー・小レポート（55％）と最終レポート（45％）を総合して評価する。	
履修資格		

科目名	人間関係論演習Ⅰ	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	各教員ごとに分かれて、人間関係論のそれぞれの分野に関しての既存の成果を概観するとともに、卒業研究のテーマの探求に向けての論文購読と予備的な準備を行う。	
到達目標	卒業論文のテーマを決める。	
テキスト 指定図書 参考書	授業中に適宜指定する。	
成績評価	発表や各教員によって指示された提出レポートを総合して評価する。	
履修資格		

科目名	人間関係論演習Ⅱ	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	「人間関係論」のそれぞれの分野に関して既存の成果を概観するとともに、各自の卒業論文の作成に必要な資料を収集し、分析する。	
到達目標	卒業論文を書き上げる。	
テキスト 指定図書 参考書	授業中に適宜指定する。	
成績評価	発表や各教官によって指示された提出レポートを総合して評価する。	
履修資格	「人間関係論演習Ⅰ」を履修済みであること。	

科目名	人間形成論	２単位　前期
担当教員	吉田　一郎　・　篠原　岳司　・　木村　裕	
授業概要	本授業では、「発達と教育」のあり方、学校制度の概要と近年の改革動向、現代的課題に取り組むための新たな教育の取り組みなどを紹介することを通して、生涯にわたる人間形成における教育の役割、教育制度の将来像、教育課程と授業の将来像などについて考察していく。授業を進めるにあたっては、講義に加え、事例検討や体験型学習も取り入れる。	
到達目標	人間形成をめぐる問題群の所在と解決の基本方向について、おおよその認識を得るとともに、それに関する自身の考えを述べられるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストなどは指定せず、必要な資料は講義中に配布する。また、参考文献などについては講義中に適宜紹介する。	
成績評価	レポートで行う。	
履修資格		

科目名	人間工学	２単位　後期
担当教員	中村　孝之※	
授業概要	社会の急速な変化で生じる、人間と環境のあり方のギャップを埋めて行くための手がかりとなるのが人間工学である。ここでは、生理、心理、身体、そして行動など、人間の基本的特性を理解し、プロダクト、インテリア、建築などの生活環境構成要素を取り上げ、人間との最適な関係を考えた計画やデザインの手法について学ぶ。	
到達目標	人間工学の目的とするところを理解し、基本的な知識を習得し、生活環境や製品の計画・デザインの際に、人間からのアプローチができるようになることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:なし(授業ごとにプリントを配布) 参考書:「住まい文化シリーズ　住まいと暮らしの安全」＜理工図書＞ 「ユニバーサルデザインの教科書　増補改訂版」＜日経デザイン＞ 「エンジニアのための人間工学-改訂-」＜日本出版サービス＞ 「空間デザインの原点」＜理工学社＞	
成績評価	中間テスト40%　期末レポート(または試験)60%	
履修資格		

科目名	人間工学実習	１単位　前期
担当教員	森下　あおい　・　宮本　雅子	
授業概要	生活に関わるデザインの多くのものは、人体のサイズや形態を基準に設計されている。この授業では基本姿勢における人体計測法を学ぶとともに、服飾 、道具、住居分野のデザインを行う際に必要とする体形特徴や、動作や姿勢によって生じる体形の変化などと関係する設計条件を実験によって把握する。また計測値をデザインに活用するための統計手法を学ぶ。	
到達目標	1. デザインに必要な人体形態の理解 2. 衣服型紙と人体寸法の関係の理解 3. 計測値の統計処理法の習得 4. 人間とモノとの関係について分析する能力の習得	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:配布資料によって授業を行います	
成績評価	レポート(各課題)100%　なお授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格	「人間工学」を履修済みであること。	

科目名	人間行動論	２単位　後期
担当教員	細馬　宏通	
授業概要	医療倫理、災害、環境問題、食の安全問題など、わたしたちの身の回りには、わたしたちが価値をおくものをおびやかすさまざまなリスクが存在する。現在のリスク・マネジメントは環境分析のみならず心理学、社会学、倫理学などさまざまな分野の融合したものとして成り立っており、学術横断的に人間の行動を考える上でも重要である。この講義では、現在のリスク学を概観した上で、前半では認知科学の分野で研究が進んでいるリスク認知と意思決定の問題を考える。後半では、リスク・マネジメントにおけるリスクの定義から合意形成までの過程を追い、それが文化や社会構造にどのような影響を受けるかを考える。最後に、ディベートを体験することによって、リスク・コミュニケーションが単なる施策の伝達ではなく、双方向コミュニケーションであることを体験し、そこにどのような問題が横たわっているかを考察する。	
到達目標	リスク・マネジメントの過程を知る。 リスク認知と意思決定の問題点を知る。 双方向的なリスク・コミュニケーションのあり方を知る。	
テキスト 指定図書 参考書	講義中に指定する。	
成績評価	レスポンスペーパー(40%)、期末レポート(60%)で評価する。	
履修資格		

科目名	人間文化論Ａ	２単位　前期
担当教員	細馬　宏通　・　面矢　慎介　・　山本　薫　・　田中　俊明　・　福渡　努	
授業概要	人間文化学部は、地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科の5学科から成っている。しかしそれぞれの学科は特定の分野の中に閉じ込められているわけではない。では、それぞれの学科は外の分野に向かってどのように開かれているのだろうか、それを考える手がかりとして、この講義では異なる学科に属する10組の教員どうしの対談と、各学科の教員による5回のレクチャーが行われる。これから4年間を過ごす学部で、どのように学問の関心を広げ、他学科の教員や学生と交流を開いていけばよいのか、この講義からそのことを考えるヒントをつかんでほしい。	
到達目標	これから四年間を過ごす人間文化学部の全体像を把握し、異分野間の関係を捉える。	
テキスト 指定図書 参考書	講義の中で紹介する。	
成績評価	レスポンスペーパー 50%　レポート 50%とする。	
履修資格	特になし。	

科目名	人間文化論Ｂ	２単位　後期
担当教員	河　かおる　・　ブレンサイン　・　定森　秀夫　・　水野　章二　・　石川　慎治	
授業概要	テーマ:「交流する文化、交差するまなざし」 文化は、様々な歴史的要因によって他の文化と交流し、受容や反発の複雑なプロセスを経ながら、そのオリジナルな形を変容させてゆく。本講義では、5人の教員がオムニバス形式で、それぞれ具体的な文化現象をとりあげてその交流や変容の問題について論じる。 本年度の担当教員とその講義内容は以下の通りである。 定森秀夫:渡来人の問題を地名や神社・寺院・考古資料等で考える。 水野章二:前近代社会における災害をの認識と対処を考える。 ボルジギンプレンサイン:中国の少数民族問題等を考える。 河かおる:朝鮮通信使から日本と朝鮮との関係を考える。 石川慎治:近江の伝統的な町なみ・集落について考える。	
到達目標	文化の交流や変容の諸相について理解すること。	
テキスト 指定図書 参考書	その都度、紹介する。	
成績評価	ミニレポートもしくは小テスト(100%) キーワードなど、講義内容についての受講生の理解度を確認する。	
履修資格		

科目名	人間文化論Ｃ	２単位　後期
担当教員	松嶋　秀明 ・ 道明　美保子 ・ 宮本　雅子 ・ 寄本　明 ・ 浦部　貴美子 ・ 佐野　光枝 ・ 中村　好孝	
授業概要	この授業では、まず衣生活・住生活における快適な環境条件について4回講義する（道明・宮本）。次に、食環境、生活習慣の変化と健康の関わりについて5回講義する（浦部・寄本・佐野）。さらに、人間にとっての最小の共同体である家族がどのようになろうとしているかという現代家族論を5回行う（松嶋・中村）。	
到達目標	（宮本）住宅の中の暮らしとその変化について理解すること。 （道明）快適で地球に優しい環境にとって被服環境では何が必要かを考え実践する態度を身につける。 （浦部・寄本・新任）自身の食生活を客観的に評価できる。今後、どのような食生活を送るとよいのか、自分の考えを持つことができる。 （松嶋・中村）①家族をみるための視点を身につけること。②現代的社会問題を家族との関連で理解すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし	
成績評価	各教員に提出されたレポートによって行う。道明・宮本28％、浦部・寄本・佐野36％、松嶋・中村36％。ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	認知心理学	２単位　前期
担当教員	上野　有理	
授業概要	モノやコトなどの対象に関する認知は、認知主体（人）を取り囲む環境における物理的情報や他者、社会、認知主体の身体などから影響を受ける。さらに、認知から行動への過程があり、環境を変えて認知に影響を与えるといった循環がある。本講義においては、こういった過程のなかでも認知を中心として、ほかの要素との相互作用も踏まえたうえで概説し、人の心や日常世界などの現象について論じる。	
到達目標	認知心理学に関心をもち、社会や日常世界での認知について心理学的、かつ科学的な観点から考えられるようになる。また、このことを通じて、心の働きや仕組み、人の行動について理解を深めることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜紹介	
成績評価	期末試験（50%）とレスポンスペーパー（50%）	
履修資格		

科目名	博物館経営論	２単位　前期
担当教員	市川　秀之 ・ 中井　均	
授業概要	学芸員としての活動を円滑におこなうために必要とされる博物館の施設・組織・運営に関する内容を事例を中心に講義する。また近年重要になってきている博物館運営への市民参加についてもとりあげたい。	
到達目標	博物館運営についての基礎的知識を習得すること	
テキスト 指定図書 参考書	『新時代の博物館学』芙蓉書房出版	
成績評価	レスポンスカードの評価40％・レポート20％・テスト40％	
履修資格	特になし	

科目名	博物館展示論	２単位　後期
担当教員	亀井　若菜　・　未定	
授業概要	博物館は、展示を通して来館者に情報を発信し、来館者はそれを受け止める。博物館の重要な役割を担う展示に関する諸問題について考えていく。	
到達目標	博物館の展示に関する基本的な知識の取得	
テキスト 指定図書 参考書	参考図書:『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会西日本部会編、芙蓉書房出版、2012年	
成績評価	レスポンスカード50％、レポート50％	
履修資格		

科目名	発達支援論（人間関係）	２単位　後期
担当教員	竹下　秀子	
授業概要	発達支援のための基礎理論を講じたのち、対象理解の具体的な方法としての発達診断や発達支援の技術について、さまざまな現場の実践例を踏まえて概説する。	
到達目標	出生から続く生涯発達の過程において、主体の発達を援助する理念、方法や技術、制度がどのように共有されてきたを理解し、今後のあり方を考える。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業中に適宜配布、紹介する。 指定図書:授業中に適宜紹介する。 参考書:授業中に適宜紹介する。	
成績評価	レスポンスペーパーの提出、授業での発言、討論への参加（原則50％）、期末試験（原則30％）およびレポート（原則20％）による。	
履修資格	授業に積極的に参加する意志のある人	

科目名	発達心理学Ⅰ	２単位　後期
担当教員	上野　有理	
授業概要	私たち人間の子どもは、他の動物に比べ未熟な状態で生まれてくる。しかし子どもは全く無力な存在ではなく、さまざまな認知機能に支えられて外界の物や人と関わり、学び、発達していく。授業では、とくに乳幼児期に焦点をあて、子どもの認知発達を紹介する。これにより、ときに大人とは異なる、子どもの行動や心の働きの理解を深めることを目指す。	
到達目標	子どもの行動や心の働きのしくみを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書は授業内で適宜紹介する。テキスト、指定図書はなし。	
成績評価	レスポンスペーパー（30％）と期末試験（70％）で評価する。	
履修資格		

科目名	発達心理学Ⅱ	２単位　後期
担当教員	竹下　秀子	
授業概要	学校生活での勉強や、友達や教師のとの人間関係、親からの自立をめぐって、現代の子どもたちはどのように少年期を乗り越えていくのだろう。この時期の人格発達を、認知的発達の諸側面とともに、他者や諸処の社会的集団と如何なるかかわりが形成されるのか、属する社会集団で自我・自己がどのように形成されていくのかについて焦点をあてて論じ、教育的人間関係と社会的援助のあり方をさぐる。	
到達目標	他の霊長類と比べて特異的に長いヒトの少年期の心の発達特性を、社会的・文化的要因との関連において理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:授業中に適宜配布、紹介する。指定図書:授業中に適宜紹介する。参考書:授業中に適宜紹介する。	
成績評価	レスポンスペーパーの提出、授業での発言、討論への参加(原則50%)、期末試験(原則30%)およびレポート(原則20%)による。	
履修資格		

科目名	発展演習Ⅰ（国際コミュニケーション）	１単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこなう。研究演習への前段階として、卒業論文のテーマ選択、学習を開始する。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	卒業論文のテーマを決定し、ゼミ担当教員の指導のもと、主体的に研究をおこなう。	
テキスト 指定図書 参考書	各ゼミ教員の指示による。	
成績評価	各ゼミ担当教員の判断による。	
履修資格		

科目名	発展演習Ⅱ（国際コミュニケーション）	１単位　後期
担当教員	学科教員	
授業概要	テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこなう。研究演習への前段階として、卒業論文のテーマ選択、学習を開始する。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	卒業論文のテーマを決定し、ゼミ担当教員の指導のもと、主体的に研究をおこなう。	
テキスト 指定図書 参考書	各ゼミ教員の指示による。	
成績評価	各ゼミ担当教員の判断による。	
履修資格		

科目名	パブリック・スピーチ	２単位　前期
担当教員	ジョン　リピー	
授業概要	In this course, students their develop abilities at public speaking and giving presentations and speeches in English. Students first read, watch, and analyze examples of performances, in order to learn how presentations and speeches are structured, and the practices and techniques which make for effective deliveries. Students then receive ample practice and experience in putting this knowledge to use, writing manuscripts for and delivering their own presentations and speeches. Students prepare and deliver one long presentation and one extended speech over the course of the semester, receiving responses to and feedback on their performances. 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	Students learn the elements of successful presentations and speeches and develop their ability to put these elements to use in their own public speaking performances. Students also strengthen their expository and critical writing ability by generating manuscripts for extended presentations and speeches.	
テキスト 指定図書 参考書	Michael Hood, Dynamic Presentations: Skills and Strategies for Public Speaking. 桐原書店.	
成績評価	Grades for this course are based on class participation (20%), a presentation manuscript (20%), a speech manuscript (20%), a presentation performance (20%), and a speech performance (20%).	
履修資格		

科目名	比較衣装論	２単位　後期
担当教員	石関　亮※	
授業概要	現代の日本の服飾は西洋に源をもつ。西洋の服飾は長い伝統をもち、いつの時代にも人々の日常に深く関わり、時代の変革に敏感に反応しながら変遷を遂げてきた。18世紀から現代までの西洋の服飾史を、スライド、ヴィデオなどで具体的な事例を取り上げながら、人間のありようを表象するファッションについて考察する。また、西洋の服飾が日本に導入された過程や、19世紀後期以降日本の服飾が西洋の服飾に影響を与えたジャポニスムを事例として取り上げ、ファッションにおける東西文化の交流をみる。	
到達目標	現代衣服の礎となる西洋の服飾について歴史的、比較文化論的に考えていくことを通して、衣服や〈着る〉という行為と社会とのかかわりの多様さを知り、一つの題材をさまざまな視点から考察する能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:深井晃子監修『カラー版　世界服飾史』増補新装版　美術出版社　2010年 指定図書:『時代を着る:ファッション研究誌「DRESSTUDY」アンソロジー』京都服飾文化研究財団	
成績評価	レスポンスペーパー　60%　5コマごとにそれまでの授業内容についてレスポンスペーパーを提出してもらう 期末レポート評価　40%　授業のまとめや感想ではなく、授業で学んだ内容を生かして自分なりの問題設定をしたレポートとする （全授業時間数の3分の2以上欠席した者は評価対象にしない）	
履修資格		

科目名	比較社会文化論	２単位　後期
担当教員	中村　好孝	
授業概要	今日の私たちの生活について理解するためには、グローバルな観点がますます必要となっている。本講義では、経済、政治、商品、人、文化などを、グローバルに社会学的に分析している諸論点を見ていく。	
到達目標	第一に、身近な社会現象を相対化する必要性を知り、その方法を学ぶ。第二に、身近な社会現象についてグローバルな観点から見ることができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	通常はレジュメを配布する。参考図書については適宜紹介する。	
成績評価	期末試験85%、レスポンスペーパー15%	
履修資格		

科目名	比較宗教論	２単位　前期
担当教員	小河　久志※	
授業概要	近年、宗教復興とよばれる現象が世界各地で顕在化しているように、宗教は現代社会を理解する上で無視できないものとなっている。この授業では、統一性と多様性という視点から、世界宗教を中心とする宗教一般について理解を深めることを目的とする。授業の前半部は、世界宗教を中心にその起源と発展の歴史、基本的な考え方などについて講義する。後半部では、東南アジアを事例に日常生活に根付く宗教のあり様について検討する。なお、受講生の理解を深めるため適宜、テーマに関連する映像資料を使用する。	
到達目標	世界宗教を中心とする宗教一般に関する基本的な知識を獲得する。 複眼的、相対的な視点から宗教を理解する力を身に付ける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義時に配布するプリント 指定図書：なし 参考書：講義中に適宜紹介する	
成績評価	期末試験（70％）とレスポンスペーパー（30％）により総合的に判断します。	
履修資格		

科目名	比較住居論	２単位　前期
担当教員	藤木　庸介	
授業概要	世界には、生態や文化、社会の違いにより、地域に固有な（ヴァナキュラーな）さまざまな住まいが存在する。ヴァナキュラーな住まいの空間について、主に中国、東南アジアから西アジア、インド、アフリカ、ヨーロッパの事例を紹介しながら、その形式や技術、住まいに対する思想について解説するとともに、風土、歴史、文化、社会制度、生活様式など多様な観点から、その構成原理を考える。	
到達目標	世界の多様な住居のあり方を学び、「住む」という行為の持つ意味と、住まいの空間について、地域に固有な構成原理を考察し、相対的位置づけができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布。 参考書：布野修司編『世界住居誌』昭和堂 2005、他、適宜紹介する。	
成績評価	小テスト3回により評価。成績への寄与率は小テストの合計を100％とする。	
履修資格		

科目名	比較食文化論	２単位　前期
担当教員	的場　輝佳※　・　堀越　昌子※　・　玉城　一枝※	
授業概要	食物と生活との関係を、食文化を背景にして自然科学的および人文学的視点から講義する。地球上で起こる食物連鎖の様相を解説し、連鎖の中点に立つ人間の食生活の歴史的変遷を教育することにより、我々の食環境の未来像を考える手がかりとなる情報を提供する。滋賀県をはじめ世界各地の風土で育まれてきた伝統的な食文化を学び、将来の食への展望を持つ。人類の歴史と食との関係を知ることによって、食文化の変化・発展を理解し、将来と現代の食文化の問題を理解する。	
到達目標	我々の食環境についての未来像を考えることができる	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：「ふなずしの謎」	
成績評価	レポート（50%）、小テスト（50%）	
履修資格		

科目名	比較道具論	２単位　後期
担当教員	面矢　慎介	
授業概要	比較文化の視点から道具を考察する基本的視点の解説。個別的文化をこえて生活道具の多様性を理解するため、世界各地の生活用具をとりあげて日本の生活用具と比較し、その相違をもたらした文化的・技術的背景について考察する。日本および世界各地の伝統的道具ばかりでなく、近代化以降の道具、大量生産による現代製品についても取り上げる。比較の対象領域としては、わが国の近代化以前の道具文化との関連の深い朝鮮半島、および近代化以後の主要な文化移入元のひとつであった英国、第二次世界大戦後の工業製品において日本に強い影響をもたらした米国などを中心とする。	
到達目標	生活文化と道具デザインの密接な関係についての認識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリントを配布 指定図書：道具学会・道具学叢書編集委員会「道具学への招待」（ラトルズ）、村瀬春樹「おまるから始まる道具学」（平凡社新書）　その他の参考書：初回授業時に文献リストを配布	
成績評価	コメントカード（10％）と小レポート（3本，計30％）。期末レポートにより評価。 期末レポートは出題から提出まで約2ヶ月で、成績評価への寄与率60%。授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。	
履修資格		

科目名	比較認知発達論	２単位　後期
担当教員	竹下　秀子　・　上野　有理	
授業概要	ヒトの知性はどのように進化してきたのか。なぜそのような進化が生じたのか。チンパンジーやニホンザルなど、ヒトを含めた霊長類の行動や認知の発達を比較する研究を紹介し、ヒトの発達と進化について論じる。	
到達目標	ヒトの知性の発達を生物進化という側面から理解し、ヒトが育つ社会・文化のあり方を考える。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業中に適宜配布、紹介する。指定図書：授業中に適宜紹介する。参考書：授業中に適宜紹介する。	
成績評価	レスポンスペーパーの提出、授業での発言、討論への参加（原則50％）、期末試験（原則30％）およびレポート（原則20％）による。	
履修資格		

科目名	比較文学論	２単位　前期
担当教員	安達　敬子※	
授業概要	日本古典文学に表された「旅」について概観する。 詩歌・日記・紀行文・物語・説話などのジャンルで取り上げられた「旅」についての記述を資料として、上代～鎌倉期の人々にとって「故郷を離れて異郷に在ること」がいかなる意味を持ったかを考察する。 神話的話型の成立・都鄙意識の問題・交通・流通の制度・歌枕の発見など、様々な視点から、日本人の「古代・中世の旅」を読み解く。	
到達目標	授業を通じて古代・中世の日本人の発想を理解し、「旅」が日本文学に与えた影響について認識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布 参考書『いまは昔　むかしは今』1～5・索引（福音館書店）	
成績評価	レポート評価のみ。 授業を五回以上欠席の場合は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	比較文化論（地域文化）	２単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	アフリカの狩猟採集民、農耕民、牧畜民のいくつかの社会を取り上げ、日本や他の地域の社会と比較しながら社会、文化、生業とはなにかを考え、人間の生き方の多様性、可能性について学ぶ。	
到達目標	社会、文化、生業の面から人間の生き方の多様性を学び、自文化と他文化を対等のものとして尊重する思想を理解すること。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書:レヴィ＝ストロース著『野生の思考』(みすず書房) 参考書:河合香吏著『野の医療』、田中二郎著『最後の狩猟採集民』、松田素二著『日常人類学宣言』、佐藤俊著『レンディレ』、加納・黒田・橋本編『アフリカを歩く』以文社など、適時紹介。	
成績評価	3回程度のレポートを総合して評価する。講義での課題の理解および自文化の相対化をはかる態度・能力を問う。	
履修資格	なし	

科目名	比較文明論	２単位　後期
担当教員	定森　秀夫	
授業概要	古代文明の発生・展開・消滅の過程から、現代文明の未来を展望してみたい。古代文明にはエジプト文明・メソポタミア文明・インダス文明・中国文明の四大文明があり、新大陸にはインカ ・マヤ・アステカ文明などがよく知られているが、その他に多様な文明が知られるようになってきた。本授業では、古代文明の相互の比較検討を通して、文明相互の共通性と相違性を認識し、時代と地域を越えて文明の融合は可能なのか、もし融合が可能でないとしたら、文明間の相互理解はどのようにしたら可能なのか、を考えていく契機を提供したい。	
到達目標	1. 古代文明の内容を理解する2. 古代文明と現代文明を時代と地域を越えて比較検討できるようにする3. 文明間の相互理解のための方策を考える	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント資料を配布する参考書:授業中に紹介する	
成績評価	講義理解度60％　レポート(小レポート2回・期末レポート)40％　で成績評価	
履修資格		

科目名	東アジア考古学概論	２単位　後期
担当教員	定森　秀夫	
授業概要	朝鮮半島は、旧石器時代から現在に至るまで日本と非常に関係が深い。朝鮮考古学の概要を理解し、日本考古学と比較してその相違性と相似性を理解することを目的とする。まず最初に、朝鮮考古学の基本と朝鮮考古学史の概要を講義する。そして、旧石器時代から朝鮮時代までの各時代における考古学の成果と問題点を概説する。場合によっては、主要な遺跡を取り上げたり、特殊な遺構・遺物を取り上げたりして、それらに関する詳しい内容を講義する。また、適宜スライド・ビデオなどを利用して、理解を深める。	
到達目標	1. 朝鮮考古学の基本と朝鮮考古学史を理解する 2. 旧石器時代から統一新羅時代までの朝鮮考古学の内容を理解する 3. 日本考古学と比較して、日本と朝鮮との歴史的な関係を考える	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント資料を配布する 参考書:授業中に紹介する	
成績評価	講義理解度60％、レポート(小レポート2回・期末レポート)40％で成績評価	
履修資格		

科目名	東アジア世界論	２単位　後期
担当教員	田中　俊明	
授業概要	（平成25年度は不開講） 中国はその名のとおり、天下・世界の中心であることを自認した。東アジア地域にとって、中国の影響力は強烈であり、そうした思想が当時の国家間の関係を規定した。しかし周辺諸国が、それにどのように対応したかは様々であり、必ずしも中国の思惑通りにはいかなかった。そこに東アジアの固有の歴史世界があるのであり、とりあげようとするのはそのような現実である。『魏志』東夷伝の中から、特に韓伝をとりあげて詳細に検討し、それを通して中国中華の「辺境」に対する認識について考えたい。	
到達目標	基礎知識の習得	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを毎回配布する。 参考書：適宜、指示する。	
成績評価	レポート20％、期末試験80％。	
履修資格		

科目名	ビジネス英語	２単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	この授業では、ビジネスの現場で役立つ実務的な内容を取り扱う。貿易のみならず、企業で日常的に使用する英語のビジネス文書（計画書や企画書、報告書、契約書、提案書、履歴書、電子メールによる文書など）の作成について、モデル文書を活用して解説する。また、英語による海外取引にも言及する。特に、電子メールなどIT時代に対応した国際ビジネスコミュニケーション手段としての英語（とりわけライティング）能力を身につけることを目標にする。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	(1) ビジネスの現場で役立つ実務的な内容について知ることができる。 (2) 英文レターを書く時の心構えとキーワード確認できる。 (3) 英文ビジネスレターのスタイルを活用することができる。 (4) 貿易実務で使う一般的英語表現を確認できる。 (5)　電子メールによる英文ライティング能力を身につけることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	（教科書） 日本商工会議所（著）『日商ビジネス英語検定 3級公式テキスト』、日本能率協会マネジメントセンター、2003。 （参考書） (1) フランシス・クディラ著 『最新ビジネス英文手紙辞典』（増補新版）、朝日出版社、1994。 (2) Karen Richardson, The Business: Pre-Intermediate. MacMillan LanguageHouse, 2008。	
成績評価	試験成績（70％）、宿題・レポート（30％）	
履修資格		

科目名	美術史Ａ	２単位　前期
担当教員	亀井　若菜	
授業概要	この授業では、日本美術の中の絵画を主な対象として扱い、絵画を通して人がいかに自己のアイデンティティを確立し確認したのかを考えていく。絵の中には、絵を作った人の理想とする美しい姿や世界が描かれる一方で、その人にとっての「他者」が貶められた姿で表象されてもいる。そのような自己像・他者像を作り見ることで、人は自己のアイデンティティを構築・確認する。美術の中の自己像・他者像を分析し、その表現の意味や意図を探っていきたい。	
到達目標	美術の意味を、社会的な文脈から考えられるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：授業でその都度紹介する。	
成績評価	レスポンスカード（数回分）（40％）、授業内でのレポート（60％） 　授業では毎回パワーポイントを使って画像を提示する。履修者は授業に出席してそれらをよく見、作品が何を見せようとしているのかを自分でも考えていくことが求められる。	
履修資格		

科目名	美術史Ｂ	２単位　前期
担当教員	亀井　若菜	
授業概要	この授業では、日本中世の絵巻を中心に近現代の絵画や広告をも取り上げ、それらに表された女性像に注目し、その表現の意味や意図を考えていく。絵の中で「女性」は、美しくも描かれれば、醜く、あるいは性的にも描かれる。男性主導の社会で「他者」と位置づけられる女性の姿を、どのような状況にいた者が、そのような姿として描き、眺めたかったのかと考え、その作品が作られた社会的な文脈を探っていく。またそのような女性像に対する女性の側からの読み直しについても考察する。	
到達目標	美術作品の表現の意味を、社会的な文脈から考えられるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：授業でその都度紹介する。	
成績評価	レスポンスカード（数回分）（40％）、授業内でのレポート作成（60％）。授業では毎回パワーポイントを使って画像を提示する。履修者は授業に出席してそれらをよく見、作品が何を見せようとしているのかを自分でも考えていくことが求められる。	
履修資格		

科目名	美術史実習	２単位　前期
担当教員	亀井　若菜	
授業概要	美術史を研究していく上では、実際に作品を見ることは何より重要である。美術作品はオリジナルが1点しかないものであり、実物を見てこそ作品に込められた意味やメッセージを受け止めることができるからだ。一方で美術史研究をする上では、なるべく多くの図像を自分の頭にインプットし、比較対照できるイメージを増やしておくことも大切である。そして美術史の歴史を把握し、作品の美術史上の位置を知ることも必要である。 以上のことから、この授業では、二つのことを行う。一つ目は、実際に美術館・博物館に作品を見にいくこと。二つ目は、日本美術史の概説書をテキストとして内容を把握し、美術全集を使って多くの図版を見ることである。前者については、見学後に自分の得た知見を報告してもらう。後者についても、分担して報告してもらう。	
到達目標	自分の目で美術作品の特質を捉えられるようになること。 日本美術史の流れを把握すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：山岡泰造・並木誠士・森理恵編『日本美術史』昭和堂、1998年	
成績評価	毎回の報告内容（100％）	
履修資格		

科目名	病態生理学実習	１単位　後期
担当教員	矢野　仁康　・　遠藤　弘史	
授業概要	ヒトの解剖生理の理解と共に疾患の病態生理を把握するために必要な知識を得た後、尿を用いた検査や生理学的な実習、ラットを用いた解剖、血液細胞の観察を行う。それにより臨床における様々な疾病異常の病理病態を理解する。	
到達目標	生体の構造と機能、評価方法について理解、修得することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト： 参考書：	
成績評価	レポート評価100％ ※授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	病態評価と治療	２単位　後期
担当教員	矢野　仁康	
授業概要	疾病とは何か、人はいかにして病気を発症するかを学ぶ。様々な疾患において内因性要素、外因性要素の関わりを理解し、発症から病態形成の過程を学ぶ。いわゆる生活習慣病や栄養代謝疾患、消化器疾患、免疫アレルギー疾患、感染症等について、その発症の過程、診断方法などを講義する。各種疾病を理解すると共にそれらに対する臨床医の考え方、方法論を理解することが求められる。	
到達目標	疾患の病態とその評価方法、治療について理解、修得することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：竹中優ほか「疾病の成因、病態、診断、治療」医歯薬出版株式会社	
成績評価	期末試験80％、出席その他20％ （授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない）。	
履修資格		

科目名	服飾環境論	２単位　前期
担当教員	道明　美保子	
授業概要	衣服は人間に最も接近する環境としてその重要性が認識されている。本講義は人間と服飾環境とのかかわり方を温熱環境への適応、汚染への対応、安全性の3つの測面から捉える。特に汚染への対応については、洗浄による機能性の回復、機能性の保持と保管、さらに環境問題にも言及し、健康な服飾環境のあり方を考える。	
到達目標	人間と服飾環境とのかかわり方を科学的視点で捉えることができ、健康な服飾環境のあり方を考え実行出来る能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布指定図書：適宜紹介参考書：適宜紹介	
成績評価	レポート評価30％　期末筆記試験70％ 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格		

科目名	服飾心理学	２単位　後期
担当教員	神山　進※	
授業概要	まず装いとファッションの問題を被服による装飾・整容・変身行動という視点より考察する。次にファッションの心理について服装に関した同調行動や差異化行動、服装ルールの維持と変容という視点より考察する。また服装やファッションを記号および非言語情報伝達の手段であるとの認識に立ち、そのような記号の創造・使用・廃棄をめぐってさまざまな問題を提示したい。その中で、ファッションと服装メッセージ、服装と印象形成や対人認知、服装と対人行動の問題なども議論する。また服装とパーソナリティ、服装と自己像・身体像などについて考察する。さらに服装文化と被服価値、服装文化の異文化間比較、服装によるジェンダーの演出などについて考察する。最後に現在のファッション市場に関してファッション産業とファッション・マーケティングの概要、受け手としての消費者の行動、成熟社会におけるファッション心理や消費文化などを議論する。［キーワード］ 装い、服装、ファッション、おしゃれ、化粧、変身、感性、服装文化、快楽消費など。	
到達目標	装い・おしゃれに関する人間の行動を、社会心理学や消費心理学の視点から理解し、それらに潜んでいる法則性の学習を目標にする。	
テキスト 指定図書 参考書	［テキスト］神山進（編）『被服行動の社会心理学』(21世紀の社会心理学シリーズ8)　北大路書房　1999年. ［参考書］①高木修（監）／大坊郁夫・神山進（編）『被服と化粧の社会心理学』 北大路書房　1996年. ②ジョンソン＝レノン（編）／高木修・神山進・井上和子（監訳）『外見とパワー』 北大路書房　2004年.	
成績評価	学期末に行うに行う試験（60点）と講義中におこなう4回の小テスト（40点）による。	
履修資格		

科目名	服飾造形論	２単位　前期
担当教員	森下　あおい	
授業概要	衣服設計は用途と目的を的確に理解しながら、人間の特性の理解のもとで設計することが重要である。この授業では、アパレルにおける衣服の企画～設計～生産の工程の流れを学ぶとともに、今日の社会における服飾造形の課題と取り組みについてを論じる。	
到達目標	1.人体の形態と衣服の関係を構造的に理解する　2.アパレル設計の過程を学ぶ	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:適宜、資料を配布します。	
成績評価	小レポート(60%)期末レポート(40%)	
履修資格		

科目名	服飾デザイン演習Ⅰ	２単位　後期
担当教員	法月　紀江※	
授業概要	現代衣服の基礎である《人体型成形衣服》。ここに凝縮された様々な知識を《シャツ襟のブラウス》の《デザインから縫製・仕上げ》と演習することで《布による造形》の基礎能力である《観察力》《工夫する能力》をつける。	
到達目標	《デザインすること》の意味を確認し、これからの服飾デザインに必要な《しなやかなデザイン力》を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	随時プリントを配布します。授業中に書き込み・チェックが出来るようにA4バインダーを各自用意すること。	
成績評価	製作提出物に対する評価70%　宿題・小テスト30%	
履修資格		

科目名	服飾デザイン演習Ⅱ	２単位　前期
担当教員	森下　あおい	
授業概要	この授業では、「時代」をテーマとしてコンセプトの構想からアイデアの展開、デザイン・パターンメーキング・縫製のプロセスを学ぶ。授業の課題は文献調査を行いながら、進める。特にテーマに対して分析的に考察を行い、実践的な造形力を養う。	
到達目標	1. 服飾造形の実践力を身につける　2. テーマに対する分析力を養う	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:文化ファッション大系　服飾造形講座③「ブラウス・ワンピース」(文化服装学院編、文化出版局)	
成績評価	提出課題の作品　70%,レポート 30%なお授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格		

科目名	服飾デザイン演習Ⅲ	２単位　前期
担当教員	道明　美保子　・　中川　正久※	
授業概要	染色加工は素材の最終工程で、その製品に審美性と機能性を付与するもので有る。本演習では、講義による知識の理解を深め、実験・演習の技術や技能の習得をめざすとともに、結果の観察・推察から考察能力を養う。	
到達目標	(1)染色学の基礎実験方法の一部を習得し、得られた結果の考察ができるとともに科学実験レポートが書ける。 (2)各種の基礎染色技術を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布指定図書:適宜紹介参考書:適宜紹介	
成績評価	レポート評価50%　制作態度と完成作品提出50% 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格		

科目名	服飾デザイン論	２単位　後期
担当教員	森下　あおい	
授業概要	服飾では人間を取り巻く時代の社会や制度の影響を受けながら多様なデザインが創られる。この授業では、20世紀を中心に服飾デザインの特性が現れている主要なデザインの事例や現象を取り上げて、その社会背景を述べながら、服飾の美、身体性、時代性について論じる。	
到達目標	1.服飾と人間関係を社会、人間、文化との関係から考察する 2.服飾デザインの創造性を理解する	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:適宜資料を配布します 指定図書	
成績評価	小レポート(講義中)60%　期末レポート40%	
履修資格		

科目名	フランス語コミュニケーションＩＡ	２単位　後期
担当教員	長島　律子	
授業概要	フランス語IA、IBで身につけた知識を活用し、読解、作文の練習を行う。文法の知識を定着させ、語彙を増やすためにも、読むことは非常に重要である。また、多く読むことによって蓄えられた文例が書くために役に立つ。文学作品ほか、さまざまなジャンルの文章にふれる。	
到達目標	辞書を引きながら、まとまった長さのある普通レベルの文章を読んで理解することができるようになる。また、複文の作文ができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	『続・小さなコント』 リリアンヌ・ラタンジオ、村松定史著　駿河台出版社	
成績評価	課題と小テスト　50% 定期試験　50%	
履修資格		

科目名	フランス語コミュニケーションＩＢ	２単位　後期
担当教員	ジル　フェルナンデス※	
授業概要	フランス語IA、IBで身につけた知識を活用し、聞き取り、会話の練習を行う。	
到達目標	日常用いられる平易なフランス語を聞いて理解し、また話すことができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	未定。	
成績評価	定期試験　50％、課題等　50％。	
履修資格		

科目名	フランス語コミュニケーションⅡＡ	２単位　前期
担当教員	長島　律子	
授業概要	総合的にフランス語能力を高めるための授業であるが、特に読むことに重点を置く。 ある程度まとまった長さのある文章を読みながら、正しく構文解析し、理解することによって読解力、語彙力を養う。その過程で、中、上級文法を習得する。また、適宜ヴィデオなどを用いて聞くことにより内容を把握する練習をも行う。	
到達目標	かなり高度な内容を持った文章を読んで理解できるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布。	
成績評価	課題、小テスト　50％ 定期試験　50％	
履修資格		

科目名	フランス語コミュニケーションⅡB	２単位　前期
担当教員	ジル　フェルナンデス※	
授業概要	Ce cours représente la suite logique du cours フランス語コミュニケーションIB avec une priorité donnée à l'expression orale dans la classe entre les étudiants. Le but est double: s'exprimer avec confiance dans une langue étrangère et se familiariser avec des situations de communication potentielle et les compétences nécessaires pour les réaliser.	
到達目標	日常生活、留学時に遭遇する可能性の高いさまざまな場面で、正確に聞き取って理解し、適切に応答することができるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	Pas de manuel précis pour ce cours. Nous utiliserons des photocopies de manuels divers et parfois des documents authentiques.	
成績評価	定期試験50％、課題と小テスト50％	
履修資格		

科目名	フランス語コミュニケーションⅡＣ	２単位　前期
担当教員	長島　律子	
授業概要	総合的にフランス語能力を高めるための授業であるが、特に書くことに重点を置く。 さまざまな構文、語彙を使いこなすことによって高度で複雑な文章を書く技術を向上させる。また、ディクテをすることにより、正しく書く能力を養う。そのために適宜AV教材なども使用する。	
到達目標	かなり高度な内容を持った文章を正確に書くことができるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	『新フランス語作文実習 II』 中村栄子著　駿河台出版社	
成績評価	課題、小テスト　50％　定期試験　50％	
履修資格		

科目名	フランス語コミュニケーションⅡＤ	２単位　前期
担当教員	ジル　フェルナンデス※	
授業概要	Ce cours vise à un développement des quatre compétences langagières – compréhensions orale et écrite, expressions orales et écrites – basé sur les contenus et objectifs intermédiaires entre les niveaux A1 et A2 du DELF. La construction de phrases complexes et l'expression de l'opinion seront des priorités.	
到達目標	ディスカッション、プレゼンテーション、留学中の受講、レポート執筆などに必要な、高度な言語運用能力能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	Pas de manuels précis pour ce cours. Nous utiliserons des photocopies.	
成績評価	定期試験50％、課題等50％。	
履修資格		

科目名	プレゼンテーション技法	２単位　後期
担当教員	印南　比呂志　・　南　政宏	
授業概要	デザイン、建築、映画、アートなどさまざまな表現手法について、それらの専門分野毎に制作作業のプロセスや、基本的技術、考え方などを講義する。グラフィック分野の編集工学として、タイポグラフィ、写真、印刷、造本、映像、DTP、WEBなどの分野の表現技術について学ぶ。また立体表現手法については、スタディモデルから、プロトタイプモデルまでの制作過程を実際に実演しながら説明していく。講義テーマによっては現場で活躍する専門家を外部講師として招聘する。演習授業ではなく、講義形式の授業ではあるが、常に実践事例をもとに講義をすすめていく。	
到達目標	(1)ものごとをわかりやすく魅力的に説明、表現するための考え方を身につける。(2)世の中の様々な表現手法の価値を理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：特になし。	
成績評価	レポート課題により評価する。	
履修資格		

科目名	文化財・保存修景論Ａ	２単位　前期
担当教員	濱崎　一志　・　井口　貢※	
授業概要	歴史的環境を構成する地域文化財の保存・修景・活用について論ずる。前半では濱崎が、歴史的環境を構成する地域文化財、町なみや集落、遺構、遺跡などを調査し、その現代的意義を再評価し、現在の生活空間に再生させ活用するために、その保存や修景の方法と、保存・修景することの意義について、海外や国内の具体的な例をあげながら論ずる。後半では井口が、文化財や街並み、生活遺構、産業遺産などを活用した地域振興（まちづくりや観光振興を中心に）の実態や望ましい在り方について考察していく。	
到達目標	地域文化財の調査、再評価、保存・活用を通してまちづくりのあり方について考える能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配付 参考書：井口貢『観光文化の振興と地域社会』ミネルヴァ書房	
成績評価	期末レポート　80％レスポンスペーパー20％	
履修資格		

科目名	文化財・保存修景論Ｂ	２単位　後期
担当教員	中井　均	
授業概要	人類の歩んできた歴史を示す文化財はどのようにして今日まで残されてきたのか。そこには近代以降の法整備が重要な役割を果たしてきた。その理念と実情について学ぶ。とりわけ開発行為と表裏一体で破壊、消滅の危機に直面しているのが埋蔵文化財である。ここでは埋蔵文化財の保護を行政の立場でいかに取り組まれてきたのかを検証する。また、近年人類共通の遺産として注目されている世界遺産について、特にアジアの世界遺産を題材として保護や修復について紹介する。	
到達目標	文化財保護の精神を身につけ、文化財活用の必要性を理解すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリント資料を配付する。参考書：講義の中で紹介する。	
成績評価	期末筆記試験　60％　　文化財保護法の理念を理解し、各地におけるその保護・活用への努力が理解できていること。　レポート等　　40％	
履修資格		

科目名	文化財情報論	２単位　後期
担当教員	濱崎　一志　・　石川　慎治	
授業概要	文化財に関する視覚的な情報をどのように取り扱うかについて講義する。3次元モデルの構築、レンダリングやアニメーションの作成、2次元画像情報の処理、空間属性をもつ史料の処理などを，AutoCAD、3D Studioを用いて実際にデータを入力しながら説明する。	
到達目標	文化財に関する情報を処理する能力と、視覚的に表現する能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配付	
成績評価	毎回課する課題に対する評価　100％	
履修資格		

科目名	文化社会学	２単位　前期
担当教員	武田　俊輔	
授業概要	本講義は，近現代の日本における観光や開発，地域おこしと呼ばれる現象が，地域社会とそこに住む人々に対してどのような影響を与えるのかについて，地域社会における「伝統的」とされる芸能や祭りの変化，そしてその担い手である地域住民の暮らしの変化を切り口として，考えていく視点を手に入れてもらうことをねらいとしている。祭り・芸能を手がかりとした講義だが，それらへの美学的関心というより，地域社会における政治的・経済的な状況，観光や地域振興と地域文化とを結びつけて考えていくことに対する関心を持つ人向けの講義である。	
到達目標	・「伝統的」とみなされている地域社会の文化が、近現代の地域社会の経済的・政治的状況においてどのように新たに作り出され、また再編成されたのか（いわゆる「創られた伝統」論）について理解できるようになること。 ・1930年代～現在までに至る、そうした文化の創造や再編成の背景にある、地域社会の側からの経済振興や観光客誘致、また「伝統」文化を経済的な活性化に生かそうとする国家・自治体の文化政策について知識を得ること。 ・そうした地域社会の「伝統」文化が新たに作り出され、あるいは再編成されていく中で、それまで地域社会の伝統文化を担ってきた人々にどのような影響を与えているのかについて考察できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	指定図書：岩本通弥編著,2007,『ふるさと資源化と民俗学』吉川弘文館. 市川秀之・武田俊輔編著、滋賀県立大学曳山まつり調査チーム,2012,『長浜曳山まつりの舞台裏：大学生が見た伝統行事の現在』サンライズ出版. それ以外については適宜、紹介する。	
成績評価	期末レポート（100％）。これに毎回の授業後に提出してもらうレスポンス・カードによる加点あり（減点なし）。	
履修資格		

科目名	文化人類学概論Ａ	２単位　前期
担当教員	島村　一平	
授業概要	文化人類学は，異文化理解のための学問であると同時に、自文化理解のための学問でもある．国境を越えて様々な人々が行き交う現代，文化人類学が生み出してきた異文化理解の方法論は，益々，重要性を持つものだと考えられる．俗に日本の常識は世界の非常識という。「世界の常識」というものが存在するかどうかは不明であるが、皆さんの身の回りの「常識」は、果たして「常識」なのだろうか。本講義では、こうした「常識」の自明性について再考し、「あたりまえ」的思考からの脱却をめざす。進度に応じて多少の内容の変更の可能性あり。	
到達目標	受講生は、文化人類学の鍛えてきた基礎理論を学ぶことで、異文化理解の基礎的な方法を身に着けることができる。具体的に言うならば、文化人類学を学ぶことで、まずは偏見を持たずに外国の文化と接するための基礎的なものの考え方が身に付く。さらに一見すると我々の文化とはかけ離れている遠い国や地域の文化の中に我々の文化と同じ普遍性が見いだせることだろう。 また、我々日本人が持つ「正しさ」や「当たり前」が、必ずしも普遍的な価値を持つものではないことも理解できるようになるだろう。すなわち、文化人類学を学ぶことで日本の文化を相対的に眺めるという視点を身に着けることができるといえよう。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：波平恵美子（編），『文化人類学』カレッジ版，医学書院 参考書：山下晋司，船曳健夫編『文化人類学キーワード』，有斐閣 John Monaghan著　2000　Social and Cultural Anthropology: A Very Short Introduction (Very Short Introductions) John Monaghan, Oxford Univ Press.	
成績評価	期末試験による	
履修資格		

科目名	文化人類学概論Ｂ	２単位　後期
担当教員	棚瀬　慈郎	
授業概要	文化人類学において蓄積されてきた知見のうち、生殖、親族関係、社会集団、また環境への適応や儀礼についての理論、事例を紹介する。	
到達目標	文化人類学の特に、社会関係についての理論、知見についての知識の獲得を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：波平恵美子（編）『文化人類学』カレッジ版　医学書院 参考書：山下晋司、船曳健夫(編)『文化人類学キーワード』有斐閣	
成績評価	試験による（100％）	
履修資格		

科目名	文化人類学特論	２単位　前期
担当教員	棚瀬　慈郎	
授業概要	人間は、その文化に固有の宇宙観、生命観に従って、人間の誕生、性、死を意味づけてきた。講義の中では、豊富な文化人類学的資料を提示し、そういった普遍的な人間事象が各文化においてもつ意味を考察する。 また現代的な医療システムの浸透は、人間の生と死のあり方を大きく変化させつつあるが、現代における誕生、性、死の問題についても検討する。 【2014年度開講開始科目】	
到達目標	2014年度開講時までに示す。	
テキスト 指定図書 参考書	2014年度開講時までに示す。	
成績評価	2014年度開講時までに示す。	
履修資格		

科目名	分子生物学基礎	２単位　前期
担当教員	福渡　努	
授業概要	生命現象を分子レベルで解明かす分子生物学について、基礎的な内容の解説を行う。近年の目覚しい生命科学の発達には分子生物学が大きく寄与している。遺伝子工学（バイオテクノロジー）、遺伝子組換え植物、遺伝子治療、DNA鑑定、クローン生物、ヒトゲノム計画、ゲノム創薬など分子生物学を応用した技術が広汎に利用されている。本講義では、まず分子生物学に関する原理と基礎知識について説明し、さらに代表的な応用技術について解説する。	
到達目標	(1) 遺伝子の構造と発現様式について説明できること。 (2) 生命現象が分子によって調節されていることを理解できること。 (3) 分子生物学的手法を用いた応用技術について説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布 指定図書：井出利憲著「よくわかる分子生物学の基本としくみ」（秀和システム） 参考書：ブルース・アルバーツ他著「細胞の分子生物学第5版」（ニュートンプレス）	
成績評価	レスポンスペーパー 15％　レポート評価 20％　期末定期試験 65％	
履修資格	規定なし	

科目名	法学概論（国際法を含む）	２単位　前期
担当教員	初谷　良彦※	
授業概要	本講で学ぶのは、主として「憲法」「民法」「国際法」である。憲法の底流となっている思想家たちの魂が時代を超えて私たちを打ってくる内容をよく学ぶことによって憲法に対する理解を深めるとともに、憲法の視点から民法を考察していく。国際法は、これからの日本が、国際社会とどのように付き合っていくべきなのか、ヒントを与えてくれるだろう。不世出の大思想家坂本竜馬は国際法に興味を持っていたというエピソードがある。竜馬は国際法をもとに何を考えていたのだろうか。	
到達目標	(1)裁判例や学説に対して理解を深めること。(2)インターネットや電子辞書をみて勉強するのはほどほどにした方がよい。思考能力を阻害する。大学は学ぶところである。図書館等で書物を繙（ひもと）き、予習、復習をきちんと行い、目標を達成してして欲しい。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：中島史雄他『新法学レッスン』（成文堂）指定図書：島田征夫『国際法』（弘文堂）参考書：随時紹介する。	
成績評価	小試験40％（7回）、中間試験20％（1回）、期末試験40％（1回）	
履修資格		

科目名	ポストコロニアル論	２単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	第二次世界大戦後、アジア・アフリカの諸国は欧米の植民地からの独立を果たした。しかし、旧植民地の多くは、第2次大戦後政治的に独立したにもかかわらず、先進国の文化的影響に悩まされ、経済的にも依存せざるをえない状況が続いた。ポストコロニアル論とは、こうした植民地時代の影響を明らかにする研究分野であると同時にこうした現状を打開するための思想のことでもある。 本講義では、アジア・アフリカ・南米などの旧植民地諸国における政治や経済、文化に残存する植民地主義の影響を明らかにしてきた「ポストコロニアル論」の基礎理論を把握することを目的とする。具体的には、フランツ・ファノン、エドワード・サイード、ガヤトリ・スピヴァクというポストコロニアル論の思想家・理論家の議論を紹介しながら、現代の世界でいまだ果しえぬ植民地主義からの脱却をめざし、21世紀の新たな世界像を模索していきたい。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	未定	
テキスト 指定図書 参考書	未定	
成績評価	未定	
履修資格		

科目名	翻訳文化論	２単位　後期
担当教員	呉　凌非	
授業概要	翻訳は単なる手作業の一つだと思われがちですが、日本の科学研究に大きく寄与してきた翻訳自体も学問としてとらえることの重要性がかなり認識されてきました。国際コミュニケーション学科の学生は翻訳文化論を通して翻訳の基本を知ることができるのみならず、国際感覚を身につけることもできます。この講義は人間による翻訳とコンピューターによる翻訳の比較をしながら進めていきます。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	人間によることばの翻訳と機械によることばの翻訳に違いについての理解を深めること	
テキスト 指定図書 参考書	指定なし	
成績評価	レポートおよび定期試験によって判断する	
履修資格		

科目名	マーケティングリサーチ演習	１単位　後期
担当教員	宮尾　学	
授業概要	道具・衣服・住環境を設計するにあたっては，それらを使う消費者を理解することがとても重要です。その方法のひとつがマーケティング・リサーチです。この演習では，調査課題の設定，調査設計，実査，結果の解釈，プレゼンテーションといったマーケティング・リサーチの一連のプロセスを受講生に実際にやってもらいます。 マーケティング・リサーチの手法を理解し，自分で調査を設計したり，調査会社に依頼したりするための知識を身につけるのがこの演習の目的です。	
到達目標	マーケティングリサーチの手法を理解し，自分で調査を設計して実施したり，調査会社に依頼したりできるようになるのが目標です。	
テキスト 指定図書 参考書	上田拓治(2010)『マーケティングリサーチの論理と技法［第4版］』日本評論社	
成績評価	中間発表と最終発表によって評価します。	
履修資格		

科目名	マーケティング論	２単位　後期
担当教員	宮尾　学	
授業概要	この授業では，我々の生活に密着している，企業のマーケティング活動について考えます。企業が価値を生み出すためには，消費者との接点をマネジメントし，自社の製品やサービスの良さを消費者に納得してもらう必要があります。そのための方法が，マーケティングです。この授業では，これらのマーケティング論のエッセンスを学び，ビジネスで必要となる分析能力や問題解決能力を身に付けることを目標とします。	
到達目標	マーケティングの諸理論を理解し，状況の分析と問題解決ができるようになることを目標とします。	
テキスト 指定図書 参考書	教科書：石井淳蔵・廣田章光（2009）『1からのマーケティング 第3版』碩学舎。	
成績評価	期末試験50％と，授業中に行う課題50%で評価します。	
履修資格		

科目名	民俗学	２単位　後期
担当教員	市川　秀之	
授業概要	民俗学はわれわれが過ごしている日常生活の意味を問い直す学問である。滋賀県の民俗は、古くから多くの民俗学者の研究対象となり、そこからさまざまな民俗学的知見が生成されてきた。宮座論・環境民俗学など滋賀県を母胎として誕生した研究領域も多い。この授業では、過去の研究や調査成果を紹介し、近江の民俗を具体的な事例としながら、民俗学全体を概括的に解説する。 この授業は民俗学特論や民俗学実習の基礎科目としての位置づけを持つ。	
到達目標	(1)民俗学の基本的な概念を理解すること (2)民俗学を勉強する上で最低限必要な知識を身につけること (2)民俗を通じて近江の地域性を理解すること	
テキスト 指定図書 参考書	特になし	
成績評価	レポート（1回）　20％　期末試験　40％　毎回授業後のレスポンスカード　40％	
履修資格	特になし	

科目名	民俗学実習	１単位　後期
担当教員	市川　秀之	
授業概要	民俗学の基本的な実務の習得をめざす。具体的には民具の観察・実測、石造物の調査、聞き取り調査、祭礼観察調査などの実習を行う。	
到達目標	(1)民俗学研究に必要な実測技術、拓本技術などを習得すること。 (2)聞き取り調査、祭礼などの観察調査を計画的に実施し、その成果をまとめ、発表する能力を身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：『民俗調査ハンドブック』・『民具調査ハンドブック』ともに吉川弘文館	
成績評価	提出図面・拓本（40％）・発表内容（60％）	
履修資格		

科目名	民俗学特論	２単位　前期
担当教員	市川　秀之	
授業概要	『民俗学』の授業で講義した民俗学の基礎的知識をいかした実践的な内容について講義する。民俗学研究に必要な方法や理論についても講義したい。具体的には歴史民俗学の立場からの研究が中心となるので、史料や石造物をどのように民俗学研究に生かすかという問題を取り上げる。これまで漠然と長い歴史をもつと考えられてきた「民俗」「伝承」の政治性・歴史性などについて明らかにし、そのような「民俗」「伝承」観を生み出した民俗学自体の歴史についても述べることとする。	
到達目標	・歴史民俗学に必要な史料の読解力を身につける。 ・史料を利用して分析する能力を身につける。 ・歴史民俗学の研究に最低限必要な知識を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	授業の最初にプリントを配布する。	
成績評価	・発表内容30％・レポート30％・試験（学期末）40％	
履修資格		

科目名	メディアの英語	２単位　前期
担当教員	ウォルター・クリンガー	
授業概要	この授業では、生きた英語4技能の総合的な向上を目指す。特に発音とリハーサルに力を入れる。そして、アメリカの歴史を学ぶとともに、楽しみながらコミュニケーション力を身につける。Gone With The Wind 風と共に去りぬ（1939）の脚本を一緒に音読し、映画を見る。テーマについて議論する。前の週の内容の要点をまとめる。学生が選んだシーンを演じ、毎週のシーンのコメントを書いて、エッセイとして作成する。完成したエッセイを教師にメールで送る。宝塚劇場のミュージカル、フランスのミュージカル、アメリカのテレビ・パロディも参考にする。 【2014年度より開講開始科目】	
到達目標	Students will have developed confidence in their English listening and speaking skills, increased their vocabulary, improved their writing technique, and gained knowledge and understanding of American history.	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 豊泉暁子/Walter Klinger (編集):教科書(2009).『風と共に去りぬ Gone With the Wind』(名作映画完全セリフ集スクリーンプレイ・シリーズ 133). 出版社:フォーインスクリーンプレイ出版. ISBN 9784894074224. *available for loan in the USP library. 参考書・参考資料等: Walter Klinger:論文(2009). Introduction to Screenplay's Gone with the Wind. 滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No. 14, , pp. 45-64. *available by download. Walter Klinger:論文(2010). Went with the Wind: The Carol Burnett Show's Parody of Gone with the Wind. 滋賀県立大学国際教育センター研究紀要 No.15, pp. 45-64. *available by download. Walter Klinger:評論(2009). The Wind is Still Blowing. 風と共に去りぬ Gone With the Wind (名作映画完全セリフ集スクリーンプレイ・シリーズ 133). 出版社:フォーインスクリーンプレイ出版, pp.270-271. *available by download	
成績評価	演技　50％、エッセイ　50％	
履修資格		

科目名	モンゴル語ＩＡ（国際）	１単位　前期
担当教員	島村　一平	
授業概要	モンゴル語は、日本語と文法構造が似ており、日本人には非常に学習しやすい言語である。 モンゴル語は、広義にはモンゴル国以外にも中国内モンゴル自治区やロシアのブリヤート共和国などでも話されている言語である。 本講義（IA）では、現在モンゴル国で使用されているモンゴル語標準語（ハルハ・モンゴル語）の基礎文法をマスターすることを目的とする。 1Bは、会話中心の講義を行うものとする。 また、言葉を通して、現代モンゴル文化に対する理解を促進することをめざす。そのために学生の学習進度に応じて、教科書以外に映画やポピュラー音楽、民謡の歌詞などを教材に取り入れる。	
到達目標	モンゴル語の基礎文法を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:塩谷茂樹、E. プレブジャブ著『初級モンゴル語』大学書林。 指定図書:オトゴンプレヴ,ヴァータル著『蒙日辞典―モンゴル語-日本語辞典』国際語学社。	
成績評価	小テストによる。3回ほどを予定している。	
履修資格		

科目名	モンゴル語ＩＢ（国際）	１単位　前期
担当教員	島村　一平	
授業概要	モンゴル語は、日本語と文法構造が似ており、日本人には非常に学習しやすい言語である。 本講義では、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。また、言葉を通して、現代モンゴル文化に対する理解を促進することをめざす。	
到達目標	モンゴル語で基本的な日常会話ができるようになる	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：温品廉三著『ゼロから話せるモンゴル語』三修社、塩谷茂樹、E. プレブジャブ『初級モンゴル語』大学書林 指定図書：オトゴンプレブ、ヴァータル編著『蒙日辞典　モンゴル語ー日本語辞典』、国際語学社	
成績評価	小テストによる。	
履修資格		

科目名	モンゴル語ⅡＡ	１単位　後期
担当教員	内田　孝※	
授業概要	「モンゴル語I」に引き続き、モンゴル語文法体系についての中級レベルの知識を学習し、モンゴル語での文章読解能力・実用的な筆記能力およびコミュニケーション能力を養成する。また、言語を通じて伝統的遊牧文化に対する理解を深めると同時に、現代モンゴルに関する幅広い知識を習得することも目指す。さらに、モンゴル語の特徴、モンゴル語と日本語の類似点や相違点についても考察する機会となるよう目指す。	
到達目標	初中級レベルにおけるモンゴル語の総合的な文章読解力、筆記力、会話力を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布。指定図書：講義の中で適宜紹介する。参考書：講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	筆記試験70％(初中級レベルの文法事項を理解し、文章を正確に読解できること)。その他30％(小テスト、プレゼンテーション、レポートなど)。授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格	モンゴル語Iを履修していること。	

科目名	モンゴル語ⅡＢ	１単位　後期
担当教員	島村　一平	
授業概要	本講義では、新聞や雑誌、インターネットの文章などを読みながら、文法の定着を目指す。 また、新聞や雑誌を通して、現代モンゴル社会への理解を深めていきたい。 そのほか、インターネットのブログやチャットなどで使われているモンゴル語なども学ぶことで、モンゴル人とインターネットを利用したコミュニケーションをする能力を身につけていく。 実際にモンゴル人ブログに書き込むといったトレーニングにもチャレンジすることも検討している。	
到達目標	受講生は、モンゴル語で辞書を使いながら新聞や雑誌、インターネットのサイトを読む能力が身に付くようになるだろう。また、ネットでモンゴル人とコミュニケーションする能力も身に付くであろう。	
テキスト 指定図書 参考書	随時指定	
成績評価	小テストによる。	
履修資格		

科目名	モンゴル語コミュニケーションＩＡ	２単位　後期
担当教員	内田　孝※	
授業概要	この授業では、モンゴル語による様々な文字教材・音声教材・映像教材の活用、自由発言、意見交換、ペア活動、グループ活動などのコミュニケーション活動を通じて、基礎的な語彙と初中級レベルの文法を復習・定着させつつ、日常生活の話題について話したり聞いたりする練習を行なう。	
到達目標	初級レベルの総合的な会話力および聴解力を習得すること	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義の中で適宜紹介する。 指定図書：講義の中で適宜紹介する。 参考書：講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	期末試験(口頭、聴解、筆記)70％(初中級レベルの語彙・文法を活用して、的確な自己表現や場面説明が行えること。また、文章を正確に理解できること)。 その他30％(小テスト、発表、レポートなど)。 授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	モンゴル語コミュニケーションＩＢ	２単位　後期
担当教員	堀田　あゆみ※	
授業概要	モンゴル語Ｉで学んだ基礎文法や単語を活用し、実用的なコミュニケーション能力を身につける。さまざまな日常場面を想定し、実際に会話練習をしながら、モンゴル語特有の表現や発音に慣れていく。会話の基本となる「聞く」、「話す」能力を伸ばすため、受講生にはどんどん声をだしてもらう機会をつくる。また、言語をより身近に感じてもらうために、音楽やゲーム、漫画などモンゴルの文化についても授業に絡めて紹介する。	
到達目標	日常的な会話ができ、自分の意思を相手に伝えることができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは毎回授業で配布する。	
成績評価	小テスト60％、期末試験40％で評価する。	
履修資格		

科目名	モンゴル語コミュニケーションⅡＡ	２単位　前期
担当教員	堀田　あゆみ※	
授業概要	モンゴル語コミュニケーションＩで身につけた文法や会話表現を用いて、より実践的なコミュニケーションに挑戦する。留学生活で遭遇するであろうさまざまな日常場面において、相手の意図をくみ取り自分の言葉で相手に意思を伝える練習をつむ。映像・音楽・ゲーム・まんが・本、および現地の生活に関する情報を取り入れながら、「聞く」、「話す」、「読む」能力を伸ばす。受講生には発話する機会をたくさんもうける。	
到達目標	状況に応じて自分の意思を相手に伝えることができるようになる。 モンゴル語で発信される情報を理解できるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは随時配布する。	
成績評価	復習小テスト60％、期末試験40％で評価する。	
履修資格		

科目名	モンゴル語コミュニケーションⅡＢ	２単位　前期
担当教員	内田　孝※	
授業概要	様々な教材や補助教材を用いて既習の語彙・文法・表現を復習しつつ、「話す」・「聞く」・「読む」・「書く」という4つの運用能力を総合的に向上させる。	
到達目標	中級レベルの多様な文章を読んだり聞いたりして内容を理解できる技能、日常生活で必要となる文章を書く技能の習得を目指す。また、日常生活における実用的なコミュニケーションに慣れながら表現方法を豊かにし、的確な自己表現や場面説明ができる技能の習得を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講義の中で適宜紹介する。 指定図書：講義の中で適宜紹介する。 参考書：講義の中で適宜紹介する。	
成績評価	期末試験(口頭、聴解、筆記)70％(中級レベルの語彙・文法を活用して、的確な自己表現や場面説明が行えること。また、文章を正確に理解できること)。 その他30％(小テスト、発表、レポートなど)。 授業時間数の3分の1以上を欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	モンゴル語史料講読ＩＡ	２単位　前期
担当教員	ブレンサイン	
授業概要	本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字―ウイグル式モンゴル文字―で書かれたモンゴルの歴史に関わる様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。「ＩA」ではウイグル式モンゴル文字の基礎文法を習得する。	
到達目標	ウイグル式モンゴル文字で書かれた出版物を読むことを目標とし、モンゴル文字で書かれた歴史資料を解読できることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	『モンゴル語基礎文法』フフバートル(著)インターブックス社、1993	
成績評価	小テスト40％、期末試験60％（欠席数が1／3を超えた場合は評価の対象としない）	
履修資格		

科目名	モンゴル語史料講読ＩＢ	２単位　前期
担当教員	ブレンサイン	
授業概要	本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字―ウイグル式モンゴル文字―で書かれたモンゴルの歴史に関わる様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。「ＩB」では文献講読を中心として行う。	
到達目標	ウイグル式モンゴル文字で書かれた出版物を読むことを目標とし、モンゴル文字で書かれた歴史資料を解読できることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	『モンゴル語基礎文法』フフバートル(著)インターブックス社、1993	
成績評価	小テスト40％、期末試験60％（欠席数が1／3を超えた場合は評価の対象としない）	
履修資格		

科目名	リーディング（中級）	２単位　後期
担当教員	山本　薫	
授業概要	各回1ユニットずつ読み進める。受講者はしっかり予習をしたうえで授業に臨むこと。はじめはゆっくり精読しながら進めていくが、慣れれば限られた時間内での速読も行う。精読・多読にいずれにもかたよらず、テーマや内容、英語の種類や質に合った読み方を選択し、内容を正確に把握する訓練を行う。	
到達目標	漫然と英文を読むのではなく、目的と方法論を明確にしながら問題意識を持って、雑誌・新聞各紙の記事、物語、詩、インタビュー、随筆、書籍から幅広い題材を扱った英文を毎回読み、書かれた内容の正確な把握を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	TAPESTRY Reading 4 Advanced／「方略で学ぶアクティブ・リーディング 4」(松柏社)	
成績評価	授業中の発表(40%)・予習の達成度(40%)・テスト(20%)を総合的に評価する。4回以上欠席したものは評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	リスニング（中級）	２単位　前期
担当教員	小栗　裕子	
授業概要	海外の文化や生活習慣に関する内容を自然な速度で聞き取りながらそのデータを分析し、日本社会について比較し考察を深める。また、リスニング力向上のためのストラテジー習得にも力を入れる。 【2013年度より開講開始科目】	
到達目標	英語Ⅰ～Ⅳで習得した知識の活性化と定着をはかり、国際社会で生きる教養人にふさわしいコミュニケーションの総合的な学力の深化を目標とする。このクラスは特にリスニング力の向上を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト Timothy Kiggell & Kevin Cleary, Cubic Listening—Closing the Culture Gap. Second Edition. 参考書・参考資料等 :随時プリントを配付	
成績評価	毎回の聞き取り点　50%　授業での発表　30%　課題　20%	
履修資格		

科目名	留学英語対策講座Ⅰ	２単位　後期
担当教員	石田　法雄	
授業概要	英語圏における留学に必要なTOEFL(PBT; IPT) のスコアを上げるための訓練を行い、英語を通して幅広くコミュニケーションが出来る教養を身につける。特にListening Comprehension, Structure and Written Expression (Grammar), Reading Comprehension の力をつけるための訓練を行う。講義の初めに模擬試験を行い、個人の現在のTOEFL(PBT; IPT) のおよそのスコアを確認する。授業はリスニング、文法、リーディングの訓練を毎回行い、力をつけていく。苦手な分野に関しては、課題を通して学生がそれぞれ自主的に補強していく。最後に模擬試験を行い、成果をみる。	
到達目標	個々の目標得点取得に向かい忍耐強い学習能力を身につける事を求める。 スコアはまず480点を目指し、500点突破を目標とする。さらに、奮起して550点を目指してもらいたい。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配付	
成績評価	宿題に対する予習の状況—演習問題結果(30%)、課題の提出(30%)、成果の現れ(40%)	
履修資格		

科目名	留学英語対策講座Ⅱ	２単位　後期
担当教員	ジョン　リピー	
授業概要	This course introduces students to the TOEFL iBT. Students become familiar with the test overall, types of questions, and ways of answering the questions. Students also gain extensive experience in doing the kinds of language activities and tasks found on the TOEFL iBT, thereby strengthening their academic English skills. This course focuses on the skills of academic speaking and writing. Students learn to turn input into coherent essays and extended turns of speech. The coursework establishes a strong foundation for future individual preparation for the TOEFL iBT, and should prove useful for students who are considering future study abroad experiences.	
到達目標	Students develop the abilities to integrate input and to organize their ideas into coherent essays and extended turns of speech; these abilities are essential for academic work at universities abroad. Students also gain familiarity with the speaking and writing sections of the TOEFL iBT and develop their individual approaches and strategies for future, independent test preparation.	
テキスト 指定図書 参考書	1. Developing Skills for the TOEFL iBT, Speaking Intermediate (2nd edition), with MP3 CD, by Paul Edmunds et al. (Compass Publishing), ISBN 978-1-59966-354-8. 2. Developing Skills for the TOEFL iBT, Writing Intermediate (2nd edition), with MP3 CD, by Paul Edmunds et al. (Compass Publishing), ISBN 978-1-59966-354-8.	
成績評価	Grades for this course are based on homework assignments (30%), written and oral classwork (30%), a midterm examination (20%), and a final examination (20%).	
履修資格		

科目名	量的データ解析論Ⅰ	２単位　前期
担当教員	丸山　真央	
授業概要	この授業では、統計データの整理・分析に最低限必要な基礎知識を学ぶ。具体的には、度数分布の記述、クロス集計表、統計的推測と仮説の検定、平均の差の検定、相関係数、偏相関係数と疑似相関といった基礎的事項についての解説を行う。あわせて統計パッケージソフトSPSSの基本操作を習得し、実際のデータによる簡単な分析によって社会統計についての理解を深めるとともに、実践的な分析の技能の習得をめざす。	
到達目標	(1)社会統計のデータを整理・分析する基礎知識(記述統計と推測統計の基礎)を習得する。(2)統計パッケージソフトSPSSの基本的な使い方を身につけ、実際に基礎的なデータ解析ができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:使用しない(レジュメを配布する)指定図書:ボーンシュテット・ノーキ『社会統計学――社会調査のためのデータ分析入門』(ハーベスト社)、村瀬洋一ほか編『SPSSによる多変量解析』オーム社。参考書:授業中に指示する。	
成績評価	小課題(70%)、最終試験(30%)	
履修資格		

科目名	量的データ解析論Ⅱ	２単位　後期
担当教員	岡本　裕介※	
授業概要	人文学系・社会科学系の研究においても、多変量解析を用いてデータ分析することが多い。この講義では、その中から主として重回帰分析、因子分析、数量化理論I・III類を取り上げる。	
到達目標	各手法の基本的な考え方を身に着けるのが主たる目的であるが、計算の概要を理解したり統計パッケージの出力を見たりして各手法の誤用を避ける、研究事例や歴史を紐解いて具体的な問題意識との関連を考える、といったことも視野に入れる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:講義中に随時推薦する。	
成績評価	レポート評価　100%	
履修資格		

科目名	臨床栄養学Ⅰ	２単位　後期
担当教員	奥村　万寿美	
授業概要	医療（福祉・介護）分野における現状と管理栄養士の職務を理解するとともに、その業務のあり方、必要性、チーム医療（NST）における管理栄養士の位置づけなどを理解する。その上で、傷病者に対する栄養ケア・マネジメント（NCM）を実践するために必要な、栄養状態の評価と判定法、栄養治療法（栄養補給法と栄養補給量）、栄養教育の方法と評価およびその実際、診療録による情報の収集とその記述法、食品と医薬品との相互作用など臨床栄養学の基礎知識を学ぶ。また、在宅医療、地域連携と生活習慣病および介護の予防対策との関わりについて理解する。	
到達目標	臨床栄養管理に必要な、栄養アセスメントを行うための知識を身につけ、身体計測、各種の臨床検査結果から現在の栄養状態や疾病コントロール状況を把握する能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：福井富穂他　イラスト臨床栄養学（東京教学社） 指定図書：松崎政三他編　臨床栄養管理ポケット辞典（建帛社）、 そのほか適宜、プリントなどを配布する。	
成績評価	レポート評価30％：チーム医療（NST）における管理栄養士の役割を理解し、疾病に対する栄養アセスメント、栄養ケアプランができること。 期末筆記試験70％：傷病者に対する栄養ケア・マネジメント（NCM）、医薬品との相互関係を理解し療養に関する問題解決に応用できること。	
履修資格	基礎栄養学Ⅰ、基礎栄養学Ⅱを履修していること。	

科目名	臨床栄養学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	奥村　万寿美	
授業概要	各疾患の成り立ちや病態、病状等の実態把握を行うとともに、栄養パラメーターや各種検査の結果などに基づく適切な栄養アセスメントにより適切な栄養診断および栄養評価を行う。各疾患ごとに具体的な栄養管理計画、あるいは栄養治療計画を立案し実践するための方法論について学ぶ。 医療の現状を踏まえ、臨床栄養士としてクリニカルパスに参画し、トータルなケアプランに占める栄養評価、栄養管理の方法について具体的な事例、栄養食事指導例をもとに傷病者への栄養管理・栄養指導の問題点を見いだし、臨床の栄養管理について理解を深める。	
到達目標	各疾患の理解および、病状の改善、疾病の治療・回復に効果的な栄養管理・栄養食事指導の方法が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：福井富穂他　イラスト臨床栄養学（東京教学社） 指定図書：松崎政三他　臨床栄養管理ポケット辞典（建帛社） そのほか適宜、プリントなどを配布する。	
成績評価	レポート評価30％：疾病の特長を理解し、療養指導等に必要な栄養アセスメント、栄養ケアプラン及びモニタリングができること。 期末筆記試験70％：傷病者に対する個別の栄養管理、栄養食事指導など療養ケアプランに応用できること。	
履修資格		

科目名	臨床栄養学Ⅲ	２単位　後期
担当教員	奥村　万寿美	
授業概要	適切な栄養アセスメントに基づいて栄養ケアプランを作成するためには、個人のさまざまな特性を考慮した栄養治療計画に則って実行し、その結果を評価しなければならない。医療機関、福祉施設等における栄養ケアの実際と長期療養を可能とする栄養マネジメントについて、傷病者（入所者）の病態、病状、栄養状態などそれぞれの身体特性によって異なる臨床診査、身体計測、食事調査、臨床検査、投薬・注射などについて、実際の症例をもとに総合的な栄養ケアマネジメントの考え方について学び、必要な知識と技術を修得する。	
到達目標	栄養アセスメントに基づく栄養ケアプランの立案のため身体計測、各種の検査結果から現在の栄養状態や疾病コントロール状況を個別に評価できる能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：福井富穂他　栄養ケアマネジメント論（化学同人） 指定図書：松崎政三他　臨床栄養学ポケット辞典（建帛社） そのほか適宜、プリントなどを配布する。	
成績評価	レポート評価20％：栄養ケア・マネジメントを理解し、適切な栄養ケアプランができること。 期末筆記試験80％：個人や集団に対する栄養ケア・マネジメントの必要性を理解しケアプランに応用できること。授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	臨床栄養学実習Ⅰ	１単位　後期
担当教員	奥村　万寿美	
授業概要	治療食の食事計画立案に関する基礎を学ぶとともに、栄養アセスメントに必要な栄養パラメーター、すなわち体格指標の測定、生化学検査に基づく数値の変化、呼気ガス測定による安静時代謝量の測定、疾病時における臨床検査値の見方、読み方、食事調査などを実践を通じて学ぶ。	
到達目標	食事計画の実践および栄養アセスメントに必要な栄養パラメーターについて理解し、適切な栄養アセスメント、栄養プランへと応用できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：松崎政三他　臨床栄養管理ポケット辞典（建帛社）、糖尿病食品交換表（文光堂）、腎臓病食品交換表（医歯薬） 指定図書：日本病態栄養学会編　病態栄養ガイドブック（メディカルレビュー社）参考書はWebシラバスの追加情報を参照のこと。そのほか適宜プリント等を配布する。	
成績評価	レポート評価100％：食事計画、栄養アセスメントに必要な栄養パラメーターの理解度	
履修資格		

科目名	臨床栄養学実習Ⅱ	１単位　前期
担当教員	奥村　万寿美	
授業概要	症例別の成因、病態、治療の方針に基づき病状の改善、疾病の治療・回復などに効果的な治療食について、個別の治療栄養基準の策定、献立の作成、臨床調理等実践的に理解する。また、傷病者に対する食事の提供は、患者の生活習慣や食習慣を尊重しつつ、病態、病状等の変化に応じた疾病治療のための食事の提供を行い、患者のQOLを低下させないよう配慮することを学ぶ。	
到達目標	病状の改善、疾病の治療・回復など効果的な治療食について、献立の立案、実際に調理・試食し評価検討することによって、食べる人の立場に立った治療食の提供を行うために必要な知識・技術を修得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：玉川和子他　臨床調理（医歯薬出版）、調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学） 指定図書：日本病態栄養学会編　病態栄養ガイドブック（メディカルレビュー社）参考書はWebシラバスの追加情報を参照のこと。 そのほか適宜プリント等を配布する。	
成績評価	レポート評価100％：傷病別の特長や患者心理などを理解し、個別の栄養ケア・プランの作成、栄養マネジメントの実態を把握し、個別の栄養評価に基づく栄養管理の課題に応えられること。	
履修資格		

科目名	臨床栄養学実習Ⅲ	１単位　後期
担当教員	奥村　万寿美	
授業概要	患者あるいは福祉施設入所者等の身体状況、栄養状態、病態、病状など個々の状況に応じた栄養アセスメントを行い、治療管理計画（栄養管理計画）を立案し、栄養ケア・マネジメントを具体的に進めていくためのプログラムの作成・立案に必要な知識と技術を修得する。	
到達目標	臨床診査、身体計測、栄養補給法、症例検討など実際に体験することにより正しい判断が行えるよう実践能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：福井富穂他　栄養ケアマネジメント 指定図書：松崎政三他　臨床栄養管理ポケット辞典（建帛社） そのほか適宜、プリントなどを配布する。	
成績評価	レポート評価100％：栄養ケア・マネジメントの主旨を理解し、適切な栄養評価に基づく栄養補給の方法や内容、栄養教育などができること。 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	臨床栄養活動論	２単位　後期
担当教員	赤尾　正※　・　廣瀬　潤子	
授業概要	急増している生活習慣病について、第3次予防、第2次予防、第1次予防における生活習慣の改善に関する管理栄養士の活動について学ぶ。生活習慣病治療あるいは予防対策として自ら危険因子の軽減・除去および健康増進を図るヘルスプロモーションがすすめられている。治療を主とする医療分野において活動する管理栄養士についても幅広い医療人としての自覚と見識が求められている。臨床栄養活動の場を病院、診療所等に限ることなく、学校、事業所、福祉施設、あるいは地域住民を含め健康の維持・増進施策、特に食生活の改善による疾病予防、あるいは疾病の増悪阻止、快復などにどのように対応していくのか学ぶ。	
到達目標	食べることを主として自らの健康管理が行えるよう、管理栄養士としての素養を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：木戸詔子他編　臨地・校外実習のてびき（化学同人） 指定図書：渡辺明治他編　今日の病態栄養療法（南江堂） そのほか適宜、プリントなどを配布する。	
成績評価	レポート評価20％：管理栄養士業務の概略を理解するとともに、現代社会の健康問題について個人的・社会的に考察し、栄養に関係する課題に応えられること。 期末筆記試験80％：現代社会における医療問題を管理栄養士の立場から個人や集団とどのように関わって改善していくのか考察する。	
履修資格		

科目名	臨床栄養臨地実習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	奥村　万寿美	
授業概要	病院や老健施設あるいは社会福祉施設において栄養部門業務の概略を知るとともに専門職としての活動内容、主に病態に応じた栄養管理計画、栄養食事指導について体験する。急性疾患や慢性疾患など早期の創傷治癒、あるいは社会復帰に向けての栄養補給の変化、クリニカルパスに基づくチーム医療の実施状況とくに他職種との連携について体験するとともに患者に対する身体計測を含めた栄養アセスメントの実際についても学び、適切な栄養ケアマネジメントを行うために必要な知識や技術について専門的な観察を行う。	
到達目標	傷病者に対する個別の栄養アセスメント・栄養ケア計画を作成し、栄養補給の実態把握および経過観察（モニタリング）により再評価することを実施に学ぶとともに課題の設定と解決方法を見出す能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：木戸詔子他編　臨地・校外実習のてびき（化学同人） 指定図書：杉山みち子他編著　臨床栄養活動論（同文書院）、渡辺明治他編　今日の病態栄養療法（南江堂） そのほか適宜、プリントなどを配布する。	
成績評価	レポート評価100％：医療機関における栄養ケア・マネジメントの実際を理解し、適切な栄養評価に基づく栄養補給の方法や内容、栄養教育などの課題に応えられること。	
履修資格		

科目名	臨床栄養臨地実習Ⅱ	１単位　前期
担当教員	奥村　万寿美	
授業概要	医療の場で活動するために必要な知識・技術を学ぶとともに医療人としての自覚をもつため、傷病者等に対する栄養食事指導の実践を介して、カウンセリングに必要な技術を修得する。さらに、入院・外来別にどのような栄養教育が行われているか、その効果的な方法について、栄養食事指導という一つのシステムとして考察するなど在宅医療等も含めた疾病予防・治療・カウンセリングなど広い意味での臨床栄養管理を目指した管理栄養士活動の実際と役割について学ぶ。	
到達目標	医療職として管理栄養士はどのように傷病者に関わっていくのか体験するとともに医師、看護師、薬剤師などがどのように患者と接しているか観察し、医療チームの一員となる能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：木戸詔子他編　臨地・校外実習のてびき（化学同人） 指定図書：杉山みち子他編著　臨床栄養活動論（同文書院）、 そのほか適宜、プリントなどを配布する。	
成績評価	レポート評価100％：医療機関における栄養ケア・マネジメントの実態を把握するとともに、適切な栄養評価に基づく栄養補給の方法や内容、栄養教育などの課題に応えられること。	
履修資格		

科目名	臨床心理学	２単位　後期
担当教員	松嶋　秀明	
授業概要	臨床心理学とは、「こころ」に何らかの問題を抱える人々を支えることをめざして援助実践を行いつつ、同時に援助実践をよりよいものにするために種々の研究を行っていくものである。この授業では「こころ」の障害について紹介しつつ、それをいかに援助すればよいのか、最新の研究知見をもとに論じる。一方向的なレクチャーだけではなく、受講者同士のディスカッションやワークをとりいれる。そのことを通じて、私たちは、心理的な問題をかかえている隣人に対して、どのようにふるまい支えていけばよいのかを「身を以て」わかることを目指す。積極的な参加を期待する。	
到達目標	他者のこころの問題を、一般的な知識としてではなく、自らが関わることを前提としつつわかっていくための視点を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:	
成績評価	・各授業における発表／貢献(60) ・最終レポート (40)	
履修資格		

科目名	臨地実習事前事後指導	１単位　前期
担当教員	岡本　秀己　・　奥村　万寿美　・　浦部　貴美子　・　谷口　美津子※	
授業概要	臨地実習の事前と事後に集中で行う。事前実習では、管理栄養士の実践活動の場である保健所、事業所、病院などにおける役割や業務内容、必要な知識、技術（臨床栄養学Ⅰ、栄養教育論、公衆栄養学、栄養ケアマネジメント論、給食経営管理論で修得済）を再度確認し、臨地実習をより意義あるものとする。また、事後実習では、臨地実習で体験した様々なプログラムやそこで得られた新しい知見などを臨地実習場所ごとに発表を行い、臨地実習をより、自分自身のなかで明確なものとし、また、そこでの体験や知識等を他の学生と共有する。	
到達目標	保健所、病院等における管理栄養士の役割や業務内容を理解する。 地域の特性や病院においては疾病者の状況に応じた栄養指導や栄養管理ができる知識、技術を理解し、これらを深める必要性を自覚し、在学中に更なる努力ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:木戸詔子他編　臨地・校外実習のてびき（化学同人） 指定図書:日本病態栄養学会編病態栄養ガイドブック（メディカルレビュー社）　日本糖尿病療養指導士認定機構編　日本糖尿病療養指導士受験ガイドブック（メディカルレビュー社）	
成績評価	臨地実習報告書評価80％ 臨地実習の必要性と管理栄養士の業務について理解し、さまざまな職域における活動内容と役割を把握するとともに個別の施設の抱えている問題や課題についての質問に答えることが20％	
履修資格		

科目名	歴史的地域論	２単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	地域社会を構成するイエ・ムラなどの基礎的な集団やその相互の関係が、どのように歴史的に形成され、変化していくかを明らかにする。文献史学・歴史地理学・考古学・民俗学などの成果を総合しながら、自然的社会的諸条件が地域を構成する諸集団の編成原理や秩序のあり方にどのように関わるのかを考える。	
到達目標	重層的に成立し、時間の中で変化していく地域社会の特質を、最も基礎的な社会集団であるイエ・ムラなどに注目し、具体的に理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 参考書:水野章二『日本中世の村落と荘園制』（校倉書房）水野章二編『中世村落の景観と環境』（思文閣出版）	
成績評価	期末筆記試験70％、レスポンスペーパー30％。成績評価方法および水準については授業時に説明する。	
履修資格		

科目名	アジア・地域交流論Ａ	２単位　後期
担当教員	田中　俊明	
授業概要	（平成25年度は不開講） 中国はその名のとおり、天下・世界の中心であることを自認した。東アジア地域にとって、中国の影響力は強烈であり、そうした思想が当時の国家間の関係を規定した。しかし周辺諸国が、それにどのように対応したかは様々であり、必ずしも中国の思惑通りにはいかなかった。そこに東アジアの固有の歴史世界があるのであり、とりあげようとするのはそのような現実である。『魏志』東夷伝の中から、特に韓伝をとりあげて詳細に検討し、それを通して中国中華の「辺境」に対する認識について考えたい。	
到達目標	基礎知識の習得。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを毎回配布。 参考書：適宜、指示する。	
成績評価	レポート30％。期末試験70％。	
履修資格	特になし。	

科目名	アジア・地域交流論Ｂ	２単位　前期
担当教員	ブレンサイン	
授業概要	この講義では、アジアにおける人と物の交流がどのようなパターンで行われてきたのかを中国とモンゴル、中国と満洲との関係から立体的に捉えていきたい。常に現代に着目して、歴史と今日との間に行き来することによって多角的な地域像を描き出したい。	
到達目標	万里の長城と柳条辺墻を挟んだ中国大陸における人と物の交流を歴史的視点から理解できることを目指す。当地域の現状に関してもある程度の視点を持てるようにしたい。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 参考書は適宜紹介する。	
成績評価	中間レポート20％、質問票10％、期末試験40％、出席状況30％	
履修資格		

科目名	アジア・地域交流論Ｃ	２単位　後期
担当教員	定森　秀夫	
授業概要	朝鮮半島は、旧石器時代から現在に至るまで日本と非常に関係が深い。朝鮮考古学の概要を理解し、日本考古学と比較してその相違性と相似性を理解することを目的とする。まず最初に、朝鮮考古学の基本と朝鮮考古学史の概要を講義する。そして、旧石器時代から朝鮮時代までの各時代における考古学の成果と問題点を概説する。場合によっては、主要な遺跡を取り上げたり、特殊な遺構・遺物を取り上げたりして、それらに関する詳しい内容を講義する。また、適宜スライド・ビデオなどを利用して、理解を深める。	
到達目標	1．朝鮮考古学の基本と朝鮮考古学史を理解する　2．旧石器時代から統一新羅時代までの朝鮮考古学の内容を理解する　3．日本考古学と比較して、日本と朝鮮との歴史的な関係を考える	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント資料を配布する参考書：授業中に紹介する	
成績評価	講義理解度60％、レポート（小レポート2回・期末レポート）40％で成績評価	
履修資格		

科目名	インド・チベット地域文化論	２単位　後期
担当教員	棚瀬　慈郎	
授業概要	インド仏教は、7世紀以降にヒマラヤを越えてチベットの地にもたらされた。本講義では、インド仏教について概観した上で、そのチベットにおける展開と社会的な影響について検討する。	
到達目標	仏教の基本的な考え方と、その歴史的展開についての知識の習得。また内陸アジアにおいて仏教が果たしてきた役割について理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを配布する。	
成績評価	試験による（100％）	
履修資格		

科目名	栄養アセスメント論	２単位　前期
担当教員	廣瀬　潤子	
授業概要	栄養教育の歴史的変遷より栄養教育の必要性と重要性を理解し、栄養教育の対象のニーズに応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントする為に必要な理論と方法を習得する。まず、対象の問題点を明らかにするための健康・栄養状態、食行動、食環境に関する情報収集の方法と分析法を学ぶ。問題点の原因や誘因、背景にある過程や社会環境に由来する問題点や情報を整理し、総合的に評価・判定する栄養アセスメントを行い、ケアプランの作成、栄養教育の実施、評価について学修する。栄養教育のツールとしての行動科学論、栄養カウンセリングについても学修する。	
到達目標	（1）栄養教育の一連の流れ、マネジメントサイクルについて理解し説明できる。 （2）具体的なアセスメントの方法を説明できる。 （3）行動科学理論、カウンセリング理論を理解し、それらの栄養教育への応用の必要性を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト、参考書：適宜、紹介する。	
成績評価	※授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。 小テスト（40％）および定期試験（60％）	
履修資格		

科目名	栄養教育論	２単位　後期
担当教員	廣瀬　潤子	
授業概要	栄養アセスメント論で学んだ対象者の行動変容を促し、対象者の学習を支援できることを目的とした栄養教育の基本的・専門的知識や技術を実際の栄養教育に、いかに活かしていくかをライフステージ、ライフスタイル別に、その特徴や顕在化しやすい栄養問題に応じた栄養教育の実際のあり方を学習する。個人や集団の栄養状態の評価判定でき、栄養プログラムが作成できる。	
到達目標	（1）栄養教育に必要な知識と技術を説明できること。 （2）各ライフステージ・ライフスタイルの特徴にあった栄養教育が出来ること。 （3）日本における栄養教育の実際を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	教科書：栄養教育論 田中敬子・前田佳予子編（朝倉書店） 適宜、参考書の紹介、プリントなどを配布する。	
成績評価	※授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。 小テスト（40％）および定期試験（60％）	
履修資格		

科目名	栄養ケアマネジメント論	２単位　後期
担当教員	奥村　万寿美	
授業概要	適切な栄養アセスメントに基づいて栄養ケアプランを作成するためには、個人のさまざまな特性を考慮した栄養治療計画に則って実行し、その結果を評価しなければならない。医療機関、福祉施設等における栄養ケアの実際と長期療養を可能とする栄養マネジメントについて、傷病者（入所者）の病態、病状、栄養状態などそれぞれの身体特性によって異なる臨床診査、身体計測、食事調査、臨床検査、投薬・注射などについて、実際の症例をもとに総合的な栄養ケアマネジメントの考え方について学び、必要な知識と技術を修得する。	
到達目標	栄養アセスメントに基づく栄養ケアプランの立案のため身体計測、各種の検査結果から現在の栄養状態や疾病コントロール状況を個別に評価できる能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：福井富穂他　栄養ケアマネジメント論（化学同人） 指定図書：臨床栄養管理ポケット辞典（建帛社） そのほか適宜、プリントなどを配布する。	
成績評価	レポート評価20％：栄養ケア・マネジメントを理解し、適切な栄養ケアプランができること。期末筆記試験80％：個人や集団に対する栄養ケア・マネジメントの必要性を理解しケアプランに応用できること。 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格	栄養学各論、臨床栄養活動論を履修していること。	

科目名	栄養ケアマネジメント論実習	１単位　後期
担当教員	奥村　万寿美	
授業概要	患者あるいは福祉施設入所者等の身体状況、栄養状態、病態、病状など個々の状況に応じた栄養アセスメントを行い、治療管理計画（栄養管理計画）を立案し、栄養ケア・マネジメントを具体的に進めていくためのプログラムの作成・立案に必要な知識と技術を修得する。	
到達目標	臨床診査、身体計測、栄養補給法、症例検討など実際に体験することにより正しい判断が行えるよう実践能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：福井富穂他　栄養ケアマネジメント(化学同人) 指定図書：松崎政三他　臨床栄養ポケット辞典（建帛社） そのほか適宜、プリントなどを配布する。	
成績評価	レポート評価100％：栄養ケア・マネジメントの主旨を理解し、適切な栄養評価に基づく栄養補給の方法や内容、栄養教育などができること。 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格	臨床栄養学Ⅰ、栄養ケアマネジメント論を履修していること。	

科目名	カウンセリング論演習（生活栄養）	２単位　後期
担当教員	廣瀬　潤子　・　松嶋　秀明	
授業概要	クライエントの感情や行動を理解しながら、彼（女）らのかかえる生きづらさを理解し、生活の細部を想像し、支えるための知識・技法を学ぶ。そのためにカウンセリングや心理療法の理論や知識の習得、およびロールプレイ、事例研究などを通した実際的なカウンセリング技法の習得をはかる。	
到達目標	クライエントが生きづらいとはどういうことなのか想像し、それを支えるとはどういうことか体験的に理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	特に指定しない。都度、レジュメを配布する。	
成績評価	授業での討論への参加(40%)、ロールプレイ(30%)、最終レポート(30%)	
履修資格		

科目名	給食管理実習	１単位　前期
担当教員	谷口　美津子※　・　佐野　光枝	
授業概要	学内にて、集団給食（100食）の管理運営について、実習を通して学ぶ。	
到達目標	（1）管理栄養士、調理師の役割分担が理解できること。 （2）下処理から始まり、調理、配食、食器洗浄、保管までの作業分担ができること。 （3）食材料費の執行が予算内でできること。 （4）HACCPに基づく衛生管理が理解できること。 （5）目標設定に対する評価ができること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：藤原政嘉他編『給食経営管理実習』（みらい）指定図書：授業の中で紹介する。 参考書：木村友子他編『学内給食経営管理実習のためのおいしい食事のコーディネート第2版』（医歯薬出版）	
成績評価	レポート100％で評価する。	
履修資格		

科目名	現代モンゴル語文献講読	２単位　通年
担当教員	堀田　あゆみ※　・　内田　孝※	
授業概要	モンゴル語コミュニケーションⅡAおよびモンゴル語コミュニケーションⅡBの両方を履修し単位を修得することにより、この科目に読み替えます。科目の内容は読替対象科目の講義概要で確認してください。	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	考古学特論	２単位　後期
担当教員	定森　秀夫	
授業概要	遺跡・遺構・遺物を研究対象とする考古学の方法論などの概要、および日本考古学の概要を理解することを目的とする。最初に、考古学の基本、考古学の方法論などの概要を講義する。そして、日本考古学の歩みとこれまでの成果を概説する。現在、日本考古学は旧石器時代から現代までを研究対象としている。時代ごとに、考古学の成果と問題点を概説していくが、場合によっては主要な遺跡を取り上げたり、特殊な遺構・遺物を取り上げたりして、それらに関する詳しい内容を講義する。また、適宜スライド・ビデオなどを利用して理解を深める。	
到達目標	1．考古学の方法論の基本を理解する　2．日本考古学史と旧石器時代から現代までの日本考古学の内容を理解する　3．周辺諸国の考古学の成果と比較検討して、アジアの中の日本文化を理解する	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント資料を配布する参考書：授業中に紹介する	
成績評価	講義理解度60％、レポート（小レポート2回・期末レポート）40％で成績評価	
履修資格		

科目名	考古地理実習Ⅰ	１単位　後期
担当教員	定森　秀夫　・　濱崎　一志　・　中井　均　・　塚本　礼仁　・　石川　慎治　・　京樂　真帆子	
授業概要	考古学・地理学を修得するためには、測量や実測、作図など実地にその技術を身につけなければならない。そのための技術の基礎を訓練する実習である。	
到達目標	考古学・地理学の基本的な技術を知り、理解すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:	
成績評価	実習成果物70％・実習態度等30％	
履修資格		

科目名	考古地理実習ⅡＡ	２単位　通年
担当教員	定森　秀夫　・　中井　均	
授業概要	考古学における実践的技術習得のための実習である。考古学の研究や学習には、基礎的技術の習得が欠かせない。地下から出土する遺構や遺物はその発掘記録を確実に作成するのが第一段階である。第二段階としては洗浄・修復で、その後、図化等（拓本・実測・写真・製図を含む）の第三段階を経て、初めて客観的資料となる。これら資料を用いて歴史を研究するのが考古学である。将来、考古学的方法を用いて研究・学習を進めるための実践的な技術力を習得する。したがって、小人数で実習を行うため、受講に当っては、将来これらの技術を必要とするものが受講されたい。	
到達目標	考古学の基本的な技術を理解し、身につけること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:	
成績評価	実習成果物としての実測図や拓本等提出資料70％、実習態度等30％	
履修資格		

科目名	考古地理実習ⅡＢ	２単位　通年
担当教員	塚本　礼仁	
授業概要	地理学研究は、地形図の判読、数量データの解析、主題図の作成、現地調査などを組み合わせて進められ、これらの正確さ・緻密さが研究の内容そのものを左右する。本実習では、地図から情報を取り出す、統計データから地理現象の傾向をつかむ、現地で情報を得る、地理情報を地図化するという構成で作業を進め、最後に地域分析レポートという形にまとめて報告する機会を設ける。	
到達目標	1. 地形図を読めるようになること。 2. 統計データを扱えるようになること（表計算ソフトの操作も含む）。 3. テーマを地図化できるようになること（ドローイングソフト、GISソフトの操作も含む）。 4. 1～3を合わせて地域分析を行えるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特定のものは使用しない。適宜プリントなどを配布する。	
成績評価	実習成果物：50％　作業のスピード、正確さ、完成度を確認する。 地域分析レポート：50％　内容とプレゼンテーションをもとに評価する。	
履修資格		

科目名	構造材料実験	２単位　後期
担当教員	陶器　浩一　・　高田　豊文　・　伊藤　淳志※　・　永井　拓生	
授業概要	木材・鋼材・コンクリートなどの構造材料，およびラーメン・トラス・アーチなどの架構の特性を、実験を通じて理解させるのが本科目の主目標である。また、建築構造の最も基本となる構造力学について、演習を通して、理解を深めることも目的とする。さらに、他の構造系科目で扱わない、地盤・基礎構造の調査法と施工についての講義・演習を、本科目において補う。	
到達目標	(1)コンクリート、鋼、木材、それぞれの性質を、五感を通して理解すること (2)ラーメン・トラス・アーチなどの架構の特性を、制作・実験を通して理解すること (3)地盤・基礎構造の基本事項を修得すること	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：日本建築学会編「構造入門教材　ちからとかたち」（丸善） 谷川恭雄他著「構造材料実験法」（森北出版）	
成績評価	毎回行う実験・演習のレポートにより評価する。	
履修資格		

科目名	住環境設計演習Ⅳ	２単位　後期
担当教員	宮本　雅子　・　藤木　庸介　・　佐々木　一泰	
授業概要	課題Ⅶでは、住居設計演習Ⅱ（2回生）と合同で複数のチームをつくり、それぞれのチームが与えられたテーマのもと、仮設空間を制作する。異なる学年による協同作業、制作するための知恵、実際に完成した空間を自分自身や色々な人々に体感してもらう事など、実際の空間生成体験から、設計やデザイン手法をより深く学ぶ。テーマや規模は年度ごとに決定する。課題Ⅷでは、現代都市にフィットする新たな都市型集合住宅の可能性と，多様な形態の家族（世帯）の共住の可能性を模索し，都市における居住空間構成の把握に努める。	
到達目標	住空間を中心とした設計に対する知識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：『建築ﾃﾞｻﾞｲﾝの製図法から簡単な設計まで』（彰国社）、『初めての建築製図』（学芸出版社）『初めての建築設計　ステップ・バイ・ステップ』（彰国社）『ｺﾝﾊﾟｸﾄ設計資料集成〈住居〉』（丸善）（以上住居設計演習Ⅲと共通）指定図書・参考書：授業内に適宜紹介	
成績評価	課題の成果として提出される図面・模型等およびプレゼンテーションによって評価する。（課題Ⅶ－合同課題40%，小課題20%，課題Ⅷ40％）なお，単位取得には，すべての課題を提出することが前提条件となる。ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	食生活論演習	２単位　前期
担当教員	学科教員	
授業概要	食生活のそれぞれの分野に関して既存の成果を概観するとともに、各自の卒業論文の作成に必要な文献や資料を集めさせ、また順次に研究の経過を報告させて、論文作成を指導する。	
到達目標	卒業論文作成のための知識の取得および論理的説明能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：適宜指示する 指定図書：適宜指示する 参考書：適宜指示する	
成績評価	指導教員が初回の講義において説明する	
履修資格	卒業研究・論文と併せて受講する。	

科目名	生活デザイン論	２単位　後期
担当教員	佐々木　一泰	
授業概要	生活空間の中にあるさまざまなデザインや知恵、技術を拾い出し、実例を通じて、コンセプト・工法・手法などを紐解き、住空間デザインに対する知識を深める。またその抽出にあたっての技法や制作方法などについての知識も深める。 （平成24年度以前入学生用）	
到達目標	生活空間の中にあるデザインの知識を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし。適宜プリントを配布する。 参考書：授業内に適宜紹介する。	
成績評価	小レポート、小テスト、小課題などを適宜行い、提出状況によって評価する。（小レポート・小テスト、小課題など100％）授業時間数の2分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格	なし	

科目名	対外文化交流論Ｃ	２単位　後期
担当教員	河　かおる	
授業概要	近世以後の歴史における日本と朝鮮半島との「文化交流」について理解することを目的とする。前半は日本と朝鮮半島が「善隣友好」関係にあったとされる江戸時代における朝鮮通信使の往来とそれにともなう「文化交流」について、研究史そのものを含めて考察する。後半は、「善隣友好」関係から一転して大日本帝国による朝鮮半島侵略・植民地化の中での「交流」について、「在朝日本人」の存在を通じて考察する。 ※来年度（2014年度）より、国際コミュニケーション学科「移民社会論C」に読替（2011年度以前入学の地域文化学科学生）。	
到達目標	(1)朝鮮通信使に関して基本的な説明ができること。 (2) 在朝日本人に関して基本的な説明ができること。 (3) 一見、政治とは無関係の、「平和的」なニュアンスを持つ「文化交流」という現象について、批判的に考察できるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布。参考書：講義中に適宜紹介。	
成績評価	小レポート30％ 中間レポート（前半のテーマについて）35％ 期末レポート（後半のテーマについて）35％ それぞれについての詳しい評価基準は講義中に示す。	
履修資格		

科目名	チベット語基礎	２単位　後期
担当教員	棚瀬　慈郎	
授業概要	チベット語の文字、発音、基礎的な文法の習得から始めて、簡単なチベット文が、自分で辞書を用いて読めるようになることを目指す。	
到達目標	チベット語による基本的な会話が可能となること。また自分で辞書を用いてチベット文が読めるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを配布する	
成績評価	授業を5回以上欠席した者は評価の対象としない。成績は、言語の習得状況を総合的に判断して評価する。	
履修資格		

科目名	中国・内モンゴル地域文化論	２単位　後期
担当教員	ブレンサイン	
授業概要	本講義は中国の少数民族自治区域の一つとしての内モンゴルと「モンゴル世界」の一部としての内モンゴルの多角的な側面を見ることによって、「モンゴル世界」の多様化と、中国の周縁の少数民族居住地域の社会動向を把握しようとするものである。	
到達目標	モンゴル世界の多様化した現実を紹介することによって「モンゴル＝遊牧」というステレオタイプからの脱却を目指したい。また内モンゴルの成り立ちを通して中国の少数民族問題に対して一定の認識を持たせたい。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考書は適宜紹介する。	
成績評価	中間レポート30％、質問票10％、期末試験60％（欠席数が1／3を超えた場合は評価の対象としない）	
履修資格		

科目名	中国語文献講読	２単位　後期
担当教員	横田　祥子	
授業概要	中国語の文章の読解を通じて、現代中国事情を学ぶ。	
到達目標	中国の新聞や雑誌を読む。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：授業時に配布する。 参考書：適宜、紹介する。	
成績評価	授業での発表　50％、レポート　50％	
履修資格		

科目名	朝鮮語会話	２単位　前期
担当教員	松井　聖一郎※　・　河　かおる	
授業概要	朝鮮語コミュニケーションⅡAおよび朝鮮語コミュニケーションⅡBの双方を履修し単位を修得することにより、この科目に読み替えます。科目の内容は読替対象科目の講義概要で確認してください。また、履修にあたっては、河かおるに相談してください。	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	朝鮮地域文化論Ａ	２単位　後期
担当教員	田中　俊明	
授業概要	統一新羅 今年度は、統一新羅史をとりあげる。7世紀に三国統一を達成した新羅は、専制化した王権のもとで、しだいに安定した時代を迎える。しかし8世紀末には内乱がつづき王権も動揺し、9世紀になると地方勢力も台頭して衰亡していき、後三国の戦乱を経て、935年に滅亡をむかえる。ただし東アジア的に見た場合には、在唐新羅人の活動や、また海域において活躍する新羅人の姿が知られ、新羅国家を越えたかたちで、新羅人の歴史をたどることもできる。	
到達目標	朝鮮文化の形成にうちての理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリントを配布する。 参考書は、適宜指示する。	
成績評価	学期中のレポート1回20％、学期末の試験80％。	
履修資格	特になし。	

科目名	朝鮮地域文化論Ｂ	２単位
担当教員	河　かおる	
授業概要	朝鮮半島の近現代史を理解することを目的とする。前半（第10回まで）では近現代の通史を時系列に従って基本的な流れをつかむ。後半では、時代を貫くいくつかのテーマを切り口として、困難な近代の幕開け、植民地化、今も続く民族分断を経験した朝鮮半島の歴史への理解を深める。後半で予定しているテーマは、前半の授業での関心の度合い等を勘案して変更する可能性がある。 ※隔年開講につき、今年度（2013年度）は不開講、来年度（2014年度）より、アジア文化特論B（国際コミュニケーション学科）に読み替え（2011年度以前入学の地域文化学科学生）。	
到達目標	(1)隣国である朝鮮の近現代史、特に日本とかかわる事柄に関して基本的な説明ができること。 (2) 植民地化と民族分断を経験した近現代史の「困難さ」への想像力を鍛える。 (3) 朝鮮の近現代史を密接な関連を持つ日本の近現代史を省察的にとらえ直す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：田中俊明編『朝鮮の歴史』昭和堂、2009年参考書：授業中に適宜紹介。	
成績評価	小レポート（講義内容や配付資料についての理解度と考察力を評価する）50％。 期末レポート（指定した課題に対応する内容になっているか、論理的に構成されているか、十分な読解や調査に基づいて書かれているか、論理的な分析がなされているか、レポートとしての形式的用件を満たしているか等を評価する）50％。	
履修資格		

科目名	朝鮮文化論	２単位　後期
担当教員	河　かおる	
授業概要	皆さんは、隣国である朝鮮についてどの程度知っていますか？「朝鮮」と聞いて、「韓国なら知っているけど朝鮮は…」と思った人はいませんか？韓国と朝鮮は同じなんでしょうか、違うんでしょうか？　この授業では、このようなことをはじめとして、隣国朝鮮についての基本的な事柄を理解することを目的とします。 前半は、「国の名前」「人」「言葉」等についての歴史や現状について確認しつつ、呼称の問題について同時に考えて行きます。前半の締めくくりとしてレポート課題を出します。 後半は、韓国・朝鮮に関するトピックを3つとりあげて講義した後、受講生の皆さん自身が見つけたトピックについてグループで調べ、最終的にプレゼンテーションをします。 【2011年度以前入学の地域文化学科学生は「朝鮮文化論」に読替】	
到達目標	(1)朝鮮にまつわる呼称の問題（差別的呼称を含む）について、その歴史的背景を理解し、論理的に説明できる。 (2)韓国・朝鮮に関するいくつかのトピックについて理解を深める。 (3)韓国・朝鮮に関するトピックについてグループで調査を深め、プレゼンテーションできる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布。 参考書：講義中に適宜紹介。	
成績評価	・小レポート30点（1回10点を累積し30点に圧縮） ・レポート30点（100点満点を30点に圧縮） ・プレゼンテーション30点（100点満点を30点に圧縮） ・加算点10点＋α 授業中に質問⇒1点 授業中に行うグループ・ワークに際して、グループ内の意見の整理と発表を担当⇒1回2点	
履修資格		

科目名	朝鮮語文献講読	２単位　後期
担当教員	定森　秀夫	
授業概要	東アジアの考古学の成果を吸収することは、日本考古学研究を進めていく上で必須になりつつあるといっても過言ではない。特に、朝鮮半島なかんずく韓国の考古学調査研究の成果を取り入れていく必要性は非常に高いと言える。 韓国語で刊行された報告書・書籍および考古学関係雑誌掲載論文の中から重要と思われる文献を選び、講読し日本語訳文を作成していく。また、適宜中国考古学の文献も必要に応じて購読し、日本語訳文を作成していくようにしたい。	
到達目標	1.辞書を使用して韓国語(中国語)で書かれた考古学の文献を訳すことができるようになる。 2.考古学の文献の日本御所訳文を作成して、翻訳した韓国(中国)考古学文献の内容を理解する。 3.日本考古学と韓国(中国)考古学との比較検討ができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト、指定図書、参考書 講読文献テキスト：プリント資料を配布する 参考書：授業中に紹介する	
成績評価	翻訳レポート60％、講読理解度40％	
履修資格		

科目名	道具デザイン演習Ⅳ	２単位　後期
担当教員	面矢　慎介　・　印南　比呂志	
授業概要	道具の計画・デザインにおいて必要な知識・考え方と技術を修得する。道具デザイン演習Ⅰ～Ⅲで学んだ技術と知識を基礎として、生活関連分野の製品およびそれらを含んだ生活空間についての具体的な計画・デザインの課題を課す。	
到達目標	調査・構想から企画立案、造形、素材や色彩の選択、製図、立体モデル制作、プレゼンテーション、報告書作成まで、実際のデザインプロセスに沿った作業を一貫して修得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考書：授業中に指示する。	
成績評価	授業中の発表（20％）と完成提出作品（80％）による。	
履修資格		

科目名	日本住居史	２単位　後期
担当教員	藤木　庸介	
授業概要	明治期から戦中戦後を経て、現代に至るまでの日本における住居の変遷と、そこでの住まい方について、各時代の社会的背景や、習俗・習慣を踏まえ、わかりやすく解説する。また、こうした住居の変遷を理解する事から、これからの日本における住居のあり方について考察を行う。	
到達目標	明治期から戦中戦後を経て、現代に至るまでの日本における住居の変遷と、そこでの住まい方について理解する。また、これを踏まえた上で、これからの日本における住宅のあり方について、自らの考えを述べる事ができる様になる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント配布 参考書：吉田桂二（著）『間取り百年』彰国社	
成績評価	小テスト2回、並びにレポート1本により評価。成績への寄与率は小テストの合計を60％、レポートを40％とする。 尚、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	日本文化史論Ⅰ	２単位　前期
担当教員	京樂　真帆子	
授業概要	日本古代史の史料などに基づき、当時の文化について考える。『小右記』などの古記録を題材に、平安京の都市文化について分析していく。 本年度の分析テーマについては、初回のガイダンスで発表する。	
到達目標	平安時代の文化史の展開を、総合的に把握する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリントを配付する指定図書：特になし参考書：適宜紹介する	
成績評価	期末試験100％	
履修資格		

科目名	日本文化史論Ⅱ	２単位
担当教員	京樂　真帆子	
授業概要	ジェンダーでみる日本史を考える。日本における女性史研究は戦前からの長い歴史を持っている。近年、ジェンダーの概念を取り入れることによって、新しい日本女性史が描かれるようになってきた。女性であることが歴史の中でどういう意味を持ち、どう評価されてきたのかを考えていく。	
到達目標	①ジェンダー概念を正しく理解する。②性差の歴史への理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：毎回プリントを配布する。指定図書：特になし参考書：授業中に適宜指示する。	
成績評価	レスポンスカードの内容　30％　期末レポート　70％	
履修資格		

科目名	農耕社会論	２単位　後期
担当教員	ブレンサイン	
授業概要	広大な農村を抱える中国社会は、古今を問わず農民によって動かされてきた。その原動力の裏にはどんな仕組みが存在するであろうか。本講義では、農耕と文明との関係など、基礎的な知識を簡単に回顧したうえで、主として中国の農耕社会とその影響を受けて形勢された周辺地域の農耕社会を比較しながらアジアの農耕社会の仕組みを見ていきたい。また現代中国の農村問題にも着目していきたい。	
到達目標	本講義では、世界最大規模の農耕社会を抱える中国の農村の社会構造を歴史的に整理したうえで、農耕大国中国の現状を理解できることを目指したい。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考書は適宜紹介する。	
成績評価	中間レポート30％、質問票10％、期末試験60％（欠席数が1／3を超えた場合は評価の対象としない）	
履修資格		

科目名	博物館学各論Ｂ	２単位　後期
担当教員	亀井　若菜	
授業概要	博物館の具体的な問題について講義する。博物館と情報・博物館資料論などについて解説する。Aでは自然科学系博物館、Bでは人文系博物館について中心的にとりあげる。また博物館の現地見学も実施する。	
到達目標	博物館の展示・情報・資料などについての基本的な知識の取得	
テキスト 指定図書 参考書	参考図書:『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会西日本部会編、芙蓉書房出版、2012年	
成績評価	レスポンスカード50％・レポート50％	
履修資格	原則として博物館学概論履修者	

科目名	美術史	２単位　前期
担当教員	亀井　若菜	
授業概要	この授業では、日本中世の絵巻を中心に近現代の絵画や広告をも取り上げ、それらに表された女性像に注目し、その表現の意味や意図を考えていく。絵の中で「女性」は、美しくも描かれれば、醜く、あるいは性的にも描かれる。男性主導の社会で「他者」と位置づけられる女性の姿を、どのような状況にいた者が、そのような姿として描き、眺めたかったのかと考え、その作品が作られた社会的な文脈を探っていく。またそのような女性像に対する女性の側からの読み直しについても考察する。	
到達目標	美術作品の表現の意味を、社会的な文脈から考えられるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:授業でその都度紹介する。	
成績評価	授業の簡単な感想文（数回分）（40％）、授業内でのレポート作成（60％）。 授業では毎回パワーポイントを使って画像を提示する。履修者は授業に出席してそれらをよく見、作品が何を見せようとしているのかを自分でも考えていくことが求められる。	
履修資格		

科目名	美術史概論	２単位
担当教員	亀井　若菜	
授業概要	この授業では、日本美術の中の絵画を主な対象として扱い、絵画を通して人がいかに自己のアイデンティティを確立し確認したのかを考えていく。絵の中には、絵を作った人の理想とする美しい姿や世界が描かれる一方で、その人にとっての「他者」が貶められた姿で表象されてもいる。そのような自己像・他者像を作り見ることで、人は自己のアイデンティティを構築・確認する。美術の中の自己像・他者像を分析し、その表現の意味や意図を探っていきたい。	
到達目標	美術の意味を、社会的な文脈から考えられるようになることを目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:授業でその都度紹介する。	
成績評価	授業の簡単な感想文（数回分）（40％）、授業内でのレポート（60％） 授業では毎回パワーポイントを使って画像を提示する。履修者は授業に出席してそれらをよく見、作品が何を見せようとしているのかを自分でも考えていくことが求められる。	
履修資格		

科目名	服飾デザイン演習Ⅳ	２単位　後期
担当教員	森下　あおい	
授業概要	この授業では、「地域」をテーマとして、文献調査、市場調査を行いながら、デザインを考案する。さらにCADによるパターンメーキングの展開、縫製、プレゼンテーションの方法を学ぶ。特に体形に適応した衣服設計についてを習得し、衣服設計の実践力を高める。	
到達目標	1. デザイン創出の実践力を養う　2. パターン展開の技術を習得する。3. テーマに対する情報収集と問題の分析力を養う	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:文化ファッション大系服飾講座②「スカート・パンツ」文化服装学院編（文化出版局）	
成績評価	提出課題の作品　70%,レポート 50%なお授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格		

科目名	モンゴル語Ⅰ	２単位　前期
担当教員	島村　一平	
授業概要	モンゴル語ⅠA(国際)およびモンゴル語ⅠB(国際)を履修し単位を修得することにより、この科目に読み替えます。科目の内容は読替対象科目の講義概要で確認してください。	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	モンゴル語Ⅱ（中級コース）	２単位　後期
担当教員	島村　一平　・　内田　孝※	
授業概要	モンゴル語ⅡA(国際)およびモンゴル語ⅡB(国際)を履修し単位を修得することにより、この科目に読み替えます。科目の内容は読替対象科目の講義概要で確認してください。	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格	モンゴル語Iを履修していること。	

科目名	モンゴル語史料（ウイグル式文字）講読	２単位　前期
担当教員	ブレンサイン	
授業概要	モンゴル語史料講読ＩＡおよびモンゴル語史料講読ＩＢの双方を履修し単位を修得することにより、この科目に読み替えます。科目の内容は読替対象科目の講義概要で確認してください。	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	モンゴル地域文化論	２単位　前期
担当教員	島村　一平	
授業概要	本講義では，モンゴル遊牧社会が生み出した文化の魅力をさまざまな側面から描き出していきたい．扱う主なテーマは音楽，宗教，民族問題である。音楽に関しては、民族音楽のみならず，現代の都市の若者たちの間で流行しているポピュラー音楽から，現代モンゴル社会のもつ諸問題を概観していきたい。民族問題に関しては，ロシア，モンゴル．中国の三カ国に分断されて居住するモンゴル系の集団ブリヤート人の歴史と社会に焦点を当てて話を進めていきたい．中でも，シャーマニズムとエスニシティの関係を中心に論じていく．	
到達目標	モンゴル文化の諸側面を理解する	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：小長谷有紀編 『暮らしがわかるアジア読本　モンゴル』 河出書房新社 指定図書：松原正毅ほか編『ユーラシア草原からのメッセージ』、平凡社 参考書：クドリヤフツエフ著，蒙古研究所訳『ブリヤート蒙古民族史』紀元社	
成績評価	試験60%、レポート40%	
履修資格		

科目名	遊牧社会論	２単位　前期
担当教員	島村　一平	
授業概要	遊牧とは、季節によって自在に遊動しながら、家畜を放牧して生活する生業である。本講義では、モンゴル草原の遊牧社会を中心として遊牧社会の構成原理と現在における変容に関する諸問題を理解することを目的とする。モンゴル人は，顔はわれわれ日本人と似ていてもその文化や社会は、農耕社会を基層文化とする日本とは全く異なる。本講義では、さらにモンゴルの人々の暮らしや文化、社会などを紹介することで、現代日本に住む我々の文化や暮らしのあり方を比較考察していきたい。	
到達目標	日本の主たる基層である農耕社会との比較を通して、遊牧社会の特質を理解する。 遊牧という生業が生み出した文化や社会組織が持つ現代的意義を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：随時　レジュメを配布する。 指定図書：小長谷有紀『モンゴルの20世紀』中央公論社、 金岡秀郎『モンゴルを知るための60章』明石書店。	
成績評価	期末試験による。論述方式をとる。	
履修資格		

科目名	臨床栄養学実習	２単位　後期
担当教員	奥村　万寿美	
授業概要	栄養アセスメントに必要な体格指標の測定、生化学検査に基づく数値の変化、呼気ガス測定による安静時代謝量の測定など疾病時における臨床検査値の見方、読み方などを理解するとともに個別の治療栄養基準の策定、献立の作成、調理等実践的に理解する。また、傷病者に対する食事の提供は、患者の生活習慣や食習慣を尊重しつつ、病態、病状等の変化に応じた疾病治療のための食事の提供を行い、患者のQOLを低下させないよう配慮することを学ぶ。	
到達目標	病状の改善、疾病の治療・回復など効果的な治療食について、献立立案するとともに実際に調理・試食し評価検討することによって、医療の場で活動するために必要な知識・技術を学ぶとともに医療人としての自覚をもち、傷病者等に対する栄養食事指導の実践を介して、カウンセリングに必要な技術を修得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：玉川和子他　臨床調理（医歯薬）、調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学）、糖尿病食品交換表（文光堂）、腎臓病食品交換表（医歯薬） 指定図書：日本病態栄養学会編　病態栄養ガイドブック（メディカルレビュー社） 参考書はWebシラバスの追加情報を参照のこと。そのほか適宜プリント等を配布する。	
成績評価	レポート評価100％：傷病別の特長や患者心理などを理解し、個別の栄養ケア・プランの作成、栄養マネジメントの実態を把握し、個別の栄養評価に基づく栄養管理の課題に応えられること。	
履修資格		

５　人間看護学部科目履修の手引

１　人間看護学部人間看護学科の教育目標

（１）　豊かな人間性のもと、幅広い視野で人間を総合的に理解する看護職が育つ

人間の生命に対する畏敬の念をもち、その尊厳と権利を尊重し、人の痛みや苦しみを共有し、喜びをともにする豊かな人間性を備えた看護職としての資質を養います。

（２）　高度な専門的知識や技術、実践的な判断力、指導力を有する看護職が育つ

看護の専門職としての知識・技術を修得するとともに、社会情勢の変化に的確に対応できる柔軟な思考力を養い、看護における理論と実践の統合を図ります。

（３）　地域特性に即した実践力を有する看護職が育つ

地域特性を理解した上で生活実態に即した看護を創造する力を養います。

２　科目の履修について

（１）全学共通科目の履修について

「全学共通科目履修の手引」に沿って履修してください。共通基礎科目は、主に１年次、２年次に配当されています。また、人間学は、４年間にわたって履修可能ですので個人の学習状況に合わせて効果的に履修をしてください。なお、人間学の「人間探求学」「環境マネジメント総論」「生命・人間・倫理」は１年次、「社会福祉論」、「栄養と人間」は２年次に履修してください。（いずれも必修）

（２）専門基礎科目、専門科目の履修について

①「人間看護学部科目配当表」に単位数、配当時期を示していますので、時間割表を参考に履修計画を立ててください。

・講義科目のうち、３０時間の授業をもって１単位とする科目があります。科目配当表に明示しています。

・低学年では専門基礎科目や看護学の講義、演習が配当されています。履修漏れのないように注意してください。

・臨地実習は、１年次、２年次、３年次の夏季集中時期と、３年次後期～４年次前期に集中して配当されていますので、その都度、履修登録をしてください。実習は、届出前までに修得しておくべき科目等が条件として設けられていますので、人間看護学部実習前提科目表で必ず確認してください。

②助産師課程、保健師課程、養護教諭一種免許の取得を希望する者は、「資格取得等の手引」をもとに「人間看護学部科目配当表」および「時間割表」を検討の上、履修してください。

３　人間看護学部卒業要件について

（１）２０１２（平成２４）年度以降入学生用

以下のとおり、卒業要件が適用されます。

１	全学共通科目	（計　３０単位以上）　必修２２単位、選択必修８単位以上
	共通基礎科目	１８単位以上
	第一外国語	英語ＩＡ・B、ⅡA・B、ⅢA・B、ⅣA・B　　８単位
	第二外国語	ドイツ語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、フランス語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、中国語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡB、朝鮮語ＩＡ・ＩＢ・ⅡA・ⅡＢのうちから４単位以上。 ただし、「第二外国語ⅡA・ⅡB」は「実用英語演習ＩＡ・ＩＢ」で代替可であるが「実用英語演習ＩＡ・ＩＢ」の履修を強く推奨する。
	情報処理	情報リテラシー（情報倫理を含む）２単位（必修）［平成２２年度以降入学生用］ 情報科学概論　　２単位（必修） の４単位
	保健体育	健康・体力科学Ⅰ・Ⅱ　２単位
	人間学	１２単位以上（「人間探求学」「環境マネジメント総論」「生命・人間・倫理」「社会福祉論」、「栄養と人間」は必修）
２	専門基礎科目	（計　２０単位）
３	専門科目	（計　７９単位以上）
	必修	６７単位
	選択必修	１２単位以上 （専門選択科目一覧表の中から 12 単位以上とする。）
	合計	１２９単位以上

註：ただし、全学共通科目で３０単位を超えた分の科目や他学部の開講科目については、履修可能ですが、卒業要件には算入できません。

【卒業研究の審査基準】

１　卒業研究（卒業論文）に対しては、以下の評価項目にもとづいて審査する。

(1) 研究目的の明確性
(2) 研究方法の妥当性
(3) 研究結果の明確性
(4) 論文の論理展開の一貫性
(5) 研究内容の新規性・学術性・社会性
(6) プレゼンテーション技法と質疑応答能力

２　卒業研究（卒業論文）は、発表会において学部が定める方法で発表し、質疑を行う。

３　１および２による評価結果をもとに、学科教員全員の合議を経て審査判定を行う。

【人間看護学部科目配当表】 2012（平成24）年度以降入学生

区分		1年次	単位数	必・選	学期	2年次	単位数	必・選	学期	3年次	単位数	必・選	学期	4年次	単位数	必・選	学期	必要単位数
全学共通科目	全学共通基礎	英語ⅠA・B	各1	必	前後	英語ⅢA・B	各1	必	前後									
		英語ⅡA・B	各1	必	前後	英語ⅣA・B	各1	必	前後									
		○第二外国語ⅠA・B	各1	選必	前後	○第二外国語ⅡA・B	各1	選必	前後									
		情報リテラシー（情報倫理を含む）	2	必	前	○実用英語演習ⅠA（※1）	1	選必	前									
		情報科学概論	2	必	後	○実用英語演習ⅠB（※1）	1	選必	後									18単位
		健康・体力科学Ⅰ	1	必	後	健康・体力科学Ⅱ	1	必	前									
	人間学	人　間　学　（「人間探求学」「環境マネジメント総論」「生命・人間・倫理」「社会福祉論」「栄養と人間」は必修）																12単位以上
専門基礎科目		体のしくみと機能Ⅰ	2	必	前	公衆衛生学	2	必	前									
		体のしくみと機能Ⅱ	2	必	後	薬理学	2	必	前									
		体のしくみと機能Ⅲ	2	必	前	疾病論Ⅰ	2	必	前									
		健康科学Ⅰ	2	必	後	疾病論Ⅱ	2	必	後									20単位
		健康科学Ⅱ	2	必	前													
		人間性心理論	2	必	後													
専門科目		人間看護学概論	2	必	前	基礎看護技術Ⅲ	1	必	前	成人クリティカルケア演習	1	必	前					
		基礎看護技術Ⅰ	1	必	前	基礎看護技術Ⅳ	2	必	前	エンドオブライフケア演習	1	必	前					
		メンタルヘルスケア	2	必	後	看護理論	2	必	後	老年臨床看護学演習	1	必	前					
		基礎看護技術Ⅱ	2	必	後	成人臨床看護学	2	必	前	小児臨床看護学演習	1	必	前					
		小児看護学概論	1	必	前	成人クロニックケア演習	1	必	後	育成看護論演習Ⅱ	1	必	前					
		成人看護学概論	1	必	後	老年看護学演習	1	必	前	精神臨床看護学演習	1	必	前					
		老年看護学概論	1	必	後	老年臨床看護学	1	必	後	在宅看護学演習	1	必	前					
		育成看護論	2	必	後	小児臨床看護学	2	必	後	看護管理論	2	必	集中（後）					
						育成看護論演習Ⅰ	1	必	前									
						精神臨床看護学	1	必	後									
						在宅看護学概論	1	必	前									
						在宅看護援助論	2	必	後									
						公衆衛生看護学概論	2	必	前									
						専門選択科目※2	2	選必	後	専門選択科目　※2					10	選必	前	79単位
		基礎看護学実習Ⅰ	1	必	集中（前）	基礎看護学実習Ⅱ	2	必	集中（前）	【各論実習】※3								
										老年看護学実習	1	必	通	人間看護学統合実習	3	必	前	
										育成看護論実習	2	必	通					
										精神臨床看護学実習	2	必	通					
										小児臨床看護学実習	2	必	通					
										成人クロニックケア実習	2	必	通					
										成人クリティカルケア実習	2	必	通					
										老年臨床看護学実習	2	必	通					
										エンドオブライフケア実習	2	必	通					
										在宅看護学実習	2	必	通					
														卒業研究	4	必	通	
																	計	129単位

※1 本学科では、実用英語演習ⅠAと実用英語演習ⅠBを強く推奨しています。

※2 専門選択科目一覧を参照し履修科目を選択してください。（P. 541ページ参照）

※3 成人クロニックケア実習、成人クリティカルケア実習、老年看護学実習、老年臨床看護学実習、精神臨床看護学実習、小児臨床看護学実習、育成看護論実習、在宅看護学実習、エンドオブライフケア実習を総称して各論実習と呼びます。

・「必」は必修科目　「選必」は選択必修科目　「選」は選択科目

・「前」は前期、「後」は後期、「通」は通年科目を示し、「集」は集中授業で行う

【人間看護学部科目配当表】 2011～2013（平成23～25）年度編入学生用

区分		3年次	単位	必・選	学期	認定単位数	4年次	単位	必・選	学期	認定単位数	必要単位数
全学共通	全学共通基礎	英語Ⅰ	2	必	通	個別認定						必修8単位
		英語Ⅱ	2	必	通	個別認定						
		英語Ⅲ	2	必	通	個別認定						
		英語Ⅳ	2	必	通	個別認定						
		第二外国語Ⅰ	2	選必	通	個別認定	第二外国語Ⅱ *3年次で取れない場合	2	選必	通		必修4単位
		第二外国語Ⅱ	2	選必	通	個別認定						
		健康体力学Ⅰ	1	必	後	個別認定						必修2単位
		健康体力学Ⅱ	1	必	前	個別認定						
		情報リテラシー （情報倫理を含む）	2	必	前							必修4単位
		情報科学概論	2	必	後							
	人間学	**人間学「人間探求学」、「環境マネジメント」、「生命・人間・倫理」、「社会福祉論」は必修 （必修8単位を除く4単位は個別認定）**										12単位以上
専門基礎		人間性心理論	2	必	後							19単位
		地域保健論	2	必	前							
		その他の専門基礎科目	9科目			15単位認定						
専門科目		1年次開講科目(実習含む)	8科目			11単位認定						80単位
		地域看護論Ⅰ	2	必	前		地域看護論実習	4	必			
		ターミナルケア論	1	必	後		＊在宅看護論実習	2	必		個別認定	
		人間看護論Ⅱ	1	必	後		＊人間看護学統合実習	3	必		個別認定	
		疫学	2	必	前		△国際・災害看護論	2	どちらか1科目選択必修			
		＊在宅看護論Ⅰ	1	必	前	個別認定	△家族看護論	2				
		＊在宅看護論Ⅱ	1	必	後	個別認定						
		2年次開講科目	11科目			13単位認定						
		看護管理論	2	必	前							
		看護コーディネーション	2	必	前							
		健康教育論	1	必	前							
		地域看護論演習	2	必	前							
		行政看護論	2	必	前							
		地域看護管理論	1	必	前							
		地域看護論Ⅱ	2	必	前							
		3年次開講科目	15科目			21単位認定						
							卒業研究	4	必	通		
										計	129単位	

専門選択必修科目一覧

◇各分野から、4単位2科目以上選択のこと。履修にあたっては下欄の注意書きを参照。

	選択科目分野		科目名	配当学年	単位数
専門 選択必修 12単位	看護探究能力を育む科目群 (4単位以上、ただし2年次に◇科目より2単位選択)	2年次	◇疫学※1	2・後	2
			◇看護研究の基礎	2・後	2
		3年次以上	基礎助産学Ⅰ※2	3・前	2
			看護トピックス	3・4前	1
			看護キャリアデザイン論	3・4前	1
			看護英語	3・4前	1
			看護教育と実践	3・4前	1
	看護実践能力を養う科目群 (4単位以上)	3年次以上	家族看護学※1	3・4前	2
			健康教育論※1	3・4前	2
			基礎助産学Ⅱ※2	3・4前	2
			クリティカルケア実践演習	3・4前	1
			治療的コミュニケーション技術論	3・4前	1
			看護介入とアウトカム	3・4前	1
			チャイルドライフケア論	3・4前	1
			ホリスティックケア論	3・4前	1
	地域看護能力を高める科目群 (4単位以上)	3年次以上	公衆衛生看護学Ⅰ※1	3・4前	2
			公衆衛生看護学Ⅱ※1	3・4前	2
			地域母子保健※2	3・4前	1
			国際看護学	3・4前(集)	1
			災害看護学	3・4前(集)	1
			ボランティア実践演習	3・4前	1

※1の科目については保健師課程履修の学生は必修科目となります

※2の科目については助産師課程履修の学生は必修科目となります

注1：保健師および助産師課程の学生は、3年前期に専門選択必修12単位をすべて履修しておくこと

注2：保健師・助産師課程以外の学生は、3年次に4単位、4年次に6単位を履修すること

（2）２０１０～２０１１（平成２２～２３）年度入学生用・２０１２～２０１３（平成２４～２５）年度編入学生用

以下のとおり、卒業要件が適用されます。

1	全学共通科目	（計　３０単位以上）　必修２２単位、選択必修８単位以上
	共通基礎科目	１８単位以上
	第一外国語	英語Ⅰ～Ⅳ　８単位
	第二外国語	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、朝鮮語Ⅰ・Ⅱのうちから４単位以上
	情報処理	４単位
		情報リテラシー（情報倫理を含む）２単位（必修）［平成２２年度以降入学生用］
		情報処理演習Ⅰ　１単位（必修）［平成２１年度入学生用］
		情報科学概論　２単位（必修）
		情報処理演習Ⅱ　１単位（必修）［平成２１年度入学生用］
	保健体育	健康・体力科学Ⅰ・Ⅱ　２単位
	人間学	１２単位以上（「人間探求学」「環境マネジメント総論」「生命・人間・倫理」「社会福祉論」は必修）
2	専門基礎科目	（計　１９単位）
3	専門科目	（計　８０単位以上）
	必修	７８単位
	選択必修	２単位以上 （科目配当表の△の科目から１科目２単位以上とする。）
	合計	１２９単位以上

註：ただし、全学共通科目で３０単位を超えた分の科目や他学部の開講科目については、履修可能ですが、卒業要件には算入できません。

【卒業研究の審査基準】

1　卒業研究（卒業論文）に対しては、以下の評価項目にもとづいて審査する。

(1) 研究目的の明確性
(2) 研究方法の妥当性
(3) 研究結果の明確性
(4) 論文の論理展開の一貫性
(5) 研究内容の新規性・学術性・社会性
(6) プレゼンテーション技法と質疑応答能力

2　卒業研究（卒業論文）は、発表会において学部が定める方法で発表し、質疑を行う。

3　１および２による評価結果をもとに、学科教員全員の合議を経て審査判定を行う。

【人間看護学部科目配当表】 2010～2011（平成22～23）年度入学生用

区分		1年次	単位数	必・選	学期	2年次	単位数	必・選	学期	3年次	単位数	必・選	学期	4年次	単位数	必・選	学期	必要単位数
全学共通科目	全学共通基礎	英語Ⅰ（活性化コース）	2	必	通	英語Ⅲ（充実コース）	2	必	通									
		英語Ⅱ（応用コース）	2	必	通	英語Ⅳ（展開コース）	2	必	通									
		○第二外国語Ⅰ（初級）	2	選必	通	○第二外国語Ⅱ（中級）	2	選必	通									
		情報リテラシー（情報倫理を含む）※1	2	必	前	情報処理演習Ⅱ ※2	1	必	前									
		情報科学概論	2	必	後	プログラミング基礎 ※2	2	選	前									18単位
		健康・体力科学Ⅰ	1	必	後	健康・体力科学Ⅱ	1	必	前									
	人間学	人 間 学 （「人間探求学」「環境マネジメント総論」「生命・人間・倫理」「社会福祉論」は必修）																12単位以上
専門基礎科目		体のしくみと機能Ⅰ	2	必	前	地域保健論	2	必	前									
		体のしくみと機能Ⅱ	2	必	後	栄養と健康 ※3	2	必	後									
		体のしくみと機能Ⅲ	2	必	前	薬理学	1	必	前									
		健康科学Ⅰ	2	必	後	疾病論Ⅰ	1	必	前									19単位
		健康科学Ⅱ	2	必	前	疾病論Ⅱ	1	必	後									
		人間性心理論	2	必	後													
専門科目		人間看護論Ⅰ	2	必	前	看護過程論	1	必	前	育成看護論演習	1	必	前	△国際・災害看護論	2	選	集中（前）	
		生活行動看護論	1	必	前	地域看護論Ⅰ	2	必	前	看護コーディネーション	2	必	前	△家族看護論	2	選	後	
		精神保健看護論	2	必	前	生活行動看護論演習Ⅱ	1	必	前	健康教育論	1	必	前					
		生活行動看護論演習Ⅰ	2	必	後	生活行動看護論演習Ⅲ	2	必	通	地域看護論演習	2	必	前	△から1科目選択必修				
		発達看護論Ⅰ	1	必	前	発達看護論Ⅲ	1	必	前	行政看護論	2	必	前					
		発達看護論Ⅱ	1	必	後	育成看護論Ⅱ	1	必	前	精神臨床看護論演習	1	必	前					
		育成看護論Ⅰ	1	必	後	臨床看護論Ⅱ	1	必	前	小児臨床看護論演習	1	必	前					
						臨床看護論Ⅰ	1	必	後	成人臨床看護論演習Ⅱ	1	必	前					
						臨床看護論Ⅲ	1	必	後	老年臨床看護論演習	1	必	前					
						ターミナルケア論	1	必	後	ﾀｰﾐﾅﾙｹｱ論演習	1	必	前					
						在宅看護論Ⅰ	1	必	前	看護管理論	2	必	前					
						在宅看護論Ⅱ	1	必	後	地域看護管理論	1	必	前					
						精神臨床看護論	1	必	後	地域看護論Ⅱ	2	必	前					
						成人臨床看護論演習Ⅰ	1	必	後									80単位
						人間看護論Ⅱ	1	必	後									
						疫学	2	必	後									
		生活行動看護論実習Ⅰ	1	必	集中（前）	生活行動看護論実習Ⅱ	2	必	集中（前）	【各論実習】※4								
										老年臨床看護論実習Ⅰ	1	必	後	前				
										育成看護論実習	2	必	後	前				
										精神臨床看護論実習	2	必	後	前				
										小児臨床看護論実習	2	必	後	前				
										成人臨床看護論実習Ⅰ	2	必	後	前				
										成人臨床看護論実習Ⅱ	2	必	後	前				
										老年臨床看護論実習Ⅱ	2	必	後	前				
										地域看護論実習	4	必	後	前				
										ﾀｰﾐﾅﾙｹｱ論実習	2	必	後	前				
										在宅看護論実習	2	必	後	前				
														人間看護学統合実習	3	必	前	
														卒業研究	4	必	通	
																	計	129単位

※1 全学共通基礎科目（情報処理）について、平成21年度入学生で、配当年次に「情報処理演習Ⅰ」を修得できなかった場合は、「情報リテラシー（情報倫理を含む）」を修得し「情報処理演習Ⅰ」（必修1単位）に読み替えることができます。

※2 「情報処理演習Ⅱ」は平成21年度入学生向けの必修科目です。
平成21年度入学生で、配当年次に「情報処理演習Ⅱ」を修得できなかった場合は、「プログラミング基礎」を修得し、「情報処理演習Ⅱ」に読替えることができます。

※3 「栄養と健康」は、人間学科目「栄養と人間」で読み替えることができます。

※4 老年臨床看護論実習Ⅰ・Ⅱ、成人臨床看護論実習Ⅰ・Ⅱ、精神臨床看護論実習、小児臨床看護論実習、育成看護論実習、育成看護論実習、在宅看護論実習、ターミナルケア論実習、地域看護論実習を総称して各論実習と呼びます。

・「必」は必修科目　「選」は選択科目
・「前」は前期、「後」は後期、「通」は通年科目を示し、「集」は集中授業で行う

2013（平成25）年度　滋賀県立大学人間看護学部　実習計画表

計画は実習先の事情等により変更する場合があります。*教育実習は、この期間内に計画してください。

人間看護学部実習前提科目(2012年(平成24年)度以降入学生用)

実習名	実習期間	履修要件	修得済み科目(見込み含む)			
			専門基礎科目		専門科目	
基礎看護学実習Ⅰ	1年次 前期集中	○1年前期の人間看護学概論及び基礎看護技術Ⅰが修得見込みであること			人間看護学概論	1・前
					基礎看護技術Ⅰ	1・前
基礎看護学実習Ⅱ	2年次 前期集中	○1年次の専門基礎科目及び専門科目5科目を修得していること ○2年前期の基礎看護技術Ⅲ，基礎看護技術Ⅳが修得(見込み)であること	体のしくみと機能Ⅰ	1・前	人間看護学概論	1・前
			体のしくみと機能Ⅲ	1・前	基礎看護技術Ⅰ	1・前
			健康科学Ⅱ	1・前	基礎看護学実習Ⅰ	1・前
			体のしくみと機能Ⅱ	1・後	基礎看護技術Ⅱ	1・前
			健康科学Ⅰ	1・後	メンタルヘルスケア	1・後
			人間性心理論	1・後	基礎看護技術Ⅲ	2・前
			※生命・人間・倫理	1・後	基礎看護技術Ⅳ	2・前
各論実習	3年次通年	○2年次の専門基礎科目・専門科目における必修科目を全て修得していること ○3年次前期の専門基礎科目・専門科目における必修科目が修得みこみであること	※情報科学概論	1・後	基礎看護学実習Ⅰ	1・前
			薬理学	2・前	小児看護学概論	1・前
			疾病論Ⅰ	2・前	育成看護概論	1・後
			公衆衛生学	2・前	成人看護学概論	1・後
			※栄養と人間	2・後	老年看護学概論	1・後
			疾病論Ⅱ	2・後	基礎看護技術Ⅲ	2・前
			※社会福祉論	2・後	老年看護学演習	2・前
					育成看護論演習Ⅰ	2・前
					成人臨床看護学	2・前
					基礎看護技術Ⅳ	2・前
					在宅看護概論	2・前
					公衆衛生看護学概論	2・前
					基礎看護学実習Ⅱ	2・前
					小児臨床看護学	2・後
					老年臨床看護学	2・後
					在宅看護援助論	2・後
					精神臨床看護学	2・後
					成人クロニックケア演習	2・後
					看護理論	2・後
					エンドオブライフケア演習	3・後
					在宅看護学演習	3・前
					育成看護論演習Ⅱ	3・前
					精神臨床看護学演習	3・前
					小児臨床看護学演習	3・前
					成人クリティカルケア演習	3・前
					老年臨床看護学演習	3・前
人間看護学 統合実習	4年次 前期	○3年次後期の専門科目の必修科目をすべて修得しておくこと ○各論実習の単位を全て修得していること			看護管理論	3・後
					育成看護論実習	3・通
					精神臨床看護学実習	
					小児臨床看護学実習	
					成人クリティカルケア実習	
					成人クロニック実習	
					老年看護学実習 注1	
					老年臨床看護学実習	
					エンドオブライフケア実習	
					在宅看護学実習	

※・・・人間学または共通科目ですが、実習の前提科目となります。

注1：老年看護学実習は、老年臨床看護学実習の前提科目となります。

人間看護学部実習前提科目(2010～2011(平成22～23年)度入学生用)

実習名	実習期間	履修要件	履修済み科目				修得済み科目			
			専門基礎科目		専門科目		専門基礎科目		専門科目	
生活行動 看護論実習Ⅰ	1年次 前期集中	○1年前期の専門基礎科目・専門科目における必修科目を全て履修していること	体のしくみと機能Ⅰ	1・前	人間看護論Ⅰ	1・前				
			体のしくみと機能Ⅲ	1・前	生活行動看護論	1・前				
			健康科学Ⅱ	1・前	精神保健看護論	1・前				
					発達看護論Ⅰ	1・前				
生活行動 看護論実習Ⅱ	2年次 前期集中	○1年次の専門基礎科目・専門科目における必修科目を全て修得していること ○2年前期の専門基礎科目・専門科目における必修科目を全て履修していること。ただし，生活行動看護論演習Ⅱ，看護過程論は修得(見込み)であること	地域保健論	2・前	地域看護論Ⅰ	2・前	体のしくみと機能Ⅰ	1・前	人間看護論Ⅰ	1・前
			栄養と健康　＊注3	2・後	発達看護論Ⅲ	2・前	体のしくみと機能Ⅱ	1・後	生活行動看護論	1・前
			薬理学	2・前	育成看護論Ⅱ	2・前	体のしくみと機能Ⅲ	1・前	精神保健看護論	1・前
			疾病論Ⅰ	2・前	臨床看護論Ⅱ	2・前	健康科学Ⅰ	1・後	発達看護論Ⅰ	1・前
					在宅看護論Ⅰ	2・前	健康科学Ⅱ	1・前	生活行動看護論実習Ⅰ	1・前
							人間性心理論	1・後	発達看護論Ⅱ	1・後
							※生命・人間・倫理(人間学)	1・後	育成看護論Ⅰ	1・後
									生活行動看護論演習Ⅰ	1・後
									生活行動看護論演習Ⅱ(見込み)	2・前
									看護過程論(見込み)	2・前
各論実習	3年次 後期 ～ 4年次 前期	○2年次の専門基礎科目・専門科目における必修科目を全て修得していること ○3年前期の専門基礎科目・専門科目における必修科目を全て履修していること ＊編入生は、地域看護論実習を履修するためには、3年次の専門科目における必修科目の単位を全て修得しておくこと					地域保健論	2・前	看護過程論	2・前
							栄養と健康	2・前	地域看護論Ⅰ	2・前
							薬理学	2・前	発達看護論Ⅲ	2・前
							疾病論Ⅰ	2・前	育成看護論Ⅱ	2・前
							疾病論Ⅱ	2・後	臨床看護論Ⅱ	2・前
							※社会福祉論(人間学)	2・後	臨床看護論Ⅰ	2・後
							※情報処理演習Ⅱ　注2	2・前	臨床看護論Ⅲ	2・後
							※情報処理演習Ⅰ　注2	1・前	生活行動看護論演習Ⅲ	2・通
							※情報科学概論　注2	1・後	ターミナルケア論	2・後
									在宅看護論Ⅰ	2・前
									在宅看護論Ⅱ	2・後
									精神臨床看護論	2・後
									成人臨床看護論演習Ⅰ	2・後
									人間看護論Ⅱ	2・後
									疫学	2・後
									育成看護論演習	3・前
									生活行動看護論実習Ⅱ	2・前
									看護コーディネーション	3・前
									健康教育論	3・前
									地域看護論演習	3・前
									行政看護論	3・前
									精神臨床看護論演習	3・前
									小児臨床看護論演習	3・前
									成人臨床看護論演習Ⅱ	3・前
									老年臨床看護論演習	3・前
									ターミナルケア論演習	3・前
									看護管理論	3・前
									地域看護管理論	3・前
									地域看護論Ⅱ	3・前
									老年臨床看護論実習Ⅰ＊注1	3・後
人間看護学 統合実習	4年次 前期	○各論実習の単位を全て修得(修得見込みの場合もある)していること							育成看護論実習	3・後 ～ 4・前
									精神臨床看護論実習	
									小児臨床看護論実習	
									成人臨床看護論実習Ⅰ	
									成人臨床看護論実習Ⅱ	
									老年臨床看護論実習Ⅱ	
									地域看護論実習	
									ターミナルケア論実習	
									在宅看護論実習	

※・・・人間学または共通科目ですが、実習の前提科目となります。

注1：老年臨床看護論実習Ⅰは、老年臨床看護論実習Ⅱの前提科目となります。

注2：平成21年度入学生は、「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」が各論実習前提科目となり、平成22年度以降入学生は、「情報科学概論」が各論実習前提科目になります。

注3：「栄養と健康」は人間学科目「栄養と人間」に読み替えることができます。

科目名	育成看護論	２単位　後期
担当教員	炭原　加代	
授業概要	人の生殖の意義を理解し、母性看護の概念、機能と役割、母性看護の変遷と現状を理解する。女性のライフサイクル各期における健康問題やニーズを分析すると共に、母性看護実践に必要な知識・能力を養う。	
到達目標	母性の特性及び母性看護の対象把握ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学概論　母性看護学[1](医学書院)第1回目の講義までに準備しておくこと 指定図書:系統看護学講座　母性看護学[2]母性看護学各論2012発行(医学書院) 岡村州博編集「学生から研修医までをトータルサポート これならわかる産科学」南山堂、2003 国民衛生の動向 2013年(厚生統計協会)、日本人の食事摂取基準「2010年版」 安斎正郷　国民健康・栄養の現状、平成22年厚生労働省 国民健康・栄養調査報告より、第一出版 財団法人母子衛生研究会、母子保健の主なる統計(平成23年度発行)、母子保健事業団 財団法人母子衛生研究会、わが国の母子保健ー平成23年ー、母子保健事業団	
成績評価	定期試験85%、課題1・2のレポート15%	
履修資格		

科目名	育成看護論演習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	大脇　万起子	
授業概要	妊娠・分娩・産褥・新生児期に焦点を置いて、各期の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。母子とその家族のウェルネスに向けた看護を展開していく上で必要とされる基礎的理論を理解し、その知識を基盤とした基本的な援助技術について演習を行い習得する。	
到達目標	1)妊娠・分娩・産褥・新生児期、各期の身体的・精神的・社会的特徴を理解できる。 2)母子とその家族のウェルネスに向けた看護を展開していく上で必要とされる 基礎的理論および基本的な援助技術について理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:系統看護学講座専門25母性看護学[2]「母性看護学各論」医学書院 参考書:ナーシング・グラフィカ30母性看護実践の基本 MCメディカ出版 ナーシング・グラフィカ31母性看護技術 MCメディカ出版 ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図 医学書院 他、適宜紹介	
成績評価	期末筆記試験(65%)、 出席点(15%)、 レポート(20%)	
履修資格		

科目名	育成看護論演習Ⅱ	１単位　前期
担当教員	大脇　万起子　・　炭原　加代　・　渡邊　友美子	
授業概要	育成看護論および育成看護論演習Ⅰの学びを基に、周産期の母子への支援を行うために必要な知識・技術を習得する。妊婦・産婦・褥婦および新生児の生理的変化への適応促進と健康上の問題解決のための看護援助について、具体的な事例の看護過程を通して考える。(H26年より開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	育成看護論実習	２単位　通年
担当教員	未定	
授業概要	妊娠・分娩・産褥・新生児各期にある対象者の特徴を把握するとともに、母子を受け持ち、看護計画立案、実践、評価する基礎的能力を身につける。受け持ち事例をとおして、リプロダクティブ・ヘルスに関連した基本的な援助技術や健全な母子関係を成立させるために必要な指導技術について、実践を通して習得する。(H26年より開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	疫学	２単位　後期
担当教員	渡邊　能行※	
授業概要	疫学は、命や健康を守るための理論を構築するために必須の学問体系である。しかし、日本の看護学教育の中では概して軽視される傾向にあった。それが日本の医療現場の疲弊にもつながっているとも指摘されている。そこでまず、事象を正確に、広い視野からみる技術、そのデータを歪みなく分析する技術、そして、得られた知見を実際に応用しその結果を検証する技術など疫学の基本理論を学ぶ。後半は、疫学がどのように現場で応用され、社会に役立っているかをできるだけ身近な例をもとに実習的に学ぶ。	
到達目標	(1)保健統計の用語などの意味や重要性などを理解する。(2)疫学的観察方法(横断研究・縦断研究・症例対象研究・介入研究)について確実に理解し、科学論文を読む基礎をみにつける。(3)多様な医療統計技法に触れ、科学的論考につながる視点をもつ。(4)疫学の導き出した健康に関する多くのエビデンスを知り、人々の命や健康に役立てる礎をつくる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:日本疫学会監修「はじめて学ぶやさしい疫学―疫学への招待―」南江堂 指定図書:厚生統計協会 「厚生の指標　増刊　国民衛生の動向」　廣済堂 参考書:佐藤俊哉 「宇宙怪人しまりす　医療統計を学ぶ」 岩波書店	
成績評価	小テスト　60%　疫学の基礎的知識を獲得し、簡単な分析ができるようになったかをみる期末筆記試験　40%　疫学の基礎的知識を確立し、応用できること。	
履修資格		

科目名	エンドオブライフケア演習	１単位　前期
担当教員	糸島　陽子　・　奥津　文子	
授業概要	エンドオブライフにある人々の全人的苦痛と家族(重要他者)がかかえる苦悩を知り、エンドオブライフケアを展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。また、エンドオブライフケアを学ぶ中で、自己の死生観について考え、死に逝く人々とその家族に向き合える基本的態度を養う。(H26年より開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	エンドオブライフケア実習	２単位　通年
担当教員	奥津　文子　・　糸島　陽子　・　伊藤　あゆみ	
授業概要	エンドオブライフにある人々の身体的・精神的・社会的・霊的特徴、および、その家族（重要他者）の特徴を統合的に理解して、エンドオブライフケアを実践するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。また、エンドオブライフにある人々とその家族との出会いをとおして、人間の尊厳、QOL、生と死について洞察し、自己の死生観と看護観を養う。（H26年より開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	家族看護学	２単位　前期
担当教員	大脇　万起子	
授業概要	家族に対するアプローチは看護師課程のみならず、保健師・助産師課程でも重要な内容である。家族看護学の主な理論と方法論を紹介し、ライフサイクル各段階における家族の発達課題・健康問題・発生し易い危機の理解と、家族がシステムとして機能してセルフケア能力を高める援助に必要な知識・技術の習得を目指す。また、事例を用いた家族看護過程の展開も行い、母性・父性の育成をはじめ、家族援助の具体的な学習にも取り組む。（H26年から開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	体のしくみと機能Ⅰ	２単位　前期
担当教員	安原　治	
授業概要	人体のしくみと機能についての知識は看護学を習得するための重要な基礎となる。本講は、人体の構造（解剖学）とその機能（生理学）を統合的に学ぶことを目的とする。正常な構造と機能の理解は疾患や障害の理解に必須であり、看護を含むすべての医療行為に不可欠である。本講では、人体の各器官系について、発生と関連づけながら個々の細胞・組織・器官とその機能に関する内容を取り上げ、個々の知識を人体の全体像と関連付けて理解することを目指す。また、臨床と関連づけて学ぶことにより、生きた解剖生理学の知識が定着するよう講義する。	
到達目標	（1）細胞、細胞内小器官、組織の構造を説明できる。 （2）各器官系の人体内の位置と構造について、解剖学用語を用いて図示し説明できる。 （3）人体の機能を構造に関連づけて説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布 テキスト：解剖生理学　第8版（系統看護学講座1：医学書院） 参考書：人体の正常構造と機能　縮刷版（日本医事新報社） ナーシンググラフィカ（1）人体の構造と機能　解剖生理学（メディカ出版）	
成績評価	期末筆記試験を重視（80％程度）する。さらに随時提出を求めるレポートと小試験（20％程度）の結果を加える。これに出席状況や授業中の態度の評価を加えて最終成績とする。	
履修資格		

科目名	体のしくみと機能Ⅱ	２単位　後期
担当教員	安原　治	
授業概要	体のしくみと機能(I)に引き続き、人体の構造(解剖学)とその機能(生理学)を統合的に学ぶ。本講では、内分泌系、神経系、感覚器系、生殖器系を取り上げ、外的環境への適応、内的環境の維持調節、生殖のしくみを中心に学ぶ。また、老化、疾患についても触れる。	
到達目標	(1)細胞、細胞内小器官、組織の構造を説明できる。 (2)各器官系の人体内の位置と構造について、解剖学用語を用いて図示し説明できる。 (3)人体の発生、成長、成熟、老化の概要を説明できる。 (4)人体の機能を構造に関連づけて説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布 テキスト:解剖生理学　第8版(系統看護学講座1:医学書院) 参考書:人体の正常構造と機能　縮刷版(日本医事新報社)、ナーシンググラフィカ(1)人体の構造と機能　解剖生理学(メディカ出版)	
成績評価	期末筆記試験を重視(80%程度)する。さらに解剖実習見学のレポートを含め、随時提出を求めるレポートと小試験(20%程度)の結果を加える。これに出席状況や授業中の態度の評価を加えて最終成績とする。	
履修資格		

科目名	体のしくみと機能Ⅲ	２単位　前期
担当教員	若林　保良※	
授業概要	ヒトや生物は、食事や呼吸により外部から物質を取り込み、取り込んだ化学物質を変化させて外部に排出することを続けている。それにより体内の生化学的、生理学的な環境を一定(定常状態)に保って生きている。そのことを動的平衡にあるという。物質の変化の道筋を代謝経路と呼んでいる。病気は取り込んだ物質の代謝経路が乱れた時に起こる。本授業では、代謝経路とその調節機構を解説し、次にいくつかの病気について、その代謝過程の異常を説明する。全体として、生化学と栄養学とのつながりについても強調していきたい。	
到達目標	(1)体を構成する物質の構造と機能を説明できる。 (2)体を構成する物質の合成経路と分解経路を説明できる。 (3)生命活動に必要なエネルギーの獲得経路を説明できる。 (4)タンパクによる物質代謝の調節の仕方を説明できる。 (5)糖尿病、痛風、黄疸の成り立ちを説明できる。 (6)HDL, LDLの役割を説明できる。 (7)ビタミンの役割を説明できる。 (8)遺伝子の役割を説明できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:三輪一智、中恵一著「人体の構造と機能 [2] 生化学(医学書院) 指定図書:前野正夫・磯川桂太郎　著「はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学」(改訂第2版　羊土社); 菅原二三男　監訳「マクマリー　生物有機化学　生化学編」(第3版　丸善)	
成績評価	定期試験の成績で評価する。	
履修資格		

科目名	看護英語	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	看護師という職業は、その専門性の高さから、日本だけでなく海外でも活躍の場が広がっている。また、社会の国際化に伴って、日本国内でも今後ますます看護英語が重要になっていくものと思われる。本講義では、これまでに学んできた看護学の知識を基盤にして、入院から退院まで、看護現場で用いられる臨床看護英語の基礎を学ぶとともに、英語論文や国際模擬学会を通じて看護学英語の実際に触れる。(H26年から開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: Cambridge English for Nursing、他	
成績評価		
履修資格		

科目名	看護介入とアウトカム	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	EBN（Evidence Based Nursing)の考えに基づく看護介入の方法を抽出し、アウトカム設定の考え方や評価方法について、看護診断過程の視点から考察する。また、看護活動のみならず保健師・助産師活動においても生かせる新たな看護介入方法の研究・開発について、展望する。（H26年より開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	看護キャリアデザイン論	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	医療の高度化・専門化が進む現代において看護の役割拡大や質の向上が求められる中、さまざまな角度から看護の役割を深く見つめ、自分を分析して自分の進むべき道を考える。看護学の学びをもとに、自己の人間形成とキャリア・職業観の育成、進路の選択・決定ができる能力を培う。（H26年から開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	看護教育と実践	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	看護基礎教育における授業形態・授業展開方法・授業教材・授業評価の基礎的知識について学ぶとともに、実際の講義・演習・実習など看護教育の実践の場に参加する中で、看護教育の基礎的能力を育む。また、後輩学生への指導を通して、看護実践力および指導力を培うことも目ざす。（H26年度より開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	看護研究の基礎	２単位　後期
担当教員	未定	
授業概要	看護（卒業）研究への導入を円滑に行うため、研究を実施するにあたって必要な手法を、研究の流れに沿って解説する。看護研究への理解を深めるとともに、学士力の向上を目指す。本科目は、オムニバス形式で実施する。	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	看護トピックス	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	社会現象や時事問題および国内外のニュースの中で、看護師・助産師・保健師などの看護職および医療・福祉に関連した様々な話題を取り上げ、その現象の意味や要因を考え、看護に対する視野を広めるとともに知見を深める。講義はオムニバス方式でトピックスに関する話題提供者を交えて、討論形式で展開する。学生自身が話題提供者になることもあり、自らが興味を持つ事象を、実習体験などを通して論じ、積極的に意見交換を行える場として活用する。(H26年より開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	看護理論（看護学部）	２単位　後期
担当教員	清水　房枝	
授業概要	「人が人として生きることを支える看護」を実践するための方法論や理論を、次のアプローチにより考察し探求することができる。①看護のメタパラダイムである「人間」「健康」「環境」「看護」について、身近な経験や事象、社会や時代の状況の中から具体化することができる。②事象や状況を看護実践に関連付ける方法としての理論について理解を深めることができる。③抽象的理論を活用し、具体的事象に対して看護を展開する方法を理解することができる。④この学習プロセスを通して、自身の人間観、看護観を基礎付け、これからの看護実践について「人間看護」の視点で展望することができる。	
到達目標	1・「人が人として生きることを支える人間看護」について看護の概念枠組みから理解を深めることができる。 2・様々な看護理論を具体的な看護実践に生かす意味と方法を理解することができる。 3・看護理論を活用する能力を養うことで自らの看護実践能力の基礎を築くことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト、指定図書：指定なし　参考書：①看護理論，南江堂，既刊．②はじめての看護理論，医学書院，2005．③看護理論ー理論と実践のリンケージー，ヌーヴェルヒロカワ，2006．④看護理論家とその業績，医学書院，2004．	
成績評価	グループワークの発表内容　50％　　定期試験か課題レポート　50％	
履修資格		

科目名	基礎看護学実習Ⅰ	１単位　前期
担当教員	清水　房枝　・　伊丹　君和　・　米田　照美　・　川端　愛野　・　仲上　恵子	
授業概要	患者とのコミュニケーションや看護の実際などの学びを通して、病院という環境におかれた患者の生活行動における援助の必要性および看護の役割と責務について考察し、看護を学ぶ上での自己の学習課題を明確にする。	
到達目標	1. 受持患者およびその家族とのコミュニケーションを通して、看護におけるコミュニケーションの意義について考察する。 2. 病院という環境におかれた患者の生活行動を理解し、療養環境を整える援助を試みる中で、看護者としての援助の必要性を考える。 3. 実習病院の全体像および看護部の理念、病棟の構造と機能、看護の実際について把握し、ヘルスケアチームの中での看護者の役割と責務について考える。 4. 自己の健康管理も含めて、学習者として、医療チームおよびグループの一員としての自覚と責任・協調性をもち、行動することができる。 5. 実習での学びをもとに、今後、看護を学んでいく中での自己の学習課題を明確にする。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜紹介する。	
成績評価	評価は実習目標に沿って総合的に行う。 1. 実習内容・目標達成度(40%) 2. 実習記録(50%) 3. 学習態度(10%) ＊なお、原則として、欠席・遅刻・早退は認めない(欠席-6点、遅刻-3点)。5分の1以上欠席した場合、基本的に単位を認定しない。	
履修資格	人間看護学概論、基礎看護技術Ⅰを修得(見込み)していること。	

科目名	基礎看護学実習Ⅱ	２単位　前期
担当教員	伊丹　君和　・　清水　房枝　・　米田　照美　・　川端　愛野　・　仲上　恵子	
授業概要	療養生活を送る受持患者を全人的に捉えた上で、その人の健康問題について生活行動に焦点をあて診断し、目標・計画立案、実施、評価するという一連の看護過程のプロセスに沿って看護実践することを目ざす。看護実践にあたっては、患者の個別性に応じ、安全性、安楽性、自立・自律性を考慮した上で、科学的根拠に基づいて行う。また、自らが体験した看護実践を通して、人の生命と尊厳について考えるとともに、看護の専門性についての理解を深める。	
到達目標	1)療養生活を送る受持患者を全人的に捉えた上で健康上の問題(看護診断)を抽出し、生活行動の援助を中心に計画・実施し評価できる。 2)受持患者およびその家族の意思を尊重し、適切な人間関係を形成できる。 3)自己の健康管理も含め、学習者として医療チームおよびグループの一員としての自覚と責任・協調性をもち、行動することができる。 4)実施した看護実践について客観的な自己評価ができる。 など実習要項に記載	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:基礎看護技術Ⅰ～Ⅳに準じる 指定図書:三上れつ他編集『演習・実習に役立つ基礎看護技術　根拠に基づいた実践をめざして』廣川書店	
成績評価	評価は実習目標に沿って総合的に行う。 1. 学習態度(10%) 2. 実習内容、実習目標の到達度(90%) ＊なお、原則として、欠席・遅刻・早退は認めない(欠席-6点、遅刻-3点)。5分の1以上欠席した場合、基本的に単位を認定しない。	
履修資格	1年次の専門基礎科目・専門科目における必修科目を全て修得していること。2年前期の専門基礎科目・専門科目における必修科目を全て履修、かつ、基礎看護技術Ⅲ・基礎看護技術Ⅳの単位を修得(見込み)していること。	

科目名	基礎看護技術Ⅰ	１単位　前期
担当教員	伊丹　君和　・　米田　照美　・　川端　愛野　・　仲上　恵子	
授業概要	人間は、生命を維持し、その人らしい人生を実現しようと日々生活行動を繰り返し行っている。しかし、ひとたび健康が脅かされたり自力で生活行動を維持できなくなったときに、生活行動を援助することは看護の専門性の第一義的な役割である。その過程において、対象との良好な人間関係を形成するために必要なコミュニケーション技術について学ぶ。また、生活行動および生活の場となる環境について看護の視点から考察し、病院という場で生活する患者の療養環境を整える看護技術を習得する。	
到達目標	・対象との良好な人間関係を形成するために必要なコミュニケーション技術の基本を習得する ・看護技術を行う上で重要となる思考プロセスの基本を理解する。 ・人間の基本的ニーズ充足と生活行動、健康との関係について説明できる。 ・健康な生活行動について、代表的な生活行動を取りあげ、その意味やメカニズム、行動分析等から説明できる。 ・生活行動の場となる環境について看護の視点から考察し、病院という場で生活する患者の療養環境を整える看護技術を習得する	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:ヴァージニア・ヘンダーソン(湯槇ます他訳)『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会、フロレンス・ナイチンゲール(湯槇ます他訳)『看護覚え書』現代社、 川島みどり『実践看護技術学習支援テキスト、基礎看護学』日本看護協会出版会	
成績評価	グループワーク成果物(10)、技術チェック (30)、ワーク(35)、小テスト(25)の総合的評価とする ＊基礎看護学実習Ⅰ～基礎看護技術Ⅱ～Ⅳ、基礎看護学実習Ⅱの土台となる。 ＊原則として，欠席・遅刻・早退は認めない(遅刻－3点，欠席－6点)。やむを得ず欠席する場合は本人が教員に連絡する(28-8650)。病気の場合は必要時診断書を提出する。	
履修資格		

科目名	基礎看護技術Ⅱ	２単位　後期
担当教員	伊丹　君和　・　米田　照美　・　川端　愛野　・　仲上　恵子	
授業概要	人間の生活行動で基本となる「動く」「食べる」「排泄する」「身支度を整える」「入浴する」「眠る」ことの意義やメカニズム、基礎的知識を学んだ上で、生活行動に援助が必要となった人への看護技術の基本を習得していく。 また、その学習過程の中で、看護技術を行う上で重要となる安全性、安楽性、自立・自律性を追究し、技術化への原理となる思考プロセスを学ぶ。	
到達目標	(1)生活の場としての「療養環境を整える」ことの基本的な援助技術を習得する。 (2)基礎看護技術Ⅰでの学びをもとに、「動く」「食べる」「排泄する」「身支度を整える」「入浴する」「眠る」という生活行動に援助が必要な人への基本的な援助技術を習得する。 (3)看護技術を行う上で重要となる安全性、安楽性、自立・自律性を追究し、技術化への原理となる思考プロセスを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:川島みどり『実践看護技術学習支援テキスト　基礎看護学』日本看護協会出版会 参考書:坪井良子他『考える基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ』廣川書店、小松浩子他『看護実践の根拠を問う』南江堂など	
成績評価	①課題ワーク(40%)、②小テスト(10%)、③自己練習状況(5%)、④技術チェック評価(45%) を総合的に評価する。なお、演習時は必ず身だしなみを整えること。 ＊基礎看護学実習Ⅱの土台となる。原則として，欠席・遅刻・早退は認めない(遅刻－3点，欠席－6点)。やむを得ず欠席する場合は本人が教員に連絡する(28-8650)。病気の場合は必要時診断書を提出する。	
履修資格	基礎看護技術Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰを修得していること	

科目名	基礎看護技術Ⅲ	１単位　前期
担当教員	伊丹　君和　・　米田　照美　・　川端　愛野　・　仲上　恵子	
授業概要	看護とは、健康問題に対する人間の反応を診断し、あらゆる健康のレベルにおいて、その人らしくより健康に生活できるよう援助することといえる。看護過程は、対象が健康な生活を送るにあたって障害となっているさまざまな健康問題を解決するために、個や集団に適用される手段・方法であり、看護アセスメントの基礎となる技術である。ゴードンの機能的健康パターンの枠組みに沿って具体的に事例展開を演習形式に進めながら、技術習得することを目ざす。	
到達目標	看護過程を看護の方法論として捉え、ペーパーペーシェントに適用しながら、看護過程の構造と過程を理解する。看護過程を規定する枠組みとして看護理論の意義を理解する。さらに看護診断、看護記録についてもその意義や方法を把握する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:カルペニート(新道幸恵ほか訳)『看護診断ハンドブック』医学書院 参考書:江川隆子『ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断』ヌーヴェルヒロカワ ・アルファロールフィーヴァ(江本愛子監訳)『基本から学ぶ看護過程と看護診断』 ・T. ヘザー・ハードマン(日本看護診断学会監訳)『NANDA-Ⅰ看護診断　定義と分類2012-2014』医学書院 ・日野原重明ほか『POSの基礎と実践』医学書院など	
成績評価	課題(事例展開)100%　とする。 ＊事例についての課題は進行状況に応じて期限までに提出する(期限厳守)。 ＊看護過程は看護実践するときの「方法論」であり、基礎看護学実習Ⅱとも直結する。本授業単位が不可の場合は実習に行くことができません。 ＊なお、原則として、欠席・遅刻・早退は認めない(遅刻－3点，欠席－6点)。やむを得ず欠席する場合は本人が教員に連絡する(28-8650)。病気の場合は必要時診断書を提出する。	
履修資格	基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護技術Ⅱを修得していること。	

科目名	基礎看護技術Ⅳ	２単位　前期
担当教員	米田　照美　・　森　敏　・　川端　愛野　・　仲上　恵子	
授業概要	看護を実践するための基礎となる看護技術を習得する。特に、診療に関連する援助の基礎となる技術について習得するとともに、科学的根拠を理解した上で安全性を重視した看護実践能力を養う。 また、看護の対象となる人の身体を客観的に評価するためのフィジカルアセスメント技術の基礎を学び、臨床看護判断を行う上で必要な観察力を養う。さらに、健康障害をもつ対象を理解し、状態に応じた看護技術を適用する方法の基礎についても学ぶ。	
到達目標	(1)観察技術の基本となるバイタルサイン測定技術を習得する。(2)身体を客観的に評価するためのフィジカルアセスメント技術を習得する。(3)看護を実践するための基礎となる看護技術を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト【米田担当分】日野原重明:臨床看護の基礎となる新看護学テキスト 【森担当分】藤崎　郁:フィジカルアセスメント完全ガイド、学研 指定図書:適宜紹介 参考書:適宜紹介	
成績評価	フィジカルアセスメント(森)30%、バイタルサイン・看護技術(米田)70%の配分で評価する。【米田担当分の評価方法(70%):小テスト(15%)、期末試験(20%)、自己練習状況(5%)、技術チェック(30%)を総合的に評価する。演習時は必ず身だしなみを整えてくること。原則として欠席・遅刻・早退は認めない(遅刻－3点。欠席－6点)。やむを得ず欠席する場合は教員に連絡する(28-8651)。病気の場合は必要時診断書を提出する。】	
履修資格	基礎看護技術Ⅰ、基礎看護技術Ⅱを修得していること。	

科目名	基礎助産学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	渡邊　香織	
授業概要	助産学の基本概念、助産師の責務と役割を理解し、助産に関する諸事項について、歴史、法律、職制、生命倫理的考察を加え、助産師の専門性について理解するとともに、地域における助産の重要性について考察する。また、国際社会の動向を視野に入れながら、我が国の助産および助産学の現状や今後を展望する視点を養う。。（平成26年度より開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	基礎助産学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	渡邊　香織	
授業概要	女性を生物学的側面のみならず、心理・社会・文化的側面を重視するウイメンズヘルスの視点から捉え、地域における女性の健康を支援するための考え方と実践方法を修得する。また、女性を取りまく環境、法的問題、子育て（育児不安・虐待などを含む）、権利と自己決定、セクシュアリティ等の概念を広く理解し、支援方法を学ぶ。（H26年より開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	クリティカルケア実践演習	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	集中的・緊急的ケアの必要な患者および家族（重要他者）の特性や、クリティカルケアの場の特殊性を理解し、代表的なクリティカルケアを受ける患者および家族への看護について学ぶ。さらに集中的ケアの看護技術について探究する。（H26年より開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	健康科学Ⅰ	２単位　後期
担当教員	松本　正朗※	
授業概要	病理学は疾病の成因、それに基づく病変の成立機序、および病変における細胞、組織、器官の性状、殊にその形態学的変化の解明を主たる使命とする医学の領域である。これによって各種疾病の基本的な疾患概念が明らかにされ、その知識と正しい理解は医療の各分野における基礎として必須である。この授業では、健康体に疾病が発生する際の病因、病態発生、並びにその機能病理形態学的変化の原理的な基礎となる先天性異常、物質代謝障害、炎症と免疫、循環障害、成長と発育の障害、腫瘍の6つのカテゴリーについて各種の代表的疾患を引用しながら解説することにより、その理解を深める。	
到達目標	病悩の人に対して最も適切な看護、介護、あるいは健康支援を行うためには、その疾病の成り立ちと本態に関する正しい理解が不可欠である。従って、各種病態の原理的な病理学的知識を習得、疾病の本態を正しく理解して、これを実際の医療現場において看護・介護業務や健康維持の支援に応用出来ることを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特に指定はしない。講義内容はテキストに代わる資料を配布する。 参考書：特定なし。 例：系統看護学講座、専門基礎4、疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学(医学書院) コアテキスト　疾病の成り立ちと回復の促進[1]総論(医学書院) カラーで学べる病理学（ヌーベルヒロカワ）	
成績評価	小テスト　30%　　病理学的原理の理解進達度をカテゴリーごとにチェックして、基本的な病態に関する知識内容についての学習効果を高める。 期末筆記試験　70%　　日常的に経験する主要な疾患の病態全般を病理学的観点から理解できることを確認する。	
履修資格		

科目名	健康科学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	山田　明	
授業概要	医療従事者として必要な微生物学、感染症学の概説をおこなう。とりわけ感染症の予防と治療に関する知識は、医療現場では、不可欠である。基礎にかたよるのでなく医療現場の実際との関連に重点をおいて講義をすすめる。	
到達目標	(1)病原微生物の基本的な性質、感染経路を理解する。 (2)感染経路制御についての知識を得て感染予防の基本的な説明ができること。 (3)感染の防御システム（液性免疫と細胞性免疫）についての簡単な説明できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：南嶋洋一、吉田真一著 「微生物学」（医学書院）	
成績評価	中間筆記試験 50％　期末筆記試験 50％	
履修資格		

科目名	健康教育論	２単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	小児・成人・高齢者等のあらゆる年齢層の人びとが自らの健康を維持・増進し、QOL（Quality of Life)を高めていくことができるように支援するため、健康教育の理論と方法を学ぶ。各ライフステージにおいて、またそれぞれの生活の場、病院などの臨床の場や母親教室などの場においての健康教育・健康相談・保健指導の具体的な方法を理解し、対象のセルフケア能力の獲得を促す方法について立案する。集団を対象とする健康教育活動について理解し、ヘルスプロモーションの視点から健康教育のあり方について考える。(H26年に開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	公衆衛生学（看護）	２単位 前期
担当教員	渡邊　能行※	
授業概要	主に国・地方公共団体などの責任によって進められる保健行政，即ち、疾病の広義の予防、環境保健、医療、さらに、健康維持に足りる生活水準の保障など公衆衛生活動の実際を学ぶ。また，これら活動のための実際的方法として，衛生統計や疫学手法の基礎を学び、その疫学的根拠にもとづいて、宿主・病因・環境の相互関係から健康を理解する。	
到達目標	環境と人間集団、疾病の予防、健康維持のための方法論、に対する理解と知識の習得を目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：公衆衛生学　医学書院	
成績評価	出席が前提，小テストならびに前期テスト総計の平均点にて評価.	
履修資格		

科目名	公衆衛生看護学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	小林　孝子　・　飯降　聖子	
授業概要	公衆衛生看護学の対象は、個人、家族、小集団、地域である。この講義では、小児・母子・成人・高齢者などのあらゆる年齢層の人々の健康がライフサイクル別、健康レベル別にどのようなヘルスケアシステムの中で守られているのかを学ぶ。また、人々が自らの健康を向上させるために、主体的に取り組む（セルフケア）能力が高められるように公衆衛生看護活動は個別指導や集団への援助を行っている。公衆衛生看護活動に必要な家族支援、保健指導、健康相談、家庭訪問、グループ支援、地区組織化活動などの基本的な看護技術を学ぶ。(H26年より開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	公衆衛生看護学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	飯降　聖子　・　西内　恭子※　・　小林　孝子	
授業概要	本講義はオムニバス方式で展開し、地域で生活する障がい児(者)への保健指導や支援活動、職域における産業看護活動、学校における看護活動についての基本的考え方を学ぶ。障がい者看護論:地域で生活する心身障がい児・者、難病患者、精神障がい者およびともに生活する家族等への支援方法を学ぶ。障がい児（者）の自立した生活を支援するための社会資源の開発に関する看護職の役割についても学習を進める。また障がい児の場合は、特に母親や父親・兄弟への支援についても考察の対象とする。　職域看護論：わが国における労働衛生の歴史や現状、産業保健の意義を理解し、職域における看護職者の役割を考える。職域におけるメンタルヘルス、特定健診・保健指導等の産業看護の基本を学ぶ。　学校看護論：学校保健における看護職者の役割について理解し、今日的問題である生活習慣病の若年化や引きこもり・不登校・いじめ等の学校保健の課題とその解決のための看護職者の基本的役割についても学ぶ。(H26年より開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	公衆衛生看護学概論	２単位　前期
担当教員	飯降　聖子　・　小林　孝子	
授業概要	地域で生活する人びと(小児・母子・成人・高齢者等)の健康障がいの予防、健康の保持・増進、健康障がいを持つ人びとを対象とする公衆衛生看護学の概念、意義、基本的理念について学ぶ。またそれらを実践する際の活動の視点、活動の領域、展開方法などの基本的知識について理解する。さらに日本や諸外国の公衆衛生看護活動の成立基盤や歴史、活動に用いられる主要な公衆衛生学の理論、医療・保健・福祉行政や法制度などを踏まえた上で、公衆衛生看護学のあり方や現状と課題、今後の展望について学ぶ。(H25年より開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	国際看護学	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	国際的視野に立った看護を展開できるため、諸外国の人々の健康と保健・医療の現状について理解を深め、人々の健康に影響を及ぼす人口学的、社会経済学的、文化的な要因について考える。また、国際看護の基本概念、世界の健康問題をふまえ、異文化の価値観を尊重した看護について自己の考えを発展させる。(H26年より開講)	
到達目標	1. 国際看護・国際保健にかかわる主要概念を理解できる。 2. 諸外国の保健医療の現状と人々との健康について理解できる。 3. 異文化看護の視点から人々の生活により深い理解に立ち、看護の役割を認識できる。	
テキスト 指定図書 参考書	未定	
成績評価	出席などの学習態度20% 課題レポート　80%	
履修資格		

科目名	災害看護学	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	現在起こりうる災害、大規模事故や感染症などによる健康危機の発生と対応の必要性を理解する。その上で、危機予防、初動対処、被害者の健康管理、医療提供、精神保健対策など主要な対策、管理における看護職の役割、基本的な知識と技術を学ぶ。(H26年より開講)	
到達目標	国内の災害について理解し、その対応と対策について理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	日本赤十字社　事業局看護部（2010） 系統看護学講座　統合分野 災害看護学・国際看護学　　看護の統合と実際〔3〕　　医学書院	
成績評価	出席など学習態度　30% 課題レポート　80%	
履修資格		

科目名	在宅看護学演習	１単位　前期
担当教員	植村　小夜子　・　未定	
授業概要	在宅療養の種々の場面や状況、終末期等様々な事例を通して、療養する人々とその家族の生活の継続・拡大、QOLの向上といった目標を達成するために必要な看護者の役割と支援遂行上の課題を学ぶ。また、多職種・他機関等、多種多様なチームでのケアの成り立ちを理解する。その上で、課題解決のために必要な看護過程の展開について演習を通して学びを深める。そうすることで看護の視点をもったケアマネジメント能力、チームケア能力を養う。(H26年より開講)	
到達目標	・在宅療養者と家族を生活者として理解でき、そのセルフケアの能力・強化維持、QOLの向上を目指した看護を考えることができる。 ・在宅療養者と家族やその生活のとらえ方、コミュニケーション・指導技術・看護技術の創意工夫などの能力を高めることができる。 ・グループワークに積極的に参加し、計画的・自主的に学習を進めることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:根拠がわかる在宅看護技術　第2版　編集岡崎美智子　正野逸子　メヂカルフレンド社 必要時配布資料あり。 参考書:適宜紹介。	
成績評価	グループワーク演習30%　レポート20%　期末テスト50%	
履修資格		

科目名	在宅看護学概論	１単位　前期
担当教員	植村　小夜子	
授業概要	在宅看護活動の目的、対象、看護の継続性について人々の生活と健康レベルに即して学び、地域における在宅看護活動の特徴について理解する。また、地域で生活している人々の現状を理解し在宅看護活動と看護の継続性を学ぶ。さらに、在宅ケアにおける保健医療サービス、チームケアと社会資源について理解し生活自立支援について考える能力を養う。	
到達目標	在宅看護活動の目的・対象・方法の概要がわかる。 在宅看護の機能と役割の概要がわかる。 地域における保健医療福祉の施策、関係機関との調整について理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:看護師教育のための地域看護概説公衆衛生看護を含む地域の看護に取り組むために NOUVELLE HIROKAWA 毎回配布資料あり。 参考書:適宜紹介。	
成績評価	課題レポート20%　期末筆記試験80%	
履修資格		

科目名	在宅看護援助論	２単位　後期
担当教員	植村　小夜子	
授業概要	在宅で、療養を継続しようとする個人・家族に対する生活支援に関する看護活動の知識・技術について学ぶとともに、療養する人々を取り巻く家族の抱える課題を理解する。療養する人々とその家族の生活の継続・拡大を目標に、自立生活の確立等QOLの向上のために必要な在宅看護の基礎的な知識・技術を学び、看護職の役割・機能を理解して、在宅看護の実践能力を養う。	
到達目標	在宅看護におけるコミュニケーションに重要性について説明できる。 在宅看護過程を展開するうえでの家族看護が必要性を説明できる。 在宅看護における事例に応じた看護過程の展開方法が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:Essentials 在宅看護学　医歯薬出版株式会社 毎回配布資料あり。 参考書:適宜紹介。	
成績評価	レポート20%　期末テスト80%	
履修資格		

科目名	在宅看護学実習	２単位　通年
担当教員	植村　小夜子　・　松井　陽子　・　馬場　文　・　未定	
授業概要	訪問看護ステーションの活動の実際を通し、在宅療養者とその家族を取り巻く生活環境及び健康上の問題を理解し、生活の場に応じた看護の役割と方法について学ぶとともに、チーム医療及び多職種と協働する看護の役割とその機能について理解する。また、看護を提供する事業所の管理・運営についても学ぶ。(H26年開講)	
到達目標	1)在宅療養者および家族の生活上の健康課題を知ることができる。 2)在宅療養者をとりまく生活環境を理解し，看護の役割と方法を学ぶことができる。 3)継続看護における訪問看護役割を理解できる。 4)社会資源の活用方法と連携・調整を理解できる。 5)地域の特性を踏まえて今後の在宅看護のあり方について考えることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	授業で使用した教科書及び授業で配布した資料	
成績評価	実習記録、レポート、実習カンファレンスでの参加度、実習態度により総合的に評価する。自己評価表は参考にする。	
履修資格		

科目名	疾病論Ⅰ	２単位　前期
担当教員	森　敏	
授業概要	人体の仕組みは神経系，内分泌系，循環・免疫系の縦糸と各臓器別の横糸にて織りなされている．人体の正常構造と機能を理解した上で，神経系と内分泌系の働き，循環器疾患，消化管疾患，肝臓・胆嚢・膵臓疾患，糖尿病・代謝性疾患，腎・尿路疾患，脳神経疾患の病態生理，症状，検査と治療法の基礎知識を学び，病態の理解を深める．また、麻酔学，消化器外科，脳神経外科，整形外科などの外科治療学についての基礎的知識を学ぶ．	
到達目標	疾病のあらましとその対処方法、ならびに治療法を学ぶことにより、看護ケアに活かすことを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	成人看護学〔2〕～〔8〕医学書院，金井正光・金井 泉：臨床検査法提要　金原出版株式会社 森敏著「認知症のとらえ方・対応の仕方、改訂4版」(金芳堂)	
成績評価	出席が前提，疾病論(前期)の各単元毎に実施するテストの得点の平均にて評価する．	
履修資格		

科目名	疾病論Ⅱ	２単位　後期
担当教員	森　敏	
授業概要	人体の正常構造と機能を理解した上で，以下の疾患の基礎知識ならびに病態の理解を深め，代替療法の知識を得る． 〔血液疾患〕貧血，血小板減少性紫斑病，白血病などの病態生理，症状，検査，治療法，注意事項を学ぶ． 〔呼吸器疾患〕肺腫瘍，肺結核，低肺機能疾患などの病態生理，症状，検査，治療法，注意事項を学ぶ． 〔アレルギー・膠原病〕アトピー性疾患，膠原病の病態生理，検査法，治療法，指導方法を学ぶ．	
到達目標	疾病のあらましとその対処方法、ならびに治療法を学ぶことにより、看護ケアに活かすことを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：成人看護学〔2〕～〔8〕医学書院．金井正光・金井 泉：臨床検査法提要　金原出版社．	
成績評価	出席が前提．内科科目については各単元毎に実施する小テストの得点の平均点にて評価する．	
履修資格		

科目名	小児看護学概論	１単位　前期
担当教員	古株　ひろみ　・　川端　智子	
授業概要	小児看護の基盤となる、子ども（胎児期から新生児期を含む）の成長発達の概念と成長発達過程について理解し、健全な成長発達を促進する援助技術力を育成する。子どもをとらえる視点、子どもや親の権利と看護倫理、代表的な発達理論、成長発達の特徴、成長発達に影響を及ぼす因子、地域で生活している乳幼児期から思春期までの身体・運動・心理・社会的発達および小児看護に必要な役割や意義について教授する。	
到達目標	①成長発達の特徴・共通性・影響因子が理解できる ②発達理論と発達の視点が理解できる ③小児各期の身体・運動・心理・社会的発達とその評価方法が理解できる ④年齢に応じた遊びや生活援助について説明できる ⑤子どもの権利が理解できる	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：新体系 看護学全書 30　小児看護学概論・小児保健（ﾒｼﾞｶﾙﾌﾚﾝﾄﾞ社） 指定図書：上田礼子著「生涯人間発達学」（三輪書店） 参考書：授業中に適宜掲示	
成績評価	課題（宿題含む）・レポート(40%)、期末筆記試験(60%) ただし、欠格条件として授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしないこととする。	
履修資格		

科目名	小児臨床看護学	２単位　後期
担当教員	古株　ひろみ　・　川端　智子	
授業概要	小児期の主な疾患とその病態生理を理解する。さらに、健康障害が子どもの成長発達や生活およびその家族に及ぼす影響を理解し、健康障害に応じた看護を実践する上での必要な基本的知識を学ぶ。	
到達目標	①小児期の主な疾患とその病態生理が理解できる。②健康障害が子どもの成長発達や生活およびその家族に及ぼす影響について理解できる。③健康を障害された子どもとその家族のQOLを高める必要な看護ケア（知識・技術）が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	健康障害を持つ小児の看護　メジカルフレンド社参考書：授業中に適宜提示	
成績評価	課題・小テスト（30％）、期末筆記試験（70%） ただし、欠格条件として、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしないこととする。	
履修資格		

科目名	小児臨床看護学演習	１単位　前期
担当教員	川端　智子　・　古株　ひろみ	
授業概要	小児看護学概論、小児臨床看護学を踏まえて、様々な健康レベルに応じた援助方法や技術 について学ぶ。また健康障害がどのように子どもの成長発達や家族に影響するのかを事例やロールプレイを通じて理解し、小児看護実践を行うために必要な知識・技術を習得する。(H26年より開講)	
到達目標	1. 子どもに多い主な症状に対する観察及び必要な看護判断ができる。 2. よく遭遇する小児疾患及び治療を理解する。 3. 小児看護技術の修得ができる。 4. 事例を通して子どもを対象とした看護過程の展開が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：「小児看護学概論・小児保健」メヂカルフレンド社 「健康障害をもつ小児の看護」メヂカルフレンド社 参考書　：「ナーシング・グラフィカ29 小児看護技術」メディカ出版	
成績評価	演習での課題・レポートに対する評価（プレゼンテーションを含む）50％、定期試験50％ だだし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	小児臨床看護学実習	２単位　通年
担当教員	古株　ひろみ　・　川端　智子	
授業概要	これまでに学んだ精神看護学の統合を図るため、患者・家族と共に考え、目標を共有し、看護計画立案、実践、評価を行う。実践・評価後は患者のプロセスレコードから反応を知り、計画修正により再度看護を実践することで、対象の全体像と特性および病態を踏まえ、生活上の問題を解決していくための方法を学ぶ。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	成人看護学概論	１単位　後期
担当教員	奥津　文子	
授業概要	成人看護の特徴を理解する ・成人の特徴を発達段階・発達課題・健康問題等の側面から理解する ・成人の生活と健康を守るシステムを理解する ・成人看護の展開方法における特徴を理解する ・成人看護に活用する諸理論を理解する	
到達目標	1)成人の特徴を発達段階・発達課題・健康問題等の側面から説明できる 2)成人の生活と健康を守るシステムについて説明できる 3)成人看護の展開方法における特徴を説明できる 4)成人看護に活用する諸理論を挙げ、具体例を用いて説明できる 5)看護診断について、学習意欲が持てる	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:指定なし　配布資料で授業展開する 参考図書:授業の中で適宜指示する	
成績評価	レポート(2回)　30% 小テスト(1回)　20% 定期試験(1回)　50%　　以上を総合的に評価する	
履修資格		

科目名	成人クリティカルケア演習	１単位　前期
担当教員	荒川　千登世	
授業概要	成人期の急性的な健康障害にある患者および家族(重要他者)の看護上の問題を診断し、患者の安全、生命維持を優先した周手術期およびクリティカルケアの基礎的知識・技術・態度を習得する。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	成人クリティカルケア実習	２単位　通年
担当教員	荒川　千登世　・　奥津　文子	
授業概要	成人期の生命の危機的な状況にある患者と家族（重要他者）の特徴を周手術期を通して理解し、手術侵襲からの回復を促進し、生活過程を整えるための科学的根拠に基づいた看護展開と基礎的実践能力を養う。（H26年開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	成人クロニックケア演習	１単位　後期
担当教員	横井　和美　・　大門　裕子	
授業概要	成人期において慢性的な健康障害を持つ人々が、病いと治療・療養生活 に折り合いをつけながら、その人らしく生きていくことを支援する方法ついて事例を通して学習し、実践のための基礎的な知識・技術・態度を習得する。また、療養生活を支援していく看護のさまざまな場面での役割を学ぶ。	
到達目標	慢性の病と共に生きる人やその家族を理解し、支援に必要な知識・技術を学ぶ。 1)慢性の病と共に生きる人の体験や心理を理解する。 2）患者・家族は、療養生活を自分なりに調整しながら慢性の病と共に生きていることを理解する。 3）慢性の病と共に生きる人の療養生活を支える技術を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	鈴木志津枝　藤田佐和　編集「成人看護学　慢性期看護論」（ヌーヴェルヒロカワ）	
成績評価	レポート評価20％、期末試験50％、演習参加状況を含めた出席評価30％で総合評価する	
履修資格		

科目名	成人クロニックケア実習	２単位　通年
担当教員	大門　裕子　・　横井　和美　・　中川　美和　・　伊藤　あゆみ　・　奥津　文子	
授業概要	成人期における慢性的な健康障害を持つ人々の健康問題に対して、身体・心理社会面を含めた包括的アセスメントを行い、その人が病いと療養生活に折り合いをつけながら、その人らしく生きていくことを尊重した看護実践力を習得する。また、患者の治療・療養生活の継続にあたって、患者の家族（重要他者）や療養環境についても理解を深め、クロニックケアのあり方を追究する。（H26年開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	精神臨床看護学	１単位　後期
担当教員	甘佐　京子　・　牧野　耕次	
授業概要	精神看護を実践する上で必要な、精神医学的な知識を学ぶ。精神医学が対象としている代表的な疾患の病因、病理、疫学、検査、診断法および、精神疾患患者の回復から自立に向けた代表的な精神科治療の概要を学ぶ。さらに精神障害者の社会復帰に向けてのリハビリテーション、社会資源の活用について学ぶ。	
到達目標	1. 主な精神疾患の原因、症状、経過について理解する。 2. 精神疾患に対する薬物の作用について理解する。 3. 主な向精神薬の名称とその効果・副作用について知る。 4. 精神療法にはどのようなものがあるか理解する。 5. 生活療法の目的を理解し、対象となる患者の特性を知る。 6. 精神医療に用いる医学的検査・心理検査の目的や種類について知る。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:精神看護学Ⅱ、吉松和成他編集、ヌーベルヒロカワ 参考図書は授業中に適宜紹介	
成績評価	小テスト50％、定期テスト50％ 欠格条件:授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格		

科目名	成人臨床看護学	２単位　前期
担当教員	横井　和美　・　荒川　千登世　・　糸島　陽子	
授業概要	成人期にある人々とその家族（重要他者）の健康問題について、クリティカル・クロニック・エンドオブライフの特徴をふまえて理解し、看護を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。	
到達目標	1. 成人期にある人々とその家族（重要他者）の各期（クリティカル・クロニック・エンドオブライフ）の健康問題の特徴を理解できる。 2. 各期の健康問題に対する援助のあり方について検討する。 3. 各期の看護を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	鈴木志津枝　藤田佐和　編集「成人看護学　慢性期看護論」（ヌーヴェルヒロカワ） 「緩和・ターミナルケア看護論」 第2版 （ヌーベルヒロカワ） ナーシング・グラフィカ　成人看護学②　健康危機状況 ナーシング・グラフィカ　成人看護学⑤　周手術期看護	
成績評価	授業参加状況およびレポート評価50％、期末試験50％で総合評価する	
履修資格		

科目名	精神臨床看護学演習	１単位　前期
担当教員	牧野　耕次　・　甘佐　京子	
授業概要	精神領域の臨床現場で直面する看護現象へ介入・参入できるよう、精神保健看護学、精神臨床看護学等の知識の統合を図る。加えて、患者を支える家族側の問題・力量をアセスメントする方法を学習し、家族への心理教育についても理解を深める。演習のまとめでは、統合失調症患者、躁うつ病患者、摂食障害患者等の事例を用いた模擬看護過程を実施する。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	精神臨床看護学実習	２単位　通年
担当教員	牧野　耕次　・　甘佐　京子　・　未定	
授業概要	これまでに学んだ精神看護学の統合を図るため、患者・家族と共に考え、目標を共有し、看護計画立案、実践、評価を行う。実践・評価後は患者のプロセスレコードから反応を知り、計画修正により再度看護を実践することで、対象の全体像と特性および病態を踏まえ、生活上の問題を解決していくための方法を学ぶ。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	地域母子保健	１単位　前期
担当教員	古川　洋子	
授業概要	地域の母子と家族のニーズを踏まえ、看護職に必須の基本的な母子保健行政の仕組み・制度・施策を理解するとともに、地域母子保健活動の実際を知り、活動展開のための理論と方法を理解する。また、地域母子保健において看護職が果たす役割と具体的な展開方法を学び、加えて、災害時の母子への支援について理解を深める。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	チャイルドライフケア論	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	子ども(胎児期から新生児期を含む)の発達理論、各期の成長発達の特徴について知識を重ね、地域で生活している子どもの成長発達を促す科学的根拠に基づいた小児看護援助技術能力を育成する。特に、子どもの力を引き出す看護の基盤となる看護倫理と子どもや親の権利を考慮した子どもの最善の利益を追求するケアについて考察する。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	治療的コミュニケーション技術論	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	看護師・助産師・保健師などの看護職をはじめとする、対人関係を伴う専門職として、人間関係形成プロセスを理解し、それを構築していくためのコミュニケーション技術を身に付けること。また、人間関係の中で生じる様々な問題について、「関わり」、「自己理解」、「アサーション」「レジリアンス」をキーワードとして、自らマネジメントしていけるようセルフコントロール能力を養うことを目標とする。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	人間看護学概論	２単位　前期
担当教員	清水　房枝	
授業概要	看護実践の基礎となる看護の概念、看護の目的、看護の役割機能、看護実践を導く看護理論を学び看護の本質を理解するとともに、看護の対象である人間・対象を取り巻く環境や健康について学ぶ。また、看護学の豊かさや深さをイメージし関心を高め各領域への関連を理解することができる。	
到達目標	1.「人間」、「健康」、「環境」の概念について理解し、「看護」について考えることができる。 2. 人間の統合性、尊厳性と自律、環境との関係について理解できる。 3. 人の健康とその障害に対する看護援助の概要を学ぶ。 4. 保健・医療・福祉システムの概要を学び、看護の役割、連携の方法が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 松木光子編:看護学概論(第4版) −看護とは・看護学とは−, ヌ―ベルヒロカワ, 2010. 参考書:適宜、紹介する。	
成績評価	毎回授業のレスポンスカード20%　課題レポート80%	
履修資格		

科目名	人間看護学統合実習	３単位　前期
担当教員	清水　房枝　・　学科教員	
授業概要	基礎分野、専門分野で学習した知識、技術、態度を統合し、臨床の実践に近いかたちで看護を提供する方法を学び、看護実践能力を身につける。具体的には、複数の対象を同時に受け持ち、複数のケアを同時進行で行う方法を考え実践する。また、管理業務の体験、学習を通して、管理者やスタッフの役割を理解し、メンバーシップやリーダーシップを含む看護マネジメントの基礎的能力を養う。なお、これらの実習目的を達成する実習施設は滋賀県内の公立病院とする。実習施設は高齢者の利用が多いため、高齢者が退院後も地域で安心して療養生活が継続できる老年看護の実践能力もあわせて養う。(人間看護学部全教員が実習を担当する)	
到達目標	1)看護管理の視点から看護サービスマネジメントの実際を見学し、病院・看護部および看護単位の組織や役割を考察できる。 2)病院における医療安全部門・感染管理部門の活動、専門看護師・認定看護師の活動について見学し、組織の中で、それらの役割を考察できる。 3)看護師長・副看護師長・チーム・リーダーの業務の実際を見学し、看護サービスマネジメントのあり方、リーダーシップ、管理者の役割について考察できる。 4)複数の患者を受け持つ看護師の業務を見学し、ケアに参加することで、ケア・マネジメントのあり方、メンバー・シップ、継続看護(24時間)について考察できる。 5)他職種との協働・連携を見学し、チーム医療・地域連携のあり方を考察できる。 6)高齢者の看護の見学を通して、QOLを尊重した生活援助のあり方を考察できる。 7)未経験の看護技術を明確にし、自発的に実践できる。	
テキスト 指定図書 参考書	実習要項参照	
成績評価	実習目標への達成度60%実習への取り組み状況20%課題レポート20%出席状況によって実習の展開が出来ない場合は評価の対象とならない。	
履修資格	育成看護論実習、精神臨床看護論実習、小児臨床看護論実習、成人臨床看護論実習、老年臨床看護論実習Ⅰ・Ⅱ、在宅看護論実習地域看護論実習、ターミナルケア論実習の単位を修得していること。	

科目名	人間性心理論	２単位　後期
担当教員	松本　行弘	
授業概要	生活者としての人の行動を現実との関わりに即して、そこに働く心理から明らかにすることを目標とする。講義では、臨床場面での“関わり”をテーマに人が患者になる心理などを明らかにすると共に、現代に生きる人間の在り様を取り上げ、人の心理と行動の関係を考える。考える上での具体的な視点として、心理アセスメントやカウンセリングなどの臨床場面での自験例なども提示する。理論的背景についても触れるが、特定の理論に偏らず、広い視野で、人が生きることに真摯な興味が持てるような基礎的講義とする。	
到達目標	将来、臨床家となるための基本的な人間性や人間観を養うこと。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：指定しないが、教材としてVTRやDVDを使用し、適宜プリントを配布する。 参考書：河合隼雄著「ユング心理学入門」倍風館、 鷲田清一著「『聴く』ことの力」TBSブリタニカ	
成績評価	レポート課題（30％）　最終試験（70％） レポート課題は“人が生きる”ということについて、講義内容を越えて広い範囲のものとなる。またレポート課題と試験によって、到達目標の狙いが達成されたかどうかを見極める。	
履修資格		

科目名	ボランティア実践演習	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	ボランティア活動は、人とのつながりのプロセスを学ぶ機会となる。看護を学ぶ学生にとって、人と関わるボランティア活動を体験することは、豊かな感性を育むとともに、コミュニケーション力、企画力、看護力を向上させることにもつながる。ボランティア実践演習では、ボランティアの基礎知識やボランティア活動を行うにあたっての心構えやマナーを学ぶとともに、実際にボランティア実践を行う中で、誰もが心豊かにいきいきと生活できる社会を支えるために自分に何ができるのかを考える。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	ホリスティックケア論	１単位　前期
担当教員	未定	
授業概要	ホリスティックケアの世界観・人間観について理解した上で、セラピューティックタッチ、指圧・マッサージ、アロマセラピー、リフレクソロジー等、代表的な代替補完療法の技術を学び、看護師だけでなく保健師、助産師の実践的な看護に生かす方略について検討する。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	メンタルヘルスケア	２単位　後期
担当教員	甘佐　京子 ・ 牧野　耕次	
授業概要	メンタルヘルス(精神保健)の概念を理解し、人々が心の健康を維持増進するための支援を考えるために重要となる心理社会的な発達課題や様々な場や状況における心の健康への支援について学習する。また、国内外の精神医療保健の変遷を知ることで精神疾患に対するスティグマの存在を理解するとともに、地域社会における支援の実際についても理解する。さらに、精神疾患の基礎知識となる精神症状について学ぶことで精神疾患についての理解を深める。	
到達目標	①情緒体験のプロセスおよびメンタルヘルスの諸問題とその支援を理解する。 ②国内外の精神医療保健の変遷を知ることで精神疾患に対するスティグマの存在を理解する ③地域社会における支援の実際についても理解する。 ④精神疾患の基礎知識となる精神症状について学ぶことで精神疾患についての理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:吉松和哉等編集「精神看護学Ⅰ精神保健学」(HIROKAWA) 参考図書:授業中に紹介	
成績評価	課題30%、小テスト20%、、定期試験50% 理由なくレスポンスペパー未提出1回につき5点減点	
履修資格		

科目名	薬理学	２単位　前期
担当教員	土田　勝晴※ ・ 竹内　孝治※ ・ 天ケ瀬　紀久子※	
授業概要	生体は通常自分自身の恒常性維持機能により、健康な状態を維持している。恒常性が保てない状況に陥った時、それを是正してやる目的で薬物を使用する。この講義を通して、薬物の摂取方法、吸収、分布、効果発現様式、作用メカニズム、副作用、排泄に至る一連の薬物作用について学習するが、これは同時に生体調節機構、病態等に関しても理解を深めることに通じている。	
到達目標	疾病の治療、予防のため使用される薬物の作用、副作用について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:わかりやすい薬理学:安原　一、小口　勝司　著、廣川書店(￥2200)参考書:くすりのしくみ事典:岡島、水野　著、日本実業出版社(￥1400)	
成績評価	期末試験(100%)で判定、場合によりレポート提出を求め、総合判定を行う。	
履修資格		

科目名	老年看護学概論	１単位　後期
担当教員	平田　弘美 ・ 望月　紀子	
授業概要	「老い」や{加齢」とは何かを考え、高齢者の身体的・心理的・社会的変化を知る。老年看護に活用できる概念や理論について理解し、高齢者を取り巻く社会や社会制度について考える。	
到達目標	1.「老い」や「加齢」とは何かを理解する。 2. 高齢者の身体的・心理的・社会的変化を理解する。 3. 高齢者を取り巻く社会制度について理解する。 4. 老年看護に活用できる概念・理論について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考図書 老年看護学概論　真田弘美・正木治恵編集　南江堂 高齢者の健康と障害(ナーシング・グラフィカ老年看護学①)　メディカ出版 国民衛生の動向	
成績評価	定期試験60%、グループワークと発表20%、課題レポート10%、授業態度10%	
履修資格		

科目名	老年看護学演習	１単位　前期
担当教員	平田　弘美　・　望月　紀子　・　山田　博子	
授業概要	高齢者の加齢に伴う身体的・心理的・社会的特徴と、その変化に伴う日常生活への障害や特徴的な疾患を、看護に生かす観点から学習する。	
到達目標	1. 高齢者の生理的身体変化を理解できる。 2. 高齢者の心理的・社会的変化を理解できる。 3. 高齢者に特有の疾患を理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考図書 高齢者の健康と障害（ナーシング・グラフィカ老年看護学①）メディカ出版 老年看護学　田中マキ子編集　医学書院 高齢者の理解とケア　Gakken 高齢者のケア　Gakken 新版　目でみるからだのメカニズム　医学書院 国民衛生の動向	
成績評価	定期試験50％、小テスト40％、課題レポート10％	
履修資格	老年看護学概論を履修していること。	

科目名	老年臨床看護学	１単位　後期
担当教員	平田　弘美　・　望月　紀子	
授業概要	高齢期の生理的身体の変化をふまえた病態および高齢期疾患の相互関係を理解する能力を養う。それらの身体的変化や病態のアセスメント方法を学び、健康障害をもつ高齢者への看護ケアを考える。	
到達目標	1. 高齢者に多い疾患とその特徴を理解する。 2. 健康問題をもつ高齢者の看護過程展開方法について理解する。 3. 健康障害をもつ高齢者の援助方法について理解する。 4. 高齢者看護に活用できる社会資源について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考図書 老年看護学　概論と看護の実践　ヌーヴェルヒロカワ 老年看護学技術　南江堂 高齢者看護の実践　ナーシング・グラフィカ老年看護学②　メディカ出版	
成績評価	定期試験40％、小テスト40％、課題レポート10％、グループ発表10％	
履修資格	老年看護学演習を履修していること。	

科目名	老年臨床看護学演習	１単位　前期
担当教員	平田　弘美　・　望月　紀子	
授業概要	医療施設、介護保険施設など様々な場所で展開されている高齢者への看護実践を行うために必要な知識・技術を習得する。高齢者の身体・心理・社会的変化に対して、科学的根拠に基づき、それら3側面を統合した判断力の基本を培う（平成26年開講）。	
到達目標	1. 老年看護に必要な情報収集、分析、看護問題抽出、看護計画立案ができる。 2. 老年看護実践に必要な看護を理解することができる。 3. 老年看護実践に必要な看護技術を習得することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考図書 老年看護技術　アセスメントのポイントとその根拠　ヌーヴェルヒロカワ 老年看護学　概論と看護の実践　ヌーヴェルヒロカワ 老年看護学技術　真田弘美・正木治恵編集　南江堂 高齢者看護の実践　ナーシング」・グラフィカ老年看護学①　メディカ出版	
成績評価	定期試験40％、課題レポート40％、グループ発表20％	
履修資格		

科目名	老年看護学実習	１単位　通年
担当教員	平田　弘美　・　望月　紀子　・　山田　博子	
授業概要	在宅、施設で生活する高齢者との関わりを通して、老年期にある人の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。また、援助者と高齢者との対応方法を見学し、QOLを尊重した高齢者との関わりを学ぶとともに、高齢者を取り巻く人的・物理的環境のあり様について考える。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	老年臨床看護学実習	２単位　通年
担当教員	平田　弘美　・　望月　紀子　・　山田　博子	
授業概要	医療施設に入院する高齢者を対象とし、心身の機能回復や日常生活機能の自立等に向けて看護を展開する。ここでは、高齢者の発達課題を視野におき、看護実践に必要な知識および技術を統合し、QOLを踏まえた高齢者の日常生活援助のあり方について、技術的側面、人的・物理的環境の側面、社会的側面から思考する。さらに、他の保健医療福祉職との連携・協働のあり方を学ぶ。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	育成看護論演習	１単位　前期
担当教員	大脇　万起子　・　炭原　加代　・　渡邊　友美子	
授業概要	妊娠・分娩・産褥・新生児各期にある母子および家族への看護を展開するうえで必要とされる看護過程の展開と基礎的な看護技術について学ぶ。	
到達目標	(1)事例を通して母子を対象とした看護過程が理解できる。 (2)妊婦、産婦、褥婦および新生児に対する観察及び必要な看護判断ができる。 (3)妊婦、産婦、褥婦および新生児や家族に対する生活援助ならびに保健指導の必要性が判断できる。 (4)周産期看護に関わる基本的な看護技術が習得できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：系統看護学講座　専門25母性看護学〔2〕『母性看護学各論』 医学書院 指定図書：大田 操編『ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程』医歯薬出版、 村本純子・町浦美智子編著『直前 母性看護実習プレブック』医歯薬出版、 前原澄子編、宮崎和子監修『キーポイントシリーズ母性Ⅱ』『キーポイントシリーズ母性Ⅰ』中央法規 参考書：適宜紹介する。	
成績評価	課題レポートへの取り組み評価 40％、期末筆記試験 20％、技術試験40％とする。	
履修資格	人間看護学部履修生	

科目名	育成看護論実習	２単位
担当教員	炭原　加代　・　大脇　万起子　・　古川　洋子　・　渡邊　香織　・　渡邊　友美子	
授業概要	周産期における女性と子どもおよび家族の身体的，心理的，社会的特徴を総合的に理解し，母性看護が実践できる能力を養う。	
到達目標	1）妊婦，産婦，褥婦と新生児の身体的，心理的，社会的特徴を総合的に理解できる。 2）妊婦・産婦に行われる保健指導や生活の援助の必要性が理解できる。 3）褥婦および新生児の生理的変化への適応促進と健康上の問題解決のための看護，および家族の新しい役割獲得への援助が実践できる。 4）周産期における継続看護および関連機関との連携の必要性を理解できる。 5）生命の神秘・尊厳について考察でき，看護職者の責任および役割・機能を学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	学内の講義で学習した資料を持参する。実習中に適宜紹介する。	
成績評価	目標の達成度（事例発表・実習記録を含む）93％、実習態度（出席を含む）7％	
履修資格	育成看護論Ⅰ、育成看護論Ⅱ、育成看護論演習の単位を修得していること	

科目名	家族看護論	２単位　後期
担当教員	大脇　万起子	
授業概要	家族を単に対象者を取り巻く背景として捉えるのではなく、家族機能をシステムとして捉え、個人及びその家族が持っているセルフケア能力を高める援助の方法について論じる。 さらに、家族のライフサイクルの段階に応じた発達課題、直面する危機や健康問題に対する援助のあり方を講義およびグループワーク（事例検討、事例作成・役割演技）を通して学ぶ。	
到達目標	(1)家族看護に関する主な理論やモデルについて理解する。 (2)家族看護過程（アセスメント・診断・計画・方法・評価）に関する基本的な知識を習得する。 (3)患者家族と向き合うための基本的な姿勢・コミュニケーション技術を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：鈴木和子他：家族看護学　理論と実践　第4版（日本看護協会出版会） 指定図書：ロレイン・M・ライトー他著：ビリーフ 家族看護実践の新たなパラダイム（日本看護協会出版会） ロレイン M. ライト著：癒しのための家族看護モデル　病いと苦悩，スピリチュアリティ（医学書院） 参考書：法橋尚宏編著：新しい家族看護学　理論・実践・研究（メヂカルフレンド社） 鈴木和子他：家族看護学　理論と実践　第3版（日本看護協会出版会） 杉下知子編集：家族看護学入門（メヂカルフレンド社） 野嶋佐由美監訳：家族看護学（へるす出版） 村田恵子他監訳：家族看護学　理論・実践・研究（医学書院） 中西睦子監修：TACSシリーズ13　家族看護学（建帛社） 小林奈美著：グループワークで学ぶ家族看護論（医歯薬出版株式会社）	
成績評価	・期末試験(60％)、毎授業後の小ﾚﾎﾟｰﾄ(15％)、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸのﾚﾎﾟｰﾄ(25％) ・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸのﾚﾎﾟｰﾄについては、病欠などにより参加できない時は代替えﾚﾎﾟｰﾄにより評価します。 ・期末試験とﾚﾎﾟｰﾄの総合得点が60点に満たない場合は、60点を上限として期末試験を100点として評価します。	
履修資格		

科目名	看護管理論	２単位　後期
担当教員	清水　房枝　・　米田　照美	
授業概要	（看護管理）　対象者に質の高い継続したケアを提供するために、対象者を取り巻くあらゆる資源（人的、物的、財的）を有効利用し活用するためのしくみやマネジメントを理解することができる。	
到達目標	（看護管理） 1．対象者への安全で質の高いケアを提供するための組織、体制について説明できる。 2．看護専門職の機能や役割が発揮できるための看護管理者の役割について説明できる。 3．医療、看護ケアの安全管理、保健・医療・福祉の地域連携体制と継続看護について説明できる。 4・4年生前期の統合実習に生かすことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：「基礎看護学 看護管理（ナーシング・グラフィカ）」，メディカ出版参考図書は適宜紹介する。	
成績評価	毎回授業のレスポンスカード20％　定期筆記試験かレポート80％	
履修資格		

科目名	看護コーディネーション	２単位　前期
担当教員	小林　孝子　・飯降　聖子	
授業概要	看護機能のうちでもコーディネート機能は重要な機能のひとつとされている。看護活動展開場面では、対象の特性に応じた支援技術が求められる。アセスメント技術、コミュニケーション技術などを学習したうえで、それらを使って、対象（個人・グループ）の健康課題を明確に把握する。次に、コーディネート機能を発揮して、他の看護職や他機関の専門家などと連携を取り、総合的なケア方法を確立する方法について理解を深める。また、課題解決のネットワークやシステムづくりから地域	
到達目標	①対象者ごとのケアマネジメントの展開方法を理解し、個別援助としてのケアマネジメントを考えることができる。　②個別援助としてのケアマネジメントをとおして、その地域共通の健康課題を提示することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：津村智恵子：「三訂　地域看護学」（中央法規出版）長谷川浩編：系統看護学講座　別巻14 「人間関係論」（医学書院）	
成績評価	レポート評価　20%　期末筆記試験　80%	
履修資格		

科目名	行政看護論	２単位　前期
担当教員	飯降　聖子　・　小林　孝子　・　松井　陽子	
授業概要	国、都道府県、市町村の行政目的、組織や財政の仕組みを理解する。保健医療福祉行政を実施する上で必要な住民ニーズの把握方法、政策を実現するための財源や人的資源の確保などの行政の基本的知識を学ぶ。また保健医療福祉行政を推進するための根拠法令、行政組織、地域保健医療計画の計画から評価までの作成プロセスについて理解する。地区診断の方法について学び、地区診断から明らかになった健康課題を解決するための理論と主な行政看護活動の展開方法の実際について学ぶ。	
到達目標	行政における看護職の役割が理解でき、住民の健康課題を解決するための方法について考えることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	津村智恵子編著　三訂地域看護学　中央法規、看護法令要覧　日本看護協会出版会	
成績評価	課題レポート　20％　　定期試験　80％	
履修資格		

科目名	健康教育論	１単位　前期
担当教員	飯降　聖子　・　小林　孝子　・　松井　陽子	
授業概要	健康教育の基本知識を理解し、健康教育の目的、方法を学ぶ。行動変容の関連理論を理解するだけでなく、看護の対象のセルフケア能力を高める必要性を理解し、セルフケア能力の獲得を促す健康教育方法について事例を用いながら学習する。また、グループを単位とする活動の特徴についても理解し、ヘルスプロモーション推進に向けた健康教育のあり方についても考える。	
到達目標	(1)看護職が行う健康教育の目的、意義を理解できること。(2)グループの特性、および、グループ活動の意義と支援者の役割が理解できること。(3)保健師が地区活動として行う健康教育の企画、実施、評価の過程とその大事な視点を理解できること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:宮坂忠夫ほか編著 「最新　保健学講座　別巻1　健康教育論」(メヂカルフレンド社)参考書:講義中、適宜紹介する。	
成績評価	健康教育の企画・立案・実施の発表において評価する(70%)課題レポート　(30%)	
履修資格		

科目名	国際・災害看護論	２単位 前期
担当教員	長江　美代子※　・　伊冨貴　初美※　・　山瀬　理恵※　・　堀井　聡子※	
授業概要	【国際看護論】 国際的視野に立った看護を展開できるため、諸外国の人々の健康と保健・医療の現状について理解を深め、人々の健康に影響を及ぼす人口学的、社会経済学的、文化的な要因について考える。また、国際看護の基本概念、世界の健康問題をふまえ、異文化の価値観を尊重した看護について自己の考えを発展させる。 【災害看護論】 現在起こりうる災害、大規模事故や感染症などによる健康危機の発生と対応の必要性を理解する。その上で、危機予防、初動対処、被害者の健康管理、医療提供、精神保健対策など主要な対策、管理における看護職の役割、基本的な知識と技術を学ぶ。	
到達目標	【国際看護論】 (1)国際看護・国際保健にかかわる主要概念を理解できる。 (2)諸外国の保健医療の現状と人びとの健康について理解できる。 (3)異文化看護の視点から人びとの生活のより深い理解に立ち、看護の役割を認識できる。 【災害看護論】 国内の災害について理解し、その対応と対策について理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	日本赤十字社　事業局看護部　(2010) 系統看護学講座　統合分野 災害看護学・国際看護学　　看護の統合と実際〔3〕　　医学書院	
成績評価	出席など学習態度　20% 課題レポート　　80%	
履修資格		

科目名	在宅看護論実習	２単位
担当教員	植村　小夜子　・　松井　陽子　・　馬場　文　・　未定	
授業概要	在宅療養者とその家族の健康上の問題を理解し、生活の場に応じた看護の役割について学ぶ。また、訪問看護ステーションの活動の実際を通し、チーム医療及び他職種と協働する看護の役割を理解する。	
到達目標	1)利用者および家族の生活上の健康課題を知ることができる2)利用者をとりまく生活環境を理解し看護の役割と方法を学ぶことができる3)訪問看護ステーションの機能・役割を理解できる4)チームケアや社会資源の活用について学ぶことができる5)今後の在宅看護のあり方について考えることができる	
テキスト 指定図書 参考書	授業で使用した教科書及び授業で配布した資料	
成績評価	実習記録，レポート，自己評価表，実習参加度，実習態度により総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	小児臨床看護論演習	１単位　前期
担当教員	川端　智子　・　古株　ひろみ	
授業概要	健康障害を持つ子どもへの実践看護能力を養うため、以下の点について学ぶ。 1.子どもの身体・機能的特徴を踏まえた症状ごとの観察点と小児看護に必要な判断力の基礎的知識を講義等から学ぶ。 2.子どもの特徴的な疾患について学ぶ。 3.主な小児看護技術を演習から取得する。 4.事例を通して子どもを対象とした看護過程の展開が理解できる。	
到達目標	1. 子どもに多い主な症状に対する観察及び必要な看護判断ができる。 2. よく遭遇する小児疾患及び治療を理解する。 3. 小児看護技術の修得ができる。 4. 事例を通して子どもを対象とした看護過程の展開が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「小児看護学概論・小児保健」メヂカルフレンド社 「健康障害をもつ小児の看護」メヂカルフレンド社 参考書　:「ナーシング・グラフィカ29 小児看護技術」メディカ出版	
成績評価	演習での課題・レポートに対する評価（プレゼンテーションを含む）50%、定期試験50% だだし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	小児臨床看護論実習	２単位
担当教員	古株　ひろみ　・　川端　智子	
授業概要	入院中の健康障害がある子どもの生活・治療・成長発達・家族援助に関わる看護実践を学ぶ。学内で学んだ知識・技術を基に、理論的根拠をふまえて、対象児の情報収集・アセスメント・診断・計画立案・実施・評価といった看護過程の展開を行う。	
到達目標	①小児期の特徴を理解し、成長発達を促す援助が実施できる ②健康障害が、子どもとその家族に及ぼす影響の理解と援助方法について考察できる。 ③看護ニーズに関する系統的な情報収集及び理論的根拠をふまえたアセスメント・診断・計画立案の実施できる。 ④個別性に応じた安全なケア計画立案と計画の実施・評価できる。 ⑤対象児とその家族の人権を尊重し、個人情報・プライバシーの保護を行うことができる。 ⑥主体性と協調性ある行動ができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:特に指定しない参考書:実習の中で適宜紹介する	
成績評価	実習目標の達成度・看護過程の展開状況、記録内容などにより総合的に評価する。ただし欠席により実習展開が困難な場合は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	精神臨床看護論演習	１単位　前期
担当教員	牧野　耕次　・　甘佐　京子	
授業概要	患者の人権・倫理的配慮と精神看護セルフケアモデルについて理解するとともに、精神看護実践における看護援助技術についての知識および技術を養う。精神疾患患者の事例を用いて、看護過程の事例展開を行う。	
到達目標	以下の項目について説明できる。 ・精神看護実践における看護の役割および対象のとらえ方 ・患者の権利、治療環境 ・患者―看護師関係 ・看護における「かかわり（involvement）」 ・事例に沿って情報収集とアセスメントができる ・地域精神保健看護の現状と課題 ・オレムーアンダーウッドによるセルフケア理論	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:田中美恵子編「精神看護学ー学生・患者のストーリーで綴る実習展開ー」(医歯薬出版株式会社)、精神看護学Ⅰ・Ⅱ（ヌーヴェル ヒロカワ）	
成績評価	期末試験（50%）、小テスト（10%）、レスポンスペーパー（15%）、グループワーク等の提出物（15%）、発表（10%） 欠格条件:授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしないなど	
履修資格		

科目名	成人臨床看護論演習Ⅱ	１単位　前期
担当教員	荒川　千登世	
授業概要	成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者)の身体的・心理的・社会的看護問題を理解し、看護援助を展開するために必要な基礎的知識、技術、態度を学ぶ。ここでは、手術を受ける患者（模擬患者）への術前から術後・回復期の看護過程の展開を試みることにより、生命の危機的状況における看護について考えていく。	
到達目標	1. 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者)の身体的・心理的・社会的看護問題を理解するために必要な知識が何であるかがわかり、調べることができる。 2. 看護過程の展開のために必要な情報がなにであるかがわかり、優先順位をふまえたうえで情報を収集しアセスメントすることができる。 3. 周手術期における生体の変化（侵襲・生体反応・回復過程）が理解できる。 4. 術後起こりうる合併症を理解し、予防・早期発見・回復促進にむけて、周手術期の各時期に看護として介入できることが理解できる。 5. 周手術期におけるセルフケア充足のための援助が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】 中島恵美子、他編集：ナーシング・グラフィカ23「成人看護学・健康危機状況」（メディカ出版） 中島恵美子、他編集：ナーシング・グラフィカEX3「周手術期看護」（メディカ出版） 【参考書】 安酸史子、他編集：ナーシング・グラフィカ22「成人看護学概論」（メディカ出版） 竹内登美子編集：周手術期看護2「術中／術後の生体反応と急性期看護」（医歯薬出版） 江川隆子編集：「ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断」（ヌーヴェルヒロカワ）	
成績評価	期末試験40％と演習60％(参加状況20％、技術チェック20％、課題20％）で総合的に評価する。参加状況20％のうち10％は学生間のピア評価（グループ間評価5％、グループ内メンバー評価5％）とする。	
履修資格	臨床看護論Ⅱ、発達看護論Ⅲの履修	

科目名	精神臨床看護論実習	２単位
担当教員	牧野　耕次　・　甘佐　京子	
授業概要	精神疾患や精神的問題をもつ対象者を全人的な観点から捉えて、これまでに習得した精神看護に必要な専門的知識・技術・態度を実際の場面に応用しながら、理論と実践を統合した看護活動がかかわりをとおして展開できる基本的能力を培う。	
到達目標	①精神的疾患や精神的問題を抱える人のありようを、オレム=アンダーウッドによるセルフケア理論等の理論を用いて理解できる。 ②時間の流れの中における生活者としてのその人を理解できる。 ③対人関係技術を使いながら、精神疾患や精神的問題を抱えている人への看護ケアを実践できる。 ④精神科治療機関や地域で行われている保健・医療・福祉的アプローチを理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	田中恵美子　編「精神看護学」（医歯薬出版） 出口貞子　編「精神看護学　情緒発達と看護の基本」「精神看護学　生活障害と看護の実践」（メディカ出版） 野嶋佐由美　監「精神看護学」（日本看護協会出版会）	
成績評価	実習への取り組み状況および実習記録などから総合的に評価する。	
履修資格	対人関係看護論、発達看護論Ⅰ、臨床看護論Ⅰ、発達看護論演習Ⅰ、発達看護論実習および精神臨床看護論演習の単位を修得していること。	

科目名	成人臨床看護論実習Ⅰ	２単位
担当教員	大門　裕子　・　横井　和美　・　中川　美和　・　伊藤　あゆみ　・　奥津　文子	
授業概要	成人期にある対象およびその家族（重要他者）の、身体的・心理的・社会的看護問題（主に慢性期にある人々の看護の問題）を理解し、看護援助を展開するために必要な基礎的知識、技術、態度を習得する。	
到達目標	1）慢性的な健康問題をもつ患者とその家族を、全人的に捉えることができる。 2）受け持ち患者・家族の意思を尊重し、セルフマネジメントを支援する援助的人間関係が樹立できる。 3）受け持ち患者の治療的管理と退院後の生活に向けた調整を考慮した個別的な看護計画が立案できる。 4）援助の目的・必要性を理解し、受け持ち患者の意思と患者の変化に応じた安全かつ安楽な方法で看護を提供することができる。 5）行った看護に対して、退院後の生活を見据えた援助の効果および受け持ち患者の立場から、客観的評価を行うことができる。 6）受け持ち患者を取り巻くすべての支援者との連携の重要性が理解でき、チームメンバーとしての自己の役割、責任の自覚がもてる。 7）慢性期看護の理解を深める理論や文献の学習を行い、自己の学習活動を客観的に評価できる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：鈴木志津枝　藤田佐和　編集「成人看護学　慢性期看護論」（ヌーヴェルヒロカワ）、日本看護診断学監訳「NANDA看護診断定義と分類」（医学書院）	
成績評価	実習の展開、記録内容、退出状況、実習担当教員・実習指導者の評価、自己評価、出席状況から100％総合評価する。	
履修資格	3年前期までの専門科目（実習を含む）・専門基礎科目における必修科目の単位を全て修得しておくこと	

科目名	成人臨床看護論実習Ⅱ	２単位
担当教員	荒川　千登世　・　未定　・　奥津　文子	
授業概要	周手術期における成人期特有の健康問題を持つ患者とその家族（重要他者）の心理的・身体的・社会的な看護問題を理解し、看護援助を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。	
到達目標	1）周手術期にある患者とその家族（重要他者）の病態生理、手術治療や麻酔法とその影響、回復過程に関する基礎的理解ができる。 2）周手術期にある患者とその家族（重要他者）の心理的ストレス状況の理解と対処への働きかけが理解できる。 3）急性期、回復期、社会復帰における患者とその家族（重要他者）の回復と適応へのプロセスが理解でき、看護過程の展開ができる。 4）手術中、手術後の患者の生命と権利を尊重し、安全の重要性を理解できる。 5）行った看護に対して、危機的状況からの回復に向けた援助の効果および受け持ち患者の立場から、客観的評価を行うことができる。 6）周手術期の患者の援助を通して、医療チームや学生グループとしての自己の役割、責任の自覚がもてる。 7）看護および看護に関連する概念や理論を活用し、論理的に看護を考えられる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト、参考書： 1）中島恵美子他編「ナーシンググラフィカEX③周手術期看護」（メディカ出版） 2）竹内登美子編 「周手術期看護　術中／術後の生体反応と急性期看護」（医歯薬出版） 3）江川隆子「ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断」（ヌーベルヒロカワ）	
成績評価	看護過程の展開実施状況・記録内容の評価と、自己評価を加味した評価90％、実習態度および出席状況の評価10％を総合的に評価する	
履修資格	3年前期までの専門科目（実習を含む）・専門基礎科目における必修科目の単位を全て修得している。	

科目名	卒業研究（人間看護）	４単位　通年
担当教員	学科教員	
授業概要	学生個人が研究テーマを設定し、既習した知識を統合して、研究活動を実践する。	
到達目標	基礎的な研究方法や問題解決方法を学び、将来の研究活動の基盤となる研究に関する基礎の知識・技術を体得する。	
テキスト 指定図書 参考書	各担当教員から適宜紹介	
成績評価	学習態度・ディスカッション参加態度　30％ 学習成果(研究論文)　70％で評価する。	
履修資格		

科目名	ターミナルケア論演習	１単位　前期
担当教員	糸島　陽子　・　奥津　文子	
授業概要	エンドオブライフ（ターミナル期）にある患者・家族と医療従事者が最善の医療とケアを作り上げるプロセスを理解し、医学的妥当性・適切性を基盤とした総合的・ケアのあり方を考察する。	
到達目標	エンドオブライフケアの方法を理解し、エンドオブライフケアに活用できる技術を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：NANDA-I　看護診断定義と分類2009－2011 医学書院これなら使える看護診断　医学書院 緩和ケア・ターミナルケア看護論　ヌーベルヒロカワ	
成績評価	定期試験、レポート、ミニレポート（授業参加状況を含む）を総合して評価する。 講義内容は、一部変更になることもある。	
履修資格		

科目名	ターミナルケア論実習	２単位
担当教員	糸島　陽子　・　中川　美和　・　伊藤　あゆみ　・　奥津　文子	
授業概要	ターミナル期にある人の身体的、心理的、社会的、霊的特徴を総合的に理解し、その人らしい生活を支援する緩和ケアの実践を体験するなかで、ターミナルケアの基礎的能力を身につける。また、ターミナル期にある人の家族の状況とその援助について理解する。さらにそれらの人々との出会いを通して人間の尊厳、生と死、QOLについて洞察するなかで、自己の死生観と看護観を養う。	
到達目標	実習目標1. 受け持ち患者とその家族(重要他者)を、全人的（ライフサイクルや発達課題、価値観・信条などを含む）に理解することができる。 2. 受け持ち患者と家族の意思を尊重し、援助的人間関係を樹立できる。 3. 受け持ち患者・家族の「苦痛」に関連した主観的・客観的情報を、論理的・科学的にアセスメントし、援助の視点を明確にすることができる。 4. 苦痛を緩和するための援助が、受け持ち患者の意思を尊重しながら、安全かつ安楽な方法で実施できる。 5. 実施した看護の効果を目標に照らし合わせて評価するとともに、自分自身の技術についても客観的に評価することができる。 6. 受け持ち患者の援助を通して、緩和ケアチームの連携の重要性が理解でき、チームメンバーとしての自己の役割、責任の自覚がもてる。 7. 自己実践能力向上のための努力を行い、実習に対して客観的に評価を行うと共に、自己の死生観・看護観を洞察することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:NANDA-I　看護診断定義と分類 2012-2014 医学書院これなら使える看護診断　医学書院 緩和・ターミナルケア看護論　ヌーベルヒロカワ	
成績評価	実習目標の到達状況を、実習態度、実習記録、レポートなどから総合的に評価する。	
履修資格	3年前期までの専門科目（実習を含む）・専門基礎科目における必修科目の単位を全て修得していること。	

科目名	地域看護管理論	１単位　前期
担当教員	飯降　聖子	
授業概要	日常的な地域住民総体に対する地域看護活動や感染症・災害発生等を含む地域の健康危機管理に対する基本的な知識を学ぶ。地域で活動する看護職には健康課題を未然に防ぐ能力や他職種とともに活動できる能力など総合的な地域管理能力が求められる。個別ケアだけでなく集団に対するケア、地域全体に対するケア、看護管理が必要とされることを理解し、総合的な看護能力の開発に取り組む。	
到達目標	地域全体のあらゆる健康レベルの人びとの健康増進活動や多層的な住民階層に対する看護管理には、アセスメント能力やコーディネーション能力、予算獲得能力など行政の看護職として、多くの総合的な能力が求められ、自らの能力を高める必要があることが理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:津村智恵子編著　三訂地域看護学　中央法規、看護法令要覧　日本看護協会出　　版会、国民衛生の動向 参考書:村嶋幸代編　最新保険学講座2　地域看護支援技術　メヂカルフレンド社	
成績評価	定期試験100％	
履修資格		

科目名	地域看護論Ⅱ	２単位　前期
担当教員	飯降　聖子　・　西内　恭子※　・　小林　孝子　・　松井　陽子	
授業概要	障がいを持つ児・者に対する社会の制度・しくみや障害者自立支援法、バリアフリー法ユニバーサルデザインなどについて理解する。地域看護の場としての学校保健、産業看護に関する法制度、看護活動についての理解を深める。生涯を通じた各世代に対する看護の連携についての知識を得る。口腔衛生に関する知識を得、演習を通して衛生管理の技法についても学ぶ。	
到達目標	障がい看護、学校看護、産業看護についての知識を得、地域看護の各領域について総合的見地から理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:津村智恵子編著　三訂地域看護学　中央法規、村嶋幸代編　最新保健学講座2地域看護支援技術　メヂカルフレンド社、　看護法令要覧、国民衛生の動向	
成績評価	中間レポート　20％　　期末レポート　30％　　定期試験　50％	
履修資格		

科目名	地域看護論演習	２単位　前期
担当教員	松井　陽子　・　馬場　文　・　小島　亜未	
授業概要	地域で生活する個人・家族・集団および地区における健康指標・保健福祉サービス・地域ケアシステム等をアセスメントし，活動計画立案から評価までの地域看護活動の展開方法を学ぶ。地区診断演習では，彦根市を題材にしてグループワークをとおして，地区診断のプロセスを学ぶ。また，様々な健康段階にある人々への地域看護活動における介入技術を学ぶ。これらの学びをもとに各自が地域特性をふまえた対象（地域）への介入についてレポートにまとめる。	
到達目標	(1)家庭訪問の看護展開方法が理解できる (2)家庭訪問の初期援助計画が立案できる (3)地区診断の意義とそのプロセスが理解できる (4)地域のヘルスニーズを抽出し、地区活動計画が立案できる	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：津村智恵子編「公衆衛生看護学」（中央法規出版） 財団法人厚生統計協会「国民衛生の動向」 参考書：参考文献は、適宜講義で提示する	
成績評価	個人レポート10％ 地区診断演習レポート(グループ）40％ 最終試験　50％	
履修資格		

科目名	地域看護論実習	４単位
担当教員	飯降　聖子　・　小林　孝子　・　松井　陽子　・　馬場　文　・　小島　亜未	
授業概要	地域で生活する個人、集団ならびにそれらを取り巻く地域を対象とした総合ケアシステムについての理解を深める。また、保健所、市町村の活動をとおして、地域で生活する個人、家族、集団を対象とした看護活動を展開するための基礎的能力を養う。	
到達目標	地域保健活動の実践機関としての保健所および市町村保健センターの機能と地域保健活動の実際が理解できる。個人・家族が生活する地域のヘルスニーズと地域保健活動の展開方法が理解できる。公衆衛生看護活動で用いられる援助方法を学ぶとともに、人々の行動変容を促し、セルフケア能力を高める援助について理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：津村智恵子編「地域看護学　三訂」(中央法規出版), 「国民衛生の動向」 「看護法令要覧」	
成績評価	保健所・市町村実習評価100％	
履修資格	地域看護論実習を履修するためには，1年・2年・3年前期（編入生は3年次）の専門基礎科目・専門科目における必修科目の単位を全て修得していること	

科目名	人間看護学統合実習	３単位　前期
担当教員	清水　房枝　・　学科教員	
授業概要	基礎分野、専門分野で学習した知識、技術、態度を統合し、臨床の実践に近いかたちで看護を提供する方法を学び、看護実践能力を身につける。具体的には、複数の対象を同時に受け持ち、複数のケアを同時進行で行う方法を考え実践する。また、管理業務の体験、学習を通して、管理者やスタッフの役割を理解し、メンバーシップやリーダーシップを含む看護マネジメントの基礎的能力を養う。なお、これらの実習目的を達成する実習施設は滋賀県内の公立病院とする。実習施設は高齢者の利用が多いため、高齢者が退院後も地域で安心して療養生活が継続できる老年看護の実践能力もあわせて養う。 (人間看護学部全教員が実習を担当する)	
到達目標	1）看護管理の視点から看護サービスマネジメントの実際を見学し、病院・看護部および看護単位の組織や役割を考察できる。 2）病院における医療安全部門・感染管理部門の活動、専門看護師・認定看護師の活動について見学し、組織の中で、それらの役割を考察できる。 3）看護師長・副看護師長・チーム・リーダーの業務の実際を見学し、看護サービスマネジメントのあり方、リーダーシップ、管理者の役割について考察できる。 4）複数の患者を受け持つ看護師の業務を見学し、ケアに参加することで、ケア・マネジメントのあり方、メンバー・シップ、継続看護（24時間）について考察できる。 5）他職種との協働・連携を見学し、チーム医療・地域連携のあり方を考察できる。 6）高齢者の看護の見学を通して、QOLを尊重した生活援助のあり方を考察できる。 7）未経験の看護技術を明確にし、自発的に実践できる。	
テキスト 指定図書 参考書	実習要項参照	
成績評価	実習目標への達成度60％実習への取り組み状況20％課題レポート20％ 出席状況によって実習の展開が出来ない場合は評価の対象とならない。	
履修資格	育成看護論実習、精神臨床看護論実習、小児臨床看護論実習、成人臨床看護論実習、老年臨床看護論実習Ⅰ・Ⅱ、在宅看護論実習地域看護論実習、ターミナルケア論実習の単位を修得していること。	

科目名	老年臨床看護論演習	１単位　前期
担当教員	平田　弘美　・　望月　紀子	
授業概要	医療施設、介護保険施設など様々な場所で展開されている高齢者への看護実践を行うために必要な知識・技術を習得する。高齢者の身体・心理・社会的変化に対して、科学的根拠に基づき、それら3側面を統合した判断力の基本を培う。	
到達目標	1. 老年看護に必要な情報収集、分析、看護問題抽出、看護計画立案ができる。 2. 老年看護実践に必要な看護を理解することができる。 3. 老年看護実践に必要な看護技術を習得することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	参考図書 老年看護技術　アセスメントのポイントとその根拠　ヌーヴェルヒロカワ 老年看護学　概論と看護の実践　ヌーヴェルヒロカワ 老年看護学技術　南江堂 高齢者看護の実践　ナーシング」・グラフィカ老年看護学①　メディカ出版	
成績評価	定期試験40％、課題レポート40％、グループ発表20％	
履修資格		

科目名	老年臨床看護論実習Ⅰ	１単位
担当教員	平田　弘美　・　望月　紀子　・　山田　博子	
授業概要	老人保健施設の入所施設や通所施設（ディケア）での実習を通して、老化や疾病が高齢者の日常生活に及ぼす影響について学ぶ。また、高齢者ケアに携わるスタッフの役割やその連携について理解を深める。	
到達目標	1. 老化や疾病が高齢者の日常生活に及ぼす影響について理解する。 2. 高齢者が生きてきた時代背景や個人の生活の歴史を理解する。 3. 長い人生を生きてきた高齢者を尊重した姿勢・態度で関わることができる。 4. 高齢者ケアに携わるスタッフの役割やその連携について理解を深める。 5. 高齢者に必要な社会資源について理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	授業で使用した資料や参考図書等	
成績評価	実習態度、出席日数、実習記録等から評価する。	
履修資格	必修科目のすべてを修得していること。	

科目名	老年臨床看護論実習Ⅱ	２単位
担当教員	平田　弘美　・　望月　紀子　・　山田　博子	
授業概要	健康問題を持つ高齢者に対して、これまでに学んだ知識と技術を統合し、疾病回復の援助、日常生活の自立支援等についての看護を展開する。	
到達目標	1. 高齢者と円滑な人間関係を築き、その高齢者の理解を深める。 2. 老化や疾病、治療および入院環境が、高齢者の日常生活に及ぼす影響について理解する。 3. 高齢者の健康および日常生活上の問題を明らかにし、個々人に応じた適切な看護援助を実践する。 4. 高齢者を取り巻く家族の状況を理解し、それを援助に生かすことができる。 5. 高齢者に対し、尊重した姿勢・態度で関わることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	授業で配布した資料や参考図書等	
成績評価	実習要項に記載されている「実習評価および単位の認定」の5項目に基づき評価する。	
履修資格		

6　近江楽士（地域学）副専攻 履修の手引

１．近江楽士（地域学）副専攻について（23 年度～）

本学ではこれまで「地域に学び、地域に貢献する大学」としての特徴を活かし、地域を学ぶさまざまな教育プログラムを全学・学部・学科それぞれの段階ごとに実施してきました。この分野の重要性がさらに増しつつあることから、平成 23 年度からは新設の科目も含めて関連諸科目を体系化し、全学共通の教育課程として設置しています。各学科専門の教育課程である主専攻とならび、全学共通の教育課程である副専攻としての位置づけになります。

この副専攻は座学や現地学習など地域と連携した多様な内容で、コミュニケーション力、問題解決力、行動力などの向上を目指すものです。多くの皆さんの積極的な参加を期待します。

近江楽士（地域学）副専攻の位置づけは全学・学部・学科横断型

２．学びのポイント

地域で学び、活動する基礎となるのは、リアルな世界で自ら関係を創り出していく能力、フィールドで考える能力です。本副専攻では「コミュニケーション力（聞く→理解する→伝える）」「行動力（目標設定→戦略→実践）」「問題解決力（状況認知→発想→決断）」の３つの要素からなる「ネットワーク力」の習得を主眼としています。

Point1　地域で学び、活動する力を体系的に習得

Point2　地域人ネットワークによる支援体制

Point3　学習ポートフォリオの活用

社会人基礎力としてのネットワーク力

３．近江楽士（地域学）副専攻の修了要件

当該副専攻の修了には、副専攻が提供する「必修科目」「選択必修科目」、人間学及び環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換科目のうち副専攻が指定した「基礎選択科目」、各学部学科の専門科目のうち副専攻が指定した「専門選択科目」から所定の単位を修得することが必要です。詳しくは、次ページ以降の科目一覧表と別途配布する各学科科目配当表（履修モデル）を確認してください。

近江楽士（地域学）副専攻の修了要件と称号授与

４． 近江楽士（地域学）副専攻関連科目

近江楽士（地域学）副専攻を修了し、コミュニティ・ネットワーカー（近江楽士）の称号を授与されるためには、下表の関連科目から、次に示した修了要件を満たすよう単位を取得する必要があります。

(1)副専攻修了要件

必修科目　　：２科目４単位
選択必修科目から：４科目８単位以上
基礎選択科目から：２科目４単位以上
専門選択科目から：２科目４単位以上
計：１０科目２０単位以上

※ 「副専攻科目配当表」を参考に履修しましょう。
※ 以下の「副専攻科目配当表」は、平成25年度入学生用です。平成24年度以前の入学生は、本表の備考欄と入学年度
の「履修の手引」の該当部分を参照してください。

(2)副専攻科目配当表

①必修科目：2科目4単位

	科目名称	配当年次	単位数	備考
	地域実践学Ⅰ	1～4前	2	2011(H23)入学生は「地域実践学実習Ⅰ」に読み替える。
	地域実践学Ⅱ	1～4後	2	2011(H23)入学生は「地域実践学実習Ⅱ」に読み替える。

②選択必修科目：4科目8単位以上

	科目名称	配当年次	単位数	備考
	地元学入門	1 後	2	人間学科目
	地域探求学	1 後	2	人間学科目
	地域診断法	2 前	2	
	地域行動論	3 前	2	
	地域再生システム論	1～4 前	2	環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科および生活デザイン学科においては各学科の専門科目であり、専門科目の配当年次に従って履修すること
	地域づくり人材論	1～4 後	2	人間学科目

③基礎選択科目：2科目4単位以上

	科目名称	配当年次	単位数	備考
人間学	人間の行動と空間	1～4 前	2	2012(H24)以前入学生で「環境行動論」を履修済みの学生は履修不可
	材料史	1～4 前	2	
	比較都市論	1～4 前	2	
	比較住居論(注1)	1～4 前	2	
	生命・人間・倫理	1～4 後	2	
	びわこ環境行政論	1～4 後	2	
	近江文化論	1～4 後	2	
	社会福祉論	1～4 後	2	
	滋賀の自然史	1～4 後	2	
	自然科学の視点	1～4 後	2	
	機械技術と人間	1～4 後	2	
	電子社会と人間	1～4 後	2	
	国際協力論(注2)	1～4 前	2	2011(H23)入学生(人間看護学科を除く)も履修し、修了要件に算入できる。
	多文化共生論	1～4 前	2	2011(H23)入学生(人間看護学科を除く)も履修し、修了要件に算入できる。
環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換科目	近江の歴史(滋賀大学教育学部)	1～4 前	2	
	滋賀論(聖泉大学)	1～4 夏期集中	2	
	東近江の地域学(びわこ学院大学)	1～4 後	2	
	滋賀の環境(びわこ学院大学)	1～4 後	2	
	近江とびわ湖Ⅱ(滋賀大学経済学部)	1～4 後	2	
	近江学A(成安造形大学)	1～4 通	2	
	近江学B(成安造形大学)(注2)	1～4 通	2	

(注1)生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科の学生については、専門選択科目として扱われる。
(注2)平成25年度不開講

④専門選択科目：2科目4単位以上

	科目名称	配当年次	単位数	備考
環境科学部 複数学科共通科目	環境行動論	3 前	2	環境政策・計画学科
		4 前	2	環境建築デザイン学科
	地域開発論	2 前	2	環境政策・計画学科、生物資源管理学科
	コミュニティ計画論	3 前	2	環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科
	文化財・保存修景論A	4 前	2	環境建築デザイン学科
環境生態学科	琵琶湖環境学	1 後	2	
	環境変遷史	1 後	2	
環境政策・計画学科	地域システム論	1 前	2	
	市民参加論	1 前	2	
	地域調査法演習	1 後	1	
	ファシリテーション技法・演習	1 後	3	2011（H23）入学生は「ファシリテーション技法」と「ファシリテーション技法演習」に読み替えて修了要件に算入できる。
	環境心理学	2 前	2	
	イベント計画論・演習	3 前	3	2011（H23）入学生は「イベント計画論」と「イベント計画演習」に読み替えて修了要件に算入できる。
	社会調査実習	3 通	1	
環境建築デザイン学科	地域環境計画	1 後	2	
	都市・地域計画	3 前	2	
	木匠塾	1～4通	2	
生物資源管理学科	地域情報処理学	2 後	2	
	地域資源管理学	3 前	2	
工学部 学部共通基礎科目	材料科学概論	1 前	2	
	機械システム工学概論	1 前	2	
	電子システム工学概論	1 前	2	
人間文化学部 複数学科共通科目	比較住居論	1 前	2	生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科
地域文化学科	地域研究論	1･2 前	2	
	地域文化財論A	1･2 前	2	
	地域活性化論	2･3 後	2	
	近世近江論	2･3 前	2	
	文化財・保存修景論A	2･3 前	2	
	地域文化財論B	1･2 後	2	
	地域と空間	1･2 後	2	
	近江商人論	2･3･4 後	2	
	文化財・保存修景論B	3･4 後	2	
	社会調査論	1･2 前	2	
	社会調査方法論	2･3･4 前	2	
	社会調査実習	3･4 通	1	
生活デザイン学科	考現学概論	1 前	2	
	比較道具論	1 後	2	
	比較衣装論	1 後	2	
	生活デザイン学外演習	1～4 前・後	2	
	社会調査論	1 前	2	
	社会調査方法論	2 前	2	
生活栄養学科	比較食文化論(注3)	1 前	2	
	臨床栄養活動論(注3)	1 後	2	
	公衆栄養学(注3)	3 前	2	
	公衆栄養学実習(注3)	3 後	1	

(注3)生活栄養学科の専門選択科目については、履修は生活栄養学科学生に限られる。

④専門選択科目：2科目4単位以上（前頁からのつづき）

	科目名称	配当年次	単位数	備考
人間関係学科	コミュニケーション論	3･4 前	2	
	地域運動論	3･4 前	2	
	社会調査論	1 前	2	
	社会調査方法論	2 前	2	
	社会調査実習	3･4 通	1	
国際コミュニケーション学科	多民族社会論A	2 前	2	2011（H23）入学生も履修し、修了要件に算入できる。
	多民族社会論B	1･2 後	2	2011（H23）入学生は「中国・内モンゴル地域文化論」に読み替えるため修了要件に算入できない。
	多民族社会論C	2 前	2	2011（H23）入学生も履修し、修了要件に算入できる。
	移民社会論A	3･4 後	2	
	移民社会論B	3･4 前	2	
	移民社会論C	3･4 後	2	2011（H23）入学生は「対外文化交流論C」に読み替えるため修了要件に算入できない。
	異文化交流史	3･4 前	2	2011（H23）入学生は「アジア・地域交流論B」に読み替えるため修了要件に算入できない。
人間看護学部 人間看護学科	成人看護学概論（注4）	1 後	1	
	公衆衛生学（注4）	2 前	2	
	公衆衛生看護学概論（注4）◆	2 前	2	
	公衆衛生看護学Ⅰ（注4）◆	3･4 前	2	

（注4）人間看護学科の専門選択科目については、履修は人間看護学部学生に限られる。

◆：「公衆衛生看護学概論」、「公衆衛生看護学Ⅰ」の単位を選択必修科目単位へ読み替えることができる。
（その場合、専門選択科目単位に含めることはできない。）

（3）副専攻科目での修得単位と各学科の卒業要件単位について

副専攻で履修し修得した単位は、各学科（主専攻）に係る卒業の要件となる単位数に含めることができます。詳細は以下のとおりです。

副専攻による科目区分		各学科(主専攻)の卒業要件単位への算入
① 必修科目		卒業要件単位に含めない。
② 選択必修科目		
	「地元学入門」、 「地域探求学」、 「地域づくり人材論」	人間学単位として卒業要件に算入できる。
	「地域診断法」、 「地域行動論」	他学部他学科相当科目として、他学部他学科の単位と合算し、各学科で定められた単位数を限度に卒業要件単位に算入できる。 （ただし、副専攻を修了した場合に限る。）
	「地域再生システム論」	環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科、生活デザイン学科の学生には専門科目として、それ以外の学科の学生には他学部他学科の専門科目として各学科で定められた単位数を限度に、それぞれ卒業要件単位に算入できる。
③ 基礎選択科目		
	人間学科目	人間学単位として卒業要件に算入できる。 （ただし、「比較住居論」は生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科の学生には専門科目として、卒業要件単位に算入できる。）
	環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換科目	他学部他学科相当科目として、他学部他学科の単位と合算し、各学科で定められた単位数を限度に卒業要件単位に算入できる。
④ 専門選択科目		
	自学科の専門科目	専門科目単位として、卒業要件単位に算入できる。
	他学科および他学部の専門科目	各学科で定められた単位数を限度に卒業要件単位に算入できる。

（4）環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換科目について

・履修の手続きは、年度当初に別途配布する資料を参照してください。
・講義概要は環びわ湖大学・地域コンソーシアムのホームページ（http://www.kanbiwa.jp/）参照してください。

科目名	地域行動論	２単位　前期
担当教員	鵜飼　修	
授業概要	地域（地域に存在する個人、団体、行政、企業など）に代表される多様な主体との連携・協働を図り、プロジェクトやまちづくり活動を推進する手法を学ぶ。多様な主体の多様な価値観に応対しつつ、プロジェクトを推進する為にはどのような視点、行動が求められるのか。具体的なケースの調査・分析を通じてその本質的な要因や手法を考察する。	
到達目標	・多様な主体が携わるプロジェクトやまちづくりを推進する手法に関する知識。 ・多様な主体が携わるプロジェクトやまちづくりを推進する手法を企画できる。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜、資料を配布する。 指定図書：岩崎 夏海「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」ダイヤモンド社	
成績評価	第2回～8回、10回～15回のミニレポート：80％　ミニテスト：20％	
履修資格	近江楽士（地域学）副専攻にエントリーしていること	

科目名	地域実践学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	鵜飼　修　・　近江楽座プロジェクト指導教員	
授業概要	「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する」を目的とした学生主体のプロジェクトを全学的に支援する教育プログラム「近江楽座」を体験し（楽座インターン）、地域活動の実践について現場で学ぶとともに、地域活動の実践に必要な、企画、マネジメント、情報発信などのスキルを修得する。楽座インターンにおいては、プロジェクトの長所および課題等の分析をおこない、それをふまえ、自ら地域貢献プロジェクトの企画立案を行えるようになることを目的とする。 なお、授業時間は、土曜日、日曜日、インターン先の楽座の活動日などが設定されるので、履修に当たってはその点を留意し、掲示やメールでの日程を確認すること。	
到達目標	・近江楽座の活動を知る ・地域活動の実践方法を知る	
テキスト 指定図書 参考書	適宜資料を配付する。	
成績評価	・当該年の授業計画に即して課すレポート及び成果報告：100％ 原則として、各回授業、インターンすべてに出席すること	
履修資格	近江楽士（地域学）副専攻への履修登録を行うこと	

科目名	地域実践学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	鵜飼　修　・　近江楽座プロジェクト指導教員	
授業概要	「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する」を目的とした学生主体のプロジェクトを全学的に支援する教育プログラム「近江楽座」を体験し（楽座インターン）、地域活動の実践について現場で学ぶとともに、地域活動の実践に必要な、企画、マネジメント、情報発信などのスキルを修得する。楽座インターンにおいては、プロジェクトの長所および課題等の分析をおこない、それをふまえ、自ら地域貢献プロジェクトの企画立案を行えるようになることを目的とする。なお、授業時間は、土曜日、日曜日、インターン先の楽座の活動日などが設定されるので、履修に当たってはその点を留意し、掲示やメールでの日程を確認すること。	
到達目標	・近江楽座の活動を知る ・地域活動の実践方法を知る	
テキスト 指定図書 参考書	適宜資料を配付する。	
成績評価	・当該年の授業計画に即して課すレポート及び成果報告：100％ 原則として、各回授業、インターンすべてに出席すること	
履修資格	近江楽士（地域学）副専攻への履修登録を行うこと	

科目名	地域実践学実習Ⅰ	２単位　後期
担当教員	鵜飼　修　・　近江楽座プロジェクト指導教員	
授業概要	「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する」を目的とした学生主体のプロジェクトを全学的に支援する教育プログラム「近江楽座」を体験し（楽座インターン）、地域活動の実践について現場で学ぶとともに、地域活動の実践に必要な、企画、マネジメント、情報発信などのスキルを修得する。楽座インターンにおいては、プロジェクトの長所および課題等の分析をおこない、それをふまえ、自ら地域貢献プロジェクトの企画立案を行えるようになることを目的とする。なお、授業時間は、土曜日、日曜日、インターン先の楽座の活動日などが設定されるので、履修に当たってはその点を留意し、掲示やメールでの日程を確認すること。	
到達目標	・近江楽座の活動を知る・地域活動の実践方法を知る	
テキスト 指定図書 参考書	適宜資料を配付する。	
成績評価	・当該年の授業計画に即して課すレポート及び成果報告：100％原則として、各回授業、インターンすべてに出席すること	
履修資格	近江楽士（地域学）副専攻への履修登録を行うこと	

科目名	地域実践学実習Ⅱ	２単位　後期
担当教員	鵜飼　修　・　近江楽座プロジェクト指導教員	
授業概要	「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する」を目的とした学生主体のプロジェクトを全学的に支援する教育プログラム「近江楽座」を体験し（楽座インターン）、地域活動の実践について現場で学ぶとともに、地域活動の実践に必要な、企画、マネジメント、情報発信などのスキルを修得する。楽座インターンにおいては、プロジェクトの長所および課題等の分析をおこない、それをふまえ、自ら地域貢献プロジェクトの企画立案を行えるようになることを目的とする。なお、授業時間は、土曜日、日曜日、インターン先の楽座の活動日などが設定されるので、履修に当たってはその点を留意し、掲示やメールでの日程を確認すること。	
到達目標	・近江楽座の活動を知る・地域活動の実践方法を知る	
テキスト 指定図書 参考書	適宜資料を配付する。	
成績評価	・当該年の授業計画に即して課すレポート及び成果報告：100％原則として、各回授業、インターンすべてに出席すること	
履修資格	近江楽士（地域学）副専攻への履修登録を行うこと	

科目名	地域診断法	２単位　前期
担当教員	鵜飼　修	
授業概要	地域（地域に存在する個人、団体、行政、企業など）とのつながりを形成するためには、まずその地域を「知る」ことが求められる。その地域の特性を知り、その地域に敬意をはらいつつ、未来をイメージすることで、地域住民等との円滑なコミュニケーションを図ることが可能となる。講義では、地域とのコミュニケーションを図るために地域を知る手法として、エコロジカルプランニングの手法を用い、当該地域を多面的、多段階的に捉え、地域住民との価値の共有、コミュニケーション、合意形成を図る手法を習得する。	
到達目標	簡易なエコロジカルプランニングの手法を用いて地域を診断することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：近江環人地域再生学座編「地域診断法」新評論，2012 その他適宜資料を配付する	
成績評価	ミニレポート50％、グループ成果物20％、試験30％	
履修資格	近江楽士（地域学）副専攻への履修登録	

第３章 資格取得の手引

第３章は、「履修の手引」特別編です。

本学に学ぶみなさんが、将来社会で活躍するのに必要な資格の取得について解説していますので、該当部分を熟読の上、履修計画をたててください。

手引の構成は以下のとおりです。

Ｐ.591～642 各種資格の解説と資格取得に必要な条件等を解説しています。

Ｐ.643～666 各種資格取得に必要な科目の講義概要を掲載しています。

資格取得に必要な科目のうち各学部の専門科目である科目は、各学部の講義概要を参照してください。（本手引に記載している講義概要は抜粋版です。詳しい講義概要については、学生ポータルSTEP-USPで確認してください。）

1　本学における免許・資格の取得等について

（1）免許・資格一覧

各学部・学科で取得可能な免許・資格は下表の通りです。

学　　部	学　　科	取得可能免許・資格
環境科学部	環境生態学科	中学校教諭一種免許（理科） 高等学校教諭一種免許（理科） 学芸員資格　　自然再生士補 甲種危険物取扱者試験受験資格⑳ 二級ビオトープ管理士（計画部門）資格試験一部免除
	環境政策・計画学科	高等学校教諭一種免許（公民） 学芸員資格　　社会調査士資格　GIS 学術士資格 二級ビオトープ管理士（計画部門）資格試験一部免除 自然再生士補　地域調査士資格㉔
	環境建築デザイン学科	一級建築士受験資格 二級・木造建築士受験資格 二級ビオトープ管理士（計画部門）資格試験一部免除
	生物資源管理学科	中学校教諭一種免許（理科） 高等学校教諭一種免許（理科・農業） 学芸員資格　　甲種危険物取扱者試験受験資格⑳ 二級ビオトープ管理士（計画部門）資格試験一部免除
工学部	材料科学科	高等学校教諭一種免許（理科・工業） 甲種危険物取扱者試験受験資格 毒物劇物取扱責任者資格⑳
	機械システム工学科	高等学校教諭一種免許（理科・工業）
	電子システム工学科	高等学校教諭一種免許（工業⑳・情報㉒） 電気通信主任技術者試験資格(1 科目免除)⑳ 電気主任技術者資格⑳
人間文化学部	地域文化学科	中学校教諭一種免許（社会）　　学芸員資格 高等学校教諭一種免許（地理歴史）　社会調査士資格
	生活デザイン学科	中学校教諭一種免許（家庭） 高等学校教諭一種免許（家庭） 学芸員資格 二級・木造建築士受験資格 インテリアプランナー登録資格
	生活栄養学科	中学校教諭一種免許（家庭） 高等学校教諭一種免許（家庭） 栄養教諭一種免許⑰ 栄養士資格　　管理栄養士受験資格⑮ 学芸員資格 食品衛生管理者および食品衛生監視員資格⑳
	人間関係学科	中学校教諭一種免許（社会）　　学芸員資格 高等学校教諭一種免許（公民）　社会調査士資格
	国際コミュニケーション学科	中学校教諭一種免許（英語） 高等学校教諭一種免許（英語）
人間看護学部	人間看護学科	看護師国家試験受験資格　保健師国家試験受験資格 助産師国家試験受験資格　養護教諭一種免許
全学部・学科		社会福祉主事任用資格

○内の数字は、平成の年度を表し、その年度以降の入学者でないと当該免許･資格が取得できません。

（2）その他

キャリア教育、ボランティア関連科目…単位認定型のキャリア教育およびボランティア関連科目を実施しています。

２　各学部・学科における教育職員免許の取得について

本学(環境建築デザイン学科、人間看護学部を除く。)では、「中学校教諭一種免許」と「高等学校教諭一種免許」が取得可能です。また、生活栄養学科では「栄養教諭一種免許」が、人間看護学部では「養護教諭一種免許」が取得可能です。

※　人間看護学部についてはP.606、生活栄養学科の栄養教諭免許の取得についてはP. 610を参照のこと。

※　この内容は２０１３（平成25）年度入学生用です。２０１２（平成24）年度以前の入学生は、自分の入学年度の「履修の手引」の第３章「資格取得等の手引」を参照してください。

本学において教育職員免許を取得するためには、次の表１の授業科目（単位数）を履修する必要があります。なお、これは最低単位数ですから、この単位数以上にできるだけ多く履修してください。

表１　本学における最低単位数

教育職員免許法上の区分	中学校教諭一種	高等学校教諭一種	備　　考
教職に関する科目	３１ 単位	２７ 単位	表２、（１）で説明
教科に関する科目	２０ 単位	２０ 単位	（５）で説明
教科または教職に関する科目	８　単位	１６ 単位	（２）で説明
教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目	◎憲法（２単位）		人間学・教職科目・必修
	◎健康・体力科学Ⅰ，Ⅱ（各１単位） ◎英語ⅡＡ、英語ⅡＢ（各１単位） ◎情報リテラシー（情報倫理を含む）（２単位）		卒業要件上の必修科目

表２　◆　教職に関する科目一覧表　◆

免許法施行規則に定める科目区分		免許法による必修単位	
科　目	各科目に含める必要事項	中学校	高等学校
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） ・進路選択に資する各種機会の提供等	２	２
教育の基礎理論に関する科目	・ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	６	６
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	１２	６ 本学では10単位必修
	・各教科の指導法		
	・道徳の指導法		
	・特別活動の指導法		
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)		
生徒指導教育相談及び進路指導に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	４	４
	・進路指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
教　育　実　習		５	３
教職実践演習		２	２
合　　計		３１	２３
			本学では27単位必修

（1）「教職に関する科目」の履修方法について

「教職に関する科目」は、『教職に関する科目一覧表』（表２）にしたがって履修してください。

- 「道徳教育論」は中学校教諭一種免許では必修、高等学校教諭一種免許では選択科目とします。
- 平成 21 年度以前入学生は、「教育制度論」と「生涯学習論」のどちらか１科目を選択必修とします。
- 表２※印「教育学概論」「教育方法論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」は人間文化学部人間関係学科専門科目です。

（2）「教科または教職に関する科目」の取扱いについて

① 原則的措置

「教科または教職に関する科目」として、中学免許で 8 単位、高校免許で 16 単位以上の修得が免許法で指定されていますが、本学ではこれを原則的に、「教科に関する科目」群から充当するものとします。したがって P.591 以降に掲げてある「教科に関する科目」群のなかから、中学免許の場合、28 単位以上、高校免許の場合 36 単位以上修得することを原則とします。

② 例外的措置

ただし、次のような例外的措置も認めます。

- 高校免許を希望する者は、「教職に関する科目」のうちから「道徳教育論」を単位修得した場合、それ（2 単位）を「教科または教職に関する科目」の単位の一部として充当することができる。

表 2（つづき）　　◎すべて必修

１年次		２年次		３年次		４年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
◎教職論 2							
		◎教育学概論(※) 2		◎教育心理学 (※) 2	◎教育制度論(※) 2		
		◎教科教育法Ⅰ 2 (各教科ごとに必修)（注） ◎教育方法論(※) 2	◎教科教育法Ⅱ 2 (各教科ごとに必修)（注） ◎特別活動論 2	道徳教育論 2 〈中学必修〉	◎教育課程論(※) 2		
			◎生徒指導論 2	◎教育相談・進路指導 2			
					◎教育実習・事前事後指導 （中）5（高）3		
							◎教職実践演習 2

（注）・教科教育法は原則として２年次以降に履修することとするが、教科によっては、時間割の都合上、上記の一覧表とは異なる学期に開講もしくは年次配当となることもあるので、年度当初に時間割表で十分確認すること。

- 「工業科教育法Ⅰ」「工業科教育法Ⅱ」は奇数年度開講（H25, 27, 29… ）
- 「農業科教育法Ⅰ」「農業科教育法Ⅱ」は偶数年度開講（H26, 28, 30… ）
- 「情報科教育法Ⅰ」「情報科教育法Ⅱ」は奇数年度開講（H25, 27, 29… ）
- 「職業指導」は偶数年度開講（H26, 28, 30… ）
- 「理科教育法Ⅱ」「家庭科教育法Ⅱ」は前期に開講される。
- 「家庭科教育法Ⅲ」「家庭科教育法Ⅳ」は選択科目である。
- 「英語科教育法Ⅲ」「英語科教育法Ⅳ」は選択科目である。

（３）「教育実習・事前事後指導」について

※履修登録は、３年後期および４年前期の２回とも必ず行うこと。

①　事前事後指導

事前指導は、教育実習実施前（３年次）の後期に４日間実施します。

事後指導は、教育実習終了後（４年次）に実施します。

②　教育実習の実施

「教育実習」は、原則として、４年次の前期に出身校または県内の協力校において、中学校教諭一種免許は３週間または４週間、高等学校教諭一種免許は２週間実施する予定です（受入校の都合により、実施時期を変更することがあります）。

人間看護学部の養護教育実習はP. 606を、生活栄養学科の栄養教育実習はP. 611を参照のこと。

③　教育実習参加の基礎要件

・教育実習に参加するためには、次の基礎要件を満たしていなければなりません。

「憲法」、「教職論」、「教育方法論」、「教育学概論」、「教科教育法Ⅰ・Ⅱ」を既に履修済か、履修中であること。

・教科に関する科目については、原則として中学校の教員免許を目指すものは20単位以上、高等学校の教員免許を目指すものは24単位以上を履修していること。

・中学校教諭一種免許の取得を希望する者は、教育実習受講年度において、後掲（４）の「介護等体験実習（７日間）」を実習済みか、実習中であること。

（４）「介護等体験実習」について

平成10年４月１日より介護等体験特例法が施行され、平成10年以降入学生から適用を受けることになりました。これは、単位修得とは別に社会福祉施設等において７日間の介護等体験（社会福祉施設５日間、特別支援学校２日間）が義務付けられるもので、本学では、中学校教諭一種免許の取得を希望するものが、３年次に介護等体験実習を受けることになります。これに関するオリエンテーションは、２年次の２月頃に開催します。

（５）「教科に関する科目」について

P. 591以降の表に従って、履修すること。

（６）隔年開講科目について

「工業科教育法Ⅰ」「工業科教育法Ⅱ」「農業科教育法Ⅰ」「農業科教育法Ⅱ」「情報科教育法Ⅰ」「情報科教育法Ⅱ」「職業指導」は、隔年開講となります。４回生時に不開講で履修できないこともあり得るので３回生までで履修済となるよう計画的に履修してください。

・「工業科教育法Ⅰ」「工業科教育法Ⅱ」は奇数年度開講（H25,27,29… ）

・「農業科教育法Ⅰ」「農業科教育法Ⅱ」は偶数年度開講（H26,28,30… ）

・「情報科教育法Ⅰ」「情報科教育法Ⅱ」は奇数年度開講（H25,27,29… ）

・「職業指導」は偶数年度開講（H26,28,30… ）

（７）「教職実践演習」について

４年次後期に履修すること。

環境科学部　★環境生態学科

中学校教諭一種免許（理科）に係る教科に関する科目

高等学校教諭一種免許（理科）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数 中学一種 必修	単位数 中学一種 選択	単位数 高校一種 必修	単位数 高校一種 選択	備考
環境物理学Ⅰ	1	2		2		
環境物理学Ⅱ	3	2		2		
河川環境学	2		2		2	
水文学	2		2		2	
環境化学Ⅰ	1	2		2		
環境化学Ⅱ	3	2		2		
陸域環境機能論	3		2		2	
集水域環境機能論	3		2		2	
水域環境機能論	3		2		2	
大気環境学	2		2		2	
集水域環境学	2		2		2	2010（H22）以前入学生は教職科目になりません。
集水域物質循環論	3		2		2	2010（H22）以前入学生は教職科目になりません。
環境生物学Ⅰ	1	2		2		
環境生物学Ⅱ	2	2		2		
森林環境学	2		2		2	
動物生態学	2		2		2	
陸域物質循環論	3		2		2	
海洋環境学	2		2		2	
遺伝学	2		2		2	
生物統計学	2		2		2	
分子生物学	3		2		2	
環境地球科学Ⅰ	2	2		2		
環境地球科学Ⅱ	2	2		2		
土壌環境化学	3		2		2	
湖沼環境学	2		2		2	
水域物質循環論	3		2		2	
環境物理学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	2	2		4		（注１）参照
環境化学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	1	2				
環境生物学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	1	2				
環境地球科学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	2	2				
環境解析学・同実験	2		4		4	
陸域環境学・同実験	3		4		4	
水域環境学・同実験	3		4		4	
集水域環境学・同実験	2		4		4	

（注１）中学校教諭一種免許状を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より４単位以上を修得しなければならない。

（注２）高等学校教諭一種免許状を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より16単位以上を修得しなければならない。ただし、環境物理学実験、環境化学実験、環境生物学実験、環境地球科学実験から2科目4単位以上を修得しなければならない。

環境科学部　　★環境政策・計画学科

高等学校教諭一種免許（公民）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
		必修	選択	
法学概論(国際法を含む)	3	2		
政治学Ⅰ	2	2		
政治学Ⅱ(国際政治を含む)	2	2		
環境法	2		2	
地域環境政策論	2		2	
環境政策学	2		2	
社会学	2	2		
経済学Ⅰ	1	2		
経済学Ⅱ(国際経済を含む)	2	2		
地域開発論	2		2	
環境経済学入門	1		2	
環境経済学	2		2	
地域調査法	1		2	
地域調査法演習	1		1	
政策計画演習Ⅰ	3		1	
政策計画演習Ⅱ	3		1	
政策計画演習Ⅲ	4		1	
環境監査	3		2	
環境社会学	1		2	
哲学概論Ａ	3	2		人間文化学部専門科目
環境倫理学	3		2	
心理学基礎	3	2		人間文化学部複数学科共通科目
環境心理学	2		2	
比較宗教論	2･3		2	隔年開講（2013（H25）不開講） 人間文化学部専門科目

（注）必修のすべての科目と、選択科目より20単位以上を修得しなければならない。

環境科学部　★生物資源管理学科

中学校教諭一種免許（理科）に係る教科に関する科目

高等学校教諭一種免許（理科）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数		単位数		備考
		中学一種		高校一種		
		必修	選択	必修	選択	
環境物理学Ⅰ	1	2		2		
環境物理学Ⅱ	3	2		2		環境生態学科専門科目
土壌環境物理学	2		2		2	
水文学	2		2		2	
環境化学Ⅰ	1	2		2		
環境化学Ⅱ	3	2		2		
陸域環境機能論	3		2		2	
集水域環境機能論	3		2		2	
環境植物生理学	2		2		2	2010（H22）以前入学生は「植物生化学」
植物栄養学	3		2		2	
環境生物学Ⅰ	1	2		2		
環境生物学Ⅱ	2	2		2		
森林環境学	2		2		2	
動物生態学	2		2		2	
遺伝学	2		2		2	
生物統計学	2		2		2	
分子生物学	3		2		2	
環境地球科学Ⅰ	2	2		2		
環境地球科学Ⅱ	2	2		2		環境生態学科専門科目
土壌環境化学	2		2		2	
湖沼環境学	2		2		2	
環境気象学	2		2		2	
環境物理学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	2	2		4		（注２）参照
環境化学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	1	2				
環境生物学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	1	2				
環境地球科学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む）	2	2				
生物資源管理学実験・実習Ⅱ	3		2		2	
生物資源管理学実験・実習Ⅳ	3		2		2	
生物資源管理学実験・実習Ⅵ	3		2		2	
生物資源管理学実験・実習Ⅶ	3		2		2	平成25年度入学生は受講することができません
生物資源管理学実験・実習Ⅷ	3		2		2	
生物資源管理学実験・実習Ⅸ	2		2		2	

（注１）中学校教諭一種免許状を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より4単位以上を修得しなければならない。

（注２）高等学校教諭一種免許状を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より16単位以上を修得しなければならない。ただし、環境物理学実験、環境化学実験、環境生物学実験、環境地球科学実験から2科目4単位以上を修得しなければならない。

（注３）この表は平成25年度入学生用です。平成24年度以前の入学生は、自分の入学年度の「履修の手引」の中の第3章「資格取得等の手引」の該当部分およびH24「履修の手引」212ページの科目配当表を参照してください。また、科目の読み替えについては207ページも確認するようにしてください。

環境科学部　　★生物資源管理学科

高等学校教諭一種免許（農業）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
		必修	選択	
持続的農業論	1･2･3･4		2	人間学科目
栽培植物各論Ａ	2		2	2009（H21）以前入学生は「栽培技術論」
栽培植物各論Ｂ	3		2	2009（H21）以前入学生は「栽培植物各論」
植物資源管理学	2		2	
植物遺伝資源学	2		2	
動物資源管理学	2		2	
家畜生産環境学	3		2	
植物生産学	1		2	
植物病害防除論	3		2	
害虫管理学	3		2	
植物資源開発学	3		2	2009（H21）以前入学生は「環境作物学」
応用微生物学	3		2	
生物資源循環論	3		2	平成25年度入学生は受講することができません
水資源利用学	2		2	
水資源保全学	3		2	
生物資源管理学実験・実習Ⅰ	3		2	
生物資源管理学実験・実習Ⅲ	2		2	
農業問題入門	1		2	人間学科目、2011（H23）以前入学生は「農業経済学」
農業経営学	2		2	
食料経済システム論	3		2	2010（H22）以前入学生は「農産物マーケティング論」
資源経済学	2		2	
環境経営論	2		2	
国際環境資源論	3		2	
測量学	2		2	
水理学	2		2	
農薬環境学	3		2	
生物資源化学	2		2	
作物保護学	2		2	
環境動物学	3		2	
水利環境施設学	3		2	
環境会計	3		2	
職業指導	1･2･3･4	2		教職用科目 隔年開講（2013(H25)不開講）

（注）必修のすべての科目と、選択科目より34単位以上を修得しなければならない。

工　学　部　　★材料科学科

高等学校教諭一種免許（理科）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
		必修	選択	
基礎力学	1	2		
基礎電磁気学	1		2	
材料力学Ⅰ	2		2	
電子と化学結合	1	2		
基礎化学	1	2		
基礎熱力学	1	2		
化学熱力学	2		2	
反応速度論	2		2	
電気化学	3		2	
無機化学Ⅰ	2	2		
無機化学Ⅱ	2		2	
有機化学Ⅰ	1	2		
有機化学Ⅱ	2	2		
有機化学Ⅲ	2		2	
分析化学	1		2	
有機化学総合および同演習	2		2	
物理化学総合および同演習	2		2	
材料計算化学および同演習	3		2	
環境生物学Ⅰ	1	2		環境科学部専門科目 2009（H21）以前入学生は「生物学Ⅰ」
環境生物学Ⅱ	2	2		環境科学部専門科目 2009（H21）以前入学生は「生物学Ⅱ」
生化学Ⅰ	2		2	
生化学Ⅱ	3		2	
環境地球科学Ⅰ	2	2		環境科学部専門科目 2009（H21）以前入学生は「地学Ⅰ」
環境地球科学Ⅱ	2	2		環境科学部専門科目 2009（H21）以前入学生は「地学Ⅱ」
物理学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	2	2		
分析・環境化学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	1	2		
定量・機器分析および同実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む)	2	2		
材料科学実験	3	6		

（注）必修すべての科目と選択科目より2単位以上修得しなければならない。

工　学　部　　★材料科学科

高等学校教諭一種免許（工業）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
		必修	選択	
材料科学概論	1	2		
機械システム工学概論	1		2	
電子システム工学概論	1		2	
基礎電気電子回路	1		2	
化学工学	2		2	
機器分析Ⅰ	2		2	
機器分析Ⅱ	3		2	
基礎結晶学	1		2	
環境調和化学	3	2		
金属材料	3		2	
セラミックス材料	3		2	
無機工業材料	4		1	
材料量子論	3		2	
材料組織学	4		2	
高分子物性	3		2	
エネルギー・界面科学	3		2	
複合材料	4		2	
高分子合成	3		2	
有機量子化学	4		1	
有機工業材料	4		1	
固体物性基礎	3		2	
材料強度物性	4		2	
分子・統計力学	3		2	
技術者倫理	3		2	
産業技術マネジメント	4		2	
職業指導	1･2･3･4	2		教職用科目 隔年開講（2013(H25)不開講）

（注）　必修のすべての科目と、選択科目より30単位以上を修得しなければならない。

工　学　部　　★機械システム工学科

高等学校教諭一種免許（理科）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
		必修	選択	
基礎力学	1	2		
基礎電磁気学	1	2		
材料力学Ⅰ	2	2		
材料力学Ⅱ	2		2	
工業力学	1	2		
熱力学Ⅰ	2	2		
熱力学Ⅱ	3		2	
統計熱力学	3		2	
伝熱学	3		2	
流体力学Ⅰ	2	2		
流体力学Ⅱ	3		2	
数値解析	4		2	
エネルギー変換工学	3		2	
電子と化学結合	1	2		
基礎化学	1		2	
分析化学	1		2	
環境生物学Ⅰ	1	2		環境科学部専門科目 2009（H21）以前入学生は「生物学Ⅰ」
環境生物学Ⅱ	2	2		環境科学部専門科目 2009（H21）以前入学生は「生物学Ⅱ」
生化学Ⅰ	2		2	材料科学科専門科目
生化学Ⅱ	3		2	材料科学科専門科目
環境地球科学Ⅰ	2	2		環境科学部専門科目 2009（H21）以前入学生は「地学Ⅰ」
環境地球科学Ⅱ	2	2		環境科学部専門科目 2009（H21）以前入学生は「地学Ⅱ」
物理学実験（コンピュータ活用を含む）	1	2		
分析・環境化学実験（コンピュータ活用を含む）	2	2		

（注）必修のすべての科目と、選択科目より10単位以上を修得しなければならない。

工　学　部　　★機械システム工学科

高等学校教諭一種免許（工業）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
		必修	選択	
材料科学概論	1		2	
機械システム工学概論	1	2		
基礎電気電子回路	1		2	
化学工学	2		2	
工業数学	2	2		
工業数理	4	2		
機械製作	1	2		
特殊加工学	4		2	
機械力学Ⅰ	3	2		
機械力学Ⅱ	3		2	
機械要素	2	2		
制御工学Ⅰ	3	2		
制御工学Ⅱ	3		2	
情報処理基礎	3	2		
動力システム	4		2	
メカトロニクス	3		2	
計測工学	3		2	
機械材料学	2	2		
金属材料	3		2	材料科学科専門科目
システム工学	4		2	2013（H25）年度不開講
ロボット工学	4		2	
現代制御工学	3		2	
生産工学	3	2		（注１）
機械設計演習Ⅰ	2	2		
機械設計演習Ⅱ	3	2		
機械設計演習Ⅲ	3	2		
機械製作実習	2	2		
機械システム工学実験Ⅰ	3	2		
機械システム工学実験Ⅱ	3	2		
金属加工学	3		2	
電子システム工学概論	1		2	
職業指導	1･2･3･4	2		教職用科目 隔年開講（2013(H25)不開講）

（注）　必修のすべての科目と、選択科目より2単位以上を修得しなければならない。

（注１）　2009（平成21）年度以前入学生は、「生産工学」を「生産工学Ⅰ」に読み替えます。

工　学　部　　★電子システム工学科

高等学校教諭一種免許（工業）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
		必修	選択	
材料科学概論	1		2	
機械システム工学概論	1		2	
電子システム工学概論	1	2		
基礎電磁気学	1	2		
工業数学	2	2		
電磁気学Ⅰ	2	2		
電磁気学Ⅱ	2		2	
電気回路Ⅰ	2	2		
電気回路Ⅱ	2		2	
電子回路Ⅰ	2	2		
電子回路Ⅱ	3	2		
量子力学概論	2		2	
物性デバイス基礎論	2		2	
半導体基礎	2	2		
集積化プロセス工学	4		2	
電気エネルギーシステム工学	3		2	
半導体デバイス	3		2	
電磁波工学	3		2	
電子デバイス	3		2	
パワーエレクトロニクス	4		2	
職業指導	1･2･3･4	2		教職用科目 隔年開講（2013(H25)不開講）

（注）　必修のすべての科目と、選択科目より18単位以上を修得しなければならない。

工　学　部　　★電子システム工学科

高等学校教諭一種免許（情報）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
		必修	選択	
電子社会と人間	1･2･3･4	2		人間学科目
工業数理	3		2	
電気電子計測Ⅰ	3		2	
電気電子計測Ⅱ	3		2	
制御工学	3		2	
コンピュータハードウェア	2	2		
アルゴリズムとデータ構造	2	2		
プログラミング言語	2	2		
情報理論	2		2	
数値解析・数値計算	3		2	
情報処理基礎	3	2		
プログラミング基礎	2	2		
コンピュータアーキテクチャ	3	2		
コンピュータソフトウェア	3	2		
情報科学概論	1	2		全学共通基礎科目（情報処理）
応用電子機器	3		2	
集積回路設計基礎	3		2	
光エレクトロニクス	4		2	
ロボット工学	4		2	
情報通信工学	3	2		
インターネット工学	3	2		
電子システム工学実験Ⅱ	2	2		
ディジタル信号処理	2		2	
マルチメディア	3	2		
電子システム工学演習Ⅲ	3	1		
情報と職業	1･2･3･4	2		教職用科目 隔年開講（2014（H26）不開講）

（注）　必修のすべての科目と、選択科目より8単位以上を修得しなければならない。

人間文化学部　　★地域文化学科

中学校教諭一種免許（社会）に係る教科に関する科目

高等学校教諭一種免許（地理歴史）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数 中学一種		単位数 高校一種		備考
		必修	選択	必修	選択	
日本史概説	1･2	2		2		
日本社会論	1･2	2		2		
考古学	1･2	2		2		
基層文化論	1･2		2		2	
日本文化史論Ａ	2･3･4		2		2	隔年開講（2014（H26）不開講）
日本文化史論Ｂ	2･3･4		2		2	隔年開講（2013（H25）不開講）
日本・地域交流特論	3･4		2		2	
対外文化交流論Ａ	2･3･4		2		2	
対外文化交流論Ｂ	2･3･4		2		2	隔年開講（2013（H25）不開講）
古文書演習Ⅰ	2･3		1		1	
古文書演習Ⅱ	2･3		1		1	
考古学特論Ａ	3･4		2		2	
考古学特論Ｂ	3･4		2		2	
西洋史概説	2･3	2		2		
東洋史概説	1･2	2		2		
中国地域文化論	2･3		2		2	
朝鮮地域文化論	2･3		2		2	隔年開講（2014（H26）不開講）
東アジア世界論	2･3･4		2		2	隔年開講（2013（H25）不開講）
東アジア考古学概論	1･2		2		2	隔年開講（2014（H26）不開講）
人文地理学Ａ	1･2	2		2		
人文地理学Ｂ	2･3･4	2		2		
自然地理学	3･4	2		2		2009（H21）以前入学生は教職科目
地域研究論	1･2		2		2	
地誌学	3･4	2		2		2009（H21）以前入学生は教職科目
法学概論（国際法を含む）	2	2		－	－	人間関係学科専門科目
政治学Ⅰ	2		2	－	－	人間関係学科専門科目
政治学Ⅱ（国際政治を含む）	2		2	－	－	人間関係学科専門科目
社会学概論	1･2	2		－	－	2010（H22）年度以前入学生は「社会学」
哲学概論Ａ	2･3	2		－	－	
哲学概論Ｂ	2･3		2	－	－	隔年開講（2014（H26）不開講）
比較宗教論	2･3		2	－	－	隔年開講（2013（H25）不開講）

（注１）中学校教諭一種免許状（社会）を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より4単位以上を修得しなければならない。

（注２）高等学校教諭一種免許状（地理歴史）を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より18単位以上を修得しなければならない。

人間文化学部　　★生活デザイン学科

中学校教諭一種免許（家庭）に係る教科に関する科目

高等学校教諭一種免許（家庭）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数 中学一種		単位数 高校一種		備考
		必修	選択	必修	選択	
生活経営論	3	2		2		
消費生活論	1	2		2		
比較衣装論	1		2		2	隔年開講(2013（H25）不開講)
生活素材論	2	2		2		
服飾デザイン論	2		2		2	
服飾デザイン演習Ⅰ	2	2		2		
服飾デザイン演習Ⅱ	3		2		2	
服飾デザイン演習Ⅲ	3		2		2	
服飾環境論	3		2		2	
染色学	2		2		2	
服飾造形論	3	2		2		
基礎栄養学Ⅰ	1	2		2		生活栄養学科専門科目
応用栄養学Ⅰ	2		2		2	生活栄養学科専門科目
応用栄養学Ⅱ	3		2		2	生活栄養学科専門科目
臨床栄養学Ⅰ	2		2		2	生活栄養学科専門科目
臨床栄養学Ⅱ	3		2		2	生活栄養学科専門科目
公衆栄養学	3		2		2	生活栄養学科専門科目
食品学総論	1	2		2		生活栄養学科専門科目
食品機能科学	3		2		2	生活栄養学科専門科目
食品衛生学	2		2		2	生活栄養学科専門科目
食品の調理と加工	2	2		2		生活栄養学科専門科目
嗜好と調理実習Ⅰ	1	1		1		生活栄養学科専門科目
栄養生化学	1		2		2	生活栄養学科専門科目
比較食文化論	1		2		2	生活栄養学科専門科目
疾病と栄養	2		2		2	生活栄養学科専門科目
比較住居論	1	2		2		
インテリア計画論	2		2		2	
住環境論	3		2		2	
道具計画論	3		2		2	
基礎設計製図	1		2	2		
住環境設計演習Ⅰ	2		2		2	
住環境設計演習Ⅱ	2		2		2	
保育学(実習及び家庭看護を含む)	3･4	2		2		教職用科目
家庭電気・機械(情報処理を含む)	2～4	－	－	2		教職用科目

（注１）中学校教諭一種免許状を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より7単位以上を修得しなければならない。

（注２）高等学校教諭一種免許状を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より１１単位以上を修得しなければならない。

（注３）「比較衣装論」は隔年開講。卒業までに２回しか履修機会がないため、４回生時に不開講で履修できないケースもあり得るので、３回生までで履修済となるよう早めに履修すること。

（注４）平成２１年度以前入学生は「基礎栄養学Ⅰ」を「栄養学総論」に、「応用栄養学Ⅰ」および「応用栄養学Ⅱ」を「栄養学各論」に読み替えます。

（注５）「基礎栄養学Ⅰ」は「栄養学総論」、「応用栄養学Ⅰ」および「応用栄養学Ⅱ」は「栄養学各論」が名称変更されたものであるため、平成２１年度以前入学者で名称変更前の科目を履修した者は新名称科目を履修できません。

人間文化学部　　★生活栄養学科

中学校教諭一種免許（家庭）に係る教科に関する科目

高等学校教諭一種免許（家庭）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数 中学一種		単位数 高校一種		備考
		必修	選択	必修	選択	
生活経営論	3	2		2		
消費生活論	1	2		2		
被服学	2･3	2		2		隔年開講(2013（H25）不開講）教職用科目
服飾製作実習	2	1		1		隔年開講(2013（H25）不開講）教職用科目
比較衣装論	1		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目 隔年開講(2013（H25）不開講）
生活素材論	2		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
服飾デザイン論	2		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
服飾デザイン演習Ⅰ	2		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
服飾デザイン演習Ⅲ	3		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
服飾環境論	3		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
染色学	2		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
服飾造形論	3		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
基礎栄養学Ⅰ	1	2		2		
応用栄養学Ⅰ	2		2		2	
応用栄養学Ⅱ	3		2		2	
臨床栄養学Ⅰ	2		2		2	
臨床栄養学Ⅱ	3		2		2	
公衆栄養学	3		2		2	
食品学総論	1	2		2		
食品機能科学	3		2		2	
食品衛生学	2		2		2	
食品の調理と加工	2	2		2		
嗜好と調理実習Ⅰ	1	1		1		
栄養生化学	1		2		2	
比較食文化論	1		2		2	
疾病と栄養	3		2		2	
比較住居論	1	2		2		
インテリア計画論	2		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
住環境論	3		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
道具計画論	3		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
基礎設計製図	1		2	2		生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
住環境設計演習Ⅰ	2		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
住環境設計演習Ⅱ	2		2		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
保育学(実習及び家庭看護を含む)	3･4	2		2		教職用科目
家庭電気・機械(情報処理を含む)	2～4	－	－	2		教職用科目

（注１）中学校教諭一種免許状を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より10単位以上を修得しなければならない。
（注２）高等学校教諭一種免許状を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より14単位以上を修得しなければならない。
（注３）「被服学」「比較衣装論」「服飾製作実習」は隔年開講。卒業までに２回しか履修機会がないため，４回生時に不開講で履修できないケースもあり得るので、３回生までで履修済となるよう早めに履修すること。

（注４）2009（平成21）年度以前入学生は「基礎栄養学Ⅰ」を「栄養学総論」に、「応用栄養学Ⅰ」および「応用栄養学Ⅱ」を「栄養学各論」に読み替えます。

（注５）「基礎栄養学Ⅰ」は「栄養学総論」、「応用栄養学Ⅰ」および「応用栄養学Ⅱ」は「栄養学各論」が名称変更されたものであるため、2009（平成21）年度以前入学者で名称変更前の科目を履修した者は新名称科目を履修できません。

人間文化学部　　★人間関係学科

中学校教諭一種免許（社会）に係る教科に関する科目

高等学校教諭一種免許（公民）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数		単位数		備考
		中学一種		高校一種		
		必修	選択	必修	選択	
日本史概説	1･2	2		－	－	地域文化学科専門科目
日本社会論	1･2	2		－	－	
東洋史概説	1･2	2		－	－	地域文化学科専門科目
西洋史概説	2･3	2		－	－	地域文化学科専門科目
人文地理学Ａ	1･2	2		－	－	地域文化学科専門科目
人文地理学Ｂ	2･3･4		2	－	－	地域文化学科専門科目
自然地理学	3･4	2		－	－	地域文化学科専門科目（2009（H21）以前入学生は教職科目）
地誌学	3･4	2		－	－	地域文化学科専門科目（2009（H21）以前入学生は教職科目）
法学概論(国際法を含む)	2	2		2		
政治学Ⅰ	2		2	2		
政治学Ⅱ(国際政治を含む)	2		2	2		
地域運動論	3･4		2		2	隔年開講（2013（H25）不開講）
社会学概論	1･2	2		2		H22年度以前入学生は「社会学」
社会変動論	3･4		2	2		隔年開講（2014（H26）不開講）、2010（H22）年度以前入学生は「社会システム基礎論」
社会調査論	1		2	2		2004（H16）年度以前入学生は「社会調査論（統計を含む）」
人間行動論	1		2		2	
社会問題の社会学	2		2		2	2011（H23）年度以降入学生のみ対象
現代社会福祉論	3･4		2		2	
社会・経済政策論	3･4		2		2	
政治経済学	3･4	2		2		隔年開講（2014（H26）不開講）
組織とネットワークの社会学	3･4		2		2	2010（H22）年度以前入学生は「経営組織論」
社会学演習	2		2		2	2010（H22）年度以前入学生は「社会論演習」
行動論演習	2		2		2	
形成論演習	2		2		2	
哲学概論Ａ	2･3	2		2		
哲学概論Ｂ	2･3		2		2	隔年開講（2014（H26）不開講）
比較宗教論	2･3		2		2	隔年開講（2013（H25）不開講）
心理学基礎	1	－	－	2		
臨床心理学	3･4	－	－	2		
社会心理学	2	－	－		2	
高齢者行動論	3･4	－	－		2	隔年開講（2013（H25）不開講）

（注１）中学校教諭一種免許状(社会)を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より6単位以上を修得しなければならない。

（注２）高等学校教諭一種免許状(公民)を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より16単位以上を修得しなければならない。

人間文化学部　　★国際コミュニケーション学科

中学校教諭一種免許（英語）に係る教科に関する科目

高等学校教諭一種免許（英語）に係る教科に関する科目

授業科目の名称	開講年次	単位数		単位数		備考
		中学一種		高校一種		
		必修	選択	必修	選択	
英語学概論	1	2		2		
現代英文法	2		2		2	
英語音声学	2		2		2	
言語学概論	1		2		2	
英米文学概論	2	2		2		
英米文学講読	3		2		2	
リスニング（中級）	2	2		2		
実践英語対策講座	1		2		2	
リーディング（中級）	1		2		2	
留学英語対策講座Ⅰ	1		2		2	
英語表現法	2		2		2	
時事英語	2		2		2	
エッセイ・ライティング	2		2		2	
メディアの英語	3		2		2	
アカデミック・リスニング	3		2		2	
国際コミュニケーション論	1	2		2		
イングリッシュレクチャーＡ	1		2		2	
イングリッシュレクチャーＢ	2		2		2	
欧米文化論Ｃ	2		2		2	
欧米文化論Ｄ	2		2		2	

（注１）中学校教諭一種免許状(英語)を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より20単位以上を修得しなければならない。

（注２）高等学校教諭一種免許状(英語)を取得する者は、必修のすべての科目と、選択科目より28単位以上を修得しなければならない。

人間看護学部における養護教諭免許の取得について

◆養護教諭一種免許取得のための科目履修方法について
・次表および次ページの「教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目」、「教職に関する科目」、「養護に関する科目」をすべて履修してください。（すべて必修）

◆教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目◆

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	本学開講科目	単位数	備考
日本国憲法	２	○憲法	２	人間学・教職科目
体育	２	○健康・体力科学Ⅰ ○健康・体力科学Ⅱ	１ １	全学共通基礎科目
外国語コミュニケーション	２	○英語ⅡＡ、英語ⅡＢ（各１単位）	２	全学共通基礎科目
情報機器の操作	２	○情報リテラシー（情報倫理を含む）	２	全学共通基礎科目

◆教職に関する科目◆

免許法施行規則に定める科目区分		免許法による必修単位	本学開講科目	単位数
科目	各科目に含める必要事項		配当年次は１～４年次	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	２	○教職論	２
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	４	○教育学概論 ○教育心理学 ○教育制度論	２ ２ ２
教育課程に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・道徳及び特別活動に関する内容 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	４	○教育課程論 ○特別活動論 ○教育方法論	２ ２ ２
生徒指導及び教育相談に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	４	○生徒指導論 ○教育相談・進路指導	２ ２
養護教育実習		５	○教育実習・事前事後指導（養護）	５
教職実践演習		２	○教職実践演習（養護） ※4 年次後期	２
合　　計		２１	本学では２５単位 必修	

・「教育実習・事前事後指導」について

①履修登録は、３年後期および４年前期とも必ず行うこと。
②事前指導は、教育実習実施前（３年次）の２～３月頃に４日間実施します。
③事後指導は、教育実習終了後（４年次）に実施します。
④「教育実習」は、原則として、４年次に出身校または彦根市内の協力校において３週間実施する予定です。
⑤教育実習参加の基礎要件
教育実習に参加するためには、次の基礎要件を満たしていなければなりません。
「憲法」、「教職論」、「教育学概論」、「教育方法論」、「学校保健論」、「学校看護論」を履修済か履修中であること。

・ **「教職実践演習（養護）」について**
　４年次後期に履修すること。
・ それ以外の「教職に関する科目」については年次配当の規定はありませんので、年度当初に配布する時間割表で十分に確認し、低年次にできるだけ履修してください。

◆養護教諭二種免許取得のための科目履修方法について
・ 保健師国家試験受験資格に必要な科目および人間学科目である「憲法」を履修してください。保健師資格を取得後、在住する教育委員会に申請することで二種免許を取得することができます。

人間看護学部　　★人間看護学科

養護教諭一種免許の取得に必要な「養護に関する科目」は、次の表によって履修してください。

養護教諭一種免許に係る養護に関する科目
（1）2012（平成２４）年度以降入学生用、2014（平成 26）年度編入学生用

授業科目の名称	開講年次	単位数	備考
公衆衛生学	2	2	
疫学	2	2	
学校保健論	3	2	教職用科目
学校看護論	3	2	教職用科目
公衆衛生看護学Ⅰ	3・4	2	いずれか１科目選択
健康教育論	3・4	2	
栄養と人間	1	2	
体のしくみと機能Ⅰ	1	2	
体のしくみと機能Ⅱ	1	2	
体のしくみと機能Ⅲ	1	2	
薬理学	2	2	
健康科学Ⅰ	1	2	
健康科学Ⅱ	1	2	
メンタルヘルスケア	1	2	
精神臨床看護学演習	3	1	
精神臨床看護学実習	3	2	
人間看護学概論	1	2	
看護理論	2	2	
基礎看護技術Ⅰ	1	1	
基礎看護技術Ⅱ	1	2	
基礎看護技術Ⅲ	2	1	
基礎看護技術Ⅳ	2	2	
基礎看護学実習Ⅰ	1	1	
基礎看護学実習Ⅱ	2	2	
小児看護学概論	1	1	
小児臨床看護学	2	2	
小児臨床看護学演習	3	1	
小児臨床看護学実習	3	2	
成人看護学概論	1	1	
成人臨床看護学	2	2	
成人クリティカルケア演習	3	1	
成人クリティカルケア実習	3	2	
公衆衛生看護学概論	2	2	

養護教諭一種免許に係る養護に関する科目

（１）2010～2011（平成 22～23）年度入学生用、2012～2013（平成 24～25）年度編入学生用

授業科目の名称	開講年次	単位数		備考
		必修	選択	
体のしくみと機能Ⅰ	1	2		
体のしくみと機能Ⅱ	1	2		
健康科学Ⅱ	1	2		
精神保健看護論	1	2		
発達看護論Ⅰ	1	1		
発達看護論Ⅱ	1	1		
生活行動看護論演習Ⅰ	1	2		
地域保健論	2	2		
疾病論Ⅰ	2	1		
疾病論Ⅱ	2	1		
地域看護論Ⅰ	2	2		
栄養と健康	2	2		
薬理学	2	1		
臨床看護論Ⅰ	2	1		
臨床看護論Ⅱ	2	1		
成人臨床看護論演習Ⅰ	2	1		
生活行動看護論演習Ⅱ	2	1		
学校保健論	3	2		教職用科目
学校看護論	3	2		教職用科目
地域看護論Ⅱ	3	2		
地域看護論演習	3	2		
精神臨床看護論演習	3	1		
小児臨床看護論演習	3	1		
成人臨床看護論演習Ⅱ	3	1		
成人臨床看護論実習Ⅰ	3～4	2		
成人臨床看護論実習Ⅱ	3～4	2		
精神臨床看護論実習	3～4	2		
小児臨床看護論実習	3～4	2		

注　上記科目は、原則として開講年次に履修すること。

生活栄養学科における栄養教諭免許の取得について

◆栄養教諭一種免許取得のための科目履修方法について

- 次表の「教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目」、「教職に関する科目」、「栄養に係る教育に関する科目」をすべて履修してください。(すべて必修)
- **栄養教諭免許の取得には、栄養士免許の取得および管理栄養士養成課程の修了が必要となります。**

◆教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目◆

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	本学開講科目	単位数	備考
日本国憲法	２	○憲法	２	人間学・教職科目
体育	２	○健康・体力科学Ⅰ ○健康・体力科学Ⅱ	１ １	全学共通基礎科目
外国語コミュニケーション	２	○英語ⅡＡ、英語ⅡＢ（各１単位）	２	全学共通基礎科目
情報機器の操作	２	○情報リテラシー（情報倫理を含む）	２	全学共通基礎科目

◆教職に関する科目◆

免許法施行規則に定める科目区分		免許法による必修単位	本学開講科目 配当年次はP. 558 表を参照	単位数
科目	各科目に含める必要事項			
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	２	○教職論	２
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	４	○教育学概論 ○教育心理学 ○教育制度論	２ ２ ２
教育課程に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・道徳及び特別活動に関する内容 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	４	○教育課程論 ○道徳教育論 ○特別活動論 ○教育方法論	２ ２ ２ ２
生徒指導及び教育相談に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	４	○生徒指導論 ○教育相談・進路指導	２ ２
栄養教育実習		２	○栄養教育実習・事前事後指導	２
教職実践演習		２	○教職実践演習（栄養） ※４年次後期	２
合　　計		１８	本学では２４単位 必修	

◆栄養に係る教育に関する科目◆

授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
○学校栄養指導論	２・３	２		教職用科目　隔年開講（2013（H25）不開講）
○食生活教育論	２・３	２		教職用科目　隔年開講（2013（H25）開講）

・「栄養教育実習・事前事後指導」について

①履修登録は、３年後期および４年前期とも必ず行うこと。

②事前指導は、栄養教育実習実施前（３年次）に実施します。実施日は、掲示により連絡します。

③事後指導は、栄養教育実習終了後（４年次）に実施します。実施日は、掲示により連絡します。

④「栄養教育実習」は、原則として、４年次に県内の協力校において１週間実施する予定です。

⑤教育実習参加の基礎要件

教育実習に参加するためには、次の基礎要件を満たしていなければなりません。

「憲法」、「教職論」、「教育方法論」、「教育学概論」、「学校栄養指導論」、「食生活教育論」を履修済か履修中であること。

・　「教職実践演習（栄養）」について

４年次後期に履修すること。

・「栄養教育実習・事前事後指導」について

①履修登録は、３年後期および４年前期とも必ず行うこと。

②事前指導は、栄養教育実習実施前（３年次）に実施します。実施日は、掲示により連絡します。

③事後指導は、栄養教育実習終了後（４年次）に実施します。実施日は、掲示により連絡します。

④「栄養教育実習」は、原則として、４年次に県内の協力校において１週間実施する予定です。

⑤教育実習参加の基礎要件

教育実習に参加するためには、次の基礎要件を満たしていなければなりません。

「憲法」、「教職論」、「教育方法論」、「教育学概論」、「学校栄養指導論」、「食生活教育論」を履修済か履修中であること。

・　「教職実践演習（栄養）」について

４年次後期に履修すること。

３　「学芸員」の資格取得について

学芸員は、博物館の専門職員です。学芸員の資格は、「博物館法」に基づいて授与されます。
学芸員となるための資格は、「学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの」となっています。
本学においては、学芸員の資格取得に必要な授業科目は別表1、2に示されています。

履修にあたっては、次の点に留意してください。
①学芸員の資格を取得する者は、必修の全ての科目と、選択科目より10単位以上を修得しなければならない。
②4年次開講の「博物館実習」を履修しようとする者は、原則として3回生までに「博物館学概論」、「博物館資料論」、「博物館情報・メディア論」および「生涯学習論」を含む10単位以上を修得していなければならない。
③学内実習施設の都合により、4年次開講の「博物館実習」の受講人数を制限する場合があります。

別表１　　学芸員の資格取得に必要な授業科目（環境科学部）　※2013(平成25)年度入学生用

授業科目の名称	開講年次	単位数		備　　考
		必修	選択	
博物館学概論	2	2		学芸員用科目
博物館経営論	3･4	2		人間文化学部地域文化学科専門科目　（2013（H25）年度未開講）
博物館資料論	2･3	2		学芸員用科目
博物館資料保存論	3･4	2		学芸員用科目　（2013（H25）年度未開講）
博物館展示論	3･4	2		人間文化学部地域文化学科専門科目　（2013（H25）年度未開講）
博物館教育論	3･4	2		学芸員用科目　（2013（H25）年度未開講）
生涯学習論	2	2		人間文化学部人間関係学科専門科目
博物館情報・メディア論	2･3	2		学芸員用科目
博物館実習	4	3		学芸員用科目
自然保護論	1･2･3･4		2	人間学
環境科学概論Ⅰ	1		2	環境科学部学部共通基礎科目
環境科学概論Ⅱ	1		2	環境科学部学部共通基礎科目
環境生物学Ⅰ	1		2	環境科学部複数学科共通科目
環境生物学Ⅱ	2		2	環境科学部複数学科共通科目
環境地球科学Ⅰ	2		2	環境科学部複数学科共通科目
河川環境学	2		2	環境科学部複数学科共通科目
森林環境学	2		2	環境科学部複数学科共通科目
遺伝学	2		2	環境科学部複数学科共通科目
湖沼環境学	2		2	環境科学部複数学科共通科目
動物生態学	2		2	環境科学部複数学科共通科目
分子生物学	3		2	環境科学部複数学科共通科目
陸域環境影響調査指針	3		2	環境科学部複数学科共通科目
集水域環境影響調査指針	3		2	環境生態学科専門科目
水域環境影響調査指針	3		2	環境科学部複数学科共通科目
陸域生態系保全修復論	3		2	環境科学部複数学科共通科目
集水域生態系保全修復論	3		2	環境科学部複数学科共通科目
水域生態系保全修復論	3		2	環境生態学科専門科目
植物生産学	1		2	生物資源管理学科専門科目
琵琶湖環境学	1		2	環境生態学科専門科目
環境地球科学Ⅱ	2		2	環境生態学科専門科目
環境変遷史	1		2	環境生態学科専門科目
海洋環境学	2		2	環境生態学科専門科目
大気環境学	2		2	環境生態学科専門科目
集水域環境学	2		2	環境生態学科専門科目
動物資源管理学	2		2	生物資源管理学科専門科目
植物資源管理学	2		2	生物資源管理学科専門科目
水産資源学	2		2	生物資源管理学科専門科目

※別表は2013(平成25)年度入学生用です。2012(平成24)年度以前の入学生は自分の入学年度の「履修の手引」の中の第３章「資格取得等の手引」の該当部分を参照してください。

別表２　　学芸員の資格取得に必要な授業科目（人間文化学部）　※平成25年度入学生用

授業科目の名称	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
博物館学概論	2	2		学芸員用科目
博物館経営論	3･4	2		人間文化学部地域文化学科専門科目　（2013（H25）年度未開講）
博物館資料論	2･3	2		学芸員用科目
博物館資料保存論	3･4	2		学芸員用科目　（2013（H25）年度未開講）
博物館展示論	3･4	2		人間文化学部地域文化学科専門科目　（2013（H25）年度未開講）
博物館教育論	3･4	2		学芸員用科目　（2013（H25）年度未開講）
生涯学習論	2	2		人間文化学部人間関係学科専門科目
博物館情報・メディア論	2･3	2		学芸員用科目
博物館実習	4	3		学芸員用科目
日本文化論	1・2		2	地域文化学科専門科目
考古学	1・2		2	地域文化学科専門科目
考古学特論Ｂ	3・4		2	地域文化学科専門科目　（2013（H25）年度未開講）
民俗学	1・2		2	地域文化学科専門科目
西洋史概説	2･3		2	地域文化学科専門科目
芸術学	1・2		2	地域文化学科専門科目
美術史Ａ	2･3･4		2	地域文化学科専門科目＊隔年開講　（2013（H25）年度不開講）
美術史Ｂ	2･3･4		2	地域文化学科専門科目＊隔年開講　（2014（H26）年度不開講）
人文地理学Ａ	1・2		2	地域文化学科専門科目
人文地理学Ｂ	2･3･4		2	地域文化学科専門科目
文化財・保存修景論Ａ	2･3		2	地域文化学科専門科目＊隔年開講（2013（H25）年度不開講）
文化財・保存修景論Ｂ	3・4		2	地域文化学科専門科目＊隔年開講（2014（H26）年度不開講）
比較住居論	1		2	人間学、人間文化学部複数学科共通科目
比較道具論	1		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
比較衣装論	1		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目　＊隔年開講（2013(H25)年度不開講）
比較食文化論	1		2	生活栄養学科専門科目
考現学概論	1		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
道具デザイン史	3		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目
現代産業デザイン論	3		2	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科専門科目　＊隔年開講（2013(H25)年度不開講）

※別表は2013(平成25)年度入学生用です。2012(平成24)年度以前の入学生は自分の入学年度の「履修の手引」の中の第３章「資格取得等の手引」の該当部分を参照してください。

４　「栄養士」の免許取得と「管理栄養士受験資格」について

栄養士の免許は、「栄養士法」に基づいて授与されます。本学において栄養士の免許取得に必要な授業科目は、以下の別表1に示されています。なお、栄養士の免許を取得できるのは、人間文化学部生活栄養学科の学生に限られています。

「管理栄養士受験資格」は、別表2に示された管理栄養士受験資格取得に必要な授業科目の単位を取得するか、あるいは栄養士免許の取得後、1年の栄養士実務経験を経れば与えられます。

単位の取得については、原則として毎回の出席を前提とします。

以下の別表1，別表2は、2012(平成24)年度入学生から適用されます。2011(平成23)年度以前の入学生は自分の入学年度の「履修の手引」の中の第3章「資格取得等の手引」の該当部分を参照してください。

別表1　栄養士の免許取得に必要な授業科目(2012(平成24)年度入学生から適用)

栄養士法施行規則別表１			本学の授業科目				
教育内容	単位数		授業科目	単位数			
	講義演習	実験演習		講義演習	実験演習	講義演習計	実験演習計
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学	2		4	5
			社会福祉概論	2			
人体の構造と機能	8		生体の構造と機能	2		8	
			疾病の成り立ち（含疾病と微生物）	2			
			病態生理学実習		1		
			運動と健康	2			
			栄養生化学	2			
			栄養生化学実験		1		
食品と衛生	6		食品学総論	2		6	
			食品機能科学	2			
			食品基礎実験		1		
			食品機能科学実験		1		
			食品衛生学	2			
			食品衛生学実験		1		
栄養と健康	8	10	基礎栄養学Ⅰ	2		12	12
			基礎栄養学Ⅱ	2			
			基礎栄養学実験		1		
			応用栄養学Ⅰ	2			
			応用栄養学Ⅱ	2			
			応用栄養学実習		1		
			臨床栄養学Ⅰ	2			
			臨床栄養学Ⅱ	2			
			臨床栄養学実習Ⅰ		1		
			臨床栄養学実習Ⅱ		1		
栄養の指導	6		栄養教育論Ⅰ	2		6	
			栄養教育論実習		1		
			栄養教育論Ⅱ	2			
			公衆栄養学	2			
			公衆栄養学実習		1		
給食の運営	4		食品の調理と加工	2		8	
			食品加工実習		1		
			嗜好と調理実習Ⅰ		1		
			嗜好と調理実習Ⅱ		1		
			給食経営管理論	2			
			給食経営管理実習（校内実習）		1		
			給食衛生管理実習（校内実習）		1		
			給食経営管理臨地実習（校外実習）		1		
			食料経済システム論	2			
			比較食文化論	2			
小計	36	14	小計	44	17	44	17
合計	50		合計			61	

別表2　管理栄養士受験資格に必要な授業科目（2012(平成24)年度入学生から適用）

教育内容		単位数 講義又は演習	単位数 実験又は実習	科目名	単位数 講義又は演習	単位数 実験又は実習
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	社会福祉概論	2	
				生命科学と人間	2	
				健康心理学	2	
				公衆衛生学	2	
				人間行動論	2	
				健康情報管理実習		1
				社会・環境と健康の小計	10	1
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		生体の構造と機能	2	
				分子生物学基礎	2	
				疾病の成り立ち（含疾病と微生物）	2	
				病態評価と治療	2	
				運動と健康	2	
				疾病と栄養	2	
				栄養生化学	2	
				病態生理学実習		1
				栄養生化学実験		1
				栄養生理学実習		1
				人体の構造と機能及び疾病の成り立ちの小計	14	3
	食べ物と健康	8		比較食文化論	2	
				食品学総論	2	
				食品機能科学	2	
				食品衛生学	2	
				食品の調理と加工	2	
				食品基礎実験		1
				食品機能科学実験		1
				食品衛生学実験		1
				嗜好と調理実習Ⅰ		1
				嗜好と調理実習Ⅱ		1
				食品加工実習		1
				食べ物と健康の小計	10	6
	小計	28	10	専門基礎分野小計	34	10

教育内容		単位数 講義又は演習	単位数 実験又は実習	科目名	単位数 講義又は演習	単位数 実験又は実習
専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学Ⅰ	2	
				基礎栄養学Ⅱ	2	
				基礎栄養学実験		1
				基礎栄養学の小計	4	1
	応用栄養学	6		応用栄養学Ⅰ	2	
				応用栄養学Ⅱ	2	
				栄養と健康	2	
				スポーツ栄養学	2	
				応用栄養学実習		1
				応用栄養学の小計	8	1
	栄養教育論	6		栄養教育論Ⅰ	2	
				栄養教育論Ⅱ	2	
				栄養教育論Ⅲ	2	
				（含カウンセリング論演習）		
				栄養教育論実習		1
				栄養教育論の小計	6	1
	臨床栄養学	8		臨床栄養学Ⅰ	2	
				臨床栄養学Ⅱ	2	
				臨床栄養学Ⅲ	2	
				臨床栄養活動論	2	
				臨床栄養学実習Ⅰ		1
				臨床栄養学実習Ⅱ		1
				臨床栄養学実習Ⅲ		1
				臨床栄養学の小計	8	3
	公衆栄養学	4		公衆栄養学	2	
				栄養疫学論	2	
				公衆栄養学実習		1
				公衆栄養学の小計	4	1
	給食経営管理論	4		給食経営管理論	2	
				食料経済システム論	2	
				給食経営管理実習		1
				給食衛生管理実習		1
				給食経営管理論の小計	4	2
	総合演習	2		管理栄養士総合演習	1	
				臨地実習事前事後指導	1	
				総合演習の小計	2	
	臨地実習		4	地域保健臨地実習		1
				給食経営管理臨地実習		1
				臨床栄養臨地実習Ⅰ		1
				臨床栄養臨地実習Ⅱ		1
				臨地実習の小計		4
	小計	32	12	専門分野の小計	36	13
合計		82		合計	93	

５「一級建築士受験資格」および「二級・木造建築士受験資格」について（環境建築デザイン学科）

環境科学部環境建築デザイン学科の課程を修了し、かつ表１に示す所定の単位数を取得すると、取得単位数に応じて、２～４年の実務経験を経て「一級建築士受験資格」が与えられます。

また、環境科学部環境建築デザイン学科の課程を修了し、かつ表２に示す所定の単位数を取得すると、自動的に（実務経験なしで）「二級・木造建築士受験資格」が与えられます。

表１　「一級建築士受験資格」の取得に必要な科目・単位数

分類	授業科目	必修・選択	単位数	必要単位数
①建築設計製図	設計演習Ⅰ	必修	3	9単位
	設計演習Ⅱ	必修	3	
	設計演習Ⅲ	必修	3	
②建築計画	環境設計Ⅰ	選択	2	8単位以上
	環境設計Ⅱ	選択	2	
	内部空間論	選択	2	
	都市・地域計画	選択	2	
	日本建築史	選択	2	
	アジア建築史	選択	2	
	西洋建築・思潮史	選択	2	
③建築環境工学	建築環境工学	必修	2	2単位以上
	建築環境工学演習	選択	2	
④建築設備	環境設備	必修	2	2単位
⑤構造力学	構造力学Ⅰ	必修	2	4単位
	構造力学Ⅱ	必修	2	
⑥建築一般構造	建築一般構造	選択	2	4単位
	構造計画	必修	2	
⑦建築材料	構造材料実験	必修	2	2単位
⑧建築生産	建築生産施工	必修	2	2単位
⑨建築法規	建築法規	必修	2	2単位
⑩その他	環境技術史	選択	2	適宜
	環境技術	選択	2	
	コミュニティ計画論	選択	2	
	景観計画	選択	2	
	ランドスケープ・デザイン	選択	2	
	環境行動論	選択	2	
	環境・建築デザイン概論	必修	2	
	イメージ表現法	必修	2	
	地域環境計画	選択	2	
	CAD演習Ⅰ	必修	2	
	設計基礎演習	必修	2	
	環境共生デザイン	選択	2	
	環境造形論	選択	2	
	環境職能論	選択	2	
①～⑩の合計単位数		実務経験２年		60単位以上
		実務経験３年		50単位以上（60単位未満）
		実務経験４年		40単位以上（50単位未満）

表２　「二級・木造建築士受験資格」の取得に必要な科目・単位数

分類	授業科目	必修・選択	単位数	必要単位数
①建築設計製図	設計演習Ⅰ	必修	3	9単位
	設計演習Ⅱ	必修	3	
	設計演習Ⅲ	必修	3	
②建築計画、建築環境工学または建築設備	環境設計Ⅰ	選択	2	8単位以上
	環境設計Ⅱ	選択	2	
	内部空間論	選択	2	
	都市・地域計画	選択	2	
	日本建築史	選択	2	
	アジア建築史	選択	2	
	西洋建築・思潮史	選択	2	
	建築環境工学	必修	2	
	建築環境工学演習	選択	2	
	環境設備	必修	2	
③構造力学、建築一般構造または建築材料	構造力学Ⅰ	必修	2	6単位以上
	構造力学Ⅱ	必修	2	
	建築一般構造	選択	2	
	構造計画	必修	2	
	構造材料実験	必修	2	
④建築生産	建築生産施工	必修	2	2単位
⑤建築法規	建築法規	必修	2	2単位
⑥その他	環境技術史	選択	2	適宜
	環境技術	選択	2	
	コミュニティ計画論	選択	2	
	景観計画	選択	2	
	ランドスケープ・デザイン	選択	2	
	環境行動論	選択	2	
	環境・建築デザイン概論	必修	2	
	イメージ表現法	必修	2	
	地域環境計画	選択	2	
	CAD演習Ⅰ	必修	2	
	設計基礎演習	必修	2	
	環境共生デザイン	選択	2	
	環境造形論	選択	2	
	環境職能論	選択	2	
①～⑥の合計単位数		実務経験０年		40単位以上[注)]

注）　環境科学部環境建築デザイン学科の卒業要件を満たせば、①～⑥の合計単位数は 40 単位を超える。

６「二級建築士受験資格」および「木造建築士受験資格」について（生活デザイン学科）

人間文化学部生活デザイン学科の課程を修了し、かつ以下に示す所定の単位数を取得すると、取得単位数に応じて、０～２年の実務経験を経て、「二級建築士受験資格」および「木造建築士受験資格」が与えられます。

資格の取得に必要な科目

分類	授業科目名	必修・選択	単位数	必要単位数
①建築設計・製図	基礎設計製図	選択必修	２	６単位以上
	住環境設計演習Ⅰ	選択必修	２	
	住環境設計演習Ⅱ	選択必修	２	
	住環境設計演習Ⅲ	選択必修	２	
②建築計画、建築環境工学または建築設備	近代デザイン史	選択	２	８単位以上
	比較住居論	選択	２	
	インテリア計画論	選択	２	
	建築計画論	選択	２	
	空間デザイン論	選択	２	
	インテリアコーディネート概説	選択	１	
	住環境論	選択	２	
③構造力学、建築一般構造または建築材料	一般構造	選択	２	６単位以上
	構造計画	選択	２	
	構造力学Ⅰ	選択	２	
④建築生産	建築生産施工※1	選択	２	２単位
⑤建築法規	建築法規	選択	２	２単位
⑥その他	考現学概論	選択	２	適宜
	色彩学演習	選択必修	１	
	デジタルデザイン演習	選択必修	２	
	人間工学	選択	２	
	人間工学実習	選択	１	
	サステナブルデザイン論	選択	２	
	文化財・保存修景論A※1	選択	２	
	地域文化財論B※1	選択	２	
	①～⑥の必要単位数合計	実務経験０年		４０単位以上
		実務経験１年		３０単位以上（４０単位未満）
		実務経験２年		２４単位以上（３０単位未満）

※1 のついた科目は、他学部または他学科の開講科目であることを示します。

７　「インテリアプランナー登録資格」について

「インテリアプランナー登録資格」は、インテリアプランナー試験の合格者で下記に示す科目および単位数を履修し、人間文化学部生活デザイン学科の課程を卒業した後、実務経験２年で与えられます。また、二級建築士、木造建築士資格を取得した者は、実務経験なしで登録資格が得られます。

なお、試験は受験年の４月１日現在満２０歳以上であれば誰でも受験できます。

資格取得に必要な科目

授業科目	単位数	必修単位数
色彩学	2	A (36-B-C) 単位以上
色彩学演習	1	
デッサン法	1	
生活造形基礎演習	2	
現代産業デザイン論	2	
道具デザイン史	2	
近代デザイン史	2	
道具計画論	2	
道具デザイン演習Ⅰ		
道具デザイン演習Ⅱ	2	
道具デザイン演習Ⅲ	2	
比較住居論	2	
サステナブルデザイン論	2	
インテリア計画論	2	B (24-C) 単位以上
建築計画論	2	
空間デザイン論	2	
人間工学	2	
人間工学実習	1	
住環境論	2	
構造計画	2	
構造力学Ⅰ	2	
一般構造	2	
建築法規	2	
基礎設計製図	2	
デジタルデザイン演習	2	
インテリアコーディネート概説	1	
住環境設計演習Ⅰ	2	C 2単位以上
住環境設計演習Ⅱ	2	
住環境設計演習Ⅲ	2	

平成 22～24 年度入学生は、入学年度の「履修の手引」を参照してください。

８　「社会調査士資格」について

◆人間文化学部地域文化学科および人間関係学科

「地域文化学科」および「人間関係学科」の課程を修了した者で、次の単位を修得した者は、「社会調査士資格認定機構」に申請することにより、「社会調査士」の資格を取得することができます。

授　業　科　目	開講年次	単位数	備考
統計学基礎	１	２	人間文化学部共通科目
社会調査論	１	２	
社会調査方法論	２	２	
量的データ解析論Ⅰ	２	２	
※質的データ解析論 ※量的データ解析論Ⅱ	２ ３・４	２	いずれか１科目選択必修
社会調査実習	３	１	

※　原則として、地域文化学科は「質的データ解析論」、人間関係学科は「量的データ解析論Ⅱ」を選択すること

※　「量的データ解析論Ⅰ」、「量的データ解析論Ⅱ」は、平成 22 年度以前入学生については、それぞれ旧科目「社会統計学」、「応用データ解析論」に読み替えます。

◆環境科学部環境政策・計画学科

「環境政策・計画学科」の課程を修了した者で、次の単位を修得した者は「社会調査士資格認定機構」に申請することにより、「社会調査士」の資格を取得することができます。

授　業　科　目	開講年次	単位数	備考
地域調査法	１	２	
地域調査法演習	１	１	
基礎統計	１	２	
応用統計学Ⅰ	２	２	
応用統計学Ⅱ	２	２	
社会調査実習	３	１	

９　「GIS 学術士資格」について

「環境政策・計画学科」の課程を修了した者で、次の単位を修得した者は「公益社団法人日本地理学会」に申請することにより、「ＧＩＳ学術士」の資格を取得することができます。

授業科目	開講年次	単位数	備考
情報リテラシー（情報倫理を含む）	１	２	
情報科学概論	１	２	
ＧＩＳ演習	２	１	
環境フィールドワークⅢ	３	３	GISを使用すること
卒業研究Ⅰ	４	３	GISを使用すること
卒業研究Ⅱ	４	３	GISを使用すること

１０「自然再生士補資格」について

下の分野別科目対応表にある科目を、コース１またはコース３の条件を満たして履修・修得し卒業した者が、「財団法人 日本緑化センター」に所定の申請を行った場合に自然再生士補に認定されます。

□分野別科目対応表（環境生態学科）

実験・実習(演習)分野		講義分野	
指定分野	科目	指定分野	科目
①自然環境調査と分析、評価に係る実習・演習	・環境解析学・同実験 ・集水域環境学・同実験 ・陸域環境学・同実験 ・水域環境学・同実験	①自然再生・自然環境概論	・環境科学概論Ⅰ ・環境科学概論Ⅱ ・環境学原論 ・森林環境学 ・河川環境学 ・海洋環境学 ・大気環境学 ・集水域環境学 ・湖沼環境学
②動・植物同定調査に係る実習・演習（森林動物学実習、森林昆虫学実習を含む）		②自然再生・自然環境保全に係る計画(設計)学	・陸域環境影響調査指針 ・集水域環境影響調査指針 ・水域環境影響調査指針
③地域環境資源調査に係る実習・演習		③自然再生・自然環境保全に係わる施工計画・施工学	
④自然環境保全活動に係る実習・演習		④自然再生・自然環境保全に係わる維持管理計画・管理学	・陸域生態系保全修復論 ・集水域生態系保全修復論 ・水域生態系保全修復論
⑤生態学実習・演習	・環境生態学基礎演習 ・環境生態学特別実習	⑤植物（草本類、木本類、水生植物等）分類・生態・生理学	
⑥プレゼンテーション・コーディネート能力育成に係る実習	・環境生態学演習Ⅰ ・環境生態学演習Ⅱ	⑥動物(哺乳類、は虫類、両生類、昆虫、鳥類、魚類等)分類・生態・生理学	・動物生態学
		⑦環境リスクマネジメント学	・環境アセスメント
		⑧環境経済学	・環境経済学入門 ・環境財政
		⑨環境社会学	・環境政策学
		⑩地域環境学・地域生態論	・地域環境政策論
		⑪環境関連法規	・環境法

□分野別科目対応表（環境政策・計画学科）

実験・実習(演習)分野		講義分野	
指定分野	科目	指定分野	科目
①自然環境調査と分析、評価に係る実習・演習	・環境フィールドワークⅠ	①自然再生・自然環境概論	・環境科学概論Ⅰ
②動・植物同定調査に係る実習・演習（森林動物学実習、森林昆虫学実習を含む）		②自然再生・自然環境保全に係る計画(設計)学	・環境計画学 ・環境政策学
		③自然再生・自然環境保全に係わる施工計画・施工学	
③地域環境資源調査に係る実習・演習	・地域調査法演習		
		④自然再生・自然環境保全に係わる維持管理計画・管理学	
④自然環境保全活動に係る実習・演習			
		⑤植物分類・生態・生理学	
⑤生態学実習・演習			
		⑥動物分類・生態・生理学	
⑥プレゼンテーション・コーディネート能力育成に係る実習	・合意形成支援技法・演習 ・ファシリテーション技法・演習		
		⑦環境リスクマネジメント学	・環境アセスメント
		⑧環境経済学	・環境経済学入門 ・環境経済学 ・環境財政
		⑨環境社会学	・環境社会学
		⑩地域環境学・地域生態論	・地域環境政策論
		⑪環境関連法規	・環境法

□コース選択表（両学科共通。コース1または3を選択）

	実験・実習分野	講義分野	特別講義	規定合計単位数
コース1	実験・実習分野より3科目以上 6単位以上の履修・修得	講義分野より2科目以上 4単位以上 の履修・修得	ー	実験・実習、講義分野より5科目以上 10単位以上の履修・修得があること。
コース2	実験・実習分野又は講義分野より1科目2単位以上の履修・修得		自然再生講義・演習**特別講義（必修）**の履修・修得	特別講義及び実験・実習、講義分野より2科目以上 4単位以上の履修・修得があること。
コース3	実験・実習分野又は講義分野より6科目12単位以上の履修・修得		ー	実験・実習、講義分野に関係なく6科目以上 12単位以上の履修・修得があること。

１１　「地域調査士資格」について

◆環境科学部環境政策・計画学科

「環境政策・計画学科」の課程を修了した者で、次の単位を修得し、地域調査に関する卒業論文を完成させた者が、「地域調査士講習」を受講していた場合、「公益社団法人日本地理学会」に申請することにより、「地域調査士」の資格を取得することができます。

授業科目	開講年次	単位数	備考
地域システム論	1	2	地域の概念を扱う科目
地域調査法	1	2	地図に関する科目
環境フィールドワークⅠ	1	3	地域の人文的･自然的特性に関する調査
地域調査法演習	1	1	統計処理に関する科目
地域環境政策論	2	1	日本の地域特性を扱う科目
応用統計学Ⅰ	2	2	統計処理に関する科目
GIS演習	2	1	地図に関する科目
自然地理学	3	2	地域の自然的特性を扱う科目
政策計画演習Ⅲ	4	1	卒業論文指導若しくは卒業研究指導
政策計画演習Ⅳ	4	1	卒業論文指導若しくは卒業研究指導
卒業研究Ⅰ	4	3	地域調査に関する卒業論文
卒業研究Ⅱ	4	3	地域調査に関する卒業論文

１２　「看護師国家試験受験資格」について

「看護師国家試験受験資格」は、下記に示す科目および単位数を履修し、人間看護学部人間看護学科の課程を卒業（見込みを含む。）した者が受験できます。

資格取得に必要な科目 (2012(平成24)年度以降入学生用、2014(平成26)度以降編入学生用)

分野	授業科目						必修単位数
全学共通科目	人間学：「環境マネジメント総論」「人間探求学」「生命・人間・倫理」「社会福祉論」と「栄養と人間」と１科目選択必修						12
	英語ＩＡ、ＩＢ（活性化コース）　英語ⅡＡ、ⅡＢ（応用コース） 英語ⅢＡ、ⅣＢ（充実コース）　英語ⅣＡ、ⅣＢ（展開コース）					8	12
	（選択科目）（各１単位） ドイツ語ＩＡ・ＩＢ、フランス語ＩＡ・ＩＢ、中国語ＩＡ・ＩＢ、朝鮮語ＩＡ・ＩＢから２科目および実用英語演習ＩＡと実用英語演習ＩＢ					4	
	健康・体力科学Ⅰ	1	健康・体力科学Ⅱ	1			2
	情報リテラシー（情報倫理を含む）	2	情報科学概論	2			4
専門基礎科目	体のしくみと機能Ⅰ	2	健康科学Ⅱ	2	疾病論Ⅰ	2	20
	体のしくみと機能Ⅱ	2	人間性心理論	2	疾病論Ⅱ	2	
	体のしくみと機能Ⅲ	2	公衆衛生学	2			
	健康科学Ⅰ	2	薬理学	2			
専門科目	人間看護学概論	2	看護理論	2	公衆衛生看護学概論	2	79
	基礎看護技術Ⅰ	1	成人臨床看護学	2	成人クリティカルケ演習	1	
	メンタルヘルスケア	2	成人クロニックケア演習	1	エンドオブライフケア演習	1	
	基礎看護技術Ⅱ	2	老年看護学演習	1	老年臨床看護学演習	1	
	小児看護学概論	1	老年臨床看護学	1	小児臨床看護学演習	1	
	成人看護学概論	1	小児臨床看護学	2	育成看護論演習Ⅱ	1	
	老年看護学概論	1	育成看護論演習Ⅰ	1	精神臨床看護学演習	1	
	育成看護論	2	精神臨床看護学	1	在宅看護学演習	1	
	基礎看護技術Ⅲ	1	在宅看護学概論	1	看護管理論	2	
	基礎看護技術Ⅳ	2	在宅看護援助論	2			
	（専門選択科目） 疫学 看護研究の基礎 ※このうち1科目選択	2	（専門選択科目）　※10単位選択 基礎助産学Ⅰ、看護トピックス、看護キャリアデザイン論、看護英語、看護教育と実践、家族看護学、健康教育論、基礎助産学Ⅱ、クリティカルケア実践演習、治療的コミュニケーション技術論、看護介入とアウトカム、チャイルドライフケア論、ホリスティックケア論、公衆衛生看護学Ⅰ、公衆衛生看護学Ⅱ、地域母子保健、国際看護学、災害看護学、ボランティア実践演習				10
	基礎看護学実習Ⅰ	1	精神臨床看護学実習	2	老年臨床看護学実習	2	
	基礎看護学実習Ⅱ	2	小児臨床看護学実習	2	エンドオブライフケア実習	2	
	老年看護学実習	1	成人クロニックケア実習	2	在宅看護学実習	2	
	育成看護論実習	2	成人クリティカルケア実習	2			
	人間看護学統合実習	3	卒業研究	4			
						計（卒業要件）	129

「保健師国家試験受験資格」および「看護師国家試験受験資格」について（2011(平成23)年度以前入学生用）

「保健師国家試験受験資格」および「看護師国家試験受験資格」は、下記に示す科目および単位数を履修し、人間看護学部人間看護学科の課程を卒業（見込みを含む。）した者が受験できます。

資格取得に必要な科目　(2009(平成21)年度以降入学生用、2011(平成23)年度以降編入学生用)

分野	授業科目						必修単位数
全学共通科目	人間学：「環境マネジメント総論」「人間探求学」「生命・人間・倫理」「社会福祉論」と２科目選択必修						12
	英語Ⅰ（活性化コース）　英語Ⅱ（応用コース） 英語Ⅲ（充実コース）　英語Ⅳ（展開コース）					8	12
	（選択科目）　（各２単位） ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、朝鮮語Ⅰ・Ⅱ （各言語Ⅰは初級コース、Ⅱは中級コース）から２科目選択必修					4	
	健康・体力科学Ⅰ	1	健康・体力科学Ⅱ	1			2
	情報科学概論	2	H22以降入学生：情報リテラシー（情報倫理を含む）（２単位） H21入学生：情報処理演習Ⅰ（１単位）、情報処理演習Ⅱ（１単位）			2	4
専門基礎科目	体のしくみと機能Ⅰ	2	体のしくみと機能Ⅱ	2	体のしくみと機能Ⅲ	2	19
	健康科学Ⅰ	2	健康科学Ⅱ	2	薬理学	1	
	人間性心理論	2	地域保健論	2	疾病論Ⅰ	1	
	疾病論Ⅱ	1	栄養と健康	2			
専門科目	人間看護論Ⅰ	2	人間看護論Ⅱ	1	看護過程論	1	80
	生活行動看護論	1	精神保健看護論	2	生活行動看護論演習Ⅰ	2	
	発達看護論Ⅰ	1	発達看護論Ⅱ	1	発達看護論Ⅲ	1	
	育成看護論Ⅰ	1	育成看護論Ⅱ	1	疫学	2	
	看護コーディネーション	2	地域看護論Ⅰ	2	生活行動看護論演習Ⅱ	1	
	生活行動看護論演習Ⅲ	2	臨床看護論Ⅰ	1	臨床看護論Ⅱ	1	
	臨床看護論Ⅲ	1	精神臨床看護論	1	育成看護論演習	1	
	精神臨床看護論演習	1	小児臨床看護論演習	1	成人臨床看護論演習Ⅰ	1	
	成人臨床看護論演習Ⅱ	1	ターミナルケア論	1	ターミナルケア論演習	1	
	老年臨床看護論演習	1	在宅看護論Ⅰ	1	在宅看護論Ⅱ	1	
	看護管理論	2	地域看護管理論	1	地域看護論Ⅱ	2	
	健康教育論	1	行政看護論	2	地域看護論演習	2	
	（選択科目）　（各２単位） 国際・災害看護論、家族看護論 このうち１科目選択					2	
	生活行動看護論実習Ⅰ	1	生活行動看護論実習Ⅱ	2	老年臨床看護論実習Ⅰ	1	
	育成看護論実習	2	精神臨床看護論実習	2	小児臨床看護論実習	2	
	成人臨床看護論実習Ⅰ	2	成人臨床看護論実習Ⅱ	2	老年臨床看護論実習Ⅱ	2	
	ターミナルケア論実習	2	地域看護論実習	4	在宅看護論実習	2	
	人間看護学統合実習	3	卒業研究	4			
						計（卒業要件）	129

１３　「保健師国家試験受験資格」について

◇「保健師国家試験受験資格」の取得要件は以下の通りです。

1)「看護師国家試験受験資格(626ページ)」に必要な科目をすべて履修し、人間看護学部の卒業要件を満たしていること
2)下記に示す科目および単位数をすべて履修ししていること

※この資格を取得するには、保健師課程（３～４年次）を選択する必要があります。本課程を希望する者のなかから2年次終了時にGPAにより選抜された者のみが選択できます。

資格取得に必要な科目　(2012(平成24)年度以降入学生用)

	保健師課程授業科目	開講	単位数
学部共通科目	情報科学概論	1年　後期	2
	公衆衛生学	2年　前期	2
	公衆衛生看護学概論	2年　前期	2
	社会福祉論	2年　後期	2
選択必修科目	疫学	2年　後期	2
	家族看護学	3年　前期	2
	健康教育論	3年　前期	2
	公衆衛生看護学Ⅰ	3年　前期	2
	公衆衛生看護学Ⅱ	3年　前期	2
卒業要件外の科目	公衆衛生看護学Ⅲ	4年　前期	2
	公衆衛生看護管理論	4年　前期	2
	健康教育方法演習	4年　前期	1
	公衆衛生看護学演習	4年　前期	2
	公衆衛生看護学実習	4年　通年	5
	合計		30

１４　「助産師国家試験受験資格」について

◇「助産師国家試験受験資格」の取得要件は以下の通りです。

1)「看護師国家試験受験資格(626ページ)」に必要な科目をすべて履修し、人間看護学部の卒業要件を満たしていること
2)下記に示す科目および単位数をすべて履修ししていること

※この資格を取得するには、助産師課程（３～４年次）を選択する必要があります。本課程は希望する者のなかから2年次終了時にGPAにより選抜された者のみ選択できます。

資格取得に必要な科目(2012(平成24)年度以降入学生用)

	助産課程授業科目	開講	単位数
選択必修科目	基礎助産学Ⅰ	3年　前期	2
	基礎助産学Ⅱ	3年　前期	2
	地域母子保健	3年　前期	1
卒業要件外の科目	基礎助産学Ⅲ	4年　前期	2
	助産診断・技術学Ⅰ	4年　前期	2
	助産診断・技術学Ⅱ	4年　前期	2
	助産診断・技術学Ⅲ	4年　前期	2
	助産診断・技術学演習	4年　前期	2
	助産管理	4年　前期	2
	助産学実習	4年　前期	13
	小　　計		30

注）助産師課程を履修するものは、同時に保健師課程および養護教諭一種免許の取得に必要な科目を履修することはできません。

「助産師国家試験受験資格」について

(2011(平成23)年度以前入学生)

「助産師国家試験受験資格」は、627ページの「保健師国家試験受験資格」および「看護師国家試験受験資格」に必要な科目が履修できていることが前提であり、追加科目として下記に示す科目および単位数を履修し、人間看護学部人間看護学科の課程を卒業（見込みを含む。）した者が受験できます。

この資格を取得するには、助産師課程（３～４年次）を選択する必要があります。希望者に対して3年次後期に選抜を行い、認められた者のみが履修できます。

資格取得に必要な科目
（平成21～23年度入学生用・平成24年度以降編入生用）

授　業　科　目	単位数
基礎助産学	2
助産管理論	2
助産診断・技術学Ⅰ	2
助産診断・技術学Ⅱ	2
助産診断・技術学演習	2
助産学実習	13
小　　計	23

助産師課程を履修する者は、同時に養護教諭一種免許の取得に必要な科目を履修することはできません。
基礎助産学と助産管理論は３年前期に履修しておくこと。

１５「社会福祉主事任用資格」について

社会福祉主事とは、社会福祉法において規定されている資格であり、都道府県・市町村の福祉事務所等において、生活保護法等に定める援護等の事務にあたる職員として任用される者に要求される資格(任用資格)です。また、社会福祉施設職員等の資格にも準用されています。

任用資格とは、公務員として採用された後で、特定の業務に任用されるときに必要となる資格で、任用されて初めてその資格を名乗ることができる資格のことです。資格認定証は発行されませんので、必要であれば単位取得証明書等で証明することになります。

「社会福祉主事任用資格」は、厚生労働大臣の指定する科目の中から３科目以上を修得し、卒業した場合に取得できます。本学では次の科目の中から３科目以上を修得してください。

- 社会福祉概論（生活栄養学科専門科目）または社会福祉論（人間学※1）
- 法学概論（環境科学部複数学科共通科目、人間関係学科専門科目）
- 社会学（環境科学部複数学科共通科目※2）または社会学概論※3（地域文化学科専門科目、人間関係学科専門科目）
- 教育学概論（人間関係学科専門科目）
- 公衆衛生学（生活栄養学科専門科目）
- 「基礎栄養学Ⅰ」（生活栄養学科専門科目）
- 「基礎栄養学Ⅱ」（生活栄養学科専門科目）

※1　2008（平成 20）年度以前入学生については、「社会福祉論」は人間看護学部専門科目となります。

※2　地域文化学科、人間関係学科の 2010（平成 22）年度以前入学生については、「社会学」は専門科目となります。

※3「社会学概論」は、2010（平成 22）年度以前入学生については、旧科目「社会学」に読み替えます。

１６「電気通信主任技術者資格」について

電気通信主任技術者は、電気通信ネットワークの工事、維持及び運用の監督責任者です。

電気通信事業者は、その事業用電気通信設備を、総務省令で定める技術基準に適合するよう、自主的に維持するために、電気通信主任技術者を選任し、電気通信設備の工事、維持及び運用の監督にあたらなければなりません。

試験の種類は、「伝送交換主任技術者試験」と「線路主任技術者試験」があり、試験科目は、次の４科目となっています。

（１）電気通信システム

（２）専門的能力

（３）伝送交換設備及び設備管理（又は線路設備及び設備管理）

（４）法規

このうち、電子システム工学科の所定の単位（表１）を修得すると、電気通信システムの試験が免除になります。

表１　電気通信主任技術者試験における「電気通信システム」科目試験免除に関する授業科目

昭和 60 年郵政省告示第 241 号の別表第 1 号及び第 2 号に規定する科目別授業時間数 （注：1 コマ 90 分は 2 時間として計算する）			電子システム工学科生が履修する科目及び授業時間数 （注：〇は必修科目）		
科　　目		授業時間数	授業科目名	授業時間数	単位数
基礎専門教育科目	数学	60	〇微積分Ⅰ	30	2
			〇線形代数Ⅰ	30	2
	物理学	60	〇基礎力学	30	2
			〇基礎電磁気学	30	2
	電磁気学	60	〇電磁気学Ⅰ	30	2
			電磁気学Ⅱ	30	2
	電気回路	60	〇電気回路Ⅰ	30	2
			電気回路Ⅱ	30	2
	電子回路	60	〇電子回路Ⅰ	30	2
			〇電子回路Ⅱ	30	2
	デジタル回路	30	〇ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾊｰﾄﾞｳｪｱ	30	2
	情報工学	30	〇ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	30	2
	電気計測	60	〇電気電子計測Ⅰ	30	2
			電気電子計測Ⅱ	30	2
専門教育科目	伝送線路工学	30	電磁波工学	30	2
	交換工学	30	ディジタル信号処理	30	2
	電気通信システム	30	情報通信工学	30	2

１７「電気主任技術者資格」について

電気主任技術者は、事業用電気工作物の工事、維持および運用に関する専門的な知識を有する者に与えられる資格で、事業用電気工作物の設置者(所有者)は電気事業法の定めにより電気主任技術者等の主任技術者を有資格者の中から専任することが義務づけられています。電子システム工学科では、開講している授業単位を必要数（表１）修得した上で、卒業後一定の期間の実務経験（表２）を経て、申請により次の種別の電気主任技術者資格が取得できます。

表１　授業科目

【区　分】 必要科目数	授業科目および単位数		
【理　論】 ●科目全てと○科目３科目以上	●	電磁気学Ⅰ	2
	●	電磁気学Ⅱ	2
	●	電気回路Ⅰ	2
	●	電気回路Ⅱ	2
	●	電気電子計測Ⅰ	2
	●	電気電子計測Ⅱ	2
	○	電子回路Ⅰ	2
	○	電子回路Ⅱ	2
	○	半導体基礎	2
	○	半導体デバイス	2
	○	電子デバイス	2
【電　力】 ●科目全てと○科目１科目以上	●	電力工学Ⅰ	2
	●	電力工学Ⅱ	2
	●	物性デバイス基礎論	2
	○	プラズマ工学	2
	○	電気エネルギーシステム工学	2

【区　分】 必要科目数	授業科目および単位数		
【機　械】 ●科目全てと○科目２科目以上	●	電気機器	2
	●	パワーエレクトロニクス	2
	●	制御工学	2
	○	コンピュータハードウェア	2
	○	ロボット工学	2
	○	光エレクトロニクス	2
	○	情報通信工学	2
	○	電磁波工学	2
【法　規】 ●科目	●	電気関係法規・施設管理	2
【実験･実習】 ●科目全て	●	電子システム工学実験Ⅰ	2
	●	電子システム工学実験Ⅱ	2
	●	電子システム工学実験Ⅲ	2
【設計･製図】 ●科目全て	●	電子システム工学演習Ⅲ	1
	●	集積回路設計基礎	2

●印は、必ず取得しなければならない授業科目
（卒業要件の必修科目とは異なります。）
○印は、選択科目

表２　電気主任技術者資格取得のための実務経験

電気主任技術者の種類	実　務　の　経　験	
	実務の内容	経験年数
第１種電気主任技術者免状	電圧 5 万Ｖ 以上の電気工作物の工事、維持または運用	卒業前の経験年数の２分の１と卒業後の経験年数との和が５年以上
第２種電気主任技術者免状	電圧 1 万 Ｖ 以上の電気工作物の工事、維持または運用	卒業前の経験年数の２分の１と卒業後の経験年数との和が３年以上
第３種電気主任技術者免状	電圧 500 Ｖ 以上の電気工作物の工事、維持または運用	卒業前の経験年数の２分の１と卒業後の経験年数との和が１年以上

18「食品衛生管理者資格」および「食品衛生監視員資格」について

食品衛生法第 48 条の規定により、製造または加工にあたり、特に衛生上の考慮を必要とする乳製品、食肉製品、食品添加物などについて、営業者はその製造または加工を衛生的に管理させるために、食品衛生管理者を置かなければならないことになっています。

食品衛生監視員は、飲食に起因する衛生上の危害を防止するために、食品を取り扱う営業施設等への監視指導、立入検査及び食品等からの試験品を採取する権限を、厚生労働大臣または都道府県等の長から付与された公務員です。

そのため、食品衛生管理者は、食品等の製造・加工の施設を衛生的に管理させるための専門的な知識を、食品衛生監視員は、食品等の衛生に関する専門的な知識を持っていなければなりません。

資格取得には、別表の A～D の各群から 1 科目以上を履修し、その単位の合計が 22 単位以上であり、かつ A～E 群あわせて合計 40 単位以上を履修することが必要です。単位の取得については、原則として毎回の出席を前提とします。

なお、資格取得が可能なのは、平成 20 年度以降入学の人間文化学部生活栄養学科の学生に限られています。

資格取得に必要な科目（別表）

	基礎科目名	本学科目名	必選	単位数
Ａ群 化学関係	分析化学、有機化学、無機化学	天然物化学基礎	必修	2
Ｂ群 生物化学関係	生物化学、食品化学、 生理学、食品分析学、 毒性学	生命科学と人間 分子生物学基礎 栄養生化学 食品学総論 食品基礎実験 食品機能科学 食品機能科学実験	必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修	2 2 2 2 1 2 1
Ｃ群 微生物学関係	微生物学、食品微生物学、 食品保存学、食品製造学	食品微生物学	必修	2
Ｄ群 公衆衛生学関係	公衆衛生学、食品衛生学、 環境衛生学、衛生行政学、 疫学	公衆衛生学 食品衛生学 食品衛生学実験 栄養疫学論 給食衛生管理実習	必修 必修 必修 必修 必修	2 2 1 2 1
			小計	24

Ｅ群 その他 関連科目	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工学、食品保蔵学、冷凍冷蔵学、品質管理学、その他これらに類する食品衛生に関する科目	生体の構造と機能 疾病の成り立ち（含疾病と微生物） 病態評価と治療 病態生理学実習 栄養生理学実習 栄養生化学実験 食品の調理と加工 食品加工実習 公衆栄養学 公衆栄養学実習 食料経済システム論 給食経営管理論	選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択	2 2 2 1 1 1 2 1 2 1 2 2
			小計	19

○A群からD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計が 22 単位以上であること。（本学は 24 単位必修）
さらに、E群の科目を含めての総単位数が 40 単位以上であること。

１９「毒物劇物取扱責任者」について

毒物及び劇物取締法第７条第１項の規定により、毒物又は劇物を直接に取り扱う製造所、営業所又は店舗ごとに、専任の毒物劇物取扱責任者を置き、毒物又は劇物による保健衛生上の危害の防止に当たらせなければならないとされています。

　本学材料科学科を卒業した者は、毒物劇物取扱責任者の資格を有することになります。

２０「甲種危険物取扱者受験資格」について

消防法の規定により、一定数量以上の危険物を貯蔵し、又は取り扱う化学工場、ガソリンスタンド、石油貯蔵タンク、タンクローリー等の施設には、危険物を取り扱うために必ず危険物取扱者を置かなければならないとされています。危険物取扱者には、甲種・乙種・丙種があり、そのうち甲種危険物取扱者は、全類の危険物について、取り扱いと定期点検、保安の監督ができます。また、甲種もしくは乙種危険物取扱者が立ち会えば危険物取扱者免状を有していない一般の者も、取り扱いと定期点検を行うことができます。

受験にあたっての詳細事項は、財団法人消防試験研究センターのホームページを参考にしてください。(http://www.shoubo-shiken.or.jp/)

◆　工学部　材料科学科

本学材料科学科を卒業した者は、自動的に甲種危険物取扱者の受験資格が得られます。

◆　環境科学部

2008（平成 20）年度以降入学の環境科学部（およびその他の学部）の学生は、以下の一覧表のうち 15 単位以上を修得すれば、甲種危険物取扱者の受験資格を得ることができます。なお、受験に際しては取得単位の内容を記載した単位取得証明書が必要です。

甲種危険物取扱者受験資格に関連した「化学に関する授業科目」一覧表(環境科学部)

科目名	単位数	配当学科	備考
環境化学Ⅰ	2	複数学科	平成 21 年度以前入学生は化学Ⅱ
環境化学 II	2	複数学科	平成 21 年度以前入学生は化学Ⅰ
集水域環境影響調査指針	2	環境生態	
集水域環境学	2	環境生態	
集水域環境機能論	2	複数学科	平成 21 年度以前入学生は環境分析化学
集水域物質循環論	2	複数学科	平成 21 年度以前入学生は環境化学
水域環境機能論	2	環境生態	平成 21 年度以前入学生は環境毒性学
大気環境学	2	環境生態	
陸域環境機能論	2	複数学科	平成 21 年度以前入学生は環境生化学
環境化学実験	2	複数学科	平成 21 年度以前入学生は化学実験
環境解析学・同実験	4	複数学科	平成 21 年度以前入学生は環境化学・実験
遺伝学	2	複数学科	
応用微生物学	2	生物資源	
家畜生産環境学	2	生物資源	
家畜生産生理学	2	生物資源	
環境植物生理学	2	生物資源	
魚類生理学	2	生物資源	平成 20 年度以前入学生は水族環境生理学
植物遺伝資源学	2	生物資源	
植物栄養学	2	生物資源	
植物資源開発学	2	生物資源	平成 21 年度以前入学生は環境作物学
水質管理学	2	生物資源	
生物資源化学	2	生物資源	
生物資源循環論	2	生物資源	平成 25 年度入学生は受講することができません
土壌環境化学	2	複数学科	平成 21 年度以前入学生は土壌環境学
農薬環境学	2	複数学科	
分子生物学	2	複数学科	
水資源保全学	2	生物資源	
生物資源管理学実験・実習Ⅱ	2	生物資源	平成 18 年度以前入学生は生物資源管理学実験Ⅱ
生物資源管理学実験・実習Ⅲ	2	生物資源	平成 18 年度以前入学生は生物資源管理学実験Ⅲ
生物資源管理学実験・実習Ⅳ	2	生物資源	平成 18 年度以前入学生は生物資源管理学実験Ⅳ
生物資源管理学実験・実習Ⅴ	2	生物資源	
生物資源管理学実験・実習Ⅶ	2	生物資源	平成 18 年度以前入学生は生物資源管理学実験Ⅵ 平成 25 年度入学生は受講することができません
生物資源管理学実験・実習Ⅷ	2	生物資源	平成 18 年度以前入学生は生物資源管理学実験Ⅶ

２１「二級ビオトープ管理士（計画部門）資格試験一部免除」について

「ビオトープ管理士」は、財団法人日本生態系協会が認定する民間資格です。

環境科学部環境生態学科、環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科、生物資源管理学科の学生は、二級ビオトープ管理士（計画部門）資格試験（例年９月に実施）の受験にあたり、下記の科目をすべて履修して単位を取得しているか、受験年度内に単位取得見込みであると、筆記問題の一部が免除されます。

なお、下記科目をすべて履修しない者でも、通常の試験によって資格取得をすることは十分可能です。

＜注意事項＞

- 「環境法Ⅰ」は、2010・2011（平成 22・23）年度に単位取得した者だけが一部免除認定対象となります。平成 21 年までに単位を取得した者は一部免除を利用できません。
- 生物資源管理学科の学生は、「陸域生態系保全修復論」の単位を以て一部免除認定を申請することはできませんので、「環境動物学」を必ず受講してください。

二級ビオトープ管理士（計画部門）資格試験一部免除に必要な講義

講　義　名		開講時期	科　目　区　分	備考
自然保護論		後	人間学	
動物生態学		後	複数学科共通科目（生態、資源）	
森林環境学（植物生態学）		後	複数学科共通科目（生態、資源）	
環境動物学		後	生物資源管理学科専門科目	
陸域生態系保全修復論	どちらか１つ（資源の学生は「環境動物学」を履修すること）	後	複数学科共通科目（生態、資源）	
環境法（環境法Ⅰ）		前	複数学科共通科目（政策・計画、資源）	「環境法Ⅰ」は、平成 22・23 年度の単位取得のみ
環境計画学		後	複数学科共通科目（政策・計画、建デ）	
都市・地域計画		前	環境建築デザイン学科専門科目	
地域環境整備学		後	生物資源管理学科専門科目	平成 24 年度以前入学生
流域環境管理学		後	同上	平成 25 年度入学生

２２　キャリア教育・ボランティア関連科目について

◆キャリア教育の開講について

本学では、学生が自身の人間形成や将来設計を描き、職業観を育成するための授業や自己の職業適性を考え、職業意識を高める機会としてキャリア教育を実施しています。

開講科目は下表のとおりです。

科目名	単位数	配当年次	備考
キャリアデザイン論Ⅰ	２	2 年	【副題】キャリアデザインを描くために
キャリアデザイン論Ⅱ	２	2 年	【副題】実践的コミュニケーション技法
インターンシップA	１	3 年	
インターンシップB	２	3 年	

◆「キャリアデザイン論Ⅰ　キャリアデザインを描くために」について

１）　**対象**：全学部学科の原則として 2 回生、前期科目

２）　**単位**：2 単位（自由科目とし、卒業要件単位には含まれません。）

３）　**単位のねらい**：

・学生一人一人が自身の将来設計を描き、人間形成とキャリア・職業観の育成、職業・進路の選択、決定ができる能力を培う。また、自己のキャリアについて広い観点から考えることの重要性に気づき、勉学・課外活動も含めた学生生活の有意義な過ごし方について考える機会とする。

・過去を振り返り、今後の進路についてさまざまな角度から深く見つめ、考え、自己の将来設計を描くとともに、目標を実現するための方策を考える。

◆「キャリアデザイン論Ⅱ　実践的コミュニケーション技法」について

１）対象：全学部学科の原則として 2 回生、後期科目

２）単位：2 単位（自由科目とし、卒業要件単位には含まれません。）

３）単位のねらい

・社会や企業から求められている能力のなかで、多様な社会現象を客観的に考察し論理的な思考に基づく自己の意見の形成や、それを提言や企画にとりまとめて適切に発信するコミュニケーション能力を養成する。

・客観的な思考方法やコミュニケーション能力、自己学習能力を身につけ、終生学ぶことの大切さを実感するとともに、あらたな創造力、提案力、コーディネート力など今日の社会生活で求められる基礎的な能力と技術を学ぶ。

◆インターンシップについて

学生が自己の職業適性を考え、職業意識を高める機会としてインターンシップを実施しています。

１）インターンシップとは

インターンシップとは「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した 就業体験を行うこと」と定義されています。本学では学生が企業・団体において行う短期間の実習・研修的な就業体験を通して、職業観・社会観を育み、自身のキャリア形成の意識を高めることを目的に単位認定型のインターンシッププログラムを実施しています。

２）インターンシップの基本理念

① 本学の教育理念「人が育つ」に基づき、学生の「学習」と「社会人としての成長」を促す。

② 社会体験を通じて、学問への社会的要請と意義を理解させる。

③ 社会や職業における諸課題を解決する実践的能力を身につけ、総合的な人間力を向上させる。

３）インターンシップの基本方針

① 専門教育に資する、もしくは学習を意識づける契機とする。

② インターンシップは、インターンシップ実習、事前・事後学習を含むものとして、本学学生のキャリア形成を促進する教学プログラムの一環とする。

③ 本学の人材育成を広く社会に示すと同時にその成果を還元する。

４）インターンシップの種類

大学が受入企業・団体と覚書を締結して学生に紹介する「協定型インターンシップ」や、企業・団体が独自に行うインターンシップに学生自ら応募する「自由応募型インターンシップ」、そして学部・学科等の専門的分野における「専門型インターンシップ」の３種類があります。

５）単位認定されるインターンシップの内容

① 対象：全学部全学科の原則として３回生

② 実施時期：原則として夏季休業期間に実施する。（１週間から４週間程度）

③ 授業科目名

インターンシップＡ：　５日以上の就業体験実習を行う。　１単位

インターンシップＢ：１０日以上の就業体験実習を行う。　２単位

（自由科目とし、卒業要件単位には加えない）

④ 履修登録：受入先が決定したら直ちに履修登録を行うこと。

⑤ 保険の加入義務：実習中の事故に備え、インターンシップに参加する学生は全て賠償責任保険の適用申請を行うこと。

⑥ 成績評価：就業体験に原則として全て出席していることを前提に「事前学習レポート」、「実習日誌」、「受入担当者報告書」、「実習レポート」の４点を総合的に評価する。

⑦　その他

・　インターンシップは基本的に無報酬である。交通費については自己負担とする。但し、受入先企業・団体が支給する場合はこの限りでない。

・　インターンシップを申し込み、受入先が内定した後は特別な事情がない限り辞退は出来ない。

インターンシップ参加の流れ

インターンシップガイダンスに参加する（募集要項配付）→　出願　→　選考　→
受け入れ先決定・履修登録　→　誓約書を事務局に提出　→賠償責任保険適用申し込み　→
大学と受入先が覚書締結　→事前学習・ビジネスマナー講座に参加する（事前学習レポートを提出する）
→　受け入れ先でのインターンシップ実習　→インターンシップ実習日誌及び
受入担当者報告書を提出する　→　実習レポートを提出する
→　インターンシップ報告会に出席（プレゼンテーション）　→　成績評価（単位認定）

◆　ボランティア関連科目「ボランティア活動」について

下記の要件でボランティア活動をした場合は、単位を認定しています。

１）科目名：「ボランティア活動」
２）単位数：１単位（自由科目とし、卒業要件単位には含まれません。）
３）成績評価：「合格・不合格」
４）活動対象：東日本大震災などの災害救助法が適用される災害に対する復興支援活動
　　学校や教育委員会から要請を受けた学校ボランティア活動
５）活動期間：30 時間以上のボランティア活動（複数期間の通算可）
６）休業期間中以外の取扱い：不可（休業期間中のみを対象とする。）

※ただし、授業を欠席することなくボランティア活動を行った場合は、学業期間中であっても認めることとします。

単位認定にあたっては、下記の申請、報告が必要となります。

１．事前届（単位認定申請書）
２．ボランティア活動の現認が確認できる現認証明書
３．事後報告（活動レポート）
　※活動終了後 3 週間までに提出すること

科目名	栄養教育実習・事前事後指導	２単位
担当教員	未定	
授業概要	栄養教育実習とそれにかかわる事前事後の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前の学習と事後のまとめ・評価反省を大学において行う。	
到達目標	栄養教育の内容の理解。授業実践力の向上。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:なし	
成績評価	実習、事前事後指導の完全参加が基礎条件となる。	
履修資格		

科目名	学校栄養指導論	２単位
担当教員	未定	
授業概要	管理栄養士免許に必要な科目を修得したことによって培われた栄養学の専門性に加えて、児童生徒の健全な心身の発達のため、さらには生涯を通じた健康づくりのために、食を通じた健康教育の重要性を理解し、教育者として食に関する指導(学校における食育)ができる能力を養う。	
到達目標	(1)食に関する指導について、その基礎理論を理解する。 (2)栄養教諭の実践演習として、食に関する指導についての学習指導案を作成する。 (3)模擬授業、相互評価を通し、指導法や指導効果の向上を目指す。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:金田雅代編著「栄養教諭論－理論と実際－」(建帛社)、文部科学省刊行書「食に関する指導の手引」(東山書房)	
成績評価	プレゼンテーション能力40%、学習指導案および模擬授業への取り組み60% 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。	
履修資格		

科目名	学校看護論	２単位
担当教員	田中　祐子※	
授業概要	学校保健における養護の概念と歴史を学び、児童・生徒の心身の健康の保持増進に関して、養護教諭としての養護実践に必要な事項を概説や演習を通じておこなう。	
到達目標	学校教育における養護教諭の役割を理解し、学校の教育機能や環境に応じた、養護実践の基本を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:采女智津江著「新養護概説＜第5版＞」 少年写真新聞社 参考書: ①学校保健・安全実務研究会編著「新訂版　学校保健実務必携 ＜第2次改訂版＞」第1法規 ②文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課　監修 「児童生徒の健康診断マニュアル(改訂版)」財団法人　日本学校保健会 ③その他、適宜授業で連絡	
成績評価	1)授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。 2)課題レポート30点、テスト70点として総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	学校保健論	２単位
担当教員	田中　祐子※　・　橋本　進一※　・　冨田　豊※	
授業概要	発育・発達期にある児童・生徒の健康は、その人の生涯の健全な生活・幸福な生活の基本となる重要事項である。この時期に形作られた健全な身体と精神、また教えられた保健知識、養われた保健習慣は、その人の将来の健全な生活の基盤となるものである。このことから、児童・生徒の教育に携わる人たちのための基礎学科である学校保健について理解を深める。	
到達目標	養護教諭としての知識と資質を修得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：養護教諭講座⑦「新・学校保健」（東山書房） 参考書：①「厚生の指標　国民衛生の動向」一般財団法人厚生労働統計局 ②「学校保健の動向」財団法人　日本学校保健会 ③ 授業中に適宜提示	
成績評価	小試験と課題レポートの総計で評価	
履修資格		

科目名	家庭電気・機械	２単位
担当教員	森岡　清隆※	
授業概要	環境を守る地球規模の取り組みが模索されています。「家庭電気・機械」の授業は省エネルギー・環境保護に取り組む出発点となります。家庭では多種・多様な電化製品が使われていて、さらに、オール電化、IH調理機器、テレビ放送のデジタル化、ソーラー発電、携帯電話など次々と新しい製品・技術が開発されています。これらを合理的に利用するために必要な電気理論、電気化学、電気機械、照明・電熱、電子回路、情報技術の知識を習得し、これらを安全に活用するための基礎的知識を習得します。	
到達目標	電気理論、電子回路、電気化学、電熱・照明、情報の基礎を学び、家庭の電化製品を合理的・安全に使用できるようになることを目指します。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト： 参考書：岡部　巍　編著『新家庭機械・電気』	
成績評価	小テスト50％、レポート50％	
履修資格		

科目名	教育学概論	２単位
担当教員	篠原　岳司	
授業概要	本授業では、歴史、思想、方法、心理、制度など多様なテーマを包摂する教育学の基本原理と今日的課題について講義する。また、教職課程の授業であることから、特に学校に関わる諸現象、諸課題については具体例を用いて検討を行う。	
到達目標	・教育学の基本原理（理念、歴史、思想を含む）および教育と学習の具体的な現実を往還することで、教育に関わる現代的課題を理解することができる。 ・「読む、書く、話す、聞く」のサイクルを共同で経験し、省察的学習の実践の方法論を身につけている。 ・小レポート、最終レポートを通し、読み手を意識した論理的な文章を書くことができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは定めず、講義中に資料を配布する。参考文献も適宜紹介する。	
成績評価	各講義後に提出する小レポート（50％）と最終レポート（50％）をもとに、総合的に判断する。なお、小レポートの未提出が4回以上の場合は評価対象から外す。	
履修資格		

科目名	教育課程論	２単位
担当教員	木村　裕	
授業概要	教育課程の歴史的展開、教育課程の構造、授業における教育内容と教育方法のあり方などについて、文献や映像資料などを用いながら講義する。	
到達目標	「学校に基礎を置く教育課程開発」を行うために必要となる基礎的な知識と技能を獲得すること。	
テキスト 指定図書 参考書	【テキスト】 佐藤博志編著『教育学の探究－教師の専門的思索のために』川島書店、2013年 【参考書】 学習指導要領 ※それ以外の資料などについては、講義中に適宜配布する。また、参考文献を適宜紹介する。	
成績評価	講義中に提出するワークシートなど（50％）とまとめのレポート（50％）をもとに、総合的に判断する。	
履修資格		

科目名	教育実習・事前事後指導	５単位
担当教員	吉田　一郎　・　篠原　岳司　・　木村　裕	
授業概要	教育実習とそれにかかわる事前事後の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前の学習と事後のまとめ・評価・反省を大学において行う。	
到達目標	学校教育の内容の理解。授業実践力を高める。学校システムの理解。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：なし。適宜プリントなどを配付する。参考書：授業内に随時紹介する。	
成績評価	実習、事前事後指導の完全参加が絶対条件となる。	
履修資格	資格取得の手引きの3「各学部・学科・専攻における教育職員免許の取得について」の（3）「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。	

科目名	教育実習・事前事後指導（養護教諭）	５単位
担当教員	伊丹　君和、飯降　聖子、植村　小夜子、糸島　陽子、八木　利津子※	
授業概要	教育実習（養護教諭）とそれに関わる事前事後の指導である。実際に教育現場で教育指導をするにあたり、児童・生徒を理解する方法や、養護教諭の役割について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前学習と、事後のまとめ、評価、反省を大学において行う。	
到達目標	1. 学校における教育理念や内容等が理解できる。 2. 養護教諭の役割が理解できる。 3. 養護教諭としての実践能力を高める。 4. 学校教育を推進するための教育システムが理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト 　なし。適宜プリントを配布する。 参考書 　授業内に適宜紹介する。	
成績評価	実習、事前事後指導の完全参加が絶対条件となる。	
履修資格	資格取得の手引きの2「各学部・学科・専攻における教育職員免許の取得について」の(3)「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。	

科目名	教育心理学	２単位
担当教員	黒田　真由美※	
授業概要	児童期の発達・学習・記憶・動機づけ等の心理学の基本的な概念について概説する。また、教育実践の事例を通して、いじめや発達障害等の問題について理解を深める。	
到達目標	「学ぶ」ことの諸側面について、児童期の発達、学習、集団・適応という観点から学ぶ。心理学の用語や理論などの知識を習得すると同時に、心身の発達過程について体系的に学ぶことを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	必要に応じて授業中に指示する	
成績評価	レポート評価(100％)	
履修資格		

科目名	教育制度論	２単位
担当教員	篠原　岳司	
授業概要	本講義では、わが国の教育制度の基本原理を歴史的展開や具体例を踏まえて明らかにし、21世紀における教育制度の将来像を検討していく。したがって、講義では教育制度の成立背景や発展の展開、制度を形作る基本原理、教育実践と制度の相克に関する事例や論点を取り上げていく。	
到達目標	・わが国の教育制度（教育の社会的、制度的および経営的事項）の理念と歴史および構造を理解できる。 ・教育と学習の具体的現象を考察する上での、社会的、制度的、経営的な観点を獲得している。 ・「読む、書く、話す、聞く」の一連のサイクルを共同で経験し、省察的学習の実践の方法論を身につけている。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは特に指定しない。講義中に資料を配布する。また、講義中に適宜、参考図書および資料を紹介する。レポート作成に活用して欲しい。	
成績評価	平常点（50%）および最終レポート（50%）で評価する。平常点は小レポート、講義中の作業課題、そしてレスポンスシートの提出等で評価する。	
履修資格		

科目名	教育相談・進路指導	２単位
担当教員	別府　悦子※　・　田中　容子※	
授業概要	カウンセリングに関する基礎知識、発達についての心理学的見解、不登校やいじめなどの今日的問題を紹介する。その上で具体的な相談事例を検討し、個々の事例に即した対応・支援の考え方を学ぶ。また、生徒が主体的に自分の人生を選択していく力を育てるという観点から進路指導の理論と方法を考察する。	
到達目標	この授業では、教育相談を受ける教員にとって必要な知識を紹介していく。学校で持ち込まれる個々の相談すべてに正しい答えがあるとは限らない。そうした一つ一つの問題に向き合うとき、カウンセリングの知識、社会的連携、時代背景など異なる水準の広範な知識が大きな助けとなる。そこで、こうした広範な知識を習得し、生徒の抱える問題を引き受けられる教員としての土台を築くことを目標とする。また、進路指導についてもその意義や理論を学ぶとともに、具体的な事例の検討を通して実践に活かす方策を考察する。	
テキスト 指定図書 参考書	必要に応じてプリント、ワークシートを配布する。	
成績評価	レポート評価（100％）	
履修資格		

科目名	教育方法論	２単位
担当教員	吉田　一郎 ・ 木村　裕 ・ 亀田　彰喜	
授業概要	学校教育の大きな柱である教科指導と生活指導をめぐる議論や実践事例の検討などを通して、教育目標と教材の関係、教師の指導技術、情報機器の活用方法、教育評価の役割と実践方法など、教育活動を構想・実践・改善するために必要な基本的な知識と技術を習得することをめざす。	
到達目標	受講生一人ひとりが将来教員や人を育てる立場になったときに、自分なりの「よい授業」「よい教育活動」を構想・計画し、実践し、改善することができるようになるための基礎的な知識や技能（情報機器および教材の活用を含む）を習得するとともに、自分なりの暫定的な「めざす授業像」「めざす教育活動像」を確立すること。	
テキスト 指定図書 参考書	【参考書】 ①田中耕治編『よくわかる授業論』ミネルヴァ書房、2007年 ②佐藤学『教育方法学』岩波書店、1996年 ※　その他の参考書や参考資料については、講義中に適宜紹介する。	
成績評価	数回のレポートの作成・提出を求め、それらをもとに総合的に判断する。レポートの詳細については講義中に説明する。	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅰ（英語）	２単位
担当教員	小栗　裕子	
授業概要	英語教育に関するさまざまな要因について学ぶとともに、その指導法についての理解を深める。その過程から外国語としての英語を日本人学習者が学ぶ際直面する問題を考える。同時にそれらの問題を克服する手助けに必要な知識を獲得し、学習者に対する態度の滋養、さらに自分自身の指導法を省察的な態度でみることを目指す。このクラスでは理論面を中心に学ぶ。	
到達目標	この授業では、英語の教師に必要とされる英語教育の理論的知識と実践的教育力を習得することを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:　望月昭彦編著 (2010)『新学習指導要領にもとづく英語科教育法』(改訂版)大修館書店. 参考書・参考資料等　文科省『高等学校学習指導要領解説（外国語編英語編）』開隆堂出版. 文科省『中学校学習指導要領解説（外国語編英語編）』開隆堂出版. 米山朝二 (2011)『新編英語教育指導法事典』研究社. リチャーズ ＆ロックハート著・新里眞男訳 (2000)『英語教育のアクション・リサーチ』研究社. Brown, D. (2006) Principles of Language Learning and Teaching (5th Edition). Pearson ESL. Richard, R. & Rodgers, T. (2001) Approaches and Methods in Language Teaching (2nd Edition). CUP.	
成績評価	課題 40%　発表 30%　Exam 30%	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅰ（家庭）	２単位
担当教員	大塚　眞理子※	
授業概要	高等学校家庭科について、学習指導要領に示されている教科目標や内容、また指導計画や評価などを学ぶとともに、教科の意義や本質を理解する。それらをもとに、教材研究や指導案の作成、模擬授業とその検討を行い、家庭科指導の実践力を養う。	
到達目標	高等学校家庭科の学習指導について、教材を理解し授業を立案し実践できる力を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト 高等学校教科書「家庭基礎」東京書籍 「中学校高等学校　家庭科指導法」建帛社	
成績評価	指導案30%　模擬授業30%　レポート・提出物30%　毎回の感想10%	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅰ（工業）	２単位
担当教員	奥野　信一※	
授業概要	私たちは労働・生産を基本とする社会に生活しています。その労働・生産は科学や技術（ものづくり）の発展と進歩で成り立っています。労働や生産と直接的に関わり，社会に貢献してきた工業について理解することが，この授業のねらいです。ただし，技術の発展には影の部分が絶えずつきまといます。技術について学ぶ者は，技術の光と影の両面を総合的に判断し，実践できることが求められます。 工業科教育法Ⅰでは，技術の歴史とその役割，技術と自然科学の関係，技術教育の歴史とその役割，安全教育，環境問題，技術教育の方法と評価，高等学校（工業）の目標及び教材研究について学習します。	
到達目標	(1)技術の歴史についてその概略を説明できる。 (2)工業技術教育の目標，指導法と評価について説明できる。 (3)工業科に関する教材研究ができる。 (4)工業技術教育の今日的課題について，考えが言える。	
テキスト 指定図書 参考書	講義の中で適宜参考資料を紹介し，配布する。	
成績評価	レポート80%　平常点20%	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅰ（公民）	２単位
担当教員	山上　修※	
授業概要	(1)公民科教育の目標を、歴史的、国際的な視点から追究する。(2)人間、社会、人類と自然との共生、人類の課題を、以下の(a)(b)を軸に追究する。(a)人間は何故万物の霊長になり、他の動物と異なる特質は何か。それはどうすれば生かせるか。人間の自己・自然・社会変革の可能性と限界はどこにあり、限界を超える際のポイントは何か。人間と自然の関係をどうとらえるか、自然との共生は可能か、可能性をどう切り拓くのか。(b)すべての人々の尊厳を守り、個性・自由・幸福追求を保障する考え、ルール、制度とはいかなるのものか。人権、権利、民主主義とは?	
到達目標	次の諸点を説明できること。(1)公民科教育の目標の歴史的、国際的な到達度。(2)人間の他の動物と異なる特質。それはどうすれば生かせるか。人間の自己・自然・社会変革の可能性と限界と限界を超える際のポイント。人間と自然の関係、自然との共生の可能性。すべての人々の尊厳を守り、個性・自由・幸福追求を保障する考え、ルール、制度とは。人権、権利、民主主義とは?	
テキスト 指定図書 参考書	[テキスト]使用しない（適宜プリント配布） [指定図書]『輝跡！21世紀を見つめて今を生きる』(山上修著/文芸社)＜在庫切れ。古書ならnetで入手可。大学図書館に2冊あり。→amazonで「輝跡　山上修」で検索し、「内容を読む」をクリックすれば、前書き、目次、あとがきを読める＞。 [参考図書] ・茂木健一郎の脳科学講義(茂木健一郎/ちくま文庫) ・『狼に育てられた子～アマラとカマラの養育日記』(J.A.Lシング著/福村出版)、 ・『オオカミ少女はいなかった』(鈴木光太郎著/新曜社)、 ・『オール1の落ちこぼれ、教師になる』(宮本延春著/角川書店)、 ・『だからあなたも生き抜いて』(大平光代著/講談社)、 ・『典子44歳いま、伝えたい』(白井典子著/光文社)ほか [参考文書]・学習指導要領(公民科)、・子どもの権利条約、・教育勅語、・新旧教育基本法、・学習指導要領、・ユネスコ学習権宣言、・子どもの権利条約、OECDのDeSeCo ＜以上はnetで検索＞	
成績評価	出席:原則として1/3以上の欠席の場合は評価対象としない。授業中の提出物:30%、学期末の筆記試験（持ち込み不可、出席することで解答できる内容）70%にて評価する。	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅰ（社会）	２単位
担当教員	奥村　好美※	
授業概要	中学校の社会科のカリキュラムと授業の構成原理や指導上の配慮事項を学び、学生各自が学習指導案を作成し、模擬授業を行う。分担者の模擬授業について受講者全員で検討・議論する。	
到達目標	中学校の社会科のカリキュラムと授業の構成原理や指導上の配慮事項を学び、模擬授業を行うことができる。分担者の模擬授業について受講者全員で検討・議論することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:特に指定しない。	
成績評価	授業中の小レポート　50% 模擬授業・レポート　50%	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅰ（情報）	２単位
担当教員	神月　紀輔※	
授業概要	学校教育の中での教科「情報」の果たす役割や位置づけを明確にし，教科「情報」の目標及び科目編成やカリキュラムの編成方法についてとりあげ，情報科教育に関わる方法論を講義する。	
到達目標	教科「情報」の意義について理解し，情報科教育に関わる方法論について理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：文部科学省「高等学校学習指導要領解説　情報編」 指定図書：松原伸一「情報科教育法」（開隆堂出版） 参考書：適宜紹介する	
成績評価	評価は，レポート，授業への参加態度，出欠状況などについて学生間相互評価，および自己評価を重視し，総合的に評価を行う。レポートは4～5回。すべて学生間で開示し相互評価を行い，自己評価を行う。授業については，相互評価やディスカッションに参加できない場合は単位を認定しない。また，4回以上の欠席のある場合にも学習を進めることが困難となるので単位を認定しない。	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅰ（地理歴史）	２単位
担当教員	鎌田　ユリ※	
授業概要	高校の地理教育、歴史教育の目標、内容、指導上の配慮事項を学び、学生各自が学習指導案を作成し、模擬授業をおこなう。分担者の模擬授業について受講者全員で検討・議論する。	
到達目標	高校の地理教育、歴史教育の目標、内容、指導上の配慮事項を学び、模擬授業をおこなうことができる。分担者の模擬授業について受講者全員で検討・議論することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：特に指定しない。	
成績評価	授業中の小レポート　50% 模擬授業・レポート　50%	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅰ（農業）	２単位
担当教員	木島　温夫※	
授業概要	農業高校の教育に限らず、一般教育的に理解しておかなければならない基本的な事項を身につけるために必要な基礎を学ぶ。農が人間の生きる力の基本であるのはなぜかを理解する。農業にかかわる教育は歴史的にどのような発展をしてきたかを学び、これからの農の教育のあり方を考える。	
到達目標	農の教育力を理解し、農の教育を実践できる能力を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストは使わない。授業ごとに資料プリントを配布する。参考図書は適宜紹介する。	
成績評価	4回のレポートで評価する。1レポート25点満点で4レポートで100点満点で評価する。	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅰ（理科）	２単位
担当教員	石川　聡子※	
授業概要	本講義の目的は、理科教育の意義や目的、今日的で社会的課題や現状について理解し、理科指導の基礎的な知識として学習内容の構造や評価方法について理解を深めることである。学習指導案を作成し、模擬授業あるいはその準備をおこない，教育実習に備える実践的スキルを身につけることをめざす。 講義の進め方は、理科指導に必要な事項について主に講義形式でおこない，デジタル教材の活用や学習指導案の作成などはグループワークを取り入れる。模擬授業の準備は受講生全員がおこなうが、実際に模擬授業を受講者全員がするのは時間的に困難なため，数人の受講生に限定する。	
到達目標	1）科学を学ぶ意義や理科教育の目的について理解する。 2）中学校理科の目標，学習指導要領における内容の系統性について理解する。 3）評価方法の基本について理解する。 4）学習指導案を作成できる。	
テキスト 指定図書 参考書	1）中学校学習指導要領解説理科編、大日本図書、2008年、110円。ISBN:978-4477019796。 文科省のHPからダウンロードすることもできる。 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/chukaisetsu/index.htm 978-4477019796 2）中学校理科教科書「未来へひろがるサイエンス3」、啓林館。	
成績評価	テスト（30%）、小テスト（20%）、学習指導案などの課題作成物（50%）。 3回の遅刻（開始時刻から30分以降）および早退（終了時刻より30分以前）で1回の欠席とみなし，講義時間数の3分の1以上欠席した受講生は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅱ（英語）	２単位
担当教員	小栗　裕子	
授業概要	英語教育に関するさまざまな要因について学ぶとともに、その指導法についての理解を深める。その過程から外国語としての英語を日本人学習者が学ぶ際直面する問題を考える。同時にそれらの問題を克服する手助けに必要な知識を獲得し、学習者に対する態度の滋養、さらに自分自身の指導法を省察的な態度でみることを目指す。このクラスでは実践面を中心に学ぶ。	
到達目標	この授業では、英語の教師に必要とされる英語教育の理論的知識と実践的教育力を習得することを目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：望月昭彦編著 (2010)『新学習指導要領にもとづく英語科教育法』(改訂版)大修館書店. 参考書・参考資料等　文科省『高等学校学習指導要領解説（外国語編英語編）』開隆堂出版. 文科省『中学校学習指導要領解説（外国語編英語編）』開隆堂出版. 米山朝二 (2011)『新編英語教育指導法事典』研究社. 高梨庸雄編著(2005)『英語の「授業力」をたかめるために一授業分析からの提言』三省堂. Brown, D. (2006) Principles of Language Learning and Teaching (5th Edition). Pearson ESL. Richard, R. & Rodgers, T. (2001) Approaches and Methods in Language Teaching (2nd Edition). CUP.	
成績評価	課題 40%　模擬授業 40%　Exam 20%	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅱ（家庭）	２単位
担当教員	柴田　陽子※	
授業概要	技術・家庭科家庭分野の学習指導要領の講義を通して、教科の目標・内容・年間指導計画・授業展開・評価等を理解するとともに、集団討議により教材研究・模擬授業・授業研究を行う。	
到達目標	技術・家庭科家庭分野の全容を理解した上で、授業を実践する力を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	「テキスト」 ・高等学校家庭科教科書「家庭基礎」第一学習社　・プリント配布 「参考書」 ・『家庭科への参加型アクション志向学習の導入』中間美砂子編著　大修館書店	
成績評価	レポート20％・指導案の作成30％・模擬授業30％・小テスト20％ 欠格条件：授業時間数の3分の1以上欠席した者は、評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅱ（工業）	２単位
担当教員	廣谷　明※	
授業概要	技術立国日本を支える有益な人材育成をすすめるためには、時代の進展に対応した学校教育の充実が求められている。本講では、高等学校工業科の教員免許状取得に必要な授業方法についてまた、自身の長年にわたる工業高校での教育実践をもとに授業を展開し、教育に携わる者（教員）としての必要な態度と資質について学び高めていく。	
到達目標	工業科教育の理解を深め、高等学校で学ぶ生徒の人格形成に寄与できる教師としての力量と指導法を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:「高等学校学習指導要領解説　工業編」文部科学省、実教出版 参考書:「高等学校指導要領解説　総則編」文部科学省 必要に応じ授業資料を配付する。	
成績評価	レポート評価（70％）、授業の取り組み・出席状況（30％）	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅱ（公民）	２単位
担当教員	山上　修※	
授業概要	【概要】公民科教育法Ⅰで追究した公民科教育の目的を達成する授業方法とはいかなるものか。OECEのDeSeCoのキーコンピテンシー（子どもに育むべきキーとなる諸能力）を参考に、いま求められるキーとなる授業方法や学習形態を紹介しながら、学生による模擬授業とそれについての合評会を軸に探求する。 紹介する授業方法・学習形態は、下記のものを予定している。 1)フレネ教育、2)オランダ・イエナプラン教育、3)学びの共同体、4)生徒が主役のレポート授業など。	
到達目標	下記のa)型の授業から脱却し、b)型の授業を組み立てることができるようになること。 また、c)については、今後の課題とする。 a)教師による一斉・画一型の授業、一方通行の授業、知識注入型の授業。 b)生徒の知的好奇心を呼び起こし、生徒による主体的・科学的な課題追究、個別かつ共同(生徒間の対話・討論、教師と生徒の対話・討論)の課題追究とこれらを通して知識や探究方法を学べる授業 c)b)型授業の陥りがちな欠点(追究する分野が偏りがち)を補うため、必要な分野を追究できるように年間計画を練り上げる。	
テキスト 指定図書 参考書	[テキスト]適宜プリント配布 [指定図書]『輝跡！21世紀を見つめて今を生きる』(山上修/文芸社) [参考図書] 『フレネ教育　子どものしごと』(若狭蔵之助/青木書店) 『フレネ自由学校だより　南フランスからのエアメール』(原章二・原光枝/あゆみ出版) 『オランダの個別教育はなぜ成功したのか　イエナプラン教育に学ぶ』(リヒテルズ直子/平凡社) 『学校の挑戦　学びの共同体を創る』(佐藤学/小学館)	
成績評価	[出席]1/3以上の欠席の場合は原則として評価対象としない。 [評価]以下を合計したもの 〈毎回の授業中の提出物〉(20％)(全回提出で満点) 〈模擬授業(20％)〉(学生による評価の平均点と講師の評価点の平均点) 〈期末レポート(60％)〉	
履修資格	原則として、公民科教育法Ⅰを履修していること（事情があれば相談のこと）。	

科目名	教科教育法Ⅱ（社会）	２単位
担当教員	小林　忠伸※	
授業概要	中学校社会科授業構成の理論と方法について学習する。 地理・歴史・公民の三分野の学習指導案の作成と指導法について学習する。	
到達目標	・目標・授業・評価の一体化を観点に授業を構成できる。 ・三分野の学習指導案に基づいて授業実践できる。 ・社会科の教員として望ましい知識と態度を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布、文部科学省「中学校学習指導要領解説　社会科編」 中学校教科書（「地理」「歴史」「公民」）	
成績評価	レポート60％、学習指導案（模擬授業）40％を基本に評価	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅱ（情報）	２単位
担当教員	神月　紀輔※	
授業概要	情報科教育法Ⅰで身につけた，教科「情報」についての理解をもとに実践的な授業内容について考察する。模擬授業等を取り入れ，インストラクションの技術向上とともに，理論的側面についても考察を深める。	
到達目標	教科「情報」の授業計画を作成でき，授業実践ができるようになる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：文部科学省「高等学校学習指導要領解説　情報編」 指定図書：適宜紹介する 参考書：適宜紹介する	
成績評価	自学自習を基本にし，学生間相互評価および自己評価を重視する。各単元ごとに模擬授業を行いその評価は相互評価ならびに自己評価を基本にする。模擬授業での参加意欲は自己評価により点数化し，評価に勘案する。また4回以上欠席の場合は，学習を進めることが困難になるため単位を認定しない。	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅱ（地理歴史）	２単位
担当教員	山口　康雄※	
授業概要	改訂「高等学校学習指導要領地理歴史科」、「中学校学習指導要領社会科」に即し、地理歴史科教育法Ⅰで履修した学習内容を踏まえて、地歴科目のねらいと教科内容に関わる教材を選択・精選・発掘し、それらを有機的に組み立てていく授業構成（学習指導案作成）、および模擬授業を通して、地歴科各科目の指導法を学習する。	
到達目標	中学社会科・高校地歴科の教員としての資質、教養、最低必要な指導方法を身につける	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：高等学校学習指導要領解説（地理歴史編）、中学・高校時代の地歴 教科書・副教材：プリント配布、その他講義中に指示するもの	
成績評価	・学習指導案（模擬授業）40%、レポート30%、小テスト30%を基本に総合判定する ・授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅱ（農業）	２単位
担当教員	江見　和綽※	
授業概要	昭和23年（1948）の新制高等学校の発足以来、60数年の高等学校教育の中で、農業科教育はその時の社会情勢・経済情勢等によって大きく影響を受けながら、地域社会と連携し、農林業の振興と人材の育成に大きく貢献してきた。本講では、これらの流れや動きをよく理解して、これからの農業科教育のあるべき姿を考えていく。 高等学校農業科教育に長年にわたり携わってきた者の立場から、その経験や体験を通して得た農業科教育のノウハウを具体的に展開する。	
到達目標	農業科教育の現状、農業高等学校の実情・実体を直視しながら、有為な人材を育成するための農業科教育の方法および農業高等学校の在り方を学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	高等学校学習指導要領解説（農業編）文部科学省（海文堂出版）、プリント配布	
成績評価	レポート評価70％、授業の取り組み・出席状況30％	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅱ（理科）	２単位
担当教員	宮下　ゆたか※	
授業概要	本講義では、理科教育の目的・目標、および子どもの実態をふまえて理科授業構成、授業方法などに関する具体的実践事例をとおして、理科教師としての実践的力量の基礎を身につけることをめざす。講義の進め方としてはグループ単位で授業プラン（学習指導案、授業プリント、板書計画など）を作成し、何らかの形で全員が模擬授業を実施する予定である。模擬授業実施後には、授業検討を行い模擬授業担当者のみならず受講者にとっても実践的力量をつける場としていきたい。多くの模擬授業を受ける中で、自分のめざす理科授業の具体的イメージができることをめざす。 具体的な模擬授業としては①2011・3・11福島第一原発事故と関連させた中学理科「原発と放射線」模擬授業②高校物理「力学」分野において教師実験を導入に組み入れた模擬授業。	
到達目標	1.理科教育の目的をふまえた授業プラン（学習指導案、授業プリント、板書計画など）の作成ができる。 2.自分の作成した授業プランに基づいた模擬授業を展開することができる。 3.理科教師の立場および学習する生徒の立場から、自分の模擬授業および友人の模擬授業を的確に分析・評価できる。 4.自分のめざす理科の授業づくりの具体的イメージができる。	
テキスト 指定図書 参考書	必要な資料などは教室にて適宜　紹介、配布をする。 以下の資料①②は各自準備しておくことが望ましい。 ①中学校学習指導要領(2008年3月） ②高等学校学習指導要領（2009年3月）	
成績評価	①学習指導案、授業プリント、板書計画づくり、模擬授業（50%） ②模擬授業に対する自己分析と友人の模擬授業評価（20%） ③随時課す小レポート および最終レポート（30%） ④出席状況　（全時間出席を原則とする）	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅲ（英語）	２単位
担当教員	小栗　裕子	
授業概要	教育実習に備えて、英語の指導法についての基礎知識と教師としての心構え、授業で必要とされる指導技術や指導案の作成の仕方を学ぶ。演習や模擬授業を行なった後、受講者全員で「教え方」についての討論をすることによって、学習者を観察する視点や省察的態度を養い、実践で活かせるスキルを習得する。	
到達目標	英語の授業で必要とされる基本的な技術を身につける。そして、模擬授業の演習を通して教師として必要な指導力と心構えを身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：中学校検定教科書：New Horizon English Course 1・2・3 東京書院. 浅羽亮一他著 (2009)『わかりやすい英語教育法ー小中高での実践的指導』三修社. 参考書・参考資料等　文科省『高等学校学習指導要領解説（外国語編英語編）』開隆堂出版. 文科省『中学校学習指導要領解説（外国語編英語編）』開隆堂出版. 米山朝二 (2003)『英語教育指導法事典』研究社. 佐野正之 (2000)『アクション・リサーチのすすめ』大修館書店. Richards, C & T. Farrell. (2005) Professional Development for Language Teachers. CUP.	
成績評価	授業での討論 30%　演習発表　40%　レポート　30%	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅲ（家庭）	２単位
担当教員	大塚　眞理子※	
授業概要	家庭科教育法ⅠおよびⅡの発展として、家庭科教育についてさらに考察を深め、中・高家庭科教員としての資質を養う。	
到達目標	(1)家庭科と他教育との関連性を理解する。 (2)小・中・高の家庭科の連続性について理解する。 (3)家庭科教員として指導できる資質を知る。	
テキスト 指定図書 参考書	武藤八恵子ほか　編「テキスト家庭科教育」〔家庭教育社〕	
成績評価	リポート(70％)授業態度（30％）	
履修資格	家庭科教育法ⅠおよびⅡを履修し、必要単位を取得していること。	

科目名	教科教育法Ⅳ（英語）	２単位
担当教員	小栗　裕子	
授業概要	教育実習に備えて、英語の指導法についての基礎知識と教師としての心構え、授業で必要とされる指導技術や指導案の作成の仕方を学ぶ。演習や模擬授業を行なった後、受講者全員で「教え方」についての討論をすることによって、学習者を観察する視点や省察的態度を養い、実践で活かせるスキルを習得する。	
到達目標	英語の授業で必要とされる基本的な技術を身につける。そして、模擬授業の演習を通して教師として必要な指導力と心構えを身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：中学校検定教科書：New Horizon English Course 1・2・3 東京書院. 浅羽亮一他著 (2009)『わかりやすい英語教育法ー小中高での実践的指導』三修社. 参考書・参考資料等　文科省『高等学校学習指導要領解説（外国語編英語編）』開隆堂出版. 文科省『中学校学習指導要領解説（外国語編英語編）』開隆堂出版. 米山朝二 (2003)『英語教育指導法事典』研究社. 佐野正之 (2000)『アクション・リサーチのすすめ』大修館書店. Richards, C & T. Farrell. (2005) Professional Development for Language Teachers. CUP.	
成績評価	模擬授業　30%　授業での討論 40%　定期試験　30%	
履修資格		

科目名	教科教育法Ⅳ（家庭）	２単位
担当教員	大塚　眞理子※	
授業概要	家庭科教育法ⅠおよびⅡの発展として、高等学校普通教科家庭科（家庭基礎・家庭総合・生活デザイン）の指導方法について、演習方式で実践的・体験的に学びを深める。	
到達目標	高等学校家庭科において育成すべき「学力」の考え方と、それを実現するための指導の方策について習得する。指導に有効な教材を考え作成できる。	
テキスト 指定図書 参考書	高等学校家庭教科書「家庭総合」東京書籍	
成績評価	・開発教材の作成　　70％ ・レポート　　30％	
履修資格		

科目名	教職実践演習（中学校）	２単位
担当教員	吉田　一郎　・　篠原　岳司　・　木村　裕	
授業概要	4年間の教職課程の総まとめ科目として、これまでの教職課程の履修で不足している知識・技能を補完し、さらに今日、教員に求められている資質や能力を身につけ、学校現場で予想される諸問題に対処できるようにする。	
到達目標	講義、グループ討論、ロールプレイング、事例研究、模擬授業、現地調査などを経験するとともに毎時間、授業の最後に今回学んだ内容、教員になった場合、その内容をどのように活かしていくかについてのレポートることによって、実践的な力量を伸ばすとともに、教育者としての基本姿勢などを身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：参考書：講義の際に、適宜紹介する。	
成績評価	毎時間の小レポートの内容や授業への参加態度をもとに成績評価を行う。	
履修資格		

科目名	教職実践演習（高等学校）	２単位
担当教員	吉田　一郎　・　篠原　岳司　・　木村　裕	
授業概要	講義、グループ討論、ロールプレイング、事例研究、模擬授業、現地調査などを適宜取り入れる。現実の学校に学びながら、理想の教育と追求する。その基本的な構えのもとに演習を通して主体的に教育について考察する。そのため、毎回、講義の終わりに今回学んだ内容について、また教員になった場合、その内容をどのように活かしていくかについてのレポートをまとめさせる。それら演習を通じて実践的な力量を伸ばすとともに、教育者としての基本的資質能力、教育哲学、法律知識、教養、基本姿勢などを学ぶ。	
到達目標	4年間の教職課程の総まとめ科目として、これまでの教職課程の履修で不足している知識・技能を補完し、さらに今日、教員に求められている資質や能力を身につけ、学校現場で予想される諸問題に対処できるようにする。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:参考書:『学校って何だろう　教育の社会学入門』 苅谷剛彦　ちくま文庫	
成績評価	出席状況と、毎回の小レポート、演習の内容、総括レポートを総合して行う。3分の2以上の出席を単位認定の条件とする。4回の演習は必ず行うこと。	
履修資格		

科目名	教職実践演習（養護教諭）	２単位
担当教員	八木　利津子※　・　伊丹　君和　・　吉田　一郎　・　篠原　岳司　・　木村　裕	
授業概要	救急処置・健康診断・健康相談・保健指導など演習を通して、養護教諭の専門的な知識や技能を生かした健康教育の進め方を学ぶ。講義と演習を基本として、発表・模擬授業・事例研究など、交流しながら今日的課題に対応できる資質の向上を図る。	
到達目標	4年間の教職課程の総まとめ科目として、これまでの教職課程の履修で不足している知識・技能を補完し、さらに今日、教員に求められている資質や能力を身につけ、学校現場で予想される諸問題に対処できるようにする。現実の学校に学びながら、専門的職種としての養護教諭像を確立する。そのため、求められる資質や能力を身につけ、学校現場での実践に繋がる力をつける。	
テキスト 指定図書 参考書	講義の際に、資料配布。参考文献については適宜紹介 。	
成績評価	小レポート、総括レポートの提出状況、演習・発表内容を総合して評価	
履修資格		

科目名	教職実践演習（栄養教諭）	２単位
担当教員	未定	
授業概要	大学4年間で学んだことと栄養教育実習での体験を統合し、栄養教諭として学校給食管理と食に関する指導を行うための実践的指導力や今日的課題に対応できる能力の育成と更なる資質の向上を図る。主な授業の形態として、講義や演習、発表、ロールプレイ等を組み合わせたものとする。	
到達目標	教職課程における履修履歴をもとに、学校現場で必要とされる栄養教諭としての技能、知識の不足部分を補完する	
テキスト 指定図書 参考書	参考書:適宜紹介する。	
成績評価	授業への参加姿勢、評価テスト、レポート、発表内容等を総合的に評価	
履修資格		

科目名	教職論	２単位
担当教員	木村　裕	
授業概要	教師の実態や特徴的な実践の紹介などを通して、教師の職務、教職の本質、教育実践のあり方などについて講義する。	
到達目標	教師の役割に関する基礎的な知識を習得するとともに、自分なりの暫定的な「めざす教師像」を確立すること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキストなどは特に定めず、講義中に適宜資料を配布する。また、参考文献を適宜紹介する。	
成績評価	講義中に提出するワークシートなど（50％）とまとめのレポート（50％）をもとに、総合的に判断する。	
履修資格		

科目名	憲法	２単位
担当教員	橋本　豪志※	
授業概要	日本国憲法は，その制定後60年を経過し「経年劣化」が言われるところである。そのため，裁判員制度の導入や，道州制・首相公選制の導入論に見られるような新たな動きも存するところであるが，判例の永年の集積は，我が憲法の理念に光を投げかけ，その意味するところを示唆する。但し，判例は実社会を後追いする傾向があることは否めず，受講生にはより主体的能動的な理解を求めたい。そこで，特に人権条項中の表現の自由について，その民主主義的意義を理解し，さらに統治機構との関係を明らかにすることで，憲法の全体像の理解につなげたい。	
到達目標	憲法の基本構造を理解し，人権相互ないし法的利益との調整手法を学ぶ。その上で，表現の自由を中心とした精神的自由が，成熟した民主主義社会に果たす役割を理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：憲法講義　山上賢一編著（中央経済社），憲法判例集　野中俊彦・江橋崇編著（有斐閣新書）指定図書：芦部信喜著　高橋和之補訂　憲法第4版（岩波書店）	
成績評価	期末試験をもって評価する。	
履修資格		

科目名	情報と職業	２単位
担当教員	亀田　彰喜	
授業概要	情報技術やインターネットの活用によって、企業の経営形態を変え、情報関連企業が続々と出現し、従来の企業のビジネスモデルが大きく変化してきている。新しい情報関連ビジネスが次々生まれる中で、企業が求める人材も大きく変わってきている。今日のネットワーク社会で、我々の仕事の内容や職場の環境がいかに変化してきているのか。また、今日の情報化社会におけるビジネスを理解するために求められる人材がどのように変化して来ているのか。そして、情報化社会の労働観がどのように変わりつつあるかを学んでおかねばならない。	
到達目標	(1)情報化社会における情報技術の進展と情報関連企業の実態の把握。(2)情報ネットワークによるビジネス環境の変化を認識し、企業における情報活用の事例を考察することができる。(3)インターネットビジネスの実態を把握し、情報化社会における犯罪と法制度を考察し認識することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：プリント等を配布指定図書：駒谷昇一・辰巳丈夫・楠元範明共著「情報と職業」（オーム社）参考書：近藤　勲編著「情報と職業」（丸善）	
成績評価	課題60%　情報と職業に関する課題の作成により評価、レポート40%　情報と職業のレポートにより評価	
履修資格	工学部　電子システム工学科の学生を対象（教員免許「情報に関する科目」）	

科目名	職業指導	２単位
担当教員	中島　由佳※	
授業概要	高等学校における進路指導において必要とされる知識・技法を身につける。職業指導の理論と方法、青少年のキャリア発達についての理解を深め、適性や興味についての心理的考察とその診断方法に関して論考する。さらに、厳しく、変化の激しい現代社会への接続を支援する職業指導（進路指導）のあり方を考え、学ぶ。	
到達目標	(1) 青少年のキャリア発達についての理解を深める。 (2) 今日の進路指導において必要とされる知識・技法を身につける。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト なし（適宜プリントを配布する） 参考書・参考資料等 入門 進路指導・相談（福村出版）	
成績評価	平常点3割、評価課題（論述試験）の得点（理解の正確さと洞察の深さ）を7割として評価する。 ただし出席を重視し、全回数の3割以上の欠席をした者には単位を認定しない。	
履修資格		

科目名	食生活教育論	２単位
担当教員	未定　・　成田　幸子※	
授業概要	日本の食生活・食文化が日本人の健康維持増進に果たしてきた役割を理解し、さらに国民栄養の現状、生活習慣病と関連を持たせながら、幼児・児童・生徒の食に関する問題点、課題などに対する的確な問題意識をもち、社会、地域、学校と連携しつつ、食生活に関わる諸問題を解決し、改善を講じる能力を養う。	
到達目標	(1)栄養教諭の役割と職務内容の全体像を理解する。 (2)学校給食の役割を理解する。 (3)国民全般や幼児・児童・生徒の食に起因する健康課題、食生活の歴史的・文化的事項等を理解する。 (4)実態を踏まえた個別相談指導や学校・家庭・地域との連携方策を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：金田雅代編著「栄養教諭論ー理論と実際ー」（建帛社）、文部科学省刊行書「食に関する指導の手引き」（東山書房）	
成績評価	期末試験80％、授業内レポート20％ 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。	
履修資格		

科目名	生徒指導論	２単位
担当教員	吉田　一郎	
授業概要	生徒指導概念の出自に関する検討をはじめとして、生活指導概念との異同を論じ、生徒指導の基本的課題について考える。また、日本における生徒指導論の背景にある、いくつかの理論（特別権力関係論、管理主義教育論、精神主義教育論、保護主義的教育論の問題性について考察する。また、生徒指導の実践的な展開場面を素材にしながら、実践的課題について考える。	
到達目標	生徒指導の目標・課題について理解を深めるとともに指導力量を形成する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト： 参考書：講義中に適宜指示する。	
成績評価	レポートによって行う。5回以上欠席したら評価の対象にしない。	
履修資格		

科目名	道徳教育論	２単位
担当教員	吉田　一郎	
授業概要	わが国の道徳教育実践の歴史を振り返りながら、そこで深められた理論的、実践的な知見について考える。戦前日本の道徳教育、戦後初期の教育民主化の歴史的意義、憲法・教育基本法下の道徳教育、道徳の概念、道徳性の発達道徳の授業の実践的課題などについて考察する。	
到達目標	道徳教育の目標・方法について理解をはかりながら、指導力量を形成する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト: 参考書:『子どもと学ぶ道徳教育』吉田一郎他、その他講義中に適宜指示する。	
成績評価	レポートまたは試験によって行う。5回以上欠席したら評価の対象としない。	
履修資格		

科目名	特別活動論	２単位
担当教員	吉田　一郎	
授業概要	学校教育課程における教科外の領域における教育指導について研究するのが、特別活動論の目的である。日本の生活指導や生徒指導実践野中で蓄積されてきた特別活動に関わる教育学的な知見について考える。	
到達目標	特別活動の目的・内容について理解を深め、指導する実践力量を形成する。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:指定しない。	
成績評価	レポートによって行う。5回以上欠席したら評価の対象にしない。	
履修資格		

科目名	被服学	２単位
担当教員	道明　美保子	
授業概要	絶えず向上・進歩する衣生活を科学的な視点でとらえ、真の豊かな衣生活のあり方を考える。被服学の領域は非常に広く、周辺科学の境界領域にまたがる。そこで本講義では、日本の被服生活文化のうつりかわり、着心地と素材、素材への付加価値の付与、人間と社会環境との精神的関係、被服の購入と管理について概説する。	
到達目標	中学校、高等学校での指導を考慮して、真に豊かな衣生活のあり方を考えるうえでの被服生活文化、被服素材、被服の購入と管理および被服の廃棄と再利用に関する知識を得る。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:プリント配布指定図書:適宜紹介参考書:適宜紹介	
成績評価	レポート評価30%　期末筆記試験70% 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象にしない	
履修資格		

科目名	服飾製作実習	１単位
担当教員	法月　紀江※	
授業概要	被服製作の指導に関する知識と技術を習得する。 日常生活に必要とされる基本技術をみにつける	
到達目標	日常生活を豊かにするという生活者の視点で被服製作を実践する姿勢をつくること。 布の扱いをとおしてその特質を理解する	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：文化ファッション大系　服飾造形講座①服飾造形の基礎 文化出版局/文化女子大講座 服装造形学理論編Ⅰ技術編Ⅰを参考に適宜プリントを配布	
成績評価	実習での製作物にたいする評価70％・小テスト30％	
履修資格		

科目名	保育学	２単位
担当教員	野部　博子※	
授業概要	こどもが、大人にむかって心身ともに健やかに成長発達し、かつ社会の一員として、健全な環境の中で暮らすには、大人はどのように援助していったらよいかを考える。	
到達目標	児童福祉法でいう児童期の心身の発達と人格形成について理解を深める。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：講議時に紹介する	
成績評価	毎回、講義後に提出するレポート70％、及び課題30％。　内容の理解と個人の見解が展開できることを評価。	
履修資格		

科目名	博物館学概論	２単位
担当教員	市川　秀之　・　亀井　若菜	
授業概要	博物館の基本的な問題について講義する。博物館は社会教育施設であるとともに、研究機関としても重要な意味をもつ。博物館の目的、機能、現状、歴史などを講義し、調査研究、資料の整理と収集、公開展示、普及の基本的な考え方を解説する。	
到達目標	博物館の目的、機能、現状、機能などについての基本的な知識の取得	
テキスト 指定図書 参考書	『新時代の博物館学』芙蓉書房出版	
成績評価	レポート（2回）　20％　期末試験　40％　毎回授業後のレスポンスカード　40％ 2回のレポートを提出しない者は合計点数が60点に達していても単位を認めない	
履修資格		

科目名	博物館教育論	２単位
担当教員	布谷　知夫※	
授業概要	博物館は社会教育施設の一つであり、教育活動はその大きな機能である。この授業では、具体的な事例を中心に、学びの場としての博物館はいかにあるべきかを考える。	
到達目標	博物館と社会教育、学校教育の関係についての具体的な知識を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	『新時代の博物館』芙蓉書房出版	
成績評価	レスポンスカードの評価40％・レポート20％・テスト40％	
履修資格		

科目名	博物館実習	３単位
担当教員	市川　秀之 ・ 亀井　若菜 ・ 野間　直彦 ・ 東　幸代 ・ 倉茂　好匡 ・ 西田　隆義 ・ 浦部　美佐子 ・ 浜端　悦治	
授業概要	近隣の博物館または出身府県の博物館において、博物館資料の取り扱いから展示の実現まで多様な実務について実習する。授業ではその準備として実務に必要な基本的事項について実習し、また事後には実習の成果を発表し反省点などをまとめる。	
到達目標	博物館の実務に必要な技術・知識の取得展示を実際に構築していく能力	
テキスト 指定図書 参考書	なし	
成績評価	ミニ博物館の内容30％。実習日誌の内容30％・レポート30％・報告書原稿10％。 無断での欠席・遅刻をした者は単位を認めない。やむを得ず欠席・遅刻をするものは必ず事前に連絡すること。	
履修資格	4回生・「博物館学概論」・「博物館資料論」・「博物館情報・メディア論」・「生涯学習論」を含む10単位以上の単位取得者	

科目名	博物館情報・メディア論	２単位
担当教員	嶋田　容子※ ・ 市川　秀之	
授業概要	講義の前半は、昨年度までの「視聴覚教育」の内容をある程度引き継いだ内容となる。視覚聴覚の仕組みとさまざまな錯覚を、パワーポイントや インターネット上のメディア資料を用いて体験し「見る・聞く」の不思議を学ぶ。後半は、博物館展示のあり方を事例にもとづいて概観し、研究・ 保存・教育それぞれと博物館との連携についても考える。著作権・個人情報等、実際的な問題についても触れる。	
到達目標	基本的な視聴覚の仕組みだけでなく、視聴覚知覚が主観的に構成されるものであることを理解し、「見る」「聞く」という行動を多角的に捉え直す。後半では、博物館展示の理論と実例を通じて、展示のポイントや教育への工夫などを学ぶ。	
テキスト 指定図書 参考書	参考文献は講義中に随時紹介	
成績評価	小レポート20％　試験80％	
履修資格		

科目名	博物館資料保存論	２単位
担当教員	野間　直彦　・　未定　・　東　幸代	
授業概要	博物館の重要な機能は博物館資料を後世に伝えることである。この授業では博物館資料の保存および博物館における保存・展示環境についての基礎知識を講義する。	
到達目標	博物館資料の保存に関する基礎的知識を習得する。	
テキスト 指定図書 参考書	『新時代の博物館学』芙蓉書房出版	
成績評価	レスポンスカードの評価40％・レポート20％・テスト40％	
履修資格		

科目名	博物館資料論	２単位
担当教員	浦部　美佐子　・　定森　秀夫　・　東　幸代　・　上町　達也	
授業概要	博物館においては調査研究活動が必須要件となる。調査研究活動の意義と内容を明らかにして、その成果を社会に還元する必要性について述べる。また、博物館資料は多種多様である。博物館資料の意義・種類およびその資料化の過程を詳述するとともに、博物館資料の収集・整理・活用について具体的にみていく。	
到達目標	1.博物館における調査研究活動を理解する。 2.博物館資料の収集、整理保管などに関する理論・方法を習得する。 3.博物館資料に関する基礎的能力を養う。	
テキスト 指定図書 参考書	『新時代の博物館学』(芙蓉書房、2012年、本体1900円) 適宜資料プリントも配布する。	
成績評価	小テスト4回(各回25％)	
履修資格		

科目名	基礎助産学Ⅲ	２単位
担当教員	未定	
授業概要	産褥、新生児期、乳児期の助産診断・技術に必要な原理と方法を学ぶ。産褥期の心身の変化や新生児期の適応過程と成長発達等について判断し、正常の判断、逸脱を的確にとらえ、ハイリスク・異常状態にある対象への対応能力を身につける。褥婦、新生児、家族への支援、高度医療施設の搬送の必要性を判断する能力を身につける。(H27年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	健康教育方法演習	１単位
担当教員	未定	
授業概要	健康教育論で学んだ理論と方法についての知識を元に効果的な健康教育の演習を行う。健康教育に用いるアセスメント技術、カウンセリング技術、グループワーク技法を学び、それらの技術を用いて健康相談や健康教室の企画・実施・評価が行える能力を養う。健康教育の実際を想定してグループで企画立案し、発表後に自分たちの健康教育案についての評価を行う。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	助産学実習	１３単位
担当教員	未定	
授業概要	理論に基づいた助産活動を周産期医療の現場で実践するための基礎的能力を習得する。分娩介助実習および継続事例実習を通して、妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期・乳児期の助産診断を実践し、診断に基づいた実践活動を展開する。また助産管理、地域母子保健分野における助産師活動の実践を通して習得する。(平成27年度より開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	助産管理	２単位
担当教員	未定	
授業概要	助産管理の必要性と助産業務範囲を理解し、医療施設における助産業務を効果的、効率的に遂行するための管理を学ぶ。また、助産所管理、運営の法的規定について理解を深める。日本の母子に対する社会保障制度を理解するとともに、周産期医療の特徴を理解し、医療安全の確保と医療事故防止への対応の視点を養う。(H27年より開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	助産診断・技術学Ⅰ	２単位
担当教員	渡邊　香織　・　大脇　万起子　・　未定	
授業概要	助産診断・技術学の概念、助産診断過程、助産診断の理論的位置づけを学び、助産学の基盤的知識を修得する。また、周産期医療に必要な基礎的知識、すなわち生殖器系、内分泌系の機能と疾患、周産期に起こりえる異常に関して、代表的疾患に関して学習し、異常の早期発見および適切なケアや予防教育の必要性を理解する。さらに、女性のライフサイクルにおける性と生殖に関わる健康問題について相談・教育・援助技術を学ぶ。（平成27年度より開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	助産診断・技術学Ⅱ	２単位
担当教員	古川　洋子	
授業概要	助産診断・技術学Ⅰを踏まえて、分娩期の助産診断・技術に必要な原理と方法についてま学ぶ。分娩に伴う女性の心身の変化および胎児の状態、分娩の開始・経過について診断し、支援する方法を学ぶ。正常な判断と正常からの逸脱を的確にとらえ、ハイリスク・異常状態にある対象への助産診断の基礎を身につける。（平成27年度より開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	助産診断・技術学Ⅲ	２単位
担当教員	渡邊　香織	
授業概要	産褥、新生児期、乳児期の助産診断・技術に必要な原理と方法を学ぶ。産褥期の心身の変化や新生児期の適応過程と成長発達等について判断し、正常の判断、逸脱を的確にとらえ、ハイリスク・異常状態にある対象への対応能力を身につける。褥婦、新生児、家族への支援、高度医療施設の搬送の必要性を判断する能力を身につける。（H27年開講）	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	助産診断・技術学演習	２単位
担当教員	古川　洋子　・　渡邊　友美子	
授業概要	助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを踏まえて、妊娠・助産・褥婦・胎児・新生児・乳児に対する助産診断能力を高め、助産の実践に必要な基本的技術について、事例を用いながら基本的技術を理解する。正常分娩の分娩介助技術方法の原理を理解し、技術を習得する。また、急速遂娩時の産婦への支援について理解する。(平成27年度開講)	
到達目標	(1)妊娠期の健康診査・保健指導および健康教育、出産準備教育、産後1月健診の実際を理解し、模擬事例から準備と健康教育の指導を実施することができる。 (2)分娩第1期から分娩終了までの分娩各期の助産ケアとその技術を理解し、模擬事例を用い、準備と技術の展開を行うことができる。 (3)出生直後の新生児の助産ケアとその技術を理解し、模擬事例を用い、準備と技術の展開を行うことができる。 (4)褥婦・新生児の健康診査や助産ケアとその技術を理解し、模擬事例を用い、準備と技術の展開を行うことができる。 (5)周産期各期の助産診断を理解し、模擬事例から展開することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	「助産診断学講座1～10　助産診断・技術学Ⅱ」医学書院. 2007、仁志田博司著「新生児学入門　第4版」医学書院. 2012、金井雄二著「周産期超音波のみかた」メディカ出版2008、藤森敬也著「胎児心拍モニタリング講座改訂版」メディカ出版2011、岡村州博編「これならわかる産科学」南山堂2010	
成績評価	講義中の課題レポート評価 20%、期末試験（筆記試験、分娩介助技術試験）80%とする	
履修資格	人間看護学部助産師課程履修生	

科目名	公衆衛生看護学Ⅲ	２単位
担当教員	飯降　聖子　・　松井　陽子　・　植村　小夜子	
授業概要	看護活動展開場面では、対象の特性に応じた支援技術が求められる。アセスメント技術、コミュニケーション技術などを学習したうえで、それらを使って、対象（個人・グループ）の健康課題を明確に把握する。次に、コーディネート機能を発揮して、他の看護職や他機関の専門家などと連携を取り、総合的なケア方法を確立する方法について理解を深める。実際の母子、成人、高齢者、難病等実践活動についての理解を深める。また、課題解決のネットワークやシステムづくりから地域全体のマネジメントについても学ぶ。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	公衆衛生看護学演習	２単位
担当教員	飯降　聖子　・小林　孝子	
授業概要	地域住民を対象とした活動について学ぶ。公衆衛生看護活動は、地域に生活する人々とともに、地域における健康問題を分析し、健康ニーズを明らかにして、問題解決の方法を立案し実施する。そのためにコミュニティアセスメントの方法と公衆衛生看護活動計画の立案、実施、評価に必要な知識と技術を学んだうえで、彦根市を対象として演習を行う。また、住民の主体的参加を促す地域組織化活動と地域の社会資源を組み込みながらヘルスケアシステムを構築する技法について学ぶ。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	公衆衛生看護学実習	５単位
担当教員	飯降　聖子　・　植村　小夜子　・　馬場　文	
授業概要	地域で生活する個人、集団ならびにそれらを取り巻く地域を対象とした総合ケアシステムについての理解を深める。地域の健康課題の明確化、それらを解決するための支援計画、実践、評価という一連の地区活動について実習を行う。保健所・保健センター・地域包括支援センターや企業の健康管理部門などでの実習をとおして、地域で生活する個人、家族、集団を対象とした公衆衛生看護活動を展開するための基礎的能力を養う。特に保健所においては公衆衛生看護管理を、市町においては住民と一体となった公衆衛生看護活動の実践について学ぶ。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	公衆衛生看護管理論	２単位
担当教員	飯降　聖子　・　植村　小夜子	
授業概要	地域における看護管理を進めるためには、その前提として、国、都道府県、市町村の行政目的、組織や財政の仕組み等を理解することが求められる。保健福祉医療行政として行う住民ニーズの把握方法、政策を実現するための財源や人的資源の確保、議会の仕組みなど行政の基本的構造を学ぶ。地域の看護職は公衆衛生看護活動の対象者に質の高いサービスを提供するマネジメント能力や地域の健康問題発生を未然に防止する地域管理能力が求められる。そこでまず他職種とともにチームアプローチができる公衆衛生看護管理者の能力、技術について学習する。次に県や市町等の管理的立場の保健師に要求される資質である人的資源・物的資源・経済的資源等の管理能力やリーダーシップについて学ぶ。また、感染症や災害発生を含む地域の健康危機管理の基本について理解する。学びを促すために都道府県及び市町の管理的立場の保健師の講義を取り入れる。(H26年開講)	
到達目標		
テキスト 指定図書 参考書		
成績評価		
履修資格		

科目名	インターンシップＡ	１単位
担当教員	就職指導担当教員	
授業概要	この授業は以下の3セクションから構成される。1)事前学習(学内):ビジネスマナー研修等および事前レポートの提出。 2)就業体験(学外):1週間から4週間程度(受け入れ先、学生双方の事情によって決定される)。インターンシップAは同一の企業・団体等で5日以上の就業体験を要する。 3)事後学習(学内):実習レポートの提出および報告会	
到達目標	実際の就業体験を通して、自分にとって「働く」とはどういうことなのか、そのためには大学で何を身につけておくべきかを各自が真剣に考えられるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:ビジネスマナー研修テキストを配付	
成績評価	就業体験に原則として全て参加していることを前提に、事前レポート20%、就業体験(実習日誌を含む)50%、実習レポート30%	
履修資格		

科目名	インターンシップB	２単位
担当教員	就職指導担当教員	
授業概要	この授業は以下の3セクションから構成される。 1）事前学習(学内)：ビジネスマナー研修等および事前レポートの提出。 2）就業体験（学外）：1週間から4週間程度(受け入れ先、学生双方の事情によって決定される)。インターンシップBは同一の企業・団体等で10日以上、または複数の企業・団体等で5日以上、合計10日以上の就業体験を要する。 3）事後学習(学内)：実習レポートの提出および報告会	
到達目標	実際の就業体験を通して、自分にとって「働く」とはどういうことなのか、そのためには大学で何を身につけておくべきかを各自が真剣に考えられるようになること。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト：ビジネスマナー研修テキストを配付	
成績評価	就業体験に原則として全て参加していることを前提に、事前レポート20％、就業体験（実習日誌を含む）50％、実習レポート30％	
履修資格		

科目名	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ論Ⅰ（ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝを描くために）	２単位
担当教員	仁連　孝昭	
授業概要	学生一人一人が自身の人間形成と将来設計、キャリア・職業観の育成や職業・進路の選択及び決定ができる能力を培う。また、自己のキャリアについて広い観点から考えることの重要性に気づき、勉学・課外活動も含めた学生生活のあり方について考える動機づけとする。	
到達目標	キャリアデザインの必要性に気づき、将来設計の中で自己のキャリアデザイン論を描き、目標実現に向けた行動計画を作成する。	
テキスト 指定図書 参考書	プリント配布	
成績評価	講議ごとの小レポート100％	
履修資格		

科目名	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ論Ⅱ（実践的ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ技法）	２単位
担当教員	池田　重信	
授業概要	この授業は、社会や企業により求められている能力のなかで、多様な社会現象を客観的に考察し、論理的な思考に基づく自己の意見の形成や、それを提言や企画にとりまとめて適切に発信するコミュニケーション能力を養成することを内容とする。	
到達目標	この授業を通じて、客観的な思考方法やコミュニケーション能力、自己学習能力を身につけることを目標とする。それにより、終生学ぶことの大切さを実感するとともに、あらたな創造力、提案力、コーディネート力など今日の社会生活で求められる基礎的な能力と技術を学ぶことを合わせて目標とする。	
テキスト 指定図書 参考書	適宜紹介	
成績評価	客観的な思考力、内容理解力、論理の展開力、コミュニケーション力、ファシリテーション力、コーディネート力、クリエーティブ力などを全体講義のなかでの習熟具合、学生の発言、議論、提出レポートなどに基づいて総合的に評価する。	
履修資格		

科目名	ボランティア活動（前期）	１単位
担当教員	鵜飼　修	
授業概要	東日本大震災の被災地域での復興支援活動にボランティアとして従事したことを、大学が単位として認定します。(30時間以上) 現地での活動経験は、自分自身のかけがえのない体験、様々な人とのつながりの創造になるとともに、単位認定により就職活動等での自己アピールのひとつとすることが可能です。	
到達目標	・被災地域でのボランティアの実践 ・体験を通じた「つながり」の創造	
テキスト 指定図書 参考書	履修者には適宜資料を配付する	
成績評価	成績評価:「合格」「不合格」 　成績評価にあたっては、以下の3点が必要 (1)単位修得申請書 (2)現地での活動証明書 (3)活動報告書	
履修資格		

科目名	ボランティア活動（後期）	１単位
担当教員	鵜飼　修	
授業概要	東日本大震災の被災地域での復興支援活動にボランティアとして従事したことを、大学が単位として認定します。(30時間以上) 現地での活動経験は、自分自身のかけがえのない体験、様々な人とのつながりの創造になるとともに、単位認定により就職活動等での自己アピールのひとつとすることが可能です。	
到達目標	・被災地域でのボランティアの実践 ・体験を通じた「つながり」の創造	
テキスト 指定図書 参考書	履修者には適宜資料を配付する	
成績評価	成績評価:「合格」「不合格」 　成績評価にあたっては、以下の3点が必要 (1)単位修得申請書 (2)現地での活動証明書 (3)活動報告書	
履修資格		

科目名	教育方法の理論と技術	２単位　前期
担当教員	吉田　一郎　・　木村　裕　・　亀田　彰喜	
授業概要	学校教育の大きな柱である教科指導と生活指導をめぐる議論や実践事例の検討などを通して、教育目標と教材の関係、教師の指導技術、情報機器の活用方法、教育評価の役割と実践方法など、教育活動を構想・実践・改善するために必要な基本的な知識と技術を習得することをめざす。	
到達目標	受講生一人ひとりが将来教員や人を育てる立場になったときに、自分なりの「よい授業」「よい教育活動」を構想・計画し、実践し、改善することができるようになるための基礎的な知識や技能（情報機器および教材の活用を含む）を習得するとともに、自分なりの暫定的な「めざす授業像」「めざす教育活動像」を確立すること。	
テキスト 指定図書 参考書	【参考書】 ①田中耕治編『よくわかる授業論』ミネルヴァ書房、2007年 ②佐藤学『教育方法学』岩波書店、1996年 ※　その他の参考書や参考資料については、講義中に適宜紹介する。	
成績評価	数回のレポートの作成・提出を求め、それらをもとに総合的に判断する。レポートの詳細については講義中に説明する。	
履修資格		

科目名	博物館学概論	２単位　前期
担当教員	市川　秀之	
授業概要	博物館の基本的な問題について講義する。博物館は社会教育施設であるとともに、研究機関としても重要な意味をもつ。博物館の目的、機能、現状、歴史などを講義し、調査研究、資料の整理と収集、公開展示、普及の基本的な考え方を解説する。	
到達目標	博物館の目的、機能、現状、歴史などについての基本的な知識の取得 博物館を分析的に見学する能力の取得 展示を主体的に構築する能力	
テキスト 指定図書 参考書	『新時代の博物館学』芙蓉書房出版	
成績評価	レポート（2回）　20%　期末試験　40%　毎回授業後のレスポンスカード　40% 2回のレポートを提出しない者は合計点数が60点に達していても単位を認めない。	
履修資格		

科目名	博物館学各論Ａ	２単位　後期
担当教員	野間　直彦　・　布谷　知夫※　・　浦部　美佐子　・　上町　達也	
授業概要	自然史系博物館の経営、自然史系博物館における情報および資料の取り扱い、自然史系博物館における研究および教育・普及活動などについて解説する。	
到達目標	自然史系博物館において必要なことがらを理解する。	
テキスト 指定図書 参考書	参考書：講義の中で紹介する	
成績評価	試験60％、レポート40％：生物分類学の基本的なことがらを理解していること。	
履修資格		

科目名	基礎助産学	２単位　前期
担当教員	渡邊　香織	
授業概要	助産学の基盤となる知識、助産師の責務と役割が理解できる。また、リプロダクティブ・ヘルス・ライツの概念と女性の健康支援に向けた助産実践の基盤を学修する。助産および助産学の現状や将来を展望について探求できる。	
到達目標	助産学の基本概念、母子保健と助産の変遷・関連法規と助産業務の関連性を学ぶ。助産師の歴史・教育について説明できる。倫理的行動形成のために必要な基礎的知識を理解し、自らの助産実践に必要な倫理観が形成できる。リプロダクティブ・ヘルス・ライツの概念を理解し、性と生殖をめぐる女性のライフステージに応じた健康支援について学ぶ。助産活動（諸外国の活動を含む）の発達を概観し、国際社会の動向を視野に入れながら、我が国の助産および助産学の現状や将来を展望について考察できる。	
テキスト 指定図書 参考書	テキスト:山本あい子編「第1巻　基礎概論」日本看護協会出版界.2012、 (財)母子衛生研究会編「わが国の母子保健 平成24年」 参考書：講義の中で紹介する	
成績評価	定期試験80%、課題（事前学習）20%	
履修資格		

科目名	助産管理論	２単位　前期
担当教員	炭原　加代	
授業概要	助産管理と助産業務範囲を理解し、助産業務管理の基礎的能力と助産所の運営の基本的な能力を習得する。助産業務を評価・調整する基礎的な能力を養う。	
到達目標	助産業務範囲や助産業務を評価・調整する視点を持つことができる。産科医療の特徴と医療事故防止の理解ができる。 災害時における助産師の役割を理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	助産学講座10　助産管理　医学書院 助産師業務要覧　増補版　日本看護協会出版会 助産師基礎教育テキスト　周産期における医療の質と安全	
成績評価	課題発表・レポート10％　期末筆記試験90％	
履修資格		

科目名	博物館実習	３単位
担当教員	市川　秀之 ・ 野間　直彦 ・ 東　幸代 ・ 亀井　若菜 ・ 西田　隆義 ・ 浦部　美佐子 ・ 浜端　悦治 ・ 倉茂　好匡	
授業概要	近隣の博物館または出身府県の博物館において、博物館資料の取り扱いから展示の実現まで多様な実務について実習する。授業ではその準備として実務に必要な基本的事項について実習し、また事後には実習の成果を発表し反省点などをまとめる。	
到達目標	博物館の実務に必要な技術・知識の取得 展示を実際に構築していく能力	
テキスト 指定図書 参考書	なし	
成績評価	ミニ博物館の内容30%。実習日誌の内容30%・レポート30%・報告書原稿10%。 無断での欠席・遅刻をした者は単位を認めない。やむを得ず欠席・遅刻をするものは必ず事前に連絡すること。	
履修資格	4回生・博物館学概論・各論・視聴覚教育の単位取得者	

科目名	助産診断・技術学Ⅰ	２単位　前期
担当教員	古川　洋子	
授業概要	助産診断・技術学の概念、助産診断過程、助産診断の理論的位置づけを学び、助産学の基盤的知識を修得する。また、周産期医療に必要な基礎的知識、すなわち生殖器系、内分泌系の機能と疾患、周産期に起こりえる異常に関して、代表的疾患に関して学習し、異常の早期発見および適切なケアや予防教育の必要性を理解する。さらに、女性のライフサイクルにおける性と生殖に関わる健康問題について相談・教育・援助技術を学ぶ。	
到達目標	助産診断・技術学の概念、助産診断過程、助産診断の理論的位置づけを学ぶ。女性の生殖器系の形態と機能、疾患について説明できる。ハイリスク・異常状態にある対象の病態を理解し、ケアについて考察できる。周産期に用いられる薬の効用について理解できる。周産期における栄養管理について理解できる。女性のライフサイクルにおける性と生殖に関わる健康問題について相談・教育・援助技術が理解できる。	
テキスト 指定図書 参考書	「助産診断学講座　2　母子の基礎科学、3　母子の健康科学」医学書院.	
成績評価	小テスト80%、課題レポート20%	
履修資格		

科目名	助産診断・技術学Ⅱ	２単位　前期
担当教員	古川　洋子	
授業概要	助産診断・技術学Ⅰを踏まえて、分娩期の助産診断・技術に必要な原理と方法についてま学ぶ。分娩に伴う女性の心身の変化および胎児の状態、分娩の開始・経過について診断し、支援する方法を学ぶ。正常な判断と正常からの逸脱を的確にとらえ、ハイリスク・異常状態にある対象への助産診断の基礎を身につける。	
到達目標	助産診断をもとに妊娠に伴う心身の変化および胎児の成長・発達について理解し、具体的に述べることができる。 分娩の開始と進行状態および分娩に伴う心身の変化、胎児状況を理解し、具体的の述べることができる。 産褥期の心身の変化や新生児の適応過程と発達等について理解し、具体的に述べることができる。 周産期の助産領域における正常性の判断と正常逸脱を判断し、対象により良い健康レベルの援助について述べることができる。	
テキスト 指定図書 参考書	「助産診断学講座6・7・8　助産診断・技術学Ⅱ」医学書院. 2007、仁志田博司著「新生児学入門　第4版」医学書院. 2012、金井雄二著「周産期超音波のみかた」メディカ出版2008、藤森敬也著「胎児心拍モニタリング講座改訂版」メディカ出版2011、岡村州博編「これならわかる産科学」南山堂2010 その他の参考資料は、講義の中で紹介する。	
成績評価	講義レポート評価 20%、期末筆記試験 80%とする。	
履修資格	人間看護学部助産師課程履修生	

科目名	助産診断・技術学演習	２単位
担当教員	古川　洋子　・　渡邊　友美子	
授業概要	助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを踏まえて、妊娠・助産・褥婦・胎児・新生児・乳児に対する助産診断能力を高め、助産の実践に必要な基本的技術について、事例を用いながら基本的技術を理解する。正常分娩の分娩介助技術方法の原理を理解し、技術を習得する。また、急速遂娩時の産婦への支援について理解する。	
到達目標	(1)妊娠期の健康診査・保健指導および健康教育、出産準備教育、産後1月健診の実際を理解し、模擬事例から準備と健康教育の指導を実施することができる。 (2)分娩第1期から分娩終了までの分娩各期の助産ケアとその技術を理解し、模擬事例を用い、準備と技術の展開を行うことができる。 (3)出生直後の新生児の助産ケアとその技術を理解し、模擬事例を用い、準備と技術の展開を行うことができる。 (4)褥婦・新生児の健康診査や助産ケアとその技術を理解し、模擬事例を用い、準備と技術の展開を行うことができる。 (5)周産期各期の助産診断を理解し、模擬事例から展開することができる。	
テキスト 指定図書 参考書	「助産診断学講座1～10　助産診断・技術学Ⅱ」医学書院. 2007、仁志田博司著「新生児学入門　第4版」医学書院. 2012、金井雄二著「周産期超音波のみかた」メディカ出版2008、藤森敬也著「胎児心拍モニタリング講座改訂版」メディカ出版2011、岡村州博編「これならわかる産科学」南山堂2010	
成績評価	講義中の課題レポート評価 20%、期末試験（筆記試験、分娩介助技術試験）80%とする	
履修資格	人間看護学部助産師課程履修生	

索　　引

注）講義科目索引中の「対象」欄の略称は次のとおり

全：全学共通

環：環境科学部共通
　態：環境生態学科
　政：環境政策・計画学科
　建：環境建築デザイン学科
　資：生物資源管理学科

工：工学部共通
　材：材料科学科
　機：機械システム工学科
　電：電子システム工学科

人：人間文化学部共通
　地：地域文化学科
　デ：生活デザイン学科
　栄：生活栄養学科
　関：人間関係学科
　国：国際コミュニケーション学科

看：人間看護学部

留：留学生用科目

副：地域学副専攻科目
教：教員免許取得関連
学：学芸員資格取得関連
保：保健師資格取得関連
助：助産師資格取得関連
キ：キャリア教育・ボランティア関連